

FUJITSU Software

NetCOBOL V11.0

メッセージ集

Windows/Windows(64)

B1WD-3195-02Z0(00)
2015年6月

まえがき

本書は、WINCOBコマンド(注1)、翻訳コマンドのメッセージ、翻訳時メッセージ、実行時メッセージおよび診断機能のメッセージ(注2)について説明します。

注1：WINCOBコマンドは、[Win32]の機能です。

注2：診断機能は、[Win32]および[Winx64]の機能です。

NetCOBOLシリーズについて

NetCOBOLシリーズの最新情報については、富士通のサイトをご覧ください。

<http://software.fujitsu.com/jp/cobol/>

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Server、Visual C++は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Btrieve および Pervasive は Actian Corporation の登録商標です。Pervasive Software、Pervasive.SQL、Pervasive PSQL はActian Corporation の商標です。
- その他の会社名または製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

製品の呼び名について

本書では、各製品を次のように略記しています。あらかじめご了承ください。

正式名称	略称
Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 R2 Datacenter Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 R2 Standard Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 R2 Essentials Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 R2 Foundation	Windows Server 2012 R2
Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Datacenter Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Standard Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Essentials Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Foundation	Windows Server 2012
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Foundation Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Standard Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Enterprise Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Datacenter	Windows Server 2008 R2
Windows(R) 8.1 Windows(R) 8.1 Pro Windows(R) 8.1 Enterprise	Windows 8.1
Windows(R) 8 Windows(R) 8 Pro Windows(R) 8 Enterprise	Windows 8 または Windows 8(x64)
Windows(R) 7 Home Premium Windows(R) 7 Professional Windows(R) 7 Enterprise	Windows 7 または Windows 7(x64)

正式名称	略称
Windows(R) 7 Ultimate	
Microsoft(R) Visual C++(R) development system	Visual C++
PowerSORT Server	PowerSORT
PowerSORT Workstation	

- ・「Interstage Charset Manager」を以降では「Charset Manager」と表記します。
- ・「Interstage List Creator」を以降では「List Creator」と表記します。

本書の目的

本書は、Windowsに提供されるNetCOBOLを使用したときに出力されるメッセージについて記述したものです。

本書の読者

本書は、NetCOBOLを利用してCOBOLプログラムを開発される方を対象としています。

本書の構成

本書は、以下のメッセージについて記述しています。

第1章 翻訳コマンドおよびWINCOBコマンドのメッセージ

WINCOBおよび翻訳コマンドによって出力されるメッセージについて説明しています。

第2章 翻訳時メッセージ

NetCOBOLコンパイラによって出力されるメッセージ(メッセージプレフィクス:JMN)について説明しています。

第3章 リンクメッセージ

リンカによって出力されるメッセージの一部について説明しています。

第4章 実行時メッセージ

NetCOBOLランタイムシステムによって出力されるメッセージ(メッセージプレフィクス:JMP)について説明しています。

第5章 診断機能のメッセージ

NetCOBOLの診断機能によって出力される(メッセージプレフィクス:JMW)について説明しています。

第6章 MeFtのメッセージ

MeFtによって通知されるメッセージについて説明しています。

第7章 MeFt/Webのメッセージ

MeFt/Webによって出力されるメッセージについて説明しています。

第8章 Jアダプタクラスジェネレータのメッセージ

Jアダプタクラスジェネレータによって出力されるメッセージについて説明しています。

第9章 PowerSORTのメッセージ

PowerSORTによって出力されるメッセージについて説明しています。

付録A システムのエラーコードの説明

システムのエラーコードの内容について説明しています。

付録B SCODE形式のエラーコードの説明

SCODE形式のエラーコードの内容について説明しています。

付録C COBOLファイルシステムのエラーコードの説明

COBOLファイルシステムのエラーコードの内容について説明しています。

付録D 注意事項

COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する原因と対処方法について説明しています。

システム固有機能について

本書の中には、システムの機能に依存して、説明が一部異なる部分があります。
それらについては、以下に示すシステム記号を用いて本文中に記述しています。

システム記号	対応システム	対応製品
[Win32]	Windows Server 2012 R2 Windows Server 2012 Windows Server 2008 R2 Windows 8.1 Windows 8 Windows 7	NetCOBOL (32bit) V11
[Winx64]	Windows Server 2012 R2 Windows Server 2012 Windows Server 2008 R2 Windows 8.1 (x64) Windows 8 (x64) Windows 7 (x64)	NetCOBOL (64bit) V11

本書の注意事項

本書は、NetCOBOLの使用中にトラブルが発生した場合に、その原因を調査するための情報を説明しています。この中の情報は、プログラム等の作成には使用しないでください。

COBOLプログラムを作成する場合には、上記に示したマニュアルに記載されているプログラミングサービス情報だけをご利用ください。

その他の注意事項

- ・ 本書では、“COBOL文法書”で“原始プログラム”と記述されている用語を“ソースプログラム”と記述しています。
- ・ OSIV/MSP、OSIV/XSPなどのOSIV系システムを総称して、“OSIV系システム”と記述しています。

輸出管理について

本ドキュメントを輸出または第三者へ提供する場合は、お客様が居住する国および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認のうえ、必要な手続きをおとりください。

2015年6月

Copyright 1992-2015 FUJITSU LIMITED

All Rights Reserved, Copyright(C) Microsoft Corporation. 1992-2015

目次

第1章 翻訳コマンドおよびWINCOBコマンドのメッセージ.....	1
1.1 翻訳コマンドのメッセージ.....	1
1.1.1 '%s'はファイル名として不当です.....	1
1.1.2 '%s'のサブオプションが不当です.....	1
1.1.3 ファイル名の指定がありません.....	1
1.1.4 %sというオプションはありません.....	1
1.1.5 %sの引数が指定されていません.....	2
1.1.6 '%s'は存在しません.....	2
1.1.7 システムエラー'%s1'が'%s2'で発生しました.....	2
1.1.8 Registry is invalid. Compilation terminated.....	2
1.1.9 翻訳に必要なメモリが不足しています。翻訳を中止します.....	2
1.2 WINCOBコマンドのメッセージ.....	3
1.2.1 '%s'の引数が不当です.....	3
第2章 翻訳時メッセージ.....	4
2.1 メッセージ形式.....	4
2.2 JMN0000—JMN0999.....	5
2.2.1 JMN0007I-U.....	5
2.2.2 JMN0010I-S.....	5
2.2.3 JMN0013I-S.....	5
2.2.4 JMN0015I-U.....	5
2.2.5 JMN0016I-U.....	6
2.2.6 JMN0020I-U.....	6
2.2.7 JMN0021I-E.....	6
2.2.8 JMN0022I-E.....	6
2.2.9 JMN0023I-E.....	6
2.2.10 JMN0024I-E.....	7
2.2.11 JMN0025I-E.....	7
2.2.12 JMN0026I-E.....	7
2.2.13 JMN0027I-E.....	7
2.2.14 JMN0028I-E.....	8
2.2.15 JMN0029I-E.....	8
2.2.16 JMN0030I-E.....	9
2.2.17 JMN0031I-W.....	9
2.2.18 JMN0032I-I.....	9
2.2.19 JMN0033I-W.....	9
2.2.20 JMN0034I-S.....	10
2.2.21 JMN0035I-S.....	10
2.2.22 JMN0036I-S.....	10
2.2.23 JMN0037I-E.....	11
2.2.24 JMN0058I-W.....	11
2.2.25 JMN0061I-E.....	11
2.2.26 JMN0063I-W.....	12
2.2.27 JMN0064I-W.....	12
2.2.28 JMN0065I-W.....	12
2.2.29 JMN0071I-W.....	12
2.2.30 JMN0072I-W.....	12
2.2.31 JMN0077I-I.....	12
2.2.32 JMN0092I-U.....	13
2.2.33 JMN0093I-U.....	13
2.2.34 JMN0094I-U.....	13
2.2.35 JMN0096I-U.....	13
2.2.36 JMN0097I-U.....	13
2.2.37 JMN0100I-U.....	13
2.2.38 JMN0102I-U.....	13

2.2.39 JMN0103I-U.....	13
2.2.40 JMN0124I-U.....	14
2.2.41 JMN0125I-U.....	14
2.2.42 JMN0126I-S.....	14
2.2.43 JMN0127I-E.....	14
2.2.44 JMN0129I-I.....	15
2.2.45 JMN0130I-E.....	15
2.2.46 JMN0131I-E.....	15
2.2.47 JMN0998I-U.....	15
2.3 JMN1000 – JMN1999.....	16
2.3.1 JMN1000I-S.....	17
2.3.2 JMN1001I-W.....	17
2.3.3 JMN1002I-S.....	17
2.3.4 JMN1003I-W.....	18
2.3.5 JMN1004I-W.....	18
2.3.6 JMN1005I-W.....	18
2.3.7 JMN1007I-S.....	19
2.3.8 JMN1008I-S.....	19
2.3.9 JMN1009I-S.....	20
2.3.10 JMN1010I-S.....	20
2.3.11 JMN1011I-S.....	20
2.3.12 JMN1012I-S.....	21
2.3.13 JMN1013I-S.....	21
2.3.14 JMN1014I-S.....	21
2.3.15 JMN1015I-S.....	22
2.3.16 JMN1016I-S.....	22
2.3.17 JMN1017I-S.....	22
2.3.18 JMN1018I-S.....	22
2.3.19 JMN1019I-W.....	23
2.3.20 JMN1020I-W.....	23
2.3.21 JMN1021I-S.....	23
2.3.22 JMN1022I-S.....	24
2.3.23 JMN1023I-S.....	24
2.3.24 JMN1024I-S.....	24
2.3.25 JMN1025I-S.....	25
2.3.26 JMN1026I-S.....	25
2.3.27 JMN1027I-S.....	25
2.3.28 JMN1028I-S.....	25
2.3.29 JMN1029I-S.....	26
2.3.30 JMN1040I-S.....	26
2.3.31 JMN1041I-W.....	26
2.3.32 JMN1042I-S.....	27
2.3.33 JMN1043I-S.....	27
2.3.34 JMN1044I-S.....	28
2.3.35 JMN1049I-S.....	28
2.3.36 JMN1050I-S.....	28
2.3.37 JMN1051I-S.....	28
2.3.38 JMN1052I-S.....	29
2.3.39 JMN1057I-S.....	29
2.3.40 JMN1061I-S.....	29
2.3.41 JMN1062I-S.....	29
2.3.42 JMN1073I-S.....	30
2.3.43 JMN1074I-S.....	30
2.3.44 JMN1075I-S.....	31
2.3.45 JMN1076I-S.....	31
2.3.46 JMN1080I-W.....	31
2.3.47 JMN1081I-S.....	32

2.3.48 JMN1082I-S.....	32
2.3.49 JMN1083I-S.....	32
2.3.50 JMN1084I-I.....	33
2.3.51 JMN1085I-S.....	33
2.3.52 JMN1086I-S.....	34
2.3.53 JMN1087I-W.....	34
2.3.54 JMN1092I-S.....	34
2.3.55 JMN1093I-S.....	34
2.3.56 JMN1096I-I.....	35
2.3.57 JMN1097I-I.....	35
2.3.58 JMN1099I-I.....	36
2.3.59 JMN1100I-W.....	36
2.3.60 JMN1101I-S.....	36
2.3.61 JMN1103I-W.....	37
2.3.62 JMN1104I-S.....	37
2.3.63 JMN1105I-W.....	38
2.3.64 JMN1107I-S.....	38
2.3.65 JMN1110I-S.....	38
2.3.66 JMN1111I-S.....	38
2.3.67 JMN1113I-S.....	39
2.3.68 JMN1114I-S.....	39
2.3.69 JMN1115I-S.....	39
2.3.70 JMN1116I-S.....	40
2.3.71 JMN1117I-S.....	40
2.3.72 JMN1118I-W.....	40
2.3.73 JMN1119I-W.....	41
2.3.74 JMN1121I-S.....	41
2.3.75 JMN1123I-S.....	41
2.3.76 JMN1125I-S.....	42
2.3.77 JMN1126I-S.....	42
2.3.78 JMN1127I-S.....	42
2.3.79 JMN1128I-S.....	43
2.3.80 JMN1129I-S.....	43
2.3.81 JMN1130I-S.....	43
2.3.82 JMN1131I-S.....	44
2.3.83 JMN1132I-S.....	44
2.3.84 JMN1133I-S.....	44
2.3.85 JMN1134I-S.....	45
2.3.86 JMN1141I-S.....	45
2.3.87 JMN1142I-S.....	45
2.3.88 JMN1143I-S.....	45
2.3.89 JMN1144I-S.....	46
2.3.90 JMN1145I-S.....	46
2.3.91 JMN1146I-S.....	46
2.3.92 JMN1147I-S.....	47
2.3.93 JMN1148I-S.....	47
2.3.94 JMN1149I-W.....	47
2.3.95 JMN1150I-S.....	48
2.3.96 JMN1151I-S.....	48
2.3.97 JMN1154I-S.....	49
2.3.98 JMN1155I-S.....	49
2.3.99 JMN1156I-W.....	49
2.3.100 JMN1158I-W.....	50
2.3.101 JMN1159I-S.....	50
2.3.102 JMN1161I-S.....	51
2.3.103 JMN1162I-S.....	51
2.3.104 JMN1163I-S.....	52

2.3.105 JMN1164I-S.....	52
2.3.106 JMN1165I-S.....	52
2.3.107 JMN1166I-S.....	53
2.3.108 JMN1167I-W.....	53
2.3.109 JMN1183I-S.....	54
2.3.110 JMN1184I-S.....	54
2.3.111 JMN1185I-S.....	54
2.3.112 JMN1187I-S.....	55
2.3.113 JMN1188I-S.....	55
2.3.114 JMN1190I-S.....	55
2.3.115 JMN1193I-S.....	56
2.3.116 JMN1194I-S.....	56
2.3.117 JMN1195I-S.....	57
2.3.118 JMN1197I-S.....	57
2.3.119 JMN1198I-S.....	58
2.3.120 JMN1207I-S.....	58
2.3.121 JMN1208I-S.....	58
2.3.122 JMN1209I-S.....	59
2.3.123 JMN1213I-S.....	59
2.3.124 JMN1214I-S.....	59
2.3.125 JMN1215I-S.....	60
2.3.126 JMN1216I-S.....	60
2.3.127 JMN1217I-S.....	60
2.3.128 JMN1218I-S.....	60
2.3.129 JMN1219I-S.....	61
2.3.130 JMN1220I-S.....	61
2.3.131 JMN1221I-S.....	61
2.3.132 JMN1222I-S.....	62
2.3.133 JMN1223I-S.....	62
2.3.134 JMN1224I-S.....	62
2.3.135 JMN1225I-S.....	63
2.3.136 JMN1227I-S.....	63
2.3.137 JMN1228I-S.....	63
2.3.138 JMN1229I-S.....	64
2.3.139 JMN1231I-S.....	64
2.3.140 JMN1232I-S.....	65
2.3.141 JMN1233I-S.....	65
2.3.142 JMN1234I-S.....	65
2.3.143 JMN1236I-S.....	66
2.3.144 JMN1237I-S.....	66
2.3.145 JMN1238I-S.....	66
2.3.146 JMN1239I-S.....	67
2.3.147 JMN1240I-S.....	67
2.3.148 JMN1241I-S.....	67
2.3.149 JMN1242I-S.....	67
2.3.150 JMN1243I-S.....	68
2.3.151 JMN1244I-W.....	68
2.3.152 JMN1246I-W.....	69
2.3.153 JMN1253I-S.....	69
2.3.154 JMN1254I-S.....	69
2.3.155 JMN1255I-S.....	70
2.3.156 JMN1256I-S.....	70
2.3.157 JMN1257I-S.....	70
2.3.158 JMN1258I-W.....	71
2.3.159 JMN1259I-W.....	71
2.3.160 JMN1260I-W.....	71
2.3.161 JMN1261I-W.....	71

2.3.162 JMN1265I-S.....	72
2.3.163 JMN1266I-S.....	72
2.3.164 JMN1267I-S.....	72
2.3.165 JMN1268I-S.....	73
2.3.166 JMN1269I-S.....	73
2.3.167 JMN1271I-S.....	74
2.3.168 JMN1273I-S.....	74
2.3.169 JMN1275I-S.....	74
2.3.170 JMN1276I-S.....	75
2.3.171 JMN1278I-S.....	75
2.3.172 JMN1279I-S.....	75
2.3.173 JMN1280I-S.....	76
2.3.174 JMN1281I-S.....	76
2.3.175 JMN1282I-S.....	76
2.3.176 JMN1284I-S.....	77
2.3.177 JMN1285I-S.....	77
2.3.178 JMN1286I-S.....	77
2.3.179 JMN1287I-S.....	78
2.3.180 JMN1288I-S.....	78
2.3.181 JMN1291I-S.....	78
2.3.182 JMN1292I-S.....	79
2.3.183 JMN1294I-S.....	79
2.3.184 JMN1298I-S.....	79
2.3.185 JMN1299I-S.....	80
2.3.186 JMN1301I-S.....	80
2.3.187 JMN1302I-S.....	80
2.3.188 JMN1303I-S.....	81
2.3.189 JMN1304I-S.....	81
2.3.190 JMN1305I-S.....	81
2.3.191 JMN1306I-S.....	82
2.3.192 JMN1307I-S.....	82
2.3.193 JMN1308I-S.....	82
2.3.194 JMN1309I-S.....	83
2.3.195 JMN1310I-S.....	83
2.3.196 JMN1312I-S.....	84
2.3.197 JMN1313I-S.....	84
2.3.198 JMN1314I-S.....	85
2.3.199 JMN1315I-S.....	85
2.3.200 JMN1317I-S.....	86
2.3.201 JMN1318I-S.....	86
2.3.202 JMN1319I-S.....	86
2.3.203 JMN1320I-S.....	87
2.3.204 JMN1321I-S.....	87
2.3.205 JMN1322I-S.....	88
2.3.206 JMN1323I-S.....	88
2.3.207 JMN1324I-S.....	88
2.3.208 JMN1325I-S.....	89
2.3.209 JMN1326I-S.....	89
2.3.210 JMN1327I-S.....	90
2.3.211 JMN1329I-S.....	90
2.3.212 JMN1330I-S.....	91
2.3.213 JMN1338I-I.....	91
2.3.214 JMN1339I-I.....	91
2.3.215 JMN1340I-I.....	92
2.3.216 JMN1342I-I.....	92
2.3.217 JMN1343I-I.....	93
2.3.218 JMN1353I-S.....	93

2.3.219 JMN1354I-W	93
2.3.220 JMN1355I-S	94
2.3.221 JMN1356I-W	94
2.3.222 JMN1357I-S	94
2.3.223 JMN1358I-W	95
2.3.224 JMN1359I-S	95
2.3.225 JMN1360I-S	95
2.3.226 JMN1362I-S	96
2.3.227 JMN1363I-W	96
2.3.228 JMN1371I-S	97
2.3.229 JMN1373I-S	97
2.3.230 JMN1376I-S	97
2.3.231 JMN1377I-S	98
2.3.232 JMN1388I-W	98
2.3.233 JMN1390I-S	98
2.3.234 JMN1391I-S	99
2.3.235 JMN1393I-S	99
2.3.236 JMN1394I-S	99
2.3.237 JMN1395I-S	100
2.3.238 JMN1396I-S	100
2.3.239 JMN1397I-S	101
2.3.240 JMN1401I-S	101
2.3.241 JMN1402I-S	101
2.3.242 JMN1404I-S	102
2.3.243 JMN1405I-S	102
2.3.244 JMN1411I-S	103
2.3.245 JMN1412I-S	104
2.3.246 JMN1413I-S	104
2.3.247 JMN1414I-S	104
2.3.248 JMN1416I-S	105
2.3.249 JMN1418I-S	105
2.3.250 JMN1421I-S	105
2.3.251 JMN1423I-S	106
2.3.252 JMN1424I-W	107
2.3.253 JMN1425I-S	107
2.3.254 JMN1426I-W	107
2.3.255 JMN1427I-W	108
2.3.256 JMN1428I-S	108
2.3.257 JMN1434I-S	108
2.3.258 JMN1436I-S	109
2.3.259 JMN1437I-S	109
2.3.260 JMN1438I-S	110
2.3.261 JMN1439I-W	110
2.3.262 JMN1450I-I	110
2.3.263 JMN1464I-S	111
2.3.264 JMN1465I-S	111
2.3.265 JMN1466I-S	111
2.3.266 JMN1469I-S	112
2.3.267 JMN1472I-S	112
2.3.268 JMN1475I-S	112
2.3.269 JMN1476I-S	113
2.3.270 JMN1477I-I	113
2.3.271 JMN1478I-W	114
2.3.272 JMN1479I-S	114
2.3.273 JMN1480I-S	114
2.3.274 JMN1481I-E	115
2.3.275 JMN1482I-S	115

2.3.276 JMN1486I-I.....	116
2.3.277 JMN1487I-S.....	116
2.3.278 JMN1488I-S.....	117
2.3.279 JMN1489I-S.....	117
2.3.280 JMN1490I-S.....	117
2.3.281 JMN1500I-S.....	118
2.3.282 JMN1501I-S.....	118
2.3.283 JMN1502I-S.....	119
2.3.284 JMN1503I-S.....	119
2.3.285 JMN1504I-S.....	120
2.3.286 JMN1505I-S.....	120
2.3.287 JMN1506I-W.....	121
2.3.288 JMN1507I-S.....	121
2.3.289 JMN1508I-S.....	122
2.3.290 JMN1509I-S.....	122
2.3.291 JMN1510I-S.....	122
2.3.292 JMN1511I-S.....	123
2.3.293 JMN1512I-S.....	123
2.3.294 JMN1513I-S.....	124
2.3.295 JMN1514I-S.....	124
2.3.296 JMN1515I-S.....	125
2.3.297 JMN1516I-S.....	125
2.3.298 JMN1517I-S.....	126
2.3.299 JMN1518I-S.....	126
2.3.300 JMN1519I-S.....	127
2.3.301 JMN1520I-S.....	127
2.3.302 JMN1521I-S.....	127
2.3.303 JMN1522I-S.....	128
2.3.304 JMN1523I-S.....	128
2.3.305 JMN1524I-S.....	128
2.3.306 JMN1525I-S.....	129
2.3.307 JMN1526I-S.....	130
2.3.308 JMN1527I-S.....	130
2.3.309 JMN1528I-S.....	130
2.3.310 JMN1529I-S.....	131
2.3.311 JMN1530I-S.....	131
2.3.312 JMN1531I-S.....	132
2.3.313 JMN1532I-S.....	132
2.3.314 JMN1533I-S.....	133
2.3.315 JMN1534I-S.....	133
2.3.316 JMN1535I-S.....	133
2.3.317 JMN1538I-I.....	134
2.3.318 JMN1539I-I.....	134
2.3.319 JMN1540I-S.....	135
2.3.320 JMN1544I-S.....	135
2.3.321 JMN1545I-S.....	135
2.3.322 JMN1547I-I.....	136
2.3.323 JMN1551I-S.....	136
2.3.324 JMN1552I-S.....	137
2.3.325 JMN1553I-S.....	137
2.3.326 JMN1555I-S.....	138
2.3.327 JMN1556I-S.....	138
2.3.328 JMN1557I-S.....	138
2.3.329 JMN1558I-S.....	139
2.3.330 JMN1559I-S.....	139
2.3.331 JMN1560I-S.....	140
2.3.332 JMN1561I-S.....	140

2.3.333 JMN1562I-S.....	140
2.3.334 JMN1563I-S.....	141
2.3.335 JMN1566I-S.....	141
2.3.336 JMN1567I-S.....	141
2.3.337 JMN1568I-S.....	142
2.3.338 JMN1569I-S.....	142
2.3.339 JMN1570I-S.....	143
2.3.340 JMN1571I-S.....	143
2.3.341 JMN1572I-S.....	143
2.3.342 JMN1573I-S.....	144
2.3.343 JMN1574I-S.....	144
2.3.344 JMN1576I-S.....	144
2.3.345 JMN1578I-S.....	144
2.3.346 JMN1579I-S.....	145
2.3.347 JMN1580I-S.....	145
2.3.348 JMN1581I-S.....	145
2.3.349 JMN1582I-S.....	146
2.3.350 JMN1583I-W.....	146
2.3.351 JMN1584I-S.....	146
2.3.352 JMN1586I-S.....	147
2.3.353 JMN1588I-S.....	147
2.3.354 JMN1589I-S.....	148
2.3.355 JMN1591I-S.....	148
2.3.356 JMN1592I-S.....	148
2.3.357 JMN1593I-S.....	149
2.3.358 JMN1594I-S.....	149
2.3.359 JMN1596I-S.....	149
2.3.360 JMN1597I-W.....	150
2.3.361 JMN1599I-S.....	150
2.3.362 JMN1600I-S.....	151
2.3.363 JMN1604I-W.....	151
2.3.364 JMN1608I-S.....	151
2.3.365 JMN1615I-I.....	152
2.3.366 JMN1661I-S.....	152
2.3.367 JMN1662I-S.....	152
2.3.368 JMN1664I-S.....	152
2.3.369 JMN1665I-S.....	152
2.3.370 JMN1668I-W.....	152
2.3.371 JMN1670I-S.....	152
2.3.372 JMN1671I-S.....	153
2.3.373 JMN1672I-S.....	153
2.3.374 JMN1673I-W.....	153
2.3.375 JMN1674I-S.....	153
2.3.376 JMN1675I-S.....	153
2.3.377 JMN1676I-S.....	154
2.3.378 JMN1677I-S.....	154
2.3.379 JMN1678I-S.....	155
2.3.380 JMN1681I-S.....	155
2.3.381 JMN1683I-S.....	155
2.3.382 JMN1684I-S.....	156
2.3.383 JMN1685I-S.....	156
2.3.384 JMN1686I-S.....	156
2.3.385 JMN1687I-S.....	157
2.3.386 JMN1688I-S.....	157
2.3.387 JMN1689I-S.....	158
2.3.388 JMN1690I-S.....	158
2.3.389 JMN1692I-S.....	159

2.3.390 JMN1693I-S.....	159
2.3.391 JMN1694I-S.....	159
2.3.392 JMN1695I-S.....	160
2.3.393 JMN1696I-S.....	160
2.3.394 JMN1697I-S.....	161
2.3.395 JMN1698I-S.....	161
2.3.396 JMN1699I-S.....	161
2.3.397 JMN1701I-S.....	162
2.3.398 JMN1703I-S.....	162
2.3.399 JMN1704I-S.....	162
2.3.400 JMN1705I-S.....	163
2.3.401 JMN1706I-S.....	163
2.3.402 JMN1707I-S.....	164
2.3.403 JMN1708I-S.....	164
2.3.404 JMN1710I-I.....	164
2.3.405 JMN1715I-S.....	165
2.3.406 JMN1716I-S.....	165
2.3.407 JMN1717I-S.....	166
2.3.408 JMN1718I-S.....	166
2.3.409 JMN1724I-S.....	167
2.3.410 JMN1725I-S.....	167
2.3.411 JMN1726I-S.....	167
2.3.412 JMN1735I-S.....	168
2.3.413 JMN1736I-S.....	168
2.3.414 JMN1738I-S.....	169
2.3.415 JMN1739I-W.....	169
2.3.416 JMN1741I-S.....	169
2.3.417 JMN1742I-S.....	170
2.3.418 JMN1744I-S.....	170
2.3.419 JMN1745I-S.....	170
2.3.420 JMN1746I-S.....	171
2.3.421 JMN1748I-S.....	171
2.3.422 JMN1749I-S.....	171
2.3.423 JMN1750I-S.....	172
2.3.424 JMN1751I-S.....	172
2.3.425 JMN1752I-S.....	172
2.3.426 JMN1753I-S.....	172
2.3.427 JMN1754I-S.....	173
2.3.428 JMN1755I-S.....	173
2.3.429 JMN1756I-S.....	174
2.3.430 JMN1757I-S.....	175
2.3.431 JMN1758I-S.....	175
2.3.432 JMN1759I-S.....	176
2.3.433 JMN1760I-S.....	176
2.3.434 JMN1761I-S.....	177
2.3.435 JMN1762I-S.....	177
2.3.436 JMN1763I-S.....	177
2.3.437 JMN1764I-S.....	178
2.3.438 JMN1765I-S.....	178
2.3.439 JMN1766I-U.....	178
2.3.440 JMN1767I-S.....	179
2.3.441 JMN1768I-S.....	179
2.3.442 JMN1769I-S.....	180
2.3.443 JMN1770I-W.....	180
2.3.444 JMN1771I-S.....	180
2.3.445 JMN1772I-S.....	181
2.3.446 JMN1773I-S.....	181

2.3.447 JMN1774I-S.....	182
2.3.448 JMN1775I-S.....	182
2.3.449 JMN1776I-S.....	182
2.3.450 JMN1778I-S.....	183
2.3.451 JMN1780I-S.....	183
2.3.452 JMN1781I-S.....	183
2.3.453 JMN1782I-S.....	184
2.3.454 JMN1783I-S.....	184
2.3.455 JMN1784I-S.....	184
2.3.456 JMN1785I-S.....	184
2.3.457 JMN1786I-S.....	184
2.3.458 JMN1788I-S.....	185
2.3.459 JMN1790I-S.....	185
2.3.460 JMN1802I-S.....	185
2.3.461 JMN1805I-S.....	186
2.3.462 JMN1813I-S.....	186
2.3.463 JMN1814I-W.....	186
2.3.464 JMN1819I-S.....	186
2.3.465 JMN1845I-W.....	187
2.3.466 JMN1847I-S.....	188
2.3.467 JMN1850I-S.....	188
2.3.468 JMN1851I-S.....	188
2.3.469 JMN1852I-S.....	189
2.3.470 JMN1853I-S.....	189
2.3.471 JMN1854I-S.....	189
2.3.472 JMN1855I-S.....	190
2.3.473 JMN1856I-S.....	190
2.3.474 JMN1857I-S.....	190
2.3.475 JMN1858I-S.....	190
2.3.476 JMN1859I-S.....	191
2.3.477 JMN1900I-W.....	191
2.3.478 JMN1903I-S.....	191
2.3.479 JMN1904I-W.....	192
2.3.480 JMN1905I-S.....	192
2.4 JMN2000 – JMN2999.....	192
2.4.1 JMN2000I-S.....	193
2.4.2 JMN2001I-S.....	194
2.4.3 JMN2002I-S.....	194
2.4.4 JMN2003I-S.....	195
2.4.5 JMN2004I-S.....	196
2.4.6 JMN2005I-S.....	196
2.4.7 JMN2006I-S.....	197
2.4.8 JMN2007I-S.....	197
2.4.9 JMN2008I-W.....	198
2.4.10 JMN2009I-S.....	198
2.4.11 JMN2010I-S.....	199
2.4.12 JMN2011I-S.....	200
2.4.13 JMN2012I-S.....	200
2.4.14 JMN2013I-S.....	200
2.4.15 JMN2015I-S.....	201
2.4.16 JMN2016I-S.....	201
2.4.17 JMN2019I-W.....	201
2.4.18 JMN2020I-S.....	202
2.4.19 JMN2022I-S.....	202
2.4.20 JMN2024I-S.....	203
2.4.21 JMN2025I-W.....	203
2.4.22 JMN2026I-W.....	204

2.4.23 JMN2031I-S.....	204
2.4.24 JMN2034I-S.....	205
2.4.25 JMN2035I-W.....	205
2.4.26 JMN2036I-S.....	205
2.4.27 JMN2037I-S.....	206
2.4.28 JMN2038I-S.....	206
2.4.29 JMN2039I-S.....	207
2.4.30 JMN2040I-S.....	207
2.4.31 JMN2041I-S.....	208
2.4.32 JMN2042I-S.....	208
2.4.33 JMN2043I-W.....	208
2.4.34 JMN2044I-S.....	209
2.4.35 JMN2045I-S.....	209
2.4.36 JMN2047I-W.....	210
2.4.37 JMN2048I-S.....	210
2.4.38 JMN2049I-S.....	211
2.4.39 JMN2050I-S.....	212
2.4.40 JMN2051I-S.....	212
2.4.41 JMN2065I-W.....	213
2.4.42 JMN2066I-S.....	213
2.4.43 JMN2067I-S.....	214
2.4.44 JMN2076I-S.....	214
2.4.45 JMN2077I-S.....	215
2.4.46 JMN2079I-S.....	216
2.4.47 JMN2080I-S.....	216
2.4.48 JMN2081I-S.....	217
2.4.49 JMN2082I-S.....	217
2.4.50 JMN2083I-S.....	218
2.4.51 JMN2084I-S.....	218
2.4.52 JMN2085I-S.....	219
2.4.53 JMN2097I-W.....	219
2.4.54 JMN2098I-S.....	220
2.4.55 JMN2099I-S.....	220
2.4.56 JMN2100I-W.....	221
2.4.57 JMN2101I-S.....	221
2.4.58 JMN2102I-S.....	222
2.4.59 JMN2103I-S.....	222
2.4.60 JMN2104I-W.....	223
2.4.61 JMN2105I-W.....	223
2.4.62 JMN2106I-S.....	224
2.4.63 JMN2107I-S.....	224
2.4.64 JMN2108I-S.....	225
2.4.65 JMN2109I-S.....	225
2.4.66 JMN2111I-W.....	225
2.4.67 JMN2112I-S.....	226
2.4.68 JMN2113I-S.....	226
2.4.69 JMN2116I-S.....	227
2.4.70 JMN2117I-S.....	227
2.4.71 JMN2118I-S.....	228
2.4.72 JMN2119I-S.....	228
2.4.73 JMN2120I-S.....	229
2.4.74 JMN2121I-S.....	229
2.4.75 JMN2122I-S.....	229
2.4.76 JMN2123I-S.....	230
2.4.77 JMN2124I-S.....	230
2.4.78 JMN2126I-W.....	231
2.4.79 JMN2127I-S.....	231

2.4.80 JMN2128I-S.....	231
2.4.81 JMN2131I-S.....	232
2.4.82 JMN2132I-S.....	232
2.4.83 JMN2134I-S.....	233
2.4.84 JMN2135I-S.....	233
2.4.85 JMN2136I-W.....	234
2.4.86 JMN2138I-W.....	234
2.4.87 JMN2143I-S.....	235
2.4.88 JMN2144I-S.....	235
2.4.89 JMN2145I-S.....	236
2.4.90 JMN2149I-S.....	236
2.4.91 JMN2158I-S.....	237
2.4.92 JMN2159I-S.....	238
2.4.93 JMN2163I-W.....	238
2.4.94 JMN2164I-S.....	239
2.4.95 JMN2165I-S.....	239
2.4.96 JMN2166I-S.....	240
2.4.97 JMN2167I-S.....	240
2.4.98 JMN2173I-S.....	241
2.4.99 JMN2174I-S.....	241
2.4.100 JMN2175I-S.....	242
2.4.101 JMN2176I-S.....	243
2.4.102 JMN2177I-S.....	243
2.4.103 JMN2178I-S.....	244
2.4.104 JMN2181I-S.....	244
2.4.105 JMN2182I-S.....	245
2.4.106 JMN2183I-S.....	245
2.4.107 JMN2188I-S.....	246
2.4.108 JMN2189I-S.....	247
2.4.109 JMN2190I-S.....	247
2.4.110 JMN2191I-S.....	248
2.4.111 JMN2192I-S.....	249
2.4.112 JMN2193I-S.....	249
2.4.113 JMN2194I-S.....	249
2.4.114 JMN2195I-S.....	250
2.4.115 JMN2196I-S.....	250
2.4.116 JMN2197I-S.....	251
2.4.117 JMN2200I-W.....	251
2.4.118 JMN2201I-W.....	252
2.4.119 JMN2202I-W.....	252
2.4.120 JMN2205I-S.....	253
2.4.121 JMN2206I-S.....	253
2.4.122 JMN2207I-S.....	254
2.4.123 JMN2210I-S.....	254
2.4.124 JMN2212I-S.....	255
2.4.125 JMN2213I-S.....	255
2.4.126 JMN2214I-S.....	256
2.4.127 JMN2215I-S.....	256
2.4.128 JMN2216I-S.....	257
2.4.129 JMN2218I-S.....	257
2.4.130 JMN2219I-S.....	257
2.4.131 JMN2221I-S.....	258
2.4.132 JMN2222I-S.....	258
2.4.133 JMN2223I-S.....	259
2.4.134 JMN2224I-W.....	259
2.4.135 JMN2225I-S.....	260
2.4.136 JMN2226I-S.....	260

2.4.137 JMN2227I-S.....	261
2.4.138 JMN2228I-S.....	261
2.4.139 JMN2229I-S.....	262
2.4.140 JMN2231I-S.....	262
2.4.141 JMN2232I-W.....	262
2.4.142 JMN2233I-S.....	263
2.4.143 JMN2234I-S.....	263
2.4.144 JMN2235I-S.....	264
2.4.145 JMN2236I-S.....	264
2.4.146 JMN2239I-S.....	265
2.4.147 JMN2244I-S.....	265
2.4.148 JMN2245I-S.....	266
2.4.149 JMN2249I-S.....	266
2.4.150 JMN2251I-S.....	266
2.4.151 JMN2252I-S.....	267
2.4.152 JMN2269I-S.....	267
2.4.153 JMN2270I-S.....	268
2.4.154 JMN2271I-S.....	268
2.4.155 JMN2273I-W.....	269
2.4.156 JMN2274I-W.....	269
2.4.157 JMN2276I-S.....	270
2.4.158 JMN2277I-S.....	270
2.4.159 JMN2288I-S.....	271
2.4.160 JMN2292I-S.....	272
2.4.161 JMN2300I-S.....	272
2.4.162 JMN2312I-S.....	273
2.4.163 JMN2316I-I.....	273
2.4.164 JMN2317I-W.....	274
2.4.165 JMN2319I-S.....	274
2.4.166 JMN2320I-S.....	275
2.4.167 JMN2329I-S.....	275
2.4.168 JMN2331I-S.....	275
2.4.169 JMN2332I-S.....	276
2.4.170 JMN2333I-S.....	277
2.4.171 JMN2334I-S.....	277
2.4.172 JMN2335I-S.....	278
2.4.173 JMN2336I-S.....	278
2.4.174 JMN2337I-S.....	278
2.4.175 JMN2338I-S.....	279
2.4.176 JMN2341I-S.....	279
2.4.177 JMN2343I-W.....	280
2.4.178 JMN2350I-S.....	280
2.4.179 JMN2354I-S.....	281
2.4.180 JMN2357I-S.....	281
2.4.181 JMN2358I-W.....	282
2.4.182 JMN2359I-W.....	282
2.4.183 JMN2365I-S.....	283
2.4.184 JMN2366I-S.....	283
2.4.185 JMN2370I-I.....	284
2.4.186 JMN2372I-S.....	284
2.4.187 JMN2374I-S.....	285
2.4.188 JMN2375I-S.....	285
2.4.189 JMN2384I-S.....	286
2.4.190 JMN2385I-S.....	286
2.4.191 JMN2393I-S.....	287
2.4.192 JMN2394I-S.....	288
2.4.193 JMN2395I-S.....	288

2.4.194 JMN2396I-S.....	289
2.4.195 JMN2397I-S.....	290
2.4.196 JMN2398I-S.....	290
2.4.197 JMN2399I-S.....	291
2.4.198 JMN2400I-S.....	291
2.4.199 JMN2401I-S.....	292
2.4.200 JMN2402I-S.....	292
2.4.201 JMN2403I-S.....	293
2.4.202 JMN2404I-S.....	293
2.4.203 JMN2405I-S.....	294
2.4.204 JMN2406I-S.....	294
2.4.205 JMN2407I-S.....	295
2.4.206 JMN2408I-S.....	296
2.4.207 JMN2409I-S.....	296
2.4.208 JMN2410I-S.....	297
2.4.209 JMN2411I-S.....	297
2.4.210 JMN2412I-S.....	298
2.4.211 JMN2413I-S.....	299
2.4.212 JMN2414I-S.....	299
2.4.213 JMN2415I-S.....	300
2.4.214 JMN2416I-S.....	301
2.4.215 JMN2417I-S.....	301
2.4.216 JMN2418I-S.....	302
2.4.217 JMN2420I-S.....	302
2.4.218 JMN2421I-S.....	303
2.4.219 JMN2422I-S.....	304
2.4.220 JMN2423I-S.....	304
2.4.221 JMN2424I-S.....	305
2.4.222 JMN2425I-S.....	305
2.4.223 JMN2426I-S.....	306
2.4.224 JMN2427I-S.....	307
2.4.225 JMN2428I-S.....	307
2.4.226 JMN2429I-S.....	308
2.4.227 JMN2430I-S.....	308
2.4.228 JMN2431I-S.....	309
2.4.229 JMN2432I-S.....	309
2.4.230 JMN2433I-S.....	310
2.4.231 JMN2434I-S.....	311
2.4.232 JMN2435I-S.....	311
2.4.233 JMN2436I-S.....	312
2.4.234 JMN2437I-S.....	313
2.4.235 JMN2438I-S.....	313
2.4.236 JMN2439I-S.....	314
2.4.237 JMN2440I-S.....	314
2.4.238 JMN2441I-S.....	315
2.4.239 JMN2442I-S.....	315
2.4.240 JMN2443I-S.....	316
2.4.241 JMN2444I-S.....	316
2.4.242 JMN2445I-S.....	317
2.4.243 JMN2446I-S.....	318
2.4.244 JMN2447I-S.....	318
2.4.245 JMN2449I-S.....	319
2.4.246 JMN2450I-S.....	319
2.4.247 JMN2451I-S.....	320
2.4.248 JMN2452I-S.....	320
2.4.249 JMN2457I-S.....	321
2.4.250 JMN2458I-S.....	322

2.4.251 JMN2459I-S.....	322
2.4.252 JMN2460I-S.....	323
2.4.253 JMN2461I-S.....	323
2.4.254 JMN2462I-S.....	324
2.4.255 JMN2463I-S.....	324
2.4.256 JMN2464I-S.....	325
2.4.257 JMN2465I-S.....	326
2.4.258 JMN2466I-S.....	326
2.4.259 JMN2467I-S.....	327
2.4.260 JMN2468I-S.....	327
2.4.261 JMN2469I-S.....	328
2.4.262 JMN2470I-S.....	329
2.4.263 JMN2471I-S.....	329
2.4.264 JMN2472I-S.....	330
2.4.265 JMN2473I-S.....	330
2.4.266 JMN2474I-S.....	331
2.4.267 JMN2475I-S.....	331
2.4.268 JMN2476I-S.....	332
2.4.269 JMN2477I-S.....	333
2.4.270 JMN2478I-S.....	333
2.4.271 JMN2480I-S.....	334
2.4.272 JMN2481I-S.....	334
2.4.273 JMN2482I-S.....	335
2.4.274 JMN2483I-S.....	335
2.4.275 JMN2484I-S.....	336
2.4.276 JMN2485I-S.....	337
2.4.277 JMN2486I-S.....	337
2.4.278 JMN2487I-S.....	338
2.4.279 JMN2488I-S.....	338
2.4.280 JMN2489I-S.....	339
2.4.281 JMN2491I-S.....	340
2.4.282 JMN2493I-S.....	340
2.4.283 JMN2494I-S.....	341
2.4.284 JMN2495I-I.....	341
2.4.285 JMN2496I-S.....	342
2.4.286 JMN2497I-S.....	342
2.4.287 JMN2498I-S.....	343
2.4.288 JMN2499I-S.....	343
2.4.289 JMN2500I-S.....	344
2.4.290 JMN2501I-S.....	345
2.4.291 JMN2502I-S.....	345
2.4.292 JMN2503I-S.....	346
2.4.293 JMN2504I-S.....	346
2.4.294 JMN2505I-S.....	347
2.4.295 JMN2506I-W.....	348
2.4.296 JMN2507I-S.....	348
2.4.297 JMN2508I-W.....	348
2.4.298 JMN2509I-S.....	349
2.4.299 JMN2510I-S.....	349
2.4.300 JMN2511I-S.....	350
2.4.301 JMN2512I-S.....	350
2.4.302 JMN2513I-S.....	351
2.4.303 JMN2514I-S.....	352
2.4.304 JMN2515I-S.....	352
2.4.305 JMN2516I-S.....	353
2.4.306 JMN2517I-S.....	353
2.4.307 JMN2518I-S.....	354

2.4.308 JMN2519I-S.....	354
2.4.309 JMN2520I-S.....	355
2.4.310 JMN2521I-S.....	355
2.4.311 JMN2522I-W.....	355
2.4.312 JMN2523I-S.....	356
2.4.313 JMN2524I-S.....	356
2.4.314 JMN2525I-S.....	357
2.4.315 JMN2526I-S.....	357
2.4.316 JMN2527I-W.....	358
2.4.317 JMN2528I-S.....	358
2.4.318 JMN2529I-S.....	359
2.4.319 JMN2530I-S.....	359
2.4.320 JMN2532I-S.....	360
2.4.321 JMN2534I-S.....	360
2.4.322 JMN2535I-S.....	361
2.4.323 JMN2536I-S.....	361
2.4.324 JMN2538I-S.....	362
2.4.325 JMN2539I-S.....	362
2.4.326 JMN2540I-W.....	363
2.4.327 JMN2541I-S.....	363
2.4.328 JMN2543I-S.....	364
2.4.329 JMN2545I-S.....	364
2.4.330 JMN2547I-S.....	365
2.4.331 JMN2548I-S.....	365
2.4.332 JMN2549I-W.....	366
2.4.333 JMN2550I-S.....	366
2.4.334 JMN2551I-S.....	367
2.4.335 JMN2552I-S.....	367
2.4.336 JMN2553I-S.....	368
2.4.337 JMN2554I-S.....	368
2.4.338 JMN2555I-S.....	369
2.4.339 JMN2556I-S.....	369
2.4.340 JMN2557I-S.....	370
2.4.341 JMN2558I-S.....	370
2.4.342 JMN2560I-W.....	371
2.4.343 JMN2561I-S.....	371
2.4.344 JMN2562I-S.....	372
2.4.345 JMN2564I-S.....	372
2.4.346 JMN2565I-S.....	373
2.4.347 JMN2566I-S.....	373
2.4.348 JMN2567I-S.....	374
2.4.349 JMN2568I-S.....	374
2.4.350 JMN2569I-S.....	375
2.4.351 JMN2570I-S.....	375
2.4.352 JMN2571I-S.....	376
2.4.353 JMN2574I-S.....	376
2.4.354 JMN2575I-S.....	377
2.4.355 JMN2576I-S.....	378
2.4.356 JMN2580I-W.....	379
2.4.357 JMN2583I-S.....	380
2.4.358 JMN2584I-S.....	380
2.4.359 JMN2585I-S.....	380
2.4.360 JMN2586I-S.....	381
2.4.361 JMN2587I-S.....	381
2.4.362 JMN2588I-S.....	382
2.4.363 JMN2589I-S.....	382
2.4.364 JMN2591I-S.....	383

2.4.365 JMN2592I-S.....	384
2.4.366 JMN2593I-S.....	384
2.4.367 JMN2596I-S.....	385
2.4.368 JMN2597I-S.....	385
2.4.369 JMN2598I-S.....	386
2.4.370 JMN2599I-S.....	386
2.4.371 JMN2600I-S.....	387
2.4.372 JMN2601I-S.....	387
2.4.373 JMN2602I-S.....	388
2.4.374 JMN2603I-S.....	388
2.4.375 JMN2604I-S.....	388
2.4.376 JMN2605I-S.....	389
2.4.377 JMN2606I-S.....	389
2.4.378 JMN2607I-S.....	390
2.4.379 JMN2608I-S.....	391
2.4.380 JMN2609I-S.....	391
2.4.381 JMN2610I-S.....	392
2.4.382 JMN2611I-S.....	393
2.4.383 JMN2613I-S.....	393
2.4.384 JMN2615I-S.....	394
2.4.385 JMN2616I-S.....	395
2.4.386 JMN2617I-S.....	395
2.4.387 JMN2633I-S.....	396
2.4.388 JMN2634I-S.....	396
2.4.389 JMN2639I-S.....	397
2.4.390 JMN2640I-S.....	397
2.4.391 JMN2641I-S.....	398
2.4.392 JMN2642I-S.....	398
2.4.393 JMN2643I-S.....	399
2.4.394 JMN2644I-S.....	399
2.4.395 JMN2645I-W.....	399
2.4.396 JMN2650I-I.....	400
2.4.397 JMN2651I-W.....	400
2.4.398 JMN2654I-S.....	401
2.4.399 JMN2656I-S.....	401
2.4.400 JMN2657I-S.....	402
2.4.401 JMN2658I-S.....	403
2.4.402 JMN2659I-S.....	403
2.4.403 JMN2660I-S.....	404
2.4.404 JMN2662I-S.....	405
2.4.405 JMN2663I-S.....	405
2.4.406 JMN2665I-S.....	406
2.4.407 JMN2666I-S.....	407
2.4.408 JMN2669I-E.....	407
2.4.409 JMN2670I-S.....	408
2.4.410 JMN2671I-S.....	409
2.4.411 JMN2672I-S.....	409
2.4.412 JMN2673I-S.....	410
2.4.413 JMN2682I-W.....	410
2.4.414 JMN2686I-S.....	411
2.4.415 JMN2689I-W.....	411
2.4.416 JMN2691I-S.....	412
2.4.417 JMN2692I-W.....	413
2.4.418 JMN2693I-W.....	413
2.4.419 JMN2694I-S.....	414
2.4.420 JMN2695I-S.....	414
2.4.421 JMN2696I-S.....	415

2.4.422 JMN2697I-S.....	415
2.4.423 JMN2698I-S.....	416
2.4.424 JMN2699I-S.....	416
2.4.425 JMN2700I-S.....	417
2.4.426 JMN2701I-I.....	417
2.4.427 JMN2704I-W.....	418
2.4.428 JMN2705I-W.....	418
2.4.429 JMN2706I-W.....	418
2.4.430 JMN2707I-S.....	419
2.4.431 JMN2710I-S.....	420
2.4.432 JMN2713I-S.....	420
2.4.433 JMN2717I-S.....	420
2.4.434 JMN2718I-S.....	421
2.4.435 JMN2726I-I.....	422
2.4.436 JMN2727I-I.....	422
2.4.437 JMN2728I-I.....	423
2.4.438 JMN2729I-I.....	423
2.4.439 JMN2730I-I.....	424
2.4.440 JMN2731I-S.....	424
2.4.441 JMN2732I-S.....	425
2.4.442 JMN2735I-S.....	425
2.4.443 JMN2736I-S.....	425
2.4.444 JMN2737I-S.....	426
2.4.445 JMN2738I-S.....	426
2.4.446 JMN2741I-S.....	427
2.4.447 JMN2742I-S.....	427
2.4.448 JMN2744I-S.....	428
2.4.449 JMN2745I-S.....	428
2.4.450 JMN2747I-S.....	429
2.4.451 JMN2748I-S.....	429
2.4.452 JMN2749I-S.....	430
2.4.453 JMN2750I-S.....	430
2.4.454 JMN2753I-S.....	431
2.4.455 JMN2756I-S.....	431
2.4.456 JMN2757I-S.....	432
2.4.457 JMN2759I-U.....	432
2.4.458 JMN2761I-S.....	432
2.4.459 JMN2762I-S.....	432
2.4.460 JMN2764I-S.....	433
2.4.461 JMN2766I-W.....	433
2.4.462 JMN2767I-S.....	434
2.4.463 JMN2768I-S.....	434
2.4.464 JMN2769I-S.....	435
2.4.465 JMN2770I-S.....	436
2.4.466 JMN2772I-I.....	436
2.4.467 JMN2773I-E.....	437
2.4.468 JMN2774I-W.....	437
2.4.469 JMN2775I-S.....	438
2.4.470 JMN2794I-E.....	438
2.4.471 JMN2798I-S.....	439
2.4.472 JMN2800I-S.....	439
2.4.473 JMN2801I-S.....	440
2.4.474 JMN2802I-S.....	441
2.4.475 JMN2803I-S.....	441
2.4.476 JMN2809I-S.....	442
2.4.477 JMN2815I-S.....	442
2.4.478 JMN2818I-W.....	443

2.4.479 JMN2819I-S.....	443
2.4.480 JMN2821I-W.....	444
2.4.481 JMN2822I-W.....	444
2.4.482 JMN2823I-S.....	445
2.4.483 JMN2826I-S.....	445
2.4.484 JMN2827I-S.....	446
2.4.485 JMN2829I-S.....	446
2.4.486 JMN2831I-W.....	447
2.4.487 JMN2832I-S.....	447
2.4.488 JMN2834I-S.....	448
2.4.489 JMN2835I-S.....	449
2.4.490 JMN2836I-S.....	449
2.4.491 JMN2837I-S.....	450
2.4.492 JMN2838I-S.....	450
2.4.493 JMN2839I-S.....	451
2.4.494 JMN2840I-S.....	451
2.4.495 JMN2847I-S.....	452
2.4.496 JMN2851I-S.....	452
2.4.497 JMN2853I-S.....	453
2.4.498 JMN2862I-S.....	453
2.4.499 JMN2863I-S.....	454
2.4.500 JMN2864I-S.....	454
2.4.501 JMN2866I-S.....	455
2.4.502 JMN2867I-S.....	455
2.4.503 JMN2868I-S.....	455
2.4.504 JMN2870I-S.....	456
2.4.505 JMN2871I-S.....	456
2.4.506 JMN2873I-S.....	457
2.4.507 JMN2874I-W.....	457
2.4.508 JMN2875I-W.....	457
2.4.509 JMN2877I-S.....	458
2.4.510 JMN2878I-S.....	458
2.4.511 JMN2879I-S.....	459
2.4.512 JMN2880I-S.....	459
2.4.513 JMN2881I-S.....	460
2.4.514 JMN2882I-S.....	460
2.4.515 JMN2883I-S.....	461
2.4.516 JMN2884I-S.....	461
2.4.517 JMN2885I-S.....	462
2.4.518 JMN2886I-S.....	462
2.4.519 JMN2888I-W.....	463
2.4.520 JMN2889I-S.....	463
2.4.521 JMN2890I-S.....	464
2.4.522 JMN2892I-W.....	464
2.4.523 JMN2893I-S.....	465
2.4.524 JMN2895I-S.....	465
2.4.525 JMN2896I-I.....	466
2.4.526 JMN2897I-S.....	466
2.4.527 JMN2898I-S.....	467
2.4.528 JMN2899I-S.....	467
2.4.529 JMN2901I-W.....	468
2.4.530 JMN2902I-S.....	469
2.4.531 JMN2903I-S.....	469
2.4.532 JMN2906I-S.....	470
2.4.533 JMN2907I-S.....	470
2.4.534 JMN2908I-I.....	471
2.4.535 JMN2909I-I.....	471

2.4.536 JMN2911I-S.....	472
2.4.537 JMN2912I-S.....	472
2.4.538 JMN2916I-S.....	473
2.4.539 JMN2920I-S.....	473
2.4.540 JMN2921I-S.....	474
2.4.541 JMN2922I-S.....	474
2.4.542 JMN2923I-S.....	475
2.4.543 JMN2924I-S.....	475
2.4.544 JMN2925I-S.....	475
2.4.545 JMN2926I-S.....	476
2.4.546 JMN2927I-S.....	476
2.4.547 JMN2928I-S.....	477
2.4.548 JMN2930I-S.....	477
2.4.549 JMN2931I-S.....	478
2.4.550 JMN2932I-S.....	479
2.4.551 JMN2933I-S.....	479
2.4.552 JMN2934I-S.....	480
2.4.553 JMN2935I-W.....	480
2.4.554 JMN2936I-W.....	481
2.4.555 JMN2937I-S.....	481
2.4.556 JMN2938I-S.....	482
2.4.557 JMN2939I-S.....	482
2.4.558 JMN2940I-S.....	483
2.4.559 JMN2941I-S.....	483
2.4.560 JMN2942I-S.....	483
2.4.561 JMN2943I-S.....	484
2.4.562 JMN2944I-S.....	484
2.4.563 JMN2945I-S.....	485
2.4.564 JMN2946I-S.....	485
2.4.565 JMN2947I-S.....	486
2.4.566 JMN2948I-E.....	486
2.4.567 JMN2949I-S.....	487
2.4.568 JMN2950I-S.....	487
2.4.569 JMN2951I-S.....	488
2.4.570 JMN2952I-S.....	489
2.4.571 JMN2953I-S.....	489
2.4.572 JMN2954I-S.....	490
2.4.573 JMN2955I-S.....	490
2.4.574 JMN2957I-S.....	491
2.4.575 JMN2958I-S.....	491
2.4.576 JMN2959I-S.....	492
2.4.577 JMN2960I-S.....	492
2.4.578 JMN2961I-S.....	493
2.4.579 JMN2962I-S.....	493
2.4.580 JMN2963I-S.....	494
2.4.581 JMN2964I-S.....	495
2.4.582 JMN2965I-S.....	495
2.4.583 JMN2966I-S.....	496
2.4.584 JMN2967I-S.....	496
2.4.585 JMN2968I-S.....	497
2.4.586 JMN2969I-S.....	497
2.4.587 JMN2970I-S.....	498
2.4.588 JMN2971I-S.....	498
2.4.589 JMN2985I-S.....	499
2.4.590 JMN2986I-S.....	499
2.4.591 JMN2988I-S.....	499
2.4.592 JMN2993I-S.....	500

2.4.593 JMN2994I-S.....	501
2.4.594 JMN2996I-S.....	501
2.4.595 JMN2999I-S.....	501
2.5 JMN3000 – JMN3999.....	502
2.5.1 JMN3000I-S.....	502
2.5.2 JMN3001I-S.....	503
2.5.3 JMN3002I-S.....	503
2.5.4 JMN3003I-S.....	504
2.5.5 JMN3004I-W.....	504
2.5.6 JMN3005I-S.....	505
2.5.7 JMN3006I-S.....	505
2.5.8 JMN3007I-S.....	505
2.5.9 JMN3008I-S.....	506
2.5.10 JMN3009I-S.....	506
2.5.11 JMN3010I-S.....	506
2.5.12 JMN3011I-S.....	507
2.5.13 JMN3012I-W.....	507
2.5.14 JMN3013I-W.....	508
2.5.15 JMN3014I-I.....	508
2.5.16 JMN3015I-I.....	508
2.5.17 JMN3016I-I.....	509
2.5.18 JMN3017I-I.....	509
2.5.19 JMN3018I-S.....	509
2.5.20 JMN3021I-S.....	510
2.5.21 JMN3022I-W.....	510
2.5.22 JMN3023I-S.....	510
2.5.23 JMN3024I-W.....	511
2.5.24 JMN3025I-S.....	511
2.5.25 JMN3028I-S.....	512
2.5.26 JMN3029I-S.....	512
2.5.27 JMN3030I-S.....	512
2.5.28 JMN3034I-S.....	513
2.5.29 JMN3036I-S.....	513
2.5.30 JMN3037I-S.....	514
2.5.31 JMN3038I-S.....	514
2.5.32 JMN3039I-S.....	515
2.5.33 JMN3040I-S.....	515
2.5.34 JMN3041I-S.....	515
2.5.35 JMN3043I-S.....	516
2.5.36 JMN3046I-S.....	516
2.5.37 JMN3048I-S.....	517
2.5.38 JMN3049I-S.....	517
2.5.39 JMN3050I-W.....	517
2.5.40 JMN3051I-S.....	518
2.5.41 JMN3053I-S.....	519
2.5.42 JMN3054I-S.....	519
2.5.43 JMN3056I-S.....	519
2.5.44 JMN3057I-S.....	520
2.5.45 JMN3060I-S.....	521
2.5.46 JMN3061I-S.....	522
2.5.47 JMN3062I-S.....	522
2.5.48 JMN3063I-S.....	523
2.5.49 JMN3064I-S.....	524
2.5.50 JMN3065I-S.....	524
2.5.51 JMN3066I-S.....	525
2.5.52 JMN3067I-S.....	525
2.5.53 JMN3068I-S.....	525

2.5.54 JMN3069I-S.....	526
2.5.55 JMN3070I-S.....	526
2.5.56 JMN3071I-S.....	527
2.5.57 JMN3072I-S.....	527
2.5.58 JMN3073I-S.....	527
2.5.59 JMN3074I-S.....	528
2.5.60 JMN3075I-S.....	528
2.5.61 JMN3076I-S.....	529
2.5.62 JMN3077I-S.....	529
2.5.63 JMN3078I-S.....	529
2.5.64 JMN3079I-S.....	530
2.5.65 JMN3080I-S.....	530
2.5.66 JMN3081I-S.....	530
2.5.67 JMN3083I-S.....	531
2.5.68 JMN3084I-S.....	531
2.5.69 JMN3085I-S.....	532
2.5.70 JMN3086I-S.....	532
2.5.71 JMN3087I-S.....	532
2.5.72 JMN3088I-S.....	533
2.5.73 JMN3090I-S.....	533
2.5.74 JMN3091I-S.....	533
2.5.75 JMN3092I-S.....	534
2.5.76 JMN3095I-S.....	534
2.5.77 JMN3097I-S.....	535
2.5.78 JMN3098I-S.....	535
2.5.79 JMN3105I-S.....	536
2.5.80 JMN3107I-S.....	536
2.5.81 JMN3108I-S.....	536
2.5.82 JMN3109I-S.....	537
2.5.83 JMN3110I-S.....	537
2.5.84 JMN3111I-S.....	538
2.5.85 JMN3116I-S.....	538
2.5.86 JMN3117I-S.....	538
2.5.87 JMN3119I-S.....	539
2.5.88 JMN3121I-S.....	539
2.5.89 JMN3123I-S.....	540
2.5.90 JMN3124I-S.....	541
2.5.91 JMN3127I-S.....	541
2.5.92 JMN3128I-S.....	542
2.5.93 JMN3130I-S.....	542
2.5.94 JMN3132I-S.....	543
2.5.95 JMN3135I-S.....	543
2.5.96 JMN3136I-S.....	544
2.5.97 JMN3141I-S.....	544
2.5.98 JMN3142I-S.....	544
2.5.99 JMN3143I-S.....	545
2.5.100 JMN3144I-S.....	545
2.5.101 JMN3145I-S.....	546
2.5.102 JMN3146I-S.....	546
2.5.103 JMN3147I-S.....	547
2.5.104 JMN3148I-S.....	547
2.5.105 JMN3149I-S.....	548
2.5.106 JMN3150I-S.....	548
2.5.107 JMN3151I-S.....	549
2.5.108 JMN3152I-S.....	549
2.5.109 JMN3153I-S.....	550
2.5.110 JMN3154I-S.....	550

2.5.111 JMN3157I-S.....	550
2.5.112 JMN3158I-I.....	551
2.5.113 JMN3159I-S.....	551
2.5.114 JMN3160I-S.....	552
2.5.115 JMN3161I-S.....	552
2.5.116 JMN3162I-S.....	553
2.5.117 JMN3163I-S.....	553
2.5.118 JMN3164I-S.....	554
2.5.119 JMN3165I-S.....	554
2.5.120 JMN3166I-S.....	555
2.5.121 JMN3169I-S.....	555
2.5.122 JMN3170I-S.....	556
2.5.123 JMN3175I-S.....	556
2.5.124 JMN3181I-S.....	556
2.5.125 JMN3182I-W.....	557
2.5.126 JMN3184I-S.....	557
2.5.127 JMN3188I-S.....	558
2.5.128 JMN3189I-S.....	558
2.5.129 JMN3190I-S.....	558
2.5.130 JMN3191I-S.....	559
2.5.131 JMN3192I-S.....	559
2.5.132 JMN3193I-S.....	560
2.5.133 JMN3194I-S.....	560
2.5.134 JMN3195I-S.....	560
2.5.135 JMN3196I-S.....	561
2.5.136 JMN3198I-S.....	561
2.5.137 JMN3199I-S.....	562
2.5.138 JMN3200I-S.....	562
2.5.139 JMN3202I-S.....	563
2.5.140 JMN3203I-I.....	563
2.5.141 JMN3207I-I.....	564
2.5.142 JMN3218I-S.....	564
2.5.143 JMN3219I-I.....	565
2.5.144 JMN3222I-I.....	565
2.5.145 JMN3223I-I.....	565
2.5.146 JMN3226I-I.....	565
2.5.147 JMN3229I-S.....	566
2.5.148 JMN3231I-S.....	567
2.5.149 JMN3236I-S.....	567
2.5.150 JMN3238I-S.....	568
2.5.151 JMN3240I-S.....	568
2.5.152 JMN3241I-S.....	568
2.5.153 JMN3242I-S.....	569
2.5.154 JMN3243I-S.....	569
2.5.155 JMN3244I-S.....	569
2.5.156 JMN3245I-W.....	570
2.5.157 JMN3246I-W.....	570
2.5.158 JMN3248I-S.....	571
2.5.159 JMN3249I-S.....	571
2.5.160 JMN3250I-S.....	571
2.5.161 JMN3259I-S.....	572
2.5.162 JMN3262I-I.....	573
2.5.163 JMN3264I-S.....	573
2.5.164 JMN3265I-S.....	574
2.5.165 JMN3266I-I.....	575
2.5.166 JMN3268I-S.....	575
2.5.167 JMN3269I-S.....	576

2.5.168 JMN3270I-S.....	576
2.5.169 JMN3271I-S.....	577
2.5.170 JMN3272I-S.....	578
2.5.171 JMN3273I-S.....	579
2.5.172 JMN3275I-W.....	579
2.5.173 JMN3276I-W.....	580
2.5.174 JMN3277I-S.....	580
2.5.175 JMN3278I-S.....	581
2.5.176 JMN3280I-S.....	581
2.5.177 JMN3281I-I.....	581
2.5.178 JMN3286I-S.....	582
2.5.179 JMN3287I-S.....	582
2.5.180 JMN3291I-S.....	582
2.5.181 JMN3298I-S.....	583
2.5.182 JMN3301I-S.....	583
2.5.183 JMN3304I-S.....	584
2.5.184 JMN3307I-S.....	584
2.5.185 JMN3309I-S.....	585
2.5.186 JMN3326I-W.....	585
2.5.187 JMN3327I-W.....	586
2.5.188 JMN3328I-W.....	586
2.5.189 JMN3330I-W.....	586
2.5.190 JMN3331I-W.....	587
2.5.191 JMN3332I-W.....	587
2.5.192 JMN3333I-S.....	588
2.5.193 JMN3334I-S.....	588
2.5.194 JMN3335I-S.....	589
2.5.195 JMN3337I-I.....	590
2.5.196 JMN3338I-W.....	590
2.5.197 JMN3339I-I.....	590
2.5.198 JMN3340I-I.....	591
2.5.199 JMN3342I-S.....	591
2.5.200 JMN3343I-S.....	591
2.5.201 JMN3344I-S.....	592
2.5.202 JMN3345I-S.....	592
2.5.203 JMN3346I-S.....	593
2.5.204 JMN3347I-S.....	593
2.5.205 JMN3348I-S.....	594
2.5.206 JMN3349I-S.....	594
2.5.207 JMN3351I-S.....	595
2.5.208 JMN3352I-S.....	595
2.5.209 JMN3353I-S.....	595
2.5.210 JMN3354I-S.....	596
2.5.211 JMN3355I-S.....	596
2.5.212 JMN3358I-S.....	597
2.5.213 JMN3359I-S.....	597
2.5.214 JMN3361I-S.....	597
2.5.215 JMN3362I-S.....	598
2.5.216 JMN3363I-S.....	598
2.5.217 JMN3364I-S.....	599
2.5.218 JMN3366I-S.....	599
2.5.219 JMN3367I-S.....	599
2.5.220 JMN3368I-S.....	600
2.5.221 JMN3369I-S.....	600
2.5.222 JMN3371I-S.....	600
2.5.223 JMN3372I-S.....	601
2.5.224 JMN3373I-S.....	601

2.5.225 JMN3374I-S.....	602
2.5.226 JMN3375I-S.....	602
2.5.227 JMN3376I-S.....	602
2.5.228 JMN3377I-S.....	603
2.5.229 JMN3378I-S.....	603
2.5.230 JMN3379I-S.....	604
2.5.231 JMN3380I-S.....	604
2.5.232 JMN3381I-S.....	604
2.5.233 JMN3382I-S.....	605
2.5.234 JMN3383I-S.....	605
2.5.235 JMN3384I-W.....	606
2.5.236 JMN3385I-S.....	606
2.5.237 JMN3386I-S.....	606
2.5.238 JMN3388I-S.....	607
2.5.239 JMN3390I-W.....	607
2.5.240 JMN3391I-W.....	608
2.5.241 JMN3392I-S.....	608
2.5.242 JMN3393I-S.....	608
2.5.243 JMN3394I-S.....	609
2.5.244 JMN3395I-S.....	609
2.5.245 JMN3396I-S.....	609
2.5.246 JMN3397I-S.....	610
2.5.247 JMN3398I-S.....	610
2.5.248 JMN3399I-S.....	611
2.5.249 JMN3400I-S.....	611
2.5.250 JMN3401I-S.....	612
2.5.251 JMN3402I-S.....	612
2.5.252 JMN3403I-S.....	612
2.5.253 JMN3404I-S.....	613
2.5.254 JMN3407I-S.....	613
2.5.255 JMN3408I-S.....	614
2.5.256 JMN3410I-S.....	614
2.5.257 JMN3412I-S.....	615
2.5.258 JMN3413I-S.....	615
2.5.259 JMN3414I-S.....	616
2.5.260 JMN3415I-S.....	616
2.5.261 JMN3421I-S.....	617
2.5.262 JMN3422I-S.....	618
2.5.263 JMN3423I-S.....	618
2.5.264 JMN3424I-S.....	619
2.5.265 JMN3427I-S.....	619
2.5.266 JMN3428I-S.....	620
2.5.267 JMN3429I-S.....	620
2.5.268 JMN3430I-S.....	620
2.5.269 JMN3432I-S.....	621
2.5.270 JMN3433I-S.....	621
2.5.271 JMN3434I-S.....	622
2.5.272 JMN3435I-S.....	622
2.5.273 JMN3436I-S.....	623
2.5.274 JMN3437I-S.....	623
2.5.275 JMN3438I-W.....	624
2.5.276 JMN3439I-S.....	624
2.5.277 JMN3440I-S.....	625
2.5.278 JMN3441I-S.....	625
2.5.279 JMN3442I-S.....	626
2.5.280 JMN3443I-S.....	626
2.5.281 JMN3444I-S.....	627

2.5.282 JMN3445I-S.....	627
2.5.283 JMN3446I-S.....	628
2.5.284 JMN3447I-S.....	629
2.5.285 JMN3448I-W.....	629
2.5.286 JMN3449I-S.....	630
2.5.287 JMN3450I-W.....	630
2.5.288 JMN3451I-W.....	631
2.5.289 JMN3453I-S.....	631
2.5.290 JMN3454I-S.....	632
2.5.291 JMN3455I-S.....	633
2.5.292 JMN3456I-S.....	633
2.5.293 JMN3457I-I.....	634
2.5.294 JMN3458I-S.....	634
2.5.295 JMN3459I-S.....	635
2.5.296 JMN3460I-S.....	635
2.5.297 JMN3461I-S.....	636
2.5.298 JMN3462I-W.....	636
2.5.299 JMN3463I-S.....	637
2.5.300 JMN3464I-S.....	637
2.5.301 JMN3465I-S.....	637
2.5.302 JMN3466I-S.....	638
2.5.303 JMN3467I-S.....	639
2.5.304 JMN3468I-S.....	639
2.5.305 JMN3469I-S.....	639
2.5.306 JMN3470I-W.....	640
2.5.307 JMN3471I-W.....	641
2.5.308 JMN3472I-W.....	641
2.5.309 JMN3473I-S.....	642
2.5.310 JMN3476I-S.....	642
2.5.311 JMN3482I-S.....	642
2.5.312 JMN3483I-S.....	643
2.5.313 JMN3484I-S.....	643
2.5.314 JMN3485I-S.....	644
2.5.315 JMN3504I-S.....	644
2.5.316 JMN3508I-S.....	644
2.5.317 JMN3524I-S.....	645
2.5.318 JMN3525I-S.....	645
2.5.319 JMN3526I-S.....	646
2.5.320 JMN3533I-S.....	646
2.5.321 JMN3534I-S.....	647
2.5.322 JMN3535I-S.....	647
2.5.323 JMN3536I-S.....	647
2.5.324 JMN3551I-S.....	648
2.5.325 JMN3552I-S.....	648
2.5.326 JMN3553I-S.....	649
2.5.327 JMN3554I-S.....	650
2.5.328 JMN3555I-S.....	650
2.5.329 JMN3557I-S.....	651
2.5.330 JMN3558I-I.....	651
2.5.331 JMN3559I-I.....	652
2.5.332 JMN3562I-S.....	652
2.5.333 JMN3563I-S.....	653
2.5.334 JMN3564I-S.....	653
2.5.335 JMN3565I-S.....	653
2.5.336 JMN3566I-S.....	654
2.5.337 JMN3567I-S.....	655
2.5.338 JMN3568I-S.....	655

2.5.339 JMN3569I-S.....	655
2.5.340 JMN3570I-S.....	656
2.6 JMN5000 – JMN5999.....	656
2.6.1 JMN5000I-S.....	657
2.6.2 JMN5001I-S.....	658
2.6.3 JMN5002I-S.....	658
2.6.4 JMN5005I-S.....	659
2.6.5 JMN5007I-S.....	660
2.6.6 JMN5008I-S.....	660
2.6.7 JMN5009I-S.....	661
2.6.8 JMN5100I-S.....	662
2.6.9 JMN5101I-S.....	662
2.6.10 JMN5102I-S.....	663
2.6.11 JMN5103I-S.....	663
2.6.12 JMN5104I-S.....	664
2.6.13 JMN5105I-W.....	664
2.6.14 JMN5108I-S.....	665
2.6.15 JMN5109I-S.....	666
2.6.16 JMN5110I-S.....	666
2.6.17 JMN5111I-S.....	667
2.6.18 JMN5112I-S.....	667
2.6.19 JMN5113I-S.....	668
2.6.20 JMN5114I-S.....	669
2.6.21 JMN5115I-S.....	669
2.6.22 JMN5116I-S.....	670
2.6.23 JMN5117I-S.....	670
2.6.24 JMN5118I-S.....	671
2.6.25 JMN5119I-S.....	671
2.6.26 JMN5120I-S.....	672
2.6.27 JMN5121I-S.....	672
2.6.28 JMN5122I-S.....	673
2.6.29 JMN5123I-S.....	673
2.6.30 JMN5125I-S.....	674
2.6.31 JMN5126I-S.....	675
2.6.32 JMN5127I-S.....	675
2.6.33 JMN5128I-S.....	676
2.6.34 JMN5129I-S.....	676
2.6.35 JMN5130I-S.....	677
2.6.36 JMN5131I-S.....	678
2.6.37 JMN5132I-S.....	678
2.6.38 JMN5133I-S.....	679
2.6.39 JMN5134I-S.....	680
2.6.40 JMN5135I-S.....	680
2.6.41 JMN5136I-S.....	681
2.6.42 JMN5137I-S.....	682
2.6.43 JMN5138I-S.....	682
2.6.44 JMN5140I-S.....	683
2.6.45 JMN5141I-S.....	683
2.6.46 JMN5142I-S.....	684
2.6.47 JMN5143I-S.....	684
2.6.48 JMN5144I-S.....	685
2.6.49 JMN5145I-W.....	685
2.6.50 JMN5146I-S.....	686
2.6.51 JMN5147I-S.....	686
2.6.52 JMN5148I-S.....	687
2.6.53 JMN5149I-S.....	687
2.6.54 JMN5150I-S.....	688

2.6.55 JMN5151I-S.....	688
2.6.56 JMN5152I-S.....	689
2.6.57 JMN5153I-S.....	689
2.6.58 JMN5154I-S.....	690
2.6.59 JMN5155I-S.....	690
2.6.60 JMN5156I-S.....	691
2.6.61 JMN5157I-S.....	691
2.6.62 JMN5158I-S.....	692
2.6.63 JMN5159I-S.....	692
2.6.64 JMN5160I-W.....	693
2.6.65 JMN5260I-S.....	694
2.6.66 JMN5400I-U.....	694
2.6.67 JMN5410I-U.....	695
2.6.68 JMN5500I-S.....	695
2.6.69 JMN5501I-S.....	695
2.6.70 JMN5504I-S.....	696
2.6.71 JMN5505I-S.....	697
2.6.72 JMN5507I-S.....	697
2.6.73 JMN5508I-S.....	698
2.6.74 JMN5509I-S.....	698
2.6.75 JMN5510I-S.....	699
2.6.76 JMN5511I-S.....	699
2.6.77 JMN5512I-S.....	700
2.6.78 JMN5513I-S.....	700
2.6.79 JMN5514I-S.....	701
2.6.80 JMN5515I-S.....	702
2.6.81 JMN5516I-S.....	702
2.6.82 JMN5517I-S.....	703
2.6.83 JMN5518I-S.....	703
2.6.84 JMN5519I-S.....	703
2.6.85 JMN5520I-S.....	704
2.6.86 JMN5521I-S.....	704
2.6.87 JMN5522I-S.....	704
2.6.88 JMN5525I-S.....	705
2.6.89 JMN5526I-S.....	706
2.6.90 JMN5527I-S.....	706
2.6.91 JMN5528I-S.....	707
2.6.92 JMN5530I-S.....	707
2.6.93 JMN5531I-S.....	708
2.6.94 JMN5532I-S.....	708
2.6.95 JMN5533I-S.....	710
2.6.96 JMN5534I-S.....	710
2.6.97 JMN5535I-S.....	710
2.6.98 JMN5536I-S.....	711
2.6.99 JMN5537I-S.....	712
2.6.100 JMN5538I-S.....	713
2.6.101 JMN5539I-S.....	713
2.6.102 JMN5540I-S.....	714
2.6.103 JMN5541I-S.....	715
2.6.104 JMN5542I-S.....	715
2.6.105 JMN5543I-S.....	716
2.6.106 JMN5544I-S.....	717
2.6.107 JMN5545I-S.....	717
2.6.108 JMN5546I-S.....	717
2.6.109 JMN5547I-S.....	718
2.6.110 JMN5548I-S.....	719
2.6.111 JMN5549I-S.....	720

2.6.112 JMN5550I-S.....	720
2.6.113 JMN5551I-S.....	720
2.6.114 JMN5552I-S.....	721
2.6.115 JMN5553I-S.....	721
2.6.116 JMN5555I-S.....	722
2.6.117 JMN5556I-S.....	722
2.6.118 JMN5557I-S.....	723
2.6.119 JMN5559I-S.....	724
2.6.120 JMN5560I-S.....	725
2.6.121 JMN5561I-S.....	725
2.6.122 JMN5562I-S.....	726
2.6.123 JMN5563I-S.....	726
2.6.124 JMN5564I-S.....	727
2.6.125 JMN5565I-S.....	727
2.6.126 JMN5566I-S.....	728
2.6.127 JMN5567I-S.....	729
2.6.128 JMN5568I-S.....	730
2.6.129 JMN5569I-S.....	730
2.6.130 JMN5570I-S.....	731
2.6.131 JMN5571I-S.....	732
2.6.132 JMN5572I-S.....	732
2.6.133 JMN5573I-S.....	733
2.6.134 JMN5574I-S.....	734
2.6.135 JMN5575I-S.....	735
2.6.136 JMN5576I-S.....	735
2.6.137 JMN5578I-S.....	736
2.6.138 JMN5579I-S.....	736
2.6.139 JMN5580I-S.....	737
2.6.140 JMN5581I-S.....	738
2.6.141 JMN5582I-S.....	738
2.6.142 JMN5583I-S.....	739
2.6.143 JMN5584I-S.....	740
2.6.144 JMN5585I-S.....	740
2.6.145 JMN5590I-S.....	741
2.6.146 JMN5591I-S.....	741
2.6.147 JMN5592I-S.....	742
2.6.148 JMN5593I-S.....	743
2.6.149 JMN5595I-S.....	744
2.6.150 JMN5596I-S.....	744
2.6.151 JMN5600I-S.....	745
2.6.152 JMN5601I-S.....	745
2.6.153 JMN5602I-S.....	746
2.6.154 JMN5783I-S.....	746
2.6.155 JMN5784I-S.....	747
2.6.156 JMN5785I-S.....	747
2.6.157 JMN5786I-S.....	747
2.6.158 JMN5787I-S.....	748
2.6.159 JMN5788I-S.....	748
2.6.160 JMN5789I-S.....	749
2.6.161 JMN5790I-S.....	749
2.6.162 JMN5791I-S.....	749
2.6.163 JMN5792I-S.....	750
2.7 JMN6000 – JMN6999.....	750
2.7.1 JMN6410I-U.....	750
2.7.2 JMN6413I-U.....	750
2.7.3 JMN6414I-W.....	751
2.7.4 JMN6415I-W.....	751

2.7.5 JMN6416I-W.....	751
2.8 JMN9000 – JMN9999.....	751
2.8.1 JMN9001I-W.....	752
2.8.2 JMN9002I-W.....	752
2.8.3 JMN9003I-W.....	753
2.8.4 JMN9004I-W.....	753
2.8.5 JMN9005I-W.....	754
2.8.6 JMN9006I-W.....	754
2.8.7 JMN9007I-W.....	755
2.8.8 JMN9008I-W.....	756
2.8.9 JMN9009I-W.....	756
2.8.10 JMN9010I-W.....	756
2.8.11 JMN9011I-W.....	757
2.8.12 JMN9012I-W.....	757
2.8.13 JMN9013I-W.....	758
2.8.14 JMN9014I-W.....	758
2.8.15 JMN9015I-W.....	759
2.8.16 JMN9016I-W.....	759
2.8.17 JMN9017I-W.....	759
2.8.18 JMN9018I-W.....	760
2.8.19 JMN9019I-W.....	760
2.8.20 JMN9020I-W.....	761
2.8.21 JMN9021I-W.....	761
2.8.22 JMN9022I-W.....	762
2.8.23 JMN9023I-W.....	762
2.8.24 JMN9024I-W.....	762
2.8.25 JMN9025I-W.....	763
2.8.26 JMN9101I-W.....	763
2.8.27 JMN9102I-W.....	763
2.8.28 JMN9103I-W.....	764
2.8.29 JMN9104I-W.....	764
2.8.30 JMN9105I-W.....	765
2.8.31 JMN9106I-W.....	765
2.8.32 JMN9107I-W.....	766
2.8.33 JMN9108I-W.....	766
2.8.34 JMN9109I-W.....	766
2.8.35 JMN9110I-W.....	767
2.8.36 JMN9111I-W.....	767
2.8.37 JMN9115I-W.....	768
2.8.38 JMN9116I-W.....	768
2.8.39 JMN9117I-W.....	769
2.8.40 JMN9118I-W.....	769
2.8.41 JMN9119I-W.....	770
2.8.42 JMN9121I-W.....	770
2.8.43 JMN9122I-W.....	771
2.8.44 JMN9123I-W.....	771
2.8.45 JMN9124I-W.....	771
2.8.46 JMN9125I-W.....	772
2.8.47 JMN9126I-W.....	772
2.8.48 JMN9127I-W.....	773
2.8.49 JMN9128I-W.....	773
2.8.50 JMN9129I-W.....	774
2.8.51 JMN9133I-W.....	774
2.8.52 JMN9151I-W.....	775
2.8.53 JMN9152I-W.....	775
2.8.54 JMN9153I-W.....	776
2.8.55 JMN9154I-W.....	776

2.8.56 JMN9161I-W	777
2.8.57 JMN9171I-W	777
2.8.58 JMN9172I-W	778
2.8.59 JMN9173I-W	778
2.8.60 JMN9180I-W	778
2.8.61 JMN9181I-W	779
2.8.62 JMN9182I-W	779
2.8.63 JMN9183I-W	780
2.8.64 JMN9191I-W	780
2.8.65 JMN9192I-W	781
2.8.66 JMN9193I-W	781
2.8.67 JMN9221I-W	782
2.8.68 JMN9242I-W	782
2.8.69 JMN9251I-W	783
2.8.70 JMN9261I-W	783
2.8.71 JMN9331I-W	784
2.8.72 JMN9332I-W	784
2.8.73 JMN9333I-W	784
2.8.74 JMN9334I-W	785
2.8.75 JMN9335I-W	786
2.8.76 JMN9341I-W	786
2.8.77 JMN9343I-W	786
2.8.78 JMN9344I-W	787
2.8.79 JMN9345I-W	788
2.8.80 JMN9346I-W	788
2.8.81 JMN9352I-W	789
2.8.82 JMN9353I-W	789
2.8.83 JMN9354I-W	790
2.8.84 JMN9361I-W	791
2.8.85 JMN9371I-W	791
2.8.86 JMN9381I-W	792
2.8.87 JMN9384I-W	792
2.8.88 JMN9391I-W	793
2.8.89 JMN9392I-W	794
2.8.90 JMN9393I-W	794
2.8.91 JMN9501I-W	795
2.8.92 JMN9502I-W	795
2.8.93 JMN9503I-W	795
2.8.94 JMN9504I-W	796
2.8.95 JMN9506I-W	796
2.8.96 JMN9507I-W	797
2.8.97 JMN9900I-E	797
2.8.98 JMN9901I-E	798
2.8.99 JMN9902I-E	798
2.8.100 JMN9903I-E	799
2.8.101 JMN9904I-W	799
2.8.102 JMN9905I-E	799
2.8.103 JMN9906I-E	800
2.8.104 JMN9907I-E	800
2.8.105 JMN9908I-W	800
2.8.106 JMN9909I-E	801
2.8.107 JMN9910I-E	801
2.8.108 JMN9911I-E	802
2.8.109 JMN9912I-E	802
2.8.110 JMN9913I-E	803
2.8.111 JMN9914I-E	803
2.8.112 JMN9915I-E	803

2.8.113 JMN9916I-E.....	804
2.8.114 JMN9917I-E.....	804
2.8.115 JMN9918I-E.....	805
2.8.116 JMN9919I-E.....	805
2.8.117 JMN9920I-E.....	805
2.8.118 JMN9921I-E.....	806
2.8.119 JMN9922I-E.....	806
2.8.120 JMN9923I-E.....	807
2.8.121 JMN9924I-E.....	807
2.8.122 JMN9925I-E.....	807
2.8.123 JMN9926I-E.....	808
2.8.124 JMN9927I-E.....	808
2.8.125 JMN9928I-W.....	809
2.8.126 JMN9929I-E.....	809
2.8.127 JMN9931I-E.....	809
2.8.128 JMN9932I-E.....	810
2.8.129 JMN9987I-I.....	810
2.8.130 JMN9999I-S.....	810
2.9 ODBC.....	811
2.9.1 ODBC-2244E.....	811
2.9.2 ODBC-7600E.....	811
2.9.3 ODBC-8004E.....	812
2.9.4 ODBC-8005E.....	813
2.9.5 ODBC-8008E.....	813
2.9.6 ODBC-8009E.....	814
2.9.7 ODBC-8016E.....	814
2.9.8 ODBC-8052E.....	815
2.9.9 ODBC-8100E.....	815
2.9.10 ODBC-8112E.....	816
2.9.11 ODBC-8116E.....	816
2.9.12 ODBC-8308E.....	817
2.9.13 ODBC-8309E.....	818
2.9.14 ODBC-8310E.....	818
2.9.15 ODBC-8323E.....	819
2.9.16 ODBC-8325E.....	819
2.9.17 ODBC-8326E.....	820
2.9.18 ODBC-8327E.....	820
2.9.19 ODBC-8328E.....	821
2.9.20 ODBC-8329E.....	821
2.9.21 ODBC-8340E.....	822
2.9.22 ODBC-8356E.....	823
2.9.23 ODBC-8386E.....	823
2.9.24 ODBC-8408E.....	824
2.9.25 ODBC-8409E.....	824
2.9.26 ODBC-8410E.....	825
2.9.27 ODBC-8430E.....	826
2.9.28 ODBC-8431E.....	826
2.9.29 ODBC-8432E.....	827
2.9.30 ODBC-8433E.....	828
2.9.31 ODBC-8434E.....	828
2.9.32 ODBC-8435E.....	829
2.9.33 ODBC-8476E.....	829
2.9.34 ODBC-8477E.....	830
2.9.35 ODBC-8478E.....	830
2.9.36 ODBC-8486E.....	831
2.9.37 ODBC-8499E.....	831
2.9.38 ODBC-8503E.....	832

2.9.39 ODBC-8601E.....	833
2.9.40 ODBC-8718E.....	833
2.9.41 ODBC-8725E.....	834
2.9.42 ODBC-8766E.....	835
2.9.43 ODBC-8772E.....	836
2.9.44 ODBC-8773E.....	836
2.9.45 ODBC-8956E.....	837
2.9.46 ODBC-8957E.....	838
2.9.47 ODBC-8992E.....	838
2.9.48 ODBC-8994W.....	839
第3章 リンクメッセージ.....	840
3.1 メッセージ形式.....	840
3.1.1 LNK1104.....	840
3.1.2 LNK1561.....	840
3.1.3 LNK2001.....	840
3.1.4 LNK2005.....	841
3.1.5 LNK4006.....	841
第4章 実行時メッセージ.....	842
4.1 メッセージ形式.....	842
4.2 メッセージ説明形式.....	843
4.3 JMP0000－JMP0099.....	844
4.3.1 JMP0001I-U.....	844
4.3.2 JMP0002I-U.....	845
4.3.3 JMP0004I-U.....	845
4.3.4 JMP0007I-W.....	846
4.3.5 JMP0009I-U.....	846
4.3.6 JMP0010I-U.....	846
4.3.7 JMP0012I-U.....	846
4.3.8 JMP0015I-U.....	847
4.3.9 JMP0016I-U.....	848
4.3.10 JMP0018I-U.....	849
4.3.11 JMP0019I-U.....	849
4.3.12 JMP0020I-U.....	850
4.3.13 JMP0022I-U.....	850
4.3.14 JMP0024I-U.....	852
4.3.15 JMP0026I-W.....	852
4.3.16 JMP0031I-U.....	852
4.3.17 JMP0032I-U.....	853
4.3.18 JMP0034I-U.....	853
4.3.19 JMP0035I-U.....	853
4.3.20 JMP0036I-U.....	854
4.3.21 JMP0061I-U.....	854
4.3.22 JMP0062I-U.....	854
4.3.23 JMP0067I-U.....	854
4.3.24 JMP0069I-U.....	855
4.3.25 JMP0070I-I.....	855
4.3.26 JMP0071I-U.....	855
4.3.27 JMP0072I-U.....	856
4.3.28 JMP0078I-U.....	856
4.3.29 JMP0081I-U.....	856
4.3.30 JMP0085I-U.....	857
4.3.31 JMP0086I-W/U.....	857
4.3.32 JMP0089I-W.....	858
4.3.33 JMP0092I-U.....	858
4.3.34 JMP0093I-U.....	858
4.3.35 JMP0096I-U.....	859

4.3.36 JMP0097I-U.....	859
4.3.37 JMP0099I-U.....	859
4.4 JMP0100—JMP0199.....	859
4.4.1 JMP0101I-U.....	860
4.4.2 JMP0102I-U.....	860
4.4.3 JMP0103I-U.....	860
4.4.4 JMP0104I-U.....	861
4.4.5 JMP0105I-U.....	861
4.4.6 JMP0106I-U.....	861
4.4.7 JMP0107I-U.....	862
4.5 JMP0200—JMP0299.....	862
4.5.1 JMP0200I-E.....	862
4.5.2 JMP0201A-I.....	862
4.5.3 JMP0202A-I.....	862
4.5.4 JMP0204I-U.....	863
4.5.5 JMP0206I-W.....	863
4.5.6 JMP0207I-U.....	863
4.5.7 JMP0208I-E.....	863
4.5.8 JMP0209I-U.....	864
4.5.9 JMP0211I-U.....	864
4.5.10 JMP0212I-W.....	864
4.5.11 JMP0213I-W.....	865
4.5.12 JMP0221I-U.....	865
4.5.13 JMP0222I-U.....	865
4.5.14 JMP0223I-U.....	866
4.5.15 JMP0224I-U.....	866
4.5.16 JMP0225I-U.....	866
4.5.17 JMP0250I-U.....	867
4.5.18 JMP0251I-U.....	867
4.5.19 JMP0252I-U.....	867
4.5.20 JMP0253I-U.....	868
4.5.21 JMP0254I-E/U.....	868
4.5.22 JMP0259I-W/U.....	869
4.5.23 JMP0260I-U.....	869
4.5.24 JMP0261I-U.....	870
4.5.25 JMP0262I-W.....	870
4.5.26 JMP0263I-W.....	871
4.6 JMP0300—JMP0399.....	872
4.6.1 JMP0301I-E.....	872
4.6.2 JMP0302I-U.....	872
4.6.3 JMP0310I-I/U.....	872
4.6.4 JMP0311I-I/U.....	877
4.6.5 JMP0313I-I/U.....	877
4.6.6 JMP0320I-I/U.....	878
4.6.7 JMP0321I-U.....	880
4.6.8 JMP0322I-U.....	881
4.6.9 JMP0323I-U.....	881
4.6.10 JMP0324I-U.....	881
4.6.11 JMP0325I-I/U.....	881
4.6.12 JMP0326I-U.....	882
4.6.13 JMP0327I-U.....	882
4.6.14 JMP0328I-I/U.....	882
4.6.15 JMP0330I-I/U.....	883
4.6.16 JMP0331I-U.....	883
4.6.17 JMP0340I-U.....	884
4.6.18 JMP0350I-U.....	885
4.6.19 JMP0360I-U.....	885

4.6.20 JMP0362I-U.....	885
4.6.21 JMP0363I-U.....	885
4.6.22 JMP0364I-I/U.....	885
4.6.23 JMP0365I-U.....	886
4.6.24 JMP0370I-U.....	886
4.6.25 JMP0371I-U.....	886
4.6.26 JMP0372I-U.....	887
4.6.27 JMP0373I-U.....	887
4.6.28 JMP0374I-U.....	887
4.6.29 JMP0375I-U.....	887
4.6.30 JMP0376I-U.....	888
4.6.31 JMP0392I-U.....	888
4.7 JMP0400—JMP0499.....	888
4.7.1 JMP0400I-U.....	889
4.7.2 JMP0410I-U.....	889
4.7.3 JMP0420I-I.....	889
4.8 JMP0600—JMP0699.....	890
4.8.1 JMP0600I-I/U.....	890
4.8.2 JMP0601I-I/U.....	890
4.8.3 JMP0608I-I/U.....	891
4.8.4 JMP0609I-I/U.....	891
4.8.5 JMP0612I-I/U.....	892
4.8.6 JMP0613I-I/U.....	892
4.8.7 JMP0614I-I/U.....	892
4.8.8 JMP0615I-I/U.....	893
4.8.9 JMP0616I-U.....	893
4.9 JMP0700—JMP0799.....	893
4.9.1 JMP0701I-U.....	893
4.9.2 JMP0702I-U.....	894
4.9.3 JMP0703I-U.....	894
4.9.4 JMP0704I-U.....	894
4.9.5 JMP0705I-W.....	894
4.9.6 JMP0724I-W.....	894
4.9.7 JMP0725I-W.....	895
4.9.8 JMP0726I-W.....	895
4.9.9 JMP0727I-W.....	895
4.9.10 JMP0771I-W.....	895
4.9.11 JMP0772I-W.....	896
4.9.12 JMP0773I-W.....	896
4.9.13 JMP0774I-W.....	897
4.9.14 JMP0775I-W.....	898
4.9.15 JMP0776I-W.....	898
4.10 JMP0800—JMP0899.....	899
4.10.1 JMP0810I-E/U.....	899
4.10.2 JMP0811I-E/U.....	899
4.10.3 JMP0812I-E/U.....	900
4.10.4 JMP0820I-E/U.....	900
4.10.5 JMP0821I-E/U.....	901
4.10.6 JMP0822I-E/U.....	901
4.10.7 JMP0828I-E/U.....	902
4.10.8 JMP0829I-E/U.....	902
4.10.9 JMP0899I-U.....	903
4.11 JMP0900—JMP0999.....	903
4.11.1 JMP0901I-E.....	903
4.11.2 JMP0902I-E.....	903
4.11.3 JMP0903I-E.....	903
4.11.4 JMP0904I-E.....	904

4.11.5 JMP0905I-E.....	904
4.11.6 JMP0930I-E/U.....	904
4.11.7 JMP0931I-U.....	905
4.11.8 JMP0932I-E/U.....	905
4.11.9 JMP0933I-E/U.....	905
4.11.10 JMP0934I-U.....	906
4.11.11 JMP0935I-U.....	906
4.11.12 JMP0936I-U.....	906
4.11.13 JMP0937I-U.....	907
第5章 診断機能のメッセージ.....	908
5.1 メッセージ形式.....	908
5.2 メッセージ説明形式.....	908
5.3 メッセージ詳細.....	908
5.3.1 JMW0001I-I.....	909
5.3.2 JMW0002I-E.....	909
5.3.3 JMW0003I-W.....	910
5.3.4 JMW0004I-W.....	910
5.3.5 JMW0005I-U.....	910
5.3.6 JMW0006I-U.....	911
5.3.7 JMW0007I-U.....	911
5.3.8 JMW0008I-I.....	912
5.3.9 JMW0009I-E.....	912
5.3.10 JMW0010I-I.....	912
5.3.11 JMW0011I-E.....	912
5.3.12 JMW0012I-U.....	913
5.3.13 JMW0013I-W.....	913
5.3.14 JMW0014I-W.....	913
5.3.15 JMW0015I-W.....	914
5.3.16 JMW0099I-U.....	915
第6章 MeFtのメッセージ.....	916
6.1 メッセージの形式.....	916
6.2 レベルが「警告」の場合のメッセージ.....	917
6.3 レベルが「エラー」の場合のメッセージ.....	919
6.3.1 通知コード(03).....	919
6.3.2 通知コード(08).....	919
6.3.3 通知コード(09).....	919
6.3.4 通知コード(10).....	920
6.3.5 通知コード(13).....	922
6.3.6 通知コード(18).....	923
6.3.7 通知コード(19).....	925
6.3.8 通知コード(20).....	925
6.3.9 通知コード(21).....	926
6.3.10 通知コード(22).....	931
6.3.11 通知コード(23).....	932
6.3.12 通知コード(24).....	932
6.3.13 通知コード(25).....	933
6.3.14 通知コード(26).....	933
6.3.15 通知コード(32).....	935
6.3.16 通知コード(37).....	935
6.3.17 通知コード(38).....	935
6.3.18 通知コード(40).....	935
6.3.19 通知コード(42).....	936
6.3.20 通知コード(44).....	937
6.3.21 通知コード(47).....	938
6.3.22 通知コード(52).....	940
6.3.23 通知コード(53).....	940

6.3.24 通知コード(60)	941
6.3.25 通知コード(61)	941
6.3.26 通知コード(62)	941
6.3.27 通知コード(64)	941
6.3.28 通知コード(65)	941
6.3.29 通知コード(66)	942
6.3.30 通知コード(67)	942
6.3.31 通知コード(68)	942
6.3.32 通知コード(69)	942
6.3.33 通知コード(6A)	942
6.3.34 通知コード(6B)	943
6.3.35 通知コード(6C)	943
6.3.36 通知コード(70)	943
6.3.37 通知コード(72)	943
6.3.38 通知コード(73)	943
6.3.39 通知コード(74)	944
6.3.40 通知コード(75)	944
6.3.41 通知コード(76)	944
6.3.42 通知コード(78)	944
6.3.43 通知コード(79)	944
6.3.44 通知コード(7A)	945
6.3.45 通知コード(7B)	945
6.3.46 通知コード(80)	945
6.3.47 通知コード(81)	945
6.3.48 通知コード(82)	945
6.3.49 通知コード(83)	946
6.3.50 通知コード(84)	946
6.3.51 通知コード(85)	946
6.3.52 通知コード(86)	946
6.3.53 通知コード(87)	949
6.3.54 通知コード(88)	949
6.3.55 通知コード(91)	950
6.3.56 通知コード(92)	951
6.3.57 通知コード(93)	951
6.3.58 通知コード(94)	951
6.3.59 通知コード(97)	951
6.3.60 通知コード(9A)	951
6.3.61 通知コード(9B)	952
6.3.62 通知コード(9E)	952
6.3.63 通知コード(9F)	952
6.3.64 通知コード(9H)	952
6.3.65 通知コード(9I)	953
6.3.66 通知コード(9J)	953
6.3.67 通知コード(9K)	953
6.3.68 通知コード(9L)	954
6.3.69 通知コード(9M)	955
6.3.70 通知コード(9N)	956
6.3.71 通知コード(9S)	956
6.3.72 通知コード(C4)	957
6.3.73 通知コード(C7)	957
6.3.74 通知コード(CC)	957
6.3.75 通知コード(CX)	957
6.3.76 通知コード(GB)	957
6.3.77 通知コード(GF)	958
6.3.78 通知コード(GG)	958
6.3.79 通知コード(GM)	958
6.3.80 通知コード(N9)	959

6.3.81 その他の通知コード.....	959
第7章 MeFt/Webのメッセージ.....	960
7.1 MeFt/Webクライアントのエラーメッセージ.....	960
7.1.1 P1000	960
7.1.2 P2000	964
7.1.3 P2001.....	965
7.1.4 P2002.....	965
7.1.5 P2003	965
7.1.6 P2004	965
7.1.7 P2005.....	966
7.1.8 P2006	966
7.1.9 P2007.....	966
7.1.10 P2008.....	966
7.1.11 P2009	967
7.1.12 P2010.....	967
7.1.13 P2011.....	967
7.1.14 P2012.....	968
7.1.15 P2013	968
7.1.16 P2015.....	968
7.1.17 P2016.....	968
7.1.18 P2017.....	968
7.1.19 P3000.....	969
7.1.20 P3001.....	969
7.1.21 P3002.....	969
7.1.22 P3003.....	969
7.1.23 P3004.....	970
7.1.24 P3005.....	970
7.1.25 P3006.....	970
7.1.26 P3007.....	970
7.1.27 P3008.....	971
7.1.28 P3009.....	971
7.1.29 P3010.....	971
7.1.30 P3011.....	972
7.1.31 P3012.....	972
7.1.32 P3015.....	972
7.1.33 P3018.....	972
7.1.34 P9000.....	973
7.1.35 P9001.....	973
7.1.36 P9002.....	973
7.1.37 P9003.....	973
7.1.38 P9006.....	973
7.1.39 P9007.....	974
7.1.40 P9008.....	974
7.1.41 P9009.....	974
7.1.42 P9010.....	974
7.1.43 エラー番号、submit メソッドおよびTerminate イベントの復帰値の関係.....	974
7.2 MeFt/Web プラグイン固有のエラーメッセージ.....	975
7.2.1 P4001.....	975
7.2.2 P4002.....	975
第8章 Jアダプタクラスジェネレータのメッセージ.....	976
8.1 java2cobコマンドのメッセージ.....	976
8.2 生成時のメッセージ.....	977
8.3 実行時のメッセージ.....	979
第9章 PowerSORTのメッセージ.....	984

付録A システムのエラーコードの説明.....	985
付録B SCODE形式のエラーコードの説明.....	987
付録C COBOLファイルシステムのエラーコードの説明.....	989
付録D 注意事項.....	992
索引.....	993

第1章 翻訳コマンドおよびWINCOBコマンドのメッセージ

ここでは、翻訳コマンドおよびWINCOBコマンド(注)が出力するメッセージの内容、システムの処理およびプログラマーの処置(パラメタの意味)について説明します。なお、以降の説明で、メッセージ中の可変文字列を%sと記述します。



WINCOBコマンドは[Win32]固有機能です。

1.1 翻訳コマンドのメッセージ

1.1.1 '%s' はファイル名として不当です.

'%s' はファイル名として不当です.

システムの処理

翻訳処理を終了させます。

プログラマーの処置

正しいファイル名を指定して、再度実行してください。

1.1.2 '%s' のサブオプションが不当です.

'%s' のサブオプションが不当です.

システムの処理

翻訳処理を終了させます。

プログラマーの処置

正しいサブオプションを指定して、再度実行してください。

1.1.3 ファイル名の指定がありません.

ファイル名の指定がありません.

システムの処理

翻訳処理を終了させます。

プログラマーの処置

翻訳するファイルの名前を指定して、再度実行してください。

1.1.4 %sというオプションはありません.

%sというオプションはありません.

システムの処理

翻訳処理を終了させます。

プログラマーの処置

正しいオプションを指定して、再度実行してください。

1.1.5 %sの引数が指定されていません.

%sの引数が指定されていません.

システムの処理

翻訳処理を終了させます。

プログラマーの処置

オプション(%s)に正しい引数を指定して、再度実行してください。

1.1.6 '%s' は存在しません.

'%s' は存在しません.

システムの処理

翻訳処理を終了させます。

プログラマーの処置

正しいファイル名を指定して、再度実行してください。なお、%sには、ファイル名が設定されます。

1.1.7 システムエラー'%s1'が'%s2'で発生しました.

システムエラー'%s1'が'%s2'で発生しました.

システムの処理

翻訳処理を異常終了させます。

プログラマーの処置

原因を調査し、それを取り除いてください。なお、%s1にはシステムのエラーコード`errno=0xXXX`(16進数表現)が、%s2にはシステムエラーが発生した処理の内容が設定されます。



.....
“付録A システムのエラーコードの説明”
.....

1.1.8 Registry is invalid. Compilation terminated.

Registry is invalid. Compilation terminated.

システムの処理

翻訳処理を異常終了させます。

プログラマーの処置

コンパイラが正しくインストールされていることを確認してください。

1.1.9 翻訳に必要なメモリが不足しています.翻訳を中止します.

翻訳に必要なメモリが不足しています.翻訳を中止します.

システムの処理

翻訳処理を終了させます。

プログラマーの処置

翻訳に必要なメモリが不足しています。

同時に多数のアプリケーションを実行している場合、それらのアプリケーションを停止して再翻訳してください。
または、仮想メモリを大きくするか、実装メモリを増設してください。

1.2 WINCOBコマンドのメッセージ

1.2.1 '%s' の引数が不当です.

'%s' の引数が不当です.

システムの処理

翻訳処理を終了させます。

プログラマーの処置

オプションファイルの内容に誤りがあります。オプションファイルを正しく作成し、再度実行してください。



参照

.....
[Win32] “NetCOBOL ユーザーズガイド”の“J.1 COBOL32コマンド”-“-i (オプションファイルの指定)”
.....

第2章 翻訳時メッセージ

ここでは、COBOLコンパイラが出力する翻訳リスト中の診断メッセージについて説明します。

2.1 メッセージ形式

メッセージの形式を以下に示します。

メッセージ番号 行番号 メッセージ本文

メッセージ番号

メッセージ番号は次のように表示されます。

JMNnnnnI-S

- JMN : COBOLの翻訳時メッセージであることを示します。
- nnnn : メッセージの通し番号を示します。
- I : オペレーターの対応が不要であることを示します。
- S : 重大度を示すコードを表示します。

重大度コードの意味を下表に示します。

表2.1 翻訳時メッセージの重大度の意味

重大度コード	レベル	意味	復帰コード
I (INFORMATION)	通知メッセージ	コンパイラが検出した情報です。 実行可能な目的プログラムが作成されます。	0
W (WARNING)	軽度のエラー	目的プログラムは作成されます。 しかし、翻訳結果が利用者の意図どおりかどうかを確認する必要があります。	
E (ERROR)	中程度のエラー	目的プログラムは作成されます。 しかし、翻訳オプションなどに誤りがあります。	1
S (SERIOUS)	重度のエラー	目的プログラムは作成されません。	2
U (UNRECOVERABLE)	致命的なエラー	翻訳を中止します。 目的プログラムは作成されません。	3

行番号

エラーが存在する行番号を表示します。翻訳リストに出力されたメッセージの場合、同一内容のメッセージは1つにまとめて表示されるため、行番号は複数個表示されることがあります。

翻訳リストに出力されるメッセージの行番号は次のように表示されます。

- 翻訳オプションNUMBER有効時

[COPY修飾値-]利用者行番号

- 翻訳オプションNONUMBER有効時

[COPY修飾値-]ソースファイル内相対番号



COPY修飾値、利用者行番号、ソースファイル内相対番号の詳細については、以下を参照してください。

- “NetCOBOLユーザーズガイド”の“B.4 ソースプログラムリスト”

メッセージ本文

エラーの内容を説明します。

メッセージ本文が“`There is a mistake of the environment. Please refer to the documents that described about installation.`”の場合、翻訳時の環境に問題があります。正しくインストールされているか確認してください。

なお、メッセージ番号が出力されている場合は、本書を参照してエラーの内容を確認することは可能です。

2.2 JMN0000—JMN0999

0007	0010	0013	0015	0016	0020	0021	0022	0023	0024
0025	0026	0027	0028	0029	0030	0031	0032	0033	0034
0035	0036	0037	0058	0061	0063	0064	0065	0071	0072
0077	0092	0093	0094	0096	0097	0100	0102	0103	0124
0125	0126	0127	0129	0130	0131	0998			

2.2.1 JMN0007I-U

原始プログラムファイルがオープンできません。翻訳を中止します。

詳細な説明

本メッセージの他に「システムエラー'errno=0xXXX(16進表現)'が'open SRC, ファイル名'で発生しました。」が出力されている場合、エラーの原因を取り除き再度翻訳してください。

2.2.2 JMN0010I-S

目的プログラムファイルがオープンできません。翻訳オプション@1@は、無効になります。

詳細な説明

本メッセージの他に「システムエラー'errno=0xXXX(16進表現)'が'open OBJ, ファイル名'で発生しました。」が出力されている場合、エラーの原因を取り除き再度翻訳してください。

2.2.3 JMN0013I-S

リポトリファイルがオープンできません。出力された目的プログラムファイルは使用できません。

詳細な説明

本メッセージの他に「システムエラー'errno=0xXXX(16進表現)'が'open REP, ファイル名'で発生しました。」が出力されている場合、エラーの原因を取り除き再度翻訳してください。

2.2.4 JMN0015I-U

@1@ファイルがオープンできません。翻訳を中止します。

埋め込みの説明

@1@ : PRINT, DEBUG, SAI

詳細な説明

本メッセージの他に「システムエラー'%s1'が'%s2'で発生しました。」が出力されている場合、エラーの原因を取り除き再度翻訳してください。

2.2.5 JMN0016I-U

翻訳に必要な主記憶域量が不足しています。翻訳を中止します。

詳細な説明

翻訳に必要なメモリが不足しています。

翻訳環境の見直しを行ってください。対処方法として、以下があげられます。

- 同時に多数のアプリケーションを実行している場合、それらのアプリケーションを停止して再翻訳してください。または、
- 仮想メモリを大きくしてください。または、
- 実装メモリを増設してください。

2.2.6 JMN0020I-U

原始プログラムファイルが空です。翻訳を中止します。

2.2.7 JMN0021I-E

文字@1@は、翻訳オプション名または区切り文字として誤りです。次の区切り文字まで読み飛ばします。

埋め込みの説明

@1@ : 誤りとなった文字

例題

```
[C0021.cob]
000001 @OPTIONS INVALID
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C0021.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 STOP RUN.
```

JMN0021I-E 文字INVALIDは、翻訳オプション名または区切り文字として誤りです。次の区切り文字まで読み飛ばします。

2.2.8 JMN0022I-E

パラメタリストの翻訳オプション指定文字列に空白があります。空白を区切り文字とみなします。

詳細な説明

パラメタリストとは、以下のいずれかの方法で指定した翻訳オプション文字列を指します。

- [Win32]COBOL32コマンドに指定した-WCオプション
- [Winx64]COBOLコマンドに指定した-WCオプション
- 環境変数COB_OPTIONSに指定した-WCオプション
- [Win32]WINCOBウィンドウの“その他の翻訳オプション”に指定した翻訳オプション

2.2.9 JMN0023I-E

翻訳オプション@1@のサブパラメタの引用符の対応が取れていません。翻訳オプション@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

2.2.10 JMN0024I-E

翻訳オプション@1@のサブパラメタに誤りがあります。翻訳オプション@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

2.2.11 JMN0025I-E

翻訳オプション@1@のサブパラメタの形式に誤りがあります。翻訳オプション@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

例題

```
[C0025.cob]
000001 @OPTIONS INITVALUE (XX)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C0025.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 STOP RUN.
```

JMN0025I-E 翻訳オプションINITVALUEのサブパラメタの形式に誤りがあります。翻訳オプションINITVALUEは、無効になります。

2.2.12 JMN0026I-E

翻訳オプション@1@のサブパラメタの長さに誤りがあります。翻訳オプション@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

例題

```
[C0026.cob]
000001 @OPTIONS LINECOUNT (1000)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C0026.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 STOP RUN.
```

JMN0026I-E 翻訳オプションLINECOUNTのサブパラメタの長さに誤りがあります。翻訳オプションLINECOUNTは、無効になります。

2.2.13 JMN0027I-E

翻訳オプション@1@のサブパラメタのキーワードに誤りがあります。翻訳オプション@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

例題

```
[C0027.cob]
000001 @OPTIONS MAIN(WMAIN)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C0027.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 STOP RUN.
```

JMN0027I-E 翻訳オプションMAINのサブパラメタのキーワードに誤りがあります。翻訳オプションMAINは、無効になります。

2.2.14 JMN0028I-E

翻訳オプション@1@のサブパラメタの値に誤りがあります。翻訳オプション@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

例題

```
[C0028.cob]
000001 @OPTIONS LINESIZE(1000)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C0028.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION .
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 STOP RUN.
```

JMN0028I-E 翻訳オプションLINESIZEのサブパラメタの値に誤りがあります。翻訳オプションLINESIZEは、無効になります。

2.2.15 JMN0029I-E

翻訳オプション@1@のサブパラメタの右括弧がないかまたはサブパラメタが長すぎます。翻訳オプション@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

例題

```
[C0029.cob]
000001 @OPTIONS LANGLVL(85
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C0029.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 STOP RUN.
```

JMN0029I-E 翻訳オプションLANGLVLのサブパラメタの右括弧がないかまたはサブパラメタが長すぎます。翻訳オプションLANGLVLは、無効になります。

2.2.16 JMN0030I-E

翻訳オプション@1@には第2サブパラメタが必要です。翻訳オプション@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

2.2.17 JMN0031I-W

翻訳オプション@1@の指定により、翻訳オプション@2@とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

@2@ : 誘導された翻訳オプション名

例題

```
[C0031.cob]
000001 @OPTIONS CONF (68), LANGLVL (68)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C0031.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 STOP RUN.
```

JMN0031I-W 翻訳オプションLANGLVL(68)の指定により、翻訳オプションNOCONFとみなします。

2.2.18 JMN0032I-I

パラメタリストの翻訳オプション@1@は、連続翻訳では意味をもちません。翻訳オプション@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

詳細な説明

パラメタリストとは、以下のいずれかの方法で指定した翻訳オプション文字列を指します。

- [Win32]COBOL32コマンドに指定した-WCオプション
- [Winx64]COBOLコマンドに指定した-WCオプション
- 環境変数COB_OPTIONSに指定した-WCオプション
- [Win32]WINCOBウインドウの“その他の翻訳オプション”に指定した翻訳オプション

2.2.19 JMN0033I-W

翻訳オプション@1@はプログラム定義以外に指定できません。翻訳オプション@2@とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

@2@ : 誘導された翻訳オプション名

例題

```
[C0033.cob]
000001 @OPTIONS CONF(OBS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 CLASS-ID. C0033.
000004 OBJECT.
000005 DATA          DIVISION.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007 METHOD-ID.     M1.
000008 END METHOD M1.
000009 END OBJECT.
000010 END CLASS C0033.
```

C0033.cob 0: JMN0033I-W 翻訳オプションCONF(OBS)はプログラム定義以外に指定できません。翻訳オプションCONFとみなします。

2.2.20 JMN0034I-S

翻訳オプション@1@はプログラム定義以外に指定できません。翻訳オプション@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

例題

```
[C0034.cob]
000001 @OPTIONS LANGLVL(74)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 CLASS-ID. C0034.
000004 OBJECT.
000005 DATA          DIVISION.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007 METHOD-ID.     M1.
000008 END METHOD M1.
000009 END OBJECT.
000010 END CLASS C0034.
```

C0034.cob 0: JMN0034I-S 翻訳オプションLANGLVL(74)はプログラム定義以外に指定できません。翻訳オプションLANGLVL(74)は、無効になります。

詳細な説明

プログラム定義にだけ指定できる翻訳オプションについては、以下を参照してください。

- “NetCOBOLユーザズガイド”の“A.4 プログラム定義にだけ指定可能な翻訳オプション”

2.2.21 JMN0035I-S

メソッド原型定義と分離されたメソッド定義とで一致が必要な翻訳オプションの内、一致しない翻訳オプションがありません。それらの翻訳オプションは無効になります。

詳細な説明

メソッド原型定義と分離されたメソッド定義間での翻訳オプションについては、以下を参照してください。

- “NetCOBOLユーザズガイド”の“A.5 メソッド原型定義と分離されたメソッド定義間での翻訳オプション”

2.2.22 JMN0036I-S

指定された翻訳オプション@1@のサブパラメタのキーワードは、このオペレーティングシステムではサポートされていません。翻訳オプション@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

2.2.23 JMN0037I-E

翻訳オプション@1@はクラス定義以外に指定できません。翻訳オプション@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

例題

```
[C0035.cob]
000001 @OPTIONS CREATE(REP)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C0035.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 STOP RUN.
```

C0035.cob 0: JMN0037I-E 翻訳オプションCREATE(REP)はクラス定義以外に指定できません。翻訳オプションCREATE(REP)は、無効になります。

詳細な説明

クラス定義の翻訳にだけ指定できる翻訳オプションには以下があります。

- CREATE(REP)

2.2.24 JMN0058I-W

翻訳オプション@1@は、翻訳オプション@2@と同時に指定できません。翻訳オプション@1@の指定は無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

@2@ : 翻訳オプション名

2.2.25 JMN0061I-E

翻訳オプション@1@は、@2@翻訳指示文に指定できません。翻訳オプション@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

@2@ : @OPTIONS

例題

```
[C0061.cob]
000001 @OPTIONS SCS(SJIS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C0061.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE DIVISION.
```

```
000008 P-START.
000009 STOP RUN.
```

JMN0061I-E 翻訳オプションSCSは、@OPTIONS翻訳指示文に指定できません。翻訳オプションSCSは、無効になります。

詳細な説明

翻訳指示文に指定できる翻訳オプションかどうかの確認は、以下を参照してください。

- ・ “NetCOBOLユーザズガイド”の“付録A 翻訳オプション”

2.2.26 JMN0063I-W

翻訳オプション@1@は、このコンパイラでは意味がありません。翻訳オプション@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

2.2.27 JMN0064I-W

翻訳オプション@1@は旧仕様です。翻訳オプション@2@とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

@2@ : 翻訳オプション名

2.2.28 JMN0065I-W

指定された翻訳オプション@1@では指定があいまいです。翻訳オプション@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 指定した翻訳オプション名

2.2.29 JMN0071I-W

翻訳オプション@1@は、サポートされていません。翻訳オプション@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

2.2.30 JMN0072I-W

翻訳オプション@1@は互換仕様です。翻訳オプション@2@とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

@2@ : 誘導された翻訳オプション名

2.2.31 JMN0077I-I

翻訳オプション@1@は次期バージョンレベルより無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

2.2.32 JMN0092I-U

原始プログラムファイルのアクセス中に入出力エラーが発生しました。翻訳を中止します。

2.2.33 JMN0093I-U

目的プログラムファイルのアクセス中に入出力エラーが発生しました。翻訳を中止します。

2.2.34 JMN0094I-U

デバッグ情報ファイルのアクセス中に入出力エラーが発生しました。翻訳を中止します。

2.2.35 JMN0096I-U

ソース解析情報ファイルのアクセス中に入出力エラーが発生しました。翻訳を中止します。

2.2.36 JMN0097I-U

リポジットファイルのアクセス中に入出力エラーが発生しました。翻訳を中止します。

2.2.37 JMN0100I-U

翻訳処理が続行不可能となりました。(区名=@1@, モジュール名=@2@, 詳細コード=@3@, 行情報=@4@.)

埋め込みの説明

- @1@ : エラーを検出した区名
- @2@ : エラーを検出したモジュール名
- @3@ : 詳細コード
- @4@ : 行情報

詳細な説明

他のメッセージが出力されている場合は、それらを修正してから再度翻訳してください。
上記の処置で解決しない場合、コンパイラ障害の可能性あります。富士通技術員(SE)に連絡してください。

2.2.38 JMN0102I-U

翻訳処理が続行不可能となりました。他の診断メッセージが表示されている場合は、それらを修正して、再度翻訳してみてください。(区名=@1@, モジュール名=@2@, 詳細コード=@3@, 行情報=@4@.)

埋め込みの説明

- @1@ : エラーを検出した区名
- @2@ : エラーを検出したモジュール名
- @3@ : 詳細コード
- @4@ : 行情報

詳細な説明

コンパイラの障害です。富士通技術員(SE)に連絡してください。

2.2.39 JMN0103I-U

型ライブラリの処理に必要な主記憶領域が不足しています。(区名=@1@.)

埋め込みの説明

@1@ : エラーを検出した区名

詳細な説明

型ライブラリの処理に必要なメモリが不足しています。
翻訳環境の見直しを行ってください。対処方法として、以下があげられます。

- 同時に多数のアプリケーションを実行している場合、それらのアプリケーションを停止して再翻訳してください。または、
- 仮想メモリを大きくしてください。または、
- 実装メモリを増設してください。

2.2.40 JMN0124I-U

ソースファイル内に不当な文字があります。(区名=@1@, 行情報=@2@.) 翻訳を中止します。

埋め込みの説明

@1@ : エラーを検出した区名
@2@ : 行情報

詳細な説明

本エラーメッセージは、ソースプログラムや登録集がUnicode(UTF-8)で作成されている場合に出力されることがあります。

出力される原因と対処方法を以下に示します。

- 翻訳オプションSCS(UTF8)を指定しなかった
翻訳オプションSCS(UTF8)を指定してください。また、翻訳オプションCONVCHARの指定により、本エラーメッセージが出力される場合があります。翻訳オプションCONVCHARの指定を確認してください。
- 1行の長さが正書法で決まる最大長を超えている
正書法では1行の最大長は表示長ではなく物理長です。コンパイラは最大長を超えた場合、超えた部分を無視するため不当な文字となることがあります。正書法の規則により行が途中で切れている場合は、継続行を利用するなどして、行を分割してください。

2.2.41 JMN0125I-U

原始プログラムファイルまたは登録集原文ファイルのコード系がシステムのコード系と一致していません。翻訳を中止します。

詳細な説明

原始プログラムファイルおよび登録集原文ファイルのコード系を一致させて再翻訳してください。

2.2.42 JMN0126I-S

翻訳オプション@1@は、翻訳オプション@2@と同時に指定できません。翻訳オプション@1@の指定は無効となります。

埋め込みの説明

@1@: 翻訳オプション名
@2@: 翻訳オプション名

2.2.43 JMN0127I-E

翻訳オプション@1@の指定により、翻訳オプション@2@とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名
@2@ : 翻訳オプション名

2.2.44 JMN0129I-I

翻訳オプション@1@の指定により、翻訳オプション@2@が有効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名
@2@ : 有効となる翻訳オプション名

詳細な説明

@2@に示された翻訳オプションは、製品によって異なります。意図した指定となっていることを確認してください。@2@に示された翻訳オプションを明示指定することで、このメッセージを抑止することができます。

2.2.45 JMN0130I-E

翻訳オプション@1@は現在のシステムロケールでは指定できません。翻訳オプション@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

2.2.46 JMN0131I-E

現在のシステムロケールでは、翻訳オプション@1@は、翻訳オプション@2@と同時に指定できません。翻訳オプション@1@を翻訳オプション@3@とみなします。

埋め込み文字の説明

@1@ : 翻訳オプション名
@2@ : 翻訳オプション名
@3@ : 翻訳オプション名

詳細な説明

翻訳オプションENCODEと翻訳オプションSCSの指定可能な組合せは、システムロケールにより異なります。詳しくは以下を参照してください。

- “NetCOBOL ユーザーズガイド”の“付録A 翻訳オプション”-“ENCODE(データ項目のエンコードの指定)”
- “NetCOBOL ユーザーズガイド”の“付録A 翻訳オプション”-“SCS(ソースファイルのコード系)”

2.2.47 JMN0998I-U

文字コード変換処理の初期化に失敗しました。NetCOBOL開発・実行環境が正しくインストールされているか確認してください。

詳細な説明

翻訳オプションCONVCHAR(FJICONV)を指定している場合、Interstage Charset Managerのロード処理でエラーが発生しています。

以下を確認してください。

- Interstage Charset Managerが正しくインストールされているか
- インストールされているInterstage Charset ManagerのVLがV9.4以降であるか

また、翻訳オプションCONVCHAR(FJICONV)を指定している場合、ソースファイルのコード系にANSIコードページ(SCS(ACP))は指定できません。翻訳オプションSCSの指定を確認してください。

2.3 JMN1000—JMN1999

1000	1001	1002	1003	1004	1005	1007	1008	1009	1010
1011	1012	1013	1014	1015	1016	1017	1018	1019	1020
1021	1022	1023	1024	1025	1026	1027	1028	1029	1040
1041	1042	1043	1044	1049	1050	1051	1052	1057	1061
1062	1073	1074	1075	1076	1080	1081	1082	1083	1084
1085	1086	1087	1092	1093	1096	1097	1099	1100	1101
1103	1104	1105	1107	1110	1111	1113	1114	1115	1116
1117	1118	1119	1121	1123	1125	1126	1127	1128	1129
1130	1131	1132	1133	1134	1141	1142	1143	1144	1145
1146	1147	1148	1149	1150	1151	1154	1155	1156	1158
1159	1161	1162	1163	1164	1165	1166	1167	1183	1184
1185	1187	1188	1190	1193	1194	1195	1197	1198	1207
1208	1209	1213	1214	1215	1216	1217	1218	1219	1220
1221	1222	1223	1224	1225	1227	1228	1229	1231	1232
1233	1234	1236	1237	1238	1239	1240	1241	1242	1243
1244	1246	1253	1254	1255	1256	1257	1258	1259	1260
1261	1265	1266	1267	1268	1269	1271	1273	1275	1276
1278	1279	1280	1281	1282	1284	1285	1286	1287	1288
1291	1292	1294	1298	1299	1301	1302	1303	1304	1305
1306	1307	1308	1309	1310	1312	1313	1314	1315	1317
1318	1319	1320	1321	1322	1323	1324	1325	1326	1327
1329	1330	1338	1339	1340	1342	1343	1353	1354	1355
1356	1357	1358	1359	1360	1362	1363	1371	1373	1376
1377	1388	1390	1391	1393	1394	1395	1396	1397	1401
1402	1404	1405	1411	1412	1413	1414	1416	1418	1421
1423	1424	1425	1426	1427	1428	1434	1436	1437	1438
1439	1450	1464	1465	1466	1469	1472	1475	1476	1477
1478	1479	1480	1481	1482	1486	1487	1488	1489	1490
1500	1501	1502	1503	1504	1505	1506	1507	1508	1509
1510	1511	1512	1513	1514	1515	1516	1517	1518	1519
1520	1521	1522	1523	1524	1525	1526	1527	1528	1529
1530	1531	1532	1533	1534	1535	1538	1539	1540	1544
1545	1547	1551	1552	1553	1555	1556	1557	1558	1559
1560	1561	1562	1563	1566	1567	1568	1569	1570	1571
1572	1573	1574	1576	1578	1579	1580	1581	1582	1583
1584	1586	1588	1589	1591	1592	1593	1594	1596	1597
1599	1600	1604	1608	1615	1661	1662	1664	1665	1668
1670	1671	1672	1673	1674	1675	1676	1677	1678	1681
1683	1684	1685	1686	1687	1688	1689	1690	1692	1693

1694	1695	1696	1697	1698	1699	1701	1703	1704	1705
1706	1707	1708	1710	1715	1716	1717	1718	1724	1725
1726	1735	1736	1738	1739	1741	1742	1744	1745	1746
1748	1749	1750	1751	1752	1753	1754	1755	1756	1757
1758	1759	1760	1761	1762	1763	1764	1765	1766	1767
1768	1769	1770	1771	1772	1773	1774	1775	1776	1778
1780	1781	1782	1783	1784	1785	1786	1788	1790	1802
1805	1813	1814	1819	1845	1847	1850	1851	1852	1853
1854	1855	1856	1857	1858	1859	1900	1903	1904	1905

2.3.1 JMN1000I-S

COBOL文字集合にない文字を使用しています。その文字は無効になります。

例題

```
[C1000.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P^1.
000003 END PROGRAM P^1.
```

C1000.cob 2: JMN1000I-S COBOL文字集合にない文字を使用しています。その文字は無効になります。

C1000.cob 2: JMN1041I-W 文字列の後には、分離符がなければなりません。分離符があるものとみなします。

C1000.cob 2: JMN1356I-W 見出し部中に誤った語'1'が指定されています。次の段落または部まで無効になります。

C1000.cob 3: JMN1000I-S COBOL文字集合にない文字を使用しています。その文字は無効になります。

C1000.cob 3: JMN1049I-S プログラム終わり見出しに終止符がありません。または、誤った語が現れました。

C1000.cob 3: JMN1041I-W 文字列の後には、分離符がなければなりません。分離符があるものとみなします。

詳細な説明

以下のCOBOLの語では、COBOL文字集合中の文字を使用してください。

- ・ 利用者語
- ・ システム名

2.3.2 JMN1001I-W

終止符、コンマまたはセミコロンの後は、空白でなければなりません。空白があるものとみなします。

例題

```
[C1001.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1001.
```

C1001.cob 2: JMN1001I-W 終止符、コンマまたはセミコロンの後は、空白でなければなりません。空白があるものとみなします。

2.3.3 JMN1002I-S

COBOLの語は30字以内でなければなりません。先頭から30字をCOBOLの語とみなします。

例題

```
[C1002.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```
000002 PROGRAM-ID.      C1002.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ01234 PIC X.
000006 END PROGRAM      C1002.
```

C1002.cob 5: JMN1002I-S COBOLの語は30字以内でなければなりません。先頭から30字をCOBOLの語とみなします。

2.3.4 JMN1003I-W

予約語 '@1@' は、A領域から書き始めなければなりません。A領域から書き始められているものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 予約語

例題

```
[C1003.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1003.
000003 END PROGRAM      C1003.
```

C1003.cob 1: JMN1003I-W 予約語 'IDENTIFICATION' は、A領域から書き始めなければなりません。A領域から書き始められているものとみなします。

C1003.cob 2: JMN1003I-W 予約語 'PROGRAM-ID' は、A領域から書き始めなければなりません。A領域から書き始められているものとみなします。

C1003.cob 3: JMN1003I-W 予約語 'END' は、A領域から書き始めなければなりません。A領域から書き始められているものとみなします。

2.3.5 JMN1004I-W

予約語 '@1@' は、B領域から書き始めなければなりません。B領域から書き始められているものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 予約語

例題

```
[C1004.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1004.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006 SYMBOLIC CONSTANT
000007 NUM IS 10.
000008 END PROGRAM      C1004.
```

C1004.cob 6: JMN1004I-W 予約語 'SYMBOLIC' は、B領域から書き始めなければなりません。B領域から書き始められているものとみなします。

2.3.6 JMN1005I-W

文字列 '@1@' は、B領域から書き始めなければなりません。B領域から書き始められているものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 文字列(利用者語, システム名, PICTURE句の文字列)

例題

```
[C1005.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1005.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STOARGE SECTION.
000005 01 LEN PIC 9(2).
000006 END PROGRAM      C1005.
```

C1005.cob 4: JMN1123I-S 許されない語'WORKING-STOARGE'が現れました。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

C1005.cob 4: JMN1005I-W 文字列'WORKING-STOARGE'は、B領域から書き始めなければなりません。B領域から書き始められているものとみなします。

C1005.cob 5: JMN1246I-W 節の見出しが指定されていません。FDまたはSDならばファイル節、RDならば報告書節、レベル番号ならば作業場所節の見出しがあるものとみなします。

2.3.7 JMN1007I-S

日本語利用者語は30字以内でなければなりません。先頭の30字を日本語利用者語とみなします。

例題

```
[C1007.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1007.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 あいうえおかきくけこさしすせそたちつととなにぬねのはひふへほま PIC X.
000006 END PROGRAM      C1007.
```

C1007.cob 5: JMN1007I-S 日本語利用者語は30字以内でなければなりません。先頭の30字を日本語利用者語とみなします。

2.3.8 JMN1008I-S

日本語利用者語の中に日本語文字として使用できない文字があります。 '@1@'を日本語利用者語とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 日本語文字

例題

```
[C1008.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1008.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 陸涖          PIC X.
000006 END PROGRAM      C1008.
```

C1008.cob 5: JMN1008I-S 日本語利用者語の中に日本語文字として使用できない文字があります。'陸'を日本語利用者語とみなします。

詳細な説明

日本語利用者語の中にCOBOL文字集合に定められていない日本語文字が含まれています。拡張文字を使用している場合は翻訳オプションNCW(SYS)を指定してください。詳細は、以下を参照してください。

- “COBOL文法書”の“1.1 文字と文字集合”
- “NetCOBOLユーザズガイド”の“付録A 翻訳オプション”-“NCW(日本語利用者語の文字集合の指定)”

また、ソースファイルのコード系がUTF-8の場合、日本語利用者語の中に0面(いわゆるBMPと呼ばれる範囲)以外に配置された文字が含まれている可能性があります。日本語利用者語に0面以外に配置された文字は使用できません。

2.3.9 JMN1009I-S

日本語利用者語の語頭に日本語文字として使用できない文字があります。日本語利用者語は無効になります。

例題

```
[C1009.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1009.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 ^             PIC X.
000006 END PROGRAM      C1009.
```

C1009.cob 5: JMN1009I-S 日本語利用者語の語頭に日本語文字として使用できない文字があります。日本語利用者語は無効になります。

詳細な説明

日本語利用者語の語頭にCOBOL文字集合に定められていない日本語文字が含まれています。拡張文字を使用している場合は翻訳オプションNCW(SYS)を指定してください。詳細は、以下を参照してください。

- ・ “COBOL文法書”の“1.1 文字と文字集合”
- ・ “NetCOBOLユーザーズガイド”の“付録A 翻訳オプション” - “NCW(日本語利用者語の文字集合の指定)”

また、ソースファイルのコード系がUTF-8の場合、日本語利用者語の語頭に0面(いわゆるBMPと呼ばれる範囲)以外に配置された文字が含まれている可能性があります。日本語利用者語に0面以外に配置された文字は使用できません。

2.3.10 JMN1010I-S

日本語利用者語の語頭または語尾は、ハイフンおよび負号であってはなりません。日本語利用者語 '@1@'は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 日本語利用者語

例題

```
[C1010.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1010.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 あいー       PIC X.
000006 END PROGRAM      C1010.
```

C1010.cob 5: JMN1010I-S 日本語利用者語の語頭または語尾は、ハイフンおよび負号であってはなりません。日本語利用者語'あいー'は無効になります。

2.3.11 JMN1011I-S

日本語利用者語は少なくとも1字の漢字、ひらがな、カタカナまたは長音記号を含まなければなりません。日本語利用者語 '@1@'は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 日本語利用者語

例題

```
[C1011.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1011.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01  A B C  PIC X.
000006 END PROGRAM      C1011.
```

C1011.cob 5: JMN1011I-S 日本語利用者語は少なくとも1字の漢字、ひらがな、カタカナまたは長音記号を含まなければなりません。日本語利用者語'ABC'は無効になります。

2.3.12 JMN1012I-S

浮動小数点定数の指数部('E'の後から)が誤っています。仮数部('E'の前まで)を数字定数とみなします。

例題

```
[C1012.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1012.
000003 PROCEDURE        DIVISION.
000004     DISPLAY +1234.11E-AA
000005 END PROGRAM      C1012.
```

C1012.cob 4: JMN1012I-S 浮動小数点定数の指数部('E'の後から)が誤っています。仮数部('E'の前まで)を数字定数とみなします。

C1012.cob 4: JMN2503I-S 利用者語'E-AA'が定義されていません。

C1012.cob 4: JMN1041I-W 文字列の後には、分離符がなければなりません。分離符があるものとみなします。

2.3.13 JMN1013I-S

浮動小数点定数の仮数の数字のけた数は、16けた以下でなければなりません。先頭の16けたを仮数とみなします。

例題

```
[C1013.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1013.
000003 PROCEDURE        DIVISION.
000004     DISPLAY +1234567890123456.7E+01
000005 END PROGRAM      C1013.
```

C1013.cob 4: JMN1013I-S 浮動小数点定数の仮数の数字のけた数は、16けた以下でなければなりません。先頭の16けたを仮数とみなします。

2.3.14 JMN1014I-S

浮動小数点定数の指数の数字のけた数は、2けた以下でなければなりません。先頭から2けたを指数とみなします。

例題

```
[C1014.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1014.
000003 PROCEDURE        DIVISION.
000004     DISPLAY 12.34E+001
000005 END PROGRAM      C1014.
```

C1014.cob 4: JMN1014I-S 浮動小数点定数の指数の数字のけた数は、2けた以下でなければなりません。先頭から2けたを指数とみなします。

2.3.15 JMN1015I-S

浮動小数点定数の絶対値が最小値より小さい値(指数アンダフロー)です。浮動小数点定数の値をゼロとみなします。

例題

```
[C1015.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1015.
000003 PROCEDURE       DIVISION.
000004     DISPLAY 540000000000000.0E-99
000005 END PROGRAM     C1015.
```

C1015.cob 4: JMN1015I-S 浮動小数点定数の絶対値が最小値より小さい値(指数アンダフロー)です。浮動小数点定数の値をゼロとみなします。

2.3.16 JMN1016I-S

浮動小数点定数の絶対値が最大値より大きい値(指数オーバフロー)です。浮動小数点定数の絶対値を'7. 2E75'とみなします。

例題

```
[C1016.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1016.
000003 PROCEDURE       DIVISION.
000004     DISPLAY +720000000000000.0E+99
000005 END PROGRAM     C1016.
```

C1016.cob 4: JMN1016I-S 浮動小数点定数の絶対値が最大値より大きい値(指数オーバフロー)です。浮動小数点定数の絶対値を'7. 2E75'とみなします。

2.3.17 JMN1017I-S

数字定数の数字のけた数は、@1@けた以下でなければなりません。先頭から@1@けたを数字定数とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 数字定数の最大けた数

例題

```
[C1017.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1017.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 78 NUM-1 VALUE 12345678901234567890.
000006 END PROGRAM     C1017.
```

C1017.cob 5: JMN1017I-S 数字定数の数字のけた数は、19けた以下でなければなりません。先頭から19けたを数字定数とみなします。

2.3.18 JMN1018I-S

PICTURE句の文字列は、50字以下でなければなりません。先頭から50字をPICTURE句の文字列とみなします。

例題

```
[C1018.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000002 PROGRAM-ID.      C1018.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 CHR PIC XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX.
000006 END PROGRAM      C1018.

```

C1018.cob 5: JMN1018I-S PICTURE句の文字列は、50字以下でなければなりません。先頭から50字をPICTURE句の文字列とみなします。

2.3.19 JMN1019I-W

標識領域は'-', '*', '/', 'D'または空白でなければなりません。空白とみなします。

例題

```

[C1019.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1019.
000003*COMMENT
000004+
000005 END PROGRAM      C1019.

```

C1019.cob 4: JMN1019I-W 標識領域は'-', '*', '/', 'D'または空白でなければなりません。空白とみなします。

2.3.20 JMN1020I-W

定数はB領域から書き始めなければなりません。B領域から書き始められているものとみなします。

例題

```

[C1020.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1020.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 CHRLIT PIC X(10) VALUE
000006 "ABCDEFGHIJ".
000007 END PROGRAM      C1020.

```

C1020.cob 6: JMN1020I-W 定数はB領域から書き始めなければなりません。B領域から書き始められているものとみなします。

2.3.21 JMN1021I-S

定数の継続において、後の行は、標識領域にハイフンを書き、引用符で始めなければなりません。定数が継続されているものとみなします。

例題

```

[C1021.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1021.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A1 PIC X(10) VALUE "12345
000006-        67890".
000007 01 A2 PIC X(10) VALUE "12345
000008        "67890".
000009 END PROGRAM      C1021.

```

C1021.cob 6: JMN1021I-S 定数の継続において、後の行は、標識領域にハイフンを書き、引用符で始めなければなりません。定数が継続されているものとみなします。

C1021.cob 8: JMN1021I-S 定数の継続において、後の行は、標識領域にハイフンを書き、引用符で始めなければなりません。定数が継続されているものとみなします。

2.3.22 JMN1022I-S

定数の終わりの引用符がありません。B領域の終わりまでを定数とみなします。

例題

```
[C1022.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1022.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 TEISU PIC X(10) VALUE "ABCDEF.
000006 END PROGRAM C1022.
```

C1022.cob 5: JMN1022I-S 定数の終わりの引用符がありません。B領域の終わりまでを定数とみなします。

C1022.cob 5: JMN1103I-W 終止符がありません。終止符があるものとみなします。

2.3.23 JMN1023I-S

定数が最大長を超えています。先頭から最大長までを定数とみなします。

例題

```
[C1023.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1023.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 78 MOJI VALUE "ABCDEFGHIJKLMN
000006- "OPQRSTUVWXYZ
000007- "ABCDEFGHIJKLMN
000008- "OPQRSTUVWXYZ
000009- "ABCDEFGHIJKLMN
000010- "OPQRSTUVWXYZ
000011- "ABCDEFGHIJKLMN
000012- "OPQRSTUVWXYZ".
000013 END PROGRAM C1023.
```

C1023.cob 5: JMN1023I-S 定数が最大長を超えています。先頭から最大長までを定数とみなします。

詳細な説明

定数の最大長は160バイトです。1~160バイトの範囲内で記述してください。

2.3.24 JMN1024I-S

文字定数または16進文字定数の長さは、ゼロであってははいけません。1字の空白とみなします。

例題

```
[C1024.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1024.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 CHAR1 PIC X VALUE X"".
000006 01 CHAR2 PIC X VALUE "".
000007 END PROGRAM C1024.
```

C1024.cob 5: JMN1024I-S 文字定数または16進文字定数の長さは、ゼロであってははいけません。1字の空白とみなします。

C1024.cob 6: JMN1024I-S 文字定数または16進文字定数の長さは、ゼロであってははいけません。1字の空白とみなします。

2.3.25 JMN1025I-S

ブール定数の長さはゼロであってははいけません。1字の0とみなします。

例題

```
[C1025.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1025.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 BOOL1 PIC X(1) VALUE B"".
000006 END PROGRAM      C1025.
```

C1025.cob 5: JMN1025I-S ブール定数の長さはゼロであってははいけません。1字の0とみなします。

C1025.cob 5: JMN2044I-S 英字、英数字または英数字編集項目に指定したブール定数の長さは、8の倍数でなければなりません。8の倍数になるように右端にブール文字'0'を仮定します。

C1025.cob 5: JMN2043I-W 英字、英数字または英数字編集項目のVALUE句に、ブール定数は指定できません。1ブール文字を1ビットとみなして、左づめで格納します。

2.3.26 JMN1026I-S

日本語定数の長さはゼロであってははいけません。1字の空白とみなします。

例題

```
[C1026.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1026.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 NCHAR PIC N(1) VALUE N"".
000006 END PROGRAM      C1026.
```

C1026.cob 5: JMN1026I-S 日本語定数の長さはゼロであってははいけません。1字の空白とみなします。

2.3.27 JMN1027I-S

ブール定数はブール文字(0, 1)で構成しなければなりません。ブール文字以外の文字を文字0とみなします。

例題

```
[C1027.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1027.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 BOOL-1 PIC 1(8) VALUE B"00012000".
000006 END PROGRAM      C1027.
```

C1027.cob 5: JMN1027I-S ブール定数はブール文字(0, 1)で構成しなければなりません。ブール文字以外の文字を文字0とみなします。

2.3.28 JMN1028I-S

16進文字定数の16進文字(0~9, A~F)は、偶数個でなければなりません。末尾に0を補います。

例題

```
[C1028.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1028.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 CHAR1 PIC X(2) VALUE X"313".
000006 END PROGRAM      C1028.
```

C1028.cob 5: JMN1028I-S 16進文字定数の16進文字(0～9, A～F)は、偶数個でなければなりません。末尾に0を補います。

2.3.29 JMN1029I-S

@1@は16進文字(0～9, A～F)で構成されていなければなりません。16進文字以外の文字を文字0とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 定数名

例題

```
[C1029.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1029.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 CHAR1 PIC X(1) VALUE X"AZ".
000006 01 NUM1 PIC 9     VALUE H"AZ".
000007 END PROGRAM      C1029.
```

C1029.cob 5: JMN1029I-S 16進文字定数は16進文字(0～9, A～F)で構成されていなければなりません。16進文字以外の文字を文字0とみなします。

C1029.cob 6: JMN1029I-S 16進数字定数は16進文字(0～9, A～F)で構成されていなければなりません。16進文字以外の文字を文字0とみなします。

2.3.30 JMN1040I-S

日本語16進定数の長さは、@1@の倍数でなければなりません。@1@の倍数の長さに切り捨てます。

埋め込みの説明

@1@ : 2, 4

例題

```
[C1040.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1040.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 NHEX          PIC N(4) VALUE NX"93FA967B8C".
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008 END PROGRAM      C1040.
```

C1040.cob 6: JMN1040I-S 日本語16進定数の長さは、4の倍数でなければなりません。4の倍数の長さに切り捨てます。

2.3.31 JMN1041I-W

文字列の後は、分離符がなければなりません。分離符があるものとみなします。

例題

```
[C1041.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1041.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 LITERAL1 PIC X VALUE A".
000006 END PROGRAM      C1041.
```

C1040.cob 5: JMN1022I-S 定数の終わりの引用符がありません。B領域の終わりまでを定数とみなします。

C1040.cob 5: JMN1123I-S 許されない語"."が現れました。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

C1040.cob 5: JMN2040I-S 英字、英数字、英数字編集または数字編集項目のVALUE句には、文字定数、表意定数または記号文字を指定しなければなりません。表意定数SPACEが指定されたものとみなします。

C1040.cob 5: JMN104II-W 文字列の後には、分離符がなければなりません。分離符があるものとみなします。

C1040.cob 5: JMN1103I-W 終止符がありません。終止符があるものとみなします。

2.3.32 JMN1042I-S

行のつながりによってつながられた文字列は、324字以内でなければなりません。先頭から324字を文字列とみなします。

例題

```
[C1042.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1042.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 78 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789
000006-  ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789
000007-  ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789
000008-  ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789
000009-  ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789
000010-  ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789
000011-  ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789
000012-  ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789
000013-  ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789
000014-  ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789
000015-  ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789 VALUE ZERO.
000016 END PROGRAM      C1042.
```

C1042.cob 5: JMN1002I-S COBOLの語は30字以内でなければなりません。先頭から30字をCOBOLの語とみなします。

C1042.cob 14: JMN1042I-S 行のつながりによってつながられた文字列は、324字以内でなければなりません。先頭から324字を文字列とみなします。

2.3.33 JMN1043I-S

行のつながりにおいて、後の行のA領域は、空白でなければなりません。または、行のつながりによってつながられた文字列全体が、COBOLの語として正しくありません。標識領域のハイフンは無効になります。

例題

```
[C1043.cob]
000001 PROGRAM-ID.      C1043.
000002 DATA            DIVISION.
000003 WORKING-STORAGE SECTION.
000004 01 CHAR1 PIC 9(10) VALUE 12345
000005-67890.
000006 END PROGRAM      C1043.
```

C1043.cob 5: JMN1043I-S 行のつなぎにおいて、後の行のA領域は、空白でなければなりません。または、行のつなぎによってつなげられた文字列全体が、COBOLの語として正しくありません。標識領域のハイフンは無効になります。

C1043.cob 5: JMN1123I-S 許されない語'67890'が現れました。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

2.3.34 JMN1044I-S

プログラム'@1@'に含まれるプログラムは、プログラム終わり見出しで終わらなければなりません。プログラム終わり見出しがあるものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : プログラム名

例題

```
[C1044. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1044.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 PROGRAM-ID.      P1.
000005 PROCEDURE        DIVISION.
000006     STOP RUN.
000007 END PROGRAM      C1044.
```

C1044.cob 7: JMN1044I-S プログラム'C1044'に含まれるプログラムは、プログラム終わり見出しで終わらなければなりません。プログラム終わり見出しがあるものとみなします。

詳細な説明

@1@に示されたプログラムの内部プログラムの終わり見出しが記述されていません。内部プログラムの終わり見出しを記述してください。

2.3.35 JMN1049I-S

プログラム終わり見出しに終止符がありません。または、誤った語が現れました。

例題

```
[C1049. cob]
000001 PROGRAM-ID.      C1049.
000002 END PROGRAM      C1049
```

C1049.cob 2: JMN1049I-S プログラム終わり見出しに終止符がありません。または、誤った語が現れました。

2.3.36 JMN1050I-S

プログラム終わり見出しにプログラム名がありません。

例題

```
[C1050. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1050.
000003 END PROGRAM.
```

C1050.cob 3: JMN1050I-S プログラム終わり見出しにプログラム名がありません。

2.3.37 JMN1051I-S

別のプログラムに含まれないプログラムのプログラム終わり見出しを書いた行には、それ以外に何も書いてはなりません。書かれた文字列は、無効になります。

例題

```
[C1051.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1051.
000003 END PROGRAM      C1051. ABC
```

```
[P1.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P1.
000003 END PROGRAM      P1.
```

C1051.cob 3: JMN1051I-S 別のプログラムに含まれないプログラムのプログラム終わり見出しを書いた行には、それ以外に何も書いてはなりません。書かれた文字列は、無効になります。

2.3.38 JMN1052I-S

登録集原文の中で、別のプログラムに含まれないプログラムのプログラム終わり見出しの後に原始プログラムがあってはなりません。

詳細な説明

登録集原文中にある終わり見出しの後に、他のプログラムとは関係のない語があります。

2.3.39 JMN1057I-S

COBOL登録集で入力エラーが発生しました。登録集原文の組込みを中止します。

詳細な説明

登録集を読み込む際にファイルオープンエラーが検出されました。以下の要因が考えられます。

- 登録集ファイルの読み取りアクセス許可がない。
- 登録集ファイルが存在するディレクトリの読み取りアクセス許可がない。
- ソースプログラムのコード系がUnicode(UTF-8)の場合に、原文名定数中にSJIS範囲外の文字を使用している。

2.3.40 JMN1061I-S

登録集原文の中から同じ登録集原文を呼び出すことはできません。

例題

```
[C1061.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1061.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 COPY C1061C.
```

```
[C1061C.cbl]
000001 COPY C1061C.
000002 END PROGRAM C1061.
```

C1061C.cbl 1: JMN1061I-S 登録集原文の中から同じ登録集原文を呼び出すことはできません。

2.3.41 JMN1062I-S

COBOL登録集'@1@'が割り当てられていません。または、登録集として割り当てられたデータセットが、登録集として使用できない編成若しくはレコード形式です。

埋め込みの説明

@1@ : 登録集名

例題

```
[C1062.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1062.
000003     COPY COPY1.
000004 END PROGRAM      C1062.
```

C1062.cob 3: JMN1062I-S COBOL登録集'COPY1'が割り当てられていません。または、登録集として割り当てられたデータセットが、登録集として使用できない編成若しくはレコード形式です。

詳細な説明

主な原因として以下の2点が考えられます。

- ・ ソース上に記述した登録集が存在しないか、登録集名が間違っています。以下の設定を確認のうえ、整合性をとってください。
 - 登録集の拡張子: 翻訳オプションLIBEXT, 環境変数COB_LIBSUFFIX
 - 登録集名の対応づけ: 環境変数COB_登録集名, 翻訳オプションファイルによる登録集名の設定
 - 登録集のパス: 翻訳コマンドオプション-I, 翻訳オプションLIB, 環境変数COB_COBCOPY
- ・ 以下の指定と定義体で矛盾があります。
 - XFDLIB指定: ファイル定義体
 - XMDLIB指定: 画面帳票定義体

2.3.42 JMN1073I-S

プログラム終わり見出しで指定されたプログラム'@1@'がありません。終了していない最後のプログラムのプログラム終わり見出しとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : プログラム名

例題

```
[C1073.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1073.
000003 END PROGRAM      C1073I.
```

C1073.cob 3: JMN1073I-S プログラム終わり見出しで指定されたプログラム'C1073I'がありません。終了していない最後のプログラムのプログラム終わり見出しとみなします。

2.3.43 JMN1074I-S

REPLACING指定またはJOINING指定を記述したCOPY文により複写する登録集原文中に@1@文を指定することはできません。

埋め込みの説明

@1@ : COPY,INCLUDE

例題

```
[C1074.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1074.
000003 DATA             DIVISION.
```

```
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 COPY C1074C REPLACING ==DATA== BY ==COPY C1074CC. ==.
000006 END PROGRAM C1074.
```

```
[C1074C.cbl]
000001 DATA
```

C1074C.cbl 1: JMN1074I-S REPLACING指定またはJOINING指定を記述したCOPY文により複写する登録集原文中にCOPY文を指定することはできません。

C1074C.cbl 1: JMN1123I-S 許されない語'COPY'が現れました。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

詳細な説明

COPY文またはINCLUDE文に置き換える原始文操作はできません。

2.3.44 JMN1075I-S

語@1@の直前または直後は、空白でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : COPY,INCLUDE,REPLACE

例題

```
[C1075.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1075.
000003 .REPLACE A BY B.
000004 REPLACE OFF.
000005 END PROGRAM C1075.
```

C1075.cob 3: JMN1075I-S 語REPLACEの直前または直後は、空白でなければなりません。

C1075.cob 3: JMN100II-W 終止符、コンマまたはセミコロンの後は、空白でなければなりません。空白があるものとみなします。

C1075.cob 3: JMN1356I-W 見出し部中に誤った語'REPLACE'が指定されています。次の段落または部まで無効になります。

C1075.cob 4: JMN1084I-I REPLACE OFF文に対応するREPLACE文がありません。

2.3.45 JMN1076I-S

@1@文の書き方に誤りがあります。または、分離符の終止符で止められていません。

埋め込みの説明

@1@ : COPY,INCLUDE

例題

```
[C1076.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1076.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 COPY CBLCPY REPLACING A BY B
000006 END PROGRAM C1076.
```

C1076.cob 6: JMN1076I-S COPY文の書き方に誤りがあります。または、分離符の終止符で止められていません。

2.3.46 JMN1080I-W

仮原文-1に原文語が含まれていないか、または分離符のコンマ若しくはセミコロンだけしか含まれていません。その仮原文-1は、比較対象になりません。

例題

```
[C1080.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1080.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 COPY C1080C REPLACING ==, == BY ==:==.
```

```
[C1080C.cbl]
000001 01 WK-DATA      PIC X.
```

C1080.cob 5: JMN1080I-W 仮原文-1に原文語が含まれていないか、または分離符のコンマ若しくはセミコロンだけしか含まれていません。その仮原文-1は、比較対象になりません。

2.3.47 JMN1081I-S

@1@文の終止符の直後は、空白でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : COPY,INCLUDE,REPLACE

例題

```
[C1081.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1081.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     REPLACE ==A== BY ==B==.
000006 01  A PIC X.
000007     REPLACE OFF. A
000008 END PROGRAM      C1081.
```

C1081.cob 7: JMN1081I-S REPLACE文の終止符の直後は、空白でなければなりません。

2.3.48 JMN1082I-S

語REPLACEの直前は、分離符の終止符でなければなりません。

例題

```
[C1082.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1082.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION
000005     REPLACE A BY B.
000006     REPLACE OFF.
000007 END PROGRAM      C1082.
```

C1080.cob 4: JMN1103I-W 終止符がありません。終止符があるものとみなします。

C1080.cob 5: JMN1082I-S 語REPLACEの直前は、分離符の終止符でなければなりません。

C1080.cob 6: JMN1084I-I REPLACE OFF文に対応するREPLACE文がありません。

2.3.49 JMN1083I-S

REPLACE文の書き方に誤りがあります。または、分離符の終止符で止められていません。

例題

```
[C1083.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1083.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     REPLACE A A BY B.
000006     REPLACE OFF
000007 END PROGRAM      C1083.
```

C1083.cob 5: JMN1083I-S REPLACE文の書き方に誤りがあります。または、分離符の終止符で止められていません。

C1083.cob 6: JMN1084I-I REPLACE OFF文に対応するREPLACE文がありません。

C1083.cob 7: JMN1083I-S REPLACE文の書き方に誤りがあります。または、分離符の終止符で止められていません。

2.3.50 JMN1084I-I

REPLACE OFF文に対応するREPLACE文がありません。

例題

```
[C1084.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1084.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     REPLACE OFF.
000006 END PROGRAM      C1084.
```

C1084.cob 5: JMN1084I-I REPLACE OFF文に対応するREPLACE文がありません。

2.3.51 JMN1085I-S

AIMディレクトリデータセットでオープン/クローズエラーが発生しています。AIM展開レコード域および特殊レジスタFCOMの確保を終了します。

例題

```
[C1085.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1085.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SUBSCHEMA-NAME.   "SUB01".
000006 END PROGRAM      C1085.
```

C1085.cob 5: JMN1086I-S AIMディレクトリデータセットにサブスキーマ名段落で指定されたサブスキーマがありません。サブスキーマ名段落は無効になります。

C1085.cob 5: JMN1085I-S AIMディレクトリデータセットでオープン/クローズエラーが発生しています。AIM展開レコード域および特殊レジスタFCOMの確保を終了します。

C1085.cob 5: JMN1597I-W 'SUBSCHEMA-NAME'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

詳細な説明

ソース上に記述したサブスキーマ定義ファイルが存在しないか、サブスキーマ定義ファイル名が間違っています。以下コンパイラオプションの設定を確認のうえ、整合性をとってください。

- AIMLIB

2.3.52 JMN1086I-S

AIMディレクトリデータセットにサブスキーマ名段落で指定されたサブスキーマがありません。サブスキーマ名段落は無効になります。

例題

```
[C1086.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1086.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 SUBSCHEMA-NAME. "SUB01".
000006 END PROGRAM     C1086.
```

C1086.cob 5: JMN1086I-S AIMディレクトリデータセットにサブスキーマ名段落で指定されたサブスキーマがありません。サブスキーマ名段落は無効になります。

C1086.cob 5: JMN1086I-S AIMディレクトリデータセットでオープン/クローズエラーが発生しています。AIM展開レコード域および特殊レジスタFCOMの確保を終了します。

C1086.cob 5: JMN1597I-W 'SUBSCHEMA-NAME'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

詳細な説明

ソース上に記述したサブスキーマ定義ファイルが存在しないか、サブスキーマ定義ファイル名が間違っています。以下コンパイラオプションの設定を確認のうえ、整合性をとってください。

- ・ AIMLIB

2.3.53 JMN1087I-W

@1@文は、B領域から書き始めなければなりません。B領域から書き始められているものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : AQL, SQL

例題

```
[C1087.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1087.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01  SQLSTATE PIC X(5).
000007     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000008 PROCEDURE         DIVISION.
000009     EXEC SQL
000010     SELECT A
000011     END-EXEC
000012 END PROGRAM        C1087.
```

C1087.cob 10: JMN1087I-W SQL文は、B領域から書き始めなければなりません。B領域から書き始められているものとみなします。

2.3.54 JMN1092I-S

01または77レベル項目の直後のCOPY文によって複写された登録集原文の最初の語は01または77でなければなりません。そのまま処理を続行します。

2.3.55 JMN1093I-S

REPLACE文を処理した結果として生成した原文にREPLACE文が含まれています。

例題

```
[C1093.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1093.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 REPLACE ==A== BY ==REPLACE==.
000006 A OFF.
000007 REPLACE OFF.
000008 END PROGRAM C1093.
```

C1093.cob 6: JMN1093I-S REPLACE文を処理した結果として生成した原文にREPLACE文が含まれています。

C1093.cob 6: JMN1123I-S 許されない語'REPLACE'が現れました。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

詳細な説明

REPLACE文に置き換える原始文操作はできません。

2.3.56 JMN1096I-I

(CONF)01, 77レベル項目の直後にCOPY文が指定されています。

例題

```
[C1096.cob]
000001 @OPTIONS CONF (68)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C1096.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 COPY C1096C.
000007 END PROGRAM C1096.
```

```
[C1096C.cb1]
000001 WNAME PIC X(10).
```

C1096.COB 6: JMN1096I-I (CONF)01, 77レベル項目の直後にCOPY文が指定されています。

2.3.57 JMN1097I-I

(CONF)COPY文の仮原文-1に'*'のみが指定されています。

例題

```
[C1097.cob]
000001 @OPTIONS CONF (V10)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C1097.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 COPY C1097C REPLACING ==*== BY ==.
000007 END PROGRAM C1097.
```

```
[C1097C.cb1]
000001*01 WNAME1 PIC X(10).
000002*01 WNAME2 PIC X(10).
```

C1097.cob 6: JMN1097I-I (CONF)COPY文の仮原文-1に'*'のみが指定されています。

2.3.58 JMN1099I-I

翻訳オプションNONNUMBERの場合、COPY文そのものに対する診断メッセージの行番号は、REPLACE文の行番号となります。誤りのあるCOPY文の行番号を表示するためには、翻訳オプションNUMBERを指定して翻訳してください。

例題

```
[C1099.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1099.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 DATA-SS PIC X(3) VALUE "NG!".
000006 01 DATA-DD PIC X(3) VALUE "OK!".
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008     REPLACE ==DATA-SS== BY ==DATA-DD==.
000009     COPY "C1099C.CBL"
000010     REPLACE OFF
000011
000012 END PROGRAM C1099.
```

C1099.cob 8: JMN1099I-I 翻訳オプションNONNUMBERの場合、COPY文そのものに対する診断メッセージの行番号は、REPLACE文の行番号となります。誤りのあるCOPY文の行番号を表示するためには、翻訳オプションNUMBERを指定して翻訳してください。

C1099.cob 10: JMN1076I-S COPY文の書き方に誤りがあります。または、分離符の終止符で止められていません。

2.3.59 JMN1100I-W

語DIVISIONまたはSECTIONの指定がありません。DIVISIONまたはSECTIONがあるものとみなします。

例題

```
[C1100.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1100.
000003 DATA.
000004 END PROGRAM      C1100.
```

C1100.cob 3: JMN1100I-W 語DIVISIONまたはSECTIONの指定がありません。DIVISIONまたはSECTIONがあるものとみなします。

2.3.60 JMN1101I-S

ON指定のないAPPLY SAVED-AREA句、またはファイル名指定のないAPPLY MULTICONVERSATION-MODE句は、別のプログラムに含まれるプログラムに指定できません。

例題

```
[C1101.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1101.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 PROGRAM-ID.      P1.
000005 ENVIRONMENT      DIVISION.
000006 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000007 I-O-CONTROL.
000008     APPLY SAVED-AREA
000009     APPLY MULTICONVERSATION-MODE.
000010 END PROGRAM      P1.
000011 END PROGRAM      C1101.
```

C1101.cob 8: JMN1162I-S APPLY SAVED-AREA句にファイル名の指定がないか、または構文に誤りがあります。

C1101.cob 9: JMN1101I-S ON 指定のない APPLY SAVED-AREA 句, またはファイル名指定のない APPLY MULTICONVERSATION-MODE句は, 別のプログラムに含まれるプログラムに指定できません.

詳細な説明

ON指定のないAPPLY SAVED-AREA句, またはファイル名指定のないAPPLY MULTICONVERSATION-MODE句は, 内部プログラムに記述できません.

2.3.61 JMN1103I-W

終止符がありません. 終止符があるものとみなします.

例題

```
[C1103.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION
000002 PROGRAM-ID      C1103
000003 ENVIRONMENT     DIVISION
000004 CONFIGURATION   SECTION
000005 FILE            SECTION
000006 DATA           DIVISION
000007 BASED-STORAGE   SECTION
000008 WORKING-STORAGE SECTION
000009 CONSTANT        SECTION
000010 END PROGRAM     C1103
```

C1103.cob 1: JMN1103I-W 終止符がありません. 終止符があるものとみなします.

C1103.cob 3: JMN1103I-W 終止符がありません. 終止符があるものとみなします.

C1103.cob 4: JMN1103I-W 終止符がありません. 終止符があるものとみなします.

C1103.cob 5: JMN1123I-S 許されない語'FILE'が現れました. 次の認識できる句, 段落, 節または部まで無効になります.

C1103.cob 5: JMN1004I-W 予約語'FILE'は, B領域から書き始めなければなりません. B領域から書き始められているものとみなします.

C1103.cob 6: JMN1103I-W 終止符がありません. 終止符があるものとみなします.

C1103.cob 7: JMN1103I-W 終止符がありません. 終止符があるものとみなします.

C1103.cob 8: JMN1103I-W 終止符がありません. 終止符があるものとみなします.

C1103.cob 9: JMN1103I-W 終止符がありません. 終止符があるものとみなします.

C1103.cob 10: JMN1049I-S プログラム終わり見出しに終止符がありません. または, 誤った語が現れました.

2.3.62 JMN1104I-S

プログラム名段落がありません. プログラム名を生成します.

例題

```
[C1104.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 ENVIRONMENT     DIVISION.
000003 DATA           DIVISION.
000004 PROCEDURE        DIVISION.
000005 END PROGRAM     C1104.
```

C1104.cob 2: JMN1104I-S プログラム名段落がありません. プログラム名を生成します.

C1104.cob 5: JMN1073I-S プログラム終わり見出しで指定されたプログラム'C1104'がありません. 終了していない最後のプログラムのプログラム終わり見出しとみなします.

2.3.63 JMN1105I-W

プログラム名段落は、見出し部の最初に指定しなければなりません。このプログラム名段落が見出し部の最初に指定されたものとみなします。

例題

```
[C1105. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 DATE-COMPILED. 20040402.
000003 PROGRAM-ID. C1105.
000004 END PROGRAM C1105.
```

C1105.cob 3: JMN1105I-W プログラム名段落は、見出し部の最初に指定しなければなりません。このプログラム名段落が見出し部の最初に指定されたものとみなします。

2.3.64 JMN1107I-S

プログラム名として指定できない文字列が指定されました。またはプログラム名が指定されていません。プログラム名を生成し、次の段落または部まで無効になります。

例題

```
[C1107. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1107.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 PROCEDURE DIVISION.
000006 END PROGRAM C1107.
```

C1107.cob 2: JMN1107I-S プログラム名として指定できない文字列が指定されました。またはプログラム名が指定されていません。プログラム名を生成し、次の段落または部まで無効になります。

C1107.cob 6: JMN1049I-S プログラム終わり見出しに終止符がありません。または、誤った語が現れました。

C1107.cob 6: JMN2500I-S 文が現れなければいけない所に、語'1107'が現れました。次の文または手続き名まで読み飛ばします。

詳細な説明

プログラム名は利用者語の規則に従って記述してください。

2.3.65 JMN1110I-S

語COMMONは内部プログラムに限り、指定することができます。

例題

```
[C1110. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1110 COMMON.
000003 END PROGRAM C1110.
```

C1110.cob 2: JMN1110I-S 語COMMONは内部プログラムに限り、指定することができます。

2.3.66 JMN1111I-S

プログラム名 '@1@' が他のプログラム名段落またはENTRY文ですでに指定されています。プログラム名 '@1@' が無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : プログラム名

例題

```
[C1111.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1111.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 PROGRAM-ID.      C1111.
000005 END PROGRAM      C1111.
000006 END PROGRAM      C1111.
```

C1111.cob 4: JMN1111I-S プログラム名'C1111'が他のプログラム名段落またはENTRY文ですでに指定されています。プログラム名'C1111'が無効になります。

C1111.cob 5: JMN1073I-S プログラム終わり見出しで指定されたプログラム'C1111'がありません。終了していない最後のプログラムのプログラム終わり見出しとみなします。

C1111.cob 6: JMN1073I-S プログラム終わり見出しで指定されたプログラム'C1111'がありません。終了していない最後のプログラムのプログラム終わり見出しとみなします。

C1111.cob 6: JMN1104I-S プログラム名段落がありません。プログラム名を生成します。

2.3.67 JMN1113I-S

構成節は、内部プログラムに指定できません。

例題

```
[C1113.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1113.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005     SPECIAL-NAMES.
000006     SYMBOLIC CONSTANT
000007     NUM1 IS 1234.
000008 IDENTIFICATION DIVISION.
000009 PROGRAM-ID.      P1.
000010 ENVIRONMENT      DIVISION.
000011 CONFIGURATION    SECTION.
000012 END PROGRAM      P1.
000013 END PROGRAM      C1113.
```

C1113.cob 11: JMN1113I-S 構成節は、内部プログラムに指定できません。

2.3.68 JMN1114I-S

構成節は、入出力節の前に指定しなければなりません。

例題

```
[C1114.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1114.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 CONFIGURATION      SECTION.
000006 END PROGRAM      C1114.
```

C1114.cob 5: JMN1114I-S 構成節は、入出力節の前に指定しなければなりません。

2.3.69 JMN1115I-S

構成節または入出力節がすでに指定されています。

例題

```
[C1115. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1115.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 INPUT-OUTPUT SECTION.
000007 INPUT-OUTPUT SECTION.
000008 END PROGRAM C1115.
```

C1115.cob 5: JMN1115I-S 構成節または入出力節がすでに指定されています。

C1115.cob 7: JMN1115I-S 構成節または入出力節がすでに指定されています。

2.3.70 JMN1116I-S

構成節または入出力節の各段落がすでに指定されています。

例題

```
[C1116. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1116.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007 INPUT-OUTPUT SECTION.
000008 FILE-CONTROL.
000009 FILE-CONTROL.
000010 END PROGRAM C1116.
```

C1116.cob 6: JMN1116I-S 構成節または入出力節の各段落がすでに指定されています。

C1116.cob 9: JMN1116I-S 構成節または入出力節の各段落がすでに指定されています。

2.3.71 JMN1117I-S

FILE-CONTROL段落またはSELECT句は、I-O-CONTROL段落の前に指定しなければなりません。

例題

```
[C1117. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1117.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 I-O-CONTROL.
000006 FILE-CONTROL.
000007 END PROGRAM C1117.
```

C1117.cob 6: JMN1117I-S FILE-CONTROL段落またはSELECT句は、I-O-CONTROL段落の前に指定しなければなりません。

2.3.72 JMN1118I-W

構成節の見出しがありません。あるものとみなします。

例題

```
[C1118. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```
000002 PROGRAM-ID.      C1118.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 SPECIAL-NAMES.
000005 END PROGRAM     C1118.
```

C1118.cob 4: JMN1118I-W 構成節の見出しがありません。あるものとみなします。

2.3.73 JMN1119I-W

入出力節の見出しがありません。あるものとみなします。

例題

```
[C1119.cob]
000001 IDENTIFICATION  DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     C1119.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 FILE-CONTROL.
000005 END PROGRAM     C1119.
```

C1119.cob 4: JMN1119I-W 入出力節の見出しがありません。あるものとみなします。

2.3.74 JMN1121I-S

@1@句の構文に誤りがあります。または記号定数'@2@'が定義されていません。

埋め込みの説明

@1@ : 記号定数の指定できる各句
@2@ : 未定義の記号定数

例題

```
[C1121.cob]
000001 IDENTIFICATION  DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     C1121.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F  ASSIGN TO SYS000.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE             SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT  RP-F.
000010 REPORT          SECTION.
000011 RD  RP-F PAGE   LIMIT IS CON1.
000012 01  RP1 TYPE    RH.
000013 END PROGRAM     C1121.
```

C1121.cob 11: JMN1121I-S PAGE句の構文に誤りがあります。または記号定数'CON1'が定義されていません。

2.3.75 JMN1123I-S

許されない語'@1@'が現れました。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 認識できない語

例題

```
[C1123.cob]
000001 IDENTIFICATION  DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     C1123.
```

```
000003 DATA          DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 DATA1 PIC X(5). END
000006 PROCEDURE      DIVISION.
000007     MOVE "ABC" TO DATA1
000008 END PROGRAM     C1123.
```

C1123.cob 5: JMN1123I-S 許されない語'END'が現れました。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

詳細な説明

構文の書き方において、適当ではない語があります。“COBOL文法書”を参照のうえ、正しい書き方に修正してください。
また、半角文字と全角文字の混在した利用者語を記述した場合、コンパイラは半角文字と全角文字の混在を許していないため、その境界までを語とみなします。そのため、境界以後の語に対してこのメッセージが出力されることがあります。

```
例) 01 あいうABC PIC X. *>JMN1123I-S 許されない語'ABC'が現れました。 ~
```

2.3.76 JMN1125I-S

@1@句はすでに指定されています。

埋め込みの説明

@1@ : 句の名前

例題

```
[C1125.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     C1125.
000003 DATA          DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 DATA1 PIC 9(4) PIC X(5).
000006 01 DATA2 PIC 9(4) VALUE 1234 VALUE 5678.
000007 END PROGRAM     C1125.
```

C1125.cob 5: JMN1125I-S PIC句はすでに指定されています。

C1125.cob 6: JMN1125I-S VALUE句はすでに指定されています。

2.3.77 JMN1126I-S

SELECT句にはファイル名を指定しなければなりません。

例題

```
[C1126.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     C1126.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT ASSIGN TO A.
000007 END PROGRAM     C1126.
```

C1126.cob 6: JMN1126I-S SELECT句にはファイル名を指定しなければなりません。

2.3.78 JMN1127I-S

@1@句の構文に誤りがあります。

埋め込みの説明

@1@ : 句の名前

例題

```
[C1127. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1127.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 DATA1 PIC S9(4) SIGN VALUE 1.
000006 END PROGRAM      C1127.
```

C1127.cob 5: JMN1127I-S SIGN句の構文に誤りがあります。

2.3.79 JMN1128I-S

FILE記述項にはファイル名を指定しなければなりません。

例題

```
[C1128. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1128.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006   SELECT INFILE ASSIGN TO A.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD 1234.
000010 01 INREC PIC X(80).
000011 END PROGRAM     C1128.
```

C1128.cob 6: JMN2006I-S SELECT句のファイル名は、FDまたはSD記述項のファイル名として一意に定義しなければなりません。

C1128.cob 9: JMN1128I-S FILE記述項にはファイル名を指定しなければなりません。

2.3.80 JMN1129I-S

語RECURSIVEは外部プログラムに限り、指定することができます。

例題

```
[C1129. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1129.
000003 PROCEDURE DIVISION.
000004 PROGRAM-ID.      SUB RECURSIVE.
000005 END PROGRAM      SUB.
000006 END PROGRAM      C1129.
```

C1129.cob 4: JMN1129I-S 語RECURSIVEは外部プログラムに限り、指定することができます。

2.3.81 JMN1130I-S

局所記憶節はINITIAL属性を持たない外部プログラムに限り、指定することができます。

例題

```
[C1130. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1130.
000003 PROCEDURE DIVISION.
000004 PROGRAM-ID.      SUB.
000005 DATA            DIVISION.
```

```
000006 LOCAL-STORAGE SECTION.  
000007 END PROGRAM SUB.  
000008 END PROGRAM C1130.
```

C1130.cob 6: JMN1130I-S 局所記憶節はINITIAL属性を持たない外部プログラムに限り、指定することができます。

2.3.82 JMN1131I-S

レベル番号66, 78または88の後にFILLERは指定できません。

例題

```
[C1131.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C1131.  
000003 DATA DIVISION.  
000004 WORKING-STORAGE SECTION.  
000005 01 A PIC XX.  
000006 88 FILLER VALUE "OK".  
000007 78 FILLER VALUE A.  
000008 66 FILLER RENAMES A THRU B.  
000009 END PROGRAM C1131.
```

C1131.cob 6: JMN1131I-S レベル番号66, 78または88の後にFILLERは指定できません。

C1131.cob 7: JMN1131I-S レベル番号66, 78または88の後にFILLERは指定できません。

C1131.cob 8: JMN1131I-S レベル番号66, 78または88の後にFILLERは指定できません。

2.3.83 JMN1132I-S

レベル番号88には、条件名を指定しなければなりません。

例題

```
[C1132.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C1132.  
000003 DATA DIVISION.  
000004 WORKING-STORAGE SECTION.  
000005 01 A PIC X(2).  
000006 88 VALUE "OK".  
000007 END PROGRAM C1132.
```

C1132.cob 6: JMN1132I-S レベル番号88には、条件名を指定しなければなりません。

2.3.84 JMN1133I-S

条件名記述項には、条件名の直後にVALUE句を指定しなければなりません。

例題

```
[C1133.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C1133.  
000003 DATA DIVISION.  
000004 WORKING-STORAGE SECTION.  
000005 01 A PIC X(2).  
000006 88 RES PIC X(2) VALUE "OK".  
000007 END PROGRAM C1133.
```

C1133.cob 6: JMN1133I-S 条件名記述項には、条件名の直後にVALUE句を指定しなければなりません。

2.3.85 JMN1134I-S

レベル番号66のデータ記述項には、データ名の直後にRENAMES句を指定しなければなりません。

例題

```
[C1134.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1134.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WK-TBL PIC X(10).
000006 66 RE-TBL PIC 9 RENAMES WK-TBL.
000007 END PROGRAM      C1134.
```

C1134.cob 6: JMN1134I-S レベル番号66のデータ記述項には、データ名の直後にRENAMES句を指定しなければなりません。

2.3.86 JMN1141I-S

[Win32]

COMMON, INITIALまたはPROTOTYPEがすでに指定されています。このCOMMON, INITIALまたはPROTOTYPEは無効になります。

[Winx64]

COMMON, INITIALまたはRECURSIVEがすでに指定されています。このCOMMON, INITIALまたはRECURSIVEは無効になります。

例題

```
[C1141.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1141 IS INITIAL INITIAL.
000003 END PROGRAM      C1141.
```

- **[Win32]**
C1141.cob 2: JMN1141I-S COMMON, INITIALまたはPROTOTYPEがすでに指定されています。このCOMMON, INITIALまたはPROTOTYPEは無効になります。
- **[Winx64]**
C1141.cob 2: JMN1141I-S COMMON, INITIALまたはRECURSIVEがすでに指定されています。このCOMMON, INITIALまたはRECURSIVEは無効になります。

2.3.87 JMN1142I-S

PICTURE文字列に許されない文字が指定されています。PICTURE 9とみなします。

例題

```
[C1142.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1142.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WORK1 PIC F.
000006 END PROGRAM      C1142.
```

C1142.cob 5: JMN1142I-S PICTURE文字列に許されない文字が指定されています。PICTURE 9とみなします。

2.3.88 JMN1143I-S

括弧の中に数字以外の文字は指定できません。PICTURE 9とみなします。

例題

```
[C1143.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1143.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WORK1 PIC X(A).
000006 END PROGRAM      C1143.
```

C1143.cob 5: JMN1143I-S 括弧の中に数字以外の文字は指定できません。 PICTURE 9とみなします。

2.3.89 JMN1144I-S

PICTURE文字列中の括弧の中の数字がゼロであるか、または有効な数字が指定されていません。 1とみなします。

例題

```
[C1144.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1144.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WORK1 PIC X(0).
000006 END PROGRAM      C1144.
```

C1144.cob 5: JMN1144I-S PICTURE文字列中の括弧の中の数字がゼロであるか、または有効な数字が指定されていません。 1とみなします。

2.3.90 JMN1145I-S

左括弧に対応する右括弧が指定されていません。 PICTURE 9とみなします。

例題

```
[C1145.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1145.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WORK1 PIC X(10.
000006 END PROGRAM      C1145.
```

C1145.cob 5: JMN1145I-S 左括弧に対応する右括弧が指定されていません。 PICTURE 9とみなします。

2.3.91 JMN1146I-S

PICTURE句の括弧の中の数字、または連続する同一文字の長さは、2147483647以下でなければなりません。 2147483647とみなします。

例題

```
[C1146.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1146.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WORK1 PIC X(2147483648).
000006 END PROGRAM      C1146.
```

C1146.cob 5: JMN1146I-S PICTURE句の括弧の中の数字、または連続する同一文字の長さは、2147483647以下でなければなりません。 2147483647とみなします。

2.3.92 JMN1147I-S

'CR'および'DB'は、 PICTURE文字列の最後に指定されなければなりません。 PICTURE 9とみなします。

例題

```
[C1147.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1147.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WORK1 PIC 9CR9.
000006 END PROGRAM     C1147.
```

C1147.cob 5: JMN1147I-S 'CR'および'DB'は、 PICTURE文字列の最後に指定されなければなりません。 PICTURE 9とみなします。

2.3.93 JMN1148I-S

DECLARATIVESに対応するEND DECLARATIVESが指定されていません。 END DECLARATIVESが指定されたものとみなします。

例題

```
[C1148.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1148.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT INMSG
000008     ASSIGN TO INFILE.
000009 DATA            DIVISION.
000010 FILE            SECTION.
000011 FD INMSG.
000012 01 MSGFORM     PIC X(50).
000013 PROCEDURE      DIVISION.
000014 DECLARATIVES.
000015 IO-ERR         SECTION.
000016     USE AFTER EXCEPTION PROCEDURE INMSG.
000017 END PROGRAM C1148.
```

C1148.cob 16: JMN1148I-S DECLARATIVESに対応するEND DECLARATIVESが指定されていません。 END DECLARATIVESが指定されたものとみなします。

2.3.94 JMN1149I-W

レベル番号01または77は、 A領域から指定しなければなりません。 A領域から指定されたものとみなします。

例題

```
[C1149.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1149.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     01 WORK1 PIC X.
000006     77 WORK2 PIC 9.
000007 END PROGRAM     C1149.
```

C1149.cob 5: JMN1149I-W レベル番号01または77は、 A領域から指定しなければなりません。 A領域から指定されたものとみなします。

C1149.cob 6: JMN1149I-W レベル番号01または77は、A領域から指定しなければなりません。A領域から指定されたものとみなします。

2.3.95 JMN1150I-S

TRACK-AREA句の整数は、32760以内でなければなりません。32760とみなします。

例題

```
[C1150.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1150.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT MSGFILE ASSIGN TO I-INFILE
000007     ACCESS MODE   IS RANDOM
000008     RECORD KEY    IS INFNUM
000009     NOMINAL KEY   IS WINF
000010     TRACK-AREA   IS 32761 CHARACTERS
000011     .
000012 DATA           DIVISION.
000013 FILE             SECTION.
000014 FD MSGFILE.
000015 01 INFDAT.
000016 02 INFNUM        PIC S9(8) BINARY.
000017 02 INFMSG        PIC X(50).
000018 WORKING-STORAGE SECTION.
000019 01 WINF          PIC S9(8) BINARY.
000020 END PROGRAM      C1150.
```

C1150.cob 6: JMN148II-E 'インデックスつき編成ファイル'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

C1150.cob 9: JMN148II-E 'NOMINAL KEY'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

C1150.cob 10: JMN1150I-S TRACK-AREA句の整数は、32760以内でなければなりません。32760とみなします。

C1150.cob 10: JMN1478I-W このシステムでは、'TRACK-AREA'は注釈として扱います。

2.3.96 JMN1151I-S

@1@句の整数は32767以下でなければなりません。32767とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 句の名前

例題

```
[C1151.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1151.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT MSGFILE ASSIGN TO D-INFILE
000007     TRACK-LIMIT   IS 32768
000008     .
000009 DATA           DIVISION.
000010 FILE             SECTION.
000011 FD MSGFILE.
000012 01 INFDAT.
000013 02 INFNUM        PIC S9(8) BINARY.
000014 02 INFMSG        PIC X(50).
000015 END PROGRAM      C1151.
```

C1151.cob 6: JMN148II-E '直接編成ファイル'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

C1151.cob 7: JMN115II-S TRACK-LIMIT句の整数は32767以下でなければなりません。32767とみなします。

2.3.97 JMN1154I-S

LINAGE句のFOOTING, TOP, またはBOTTOMの指定に誤りがあります。

例題

```
[C1154.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1154.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT INFILE ASSIGN TO IN-F.
000007 DATA            DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD INFILE
000010     LINAGE IS 10
000011     WITH AT 1234.
000012 01 INREC PIC X(80).
000013 END PROGRAM      C1154.
```

C1154.cob 11: JMN1154I-S LINAGE句のFOOTING, TOP, またはBOTTOMの指定に誤りがあります。

2.3.98 JMN1155I-S

REDEFINES句のデータ名は修飾できません。修飾語は無効になります。

例題

```
[C1155.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1155.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WORK1.
000006     02 CHR PIC X(10) VALUE "ABCDEFGHJIJ".
000007 01 WK2 REDEFINES WORK1 OF WK1.
000008     02 CHR PIC X(10).
000009 END PROGRAM      C1155.
```

C1155.cob 7: JMN1155I-S REDEFINES句のデータ名は修飾できません。修飾語は無効になります。

2.3.99 JMN1156I-W

このコンパイラが注釈として扱う構文に誤りがあります。この構文が無効になります。

例題

```
[C1156.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1156.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT MSGFILE ASSIGN TO F-INFILE
000007     FILE-LIMIT IS "256" THRU "512"
000008 .
000009 DATA            DIVISION.
000010 FILE            SECTION.
```

```
000011 FD MSGFILE.
000012 01 INFDAT.
000013 02 INFNUM PIC S9(8) BINARY.
000014 02 INFMSG PIC X(50).
000015 END PROGRAM C1156.
```

C1156.cob 7: JMN1156I-W このコンパイラが注釈として扱う構文に誤りがあります。この構文が無効になります。

詳細な説明

注釈として扱う構文(廃要素)に誤りがありますが、元来、注釈として扱われるため、プログラムの動作には影響しません。

2.3.100 JMN1158I-W

SAME句にはファイル名を二つ以上指定しなければなりません。そのまま受け入れます。

例題

```
[C1158.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1158.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT FILE1 ASSIGN TO F1.
000007 SELECT FILE2 ASSIGN TO F2.
000008 I-O-CONTROL.
000009 SAME FILE1.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD FILE1.
000013 01 REC1.
000014 02 RECNO1 PIC S9(8) BINARY.
000015 FD FILE2.
000016 01 REC2.
000017 02 RECNO2 PIC S9(8) BINARY.
000018 END PROGRAM C1158.
```

C1158.cob 9: JMN1158I-W SAME句にはファイル名を二つ以上指定しなければなりません。そのまま受け入れます。

2.3.101 JMN1159I-S

RERUN句中のファイル識別名 '@1@' の名前に誤りがあります。

埋め込みの説明

@1@ : ファイル識別名

例題

```
[C1159.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1159.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT MSGFILE ASSIGN TO INFILE.
000007 I-O-CONTROL.
000008 RERUN ON A1-DB-1.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 FD MSGFILE.
000012 01 INFDAT.
000013 02 INFNUM PIC S9(8) BINARY.
```

```
000014 02 INFMSG PIC X(50).
000015 END PROGRAM C1159.
```

C1159.cob 8: JMN1159I-S RERUN句中のファイル識別名'A1-DB-1'の名前に誤りがあります。

C1159.cob 8: JMN1478I-W このシステムでは, 'RERUN'は注釈として扱います。

2.3.102 JMN1161I-S

RERUN句のRECORD指定の整数の値は1から2147483647の範囲になければなりません。

例題

```
[C1161.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1161.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT MSGFILE ASSIGN TO INFILE.
000007 I-O-CONTROL.
000008 RERUN ON INFILE 0 RECORDS OF MSGFILE.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 FD MSGFILE.
000012 01 INFDAT.
000013 02 INFNUM PIC S9(8) BINARY.
000014 02 INFMSG PIC X(50).
000015 END PROGRAM C1161.
```

C1161.cob 8: JMN1161I-S RERUN句のRECORD指定の整数の値は1から2147483647の範囲になければなりません。

2.3.103 JMN1162I-S

@1@句にファイル名の指定がないか、または構文に誤りがあります。

埋め込みの説明

@1@ : 句の名前

例題

```
[C1162.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1162.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT MSGFILE ASSIGN TO INFILE.
000007 I-O-CONTROL.
000008 APPLY RECORD-OVERFLOW ON "MSGFILE".
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 FD MSGFILE.
000012 01 INFDAT.
000013 02 INFNUM PIC S9(8) BINARY.
000014 02 INFMSG PIC X(50).
000015 END PROGRAM C1162.
```

C1162.cob 8: JMN1162I-S APPLY RECORD-OVERFLOW句にファイル名の指定がないか、または構文に誤りがあります。

2.3.104 JMN1163I-S

APPLY句の構文に誤りがあります。

例題

```
[C1163.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1163.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT MSGFILE ASSIGN TO INFILE.
000007 I-O-CONTROL.
000008     APPLY OVERFLOW ON MSGFILE.
000009 DATA            DIVISION.
000010 FILE             SECTION.
000011 FD MSGFILE.
000012 01 INFDAT.
000013 02 INFNUM       PIC S9(8) BINARY.
000014 02 INFMSG       PIC X(50).
000015 END PROGRAM     C1163.
```

C1163.cob 8: JMN1163I-S APPLY句の構文に誤りがあります。

2.3.105 JMN1164I-S

MULTIPLE FILE TAPE句で、語FILEは省略できません。語FILEが指定されたものとみなします。

例題

```
[C1164.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1164.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT MSGFILE ASSIGN TO INFILE.
000007 I-O-CONTROL.
000008     MULTIPLE TAPE MSGFILE.
000009 DATA            DIVISION.
000010 FILE             SECTION.
000011 FD MSGFILE.
000012 01 INFDAT.
000013 02 INFNUM       PIC S9(8) BINARY.
000014 02 INFMSG       PIC X(50).
000015 END PROGRAM     C1164.
```

C1164.cob 8: JMN1164I-S MULTIPLE FILE TAPE句で、語FILEは省略できません。語FILEが指定されたものとみなします。

2.3.106 JMN1165I-S

MULTIPLE FILE TAPE句の構文に誤りがあります。

例題

```
[C1165.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1165.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT MSGFILE ASSIGN TO INFILE.
```

```

000007 I-O-CONTROL.
000008     MULTIPLE FILE TAPE "MSGFILE".
000009 DATA         DIVISION.
000010 FILE          SECTION.
000011 FD MSGFILE.
000012 01 INFDAT.
000013 02 INFNUM     PIC S9(8) BINARY.
000014 02 INFMSG    PIC X(50).
000015 END PROGRAM   C1165.

```

C1165.cob 8: JMN1165I-S MULTIPLE FILE TAPE句の構文に誤りがあります。

2.3.107 JMN1166I-S

MULTIPLE FILE TAPE句中のPOSITIONには整数を指定しなければなりません。

例題

```

[C1166. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1166.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT MSGFILE ASSIGN TO INFILE.
000007 I-O-CONTROL.
000008     MULTIPLE FILE TAPE MSGFILE POSITION CNT.
000009 DATA         DIVISION.
000010 FILE          SECTION.
000011 FD MSGFILE.
000012 01 INFDAT.
000013 02 INFNUM     PIC S9(8) BINARY.
000014 02 INFMSG    PIC X(50).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 CNT       PIC S9(4) BINARY.
000017 END PROGRAM   C1166.

```

C1166.cob 8: JMN1166I-S MULTIPLE FILE TAPE句中のPOSITIONには整数を指定しなければなりません。

2.3.108 JMN1167I-W

I-O-CONTROL段落で、終止符は段落の最後にしか指定できません。終止符は無効になります。

例題

```

[C1167. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1167.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT INFILE  ASSIGN TO INDATA.
000007     SELECT OUTFILE ASSIGN TO OUTDATA.
000008 I-O-CONTROL.
000009     MULTIPLE FILE TAPE INFILE.
000010     SAME INFILE OUTFILE.
000011 DATA         DIVISION.
000012 FILE          SECTION.
000013 FD INFILE.
000014 01 INFDAT.
000015 02 INFNUM     PIC S9(8) BINARY.
000016 02 INFMSG    PIC X(50).
000017 FD OUTFILE.

```



```
000018 01 OUTDAT.  
000019 02 OUTFNUM PIC S9(8) BINARY.  
000020 02 OUTMSG PIC X(50).  
000021 END PROGRAM C1167.
```

C1167.cob 9: JMN1167I-W I-O-CONTROL段落で、終止符は段落の最後にしか指定できません。終止符は無効になります。

2.3.109 JMN1183I-S

OCCURS句の整数は、TO指定の整数以下でなければなりません。TO指定の整数と同じ整数が指定されたものとみなします。

例題

```
[C1183.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C1183.  
000003 DATA DIVISION.  
000004 WORKING-STORAGE SECTION.  
000005 01 WK-TBL.  
000006 02 WK PIC X OCCURS 3 TO 1  
000007 DEPENDING ON LENGCNT.  
000008 01 LENGCNT PIC S9(4) BINARY.  
000009 END PROGRAM C1183.
```

C1183.cob 6: JMN1183I-S OCCURS句の整数は、TO指定の整数以下でなければなりません。TO指定の整数と同じ整数が指定されたものとみなします。

2.3.110 JMN1184I-S

OCCURS句で最大の反復回数を指定したときには、DEPENDING ON指定も記述しなければなりません。最大の反復回数を一定の反復回数とみなします。

例題

```
[C1184.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C1184.  
000003 DATA DIVISION.  
000004 WORKING-STORAGE SECTION.  
000005 01 WK-TBL.  
000006 02 WK PIC X OCCURS 1 TO 10.  
000007 01 LENGCNT PIC S9(4) BINARY.  
000008 END PROGRAM C1184.
```

C1184.cob 6: JMN1184I-S OCCURS句で最大の反復回数を指定したときには、DEPENDING ON指定も記述しなければなりません。最大の反復回数を一定の反復回数とみなします。

詳細な説明

OCCURS句のTO指定を指定した場合、DEPENDING ON指定を記述してください。

2.3.111 JMN1185I-S

OCCURS句の一定の反復回数または最大の反復回数は1以上でなければなりません。1が指定されたものとみなします。

例題

```
[C1185.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C1185.
```

```
000003 DATA          DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WK-TBL.
000006 02 WK PIC 9 OCCURS 0.
000007 END PROGRAM    C1185.
```

C1185.cob 6: JMN1185I-S OCCURS句の一定の反復回数または最大の反復回数は1以上でなければなりません。1が指定されたものとみなします。

2.3.112 JMN1187I-S

レベル指示語SDの直後は、ファイル名でなければなりません。この記述項は無効にし、次の部、節、レベル指示語、またはレベル番号まで読み飛ばします。

例題

```
[C1187.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     C1187.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT   SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SORTFILE ASSIGN TO S-FILE.
000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE           SECTION.
000009 SD 1234.
000010 01 SORTREC PIC X(80).
000011 END PROGRAM    C1187.
```

C1187.cob 6: JMN2006I-S SELECT句のファイル名は、FDまたはSD記述項のファイル名として一意に定義しなければなりません。

C1187.cob 9: JMN1187I-S レベル指示語SDの直後は、ファイル名でなければなりません。この記述項は無効にし、次の部、節、レベル指示語、またはレベル番号まで読み飛ばします。

2.3.113 JMN1188I-S

表示ファイルの場合、PROCESSING MODE句はデータ名を指定しなければなりません。

例題

```
[C1188.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     C1188.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT   SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN GS-DISP
000007     SYMBOLIC DESTINATION IS "DSP"
000008     PROCESSING MODE IS SEQUENTIAL
000009 .
000010 DATA          DIVISION.
000011 FILE           SECTION.
000012 FD IN-F.
000013 01 IN-R PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 END PROGRAM    C1188.
```

C1188.cob 8: JMN1188I-S 表示ファイルの場合、PROCESSING MODE句はデータ名を指定しなければなりません。

C1188.cob 8: JMN1478I-W このシステムでは、'PROCESSING MODE'は注釈として扱います。

2.3.114 JMN1190I-S

@1@句は、表示ファイル以外には指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : 表示ファイルの句名

例題

```
[C1190.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1190.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN SYS000
000007     SYMBOLIC DESTINATION IS "DSP"
000008
000009 DATA            DIVISION.
000010 FILE            SECTION.
000011 FD IN-F.
000012 01 IN-R PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 END PROGRAM     C1190.
```

C1190.cob 7: JMN1190I-S SYMBOLIC DESTINATION句は、表示ファイル以外には指定できません。

詳細な説明

ヒント: 表示ファイルのファイル識別名にはプレフィックスに"GS"が必要です。

2.3.115 JMN1193I-S

FORMAT句は、表示ファイルまたは順ファイル以外に指定できません。

例題

```
[C1193.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1193.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT MSGFILE ASSIGN TO INFILE
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     RECORD KEY     IS INFNUM
000009     FORMAT         IS WINF
000010
000011 DATA            DIVISION.
000012 FILE            SECTION.
000013 FD MSGFILE.
000014 01 INFDAT.
000015 02 INFNUM      PIC S9(8) BINARY.
000016 02 INFMSG     PIC X(50).
000017 WORKING-STORAGE SECTION.
000018 01 WINF       PIC X(8).
000019 END PROGRAM     C1193.
```

C1193.cob 9: JMN1193I-S FORMAT句は、表示ファイルまたは順ファイル以外に指定できません。

2.3.116 JMN1194I-S

GROUP句は、表示ファイルまたはFORMAT句指定の印刷ファイル以外には指定できません。

例題

```
[C1194.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1194.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT MSGFILE ASSIGN TO INFILE
000007     ORGANIZATION IS SEQUENTIAL
000008     GROUP         IS WGRP
000009     .
000010 DATA           DIVISION.
000011 FILE             SECTION.
000012 FD MSGFILE.
000013 01 INFDAT.
000014 02 INFNUM       PIC S9(8) BINARY.
000015 02 INFMSG       PIC X(50).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 01 WGRP         PIC X(8).
000018 END PROGRAM     C1194.
```

C1194.cob 8: JMN1194I-S GROUP句は、表示ファイルまたはFORMAT句指定の印刷ファイル以外には指定できません。

2.3.117 JMN1195I-S

表示ファイルの場合、ACCESS MODE句にはSEQUENTIALを指定しなければなりません。SEQUENTIALが指定されたものとみなします。

例題

```
[C1195.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1195.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN GS-DISP
000007     SYMBOLIC DESTINATION IS "DSP"
000008     ACCESS MODE IS RANDOM
000009     .
000010 DATA           DIVISION.
000011 FILE             SECTION.
000012 FD IN-F.
000013 01 IN-R         PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 END PROGRAM     C1195.
```

C1195.cob 8: JMN1195I-S 表示ファイルの場合、ACCESS MODE句にはSEQUENTIALを指定しなければなりません。SEQUENTIALが指定されたものとみなします。

2.3.118 JMN1197I-S

MESSAGE MODE句、MESSAGE CLASS句、MESSAGE OWNER句またはMESSAGE CODE句の構文に誤りがあります。

例題

```
[C1197.cob]
000001 @OPTIONS
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C1197.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
```

```

000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT GSFILE ASSIGN TO GS-DD1
000008         SYMBOLIC DESTINATION IS "ACM"
000009     MESSAGE .
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD GSFILE.
000013 01 GSREC1.
000014 02 GSREC11 PIC X(80).

```

C1197.cob 9: JMN1197I-S MESSAGE MODE句, MESSAGE CLASS句, MESSAGE OWNER句またはMESSAGE CODE句の構文に誤りがあります。

2.3.119 JMN1198I-S

SYMBOLIC CONSTANT句の定数は、数字定数、文字定数、日本語定数、ブール定数、16進文字定数またはポインタ定数でなければなりません。

例題

```

[C1198.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1198.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     SYMBOLIC CONSTANT
000007     CON1 IS CON1.
000008 END PROGRAM      C1198.

```

C1198.cob 7: JMN1198I-S SYMBOLIC CONSTANT句の定数は、数字定数、文字定数、日本語定数、ブール定数、16進文字定数またはポインタ定数でなければなりません。

2.3.120 JMN1207I-S

@1@句が重複しています。

埋め込みの説明

@1@ : 句の名前

例題

```

[C1207.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1207.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SOURCE-COMPUTER. COMS01
000006     WITH DEBUGGING MODE
000007     WITH DEBUGGING MODE.
000008 END PROGRAM      C1207.

```

C1207.cob 7: JMN1207I-S DEBUGGING句が重複しています。

2.3.121 JMN1208I-S

PROGRAM COLLATING SEQUENCE句の構文に誤りがあります。

例題

```
[C1208.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1208.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 OBJECT-COMPUTER. COMS1
000006 PROGRAM SEQUENCE.
000007 END PROGRAM C1208.
```

C1208.cob 6: JMN1208I-S PROGRAM COLLATING SEQUENCE句の構文に誤りがあります。

2.3.122 JMN1209I-S

ALPHABET句はSYMBOLIC CHARACTERS句より前に指定しなければなりません。

例題

```
[C1209.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1209.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006 SYMBOLIC CHARACTERS
000007 MCHR IS 10
000008 ALPHABET
000009 ABC IS NATIVE.
000010 END PROGRAM C1209.
```

C1209.cob 8: JMN1209I-S ALPHABET句はSYMBOLIC CHARACTERS句より前に指定しなければなりません。

2.3.123 JMN1213I-S

機能名句に呼び名が指定されていません。

例題

```
[C1213.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1213.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006 SYSOUT.
000007 END PROGRAM C1213.
```

C1213.cob 6: JMN1213I-S 機能名句に呼び名が指定されていません。

2.3.124 JMN1214I-S

外部スイッチに関する機能名句に呼び名またはスイッチ状態条件名が指定されていません。

例題

```
[C1214.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1214.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
```

```
000006 SWITCH-0.  
000007 END PROGRAM C1214.
```

C1214.cob 6: JMN1214I-S 外部スイッチに関する機能名句に呼び名またはスイッチ状態条件名が指定されていません。

2.3.125 JMN1215I-S

ON/OFF STATUS句に条件名の指定がありません。

例題

```
[C1215.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C1215.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 CONFIGURATION SECTION.  
000005 SPECIAL-NAMES.  
000006 SWITCH-0 IS STO  
000007 ON STATUS.  
000008 END PROGRAM C1215.
```

C1215.cob 7: JMN1215I-S ON/OFF STATUS句に条件名の指定がありません。

2.3.126 JMN1216I-S

機能名句またはALPHABET句の構文に誤りがあります。

例題

```
[C1216.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C1216.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 CONFIGURATION SECTION.  
000005 SPECIAL-NAMES.  
000006 ALPHABET ABC IS DD.  
000007 END PROGRAM C1216.
```

C1216.cob 6: JMN1216I-S 機能名句またはALPHABET句の構文に誤りがあります。

2.3.127 JMN1217I-S

ALPHABET句またはCLASS句で、数字定数は1以上で256以下でなければなりません。0は1と、256以上は256とみなします。

例題

```
[C1217.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C1217.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 CONFIGURATION SECTION.  
000005 SPECIAL-NAMES.  
000006 ALPHABET ABC IS 257.  
000007 END PROGRAM C1217.
```

C1217.cob 6: JMN1217I-S ALPHABET句またはCLASS句で、数字定数は1以上で256以下でなければなりません。0は1と、256以上は256とみなします。

2.3.128 JMN1218I-S

ALPHABET句で、文字定数は長さが1バイトでなければなりません。先頭1バイトを文字定数とみなします。

例題

```
[C1218.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1218.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006 ALPHABET ABC IS "ABC" THRU "XYZ".
000007 END PROGRAM C1218.
```

C1218.cob 6: JMN1218I-S ALPHABET句で、文字定数は長さが1バイトでなければなりません。先頭1バイトを文字定数とみなします。

C1218.cob 6: JMN1218I-S ALPHABET句で、文字定数は長さが1バイトでなければなりません。先頭1バイトを文字定数とみなします。

2.3.129 JMN1219I-S

ALPHABET句で、固有文字集合における各文字に対応する定数は、ただ一度しか指定できません。

例題

```
[C1219.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1219.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006 ALPHABET ABC IS "A" THRU "A".
000007 END PROGRAM C1219.
```

C1219.cob 6: JMN1219I-S ALPHABET句で、固有文字集合における各文字に対応する定数は、ただ一度しか指定できません。

2.3.130 JMN1220I-S

SYMBOLIC CHARACTERS句の構文に誤りがあります。

例題

```
[C1220.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1220.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006 ALPHABET ALP IS "A" THRU "Z"
000007 SYMBOLIC CHARACTERS
000008 TAB IS 10 IN
000009 .
000010 END PROGRAM C1220.
```

C1220.cob 7: JMN1220I-S SYMBOLIC CHARACTERS句の構文に誤りがあります。

2.3.131 JMN1221I-S

SYMBOLIC CHARACTERS句の記号文字と整数は対応していなければなりません。

例題

```
[C1221.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1221.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006 ALPHABET ALP IS "A" THRU "Z"
000007 SYMBOLIC CHARACTERS
000008 TAB IS 10 11 12
000009 .
000010 END PROGRAM C1221.
```

C1221.cob 7: JMN1221I-S SYMBOLIC CHARACTERS句の記号文字と整数は対応していません。

2.3.132 JMN1222I-S

SYMBOLIC CHARACTERS句の整数は256以下でなければなりません。整数を256とみなします。

例題

```
[C1222.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1222.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006 ALPHABET ALP IS "A" THRU "Z"
000007 SYMBOLIC CHARACTERS
000008 TAB IS 257
000009 .
000010 END PROGRAM C1222.
```

C1222.cob 8: JMN1222I-S SYMBOLIC CHARACTERS句の整数は256以下でなければなりません。整数を256とみなします。

2.3.133 JMN1223I-S

CLASS句の構文に誤りがあります。

例題

```
[C1223.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1223.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006 CLASS CHAR1 IS.
000007 END PROGRAM C1223.
```

C1223.cob 6: JMN1223I-S CLASS句の構文に誤りがあります。

2.3.134 JMN1224I-S

CLASS句でTHROUGH指定を記述する場合、文字定数の長さは1でなければなりません。先頭1文字を文字定数とみなします。

例題

```
[C1224.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000002 PROGRAM-ID.      C1224.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     CLASS ABC IS "ABC" THRU "XYZ".
000007 END PROGRAM     C1224.

```

C1224.cob 6: JMN1224I-S CLASS句でTHROUGH指定を記述する場合、文字定数の長さは1でなければなりません。先頭1文字を文字定数とみなします。

C1224.cob 6: JMN1224I-S CLASS句でTHROUGH指定を記述する場合、文字定数の長さは1でなければなりません。先頭1文字を文字定数とみなします。

2.3.135 JMN1225I-S

BLOCK CONTAINS句の構文に誤りがあります。

例題

```

[C1225.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1225.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT INFILE ASSIGN TO IN-F.
000007 DATA            DIVISION.
000008 FILE             SECTION.
000009 FD INFILE BLOCK CONTAINS WCNT.
000010 01 INREC PIC X(80).
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WCNT PIC S9(4) BINARY.
000013 END PROGRAM     C1225.

```

C1225.cob 9: JMN1225I-S BLOCK CONTAINS句の構文に誤りがあります。

2.3.136 JMN1227I-S

BLOCK CONTAINS句に指定された整数が32760を越えています。32760とみなします。

例題

```

[C1227.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1227.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT INFILE ASSIGN TO IN-F.
000007 DATA            DIVISION.
000008 FILE             SECTION.
000009 FD INFILE BLOCK CONTAINS 32761.
000010 01 INREC PIC X(80).
000011 END PROGRAM     C1227.

```

C1227.cob 9: JMN1227I-S BLOCK CONTAINS句に指定された整数が32760を越えています。32760とみなします。

C1227.cob 9: JMN2772I-I このシステムでは、'BLOCK CONTAINS'は注釈扱いです。

2.3.137 JMN1228I-S

BLOCK CONTAINS句のブロックの最小の大きさは最大の大きさより小さくなければなりません。最小の大きさを最大の大きさとみなします。

例題

```
[C1228.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1228.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN TO ABC.
000007 DATA            DIVISION.
000008 FILE             SECTION.
000009 FD  IN-F BLOCK CONTAINS 10 TO 1.
000010 01  IN-R PIC X(80).
000011 END PROGRAM     C1228.
```

C1228.cob 9: JMN1228I-S **BLOCK CONTAINS**句のブロックの最小の大きさは最大の大きさより小さくなければなりません。最小の大きさを最大の大きさとみなします。

C1228.cob 9: JMN2772I-I このシステムでは、'BLOCK CONTAINS'は注釈扱いです。

2.3.138 JMN1229I-S

RECORD句の構文に誤りがあります。

例題

```
[C1229.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1229.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN TO SYS006.
000007 DATA            DIVISION.
000008 FILE             SECTION.
000009 FD  IN-F RECORD.
000010 01  IN-R PIC X(80).
000011 END PROGRAM     C1229.
```

C1229.cob 9: JMN1229I-S **RECORD**句の構文に誤りがあります。

2.3.139 JMN1231I-S

RECORD句のデータレコードの最小文字数は、最大文字数より小さくなければなりません。最小文字数を最大文字数とみなします。

例題

```
[C1231.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1231.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN TO SYS006.
000007 DATA            DIVISION.
000008 FILE             SECTION.
000009 FD  IN-F RECORD 80 TO 10.
000010 01  IN-R PIC X(80).
000011 END PROGRAM     C1231.
```

C1231.cob 9: JMN1231I-S RECORD句のデータレコードの最小文字数は、最大文字数より小さくなければなりません。最小文字数を最大文字数とみなします。

2.3.140 JMN1232I-S

RECORD CONTAINS句には、整数を指定しなければなりません。

例題

```
[C1232.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1232.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN TO SYS006.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD  IN-F RECORD CONTAINS RECCNT.
000010 01  IN-R PIC X(80).
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01  RECCNT PIC S9(4) BINARY.
000013 END PROGRAM     C1232.
```

C1232.cob 9: JMN1232I-S RECORD CONTAINS句には、整数を指定しなければなりません。

2.3.141 JMN1233I-S

条件名のVALUE句の構文に誤りがあります。

例題

```
[C1233.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1233.
000003 DATA           DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01  ST1 PIC 9.
000006 88  FLG VALUE ALL 9.
000007 END PROGRAM     C1233.
```

C1233.cob 6: JMN1233I-S 条件名のVALUE句の構文に誤りがあります。

2.3.142 JMN1234I-S

RENAMES句の構文に誤りがあります。

例題

```
[C1234.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1234.
000003 DATA           DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01  WK-TBL.
000006 02  WK1 PIC X.
000007 02  WK2 PIC X.
000008 02  WK3 PIC X.
000009 66  RNM1 RENAMES "WK-TBL".
000010 END PROGRAM     C1234.
```

C1234.cob 9: JMN1234I-S RENAMES句の構文に誤りがあります。

2.3.143 JMN1236I-S

サブスキーマ名は8文字以下でなければなりません。

例題

```
[C1236.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1236.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SUBSCHEMA-NAME. "ABCDEFGHI".
000006 END PROGRAM C1236.
```

C1236.cob 5: JMN1236I-S サブスキーマ名は8文字以下でなければなりません。

C1236.cob 5: JMN1597I-W 'SUBSCHEMA-NAME'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

2.3.144 JMN1237I-S

サブスキーマ名として許されない文字列 '@1@' が指定されました。

埋め込みの説明

@1@ : サブスキーマ名

例題

```
[C1237.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1237.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SUBSCHEMA-NAME. "ABCDEF!H".
000006 END PROGRAM C1237.
```

C1237.cob 5: JMN1237I-S サブスキーマ名として許されない文字列 'ABCDEF!H' が指定されました。

C1237.cob 5: JMN1597I-W 'SUBSCHEMA-NAME'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

詳細な説明

サブスキーマ名は、英大文字(A～Z)、数字(0～9)で構成されなくてはなりません。

2.3.145 JMN1238I-S

サブスキーマ名の指定がありません。

例題

```
[C1238.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1238.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SUBSCHEMA-NAME. ABCDEF.
000006 END PROGRAM C1238.
```

C1237.cob 5: JMN1238I-S サブスキーマ名の指定がありません。

C1237.cob 5: JMN1597I-W 'SUBSCHEMA-NAME'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

詳細な説明

サブスキーマ名は以下の条件に当てはまる文字定数で記述します。

- ・ 8文字以内
- ・ A～Z, 0～9で構成されている

2.3.146 JMN1239I-S

サブスキーマ名段落の構文に誤りがあります。

例題

```
[C1239.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1239.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 SUBSCHEMA-NAME. "ABCDEF" IS PROTOTYPE.
000006 END PROGRAM     C1239.
```

C1239.cob 5: JMN1239I-S サブスキーマ名段落の構文に誤りがあります。

C1239.cob 5: JMN1597I-W 'SUBSCHEMA-NAME'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

2.3.147 JMN1240I-S

サブスキーマ名段落の終わりに終止符の指定がありません。

例題

```
[C1240.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1240.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 SUBSCHEMA-NAME. "ABCDEF"
000006 END PROGRAM     C1240.
```

C1240.cob 5: JMN1240I-S サブスキーマ名段落の終わりに終止符の指定がありません。

C1240.cob 5: JMN1597I-W 'SUBSCHEMA-NAME'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

2.3.148 JMN1241I-S

サブスキーマ名段落にEXTERNALまたはGLOBALが多重に指定されています。

例題

```
[C1241.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1241.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 SUBSCHEMA-NAME. "ABCDEF" GLOBAL GLOBAL.
000006 END PROGRAM     C1241.
```

C1241.cob 5: JMN1241I-S サブスキーマ名段落にEXTERNALまたはGLOBALが多重に指定されています。

C1241.cob 5: JMN1597I-W 'SUBSCHEMA-NAME'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

2.3.149 JMN1242I-S

SYMBOLIC CHARACTERS句の符号系名 '@1@' が未定義です。

埋め込みの説明

@1@ : 符号系名

例題

```
[C1242.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1242.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     ALPHABET ALP01 IS "A" THRU "Z"
000007     "a" THRU "z"
000008     SYMBOLIC CHARACTERS
000009     TAB IS 10 IN ALP.
000010 END PROGRAM     C1242.
```

C1242.cob 8: JMN1242I-S SYMBOLIC CHARACTERS句の符号系名'ALP'が未定義です。

2.3.150 JMN1243I-S

SYMBOLIC CHARACTERS句の符号系名は、STANDARD-1、STANDARD-2、NATIVEまたは定数に対応していません。

例題

```
[C1243.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1243.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     ALPHABET HUG01 IS CODE-1
000007     SYMBOLIC CHARACTERS A IS 12 IN HUG01.
000008 END PROGRAM     C1243.
```

C1243.cob 7: JMN1243I-S SYMBOLIC CHARACTERS句の符号系名は、STANDARD-1、STANDARD-2、NATIVEまたは定数に対応していません。

2.3.151 JMN1244I-W

LABEL RECORDS句にRECORDまたはRECORDSの指定がありません。指定されたものとみなします。

例題

```
[C1244.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1244.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN TO INFILE.
000007 DATA              DIVISION.
000008 FILE                SECTION.
000009 FD IN-F LABEL IS STANDARD.
000010 01 IN-R PIC X(80).
000011 END PROGRAM     C1244.
```

C1244.cob 9: JMN1244I-W LABEL RECORDS句にRECORDまたはRECORDSの指定がありません。指定されたものとみなします。

2.3.152 JMN1246I-W

節の見出しが指定されていません。FDまたはSDならばファイル節、RDならば報告書節、レベル番号ならば作業場所節の見出しがあるものとみなします。

例題

```
[C1246.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1246.
000003 DATA             DIVISION.
000004 01 DATA-1 PIC 9(4).
000005 END PROGRAM      C1246.
```

C1246.cob 4: JMN1246I-W 節の見出しが指定されていません。FDまたはSDならばファイル節、RDならば報告書節、レベル番号ならば作業場所節の見出しがあるものとみなします。

2.3.153 JMN1253I-S

66レベル項目は、レベル番号01～49の項目かレベル番号66の項目を先行して指定しなければなりません。66レベル項目は無効になります。

例題

```
[C1253.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1253.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 66 TBL RENAMES DATA-TBL.
000006 01 DATA-TBL.
000007 02 A PIC X.
000008 02 B PIC 9.
000009 END PROGRAM      C1253.
```

C1253.cob 5: JMN1253I-S 66レベル項目は、レベル番号01～49の項目かレベル番号66の項目を先行して指定しなければなりません。66レベル項目は無効になります。

2.3.154 JMN1254I-S

ファイル節に77レベル項目は指定できません。01レベル項目とみなします。

例題

```
[C1254.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1254.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE               SECTION.
000009 FD IN-F.
000010 01 IN-R PIC X(80).
000011 77 DATA-1 PIC 9 VALUE ZERO.
000012 END PROGRAM      C1254.
```

C1254.cob 11: JMN1254I-S ファイル節に77レベル項目は指定できません。01レベル項目とみなします。

C1254.cob 11: JMN2026I-W VALUE句は、ファイル節または連絡節中のデータ記述項に指定できません。VALUE句は、無効になります。

2.3.155 JMN1255I-S

01レベル項目の指定なしに02～49レベル項目が指定されています。01レベル項目とみなします。

例題

```
[C1255.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1255.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 02 DATA-1 PIC X.
000006 END PROGRAM     C1255.
```

C1255.cob 5: JMN1255I-S 01レベル項目の指定なしに02～49レベル項目が指定されています。01レベル項目とみなします。

2.3.156 JMN1256I-S

@1@句の整数に0は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : TRACK-AREA, TRACK-LIMIT, PRINTING POSITION

例題

```
[C1256.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1256.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     POSITIONING UNIT PUN-A IS 12 CPI.
000007 DATA           DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 REC-A PIC X(10) PRINTING POSITION IS 0 BY PUN-A.
000010 END PROGRAM     C1256.
```

C1256.cob 9: JMN1256I-S PRINTING POSITION句の整数に0は指定できません。

2.3.157 JMN1257I-S

SYMBOLIC CHARACTERS句で、指定された整数に対応する順序位置が指定された文字集合中に存在しません。固有文字の順序位置とみなします。

例題

```
[C1257.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1257.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     ALPHABET EBC IS EBCDIC
000007     SYMBOLIC CHARACTERS
000008     TAB IS 255 IN EBC
000009     .
000010 END PROGRAM     C1257.
```

C1257.cob 7: JMN1257I-S SYMBOLIC CHARACTERS句で、指定された整数に対応する順序位置が指定された文字集合中に存在しません。固有文字の順序位置とみなします。

2.3.158 JMN1258I-W

DECLARATIVESの直後に節名がありません。節名があるものとみなします。

例題

```
[C1258.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1258.
000003 PROCEDURE       DIVISION.
000004 DECLARATIVES.
000005     USE AFTER STANDARD EXCEPTION PROCEDURE ON INPUT.
000006 END DECLARATIVES.
000007 END PROGRAM      C1258.
```

C1258.cob 5: JMN1258I-W DECLARATIVESの直後に節名がありません。節名があるものとみなします。

2.3.159 JMN1259I-W

DECLARATIVESの直後が段落名です。段落名を節名とみなします。

例題

```
[C1259.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1259.
000003 PROCEDURE       DIVISION.
000004 DECLARATIVES.
000005 SAMPLE.
000006     USE AFTER STANDARD EXCEPTION PROCEDURE ON INPUT.
000007 END DECLARATIVES.
000008 END PROGRAM      C1259.
```

C1259.cob 5: JMN1259I-W DECLARATIVESの直後が段落名です。段落名を節名とみなします。

2.3.160 JMN1260I-W

USE文の直前が段落名です。段落を節とみなします。

例題

```
[C1260.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1260.
000003 PROCEDURE       DIVISION.
000004 DECLARATIVES.
000005 SAMPLE SECTION.
000006     USE AFTER STANDARD EXCEPTION PROCEDURE ON INPUT.
000007     USE1.
000008     USE AFTER STANDARD EXCEPTION PROCEDURE ON OUTPUT.
000009 END DECLARATIVES.
000010 END PROGRAM      C1260.
```

C1260.cob 7: JMN1260I-W USE文の直前が段落名です。段落を節とみなします。

2.3.161 JMN1261I-W

USE文の直前に節の見出しがありません。

例題

```
[C1261.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1261.
000003 PROCEDURE        DIVISION.
000004 DECLARATIVES.
000005 SAMPLE SECTION.
000006     USE AFTER STANDARD EXCEPTION PROCEDURE ON INPUT.
000007     USE AFTER STANDARD EXCEPTION PROCEDURE ON OUTPUT.
000008 END DECLARATIVES.
000009 END PROGRAM      C1261.
```

C1261.cob 7: JMN1261I-W USE文の直前に節の見出しがありません。

2.3.162 JMN1265I-S

PROGRAM COLLATING SEQUENCE句の符号系名 '@1@' は、STANDARD-1、STANDARD-2、NATIVEまたは定数に対応していなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 符号系名

例題

```
[C1265.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1265.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION     SECTION.
000005 OBJECT-COMPUTER.  OC1 PROGRAM COLLATING SEQUENCE IS HUGO1.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007     ALPHABET HUGO1 IS CODE-1.
000008 END PROGRAM      C1265.
```

C1265.cob 5: JMN1265I-S PROGRAM COLLATING SEQUENCE句の符号系名'HUGO1'は、STANDARD-1、STANDARD-2、NATIVEまたは定数に対応していなければなりません。

2.3.163 JMN1266I-S

PROGRAM COLLATING SEQUENCE句に指定された符号系名 '@1@' が未定義です。

埋め込みの説明

@1@ : 符号系名

例題

```
[C1266.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1266.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION     SECTION.
000005 OBJECT-COMPUTER.  OC1 PROGRAM COLLATING SEQUENCE IS HUGO1.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007     ALPHABET EBC IS EBCDIC.
000008 END PROGRAM      C1266.
```

C1266.cob 5: JMN1266I-S PROGRAM COLLATING SEQUENCE句に指定された符号系名'HUGO1'が未定義です。

2.3.164 JMN1267I-S

ALTERNATE RECORD KEYの個数は, 125個以下でなければなりません.

例題

```
[C1267.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1267.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IDX-F ASSIGN TO IDXFILE
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     RECORD KEY IS MAINKEY
000009     ALTERNATE RECORD KEY IS KEY1
000010     ALTERNATE RECORD KEY IS KEY2
:
000133     ALTERNATE RECORD KEY IS KEY125
000134     ALTERNATE RECORD KEY IS KEY126.
000135 DATA            DIVISION.
000136 FILE             SECTION.
000137 FD  IDX-F.
000138 01  IDX-R  PIC X(130).
000139 01  MAINKEY PIC X.
000140 01  KEY1  PIC X.
000141 01  KEY2  PIC X.
:
000264 01  KEY125 PIC X.
000265 01  KEY126 PIC X.
000270 END PROGRAM C1267.
```

C1267.cob 134: JMN1267I-S ALTERNATE RECORD KEYの個数は, 125個以下でなければなりません.

2.3.165 JMN1268I-S

連結語OFまたはINの後は, 修飾語でなければなりません. OFまたはINは無効になります.

例題

```
[C1268.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1268.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01  WK-TBL.
000006 02  WK      PIC X OCCURS 255
000007         DEPENDING ON LENGCNT OF.
000008 01  AREA1.
000009 02  LENGCNT PIC S9(4) BINARY.
000010 END PROGRAM C1268.
```

C1268.cob 7: JMN1268I-S 連結語OFまたはINの後は, 修飾語でなければなりません. OFまたはINは無効になります.

2.3.166 JMN1269I-S

SIGN句で, CHARACTERの前はSEPARATEでなければなりません. SEPARATEが指定されたものとみなします.

例題

```
[C1269.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1269.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
```

```
000005 01 DATA-1 PIC S9(4) SIGN LEADING CHARACTER.
000006 END PROGRAM      C1269.
```

C1269.cob 5: JMN1269I-S SIGN句で、CHARACTERの前はSEPARATEでなければなりません。SEPARATEが指定されたものとみなします。

2.3.167 JMN1271I-S

一つの項目に指定できる指標名の数は、60以下でなければなりません。先頭の60個の指標名以外無効となります。

例題

```
[C1271.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1271.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A-TBL.
000006 02 DATA-1 PIC X OCCURS 3
000007             INDEXED BY 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 110
000008             111 112 113 114 115 116 117 118 119 120
000009             121 122 123 124 125 126 127 128 129 130
000010             131 132 133 134 135 136 137 138 139 140
000011             141 142 143 144 145 146 147 148 149 150
000012             151 152 153 154 155 156 157 158 159 160.
000013 END PROGRAM      C1271.
```

C1271.cob 12: JMN1271I-S 一つの項目に指定できる指標名の数は、60以下でなければなりません。先頭の60個の指標名以外無効となります。

2.3.168 JMN1273I-S

'EXEC @1@'は定数節に指定してはいけません。

埋め込みの説明

@1@ : AQL, SQL

例題

```
[C1273.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1273
000003 DATA            DIVISION.
000004 CONSTANT         SECTION.
000005 EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 END PROGRAM      C1273.
```

C1273.cob 5: JMN1273I-S 'EXEC SQL'は定数節に指定してはいけません。

2.3.169 JMN1275I-S

INCLUDE @1@文が重複しています。

埋め込みの説明

@1@ : AQLCA

例題

```
[C1275.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```
000002 PROGRAM-ID.    C1275.
000003 DATA          DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC AQL INCLUDE AQLCA END-EXEC.
000006     EXEC AQL INCLUDE AQLCA END-EXEC.
000007 PROCEDURE      DIVISION.
000008 END PROGRAM C1275.
```

C1275.cob 6: JMN1275I-S INCLUDE AQLCA文が重複しています。

2.3.170 JMN1276I-S

EXEC AQL文の構文に誤りがあります。

例題

```
[C1276.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C1276.
000003 DATA          DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC AQL INCLUDE AQLCA.
000006 END PROGRAM C1276.
```

C1276.cob 5: JMN1276I-S EXEC AQL文の構文に誤りがあります。

C1276.cob 6: JMN1087I-W AQL文は、B領域から書き始めなければなりません。B領域から書き始められているものとみなします。

2.3.171 JMN1278I-S

BEGIN DECLARE SECTION文が指定されずに、END DECLARE SECTION文が指定されています。

例題

```
[C1278.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C1278.
000003 DATA          DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 HOSTV1.
000007 02 HNUM        PIC S9(4) BINARY.
000008 02 HNAME       PIC X(30).
000009     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000010 01 HOSTV2.
000011 02 HNUM        PIC S9(8) BINARY.
000012 02 HNAME       PIC X(30).
000013     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000014 END PROGRAM C1278.
```

C1278.cob 13: JMN1278I-S BEGIN DECLARE SECTION文が指定されずに、END DECLARE SECTION文が指定されています。

2.3.172 JMN1279I-S

END DECLARE SECTION文が重複しています。

例題

```
[C1279.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C1279.
000003 DATA          DIVISION.
```

```
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 EXEC AQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 HOSTV1.
000007 02 HNUM PIC S9(4) BINARY.
000008 02 HNAME PIC X(30).
000009 EXEC AQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000010 EXEC AQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000011 END PROGRAM C1279.
```

C1279.cob 10: JMN1279I-S END DECLARE SECTION文が重複しています。

2.3.173 JMN1280I-S

BEGIN DECLARE SECTION文の構文に誤りがあります。

例題

```
[C1280.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1280.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 EXEC SQL BEGIN DECLARE END-EXEC.
000006 01 HOSTV1.
000007 02 HNUM PIC S9(4) BINARY.
000008 02 HNAME PIC X(30).
000009 EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000010 END PROGRAM C1280.
```

C1280.cob 5: JMN1280I-S BEGIN DECLARE SECTION文の構文に誤りがあります。

C1280.cob 9: JMN1278I-S BEGIN DECLARE SECTION文が指定されずに、END DECLARE SECTION文が指定されています。

2.3.174 JMN1281I-S

END DECLARE SECTION文の構文に誤りがあります。

例題

```
[C1281.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1281.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 HOSTV1.
000007 02 HNUM PIC S9(4) BINARY.
000008 02 HNAME PIC X(30).
000009 EXEC SQL END DECLARE END-EXEC.
000010 END PROGRAM C1281.
```

C1281.cob 9: JMN1281I-S END DECLARE SECTION文の構文に誤りがあります。

C1281.cob 10: JMN1544I-S 'END DECLARE SECTION'が指定されていません。'END DECLARE SECTION'を補います。

2.3.175 JMN1282I-S

OCCURS句の整数は、2147483647以下でなければなりません。2147483647とみなします。

例題

```
[C1282.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```
000002 PROGRAM-ID.      C1282.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 MAINTBL.
000006 02 DATA-1 PIC X OCCURS 2147483648.
000007 END PROGRAM      C1282.
```

C1282.cob 6: JMN1282I-S OCCURS句の整数は、2147483647以下でなければなりません。2147483647とみなします。

2.3.176 JMN1284I-S

FILE-CONTROL段落が指定されていません。FILE-CONTROL段落が指定されたものとみなします。

例題

```
[C1284.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1284.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005     SELECT IN-F ASSIGN TO INFILE.
000006 DATA           DIVISION.
000007 FILE            SECTION.
000008 FD IN-F.
000009 01 IN-R PIC X(80).
000010 END PROGRAM     C1284.
```

C1284.cob 5: JMN1284I-S FILE-CONTROL段落が指定されていません。FILE-CONTROL段落が指定されたものとみなします。

2.3.177 JMN1285I-S

I-O-CONTROL段落が指定されていません。I-O-CONTROL段落が指定されたものとみなします。

例題

```
[C1285.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1285.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN TO INFILE.
000007     SELECT OUT-F ASSIGN TO OUTFILE.
000008     SAME IN-F OUT-F.
000009 DATA           DIVISION.
000010 FILE            SECTION.
000011 FD IN-F.
000012 01 IN-R PIC X(80).
000013 FD OUT-F.
000014 01 OUT-R PIC X(80).
000015 END PROGRAM     C1285.
```

C1285.cob 8: JMN1285I-S I-O-CONTROL段落が指定されていません。I-O-CONTROL段落が指定されたものとみなします。

2.3.178 JMN1286I-S

INCLUDE AQLCA文を含むEXEC AQL文の終わりは、終止符でなければなりません。

例題

```
[C1286.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```



```
000002 PROGRAM-ID.    C1286.
000003 DATA          DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC AQL INCLUDE AQLCA END-EXEC
000006 PROCEDURE      DIVISION.
000007 END PROGRAM    C1286.
```

C1286.cob 5: JMN1286I-S INCLUDE AQLCA文を含むEXEC AQL文の終わりは、終止符でなければなりません。

2.3.179 JMN1287I-S

SYMBOLIC CHARACTERS句に指定された符号系名が、多重定義です。

例題

```
[C1287. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C1287.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 CONFIGURATION  SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     ALPHABET
000007         HUGO1 IS NATIVE
000008         HUGO1 IS EBCDIC
000009     SYMBOLIC CHARACTERS
000010         A IS 1 IN HUGO1
000011         B IS 2 IN HUGO1.
000012 END PROGRAM    C1287.
```

C1287.cob 9: JMN1287I-S SYMBOLIC CHARACTERS句に指定された符号系名が、多重定義です。

2.3.180 JMN1288I-S

PROGRAM COLLATING SEQUENCE句に指定された符号系名が、多重定義です。

例題

```
[C1288. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C1288.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 CONFIGURATION  SECTION.
000005 OBJECT-COMPUTER. A
000006     PROGRAM COLLATING SEQUENCE IS HUGO1.
000007 SPECIAL-NAMES.
000008     ALPHABET
000009         HUGO1 IS NATIVE
000010         HUGO1 IS EBCDIC.
000011 END PROGRAM    C1288.
```

C1288.cob 6: JMN1288I-S PROGRAM COLLATING SEQUENCE句に指定された符号系名が、多重定義です。

2.3.181 JMN1291I-S

見出し部にはプログラム名段落を指定しなければなりません。

例題

```
[C1291. cob]
000001 PROGRAM-ID.    C1291.
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 END PROGRAM    C1291.
```

C1291.cob 3: JMN1073I-S プログラム終わり見出しで指定されたプログラム'C1291'がありません。終了していない最後のプログラムのプログラム終わり見出しとみなします。

C1291.cob 3: JMN129II-S 見出し部にはプログラム名段落を指定しなければなりません。

2.3.182 JMN1292I-S

@1@名として指定できない文字列@2@が指定されました。または@1@名が指定されていません。

埋め込みの説明

@1@ : プログラム, クラス, メソッド, プロパティ
@2@ : 指定できない文字列

例題

```
[C1292.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1292.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 PROCEDURE       DIVISION.
000006 PROGRAM-ID.     1292.
000007 END PROGRAM     I1292.
000008 END PROGRAM     C1292.
```

C1292.cob 6: JMN1292I-S プログラム名として指定できない文字列が指定されました。またはプログラム名が指定されていません。

C1292.cob 7: JMN1073I-S プログラム終わり見出しで指定されたプログラム'I1292'がありません。終了していない最後のプログラムのプログラム終わり見出しとみなします。

詳細な説明

プログラム名は利用者語の規則に従って記述してください。

また、プログラム名、クラス名、メソッド名およびプロパティ名には、シフトJISで表現できる文字しか使用できません。シフトJISで表現できない文字を使用した場合、メッセージ中にて該当文字を"?"に変換した文字列が出力されます。

2.3.183 JMN1294I-S

レベル番号の後のデータ名として'@1@'を指定することはできません。次のレベル番号まで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : レベル番号の後のデータ名

2.3.184 JMN1298I-S

OCCURS句中に指定されている@1@指定の構文が誤っています。OCCURS句中のそれ以降の指定が無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : DEPENDING ON,KEY IS,INDEXED BY

例題

```
[C1298.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1298.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 TBL1.
000006 02 DATA-1 PIC X OCCURS 2 ASCENDING KEY "C1298".
000007 END PROGRAM     C1298.
```

C1298.cob 6: JMN1298I-S OCCURS句中に指定されているKEY IS指定の構文が誤っています。OCCURS句中のそれ以降の指定が無効になります。

2.3.185 JMN1299I-S

AQL変数宣言節中にINCLUDE AQLCA文は指定できません。

例題

```
[C1299.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1299.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC AQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006     EXEC AQL INCLUDE AQLCA END-EXEC.
000007     EXEC AQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000008 END PROGRAM      C1299.
```

C1299.cob 6: JMN1299I-S AQL変数宣言節中にINCLUDE AQLCA文は指定できません。

2.3.186 JMN1301I-S

OCCURS句は、01または77レベル項目には指定できません。

例題

```
[C1301.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1301.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WK-TBL OCCURS 2.
000006 02 DATA1 PIC 9.
000007 END PROGRAM      C1301.
```

C1301.cob 5: JMN1301I-S OCCURS句は、01または77レベル項目には指定できません。

2.3.187 JMN1302I-S

ファイル節のファイル記述(FD)項または作業場所節の01レベル項目以外に、EXTERNAL句は指定できません。

例題

```
[C1302.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1302.
000003 DATA            DIVISION.
000004 CONSTANT          SECTION.
000005 01 CONST1 PIC 9(2) VALUE 10 EXTERNAL.
000006 END PROGRAM      C1302.
```

C1302.cob 5: JMN1302I-S ファイル節のファイル記述(FD)項または作業場所節の01レベル項目以外に、EXTERNAL句は指定できません。

詳細な説明

ファイル記述項にEXTERNAL句を記述する場合の例

OK)

```
000090 DATA            DIVISION.
000100 FILE             SECTION.
```

```
000110 FD MSGFILE IS EXTERNAL.
000120 01 INFDAT.
000130 02 INFNUM PIC S9(8) BINARY.
000140 02 INFMSG PIC X(50).
```

NG)

```
000090 DATA DIVISION.
000100 FILE SECTION.
000110 FD MSGFILE
000120 01 INFDAT IS EXTERNAL.
000130 02 INFNUM PIC S9(8) BINARY.
000140 02 INFMSG PIC X(50).
```

2.3.188 JMN1303I-S

EXTERNAL句とREDEFINES句は、同じデータ項目に指定できません。REDEFINES句が無効になります。

例題

```
[C1303.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1303.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 MOJI PIC X(5) VALUE "ABCDE".
000006 01 REMOJI REDEFINES MOJI EXTERNAL.
000007 02 DATA1 PIC X.
000008 END PROGRAM C1303.
```

C1303.cob 6: JMN1303I-S EXTERNAL句とREDEFINES句は、同じデータ項目に指定できません。REDEFINES句が無効になります。

2.3.189 JMN1304I-S

ファイル節、作業場所節、定数節、連絡節または基底場所節の01レベル項目以外に、GLOBAL句は指定できません。

例題

```
[C1304.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1304.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 P1 POINTER.
000006 01 WK-TBL.
000007 02 DATA-2 PIC X(5) GLOBAL.
000008 END PROGRAM C1304.
```

C1304.cob 7: JMN1304I-S ファイル節、作業場所節、定数節、連絡節または基底場所節の01レベル項目以外に、GLOBAL句は指定できません。

2.3.190 JMN1305I-S

ファイル管理記述項にはASSIGN句を指定しなければなりません。

例題

```
[C1305.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1305.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
```

```
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT INFILE.
000007 END PROGRAM C1305.
```

C1305.cob 6: JMN1305I-S ファイル管理記述項にはASSIGN句を指定しなければなりません。

2.3.191 JMN1306I-S

ASSIGN句の編成とORGANIZATION句の編成が矛盾しています。ORGANIZATION句は無効になります。

例題

```
[C1306.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C1306.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007 SELECT INFILE ASSIGN TO DB1-RDB-SYS1
000008 ORGANIZATION IS RELATIVE.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 FD INFILE.
000012 01 INREC.
000013 02 KEY1 PIC X(80).
000014 END PROGRAM C1306.
```

C1306.cob 7: JMN1323I-S 索引ファイルには、RECORD KEY句を指定しなければなりません。

C1306.cob 8: JMN1306I-S ASSIGN句の編成とORGANIZATION句の編成が矛盾しています。ORGANIZATION句は無効になります。

2.3.192 JMN1307I-S

ASSIGN句の編成とORGANIZATION句の編成が矛盾しています。ASSIGN句は無効になります。

例題

```
[C1307.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C1307.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007 SELECT INFILE ASSIGN TO DB1-D-SYS1
000008 ORGANIZATION IS RELATIVE.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 FD INFILE.
000012 01 INREC.
000013 02 KEY1 PIC X(80).
000014 END PROGRAM C1307.
```

C1307.cob 7: JMN1307I-S ASSIGN句の編成とORGANIZATION句の編成が矛盾しています。ASSIGN句は無効になります。

2.3.193 JMN1308I-S

RDBファイルの場合、ORGANIZATION句にはINDEXEDを指定しなければなりません。INDEXEDが指定されたものとみなします。

例題

```
[C1308.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C1308.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT INFILE ASSIGN TO DB1-RDB-SYS1
000008     RECORD KEY IS KEY1.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 FD INFILE.
000012 01 INREC.
000013 02 KEY1 PIC X(80).
000014 END PROGRAM C1308.
```

C1308.cob 7: JMN1308I-S RDBファイルの場合、ORGANIZATION句にはINDEXEDを指定しなければなりません。INDEXEDが指定されたものとみなします。

2.3.194 JMN1309I-S

順ファイルの場合、ACCESS MODE句はSEQUENTIALでなければなりません。SEQUENTIALとみなします。

例題

```
[C1309.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1309.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT INFILE ASSIGN TO SYS1
000007     ACCESS MODE IS DYNAMIC.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD INFILE.
000011 01 INREC.
000012 02 KEY1 PIC X(80).
000013 END PROGRAM C1309.
```

C1309.cob 7: JMN1309I-S 順ファイルの場合、ACCESS MODE句はSEQUENTIALでなければなりません。SEQUENTIALとみなします。

2.3.195 JMN1310I-S

直接編成ファイル、相対編成ファイルまたはインデックスつき編成ファイルの場合、ACCESS MODE句にDYNAMICは指定できません。RANDOMとみなします。

例題

```
[C1310.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1310.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS014-DA-I-OUTDATA
000007     RECORD KEY IS SQFRKEY
000008     NOMINAL KEY IS SQFNKEY
000009     ACCESS MODE IS DYNAMIC
000010 .
```

```

000011 DATA          DIVISION.
000012 FILE           SECTION.
000013 FD SQFILE1.
000014 01 SQF1REC.
000015 02 SQFRKEY     PIC X.
000016 02 SQFID001   PIC X(256).
000017 02 SQFDAT     PIC X(30).
000018 WORKING-STORAGE SECTION.
000019 01 SQFNKEY    PIC X.
000020 END PROGRAM C1310.

```

C1310.cob 6: JMN148II-E 'インデックスつき編成ファイル'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

C1310.cob 8: JMN148II-E 'NOMINAL KEY'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

C1310.cob 9: JMN1310I-S 直接編成ファイル, 相対編成ファイルまたはインデックスつき編成ファイルの場合, ACCESS MODE句にDYNAMICは指定できません。RANDOMとみなします。

2.3.196 JMN1312I-S

ALTERNATEまたはNO指定のRESERVE句は, 順ファイル, 相対編成ファイル, インデックスつき編成ファイルまたは直接編成ファイルにのみ指定できます。

例題

```

[C1312.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     C1312.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN S1-VS-NAME
000007     ORGANIZATION RELATIVE
000008     RESERVE NO ALTERNATE
000009     .
000010 DATA          DIVISION.
000011 FILE           SECTION.
000012 FD IN-F.
000013 01 IN-R     PIC X(80).
000014 END PROGRAM   C1312.

```

C1312.cob 8: JMN1312I-S ALTERNATEまたはNO指定のRESERVE句は, 順ファイル, 相対編成ファイル, インデックスつき編成ファイルまたは直接編成ファイルにのみ指定できます。

2.3.197 JMN1313I-S

TRACK-AREA句は, 乱呼出しのインデックスつき編成ファイル以外に指定できません。

例題

```

[C1313.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     C1313.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN I-SYS000
000007     ORGANIZATION INDEXED
000008     ACCESS MODE IS RANDOM
000009     RECORD KEY IS IN-R
000010     TRACK-AREA IS 8
000011     .
000012 DATA          DIVISION.

```

```
000013 FILE          SECTION.
000014 FD  IN-F.
000015 01  IN-R  PIC X(80).
000016 END PROGRAM C1313.
```

C1313.cob 10: JMN1313I-S TRACK-AREA句は、乱呼出しのインデックスつき編成ファイル以外に指定できません。

2.3.198 JMN1314I-S

TRACK-LIMIT句は、直接編成ファイル以外に指定できません。

例題

```
[C1314.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1314.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN SYS000
000007     ACCESS MODE IS SEQUENTIAL
000008     TRACK-LIMIT IS 1
000009     .
000010 DATA           DIVISION.
000011 FILE             SECTION.
000012 FD  IN-F.
000013 01  IN-R  PIC X(80).
000014 END PROGRAM     C1314.
```

C1314.cob 8: JMN1314I-S TRACK-LIMIT句は、直接編成ファイル以外に指定できません。

2.3.199 JMN1315I-S

直接編成ファイル、相対編成ファイルまたはインデックスつき編成ファイルに、FILE STATUS句は指定できません。

例題

```
[C1315.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1315.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN SYS000-DA-S1-D-NAME
000007     ACCESS MODE IS SEQUENTIAL
000008     ACTUAL KEY IS K1
000009     FILE STATUS IS FSTAT
000010     .
000011 DATA           DIVISION.
000012 FILE             SECTION.
000013 FD  IN-F.
000014 01  IN-R  PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01  FSTAT      PIC XX.
000017 01  K1        PIC X(10).
000018 END PROGRAM     C1315.
```

C1315.cob 6: JMN148II-E '直接編成ファイル'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

C1315.cob 8: JMN148II-E 'ACTUAL KEY'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

C1315.cob 9: JMN1315I-S 直接編成ファイル、相対編成ファイルまたはインデックスつき編成ファイルに、FILE STATUS句は指定できません。

2.3.200 JMN1317I-S

CONTROL AREA句は、表示ファイル以外に指定できません。

例題

```
[C1317.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1317.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN SYS000
000007     CONTROL AREA IS ABC
000008     .
000009 DATA            DIVISION.
000010 FILE            SECTION.
000011 FD IN-F.
000012 01 IN-R PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 ABC PIC XX.
000015 END PROGRAM     C1317.
```

C1317.cob 7: JMN1317I-S CONTROL AREA句は、表示ファイル以外に指定できません。

2.3.201 JMN1318I-S

NOMINAL KEY句は、インデックスつき編成ファイル以外に指定できません。

例題

```
[C1318.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1318.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN SYS000
000007     NOMINAL KEY IS K1
000008     .
000009 DATA            DIVISION.
000010 FILE            SECTION.
000011 FD IN-F.
000012 01 IN-R PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 K1 PIC XX.
000015 END PROGRAM     C1318.
```

C1318.cob 7: JMN1318I-S NOMINAL KEY句は、インデックスつき編成ファイル以外に指定できません。

C1318.cob 7: JMN148II-E 'NOMINAL KEY'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

2.3.202 JMN1319I-S

相対ファイル以外に、RELATIVE KEY句は指定できません。

例題

```
[C1319.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1319.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
```

```

000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT INFILE ASSIGN TO SYS001
000007     RELATIVE KEY IS KEY1.
000008 DATA          DIVISION.
000009 FILE           SECTION.
000010 FD  INFILE.
000011 01  INREC.
000012 02  KEY1  PIC 9(4).
000013 02  BDDAT PIC X(80).
000014 END PROGRAM C1319.

```

C1319.cob 7: JMN1319I-S 相対ファイル以外に、RELATIVE KEY句は指定できません。

C1319.cob 7: JMN148II-E 'RELATIVE KEY'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

2.3.203 JMN1320I-S

乱呼出しまたは動的呼出しの相対ファイルには、RELATIVE KEY句を指定しなければなりません。

例題

```

[C1320.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1320.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT INFILE ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS RELATIVE
000008     ACCESS MODE  IS DYNAMIC.
000009 DATA          DIVISION.
000010 FILE           SECTION.
000011 FD  INFILE.
000012 01  INREC.
000013 02  KEY1  PIC X(80).
000014 END PROGRAM  C1320.

```

C1320.cob 6: JMN1320I-S 乱呼出しまたは動的呼出しの相対ファイルには、RELATIVE KEY句を指定しなければなりません。

2.3.204 JMN1321I-S

乱呼出しのインデックスつき編成ファイルにはNOMINAL KEY句を指定しなければなりません。

例題

```

[C1321.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1321.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN SYS000-DA-S1-I-NAME
000007     ACCESS MODE IS RANDOM
000008     RECORD KEY IS IN-R
000009     TRACK-AREA IS 32
000010     .
000011 DATA          DIVISION.
000012 FILE           SECTION.
000013 FD  IN-F.
000014 01  IN-R  PIC X(80).
000015 END PROGRAM C1321.

```

C1321.cob 6: JMN1321I-S 乱呼出しのインデックスつき編成ファイルにはNOMINAL KEY句を指定しなければなりません。

C1321.cob 6: JMN148II-E 'インデックスつき編成ファイル'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

C1321.cob 9: JMN1478I-W このシステムでは, 'TRACK-AREA'は注釈として扱います。

2.3.205 JMN1322I-S

索引ファイル以外に, RECORD KEY句は指定できません。

例題

```
[C1322.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1322.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT INFILE ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS SEQUENTIAL
000008     RECORD KEY IS KEY1.
000009 DATA            DIVISION.
000010 FILE             SECTION.
000011 FD INFILE.
000012 01 INREC.
000013 02 KEY1        PIC X(80).
000014 END PROGRAM C1322.
```

C1322.cob 8: JMN1322I-S 索引ファイル以外に, RECORD KEY句は指定できません。

2.3.206 JMN1323I-S

索引ファイルには, RECORD KEY句を指定しなければなりません。

例題

```
[C1323.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1323.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT INFILE ASSIGN TO DISK
000007     ORGANIZATION IS INDEXED.
000008 DATA            DIVISION.
000009 FILE             SECTION.
000010 FD INFILE.
000011 01 INREC.
000012 02 KEY1        PIC X(80).
000013 END PROGRAM    C1323.
```

C1323.cob 6: JMN1323I-S 索引ファイルには, RECORD KEY句を指定しなければなりません。

2.3.207 JMN1324I-S

ACTUAL KEY句は, 直接編成ファイル以外に指定できません。

例題

```
[C1324.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1324.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
```

```

000006 SELECT IN-F ASSIGN SYS001
000007 ACTUAL KEY IS FKEY1
000008 .
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 FD IN-F.
000012 01 INFILED.
000013 02 FKEY1 PIC 9(4).
000014 02 IN-R PIC X(80).
000015 END PROGRAM C1324.

```

C1324.cob 7: JMN1324I-S ACTUAL KEY句は、直接編成ファイル以外に指定できません。

C1324.cob 7: JMN148II-E 'ACTUAL KEY'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

2.3.208 JMN1325I-S

乱呼出しの直接編成ファイルには、ACTUAL KEY句を指定しなければなりません。

例題

```

[C1325.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1325.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT IN-F ASSIGN D-SYS001
000007 ACCESS MODE IS RANDOM
000008 TRACK-LIMIT IS 100
000009 .
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD IN-F.
000013 01 IN-R PIC X(80).
000014 END PROGRAM C1325.

```

C1325.cob 6: JMN1325I-S 乱呼出しの直接編成ファイルには、ACTUAL KEY句を指定しなければなりません。

C1325.cob 6: JMN148II-E '直接編成ファイル'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

2.3.209 JMN1326I-S

ALTERNATE RECORD KEY句は、索引ファイル以外に指定できません。

例題

```

[C1326.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1326.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT IN-F ASSIGN SYS000
000007 RECORD KEY IS FNO
000008 ALTERNATE RECORD KEY IS FGPNO
000009 .
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD IN-F.
000013 01 IN-R.
000014 02 FNO PIC 9(4).
000015 02 FGP PIC 9(4).

```

```
000016 02 FNAME PIC X(30).
000017 END PROGRAM C1326.
```

C1326.cob 7: JMN1322I-S 索引ファイル以外に、RECORD KEY句は指定できません。

C1326.cob 8: JMN1326I-S ALTERNATE RECORD KEY句は、索引ファイル以外に指定できません。

2.3.210 JMN1327I-S

RECORD KEY句のDUPLICATES指定は、索引ファイル以外に記述できません。

例題

```
[C1327.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1327.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT IN-F ASSIGN I-SYS000
000007 RECORD KEY IS FNO WITH DUPLICATES
000008 ORGANIZATION IS SEQUENTIAL
000009 WITH DUPLICATES
000010 .
000011 DATA DIVISION.
000012 FILE SECTION.
000013 FD IN-F.
000014 01 IN-R.
000015 02 FNO PIC 9(4).
000016 02 FNAME PIC X(30).
000017 END PROGRAM C1327.
```

C1327.cob 7: JMN1322I-S 索引ファイル以外に、RECORD KEY句は指定できません。

C1327.cob 9: JMN1327I-S RECORD KEY句のDUPLICATES指定は、索引ファイル以外に記述できません。

2.3.211 JMN1329I-S

無名項目に対して、EXTERNAL句またはGLOBAL句を指定することはできません。EXTERNAL句またはGLOBAL句は、無効になります。

例題

```
[C1329.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1329.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 PIC X IS GLOBAL.
000006 01 PIC 9 IS EXTERNAL.
000007 01 FILLER PIC X IS GLOBAL.
000008 01 FILLER PIC 9 IS EXTERNAL.
000009 END PROGRAM C1329.
```

C1329.cob 5: JMN1329I-S 無名項目に対して、EXTERNAL句またはGLOBAL句を指定することはできません。EXTERNAL句またはGLOBAL句は、無効になります。

C1329.cob 6: JMN1329I-S 無名項目に対して、EXTERNAL句またはGLOBAL句を指定することはできません。EXTERNAL句またはGLOBAL句は、無効になります。

C1329.cob 7: JMN1329I-S 無名項目に対して、EXTERNAL句またはGLOBAL句を指定することはできません。EXTERNAL句またはGLOBAL句は、無効になります。

C1329.cob 8: JMN1329I-S 無名項目に対して、EXTERNAL句またはGLOBAL句を指定することはできません。EXTERNAL句またはGLOBAL句は、無効になります。

2.3.212 JMN1330I-S

ファイル識別名 '@1@' の名前に誤りがあります。ファイル識別名は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : ファイル識別名

例題

```
[C1330.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C1330.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007 SELECT IN-F ASSIGN SYS000000.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD IN-F.
000011 01 IN-R PIC X(80).
000012 END PROGRAM C1330.
```

C1330.cob 7: JMN1330I-S ファイル識別名 'SYS000000' の名前に誤りがあります。ファイル識別名は無効になります。

C1330.cob 10: JMN2005I-S ファイル記述項または整列併合用ファイル記述項に指定したファイル名は、ファイル管理段落のSELECT句で定義しなければなりません。順ファイルとみなします。

2.3.213 JMN1338I-I

(CONF)LANGLVL(74)オプションの場合、英小文字のa~z、また、LANGLVL(68)の場合、英小文字のa~z、特殊文字の/, =は、CURRENCY SIGN句の通貨編集文字に指定することができます。

例題

```
[C1338.cob]
000001 @OPTIONS CONF (74), LANGLVL (85)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C1338.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007 CURRENCY SIGN IS "a".
000008 END PROGRAM C1338.
```

C1338.cob 7: JMN1359I-S "a"は、通貨編集用文字として指定できません。

C1338.cob 7: JMN1338I-I (CONF)LANGLVL(74)オプションの場合、英小文字のa~z、また、LANGLVL(68)の場合、英小文字のa~z、特殊文字の/, =は、CURRENCY SIGN句の通貨編集文字に指定することができます。

2.3.214 JMN1339I-I

(CONF)LANGLVL(68)オプションの場合、PICTURE文字列の編集用文字/は無効になります。

例題

```
[C1339.cob]
000001 @OPTIONS CONF (68), LANGLVL (85)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000003 PROGRAM-ID.      C1339.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 CONFIGURATION   SECTION.
000006 DATA           DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 DATA-1     PIC 9/9.
000009 END PROGRAM     C1339.

```

C1339.cob 8: JMN1339I-I (CONF)LANGLVL(68)オプションの場合、PICTURE文字列の編集用文字'/'は無効になります。

2.3.215 JMN1340I-I

(CONF)手続き部で、特殊レジスタSORT-STATUSが参照されています。

例題

```

[C1340.cob]
000001 @OPTIONS CONF (74, V4), LANGLVL (85)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C1340.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT SORT-F ASSIGN TO SFILE.
000008     SELECT OUT-F  ASSIGN TO OUTFILE.
000009 DATA           DIVISION.
000010 FILE           SECTION.
000011 FD  OUT-F.
000012 01  OUT-R      PIC X(160).
000013 SD  SORT-F.
000014 01  SORT-R.
000015 02  DATA-1   PIC X(80).
000016 02  KEY1     PIC 9.
000017 PROCEDURE     DIVISION.
000018     SORT SORT-F ASCENDING KEY KEY1
000019             INPUT PROCEDURE A
000020             GIVING OUT-F.
000021 A.
000022     DISPLAY SORT-STATUS
000023 END PROGRAM     C1340.

```

C1340.cob 22: JMN1340I-I (CONF)手続き部で、特殊レジスタSORT-STATUSが参照されています。

2.3.216 JMN1342I-I

(CONF)PROGRAM-ID段落の指定がないか、または、プログラム名に誤りがあります。プログラム名を'NOPRGMID'とみなします。

例題

```

[1342.cob]
000001 @OPTIONS CONF (74, V4), LANGLVL (85)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      1342.
000004 END PROGRAM     1342.

```

1342.cob 3: JMN1107I-S プログラム名として指定できない文字列が指定されました。またはプログラム名が指定されていません。プログラム名を生成し、次の段落または部まで無効になります。

1342.cob 3: JMN1342I-I (CONF)PROGRAM-ID段落の指定がないか、または、プログラム名に誤りがあります。プログラム名を'NOPRGMID'とみなします。

1342.cob 4: JMN1049I-S プログラム終わり見出しに終止符がありません。または、誤った語が現れました。

2.3.217 JMN1343I-I

(CONF)PROGRAM COLLATING SEQUENCE句に、ALSO付きの定数指定を記述した符号系名が指定されていて、かつ表意定数HIGH-VALUEまたはLOW-VALUEが参照されています。

例題

```
[C1343.cob]
000001 @OPTIONS CONF(74,V10),LANGVL(85)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C1343.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 OBJECT-COMPUTER. OBJ1
000007 PROGRAM COLLATING SEQUENCE IS HUGO1.
000008 SPECIAL-NAMES.
000009 ALPHABET HUGO1 IS LOW-VALUE ALSO HIGH-VALUE.
000010 DATA DIVISION.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 DATA-1 PIC 9(4).
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014 IF DATA-1 = HIGH-VALUE THEN
000015 DISPLAY "HIGH-VALUE!"
000016 END-IF.
000017 END PROGRAM C1343.
```

C1343.cob 14: JMN1343I-I (CONF)PROGRAM COLLATING SEQUENCE句に、ALSO付きの定数指定を記述した符号系名が指定されていて、かつ表意定数HIGH-VALUEまたはLOW-VALUEが参照されています。

2.3.218 JMN1353I-S

WITH DEBUGGING MODE句の構文に誤りがあります。

例題

```
[C1353.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1353.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SOURCE-COMPUTER.
000006 S-COMP WITH DEBUG MODE.
000007 END PROGRAM C1353.
```

C1353.cob 6: JMN1353I-S WITH DEBUGGING MODE句の構文に誤りがあります。

2.3.219 JMN1354I-W

TRACK-AREA句の整数は、8の倍数でなければなりません。整数を8の倍数で切り捨てます。

例題

```
[C1354.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1354.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT MSGFILE ASSIGN TO I-INFILE
000007 ACCESS MODE IS RANDOM
000008 RECORD KEY IS INFNUM
000009 NOMINAL KEY IS WINF
```



```

000010 TRACK-AREA IS 9
000011 .
000012 DATA DIVISION.
000013 FILE SECTION.
000014 FD MSGFILE.
000015 01 INFDAT.
000016 02 INFNUM PIC S9(8) BINARY.
000017 02 INFMSG PIC X(50).
000018 WORKING-STORAGE SECTION.
000019 01 WINF PIC S9(8) BINARY.
000020 END PROGRAM C1354.

```

C1354.cob 6: JMN148II-E 'インデックスつき編成ファイル'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

C1354.cob 9: JMN148II-E 'NOMINAL KEY'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

C1354.cob 10: JMN1354I-W TRACK-AREA句の整数は、8の倍数でなければなりません。整数を8の倍数で切り捨てます。

C1354.cob 10: JMN1478I-W このシステムでは、'TRACK-AREA'は注釈として扱います。

2.3.220 JMN1355I-S

レベル88項目は、レベル番号01～49の項目かレベル番号77の項目を先行して指定しなければなりません。レベル88項目は無効になります。

例題

```

[C1355.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1355.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 88 WK1 VALUE 0.
000006 01 WORK1 PIC 9.
000007 END PROGRAM C1355.

```

C1355.cob 5: JMN1355I-S レベル88項目は、レベル番号01～49の項目かレベル番号77の項目を先行して指定しなければなりません。レベル88項目は無効になります。

2.3.221 JMN1356I-W

見出し部中に誤った語 '@1@' が指定されています。次の段落または部まで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 誤った語

例題

```

[C1356.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1356 1122.
000003 END PROGRAM C1356.

```

C1356.cob 2: JMN1356I-W 見出し部中に誤った語 '1122' が指定されています。次の段落または部まで無効になります。

2.3.222 JMN1357I-S

レベル番号66の直後には、データ名を指定しなければなりません。

例題

```

[C1357.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.

```

```
000002 PROGRAM-ID.      C1357.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01  A1  PIC X.
000006 66             RENAMES A1.
000007 END PROGRAM      C1357.
```

C1357.cob 6: JMN1357I-S レベル番号66の直後には、データ名を指定しなければなりません。

2.3.223 JMN1358I-W

REDEFINES句は、データ記述項の最初の句でなければなりません。REDEFINES句は、有効になります。

例題

```
[C1358.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1358.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01  A1  PIC X.
000006 01  B1 GLOBAL REDEFINES A1.
000007 END PROGRAM      C1358.
```

C1358.cob 6: JMN2222I-S PICTURE句がありません。PICTURE 9が指定されたものとみなします。

C1358.cob 6: JMN1358I-W REDEFINES句は、データ記述項の最初の句でなければなりません。REDEFINES句は、有効になります。

2.3.224 JMN1359I-S

@1@は、通貨編集用文字として指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : 誤った語

例題

```
[C1359.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1359.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006 CURRENCY SIGN IS "A".
000007 END PROGRAM      C1359.
```

C1359.cob 6: JMN1359I-S "A"は、通貨編集用文字として指定できません。

詳細な説明

CURRENCY SIGN句の定数-1に、以下の文字を指定してはいけません。

- 数字0～9
- 英大文字A, B, C, D, E, G, N, P, R, S, V, X, Z, 英小文字a～z, または空白
- 特殊文字“*”, “+”, “-”, “,”, “.”, “;”, “(”, “)”, “/”, “=”または“””

2.3.225 JMN1360I-S

ALPHABET句のTHROUGH指定またはALSO指定には、符号なし整数、文字定数または表意定数を指定しなければなりません。符号系名'@1@'は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 符号系名

例題

```
[C1360.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1360.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     ALPHABET ALP1 IS 1 THROUGH -1.
000007 END PROGRAM     C1360.
```

C1360.cob 6: JMN1360I-S ALPHABET句のTHROUGH指定またはALSO指定には、符号なし整数、文字定数または表意定数を指定しなければなりません。符号系名'ALP1'は、無効になります。

2.3.226 JMN1362I-S

ファイル識別名 '@1@' の編成に誤りがあります。ファイル識別名は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : ファイル識別名

例題

```
[C1362.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C1362.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT IN-F ASSIGN SYS000-DA-S1-SP-NAME.
000008 DATA            DIVISION.
000009 FILE            SECTION.
000010 FD IN-F.
000011 01 IN-R PIC X(80).
000012 END PROGRAM     C1362.
```

C1362.cob 7: JMN1362I-S ファイル識別名'SYS000-DA-S1-SP-NAME'の編成に誤りがあります。ファイル識別名は無効になります。

C1362.cob 10: JMN2005I-S ファイル記述項または整列併合用ファイル記述項に指定したファイル名は、ファイル管理段落のSELECT句で定義しなければなりません。順ファイルとみなします。

2.3.227 JMN1363I-W

ファイル識別名の装置クラスがPTRまたはPTPの場合、編成は'S'でなければなりません。装置クラスは無効になります。

例題

```
[C1363.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C1363.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT IN-F ASSIGN SYS000-PTR-S1-SP-NAME.
```

```
000008 DATA          DIVISION.
000009 FILE            SECTION.
000010 FD  IN-F.
000011 01  IN-R  PIC X(80).
000012 END PROGRAM    C1363.
```

C1363.cob 7: JMN1363I-W ファイル識別名の装置クラスがPTRまたはPTPの場合、編成は'S'でなければなりません。装置クラスは無効になります。

2.3.228 JMN1371I-S

ファイル識別名 '@1@' のデータベース名またはテーブル名に誤りがあります。

埋め込みの説明

@1@ : ファイル識別名

例題

```
[C1371.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION  DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.     C1371.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007   SELECT IN-F  ASSIGN TO SYS000-DA-S1-RDB-D1.
000008 DATA           DIVISION.
000009 FILE             SECTION.
000010 FD  IN-F.
000011 01  IN-R  PIC X(80).
000012 END PROGRAM    C1371.
```

C1371.cob 7: JMN1371I-S ファイル識別名 'SYS000-DA-S1-RDB-D1' のデータベース名またはテーブル名に誤りがあります。

C1371.cob 10: JMN2005I-S ファイル記述項または整列併合用ファイル記述項に指定したファイル名は、ファイル管理段落のSELECT句で定義しなければなりません。順ファイルとみなします。

2.3.229 JMN1373I-S

整列併合用ファイルに対してレコード形式Uの指定はできません。

例題

```
[C1373.cob]
000001 IDENTIFICATION  DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     C1373.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006   SELECT IN-F  ASSIGN SYS000.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE             SECTION.
000009 SD  IN-F  RECORDING MODE IS U.
000010 01  IN-R  PIC X(80).
000011 END PROGRAM    C1373.
```

C1373.cob 9: JMN1373I-S 整列併合用ファイルに対してレコード形式Uの指定はできません。

2.3.230 JMN1376I-S

レベル番号 '@1@' の直後に許されない語 '@2@' が指定されています。このデータ記述項を無名項目とみなします。

埋め込みの説明

- @1@ : レベル番号
- @2@ : 許されない語

例題

```
[C1376.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1376.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 123 PIC 9.
000006 END PROGRAM      C1376.
```

C1376.cob 5: JMN1376I-S レベル番号'01'の直後に許されない語'123'が指定されています。このデータ記述項を無名項目とみなします。

詳細な説明

データ名は利用者語の規則に従って記述してください。

2.3.231 JMN1377I-S

02-49レベル項目は、66レベル項目の直後に記述できません。01レベル項目とみなします。

例題

```
[C1377.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1377.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WORK1.
000006 02 NAMEINF PIC 1(8).
000007 02 NAMELG PIC S9(4) BINARY.
000008 02 NAMESP PIC X(30).
000009 66 NAME-FIX RENAMES NAMEINF THRU NAMELG.
000010 02 WORK2 PIC 9.
000011 END PROGRAM C1377.
```

C1377.cob 10: JMN1377I-S 02-49レベル項目は、66レベル項目の直後に記述できません。01レベル項目とみなします。

2.3.232 JMN1388I-W

機能名句で指定した'IS'の直後に呼び名が指定されていません。'IS'は無効になります。

例題

```
[C1388.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1388.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006 SWITCH-O IS ON STATUS IS SW1.
000007 END PROGRAM      C1388.
```

C1388.cob 6: JMN1388I-W 機能名句で指定した'IS'の直後に呼び名が指定されていません。'IS'は無効になります。

2.3.233 JMN1390I-S

基底場所節の01または77レベル項目以外に、BASED ON句は指定できません。

例題

```
[C1390.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1390.
000003 DATA             DIVISION.
000004 BASED-STORAGE    SECTION.
000005 01 BS-TBL.
000006 02 DATA-1 PIC X(5) BASED ON P1.
000007 END PROGRAM      C1390.
```

C1390.cob 6: JMN1390I-S 基底場所節の01または77レベル項目以外に、BASED ON句は指定できません。

2.3.234 JMN1391I-S

REDEFINES句とBASED ON句は、同じデータ項目に指定できません。BASED ON句が無効になります。

例題

```
[C1391.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1391.
000003 DATA             DIVISION.
000004 BASED-STORAGE    SECTION.
000005 01 BS-TBL.
000006 02 DATA-1 PIC X(5).
000007 02 DATA-2 PIC X(3).
000008 01 RE-TBL REDEFINES BS-TBL BASED ON P1.
000009 02 REDATA-1 PIC X(4).
000010 02 REDATA-2 PIC X(4).
000011 END PROGRAM      C1391.
```

C1391.cob 8: JMN1391I-S REDEFINES句とBASED ON句は、同じデータ項目に指定できません。BASED ON句が無効になります。

2.3.235 JMN1393I-S

SYMBOLIC CONSTANT句の構文に誤りがあります。

例題

```
[C1393.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1393.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     SYMBOLIC CONSTANT
000007     VALUES IS 10.
000008 END PROGRAM      C1393.
```

C1393.cob 6: JMN1393I-S SYMBOLIC CONSTANT句の構文に誤りがあります。

詳細な説明

記号定数は利用者語の規則に従って記述してください。

2.3.236 JMN1394I-S

SYMBOLIC CONSTANT句の定数は、数値定数、文字定数、日本語定数、ブール定数または16進文字定数でなければなりません。

例題

```
[C1394.cob]
000001 @OPTIONS NOSD
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C1394.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007 SYMBOLIC CONSTANT
000008 CON1 IS CON2
000009
000010 END PROGRAM C1394.
```

C1394.cob 8: JMN1394I-S SYMBOLIC CONSTANT句の定数は、数字定数、文字定数、日本語定数、ブール定数または16進文字定数でなければなりません。

2.3.237 JMN1395I-S

記号定数'@1@'が一意ではありません。

埋め込みの説明

@1@ : 記号定数の名標

例題

```
[C1395.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1395.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006 SYMBOLIC CONSTANT
000007 CON1 IS 1
000008 CON2 IS 2
000009 CON1 IS 3.
000010 DATA DIVISION.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 DATA-1 PIC 9 VALUE CON1.
000013 END PROGRAM C1395.
```

C1395.cob 12: JMN1395I-S 記号定数'CON1'が一意ではありません。

C1395.cob 12: JMN1127I-S VALUE句の構文に誤りがあります。

2.3.238 JMN1396I-S

記号定数'@1@'は@2@句に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : 記号定数の名標

@2@ : 記号定数の指定できる各句

例題

```
[C1396.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1396.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006 SYMBOLIC CONSTANT
```

```

000007      CON1 IS "MAX".
000008 DATA          DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01  WK-TBL.
000011 02  ITEM1 PIC X OCCURS CON1.
000012 END PROGRAM    C1396.

```

C1396.cob 11: JMN1396I-S 記号定数'CON1'はOCCURS句に指定できません。

C1396.cob 11: JMN1127I-S OCCURS句の構文に誤りがあります。

2.3.239 JMN1397I-S

基底場所節, ファイル節, 作業場所節, 定数節または連絡節の01レベル項目以外にGLOBAL句は指定できません。

例題

```

[C1397.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1397.
000003 DATA            DIVISION.
000004 BASED-STORAGE   SECTION.
000005 01  WK-TBL.
000006 02  ITEM1 IS GLOBAL.
000007 03  ITEM2 PIC 9.
000008 END PROGRAM     C1397.

```

C1397.cob 6: JMN1397I-S 基底場所節, ファイル節, 作業場所節, 定数節または連絡節の01レベル項目以外にGLOBAL句は指定できません。

2.3.240 JMN1401I-S

[Win32]

PICTURE文字列で, 数字のけた数は1以上18以下でなければなりません。 PICTURE 9とみなします。

[Winx64]

PICTURE文字列で, 数字のけた数は1以上@1@以下でなければなりません。 PICTURE 9とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : PICTURE文字列に指定可能な数字の最大けた数

例題

```

[C1401.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     C1401.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01  A PIC S9(19).
000007 01  B PIC *(19).
000008 01  C PIC 9(10)P(9).
000009 END PROGRAM     C1401.

```

C1401.cob 6: JMN1401I-S PICTURE文字列で, 数字のけた数は1以上18以下でなければなりません。 PICTURE 9とみなします。

C1401.cob 7: JMN1401I-S PICTURE文字列で, 数字のけた数は1以上18以下でなければなりません。 PICTURE 9とみなします。

C1401.cob 8: JMN1401I-S PICTURE文字列で, 数字のけた数は1以上18以下でなければなりません。 PICTURE 9とみなします。

2.3.241 JMN1402I-S

PICTURE文字列で、'S'、'V'、'.'、'CR'および'DB'は、1個しか書けません。 PICTURE 9とみなします。

例題

```
[C1402.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1402.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC SS9.
000007 01 B PIC V9V.
000008 01 C PIC 9.9.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 STOP RUN.
```

C1402.cob 6: JMN1402I-S PICTURE文字列で、'S'、'V'、'.'、'CR'および'DB'は、1個しか書けません。 PICTURE 9とみなします。

C1402.cob 7: JMN1402I-S PICTURE文字列で、'S'、'V'、'.'、'CR'および'DB'は、1個しか書けません。 PICTURE 9とみなします。

C1402.cob 8: JMN1402I-S PICTURE文字列で、'S'、'V'、'.'、'CR'および'DB'は、1個しか書けません。 PICTURE 9とみなします。

2.3.242 JMN1404I-S

PICTURE文字列で、'S'は左端の文字でなければなりません。 PICTURE 9とみなします。

例題

```
[C1404.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1404.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 9S.
000007 01 B PIC OS9.
000008 01 C PIC VS9.
000009 01 D PIC PS9.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 STOP RUN.
```

C1404.cob 6: JMN1404I-S PICTURE文字列で、'S'は左端の文字でなければなりません。 PICTURE 9とみなします。

C1404.cob 7: JMN1404I-S PICTURE文字列で、'S'は左端の文字でなければなりません。 PICTURE 9とみなします。

C1404.cob 8: JMN1404I-S PICTURE文字列で、'S'は左端の文字でなければなりません。 PICTURE 9とみなします。

C1404.cob 9: JMN1404I-S PICTURE文字列で、'S'は左端の文字でなければなりません。 PICTURE 9とみなします。

2.3.243 JMN1405I-S

PICTURE文字列で、'P'が誤った位置に指定されています。 PICTURE 9とみなします。

例題

```
[C1405.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1405.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 9PB.
000007 01 B PIC BP9.
000008 01 C PIC PV9.
000009 01 D PIC P9V.
```

```
000010 01 E PIC ++P9.
000011 01 F PIC P9P.
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013     STOP RUN.
```

C1405.cob 6: JMN1405I-S PICTURE文字列で、'P'が誤った位置に指定されています。PICTURE 9とみなします。

C1405.cob 7: JMN1405I-S PICTURE文字列で、'P'が誤った位置に指定されています。PICTURE 9とみなします。

C1405.cob 8: JMN1405I-S PICTURE文字列で、'P'が誤った位置に指定されています。PICTURE 9とみなします。

C1405.cob 9: JMN1405I-S PICTURE文字列で、'P'が誤った位置に指定されています。PICTURE 9とみなします。

C1405.cob 10: JMN1405I-S PICTURE文字列で、'P'が誤った位置に指定されています。PICTURE 9とみなします。

C1405.cob 11: JMN1405I-S PICTURE文字列で、'P'が誤った位置に指定されています。PICTURE 9とみなします。

詳細な説明

“P”は、PICTURE句の数字の桁位置の左端または右端に続けて書かなければなりません。

2.3.244 JMN1411I-S

PICTURE文字列で、'+', '-', '*', 'Z'および通貨編集用文字を浮動置換え文字として使うときには、このうち1種類しか書けません。PICTURE 9とみなします。

例題

```
[C1411.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1411.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC ++Z.
000007 01 B PIC ¥¥Z.
000008 01 C PIC *--.
000009 01 D PIC *Z.
000010 01 E PIC ++--.
000011 01 F PIC --¥¥.
000012 01 G PIC ¥¥++.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     STOP RUN.
```

C1411.cob 6: JMN1411I-S PICTURE文字列で、'+', '-', '*', 'Z'および通貨編集用文字を浮動置換え文字として使うときには、このうち1種類しか書けません。PICTURE 9とみなします。

C1411.cob 7: JMN1411I-S PICTURE文字列で、'+', '-', '*', 'Z'および通貨編集用文字を浮動置換え文字として使うときには、このうち1種類しか書けません。PICTURE 9とみなします。

C1411.cob 8: JMN1411I-S PICTURE文字列で、'+', '-', '*', 'Z'および通貨編集用文字を浮動置換え文字として使うときには、このうち1種類しか書けません。PICTURE 9とみなします。

C1411.cob 9: JMN1411I-S PICTURE文字列で、'+', '-', '*', 'Z'および通貨編集用文字を浮動置換え文字として使うときには、このうち1種類しか書けません。PICTURE 9とみなします。

C1411.cob 10: JMN1411I-S PICTURE文字列で、'+', '-', '*', 'Z'および通貨編集用文字を浮動置換え文字として使うときには、このうち1種類しか書けません。PICTURE 9とみなします。

C1411.cob 11: JMN1411I-S PICTURE文字列で、'+', '-', '*', 'Z'および通貨編集用文字を浮動置換え文字として使うときには、このうち1種類しか書けません。PICTURE 9とみなします。

C1411.cob 12: JMN1411I-S PICTURE文字列で、'+', '-', '*', 'Z'および通貨編集用文字を浮動置換え文字として使うときには、このうち1種類しか書けません。PICTURE 9とみなします。

2.3.245 JMN1412I-S

PICTURE文字列で、'9'は浮動挿入文字およびゼロ抑制文字に先行して指定できません。 PICTURE 9とみなします。

例題

```
[C1412.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1412.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 9Z.
000007 01 B PIC 9++.
000008 01 C PIC 9¥¥.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 STOP RUN.
```

C1412.cob 6: JMN1412I-S PICTURE文字列で、'9'は浮動挿入文字およびゼロ抑制文字に先行して指定できません。 PICTURE 9とみなします。

C1412.cob 7: JMN1412I-S PICTURE文字列で、'9'は浮動挿入文字およびゼロ抑制文字に先行して指定できません。 PICTURE 9とみなします。

C1412.cob 8: JMN1412I-S PICTURE文字列で、'9'は浮動挿入文字およびゼロ抑制文字に先行して指定できません。 PICTURE 9とみなします。

2.3.246 JMN1413I-S

PICTURE文字列で、小数点位置の右側に数字位置を示す2種類以上の文字は指定できません。 PICTURE 9とみなします。

例題

```
[C1413.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1413.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC *. *9.
000007 01 B PIC +V+9.
000008 01 C PIC . ¥¥9.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 STOP RUN.
```

C1413.cob 6: JMN1413I-S PICTURE文字列で、小数点位置の右側に数字位置を示す2種類以上の文字は指定できません。 PICTURE 9とみなします。

C1413.cob 7: JMN1413I-S PICTURE文字列で、小数点位置の右側に数字位置を示す2種類以上の文字は指定できません。 PICTURE 9とみなします。

C1413.cob 8: JMN1413I-S PICTURE文字列で、小数点位置の右側に数字位置を示す2種類以上の文字は指定できません。 PICTURE 9とみなします。

2.3.247 JMN1414I-S

PICTURE文字列で、'+', '-', 'CR'および'DB'は、これらのうちの1種類しか使えません。 PICTURE 9とみなします。

例題

```
[C1414.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1414.
```

```
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC +9CR.
000007 01 B PIC --DB.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009     STOP RUN.
```

C1414.cob 6: JMN1414I-S PICTURE文字列で、'+', '-', 'CR'および'DB'は、これらのうちの1種類しか使えません。PICTURE 9とみなします。

C1414.cob 7: JMN1414I-S PICTURE文字列で、'+', '-', 'CR'および'DB'は、これらのうちの1種類しか使えません。PICTURE 9とみなします。

2.3.248 JMN1416I-S

PICTURE文字列で、小数点は'V'または'P'と同時に指定できません。PICTURE 9とみなします。

例題

```
[C1416.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1416.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 9V.9.
000007 01 B PIC 9.V9.
000008 01 C PIC .P9.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010     STOP RUN.
```

C1416.cob 6: JMN1416I-S PICTURE文字列で、小数点は'V'または'P'と同時に指定できません。PICTURE 9とみなします。

C1416.cob 7: JMN1416I-S PICTURE文字列で、小数点は'V'または'P'と同時に指定できません。PICTURE 9とみなします。

C1416.cob 8: JMN1416I-S PICTURE文字列で、小数点は'V'または'P'と同時に指定できません。PICTURE 9とみなします。

2.3.249 JMN1418I-S

数字編集項目の長さは、160バイト以下でなければなりません。PICTURE 9とみなします。

例題

```
[C1418.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1418.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC /(150)9(15).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     STOP RUN.
```

C1418.cob 6: JMN1418I-S 数字編集項目の長さは、160バイト以下でなければなりません。PICTURE 9とみなします。

2.3.250 JMN1421I-S

PICTURE文字列で、固定挿入文字の'+', '-'または通貨編集用文字が誤った位置に指定されています。PICTURE 9とみなします。

例題

```
[C1421.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1421.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 9#.
000007 01 B PIC ¥+9.
000008 01 C PIC B¥9.
000009 01 D PIC V¥9.
000010 01 E PIC 9+P.
000011 01 F PIC 9+B.
000012 01 G PIC ++9+.
000013 01 H PIC ¥¥9¥.
000014 01 I PIC +9+.
000015 PROCEDURE DIVISION.
000016 STOP RUN.
```

C1421.cob 6: JMN142II-S PICTURE文字列で、固定挿入文字の'+', '-'または通貨編集用文字が誤った位置に指定されています。PICTURE 9とみなします。

C1421.cob 7: JMN142II-S PICTURE文字列で、固定挿入文字の'+', '-'または通貨編集用文字が誤った位置に指定されています。PICTURE 9とみなします。

C1421.cob 8: JMN142II-S PICTURE文字列で、固定挿入文字の'+', '-'または通貨編集用文字が誤った位置に指定されています。PICTURE 9とみなします。

C1421.cob 9: JMN142II-S PICTURE文字列で、固定挿入文字の'+', '-'または通貨編集用文字が誤った位置に指定されています。PICTURE 9とみなします。

C1421.cob 10: JMN142II-S PICTURE文字列で、固定挿入文字の'+', '-'または通貨編集用文字が誤った位置に指定されています。PICTURE 9とみなします。

C1421.cob 11: JMN142II-S PICTURE文字列で、固定挿入文字の'+', '-'または通貨編集用文字が誤った位置に指定されています。PICTURE 9とみなします。

C1421.cob 12: JMN142II-S PICTURE文字列で、固定挿入文字の'+', '-'または通貨編集用文字が誤った位置に指定されています。PICTURE 9とみなします。

C1421.cob 13: JMN142II-S PICTURE文字列で、固定挿入文字の'+', '-'または通貨編集用文字が誤った位置に指定されています。PICTURE 9とみなします。

C1421.cob 14: JMN142II-S PICTURE文字列で、固定挿入文字の'+', '-'または通貨編集用文字が誤った位置に指定されています。PICTURE 9とみなします。

2.3.251 JMN1423I-S

外部浮動小数点項目のPICTURE文字列で、仮数の数字のけた数は1以上16以下でなければなりません。PICTURE +9. E+99とみなします。

例題

```
[C1423.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1423.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC +9.9(20)E+99.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 STOP RUN.
```

C1423.cob 6: JMN1423I-S 外部浮動小数点項目のPICTURE文字列で、仮数の数字のけた数は1以上16以下でなければなりません。PICTURE +9. E+99とみなします。

2.3.252 JMN1424I-W

外部浮動小数点項目のPICTURE文字列で、仮数部および指数部には符号を指定しなければなりません。正号 '+' があつたものとみなします。

例題

```
[C1424.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1424.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 9.9E+99.
000007 01 B PIC +9.9E99.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 STOP RUN.
```

C1424.cob 6: JMN1424I-W 外部浮動小数点項目のPICTURE文字列で、仮数部および指数部には符号を指定しなければなりません。正号 '+' があつたものとみなします。

C1424.cob 7: JMN1424I-W 外部浮動小数点項目のPICTURE文字列で、仮数部および指数部には符号を指定しなければなりません。正号 '+' があつたものとみなします。

2.3.253 JMN1425I-S

PICTURE文字列で、'E'は二つ以上指定できません。PICTURE +9. E+99とみなします。

例題

```
[C1425.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1425.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC +9.9EE+99.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 STOP RUN.
```

C1425.cob 6: JMN1425I-S PICTURE文字列で、'E'は二つ以上指定できません。PICTURE +9. E+99とみなします。

2.3.254 JMN1426I-W

外部浮動小数点項目のPICTURE文字列で、指数部のけた数は2けたでなければなりません。2けたとみなします。

例題

```
[C1426.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1426.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC +9.9E+9.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 STOP RUN.
```

C1426.cob 6: JMN1426I-W 外部浮動小数点項目のPICTURE文字列で、指数部のけた数は2けたでなければなりません。2けたとみなします。

2.3.255 JMN1427I-W

外部浮動小数点項目のPICTURE文字列で、仮数部には'V'または小数点を指定しなければなりません。仮数部の最右端に'V'が指定されたものとみなします。

例題

```
[C1427.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1427.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC +99E+99.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 STOP RUN.
```

C1427.cob 6: JMN1427I-W 外部浮動小数点項目のPICTURE文字列で、仮数部には'V'または小数点を指定しなければなりません。仮数部の最右端に'V'が指定されたものとみなします。

2.3.256 JMN1428I-S

外部浮動小数点項目のPICTURE文字列に誤りがあります。PICTURE +9. E+99とみなします。

例題

```
[C1428.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1428.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 9. 9+E+99.
000007 01 B PIC +9. 9E+ZZ.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 STOP RUN.
```

C1428.cob 6: JMN1428I-S 外部浮動小数点項目のPICTURE文字列に誤りがあります。PICTURE +9. E+99とみなします。

C1428.cob 7: JMN1428I-S 外部浮動小数点項目のPICTURE文字列に誤りがあります。PICTURE +9. E+99とみなします。

2.3.257 JMN1434I-S

PICTURE文字列で、不適切な組合せの指定があります。PICTURE 9とみなします。

例題

```
[C1434.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1434.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC S9. 9.
000007 01 B PIC S9. 999.
000008 01 C PIC S***.
000009 01 D PIC S$9.
000010 01 E PIC A9. 9.
000011 01 F PIC N9.
```

```
000012 01 G PIC NB/N.
000013 01 H PIC 1B1.
000014 01 I PIC S9V9E+99.
000015 PROCEDURE DIVISION.
000016     STOP RUN.
```

C1434.cob 6: JMN1434I-S PICTURE文字列で、不適切な組合せの指定があります。PICTURE 9とみなします。

C1434.cob 7: JMN1434I-S PICTURE文字列で、不適切な組合せの指定があります。PICTURE 9とみなします。

C1434.cob 8: JMN1434I-S PICTURE文字列で、不適切な組合せの指定があります。PICTURE 9とみなします。

C1434.cob 9: JMN1434I-S PICTURE文字列で、不適切な組合せの指定があります。PICTURE 9とみなします。

C1434.cob 10: JMN1434I-S PICTURE文字列で、不適切な組合せの指定があります。PICTURE 9とみなします。

C1434.cob 11: JMN1434I-S PICTURE文字列で、不適切な組合せの指定があります。PICTURE 9とみなします。

C1434.cob 12: JMN1434I-S PICTURE文字列で、不適切な組合せの指定があります。PICTURE 9とみなします。

C1434.cob 13: JMN1434I-S PICTURE文字列で、不適切な組合せの指定があります。PICTURE 9とみなします。

C1434.cob 14: JMN1434I-S PICTURE文字列で、不適切な組合せの指定があります。PICTURE 9とみなします。

2.3.258 JMN1436I-S

PICTURE文字列で、反復回数のけた数は、10けた以下でなければなりません。最初の10けたが指定されたとみなします。

例題

```
[C1436.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1436.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC B(12345678901)A.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     STOP RUN.
```

C1436.cob 6: JMN1436I-S PICTURE文字列で、反復回数のけた数は、10けた以下でなければなりません。最初の10けたが指定されたとみなします。

2.3.259 JMN1437I-S

日本語項目または日本語編集項目の長さは、1073741823字以下でなければなりません。1073741823字とみなします。

例題

```
[C1437.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1437.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC N(20000000000).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     STOP RUN.
```

C1437.cob 6: JMN1437I-S 日本語項目または日本語編集項目の長さは、1073741823字以下でなければなりません。1073741823字とみなします。

2.3.260 JMN1438I-S

PICTURE文字列で、基本項目の長さは2147483647バイト以下でなければなりません。2147483647バイトとみなします。

例題

```
[C1438.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1438.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC A(2000000000)X(1000000000).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 STOP RUN.
```

C1438.cob 6: JMN1438I-S PICTURE文字列で、基本項目の長さは2147483647バイト以下でなければなりません。2147483647バイトとみなします。

2.3.261 JMN1439I-W

数字編集項目のPICTURE文字列で、すべての数字位置が浮動挿入文字である場合、その浮動挿入文字の少なくとも一つは、小数点の左側に指定しなければなりません。

例題

```
[C1439.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1439.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC .++.
000007 01 B PIC V--.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 STOP RUN.
```

C1439.cob 6: JMN1439I-W 数字編集項目のPICTURE文字列で、すべての数字位置が浮動挿入文字である場合、その浮動挿入文字の少なくとも一つは、小数点の左側に指定しなければなりません。

C1439.cob 7: JMN1439I-W 数字編集項目のPICTURE文字列で、すべての数字位置が浮動挿入文字である場合、その浮動挿入文字の少なくとも一つは、小数点の左側に指定しなければなりません。

2.3.262 JMN1450I-I

SEGMENT-LIMIT句および節の見出しの区分番号は、注釈になります。

例題

```
[C1450.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1450.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 OBJECT-COMPUTER. OBJ1
000006 SEGMENT-LIMIT.
000007 END PROGRAM C1450.
```

C1450.cob 6: JMN1450I-I SEGMENT-LIMIT句および節の見出しの区分番号は、注釈になります。

2.3.263 JMN1464I-S

AQL変数宣言節の終わりは、END DECLARE SECTION文でなければなりません。節の最後に指定されたものとみなします。

例題

```
[C1464.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1464.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC AQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 HNO           PIC S9(4) BINARY.
000007 01 HCTG          PIC X(2).
000008 01 HNAME         PIC X(50).
000009 END PROGRAM C1464.
```

C1464.cob 9: JMN1464I-S AQL変数宣言節の終わりは、END DECLARE SECTION文でなければなりません。節の最後に指定されたものとみなします。

2.3.264 JMN1465I-S

作業場所節中または連絡節中には、BEGIN DECLARE SECTION, END DECLARE SECTION, INCLUDE AQLCA文以外のAQL文は指定できません。

例題

```
[C1465.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1465.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC AQL START AQL END-EXEC.
000006 END PROGRAM C1465.
```

C1465.cob 5: JMN1465I-S 作業場所節中または連絡節中には、BEGIN DECLARE SECTION, END DECLARE SECTION, INCLUDE AQLCA文以外のAQL文は指定できません。

2.3.265 JMN1466I-S

BEGIN DECLARE SECTION文が、節内で重複しています。

例題

```
[C1466.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1466.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC AQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 HNO           PIC S9(4) BINARY.
000007 01 HCTG          PIC X(2).
000008 01 HNAME         PIC X(50).
000009     EXEC AQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000010 END PROGRAM C1466.
```

C1466.cob 9: JMN1466I-S BEGIN DECLARE SECTION文が、節内で重複しています。

C1466.cob 10: JMN1464I-S AQL変数宣言節の終わりは、END DECLARE SECTION文でなければなりません。節の最後に指定されたものとみなします。

2.3.266 JMN1469I-S

ファイル識別名の装置クラスがSPの場合、編成に'S'を指定しなければなりません。ファイル識別名は無効になります。

例題

```
[C1469.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C1469.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT IN-F ASSIGN TO SP-00-FILE.
000008 DATA             DIVISION.
000009 FILE              SECTION.
000010 FD IN-F.
000011 01 IN-R PIC X(80).
000012 END PROGRAM     C1469.
```

C1469.cob 7: JMN1469I-S ファイル識別名の装置クラスがSPの場合、編成に'S'を指定しなければなりません。ファイル識別名は無効になります。

2.3.267 JMN1472I-S

一つの翻訳単位中にSQL文とAQL文の両方を書いてはいけません。@1@文は無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : SQL, AQL

例題

```
[C1472.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1472.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000007     EXEC AQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000008     EXEC AQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
```

C1472.cob 7: JMN1472I-S 一つの翻訳単位中にSQL文とAQL文の両方を書いてはいけません。AQL文は無効となります。

C1472.cob 8: JMN1472I-S 一つの翻訳単位中にSQL文とAQL文の両方を書いてはいけません。AQL文は無効となります。

2.3.268 JMN1475I-S

日本語利用者語の中に日本語文字として使用できない文字があります。日本語利用者語は無効になります。

例題

```
[C1475.cob]
000001 @OPTIONS SRF (FIX, FIX)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C1475.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01                あああああ
000007                PIC X.
000008 END PROGRAM     C1475.
```


2.3.271 JMN1478I-W

このシステムでは、'@1@'は注釈として扱います。

例題

```
[C1478.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1478.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT IN-F ASSIGN TO INFILE
000007 TRACK-AREA IS 8.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD IN-F.
000011 01 IN-R PIC X(80).
000012 END PROGRAM C1478.
```

C1478.cob 7: JMN1313I-S TRACK-AREA句は、乱呼出しのインデックスつき編成ファイル以外に指定できません。

C1478.cob 7: JMN1478I-W このシステムでは、'TRACK-AREA'は注釈として扱います。

2.3.272 JMN1479I-S

連結式が最大長を超えています。最大長までを連結します。

例題

```
[C1479.cob]
000001 @OPTIONS
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C1479.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007 DISPLAY "AAAAAAAAABBBBBBBBCCCCCCCCDDDDDDDDDEEEEEEEEE"
000008 & "FFFFFFFFFGGGGGGGGHHHHHHHHHIIIIIIIIJJJJJJJJ"
000009 & "KKKKKKKKLLLLLLLLLLLLMMMMMMMMNNNNNNNNNOOOOOOOO"
000010 & "PPPPPPPPQQQQQQQQRRRRRRRRSSSSSSSSSTTTTTTTT".
```

C1479.cob 10: JMN1479I-S 連結式が最大長を超えています。最大長までを連結します。

詳細な説明

連結した定数の最大長は他の定数と同様、160バイトです。1～160バイトの範囲内で記述してください。

2.3.273 JMN1480I-S

'&'の後には、文字定数、日本語定数または表意定数を指定しなければなりません。または指定された定数の組み合わせに誤りがあります。'&'は無効になります。

例題

```
[C1480.cob]
000001 @OPTIONS
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C1480.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 FFFFFFFFFF PIC X(10) VALUE IS "FFFFFFFFF".
```

```

000008 PROCEDURE DIVISION.
000009     DISPLAY "AAAAAAAAAABBBBBBBBBBCCCCCCCCDDDDDDDDDEEEEEEEEE"
000010         & FFFFFFFF.

```

C1480.cob 10: JMN1480I-S '&'の後には、文字定数、日本語定数または表意定数を指定しなければなりません。または指定された定数の組み合わせに誤りがあります。 '&'は無効になります。

2.3.274 JMN1481I-E

'@1@'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

埋め込みの説明

@1@ : MSPまたはXSPシステムの固有機能の語

例題

```

[C1481.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1481.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT   SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT MSGFILE ASSIGN TO I-INFILE
000007     ACCESS MODE   IS RANDOM
000008     RECORD KEY    IS INFNUM
000009     NOMINAL KEY    IS WINF
000010     TRACK-AREA   IS 256 CHARACTERS
000011
000012 DATA            DIVISION.
000013 FILE              SECTION.
000014 FD MSGFILE.
000015 01 INFDAT.
000016 02 INFNUM        PIC S9(8) BINARY.
000017 02 INFMSG        PIC X(50).
000018 WORKING-STORAGE SECTION.
000019 01 WINF           PIC S9(8) BINARY.
000020 END PROGRAM C1481.

```

C1481.cob 6: JMN1481I-E 'インデックスつき編成ファイル'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

C1481.cob 9: JMN1481I-E 'NOMINAL KEY'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

C1481.cob 10: JMN1478I-W このシステムでは、'TRACK-AREA'は注釈として扱います。

2.3.275 JMN1482I-S

埋込みSQL文中で修飾付きの英数字のホスト変数の長さが250字を超えています。先頭から250字を文字列とみなします。

例題

```

[C1482.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1482.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 SQLSTATE        PIC X(5).
000007 01 AAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAA.
000008 02 BBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBB.
000009 03 CCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCC.
000010 04 DDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDD.
000011 05 EEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEE.

```



```
DISPLAY NC~123456789ABCDEF~-  
123456789ABCDEF~.  
END PROGRAM C1487.
```

c1487.cob 7: JMN1487I-S 定数の継続において、前の行は引用符とそれに続くハイフンで終わり、後の行は引用符で始まらなければなりません。

c1487.cob 7: JMN1672I-S 日本語定数の中に日本語の文字に変換できない文字があります。日本語定数を1字の空白とみなします。

c1487.cob 8: JMN1489I-S 定数の終わりの引用符がありません。プログラムテキスト領域の終わりまでを定数とみなします。

c1487.cob 8: JMN2503I-S 利用者語'123456789ABCDEF'が定義されていません。

c1487.cob 8: JMN1041I-W 文字列の後には、分離符がなければなりません。分離符があるものとみなします。

2.3.278 JMN1488I-S

定数の継続において、前の行および後の行は1文字以上の文字を含まなければなりません。

例題

```
[C1488.cob]  
@OPTIONS SRF (FREE)  
IDENTIFICATION DIVISION.  
PROGRAM-ID. C1488.  
ENVIRONMENT DIVISION.  
DATA DIVISION.  
PROCEDURE DIVISION.  
DISPLAY NC~文字定数、ブール定数および日本語定数は、正書法自由形式に"-  
""-  
"において継続することができる".  
END PROGRAM C1488.
```

C1488.COB 7: JMN1488I-S 定数の継続において、前の行および後の行は1文字以上の文字を含まなければなりません。

2.3.279 JMN1489I-S

定数の終わりの引用符がありません。プログラムテキスト領域の終わりまでを定数とみなします。

例題

```
[C1489.cob]  
@OPTIONS SRF (FREE)  
IDENTIFICATION DIVISION.  
PROGRAM-ID. C1489.  
ENVIRONMENT DIVISION.  
DATA DIVISION.  
PROCEDURE DIVISION.  
DISPLAY NC~日本語定数、ブール定数および日本語定数は、正書法自由形式に"-  
""-  
"において継続することができる  
END PROGRAM C1489.
```

C1489.COB 8: JMN1489I-S 定数の終わりの引用符がありません。プログラムテキスト領域の終わりまでを定数とみなします。

2.3.280 JMN1490I-S

翻訳オプションENCODE(UTF8,UTF16)またはENCODE(UTF8,UTF32)を指定した場合、連結式に日本語16進文字定数を指定することはできません。連結式は無効になります。

例題

```
000001 @OPTIONS ENCODE(UTF8,UTF16)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P1490.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007     DISPLAY NC"あ" & NX"3044"
000008
000009 END PROGRAM P1490.
```

P1490.cob 7: JMN1490I-S 翻訳オプションENCODE(UTF8,UTF16)またはENCODE(UTF8,UTF32)を指定した場合、連結式に日本語16進文字定数を指定することはできません。連結式は無効になります。

2.3.281 JMN1500I-S

TYPE句において、REPORT、PAGEおよびCONTROLの後は、HEADINGまたはFOOTINGでなければなりません。

例題

```
[C1500.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1500.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD IN-F REPORT RPT-F.
000010 REPORT SECTION.
000011 RD RPT-F PAGE 15 HEADING 2 FIRST DETAIL 5 LAST DETAIL 8 FOOTING 10.
000012 01 TYPE REPORT HEDDING.
000013 02 LINE 2
000014 COLUMN 3
000015 PIC X(15)
000016 VALUE " *COBOL SAMPLE* ".
000017 END PROGRAM C1500.
```

C1500.cob 11: JMN2000I-S 報告書記述項には、報告集団記述項が従属しなければなりません。報告書記述項は、無効になります。

C1500.cob 12: JMN1500I-S TYPE句において、REPORT、PAGEおよびCONTROLの後は、HEADINGまたはFOOTINGでなければなりません。

C1500.cob 12: JMN2475I-S 報告集団記述項のレベル番号01の項目にTYPE句が指定されていません。この報告集団記述項は、無効になります。

2.3.282 JMN1501I-S

COLUMN NUMBER句の整数に0は指定できません。1とみなします。

例題

```
[C1501.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1501.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA DIVISION.
```

```

000008 FILE          SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT RPT-F.
000010 REPORT        SECTION.
000011 RD  RPT-F.
000012 01  HEAD01 TYPE IS RH.
000013 01  FOOT01 TYPE IS RF COLUMN NUMBER IS 0.
000014 END PROGRAM   C1501.

```

C1501.cob 13: JMN1501I-S COLUMN NUMBER句の整数に0は指定できません。1とみなします。

C1501.cob 13: JMN2484I-S 報告書節中のCOLUMN NUMBER句は、集団項目およびレベル番号01の基本項目に指定できません。

2.3.283 JMN1502I-S

COLUMN NUMBER句の整数は、32767以下でなければなりません。32767とみなします。

例題

```

[C1502.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     C1502.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT   SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE           SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT RPT-F.
000010 REPORT        SECTION.
000011 RD  RPT-F.
000012 01  HEAD01 TYPE IS RH.
000013 01  FOOT01 TYPE IS RF COLUMN NUMBER IS 32768.
000014 END PROGRAM   C1502.

```

C1502.cob 13: JMN1502I-S COLUMN NUMBER句の整数は、32767以下でなければなりません。32767とみなします。

C1502.cob 13: JMN2484I-S 報告書節中のCOLUMN NUMBER句は、集団項目およびレベル番号01の基本項目に指定できません。

2.3.284 JMN1503I-S

SUM句で、RESETにはFINALまたはデータ名を指定しなければなりません。RESET指定は無効になります。

例題

```

[C1503.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     C1503.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT   SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE           SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT RPT-F.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01  A1  PIC X.
000012 01  A2  PIC X.
000013 01  A   PIC 9.
000014 REPORT        SECTION.
000015 RD  RPT-F CONTROL IS A1 A2 A.
000016 01  HEAD01 TYPE IS RH.

```

```
000017 01 CONHO1 TYPE IS CONTROL HEADING A1.
000018 01 CONFO1 TYPE IS CONTROL FOOTING A2.
000019 02 DATA-1 PIC X(10) SUM A RESET.
000020 01 FOOT01 TYPE IS RF.
000021 END PROGRAM C1503.
```

C1503.cob 19: JMN1503I-S SUM句で、RESETにはFINALまたはデータ名を指定しなければなりません。RESET指定は無効になります。

2.3.285 JMN1504I-S

SUM句で、UPONにはデータ名を指定しなければなりません。UPON指定は無効になります。

例題

```
[C1504.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1504.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD IN-F REPORT RPT-F.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 A1 PIC X.
000012 01 A2 PIC X.
000013 01 A PIC 9.
000014 REPORT SECTION.
000015 RD RPT-F CONTROL IS A1 A2 A.
000016 01 HEAD01 TYPE IS RH.
000017 01 CONHO1 TYPE IS CONTROL HEADING A1.
000018 01 CONFO1 TYPE IS CONTROL FOOTING A2.
000019 02 DATA-1 PIC X(10) SUM A UPON.
000020 01 FOOT01 TYPE IS RF.
000021 END PROGRAM C1504.
```

C1504.cob 19: JMN1504I-S SUM句で、UPONにはデータ名を指定しなければなりません。UPON指定は無効になります。

2.3.286 JMN1505I-S

SOURCE句で、PAGE-COUNTERまたはLINE-COUNTERの連結語OFまたはINの後は、報告書名でなければなりません。OFまたはINは無効になります。

例題

```
[C1505.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1505.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD IN-F REPORT RPT-F.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 A1 PIC X.
000012 01 A2 PIC X.
000013 01 A PIC 9.
000014 REPORT SECTION.
```

```

000015 RD RPT-F CONTROL IS A1 A2 A.
000016 01 HEAD01 TYPE IS RH.
000017 01 CONH01 TYPE IS CONTROL HEADING A1.
000018 02 DATA-1 PIC X SOURCE IS PAGE-COUNTER OF.
000019 01 CONF01 TYPE IS CONTROL FOOTING A2.
000020 01 FOOT01 TYPE IS RF.
000021 END PROGRAM C1505.

```

C1505.cob 18: JMN1505I-S SOURCE句で、PAGE-COUNTERまたはLINE-COUNTERの連結語OFまたはINの後は、報告書名でなければなりません。OFまたはINは無効になります。

2.3.287 JMN1506I-W

CODE句の文字定数は、2文字でなければなりません。文字定数が1文字のとき空白を補い、2文字より長いときは先頭から2文字を有効とみなします。

例題

```

[C1506.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1506.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD IN-F REPORT RPT-F.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 A1 PIC X.
000012 01 A2 PIC X.
000013 01 A PIC 9.
000014 REPORT SECTION.
000015 RD RPT-F CODE "ABC" CONTROL IS A1 A2 A.
000016 01 HEAD01 TYPE IS RH.
000017 01 CONH01 TYPE IS CONTROL HEADING A1.
000018 01 CONF01 TYPE IS CONTROL FOOTING A2.
000019 01 FOOT01 TYPE IS RF.
000020 END PROGRAM C1506.

```

C1506.cob 15: JMN1506I-W CODE句の文字定数は、2文字でなければなりません。文字定数が1文字のとき空白を補い、2文字より長いときは先頭から2文字を有効とみなします。

2.3.288 JMN1507I-S

PAGE LIMIT句で指定される整数は、999を超えてはなりません。999とみなします。

例題

```

[C1507.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1507.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD IN-F REPORT RPT-F.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 A1 PIC X.
000012 01 A2 PIC X.

```

```
000013 01 A PIC 9.
000014 REPORT SECTION.
000015 RD RPT-F PAGE LIMIT 1000 CONTROL IS A1 A2 A.
000016 01 HEAD01 TYPE IS RH.
000017 01 CONH01 TYPE IS CONTROL HEADING A1.
000018 01 CONF01 TYPE IS CONTROL FOOTING A2.
000019 01 FOOT01 TYPE IS RF.
000020 END PROGRAM C1507.
```

C1507.cob 15: JMN1507I-S PAGE LIMIT句で指定される整数は、999を超えてはなりません。999とみなします。

2.3.289 JMN1508I-S

PAGE LIMIT句の整数に0は指定できません。999とみなします。

例題

```
[C1508.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1508.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD IN-F REPORT RPT-F.
000010 REPORT SECTION.
000011 RD RPT-F PAGE LIMIT 0.
000012 01 HEAD01 TYPE IS RH.
000013 01 FOOT01 TYPE IS RF.
000014 END PROGRAM C1508.
```

C1508.cob 11: JMN1508I-S PAGE LIMIT句の整数に0は指定できません。999とみなします。

2.3.290 JMN1509I-S

PAGE句の構文に誤りがあります。

例題

```
[C1509.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1509.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD IN-F REPORT RPT-F.
000010 REPORT SECTION.
000011 RD RPT-F PAGE LIMIT "A".
000012 01 HEAD01 TYPE IS RH.
000013 01 FOOT01 TYPE IS RF.
000014 END PROGRAM C1509.
```

C1509.cob 11: JMN1509I-S PAGE句の構文に誤りがあります。

2.3.291 JMN1510I-S

PAGE句で、HEADING、FIRST DETAIL、LAST DETAILまたはFOOTINGの直後には、整数を指定しなければなりません。

例題

```
[C1510.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1510.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT RPT-F.
000010 REPORT         SECTION.
000011 RD  RPT-F PAGE LIMIT 10 HEADING.
000012 01 HEAD01 TYPE IS RH.
000013 01 FOOT01 TYPE IS RF.
000014 END PROGRAM     C1510.
```

C1510.cob 11: JMN1510I-S PAGE句で、HEADING、FIRST DETAIL、LAST DETAILまたはFOOTINGの直後には、整数を指定しなければなりません。

2.3.292 JMN1511I-S

PAGE句で、FIRSTまたはLASTの直後はDETAILでなければなりません。FIRSTまたはLAST以降のPAGE句の記述は無効になります。

例題

```
[C1511.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1511.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT RPT-F.
000010 REPORT         SECTION.
000011 RD  RPT-F PAGE LIMIT 10 FIRST.
000012 01 HEAD01 TYPE IS RH.
000013 01 FOOT01 TYPE IS RF.
000014 END PROGRAM     C1511.
```

C1511.cob 11: JMN1511I-S PAGE句で、FIRSTまたはLASTの直後はDETAILでなければなりません。FIRSTまたはLAST以降のPAGE句の記述は無効になります。

2.3.293 JMN1512I-S

PAGE句の各整数の値は、HEADING、FIRST DETAIL、LAST DETAIL、FOOTINGおよびPAGE LIMITの順に昇順でなければなりません。PAGE LIMITで指定された整数のみ有効とします。

例題

```
[C1512.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1512.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
```

```

000006    SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE           SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT RPT-F.
000010 REPORT        SECTION.
000011 RD  RPT-F PAGE LIMIT 10 HEADING 1
000012                      FIRST DETAIL 5
000013                      LAST DETAIL 3
000014                      FOOTING 10.
000015 01 HEAD01 TYPE IS RH.
000016 01 FOOT01 TYPE IS RF.
000017 END PROGRAM    C1512.

```

C1512.cob 11: JMN1512I-S PAGE句の各整数の値は、HEADING、FIRST DETAIL、LAST DETAIL、FOOTINGおよびPAGE LIMITの順に昇順でなければなりません。PAGE LIMITで指定された整数のみ有効とします。

2.3.294 JMN1513I-S

@1@で指定される整数は999を超えてはなりません。また、0であってもなりません。

埋め込みの説明

@1@ : HEADING, FIRST DETAIL, LAST DETAIL, FOOTING

例題

```

[C1513.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1513.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006    SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE           SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT RPT-F.
000010 REPORT        SECTION.
000011 RD  RPT-F PAGE LIMIT 10 HEADING 1000
000012                      FOOTING 0.
000013 01 HEAD01 TYPE IS RH.
000014 01 FOOT01 TYPE IS RF.
000015 END PROGRAM    C1513.

```

C1513.cob 11: JMN1513I-S HEADINGで指定される整数は999を超えてはなりません。また、0であってもなりません。

C1513.cob 12: JMN1513I-S FOOTING で指定される整数は999を超えてはなりません。また、0であってもなりません。

2.3.295 JMN1514I-S

PAGE句中に@1@はすでに指定されています。

埋め込みの説明

@1@ : HEADING, FIRST DETAIL, LAST DETAIL, FOOTING

例題

```

[C1514.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1514.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006    SELECT IN-F ASSIGN INFILE.

```

```

000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE           SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT RPT-F.
000010 REPORT         SECTION.
000011 RD  RPT-F PAGE LIMIT 10 HEADING 1
000012                HEADING 5.
000013 01  HEAD01 TYPE IS RH.
000014 01  FOOT01 TYPE IS RF.
000015 END PROGRAM    C1514.

```

C1514.cob 12: JMN1514I-S PAGE句中にHEADINGはすでに指定されています。

C1514.cob 12: JMN1255I-S 01レベル項目の指定なしに02～49レベル項目が指定されています。01レベル項目とみなします。

C1514.cob 12: JMN2475I-S 報告集団記述項のレベル番号01の項目にTYPE句が指定されていません。この報告集団記述項は、無効になります。

C1514.cob 12: JMN1103I-W 終止符がありません。終止符があるものとみなします。

2.3.296 JMN1515I-S

LINE NUMBER句の構文に誤りがあります。

例題

```

[C1515.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     C1515.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT   SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE           SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT RPT-F.
000010 REPORT         SECTION.
000011 RD  RPT-F PAGE LIMIT 10.
000012 01  HEAD01 TYPE IS RH LINE NUMBER PLUS "AB".
000013 01  FOOT01 TYPE IS RF.
000014 END PROGRAM    C1515.

```

C1515.cob 12: JMN1515I-S LINE NUMBER句の構文に誤りがあります。

2.3.297 JMN1516I-S

@1@句の整数は999を超えてはなりません。999が指定されたものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : LINE NUMBER, NEXT GROUP

例題

```

[C1516.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     C1516.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT   SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE           SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT RPT-F.
000010 REPORT         SECTION.

```



```
000011 RD RPT-F PAGE LIMIT 10.
000012 01 HEAD01 TYPE IS RH LINE NUMBER 1000
000013          NEXT GROUP 1000.
000014 01 FOOT01 TYPE IS RF.
000015 END PROGRAM C1516.
```

C1516.cob 12: JMN1516I-S LINE NUMBER句の整数は999を超えてはなりません。999が指定されたものとみなします。

C1516.cob 12: JMN2461I-S LINE句の整数は表示範囲の下限を超えてはなりません。そのまま処理を続行します。

C1516.cob 13: JMN1516I-S NEXT GROUP句の整数は999を超えてはなりません。999が指定されたものとみなします。

2.3.298 JMN1517I-S

LINE NUMBER句のON NEXT PAGE指定に誤りがあります。ON NEXT PAGE指定は無効になります。

例題

```
[C1517. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1517.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD IN-F REPORT RPT-F.
000010 REPORT SECTION.
000011 RD RPT-F PAGE LIMIT 10.
000012 01 HEAD01 TYPE IS RH LINE NUMBER 1 ON.
000013 01 FOOT01 TYPE IS RF.
000014 END PROGRAM C1517.
```

C1517.cob 12: JMN1517I-S LINE NUMBER句のON NEXT PAGE指定に誤りがあります。ON NEXT PAGE指定は無効になります。

C1517.cob 12: JMN2461I-S LINE句の整数は表示範囲の下限を超えてはなりません。そのまま処理を続行します。

2.3.299 JMN1518I-S

NEXT GROUP句に整数0は指定できません。

例題

```
[C1518. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1518.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD IN-F REPORT RPT-F.
000010 REPORT SECTION.
000011 RD RPT-F PAGE LIMIT 10.
000012 01 HEAD01 TYPE IS RH LINE NUMBER 1
000013          NEXT GROUP 0.
000014 01 FOOT01 TYPE IS RF.
000015 END PROGRAM C1518.
```

C1518.cob 12: JMN2461I-S LINE句の整数は表示範囲の下限を超えてはなりません。そのまま処理を続行します。

C1518.cob 13: JMN1518I-S NEXT GROUP句に整数0は指定できません。

2.3.300 JMN1519I-S

NEXT GROUP句はすでに指定されています。

例題

```
[C1519.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1519.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE           SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT RPT-F.
000010 REPORT        SECTION.
000011 RD  RPT-F PAGE LIMIT 10.
000012 01 HEAD01 TYPE IS RH LINE NUMBER 1
000013                               NEXT GROUP IS NEXT GROUP.
000014 01 FOOT01 TYPE IS RF.
000015 END PROGRAM     C1519.
```

C1519.cob 12: JMN2461I-S LINE句の整数は表示範囲の下限を超えてはなりません。そのまま処理を続行します。

C1519.cob 13: JMN1519I-S NEXT GROUP句はすでに指定されています。

C1519.cob 13: JMN1125I-S NEXT句はすでに指定されています。

C1519.cob 13: JMN2450I-S GROUP INDICATE句は明細報告集団以外に指定できません。

2.3.301 JMN1520I-S

報告集団記述項のUSAGE句には、DISPLAYを指定しなければなりません。DISPLAYとみなします。

例題

```
[C1520.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1520.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE           SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT RPT-F.
000010 REPORT        SECTION.
000011 RD  RPT-F PAGE LIMIT 10.
000012 01 HEAD01 TYPE IS RH USAGE PACKED-DECIMAL.
000013 01 FOOT01 TYPE IS RF.
000014 END PROGRAM     C1520.
```

C1520.cob 12: JMN1520I-S 報告集団記述項のUSAGE句には、DISPLAYを指定しなければなりません。DISPLAYとみなします。

2.3.302 JMN1521I-S

レベル番号のみ、またはレベル番号とデータ名のみからなる報告集団記述項が指定されています。処理を続行します。

2.3.303 JMN1522I-S

@1@句はレベル番号01の報告集団記述項以外に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : TYPE, NEXT GROUP

例題

```
[C1522.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1522.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE           SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT RPT-F.
000010 REPORT        SECTION.
000011 RD  RPT-F PAGE 15 HEADING 2 FIRST DETAIL 5 LAST DETAIL 8 FOOTING 10.
000012 01           TYPE RH.
000013 02           TYPE RH
000014             LINE 2
000015             COLUMN 3
000016             PIC X(15)
000017             VALUE " *COBOL SAMPLE* ".
000018 END PROGRAM     C1522.
```

C1522.cob 13: JMN1522I-S TYPE句はレベル番号01の報告集団記述項以外に指定できません。

2.3.304 JMN1523I-S

SIGN句にSEPARATE CHARACTERを指定しなければなりません。

例題

```
[C1523.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1523.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE           SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT RPT-F.
000010 REPORT        SECTION.
000011 RD  RPT-F PAGE 15 HEADING 2 FIRST DETAIL 5 LAST DETAIL 8 FOOTING 10.
000012 01           TYPE RH.
000013 02           LINE 2
000014             COLUMN 3
000015             PIC S9(4) SIGN IS LEADING
000016             VALUE 10.
000017 END PROGRAM     C1523.
```

C1523.cob 13: JMN1523I-S SIGN句にSEPARATE CHARACTERを指定しなければなりません。

2.3.305 JMN1524I-S

VALUE句が指定された報告集団記述項に、BLANK WHEN ZERO句は指定できません。

例題

```
[C1524.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1524.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT RPT-F.
000010 REPORT          SECTION.
000011 RD  RPT-F PAGE 15 HEADING 2 FIRST DETAIL 5 LAST DETAIL 8 FOOTING 10.
000012 01             TYPE RH.
000013 02             LINE 2
000014                COLUMN 3
000015                PIC S9(4)
000016                VALUE 10
000017                BLANK WHEN ZERO.
000018 END PROGRAM     C1524.
```

C1524.cob 13: JMN1524I-S VALUE句が指定された報告集団記述項に、BLANK WHEN ZERO句は指定できません。

2.3.306 JMN1525I-S

SUM句、SOURCE句またはVALUE句は、同時に二つ以上指定できません。最初に指定された句を有効とします。

例題

```
[C1525.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1525.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT RPT-F.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01  A1  PIC X.
000012 01  A2  PIC X.
000013 01  A   PIC 9.
000014 REPORT          SECTION.
000015 RD  RPT-F CONTROL IS A1 A2 A.
000016 01 HEAD01 TYPE IS RH.
000017 01 CONH01 TYPE IS CONTROL HEADING A1.
000018 01 CONFO1 TYPE IS CONTROL FOOTING A2.
000019 02 DATA-1 PIC X(10) SUM A VALUE 1.
000020 01 FOOT01 TYPE IS RF.
000021 END PROGRAM     C1525.
```

C1525.cob 19: JMN1525I-S SUM句、SOURCE句またはVALUE句は、同時に二つ以上指定できません。最初に指定された句を有効とします。

C1525.cob 19: JMN2475I-S 報告集団記述項のレベル番号01の項目にTYPE句が指定されていません。この報告集団記述項は、無効になります。

C1525.cob 19: JMN1103I-W 終止符がありません。終止符があるものとみなします。

C1525.cob 19: JMN1149I-W レベル番号01または77は、A領域から指定しなければなりません。A領域から指定されたものとみなします。

2.3.307 JMN1526I-S

COLUMN NUMBER句とPRINTING POSITION句は、同時に指定できません。最初に指定された句を有効とします。

例題

```
[C1526.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1526.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT  RPT-F.
000010 REPORT           SECTION.
000011 RD  RPT-F PAGE 15 HEADING 2 FIRST DETAIL 5 LAST DETAIL 8 FOOTING 10.
000012 01              TYPE RH.
000013 02              LINE 2
000014                 COLUMN 3
000015                 PIC X(13) VALUE "COBOL SAMPLE"
000016                 PRINTING POSITION IS 1.
000017 END PROGRAM C1526.
```

C1526.cob 16: JMN1526I-S COLUMN NUMBER句とPRINTING POSITION句は、同時に指定できません。最初に指定された句を有効とします。

C1526.cob 16: JMN1526I-S COLUMN NUMBER句とPRINTING POSITION句は、同時に指定できません。最初に指定された句を有効とします。

C1526.cob 16: JMN2475I-S 報告集団記述項のレベル番号01の項目にTYPE句が指定されていません。この報告集団記述項は、無効になります。

C1526.cob 16: JMN1103I-W 終止符がありません。終止符があるものとみなします。

C1526.cob 16: JMN1149I-W レベル番号01または77は、A領域から指定しなければなりません。A領域から指定されたものとみなします。

2.3.308 JMN1527I-S

報告書記述項に報告書名の指定がありません。

例題

```
[C1527.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1527.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 DATA             DIVISION.
000007 FILE              SECTION.
000008 REPORT           SECTION.
000009 RD.
000010 01  HEAD01 TYPE IS RH.
000011 01  FOOT01 TYPE IS RF.
000012 END PROGRAM      C1527.
```

C1527.cob 9: JMN1527I-S 報告書記述項に報告書名の指定がありません。

2.3.309 JMN1528I-S

EXTERNAL句は報告書記述項に指定できません.

例題

```
[C1528.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1528.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT RPT-F.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 REPORT          SECTION.
000012 RD  RPT-F EXTERNAL.
000013 01 HEAD01 TYPE IS RH.
000014 01 FOOT01 TYPE IS RF.
000015 END PROGRAM     C1528.
```

C1528.cob 12: JMN1528I-S EXTERNAL句は報告書記述項に指定できません.

2.3.310 JMN1529I-S

報告集団記述項にFILLERは、指定できません.

例題

```
[C1529.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1529.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT RPT-F.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 REPORT          SECTION.
000012 RD  RPT-F.
000013 01 FILLER TYPE IS RH.
000014 01 FOOT01 TYPE IS RF.
000015 END PROGRAM     C1529.
```

C1529.cob 13: JMN1529I-S 報告集団記述項にFILLERは、指定できません.

2.3.311 JMN1530I-S

報告集団記述項に66, 77, 78または88のレベル番号は、指定できません.

例題

```
[C1530.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1530.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
```

```
000009 FD  IN-F REPORT RPT-F.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 REPORT          SECTION.
000012 RD  RPT-F.
000013 01  HEAD01 TYPE IS RH.
000014 78  DATA-1 PIC 9(4) VALUE 1.
000015 01  FOOT01 TYPE IS RF.
000016 END PROGRAM      C1530.
```

C1530.cob 14: JMN1530I-S 報告集団記述項に66, 77, 78または88のレベル番号は, 指定できません.

C1530.cob 14: JMN2475I-S 報告集団記述項のレベル番号01の項目にTYPE句が指定されていません. この報告集団記述項は, 無効になります.

C1530.cob 14: JMN1149I-W レベル番号01または77は, A領域から指定しなければなりません. A領域から指定されたものとみなします.

2.3.312 JMN1531I-S

報告集団記述項のレベル番号は, 3階層の範囲でなければなりません. 正しいレベルの階層とみなします.

例題

```
[C1531.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1531.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT RPT-F.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 REPORT          SECTION.
000012 RD  RPT-F.
000013 01  HEAD01 TYPE IS RH.
000014 02  LINE NUMBER IS PLUS 1.
000015 03  PIC 9(4) COLUMN NUMBER IS 1 VALUE 1.
000016 04  PIC X(5) COLUMN NUMBER IS 8 VALUE "A".
000017 01  FOOT01 TYPE IS RF.
000018 END PROGRAM      C1531.
```

C1531.cob 16: JMN1531I-S 報告集団記述項のレベル番号は, 3階層の範囲でなければなりません. 正しいレベルの階層とみなします.

2.3.313 JMN1532I-S

REPORT句が指定されたファイル記述項にLINAGE句は指定できません.

例題

```
[C1532.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1532.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT RPT-F LINAGE IS 1 LINES.
000010 REPORT          SECTION.
```

```
000011 RD RPT-F.
000012 01 RPT1 TYPE IS RH.
000013 END PROGRAM C1532.
```

C1532.cob 9: JMN1532I-S REPORT句が指定されたファイル記述項にLINAGE句は指定できません。

2.3.314 JMN1533I-S

GLOBAL句は報告書記述項に指定できません。

例題

```
[C1533.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1533.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD IN-F REPORT RPT-F.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 REPORT SECTION.
000012 RD RPT-F GLOBAL.
000013 01 HEAD01 TYPE IS RH.
000014 01 FOOT01 TYPE IS RF.
000015 END PROGRAM C1533.
```

C1533.cob 12: JMN1533I-S GLOBAL句は報告書記述項に指定できません。

2.3.315 JMN1534I-S

PADDING CHARACTER句の文字定数の長さは1文字でなければなりません。先頭1文字を文字定数とみなします。

例題

```
[C1534.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1534.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT IN-F ASSIGN DISK
000007 ORGANIZATION SEQUENTIAL
000008 PADDING CHARACTER IS "AB".
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 FD IN-F.
000012 01 IN-R PIC X(80).
000013 END PROGRAM C1534.
```

C1534.cob 8: JMN1534I-S PADDING CHARACTER句の文字定数の長さは1文字でなければなりません。先頭1文字を文字定数とみなします。

2.3.316 JMN1535I-S

@1@句は順ファイル以外に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : PADDING,RECORD DELIMITER

例題

```
[C1535.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1535.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT RLFILE ASSIGN TO SYS006
000007     ORGANIZATION IS RELATIVE
000008     PADDING CHARACTER IS WPC.
000009 DATA            DIVISION.
000010 FILE            SECTION.
000011 FD RLFILE.
000012 01 RLREC.
000013 02              PIC 9(4).
000014 02              PIC X(66).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WPC          PIC X(1).
000017 PROCEDURE      DIVISION.
000018 END PROGRAM      C1535.
```

C1535.cob 8: JMN1535I-S PADDING句は順ファイル以外に指定できません。

2.3.317 JMN1538I-I

(OBS)@1@句は, @2@ COBOLの廃要素です.

埋め込みの説明

@1@ : MEMORY SIZE, RERUN, MULTIPLE FILE TAPE, DATA RECODE, LABEL RECORD, VALUE OF
@2@ : ANSI85

例題

```
[C1538.cob]
000001 @OPTIONS CONF (OBS), LANTLRVL (85)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C1538.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 CONFIGURATION    SECTION.
000006 OBJECT-COMPUTER. OBJ01
000007     MEMORY SIZE 256 WORDS.
000008 DATA            DIVISION.
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010 END PROGRAM      C1538.
```

C1538.cob 7: JMN1538I-I (OBS)'MEMORY SIZE'句は, ANSI85 COBOLの廃要素です。

2.3.318 JMN1539I-I

(OBS)@1@段落は, @2@ COBOLの廃要素です.

埋め込みの説明

@1@ : AUTHOR, INSTALLATION, DATE-WRITTEN, ,DATE-COMPILED, SECURITY
@2@ : ANSI85

例題

```
[C1539.cob]
000001 @OPTIONS CONF (OBS), LANTLRVL (85)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C1539.
```

```

000004 AUTHOR.      COMP.
000005 ENVIRONMENT  DIVISION.
000006 DATA        DIVISION.
000007 PROCEDURE    DIVISION.
000008 END PROGRAM  C1539.

```

C1539.cob 4: JMN1539I-I (OBS)AUTHOR段落は、ANSI85 COBOLの廃要素です。

2.3.319 JMN1540I-S

PASSWORD句は順ファイル(編成ASまたはVS)、相対ファイルまたは索引ファイル以外に指定できません。

例題

```

[C1540.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     C1540.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT   SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN TO INFILE
000007     ORGANIZATION IS SEQUENTIAL
000008     PASSWORD     IS PSWD1.
000009 DATA          DIVISION.
000010 FILE           SECTION.
000011 FD IN-F.
000012 01 IN-R PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 PSWD1 PIC X(8) VALUE "COMP1234".
000015 END PROGRAM C1540.

```

C1540.cob 8: JMN1540I-S PASSWORD句は順ファイル(編成ASまたはVS)、相対ファイルまたは索引ファイル以外に指定できません。

C1540.cob 8: JMN1477I-I このシステムでは、'PASSWORD'は注釈扱いです。

2.3.320 JMN1544I-S

'END DECLARE SECTION'が指定されていません。'END DECLARE SECTION'を補います。

例題

```

[C1544.cob]
000001 PROGRAM-ID.    C1544.
000002 ENVIRONMENT    DIVISION.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 SQLSTATE PIC X(5).
000007 01 SQLCODE PIC 9(9).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009     STOP RUN.

```

C1544.cob 8: JMN1544I-S 'END DECLARE SECTION'が指定されていません。'END DECLARE SECTION'を補います。

2.3.321 JMN1545I-S

[Win32]

作業場所節中または連絡節中には、'BEGIN DECLARE SECTION'および'END DECLARE SECTION'以外は指定できません。

[Winx64]

作業場所節中, 局所記憶節中または連絡節中には, 'BEGIN DECLARE SECTION'および'END DECLARE SECTION'以外は指定できません.

例題

```
[C1545.cob]
000001 PROGRAM-ID. C1545.
000002 ENVIRONMENT DIVISION.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL START SQL END-EXEC.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007     STOP RUN.
```

- **[Win32]**
C1545.cob 5: JMN1545I-S 作業場所節中または連絡節中には, 'BEGIN DECLARE SECTION'および'END DECLARE SECTION'以外は指定できません.
- **[Winx64]**
C1545.cob 5: JMN1545I-S 作業場所節中, 局所記憶節中または連絡節中には, 'BEGIN DECLARE SECTION'および'END DECLARE SECTION'以外は指定できません.

2.3.322 JMN1547I-I

(OBS)@1@は, @2@ COBOLの廃要素です.

埋め込みの説明

@1@ : 区分化機能
@2@ : ANS185

例題

```
[C1547.cob]
000001 @OPTIONS CONF (OBS), LANGLVL (85)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C1547.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 OBJECT-COMPUTER. OBJ1
000007     SEGMENT-LIMIT IS 1
000008     .
000009 END PROGRAM C1547.
```

C1547.cob 7: JMN1450I-I SEGMENT-LIMIT句および節の見出しの区分番号は, 注釈になります.

C1547.cob 7: JMN1547I-I (OBS)区分化機能は, ANS185 COBOLの廃要素です.

2.3.323 JMN1551I-S

ASSIGN句に指定された定数'@1@'の名前に誤りがあります.

埋め込みの説明

@1@ : 文字定数

例題

```
[C1551.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C1551.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
```

```

000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT IN-F ASSIGN TO "A+B..".
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD IN-F.
000011 01 IN-R PIC X(80).
000012 END PROGRAM C1551.

```

C1551.cob 7: JMN1551I-S ASSIGN句に指定された定数'A+B..'の名前に誤りがあります。

C1551.cob 10: JMN2005I-S ファイル記述項または整列併合用ファイル記述項に指定したファイル名は、ファイル管理段落のSELECT句で定義しなければなりません。順ファイルとみなします。

2.3.324 JMN1552I-S

ASSIGN句に指定された定数'@1@'の名前の長さが44文字を超えています。

埋め込みの説明

@1@ : 文字定数

例題

```

[C1552.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C1552.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT IN-F
000008     ASSIGN TO "ABCDEFGHIJKLMN0PQRSTUVWXYZABCDEFGHIJKLMN0PQRSTUVWXYZ".
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 FD IN-F.
000012 01 IN-R PIC X(80).
000013 END PROGRAM C1552.

```

C1552.cob 8: JMN1552I-S ASSIGN句に指定された定数'ABCDEFGHIJKLMN0PQRSTUVWXYZABCDEFGHIJKLMN0PQRSTUVWXYZ'の名前の長さが44文字を超えています。

C1552.cob 11: JMN2005I-S ファイル記述項または整列併合用ファイル記述項に指定したファイル名は、ファイル管理段落のSELECT句で定義しなければなりません。順ファイルとみなします。

2.3.325 JMN1553I-S

MULTIPLE FILE TAPE句中のPOSITION指定の整数は、@1@以下でなければなりません。@1@とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 256

例題

```

[C1553.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1553.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN TO INFILE.
000007 I-O-CONTROL.
000008     MULTIPLE FILE TAPE IN-F POSITION 257.

```

```
000009 DATA          DIVISION.
000010 FILE           SECTION.
000011 FD  IN-F.
000012 01  IN-R  PIC X(80).
000013 END PROGRAM    C1553.
```

C1553.cob 8: JMN1553I-S MULTIPLE FILE TAPE 句中のPOSITION指定の整数は、256以下でなければなりません。256とみなします。

2.3.326 JMN1555I-S

INCLUDE @1@文のEND-EXECは終止符で終わらなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : SQLDA

例題

```
[C1555.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     C1555.
000003 DATA          DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL
000006         INCLUDE SQLDA HAVING 5 COLUMNS
000007     END-EXEC
000008 END PROGRAM      C1555.
```

C1555.cob 5: JMN1555I-S INCLUDE SQLDA 文のEND-EXECは終止符で終わらなければなりません。

2.3.327 JMN1556I-S

埋込みSQL宣言節中に、INCLUDE @1@文は指定してはいけません。

埋め込みの説明

@1@ : SQLDA

例題

```
[C1556.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     C1556.
000003 DATA          DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006     EXEC SQL
000007         INCLUDE SQLDA HAVING 5 COLUMNS
000008     END-EXEC.
000009     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000010 PROCEDURE        DIVISION.
000011 END PROGRAM      C1556.
```

C1556.cob 6: JMN1556I-S 埋込みSQL宣言節中に、INCLUDE SQLDA 文は指定してはいけません。

2.3.328 JMN1557I-S

PASSWORD句は、RECORD KEY句またはALTERNATE RECORD KEY句に指定しなければなりません。

例題

```
[C1557.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1557.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     PASSWORD      IS P1
000009     RECORD KEY    IS IN-NO
000010
000011 DATA            DIVISION.
000012 FILE             SECTION.
000013 FD IN-F.
000014 01 IN-R.
000015 02 IN-NO        PIC 9(4).
000016 02 IN-NAME     PIC X(80).
000017 WORKING-STORAGE SECTION.
000018 01 P1          PIC X(6) VALUE "CMP123".
000019 END PROGRAM C1557.
```

C1557.cob 8: JMN1557I-S PASSWORD句は、RECORD KEY句またはALTERNATE RECORD KEY句に指定しなければなりません。

C1557.cob 8: JMN1477I-I このシステムでは、'PASSWORD'は注釈扱いです。

2.3.329 JMN1558I-S

HAVING句の整数は、1以上33554431以下でなければなりません。

例題

```
[C1558.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1558.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006     EXEC SQL
000007     INCLUDE SQLDA HAVING 0 COLUMNS
000008     END-EXEC.
000009     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000010 PROCEDURE          DIVISION.
000011 END PROGRAM        C1558.
```

C1558.cob 7: JMN1558I-S HAVING句の整数は、1以上33554431以下でなければなりません。

2.3.330 JMN1559I-S

INCLUDE SQLDA文の構文に誤りがあります。

例題

```
[C1559.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1559.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL INCLUDE SQLDA END-EXEC.
000006 END PROGRAM        C1559.
```

C1559.cob 5: JMN1559I-S INCLUDE SQLDA文の構文に誤りがあります。

2.3.331 JMN1560I-S

INCLUDE SQLDA文のSQLDA構造体名に誤りがあります。

例題

```
[C1560.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1560.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL
000006         INCLUDE SQLDA AS "ABC" HAVING 1 COLUMNS
000007     END-EXEC.
000008 END PROGRAM      C1560.
```

C1560.cob 6: JMN1560I-S INCLUDE SQLDA文のSQLDA構造体名に誤りがあります。

2.3.332 JMN1561I-S

@1@句の構文に誤りがあります。

埋め込みの説明

@1@ : POSITIONING UNIT

例題

```
[C1561.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1561.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     POSITIONING UNIT IS 12 .
000007 DATA            DIVISION.
000008 END PROGRAM C1561.
```

C1561.cob 6: JMN1561I-S POSITIONING UNIT句の構文に誤りがあります。

2.3.333 JMN1562I-S

POSITIONING UNIT句の定数は、0.01以上24.00以下の符号なし数字定数でなければなりません。数字定数の小数部けた数は2けた以下でなければなりません。

例題

```
[C1562.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1562.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     POSITIONING UNIT PUN-A IS 24.01 CPI.
000007 DATA            DIVISION.
000008 END PROGRAM C1562.
```

C1562.cob 6: JMN1562I-S POSITIONING UNIT句の定数は、0.01以上24.00以下の符号なし数字定数でなければなりません。数字定数の小数部けた数は2けた以下でなければなりません。

2.3.334 JMN1563I-S

PRINTING POSITION句のBY指定には、位置決め単位名を指定しなければなりません。

例題

```
[C1563.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1563.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006 POSITIONING UNIT PUN-A IS 12 CPI.
000007 DATA DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 REC1 PIC X(10) PRINTING POSITION IS 20 BY "BMP".
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 END PROGRAM C1563.
```

C1563.cob 9: JMN1563I-S PRINTING POSITION句のBY指定には、位置決め単位名を指定しなければなりません。

2.3.335 JMN1566I-S

CHARACTER TYPE句のOR指定には、印字モード名を指定しなければなりません。

例題

```
[C1566.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1566.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006 PRINTING MODE PM1 IS FOR MOCS
000007 PRINTING MODE PM2 IS FOR SOCS
000008 .
000009 DATA DIVISION.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 WNO01 PIC N(80) CHARACTER TYPE IS PM1 OR
000012 PRINTING POSITION IS 10.
000013 END PROGRAM C1566.
```

C1566.cob 11: JMN1566I-S CHARACTER TYPE句のOR指定には、印字モード名を指定しなければなりません。

C1566.cob 12: JMN2228I-S PRINTING POSITION句は、CHARACTER TYPE句を持つ項目またはその項目に従属する項目にだけ指定できます。

2.3.336 JMN1567I-S

CHARACTER TYPE句のDEPENDENT ON指定には、データ名を指定しなければなりません。

例題

```
[C1567.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1567.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006 PRINTING MODE PM1 IS FOR MOCS FONT MINCHOU
000007 PRINTING MODE PM2 IS FOR MOCS FONT MINCHOU-HANKAKU.
000008 DATA DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
```



```

000010 01 W001 PIC N(30) CHARACTER TYPE IS PM1 PM2
000011                                DEPENDING ON 1.
000012 END PROGRAM C1567.

```

C1567.cob 10: JMN1567I-S CHARACTER TYPE句のDEPENDING ON指定には、データ名を指定しなければなりません。

C1567.cob 11: JMN2222I-S PICTURE句がありません。PICTURE 9が指定されたものとみなします。

C1567.cob 11: JMN1103I-W 終止符がありません。終止符があるものとみなします。

C1567.cob 11: JMN1149I-W レベル番号01または77は、A領域から指定しなければなりません。A領域から指定されたものとみなします。

2.3.337 JMN1568I-S

CHARACTER TYPE句に複数の印字モード名を指定する場合、DEPENDING ON指定を記述しなければなりません。

例題

```

[C1568.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1568.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006 PRINTING MODE PM1 IS FOR MOCS FONT MINCHOU
000007 PRINTING MODE PM2 IS FOR MOCS FONT MINCHOU-HANKAKU.
000008 DATA DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 W001 PIC N(30) CHARACTER TYPE IS PM1 PM2.
000011 END PROGRAM C1568.

```

C1568.cob 10: JMN1568I-S CHARACTER TYPE句に複数の印字モード名を指定する場合、DEPENDING ON指定を記述しなければなりません。

2.3.338 JMN1569I-S

@1@句の@2@指定に誤りがあります。

埋め込みの説明

@1@ : PRINTING MODE

@2@ : FOR,SIZE,PITCH,FONT,ANGLE,FORM

例題

```

[C1569.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1569.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006 PRINTING MODE PM1 IS FOR NATIONAL
000007 PRINTING MODE PM2 IS IN FONT.
000008 DATA DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 END PROGRAM C1569.

```

C1569.cob 6: JMN1569I-S PRINTING MODE句のFOR指定に誤りがあります。

C1569.cob 7: JMN1569I-S PRINTING MODE句のFONT指定に誤りがあります。

C1569.cob 7: JMN1574I-S FONT指定の機能名に誤りがあります。

2.3.339 JMN1570I-S

@1@句中に@2@指定は, すでに記述されています.

埋め込みの説明

@1@ : PRINTING MODE

@2@ : SIZE,PITCH,FONT,ANGLE,FORM

例題

```
[C1570.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1570.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     PRINTING MODE PM1 IS FOR MOCS IN SIZE 12 POINT
000007                                     WITH FONT MINCHOU
000008                                     SIZE 15 POINT.
000009 END PROGRAM C1570.
```

C1570.cob 8: JMN1570I-S PRINTING MODE句中にSIZE指定は, すでに記述されています.

2.3.340 JMN1571I-S

SIZE指定の定数は, 3以上300以下の符号なし数字定数でなければなりません. 数字定数の小数部けた数は, 1以下でなければなりません.

例題

```
[C1571.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1571.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     PRINTING MODE PM1 IS FOR MOCS IN SIZE 2 POINT.
000007 END PROGRAM C1571.
```

C1571.cob 6: JMN1571I-S SIZE指定の定数は, 3以上300以下の符号なし数字定数でなければなりません. 数字定数の小数部けた数は, 1以下でなければなりません.

2.3.341 JMN1572I-S

PITCH指定の定数は, 0.01以上24.00以下の符号なし数字定数でなければなりません. 数字定数の小数部けた数は, 2けた以下でなければなりません.

例題

```
[C1572.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1572.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     PRINTING MODE PM1 IS FOR MOCS AT PITCH 25.00 CPI.
000007 END PROGRAM C1572.
```

C1572.cob 6: JMN1572I-S PITCH指定の定数は, 0.01以上24.00以下の符号なし数字定数でなければなりません. 数字定数の小数部けた数は, 2けた以下でなければなりません.

2.3.342 JMN1573I-S

ANGLE指定の整数は、0または90でなければなりません。

例題

```
[C1573.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1573.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     PRINTING MODE PM1 IS FOR MOCS AT ANGLE 45 DEGREES.
000007 END PROGRAM C1573.
```

C1573.cob 6: JMN1573I-S ANGLE指定の整数は、0または90でなければなりません。

2.3.343 JMN1574I-S

@1@指定の機能名に誤りがあります。

埋め込みの説明

@1@ : FONT, FORM

例題

```
[C1574.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1574.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     PRINTING MODE PM1 IS FOR MOCS WITH FONT KYOUKASHOTA1.
000007 END PROGRAM C1574.
```

C1574.cob 6: JMN1574I-S FONT指定の機能名に誤りがあります。

2.3.344 JMN1576I-S

このシステムでは、'@1@'は使用できません。

埋め込みの説明

@1@ : 名標, 句, 文

例題

```
[C1576.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1576.
000003 DATA          DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 DATA-1 PIC N VALUE NH"あ".
000006 END PROGRAM      C1576.
```

C1576.cob 5: JMN1576I-S このシステムでは、'NH'は使用できません。

2.3.345 JMN1578I-S

ASSIGN句のPRINTERは、行順編成以外の順ファイルにのみ指定できます。

例題

```
[C1578.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1578.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT AFILE ASSIGN TO PRINTER
000007             ORGANIZATION IS LINE SEQUENTIAL.
000008 DATA            DIVISION.
000009 FILE             SECTION.
000010 FD AFILE.
000011 01 REC-A      PIC X(10).
000012 END PROGRAM C1578.
```

C1578.cob 6: JMN1578I-S ASSIGN句のPRINTERは、行順編成以外の順ファイルにのみ指定できます。

2.3.346 JMN1579I-S

LOCK MODE句のMANUALは、相対ファイルまたは索引ファイルにのみ指定できます。

例題

```
[C1579.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1579.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT AFILE ASSIGN TO DISK
000007             ORGANIZATION IS SEQUENTIAL
000008             LOCK MODE IS MANUAL WITH LOCK ON MULTIPLE RECORDS.
000009 DATA            DIVISION.
000010 FILE             SECTION.
000011 FD AFILE.
000012 01 A-REC      PIC X(10).
000013 END PROGRAM C1579.
```

C1579.cob 8: JMN1579I-S LOCK MODE句のMANUALは、相対ファイルまたは索引ファイルにのみ指定できます。

2.3.347 JMN1580I-S

レベル番号01の直後にはデータ名を指定しなければなりません。

例題

```
[C1580.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1580.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 DD            PIC X(4).
000007 SCREEN          SECTION.
000008 01              PIC X(8) FROM DD.
000009 END PROGRAM C1580.
```

C1580.cob 8: JMN1580I-S レベル番号01の直後にはデータ名を指定しなければなりません。

2.3.348 JMN1581I-S

BACKGROUND-COLOR句またはFOREGROUND-COLOR句の整数は0～7でなければなりません。

例題

```
[C1581.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1581.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 DD           PIC X(2).
000007 SCREEN          SECTION.
000008 01 A            PIC X(2) FROM DD BACKGROUND-COLOR IS 8.
000009 END PROGRAM C1581.
```

C1581.cob 8: JMN1581I-S BACKGROUND-COLOR句またはFOREGROUND-COLOR句の整数は0～7でなければなりません。

2.3.349 JMN1582I-S

画面記述項のUSAGE句にはDISPLAYを指定しなければなりません。DISPLAYとみなします。

例題

```
[C1582.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1582.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 AA           PIC X(2).
000007 SCREEN          SECTION.
000008 01 A            PIC X(8) FROM AA USAGE IS INDEX.
000009 END PROGRAM C1582.
```

C1582.cob 8: JMN1582I-S 画面記述項のUSAGE句にはDISPLAYを指定しなければなりません。DISPLAYとみなします。

2.3.350 JMN1583I-W

FULL句の指定された画面記述項にJUSTIFIED句は指定できません。JUSTIFIED句を無効にします。

例題

```
[C1583.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1583.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 AA           PIC X(2).
000007 SCREEN          SECTION.
000008 01 A            PIC X(8) TO AA
000009                FULL
000010                JUSTIFIED.
000011 END PROGRAM C1583.
```

C1583.cob 8: JMN1583I-W FULL句の指定された画面記述項にJUSTIFIED句は指定できません。JUSTIFIED句を無効にします。

2.3.351 JMN1584I-S

画面記述項では'@1@'句と'@2@'句は同時に指定できません。'@2@'句を無効にします。

埋め込みの説明

@1@ : PICTURE,VALUE

@2@ : VALUE,AUTO,FULL,REQUIRED,SECURE,BLANK WHEN ZERO,USAGE

例題

```
[C1584.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1584.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 AA           PIC X(2).
000007 SCREEN          SECTION.
000008 01 A            PIC X(2) FROM AA
000009                 VALUE "AAA".
000010 END PROGRAM C1584.
```

C1584.cob 8: JMN1584I-S 画面記述項では'PICTURE'句と'VALUE'句は同時に指定できません。'VALUE'句を無効にします。

2.3.352 JMN1586I-S

PICTURE句の@1@指定と@2@指定は同時に記述できません。

埋め込みの説明

@1@ : FROM,TO,USING

@2@ : FROM,TO,USING

例題

```
[C1586.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1586.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 AA           PIC X(2).
000007 01 BB           PIC X(2).
000008 SCREEN          SECTION.
000009 01 A1            PIC X(8) FROM AA USING BB.
000010 END PROGRAM C1586.
```

C1586.cob 9: JMN1586I-S PICTURE句のFROM指定とUSING指定は同時に記述できません。

2.3.353 JMN1588I-S

画面記述項のVALUE句には文字定数または日本語定数以外は指定できません。

例題

```
[C1588.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1588.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 SCREEN          SECTION.
000007 01 A            BELL VALUE 5.
000008 END PROGRAM C1588.
```

C1588.cob 7: JMN1588I-S 画面記述項のVALUE句には文字定数または日本語定数以外は指定できません。

2.3.354 JMN1589I-S

画面節のレベル番号は01から49または78ではじめなければなりません。

例題

```
[C1589.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1589.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 BB          PIC X(2).
000007 SCREEN         SECTION.
000008 01 A           BELL.
000009 66 B          PIC X(8) FROM BB.
000010 END PROGRAM C1589.
```

C1589.cob 9: JMN1589I-S 画面節のレベル番号は01から49または78ではじめなければなりません。

2.3.355 JMN1591I-S

LOCK MODE句は順ファイル、相対ファイルまたは索引ファイル以外に指定できません。

例題

```
[C1591.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1591.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006  SELECT AFILE ASSIGN TO R-DD1
000007  ACCESS MODE IS RANDOM
000008  RELATIVE KEY IS RK1
000009  LOCK MODE IS EXCLUSIVE.
000010 DATA           DIVISION.
000011 FILE            SECTION.
000012 FD AFILE.
000013 01 AREC        PIC X(8).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 RK1        PIC 9(8) BINARY.
000016 END PROGRAM C1591.
```

C1591.cob 6: JMN148II-E '相対編成ファイル'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

C1591.cob 8: JMN148II-E 'RELATIVE KEY'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

C1591.cob 9: JMN1591I-S LOCK MODE句は順ファイル、相対ファイルまたは索引ファイル以外に指定できません。

2.3.356 JMN1592I-S

画面節のFROM、TOまたはUSING指定のある項目にはPICTURE句が指定されなければなりません。

例題

```
[C1592.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1592.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 AA          PIC X(2).
```

```
000007 SCREEN          SECTION.
000008 01 BBB          AUTO FROM AA BELL.
000009 END PROGRAM C1592.
```

C1592.cob 8: JMN1592I-S 画面節のFROM, TOまたはUSING指定のある項目にはPICTURE句が指定されなければなりません。

2.3.357 JMN1593I-S

@1@句には@2@を指定しなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : LINE NUMBER,COLUMN NUMBER
@2@ : 一意名または整定数

例題

```
[C1593. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1593.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 ZZZ         PIC X(8).
000007 SCREEN         SECTION.
000008 01 AAA         PIC X(80) LINE FROM ZZZ.
000009 END PROGRAM C1593.
```

C1593.cob 8: JMN1593I-S LINE NUMBER句には一意名または整定数を指定しなければなりません。

2.3.358 JMN1594I-S

@1@句の@2@指定には@3@を記述しなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : PICTURE
@2@ : FROM,TO,USING
@3@ : 一意名,一意名または定数

例題

```
[C1594. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1594.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 ZZZ         PIC X(8).
000007 SCREEN         SECTION.
000008 01 AAA         PIC X(80) FROM TO ZZZ.
000009 END PROGRAM C1594.
```

C1594.cob 8: JMN1594I-S PICTURE句のFROM指定には一意名または定数を記述しなければなりません。

2.3.359 JMN1596I-S

ASSIGN句のDISKまたはPRINTERは, FORMAT句付き印刷ファイルには指定できません。

例題

```
[C1596. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```



```

000002 PROGRAM-ID.      C1596.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT AFILE ASSIGN TO DISK
000007                 ORGANIZATION IS SEQUENTIAL
000008                 FORMAT IS FM1.
000009 DATA            DIVISION.
000010 FILE             SECTION.
000011     FD AFILE.
000012     01 AREC       PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014     01 FM1        PIC X(8).
000015 END PROGRAM C1596.

```

C1596.cob 6: JMN1596I-S ASSIGN句のDISKまたはPRINTERは、FORMAT句付き印刷ファイルには指定できません。

2.3.360 JMN1597I-W

'@1@'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

埋め込みの説明

@1@ : SUBSCHEMA-NAME

例題

```

[C1597.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1597.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SUBSCHEMA-NAME. "SUBS".
000006 DATA            DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 END PROGRAM C1597.

```

C1597.cob 5: JMN1086I-S AIMディレクトリデータセットにサブスキーマ名段落で指定されたサブスキーマがありません。サブスキーマ名段落は無効になります。

C1597.cob 5: JMN1085I-S AIMディレクトリデータセットでオープン/クローズエラーが発生しています。AIM展開レコード域および特殊レジスタFCOMの確保を終了します。

C1597.cob 5: JMN1597I-W 'SUBSCHEMA-NAME'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

2.3.361 JMN1599I-S

画面節の01レベル項目以外に、@1@句は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : TABLE LINE

例題

```

[C1599.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1599.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 SCREEN          SECTION.
000006     01 HYO.
000007     02 HY01       BELL
000008                 TABLE LINE.

```

```
000009 PROCEDURE DIVISION.  
000010     DISPLAY HYD.  
000011 END PROGRAM C1599.
```

C1599.cob 8: JMN1599I-S 画面節の01レベル項目以外に、TABLE LINE句は指定できません。

2.3.362 JMN1600I-S

再帰属性を持つプログラム定義に、@1@は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : 画面節 / INITIAL句を持つ内部プログラム

例題

```
[P1600.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.     P1600 IS RECURSIVE.  
000003 DATA DIVISION.  
000004 SCREEN SECTION.  
000005 END PROGRAM P1600.
```

P1600.cob 4: JMN1600I-S 再帰属性を持つプログラム定義に、画面節は指定できません。

2.3.363 JMN1604I-W

注記項は、標識領域にハイフンを用いてつなぐことはできません。ハイフンは無効になります。

例題

```
[C1604.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.     C1604.  
000003 DATE-COMPILED.  "1998  
000004-                "2007"  
000005 END PROGRAM C1604.
```

C1604.cob 4: JMN1604I-W 注記項は、標識領域にハイフンを用いてつなぐことはできません。ハイフンは無効になります。

2.3.364 JMN1608I-S

関数の関数名が誤っています。または、関数名が指定されていません。

例題

```
[C1608.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.     C1608.  
000003 DATA           DIVISION.  
000004 WORKING-STORAGE SECTION.  
000005 01 WKPTR        POINTER.  
000006 01 WKARA        PIC X(10).  
000007 PROCEDURE      DIVISION.  
000008     MOVE FUNCTION ADRR(WKARA) TO WKPTR  
000009  
000010 END PROGRAM C1608.
```

C1608.cob 8: JMN1608I-S 関数の関数名が誤っています。または、関数名が指定されていません。

C1608.cob 8: JMN2501I-S MOVE文で、'FUNCTION'は一意名または定数でなければなりません。

2.3.365 JMN1615I-I

(CONF)登録集原文中の左括弧に続く文字列が置き換っています。

例題

```
[A. cob]
000001 01 DATA-1 PIC X(10).
```

```
[C1615. cob]
000001 @OPTIONS CONF (V10)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C1615.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 COPY A REPLACING == 10 == BY == 5 ==.
000007 END PROGRAM C1615.
```

C1615.cob 1: JMN1615I-I (CONF)登録集原文中の左括弧に続く文字列が置き換っています。

2.3.366 JMN1661I-S

登録集原文の組込みに必要な作業領域の獲得または解放に失敗しました。

2.3.367 JMN1662I-S

不完全なファイル定義体または画面帳票定義体が指定されました。

2.3.368 JMN1664I-S

定義体が処理できる最大サイズを超えています。この定義体を作成した環境であらかじめ縮小してください。

2.3.369 JMN1665I-S

ファイル定義体または画面帳票定義体の展開に必要なプログラムの読み込みまたは解放に失敗しました。

2.3.370 JMN1668I-W

ファイル定義体または画面帳票定義体において入出力項目が定義されていません。

詳細な説明

指定した定義体に、データの定義がありません。

2.3.371 JMN1670I-S

日本語16進定数は16進文字(0~9, A~F)で構成されていなければなりません。日本語定数を1字の空白とみなしません。

例題

```
[C1670. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1670.
000003 PROCEDURE DIVISION.
000004 DISPLAY NX"835483938376838Z"
000005 .
000006 END PROGRAM C1670.
```

C1670.cob 4: JMN1670I-S 日本語16進定数は16進文字(0～9, A～F)で構成されていなければなりません。日本語定数を1字の空白とみなします。

2.3.372 JMN1671I-S

登録集原文の組み込み中に入出力エラーが発生しました。登録集原文の組み込みを中止します。

詳細な説明

主な原因として以下が考えられます。

- ・ 定義体が壊れている。

定義体が破壊されているため、入出力時にエラーが発生しました。定義体をFORMで開いてみて、正常な状態かどうかを確認してください。必要ならば修復・再作成してください。

2.3.373 JMN1672I-S

日本語定数の中に日本語の文字に変換できない文字があります。日本語定数を1字の空白とみなします。

例題

```
[C1672. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1672.
000003 PROCEDURE      DIVISION.
000004     DISPLAY NC"日本語定数A"
000005
000006 END PROGRAM C1672.
```

C1672.cob 4: JMN1672I-S 日本語定数の中に日本語の文字に変換できない文字があります。日本語定数を1字の空白とみなします。

詳細な説明

日本語定数には、計算機文字集合中の任意の日本語文字を書くことができます。ただし、動作モードがUnicodeの場合、計算機文字集合中の任意の文字を書くことができます。

2.3.374 JMN1673I-W

画面帳票定義体の項目制御部の長さが、統一されていません。表示ファイルの特殊レジスタは、項目制御部の長さが5バイトであるものとして扱います。

2.3.375 JMN1674I-S

未サポートの機能を使用しているファイル定義体または画面帳票定義体が指定されました。

詳細な説明

コンパイラが扱うことのできる定義体より新しい形式の定義体を読み込みました。定義体を使用中のコンパイラのVLに合わせるか、コンパイラを最新のVLにする必要があります。

2.3.376 JMN1675I-S

@1@は@2@には指定できません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 予約語名, 環境部, 節名

@2@ : 入れ子のプログラム, メソッド原型定義, 定義名

例題

```
[C1675.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1675.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 I-O-CONTROL.
000006 END CLASS C1675.
```

C1675.cob 4: JMN1675I-S 入出力節はクラス定義には指定できません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

C1675.cob 5: JMN1675I-S 入出力節はクラス定義には指定できません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

2.3.377 JMN1676I-S

@1@句は@2@以外は指定できません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

埋め込みの説明

- [Win32]

@1@ : TYPE / TYPEDEF / GLOBAL

@2@ : 基底場所節, ファイル節, 作業場所節, 定数節および連絡節 / プログラム定義

- [Winx64]

@1@ : TYPE / TYPEDEF / GLOBAL

@2@ : 基底場所節, ファイル節, 作業場所節, 局所記憶節, 定数節および連絡節 / プログラム定義

例題

```
[C1676.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1676.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 DATA              DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 A1 GLOBAL PIC X.
000008 PROCEDURE        DIVISION.
000009 END OBJECT.
000010 END CLASS C1676.
```

C1676.cob 7: JMN1676I-S GLOBAL句はプログラム定義以外は指定できません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

2.3.378 JMN1677I-S

@1@は@2@には指定できません。次の認識できる段落、または部まで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 環境部, データ部, 手続き部

@2@ : クラス定義

例題

```
[C1677.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1677.
```

```
000003 DATA          DIVISION.
000004 END CLASS C1677.
```

C1677.cob 3: JMN1677I-S データ部はクラス定義には指定できません。次の認識できる段落、または部まで無効になります。

2.3.379 JMN1678I-S

@1@句はファクトリ定義、スタティック定義またはオブジェクト定義の作業場所節以外には指定できません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 句の名前

例題

```
[C1678.cob]
000001 IDENTIFICATION  DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     C1678.
000003 DATA           DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 ERR-REC PROPERTY NO GET PIC 9.
000006 PROCEDURE       DIVISION.
000007 END PROGRAM C1678.
```

C1678.cob 5: JMN1678I-S PROPERTY句はファクトリ定義またはオブジェクト定義の作業場所節以外には指定できません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

2.3.380 JMN1681I-S

@1@句は@2@には指定できません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : TYPEDEF, EXTERNAL

@2@ : SQL宣言節, ファクトリ定義, スタティック定義またはオブジェクト定義

例題

```
[C1681.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C1681.
000003 OBJECT.
000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 PRM  PIC X(4) EXTERNAL.
000007 END OBJECT.
000008 END CLASS C1681.
```

C1681.cob 6: JMN1681I-S EXTERNAL句はファクトリ定義、スタティック定義またはオブジェクト定義には指定できません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

2.3.381 JMN1683I-S

PROPERTY句のGET指定またはSET指定にはNOを記述しなければなりません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

例題

```
[C1683.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C1683.
000003 ENVIRONMENT   DIVISION.
```

```
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 AAA2 PROPERTY GET PIC 9.
000009 END OBJECT.
000010 END CLASS C1683.
```

C1683.cob 8: JMN1683I-S PROPERTY句のGET指定またはSET指定にはNOを記述しなければなりません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

2.3.382 JMN1684I-S

PROPERTY句にNOを指定した場合、GET指定またはSET指定を記述しなければなりません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

例題

```
[C1684.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID. C1684.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 AAA PROPERTY NO AAA PIC 9.
000009 END OBJECT.
000010 END CLASS C1684.
```

C1684.cob 8: JMN1684I-S PROPERTY句にNOを指定した場合、GET指定またはSET指定を記述しなければなりません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

2.3.383 JMN1685I-S

無名項目にPROPERTY句を指定することはできません。PROPERTY句は無効になります。

例題

```
[C1685.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID. C1685.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 PROPERTY NO SET PIC 9.
000009 END OBJECT.
000010 END CLASS C1685.
```

C1685.cob 8: JMN1685I-S 無名項目にPROPERTY句を指定することはできません。PROPERTY句は無効になります。

2.3.384 JMN1686I-S

@1@は@2@以外には指定できません。

埋め込みの説明

- @1@ : 句の名前
- @2@ : プログラム定義

例題

```
[C1686.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1686.
000003 OBJECT.
000004 PROCEDURE         DIVISION.
000005 METHOD-ID.        M1686.
000006 PROCEDURE         DIVISION.
000007     DISPLAY "Hello COBOL!!"
000008     PERFORM A1
000009     .
000010 A1 SECTION 1686.
000011     DISPLAY "Error Program".
000012 END METHOD         M1686.
000013 END OBJECT.
000014 END CLASS        C1686.
```

C1686.cob 10: JMN1686I-S 節の見出しの区分番号はプログラム定義以外には指定できません。

2.3.385 JMN1687I-S

@1@は@2@には指定できません。次の認識できる段落、節または部まで無効になります。

埋め込みの説明

- @1@ : 連絡節
- @2@ : ファクトリ定義, スタティック定義またはオブジェクト定義

例題

```
[C1687.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1687.
000003 FACTORY.
000004 DATA              DIVISION.
000005 LINKAGE            SECTION.
000006 END FACTORY.
000007 END CLASS C1687.
```

C1687.cob 5: JMN1687I-S 連絡節はファクトリ定義, スタティック定義またはオブジェクト定義には指定できません。次の認識できる段落、節または部まで無効になります。

2.3.386 JMN1688I-S

MULTIPLE REELおよびUNIT指定はプログラム定義以外には指定できません。

例題

```
[C1688.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1688.
000003 OBJECT.
000004 ENVIRONMENT        DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT       SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT IN-FILE
000008     ASSIGN TO INFILE
000009     MULTIPLE REEL
000010     ORGANIZATION LINE SEQUENTIAL
000011     .
000012 DATA              DIVISION.
000013 FILE                SECTION.
```



```
000014 FD IN-FILE.
000015 01 IN-REC.
000016 02 I-CODE      PIC X.
000017 END OBJECT.
000018 END CLASS C1688.
```

C1688.cob 8: JMN1688I-S MULTIPLE REELおよびUNIT指定はプログラム定義以外には指定できません。

2.3.387 JMN1689I-S

'@1@'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

埋め込みの説明

@1@ : MSPまたはXSPシステムの固有機能の語

例題

```
[C1689.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1689.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SUBSCHEMA-NAME.  "CHK1CSBN".
000006 END CLASS C1689.
```

C1689.cob 5: JMN1689I-S 'SUBSCHEMA-NAME'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

C1689.cob 5: JMN1086I-S AIMディレクトリデータセットにサブスキーマ名段落で指定されたサブスキーマがありません。サブスキーマ名段落は無効になります。

C1689.cob 5: JMN1085I-S AIMディレクトリデータセットでオープン/クローズエラーが発生しています。AIM展開レコード域および特殊レジスタFCOMの確保を終了します。

2.3.388 JMN1690I-S

@1@は@2@以外には指定できません。次の認識できるEND-EXEC、節または部まで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : DCSQL

@2@ : プログラム定義

例題

```
[C1690.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1690.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 FACTORY.
000005 DATA              DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 EXEC DCSQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000008 01 SQLSTATE PIC X(5).
000009 EXEC DCSQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000010 PROCEDURE        DIVISION.
000011 END FACTORY.
000012 END CLASS C1690.
```

C1690.cob 7: JMN1690I-S DCSQL機能はプログラム定義以外には指定できません。次の認識できるEND-EXEC、節または部まで無効になります。

C1690.cob 9: JMN1690I-S DCSQL機能はプログラム定義以外には指定できません。次の認識できるEND-EXEC、節または部まで無効になります。

2.3.389 JMN1692I-S

@1@はプログラム定義、オブジェクト定義またはオブジェクトメソッド定義内で指定しなければなりません。次の認識できるEND-EXEC、節または部まで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : SQL機能

例題

```
[C1692.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1692.
000003 FACTORY.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 HOSTVAR  PIC X(100).
000008     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000009 END FACTORY.
000010 END CLASS C1692.
```

C1692.cob 6: JMN1692I-S SQL機能はプログラム定義、オブジェクト定義またはオブジェクトメソッド定義内で指定しなければなりません。次の認識できるEND-EXEC、節または部まで無効になります。

C1692.cob 8: JMN1692I-S SQL機能はプログラム定義、オブジェクト定義またはオブジェクトメソッド定義内で指定しなければなりません。次の認識できるEND-EXEC、節または部まで無効になります。

2.3.390 JMN1693I-S

@1@句はレベル番号01の項目だけに指定できます。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : TYPEDEF

例題

```
[C1693.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1693.
000003 OBJECT.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 DATA01.
000007 02 DATA02 TYPEDEF PIC X(100).
000008 END OBJECT.
000009 END CLASS C1693.
```

C1693.cob 7: JMN1693I-S TYPEDEF句はレベル番号01の項目だけに指定できます。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

2.3.391 JMN1694I-S

レベル番号78には、名前付き定数名を指定しなければなりません。この記述項は無効にし、次の部、節、レベル指示語またはレベル番号まで読み飛ばします。

例題

```
[C1694.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1694.
```

```

000003 OBJECT.
000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 DATA01.
000007 78             VALUE 10.
000008 END OBJECT.
000009 END CLASS C1694.

```

C1694.cob 7: JMN1694I-S レベル番号78には、名前付き定数名を指定しなければなりません。この記述項は無効にし、次の部、節、レベル指示語またはレベル番号まで読み飛ばします。

C1694.cob 7: JMN2222I-S PICTURE句がありません。PICTURE 9が指定されたものとみなします。

C1694.cob 7: JMN1103I-W 終止符がありません。終止符があるものとみなします。

詳細な説明

名前付き定数は、定数に付ける名前です。無名項目は許されません。

2.3.392 JMN1695I-S

名前付き定数記述項には、VALUE句だけ指定できます。この記述項は無効にし、次の部、節、レベル指示語またはレベル番号まで読み飛ばします。

例題

```

[C1695.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.       C1695.
000003 OBJECT.
000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 78 DATA011   PIC X(10).
000007 END OBJECT.
000008 END CLASS C1695.

```

C1695.cob 6: JMN1695I-S 名前付き定数記述項には、VALUE句だけ指定できます。この記述項は無効にし、次の部、節、レベル指示語またはレベル番号まで読み飛ばします。

2.3.393 JMN1696I-S

レベル番号78は、@1@には指定できません。この記述項は無効にし、次の部、節、レベル指示語またはレベル番号まで読み飛ばします。

埋め込みの説明

@1@ : メソッド原型定義

例題

```

[C1696.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.       C1696.
000003 OBJECT.
000004 PROCEDURE      DIVISION.
000005 METHOD-ID.      M1696 PROTOTYPE.
000006 DATA          DIVISION.
000007 LINKAGE        SECTION.
000008 78 DATA011   VALUE 10.
000009 END METHOD M1696.
000010 END OBJECT.
000011 END CLASS C1696.

```

C1696.cob 8: JMN1696I-S レベル番号78は、メソッド原型定義には指定できません。この記述項は無効にし、次の部、節、レベル指示語またはレベル番号まで読み飛ばします。

C1696.cob 8: JMN1255I-S 01レベル項目の指定なしに02～49レベル項目が指定されています。01レベル項目とみなします。

C1696.cob 8: JMN2222I-S PICTURE句がありません。PICTURE 9が指定されたものとみなします。

C1696.cob 8: JMN1005I-W 文字列'DATA011'は、B領域から書き始めなければなりません。B領域から書き始められているものとみなします。

2.3.394 JMN1697I-S

ANY LENGTH句はメソッド定義の連絡節のレベル番号01の項目だけに指定できます。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

例題

```
[C1697.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1697.
000003 OBJECT.
000004 PROCEDURE         DIVISION.
000005 METHOD-ID.         M1697.
000006 DATA              DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 DATA011      PIC X ANY LENGTH.
000009 END METHOD M1697.
000010 END OBJECT.
000011 END CLASS C1697.
```

C1697.cob 8: JMN1697I-S ANY LENGTH句はメソッド定義の連絡節のレベル番号01の項目だけに指定できます。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

2.3.395 JMN1698I-S

ANY LENGTH句が指定されたPICTURE句の文字は'X'または'N'の1つの文字でなければなりません。ANY LENGTH句は無効になります。

例題

```
[C1698.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1698.
000003 OBJECT.
000004 PROCEDURE         DIVISION.
000005 METHOD-ID.         M1698.
000006 DATA              DIVISION.
000007 LINKAGE           SECTION.
000008 01 DATA011      PIC 9 ANY LENGTH.
000009 END METHOD M1698.
000010 END OBJECT.
000011 END CLASS C1698.
```

C1698.cob 8: JMN1698I-S ANY LENGTH句が指定されたPICTURE句の文字は'X'または'N'の1つの文字でなければなりません。ANY LENGTH句は無効になります。

2.3.396 JMN1699I-S

無名項目に@1@句を指定することはできません。@1@句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : TYPEDEF

例題

```
[C1699.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1699.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 IDENTIFICATION    DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 PROCEDURE          DIVISION.
000007 METHOD-ID.         M1699.
000008 DATA              DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE   SECTION.
000010 01 TYPEDEF.
000011 END METHOD         M1699.
000012 END OBJECT.
000013 END CLASS C1699.
```

C1699.cob 10: JMN1699I-S 無名項目にTYPEDEF句を指定することはできません。TYPEDEF句は無効になります。

C1699.cob 10: JMN2222I-S PICTURE句がありません。PICTURE 9が指定されたものとみなします。

2.3.397 JMN1701I-S

@1@に終止符がありません。または誤った語が現れました。

埋め込みの説明

@1@ : クラス終わり見出し, ファクトリ終わり見出し, オブジェクト終わり見出し, メソッド終わり見出し

例題

```
[C1701.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C1701.
000003 END CLASS     C1701
```

C1701.cob 3: JMN1701I-S クラス終わり見出しに終止符がありません。または誤った語が現れました。

2.3.398 JMN1703I-S

@1@に@2@がありません。

埋め込みの説明

@1@ : クラス終わり見出し, メソッド終わり見出し

@2@ : クラス名, メソッド名

例題

```
[C1703.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C1703.
000003 END CLASS.
```

C1703.cob 3: JMN1703I-S クラス終わり見出しにクラス名がありません。

2.3.399 JMN1704I-S

継承する@1@に、翻訳中の@2@は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : クラス
@2@ : クラス

例題

```
[C1704. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1704 INHERITS C1704.
000003 END CLASS C1704.
```

C1704.cob 2: JMN1704I-S 継承するクラスに、翻訳中のクラスは指定できません。

C1704.cob 2: JMN1705I-S 継承するクラスが指定されていません。INHERITS句は無効になります。

詳細な説明

INHERITS句には翻訳対象となる自身のクラスは指定できません。

2.3.400 JMN1705I-S

継承する@1@が指定されていません。INHERITS句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : クラス

例題

```
[C1705. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1705 INHERITS.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 END CLASS C1705.
```

C1705.cob 2: JMN1705I-S 継承するクラスが指定されていません。INHERITS句は無効になります。

2.3.401 JMN1706I-S

@1@はすでに指定されています。@1@は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : INHERITS句, OVERRIDE, PROPERTY

例題

```
[XXXXX. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          XXXXX.
000003 END CLASS          XXXXX.
```

```
[C1706. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1706 INHERITS XXXXX INHERITS XXXXX.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS XXXXX.
000007 END CLASS C1706.
```

C1706.cob 2: JMN1706I-S INHERITS句はすでに指定されています。INHERITS句は無効になります。

2.3.402 JMN1707I-S

@2@で指定された@3@'@1@がありません。終了していない最後の@3@の@2@とみなします。

埋め込みの説明

- @1@ : クラス名, メソッド名
- @2@ : クラス終わり見出し, メソッド終わり見出し
- @3@ : クラス, メソッド

例題

```
[C1707. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1707.
000003 END CLASS         CLS1.
```

C1707.cob 3: JMN1707I-S クラス終わり見出しで指定されたクラス'CLS1'がありません。終了していない最後のクラスのクラス終わり見出しとみなします。

2.3.403 JMN1708I-S

@1@として指定できない文字列が指定されました。または@1@が指定されていません。@1@を生成し、次の段落または部まで無効になります。

埋め込みの説明

- @1@ : クラス名, メソッド名

例題

```
[1708. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          1708.
000003 OBJECT.
000004 PROCEDURE         DIVISION.
000005 METHOD-ID.         1000.
000006 END METHOD         1000.
000007 END CLASS         1708.
```

1708.cob 2: JMN1708I-S クラス名として指定できない文字列が指定されました。またはクラス名が指定されていません。クラス名を生成し、次の段落または部まで無効になります。

1708.cob 5: JMN1708I-S メソッド名として指定できない文字列が指定されました。またはメソッド名が指定されていません。メソッド名を生成し、次の段落または部まで無効になります。

1708.cob 6: JMN1701I-S メソッド終わり見出しに終止符がありません。または誤った語が現れました。

1708.cob 7: JMN1701I-S クラス終わり見出しに終止符がありません。または誤った語が現れました。

1708.cob 7: JMN1726I-S メソッド終わり見出しがありません。メソッド終わり見出しがあるものとみなします。

1708.cob 7: JMN1726I-S オブジェクト終わり見出しがありません。オブジェクト終わり見出しがあるものとみなします。

詳細な説明

クラス名またはメソッド名は利用者語の規則に従って記述してください。

2.3.404 JMN1710I-I

(CONF)@1@の指定がないか、または@2@に誤りがあります。@2@を'@3@'とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : CLASS-ID段落,METHOD-ID段落
@2@ : クラス名,メソッド名
@3@ : NOCLASID,NOMETDID

例題

```
[C1710.cob]
000001 @OPTIONS CONF (V4)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 CLASS-ID.      C1710.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE      DIVISION.
000006 METHOD-ID.      2000.
000007 END METHOD 2000.
000008 END OBJECT.
000009 END CLASS C1710.
```

C1710.cob 3: JMN1710I-I (CONF)CLASS-ID段落の指定がないか、またはクラス名に誤りがあります。クラス名を'NOCLASID'とみなします。

C1710.cob 6: JMN1710I-I (CONF)METHOD-ID段落の指定がないか、またはメソッド名に誤りがあります。メソッド名を'NOMETDID'とみなします。

C1710.cob 7: JMN170II-S メソッド終わり見出しに終止符がありません。または誤った語が現れました。

C1710.cob 8: JMN1745I-S 対応しない終わり見出しが指定されています。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

C1710.cob 9: JMN170II-S クラス終わり見出しに終止符がありません。または誤った語が現れました。

C1710.cob 9: JMN1726I-S メソッド終わり見出しがありません。メソッド終わり見出しがあるものとみなします。

C1710.cob 9: JMN1726I-S オブジェクト終わり見出しがありません。オブジェクト終わり見出しがあるものとみなします。

2.3.405 JMN1715I-S

分離されたメソッドに@1@指定は記述できません。@1@指定は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : OVERRIDE,PROTOTYPE

例題

```
[M1715.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 METHOD-ID.      M1715 PROTOTYPE.
000003 PROCEDURE      DIVISION.
000004 END METHOD M1715.
```

M1715.cob 2: JMN1715I-S 分離されたメソッドにPROTOTYPE指定は記述できません。PROTOTYPE指定は無効になります。

M1715.cob 2: JMN1742I-S 分離されたメソッドには、翻訳中のメソッドの原型定義を含むクラスを指定しなければなりません。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

M1715.cob 2: JMN5005I-S メソッド'M1715'のメソッド原型定義がありません。メソッド'M1715'は無効になります。

2.3.406 JMN1716I-S

クラス名は、クラスに含まれるメソッドには指定できません。クラス名指定は無効になります。

例題

```
[C1.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```



```
000002 CLASS-ID.      C1.
000003 END CLASS C1.
```

```
[C1716.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C1716 INHERITS C1.
000003 ENVIRONMENT   DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS C1.
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 OBJECT.
000009 PROCEDURE     DIVISION.
000010 IDENTIFICATION DIVISION.
000011 METHOD-ID.     M1716 OF C1.
000012 PROCEDURE     DIVISION.
000013 END METHOD M1716.
000014 END OBJECT.
000015 END CLASS C1716.
```

C1716.cob 11: JMN1716I-S クラス名は、クラスに含まれるメソッドには指定できません。クラス名指定は無効になります。

詳細な説明

メソッド名段落のOF指定にはメソッド原型を定義したクラス名を指定します。
この記述は分離されたメソッドのみ有効です。

2.3.407 JMN1717I-S

PROPERTY指定の構文に誤りがあります。このPROPERTY指定は無効になります。

例題

```
[C1717.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C1717.
000003 ENVIRONMENT   DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 PROCEDURE     DIVISION.
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 METHOD-ID.     GET M1717.
000009 PROCEDURE     DIVISION.
000010 END METHOD.
000011 END OBJECT.
000012 END CLASS C1717.
```

C1717.cob 8: JMN1717I-S PROPERTY指定の構文に誤りがあります。このPROPERTY指定は無効になります。

C1717.cob 10: JMN1703I-S メソッド終わり見出しにメソッド名がありません。

C1717.cob 11: JMN1745I-S 対応しない終わり見出しが指定されています。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

C1717.cob 12: JMN1726I-S メソッド終わり見出しがありません。メソッド終わり見出しがあるものとみなします。

C1717.cob 12: JMN1726I-S オブジェクト終わり見出しがありません。オブジェクト終わり見出しがあるものとみなします。

2.3.408 JMN1718I-S

プロパティ指定子の構文に誤りがあります。

例題

```
[C1718.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```
000002 CLASS-ID.      C1718.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 CONFIGURATION  SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     PROPERTY "PR1".
000007 END CLASS C1718.
```

C1718.cob 6: JMN1718I-S プロパティ指定子の構文に誤りがあります。

2.3.409 JMN1724I-S

'@1@'段落はプログラム定義以外には記述できません。次の認識できる段落または部まで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 段落名

例題

```
[C1724.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C1724.
000003 AUTHOR.        YYYYY.
000004 ENVIRONMENT    DIVISION.
000005 END CLASS C1724.
```

C1724.cob 3: JMN1724I-S 'AUTHOR'段落はプログラム定義以外には記述できません。次の認識できる段落または部まで無効になります。

詳細な説明

以下の段落はプログラム名段落の後のみに記述可能です。

- AUTHOR段落
- INSTALLATION段落
- DATE-WRITTEN段落
- 翻訳日付段落
- SECURITY段落

このコンパイラでは、これらの段落を書く順序は任意です。これらの段落は注記項を書くための段落であり、廃要素です。

2.3.410 JMN1725I-S

クラス '@1@' はクラス終わり見出しで終わらなければなりません。クラス終わり見出しがあるものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : クラス名

例題

```
[C1725.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C1725.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
```

C1725.cob 3: JMN1725I-S クラス 'C1725' はクラス終わり見出しで終わらなければなりません。クラス終わり見出しがあるものとみなします。

2.3.411 JMN1726I-S

@1@がありません。@1@があるものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : ファクトリ終わり見出し, オブジェクト終わり見出し, メソッド終わり見出し

例題

```
[C1726.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1726.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 PROCEDURE     DIVISION.
000007 END CLASS C1726.
```

C1726.cob 7: JMN1726I-S オブジェクト終わり見出しがありません。オブジェクト終わり見出しがあるものとみなします。

2.3.412 JMN1735I-S

@1@の記述位置に誤りがあります。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 定義名

例題

```
[C1735.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1735.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 PROCEDURE     DIVISION.
000007 END OBJECT.
000008 FACTORY.
000009 PROCEDURE     DIVISION.
000010 END FACTORY.
000011 END CLASS C1735.
```

C1735.cob 8: JMN1735I-S ファクトリ定義の記述位置に誤りがあります。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

2.3.413 JMN1736I-S

許されない語 '@1@' が現れました。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 誤った語

例題

```
[C1736.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1736.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE     DIVISION.
000006 END OBJECT.
000007   XXXX.
000008 END CLASS C1736.
```

C1736.cob 7: JMN1736I-S 許されない語'XXXX'が現れました。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

2.3.414 JMN1738I-S

@1@はすでに指定されています。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : ファクトリ定義, オブジェクト定義

例題

```
[C1738.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1738.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 FACTORY.
000006 PROCEDURE        DIVISION.
000007 END FACTORY.
000008 FACTORY.
000009 PROCEDURE        DIVISION.
000010 END FACTORY.
000011 END CLASS C1738.
```

C1738.cob 8: JMN1738I-S ファクトリ定義はすでに指定されています。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

2.3.415 JMN1739I-W

@1@句は、データ記述項の最初の句でなければなりません。@1@句は、有効になります。

埋め込みの説明

@1@ : TYPEDEF

例題

```
[C1739.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1739.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WK1 PIC X IS TYPEDEF.
000006 END PROGRAM      C1739.
```

C1739.cob 5: JMN1739I-W TYPEDEF句は、データ記述項の最初の句でなければなりません。TYPEDEF句は、有効になります。

2.3.416 JMN1741I-S

対応しない終わり見出しが指定されています。この終わり見出しは無効になります。

例題

```
[P1741.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P1741.
000003 PROCEDURE        DIVISION.
000004 END CLASS P1741.
```

P1741.cob 4: JMN1741I-S 対応しない終わり見出しが指定されています。この終わり見出しは無効になります。

詳細な説明

見出し部と終わり見出しの定義が合っていません。

2.3.417 JMN1742I-S

分離されたメソッドには、翻訳中のメソッドの原型定義を含むクラスを指定しなければなりません。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

例題

```
[M1742. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 METHOD-ID.      M1742.
000003 ENVIRONMENT   DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS XXXX.
000007 END METHOD M1724.
```

M1742.cob 2: JMN1742I-S 分離されたメソッドには、翻訳中のメソッドの原型定義を含むクラスを指定しなければなりません。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

M1742.cob 2: JMN5005I-S メソッド'M1742'のメソッド原型定義がありません。メソッド'M1742'は無効になります。

詳細な説明

分離されたメソッドでは、メソッド名段落のOF指定にメソッド原型を定義したクラス名を指定します。

2.3.418 JMN1744I-S

GET指定またはSET指定のメソッドの終わり見出しには、メソッド名は指定できません。

例題

```
[C1744. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C1744.
000003 ENVIRONMENT   DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 PROCEDURE     DIVISION.
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 METHOD-ID.    GET PROPERTY M1744.
000009 PROCEDURE     DIVISION.
000010 END METHOD M1744.
000011 END OBJECT.
000012 END CLASS C1744.
```

C1744.cob 8: JMN5537I-S プロパティ取出しメソッドまたはプロパティ設定メソッドの手続き部見出しに、必要なパラメタがありません。パラメタとして1バイトの英数字項目が指定されたとみなします。

C1744.cob 10: JMN1744I-S GET指定またはSET指定のメソッドの終わり見出しには、メソッド名は指定できません。

2.3.419 JMN1745I-S

対応しない終わり見出しが指定されています。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

例題

```
[C1745. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C1745.
000003 ENVIRONMENT   DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 PROCEDURE     DIVISION.
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```
000008 METHOD-ID.      M1745.
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010 END METHOD M1745.
000011 END OBJECT.
000012 END OBJECT.
000013 END CLASS C1745.
```

C1745.cob 12: JMN1745I-S 対応しない終わり見出しが指定されています。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

2.3.420 JMN1746I-S

クラス名、メソッド名、デリゲート名、ENUM名およびインタフェース名に定数は指定できません。

例題

```
[C1746.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      "C1746".
000003 ENVIRONMENT   DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 PROCEDURE      DIVISION.
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 METHOD-ID.      "M1746".
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010 END METHOD "M1746".
000011 END OBJECT.
000012 END CLASS "C1746".
```

C1746.cob 2: JMN1746I-S クラス名、メソッド名、デリゲート名、ENUM名およびインタフェース名に定数は指定できません。

C1746.cob 8: JMN1746I-S クラス名、メソッド名、デリゲート名、ENUM名およびインタフェース名に定数は指定できません。

C1746.cob 10: JMN1746I-S クラス名、メソッド名、デリゲート名、ENUM名およびインタフェース名に定数は指定できません。

C1746.cob 11: JMN1745I-S 対応しない終わり見出しが指定されています。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

C1746.cob 12: JMN1746I-S クラス名、メソッド名、デリゲート名、ENUM名およびインタフェース名に定数は指定できません。

C1746.cob 12: JMN1726I-S メソッド終わり見出しがありません。メソッド終わり見出しがあるものとみなします。

C1746.cob 12: JMN1726I-S オブジェクト終わり見出しがありません。オブジェクト終わり見出しがあるものとみなします。

2.3.421 JMN1748I-S

クラス '@1@' のリポジトリファイルが割り当てられていません。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : クラス名

詳細な説明

分離されたメソッド翻訳時、メソッドプロトタイプを含んだクラスのリポジトリファイルに以下の問題が考えられます。

- ・ 読み込み権がない。

2.3.422 JMN1749I-S

クラス '@1@' のリポジトリファイルに異常があります。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : クラス名

詳細な説明

分離されたメソッド翻訳時、メソッドプロトタイプを含んだクラスのリポジトリファイルに以下の問題が考えられます。

- ・ 何らかの理由で壊れています。再翻訳し、リポジトリファイルを作成しなおしてください。

2.3.423 JMN1750I-S

クラス '@1@' のリポジトリファイルが割り当てられていません。

埋め込みの説明

@1@ : クラス名

詳細な説明

REPOSITORY段落に記述したリポジトリが存在しないか、名前が間違っているかまたは読み込み権がありません。参照するリポジトリファイルを指定する以下の設定を確認のうえ、整合性をとってください。なお、番号は以下の指定が重複した場合の入力先フォルダの検索順序を示します。

- 1)-Rオプション
- 2)翻訳オプションREPIN
- 3)環境変数COB_REPIN
- 4)-drオプション
- 5)翻訳オプションREP
- 6)カレントフォルダ

2.3.424 JMN1751I-S

クラス '@1@' のリポジトリファイルに異常があります。

埋め込みの説明

@1@ : クラス名

詳細な説明

リポジトリ段落で定義したクラスのリポジトリファイルに以下の問題が考えられます。

- ・ 何らかの理由で壊れています。再翻訳し、リポジトリファイルを作成しなおしてください。

2.3.425 JMN1752I-S

クラス '@1@' のリポジトリファイルにはメソッド原型定義の情報が含まれていません。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : クラス名

詳細な説明

メソッド名段落のOF指定に指定されたクラスに、メソッドプロトタイプの定義がひとつもありません。

2.3.426 JMN1753I-S

継承した '@1@' '@2@' がリポジトリ段落に指定されていません。または '@1@' 情報の取り出しに失敗しました。継承は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : クラス, インターフェース
@2@ : クラス名, インターフェース名

例題

```
[BASE.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID. BASE.
000003 END CLASS BASE.
```

```
[C1753.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID. C1753 INHERITS XX.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS BASE.
000007 END CLASS C1753.
```

C1753.cob 2: JMN1753I-S 継承したクラス'XX'がリポジトリ段落に指定されていません。またはクラス情報の取り出しに失敗しました。継承は無効になります。

2.3.427 JMN1754I-S

メソッド原型が定義されたクラス '@1@' がリポジトリ段落に指定されていません。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : クラス名

例題

```
[C1754.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 METHOD-ID. C1754 OF FACTORY OF XX.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS BASE.
000007 END METHOD C1754.
```

C1754.cob 2: JMN5005I-S メソッド'C1754'のメソッド原型定義がありません。メソッド'C1754'は無効になります。

C1754.cob 5: JMN1754I-S メソッド原型が定義されたクラス'XX'がリポジトリ段落に指定されていません。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

C1754.cob 6: JMN1750I-S クラス'BASE'のリポジトリファイルが割り当てられていません。

2.3.428 JMN1755I-S

メソッド '@1@' がクラス内で多重定義されています。メソッド '@1@' は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : メソッド名

例題

```
[C1755A.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID. C1755A.
```



```
000003 FACTORY.
000004 PROCEDURE      DIVISION.
000005 METHOD-ID.      M1.
000006 END METHOD M1.
000007 END FACTORY.
000008 END CLASS C1755A.
```

```
[C1755B.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C1755B.
000003 OBJECT.
000004 PROCEDURE      DIVISION.
000005 METHOD-ID.      M1.
000006 END METHOD M1.
000007 END OBJECT.
000008 END CLASS C1755B.
```

```
[C1755C.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C1755C INHERITS C1755A C1755B.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 CONFIGURATION  SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS C1755A
000007     CLASS C1755B.
000008 END CLASS C1755C.
```

C1755C.cob 2: JMN1755I-S メソッド'M1'がクラス内で多重定義されています。メソッド'M1'は無効になります。

詳細な説明

継承したクラスは、継承されたクラスのすべてのメソッドを持ちます。これらには、継承されたクラスが継承したメソッドも含まれます。

2.3.429 JMN1756I-S

多重継承において、同名メソッド'@1@'のインターフェースは同じでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : メソッド名

例題

```
[C1756A.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C1756A.
000003 FACTORY.
000004 PROCEDURE      DIVISION.
000005 METHOD-ID.      M1.
000006 END METHOD M1.
000007 END FACTORY.
000008 END CLASS C1756A.
```

```
[C1756B.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C1756B.
000003 FACTORY.
000004 PROCEDURE      DIVISION.
000005 METHOD-ID.      M1.
000006 DATA          DIVISION.
000007 LINKAGE        SECTION.
000008 01 P1          PIC X(4).
000009 PROCEDURE      DIVISION USING P1.
```

```
000010 END METHOD M1.
000011 END FACTORY.
000012 END CLASS C1756B.
```

```
[C1756C.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1756C INHERITS C1756A C1756B.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS C1756A
000007     CLASS C1756B.
000008 END CLASS C1756C.
```

C1756C.cob 2: JMN1756I-S 多重継承において、同名メソッド'M1'のインタフェースは同じでなければなりません。

2.3.430 JMN1757I-S

@1@'@2@'はすでに指定されています。

埋め込みの説明

@1@ : クラス

@2@ : 型名

例題

```
[BASE.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          BASE.
000003 END CLASS        BASE.
```

```
[C1757.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1757.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS BASE
000007     CLASS BASE.
000008 END CLASS C1757.
```

C1757.cob 7: JMN1757I-S クラス'BASE'はすでに指定されています。

2.3.431 JMN1758I-S

特殊クラスの指定に誤りがあります。

例題

```
[C1758.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1758.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS A AS "*A".
000007 END CLASS C1758.
```

C1758.cob 6: JMN1758I-S 特殊クラスの指定に誤りがあります。

詳細な説明

リポジトリ段落で宣言できる特殊クラスは以下です。

- “*COM” (または“*OLE”)
- “*COM-ARRAY” (または“*OLE-ARRAY”)
- “*COM-EXCEPTION” (または“*OLE-EXCEPTION”)
- “*COB-BINDTABLE”
- “*COM:COMサーバ名:COMクラス名”

2.3.432 JMN1759I-S

@1@指定子の構文に誤りがあります。

埋め込みの説明

@1@ : クラス

例題

```
[C1759.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1759.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS "A".
000007 END CLASS C1759.
```

C1759.cob 6: JMN1759I-S クラス指定子の構文に誤りがあります。

2.3.433 JMN1760I-S

オブジェクト参照データ項目 @1@ によって参照されるクラス '@2@' が、リポジトリ段落に指定されていません。クラス名指定なしのオブジェクト参照データ項目とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : オブジェクト参照項目名
@2@ : クラス名

例題

```
[C1760.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1760 INHERITS FJBASE.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS FJBASE
000007     .
000008 OBJECT.
000009 DATA          DIVISION.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 OBJR USAGE OBJECT REFERENCE FJBASE.
000012 PROCEDURE      DIVISION.
000013*
000014 METHOD-ID.       M1760 PROTOTYPE.
000015 END METHOD M1760.
000016*
```

```
000017 END OBJECT.  
000018 END CLASS C1760.
```

```
[M1760.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 METHOD-ID.      M1760 OF C1760.  
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.  
000004 CONFIGURATION SECTION.  
000005 REPOSITORY.  
000006     CLASS C1760  
000007     .  
000008 END METHOD M1760.
```

M1760.cob 2: JMN1760I-S オブジェクト参照データ項目OBJRによって参照されるクラス'FJBASE'が、リポジトリ段落に指定されていません。クラス名指定なしのオブジェクト参照データ項目とみなします。

2.3.434 JMN1761I-S

リポジトリ段落には、翻訳中のソース定義名は指定できません。

例題

```
[C1761.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 CLASS-ID.      C1761.  
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.  
000004 CONFIGURATION SECTION.  
000005 REPOSITORY.  
000006     CLASS C1761.  
000007 END CLASS C1761.
```

C1761.cob 6: JMN1761I-S リポジトリ段落には、翻訳中のソース定義名は指定できません。

2.3.435 JMN1762I-S

継承した@1@はリポジトリ段落に指定しなければなりません。継承は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : クラス

例題

```
[C1762.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 CLASS-ID.      C1762 INHERITS BASE.  
000003 END CLASS C1762.
```

C1762.cob 2: JMN1762I-S 継承したクラスはリポジトリ段落に指定しなければなりません。継承は無効になります。

2.3.436 JMN1763I-S

メソッド原型が定義されたクラスは、リポジトリ段落に指定しなければなりません。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

例題

```
[C1763.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 CLASS-ID.      C1763.  
000003 FACTORY.  
000004 PROCEDURE     DIVISION.  
000005 METHOD-ID.     M1 PROTOTYPE.
```

```
000006 END METHOD M1.
000007 END FACTORY.
000008 END CLASS C1763.
```

```
[M1. cob]
000001 METHOD-ID.      M1 OF FACTORY OF C1763.
000002 END METHOD M1.
```

M1.cob 1: JMN1763I-S メソッド原型が定義されたクラスは、リポジトリ段落に指定しなければなりません。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

M1.cob 1: JMN5005I-S メソッド'M1'のメソッド原型定義がありません。メソッド'M1'は無効になります。

2.3.437 JMN1764I-S

特殊クラスは継承できません。クラス '@1@' の指定は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : クラス名

例題

```
[C1764. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C1764 INHERITS BASE.
000003 ENVIRONMENT   DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006      CLASS BASE AS "*OLE".
000007 END CLASS C1764.
```

C1764.cob 2: JMN1764I-S 特殊クラスは継承できません。クラス'BASE'の指定は無効になります。

2.3.438 JMN1765I-S

特殊クラスには、メソッド原型は定義できません。クラス '@1@' の指定は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : クラス名

例題

```
[C1765. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 METHOD-ID.      C1765 OF FACTORY OF XX.
000003 ENVIRONMENT   DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006      CLASS XX AS "*OLE".
000007 END METHOD C1765.
```

C1765.cob 2: JMN1765I-S 特殊クラスには、メソッド原型は定義できません。クラス'XX'の指定は無効になります。

C1765.cob 2: JMN1763I-S メソッド原型が定義されたクラスは、リポジトリ段落に指定しなければなりません。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

C1765.cob 2: JMN5005I-S メソッド'C1765'のメソッド原型定義がありません。メソッド'C1765'は無効になります。

2.3.439 JMN1766I-U

リポジトリ情報の復元に失敗しました。翻訳を中止します。他の診断メッセージの修正をして、再度翻訳してみてください。

2.3.440 JMN1767I-S

リポジトリ段落に指定されたクラス '@1@' は、メソッド原型定義時の指定と同じでなければなりません。クラス '@1@' の指定は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : クラス名

例題

```
[C1767.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1767 INHERITS FJBASE.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS FJBASE
000007     .
000008 OBJECT.
000009 DATA          DIVISION.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 OBJR USAGE OBJECT REFERENCE FJBASE.
000012 PROCEDURE     DIVISION.
000013*
000014 METHOD-ID.     M1767 PROTOTYPE.
000015 END METHOD M1767.
000016*
000017 END OBJECT.
000018 END CLASS C1767.
```

```
[M1767.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 METHOD-ID.      M1767 OF C1767.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS C1767
000007     CLASS FJBASE AS “*COM”
000008     .
000009 PROCEDURE     DIVISION.
000010 END METHOD M1767.
```

M1767.cob 5: JMN1767I-S リポジトリ段落に指定されたクラス 'FJBASE' は、メソッド原型定義時の指定と同じでなければなりません。クラス 'FJBASE' の指定は無効になります。

2.3.441 JMN1768I-S

メソッド原型が定義されたクラス '@1@' のリポジトリファイルは、分離されたメソッド定義の翻訳と同じVLのコンパイラによって生成されたものでなければなりません。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : クラス名

詳細な説明

現在使用しているコンパイラでメソッド原型が定義されたクラスを再翻訳してください。

2.3.442 JMN1769I-S

クラス '@1@' のリポジトリファイルは、このコンパイラでは扱えない形式です。クラス '@1@' の指定は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : クラス名

詳細な説明

以下の2点が考えられます。

- 指定されたリポジトリファイルが使用中のコンパイラより新しいバージョンレベルのコンパイラで生成されています。対象となるリポジトリファイルを使用中のコンパイラで再翻訳して更新するか、コンパイラのバージョンレベルを新しいバージョンレベルにアップしてください。
- 指定されたリポジトリファイルが、使用中のコンパイラと違うシステムのコンパイラで生成された可能性があります。使用中のコンパイラと同じシステムのコンパイラで再翻訳して、リポジトリファイルを作成しなおしてください。

2.3.443 JMN1770I-W

メソッド名が '@1@' で始まるメソッドは、COBOLシステムが予約しています。COBOLシステムが予約したメソッドを使用する場合、OVERRIDE指定を書かなければなりません。指定されたとおりに受け入れます。

埋め込みの説明

@1@ : メソッド名

例題

```
[C1770.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1770.
000003 OBJECT.
000004 PROCEDURE         DIVISION.
000005 METHOD-ID.         _M.
000006 END METHOD         _M.
000007 END OBJECT.
000008 END CLASS C1770.
```

C1770.cob 5: JMN1770I-W メソッド名が '_' で始まるメソッドは、COBOLシステムが予約しています。COBOLシステムが予約したメソッドを使用する場合、OVERRIDE指定を書かなければなりません。指定されたとおりに受け入れます。

詳細な説明

アンダースコアで始まるメソッドはCOBOLシステムが予約しているため極力使用を避けてください。

2.3.444 JMN1771I-S

プロパティ名の先頭文字は、 '@1@' であってはなりません。PROPERTY指定は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : _ (アンダースコア)

例題

```
[C1771.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1771.
000003 OBJECT.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 DATA-1        PIC X(4).
000007 PROCEDURE         DIVISION.
```

```

000008 METHOD-ID.      SET PROPERTY  _DATA.
000009 DATA          DIVISION.
000010 LINKAGE        SECTION.
000011 01 P1          PIC X(4).
000012 PROCEDURE      DIVISION USING P1.
000013     MOVE P1 TO DATA-1.
000014 END METHOD.
000015 END OBJECT.
000016 END CLASS C1771.

```

C1771.cob 8: JMN1771I-S プロパティ名の先頭文字は、'_'であってはなりません。PROPERTY指定は無効になります。

C1771.cob 8: JMN1770I-W メソッド名が'_'で始まるメソッドは、COBOLシステムが予約しています。COBOLシステムが予約したメソッドを使用する場合、OVERRIDE指定を書かなければなりません。指定されたとおりに受け入れます。

C1771.cob 14: JMN1703I-S メソッド終わり見出しにメソッド名がありません。

C1771.cob 15: JMN1745I-S 対応しない終わり見出しが指定されています。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

C1771.cob 16: JMN1726I-S メソッド終わり見出しがありません。メソッド終わり見出しがあるものとみなします。

C1771.cob 16: JMN1726I-S オブジェクト終わり見出しがありません。オブジェクト終わり見出しがあるものとみなします。

2.3.445 JMN1772I-S

データ名が '@1@' で始まる場合、PROPERTY句は指定できません。PROPERTY句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : _ (アンダースコア)

例題

```

[C1772.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C1772.
000003 OBJECT.
000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 _DATA      PIC X(4) PROPERTY.
000007 PROCEDURE      DIVISION.
000008 END OBJECT.
000009 END CLASS C1772.

```

C1772.cob 6: JMN1772I-S データ名が'_'で始まる場合、PROPERTY句は指定できません。PROPERTY句は無効になります。

2.3.446 JMN1773I-S

親クラス '@1@' に名前が '@2@' で始まるメソッドが含まれています。親クラス '@1@' は再翻訳しなければなりません。指定されたとおりに受け入れます。

埋め込みの説明

@1@ : クラス名

@2@ : アンダースコア

例題

```

[C1773S.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C1773S.
000003 OBJECT.
000004 PROCEDURE      DIVISION.
000005 METHOD-ID.      _M.      *>V40L10で翻訳
000006 END METHOD _M.

```



```
000007 END OBJECT.
000008 END CLASS C1773S.
```

```
[C1773.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID. C1773 INHERITS C1773S.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION. *>V40L20で翻訳
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS C1773S.
000007 END CLASS C1773.
```

C1773.cob 2: JMN1773I-S 親クラス'C1773S'に名前が '_' で始まるメソッドが含まれています。親クラス'C1773S'は再翻訳しなければなりません。指定されたとおりに受け入れます。

詳細な説明

V40L10で作成したクラスにアンダースコアで始まるメソッドが含まれる場合、そのクラスを使用する際は再翻訳が必要です。

2.3.447 JMN1774I-S

AS句は内部プログラムに指定できません。次の認識できる段落または部まで無効になります。

例題

```
[C1774.cob]
000001 PROGRAM-ID. C1774.
000002 PROCEDURE DIVISION.
000003**
000004 PROGRAM-ID. B AS "EX-NAME".
000005 END PROGRAM B.
000006 END PROGRAM C1774.
```

C1774.cob 4: JMN1774I-S AS句は内部プログラムに指定できません。次の認識できる段落または部まで無効になります。

2.3.448 JMN1775I-S

AS句の直後には文字定数または日本語定数を指定しなければなりません。次の認識できる段落または部まで無効になります。

例題

```
[C1775.cob]
000001 PROGRAM-ID. C1775 AS X"414243".
000002 PROCEDURE DIVISION.
000003 END PROGRAM C1775.
```

C1775.cob 1: JMN1775I-S AS句の直後には文字定数または日本語定数を指定しなければなりません。次の認識できる段落または部まで無効になります。

2.3.449 JMN1776I-S

AS句の直後には文字定数または日本語定数を指定しなければなりません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

例題

```
[C1776.cob]
000001 PROGRAM-ID. C1776.
000002 ENVIRONMENT DIVISION.
000003 CONFIGURATION SECTION.
000004 REPOSITORY.
```

```
000005 CLASS X AS X"4142".
000006 END PROGRAM C1776.
```

C1776.cob 5: JMN1776I-S AS句の直後には文字定数または日本語定数を指定しなければなりません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

2.3.450 JMN1778I-S

メソッド原型が定義されたクラス '@1@' のリポジトリファイルは、CREATE (REP) 翻訳オプションにより作成されたリポジトリであってはなりません。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : クラス名

例題

```
[C1.cob]
000001 @OPTIONS CREATE (REP)
000002 CLASS-ID. C1.
000003 OBJECT.
000004 PROCEDURE DIVISION.
000005 METHOD-ID. M1 PROTOTYPE.
000006 END METHOD M1.
000007 END OBJECT.
000008 END CLASS C1.
```

```
[M1.cob]
000001 METHOD-ID. M1 OF C1.
000002 ENVIRONMENT DIVISION.
000003 CONFIGURATION SECTION.
000004 REPOSITORY.
000005 CLASS C1.
000006 END METHOD M1.
```

M1.cob 0: JMN0035I-S メソッド原型定義と分離されたメソッド定義とで一致が必要な翻訳オプションの内、一致しない翻訳オプションがあります。それらの翻訳オプションは無効になります。

M1.cob 1: JMN5005I-S メソッド'M1'のメソッド原型定義がありません。メソッド'M1'は無効になります。

M1.cob 5: JMN1778I-S メソッド原型が定義されたクラス'C1'のリポジトリファイルは、CREATE (REP) 翻訳オプションにより作成されたリポジトリであってはなりません。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

詳細な説明

翻訳オプションCREATE(REP)を指定して作成されたリポジトリファイルは仮リポジトリと呼びます。仮リポジトリは正式なリポジトリファイルの生成するまでの一時的なものであるため、相互参照を実現する場合だけに利用できます。よって分離されたメソッドでは、CREATE(REP)翻訳オプションにより作成されたリポジトリは使用できません。CREATE(OBJ)を指定して作成されたリポジトリファイルを使用してください。

2.3.451 JMN1780I-S

親クラスのリポジトリ復元に失敗しました。継承は無効になります。

2.3.452 JMN1781I-S

指定した場所に型ライブラリが存在しません。

詳細な説明

翻訳オプションファイルで指定した型ライブラリファイル名が存在しないか、または名前もしくはパスに誤りがあります。

2.3.453 JMN1782I-S

翻訳オプションファイルに指定されたCOMサーバ名に対する型ライブラリの指定がありません。または、指定した名前に誤りがあります。

詳細な説明

翻訳オプションファイルに、COMサーバ名に対する型ライブラリの設定がされていません。

2.3.454 JMN1783I-S

型ライブラリのロードでエラーになりました。

詳細な説明

翻訳オプションファイルで指定した型ライブラリファイルに型ライブラリの情報が含まれていない、または型ライブラリファイルとして相応しくないファイルが指定されています。

2.3.455 JMN1784I-S

指定したクラス名が型ライブラリに存在しません。または、取得したタイプが扱えない属性です。

詳細な説明

型ライブラリファイルに、指定したクラスの情報が存在しません。

2.3.456 JMN1785I-S

クラスの情報取得でエラーになりました。

2.3.457 JMN1786I-S

クラス '@1@' の翻訳オプション ENCODE および翻訳オプション RCS は、翻訳中のソース定義に有効な翻訳オプションと同じでなければなりません。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : クラス名

例題

```
[C1786S.cob]
000001 @OPTIONS RCS(SJIS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 CLASS-ID.          C1786S.
000004 END CLASS C1786S.
```

```
[C1786.cob]
000001 @OPTIONS RCS(UCS2)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 CLASS-ID.          C1786 INHERITS C1786S.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 CONFIGURATION    SECTION.
000006 REPOSITORY.
000007 CLASS C1786S.
000008 END CLASS C1786.
```

C1786.cob 7: JMN1786I-S クラス 'C1786S' の翻訳オプション ENCODE および翻訳オプション RCS は、翻訳中のソース定義に有効な翻訳オプションと同じでなければなりません。処理を続行します。

2.3.458 JMN1788I-S

@1@句に指定した文字定数に日本語文字を含んではなりません。1字の空白とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : CLASS,ALPHABET

例題

```
[C1788.cob]
000001 @OPTIONS RCS(UCS2)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C1788.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007 CLASS KANA IS "あ".
000008 END PROGRAM C1788.
```

C1788.cob 7: JMN1788I-S CLASS句に指定した文字定数に日本語文字を含んではなりません。1字の空白とみなします。

2.3.459 JMN1790I-S

翻訳オプションTHREAD(MULTI), NOSHREXTが有効な場合, EXTERNAL句にDEFINITIONおよびREFERENCEは指定できません。DEFINITIONまたはREFERENCEは無効になります。

例題

```
[C1790.cob]
000001 @OPTIONS THREAD(MULTI), NOSHREXT
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C1790.
000004**
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 A PIC X EXTERNAL DEF.
000008**
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 CONTINUE.
000011 END PROGRAM C1790.
```

C1790.cob 7: JMN1790I-S 翻訳オプションTHREAD(MULTI), NOSHREXTが有効な場合, EXTERNAL句にDEFINITIONおよびREFERENCEは指定できません。DEFINITIONまたはREFERENCEは無効になります。

2.3.460 JMN1802I-S

@1@指定には, @2@を指定しなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : BINARY-CHAR

@2@ : UNSIGNED

例題

```
[C1802.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1802.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A USAGE BINARY-CHAR.
000006 END PROGRAM C1802.
```

C1802.cob 5: JMN1802I-S BINARY-CHAR指定には、UNSIGNEDを指定しなければなりません。

2.3.461 JMN1805I-S

@1@に@2@以外は指定できません。次の認識できる段落、節または部まで無効になります。

@1@ : データ部の節名

@2@ : 定義名

例題

```
[C1805.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1805.
000003 OBJECT.
000004 PROCEDURE         DIVISION.
000005 METHOD-ID.        C1805M PROTOTYPE.
000006 DATA             DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 END METHOD C1805M.
000009 END OBJECT.
000010 END CLASS C1805.
```

C1805.cob 7: JMN1805I-S メソッド原型定義に連絡節以外は指定できません。次の認識できる段落、節または部まで無効になります。

2.3.462 JMN1813I-S

16進数字定数の長さがゼロであってははいけません。0とみなします。

例題

```
[C1813.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     C1813.
000003 DATA           DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A            PIC 9(4) VALUE H"".
000006 END PROGRAM C1813.
```

C1813.cob 5: JMN1813I-S 16進数字定数の長さがゼロであってははいけません。0とみなします。

2.3.463 JMN1814I-W

16進数字定数の16進文字(0~9, A~F)は、偶数個でなければなりません。先頭に0を補います。

例題

```
[C1814.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     C1814.
000003 DATA           DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A            PIC 9(4) VALUE H"FFF".
000006 END PROGRAM C1814.
```

C1814.cob 5: JMN1814I-W 16進数字定数の16進文字(0~9, A~F)は、偶数個でなければなりません。先頭に0を補います。

2.3.464 JMN1819I-S

サブスキーマ名段落に指定されたサブスキーマ定義ファイルに誤りがあります。サブスキーマ名段落は無効になります。

例題

```
[C1819.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1819.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 SUBSCHEMA-NAME. "MNAAB".
000006 DATA           DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 PROCEDURE      DIVISION.
000009     STOP RUN.
000010 END PROGRAM C1819.
```

```
[MNAAB.cb1]
000011 FCOM           MNAAS001RC01
000012 01 FCOM.
000013 02 FILLER     PIC X(16).
000014 02 VDBNAME    PIC X(8).
000015 02 RDNAME     PIC X(12).
000016 02 MCRCD      PIC S9(4) COMP.
000017 02 MCRCTL     PIC S9(4) COMP.
000018 02 FILLER     PIC S9(9) COMP.
000019 02 SETCNT     PIC S9(4) COMP.
000020 02 FILLER     PIC S9(4) COMP.
000021 01 MNAAS001RC01.
000022 02 MNAAS001EN01.
000023 03 CAFUSID    PIC X(8).
000024 02 FILLER1    PIC X(42).
```

C1819.cob 5: JMN1819I-S サブスキーマ名段落に指定されたサブスキーマ定義ファイルに誤りがあります。サブスキーマ名段落は無効になります。

詳細な説明

サブスキーマ定義ファイルに誤りがあります。主な原因として以下の3点が考えられます。

- レコード本体がない。
- レコード名一覧部の最終レコードを示す"*"がない。またはレコード名一覧部がない。
- ファイルが空である。

2.3.465 JMN1845I-W

このコンパイラが注釈として扱う構文に誤りがあります。@1@を有効とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳用計算機段落または実行用計算機段落, ASSIGN句

例題

```
[C1845.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1845.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 OBJECT-COMPUTER. "COMP1".
000006 END PROGRAM C1845.
```

C1845.cob 5: JMN1845I-W このコンパイラが注釈として扱う構文に誤りがあります。翻訳用計算機段落または実行用計算機段落を有効とみなします。

詳細な説明

注釈として扱う構文(廃要素)に誤りがありますが、プログラムの動作には影響しません。

2.3.466 JMN1847I-S

ファイル名制御情報(#FILE情報)、および、行番号制御情報(#LINE情報)が埋め込まれたプログラムを翻訳する場合、翻訳オプションNUMBERを指定してください。

2.3.467 JMN1850I-S

REPLACING CHARACTER句に@1@指定の代替文字がすでに指定されています。最初に指定された代替文字を有効とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : ALPHANUMERIC, NATIONAL

例題

```
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C1850.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 CONFIGURATION SECTION.  
000005 OBJECT-COMPUTER.  
000006 REPLACING CHARACTER FOR ALPHANUMERIC IS '#'  
000007 REPLACING CHARACTER FOR ALPHANUMERIC IS '@'.  
000008 END PROGRAM C1850.
```

c1850.cob 7: JMN1850I-S REPLACING CHARACTER句にALPHANUMERIC指定の代替文字がすでに指定されています。最初に指定された代替文字を有効とみなします。

2.3.468 JMN1851I-S

@1@句の@2@の指定に誤りがあります。@1@句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : REPLACING CHARACTER, ALPHABET

@2@ : FOR, 定数

例題

```
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C1851.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 CONFIGURATION SECTION.  
000005 OBJECT-COMPUTER.  
000006 REPLACING CHARACTER FOR ALPHANUMERIC IS '_'  
000007 REPLACING CHARACTER FOR NATIONAL IS '_'.  
000008 END PROGRAM C1851.
```

c1851.cob 6: JMN1851I-S REPLACING CHARACTER句の文字定数の指定に誤りがあります。REPLACING CHARACTER句は無効になります。

c1851.cob 7: JMN1851I-S REPLACING CHARACTER句の文字定数の指定に誤りがあります。REPLACING CHARACTER句は無効になります。

2.3.469 JMN1852I-S

ENCODING句にはエンコード方式に付けた符号系名が指定できます。ENCODING句は無効になります。

例題

```
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C1852.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 CONFIGURATION SECTION.  
000005 SPECIAL-NAMES.  
000006 ALPHABET ENC1 IS EBCDIC.  
000007 DATA DIVISION.  
000008 WORKING-STORAGE SECTION.  
000009 01 DATA1 PIC X ENCODING ENC1.  
000010 END PROGRAM C1852.
```

c1852.cob 9: JMN1852I-S ENCODING句にはエンコード方式に付けた符号系名が指定できます。ENCODING句は無効になります。

2.3.470 JMN1853I-S

ENCODING句に@1@指定の符号系名が既に指定されています。最初に指定された符号系名を有効とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : ALPHANUMERIC, NATIONAL

例題

```
000001 @OPTIONS ENCODE (UTF8, UTF16)  
000002 IDENTIFICATION DIVISION.  
000003 PROGRAM-ID. C1853.  
000004 ENVIRONMENT DIVISION.  
000005 CONFIGURATION SECTION.  
000006 SPECIAL-NAMES.  
000007 ALPHABET U16 FOR NATIONAL IS UTF16  
000008 ALPHABET U32 FOR NATIONAL IS UTF32.  
000009 DATA DIVISION.  
000010 WORKING-STORAGE SECTION.  
000011 01 GDATA1 ENCODING U16 OR U32.  
000012 02 DATA1 PIC N.  
000013 END PROGRAM C1853.
```

c1853.cob 11: JMN1853I-S ENCODING句にNATIONAL指定の符号系名が既に指定されています。最初に指定された符号系名を有効とみなします。

2.3.471 JMN1854I-S

ENCODING句に指定された符号系名が多重定義です。ENCODING句は無効になります。

例題

```
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C1854.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 CONFIGURATION SECTION.  
000005 SPECIAL-NAMES.  
000006 ALPHABET UTF FOR NATIONAL IS UTF16  
000007 ALPHABET UTF FOR NATIONAL IS UTF32.  
000008 DATA DIVISION.  
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
```



```
000010 01 DATA1 PIC N ENCODING UTF.  
000011 END PROGRAM C1854.
```

c1854.cob 10: JMN1854I-S ENCODING句に指定された符号系名が多重定義です。ENCODING句は無効になります。

2.3.472 JMN1855I-S

ENCODING句は画面帳票定義体名を指定したCOPY文に指定できます。ENCODING句は無効になります。

2.3.473 JMN1856I-S

@1@が有効な場合、ENCODING句にはエンコード方式@2@に付けた符号系名が指定できます。ENCODING句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : RCS(SJIS), RCS(UTF16)

@2@ : SJIS, UTF8またはUTF16

例題

```
000001 @OPTIONS RCS(SJIS)  
000002 IDENTIFICATION DIVISION.  
000003 PROGRAM-ID. C1856.  
000004 ENVIRONMENT DIVISION.  
000005 CONFIGURATION SECTION.  
000006 SPECIAL-NAMES.  
000007 ALPHABET UTF16 FOR NATIONAL IS UTF16.  
000008 DATA DIVISION.  
000009 WORKING-STORAGE SECTION.  
000010 01 DATA1 PIC N ENCODING UTF16.  
000011 END PROGRAM C1856.
```

c1856.cob 10: JMN1856I-S RCS(SJIS)が有効な場合、ENCODING句にはエンコード方式SJISに付けた符号系名が指定できます。ENCODING句は無効になります。

2.3.474 JMN1857I-S

画面帳票定義体の組み込みにUTF32エンコード方式を指定する場合、UTF32向けに変換した画面帳票定義体を指定する必要があります。画面帳票定義体の組み込みを中止します。

2.3.475 JMN1858I-S

翻訳オプション@1@が有効な場合、@2@は使用できません。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

@2@ : エラーの原因となった文、句、指定を現す予約語。

例題

```
[C1858.cob]  
000001 @OPTIONS RCS(ACP)  
000002 IDENTIFICATION DIVISION.  
000003 PROGRAM-ID. C1858.  
000004 ENVIRONMENT DIVISION.  
000005 CONFIGURATION SECTION.  
000006 SPECIAL-NAMES.  
000007 ALPHABET SJS IS SJIS.
```

```
000008 DATA DIVISION.  
000009 WORKING-STORAGE SECTION.  
000010 01 DATA1 PIC X ENCODING SJS.  
000011 END PROGRAM C1858.
```

C1858.cob (10) : JMN1858I-S 翻訳オプションRCS(ACP)が有効な場合、ENCODINGは使用できません。

2.3.476 JMN1859I-S

@1@は現在のコード系では指定できません。@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった文、句、指定を現す予約語。

2.3.477 JMN1900I-W

レベル番号の階層に誤りがあります。

例題

```
[C1900.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C1900.  
000003 DATA DIVISION.  
000004 WORKING-STORAGE SECTION.  
000005 01 DATA1.  
000006 03 DATA2-1.  
000007 04 DATA2-2.  
000008 02 DATA2 PIC 9.  
000009 END PROGRAM C1900.
```

C1900.cob 7: JMN2222I-S PICTURE句がありません。PICTURE 9が指定されたものとみなします。

C1900.cob 8: JMN1900I-W レベル番号の階層に誤りがあります。

詳細な説明

レベル番号の階層は、01～49までの昇順で構成します。

2.3.478 JMN1903I-S

RECORD句の整数は、2147483647以下でなければなりません。2147483647とみなします。

例題

```
[C1903.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C1903.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.  
000005 FILE-CONTROL.  
000006 SELECT IN-F ASSIGN TO INFILE.  
000007 DATA DIVISION.  
000008 FILE SECTION.  
000009 FD IN-F RECORD 2147483648.  
000010 01 IN-R PIC X(80).  
000011 END PROGRAM C1903.
```

C1903.cob 9: JMN1903I-S RECORD句の整数は、2147483647以下でなければなりません。2147483647とみなします。

C1903.cob 9: JMN2245I-S 順ファイル(編成VSまたはAS)、相対ファイル、索引ファイル、または固定長形式のファイルのレコード長は、32760バイト以下でなければなりません。レコード長を32760バイトとみなします。

2.3.479 JMN1904I-W

与えられた主記憶域量が十分でないため翻訳オプションOPTIMIZEで翻訳することができません。翻訳オプションNOOPTIMIZEで翻訳します。

2.3.480 JMN1905I-S

'BEGIN DECLARE SECTION'に対応する'END DECLARE SECTION'が指定されていません。この文を無効とし、宣言節を継続します。

例題

```
[C1905.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1905.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01  SQLSTATE PIC X(5).
000007     EXEC DCSQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000008 END PROGRAM      C1905.
```

C1905.cob 7: JMN1905I-S 'BEGIN DECLARE SECTION'に対応する'END DECLARE SECTION'が指定されていません。この文を無効とし、宣言節を継続します。

C1905.cob 8: JMN1544I-S 'END DECLARE SECTION'が指定されていません。'END DECLARE SECTION'を補います。

2.4 JMN2000—JMN2999

2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
2010	2011	2012	2013	2015	2016	2019	2020	2022	2024
2025	2026	2031	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040
2041	2042	2043	2044	2045	2047	2048	2049	2050	2051
2065	2066	2067	2076	2077	2079	2080	2081	2082	2083
2084	2085	2097	2098	2099	2100	2101	2102	2103	2104
2105	2106	2107	2108	2109	2111	2112	2113	2116	2117
2118	2119	2120	2121	2122	2123	2124	2126	2127	2128
2131	2132	2134	2135	2136	2138	2143	2144	2145	2149
2158	2159	2163	2164	2165	2166	2167	2173	2174	2175
2176	2177	2178	2181	2182	2183	2188	2189	2190	2191
2192	2193	2194	2195	2196	2197	2200	2201	2202	2205
2206	2207	2210	2212	2213	2214	2215	2216	2218	2219
2221	2222	2223	2224	2225	2226	2227	2228	2229	2231
2232	2233	2234	2235	2236	2239	2244	2245	2249	2251
2252	2269	2270	2271	2273	2274	2276	2277	2288	2292
2300	2312	2316	2317	2319	2320	2329	2331	2332	2333
2334	2335	2336	2337	2338	2341	2343	2350	2354	2357
2358	2359	2365	2366	2370	2372	2374	2375	2384	2385
2393	2394	2395	2396	2397	2398	2399	2400	2401	2402
2403	2404	2405	2406	2407	2408	2409	2410	2411	2412
2413	2414	2415	2416	2417	2418	2420	2421	2422	2423

2424	2425	2426	2427	2428	2429	2430	2431	2432	2433
2434	2435	2436	2437	2438	2439	2440	2441	2442	2443
2444	2445	2446	2447	2449	2450	2451	2452	2457	2458
2459	2460	2461	2462	2463	2464	2465	2466	2467	2468
2469	2470	2471	2472	2473	2474	2475	2476	2477	2478
2480	2481	2482	2483	2484	2485	2486	2487	2488	2489
2491	2493	2494	2495	2496	2497	2498	2499	2500	2501
2502	2503	2504	2505	2506	2507	2508	2509	2510	2511
2512	2513	2514	2515	2516	2517	2518	2519	2520	2521
2522	2523	2524	2525	2526	2527	2528	2529	2530	2532
2534	2535	2536	2538	2539	2540	2541	2543	2545	2547
2548	2549	2550	2551	2552	2553	2554	2555	2556	2557
2558	2560	2561	2562	2564	2565	2566	2567	2568	2569
2570	2571	2574	2575	2576	2580	2583	2584	2585	2586
2587	2588	2589	2591	2592	2593	2596	2597	2598	2599
2600	2601	2602	2603	2604	2605	2606	2607	2608	2609
2610	2611	2613	2615	2616	2617	2633	2634	2639	2640
2641	2642	2643	2644	2645	2650	2651	2654	2656	2657
2658	2659	2660	2662	2663	2665	2666	2669	2670	2671
2672	2673	2682	2686	2689	2691	2692	2693	2694	2695
2696	2697	2698	2699	2700	2701	2704	2705	2706	2707
2710	2713	2717	2718	2726	2727	2728	2729	2730	2731
2732	2735	2736	2737	2738	2741	2742	2744	2745	2747
2748	2749	2750	2753	2756	2757	2759	2761	2762	2764
2766	2767	2768	2769	2770	2772	2773	2774	2775	2794
2798	2800	2801	2802	2803	2809	2815	2818	2819	2821
2822	2823	2826	2827	2829	2831	2832	2834	2835	2836
2837	2838	2839	2840	2847	2851	2853	2862	2863	2864
2866	2867	2868	2870	2871	2873	2874	2875	2877	2878
2879	2880	2881	2882	2883	2884	2885	2886	2888	2889
2890	2892	2893	2895	2896	2897	2898	2899	2901	2902
2903	2906	2907	2908	2909	2911	2912	2916	2920	2921
2922	2923	2924	2925	2926	2927	2928	2930	2931	2932
2933	2934	2935	2936	2937	2938	2939	2940	2941	2942
2943	2944	2945	2946	2947	2948	2949	2950	2951	2952
2953	2954	2955	2957	2958	2959	2960	2961	2962	2963
2964	2965	2966	2967	2968	2969	2970	2971	2985	2986
2988	2993	2994	2996	2999					

2.4.1 JMN2000I-S

報告書記述項には、報告集団記述項が従属しなければなりません。報告書記述項は、無効になります。

例題

```
[P2000.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2000.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD REPFIL REPORT REP1.
000011 REPORT SECTION.
000012 RD REP1.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014 END PROGRAM P2000.
```

P2000.cob 12: JMN2000I-S 報告書記述項には、報告集団記述項が従属しなければなりません。報告書記述項は、無効になります。

詳細な説明

この診断メッセージが出力されるのは、報告書記述項(RD記述項)に続いて、報告集団記述項が指定されていないことが原因です。報告集団記述項は、レベル01とTYPE句を持つデータ記述項で始まる一連のデータ記述項です。

2.4.2 JMN2001I-S

ファイル記述項または整列併合用ファイル記述項には、レコード記述項が従属しなければなりません。ファイル記述項または整列併合用ファイル記述項は、無効になります。

例題

```
[P2001.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2001.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007 ORGANIZATION IS SEQUENTIAL
000008 FILE STATUS IS WFS1.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 WFS1 PIC X(2).
000015 PROCEDURE DIVISION.
000016 END PROGRAM P2001.
```

P2001.cob 12: JMN2001I-S ファイル記述項または整列併合用ファイル記述項には、レコード記述項が従属しなければなりません。ファイル記述項または整列併合用ファイル記述項は、無効になります。

詳細な説明

この診断メッセージが出力されるのは、ファイル記述項(FD記述項)に続いて、レコード記述項が指定されていないことが原因です。レコード記述項はレコードの構造を指定するための一連のデータ記述項です。

2.4.3 JMN2002I-S

REPORT句を持つファイル記述項に対して、レコード記述項は指定できません。次のファイル記述項または整列併合用ファイル記述項までのレコード記述項は無効になります。

例題

```
[P2002.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2002.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD REPFIL REPORT REP1.
000011 01 REPREC PIC X(80).
000012 REPORT SECTION.
000013 RD REP1.
000014 01 TYPE DE LINE PLUS 1.
000015 02 COLUMN 1 PIC X(10) VALUE SPACE.
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017 END PROGRAM P2002.
```

P2002.cob 10: JMN2002I-S REPORT句を持つファイル記述項に対して、レコード記述項は指定できません。次のファイル記述項または整列併合用ファイル記述項までのレコード記述項は無効になります。

詳細な説明

この診断メッセージが出力されるのは、報告書ファイルのファイル記述項(FD記述項)に続いて、レコード記述項が指定されていることが原因です。REPORT句を指定したファイルは報告書ファイルとなります。

2.4.4 JMN2003I-S

EXTERNAL句を持つレベル番号01の項目を再定義する場合、項目の長さは、再定義される項目の長さ以下でなければなりません。書かれたとおり受け入れます。

例題

```
[P2003.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2003.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 D1 EXTERNAL.
000007 02 PIC X(10).
000008 01 R2 REDEFINES D1.
000009 02 PIC N(10).
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 END PROGRAM P2003.
```

P2003.cob 8: JMN2003I-S EXTERNAL句を持つレベル番号01の項目を再定義する場合、項目の長さは、再定義される項目の長さ以下でなければなりません。書かれたとおり受け入れます。

詳細な説明

外部属性(EXTERNAL句)を持つデータ項目を再定義する場合、再定義する項目の長さは再定義される項目の長さと同じか、小さくなければなりません。

例えば、例題プログラムでは、外部属性を持つD1をR2で再定義していますが、データ項目の長さはR2がD1より大きいです。これが原因でこの診断メッセージが出力されています。

2.4.5 JMN2004I-S

REDEFINES句を持つ基本項目またはREDEFINES句を持つ集団項目に従属する最初の基本項目が、SYNCHRONIZED句を持つ場合、再定義される項目の境界は、基本項目の要求する境界に合っていないならばなりません。境界調整は行いません。

例題

```
[P2004.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2004.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 G1.
000007 02              PIC X(1).
000008 02 E1           PIC X(20).
000009 02 G2 REDEFINES E1.
000010 03 E2          PIC S9(4) BINARY SYNC.
000011 03 E3          PIC S9(4) BINARY SYNC.
000012 03 E4          PIC S9(4) BINARY SYNC.
000013 PROCEDURE      DIVISION.
000014 END PROGRAM     P2004.
```

P2004.cob 10: JMN2004I-S REDEFINES句を持つ基本項目またはREDEFINES句を持つ集団項目に従属する最初の基本項目が、SYNCHRONIZED句を持つ場合、再定義される項目の境界は、基本項目の要求する境界に合っていないならばなりません。境界調整は行いません。

詳細な説明

SYNCHRONIZED句は、この句を指定したデータ項目の前に遊びビット／遊びバイトを必要に応じて挿入し、境界合わせを行います。しかし、SYNCHRONIZED句を指定した項目が、次のいずれかに該当する再定義項目の場合は、遊びビット／遊びバイトの挿入ができません。

- ・ 基本項目
- ・ 集団項目に従属する最初の項目

例えば、例題プログラムでは、データ項目E2の前に遊びバイトの挿入が必要ですが、上記の条件に該当するためにそれができません。

2.4.6 JMN2005I-S

ファイル記述項または整列併合用ファイル記述項に指定したファイル名は、ファイル管理段落のSELECT句で定義しなければなりません。順ファイルとみなします。

例題

```
[P2005.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2005.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 DATA           DIVISION.
000006 FILE            SECTION.
000007 FD SQFILE1.
000008 01 SQF1REC.
000009 02              PIC X(80).
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 WFS1         PIC X(2).
000012 PROCEDURE      DIVISION.
000013 END PROGRAM     P2005.
```

P2005.cob 7: JMN2005I-S ファイル記述項または整列併合用ファイル記述項に指定したファイル名は、ファイル管理段落のSELECT句で定義しなければなりません。順ファイルとみなします。

詳細な説明

COBOL言語でファイルを使用する場合、各ファイル毎に以下の記述が必要です。

- ・ ファイル管理記述項
- ・ ファイル記述項

この診断メッセージは、ファイル記述項で指定したファイル名に対応するファイル管理記述項が記述されていないことが原因です。

例えば、例題プログラムではファイルSQFILE1に対するファイル管理記述項が記述されていないことが原因です。

2.4.7 JMN2006I-S

SELECT句のファイル名は、FDまたはSD記述項のファイル名として一意に定義しなければなりません。

例題

```
[P2006.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2006.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 PROCEDURE        DIVISION.
000011 END PROGRAM      P2006.
```

P2006.cob 6: JMN2006I-S SELECT句のファイル名は、FDまたはSD記述項のファイル名として一意に定義しなければなりません。

詳細な説明

COBOL言語でファイルを使用する場合、各ファイル毎に以下の記述が必要です。

- ・ ファイル管理記述項
- ・ ファイル記述項

この診断メッセージが出力される場合、以下のいずれかの原因が考えられます。

- ・ ファイル管理記述項で指定したファイル名に対応するファイル記述項が記述されていない。
- ・ ファイル管理記述項で指定したファイル名に対応するファイル記述項が複数記述されている。

例えば、例題プログラムではファイルSQFILE1に対するファイル記述項が記述されていないことが原因です。

2.4.8 JMN2007I-S

SELECT句のファイル名は、他のSELECT句のファイル名と同じであってはなりません。

例題

```
[P2007.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2007.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000008 I-O-CONTROL.
```



```

000009 DATA          DIVISION.
000010 FILE            SECTION.
000011 FD SQFILE1.
000012 01 SQF1REC.
000013 02              PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 PROCEDURE      DIVISION.
000016 END PROGRAM    P2007.

```

P2007.cob 7: JMN2007I-S SELECT句のファイル名は、他のSELECT句のファイル名と同じであってはなりません。

詳細な説明

ファイル名は、以下の各ソース単位中で一意である必要があります。

- ・ プログラム
- ・ ファクトリ
- ・ オブジェクト
- ・ メソッド

例えば、この例題プログラムでは、1つのプログラム中で同一のファイル名SQFILE1に対して、複数のファイル管理記述項が記述されていることが、この診断メッセージが出力される原因です。

2.4.9 JMN2008I-W

集団項目にSIGN句が指定された場合、従属する基本項目に一つ以上の符号付き外部10進項目が指定されなければなりません。SIGN句は無効になります。

例題

```

[P2008.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     P2008.
000003 DATA           DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 G1 SIGN LEADING.
000006 02 E1          PIC X(10).
000007 02 E2          PIC 9(10).
000008 PROCEDURE      DIVISION.
000009 END PROGRAM    P2008.

```

P2008.cob 5: JMN2008I-W 集団項目にSIGN句が指定された場合、従属する基本項目に一つ以上の符号付き外部10進項目が指定されなければなりません。SIGN句は無効になります。

詳細な説明

SIGN句は、数字項目の符号の形式と位置を指定するものですが、以下の場合には有効になりません。

- ・ 符号なしの数字項目
- ・ 明または暗にDISPLAY以外のUSAGE句が指定されている。

この診断メッセージが出力される場合、SIGN句は意味を持ちません。SIGN句を削除する必要があります。

2.4.10 JMN2009I-S

USAGE句の'@1@'は、PICTURE句を持つ項目に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : COMPUTATIONAL-1, COMPUTATIONAL-2, INDEX, POINTER, PROCEDURE-POINTER, BINARY-CHAR, BINARY-SHORT, BINARY-LONGまたはBINARY-DOUBLE.

例題

```
[P2009. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2009.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 E1           PIC S9(9) BINARY-LONG.
000007 PROCEDURE       DIVISION.
000008 END PROGRAM     P2009.
```

P2009.cob 6: JMN2009I-S USAGE句の'BINARY-LONG'は、PICTURE句を持つ項目に指定できません。

詳細な説明

以下のいずれかのUSAGE句を持つデータ項目は、桁数や符号の有無を指定することはできません。

- COMPUTATIONAL-1(COMP-1)
- COMPUTATIONAL-2(COMP-2)
- INDEX
- POINTER
- PROCEDURE-POINTER
- BINARY-CHAR
- BINARY-SHORT
- BINARY-LONG
- BINARY-DOUBLE

PICTURE句を削除してください。

2.4.11 JMN2010I-S

集団項目に従属する項目のUSAGE句は、その集団項目のUSAGE句と同じ用途でなければなりません。集団項目に指定されたUSAGE句を有効とみなします。

例題

```
[P2010. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2010.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 G1 DISPLAY.
000007 02 E1           PIC S9(9).
000008 02 E2           PIC S9(9) BINARY.
000009 02 E3           PIC S9(9).
000010 PROCEDURE       DIVISION.
000011 END PROGRAM     P2010.
```

P2010.cob 8: JMN2010I-S 集団項目に従属する項目のUSAGE句は、その集団項目のUSAGE句と同じ用途でなければなりません。集団項目に指定されたUSAGE句を有効とみなします。

詳細な説明

USAGE句は基本項目のみではなく、集団項目にも指定することができます。ただし、USAGE句を指定した集団項目に明または暗に従属する基本項目は次のいずれかでなければなりません。

- USAGE句を持たない基本項目

- ・ 上位集団項目と同じ指定のUSAGE句を持つ基本項目

例えば、例題プログラムの場合、従属する項目E2が集団項目と異なる指定のUSAGE句を持つため、この診断メッセージが出力されます。

2.4.12 JMN2011I-S

BITはブール項目に指定しなければなりません。

例題

```
[P2011.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2011.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WNUM         PIC S9(9) BIT.
000007 PROCEDURE       DIVISION.
000008 END PROGRAM     P2011.
```

P2011.cob 6: JMN2011I-S BITはブール項目に指定しなければなりません。

詳細な説明

BIT(USAGE IS BIT句)は、データの用途がブール項目であることを示す句です。この句を指定するときは、データ記述項のPICTURE句の文字列は"1"だけで構成しなければなりません。

2.4.13 JMN2012I-S

BINARY, COMPUTATIONAL, COMPUTATIONAL-3またはPACKED-DECIMALは、数字項目に指定しなければなりません。

例題

```
[P2012.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2012.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WNUM         PIC X(10) BINARY.
000007 PROCEDURE       DIVISION.
000008 END PROGRAM     P2012.
```

P2012.cob 6: JMN2012I-S BINARY, COMPUTATIONAL, COMPUTATIONAL-3またはPACKED-DECIMALは、数字項目に指定しなければなりません。

詳細な説明

BINARY(USAGE IS BINARY句)・COMPUTATIONAL(USAGE IS COMPUTATIONAL句)は、データの用途が2進項目であることを示す句です。また、COMPUTATIONAL-3(USAGE IS COMPUTATIONAL-3句)・PACKED-DECIMAL(USAGE IS PACKED-DECIMAL句)は、データの用途が内部10進項目であることを示す句です。これらの句を指定するときは、データ記述項のPICTURE句の文字列は"P", "S", "V"および"9"だけで構成しなければなりません。

なお、BINARYとCOMPUTATIONALは同義です。COMPUTATIONALはCOMPと書いてもかまいません。また、COMPUTATIONAL-3とPACKED-DECIMALは同義です。COMPUTATIONAL-3はCOMP-3と書いてもかまいません。

2.4.14 JMN2013I-S

SIGN句は、符号付き外部10進項目を除く基本項目に指定できません。

例題

```
[P2013.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2013.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WNUM1         PIC 9(10) DISPLAY SIGN LEADING.
000007 01 WNUM2         PIC 9(10) BINARY SIGN TRAILING.
000008 PROCEDURE        DIVISION.
000009 END PROGRAM      P2013.
```

P2013.cob 6: JMN2013I-S SIGN句は、符号付き外部10進項目を除く基本項目に指定できません。

P2013.cob 7: JMN2013I-S SIGN句は、符号付き外部10進項目を除く基本項目に指定できません。

2.4.15 JMN2015I-S

JUSTIFIED句は、集団項目に指定できません。

例題

```
[P2015.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2015.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGROUP JUST.
000007 02 WE1           PIC X(1).
000008 02 WE2           PIC 9(9) BINARY.
000009 PROCEDURE        DIVISION.
000010 END PROGRAM      P2015.
```

P2015.cob 6: JMN2015I-S JUSTIFIED句は、集団項目に指定できません。

2.4.16 JMN2016I-S

JUSTIFIED句は、英字項目、英数字項目または日本語項目に限り指定できます。

例題

```
[P2016.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2016.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WNUM          PIC S9(10) JUST.
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008 END PROGRAM      P2016.
```

P2016.cob 6: JMN2016I-S JUSTIFIED句は、英字項目、英数字項目または日本語項目に限り指定できます。

2.4.17 JMN2019I-W

REDEFINES句は、ファイル節中のレベル番号01の項目に指定できません。REDEFINES句は、無効になります。

例題

```
[P2019.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000002 PROGRAM-ID.      P2019.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA           DIVISION.
000009 FILE            SECTION.
000010 FD SQFILE1.
000011 01 SQF1REC.
000012 02                PIC X(80).
000013 01 REDEFINES SQF1REC.
000014 02                PIC N(40).
000015 PROCEDURE      DIVISION.
000016 END PROGRAM     P2019.

```

P2019.cob 13: JMN2019I-W REDEFINES句は、ファイル節中のレベル番号01の項目に指定できません。REDEFINES句は、無効になります。

詳細な説明

ファイル節のレコード記述項を2つ以上書くと、レコード記述項の領域は暗に再定義されます。

2.4.18 JMN2020I-S

REDEFINES句で、再定義される項目が正しく定義されていません。

例題

```

[P2020.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2020.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 DA1          PIC X(20).
000008 02 .
000009 03 RDA1 REDEFINES DA1
000010                PIC N(10).
000011 PROCEDURE      DIVISION.
000012 END PROGRAM     P2020.

```

P2020.cob 9: JMN2020I-S REDEFINES句で、再定義される項目が正しく定義されていません。

詳細な説明

コンパイラは、再定義される文字位置を定義した名前(REDEFINES句の左辺に指定するデータ名)を検出できませんでした。REDEFINES句の左辺に指定するデータ名のデータ記述項は、以下の条件を満たしていなければなりません。

- REDEFINES句を指定したデータ記述項の直前の宣言でなければなりません。ただし、直前の項目もREDEFINES句を持つ(同じ領域を重複して再定義する)ときは、その再定義の対象となる文字位置を定義した既出のデータ名であればどれでも指定できます。
- REDEFINES句を指定したデータ記述項と、レベル番号は同じでなければなりません。
- REDEFINES句を指定したデータ記述項との間に、より小さなレベル番号を持つデータ記述項を挟んではなりません。

2.4.19 JMN2022I-S

REDEFINES句で再定義される項目は、@1@句を持つことはできません。REDEFINES句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : OCCURSまたはTYPE.

例題

```
[C2022.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C2022.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A.
000006 02 A1            OCCURS 10.
000007 03              PIC X(1).
000008 02 A2 REDEFINES A1.
000009 03              PIC N(5).
000010 PROCEDURE      DIVISION.
000011 END PROGRAM C2022.
```

C2022.cob 8: JMN2022I-S REDEFINES句で再定義される項目は、OCCURS句を持つことはできません。REDEFINES句は無効になります。

2.4.20 JMN2024I-S

REDEFINES句で再定義される項目がSYNCHRONIZED句のない内部ブール項目である場合、再定義する項目は、内部ブール項目でなければなりません。

例題

```
[P2024.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2024.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDA.
000007 02 WELM1        PIC 1(9) BIT.
000008 02 WELM2        PIC 1(7) BIT.
000009 02 WRLEM REDEFINES WELM2
000010                PIC X(3).
000011 PROCEDURE      DIVISION.
000012 END PROGRAM    P2024.
```

P2024.cob 9: JMN2024I-S REDEFINES句で再定義される項目がSYNCHRONIZED句のない内部ブール項目である場合、再定義する項目は、内部ブール項目でなければなりません。

2.4.21 JMN2025I-W

VALUE句は、基底場所節のデータ記述項に指定できません。VALUE句は、無効になります。

例題

```
[P2025.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2025.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 BASED-STORAGE   SECTION.
000006 01 BDA          PIC X(20) VALUE SPACE.
000007 PROCEDURE      DIVISION.
000008 END PROGRAM    P2025.
```

P2025.cob 6: JMN2025I-W VALUE句は、基底場所節のデータ記述項に指定できません。VALUE句は、無効になります。

詳細な説明

VALUE句はデータ項目に初期値を与えるための句です。基底場所節のデータ記述項は、データ構造を定義するための宣言であり、初期値を持つことはできません。

2.4.22 JMN2026I-W

VALUE句は、ファイル節または連絡節中のデータ記述項に指定できません。VALUE句は、無効になります。

例題

```
[P2026.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2026.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 FD SQFILE1.
000010 01 SQF1REC.
000011 02                PIC X(80) VALUE SPACE.
000012 LINKAGE          SECTION.
000013 01 LK1           PIC X(2) VALUE SPACE.
000014 PROCEDURE        DIVISION USING LK1.
000015 END PROGRAM      P2026.
```

P2026.cob 11: JMN2026I-W VALUE句は、ファイル節または連絡節中のデータ記述項に指定できません。VALUE句は、無効になります。

P2026.cob 13: JMN2026I-W VALUE句は、ファイル節または連絡節中のデータ記述項に指定できません。VALUE句は、無効になります。

詳細な説明

VALUE句はデータ項目に初期値を与えるための句です。ファイル節のデータ記述項はレコードのデータ構造を定義するための宣言です。また、連絡節のデータ記述項は、呼ぶプログラムと呼ばれるプログラムで参照するデータの構造を定義するための宣言です。これらは初期値を持つことはできません。

2.4.23 JMN2031I-S

VALUE句は、@1@項目に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : 指標データまたは外部浮動小数点。

例題

```
[P2031.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2031.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE  SECTION.
000006 01 WEXFL         PIC +9.9E+99 VALUE 0.
000007 01 WIDX         INDEX          VALUE 0.
000008 PROCEDURE        DIVISION.
000009 END PROGRAM      P2031.
```

P2031.cob 6: JMN2031I-S VALUE句は、外部浮動小数点項目に指定できません。

P2031.cob 7: JMN2031I-S VALUE句は、指標データ項目に指定できません。

2.4.24 JMN2034I-S

数字項目に指定されたVALUE句の数字定数が、ゼロでない数字の切捨てを起こす値を持っています。表意定数ZEROが指定されたものとみなします。

例題

```
[C20341.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C20341.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 AREC1 PIC 99 VALUE 12.5.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 END PROGRAM C20341.
```

C20341.cob 8: JMN2034I-S 数字項目に指定されたVALUE句の数字定数が、ゼロでない数字の切捨てを起こす値を持っています。表意定数ZEROが指定されたものとみなします。

詳細な説明

数字項目の大きさ(桁数)が、VALUE句で指定した数値を格納するためには不足しています。初期値を正しく設定することができません。

翻訳を続行するために表意定数ZEROが指定されたものとみなして処理しますが、このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.25 JMN2035I-W

符号付き数字定数は、符号なし数字項目に指定できません。数字定数の符号は、無効になります。

例題

```
[P2035.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2035.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WNUM PIC 9(3)V99 VALUE -12.34.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007 END PROGRAM P2035.
```

P2035.cob 5: JMN2035I-W 符号付き数字定数は、符号なし数字項目に指定できません。数字定数の符号は、無効になります。

詳細な説明

符号なし数字項目の初期値をVALUE句で指定するときは、符号なしの数字定数を記述しなければなりません。

符号付きの数字定数を指定した場合は符号は無効になり、符号なしの数字定数として数字項目に設定されます。

2.4.26 JMN2036I-S

集団項目のVALUE句には、文字定数、表意定数または記号文字を指定しなければなりません。表意定数SPACEが指定されたものとみなします。

例題

```
[P2036.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2036.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
```



```

000005 01 WGRP      VALUE N" {".
000006 02 WELM1    PIC X(2).
000007 02 WELM2    PIC X(2).
000008 02 WELM3    PIC X(2).
000009 PROCEDURE   DIVISION.
000010 END PROGRAM P2036.

```

P2036.cob 5: JMN2036I-S 集団項目のVALUE句には、文字定数、表意定数または記号文字を指定しなければなりません。表意定数SPACEが指定されたものとみなします。

詳細な説明

集団項目の初期値としてVALUE句に指定できる値は、文字定数、表意定数または記号文字です。これら以外の値は指定できません。翻訳を続行するために表意定数SPACEが指定されたものとみなして処理しますが、このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.27 JMN2037I-S

内部浮動小数点項目のVALUE句には、数字定数、または表意定数ZEROを指定しなければなりません。表意定数ZEROが指定されたものとみなします。

例題

```

[P2037.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2037.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WNUM          COMP-1 VALUE SPACE.
000006 PROCEDURE        DIVISION.
000007 END PROGRAM      P2037.

```

P2037.cob 5: JMN2037I-S 内部浮動小数点項目のVALUE句には、数字定数、または表意定数ZEROを指定しなければなりません。表意定数ZEROが指定されたものとみなします。

詳細な説明

内部浮動小数点項目の初期値としてVALUE句に指定できる値は、数字定数または表意定数ZEROです。これら以外の値は指定できません。翻訳を続行するために表意定数ZEROが指定されたものとみなして処理しますが、このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.28 JMN2038I-S

VALUE句の定数の長さは、項目の長さ以下でなければなりません。項目長に合わせ、定数の右端を切り落とします。

例題

```

[P2038.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2038.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDX           PIC X(2) VALUE "ABC".
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008 END PROGRAM      P2038.

```

P2038.cob 6: JMN2038I-S VALUE句の定数の長さは、項目の長さ以下でなければなりません。項目長に合わせ、定数の右端を切り落とします。

詳細な説明

用途が表示用／ブールである項目の大きさが、VALUE句で指定した定数を格納するためには不足しています。
翻訳を続行するために、定数の右端を切り捨てた値を設定しますが、このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.29 JMN2039I-S

数字項目のVALUE句には、数字定数または表意定数のZEROを指定しなければなりません。表意定数ZEROが指定されたものとみなします。

例題

```
[P2039.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2039.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDX          PIC 9(2) VALUE "ABC".
000007 PROCEDURE       DIVISION.
000008 END PROGRAM     P2039.
```

P2039.cob 6: JMN2039I-S 数字項目のVALUE句には、数字定数または表意定数のZEROを指定しなければなりません。表意定数ZEROが指定されたものとみなします。

詳細な説明

数字項目の初期値としてVALUE句に指定できる値は、数字定数または表意定数ZEROです。これら以外の値は指定できません。
翻訳を続行するために表意定数ZEROが指定されたものとみなして処理しますが、このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.30 JMN2040I-S

英字、英数字、英数字編集または数字編集項目のVALUE句には、文字定数、表意定数または記号文字を指定しなければなりません。表意定数SPACEが指定されたものとみなします。

例題

```
[P2040.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2040.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDX          PIC X(2) VALUE "N".
000007 01 WNE          PIC Z,ZZ9 VALUE 12.
000008 PROCEDURE       DIVISION.
000009 END PROGRAM     P2040.
```

P2040.cob 6: JMN1026I-S 日本語定数の長さはゼロであってははいけません。1字の空白とみなします。

P2040.cob 6: JMN2040I-S 英字、英数字、英数字編集または数字編集項目のVALUE句には、文字定数、表意定数または記号文字を指定しなければなりません。表意定数SPACEが指定されたものとみなします。

P2040.cob 7: JMN2040I-S 英字、英数字、英数字編集または数字編集項目のVALUE句には、文字定数、表意定数または記号文字を指定しなければなりません。表意定数SPACEが指定されたものとみなします。

詳細な説明

英字、英数字、英数字編集または数字編集項目の初期値としてVALUE句に指定できる値は、文字定数、表意定数または記号文字です。これら以外の値は指定できません。
翻訳を続行するために表意定数SPACEが指定されたものとみなして処理しますが、このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.31 JMN2041I-S

P付き数字項目にVALUE句が指定された場合、数字項目のPに対応する数字定数の文字位置の値はゼロでなければなりません。数字項目のPに対応する文字位置の値がゼロであるとみなします。

例題

```
[P2041.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2041.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WNUM2         PIC 999PP VALUE 1234.
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008 END PROGRAM      P2041.
```

P2041.cob 6: JMN2041I-S P付き数字項目にVALUE句が指定された場合、数字項目のPに対応する数字定数の文字位置の値はゼロでなければなりません。数字項目のPに対応する文字位置の値がゼロであるとみなします。

詳細な説明

PICTURE句の文字"P"は位取りを示す文字であり、PICTURE句の数字の桁位置の左端あるいは右端に続けて記述します。左端にあるときは、先頭の"P"の左側に小数点があるものとみなされます。一方、右端にあるときは、末尾の"P"の右側に小数点があるものとみなされます。

数字項目のPICTURE句の文字列と、VALUE句で指定した数値とを、小数点の位置を合わせて対応付けたとき、PICTURE句の文字"P"の位置にある数字は"0"でなければなりません。

翻訳を続行するために、文字"P"の位置の値を0とみなして処理しますが、このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.32 JMN2042I-S

ブール項目のVALUE句には、ブール定数または表意定数ZEROを指定しなければなりません。表意定数ZEROが指定されたものとみなします。

例題

```
[P2042.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2042.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WBOOL         PIC 1(1) VALUE 0.
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008 END PROGRAM      P2042.
```

P2042.cob 6: JMN2042I-S ブール項目のVALUE句には、ブール定数または表意定数ZEROを指定しなければなりません。表意定数ZEROが指定されたものとみなします。

詳細な説明

ブール項目の初期値としてVALUE句に指定できる値は、ブール定数または表意定数ZEROです。これら以外の値は指定できません。

翻訳を続行するために表意定数ZEROが指定されたものとみなして処理しますが、このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.33 JMN2043I-W

英字、英数字または英数字編集項目のVALUE句に、ブール定数は指定できません。1ブール文字を1ビットとみなして、左づめで格納します。

例題

```
[P2043. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2043.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WBOOL         PIC X(1) VALUE B"11110000".
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008 END PROGRAM      P2043.
```

P2043.cob 6: JMN2043I-W 英字, 英数字または英数字編集項目のVALUE句に, ブール定数は指定できません. 1ブール文字を1ビットとみなして, 左づめで格納します.

詳細な説明

英字, 英数字または英数字編集項目の初期値としてブール定数が指定された場合, ブール文字("0"または"1")1個が1ビットの領域を占めるもの(ブール文字8個で1バイト)とみなして, 項目に設定します. このとき, 値は左詰めで格納され, 残りの領域には空白文字が設定されます.

2.4.34 JMN2044I-S

英字, 英数字または英数字編集項目に指定したブール定数の長さは, 8の倍数でなければなりません. 8の倍数になるように右端にブール文字'0'を仮定します.

例題

```
[P2044. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2044.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WBOOL         PIC X(1) VALUE B"1111100".
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008 END PROGRAM      P2044.
```

P2044.cob 6: JMN2044I-S 英字, 英数字または英数字編集項目に指定したブール定数の長さは, 8の倍数でなければなりません. 8の倍数になるように右端にブール文字'0'を仮定します.

P2044.cob 6: JMN2043I-W 英字, 英数字または英数字編集項目のVALUE句に, ブール定数は指定できません. 1ブール文字を1ビットとみなして, 左づめで格納します.

詳細な説明

英字, 英数字または英数字編集項目の初期値としてブール定数が指定された場合, ブール文字('0'または'1')1個が1ビットの領域を占めるもの(ブール文字8個で1バイト)とみなして項目に設定するため, ブール文字の個数は8の倍数である必要があります.

8の倍数でない場合, 翻訳を続行するために, ブール定数の右側にブール文字'0'を補って8の倍数とみなしますが, このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません.

2.4.35 JMN2045I-S

日本語項目のVALUE句には, 日本語定数または表意定数のSPACE, HIGH-VALUE, LOW-VALUEを指定しなければなりません. 表意定数のSPACEが指定されたものとみなします.

例題

```
[P2045. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2045.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
```

```
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WBOOL      PIC N(1) VALUE "あ".
000007 PROCEDURE     DIVISION.
000008 END PROGRAM    P2045.
```

P2045.cob 6: JMN2045I-S 日本語項目のVALUE句には、日本語定数または表意定数のSPACE, HIGH-VALUE, LOW-VALUEを指定しなければなりません。表意定数のSPACEが指定されたものとみなします。

詳細な説明

日本語項目の初期値としてVALUE句に指定できる値は、日本語定数または表意定数のSPACE, HIGH-VALUE, LOW-VALUEです。これら以外の値は指定できません。

翻訳を続行するために表意定数SPACEが指定されたものとみなして処理しますが、このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.36 JMN2047I-W

SYMBOLIC DESTINATION句に'@2@'を指定した表示ファイルに@1@句が指定されています。@1@句は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : DESTINATION-1, DESTINATION-2, DESTINATION-3, END KEY, FORMAT, GROUP, MESSAGE CLASS, MESSAGE CODE, MESSAGE MODE, MESSAGE OWNER, PROCESSING CONTROL, PROCESSING MODE, SELECTED FUNCTION, SESSION CONTROLまたはUNIT CONTROL.

@2@ : DSP, PRT, ACM, APL, CMDまたはTRM.

例題

```
[C2047.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C2047.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT AFILE ASSIGN TO GS-DD1
000007         SYMBOLIC DESTINATION IS "PRT"
000008         MESSAGE CODE IS W001.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011     FD AFILE.
000012     01 A      PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014     01 W001   PIC X(4).
000015 PROCEDURE DIVISION.
```

C2047.cob 11: JMN2047I-W SYMBOLIC DESTINATION句に'PRT'を指定した表示ファイルにMESSAGE CODE句が指定されています。MESSAGE CODE句は、無効になります。

詳細な説明

表示ファイル機能のファイル管理記述項の各句は、あて先種別(SYMBOLIC DESTINATION句の指定)との組み合わせによって指定できるかできないかが決まります。指定できない句は無効になります。

2.4.37 JMN2048I-S

SYMBOLIC DESTINATION句に'@2@'を指定した表示ファイルには、@1@句は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : DESTINATION-1, DESTINATION-2, DESTINATION-3, END KEY, MESSAGE CLASS, MESSAGE CODE, MESSAGE MODE, MESSAGE OWNER, PROCESSING CONTROL, SELECTED FUNCTIONまたはSESSION CONTROL.

@2@ : DSP, PRT, ACM, APL, CMD, TRMまたはWST.

例題

```
[C2048.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C2048.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT AFILE ASSIGN TO GS-DD1
000007     SYMBOLIC DESTINATION IS "WST"
000008     MESSAGE CODE IS W001.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 FD AFILE.
000012 01 A          PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 W001      PIC X(4).
000015 PROCEDURE DIVISION.
```

C2048.cob 7: JMN2774I-W 'WST'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

C2048.cob 11: JMN2048I-S SYMBOLIC DESTINATION句に'WST'を指定した表示ファイルには、MESSAGE CODE句は指定できません。

詳細な説明

表示ファイル機能のファイル管理記述項の各句は、あて先種別(SYMBOLIC DESTINATION句の指定)との組み合わせによって指定できるかできないかが決まります。指定できない句が記述されているときは、オブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.38 JMN2049I-S

@1@句のデータ名'@2@'が一意ではありません。@1@句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : PADDING CHARACTER, NOMINAL KEY, ACTUAL KEY, RELATIVE KEY, SYMBOLIC KEY, FORMAT, GROUP, PADDING CHARACTER, NOMINAL KEY, ACTUAL KEY, RELATIVE KEY, SYMBOLIC KEY, FORMAT, GROUP, DESTINATION-1, DESTINATION-2, DESTINATION-3, SELECTED FUNCTION, UNIT CONTROL, MESSAGE MODE, END KEY, SESSION CONTROL, PROCESSING CONTROL, MESSAGE CLASS, PASSWORD, MESSAGE OWNER, MESSAGE CODE, PROCESING TIME, MESSAGE SEQUENCE, DESTINATION CONTROL, FORMAT CONTROL, PROCESSING MODE, SYMBOLIC DESTINATION, FILE STATUS, APPLY REORG-CRITERIA, CONTROL AREA, TRACK-AREA, CURSORまたはCRT STATUS.

@2@ : エラーの原因となった利用者語。

例題

```
[P2049.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2049.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS SEQUENTIAL
000008     FILE STATUS IS WFS1.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 FD SQFILE1.
000012 01 SQF1REC.
000013 02          PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WFS1      PIC X(2).
```

```
000016 01 WFS1      PIC X(2).
000017 PROCEDURE   DIVISION.
000018 END PROGRAM  P2049.
```

P2049.cob 8: JMN2049I-S FILE STATUS句のデータ名'WFS1'が一意ではありません。FILE STATUS句は無効になります。

2.4.39 JMN2050I-S

@1@句のデータ名'@2@'が未定義です。@1@句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : PPADDING CHARACTER, NOMINAL KEY, ACTUAL KEY, RELATIVE KEY, SYMBOLIC KEY, FORMAT, GROUP, PADDING CHARACTER, NOMINAL KEY, ACTUAL KEY, RELATIVE KEY, SYMBOLIC KEY, FORMAT, GROUP, DESTINATION-1, DESTINATION-2, DESTINATION-3, SELECTED FUNCTION, UNIT CONTROL, MESSAGE MODE, END KEY, SESSION CONTROL, PROCESSING CONTROL, MESSAGE CLASS, PASSWORD, MESSAGE OWNER, MESSAGE CODE, PROCESING TIME, MESSAGE SEQUENCE, DESTINATION CONTROL, FORMAT CONTROL, PROCESSING MODE, SYMBOLIC DESTINATION, FILE STATUS, APPLY REORG-CRITERIA, CONTROL AREA, TRACK-AREA, CURSORまたはCRT STATUS.

@2@ : エラーの原因となった利用者語.

例題

```
[P2050.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2050.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS SEQUENTIAL
000008     FILE STATUS   IS WFS1.
000009 DATA            DIVISION.
000010 FILE             SECTION.
000011 FD SQFILE1.
000012 01 SQF1REC.
000013 02                PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 PROCEDURE        DIVISION.
000016 END PROGRAM      P2050.
```

P2050.cob 8: JMN2050I-S FILE STATUS句のデータ名'WFS1'が未定義です。FILE STATUS句は無効になります。

2.4.40 JMN2051I-S

@1@句の名標'@2@'は、データ名でなければなりません。@1@句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : PADDING CHARACTER, NOMINAL KEY, ACTUAL KEY, RELATIVE KEY, SYMBOLIC KEY, FORMAT, GROUP, PADDING CHARACTER, NOMINAL KEY, ACTUAL KEY, RELATIVE KEY, SYMBOLIC KEY, FORMAT, GROUP, DESTINATION-1, DESTINATION-2, DESTINATION-3, SELECTED FUNCTION, UNIT CONTROL, MESSAGE MODE, END KEY, SESSION CONTROL, PROCESSING CONTROL, MESSAGE CLASS, PASSWORD, MESSAGE OWNER, MESSAGE CODE, PROCESING TIME, MESSAGE SEQUENCE, DESTINATION CONTROL, FORMAT CONTROL, PROCESSING MODE, FILE STATUS, APPLY REORG-CRITERIA, CONTROL AREA, TRACK-AREA, CURSORまたはCRT STATUS.

@2@ : エラーの原因となった利用者語.

例題

```
[P2051.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000002 PROGRAM-ID.    P2051.
000003 ENVIRONMENT   DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT  SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS SEQUENTIAL
000008     FILE STATUS   IS TFS.
000009 DATA          DIVISION.
000010 FILE           SECTION.
000011 FD SQFILE1.
000012 01 SQF1REC.
000013 02              PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 TFS TYPEDEF PIC X(2).
000016 PROCEDURE      DIVISION.
000017 END PROGRAM     P2051.

```

P2051.cob 8: JMN2051I-S FILE STATUS句の名標'TFS'は、データ名でなければなりません。FILE STATUS句は無効になります。

2.4.41 JMN2065I-W

順ファイル以外に、LABEL RECORD句を指定する場合、OMITTEDは指定できません。LABEL RECORD句は、無効になります。

例題

```

[P2065.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    P2065.
000003 ENVIRONMENT   DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT  SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IXFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     RECORD KEY   IS WRKY1.
000009 DATA          DIVISION.
000010 FILE           SECTION.
000011 FD IXFILE1
000012     LABEL RECORD OMITTED.
000013 01 IXF1REC.
000014 02 WRKY1          PIC X(2).
000015 02              PIC X(80).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 PROCEDURE      DIVISION.
000018 END PROGRAM     P2065.

```

P2065.cob 12: JMN2065I-W 順ファイル以外に、LABEL RECORD句を指定する場合、OMITTEDは指定できません。LABEL RECORD句は、無効になります。

詳細な説明

LABEL RECORDS句は廃要素です。このコンパイラでは、LABEL RECORDS句は注釈とみなされます。

2.4.42 JMN2066I-S

データ名指定のLABEL RECORD句は、順ファイル、直接編成ファイルおよび相対編成ファイル以外に指定できません。

例題

```

[P2066.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    P2066.

```



```

000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT  SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT RLF1  ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS RELATIVE.
000008 DATA          DIVISION.
000009 FILE           SECTION.
000010 FD RLF1
000011     LABEL RECORD LREC.
000012 01 RLF1REC.
000013 02                PIC X(80).
000014 01 LREC.
000015 02                PIC X(8).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 PROCEDURE      DIVISION.
000018 END PROGRAM    P2066.

```

P2066.cob 11: JMN2066I-S データ名指定のLABEL RECORD句は、順ファイル、直接編成ファイルおよび相対編成ファイル以外に指定できません。

P2066.cob 11: JMN1478I-W Windowsシステムでは、'LABEL RECORD'は注釈として扱います。

詳細な説明

LABEL RECORDS句は廃要素です。このコンパイラでは、LABEL RECORDS句は注釈とみなされます。

2.4.43 JMN2067I-S

RECORD CONTAINS 0のファイルは、順ファイルでなければなりません。RECORD CONTAINS句は、無効になります。

例題

```

[P2067.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     P2067.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT  SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT RLF1  ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS RELATIVE.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA          DIVISION.
000010 FILE           SECTION.
000011 FD RLF1
000012     RECORD CONTAINS 0.
000013 01 RLF1REC.
000014 02                PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 PROCEDURE      DIVISION.
000017 END PROGRAM    P2067.

```

P2067.cob 12: JMN2067I-S RECORD CONTAINS 0のファイルは、順ファイルでなければなりません。RECORD CONTAINS句は、無効になります。

2.4.44 JMN2076I-S

CODE-SET句の名標が、符号系名として定義されていません。

例題

```

[P2076.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.

```

```

000002 PROGRAM-ID.      P2076.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS SEQUENTIAL
000008     FILE STATUS   IS WFS1.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA           DIVISION.
000011 FILE            SECTION.
000012 FD SQFILE1
000013     CODE-SET CD1.
000014 01 SQF1REC.
000015 02                PIC X(80).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 01 WFS1          PIC X(2).
000018 PROCEDURE       DIVISION.
000019 END PROGRAM      P2076.

```

P2076.cob 13: JMN2076I-S CODE-SET句の名標が、符号系名として定義されていません。

詳細な説明

このコンパイラでは、CODE-SET句は注釈とみなされます。

2.4.45 JMN2077I-S

CODE-SET句の符号系名は、STANDARD-1、STANDARD-2、NATIVEまたは機能名に対応していなければなりません。

例題

```

[P2077.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2077.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     ALPHABET CD1 IS "a" THRU "z".
000007 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000008 FILE-CONTROL.
000009     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000010     ORGANIZATION IS SEQUENTIAL
000011     FILE STATUS   IS WFS1.
000012 DATA           DIVISION.
000013 FILE            SECTION.
000014 FD SQFILE1
000015     CODE-SET CD1.
000016 01 SQF1REC.
000017 02                PIC X(80).
000018 WORKING-STORAGE SECTION.
000019 01 WFS1          PIC X(2).
000020 PROCEDURE       DIVISION.
000021 END PROGRAM      P2077.

```

P2077.cob 15: JMN2077I-S CODE-SET句の符号系名は、STANDARD-1、STANDARD-2、NATIVEまたは機能名に対応していません。

詳細な説明

このコンパイラでは、CODE-SET句は注釈とみなされます。

2.4.46 JMN2079I-S

CODE-SET句は順ファイル以外に指定できません。

例題

```
[P2079.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2079.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006 ALPHABET CD1 IS STANDARD-1.
000007 INPUT-OUTPUT SECTION.
000008 FILE-CONTROL.
000009 SELECT IXFILE1 ASSIGN TO CR-SYS001
000010 ORGANIZATION IS INDEXED
000011 RECORD KEY IS RKEY.
000012 DATA DIVISION.
000013 FILE SECTION.
000014 FD IXFILE1
000015 CODE-SET CD1.
000016 01 IXF1REC.
000017 02 RKEY PIC X(8).
000018 02 PIC X(80).
000019 WORKING-STORAGE SECTION.
000020 PROCEDURE DIVISION.
000021 END PROGRAM P2079.
```

P2079.cob 15: JMN2079I-S CODE-SET句は順ファイル以外に指定できません。

詳細な説明

このコンパイラでは、CODE-SET句は注釈とみなされます。

2.4.47 JMN2080I-S

集団項目に従属する項目のCHARACTER TYPE句は、その集団項目のCHARACTER TYPE句と同じ指定でなければなりません。集団項目のCHARACTER TYPE句を有効とみなします。

例題

```
[P2080.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2080.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GRP CHARACTER TYPE MODE-1.
000007 02 PIC N(10).
000008 02 CHARACTER TYPE MODE-2.
000009 03 PIC N(10).
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 END PROGRAM P2080.
```

P2080.cob 8: JMN2080I-S 集団項目に従属する項目のCHARACTER TYPE句は、その集団項目のCHARACTER TYPE句と同じ指定でなければなりません。集団項目のCHARACTER TYPE句を有効とみなします。

詳細な説明

集団項目およびその集団に従属するデータ項目の両方に、MODE-1、MODE-2、MODE-3あるいは呼び名を指定したCHARACTER TYPE句を記述するときは、両者のCHARACTER TYPE句の指定は同じでなければなりません。

翻訳を続行するために従属項目のCHARACTER TYPE句を有効とみなしますが、このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.48 JMN2081I-S

CHARACTER TYPE句に指定された呼び名が未定義、多重定義または機能名 HSC, F0202, H0202, F0102またはF0201に対応づけた呼び名として定義されていません。呼び名指定は無効になります。

例題

```
[P2081.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2081.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     YX-7P IS PH2.
000007 DATA          DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 GRP.
000010 02 A1          PIC X(5).
000011 02 N1          PIC N(5)
000012     CHARACTER TYPE MODE-1 BY PH1.
000013 02 A2          PIC X(5).
000014 02 A2          PIC N(5)
000015     CHARACTER TYPE MODE-1 BY PH2.
000016 PROCEDURE      DIVISION.
000017 END PROGRAM     P2081.
```

P2081.cob 12: JMN2081I-S CHARACTER TYPE句に指定された呼び名が未定義、多重定義または機能名 HSC, F0202, H0202, F0102またはF0201に対応づけた呼び名として定義されていません。呼び名指定は無効になります。

P2081.cob 15: JMN2081I-S CHARACTER TYPE句に指定された呼び名が未定義、多重定義または機能名 HSC, F0202, H0202, F0102またはF0201に対応づけた呼び名として定義されていません。呼び名指定は無効になります。

詳細な説明

CHARACTER TYPE句に指定する呼び名は、環境部の特殊名段落で機能名と対応付けなくてはなりません。また、対応付ける機能名は、HSC, F0202, H0202, F0102またはF0201のいずれかでなければなりません。

2.4.49 JMN2082I-S

MODE-3を指定したCHARACTER TYPE句の呼び名は、F0202, F0102またはF0201に対応していなければなりません。

例題

```
[P2082.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2082.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     H0202 IS PH1
000007     F0102 IS PH2.
000008 DATA          DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 GRP.
000011 02 A1          PIC X(5).
000012 02 N1          PIC N(5)
000013     CHARACTER TYPE MODE-3 BY PH1.
000014 02 A2          PIC X(5).
000015 02 A2          PIC N(5)
```

```
000016 CHARACTER TYPE MODE-3 BY PH2.
000017 PROCEDURE DIVISION.
000018 END PROGRAM P2082.
```

P2082.cob 13: JMN2082I-S MODE-3を指定したCHARACTER TYPE句の呼び名は、F0202、F0102またはF0201に対応していません。

詳細な説明

MODE-3を指定したCHARACTER TYPE句の呼び名は、環境部の特殊名段落で機能名F0202、F0102またはF0201のいずれかに対応付けた呼び名でなければなりません。

2.4.50 JMN2083I-S

@1@句のファイル名'@2@'が未定義または多重定義です。

埋め込みの説明

@1@ : SAME, APPLYまたはMULTIPLE FILE TAPE.
@2@ : エラーの原因となった利用者語。

例題

```
[P2083.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2083.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007 ORGANIZATION IS SEQUENTIAL
000008 FILE STATUS IS WFS1.
000009 I-O-CONTROL.
000010 SAME AREA SQFILE1 SQFILE2.
000011 DATA DIVISION.
000012 FILE SECTION.
000013 FD SQFILE1.
000014 01 SQF1REC.
000015 02 PIC X(80).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 01 WFS1 PIC X(2).
000018 PROCEDURE DIVISION.
000019 END PROGRAM P2083.
```

P2083.cob 10: JMN2083I-S SAME句のファイル名'SQFILE2'が未定義または多重定義です。

2.4.51 JMN2084I-S

@1@句の名標'@2@'はファイル名でなければなりません。その指定は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : SAME, MULTIPLE FILE TAPEまたはAPPLY.
@2@ : エラーの原因となった利用者語。

例題

```
[P2084.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2084.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
```

```

000007 ORGANIZATION IS SEQUENTIAL
000008 FILE STATUS IS WFS1.
000009 I-0-CONTROL.
000010 SAME AREA SQFILE1 SQF1REC.
000011 DATA DIVISION.
000012 FILE SECTION.
000013 FD SQFILE1.
000014 01 SQF1REC.
000015 02 PIC X(80).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 01 WFS1 PIC X(2).
000018 PROCEDURE DIVISION.
000019 END PROGRAM P2084.

```

P2084.cob 10: JMN2084I-S SAME句の名標'SQF1REC'はファイル名でなければなりません。その指定は、無効になります。

2.4.52 JMN2085I-S

ファイル名 '@2@' は、同一形式の @1@ 句に一度しか指定できません。このファイル名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : SAME, MULTIPLE FILE TAPE または APPLY.

@2@ : エラーの原因となったファイル名.

例題

```

[P2085.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2085.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007 ORGANIZATION IS SEQUENTIAL
000008 FILE STATUS IS WFS1.
000009 I-0-CONTROL.
000010 SAME AREA SQFILE1 SQFILE1.
000011 DATA DIVISION.
000012 FILE SECTION.
000013 FD SQFILE1.
000014 01 SQF1REC.
000015 02 PIC X(80).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 01 WFS1 PIC X(2).
000018 PROCEDURE DIVISION.
000019 END PROGRAM P2085.

```

P2085.cob 10: JMN2085I-S ファイル名 'SQFILE1' は、同一形式の SAME 句に一度しか指定できません。このファイル名は、無効になります。

2.4.53 JMN2097I-W

条件変数が符号なし数字項目である条件名の VALUE 句に、符号付き数字定数は指定できません。数字定数の符号を無効にし、符号なし数字定数として扱います。

例題

```

[P2097.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2097.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.

```

```

000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WVAR          PIC 9(2).
000007 88 ZOK          VALUE 10.
000008 88 ZNG          VALUE -10.
000009 PROCEDURE       DIVISION.
000010 END PROGRAM     P2097.

```

P2097.cob 8: JMN2097I-W 条件変数が符号なし数字項目である条件名のVALUE句に、符号付き数字定数は指定できません。数字定数の符号を無効にし、符号なし数字定数として扱います。

詳細な説明

条件変数が符号なし数字項目であるときは、条件名記述項(レベル番号が88)のVALUE句の値として符号なしの数字定数を記述しなければなりません。

符号付きの数字定数を指定した場合は符号は無効になり、符号なしの数字定数が条件変数の値になります。

2.4.54 JMN2098I-S

条件変数がブール項目である条件名のVALUE句には、ブール定数または表意定数ZEROを指定しなければなりません。表意定数ZEROが指定されたものとみなします。

例題

```

[P2098.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2098.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WVAR          PIC 1(2).
000007 88 ZOK1         VALUE B'00'.
000008 88 ZOK2         VALUE ZERO.
000009 88 ZNG          VALUE 10.
000010 PROCEDURE       DIVISION.
000011 END PROGRAM     P2098.

```

P2098.cob 9: JMN2098I-S 条件変数がブール項目である条件名のVALUE句には、ブール定数または表意定数ZEROを指定しなければなりません。表意定数ZEROが指定されたものとみなします。

詳細な説明

条件変数がブール項目のとき、条件名記述項(レベル番号が88)のVALUE句に指定できる値は、ブール定数または表意定数ZEROです。これら以外の値は指定できません。

翻訳を続行するために表意定数ZEROが指定されたものとみなして処理しますが、このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.55 JMN2099I-S

VALUE句の数字定数で、条件変数のPICTUREの'P'に対応する文字位置は、ゼロでなければなりません。表意定数ZEROが指定されたものとみなします。

例題

```

[P2099.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2099.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WVAR          PIC 999PP.
000007 88 ZOK          VALUE 12300.
000008 88 ZNG          VALUE 123.

```

```
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010 END PROGRAM     P2099.
```

P2099.cob 8: JMN2099I-S VALUE句の数字定数で、条件変数のPICTUREの'P'に対応する文字位置は、ゼロでなければなりません。表意定数ZEROが指定されたものとみなします。

詳細な説明

PICTURE句の文字"P"は位取りを示す文字であり、PICTURE句の数字の桁位置の左端あるいは右端に続けて記述します。左端にあるときは、先頭の"P"の左側に小数点があるものとみなされます。一方、右端にあるときは、末尾の"P"の右側に小数点があるものとみなされます。

条件変数である数字項目のPICTURE句の文字列と、条件名記述項(レベル番号が88)のVALUE句で指定した数値とを、小数点の位置を合わせて対応付けたとき、PICTURE句の文字"P"の位置にある数字は"0"でなければなりません。

翻訳を続行するために、文字"P"の位置の値を0とみなして処理しますが、このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.56 JMN2100I-W

条件名のVALUE句の定数の長さは、対応する条件変数の項目長と等しいかまたは短くなければなりません。条件変数の項目長より長い定数部分を切り落します。

例題

```
[P2100.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2100.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 D1           PIC X(2).
000007 88 CD1         VALUE "ABC".
000008 PROCEDURE      DIVISION.
000009 END PROGRAM     P2100.
```

P2100.cob 7: JMN2100I-W 条件名のVALUE句の定数の長さは、対応する条件変数の項目長と等しいかまたは短くなければなりません。条件変数の項目長より長い定数部分を切り落します。

詳細な説明

条件名記述項(レベル番号が88)のVALUE句で指定した定数長が、条件変数の項目長よりも長くなっています。条件変数の長さ分の定数を条件名の値とみなし、余った定数は切り捨てます。

2.4.57 JMN2101I-S

条件変数が英字項目、英数字項目、英数字編集項目、数字編集項目または集団項目である条件名のVALUE句には、文字定数、表意定数または記号文字を指定しなければなりません。表意定数SPACEが指定されているものとみなします。

例題

```
[P2101.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2101.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 D1           PIC X(10).
000007 88 CD1         VALUE SC1.
000008 PROCEDURE      DIVISION.
000009 END PROGRAM     P2101.
```


P2101.cob 7: JMN2101I-S 条件変数が英字項目、英数字項目、英数字編集項目、数字編集項目または集団項目である条件名のVALUE句には、文字定数、表意定数または記号文字を指定しなければなりません。表意定数SPACEが指定されているものとみなします。

詳細な説明

この診断メッセージが出力される原因は、VALUE句に指定した項目が次のいずれかの場合です。

- ・ 日本語定数
- ・ 何らかの名標

2.4.58 JMN2102I-S

条件変数が英字項目である条件名のVALUE句には、表意定数ZEROは指定できません。表意定数SPACEが指定されているものとみなします。

例題

```
[P2102. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2102.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 D1           PIC X(10).
000007 88 CD1          VALUE ZERO.
000008 01 D2           PIC A(10).
000009 88 CD2          VALUE ZERO.
000010 PROCEDURE       DIVISION.
000011 END PROGRAM     P2102.
```

P2102.cob 9: JMN2102I-S 条件変数が英字項目である条件名のVALUE句には、表意定数ZEROは指定できません。表意定数SPACEが指定されているものとみなします。

詳細な説明

条件変数が英字項目のとき、条件名記述項(レベル番号が88)のVALUE句に表意定数ZEROを指定してはなりません。

翻訳を続行するために表意定数SPACEが指定されたものとみなしますが、このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.59 JMN2103I-S

条件変数が数字項目である条件名のVALUE句には、数字定数または表意定数ZEROを指定しなければなりません。表意定数ZEROが指定されたものとみなします。

例題

```
[P2103. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2103.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 D1           PIC 9(10).
000007 88 CD1          VALUE "A".
000008 PROCEDURE       DIVISION.
000009 END PROGRAM     P2103.
```

P2103.cob 7: JMN2103I-S 条件変数が数字項目である条件名のVALUE句には、数字定数または表意定数ZEROを指定しなければなりません。表意定数ZEROが指定されたものとみなします。

詳細な説明

条件変数が数字項目のとき、条件名記述項(レベル番号が88)のVALUE句に指定できる値は、数字定数または表意定数ZEROです。これら以外の値は指定できません。

翻訳を続行するために表意定数ZEROが指定されたものとみなして処理しますが、このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.60 JMN2104I-W

条件変数が英字、英数字、英数字編集または集団項目である条件名のVALUE句に、ブール定数は指定できません。1ブール文字を1ビットとみなして、左づめで格納します。

例題

```
[P2104.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.        P2104.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 DATA                DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 D1                PIC X(1).
000007 88 CD1               VALUE "1".
000008 88 CD2               VALUE B"10101010".
000009 PROCEDURE           DIVISION.
000010 END PROGRAM        P2104.
```

P2104.cob 8: JMN2104I-W 条件変数が英字、英数字、英数字編集または集団項目である条件名のVALUE句に、ブール定数は指定できません。1ブール文字を1ビットとみなして、左づめで格納します。

詳細な説明

条件変数が英字、英数字、英数字編集または集団項目のとき、条件名記述項(レベル番号が88)のVALUE句でブール定数が指定されたならば、ブール文字("0"または"1")1個が1ビットの領域を占めるもの(ブール文字8個で1バイト)とみなして、条件名の値とします。このとき、条件変数の項目長に合わせて値は左詰めされ、残りの領域には空白文字が設定されます。

2.4.61 JMN2105I-W

条件名のVALUE句に指定したブール定数の長さは、8の倍数でなければなりません。8の倍数になるように右端に0を補います。

例題

```
[P2105.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.        P2105.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 DATA                DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 D1                PIC X(1).
000007 88 CD1               VALUE "1".
000008 88 CD2               VALUE B"1".
000009 PROCEDURE           DIVISION.
000010 END PROGRAM        P2105.
```

P2105.cob 8: JMN2104I-W 条件変数が英字、英数字、英数字編集または集団項目である条件名のVALUE句に、ブール定数は指定できません。1ブール文字を1ビットとみなして、左づめで格納します。

P2105.cob 8: JMN2105I-W 条件名のVALUE句に指定したブール定数の長さは、8の倍数でなければなりません。8の倍数になるように右端に0を補います。

詳細な説明

条件変数が英字、英数字、英数字編集または集団項目のとき、条件名記述項(レベル番号が88)のVALUE句にブール定数が指定されたならば、ブール文字('0'または'1')1個が1ビットの領域を占めるもの(ブール文字8個で1バイト)とみなして条件名の値とするため、ブール文字の個数は8の倍数である必要があります。

8の倍数でない場合、ブール定数の右側にブール文字'0'を補って8の倍数とみなします。

2.4.62 JMN2106I-S

条件名のVALUE句のTHROUGHの後の値は、THROUGHの前の値より大きくなければなりません。

例題

```
[P2106.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2106.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 D1            PIC X.
000007 88 CD1           VALUE "A" THRU "Z".
000008 88 CD2           VALUE "z" THRU "a".
000009 PROCEDURE        DIVISION.
000010 END PROGRAM      P2106.
```

P2106.cob 8: JMN2106I-S 条件名のVALUE句のTHROUGHの後の値は、THROUGHの前の値より大きくなければなりません。

詳細な説明

条件名記述項(レベル番号が88)のVALUE句のTHRU(THROUGHとTHRUは同義語です)は、条件名の値の範囲を示します。「"THRUの前に記述した値"以上、かつ、「THRUの後ろに記述した値"以下」を値の範囲とみなすので、THRUの後ろに記述する値は、THRUの前に記述する値よりも大きくなければなりません。

2.4.63 JMN2107I-S

条件変数が日本語項目である条件名のVALUE句には、日本語定数、SPACE、HIGH-VALUEまたはLOW-VALUEを指定しなければなりません。表意定数SPACEが指定されたものとみなします。

例題

```
[P2107.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2107.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 D1            PIC N(1).
000007 88 CD1           VALUE N"あ".
000008 88 CD2           VALUE "い".
000009 PROCEDURE        DIVISION.
000010 END PROGRAM      P2107.
```

P2107.cob 8: JMN2107I-S 条件変数が日本語項目である条件名のVALUE句には、日本語定数、SPACE、HIGH-VALUEまたはLOW-VALUEを指定しなければなりません。表意定数SPACEが指定されたものとみなします。

詳細な説明

条件変数が日本語項目のとき、条件名記述項(レベル番号が88)のVALUE句に指定できる値は、日本語定数または表意定数のSPACE、HIGH-VALUE、LOW-VALUEです。これら以外の値は指定できません。

翻訳を続行するために表意定数SPACEが指定されたものとみなして処理しますが、このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.64 JMN2108I-S

THROUGH指定の条件名のVALUE句には、ブール定数は指定できません。

例題

```
[P2108.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2108.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 D1 PIC 1(4).
000007 88 CD1 VALUE B"0000".
000008 88 CD2 VALUE B"1111".
000009 88 CD3 VALUE B"0000" THRU B"1111".
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 END PROGRAM P2108.
```

P2108.cob 9: JMN2108I-S THROUGH指定の条件名のVALUE句には、ブール定数は指定できません。

2.4.65 JMN2109I-S

SAME RECORD AREA句に指定されたファイルのファイル記述項に、RECORD CONTAINS 0は指定できません。RECORD句は、無効になります。

例題

```
[P2109.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2109.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 SELECT SQFILE2 ASSIGN TO SYS001.
000008 I-O-CONTROL.
000009 SAME RECORD AREA SQFILE1 SQFILE2.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02 PIC X(80).
000015 FD SQFILE2 RECORD CONTAINS 0.
000016 01 SQF2REC.
000017 02 PIC X(80).
000018 WORKING-STORAGE SECTION.
000019 01 WFS1 PIC X(2).
000020 PROCEDURE DIVISION.
000021 END PROGRAM P2109.
```

P2109.cob 15: JMN2109I-S SAME RECORD AREA句に指定されたファイルのファイル記述項に、RECORD CONTAINS 0は指定できません。RECORD句は、無効になります。

2.4.66 JMN2111I-W

RECORD CONTAINS 0は印刷ファイルに指定できません。RECORD句は無効になります。

例題

```
[P2111.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000002 PROGRAM-ID.      P2111.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA           DIVISION.
000009 FILE            SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     RECORD CONTAINS 0.
000012 01 SQF1REC.
000013 02                PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WFS1          PIC X(2).
000016 PROCEDURE        DIVISION.
000017     WRITE SQF1REC AFTER ADVANCING 1.
000018 END PROGRAM      P2111.

```

P2111.cob 10: JMN2111I-W RECORD CONTAINS 0は印刷ファイルに指定できません。RECORD句は無効になります。

2.4.67 JMN2112I-S

RECORD句で指定した整数(最大文字位置数)はレコード長と等しいか大きくなければなりません。RECORD句は、無効になります。

例題

```

[P2112. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2112.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA           DIVISION.
000009 FILE            SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     RECORD CONTAINS 40.
000012 01 SQF1REC.
000013 02                PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WFS1          PIC X(2).
000016 PROCEDURE        DIVISION.
000017 END PROGRAM      P2112.

```

P2112.cob 10: JMN2112I-S RECORD句で指定した整数(最大文字位置数)はレコード長と等しいか大きくなければなりません。RECORD句は、無効になります。

詳細な説明

RECORD句はレコードの大きさを規定するための句です。RECORD句でレコードの文字位置の個数の最大値を定めているとき、そのRECORD句を指定したファイルに関連するレコード記述項は、同句で規定した大きさを上回るものであってはなりません。

2.4.68 JMN2113I-S

RECORD句で指定した整数(最小文字位置数)は、レコード長と等しいか小さくなければなりません。RECORD句は、無効になります。

例題

```

[P2113. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.

```

```

000002 PROGRAM-ID.    P2113.
000003 ENVIRONMENT   DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT  SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA         DIVISION.
000009 FILE          SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     RECORD VARYING FROM 81 TO 160.
000012 01 SQF1REC.
000013 02                PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WFS1         PIC X(2).
000016 PROCEDURE      DIVISION.
000017 END PROGRAM     P2113.

```

P2113.cob 10: JMN2113I-S RECORD句で指定した整数(最小文字位置数)は、レコード長と等しいか小さくなければなりません。RECORD句は、無効になります。

詳細な説明

RECORD句はレコードの大きさを規定するための句です。RECORD句でレコードの文字位置の個数の最小値を定めているとき、そのRECORD句を指定したファイルに関連するレコード記述項は、同句で規定した大きさを下回るものであってはなりません。

2.4.69 JMN2116I-S

RENAMES句に、レベル番号01, 77, 88または66として定義された項目は指定できません。

例題

```

[P2116.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    P2116.
000003 ENVIRONMENT   DIVISION.
000004 DATA         DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 D1         PIC X(20).
000007 66 R1 RENAMES D1.
000008 PROCEDURE      DIVISION.
000009 END PROGRAM     P2116.

```

P2116.cob 7: JMN2116I-S RENAMES句に、レベル番号01, 77, 88または66として定義された項目は指定できません。

詳細な説明

RENAMES句は、同じレコード記述項中の基本項目をまとめたものに名前を付けるための句です。複数のレコード記述項をまとめて再命名することはできません。条件名記述項(レベル番号が88)やRENAMES記述項(レベル番号が66)を再命名することもできません。

2.4.70 JMN2117I-S

RENAMES句に指定する二つのデータ名は、異なっていないてはいけません。

例題

```

[P2117.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    P2117.
000003 ENVIRONMENT   DIVISION.
000004 DATA         DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GR1.

```

```
000007 02 GR2.
000008 03 E1 PIC X(5).
000009 66 R1 RENAMES E1 THRU E1 OF GR2.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 END PROGRAM P2117.
```

P2117.cob 8: JMN2117I-S RENAMES句に指定する二つのデータ名は、異なっていないといけません。

詳細な説明

THROUGH(THRU)指定の前後に指定されたデータ名が同一のデータ記述項によって定義されたものである場合に、この診断メッセージが出力されます。データ名の修飾の有無の違いは関係ありません。

2.4.71 JMN2118I-S

RENAMES句に指定されたデータ名、またはTHROUGHに指定されたデータ名は、直前のレコード記述項に定義されていなければなりません。

例題

```
[P2118.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2118.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GR1.
000007 02 E1 PIC X(5).
000008 01 GR2.
000009 02 E1 PIC X(5).
000010 66 R1 RENAMES E1 OF GR1.
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012 END PROGRAM P2118.
```

P2118.cob 10: JMN2118I-S RENAMES句に指定されたデータ名、またはTHROUGHに指定されたデータ名は、直前のレコード記述項に定義されていなければなりません。

詳細な説明

RENAMES記述項は、再命名したい項目を含むレコード記述項の最後のデータ記述項の直後にまとめて書かなければなりません。

2.4.72 JMN2119I-S

**RENAMES句のデータ名またはTHROUGHのデータ名は、OCCURS句を含む項目またはOCCURS句を含む項目に
従属する項目であってはなりません。**

例題

```
[P2119.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2119.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GR1.
000007 02 OCC1 OCCURS 10.
000008 03 E1 PIC X(2).
000009 66 R1 RENAMES OCC1.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 END PROGRAM P2119.
```

P2119.cob 9: JMN2119I-S RENAMES句のデータ名またはTHROUGHのデータ名は、OCCURS句を含む項目またはOCCURS句を含む項目に従属する項目であってはなりません。

2.4.73 JMN2120I-S

THROUGH指定のデータ名の領域の左端は、RENAMES句のデータ名の領域の左端より左にあってはなりません。

例題

```
[P2120.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2120.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GRP.
000007 02 E1           PIC X(5).
000008 02 E2           PIC X(5).
000009 66 R1 RENAMES E2 THRU E1.
000010 PROCEDURE      DIVISION.
000011 END PROGRAM     P2120.
```

P2120.cob 9: JMN2120I-S THROUGH指定のデータ名の領域の左端は、RENAMES句のデータ名の領域の左端より左にあってはなりません。

詳細な説明

THROUGH指定(THROUGHとTHRUとは同義語)が書かれると、RENAMES記述項は集団項目とみなされ、この集団項目の領域の範囲が再命名されます。このとき、RENAMES句の直後に書かれたデータ名がこの集団項目の最初の項目(再命名の開始位置)となり、一方、THROUGH指定の直後に書かれたデータ名がこの集団項目の最後の項目(再命名の終了位置)となります。開始位置の前に終了位置が出現してはなりません。

2.4.74 JMN2121I-S

RENAMES句に指定されたデータ名とTHROUGH指定のデータ名の間に、可変反復データ項目は指定できません。

例題

```
[P2121.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2121.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GR1.
000007 02 E1           PIC S9(4) BINARY.
000008 02 E2           OCCURS 10 DEPENDING ON E1.
000009 03             PIC X(2).
000010 02 E3           PIC X(2).
000011 66 R1 RENAMES E1 THRU E3.
000012 PROCEDURE      DIVISION.
000013 END PROGRAM     P2121.
```

P2121.cob 11: JMN2121I-S RENAMES句に指定されたデータ名とTHROUGH指定のデータ名の間に、可変反復データ項目は指定できません。

2.4.75 JMN2122I-S

THROUGH指定のRENAMES句に指定されたデータ名は、内部ブール項目であってはなりません。

例題

```
[P2122. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2122.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GR1.
000007 02 E1 PIC 1(3) BIT.
000008 02 E2 PIC 1(3) BIT.
000009 66 R1 RENAMES E1 THRU E2.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 END PROGRAM P2122.
```

P2122.cob 9: JMN2122I-S THROUGH指定のRENAMES句に指定されたデータ名は、内部ブール項目であってはなりません。

2.4.76 JMN2123I-S

PICTURE句の文字列が上位集団項目に指定したUSAGE句の指定と矛盾しています。 PICTURE句の文字列を有効とみなします。

例題

```
[P2123. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2123.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GR1 USAGE BINARY.
000007 02 E1 PIC X(4).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 END PROGRAM P2123.
```

P2123.cob 7: JMN2123I-S PICTURE句の文字列が上位集団項目に指定したUSAGE句の指定と矛盾しています。 PICTURE句の文字列を有効とみなします。

詳細な説明

PICTURE句では基本項目の項類を、USAGE句ではデータ項目の用途を規定します。なおUSAGE句を集団項目に指定したとき、その指定は集団に従属する各項目にも適用されます。したがって、従属する基本項目に明にUSAGE句が書かれていなくても用途が指定されているとみなされます。各項類に対して指定できる用途はそれぞれ決められており、それ以外の組み合わせはできません。

2.4.77 JMN2124I-S

PICTURE句は、集団項目に指定できません。

例題

```
[P2124. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2124.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GR1 PIC X(20).
000007 02 E1 PIC X(10).
000008 02 E2 PIC X(10).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 END PROGRAM P2124.
```

P2124.cob 6: JMN2124I-S PICTURE句は、集団項目に指定できません。

詳細な説明

PICTURE句は基本項目の項類を規定するための句です。集団項目には指定できません。

2.4.78 JMN2126I-W

CHARACTER TYPE句は、日本語項目を含まない集団項目に対して意味を持ちません。

例題

```
[P2126.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2126.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GR1 CHARACTER TYPE MODE-1.
000007 02 E1           PIC X(20).
000008 PROCEDURE       DIVISION.
000009 END PROGRAM      P2126.
```

P2126.cob 6: JMN2126I-W CHARACTER TYPE句は、日本語項目を含まない集団項目に対して意味を持ちません。

詳細な説明

MODE-1, MODE-2, MODE-3または呼び名を指定したCHARACTER TYPE句は、日本語項目あるいは日本語編集項目を印字するときの形式を指定するために記述します。日本語項目／日本語編集項目を含まない集団項目に対して同句を指定しても、作用する対象が無いため意味がありません。

2.4.79 JMN2127I-S

CHARACTER TYPE句が指定された項目を含むレコード記述中に、OCCURS DEPENDING ON句を持つ項目を含むことはできません。

例題

```
[P2127.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2127.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GR1 CHARACTER TYPE MODE-1.
000007 02 E1           PIC 9(4).
000008 02 E2           PIC N(10).
000009 02 E3           PIC X(1) OCCURS 10 DEPENDING ON E1.
000010 PROCEDURE       DIVISION.
000011 END PROGRAM      P2127.
```

P2127.cob 6: JMN2127I-S CHARACTER TYPE句が指定された項目を含むレコード記述中に、OCCURS DEPENDING ON句を持つ項目を含むことはできません。

2.4.80 JMN2128I-S

レベル番号01の項目の領域の大きさは、@1@バイト以下でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 2147483647.

例題

```
[P2128.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2128.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WVDA.
000007 02 WLENG       PIC S9(9) BINARY.
000008 02 WBUF       PIC X(2147483646).
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010 END PROGRAM     P2128.
```

P2128.cob 6: JMN2128I-S レベル番号01の項目の領域の大きさは、2147483647バイト以下でなければなりません。

詳細な説明

COBOL処理系の定量制限です。

2.4.81 JMN2131I-S

MULTIPLE FILE TAPE句のファイル名 '@1@' は順ファイルでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったファイル名。

例題

```
[P2131.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2131.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT RLF1E1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION  IS RELATIVE.
000008 I-O-CONTROL.
000009     MULTIPLE FILE TAPE CONTAINS RLF1E1.
000010 DATA           DIVISION.
000011 FILE           SECTION.
000012 FD RLF1E1.
000013 01 RLF1REC.
000014 02                PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 PROCEDURE      DIVISION.
000017 END PROGRAM     P2131.
```

P2131.cob 9: JMN2131I-S MULTIPLE FILE TAPE句のファイル名'RLF1E1'は順ファイルでなければなりません。

詳細な説明

MULTIPLE FILE TAPE句は廃要素です。このコンパイラでは、MULTIPLE FILE TAPE句は注釈とみなされます。

2.4.82 JMN2132I-S

SAME AREA句のファイル名をSAME RECORD AREA句に指定した場合、同じSAME AREA句のすべてのファイル名も、SAME RECORD AREA句に指定しなければなりません。

例題

```
[P2132.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000002 PROGRAM-ID.      P2132.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT SQFILE2 ASSIGN TO SYS002.
000008     SELECT SQFILE3 ASSIGN TO SYS003.
000009 I-O-CONTROL.
000010     SAME AREA SQFILE1 SQFILE2
000011     SAME RECORD AREA SQFILE1 SQFILE3.
000012 DATA           DIVISION.
000013 FILE             SECTION.
000014 FD SQFILE1.
000015 01 SQF1REC.
000016 02                PIC X(80).
000017 FD SQFILE2.
000018 01 SQF2REC.
000019 02                PIC X(80).
000020 FD SQFILE3.
000021 01 SQF3REC.
000022 02                PIC X(80).
000023 WORKING-STORAGE SECTION.
000024 01 WFS1          PIC X(2).
000025 PROCEDURE        DIVISION.
000026 END PROGRAM      P2132.

```

P2132.cob 10: JMN2132I-S SAME AREA句のファイル名をSAME RECORD AREA句に指定した場合、同じSAME AREA句のすべてのファイル名も、SAME RECORD AREA句に指定しなければなりません。

2.4.83 JMN2134I-S

BLANK WHEN ZERO句は、ゼロ抑制記号の星印を持つ数字編集項目に指定できません。BLANK WHEN ZERO句は、無効になります。

例題

```

[P2134.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2134.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WNE1          PIC ZZ99 BLANK WHEN ZERO. *> OK
000007 01 WNE2          PIC **99 BLANK WHEN ZERO. *> ERROR
000008 PROCEDURE        DIVISION.
000009 END PROGRAM      P2134.

```

P2134.cob 7: JMN2134I-S BLANK WHEN ZERO句は、ゼロ抑制記号の星印を持つ数字編集項目に指定できません。BLANK WHEN ZERO句は、無効になります。

詳細な説明

BLANK WHEN ZERO句は、データ項目の値がゼロのとき値を空白に置き換える指定です。一方、PICTURE句のゼロ抑制文字の"*"(星印)は、ゼロを"*"で置き換える指定です。これらは両立しない指定なので同時に指定することはできません。

両方指定された場合は、ゼロ抑制文字の"*"の方を有効とみなして処理しますが、このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.84 JMN2135I-S

BLANK WHEN ZERO句は、外部10進項目または数字編集項目に指定しなければなりません。

例題

```
[P2135.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2135.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WNE1         PIC 9(9) DISPLAY
000007                 BLANK WHEN ZERO. *> OK
000008 01 WNE2         PIC 9(9) BINARY
000009                 BLANK WHEN ZERO. *> ERROR
000010 PROCEDURE       DIVISION.
000011 END PROGRAM      P2135.
```

P2135.cob 9: JMN2135I-S BLANK WHEN ZERO句は、外部10進項目または数字編集項目に指定しなければなりません。

詳細な説明

BLANK WHEN ZERO句は、データ項目の値がゼロのとき値を空白に置き換える指定です。用途が表示用でない数字項目には指定できません。

なお、BLANK WHEN ZERO句を指定した場合、その数字項目の項類は数字編集であるとみなされます。

2.4.85 JMN2136I-W

順ファイル(編成VSまたはAS)、相対ファイルまたは索引ファイルに対してRESERVE句を指定した場合、RESERVE整数指定でなければなりません。RESERVE句は、無効になります。

例題

```
[P2136.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2136.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO VS-SYS001
000007     RESERVE NO AREA.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA             DIVISION.
000010 FILE             SECTION.
000011 FD SQFILE1.
000012 01 SQFIREC.
000013 02              PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 PROCEDURE       DIVISION.
000016 END PROGRAM      P2136.
```

P2136.cob 7: JMN2136I-W 順ファイル(編成VSまたはAS)、相対ファイルまたは索引ファイルに対してRESERVE句を指定した場合、RESERVE整数指定でなければなりません。RESERVE句は、無効になります。

詳細な説明

RESERVE AREA句は、OSIV系システムの固有機能です。

2.4.86 JMN2138I-W

RESERVE句に指定した整数は、1～255でなければなりません。RESERVE句は無効となります。

例題

```
[P2138.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000002 PROGRAM-ID.      P2138.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     RESERVE 256 AREA.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA           DIVISION.
000010 FILE           SECTION.
000011 FD SQFILE1.
000012 01 SQF1REC.
000013 02                PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 PROCEDURE       DIVISION.
000016 END PROGRAM      P2138.

```

P2138.cob 7: JMN2138I-W RESERVE句に指定した整数は、1～255でなければなりません。RESERVE句は無効となります。

詳細な説明

RESERVE AREA句は、OSIV系システムの固有機能です。

2.4.87 JMN2143I-S

PADDING CHARACTER句のデータ名は、ファイル節および報告書節で定義してはなりません。

例題

```

[P2143.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2143.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT SQFILE2 ASSIGN TO SYS001
000008     PADDING CHARACTER IS WPD.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA           DIVISION.
000011 FILE           SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02 WPD                PIC X(1).
000015 02                PIC X(80).
000016 FD SQFILE2.
000017 01 SQF2REC.
000018 02                PIC X(80).
000019 WORKING-STORAGE SECTION.
000020 PROCEDURE       DIVISION.
000021 END PROGRAM      P2143.

```

P2143.cob 8: JMN2143I-S PADDING CHARACTER句のデータ名は、ファイル節および報告書節で定義してはなりません。

詳細な説明

このコンパイラでは、PADDING CHARACTER句は注釈とみなされます。

2.4.88 JMN2144I-S

PADDING CHARACTER句のデータ名は、英数字または集団項目でなければなりません。

例題

```
[P2144.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2144.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007 PADDING CHARACTER IS WPD.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 FD SQFILE1.
000012 01 SQF1REC.
000013 02 PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WPD PIC 9(1).
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017 END PROGRAM P2144.
```

P2144.cob 7: JMN2144I-S PADDING CHARACTER句のデータ名は、英数字または集団項目でなければなりません。

詳細な説明

このコンパイラでは、PADDING CHARACTER句は注釈とみなされます。

2.4.89 JMN2145I-S

PADDING CHARACTER句のデータ名の項目長は、1バイトでなければなりません。

例題

```
[P2145.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2145.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007 PADDING CHARACTER IS WPD.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 FD SQFILE1.
000012 01 SQF1REC.
000013 02 PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WPD PIC X(2).
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017 END PROGRAM P2145.
```

P2145.cob 7: JMN2145I-S PADDING CHARACTER句のデータ名の項目長は、1バイトでなければなりません。

詳細な説明

このコンパイラでは、PADDING CHARACTER句は注釈とみなされます。

2.4.90 JMN2149I-S

@1@句のデータ名は、固定長項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : TRACK-AREA, CONTROL AREA, ALTERNATE RECORD KEY, RECORD KEY, NOMINAL KEYまたはAPPLY REOROG CRITEREA.

例題

```
[P2149.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2149.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT IXFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007 ORGANIZATION IS INDEXED
000008 RECORD KEY IS WRKY1.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD IXFILE1.
000013 01 IXF1REC.
000014 02 WDPND PIC S9(4).
000015 02 WRKY1.
000016 03 PIC X(1)
000017 OCCURS 10 DEPENDING ON WDPND.
000018 02 PIC X(80).
000019 WORKING-STORAGE SECTION.
000020 PROCEDURE DIVISION.
000021 END PROGRAM P2149.
```

P2149.cob 8: JMN2149I-S RECORD KEY句のデータ名は、固定長項目でなければなりません。

詳細な説明

句に指定された項目は、可変反復データ項目(OCCURS句にDEPENDING指定を指定したデータ項目)であってはなりません。

2.4.91 JMN2158I-S

@1@句のデータ名は、当該するファイルのレコード中に定義されていなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : RECORD KEYまたはALTERNATE RECORD KEY.

例題

```
[P2158.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2158.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT IXFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007 ORGANIZATION IS INDEXED
000008 RECORD KEY IS WRKY1
000009 FILE STATUS IS WFS1.
000010 I-O-CONTROL.
000011 DATA DIVISION.
000012 FILE SECTION.
000013 FD IXFILE1.
000014 01 IXF1REC.
000015 02 PIC X(80).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 01 WRKY1 PIC X(2).
```



```

000018 01 WFS1          PIC X(2).
000019 PROCEDURE      DIVISION.
000020 END PROGRAM     P2158.

```

P2158.cob 8: JMN2158I-S RECORD KEY句のデータ名は、当該するファイルのレコード中に定義されていなければなりません。

詳細な説明

レコードキー(RECORD KEY句で指定する主レコードキーと、ALTERNATE RECORD KEY句で指定する副レコードキーの総称)は、これらのキーを指定したファイル名に関連するレコード記述項(レベル指示語FDの下位に従属するレコード記述項)で定義しなければなりません。

2.4.92 JMN2159I-S

@1@句のデータ名の項目長は、@2@バイトを超えてはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : RECORD KEY, ALTERNATE RECORD KEY, NOMINAL KEY, PROCESSING CONTROLまたはMESSAGE CODE.
 @2@ : 句に指定可能なデータ項目長の上限。

例題

```

[P2159.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2159.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT PRFILE1 ASSIGN TO GS-SYS001
000007     SYMBOLIC DESTINATION IS "DSP"
000008     PROCESSING CONTROL WPCT.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA            DIVISION.
000011 FILE             SECTION.
000012 FD PRFILE1.
000013 01 PRF1REC.
000014 02                PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WPCT          PIC X(129).
000017 PROCEDURE        DIVISION.
000018 END PROGRAM      P2159.

```

P2159.cob 8: JMN2159I-S PROCESSING CONTROL句のデータ名の項目長は、128バイトを超えてはなりません。

2.4.93 JMN2163I-W

@1@句のデータ名は、8けたの2進項目でなければなりません。8けたの2進項目が指定されたものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : RELATIVE KEY.

例題

```

[P2163.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2163.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT RLFILE1 ASSIGN TO R-SYS001
000007     RELATIVE KEY   IS RKEY.
000008 I-O-CONTROL.

```

```

000009 DATA          DIVISION.
000010 FILE           SECTION.
000011 FD RLF1FILE1.
000012 01 RLF1REC.
000013 02             PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 RKEY        PIC X(8).
000016 PROCEDURE      DIVISION.
000017 END PROGRAM     P2163.

```

P2163.cob 7: JMN2163I-W RELATIVE KEY句のデータ名は、8けたの2進項目でなければなりません。8けたの2進項目が指定されたものとみなします。

詳細な説明

ACCESS MODE句のRELATIVE KEYで指定したデータ項目は、プログラムと入出力管理システムの間で相対レコード番号を連絡するために使用されるので、所定の属性である必要があります。

2.4.94 JMN2164I-S

英字項目のVALUE句には、表意定数ZEROは指定できません。表意定数のSPACEが指定されたものとみなします。

例題

```

[P2164.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2164.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WAX          PIC A(8) VALUE ZERO.
000007 PROCEDURE       DIVISION.
000008 END PROGRAM      P2164.

```

P2164.cob 6: JMN2164I-S 英字項目のVALUE句には、表意定数ZEROは指定できません。表意定数のSPACEが指定されたものとみなします。

詳細な説明

英字項目の初期値としてVALUE句に表意定数ZEROを指定してはなりません。

翻訳を続行するために表意定数SPACEが指定されたものとみなしますが、このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.95 JMN2165I-S

[Win32]

RELATIVE KEY指定のデータ名は、作業場所節、連絡節またはファイル節中に定義されていなければなりません。

[Winx64]

RELATIVE KEY指定のデータ名は、作業場所節、局所記憶節、連絡節またはファイル節中に定義されていなければなりません。

例題

```

[P2165.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2165.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT RLF1FILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS RELATIVE
000008     RELATIVE KEY IS RKEY.

```

```

000009 I-0-CONTROL.
000010 DATA          DIVISION.
000011 BASED-STORAGE SECTION.
000012 01 RKEY        PIC 9(2).
000013 FILE           SECTION.
000014 FD RLF1FILE1.
000015 01 RLF1REC.
000016 02              PIC X(80).
000017 PROCEDURE      DIVISION.
000018 END PROGRAM     P2165.

```

- **[Win32]**
P2165.cob 8: JMN2165I-S RELATIVE KEY指定のデータ名は、作業場所節、連絡節またはファイル節中に定義されていなければなりません。
- **[Winx64]**
P2165.cob 8: JMN2165I-S RELATIVE KEY指定のデータ名は、作業場所節、局所記憶節、連絡節またはファイル節中に定義されていなければなりません。

2.4.96 JMN2166I-S

RELATIVE KEY指定のデータ名は、そのファイルのレコード中に定義してはなりません。

例題

```

[P2166.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2166.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT RLF1FILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION  IS RELATIVE
000008     RELATIVE KEY  IS RKEY.
000009 I-0-CONTROL.
000010 DATA          DIVISION.
000011 FILE           SECTION.
000012 FD RLF1FILE1.
000013 01 RLF1REC.
000014 02 RKEY        PIC 9(2).
000015 02              PIC X(80).
000016 PROCEDURE      DIVISION.
000017 END PROGRAM     P2166.

```

P2166.cob 8: JMN2166I-S RELATIVE KEY指定のデータ名は、そのファイルのレコード中に定義してはなりません。

詳細な説明

ACCESS MODE句のRELATIVE KEYで指定したデータ項目は、このRELATIVE KEYの指定に関連付けられたファイルのレコード記述項内にあってはなりません。別のファイルのレコード記述項内のデータ項目であれば、RELATIVE KEYに指定することができます。

2.4.97 JMN2167I-S

RELATIVE KEY指定のデータ名は、文字Pを含まない符号なし整数項目でなければなりません。

例題

```

[P2167.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2167.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.

```

```

000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT RLF1E1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS RELATIVE
000008     RELATIVE KEY IS RKEY.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA          DIVISION.
000011 FILE           SECTION.
000012 FD RLF1E1.
000013 01 RLF1REC.
000014 02            PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 RKEY       PIC P9(2).
000017 PROCEDURE     DIVISION.
000018 END PROGRAM    P2167.

```

P2167.cob 8: JMN2167I-S RELATIVE KEY指定のデータ名は、文字Pを含まない符号なし整数項目でなければなりません。

詳細な説明

ACCESS MODE句のRELATIVE KEYで指定したデータ項目は、プログラムと入出力管理システムの間で相対レコード番号を連絡するために使用されるので、所定の属性である必要があります。

2.4.98 JMN2173I-S

APPLY SAVED-AREA句のデータ名 '@1@' は、作業場所節に定義されていなければなりません。データ名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```

[P2173.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2173.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS SEQUENTIAL.
000008 I-O-CONTROL.
000009     APPLY SAVED-AREA TO WSVAR ON SQFILE1.
000010 DATA          DIVISION.
000011 FILE           SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02            PIC X(80).
000015 LINKAGE        SECTION.
000016 01 WSVAR       PIC X(80).
000017 PROCEDURE     DIVISION.
000018 END PROGRAM    P2173.

```

P2173.cob 9: JMN2173I-S APPLY SAVED-AREA句のデータ名 'WSVAR' は、作業場所節に定義されていなければなりません。データ名は、無効になります。

P2173.cob 9: JMN2772I-I このシステムでは、'APPLY SAVED-AREA'は注釈扱いです。

2.4.99 JMN2174I-S

APPLY SAVED-AREA句のデータ名 '@1@' は、レベル番号01または77で定義されていなければなりません。データ名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名.

例題

```
[P2174.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2174.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007 ORGANIZATION IS SEQUENTIAL.
000008 I-O-CONTROL.
000009 APPLY SAVED-AREA TO WSVAR ON SQFILE1.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02 PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01.
000017 02 WSVAR PIC X(80).
000018 PROCEDURE DIVISION.
000019 END PROGRAM P2174.
```

P2174.cob 9: JMN2174I-S APPLY SAVED-AREA句のデータ名'WSVAR'は、レベル番号01または77で定義されていなければなりません。データ名は、無効になります。

P2174.cob 9: JMN2772I-I このシステムでは、'APPLY SAVED-AREA'は注釈扱いです。

2.4.100 JMN2175I-S

APPLY SAVED-AREA句のデータ名'@1@'は、固定長項目でなければなりません。データ名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名.

例題

```
[P2175.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2175.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007 ORGANIZATION IS SEQUENTIAL.
000008 I-O-CONTROL.
000009 APPLY SAVED-AREA TO WSVAR ON SQFILE1.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02 PIC X(80).
000015 LINKAGE SECTION.
000016 01 WSVAR.
000017 02 WSIZE PIC S9(4) BINARY.
000018 02 OCCURS 80 DEPENDING ON WSIZE.
000019 03 PIC X.
000020 PROCEDURE DIVISION.
000021 END PROGRAM P2175.
```

P2175.cob 9: JMN2175I-S APPLY SAVED-AREA句のデータ名'WSVAR'は、固定長項目でなければなりません。データ名は、無効になります。

P2175.cob 9: JMN2772I-I このシステムでは、'APPLY SAVED-AREA'は注釈扱いです。

2.4.101 JMN2176I-S

APPLY SAVED-AREA句のデータ名'@1@'の項目長は、32763バイト以下でなければなりません。データ名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2176.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2176.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION  IS SEQUENTIAL.
000008 I-O-CONTROL.
000009     APPLY SAVED-AREA TO WSVAR ON SQFILE1.
000010 DATA           DIVISION.
000011 FILE            SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02             PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WSVAR       PIC X(32764).
000017 PROCEDURE     DIVISION.
000018 END PROGRAM    P2176.
```

P2176.cob 9: JMN2176I-S APPLY SAVED-AREA句のデータ名'WSVAR'の項目長は、32763バイト以下でなければなりません。データ名は、無効になります。

P2176.cob 9: JMN2772I-I このシステムでは、'APPLY SAVED-AREA'は注釈扱いです。

2.4.102 JMN2177I-S

[Win32]

RECORD句のデータ名は、作業場所節または連絡節に定義されていなければなりません。データ名は、無効になります。

[Winx64]

RECORD句のデータ名は、作業場所節、局所記憶節または連絡節に定義されていなければなりません。データ名は、無効になります。

例題

```
[P2177.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2177.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION  IS SEQUENTIAL.
000008 DATA           DIVISION.
000009 FILE            SECTION.
```

```

000010 FD SQFILE1
000011     RECORD VARYING IN SIZE
000012     DEPENDING ON WRECL.
000013 01 SQF1REC.
000014 02          PIC X(80).
000015 02 WRECL   PIC 9(4).
000016 PROCEDURE  DIVISION.
000017 END PROGRAM P2177.

```

- **[Win32]**
P2177.cob 12: JMN2177I-S RECORD句のデータ名は、作業場所節または連絡節に定義されていなければなりません。データ名は、無効になります。
- **[Winx64]**
P2177.cob 12: JMN2177I-S RECORD句のデータ名は、作業場所節、局所記憶節または連絡節に定義されていなければなりません。データ名は、無効になります。

詳細な説明

RECORD句のDEPENDING ONで指定したデータ項目に対して、プログラムだけでなくCOBOL処理系も実行時にレコードの文字位置の個数を設定します。このため、所定の属性である必要があります。

2.4.103 JMN2178I-S

RECORD句のデータ名は、符号なし整数項目でなければなりません。データ名は、無効になります。

例題

```

[P2178.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2178.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS SEQUENTIAL.
000008 DATA            DIVISION.
000009 FILE             SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     RECORD VARYING IN SIZE
000012     DEPENDING ON WRECL.
000013 01 SQF1REC.
000014 02          PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WRECL     PIC X(2).
000017 PROCEDURE    DIVISION.
000018 END PROGRAM  P2178.

```

P2178.cob 12: JMN2178I-S RECORD句のデータ名は、符号なし整数項目でなければなりません。データ名は、無効になります。

詳細な説明

RECORD句のDEPENDING ONで指定したデータ項目に対して、プログラムだけでなくCOBOL処理系も実行時にレコードの文字位置の個数を設定します。このため、所定の属性である必要があります。

2.4.104 JMN2181I-S

@1@句のデータ名'@2@'は、一意でなければなりません。データ名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : APPLY, LABEL RECORD, RECORD KEY, ALTERNATE RECORD KEY, FORMATTED RECORDまたは

CONTROL RECORD.

@2@ : エラーの原因となったデータ名.

例題

```
[P2181.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2181.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA           DIVISION.
000009 FILE             SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     LABEL RECORD RECLB.
000012 01 SQF1REC.
000013 02              PIC X(80).
000014 01 RECLB       PIC X(80).
000015 01 RECLB       PIC X(80).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 PROCEDURE       DIVISION.
000018 END PROGRAM     P2181.
```

P2181.cob 11: JMN2181I-S LABEL RECORD句のデータ名'RECLB'は、一意でなければなりません。データ名は、無効になります。

2.4.105 JMN2182I-S

@1@句のデータ名'@2@'が未定義です。データ名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : APPLY, LABEL RECORD, RECORD KEY, ALTERNATE RECORD KEY, FORMATTED RECORDまたはCONTROL RECORD.

@2@ : エラーの原因となったデータ名.

例題

```
[P2182.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2182.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA           DIVISION.
000009 FILE             SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     LABEL RECORD RECLB.
000012 01 SQF1REC.
000013 02              PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 PROCEDURE       DIVISION.
000016 END PROGRAM     P2182.
```

P2182.cob 11: JMN2182I-S LABEL RECORD句のデータ名'RECLB'が未定義です。データ名は、無効になります。

2.4.106 JMN2183I-S

@1@句の'@2@'が、データ名として定義されていません。データ名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : APPLY, LABEL RECORD, RECORD KEY, ALTERNATE RECORD KEY, FORMATTED RECORDまたはCONTROL RECORD.

@2@ : エラーの原因となった利用者語.

例題

```
[P2183.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2183.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA          DIVISION.
000009 FILE            SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     LABEL RECORD SQFILE1.
000012 01 SQF1REC.
000013 02              PIC X(80).
000014 01 RECLB       PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 PROCEDURE      DIVISION.
000017 END PROGRAM     P2183.
```

P2183.cob 11: JMN2183I-S LABEL RECORD句の'SQFILE1'が、データ名として定義されていません。データ名は、無効になります。

2.4.107 JMN2188I-S

LINAGE句のデータ名'@1@'は、報告書節以外に定義されていなければなりません。データ名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名.

例題

```
[P2188.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2188.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE  ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT REPF1   ASSIGN TO SYS002.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA          DIVISION.
000010 FILE            SECTION.
000011 FD SQFILE
000012     LINAGE WPAGE.
000013 01 SQF1REC.
000014 02              PIC X(80).
000015 FD REPF1
000016     REPORT IS REP1.
000017 WORKING-STORAGE SECTION.
000018 REPORT          SECTION.
000019 RD REP1 PAGE 66
000020              FIRST DETAIL 10.
000021 01              TYPE PH.
```

```

000022 02 LINE 7.
000023 03 WPAGE COLUMN 60 PIC 9(4) VALUE 12.
000024 PROCEDURE DIVISION.
000025 END PROGRAM P2188.

```

P2188.cob 12: JMN2188I-S LINAGE句のデータ名'WPAGE'は、報告書節以外に定義されていなければなりません。データ名は、無効になります。

2.4.108 JMN2189I-S

LINAGE句のデータ名 '@1@' は、符号なし整数項目でなければなりません。データ名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```

[P2189.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2189.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT SQFILE ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD SQFILE
000011 LINAGE WPAGE.
000012 01 SQF1REC.
000013 02 PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WPAGE PIC X.
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017 END PROGRAM P2189.

```

P2189.cob 11: JMN2189I-S LINAGE句のデータ名'WPAGE'は、符号なし整数項目でなければなりません。データ名は、無効になります。

詳細な説明

LINAGE句では、論理ページの各部分を構成する行数を定義します。COBOL処理系が実行時に論理ページの構成を決定するので、これらの指定に使用するデータ項目は所定の属性である必要があります。

2.4.109 JMN2190I-S

[Win32]

名前付き定数は、データ部のファイル節、作業場所節、連絡節、定数節、基底場所節、画面節および手続き部だけで参照できます。

[Winx64]

名前付き定数は、データ部のファイル節、作業場所節、局所記憶節、連絡節、定数節、基底場所節、画面節および手続き部だけで参照できます。

例題

```

[P2190.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2190.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.

```

```

000006 SELECT FILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD FILE1
000010 REPORT R1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 DATAN PIC X(80).
000013 78 PIC1 VALUE 80.
000014 REPORT SECTION.
000015 RD R1 CONTROL FINAL
000016 PAGE LIMITS ARE 66 LINES.
000017 01 DE1 TYPE IS DETAIL.
000018 02 LINE NUMBER PLUS 3.
000019 03 DATA1 COLUMN 10 PIC X(PIC1)
000020 VALUE "DETAIL REPORT GROUP-1".
000021 PROCEDURE DIVISION.
000022 END PROGRAM P2190.

```

- **[Win32]**
P2190.cob 19: JMN2190I-S 名前付き定数は、データ部のファイル節、作業場所節、連絡節、定数節、基底場所節、画面節および手続き部だけで参照できます。
- **[Winx64]**
P2190.cob 19: JMN2190I-S 名前付き定数は、データ部のファイル節、作業場所節、局所記憶節、連絡節、定数節、基底場所節、画面節および手続き部だけで参照できます。

詳細な説明

見出し部、環境部およびデータ部の報告書節では名前付き定数は参照できません。

2.4.110 JMN2191I-S

OCCURS DEPENDING ON句のデータ名は、報告書節以外に定義されていなければなりません。

例題

```

[P2191.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2191.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS002.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD REPFIL
000011 REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 WGRP.
000014 02 WOCC OCCURS 10 DEPENDING ON WDPND.
000015 03 PIC X.
000016 REPORT SECTION.
000017 RD REP1 PAGE 66
000018 FIRST DETAIL 10.
000019 01 TYPE PH.
000020 02 LINE 7.
000021 03 WDPND COLUMN 60 PIC 9(4) VALUE 12.
000022 PROCEDURE DIVISION.
000023 END PROGRAM P2191.

```

P2191.cob 14: JMN2191I-S OCCURS DEPENDING ON句のデータ名は、報告書節以外に定義されていなければなりません。

2.4.111 JMN2192I-S

OCCURS DEPENDING ON句が外部属性を持つレコード中に指定されている場合、その目的語も同じデータ部中の外部属性を持つ項目でなければなりません。

例題

```
[P2192.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2192.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP EXTERNAL.
000007   02 WOCC       OCCURS 10 DEPENDING ON WDPND.
000008   03           PIC X.
000009 01 WDPND       PIC S9(9) BINARY.
000010 PROCEDURE      DIVISION.
000011 END PROGRAM     P2192.
```

P2192.cob 7: JMN2192I-S OCCURS DEPENDING ON句が外部属性を持つレコード中に指定されている場合、その目的語も同じデータ部中の外部属性を持つ項目でなければなりません。

2.4.112 JMN2193I-S

OCCURS DEPENDING ON句が大域属性を持つレコード中に指定されている場合、その目的語も同じデータ部中の大域属性を持つ項目でなければなりません。

例題

```
[P2193.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2193.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP GLOBAL.
000007   02 WOCC       OCCURS 10 DEPENDING ON WDPND.
000008   03           PIC X.
000009 01 WDPND       PIC S9(9) BINARY.
000010 PROCEDURE      DIVISION.
000011 END PROGRAM     P2193.
```

P2193.cob 7: JMN2193I-S OCCURS DEPENDING ON句が大域属性を持つレコード中に指定されている場合、その目的語も同じデータ部中の大域属性を持つ項目でなければなりません。

2.4.113 JMN2194I-S

KEY IS指定に記述された最初のデータ名 '@1@' は、その **KEY IS** 指定を持つ項目またはそれに従属する項目でなければなりません。データ名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2194.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2194.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
```

```

000006 01 WGRP.
000007 02 W0CC OCCURS 10 ASCENDING KEY IS WKEY1 WKEY2.
000008 03 WKEY2 PIC X(1).
000009 02 WKEY1 PIC X(1).
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 END PROGRAM P2194.

```

P2194.cob 7: JMN2194I-S KEY IS指定に記述された最初のデータ名'WKEY1'は、そのKEY IS指定を持つ項目またはそれに従属する項目でなければなりません。データ名は、無効になります。

詳細な説明

KEY IS指定で指定するデータ名は、OCCURS句を書いたデータ記述項自身のデータ名か、またはそのデータ記述項に従属するデータ記述項のデータ名でなければなりません。

ただし、OCCURS句を書いたデータ記述項自身のデータ名をKEY IS指定で指定するならば、KEY IS指定に指定できるのはそのデータ名1個だけです。

2.4.114 JMN2195I-S

KEY IS指定に記述された最初のデータ名を除くデータ名'@1@'は、そのKEY IS指定を持つ項目に従属する項目でなければなりません。データ名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```

[P2195.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2195.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WKEY2 OCCURS 10 ASCENDING KEY IS WKEY1 WKEY2.
000008 03 WKEY1 PIC X(1).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 END PROGRAM P2195.

```

P2195.cob 7: JMN2195I-S KEY IS指定に記述された最初のデータ名を除くデータ名'WKEY2'は、そのKEY IS指定を持つ項目に従属する項目でなければなりません。データ名は、無効になります。

詳細な説明

KEY IS指定で指定するデータ名は、OCCURS句を書いたデータ記述項自身のデータ名か、またはそのデータ記述項に従属するデータ記述項のデータ名でなければなりません。

ただし、OCCURS句を書いたデータ記述項自身のデータ名をKEY IS指定で指定するならば、KEY IS指定に指定できるのはそのデータ名1個だけです。

2.4.115 JMN2196I-S

KEY IS指定に記述された最初のデータ名を除くデータ名'@1@'は、OCCURS句を持つ項目であってはなりません。データ名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```

[P2196.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2196.

```

```

000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007   02 WKEY1     OCCURS 10 ASCENDING KEY IS WKEY1 WKEY2.
000008   03 WKEY2     PIC X(1) OCCURS 10.
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010 END PROGRAM     P2196.

```

P2196.cob 7: JMN2196I-S KEY IS指定に記述された最初のデータ名を除くデータ名'WKEY2'は、OCCURS句を持つ項目であつてはなりません。データ名は、無効になります。

詳細な説明

KEY IS指定の2つめ以降に指定するデータ名は、OCCURS句を持つデータ記述項のデータ名であつてはなりません。

2.4.116 JMN2197I-S

KEY IS指定のデータ名'@1@'の項目長は、256バイト以下でなければなりません。データ名は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```

[P2197.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     P2197.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007   02 WOCC      OCCURS 15 ASCENDING KEY IS WKEY1.
000008   03 WKEY1     PIC X(257).
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010 END PROGRAM     P2197.

```

P2197.cob 7: JMN2197I-S KEY IS指定のデータ名'WKEY1'の項目長は、256バイト以下でなければなりません。データ名は無効になります。

詳細な説明

COBOL処理系の定量制限です。

2.4.117 JMN2200I-W

集団項目に指定したVALUE句の定数の長さは、その項目長以下でなければなりません。項目と同じ長さだけの定数の先頭部分が有効になります。

例題

```

[P2200.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     P2200.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP VALUE "あいう".
000007   02          PIC N.
000008   02          PIC X(3).
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010 END PROGRAM     P2200.

```

P2200.cob 6: JMN2200I-W 集団項目に指定したVALUE句の定数の長さは、その項目長以下でなければなりません。項目と同じ長さだけの定数の先頭部分が有効になります。

2.4.118 JMN2201I-W

集団項目に指定したVALUE句のブール定数の長さは、8の倍数でなければなりません。8の倍数になるように右端に0を仮定します。

例題

```
[P2201.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2201.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP VALUE B"111100011".
000007 02                PIC N.
000008 PROCEDURE        DIVISION.
000009 END PROGRAM      P2201.
```

P2201.cob 6: JMN2043I-W 英字、英数字または英数字編集項目のVALUE句に、ブール定数は指定できません。1ブール文字を1ビットとみなして、左づめで格納します。

P2201.cob 6: JMN2201I-W 集団項目に指定したVALUE句のブール定数の長さは、8の倍数でなければなりません。8の倍数になるように右端に0を仮定します。

詳細な説明

集団項目の初期値としてブール定数が指定された場合、ブール文字('0'または'1')1個が1ビットの領域を占めるもの(ブール文字8個で1バイト)とみなして項目に設定するため、ブール文字の個数は8の倍数である必要があります。

8の倍数でない場合は、ブール定数の右側にブール文字'0'を補って8の倍数とみなします。

2.4.119 JMN2202I-W

条件変数が集団項目である条件名のVALUE句の定数の長さは、集団項目の項目長以下でなければなりません。項目と同じ長さだけの定数の先頭部分が有効になります。

例題

```
[P2202.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2202.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 88 OKVAL         VALUE "ABCDE".
000008 88 NGVAL         VALUE "あいう".
000009 02                PIC N.
000010 02                PIC X(3).
000011 PROCEDURE        DIVISION.
000012 END PROGRAM      P2202.
```

P2202.cob 8: JMN2202I-W 条件変数が集団項目である条件名のVALUE句の定数の長さは、集団項目の項目長以下でなければなりません。項目と同じ長さだけの定数の先頭部分が有効になります。

詳細な説明

条件名記述項(レベル番号が88)のVALUE句で指定した定数長が、条件変数の項目長よりも長くなっています。条件変数の長さ分の定数を条件名の値とみなし、余った定数は切り捨てます。

2.4.120 JMN2205I-S

@1@句のデータ名'@2@'は添字付けを必要とする項目であってはありません。

埋め込みの説明

@1@ : 環境部, データ部に記述する句または指定で, データ名の指定が必要なもの. ただし, OCCURS句のASCENDING/DESENDING KEY IS指定は除く.

@2@ : エラーの原因となったデータ名.

例題

```
[P2205.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2205.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IXFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     RECORD KEY   IS WRKY1.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA          DIVISION.
000011 FILE            SECTION.
000012 FD IXFILE1.
000013 01 IXF1REC.
000014 02 WRKY1          PIC X(1) OCCURS 10.
000015 02                PIC X(80).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 PROCEDURE       DIVISION.
000018 END PROGRAM      P2205.
```

P2205.cob 8: JMN2205I-S RECORD KEY句のデータ名'WRKY1'は添字付けを必要とする項目であってはありません。

詳細な説明

句に指定したデータ名は, OCCURS句を指定したデータ項目またはそれに従属するデータ項目のデータ名であってはありません. OCCURS句を指定したデータ記述項を表といい, 表の中の要素を表要素といいます. 添字付けは, 表要素を参照するために必要です.

2.4.121 JMN2206I-S

@1@句のデータ名'@2@'は, アドレス可変項目であってはありません。

埋め込みの説明

@1@ : 環境部, データ部に記述する句または指定で, データ名の指定が必要なもの.

@2@ : エラーの原因となったデータ名.

例題

```
[P2206.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2206.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD SQFILE1
000010     RECORD VARYING IN SIZE
000011     DEPENDING ON WVAD.
000012 01 SQF1REC.
```



```

000013 02          PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WGRP.
000016 02 WDPND    PIC S9(9) COMP-5.
000017 02 WOCC     OCCURS 10 DEPENDING ON WDPND
000018             PIC X(1).
000019 02 WVAD     PIC 9(4).
000020 PROCEDURE   DIVISION.
000021 END PROGRAM  P2206.

```

P2206.cob 11: JMN2206I-S RECORD句のデータ名'WVAD'は、アドレス可変項目であってはなりません。

2.4.122 JMN2207I-S

紙テープファイルを除くファイルに指定したCODE-SET句の符号系名は、STANDARD-1、STANDARD-2またはNATIVE指定でなければなりません。

例題

```

[P2207.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2207.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     ALPHABET CD1 IS CODE-1.
000007 INPUT-OUTPUT   SECTION.
000008 FILE-CONTROL.
000009     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000010 DATA           DIVISION.
000011 FILE            SECTION.
000012 FD SQFILE1 CODE-SET CD1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02              PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 PROCEDURE       DIVISION.
000017 END PROGRAM      P2207.

```

P2207.cob 12: JMN2207I-S 紙テープファイルを除くファイルに指定したCODE-SET句の符号系名は、STANDARD-1、STANDARD-2またはNATIVE指定でなければなりません。

詳細な説明

このコンパイラでは、CODE-SET句は注釈とみなされます。

2.4.123 JMN2210I-S

OCCURS句に指定する次元数は、7次元以下でなければなりません。

例題

```

[P2210.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2210.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WOCC1       OCCURS 10.
000008 03 WOCC2       OCCURS 10.
000009 04 WOCC3       OCCURS 10.
000010 05 WOCC4       OCCURS 10.
000011 06 WOCC5       OCCURS 10.

```

```

000012      07 W0CC6  OCCURS 10.
000013      08 W0CC7  OCCURS 10.
000014      09 W0CC8  OCCURS 10.
000015      10      PIC X.
000016 PROCEDURE      DIVISION.
000017 END PROGRAM    P2210.

```

P2210.cob 14: JMN2210I-S OCCURS句に指定する次元数は、7次元以下でなければなりません。

詳細な説明

COBOL処理系の定量制限です。

2.4.124 JMN2212I-S

LINAGE句は、順ファイル以外のファイルに指定できません。

例題

```

[P2212.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2212.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT RLF1E1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS RELATIVE.
000008 DATA            DIVISION.
000009 FILE            SECTION.
000010 FD RLF1E1
000011     LINAGE 66.
000012 01 RLF1REC.
000013 02              PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WFS1         PIC X(2).
000016 PROCEDURE      DIVISION.
000017 END PROGRAM      P2212.

```

P2212.cob 11: JMN2212I-S LINAGE句は、順ファイル以外のファイルに指定できません。

詳細な説明

LINAGE句は、印刷装置に書き出す論理ページの構成を定義する句であり、同句が指定されたファイルは印刷ファイルとみなされます。印刷ファイルは順ファイルの一種です。

2.4.125 JMN2213I-S

@1@句のデータ名'@2@'が多重定義です。@1@句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : RENAMES, VALUE, BASED ON, LENGTH, RECORDまたはCHARACTER TYPE.

@2@ : エラーの原因となったデータ名.

例題

```

[P2213.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2213.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GR1.
000007 02 E1           PIC X(5).

```

```
000008 02 E1 PIC N(5).
000009 66 R1 RENAMES E1 THRU E1.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 END PROGRAM P2213.
```

P2213.cob 9: JMN2213I-S RENAMES句のデータ名'E1'が多重定義です。RENAMES句は無効になります。

2.4.126 JMN2214I-S

@1@句のデータ名'@2@'が未定義です。@1@句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : RENAMES, VALUE, BASED ON, LENGTH, RECORDまたはCHARACTER TYPE.
@2@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2214.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2214.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP1.
000007 02 WELM1 PIC X.
000008 02 WELM2 PIC X.
000009 66 WGRP2 RENAMES WELM1 THRU WELM3.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 END PROGRAM P2214.
```

P2214.cob 9: JMN2214I-S RENAMES句のデータ名'WELM3'が未定義です。RENAMES句は無効になります。

2.4.127 JMN2215I-S

@1@句の名標'@2@'はデータ名でなければなりません。@1@句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : RENAMES, VALUE, BASED ON, LENGTH, RECORDまたはCHARACTER TYPE.
@2@ : エラーの原因となった利用者語。

例題

```
[P2215.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2215.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP1.
000007 02 WELM1 PIC X.
000008 02 WELM2 PIC X.
000009 88 WELM2-CND1 VALUE "1".
000010 66 WGRP2 RENAMES WELM1 THRU WELM2-CND1.
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012 LVL1.
000013 END PROGRAM P2215.
```

P2215.cob 10: JMN2215I-S RENAMES句の名標'WELM2-CND1'はデータ名でなければなりません。RENAMES句は無効になります。

2.4.128 JMN2216I-S

定数節に定義されたデータ項目にはVALUE句を指定しなければなりません。

例題

```
[P2216.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2216.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 CONSTANT       SECTION.
000006 01 WCD         PIC X.
000007 PROCEDURE      DIVISION.
000008 END PROGRAM     P2216.
```

P2216.cob 6: JMN2216I-S 定数節に定義されたデータ項目にはVALUE句を指定しなければなりません。

詳細な説明

定数節では、実行用プログラムで使う定数を定義します。定数節で宣言するデータ記述項には必ずVALUE句を記述し、初期値を与えなければなりません。

2.4.129 JMN2218I-S

EXTERNAL句は、@1@句に指定されたファイルに指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : SAME AREA, SAME RECORD AREAまたはAPPLY SAVED-AREA.

例題

```
[P2218.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2218.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006   SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007   SELECT SQFILE2 ASSIGN TO SYS002.
000008 I-O-CONTROL.
000009   SAME AREA SQFILE1 SQFILE2.
000010 DATA           DIVISION.
000011 FILE           SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02                PIC X(80).
000015 FD SQFILE2 IS EXTERNAL.
000016 01 SQF2REC.
000017 02                PIC X(80).
000018 WORKING-STORAGE SECTION.
000019 PROCEDURE      DIVISION.
000020 END PROGRAM     P2218.
```

P2218.cob 15: JMN2218I-S EXTERNAL句は、SAME AREA句に指定されたファイルに指定できません。

2.4.130 JMN2219I-S

EXTERNAL句は、MULTIPLE FILE TAPE句に指定されたファイルに指定できません。

例題

```
[P2219.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2219.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008     MULTIPLE FILE TAPE CONTAINS SQFILE1.
000009 DATA             DIVISION.
000010 FILE              SECTION.
000011 FD SQFILE1 IS EXTERNAL.
000012 01 SQF1REC.
000013 02                PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 PROCEDURE        DIVISION.
000016 END PROGRAM      P2219.
```

P2219.cob 11: JMN2219I-S EXTERNAL句は、MULTIPLE FILE TAPE句に指定されたファイルに指定できません。

2.4.131 JMN2221I-S

GLOBAL句は、SAME RECORD AREA句に指定されたファイルおよびそれに従属するレコード記述項に指定できません。

例題

```
[P2221.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2221.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT SQFILE2 ASSIGN TO SYS002.
000008 I-O-CONTROL.
000009     SAME RECORD AREA SQFILE1 SQFILE2.
000010 DATA             DIVISION.
000011 FILE              SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02                PIC X(80).
000015 FD SQFILE2 IS GLOBAL.
000016 01 SQF2REC.
000017 02                PIC X(80).
000018 WORKING-STORAGE SECTION.
000019 PROCEDURE        DIVISION.
000020 END PROGRAM      P2221.
```

P2221.cob 15: JMN2221I-S GLOBAL句は、SAME RECORD AREA句に指定されたファイルおよびそれに従属するレコード記述項に指定できません。

2.4.132 JMN2222I-S

PICTURE句がありません。PICTURE 9が指定されたものとみなします。

例題

```
[P2222.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2222.
```

```

000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 PROCEDURE      DIVISION.
000008 END PROGRAM    P2222.

```

P2222.cob 6: JMN2222I-S PICTURE句がありません。PICTURE 9が指定されたものとみなします。

詳細な説明

PICTURE句(PICTUREとPICは同義語です)は、基本項目の項類、大きさおよび編集の形式を指定するための句です。翻訳を続行するためにPICTURE 9(1桁の数字項目)が指定されたものとみなしますが、このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.133 JMN2223I-S

PICTURE句の指定がない基本項目には、COMPUTATIONAL-1、COMPUTATIONAL-2またはINDEX指定のUSAGE句しか指定できません。USAGE句は無効になります。PICTURE 9が指定されたものとみなします。

例題

```

[P2223.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     P2223.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP BINARY.
000007 PROCEDURE      DIVISION.
000008 END PROGRAM    P2223.

```

P2223.cob 6: JMN2223I-S PICTURE句の指定がない基本項目には、COMPUTATIONAL-1、COMPUTATIONAL-2またはINDEX指定のUSAGE句しか指定できません。USAGE句は無効になります。PICTURE 9が指定されたものとみなします。

詳細な説明

翻訳を続行するためにPICTURE 9(1桁の数字項目)が指定されたものとみなしますが、このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.134 JMN2224I-W

CHARACTER TYPE句またはPRINTING POSITION句が有効なデータ項目が再定義されています。印刷結果は保証されません。

例題

```

[P2224.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     P2224.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD SQFILE.
000010 01 SQREC       PIC X(80).
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WGRP.
000013 02 WSUBG1      CHARACTER TYPE MODE-1.
000014 03             PIC X(10).
000015 03             PIC N(10).

```

```

000016 03 PIC X(10).
000017 03 PIC N(20).
000018 02 WSUBG2 REDEFINES WSUBG1.
000019 03 PIC X(10).
000020 03 PIC N(10).
000021 03 PIC X(10).
000022 03 PIC N(20).
000023 PROCEDURE DIVISION.
000024 WRITE SQREC FROM WGRP
000025 END PROGRAM P2224.

```

P2224.cob 18: JMN2224I-W CHARACTER TYPE句またはPRINTING POSITION句が有効なデータ項目が再定義されています。印刷結果は保証されません。

詳細な説明

CHARACTER TYPE句は印字するときの文字の形式を、PRINTING POSITION句は横方向の印字位置を指定する句です。これらの句が有効になっているデータ項目が別のデータ項目で再定義(REDEFINES)されていると、COBOL処理系は印字のための情報を正しく取得できず、その結果、期待する印刷結果が得られないことがあります。

2.4.135 JMN2225I-S

CHARACTER TYPE句は、日本語項目、日本語編集項目または集団項目にだけ指定できます。

例題

```

[P2225.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2225.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WNUM PIC S9(9) CHARACTER TYPE MODE-1.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 END PROGRAM P2225.

```

P2225.cob 6: JMN2225I-S CHARACTER TYPE句は、日本語項目、日本語編集項目または集団項目にだけ指定できます。

詳細な説明

MODE-1、MODE-2、MODE-3または呼び名を指定したCHARACTER TYPE句は、日本語項目あるいは日本語編集項目を印字するときの形式を指定するために記述します。日本語項目／日本語編集項目を含まない集団項目に対して同句を指定しても、作用する対象が無いため意味がありません。

2.4.136 JMN2226I-S

CHARACTER TYPE句は、レベル番号01または77を除くREDEFINES句を持つ項目およびそれに従属する項目に指定できません。

例題

```

[P2226.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2226.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WGRP2.
000008 03 PIC N(10)
000009 CHARACTER TYPE MODE-2.
000010 02 WGRP3 REDEFINES WGRP2.
000011 03 PIC N(10)

```

```

000012          CHARACTER TYPE MODE-1.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014 END PROGRAM P2226.

```

P2226.cob 12: JMN2226I-S CHARACTER TYPE句は、レベル番号01または77を除くREDEFINES句を持つ項目およびそれに従属する項目に指定できません。

詳細な説明

CHARACTER TYPE句は印字するときの文字の形式を指定します。同句を持つデータ項目がREDEFINES句によって再定義されると、COBOL処理系が印字のための情報を正しく取得できなくなります。

ただしレベル番号01または77の項目間での再定義は例外で、この場合は印字のための情報を正しく取得できます。

2.4.137 JMN2227I-S

PRINTING POSITION句は、OCCURS DEPENDING ON句を含むレコード記述中に指定できません。

例題

```

[P2227.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2227.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WDPEND PIC S9(4) BINARY.
000008 02 WNC CHARACTER TYPE MODE-1.
000009 03 PIC N(10)
000010 PRINTING POSITION 10.
000011 02 WOCC OCCURS 10 DEPENDING ON WDPEND.
000012 03 PIC N(10).
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014 END PROGRAM P2227.

```

P2227.cob 6: JMN2127I-S CHARACTER TYPE句が指定された項目を含むレコード記述中に、OCCURS DEPENDING ON句を持つ項目を含むことはできません。

P2227.cob 6: JMN2227I-S PRINTING POSITION句は、OCCURS DEPENDING ON句を含むレコード記述中に指定できません。

2.4.138 JMN2228I-S

PRINTING POSITION句は、CHARACTER TYPE句を持つ項目またはその項目に従属する項目にだけ指定できます。

例題

```

[P2228.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2228.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WNC.
000008 03 PIC N(10)
000009 PRINTING POSITION 10.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 END PROGRAM P2228.

```

P2228.cob 9: JMN2228I-S PRINTING POSITION句は、CHARACTER TYPE句を持つ項目またはその項目に従属する項目にだけ指定できます。

2.4.139 JMN2229I-S

PRINTING POSITION句は、OCCURS句を持つ項目およびその項目に従属する項目に指定できません。

例題

```
[P2229.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.        P2229.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 DATA               DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP CHARACTER TYPE MODE-1.
000007 02 WCCC            OCCURS 10.
000008 03                PIC N(10)
000009                PRINTING POSITION 10.
000010 PROCEDURE          DIVISION.
000011 END PROGRAM        P2229.
```

P2229.cob 9: JMN2229I-S PRINTING POSITION句は、OCCURS句を持つ項目およびその項目に従属する項目に指定できません。

2.4.140 JMN2231I-S

指標データ項目に対して条件名は指定できません。

例題

```
[P2231.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.        P2231.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 DATA               DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WIX             INDEX.
000007 88 ZINIT           VALUE 0.
000008 PROCEDURE          DIVISION.
000009 END PROGRAM        P2231.
```

P2231.cob 7: JMN2231I-S 指標データ項目に対して条件名は指定できません。

詳細な説明

指標データ項目は、指標名(表要素を識別するためにコンパイラが生成する情報)の値をそのまま格納するためのデータ項目です。指標データ項目を条件変数とすることはできません。

2.4.141 JMN2232I-W

REDEFINES句で、再定義する項目が再定義される項目より大きくてはなりません。再定義する項目は、明に指定した項目を除き、他の項目と重なり合うことはありません。

例題

```
[P2232.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.        P2232.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 DATA               DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP1.
000007 02                PIC X(10).
000008 01 RGRP1 REDEFINES WGRP1.
000009 02                PIC N(10).
```

```

000010 01 .
000011 02 WGRP2.
000012 03 PIC X(10).
000013 02 RGRP2 REDEFINES WGRP2.
000014 03 PIC N(10).
000015 PROCEDURE DIVISION.
000016 END PROGRAM P2232.

```

P2232.cob 13: JMN2232I-W REDEFINES句で、再定義する項目が再定義される項目より大きくてはなりません。再定義する項目は、明に指定した項目を除き、他の項目と重なり合うことはありません。

2.4.142 JMN2233I-S

@1@句のデータ名'@2@'が一意ではありません。データ名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : LINAGEまたはKEY IS.
 @2@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```

[P2233.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2233.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GR1.
000007 02 OCC1 OCCURS 10 ASCENDING KEY IS E1.
000008 03 E1 PIC X.
000009 03 E1 PIC X.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 END PROGRAM P2233.

```

P2233.cob 7: JMN2233I-S KEY IS句のデータ名'E1'が一意ではありません。データ名は、無効になります。

2.4.143 JMN2234I-S

@1@句のデータ名'@2@'が未定義です。データ名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : LINAGEまたはKEY IS.
 @2@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```

[P2234.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2234.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GR1.
000007 02 OCC1 OCCURS 10 ASCENDING KEY IS E2.
000008 03 E1 PIC X.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 END PROGRAM P2234.

```

P2234.cob 7: JMN2234I-S KEY IS句のデータ名'E2'が未定義です。データ名は、無効になります。

2.4.144 JMN2235I-S

@1@句の名標 '@2@'は、データ名でなければなりません。名標は無効になります。

埋め込みの説明

- @1@ : LINAGEまたはKEY IS.
- @2@ : エラーの原因となった利用者語.

例題

```
[P2235.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2235.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     SYSIN IS INPUT-DATA.
000007 DATA           DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 WGRP.
000010 02 WOCC        OCCURS 10 ASCENDING KEY IS INPUT-DATA.
000011 03 WKEY1      PIC X(1).
000012 03 WKEY2      PIC X(1).
000013 PROCEDURE      DIVISION.
000014 END PROGRAM     P2235.
```

P2235.cob 10: JMN2235I-S KEY IS句の名標'INPUT-DATA'は、データ名でなければなりません。名標は無効になります。

2.4.145 JMN2236I-S

BLOCK CONTAINS句は、AT END-OF-PAGE指定のWRITE文で参照されるファイルに指定できません。

例題

```
[P2236.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2236.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE             SECTION.
000009 FD SQFILE1
000010     BLOCK CONTAINS 10.
000011 01 SQF1REC.
000012 02                PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 PROCEDURE      DIVISION.
000015     WRITE SQF1REC
000016         AT END-OF-PAGE
000017         DISPLAY "P2236"
000018     END-WRITE
000019 END PROGRAM     P2236.
```

P2236.cob 9: JMN2236I-S BLOCK CONTAINS句は、AT END-OF-PAGE指定のWRITE文で参照されるファイルに指定できません。

詳細な説明

このコンパイラでは、BLOCK CONTAINS句は注釈とみなされます。

2.4.146 JMN2239I-S

RECORDING MODE句にFまたはVを指定したファイルのレコード長は、**CHARACTERS**指定の**BLOCK CONTAINS**句の整数以下でなければなりません。 **BLOCK CONTAINS**句は、無効になります。

例題

```
[P2239.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P2239.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA             DIVISION.
000010 FILE             SECTION.
000011 FD SQFILE1
000012     RECORDING MODE IS V
000013     BLOCK CONTAINS 80 CHARACTERS.
000014 01 SQF1REC.
000015 02                PIC X(79).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 01 WFS1           PIC X(2).
000018 PROCEDURE        DIVISION.
000019 END PROGRAM        P2239.
```

P2239.cob 11: JMN2239I-S RECORDING MODE句にFまたはVを指定したファイルのレコード長は、CHARACTERS指定のBLOCK CONTAINS句の整数以下でなければなりません。BLOCK CONTAINS句は、無効になります。

詳細な説明

RECORDING MODE句は、OSIV系システムの固有機能です。

2.4.147 JMN2244I-S

整数TO整数指定のBLOCK CONTAINS句は、**固定長形式のファイル**に指定できません。

例題

```
[P2244.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2244.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE             SECTION.
000009 FD SQFILE1
000010     RECORDING MODE IS F
000011     BLOCK CONTAINS 40 TO 80.
000012 01 SQF1REC.
000013 02                PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 PROCEDURE        DIVISION.
000016 END PROGRAM        P2244.
```

P2244.cob 9: JMN2244I-S 整数TO整数指定のBLOCK CONTAINS句は、固定長形式のファイルに指定できません。

詳細な説明

このコンパイラでは、BLOCK CONTAINS句は注釈とみなされます。

2.4.148 JMN2245I-S

順ファイル(編成VSまたはAS), 相対ファイル, 索引ファイル, または固定長形式のファイルのレコード長は, 32760バイト以下でなければなりません。レコード長を32760バイトとみなします。

例題

```
[P2245.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2245.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA           DIVISION.
000009 FILE            SECTION.
000010 FD SQFILE1.
000011 01 SQF1REC.
000012 02             PIC X(32767).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 WFS1        PIC X(2).
000015 PROCEDURE      DIVISION.
000016 END PROGRAM     P2245.
```

P2245.cob 10: JMN2245I-S 順ファイル(編成VSまたはAS), 相対ファイル, 索引ファイル, または固定長形式のファイルのレコード長は, 32760バイト以下でなければなりません。レコード長を32760バイトとみなします。

詳細な説明

COBOL処理系の定量制限です。

2.4.149 JMN2249I-S

RECORDS指定のBLOCK CONTAINS句を指定したファイルまたはBLOCK CONTAINS句を省略したファイルのブロック長は, 32760バイト以下でなければなりません。ブロック長を32760バイトとみなします。

例題

```
[P2249.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2249.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA           DIVISION.
000009 FILE            SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     BLOCK CONTAINS 410 RECORDS.
000012 01 SQF1REC.
000013 02             PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 PROCEDURE      DIVISION.
000016 END PROGRAM     P2249.
```

P2249.cob 10: JMN2249I-S RECORDS指定のBLOCK CONTAINS句を指定したファイルまたはBLOCK CONTAINS句を省略したファイルのブロック長は, 32760バイト以下でなければなりません。ブロック長を32760バイトとみなします。

2.4.150 JMN2251I-S

OCCURS DEPENDING ON句を持つ内部ブール項目には、SYNCHRONIZED句が必要です。SYNCHRONIZED句の指定があったものとみなします。

例題

```
[P2251.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.          P2251.
000003 ENVIRONMENT          DIVISION.
000004 DATA                 DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WDPEND            PIC S9(3).
000008 02 WOCC              OCCURS 10 DEPENDING ON WDPEND
000009                      PIC 1(1) BIT.
000010 PROCEDURE            DIVISION.
000011 END PROGRAM          P2251.
```

P2251.cob 8: JMN2251I-S OCCURS DEPENDING ON句を持つ内部ブール項目には、SYNCHRONIZED句が必要です。SYNCHRONIZED句の指定があったものとみなします。

詳細な説明

内部ブール項目の可変の繰り返しにおいては、SYNCHRONIZED句(SYNCHRONIZEDとSYNCは同義語です)を指定して、各表要素を固有の境界に合わせる必要があります。

翻訳を続行するためにSYNCHRONIZED句が指定されたものとみなして処理しますが、このときオブジェクトファイルや実行形式は生成されません。

2.4.151 JMN2252I-S

INDEXED BY指定のOCCURS句を持つ内部ブール項目には、SYNCHRONIZED句が必要です。SYNCHRONIZED句の指定があったものとみなします。

例題

```
[P2252.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.          P2252.
000003 ENVIRONMENT          DIVISION.
000004 DATA                 DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02                  PIC S9(3).
000008 02 WOCC              OCCURS 10 INDEXED BY IX1
000009                      PIC 1(1) BIT.
000010 PROCEDURE            DIVISION.
000011 END PROGRAM          P2252.
```

P2252.cob 8: JMN2252I-S INDEXED BY指定のOCCURS句を持つ内部ブール項目には、SYNCHRONIZED句が必要です。SYNCHRONIZED句の指定があったものとみなします。

詳細な説明

内部ブール項目の、指標名を持つ繰り返しにおいては、SYNCHRONIZED句(SYNCHRONIZEDとSYNCは同義語です)を指定して、各表要素を固有の境界に合わせる必要があります。

翻訳を続行するためにSYNCHRONIZED句が指定されたものとみなして処理しますが、このときオブジェクトファイルや実行形式は生成されません。

2.4.152 JMN2269I-S

@1@句のDEPENDING ON指定のデータ名'@2@'が多重定義です。DEPENDING ON指定は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : RECORDまたはOCCURS.

@2@ : エラーの原因となったデータ名.

例題

```
[P2269.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2269.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 DEPEND PIC S9(9) BINARY.
000007 01 DEPEND PIC S9(9) BINARY.
000008 01 WGRP.
000009 02 WOCC OCCURS 10 DEPENDING ON DEPEND.
000010 03 PIC X.
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012 END PROGRAM P2269.
```

P2269.cob 9: JMN2269I-S OCCURS句のDEPENDING ON指定のデータ名'DEPEND'が多重定義です。DEPENDING ON指定は無効になります。

2.4.153 JMN2270I-S

@1@句のDEPENDING ON指定のデータ名'@2@'が未定義です。DEPENDING ON指定は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : RECORDまたはOCCURS.

@2@ : エラーの原因となったデータ名.

例題

```
[P2270.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2270.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WOCC OCCURS 10 DEPENDING ON DEPEND.
000008 03 PIC X.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 END PROGRAM P2270.
```

P2270.cob 7: JMN2270I-S OCCURS句のDEPENDING ON指定のデータ名'DEPEND'が未定義です。DEPENDING ON指定は無効になります。

2.4.154 JMN2271I-S

@1@句のDEPENDING ON指定の名標'@2@'はデータ名でなければなりません。DEPENDING ON指定は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : RECORDまたはOCCURS.

@2@ : エラーの原因となった利用者語.

例題

```
[P2271.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2271.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WOCC          OCCURS 10 DEPENDING ON WTYP1.
000008 03              PIC X.
000009 01 WTYP1        TYPEDEF  PIC X.
000010 PROCEDURE       DIVISION.
000011 END PROGRAM     P2271.
```

P2271.cob 7: JMN2271I-S OCCURS句のDEPENDING ON指定の名標'WTYP1'はデータ名でなければなりません。DEPENDING ON指定は無効になります。

2.4.155 JMN2273I-W

CODE-SET句を指定したファイル中のデータ項目が符号付き外部10進項目の場合、SEPARATE付きのSIGN句を指定しなければなりません。書かれたとおり受け入れます。

例題

```
[P2273.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2273.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006 ALPHABET CD1 IS STANDARD-1.
000007 INPUT-OUTPUT   SECTION.
000008 FILE-CONTROL.
000009 SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000010 ORGANIZATION IS SEQUENTIAL.
000011 DATA            DIVISION.
000012 FILE            SECTION.
000013 FD SQFILE1
000014 CODE-SET CD1.
000015 01 SQF1REC.
000016 02              PIC S9(4).
000017 02              PIC X(80).
000018 PROCEDURE       DIVISION.
000019 END PROGRAM     P2273.
```

P2273.cob 16: JMN2273I-W CODE-SET句を指定したファイル中のデータ項目が符号付き外部10進項目の場合、SEPARATE付きのSIGN句を指定しなければなりません。書かれたとおり受け入れます。

詳細な説明

このコンパイラでは、CODE-SET句は注釈とみなされます。

2.4.156 JMN2274I-W

CODE-SET句を指定したファイル中のデータ項目は、表示用でなければなりません。書かれたとおり受け入れます。

例題

```
[P2274.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2274.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
```



```

000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     ALPHABET CD1 IS STANDARD-1.
000007 INPUT-OUTPUT SECTION.
000008 FILE-CONTROL.
000009     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000010     ORGANIZATION IS SEQUENTIAL.
000011 DATA DIVISION.
000012 FILE SECTION.
000013 FD SQFILE1
000014     CODE-SET CD1.
000015 01 SQF1REC.
000016 02 PIC S9(4) BINARY.
000017 02 PIC X(80).
000018 PROCEDURE DIVISION.
000019 END PROGRAM P2274.

```

P2274.cob 16: JMN2274I-W CODE-SET句を指定したファイル中のデータ項目は、表示用でなければなりません。書かれたとおり受け入れます。

詳細な説明

このコンパイラでは、CODE-SET句は注釈とみなされます。

2.4.157 JMN2276I-S

EXTERNAL句を指定したファイルに従属するレベル番号01の項目には、データ名を明に指定しなければなりません。EXTERNAL句を有効とみなします。

例題

```

[P2276.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2276.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS SEQUENTIAL.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 FD SQFILE1 IS EXTERNAL.
000012 01
000013 02 PIC X(80).
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015 END PROGRAM P2276.

```

P2276.cob 12: JMN2276I-S EXTERNAL句を指定したファイルに従属するレベル番号01の項目には、データ名を明に指定しなければなりません。EXTERNAL句を有効とみなします。

詳細な説明

ファイル記述項にEXTERNAL句を書くと、そのファイルに関係付けたレコード領域にも外部属性が与えられます。外部属性を持つ領域は、実行単位中の複数のプログラムで共用することができます。実行単位中で、外部属性を持つ領域は名前に対応付けられるため、領域の先頭に相当するレベル番号01の項目にはデータ名を宣言しなければなりません。

2.4.158 JMN2277I-S

GLOBAL句を指定したファイルに従属するレベル番号01の項目は、データ名を明に指定しなければなりません。GLOBAL句を有効とみなします。

例題

```
[P2277.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2277.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION  IS SEQUENTIAL.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA           DIVISION.
000010 FILE            SECTION.
000011 FD SQFILE1 IS GLOBAL.
000012 01
000013 02                PIC X(80).
000014 PROCEDURE      DIVISION.
000015 END PROGRAM      P2277.
```

P2277.cob 12: JMN2277I-S GLOBAL句を指定したファイルに従属するレベル番号01の項目は、データ名を明に指定しなければなりません。GLOBAL句を有効とみなします。

詳細な説明

ファイル記述項にGLOBAL句を書くと、ファイル記述項に関係付けたレコード記述項の中のデータ名も大域属性を持ちます。大域属性を持つ名前(大域名)は、その名前を定義したプログラムに直接または間接に含まれるプログラムの中で参照できます。大域属性を持つ領域の先頭に相当するレベル番号01の項目には、データ名を宣言しなければなりません。

2.4.159 JMN2288I-S

SAME RECORD AREA句に指定されたファイル名をAPPLY SAVED-AREA句またはAPPLY MULTICONVERSATION-MODE句に指定できません。書かれたとおり受け入れます。

例題

```
[P2288.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2288.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT SQFILE2 ASSIGN TO SYS002.
000008 I-O-CONTROL.
000009     SAME RECORD AREA SQFILE1 SQFILE2
000010     APPLY SAVED-AREA WSVAR ON SQFILE1.
000011 DATA           DIVISION.
000012 FILE            SECTION.
000013 FD SQFILE1.
000014 01 SQF1REC.
000015 02                PIC X(80).
000016 FD SQFILE2.
000017 01 SQF2REC.
000018 02                PIC X(80).
000019 WORKING-STORAGE SECTION.
000020 01 WSVAR          PIC X(80).
000021 PROCEDURE      DIVISION.
000022 END PROGRAM      P2288.
```

P2288.cob 10: JMN2772I-I このシステムでは、'APPLY SAVED-AREA'は注釈扱いです。

P2288.cob 13: JMN2288I-S SAME RECORD AREA句に指定されたファイル名をAPPLY SAVED-AREA句またはAPPLY MULTICONVERSATION-MODE句に指定できません。書かれたとおり受け入れます。

詳細な説明

記憶領域の共用と、データ項目の値の保証を同時に指定することはできません。
指定されたとおりに解釈して翻訳を続行しますが、このときオブジェクトファイルや実行形式は生成されません。

2.4.160 JMN2292I-S

END-OF-PAGE指定のWRITE文で参照されるファイルの入出力領域の個数は、1個でなければなりません。RESERVE句を無効とし、入出力領域の個数を1個とみなします。

例題

```
[P2292.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2292.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007 RESERVE 10 AREAS.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 FD SQFILE1 .
000012 01 SQFIREC.
000013 02 PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 PROCEDURE DIVISION.
000016 PERFORM WITH NO LIMIT
000017 WRITE SQFIREC
000018 AT END-OF-PAGE
000019 DISPLAY "END OF PAGE"
000020 EXIT PERFORM
000021 END-WRITE
000022 END-PERFORM
000023 END PROGRAM P2292.
```

P2292.cob 11: JMN2292I-S END-OF-PAGE指定のWRITE文で参照されるファイルの入出力領域の個数は、1個でなければなりません。RESERVE句を無効とし、入出力領域の個数を1個とみなします。

詳細な説明

RESERVE AREA句に1以外の値が指定されています。
RESERVE AREA句はこのシステムでは注釈扱いです。(実行時には意味を持ちませんが、翻訳時には句の解析は行われます)

2.4.161 JMN2300I-S

データ名指定のLABEL RECORD句は、EXTERNAL句を指定したファイルに指定できません。

例題

```
[P2300.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2300.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD SQFILE1 IS EXTERNAL
000011 LABEL RECORD IS LRECL.
```

```

000012 01 SQF1REC.
000013 02          PIC X(80).
000014 01 LRECL    PIC X(80).
000015 PROCEDURE  DIVISION.
000016 END PROGRAM P2300.

```

P2300.cob 11: JMN2300I-S データ名指定のLABEL RECORD句は、EXTERNAL句を指定したファイルに指定できません。

詳細な説明

LABEL RECORD句は廃要素です。このコンパイラでは、LABEL RECORD句は注釈とみなされます。

2.4.162 JMN2312I-S

@1@句は、LABEL RECORD句に指定されたデータ項目、およびそれに従属するデータ項目に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : CHARACTER TYPEまたはPRINTING POSITION.

例題

```

[P2312.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2312.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA            DIVISION.
000009 FILE             SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     LABEL RECORD LVREC.
000012 01 SQF1REC.
000013 02          PIC X(80).
000014 01 LVREC.
000015 02          PIC N(40) CHARACTER TYPE MODE-1.
000016 PROCEDURE      DIVISION.
000017 END PROGRAM     P2312.

```

P2312.cob 15: JMN2312I-S CHARACTER TYPE句は、LABEL RECORD句に指定されたデータ項目、およびそれに従属するデータ項目に指定できません。

詳細な説明

LABEL RECORD句は廃要素です。このコンパイラでは、LABEL RECORD句は注釈とみなされます。

2.4.163 JMN2316I-I

(CONF)予約語TOを持たない整数指定のRECORD CONTAINS句は、表示ファイルに指定できません。問題があれば原始プログラムを修正してください。

例題

```

[P2316.cob]
000001 @OPTIONS CONF(74)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P2316.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT PRFILE1 ASSIGN TO GS-SYS001
000008     SYMBOLIC DESTINATION IS "DSP".

```

```

000009 DATA          DIVISION.
000010 FILE           SECTION.
000011 FD PRFILE1
000012     RECORD CONTAINS 80.
000013 01 PRF1REC.
000014 02             PIC X(80).
000015 PROCEDURE      DIVISION.
000016 END PROGRAM    P2316.

```

P2316.cob 12: JMN2317I-W 予約語TOを持たない整数指定のRECORD CONTAINS句は、表示ファイルに指定できません。RECORD句は、無効になります。

P2316.cob 12: JMN2316I-I (CONF)予約語TOを持たない整数指定のRECORD CONTAINS句は、表示ファイルに指定できません。問題があれば原始プログラムを修正してください。

2.4.164 JMN2317I-W

予約語TOを持たない整数指定のRECORD CONTAINS句は、表示ファイルに指定できません。RECORD句は、無効になります。

例題

```

[P2317.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     P2317.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT   SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT PRFILE1 ASSIGN TO GS-SYS001
000007     SYMBOLIC DESTINATION IS "DSP".
000008 DATA          DIVISION.
000009 FILE           SECTION.
000010 FD PRFILE1
000011     RECORD CONTAINS 80.
000012 01 PRF1REC.
000013 02             PIC X(80).
000014 PROCEDURE      DIVISION.
000015 END PROGRAM    P2317.

```

P2317.cob 11: JMN2317I-W 予約語TOを持たない整数指定のRECORD CONTAINS句は、表示ファイルに指定できません。RECORD句は、無効になります。

2.4.165 JMN2319I-S

RECORD句のDEPENDING ON指定は、レコード記述項中にCHARACTER TYPE句またはPRINTING POSITION句を持つデータ項目が指定されたファイルに記述できません。DEPENDING ON指定は、無効になります。

例題

```

[P2319.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     P2319.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT   SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE           SECTION.
000009 FD SQFILE1
000010     RECORD VARYING IN SIZE
000011     DEPENDING ON LRECL.
000012 01 SQF1REC.
000013 02             PIC X(8).

```

```

000014 02          PIC N(10)
000015          CHARACTER TYPE MODE-1.
000016 02          PIC X(60) .
000017 WORKING-STORAGE SECTION.
000018 01 LRECL    PIC 9(2).
000019 PROCEDURE   DIVISION.
000020 END PROGRAM  P2319.

```

P2319.cob 9: JMN2319I-S RECORD句のDEPENDING ON指定は、レコード記述項中にCHARACTER TYPE句またはPRINTING POSITION句を持つデータ項目が指定されたファイルに記述できません。DEPENDING ON指定は、無効になります。

詳細な説明

CHARACTER TYPE句またはPRINTING POSITION句で印字のための情報を定義したレコードは、可変長レコードであってはなりません。

2.4.166 JMN2320I-S

CHARACTER TYPE句またはPRINTING POSITION句が有効なデータ項目が再定義されています。印刷結果は保証されません。

詳細な説明

CHARACTER TYPE句は印字するときの文字の形式を、PRINTING POSITION句は横方向の印字位置を指定する句です。これらの句が有効になっているデータ項目が別のデータ項目で再定義(REDEFINES)されていると、COBOL処理系は印字のための情報を正しく取得できず、その結果、期待する印刷結果が得られないことがあります。

2.4.167 JMN2329I-S

APPLY SAVED-AREA句に指定されたデータ名はREDEFINES句を含んではいけません。REDEFINES句は、無効になります。

例題

```

[P2329.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2329.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008     APPLY SAVED-AREA RSVAR ON SQFILE1.
000009 DATA             DIVISION.
000010 FILE              SECTION.
000011 FD SQFILE1.
000012 01 SQF1REC.
000013 02                PIC X(80) .
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WSVAR           PIC X(80) .
000016 01 RSVAR REDEFINES WSVAR
000017                PIC N(80) .
000018 PROCEDURE         DIVISION.
000019 END PROGRAM        P2329.

```

P2329.cob 8: JMN2772I-I このシステムでは、'APPLY SAVED-AREA'は注釈扱いです。

P2329.cob 16: JMN2329I-S APPLY SAVED-AREA句に指定されたデータ名はREDEFINES句を含んではいけません。REDEFINES句は、無効になります。

2.4.168 JMN2331I-S

LINAGE句を指定したファイルが外部ファイルの場合、データ名 '@1@' は外部データ項目として定義しなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2331.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.        P2331.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA              DIVISION.
000009 FILE                SECTION.
000010 FD SQFILE1 IS EXTERNAL
000011     LINAGE WPAGE.
000012 01 SQF1REC.
000013 02                  PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WPAGE            PIC 9(2).
000016 PROCEDURE          DIVISION.
000017 END PROGRAM        P2331.
```

P2331.cob 11: JMN2331I-S LINAGE句を指定したファイルが外部ファイルの場合、データ名 'WPAGE' は外部データ項目として定義しなければなりません。

詳細な説明

LINAGE句を指定したファイルを外部ファイルとして共有するとき、論理ページの構成もまた共用するため、ページ本体の行数を示すデータ項目も外部属性を持たなければなりません。

2.4.169 JMN2332I-S

LINAGE句を指定したファイルが外部ファイルの場合、データ名 '@1@' は外部データ項目として定義しなければなりません。データ名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2332.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.        P2332.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA              DIVISION.
000009 FILE                SECTION.
000010 FD SQFILE1 IS EXTERNAL
000011     LINAGE 66
000012     LINE AT TOP WTOP.
000013 01 SQF1REC.
000014 02                  PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WTOP            PIC 9(2).
```

```
000017 PROCEDURE      DIVISION.
000018 END PROGRAM    P2332.
```

P2332.cob 12: JMN2332I-S LINAGE句を指定したファイルが外部ファイルの場合、データ名'WTOP'は外部データ項目として定義しなければなりません。データ名は、無効になります。

詳細な説明

LINAGE句を指定したファイルを外部ファイルとして共有するとき、論理ページの構成もまた共用するため、FOOTING指定、LINES AT TOP指定およびLINES AT BOTTOM指定のデータ項目も外部属性を持たなければなりません。

2.4.170 JMN2333I-S

OCCURS句のDEPENDING ON指定の目的語は、整数項目でなければなりません。

例題

```
[P2333.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2333.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WDPEND      PIC S9(3)V99.
000008 02 WOCC        OCCURS 10 DEPENDING ON WDPEND.
000009 03             PIC X.
000010 PROCEDURE      DIVISION.
000011 END PROGRAM    P2333.
```

P2333.cob 8: JMN2333I-S OCCURS句のDEPENDING ON指定の目的語は、整数項目でなければなりません。

詳細な説明

繰り返しの反復回数を示すデータであるため、整数項目でなければなりません。

2.4.171 JMN2334I-S

論理ページの大きさ(語LINAGEに続く最初の整数の値)は、正でなければなりません。1とみなします。

例題

```
[P2334.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2334.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006   SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD SQFILE1 IS EXTERNAL
000010                LINAGE 0.
000011 01 SQF1REC.
000012 02             PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 PROCEDURE      DIVISION.
000015 END PROGRAM    P2334.
```

P2334.cob 10: JMN2334I-S 論理ページの大きさ(語LINAGEに続く最初の整数の値)は、正でなければなりません。1とみなします。

詳細な説明

ページの大きさは行数で示します。値は正の数でなければなりません。

2.4.172 JMN2335I-S

VALUE句を持つ集団項目に従属する項目には、SYNCHRONIZED句を指定できません。SYNCHRONIZED句を有効とみなします。

例題

```
[P2335.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.        P2335.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP VALUE LOW-VALUE.
000007 02 WELM1          PIC X.
000008 02 WELM2          PIC 1(8) SYNC.
000009 PROCEDURE          DIVISION.
000010 END PROGRAM        P2335.
```

P2335.cob 8: JMN2335I-S VALUE句を持つ集団項目に従属する項目には、SYNCHRONIZED句を指定できません。SYNCHRONIZED句を有効とみなします。

詳細な説明

集団項目内に、SYNCHRONIZED句(SYNCHRONIZEDとSYNCは同義語です)が有効になる従属項目がある場合、その項目を固有の境界に合わせるため遊びバイトが挿入され、集団項目全体の大きさが変わります。一方、集団項目にVALUE句で指定した初期値には遊びバイトが挿入されることはないため、期待する初期値が設定されません。指定された句を有効とみなして処理を続けますが、このときオブジェクトファイルや実行形式は生成されません。

2.4.173 JMN2336I-S

VALUE句を持つ集団項目に従属する項目には、JUSTIFIED句を指定できません。JUSTIFIED句を有効とみなします。

例題

```
[P2336.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.        P2336.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP VALUE LOW-VALUE.
000007 02 WELM1          PIC X(5).
000008 02 WELM2          PIC X(5) JUSTIFIED.
000009 02 WELM3          PIC X(5).
000010 PROCEDURE          DIVISION.
000011 END PROGRAM        P2336.
```

P2336.cob 8: JMN2336I-S VALUE句を持つ集団項目に従属する項目には、JUSTIFIED句を指定できません。JUSTIFIED句を有効とみなします。

詳細な説明

JUSTIFIED句(JUSTIFIEDとJUSTは同義語です)は受取り側項目の右端に合わせてデータを転記することを指定する句ですが、集団項目への初期値の設定は、個々の従属項目を考慮せず、集団項目全体が1つの英数字項目であるかのように設定されるため、JUSTIFIED句は指定できません。指定された句を有効とみなして処理を続けますが、このときオブジェクトファイルや実行形式は生成されません。

2.4.174 JMN2337I-S

VALUE句を持つ集団項目に従属する項目のUSAGEは、DISPLAYでなければなりません。USAGE句を有効とみなします。

例題

```
[P2337.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2337.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP VALUE LOW-VALUE.
000007 02 WELM1 PIC X(5).
000008 02 WELM2 PIC 9(5) BINARY.
000009 02 WELM3 PIC X(5).
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 END PROGRAM P2337.
```

P2337.cob 8: JMN2337I-S VALUE句を持つ集団項目に従属する項目のUSAGEは、DISPLAYでなければなりません。USAGE句を有効とみなします。

詳細な説明

集団項目への初期値の設定は、集団項目全体が1つの英数字項目であるかのように設定されるため、用途が表示用(USAGE IS DISPLAY)でない場合は有効な値になりません。

従属項目に指定された用途(USAGE)を有効とみなして処理を続けますが、このときオブジェクトファイルや実行形式は生成されません。

2.4.175 JMN2338I-S

FOOTING指定の整数は、論理ページの大きさ(語LINAGEに続く最初の整数の値)以下でなければなりません。FOOTING指定の整数を論理ページの大きさと同じとみなします。

例題

```
[P2338.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2338.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD SQFILE1 IS EXTERNAL
000010 LINAGE 66
000011 FOOTING 67.
000012 01 SQF1REC.
000013 02 PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 PROCEDURE DIVISION.
000016 END PROGRAM P2338.
```

P2338.cob 11: JMN2338I-S FOOTING指定の整数は、論理ページの大きさ(語LINAGEに続く最初の整数の値)以下でなければなりません。FOOTING指定の整数を論理ページの大きさと同じとみなします。

詳細な説明

FOOTING指定は、脚書き領域の開始行を指定します。脚書き領域はページ本体内に含まれるため、この行数を超える値は不当です。

2.4.176 JMN2341I-S

@1@項目は、定数節に定義できません。書かれたとおり、受け入れます。

埋め込みの説明

@1@ : 指標データまたは外部浮動小数点.

例題

```
[P2341.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2341.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 CONSTANT        SECTION.
000006 01 WIX           INDEX.
000007 PROCEDURE       DIVISION.
000008 END PROGRAM     P2341.
```

P2341.cob 6: JMN2341I-S 指標データ項目は、定数節に定義できません。書かれたとおり、受け入れます。

詳細な説明

定数節で宣言するデータ記述項は、必ずVALUE句を指定して初期値を与えなければなりません。初期値を持つことができない項目は、定数節には定義できません。

2.4.177 JMN2343I-W

RECORD句で指定した整数(最大文字位置数)はレコード長と等しいか大きくなければなりません。RECORD句は、無効になります。

例題

```
[P2343.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2343.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA            DIVISION.
000009 FILE             SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     RECORD CONTAINS 30 TO 70.
000012 01 SQF1REC.
000013 02              PIC X(80).
000014 PROCEDURE       DIVISION.
000015 END PROGRAM     P2343.
```

P2343.cob 10: JMN2343I-W RECORD句で指定した整数(最大文字位置数)はレコード長と等しいか大きくなければなりません。RECORD句は、無効になります。

詳細な説明

RECORD句ではレコードの大きさを指定します。同句で指定する値は、実際のレコード長を超えてはなりません。

2.4.178 JMN2350I-S

ブロック長は、レコード長以上でなければなりません。BLOCK CONTAINS句は、無効になります。

例題

```
[P2350.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
```

```

000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P2350.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA            DIVISION.
000010 FILE             SECTION.
000011 FD SQFILE1
000012     BLOCK CONTAINS 20.
000013 01 SQF1REC.
000014 02              PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 PROCEDURE        DIVISION.
000017 END PROGRAM       P2350.

```

P2350.cob 11: JMN2350I-S ブロック長は、レコード長以上でなければなりません。BLOCK CONTAINS句は、無効になります。

詳細な説明

このコンパイラでは、BLOCK CONTAINS句は注釈とみなされます。実行時には意味を持ちませんが、句の解析は行われます。

2.4.179 JMN2354I-S

名前'@1@'は、EXTERNAL句付きの名前としてすでに定義されています。EXTERNAL句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった利用者語。

例題

```

[P2354.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2354.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 FILE             SECTION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 EXNM  IS EXTERNAL
000008     PIC X(2).
000009 01 EXNM  IS EXTERNAL
000010     PIC X(2).
000011 PROCEDURE        DIVISION.
000012 END PROGRAM       P2354.

```

P2354.cob 9: JMN2354I-S 名前'EXNM'は、EXTERNAL句付きの名前としてすでに定義されています。EXTERNAL句は無効になります。

2.4.180 JMN2357I-S

THROUGH指定のデータ名の領域の右端は、RENAMES句のデータ名の領域の右端より右になければなりません。

例題

```

[P2357.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2357.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.

```

```

000007 02 WELM1 PIC X(20).
000008 02 WELM2 REDEFINES WELM1
000009 PIC X(2).
000010 66 RGRP RENAMES WELM1 THRU WELM2.
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012 END PROGRAM P2357.

```

P2357.cob 10: JMN2357I-S THROUGH指定のデータ名の領域の右端は、RENAMES句のデータ名の領域の右端より右になければなりません。

詳細な説明

THROUGH指定(THROUGHとTHRUとは同義語)が書かれると、RENAMES記述項は集団項目とみなされ、この集団項目の領域の範囲が再命名されます。このとき、RENAMES句の直後に書かれたデータ名がこの集団項目の最初の項目(再命名の開始位置)となり、一方、THROUGH指定の直後に書かれたデータ名がこの集団項目の最後の項目(再命名の終了位置)となります。終了位置の後ろに開始位置が出現してはなりません。

2.4.181 JMN2358I-W

'@1@'句は、**整列併合用ファイルに指定することはできません。**

埋め込みの説明

@1@ : ACCESS MODE, ACTUAL KEY, ALTERNATE RECORD KEY, CONTROL AREA, FILE-LIMIT, FILE STATUS, NOMINAL KEY, PADDING CHARACTER, PROCESSING MODE, RECORD DELIMITER, RECORD KEY, RELATIVE KEY, RESERVE, TRACK-AREA, TRACK-LIMIT, SYMBOLIC KEY, ORGANIZATION, POSITIONING POINTER, FORMAT, GROUP, SYMBOLIC DESTINATION, DESTINATION-1, DESTINATION-2, DESTINATION-3, SELECTED FUNCTION, UNIT CONTROL, MESSAGE MODE, END KEY, SESSION CONTROL, PROCESSING CONTROL, MESSAGE CLASS, PASSWORD, MESSAGE OWNER, MESSAGE CODE, MESSAGE SEQUENCE, DESTINATION CONTROL, PROCESSING TIME, LOCK MODEまたはFORMAT CONTROL.

例題

```

[P2358.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2358.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT SRTFILE ASSIGN TO SYS001
000007 RESERVE 20 AREAS.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 SD SRTFILE.
000012 01 SQF1REC.
000013 02 PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 PROCEDURE DIVISION.
000016 END PROGRAM P2358.

```

P2358.cob 7: JMN2358I-W 'RESERVE'句は、整列併合用ファイルに指定することはできません。

詳細な説明

整列併合用ファイルは内部的に生成されるファイルです。整列併合機能のファイル管理記述項には、SELECT句とASSIGN句だけを記述します。

2.4.182 JMN2359I-W

BLANK WHEN ZERO句を符号付き外部10進項目に指定した場合、符号なしとして扱います。

例題

```
[P2359.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2359.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WNE1        PIC 9(9) DISPLAY
000007                BLANK WHEN ZERO. *> OK
000008 01 WNE2        PIC S9(9) DISPLAY
000009                BLANK WHEN ZERO. *> ERROR
000010 PROCEDURE      DIVISION.
000011 END PROGRAM     P2359.
```

P2359.cob 9: JMN2359I-W BLANK WHEN ZERO句を符号付き外部10進項目に指定した場合、符号なしとして扱います。

詳細な説明

数字項目にBLANK WHEN ZERO句を指定する場合、数字項目は符号なしの外部10進項目でなければなりません。

2.4.183 JMN2365I-S

@1@句のデータ名'@2@'は、ポインタデータ項目であってはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 環境部、データ部に記述する句または指定で、データ名の指定が必要なもの。ただし、REDEFINES句、RENAMES句またはOCCURS句のASCENDING/DESCENDING KEY IS指定は除く。

@2@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2365.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2365.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE           SECTION.
000009 FD SQFILE1
000010     RECORD VARYING IN SIZE
000011     DEPENDING ON LRECL.
000012 01 SQF1REC.
000013 02                PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 LRECL        POINTER.
000016 PROCEDURE      DIVISION.
000017 END PROGRAM     P2365.
```

P2365.cob 11: JMN2365I-S RECORD句のデータ名'LRECL'は、ポインタデータ項目であってはなりません。

2.4.184 JMN2366I-S

BASED ON句のデータ名は、ポインタデータ項目でなければなりません。ただし、手続きポインタデータ項目であってはなりません。

例題

```
[P2366.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000002 PROGRAM-ID.      P2366.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 BASED-STORAGE   SECTION.
000006 01 WBUF1        PIC X(20) BASED ON WNUM.
000007 01 WBUF2        PIC X(20) BASED ON WPX1.
000008 01 WBUF3        PIC X(20) BASED ON WPX2.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 WNUM         PIC S9(9).
000011 01 WPX1         POINTER.
000012 01 WPX2         PROCEDURE-POINTER.
000013 PROCEDURE       DIVISION.
000014 END PROGRAM     P2366.

```

P2366.cob 6: JMN2366I-S BASED ON句のデータ名は、ポインタデータ項目でなければなりません。ただし、手続きポインタデータ項目であってはなりません。

P2366.cob 8: JMN2366I-S BASED ON句のデータ名は、ポインタデータ項目でなければなりません。ただし、手続きポインタデータ項目であってはなりません。

詳細な説明

BASED ON句は、基底場所節のデータ項目に暗黙のポインタ修飾子を指定する句であり、そのポインタ修飾子に使用するポインタデータ項目をBASED ON句のデータ名として指定します。

2.4.185 JMN2370I-I

利用者語'@1@'が多重定義です。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった利用者語。

例題

```

[P2370.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2370.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC X(1).
000007 78 A VALUE "A".
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 END PROGRAM P2370.

```

P2370.cob 7: JMN2370I-I 利用者語'A'が多重定義です。

詳細な説明

この診断メッセージが出力される場合、以下の原因が考えられます。

- ・ 名前付き定数を同じ名前で複数宣言した。

2.4.186 JMN2372I-S

LENGTH OFで指定されたデータ項目は、名前付き定数@1@の宣言よりも前に完結していなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった名前付き定数名。

例題

```
[P2372.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2372.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 78 WNCT         VALUE LENGTH OF WGRP.
000007 01 WGRP.
000008 02 WELM1        PIC X(10).
000009 02 WELM2        PIC N(10).
000010 PROCEDURE       DIVISION.
000011 END PROGRAM      P2372.
```

P2372.cob 6: JMN2372I-S LENGTH OFで指定されたデータ項目は、名前付き定数WNCTの宣言よりも前に完結していなければなりません。

詳細な説明

名前付き定数のデータ記述項(レベル番号が78)でLENGTH OFを指定した場合、LENGTH OFで指定したデータ名の項目長がその名前付き定数の値となります。当該名前付き定数の宣言が表れるよりも前に、LENGTH OF指定のデータ項目の大きさが確定している必要があります。

2.4.187 JMN2374I-S

LENGTH OFで指定されたデータ項目は、内部ブール項目であってはなりません。

例題

```
[P2374.cob]
000001 PROGRAM-ID.      P2374 .
000002 ENVIRONMENT     DIVISION.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 77 X            PIC 1(8) USAGE BIT.
000006 78 V1          VALUE IS LENGTH OF X.
000007 PROCEDURE       DIVISION.
000008                EXIT PROGRAM.
```

P2374.cob 6: JMN2374I-S LENGTH OFで指定されたデータ項目は、内部ブール項目であってはなりません。

詳細な説明

名前付き定数のデータ記述項(レベル番号が78)でLENGTH OFを指定した場合、LENGTH OFで指定したデータ名の項目長がその名前付き定数の値となります。ビット単位での大きさを名前付き定数の値にすることはできません。

2.4.188 JMN2375I-S

LENGTH OFで指定されたデータ項目に、@1@句が指定されています。この名前付き定数は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : ANY LENGTHまたはTYPE.

例題

```
[C2375.cob]
000001 CLASS-ID.       C2375 .
000002 ENVIRONMENT     DIVISION.
000003 OBJECT.
000004 PROCEDURE       DIVISION.
000005 METHOD-ID.        M2375.
000006 DATA            DIVISION.
```



```

000007 LINKAGE SECTION.
000008 01 X PIC N ANY LENGTH.
000009 78 V1 VALUE IS
000010 LENGTH OF X.
000011 PROCEDURE DIVISION USING X.
000012 EXIT METHOD.
000013 END METHOD M2375.
000014 END OBJECT.
000015 END CLASS C2375.

```

C2375.cob 10: JMN2375I-S LENGTH OFで指定されたデータ項目に、ANY LENGTH句が指定されています。この名前付き定数は無効になります。

詳細な説明

名前付き定数のデータ記述項(レベル番号が78)でLENGTH OFを指定した場合、LENGTH OFで指定したデータ名の項目長がその名前付き定数の値となります。LENGTH OFに指定されたデータ記述項にTYPE句やANY LENGTH句が指定されていると、項目長が確定できないのでこれらの句は指定できません。

2.4.189 JMN2384I-S

@1@句のデータ名は、基底場所節以外に定義されていなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : APPLY REORG-CRITERIA.

例題

```

[P2384.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2384.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT IXFILE1 ASSIGN TO I-SYS001
000007 ACCESS MODE IS RANDOM
000008 NOMINAL KEY IS WNKEY
000009 RECORD KEY IS WRKEY.
000010 I-O-CONTROL.
000011 APPLY REORG-CRITERIA TO WRORG ON IXFILE1.
000012 DATA DIVISION.
000013 BASED-STORAGE SECTION.
000014 01 WRORG PIC X(8).
000015 FILE SECTION.
000016 FD IXFILE1.
000017 01 IXF1REC.
000018 02 WRKEY PIC X(2).
000019 02 PIC X(80).
000020 WORKING-STORAGE SECTION.
000021 01 WNKEY PIC X(2).
000022 PROCEDURE DIVISION.
000023 END PROGRAM P2384.

```

P2384.cob 11: JMN2384I-S APPLY REORG-CRITERIA句のデータ名は、基底場所節以外に定義されていなければなりません。

P2384.cob 11: JMN2766I-W このシステムでは、'APPLY REORG-CRITERIA'は注釈として扱います。

詳細な説明

APPLY REORG-CRITERIA句は、OSIV系システムの固有機能です。

2.4.190 JMN2385I-S

@1@句のデータ名'@2@'は、基底場所節以外に定義されていなければなりません。データ名は、無効になります。

埋め込みの説明

- @1@ : LINAGEまたはOCCURS.
- @2@ : エラーの原因となったデータ名.

例題

```
[C23851.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C23851.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT AFILE1 ASSIGN DD1
000007         ORGANIZATION INDEXED
000008         RECORD KEY IS RR1.
000009 DATA DIVISION.
000010 BASED-STORAGE SECTION.
000011     01 RK1     PIC X(5).
000012 FILE SECTION.
000013     FD AFILE1 .
000014     01 AREC1 .
000015     02 RR1     PIC X(2).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017     01 WREC1 .
000018     02 BREC2 OCCURS 10 DEPENDING ON RK1 PIC X(2).
000019 PROCEDURE DIVISION.
000020 END PROGRAM C23851.
```

C23851.cob 18: JMN2385I-S OCCURS句のデータ名'RK1'は、基底場所節以外に定義されていなければなりません。データ名は、無効になります。

C23851.cob 18: JMN2333I-S OCCURS句のDEPENDING ON指定の目的語は、整数項目でなければなりません。

2.4.191 JMN2393I-S

[Win32]

FILE STATUS句のデータ名'@1@'は作業場所節または連絡節に定義しなければなりません。

[Winx64]

FILE STATUS句のデータ名'@1@'は作業場所節、局所記憶節または連絡節に定義しなければなりません。

埋め込みの説明

- @1@ : エラーの原因となったデータ名.

例題

```
[P2393.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2393.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007         ORGANIZATION IS SEQUENTIAL
000008         FILE STATUS IS WFS1.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
```

```

000014 02          PIC X(80).
000015 CONSTANT   SECTION.
000016 01 WFS1    PIC X(2) VALUE SPACE.
000017 PROCEDURE  DIVISION.
000018 END PROGRAM P2393.

```

- **[Win32]**
P2393.cob 8: JMN2393I-S FILE STATUS句のデータ名'WFS1'は作業場所節または連絡節に定義しなければなりません。
- **[Winx64]**
P2393.cob 8: JMN2393I-S FILE STATUS句のデータ名'WFS1'は作業場所節, 局所記憶節または連絡節に定義しなければなりません。

2.4.192 JMN2394I-S

[Win32]

FILE STATUS句のデータ名'@1@'は作業場所節または連絡節に定義しなければなりません。データ名は、無効になります。

[Winx64]

FILE STATUS句のデータ名'@1@'は作業場所節, 局所記憶節または連絡節に定義しなければなりません。データ名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```

[P2394.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2394.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO VS-SYS001
000007     ORGANIZATION IS SEQUENTIAL
000008     FILE STATUS   IS WFS1 WFS2.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA           DIVISION.
000011 FILE             SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02              PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WFS1         PIC X(2).
000017 CONSTANT       SECTION.
000018 01 WFS2         PIC X(2) VALUE SPACE.
000019 PROCEDURE      DIVISION.
000020 END PROGRAM     P2394.

```

- **[Win32]**
P2394.cob 8: JMN2394I-S FILE STATUS句のデータ名'WFS2'は作業場所節または連絡節に定義しなければなりません。データ名は、無効になります。
- **[Winx64]**
P2394.cob 8: JMN2394I-S FILE STATUS句のデータ名'WFS2'は作業場所節, 局所記憶節または連絡節に定義しなければなりません。データ名は、無効になります。

2.4.193 JMN2395I-S

FILE STATUS句のデータ名'@1@'の項目長は、2バイトでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名.

例題

```
[P2395.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2395.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS SEQUENTIAL
000008     FILE STATUS   IS WFS1.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA           DIVISION.
000011 FILE             SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02                PIC X(80).
000015 LINKAGE         SECTION.
000016 01 WFS1         PIC X(4).
000017 PROCEDURE      DIVISION USING WFS1.
000018 END PROGRAM    P2395.
```

P2395.cob 8: JMN2395I-S FILE STATUS句のデータ名'WFS1'の項目長は、2バイトでなければなりません。

詳細な説明

FILE STATUS句では、入出力状態を参照するためのデータ項目を指定します。入出力状態とは、入出力文の結果を示す2文字の概念上の領域です。

2.4.194 JMN2396I-S

FILE STATUS句のデータ名 '@1@' の項目長は、@2@ バイトでなければなりません。データ名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名.

@2@ : 整数(データ長)

例題

```
[P2396.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2396.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO VS-SYS001
000007     ORGANIZATION IS SEQUENTIAL
000008     FILE STATUS   IS WFS1 WFS2.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA           DIVISION.
000011 FILE             SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02                PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WFS1         PIC X(2).
000017 01 WFS2         PIC X(2).
```

```
000018 PROCEDURE      DIVISION.
000019 END PROGRAM    P2396.
```

P2396.cob 8: JMN2396I-S FILE STATUS句のデータ名'WFS2'の項目長は、6バイトでなければなりません。データ名は、無効になります。

詳細な説明

FILE STATUS句の2個めのデータ名には、入出力状態の詳細情報を参照するためのデータ項目を指定します。入出力状態とは、入出力文の結果を示す2文字の概念上の領域です。入出力状態の詳細情報は、入出力文の結果の詳細を示す概念上の領域です。FORMAT句付きの印刷ファイルまたは表示ファイルでは、入出力状態の詳細情報は4文字の領域です。VSAM編成ファイルでは、入出力状態の詳細情報は6文字の領域です。(VSAM順ファイルは、OSIV系システムの固有機能です。)

2.4.195 JMN2397I-S

FILE STATUS句の詳細情報を示すデータ名は、表示ファイル(編成GS)、FORMAT句指定の印刷ファイル、順ファイル(編成ASまたはVS)、相対ファイルまたは索引ファイルにのみ指定することができます。

例題

```
[P2397.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2397.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION  IS SEQUENTIAL
000008     FILE STATUS   IS WFS1 WFS2.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA           DIVISION.
000011 FILE            SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02              PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WFS1         PIC X(2).
000017 01 WFS2         PIC X(2).
000018 PROCEDURE      DIVISION.
000019 END PROGRAM    P2397.
```

P2397.cob 8: JMN2397I-S FILE STATUS句の詳細情報を示すデータ名は、表示ファイル(編成GS)、FORMAT句指定の印刷ファイル、順ファイル(編成ASまたはVS)、相対ファイルまたは索引ファイルにのみ指定することができます。

詳細な説明

FILE STATUS句の2個めで指定するデータ名が、詳細情報を示すデータ名です。所定のファイルでだけ、詳細情報となるデータ項目を同句で指定できます。

なお、編成ASまたはVSの順ファイルは、OSIV系システム固有の機能です。

2.4.196 JMN2398I-S

SYMBOLIC DESTINATION句には、データ名または3文字の文字定数を指定しなければなりません。

例題

```
[P2398.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2398.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT PRFILE1 ASSIGN TO GS-SYS001
```

```

000007      SYMBOLIC DESTINATION IS "ABCD".
000008 DATA          DIVISION.
000009 FILE           SECTION.
000010 FD PRFILE1.
000011 01 PRF1REC.
000012  02           PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 PROCEDURE      DIVISION.
000015 END PROGRAM    P2398.

```

P2398.cob 7: JMN2398I-S SYMBOLIC DESTINATION句には、データ名または3文字の文字定数を指定しなければなりません。

詳細な説明

SYMBOLIC DESTINATION句では、あて先種別(入出力文を実行する対象になる装置)を指定します。各あて先には3文字の名称があらかじめ付与されており、この名称によって識別されます。

2.4.197 JMN2399I-S

SYMBOLIC DESTINATION句の文字定数@1@は、指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった文字定数の値。

例題

```

[P2399.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2399.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT PRFILE1 ASSIGN TO GS-SYS001
000007     SYMBOLIC DESTINATION IS "ABC".
000008 DATA          DIVISION.
000009 FILE           SECTION.
000010 FD PRFILE1.
000011 01 PRF1REC.
000012  02           PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 PROCEDURE      DIVISION.
000015 END PROGRAM    P2399.

```

P2399.cob 7: JMN2399I-S SYMBOLIC DESTINATION句の文字定数"ABC"は、指定できません。

詳細な説明

SYMBOLIC DESTINATION句では、あて先種別(入出力文を実行する対象になる装置)を指定します。各あて先には3文字の名称があらかじめ付与されており、この名称によって識別されます。

2.4.198 JMN2400I-S

SOURCE句に修飾付きのPAGE-COUNTERまたはLINE-COUNTERを指定する場合、一意な報告書名で修飾しなければなりません。

例題

```

[P2400.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2400.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.

```

```

000006    SELECT REPFIL1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE           SECTION.
000009 FD REPFIL1 REPORT REP1.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 REPORT         SECTION.
000012 RD REP1 PAGE  46
000013              HEADING 1
000014              FIRST DETAIL  7
000015              LAST DETAIL 44.
000016 01 TYPE PAGE HEADING.
000017 02 LINE 01 COLUMN 35
000018              PIC S9(6) SOURCE LINE-COUNTER OF REPFIL1.
000019 PROCEDURE      DIVISION.
000020 END PROGRAM     P2400.

```

P2400.cob 19: JMN2400I-S SOURCE句に修飾付きのPAGE-COUNTERまたはLINE-COUNTERを指定する場合、一意な報告書名で修飾しなければなりません。

詳細な説明

PAGE-COUNTER(ページカウンタ)またはLINE-COUNTER(行カウンタ)は、報告書作成機能で 사용되는特殊レジスタです。これらの特殊レジスタは、報告書ごとに生成されます。PAGE-COUNTERまたはLINE-COUNTERを修飾する場合は、報告書名(レベル指示語RDに続く名標)で修飾しなければなりません。

2.4.199 JMN2401I-S

SOURCE句の一意名が、未定義です。

例題

```

[P2401.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2401.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006    SELECT REPFIL1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE           SECTION.
000009 FD REPFIL1 REPORT REP1.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 REPORT         SECTION.
000012 RD REP1 PAGE  46
000013              HEADING 1
000014              FIRST DETAIL  7
000015              LAST DETAIL 44.
000016 01 TYPE PAGE HEADING.
000017 02 LINE 01 COLUMN 35 PIC N(6) SOURCE REP-SOU.
000018 PROCEDURE      DIVISION.
000019 END PROGRAM     P2401.

```

P2401.cob 17: JMN2401I-S SOURCE句の一意名が、未定義です。

2.4.200 JMN2402I-S

SOURCE句の一意名が、一意ではありません。

例題

```

[P2402.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2402.

```

```

000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT  SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE          SECTION.
000009 FD REPFIL REPORT REP1.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 REP-SOU     PIC N(6).
000012 01 REP-SOU     PIC X(12).
000013 REPORT        SECTION.
000014 RD REP1 PAGE  46
000015             HEADING 1
000016             FIRST DETAIL 7
000017             LAST DETAIL 44.
000018 01 TYPE PAGE HEADING.
000019 02 LINE 01 COLUMN 35 PIC N(6) SOURCE REP-SOU.
000020 PROCEDURE      DIVISION.
000021 END PROGRAM     P2402.

```

P2402.cob 19: JMN2402I-S SOURCE句の一意名が、一意ではありません。

2.4.201 JMN2403I-S

SOURCE句の一意名は、データ名、PAGE-COUNTERまたはLINE-COUNTERでなければなりません。

例題

```

[P2403.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     P2403.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT  SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE          SECTION.
000009 FD REPFIL REPORT REP1.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 REPORT        SECTION.
000012 RD REP1 PAGE  46
000013             HEADING 1
000014             FIRST DETAIL 7
000015             LAST DETAIL 44.
000016 01 TYPE PAGE HEADING.
000017 02 LINE 01 COLUMN 35 PIC N(6) SOURCE LABEL1.
000018 PROCEDURE      DIVISION.
000019 LABEL1.
000020 END PROGRAM     P2403.

```

P2403.cob 17: JMN2403I-S SOURCE句の一意名は、データ名、PAGE-COUNTERまたはLINE-COUNTERでなければなりません。

詳細な説明

SOURCE句は、印字項目に転記される値の送出し側データ項目を指定する句です。同句には、データ項目あるいは、ページカウンタ/行カウンタを示す特殊レジスタを指定できます。

報告書作成管理システムが報告集団の印字行を作成するときに、SOURCE句で指定された項目を送出し側とする暗黙のMOVE文を実行します。

2.4.202 JMN2404I-S

ページ頭書き報告集団またはページ脚書き報告集団のSOURCE句には、制御データ項目は指定できません。

例題

```
[P2404.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2404.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD REPFIL REPORT REP1.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 WCTL PIC X(5).
000012 REPORT SECTION.
000013 RD REP1 PAGE 46
000014 HEADING 1
000015 FIRST DETAIL 7
000016 LAST DETAIL 44
000017 CONTROL WCTL.
000018 01 TYPE PAGE HEADING.
000019 02 LINE 01 COLUMN 35 PIC X(5) SOURCE WCTL.
000020 PROCEDURE DIVISION.
000021 END PROGRAM P2404.
```

P2404.cob 19: JMN2404I-S ページ頭書き報告集団またはページ脚書き報告集団のSOURCE句には、制御データ項目は指定できません。

2.4.203 JMN2405I-S

SUM句は、制御脚書き報告集団以外に指定できません。

例題

```
[P2405.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2405.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD REPFIL REPORT REP1.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 WITM PIC 9(5).
000012 REPORT SECTION.
000013 RD REP1 PAGE 46
000014 HEADING 1
000015 FIRST DETAIL 7
000016 LAST DETAIL 44.
000017 01 TYPE PAGE HEADING.
000018 02 LINE 01 COLUMN 35 PIC 9(5) SUM WITM.
000019 PROCEDURE DIVISION.
000020 END PROGRAM P2405.
```

P2405.cob 18: JMN2405I-S SUM句は、制御脚書き報告集団以外に指定できません。

2.4.204 JMN2406I-S

@1@句の名標'@2@'は、未定義です。

埋め込みの説明

@1@ : RESET, SUMまたはUPON.
@2@ : エラーの原因となったデータ名.

例題

```
[P2406.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2406.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT  SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE           SECTION.
000009 FD REPFIL REPORT REP1.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 WCTL        PIC X(5).
000012 REPORT        SECTION.
000013 RD REP1 PAGE  46
000014             HEADING 1
000015             FIRST DETAIL  7
000016             LAST DETAIL  44
000017             CONTROL WCTL.
000018 01 TYPE CF WCTL.
000019 02 LINE 43 COLUMN 35 PIC 9(5) SUM WITM.
000020 PROCEDURE      DIVISION.
000021 END PROGRAM     P2406.
```

P2406.cob 19: JMN2406I-S SUM句の名標'WITM'は、未定義です。

2.4.205 JMN2407I-S

@1@句の名標'@2@'は、一意ではありません。

埋め込みの説明

@1@ : RESET, SUMまたはUPON.
@2@ : エラーの原因となったデータ名.

例題

```
[P2407.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2407.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT  SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE           SECTION.
000009 FD REPFIL REPORT REP1.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 WCTL        PIC X(5).
000012 01 WITM       PIC X(5).
000013 01 WITM       PIC X(5).
000014 REPORT        SECTION.
000015 RD REP1 PAGE  46
000016             HEADING 1
000017             FIRST DETAIL  7
000018             LAST DETAIL  44
```

```
000019          CONTROL WCTL.
000020 01  TYPE CF WCTL.
000021 02  LINE 43 COLUMN 35 PIC 9(5) SUM WITM.
000022 PROCEDURE      DIVISION.
000023 END PROGRAM    P2407.
```

P2407.cob 21: JMN2407I-S SUM句の名標'WITM'は、一意ではありません。

2.4.206 JMN2408I-S

@1@句の名標'@2@'は、データ名でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : RESET, SUMまたはUPON.
@2@ : エラーの原因となったデータ名.

例題

```
[P2408.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2408.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 FD REPFIL REPORT REP1.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 WCTL          PIC X(5).
000012 REPORT          SECTION.
000013 RD REP1 PAGE    46
000014             HEADING 1
000015             FIRST DETAIL 7
000016             LAST DETAIL 44
000017     CONTROL WCTL.
000018 01  TYPE CF WCTL.
000019 02  LINE 43 COLUMN 35 PIC 9(5) SUM REP1.
000020 PROCEDURE      DIVISION.
000021 LABEL1.
000022 END PROGRAM    P2408.
```

P2408.cob 19: JMN2408I-S SUM句の名標'REP1'は、データ名でなければなりません。

2.4.207 JMN2409I-S

REPORT句の報告書名'@1@'は、すでに他のファイルに指定されています。この報告書名は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった報告書名.

例題

```
[P2409.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2409.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL1 ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT REPFIL2 ASSIGN TO SYS001.
```

```

000008 DATA          DIVISION.
000009 FILE            SECTION.
000010 FD REPF1E1 REPORT REP1.
000011 FD REPF1E2 REPORT REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 WCTL          PIC X(5).
000014 REPORT          SECTION.
000015 RD REP1 PAGE   46
000016                HEADING 1
000017                FIRST DETAIL 7
000018                CONTROL WCTL.
000019 01 TYPE PAGE HEADING.
000020 02 LINE 01 COLUMN 35 PIC N(6) VALUE SPACE.
000021 PROCEDURE       DIVISION.
000022 LABEL1.
000023 END PROGRAM     P2409.

```

P2409.cob 11: JMN2409I-S REPORT句の報告書名'REP1'は、すでに他のファイルに指定されています。この報告書名は、無効となります。

P2409.cob 11: JMN2001I-S ファイル記述項または整列併合用ファイル記述項には、レコード記述項が従属しなければなりません。ファイル記述項または整列併合用ファイル記述項は、無効となります。

2.4.208 JMN2410I-S

REPORT句の報告書名'@1@'は、すでにこの句で指定されています。この報告書名は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった報告書名。

例題

```

[P2410.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2410.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPF1E1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA            DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 FD REPF1E1 REPORT REP1 REP1.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 WCTL          PIC X(5).
000012 REPORT          SECTION.
000013 RD REP1 PAGE   46
000014                HEADING 1
000015                FIRST DETAIL 7
000016                CONTROL WCTL.
000017 01 TYPE PAGE HEADING.
000018 02 LINE 01 COLUMN 35 PIC N(6) VALUE SPACE.
000019 PROCEDURE       DIVISION.
000020 LABEL1.
000021 END PROGRAM     P2410.

```

P2410.cob 9: JMN2410I-S REPORT句の報告書名'REP1'は、すでにこの句で指定されています。この報告書名は、無効となります。

2.4.209 JMN2411I-S

報告書記述項の報告書名が、REPORT句に指定されていません。この報告書記述項および報告集団記述項は、無効となります。

例題

```
[P2411.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2411.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 WCTL PIC X(5).
000009 REPORT SECTION.
000010 RD REP1 PAGE 46
000011 HEADING 1
000012 FIRST DETAIL 7
000013 CONTROL WCTL.
000014 01 TYPE PAGE HEADING.
000015 02 LINE 01 COLUMN 35 PIC N(6) VALUE SPACE.
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017 LABEL1.
000018 END PROGRAM P2411.
```

P2411.cob 10: JMN2411I-S 報告書記述項の報告書名が、REPORT句に指定されていません。この報告書記述項および報告集団記述項は、無効となります。

詳細な説明

報告書名(報告書記述項のレベル指示語RDに続く名標)は、関連する報告書ファイルのファイル記述項のREPORT句で指定しなければなりません。

2.4.210 JMN2412I-S

SUM句の一意名 '@1@' は、数字項目でなければなりません。この一意名は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2412.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2412.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD REPFIL REPORT REP1.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 WCTL PIC X(5).
000012 REPORT SECTION.
000013 RD REP1 PAGE 46
000014 HEADING 1
000015 FIRST DETAIL 7
000016 LAST DETAIL 44
000017 CONTROL WCTL.
000018 01 TYPE CF WCTL.
000019 02 LINE 43 COLUMN 35 PIC 9(5) SUM WCTL.
```

```
000020 PROCEDURE      DIVISION.
000021 END PROGRAM    P2412.
```

P2412.cob 19: JMN2412I-S SUM句の一意名'WCTL'は、数字項目でなければなりません。この一意名は、無効となります。

詳細な説明

SUM句に続けて指定する一意名は、合計の対象となるデータ項目です。これらの値は合計カウンタに加算されます。合計カウンタは、コンパイラが生成する演算符号付きの数字データ項目です。

2.4.211 JMN2413I-S

SUM句にUPONが指定されている場合、SUM句の一意名'@1@'は、報告書節中のデータ名であってはなりません。この一意名は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2413.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2413.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA            DIVISION.
000009 FILE             SECTION.
000010 FD REPFIL
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD          PIC 9(2).
000014 REPORT          SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016     CONTROL CTLD.
000017 01 TYPE DE.
000018 02 LINE PLUS 1.
000019 03 TARGET COLUMN 10
000020     PIC S9(4) SOURCE CTLD.
000021 01 TYPE CF CTLD.
000022 02              PIC S9(4) SUM TARGET UPON CTLD.
000023 PROCEDURE      DIVISION.
000024 END PROGRAM    P2413.
```

P2413.cob 22: JMN2413I-S SUM句にUPONが指定されている場合、SUM句の一意名'TARGET'は、報告書節中のデータ名であってはなりません。この一意名は、無効となります。

2.4.212 JMN2414I-S

SUM句にUPONが指定されていない場合、報告書節中のデータ名'@1@'は、合計カウンタでなければなりません。このデータ名は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2414.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2414.
```

```

000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT  SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA          DIVISION.
000009 FILE            SECTION.
000010 FD REPFIL
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD        PIC 9(2).
000014 REPORT         SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016     CONTROL CTLD.
000017 01 TYPE DE.
000018 02 LINE PLUS 1.
000019 03 TARGET COLUMN 10
000020                PIC S9(4) SOURCE CTLD.
000021 01 TYPE CF CTLD.
000022 02            PIC S9(4) SUM TARGET.
000023 PROCEDURE      DIVISION.
000024 END PROGRAM     P2414.

```

P2414.cob 22: JMN2414I-S SUM句にUPONが指定されていない場合、報告書節中のデータ名'TARGET'は、合計カウンタでなければなりません。このデータ名は、無効となります。

2.4.213 JMN2415I-S

SUM句の一意名 '@1@' が合計カウンタの場合、同一報告書の合計カウンタでなければなりません。この一意名は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```

[P2415.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     P2415.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT  SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA          DIVISION.
000009 FILE            SECTION.
000010 FD REPFIL1
000011     REPORT IS REP1 REP2.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD1        PIC 9(2).
000014 01 CTLD2        PIC 9(2).
000015 REPORT         SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66
000017     CONTROL CTLD1.
000018 01 TYPE CF CTLD1.
000019 02 TARGET      PIC S9(4) SUM CTLD1.
000020 RD REP2 PAGE 66
000021     CONTROL CTLD2.
000022 01 TYPE CF CTLD2.
000023 02            PIC S9(4) SUM TARGET.
000024 PROCEDURE      DIVISION.
000025 END PROGRAM     P2415.

```

P2415.cob 23: JMN2415I-S SUM句の一意名'TARGET'が合計カウンタの場合、同一報告書の合計カウンタでなければなりません。この一意名は、無効となります。

2.4.214 JMN2416I-S

SUM句の一意名'@1@'が合計カウンタの場合、上位レベルの制御脚書き報告集団中の合計カウンタであってはなりません。この一意名は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2416.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2416.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA           DIVISION.
000009 FILE            SECTION.
000010 FD REPFIL
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD1        PIC 9(2).
000014 01 CTLD2        PIC 9(2).
000015 REPORT          SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66
000017     CONTROL CTLD1 CTLD2.
000018 01 TYPE CF CTLD1.
000019 02 TARGET       PIC S9(4) SUM CTLD1.
000020 01 TYPE CF CTLD2.
000021 02              PIC S9(4) SUM TARGET.
000022 PROCEDURE       DIVISION.
000023 END PROGRAM      P2416.
```

P2416.cob 21: JMN2416I-S SUM句の一意名'TARGET'が合計カウンタの場合、上位レベルの制御脚書き報告集団中の合計カウンタであってはなりません。この一意名は、無効となります。

2.4.215 JMN2417I-S

UPONのデータ名'@1@'は、SUM句が指定された制御脚書き報告集団と同一報告書中の明細報告集団の名前でなければなりません。このデータ名は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2417.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2417.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA           DIVISION.
000009 FILE            SECTION.
```



```

000010 FD SQFILE1
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD         PIC 9(2).
000014 REPORT         SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016     CONTROL CTLD.
000017 01 DE-1 TYPE DE.
000018 02 LINE PLUS 1.
000019 03 TARGET COLUMN 10
000020         PIC S9(4) SOURCE CTLD.
000021 01 TYPE CF CTLD.
000022 02         PIC S9(4) SUM CTLD UPON TARGET.
000023 PROCEDURE      DIVISION.
000024 END PROGRAM      P2417.

```

P2417.cob 22: JMN2417I-S UPONのデータ名'TARGET'は、SUM句が指定された制御脚書き報告集団と同一報告書中の明細報告集団の名前でなければなりません。このデータ名は、無効となります。

2.4.216 JMN2418I-S

SOURCE句の一意名が報告書節に定義されている場合、その一意名は、PAGE-COUNTER、LINE-COUNTERまたはそのSOURCE句が指定されたデータ名と同一報告書中の合計カウンタでなければなりません。

例題

```

[P2418.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2418.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA           DIVISION.
000009 FILE            SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD         PIC 9(2).
000014 REPORT         SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016     CONTROL CTLD.
000017 01 DE-1 TYPE DE.
000018 02 LINE PLUS 1.
000019 03         COLUMN 10
000020         PIC S9(4) SOURCE TARGET.
000021 01 TYPE CF CTLD.
000022 02 LINE PLUS 1.
000023 03 TARGET COLUMN 5 PIC X(10) VALUE SPACE.
000024 03 SC1        COLUMN 20 PIC S9(4) SUM CTLD.
000025 PROCEDURE      DIVISION.
000026 END PROGRAM      P2418.

```

P2418.cob 20: JMN2418I-S SOURCE句の一意名が報告書節に定義されている場合、その一意名は、PAGE-COUNTER、LINE-COUNTERまたはそのSOURCE句が指定されたデータ名と同一報告書中の合計カウンタでなければなりません。

2.4.217 JMN2420I-S

報告書ファイルは順ファイルでなければなりません。この報告書ファイルは無効となります。

例題

```
[P2420. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2420.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS RELATIVE.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA           DIVISION.
000010 FILE            SECTION.
000011 FD REPFIL
000012     REPORT IS REP1.
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 CTLD        PIC 9(2).
000015 REPORT         SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66
000017     CONTROL CTLD.
000018 01 TYPE CF CTLD.
000019 PROCEDURE      DIVISION.
000020 END PROGRAM      P2420.
```

P2420.cob 11: JMN2001I-S ファイル記述項または整列併合用ファイル記述項には、レコード記述項が従属しなければなりません。ファイル記述項または整列併合用ファイル記述項は、無効となります。

P2420.cob 12: JMN2420I-S 報告書ファイルは順ファイルでなければなりません。この報告書ファイルは無効となります。

P2420.cob 16: JMN2411I-S 報告書記述項の報告書名が、REPORT句に指定されていません。この報告書記述項および報告集団記述項は、無効となります。

2.4.218 JMN2421I-S

REPORT句の報告書名 '@1@' が、未定義です。この報告書名は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった報告書名。

例題

```
[P2421. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2421.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA           DIVISION.
000009 FILE            SECTION.
000010 FD REPFIL
000011     REPORT IS REP2.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD        PIC 9(2).
000014 REPORT         SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016     CONTROL CTLD.
000017 01 TYPE CF CTLD.
000018 PROCEDURE      DIVISION.
000019 END PROGRAM      P2421.
```

P2421.cob 10: JMN2001I-S ファイル記述項または整列併合用ファイル記述項には、レコード記述項が従属しなければなりません。ファイル記述項または整列併合用ファイル記述項は、無効になります。

P2421.cob 11: JMN2421I-S REPORT句の報告書名'REP2'が、未定義です。この報告書名は、無効となります。

P2421.cob 15: JMN2411I-S 報告書記述項の報告書名が、REPORT句に指定されていません。この報告書記述項および報告集団記述項は、無効となります。

詳細な説明

報告書名(報告書記述項のレベル指示語RDに続く名標)は、関連する報告書ファイルのファイル記述項のREPORT句で指定しなければなりません。

2.4.219 JMN2422I-S

REPORT句の報告書名'@1@'が、一意ではありません。この報告書名は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった報告書名。

例題

```
[P2422. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2422.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD REPFIL
000011 REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD PIC 9(2).
000014 01 REP1 PIC 9(2).
000015 REPORT SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66
000017 CONTROL CTLD.
000018 01 TYPE CF CTLD.
000019 PROCEDURE DIVISION.
000020 END PROGRAM P2422.
```

P2422.cob 10: JMN2001I-S ファイル記述項または整列併合用ファイル記述項には、レコード記述項が従属しなければなりません。ファイル記述項または整列併合用ファイル記述項は、無効になります。

P2422.cob 11: JMN2422I-S REPORT句の報告書名'REP1'が、一意ではありません。この報告書名は、無効となります。

P2422.cob 16: JMN2411I-S 報告書記述項の報告書名が、REPORT句に指定されていません。この報告書記述項および報告集団記述項は、無効となります。

2.4.220 JMN2423I-S

REPORT句の名標'@1@'は、報告書名でなければなりません。この名標は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった利用者語。

例題

```
[P2423. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000002 PROGRAM-ID.    P2423.
000003 ENVIRONMENT   DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT  SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA          DIVISION.
000009 FILE            SECTION.
000010 FD REPFIL
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD        PIC 9(2).
000014 01 REP1        PIC 9(2).
000015 PROCEDURE       DIVISION.
000016 END PROGRAM      P2423.

```

P2423.cob 10: JMN2001I-S ファイル記述項または整列併合用ファイル記述項には、レコード記述項が従属しなければなりません。ファイル記述項または整列併合用ファイル記述項は、無効となります。

P2423.cob 11: JMN2423I-S REPORT句の名標'REP1'は、報告書名でなければなりません。この名標は、無効となります。

詳細な説明

REPORT句に指定する名標は、報告書名(報告書記述項のレベル指示語RDに続けて指定する名前)と同じものでなければなりません。

2.4.221 JMN2424I-S

CONTROL句の制御データ名 '@1@' は、未定義です。この制御データ名は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```

[P2424.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    P2424.
000003 ENVIRONMENT   DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT  SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD REPFIL REPORT REP1.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 REPORT          SECTION.
000012 RD REP1 PAGE  46
000013     HEADING 1
000014     FIRST DETAIL  7
000015     LAST DETAIL  44
000016     CONTROL WCTL.
000017 01 TYPE PAGE HEADING.
000018 02 LINE 01 COLUMN 35 PIC X(5) VALUE SPACE.
000019 PROCEDURE       DIVISION.
000020 END PROGRAM      P2424.

```

P2424.cob 16: JMN2424I-S CONTROL句の制御データ名'WCTL'は、未定義です。この制御データ名は、無効となります。

2.4.222 JMN2425I-S

CONTROL句の制御データ名 '@1@' は、一意ではありません。この制御データ名は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名.

例題

```
[P2425.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2425.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD REPFIL
000011 REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD PIC S9(9).
000014 01 CTLD PIC S9(9).
000015 REPORT SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66
000017 CONTROL CTLD.
000018 01 TYPE DE.
000019 PROCEDURE DIVISION.
000020 END PROGRAM P2425.
```

P2425.cob 17: JMN2425I-S CONTROL句の制御データ名'CTL'Dは、一意ではありません。この制御データ名は、無効となります。

2.4.223 JMN2426I-S

CONTROL句の制御データ名'@1@'は、可変長項目であってはなりません。この制御データ名は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名.

例題

```
[P2426.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2426.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD REPFIL
000011 REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD.
000014 02 WDPEND PIC S9(2).
000015 02 WOCC OCCURS 10 DEPENDING ON WDPEND
000016 PIC X.
000017 REPORT SECTION.
000018 RD REP1 PAGE 66
000019 CONTROL CTLD.
000020 01 TYPE DE.
000021 PROCEDURE DIVISION.
000022 END PROGRAM P2426.
```

P2426.cob 19: JMN2426I-S CONTROL句の制御データ名'CTLD'は、可変長項目であってはなりません。この制御データ名は、無効となります。

詳細な説明

制御データ名(CONTROL句に指定したデータ名)のデータ記述項は、DEPENDING ON指定付きのOCCURS句が指定された項目、あるいはそれを含む項目であってはなりません。

2.4.224 JMN2427I-S

CONTROL句の制御データ名 '@1@'は、添字を必要とする項目であってはなりません。この制御データ名は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2427.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2427.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD REPFIL
000011 REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 .
000014 02 CTLD OCCURS 10
000015 PIC X.
000016 REPORT SECTION.
000017 RD REP1 PAGE 66
000018 CONTROL CTLD.
000019 01 TYPE DE.
000020 PROCEDURE DIVISION.
000021 END PROGRAM P2427.
```

P2427.cob 18: JMN2427I-S CONTROL句の制御データ名'CTLD'は、添字を必要とする項目であってはなりません。この制御データ名は、無効となります。

詳細な説明

制御データ名(CONTROL句に指定したデータ名)のデータ記述項は、OCCURS句が指定された項目あるいはそれに従属する項目であってはなりません。

2.4.225 JMN2428I-S

CONTROL句の制御データ名 '@1@'は、すでにこの句で指定されています。この制御データ名は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2428.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2428.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
```

```

000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD REPFIL
000011 REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD1 PIC 9.
000014 01 CTLD2 PIC 9.
000015 01 CTLD3 PIC 9.
000016 REPORT SECTION.
000017 RD REP1 PAGE 66
000018 CONTROL CTLD1 CTLD2 CTLD1.
000019 01 TYPE DE.
000020 PROCEDURE DIVISION.
000021 END PROGRAM P2428.

```

P2428.cob 18: JMN2428I-S CONTROL句の制御データ名'CTLD1'は、すでにこの句で指定されています。この制御データ名は、無効となります。

2.4.226 JMN2429I-S

CONTROL句の制御データ名 '@1@' は、報告書節に定義されてはなりません。この制御データ名は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```

[P2429.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2429.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD REPFIL
000011 REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 REPORT SECTION.
000014 RD REP1 PAGE 66
000015 CONTROL CTLD.
000016 01 TYPE DE.
000017 02 LINE PLUS 1.
000018 03 CTLD COLUMN 10 PIC X VALUE SPACE.
000019 PROCEDURE DIVISION.
000020 END PROGRAM P2429.

```

P2429.cob 15: JMN2429I-S CONTROL句の制御データ名'CTLD'は、報告書節に定義されてはなりません。この制御データ名は、無効となります。

2.4.227 JMN2430I-S

NEXT PAGE指定は、報告集団の最初のLINE句以外に指定できません。NEXT PAGE指定は、無効となります。

例題

```
[P2430.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2430.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD REPFIL
000010 REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01 PIC X(10).
000013 01 WS02 PIC X(10).
000014 REPORT SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66.
000016 01 TYPE DE.
000017 02 LINE 8.
000018 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000019 02 LINE 10 NEXT PAGE.
000020 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS02.
000021 PROCEDURE DIVISION.
000022 END PROGRAM P2430.
```

P2430.cob 19: JMN2430I-S NEXT PAGE指定は、報告集団の最初のLINE句以外に指定できません。NEXT PAGE指定は、無効となります。

2.4.228 JMN2431I-S

LINE句は、LINE句を持つ集団項目に従属する項目に指定できません。そのまま処理を続行します。

例題

```
[P2431.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2431.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD REPFIL
000010 REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01 PIC X(10).
000013 01 WS02 PIC X(10).
000014 REPORT SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66.
000016 01 TYPE DE.
000017 02 LINE 8.
000018 03 LINE 9
000019 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000020 PROCEDURE DIVISION.
000021 END PROGRAM P2431.
```

P2431.cob 18: JMN2431I-S LINE句は、LINE句を持つ集団項目に従属する項目に指定できません。そのまま処理を続行します。

2.4.229 JMN2432I-S

同一報告集団中にすでに相対値指定のLINE句が指定されている場合、絶対値指定のLINE句は指定できません。

例題

```
[P2432.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2432.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD REPFIL
000010 REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01 PIC X(10).
000013 01 WS02 PIC X(10).
000014 REPORT SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66.
000016 01 TYPE DE.
000017 02 LINE PLUS 1.
000018 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000019 02 LINE 10.
000020 03 COLUMN 20 PIC X(10) SOURCE WS02.
000021 PROCEDURE DIVISION.
000022 END PROGRAM P2432.
```

P2432.cob 19: JMN2432I-S 同一報告集団中にすでに相対値指定のLINE句が指定されている場合、絶対値指定のLINE句は指定できません。

P2432.cob 20: JMN2488I-S COLUMN NUMBER句は、LINE NUMBER句を含む記述項またはLINE NUMBER句を含む記述項に從属する記述項に限り指定することができます。そのまま処理を続行します。

詳細な説明

1つの報告集団記述項において、絶対的なLINE NUMBER句は、相対的なLINE NUMBER句よりも前になければなりません。

2.4.230 JMN2433I-S

LINE句の絶対値指定の整数は、昇順でなければなりません。

例題

```
[P2433.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2433.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD REPFIL
000010 REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01 PIC X(10).
000013 01 WS02 PIC X(10).
000014 REPORT SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66.
000016 01 TYPE DE.
000017 02 LINE 12.
000018 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000019 02 LINE 10.
```

```
000020 03 COLUMN 20 PIC X(10) SOURCE WS02.
000021 PROCEDURE DIVISION.
000022 END PROGRAM P2433.
```

P2433.cob 19: JMN2433I-S LINE句の絶対値指定の整数は、昇順でなければなりません。

P2433.cob 20: JMN2488I-S COLUMN NUMBER句は、LINE NUMBER句を含む記述項またはLINE NUMBER句を含む記述項に従属する記述項に限り指定することができます。そのまま処理を続行します。

詳細な説明

LINE NUMBER句では報告集団の縦の位置を指定します。報告集団記述項を宣言順に参照したとき、それらに指定されているLINE NUMBER句の値(絶対値指定)は昇順になっているようにしてください。なおこれらの値は、連続している必要はありません。

2.4.231 JMN2434I-S

CONTROL句の制御データ名 '@1@' は手続きポインタデータ項目であってはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2434.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2434.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD REPFIL REPORT IS REP1.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 WPPT PROCEDURE-POINTER.
000012 01 WDATE PIC 9(4).
000013 REPORT SECTION.
000014 RD REP1 PAGE 66 HEADING 5
000015 FIRST DETAIL 6
000016 LAST DETAIL 55
000017 FOOTING 60
000018 CONTROL WPPT.
000019 01 TYPE CH WPPT.
000020 02 PIC 9(4) SOURCE WDATE.
000021 PROCEDURE DIVISION.
000022 END PROGRAM P2434.
```

P2434.cob 18: JMN2434I-S CONTROL句の制御データ名'WPPT'は手続きポインタデータ項目であってはなりません。

P2434.cob 19: JMN2457I-S TYPE句の名標'WPPT'は、制御データ名でなければなりません。

2.4.232 JMN2435I-S

報告書記述項にPAGE句の指定がない場合、絶対値指定のLINE句は指定できません。

例題

```
[P2435.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2435.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
```

```

000006    SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE           SECTION.
000009 FD REPFIL
000010    REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01        PIC X(10).
000013 REPORT         SECTION.
000014 RD REP1.
000015 01 TYPE DE.
000016 02 LINE 10.
000017 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000018 PROCEDURE      DIVISION.
000019 END PROGRAM     P2435.

```

P2435.cob 16: JMN2435I-S 報告書記述項にPAGE句の指定がない場合、絶対値指定のLINE句は指定できません。

P2435.cob 17: JMN2488I-S COLUMN NUMBER句は、LINE NUMBER句を含む記述項またはLINE NUMBER句を含む記述項に從属する記述項に限り指定することができます。そのまま処理を続行します。

詳細な説明

PAGE句では、報告集団が表示されるページの縦の範囲を指定します。すべての報告集団は1つのページ内に納まるように記述しなければなりません。PAGE句によって縦の範囲が示されていないときは、絶対的なLINE NUMBER句で指定した値が正当な値か(ページ内に収まる縦位置か)どうかを判断することができません。

2.4.233 JMN2436I-S

報告書頭書き報告集団、ページ頭書き報告集団またはページ脚書き報告集団にLINE句を指定する場合、NEXT PAGEは指定できません。

例題

```

[P2436.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2436.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006    SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE           SECTION.
000009 FD REPFIL
000010    REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01        PIC X(10).
000013 01 WS02        PIC X(10).
000014 REPORT         SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016    HEADING 2
000017    FIRST DETAIL 6.
000018 01 TYPE PH.
000019 02 LINE 2 NEXT PAGE.
000020 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000021 PROCEDURE      DIVISION.
000022 END PROGRAM     P2436.

```

P2436.cob 19: JMN2436I-S 報告書頭書き報告集団、ページ頭書き報告集団またはページ脚書き報告集団にLINE句を指定する場合、NEXT PAGEは指定できません。

P2436.cob 20: JMN2488I-S COLUMN NUMBER句は、LINE NUMBER句を含む記述項またはLINE NUMBER句を含む記述項に從属する記述項に限り指定することができます。そのまま処理を続行します。

2.4.234 JMN2437I-S

ページ脚書き報告集団の最初のLINE句は、絶対値指定でなければなりません。

例題

```
[P2437. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2437.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE             SECTION.
000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01         PIC X(10).
000013 01 WS02         PIC X(10).
000014 REPORT          SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016     HEADING 2
000017     LAST DETAIL 60.
000018 01 TYPE PF.
000019     02 LINE PLUS 1.
000020     03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000021 PROCEDURE        DIVISION.
000022 END PROGRAM      P2437.
```

P2437.cob 19: JMN2437I-S ページ脚書き報告集団の最初のLINE句は、絶対値指定でなければなりません。

P2437.cob 20: JMN2488I-S COLUMN NUMBER句は、LINE NUMBER句を含む記述項またはLINE NUMBER句を含む記述項に従属する記述項に限り指定することができます。そのまま処理を続行します。

2.4.235 JMN2438I-S

同一報告書ファイルに、CODE句のある報告書と、CODE句のない報告書が混在することはできません。そのまま処理を続行します。

例題

```
[P2438. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2438.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE             SECTION.
000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1 REP2.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01         PIC X(10).
000013 01 WS02         PIC X(10).
000014 REPORT          SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016     CODE "XX".
000017 01 TYPE DE.
000018     02 LINE 12.
000019     03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000020 RD REP2 PAGE 66.
```

```
000021 01 TYPE DE.
000022 02 LINE 12.
000023 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000024 PROCEDURE DIVISION.
000025 END PROGRAM P2438.
```

P2438.cob 20: JMN2438I-S 同一報告書ファイルに、CODE句のある報告書と、CODE句のない報告書が混在することはできません。そのまま処理を続行します。

詳細な説明

CODE句を指定すると、同句で指定した2文字の定数が報告書の各レコードの左端に自動的に付けられます。CODE句の有無は報告書ファイル単位で統一しなければなりません。

2.4.236 JMN2439I-S

報告書記述項にPAGE句の指定がない場合、NEXT GROUP句は相対値指定でなければなりません。

例題

```
[P2439.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2439.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD REPFIL
000010 REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01 PIC X(10).
000013 01 WS02 PIC X(10).
000014 REPORT SECTION.
000015 RD REP1.
000016 01 TYPE DE NEXT GROUP 22.
000017 02 LINE PLUS 1.
000018 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000019 02 LINE PLUS 2.
000020 03 COLUMN 20 PIC X(10) SOURCE WS02.
000021 PROCEDURE DIVISION.
000022 END PROGRAM P2439.
```

P2439.cob 16: JMN2439I-S 報告書記述項にPAGE句の指定がない場合、NEXT GROUP句は相対値指定でなければなりません。

2.4.237 JMN2440I-S

ページ脚書き報告集団にNEXT GROUP句を指定する場合、NEXT PAGEは指定できません。

例題

```
[P2440.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2440.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD REPFIL
000010 REPORT IS REP1.
```

```

000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01          PIC X(10).
000013 01 WS02          PIC X(10).
000014 REPORT          SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016          HEADING 2
000017          LAST DETAIL 60.
000018 01 TYPE PF NEXT GROUP NEXT PAGE.
000019 02 LINE 61.
000020 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000021 PROCEDURE      DIVISION.
000022 END PROGRAM    P2440.

```

P2440.cob 18: JMN2440I-S ページ脚書き報告集団にNEXT GROUP句を指定する場合、NEXT PAGEは指定できません。

2.4.238 JMN2441I-S

NEXT GROUP句は、報告書脚書き報告集団またはページ頭書き報告集団に指定できません。

例題

```

[P2441. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2441.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE           SECTION.
000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01          PIC X(10).
000013 01 WS02          PIC X(10).
000014 REPORT          SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016     HEADING 2
000017     FIRST DETAIL 6.
000018 01 TYPE PH NEXT GROUP PLUS 1.
000019 02 LINE 3.
000020 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000021 PROCEDURE      DIVISION.
000022 END PROGRAM    P2441.

```

P2441.cob 18: JMN2441I-S NEXT GROUP句は、報告書脚書き報告集団またはページ頭書き報告集団に指定できません。

2.4.239 JMN2442I-S

同一タイプ(RH, PH, CH FINAL, CF FINAL, RF, PF)の報告集団は、一つの報告書に複数指定できません。そのまま処理を続行します。

例題

```

[P2442. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2442.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE           SECTION.

```

```

000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01     PIC X(10).
000013 01 WS02     PIC X(10).
000014 REPORT     SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016     HEADING 2
000017     FIRST DETAIL 6.
000018 01 TYPE PH.
000019 02 LINE 2.
000020 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000021 01 TYPE PH.
000022 02 LINE 4.
000023 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000024 PROCEDURE  DIVISION.
000025 END PROGRAM P2442.

```

P2442.cob 21: JMN2442I-S 同一タイプ(RH, PH, CH FINAL, CF FINAL, RF, PF)の報告集団は、一つの報告書に複数指定できません。そのまま処理を続行します。

詳細な説明

報告書頭書き報告集団(REPORT HEADING:RH)、ページ頭書き報告集団(PAGE HEADING:PH)、FINALを指定した制御頭書き報告集団(CONTROL HEADING:CH FINAL)、FINALを指定した制御脚書き報告集団(CONTROL FOOTING:CF FINAL)、ページ脚書き報告集団(PAGE FOOTING:PF)および報告書脚書き報告集団(REPORT FOOTING:RF)は、1つの報告書にそれぞれ1つだけ書くことができます。

2.4.240 JMN2443I-S

報告書記述項にPAGE句の指定がない場合、ページ頭書き報告集団およびページ脚書き報告集団は指定できません。そのまま処理を続行します。

例題

```

[P2443.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     P2443.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT  SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01     PIC X(10).
000013 01 WS02     PIC X(10).
000014 REPORT     SECTION.
000015 RD REP1.
000016 01 TYPE PH.
000017 02 LINE PLUS 1.
000018 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000019 PROCEDURE  DIVISION.
000020 END PROGRAM P2443.

```

P2443.cob 16: JMN2443I-S 報告書記述項にPAGE句の指定がない場合、ページ頭書き報告集団およびページ脚書き報告集団は指定できません。そのまま処理を続行します。

2.4.241 JMN2444I-S

TYPE句の制御データ名 '@1@' は、未定義です。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2444.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2444.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA           DIVISION.
000009 FILE             SECTION.
000010 FD REPFIL
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 REPORT           SECTION.
000014 RD REP1 PAGE 66
000015     CONTROL FINAL.
000016 01 TYPE CF CTLD.
000017 PROCEDURE       DIVISION.
000018 END PROGRAM     P2444.
```

P2444.cob 16: JMN2444I-S TYPE句の制御データ名 'CTLD' は、未定義です。

2.4.242 JMN2445I-S

TYPE句の制御データ名 '@1@' は、一意ではありません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2445.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2445.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA           DIVISION.
000009 FILE             SECTION.
000010 FD REPFIL
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD          PIC X(1).
000014 01 CTLD          PIC X(2).
000015 REPORT           SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66
000017     CONTROL FINAL.
000018 01 TYPE CF CTLD.
000019 PROCEDURE       DIVISION.
000020 END PROGRAM     P2445.
```

P2445.cob 18: JMN2445I-S TYPE句の制御データ名 'CTLD' は、一意ではありません。

2.4.243 JMN2446I-S

TYPE句の名標 '@1@'は、データ名として定義されていません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった利用者語.

例題

```
[P2446.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2446.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA           DIVISION.
000009 FILE            SECTION.
000010 FD REPFIL
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD         PIC X(1).
000014 01 CTLD         PIC X(2).
000015 REPORT          SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66
000017     CONTROL FINAL.
000018 01 TYPE CF REPFIL.
000019 PROCEDURE       DIVISION.
000020 LABEL01.
000021 END PROGRAM      P2446.
```

P2446.cob 18: JMN2446I-S TYPE句の名標'REPFIL'は、データ名として定義されていません。

2.4.244 JMN2447I-S

CONTROL句にFINAL指定がない場合、TYPE句にFINALは指定できません。

例題

```
[P2447.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2447.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA           DIVISION.
000009 FILE            SECTION.
000010 FD REPFIL
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD         PIC X(1).
000014 REPORT          SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016     CONTROL CTLD.
000017 01 TYPE CF FINAL.
000018 PROCEDURE       DIVISION.
000019 LABEL01.
000020 END PROGRAM      P2447.
```

P2447.cob 17: JMN2447I-S CONTROL句にFINAL指定がない場合、TYPE句にFINALは指定できません。

2.4.245 JMN2449I-S

印字項目の印字位置が重なっています。そのまま処理を続行します。

例題

```
[P2449.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2449.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD REPFIL
000010 REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01 PIC X(10).
000013 01 WS02 PIC X(10).
000014 REPORT SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66.
000016 01 TYPE DE.
000017 02 LINE 12.
000018 03 COLUMN 10 PIC X(15) SOURCE WS01.
000019 03 COLUMN 20 PIC X(10) SOURCE WS02.
000020 PROCEDURE DIVISION.
000021 END PROGRAM P2449.
```

P2449.cob 19: JMN2449I-S 印字項目の印字位置が重なっています。そのまま処理を続行します。

詳細な説明

COLUMN NUMBER句によって印字行の上での印字位置が指定されましたが、前の項目の印字終了位置が次の項目の印字開始位置を超えており、印字位置が重なっています。

解析は続行しますが、このときオブジェクトファイルや実行形式は生成されません。

2.4.246 JMN2450I-S

GROUP INDICATE句は明細報告集団以外に指定できません。

例題

```
[P2450.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2450.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD REPFIL
000010 REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01 PIC X(10).
000013 01 WS02 PIC X(10).
000014 REPORT SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016 HEADING 2
000017 FIRST DETAIL 6.
```

```
000018 01 TYPE PH GROUP INDICATE.
000019 02 LINE 2.
000020 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000021 PROCEDURE DIVISION.
000022 END PROGRAM P2450.
```

P2450.cob 18: JMN2450I-S GROUP INDICATE句は明細報告集団以外に指定できません。

詳細な説明

GROUP INDICATE句は、制御切れまたは改ページの後で最初に出てくる明細報告集団のときだけこれを表示することを指示する句です。

2.4.247 JMN2451I-S

データ名 '@1@' は、添字付けしなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2451.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2451.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD REPFIL
000010 REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 .
000013 02 WS01 PIC X(10) OCCURS 10.
000014 REPORT SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66.
000016 01 TYPE DE.
000017 02 LINE 12.
000018 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000019 PROCEDURE DIVISION.
000020 END PROGRAM P2451.
```

P2451.cob 18: JMN2451I-S データ名 'WS01' は、添字付けしなければなりません。

詳細な説明

表(OCCURS句を指定したデータ記述項)中の要素を一意に参照するためには、添字付けが必要です。

2.4.248 JMN2452I-S

@1@句の添字または部分参照子は、添字を必要とするデータ名 '@2@' であってはなりません。添字または部分参照子に1が指定されたものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : SOURCEまたはSUM.

@2@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2452. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2452.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 .
000013 02 WIX1         PIC 9(10) OCCURS 10.
000014 02 WS01        PIC X(10) OCCURS 10.
000015 REPORT         SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66.
000017 01 TYPE DE.
000018 02 LINE 12.
000019 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01(WIX1).
000020 PROCEDURE      DIVISION.
000021 END PROGRAM    P2452.
```

P2452.cob 19: JMN2452I-S SOURCE句の添字または部分参照子は、添字を必要とするデータ名'WIX1'であってはなりません。添字または部分参照子に1が指定されたものとみなします。

詳細な説明

句に指定した一意名の添字または部分参照子で記述したデータ名は、OCCURS句を指定したデータ記述項あるいはそれに従属するデータ記述項のデータ名であってはなりません。

2.4.249 JMN2457I-S

TYPE句の名標'@1@'は、制御データ名でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった利用者語.

例題

```
[P2457. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2457.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA           DIVISION.
000009 FILE            SECTION.
000010 FD REPFIL
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD         PIC X(1).
000014 REPORT         SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016     CONTROL FINAL.
000017 01 TYPE CF CTLD.
000018 PROCEDURE      DIVISION.
000019 END PROGRAM    P2457.
```

P2457.cob 17: JMN2457I-S TYPE句の名標'CTLD'は、制御データ名でなければなりません。

詳細な説明

TYPE句のCONTROL HEADING指定またはCONTROL FOOTING指定に続けて指定されたデータ名は、報告書記述項のCONTROL句にも指定しておかなければなりません。

2.4.250 JMN2458I-S

同一制御レベルの制御頭書き報告集団または制御脚書き報告集団は複数指定できません。

例題

```
[P2458.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2458.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD REPFIL
000011 REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD PIC X(1).
000014 REPORT SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016 CONTROL FINAL CTLD.
000017 01 TYPE CF CTLD.
000018 01 TYPE CF CTLD.
000019 PROCEDURE DIVISION.
000020 END PROGRAM P2458.
```

P2458.cob 18: JMN2458I-S 同一制御レベルの制御頭書き報告集団または制御脚書き報告集団は複数指定できません。

2.4.251 JMN2459I-S

CONTROL句の名標'@1@'はデータ名として定義されていません。この名標は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった利用者語。

例題

```
[P2459.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2459.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD REPFIL
000011 REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD PIC X(1).
000014 01 CTLD PIC X(2).
000015 REPORT SECTION.
```

```
000016 RD REP1 PAGE 66
000017 CONTROL FINAL REP1.
000018 01 TYPE CF FINAL.
000019 PROCEDURE DIVISION.
000020 LABEL01.
000021 END PROGRAM P2459.
```

P2459.cob 17: JMN2459I-S CONTROL句の名標'REP1'はデータ名として定義されていません。この名標は、無効となります。

2.4.252 JMN2460I-S

@1@句の整数は表示範囲の上限を超えてはなりません。そのまま処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : LINEまたはNEXT GROUP.

例題

```
[P2460.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2460.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD REPFIL
000011 REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD PIC X(1).
000014 01 CTLD PIC X(2).
000015 REPORT SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66
000017 FIRST DETAIL 10.
000018 01 TYPE DE LINE 9.
000019 02 COLUMN 10 PIC X(20) VALUE SPACE.
000020 PROCEDURE DIVISION.
000021 END PROGRAM P2460.
```

P2460.cob 18: JMN2460I-S LINE句の整数は表示範囲の上限を超えてはなりません。そのまま処理を続行します。

詳細な説明

すべての報告集団は1つのページ内に納まるように記述しなければなりません。

2.4.253 JMN2461I-S

@1@句の整数は表示範囲の下限を超えてはなりません。そのまま処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : LINEまたはNEXT GROUP.

例題

```
[P2461.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2461.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
```

```

000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD REPFIL
000011 REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD PIC X(1).
000014 01 CTLD PIC X(2).
000015 REPORT SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66
000017 LAST DETAIL 60.
000018 01 TYPE DE LINE 65.
000019 02 COLUMN 10 PIC X(20) VALUE SPACE.
000020 PROCEDURE DIVISION.
000021 END PROGRAM P2461.

```

P2461.cob 18: JMN2461I-S LINE句の整数は表示範囲の下限を超えてはなりません。そのまま処理を続行します。

詳細な説明

すべての報告集団は1つのページ内に納まるように記述しなければなりません。

2.4.254 JMN2462I-S

@1@句に許されない語'@2@'が現れました。次の認識できる一意名、句、段落、節または部まで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : SOURCEまたはSUM.
 @2@ : 許されない語.

例題

```

[P2463.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2463.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD REPFIL
000010 REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01 PIC X(10).
000013 01 WS02 PIC X(10).
000014 REPORT SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66.
000016 01 TYPE DE.
000017 02 LINE 12.
000018 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01(1:5) WS02.
000019 PROCEDURE DIVISION.
000020 END PROGRAM P2463.

```

P2463.cob 18: JMN2462I-S SOURCE句に許されない語'WS02'が現れました。次の認識できる一意名、句、段落、節または部まで無効になります。

2.4.255 JMN2463I-S

SOURCE句の一意名に許されない語'@1@'が現れました。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 許されない語.

例題

```
[P2463.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2463.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01         PIC X(10).
000013 01 WS02         PIC X(10).
000014 REPORT          SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66.
000016 01 TYPE DE.
000017     02 LINE 12.
000018     03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01 WS02.
000019 PROCEDURE        DIVISION.
000020 END PROGRAM       P2463.
```

P2463.cob 18: JMN2463I-S SOURCE句の一意名に許されない語'WS02'が現れました。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

2.4.256 JMN2464I-S

SUM句の一意名に許されない語 '@1@' が現れました。 次の認識できる一意名、句、段落、節または部まで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 許されない語.

例題

```
[P2464.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2464.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA           DIVISION.
000009 FILE            SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD          PIC 9(2).
000014 REPORT          SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016     CONTROL CTLD.
000017 01 DE-1 TYPE DE.
000018     02 LINE PLUS 1.
000019     03 TARGET COLUMN 10
000020             PIC S9(4) SOURCE CTLD.
```



```
000021 01 TYPE CF CTLD.
000022 02          PIC S9(4) SUM CTLD "CTLD".
000023 PROCEDURE  DIVISION.
000024 END PROGRAM P2464.
```

P2464.cob 22: JMN2464I-S SUM句の一意名に許されない語"CTLD"が現れました。次の認識できる一意名、句、段落、節または部まで無効になります。

2.4.257 JMN2465I-S

SUM句の一意名 '@1@' には、添字の指定ができません。添字の指定を無効とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2465.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2465.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA           DIVISION.
000009 FILE            SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD        PIC 9(2).
000014 01 WITM        PIC 9(2).
000015 REPORT         SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66
000017     CONTROL CTLD.
000018 01 TYPE CF CTLD.
000019 02          PIC S9(4) SUM WITM(2).
000020 PROCEDURE      DIVISION.
000021 END PROGRAM     P2465.
```

P2465.cob 19: JMN2465I-S SUM句の一意名 'WITM' には、添字の指定ができません。添字の指定を無効とみなします。

2.4.258 JMN2466I-S

@1@ 句の添字に許されない語 '@2@' が現れました。添字に1が指定されたものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : SOURCE または SUM.

@2@ : 許されない語.

例題

```
[P2466.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2466.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA           DIVISION.
```

```

000009 FILE SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011 REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD PIC 9(2).
000014 01 .
000015 02 WITM PIC 9(2) OCCURS 10.
000016 REPORT SECTION.
000017 RD REP1 PAGE 66
000018 CONTROL CTLD.
000019 01 TYPE CF CTLD.
000020 02 PIC S9(4) SUM WITM(-2).
000021 PROCEDURE DIVISION.
000022 END PROGRAM P2466.

```

P2466.cob 20: JMN2466I-S SUM句の添字に許されない語'-2'が現れました。添字に1が指定されたものとみなします。

2.4.259 JMN2467I-S

添字または部分参照子の指定に右括弧がありません。右括弧を補います。

例題

```

[P2467.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2467.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011 REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD PIC 9(2).
000014 01 .
000015 02 WITM PIC 9(2) OCCURS 10.
000016 REPORT SECTION.
000017 RD REP1 PAGE 66
000018 CONTROL CTLD.
000019 01 TYPE CF CTLD.
000020 02 PIC S9(4) SUM WITM(2).
000021 PROCEDURE DIVISION.
000022 END PROGRAM P2467.

```

P2467.cob 21: JMN2467I-S 添字または部分参照子の指定に右括弧がありません。右括弧を補います。

詳細な説明

添字または部分参照子の記述では、左括弧と右括弧が1対1に対応していなければなりません。
右括弧を補って解析を続行しますが、このときオブジェクトファイルや実行形式は生成されません。

2.4.260 JMN2468I-S

SOURCE句の部分参照子に許されない語 '@1@' が現れました。部分参照子に1が指定されたものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 許されない語。

例題

```
[P2468.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2468.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA            DIVISION.
000008 FILE             SECTION.
000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01          PIC X(10).
000013 01 WS02          PIC X(10).
000014 REPORT           SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66.
000016 01 TYPE DE.
000017 02 LINE 12.
000018 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01(-1:10).
000019 PROCEDURE        DIVISION.
000020 END PROGRAM        P2468.
```

P2468.cob 18: JMN2468I-S SOURCE句の部分参照子に許されない語'-1'が現れました。部分参照子に1が指定されたものとみなします。

詳細な説明

データ項目や関数値を部分参照したい場合、データ名または関数一意名に部分参照子を付けます。部分参照子は、部分参照の対象となるデータ名または関数一意名の後ろに左括弧を1つ書き、最左端文字位置を示す算術式を記述します。さらにその後ろに:(コロン)を記述し、部分参照する長さを示す算術式を記述して、先の左括弧の対になる右括弧を記述します。コロンの前後には、分離符の空白を書くこともできます。長さを示す算術式は省略することができますが、コロンは省略できません。

2.4.261 JMN2469I-S

SOURCE句で、部分参照子の指定にコロンがありません。コロンを補います。

例題

```
[P2469.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2469.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA            DIVISION.
000008 FILE             SECTION.
000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01          PIC X(10).
000013 01 WS02          PIC X(10).
000014 REPORT           SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66.
000016 01 TYPE DE.
000017 02 LINE 12.
000018 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01(1).
000019 PROCEDURE        DIVISION.
000020 END PROGRAM        P2469.
```

P2469.cob 18: JMN2469I-S SOURCE句で、部分参照子の指定にコロンがありません。コロンを補います。

詳細な説明

部分参照子では、長さを示す算術式は省略することができますが、コロンは省略できません。

2.4.262 JMN2470I-S

@1@句の添字に指定された名標'@2@'は、一意なデータ名または指標名でなければなりません。添字に1が指定されたものとみなします。

埋め込みの説明

- @1@ : SOURCEまたはSUM.
- @2@ : エラーの原因となった利用者語.

例題

```
[P2470. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.        P2470.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL  ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA              DIVISION.
000008 FILE                SECTION.
000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 .
000013 02 WS01            PIC X(10) OCCURS 10.
000014 REPORT            SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66.
000016 01 TYPE DE.
000017 02 LINE 12.
000018 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01(WIX).
000019 PROCEDURE          DIVISION.
000020 END PROGRAM        P2470.
```

P2470.cob 18: JMN2470I-S SOURCE句の添字に指定された名標'WIX'は、一意なデータ名または指標名でなければなりません。添字に1が指定されたものとみなします。

2.4.263 JMN2471I-S

SOURCE句で、部分参照子に指定された名標'@1@'は、一意なデータ名でなければなりません。部分参照子に1が指定されたものとみなします。

埋め込みの説明

- @1@ : エラーの原因となったデータ名.

例題

```
[P2471. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.        P2471.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL  ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA              DIVISION.
000008 FILE                SECTION.
000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
```

```

000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01          PIC X(10).
000013 REPORT          SECTION.
000014 RD REP1 PAGE 66.
000015 01 TYPE DE.
000016 02 LINE 12.
000017 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01(1:WLEN).
000018 PROCEDURE       DIVISION.
000019 END PROGRAM     P2471.

```

P2471.cob 17: JMN2471I-S SOURCE句で、部分参照子に指定された名標'WLEN'は、一意なデータ名でなければなりません。部分参照子に1が指定されたものとみなします。

2.4.264 JMN2472I-S

RESET句は、CONTROL句のない報告書に指定できません。

例題

```

[P2472.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2472.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA            DIVISION.
000009 FILE             SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 WITM1         PIC 9(2).
000014 01 WITM2         PIC 9(2).
000015 REPORT          SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66.
000017 01 TYPE CF WITM1.
000018 02              PIC S9(4) SUM WITM1 RESET WITM2.
000019 PROCEDURE       DIVISION.
000020 END PROGRAM     P2472.

```

P2472.cob 17: JMN2457I-S TYPE句の名標'WITM1'は、制御データ名でなければなりません。

P2472.cob 18: JMN2472I-S RESET句は、CONTROL句のない報告書に指定できません。

詳細な説明

RESETに指定するデータ名は、報告書のCONTROL句に書いたデータ名の1つでなければなりません。RESET指定にFINALを書く場合には、この報告書のCONTROL句にもFINALを書いておかなければなりません。

2.4.265 JMN2473I-S

RESET句にFINALを指定する場合、その報告書のCONTROL句にFINALを指定しなければなりません。

例題

```

[P2473.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2473.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.

```

```

000007 I-0-CONTROL.
000008 DATA          DIVISION.
000009 FILE           SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 WITM1       PIC 9(2).
000014 01 WITM2       PIC 9(2).
000015 REPORT         SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66
000017     CONTROL WITM1.
000018 01 TYPE CF WITM1.
000019 02             PIC S9(4) SUM WITM1 RESET FINAL.
000020 PROCEDURE      DIVISION.
000021 END PROGRAM    P2473.

```

P2473.cob 19: JMN2473I-S RESET句にFINALを指定する場合、その報告書のCONTROL句にFINALを指定しなければなりません。

2.4.266 JMN2474I-S

RESET句のデータ名 '@1@' は、RESET句が指定された制御脚書き報告集団の制御階層と等しいかまたは上位の制御データ名でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```

[P2474.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2474.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-0-CONTROL.
000008 DATA          DIVISION.
000009 FILE           SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 WITM1       PIC 9(2).
000014 01 WITM2       PIC 9(2).
000015 REPORT         SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66
000017     CONTROL WITM1 WITM2.
000018 01 TYPE CF WITM1.
000019 02             PIC S9(4) SUM WITM1 RESET WITM2.
000020 PROCEDURE      DIVISION.
000021 END PROGRAM    P2474.

```

P2474.cob 19: JMN2474I-S RESET句のデータ名 'WITM2' は、RESET句が指定された制御脚書き報告集団の制御階層と等しいかまたは上位の制御データ名でなければなりません。

2.4.267 JMN2475I-S

報告集団記述項のレベル番号01の項目にTYPE句が指定されていません。この報告集団記述項は、無効になります。

例題

```
[P2475.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2475.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA           DIVISION.
000009 FILE            SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 WITM1        PIC 9(2).
000014 01 WITM2        PIC 9(2).
000015 REPORT          SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66
000017     CONTROL WITM1 WITM2.
000018 01 .
000019 02              PIC S9(4).
000020 PROCEDURE       DIVISION.
000021 END PROGRAM      P2475.
```

P2475.cob 16: JMN2000I-S 報告書記述項には、報告集団記述項が従属しなければなりません。報告書記述項は、無効になります。

P2475.cob 18: JMN2475I-S 報告集団記述項のレベル番号01の項目にTYPE句が指定されていません。この報告集団記述項は、無効になります。

詳細な説明

報告集団記述項の最初の項目は、TYPE句を指定したレベル番号01の項目でなければなりません。TYPE句は、報告集団の種類と表示すべき時点を指定します。

2.4.268 JMN2476I-S

NEXT GROUP句は、LINE NUMBER句の指定がない報告集団記述項に指定できません。そのまま処理を続行します。

例題

```
[P2476.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2476.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD REPFIL1
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01          PIC X(10).
000013 01 WS02          PIC X(10).
000014 REPORT          SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016     HEADING 2
000017     FIRST DETAIL 6.
000018 01 TYPE RH NEXT GROUP PLUS 1.
000019 02 .
000020 03              PIC X(10) SOURCE WS01.
```

```
000021 PROCEDURE      DIVISION.
000022 END PROGRAM    P2476.
```

P2476.cob 18: JMN2476I-S NEXT GROUP句は、LINE NUMBER句の指定がない報告集団記述項に指定できません。そのまま処理を続行します。

2.4.269 JMN2477I-S

報告集団記述項のUSAGE句は、印字項目を含まない集団項目に指定できません。そのまま処理を続行します。

例題

```
[P2477. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2477.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01         PIC X(10).
000013 REPORT          SECTION.
000014 RD REP1 PAGE 66.
000015 01 TYPE DE LINE 12 DISPLAY.
000016 02              PIC X    SOURCE WS01.
000017 PROCEDURE       DIVISION.
000018 END PROGRAM      P2477.
```

P2477.cob 15: JMN2477I-S 報告集団記述項のUSAGE句は、印字項目を含まない集団項目に指定できません。そのまま処理を続行します。

2.4.270 JMN2478I-S

COLUMN句とPRINTING POSITION句は同一報告集団内に混在してはいけません。そのまま処理を続行します。

例題

```
[P2478. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2478.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01         PIC X(10).
000013 01 WS02         PIC X(10).
000014 REPORT          SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016     HEADING 2
000017     FIRST DETAIL 6.
000018 01 TYPE RH.
000019 02 LINE 3.
```



```

000020 03 PIC X(10) SOURCE WS01
000021 COLUMN 1.
000022 03 PIC X(10) SOURCE WS01
000023 PRINTING POSITION 12.
000024 PROCEDURE DIVISION.
000025 END PROGRAM P2478.

```

P2478.cob 18: JMN2478I-S COLUMN句とPRINTING POSITION句は同一報告集団内に混在してはいけません。そのまま処理を続行します。

2.4.271 JMN2480I-S

報告集団記述項の基本項目には、SOURCE句、SUM句またはVALUE句のいずれか一つを指定しなければなりません。そのまま処理を続行します。

例題

```

[P2480.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2480.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD REPFIL
000011 REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD PIC X(1).
000014 01 CTLD PIC X(2).
000015 REPORT SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66
000017 FIRST DETAIL 10.
000018 01 TYPE DE LINE 12.
000019 02 COLUMN 10 PIC X(20).
000020 PROCEDURE DIVISION.
000021 END PROGRAM P2480.

```

P2480.cob 19: JMN2480I-S 報告集団記述項の基本項目には、SOURCE句、SUM句またはVALUE句のいずれか一つを指定しなければなりません。そのまま処理を続行します。

2.4.272 JMN2481I-S

有効な語が@1@句の一意名の添字または部分参照子に指定されていません。添字または部分参照子に1が指定されたものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : SOURCEまたはSUM.

例題

```

[P2481.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2481.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.

```

```

000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 .
000013 02 WS01     PIC X(10) OCCURS 10.
000014 REPORT     SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66.
000016 01 TYPE DE.
000017 02 LINE 12.
000018 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01().
000019 PROCEDURE  DIVISION.
000020 LB.
000021 END PROGRAM P2481.

```

P2481.cob 18: JMN2481I-S 有効な語がSOURCE句の一意名の添字または部分参照子に指定されていません。添字または部分参照子に1が指定されたものとみなします。

2.4.273 JMN2482I-S

@1@句の一意名に添字が指定された場合、指標名に続く+または-の直後の文字列は整数でなければなりません。1が指定されたものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : SOURCEまたはSUM.

例題

```

[P2482.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2482.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE             SECTION.
000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 .
000013 02 WS01     PIC X(10) OCCURS 10
000014             INDEXED BY WIX.
000015 REPORT     SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66.
000017 01 TYPE DE.
000018 02 LINE 12.
000019 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01(WIX + ).
000020 PROCEDURE  DIVISION.
000021 LB.
000022 END PROGRAM P2482.

```

P2482.cob 19: JMN2482I-S SOURCE句の一意名に添字が指定された場合、指標名に続く+または-の直後の文字列は整数でなければなりません。1が指定されたものとみなします。

詳細な説明

添字の値は、演算子が+のときは+に続く値を指標名の値(出現番号に対応する値)に加えたものに、また、演算子が-のときは-に続く値を指標名の値から引いたものになります。符号に続く値は整数でなければなりません。

2.4.274 JMN2483I-S

基本項目にPICTURE句の指定がありません。 PICTURE句にXが指定されたものとみなします。

例題

```
[P2483.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2483.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD REPFIL
000010 REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 .
000013 02 WS01 PIC X(10) OCCURS 10
000014 INDEXED BY WIX.
000015 REPORT SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66.
000017 01 TYPE DE.
000018 02 LINE 12.
000019 03 COLUMN 10 SOURCE WS01(WIX).
000020 PROCEDURE DIVISION.
000021 LB.
000022 END PROGRAM P2483.
```

P2483.cob 19: JMN2483I-S 基本項目にPICTURE句の指定がありません。 PICTURE句にXが指定されたものとみなします。

詳細な説明

3番目の階層(印字項目)の報告集団記述項には、PICTURE句を指定しなければなりません。

2.4.275 JMN2484I-S

報告書節中の@1@句は、集団項目およびレベル番号01の基本項目に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : SIGN, JUSTIFIED RIGHT, BLANK WHEN ZERO, VALUE, PRINTING POSITION, COLUMN NUMBER, SOURCE, SUMまたはGROUP INDICATE.

例題

```
[P2484.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2484.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD REPFIL
000010 REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01 PIC X(10).
000013 01 WS02 PIC X(10).
000014 REPORT SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016 HEADING 2
000017 FIRST DETAIL 6.
000018 01 TYPE RH.
```

```
000019 02 LINE 3 PRINTING POSITION 2.
000020 03 COLUMN 1 PIC X(10) SOURCE WS01.
000021 PROCEDURE DIVISION.
000022 END PROGRAM P2484.
```

P2484.cob 19: JMN2484I-S 報告書節中のPRINTING POSITION句は、集団項目およびレベル番号01の基本項目に指定できません。

詳細な説明

報告集団記述項は、3つの階層で構成します。各階層では、記述可能な句が決められています。もっとも下位の階層である3番目の階層(印字項目)の報告集団記述項で指定しなければならない句が別の階層の報告集団記述項で指定された場合に、この診断メッセージが出力されます。

2.4.276 JMN2485I-S

報告書節中のPICTURE句は、レベル番号01の項目に指定できません。そのまま処理を続行します。

例題

```
[P2485.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2485.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD REPFIL
000010 REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 .
000013 02 WS01 PIC X(10) OCCURS 10
000014 INDEXED BY WIX.
000015 REPORT SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66.
000017 01 TYPE DE LINE 12
000018 PIC X(10).
000019 PROCEDURE DIVISION.
000020 LB.
000021 END PROGRAM P2485.
```

P2485.cob 18: JMN2485I-S 報告書節中のPICTURE句は、レベル番号01の項目に指定できません。そのまま処理を続行します。

詳細な説明

3番目の階層(印字項目)の報告集団記述項には、PICTURE句を指定しなければなりません。

2.4.277 JMN2486I-S

報告書節中の@1@句は、印字項目に指定しなければなりません。そのまま処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : VALUE, BLANK WHEN ZERO, JUSTIFIEDまたはGROUP INDICATE.

例題

```
[P2486.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2486.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
```

```

000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA         DIVISION.
000008 FILE          SECTION.
000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 .
000013 02 WS01      PIC X(10) OCCURS 10
000014                      INDEXED BY WIX.
000015 REPORT        SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66.
000017 01 TYPE DE LINE 12.
000018 02          VALUE SPACE.
000019 PROCEDURE     DIVISION.
000020 END PROGRAM    P2486.

```

P2486.cob 18: JMN2486I-S 報告書節中のVALUE句は、印字項目に指定しなければなりません。そのまま処理を続行します。

P2486.cob 18: JMN2483I-S 基本項目にPICTURE句の指定がありません。PICTURE句にXが指定されたものとみなします。

詳細な説明

報告集団記述項は、3つの階層で構成します。各階層では、記述可能な句が決められています。

もっとも下位の階層である3番目の階層(印字項目)の報告集団記述項で指定しなければならない句が別の階層の報告集団記述項で指定された場合に、この診断メッセージが出力されます。

2.4.278 JMN2487I-S

報告書節中のUSAGE句を基本項目に指定する場合、その項目は印字項目でなければなりません。そのまま処理を続行します。

例題

```

[P2487.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2487.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA         DIVISION.
000008 FILE          SECTION.
000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01      PIC X(10).
000013 REPORT        SECTION.
000014 RD REP1 PAGE 66.
000015 01 TYPE DE LINE 12.
000016 02          PIC X
000017          DISPLAY SOURCE WS01.
000018 PROCEDURE     DIVISION.
000019 END PROGRAM    P2487.

```

P2487.cob 16: JMN2487I-S 報告書節中のUSAGE句を基本項目に指定する場合、その項目は印字項目でなければなりません。そのまま処理を続行します。

2.4.279 JMN2488I-S

COLUMN NUMBER句は、LINE NUMBER句を含む記述項またはLINE NUMBER句を含む記述項に從属する記述項に限り指定することができます。そのまま処理を続行します。

例題

```
[P2488.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2488.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD REPFIL
000010 REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01 PIC X(10).
000013 01 WS02 PIC X(10).
000014 REPORT SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016 HEADING 2
000017 FIRST DETAIL 6.
000018 01 TYPE RH.
000019 02 .
000020 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000021 PROCEDURE DIVISION.
000022 END PROGRAM P2488.
```

P2488.cob 20: JMN2488I-S COLUMN NUMBER句は、LINE NUMBER句を含む記述項またはLINE NUMBER句を含む記述項に從属する記述項に限り指定することができます。そのまま処理を続行します。

詳細な説明

COLUMN NUMBER句では、印字行の上での印字位置を指定します。一方、印字行の位置(報告集団の縦の位置)はLINE NUMBER句で指定しなければなりません。

2.4.280 JMN2489I-S

SUM句またはSOURCE句の添字または部分参照子には、合計カウンタを指定してはなりません。そのまま処理を続行します。

例題

```
[P2489.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2489.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011 REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD PIC 9(2).
000014 01 .
000015 02 WITM PIC 9(2) OCCURS 10.
000016 REPORT SECTION.
000017 RD REP1 PAGE 66
000018 CONTROL CTLD.
000019 01 TYPE CF CTLD.
000020 02 WSC1 PIC S9(4) SUM WITM(2).
000021 02 WSC2 PIC S9(4) SUM WITM(WSC1).
```

```
000022 PROCEDURE      DIVISION.
000023 END PROGRAM    P2489.
```

P2489.cob 21: JMN2489I-S SUM句またはSOURCE句の添字または部分参照子には、合計カウンタを指定してはなりません。そのまま処理を続行します。

2.4.281 JMN2491I-S

SAME RECORD AREA句は、報告書ファイルに指定できません。そのまま処理を続行します。

例題

```
[P2491.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2491.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT REPF1   ASSIGN TO SYS002.
000008 I-O-CONTROL.
000009     SAME RECORD AREA SQFILE1 REPF1.
000010 DATA             DIVISION.
000011 FILE               SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01                PIC X(80).
000014 FD REPF1
000015     REPORT IS REP1.
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 01 CTLD           PIC 9(2).
000018 01 WITM          PIC 9(2).
000019 REPORT            SECTION.
000020 RD REP1 PAGE 66
000021     CONTROL CTLD.
000022 01 TYPE CF CTLD.
000023 02 WSC1          PIC 9(4) SUM WITM.
000024 PROCEDURE        DIVISION.
000025 END PROGRAM        P2491.
```

P2491.cob 14: JMN2491I-S SAME RECORD AREA句は、報告書ファイルに指定できません。そのまま処理を続行します。

2.4.282 JMN2493I-S

報告書ファイルにRECORD句を指定する場合、VARYING指定であってはなりません。

例題

```
[P2493.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2493.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPF1   ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE               SECTION.
000009 FD REPF1
000010     RECORD VARYING IN SIZE
000011     DEPENDING ON LRECL
000012     REPORT IS REP1.
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 LCREL          PIC 9(2).
000015 01 WITM          PIC 9(2).
```

```

000016 REPORT          SECTION.
000017 RD REP1 PAGE 66.
000018 01 TYPE DE.
000019 02              PIC 9(4) SOURCE WITM.
000020 PROCEDURE      DIVISION.
000021 END PROGRAM    P2493.

```

P2493.cob 10: JMN2493I-S 報告書ファイルにRECORD句を指定する場合、VARYING指定であってはなりません。

2.4.283 JMN2494I-S

報告書ファイルにRECORD CONTAINS 0 CHARACTERSは、指定できません。

例題

```

[P2494. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2494.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT REPF1  ASSIGN TO SYS002.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA           DIVISION.
000010 FILE            SECTION.
000011 FD SQFILE1.
000012 01 SQF1REC      PIC X(80).
000013 FD REPF1
000014     RECORD CONTAINS 0 CHARACTERS
000015     REPORT IS REP1.
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 01 WFS1         PIC X(2).
000018 REPORT          SECTION.
000019 RD REP1 PAGE 66.
000020 01 DE-REC TYPE DE.
000021 02 LINE PLUS 1.
000022 03 COLUMN 1 PIC X(80) SOURCE SQF1REC.
000023 PROCEDURE      DIVISION.
000024 END PROGRAM    P2494.

```

P2494.cob 13: JMN2494I-S 報告書ファイルにRECORD CONTAINS 0 CHARACTERSは、指定できません。

2.4.284 JMN2495I-I

CHARACTER TYPE句またはPRINTING POSITION句の指定を持つ報告書レコードが長すぎます。RECORD CONTAINS @1@が指定されたとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 必要とされるレコード長を示す整数値。

例題

```

[P2495. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2495.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     F0201 IS 平体.
000007 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000008 FILE-CONTROL.

```



```

000009    SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000010 DATA          DIVISION.
000011 FILE           SECTION.
000012 FD REPFIL
000013    REPORT IS REP1.
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WITM        PIC N(20).
000016 REPORT         SECTION.
000017 RD REP1 PAGE 66.
000018 01 TYPE DE CHARACTER TYPE MODE-3.
000019 02 LINE PLUS 1.
000020 03 COLUMN 20 PIC N(20) SOURCE WITM.
000021 03 COLUMN 80 PIC N(20) SOURCE WITM.
000022 PROCEDURE     DIVISION.
000023 END PROGRAM    P2495.

```

P2495.cob 12: JMN2495I-I CHARACTER TYPE句またはPRINTING POSITION句の指定を持つ報告書レコードが長すぎます。RECORD CONTAINS 139が指定されたときとみなします。

2.4.285 JMN2496I-S

COLUMN句の値が大きすぎます。報告書レコードの長さを拡張し、処理を続行します。

例題

```

[P2496.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2496.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006    SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE           SECTION.
000009 FD REPFIL
000010    REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WITM        PIC N(1).
000013 REPORT         SECTION.
000014 RD REP1 PAGE 66.
000015 01 TYPE DE.
000016 02 LINE PLUS 1.
000017 03 COLUMN 140 PIC N(1) SOURCE WITM.
000018 PROCEDURE     DIVISION.
000019 END PROGRAM    P2496.

```

P2496.cob 9: JMN2497I-S 報告書レコードが長過ぎます。RECORD CONTAINS 141が指定されたときとみなします。

P2496.cob 17: JMN2496I-S COLUMN句の値が大きすぎます。報告書レコードの長さを拡張し、処理を続行します。

2.4.286 JMN2497I-S

報告書レコードが長過ぎます。RECORD CONTAINS @1@が指定されたときとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 必要とされるレコード長を示す整数値。

例題

```

[P2497.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2497.

```

```

000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT   SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE           SECTION.
000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WITM        PIC N(20).
000013 REPORT         SECTION.
000014 RD REP1 PAGE 66.
000015 01 TYPE DE.
000016     02 LINE PLUS 1.
000017     03 COLUMN 135 PIC N(20) SOURCE WITM.
000018 PROCEDURE      DIVISION.
000019 END PROGRAM     P2497.

```

P2497.cob 9: JMN2497I-S 報告書レコードが長過ぎます。RECORD CONTAINS 174が指定されたとみなします。

2.4.287 JMN2498I-S

NEXT GROUP句の整数は、表示範囲の上限を超えてはなりません。

例題

```

[P2498.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     P2498.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT   SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE           SECTION.
000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01         PIC X(10).
000013 01 WS02         PIC X(10).
000014 REPORT         SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016     HEADING 2
000017     FIRST DETAIL 10
000018     LAST DETAIL 60.
000019 01 TYPE DE NEXT GROUP 5.
000020     02 LINE 10.
000021     03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000022 PROCEDURE      DIVISION.
000023 END PROGRAM     P2498.

```

P2498.cob 19: JMN2498I-S NEXT GROUP句の整数は、表示範囲の上限を超えてはなりません。

詳細な説明

NEXT GROUP句は、報告集団の最後の行を表示した後に行う行送りを指示します。絶対的なNEXT GROUP句が指定されると、その位置から次の報告集団が表示されます。報告集団が表示される範囲外の縦位置を示す値は指定できません。

2.4.288 JMN2499I-S

NEXT GROUP句の整数は表示範囲の下限を超えてはなりません。

例題

```
[P2499.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2499.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA            DIVISION.
000008 FILE             SECTION.
000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01          PIC X(10).
000013 01 WS02          PIC X(10).
000014 REPORT          SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016     HEADING 2
000017     FIRST DETAIL 10
000018     LAST DETAIL 60.
000019 01 TYPE DE NEXT GROUP 65.
000020 02 LINE 10.
000021     03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000022 PROCEDURE        DIVISION.
000023 END PROGRAM      P2499.
```

P2499.cob 19: JMN2499I-S NEXT GROUP句の整数は表示範囲の下限を超えてはなりません。

詳細な説明

NEXT GROUP句は、報告集団の最後の行を表示した後に行う行送りを指示します。絶対的なNEXT GROUP句が指定されると、その位置から次の報告集団が表示されます。報告集団が表示される範囲外の縦位置を示す値は指定できません。

2.4.289 JMN2500I-S

文が現れなければいけない所に、語 '@1@' が現れました。次の文または手続き名まで読み飛ばします。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった語。

例題

```
[P2500.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2500.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDA1          PIC X.
000007 01 WDA2          PIC X.
000008 PROCEDURE        DIVISION.
000009*   MOVE
000010     SPACE TO WDA1
000011 END PROGRAM      P2500.
```

P2500.cob 10: JMN2500I-S 文が現れなければいけない所に、語 'SPACE' が現れました。次の文または手続き名まで読み飛ばします。

詳細な説明

文の最初の語は、決められた予約語でなければなりません。また、完結した文の後ろに余分な語を記述することはできません。

2.4.290 JMN2501I-S

@1@文で, '@2@'は@3@でなければなりません.

埋め込みの説明

- @1@ : エラーを検出した文の動詞.
- @2@ : エラーの原因となった語.
- @3@ : 記述可能な語の種類.

例題

```
[P2502.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2502.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WNUM1      PIC 9(4).
000008 02 WNUM2      PIC 9(4).
000009 02 WNUM3      PIC 9(4).
000010 PROCEDURE      DIVISION.
000011     ADD CORR WGRP TO 13.
000012 END PROGRAM     P2502.
```

P2502.cob 11: JMN2501I-S ADD文で, '13'は一意名でなければなりません.

詳細な説明

この診断メッセージは, COBOLの各種の文で期待する語と異なる種類の語が記述された場合に出力されます. 主な原因は次の通りです.

- 1つしか作用対象を記述できない個所に複数の作用対象を記述している.
- 定数を記述できない所に定数を指定した.
- 指定可能な定数と字類の異なる定数を指定した.
- 文に記述可能な補助語・指定の順番を誤った.

例題プログラムの場合は, 2の理由からこの診断メッセージが出力されています.

2.4.291 JMN2502I-S

@1@文で, '@2@'は@3@でなければなりません. '@2@'は無効になります.

埋め込みの説明

- @1@ : エラーを検出した文の動詞.
- @2@ : エラーの原因となった語.
- @3@ : 記述可能な語の種類.

例題

```
[P2502.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2502.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006
000007 PROCEDURE      DIVISION.
000008     COMPUTE 13 = 12 + 1
000009 END PROGRAM     P2502.
```

P2502.cob 8: JMN2502I-S COMPUTE文で, '13'は一意名でなければなりません. '13'は無効になります.

P2502.cob 8: JMN2557I-S COMPUTE文の書き方が不完全です.

詳細な説明

この診断メッセージは, COBOLの各種の文で期待する語と異なる種類の語が記述された場合に出力されます. 主な原因は次の通りです.

- ・ 1つしか作用対象を記述できない個所に複数の作用対象を記述している.
- ・ 定数を記述できない所に定数を指定した.
- ・ 指定可能な定数と字類の異なる定数を指定した.
- ・ 文に記述可能な補助語・指定の順番を誤った.

例題プログラムの場合は, 2の理由からこの診断メッセージが出力されています.

2.4.292 JMN2503I-S

利用者語 '@1@' が定義されていません.

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった利用者語.

例題

```
[P2503.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2503.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE       DIVISION.
000007     DISPLAY A
000008 END PROGRAM     P2503.
```

P2503.cob 7: JMN2503I-S 利用者語'A'が定義されていません.

P2503.cob 7: JMN2557I-S DISPLAY文の書き方が不完全です.

詳細な説明

参照した利用者語(主にデータ名やラベル名)の定義が見つからない場合に, この診断メッセージが出力されます. 利用者語が定義されていても, 次のような場合には, この診断メッセージが出力されるので注意してください.

- ・ 一意参照のための修飾語が誤っている
- ・ 利用者語の名前の範囲に無い名前を参照している

2.4.293 JMN2504I-S

利用者語 '@1@' が多重定義です.

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった利用者語.

例題

```
[P2504.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2504.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
```

```

000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A          PIC X(1).
000007 01 A.
000008 02 B          PIC X(1).
000009 01 C.
000010 02 A.
000011 03 B          PIC X(1).
000012 PROCEDURE    DIVISION.
000013  MOVE SPACE TO A
000014  MOVE SPACE TO B OF A
000015 END PROGRAM   P2504.

```

P2504.cob 13: JMN2504I-S 利用者語'A'が多重定義です。

P2504.cob 13: JMN2557I-S MOVE文の書き方が不完全です。

P2504.cob 14: JMN2504I-S 利用者語'B'が多重定義です。

P2504.cob 14: JMN2557I-S MOVE文の書き方が不完全です。

詳細な説明

手続き部見出しあるいは手続き内で参照された名前に該当するものが、複数検出され一意に決められない場合は、利用者語の多重定義になります。

いくつかの要素については、参照時だけでなく定義時にも名前の重複がチェックされます。

定義時に多重定義を検出するのは以下の場合です。

- ・ 名前つき定数を同じ名前で複数宣言した

なお翻訳オプションALPHAL(AUTO)が有効な場合、名前の英大文字/英小文字は等価比較されます。このとき、文字大小が異なる同じつづりの名前を複数定義すると多重定義とみなされます。

2.4.294 JMN2505I-S

@1@文には@2@を指定しなければなりません。@2@が指定されたものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : エラーを検出した文の動詞。

@2@ : 指定する必要がある語。

例題

```

[P2505.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2505.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDA          PIC X.
000007 PROCEDURE      DIVISION.
000008  MOVE SPACE WDA
000009 END PROGRAM     P2505.

```

P2505.cob 8: JMN2505I-S MOVE文にはTOを指定しなければなりません。TOが指定されたものとみなします。

詳細な説明

COBOLの文は、いくつかの予約語とその作用対象となる利用者語、定数などの並びから構成されます。

このうち、予約語は次の2種類に分けられます。

- ・ 必須語
- ・ 補助語

必須語はその文の意味を決めるために必ず指定する必要があります。この診断メッセージは各文に対して決められた必須語を記述しなかった場合に出力されます。

2.4.295 JMN2506I-W

条件文またはうちPERFORM文中には、文を指定しなければなりません。指定されたとおりに、受け入れます。

例題

```
[P2506.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2506.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE      DIVISION.
000007     PERFORM WITH NO LIMIT
000008     END-PERFORM
000009 END PROGRAM     P2506.
```

P2506.cob 8: JMN2506I-W 条件文またはうちPERFORM文中には、文を指定しなければなりません。指定されたとおりに、受け入れます。

2.4.296 JMN2507I-S

IF DB-EXCEPTION文は、データベース操作文またはIF DB-EXCEPTION文の後しか指定できません。

例題

```
[P2507.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2507.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE      DIVISION.
000007     IF DB-EXCEPTION IS 10
000008     GO TO END-PROC.
000009 END-PROC.
000010 END PROGRAM     P2507.
```

P2507.cob 7: JMN2507I-S IF DB-EXCEPTION文は、データベース操作文またはIF DB-EXCEPTION文の後しか指定できません。

2.4.297 JMN2508I-W

NEXT SENTENCEは、明示範囲符を持つIFまたはSEARCH文に指定できません。指定されたとおりに、受け入れます。

例題

```
[P2508.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2508.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDA          PIC X.
000007 PROCEDURE      DIVISION.
000008     IF WDA = SPACE THEN
000009     NEXT SENTENCE
000010     END-IF
000011 END PROGRAM     P2508.
```

P2508.cob 8: JMN2508I-W NEXT SENTENCEは、明示範囲符を持つIFまたはSEARCH文に指定できません。指定されたとおりに、受け入れます。

詳細な説明

IF文およびSEARCH文の明示範囲符は次のとおりです。

- IF文に対するEND-IF
- SEARCH文に対するEND-SEARCH

これらを指定したIF文またはSEARCH文にNEXT SENTENCEを記述した場合に、この診断メッセージが出力されます。NEXT SENTENCEまたは明示範囲符を削除してください。

2.4.298 JMN2509I-S

条件文@1@が、無条件文しか指定できないところに指定されています。@1@文を受け入れます。

埋め込みの説明

@1@ : エラーを検出した文の動詞。

例題

```
[P2509.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2509.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDA            PIC X.
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008     PERFORM 10 TIMES
000009         IF WDA = SPACE THEN
000010             DISPLAY "SPACE"
000011     END-PERFORM.
000012 END PROGRAM      P2509.
```

P2509.cob 9: JMN2509I-S 条件文IFが、無条件文しか指定できないところに指定されています。IF文を受け入れます。

詳細な説明

COBOL言語において、無条件文とは次のいずれかです。

- 無条件文として区別される文
- 明示範囲符で閉じた条件文

明示範囲符とは、例えば、IF文に対するEND-IFです。一般に、この診断メッセージが出力されるのは、条件文内に明示範囲符で閉じられていない他の条件文が存在する場合です。

例題プログラムでは、うちPERFORM文の内部にEND-IFで閉じられていないIF文があることが、この診断メッセージが出力される原因です。

この診断メッセージが出力された場合は、条件文とその明示範囲符の対応関係を見直してください。

2.4.299 JMN2510I-S

対応しない@1@が指定されています。@1@は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : 対応する動詞のない明示範囲符。

例題

```
[P2510.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2510.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
```



```

000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDA          PIC X.
000007 PROCEDURE      DIVISION.
000008     IF WDA = SPACE THEN
000009         EXIT PROGRAM.
000010     END-IF
000011 END PROGRAM     P2510.

```

P2510.cob 10: JMN2510I-S 対応しないEND-IFが指定されています。END-IFは、無効となります。

詳細な説明

明示範囲符 (END-ADDなど"END-動詞"の形式の語)は文の範囲の終わりを示す語ですが、明示範囲符に対応する文が見つかりません。

次のことを確認してください。

- ・ 文と明示範囲符の種類は一致しているか。
- ・ 文と明示範囲符は1対1に対応しているか。
- ・ 文の途中に分離符の終止符が書かれていないか。

2.4.300 JMN2511I-S

@1@文の '@2@'は、呼び名または機能名でなければなりません。SYSINまたはSYSOUTが指定されたものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : ACCEPTまたはDISPLAY.

@2@ : エラーの原因となった語。

例題

```

[P2511.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2511.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDA          PIC X.
000007 01 WOUT        PIC X(20).
000008 PROCEDURE      DIVISION.
000009     DISPLAY WDA UPON WOUT.
000010 END PROGRAM     P2511.

```

P2511.cob 9: JMN2511I-S DISPLAY文の'WOUT'は、呼び名または機能名でなければなりません。SYSINまたはSYSOUTが指定されたものとみなします。

詳細な説明

ACCEPT文のFROM指定に指定する呼び名は、環境部の特殊名段落で、機能名CONSOLE、SYSINまたはARGUMENT-NUMBER、ARGUMENT-VALUE、ENVIRONMENT-VALUEのいずれかに対応付けておかなければなりません。

DISPLAY文のUPON指定に指定する呼び名は、環境部の特殊名段落で、機能名CONSOLE、SYSOUT、SYSERR、SYSPUNCHまたはARGUMENT-NUMBER、ENVIRONMENT-NAME、ENVIRONMENT-VALUEのいずれかに対応付けておかなければなりません。

2.4.301 JMN2512I-S

OPEN文にINPUT、OUTPUT、I-OまたはEXTENDが指定されていません。INPUT、OUTPUT、I-OまたはEXTENDが現れるまで読み飛ばします。

例題

```
[P2512.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2512.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS SEQUENTIAL.
000008 DATA           DIVISION.
000009 FILE            SECTION.
000010 FD SQFILE1.
000011 01 SQF1REC.
000012  02                PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 PROCEDURE       DIVISION.
000015     OPEN SQFILE1.
000016 END PROGRAM      P2512.
```

P2512.cob 15: JMN2512I-S OPEN文にINPUT, OUTPUT, I-OまたはEXTENDが指定されていません。INPUT, OUTPUT, I-OまたはEXTENDが現れるまで読み飛ばします。

P2512.cob 15: JMN2557I-S OPEN文の書き方が不完全です。

詳細な説明

ファイルを開くときのモードを「オープンモード」といいます。オープンモードには、入力モード(INPUT)、出力モード(OUTPUT)、入出力両用モード(I-O)および拡張モード(EXTEND)の4種類があります。

どのモードでファイルを開くかを、OPEN文で指定します。

2.4.302 JMN2513I-S

整列併合用以外のファイルが指定されなければならないところに、誤った語 '@1@' が指定されています。語は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった語。

例題

```
[P2513.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2513.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS SEQUENTIAL.
000008 DATA           DIVISION.
000009 FILE            SECTION.
000010 FD SQFILE1.
000011 01 SQF1REC.
000012  02                PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 PROCEDURE       DIVISION.
000015     OPEN INPUT SQF1REC.
000016 END PROGRAM      P2513.
```

P2513.cob 15: JMN2513I-S 整列併合用以外のファイルが指定されなければならないところに、誤った語 'SQF1REC' が指定されています。語は、無効となります。

P2513.cob 15: JMN2557I-S OPEN文の書き方が不完全です。

詳細な説明

OPEN文ではファイル名を指定します。

なお、整列併合用ファイルは内部的に生成されるファイルであり、OPEN文によって開く必要はありません。

2.4.303 JMN2514I-S

@3@オプションは、@1@指定の'@2@'ファイルに指定できません。オプションは、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : OUTPUT, EXTEND, I-OまたはUNIT/REEL.

@2@ : エラーの原因となったファイル名.

@3@ : REVERSEDまたはREMOVAL.

例題

```
[P2514.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2514.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS SEQUENTIAL.
000008 DATA           DIVISION.
000009 FILE             SECTION.
000010 FD SQFILE1.
000011 01 SQF1REC.
000012 02                PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 PROCEDURE       DIVISION.
000015     OPEN OUTPUT SQFILE1 REVERSED
000016 END PROGRAM     P2514.
```

P2514.cob 15: JMN2514I-S REVERSEDオプションは、OUTPUT指定の'SQFILE1'ファイルに指定できません。オプションは、無効となります。

詳細な説明

REVERSED指定は廃要素です。また、このコンパイラではFOR REMOVAL指定は注釈とみなします。

ただしこれらの句の解析は行われます。

2.4.304 JMN2515I-S

NO REWINDは、@1@指定の'@2@'ファイルに指定できません。NO REWINDは、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : EXTENDまたはI-O.

@2@ : エラーの原因となったファイル名.

例題

```
[P2515.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2515.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS SEQUENTIAL.
000008 DATA           DIVISION.
```

```

000009 FILE          SECTION.
000010 FD SQFILE1.
000011 01 SQF1REC.
000012 02              PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 PROCEDURE     DIVISION.
000015     OPEN EXTEND SQFILE1 WITH NO REWIND
000016 END PROGRAM    P2515.

```

P2515.cob 15: JMN2515I-S NO REWINDは、EXTEND指定の'SQFILE1'ファイルに指定できません。NO REWINDは、無効となります。

詳細な説明

NO REWIND指定は注釈とみなされます。ただし句の解析は行われます。

2.4.305 JMN2516I-S

@1@文の '@2@'は整列併合用以外のファイル名でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : DELETE, SEEK, SET, READまたはSTART.
 @2@ : エラーの原因となったファイル名.

例題

```

[P2516.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2516.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IXFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     RECORD KEY   IS WRKY1.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA           DIVISION.
000011 FILE            SECTION.
000012 FD IXFILE1.
000013 01 IXF1REC.
000014 02 WRKY1        PIC X(2).
000015 02              PIC X(80).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 PROCEDURE     DIVISION.
000018     START IXF1REC
000019     KEY IS EQUAL TO WRKY1
000020 END PROGRAM    P2516.

```

P2516.cob 18: JMN2516I-S START文の'IXF1REC'は整列併合用以外のファイル名でなければなりません。

詳細な説明

操作の対象として指定するのは、ファイル名です。
 なお、整列併合用ファイルは、MERGE文、RELEASE文、RETURN文およびSORT文でだけ参照することができます。

2.4.306 JMN2517I-S

@1@文で手続き名が指定されなければならないところに、誤った語が指定されています。語は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : GOTO, SORTまたはMERGE.

例題

```
[P2517.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2517.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WPROC        PIC X(20).
000007 PROCEDURE       DIVISION.
000008     GO TO WPROC
000009 END PROGRAM      P2517.
```

P2517.cob 8: JMN2517I-S GO TO文で手続き名が指定されなければならないところに、誤った語が指定されています。語は、無効となります。

2.4.307 JMN2518I-S

USING句中の '@1@' は一意名、手続き名またはファイル名でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった語。

例題

```
[P2518.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2518.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 RT-ITEM       PIC X.
000007 PROCEDURE       DIVISION.
000008     CALL "SUB2518" USING BY REFERENCE
000009     RETURNING RT-ITEM.
000010 END PROGRAM      P2518.
```

P2518.cob 8: JMN2557I-S CALL文の書き方が不完全です。

P2518.cob 9: JMN2518I-S USING句中の'RETURNING'は一意名、手続き名またはファイル名でなければなりません。

2.4.308 JMN2519I-S

@1@の後の '@2@' は、手続き名でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : THRU.

@2@ : エラーの原因となった語。

例題

```
[P2519.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2519.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE       DIVISION.
000007     PERFORM P1 THRU
000008     STOP RUN.
000009 P1.
000010 END PROGRAM      P2519.
```

P2519.cob 8: JMN2519I-S THRUの後の'STOP'は、手続き名でなければなりません。

2.4.309 JMN2520I-S

@1@文中で、'@2@'が誤って指定されています。

埋め込みの説明

@1@ : CALL, INITIATE, TERMINATE, SET, ERASE, MODIFYまたはSTORE.

@2@ : エラーの原因となった語.

例題

```
[P2520.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2520.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE       DIVISION.
000007     CALL "SUB2520" USING "DATA"
000008 END PROGRAM     P2520.
```

P2520.cob 7: JMN2520I-S CALL文中で、"DATA"が誤って指定されています。

P2520.cob 7: JMN2557I-S CALL文の書き方が不完全です。

2.4.310 JMN2521I-S

TEST BEFORE指定またはTEST AFTER指定が不完全です。TEST BEFORE指定が記述されたものとみなします。

例題

```
[P2521.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2521.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WLOOP        PIC 999.
000007 PROCEDURE       DIVISION.
000008     PERFORM TEST
000009         VARYING WLOOP FROM 1
000010             BY 1 UNTIL WLOOP = 10
000011         DISPLAY WLOOP
000012     END-PERFORM
000013 END PROGRAM     P2521.
```

P2521.cob 8: JMN2521I-S TEST BEFORE指定またはTEST AFTER指定が不完全です。TEST BEFORE指定が記述されたものとみなします。

詳細な説明

BEFOREもAFTERも指定されず、語TESTだけが指定されています。

文の組を実行する前に条件を検査する場合は、TEST BEFORE指定を書くかまたはTEST指定を省略します。文の組を実行した後に条件を検査する場合は、TEST AFTER指定を書きます。

2.4.311 JMN2522I-W

PERFORM文のVARYING指定で、AFTER指定は6個以下でなければなりません。指定されたとおりに受け入れます。

例題

```
[P2522.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2522.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WLOOP0       PIC S9(9) COMP-5.
000007 01 WLOOP1       PIC S9(9) COMP-5.
000008 01 WLOOP2       PIC S9(9) COMP-5.
000009 01 WLOOP3       PIC S9(9) COMP-5.
000010 01 WLOOP4       PIC S9(9) COMP-5.
000011 01 WLOOP5       PIC S9(9) COMP-5.
000012 01 WLOOP6       PIC S9(9) COMP-5.
000013 01 WLOOP7       PIC S9(9) COMP-5.
000014 PROCEDURE       DIVISION.
000015     PERFORM P1
000016     VARYING WLOOP0 FROM 1 BY 1 UNTIL WLOOP1 > 10000000
000017     AFTER  WLOOP1 FROM 1 BY 1 UNTIL WLOOP2 > 1000000
000018     AFTER  WLOOP2 FROM 1 BY 1 UNTIL WLOOP3 > 100000
000019     AFTER  WLOOP3 FROM 1 BY 1 UNTIL WLOOP4 > 10000
000020     AFTER  WLOOP4 FROM 1 BY 1 UNTIL WLOOP5 > 1000
000021     AFTER  WLOOP5 FROM 1 BY 1 UNTIL WLOOP6 > 100
000022     AFTER  WLOOP6 FROM 1 BY 1 UNTIL WLOOP6 > 10
000023     AFTER  WLOOP7 FROM 1 BY 1 UNTIL WLOOP7 > 1.
000024 P1.
000025     DISPLAY "P1".
000026 END PROGRAM      P2522.
```

P2522.cob 15: JMN2522I-W PERFORM文のVARYING指定で、AFTER指定は6個以下でなければなりません。指定されたとおりに受け入れます。

2.4.312 JMN2523I-S

'@1@'を指定しなければならないところに、 '@2@'が指定されています。

埋め込みの説明

@1@ : 必要とされる語.

@2@ : 誤った語.

例題

```
[P2523.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2523.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WANS           PIC S9(9) BINARY.
000007 01 WDA1         PIC S9(9) BINARY.
000008 PROCEDURE       DIVISION.
000009     COMPUTE WANS > 13 + 1
000010 END PROGRAM      P2523.
```

P2523.cob 9: JMN2523I-S '='を指定しなければならないところに、 '>'が指定されています。

2.4.313 JMN2524I-S

@1@指定に誤った作用対象 '@2@'が指定されています。

埋め込みの説明

- @1@ : エラーの発生した指定.
- @2@ : エラーの原因となった語.

例題

```
[P2524.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2524.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WNUM1        PIC S9(9) BINARY.
000007 01 WNUM2        PIC S9(9) BINARY.
000008 01 WNUM3        PIC S9(9) BINARY.
000009 01 WNUM4        PIC S9(9) BINARY.
000010 PROCEDURE       DIVISION.
000011     DIVIDE WNUM1 BY WNUM2
000012         GIVING WNUM3
000013         REMAINDER FUNCTION ADDR(WNUM4)
000014 END PROGRAM      P2524.
```

P2524.cob 13: JMN2524I-S REMAINDER指定に誤った作用対象'FUNCTION ADDR'が指定されています。

P2524.cob 13: JMN2500I-S 文が現れなければいけない所に、語'('が現れました。次の文または手続き名まで読み飛ばします。

2.4.314 JMN2525I-S

@1@句の作用対象が記述されていないか、または誤っています。作用対象として、1が指定されたとみなします。

埋め込みの説明

- @1@ : FROMまたはBY.

例題

```
[P2525.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2525.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WLOOP        PIC S9(9) BINARY.
000007 PROCEDURE       DIVISION.
000008     PERFORM TEST AFTER
000009         VARYING WLOOP FROM 1 BY
000010             UNTIL WLOOP = 10
000011         DISPLAY WLOOP
000012     END-PERFORM
000013 END PROGRAM      P2525.
```

P2525.cob 10: JMN2525I-S BY句の作用対象が記述されていないか、または誤っています。作用対象として、1が指定されたとみなします。

2.4.315 JMN2526I-S

SEARCH文の一意名は、添字付けまたは部分参照できません。AT ENDまたはWHEN指定が現れるまで無効となります。

例題

```
[P2526.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```



```

000002 PROGRAM-ID.      P2526.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 .
000007 02 WTARGET      OCCURS 26 INDEXED BY IX1.
000008 03 WKEY         PIC X.
000009 03 WDATA       PIC S9(4) BINARY.
000010 01 WANS        PIC S9(4) BINARY.
000011 PROCEDURE      DIVISION.
000012 SEARCH WTARGET(1) VARYING IX1
000013 AT END
000014 DISPLAY "ERROR"
000015 WHEN WKEY(IX1) >= "A" AND
000016 WKEY(IX1) <= "Z"
000017 MOVE WDATA(IX1) TO WANS
000018 END-SEARCH
000019 END PROGRAM      P2526.

```

P2526.cob 12: JMN2526I-S SEARCH文の一意名は、添字付けまたは部分参照できません。AT ENDまたはWHEN指定が現れるまで無効となります。

2.4.316 JMN2527I-W

NEXT SENTENCEの後は、終止符、ELSEまたはWHENでなければなりません。指定されたとおりに受け入れます。

例題

```

[P2527.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2527.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDA          PIC X VALUE "a".
000007 PROCEDURE      DIVISION.
000008 IF WDA = SPACE THEN
000009 NEXT SENTENCE
000010 DISPLAY "NG"
000011 END PROGRAM      P2527.

```

P2527.cob 10: JMN2527I-W NEXT SENTENCEの後は、終止符、ELSEまたはWHENでなければなりません。指定されたとおりに受け入れます。

2.4.317 JMN2528I-S

SEARCH ALL文の条件の中に、誤った算術式が指定されています。

例題

```

[P2528.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2528.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 .
000007 02 WTARGET      OCCURS 26 INDEXED BY IX1
000008                               ASCENDING KEY IS WKEY.
000009 03 WKEY         PIC S9(4).
000010 03 WDATA       PIC X(1).
000011 01 WANS        PIC X(1).

```

```

000012 01 WDA1      PIC S9(4).
000013 PROCEDURE   DIVISION.
000014     SEARCH ALL WTARGET
000015         AT END
000016             DISPLAY "ERROR"
000017     WHEN WKEY(IX1) = WDA1 + 12 -
000018         MOVE WDATA(IX1) TO WANS
000019     END-SEARCH
000020 END PROGRAM    P2528.

```

P2528.cob 17: JMN2528I-S SEARCH ALL文の条件の中に、誤った算術式が指定されています。

P2528.cob 18: JMN2565I-S 算術式に誤ったオペランドが指定されています。算術式は、無効になります。

2.4.318 JMN2529I-S

比較演算子がありません。

例題

```

[P2529.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2529.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 .
000007 02 WTARGET      OCCURS 26 INDEXED BY IX1
000008                     ASCENDING KEY IS WKEY.
000009 03 WKEY           PIC S9(4).
000010 03 WDATA         PIC X(1).
000011 01 WANS         PIC X(1).
000012 01 WDA1        PIC S9(4).
000013 PROCEDURE      DIVISION.
000014     SEARCH ALL WTARGET
000015         AT END
000016             DISPLAY "ERROR"
000017     WHEN WKEY(IX1) < WDA1 + 12
000018         MOVE WDATA(IX1) TO WANS
000019     END-SEARCH
000020 END PROGRAM        P2529.

```

P2529.cob 17: JMN2529I-S 比較演算子がありません。

詳細な説明

文脈に合った比較演算子が見つかりません。以下の場合が該当します。

- SEARCH文／SEARCH ALL文のWHEN指定に=(EQUAL/EQUALS)以外の比較演算子がかかれている
- IF文、PERFORM文中の条件式に比較演算子(>, <, =, <=, >=)がかかれていない、あるいはEVALUATE文中の条件式に補助語のISしか書かれていない
- START文のKEY指定に比較演算子(>, <, =, <=, >=)がかかれていない

2.4.319 JMN2530I-S

@1@指定を記述してはなりません。指定を無視します。

埋め込みの説明

@1@ : WHENまたはDELIMITERまたはCOUNT.

例題

```
[P2530.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2530.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 .
000007 02 WTARGET      OCCURS 26 INDEXED BY IX1
000008                      ASCENDING KEY IS WKEY.
000009 03 WKEY          PIC S9(4).
000010 03 WDATA        PIC X(1).
000011 01 WANS         PIC X(1).
000012 01 WDA1         PIC S9(4).
000013 PROCEDURE       DIVISION.
000014 SEARCH ALL WTARGET
000015 AT END
000016 DISPLAY "ERROR"
000017 WHEN WKEY(IX1) = WDA1 + 12
000018 MOVE WDATA(IX1) TO WANS
000019 WHEN WKEY(IX1) = WDA1 + 30
000020 MOVE WDATA(IX1) TO WANS
000021 END-SEARCH
000022 END PROGRAM      P2530.
```

P2530.cob 19: JMN2530I-S WHEN指定を記述してはなりません。指定を無視します。

詳細な説明

- UNSTRING文では、DELIMITED指定を記述しなかった場合、DELIMITER指定あるいはCOUNT指定を記述してはなりません。
- SEARCH ALL文ではWHEN指定を複数記述してはなりません。
- WHEN OTHER指定を複数記述してはなりません。

2.4.320 JMN2532I-S

'@1@'は、プログラム名または入口名として誤っています。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった語。

例題

```
[P2532.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2532.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE       DIVISION.
000007 CALL 1234
000008 END PROGRAM      P2532.
```

P2532.cob 7: JMN2532I-S '1234'は、プログラム名または入口名として誤っています。

2.4.321 JMN2534I-S

選択主体に、表意定数ZERO(S, ES)は指定できません。ZERO(S, ES)を受け入れます。

例題

```
[P2534.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2534.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WVAL          PIC S9(9) BINARY.
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008     EVALUATE TRUE ZERO
000009     WHEN WVAL = 10
000010     WVAL
000011     DISPLAY "NG"
000012     END-EVALUATE
000013 END PROGRAM      P2534.
```

P2534.cob 9: JMN2534I-S 選択主体に、表意定数ZERO(S, ES)は指定できません。ZERO(S, ES)を受け入れます。

詳細な説明

EVALUATE文の最初のWHEN指定より前に書く作用対象(TRUEおよびFALSEも含む)を、「選択主体」といいます。選択主体に表意定数ZERO(ZERO, ZEROS, およびZEROESは同義語です)は指定できません。

2.4.322 JMN2535I-S

@1@文に語'@2@'は、指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーを検出した文の動詞.

@2@ : エラーの原因となった語.

例題

```
[P2535.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2535.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDA           PIC X.
000007 SCREEN          SECTION.
000008 01 WSC           PIC X FROM WDA.
000009 PROCEDURE        DIVISION.
000010     EVALUATE WSC
000011     WHEN ZERO
000012     DISPLAY "OK"
000013     WHEN OTHER
000014     DISPLAY "NG"
000015     END-EVALUATE
000016 END PROGRAM      P2535.
```

P2535.cob 10: JMN2535I-S EVALUATE文に語'WSC'は、指定できません。

2.4.323 JMN2536I-S

指標名'@1@'は、選択主体または選択対象に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった指標名.

例題

```
[P2536.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2536.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WOCC        PIC X OCCURS 10 INDEXED BY IX1.
000008 PROCEDURE      DIVISION.
000009     EVALUATE IX1
000010     WHEN ZERO
000011     DISPLAY "OK"
000012     WHEN OTHER
000013     DISPLAY "NG"
000014     END-EVALUATE
000015 END PROGRAM     P2536.
```

P2536.cob 9: JMN2536I-S 指標名'IX1'は、選択主体または選択対象に指定できません。

詳細な説明

EVALUATE文の最初のWHEN指定より前に書く作用対象(TRUEおよびFALSEも含む)を「選択主体」、EVALUATE文のWHEN指定に書く作用対象(TRUE, FALSEおよびANYも含む)を「選択対象」といいます。
選択主体および選択対象には、指標名は指定できません。

2.4.324 JMN2538I-S

選択対象の数が選択主体の数より少ない。両者は等しくなければなりません。ANYを補って、処理を続行します。

例題

```
[P2538.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2538.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDA1        PIC X(1).
000007 01 WDA2        PIC X(1).
000008 PROCEDURE      DIVISION.
000009     EVALUATE TRUE ALSO TRUE
000010     WHEN WDA1 = SPACE
000011     DISPLAY "OK"
000012     WHEN OTHER
000013     DISPLAY "NG"
000014     END-EVALUATE
000015 END PROGRAM     P2538.
```

P2538.cob 10: JMN2538I-S 選択対象の数が選択主体の数より少ない。両者は等しくなければなりません。ANYを補って、処理を続行します。

詳細な説明

EVALUATE文の最初のWHEN指定より前に書く作用対象(TRUEおよびFALSEも含む)を「選択主体」、EVALUATE文のWHEN指定に書く作用対象(TRUE, FALSEおよびANYも含む)を「選択対象」といいます。
1つのWHEN指定の中には、選択主体の数と同じ数の選択対象を書かなければなりません。

2.4.325 JMN2539I-S

選択対象の数が選択主体の数より多い。両者は等しくなければなりません。余分な選択対象は、無効になります。

例題

```
[P2539.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2539.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDA1         PIC X(1).
000007 01 WDA2         PIC X(1).
000008 PROCEDURE       DIVISION.
000009     EVALUATE TRUE
000010     WHEN WDA1 = SPACE ALSO
000011         WDA2 = SPACE
000012         DISPLAY "OK"
000013     WHEN OTHER
000014         DISPLAY "NG"
000015     END-EVALUATE
000016 END PROGRAM      P2539.
```

P2539.cob 10: JMN2539I-S 選択対象の数が選択主体の数より多い。両者は等しくなければなりません。余分な選択対象は、無効になります。

詳細な説明

EVALUATE文の最初のWHEN指定より前に書く作用対象(TRUEおよびFALSEも含む)を「選択主体」、EVALUATE文のWHEN指定に書く作用対象(TRUE, FALSEおよびANYも含む)を「選択対象」といいます。
1つのWHEN指定の中には、選択主体の数と同じ数の選択対象を書かなければなりません。

2.4.326 JMN2540I-W

EXIT文を含む段落は、手続き名とEXIT文だけで構成されていなければなりません。EXIT文を、CONTINUE文とみなします。

例題

```
[P2540.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2540.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE       DIVISION.
000007 E-PROC          SECTION.
000008     DISPLAY "EXIT"
000009     EXIT.
000010 END PROGRAM      P2540.
```

P2540.cob 9: JMN2540I-W EXIT文を含む段落は、手続き名とEXIT文だけで構成されていなければなりません。EXIT文を、CONTINUE文とみなします。

詳細な説明

EXIT文を含む段落には、EXIT文だけを書きます。EXIT文は、1つのEXIT文だけで1つの完結文になっていなければなりません。

2.4.327 JMN2541I-S

INITIALIZE文のREPLACING指定に、同じ項類は指定できません。手続き名、または次の文まで無効になります。

例題

```
[P2541.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000002 PROGRAM-ID.      P2541.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WNUM         PIC S9(9) BINARY.
000008 02 WDX1        PIC X(10).
000009 02 WDX2        PIC N(10).
000010 PROCEDURE      DIVISION.
000011     INITIALIZE WGRP
000012     REPLACING
000013     ALPHANUMERIC DATA BY SPACE
000014     ALPHANUMERIC DATA BY LOW-VALUE
000015 END PROGRAM     P2541.

```

P2541.cob 14: JMN2541I-S INITIALIZE文のREPLACING指定に、同じ項類は指定できません。手続き名、または次の文まで無効になります。

詳細な説明

INITIALIZE文はデータ項目を初期化します。

データ項目の項類がREPLACING指定に書いた項類に属する場合にだけ、そのデータ項目はBY指定の作用対象の値で初期化されます。同じ項類を指定したREPLACING指定を複数記述してはなりません。

2.4.328 JMN2543I-S

INまたはOFの後は、利用者語でなければなりません。INまたはOFは、無効になります。

例題

```

[P2543.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2543.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WITEM        PIC X(10).
000008 PROCEDURE      DIVISION.
000009     MOVE SPACE TO WITEM OF.
000010 END PROGRAM     P2543.

```

P2543.cob 9: JMN2543I-S INまたはOFの後は、利用者語でなければなりません。INまたはOFは、無効になります。

詳細な説明

同一の綴りを持つ利用者語が同じ名前の範囲の中に2つ以上存在する場合、利用者語を修飾することによって、これらを一意に参照できます。

修飾は、修飾される名前に続いて語OFまたはINを記述し、さらにその後ろに続けて、名前の階層系列の上位にある名前を記述します。OF/INと上位の名前の指定による修飾は、1つ以上書くことができます。

2.4.329 JMN2545I-S

誤った語が、@1@文中の算術式に指定されています。

埋め込みの説明

@1@ : COMPUTE.

例題

```

[P2545.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.

```

```

000002 PROGRAM-ID.      P2545.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WANS          PIC S9(9) BINARY.
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008     COMPUTE WANS = "ABC"
000009 END PROGRAM      P2545.

```

P2545.cob 8: JMN2545I-S 誤った語が, COMPUTE文中の算術式に指定されています。

詳細な説明

COMPUTE文の算術式の要素として, 数字項目, 浮動小数点項目, 数字関数, 整数関数, 数字定数および表意定数ZEROのいずれでもないものが現れました。

2.4.330 JMN2547I-S

@1@文にはALL定数が指定できません。ALLは, 無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーを検出した文の動詞。

例題

```

[P2547. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2547.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WBUF          PIC X(20).
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008     EXAMINE WBUF
000009     TALLYING LEADING ALL "A"
000010 END PROGRAM      P2547.

```

P2547.cob 9: JMN2547I-S EXAMINE文にはALL定数が指定できません。ALLは, 無効になります。

詳細な説明

ALL定数の長さは翻訳時に決定できないため, 文字列操作の文(EXAMINE文, INSPECT文, STRING文, UNSTRING文)では使用できません。

(EXAMINE文はOSIV系システムの固有機能です。)

2.4.331 JMN2548I-S

@1@指定の記述に誤りがあります。

埋め込みの説明

@1@ : TYPEまたはUSINGまたはTALLYING/REPLACING.

例題

```

[P2548. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2548.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDATA1        PIC X(10).
000007 01 WDATA2        PIC X(10).

```



```

000008 01 WDATA3      PIC X(10).
000009 01 WBUF        PIC X(50).
000010 PROCEDURE      DIVISION.
000011     STRING WDATA1 WDATA2 WDATA3
000012             INTO WBUF
000013             BY CSV-FORMAT TYPE MODE-0.
000014 END PROGRAM    P2548.

```

P2548.cob 13: JMN2548I-S TYPE指定の記述に誤りがあります。

詳細な説明

以下の構文誤りに対して出力されます。“COBOL文法書”で書き方や構文規則を確認してください。

- STRING文のTYPE指定
- EXAMINE文のTALLYING/REPLACING指定 (EXAMINE文はOSIV系システム固有機能です)

2.4.332 JMN2549I-W

補助語である@1@だけが、指定されています。@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった補助語。

例題

```

[P2549.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2549.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDA1         PIC X.
000007 PROCEDURE       DIVISION.
000008     CALL "SUB2549" USING BY WDA1
000009     EXIT PROGRAM
000010     .
000011 IDENTIFICATION DIVISION.
000012 PROGRAM-ID.      SUB2549.
000013 DATA            DIVISION.
000014 LINKAGE          SECTION.
000015 01 P1           PIC X.
000016 PROCEDURE       DIVISION USING P1.
000017 END PROGRAM     SUB2549.
000018 END PROGRAM     P2549.

```

P2549.cob 8: JMN2549I-W 補助語であるBYだけが、指定されています。BYは、無効になります。

詳細な説明

補助語に続くべき必要語がありません。補助語は書いても書かなくてもかまいませんが、必要語は必ず書かなければなりません。必要語は、“COBOL文法書”の【書き方】で英大文字に下線を付けている語です。

2.4.333 JMN2550I-S

@1@文で@2@'は報告書名またはデータ名でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : GENERATE.

@2@ : エラーの原因となった利用者語。

例題

```
[P2550.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2550.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD REPFIL
00010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WBUF1       PIC X(80).
000013 REPORT         SECTION.
000014 RD REP1 PAGE 66
000015     CONTROL FINAL.
000016 01 TYPE DE.
000017 PROCEDURE      DIVISION.
000018 LBL1.
000019     GENERATE LBL1
000020 END PROGRAM    P2550.
```

P2550.cob 19: JMN2550I-S GENERATE文で'LBL1'は報告書名またはデータ名でなければなりません。

詳細な説明

GENERATE文は、報告書記述に従って報告書を作成します。

GENERATE文で指定するのは、報告書名(レベル指示語RDに続く名前)か、明細報告集団(DETAIL指定のTYPE句を指定した報告集団)を示すデータ名でなければなりません。

2.4.334 JMN2551I-S

@1@文中には、必要語@2@を指定しなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーを検出した文の動詞。

@2@ : エラーの原因となった必要語。

例題

```
[P2551.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2551.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDA1         PIC X(20).
000007 PROCEDURE      DIVISION.
000008     SET WDA1
000009 END PROGRAM    P2551.
```

P2551.cob 8: JMN2551I-S SET文中には、必要語TOを指定しなければなりません。

詳細な説明

必要語は必ず書かなければなりません。

2.4.335 JMN2552I-S

SET文のTOの後は、指標名、指標データ項目、整数項目または正の整数でなければなりません。

例題

```
[P2552.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2552.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDA1         PIC X(20).
000007 01 WDA2         PIC X(20).
000008 PROCEDURE       DIVISION.
000009     SET WDA1 TO ALL "A"
000010 END PROGRAM     P2552.
```

P2552.cob 9: JMN2552I-S SET文のTOの後は、指標名、指標データ項目、整数項目または正の整数でなければなりません。

2.4.336 JMN2553I-S

SET文のUP BYまたはDOWN BYの後は、整数項目または整数でなければなりません。

例題

```
[P2553.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2553.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WOCC         PIC X(1)
000008                 OCCURS 10 INDEXED BY IX1.
000009 PROCEDURE       DIVISION.
000010     SET IX1 UP BY 1.5
000011 END PROGRAM     P2553.
```

P2553.cob 10: JMN2553I-S SET文のUP BYまたはDOWN BYの後は、整数項目または整数でなければなりません。

詳細な説明

UP BYの前の作用対象の値は、UP BYで指定した値ぶん増やされます。DOWN BYの前の作用対象の値は、DOWN BYで指定した値ぶん減らされます。

2.4.337 JMN2554I-S

INITIALIZE文で、REPLACINGの直後は項類を表す語でなければなりません。次の文または手続き名までが無効になります。

例題

```
[P2554.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2554.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WNUM         PIC S9(9) BINARY.
000008 02 WDX1         PIC X(10).
000009 02 WDX2         PIC N(10).
000010 PROCEDURE       DIVISION.
000011     INITIALIZE WGRP
000012     REPLACING DATA BY SPACE
000013 END PROGRAM     P2554.
```

P2554.cob 12: JMN2554I-S INITIALIZE文で、REPLACINGの直後は項類を表す語でなければなりません。次の文または手続き名までが無効になります。

詳細な説明

特定の項類を持つ基本項目を特定の値で初期化する場合、REPLACINGの後に初期化の対象とする項類を指定し、DATA BYの後に初期値を指定します。

2.4.338 JMN2555I-S

INITIALIZE文で、BYの直後は一意名または定数でなければなりません。次の項類を表す語または文の終わりまでが無効になります。

例題

```
[P2555.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2555.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WNUM          PIC S9(9) BINARY.
000008 02 WDX1          PIC X(10).
000009 02 WDX2          PIC N(10).
000010 01 WINIT         PIC X(1) VALUE SPACE.
000011 PROCEDURE        DIVISION.
000012 LBL1.
000013     INITIALIZE WGRP
000014     REPLACING ALPHANUMERIC DATA BY LBL1.
000015 END PROGRAM      P2555.
```

P2555.cob 13: JMN3157I-S INITIALIZE文のREPLACING指定に有効となるデータ項目が一つもありません。

P2555.cob 14: JMN2555I-S INITIALIZE文で、BYの直後は一意名または定数でなければなりません。次の項類を表す語または文の終わりまでが無効になります。

詳細な説明

BYの後ろには、初期値になる値を指定します。

2.4.339 JMN2556I-S

USE文は、宣言部分以外に指定できません。

例題

```
[P2556.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2556.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA            DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 FD SQFILE1.
000010 01 SQF1REC.
000011 02                PIC X(80).
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 WFS1           PIC X(2).
000014 PROCEDURE        DIVISION.
000015 E-PROC SECTION.  USE AFTER ERROR PROCEDURE ON SQFILE1.
```

```
000016 DISPLAY "OK".
000017 END PROGRAM P2556.
```

P2556.cob 15: JMN2556I-S USE文は、宣言部分以外に指定できません。

詳細な説明

宣言部分とは、DECLARATIVESで始まり、END DECLARATIVESで終わる、手続き部内の記述です。

2.4.340 JMN2557I-S

@1@文の書き方が不完全です。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった語。

例題

```
[P2557.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2557.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDA1 PIC X.
000007 01 WDA2 PIC X.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 MOVE WDA1 TO WDA3
000010 END PROGRAM P2557.
```

P2557.cob 9: JMN2503I-S 利用者語'WDA3'が定義されていません。

P2557.cob 9: JMN2557I-S MOVE文の書き方が不完全です。

詳細な説明

文の構成要素に誤りがあり、解析できません。他に出力されている診断メッセージを参照して、誤りを取り除いてください。

2.4.341 JMN2558I-S

@1@文中で、@2@指定は複数指定できません。二つ目以降の@2@指定は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーを検出した文の動詞。

@2@ : エラーの原因となった指定。

例題

```
[P2558.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2558.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 TARGET PIC X(80).
000007 01 RESULT PIC S9(9) COMP-5.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 INSPECT TARGET TALLYING
000010 RESULT FOR
000011 CHARACTERS BEFORE "A"
000012 BEFORE "C"
000013 END PROGRAM P2558.
```

P2558.cob 12: JMN2558I-S INSPECT文中で、BEFORE指定は複数指定できません。二つ目以降のBEFORE指定は、無効となります。

2.4.342 JMN2560I-W

宣言部分中の節名の直後は、USE文でなければなりません。指定されたとおりに、受け入れます。

例題

```
[P2560.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2560.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD SQFILE1.
000010 01 SQF1REC.
000011 02                PIC X(80).
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 WFS1          PIC X(2).
000014 PROCEDURE       DIVISION.
000015 DECLARATIVES.
000016 E-PROC SECTION.
000017 END DECLARATIVES.
000018 END PROGRAM     P2560.
```

P2560.cob 16: JMN2560I-W 宣言部分中の節名の直後は、USE文でなければなりません。指定されたとおりに、受け入れます。

詳細な説明

宣言部分(DECLARATIVESで始まり、END DECLARATIVESで終わる記述)の節名の直後は、USE文を書かなければなりません。

2.4.343 JMN2561I-S

READまたはSTART文のKEY指定に有効な作用対象が一つもありません。KEY指定は、無効になります。

例題

```
[P2561.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2561.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IXFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION  IS INDEXED
000008     RECORD KEY    IS WRKY1.
000009 DATA           DIVISION.
000010 FILE            SECTION.
000011 FD IXFILE1.
000012 01 IXF1REC.
000013 02 WRKY1          PIC X(2).
000014 02                PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WRKY2          PIC X(2).
000017 PROCEDURE       DIVISION.
000018     START IXFILE1
000019     FIRST RECORD
```

```
000020      KEY IS IXFILE1
000021 END PROGRAM      P2561.
```

P2561.cob 20: JMN2502I-S START文で、'IXFILE1'はデータ名でなければなりません。'IXFILE1'は無効になります。

P2561.cob 20: JMN2561I-S READまたはSTART文のKEY指定に有効な作用対象が一つもありません。KEY指定は、無効になります。

詳細な説明

KEY指定に指定されたすべてのデータ名に誤りが検出されたため、キーとみなせるものが一つもありません。他に出力されているエラーを参照して、誤りを取り除いてください。

2.4.344 JMN2562I-S

'@1@'は整列併合用ファイル中のレコード名でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった語。

例題

```
[P2562.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2562.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SRTFILE ASSIGN TO SYS003.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA           DIVISION.
000009 FILE             SECTION.
000010 FD SRTFILE.
000011 01 SRTREC.
000012 02 SRTKEY          PIC X(8).
000013 02                 PIC X(72).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WFS1           PIC X(2).
000016 PROCEDURE       DIVISION.
000017     RELEASE SRTREC
000018 END PROGRAM      P2562.
```

P2562.cob 17: JMN2562I-S 'SRTREC'は整列併合用ファイル中のレコード名でなければなりません。

詳細な説明

RELEASE文は、指定したレコード名を整列操作の最初の段階に引き渡します。RELEASE文に指定するレコード名は、整列併合用ファイル中のレコード名でなければなりません。

2.4.345 JMN2564I-S

@1@文で'@2@'は、整列併合用ファイル名でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : SORT, MERGEまたはRETURN.

@2@ : エラーの原因となった語。

例題

```
[P2564.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2564.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
```

```

000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 SELECT SQFILE2 ASSIGN TO SYS002.
000008 SELECT SRTFILE ASSIGN TO SYS003.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02 PIC X(80).
000015 FD SQFILE2.
000016 01 SQF2REC.
000017 02 PIC X(80).
000018 FD SRTFILE.
000019 01 SRTREC.
000020 02 SRTKEY PIC X(8).
000021 02 PIC X(72).
000022 WORKING-STORAGE SECTION.
000023 01 WFS1 PIC X(2).
000024 PROCEDURE DIVISION.
000025 SORT SRTREC
000026 ASCENDING KEY SRTKEY
000027 USING SQFILE1
000028 GIVING SQFILE2
000029 END PROGRAM P2564.

```

P2564.cob 25: JMN2564I-S SORT文で'SRTREC'は、整列併合用ファイル名でなければなりません。

詳細な説明

SORT, MERGE, RETURNの直後に指定するファイル名は、データ部の整列併合用ファイル記述項で定義したファイル名(レベル指示語SDに続く名前)でなければなりません。

2.4.346 JMN2565I-S

算術式に誤ったオペランドが指定されています。算術式は、無効になります。

例題

```

[P2565.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2565.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WANS PIC S9(9) BINARY.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 COMPUTE WANS = 13.2 + "ABC"
000009 END PROGRAM P2565.

```

P2565.cob 8: JMN2565I-S 算術式に誤ったオペランドが指定されています。算術式は、無効になります。

P2565.cob 8: JMN2557I-S COMPUTE文の書き方が不完全です。

詳細な説明

算術式の要素として記述できるのは、数字項目、浮動小数点項目、数字関数、整数関数、数字定数および表意定数ZEROのいずれかです。

2.4.347 JMN2566I-S

RETURN文には、AT END指定を記述しなければなりません。AT END CONTINUEが指定されたものとみなします。

例題

```
[P2566.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2566.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SRTFILE ASSIGN TO SYS003.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA           DIVISION.
000009 FILE           SECTION.
000010 SD SRTFILE.
000011 01 SRTREC.
000012  02 SRTKEY           PIC X(8).
000013  02                   PIC X(72).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WFS1             PIC X(2).
000016 PROCEDURE        DIVISION.
000017     RETURN SRTFILE
000018 END PROGRAM      P2566.
```

P2566.cob 17: JMN2566I-S RETURN文には、AT END指定を記述しなければなりません。AT END CONTINUEが指定されたものとみなします。

詳細な説明

RETURN文を実行すると、SORT文またはMERGE文に指定したキーの並びによって決められた次のレコードが指定したファイルから引き取られます。引き取られるレコードがなくなったときに行う処理を、AT END指定で記述します。

2.4.348 JMN2567I-S

@1@文中の条件に誤りがあります。

埋め込みの説明

@1@ : PERFORMまたはSEARCH.

例題

```
[P2567.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2567.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A             PIC X(10).
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008     PERFORM TEST BEFORE
000009         UNTIL A =
000010     DISPLAY "IN LOOP".
000011 END PROGRAM      P2567.
```

P2567.cob 9: JMN2600I-S 条件中のオペランドに誤りがあります。

P2567.cob 9: JMN2567I-S PERFORM文中の条件に誤りがあります。

2.4.349 JMN2568I-S

SUPPRESS文は、USE BEFORE REPORTING手続き中以外には指定できません。

例題

```
[P2568.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2568.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT REPF1   ASSIGN TO SYS002.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA           DIVISION.
000010 FILE            SECTION.
000011 FD SQFILE1.
000012 01 SQF1REC      PIC X(80).
000013 FD REPF1
000014     REPORT IS REP1.
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WFS1         PIC X(2).
000017 REPORT          SECTION.
000018 RD REP1 PAGE 66.
000019 01 DE-REC TYPE DE.
000020 02 LINE PLUS 1.
000021 03 COLUMN 1 PIC X(80) SOURCE SQF1REC.
000022 PROCEDURE      DIVISION.
000023     INITIATE REP1.
000024     SUPPRESS PRINTING
000025     GENERATE DE-REC.
000026     TERMINATE REP1.
000027 END PROGRAM    P2568.
```

P2568.cob 24: JMN2568I-S SUPPRESS文は、USE BEFORE REPORTING手続き中以外には指定できません。

詳細な説明

SUPPRESS文は、報告集団の表示を抑制します。SUPPRESS文はUSE BEFORE REPORTING手続き中にだけ書けます。

USE BEFORE REPORTING手続きは、宣言部分のUSE BEFORE REPORTING文に続けて記述される手続きであり、指定した報告集団を作成表示する直前に、報告書作成管理システムによって実行されます。

2.4.350 JMN2569I-S

添字は、算術式または指標名[+/-整数]でなければなりません。1が指定されたものとみなします。

例題

```
[P2569.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2569.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WOCC         PIC X
000008                 OCCURS 10 INDEXED BY IX1.
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010     MOVE SPACE TO WOCC("12")
000011 END PROGRAM    P2569.
```

P2569.cob 10: JMN2569I-S 添字は、算術式または指標名[+/-整数]でなければなりません。1が指定されたものとみなします。

2.4.351 JMN2570I-S

'@1@'は添字付けしなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2570.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2570.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WOCC          PIC X
000008                  OCCURS 10 INDEXED BY IX1.
000009 PROCEDURE        DIVISION.
000010     MOVE SPACE TO WOCC
000011 END PROGRAM      P2570.
```

P2570.cob 10: JMN2570I-S 'WOCC'は添字付けしなければなりません。

詳細な説明

OCCURS句を指定した項目またはそれに従属する項目は、添字を付けて参照しなければなりません。ただし以下の場合は例外です。

- SEARCH文の主体
- REDEFINES句
- OCCURS句のKEY IS指定

2.4.352 JMN2571I-S

添字付けまたは部分参照の右括弧が指定されていません。右括弧を挿入します。

例題

```
[P2571.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2571.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WOCC          PIC X
000008                  OCCURS 10 INDEXED BY IX1.
000009 PROCEDURE        DIVISION.
000010     MOVE SPACE TO WOCC(1
000011 END PROGRAM      P2571.
```

P2571.cob 10: JMN2571I-S 添字付けまたは部分参照の右括弧が指定されていません。右括弧を挿入します。

2.4.353 JMN2574I-S

SORT文またはMERGE文は、ASCENDING指定またはDESCENDING指定が記述されていなければなりません。ASCENDING指定があったものとみなします。

例題

```
[P2574.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2574.
```

```

000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT   SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT SQFILE2 ASSIGN TO SYS002.
000008     SELECT SRTFILE ASSIGN TO SYS003.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA          DIVISION.
000011 FILE           SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02                PIC X(80).
000015 FD SQFILE2.
000016 01 SQF2REC.
000017 02                PIC X(80).
000018 SD SRTFILE.
000019 01 SRTREC.
000020 02 SRTKEY        PIC X(8).
000021 02                PIC X(72).
000022 WORKING-STORAGE SECTION.
000023 PROCEDURE      DIVISION.
000024     SORT SRTFILE
000025         ON KEY SRTKEY
000026         USING SQFILE1
000027         GIVING SQFILE2
000028 END PROGRAM      P2574.

```

P2574.cob 25: JMN2574I-S SORT文またはMERGE文は、ASCENDING指定またはDESCENDING指定が記述されていなければなりません。ASCENDING指定があったものとみなします。

詳細な説明

レコードの整列・併合を、キー項目の昇順(ASCENDING)に行うか、あるいはキー項目の降順(DESCENDING)に行うかを指定します。

2.4.354 JMN2575I-S

SORT文またはMERGE文のキーデータ名の項目の数は、64以下でなければなりません。65番目以降のキーデータ名の項目は、無効になります。

例題

```

[P2575. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     P2575.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT   SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT SQFILE2 ASSIGN TO SYS002.
000008     SELECT SRTFILE ASSIGN TO SYS003.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA          DIVISION.
000011 FILE           SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02                PIC X(80).
000015 FD SQFILE2.
000016 01 SQF2REC.
000017 02                PIC X(80).
000018 SD SRTFILE.
000019 01 SRTREC.
000020 02 SRTKEY01     PIC X(1).

```

```

000021 02 SRTKEY02          PIC X(1).
:
000079 02 SRTKEY60          PIC X(1).
000080 02 SRTKEY61          PIC X(1).
000081 02 SRTKEY62          PIC X(1).
000082 02 SRTKEY63          PIC X(1).
000083 02 SRTKEY64          PIC X(1).
000084 02 SRTKEY65          PIC X(1).
000085 02                   PIC X(15).
000086 WORKING-STORAGE SECTION.
000087 PROCEDURE          DIVISION.
000088     SORT SRTFILE
000089         ON ASCENDING KEY
000090             SRTKEY01 SRTKEY02 SRTKEY03 SRTKEY04 SRTKEY05
:
000102             SRTKEY61 SRTKEY62 SRTKEY63 SRTKEY64 SRTKEY65
000103         USING SQFILE1
000104         GIVING SQFILE2
000105 END PROGRAM          P2575.

```

P2575.cob 102: JMN2575I-S SORT文またはMERGE文のキーデータ名の項目の数は、64以下でなければなりません。65番目以降のキーデータ名の項目は、無効になります。

詳細な説明

COBOL処理系の定量制限です。

2.4.355 JMN2576I-S

SORT文またはMERGE文のUSING指定に記述されたファイル名の数は、16以下でなければなりません。17番目以降のファイル名は無効になります。

例題

```

[P2576.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.        P2576.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE01 ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT SQFILE02 ASSIGN TO SYS002.
:
000022     SELECT SQFILE17 ASSIGN TO SYS017.
000023     SELECT SQFILE18 ASSIGN TO SYS018.
000024     SELECT SRTFILE  ASSIGN TO SYS019.
000025 I-O-CONTROL.
000026 DATA              DIVISION.
000027 FILE                SECTION.
000028 FD SQFILE01.
000029 01 SQF01REC        PIC X(80).
000030 FD SQFILE02.
000031 01 SQF02REC        PIC X(80).
:
000060 FD SQFILE17.
000061 01 SQF17REC        PIC X(80).
000062 FD SQFILE18.
000063 01 SQF18REC        PIC X(80).
000064 SD SRTFILE.
000065 01 SRTREC.
000066 02 SRTKEY          PIC X(1).
000067 02                 PIC X(79).
000068 WORKING-STORAGE SECTION.

```

```

000069 PROCEDURE      DIVISION.
000070     SORT SRTFILE
000071         ON ASCENDING KEY SRTKEY
000072         USING SQFILE01 SQFILE02 SQFILE03 SQFILE04
000073             SQFILE05 SQFILE06 SQFILE07 SQFILE08
000074             SQFILE09 SQFILE10 SQFILE11 SQFILE12
000075             SQFILE13 SQFILE14 SQFILE15 SQFILE16
000076             SQFILE17
000077         GIVING SQFILE18
000078 END PROGRAM      P2576.

```

P2576.cob 76: JMN2576I-S SORT文またはMERGE文のUSING指定に記述されたファイル名の数は、16以下でなければなりません。17番目以降のファイル名は無効になります。

詳細な説明

COBOL処理系の定量制限です。

2.4.356 JMN2580I-W

@1@文は、宣言部分に指定できません。書かれているとおりに受け入れます。

埋め込みの説明

@1@ : SORTまたはMERGE.

例題

```

[P2580.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2580.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT SQFILE2 ASSIGN TO SYS002.
000008     SELECT SRTFILE ASSIGN TO SYS003.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA           DIVISION.
000011 FILE             SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02                PIC X(80).
000015 FD SQFILE2.
000016 01 SQF2REC.
000017 02                PIC X(80).
000018 SD SRTFILE.
000019 01 SRTREC.
000020 02 SRTKEY         PIC X(8).
000021 02                PIC X(72).
000022 WORKING-STORAGE SECTION.
000023 01 WFS1          PIC X(2).
000024 PROCEDURE      DIVISION.
000025 DECLARATIVES.
000026 FILE-ERROR SECTION.
000027     USE AFTER STANDARD ERROR PROCEDURE ON SQFILE1
000028     SORT SRTFILE
000029         ASCENDING KEY SRTKEY
000030         USING SQFILE1
000031         GIVING SQFILE2.
000032 END DECLARATIVES.
000033 END PROGRAM      P2580.

```

P2580.cob 28: JMN2580I-W SORT文は、宣言部分に指定できません。書かれているとおりに受け入れます。

2.4.357 JMN2583I-S

部分参照子の最左端文字位置の指定に誤りがあります。1とみなします。

例題

```
[P2583.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2583.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WBUF         PIC X(20).
000007 PROCEDURE       DIVISION.
000008     MOVE SPACE TO WBUF("ABC":1)
000009 END PROGRAM      P2583.
```

P2583.cob 8: JMN2583I-S 部分参照子の最左端文字位置の指定に誤りがあります。1とみなします。

詳細な説明

最左端文字位置は、算術式でなければなりません。

2.4.358 JMN2584I-S

部分参照子の長さの指定に誤りがあります。長さ指定がないものとみなします。

例題

```
[P2584.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2584.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WBUF         PIC X(20).
000007 PROCEDURE       DIVISION.
000008     MOVE SPACE TO WBUF(12:"ABC")
000009 END PROGRAM      P2584.
```

P2584.cob 8: JMN2584I-S 部分参照子の長さの指定に誤りがあります。長さ指定がないものとみなします。

詳細な説明

長さの指定は、算術式でなければなりません。

2.4.359 JMN2585I-S

@1@文は、USE BEFORE REPORTING手続き中に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : GENERATE, INITIATEまたはTERMINATE.

例題

```
[P2585.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2585.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT REPF1     ASSIGN TO SYS002.
```

```

000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA          DIVISION.
000010 FILE           SECTION.
000011 FD SQFILE1.
000012 01 SQF1REC     PIC X(80).
000013 FD REPF1FILE
000014     REPORT IS REP1.
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WFS1        PIC X(2).
000017 REPORT         SECTION.
000018 RD REP1 PAGE 66.
000019 01 DE-REC TYPE DE.
000020 02 LINE PLUS 1.
000021 03 COLUMN 1 PIC X(80) SOURCE SQF1REC.
000022 PROCEDURE      DIVISION.
000023 DECLARATIVES.
000024 FILE-ERROR-1 SECTION.
000025     USE BEFORE REPORTING DE-REC.
000026     GENERATE REP1.
000027 END DECLARATIVES.
000028 END PROGRAM     P2585.

```

P2585.cob 26: JMN2585I-S GENERATE文は、USE BEFORE REPORTING手続き中に指定できません。

詳細な説明

USE BEFORE REPORTING手続きは、指定した報告集団を作成表示する直前に実行される手続きです。報告書の作成や処理の開始・終了の制御をUSE BEFORE REPORTING手続き中で行うことはできません。

2.4.360 JMN2586I-S

@1@文が指定されたプログラムに、正しい報告書記述項が一つもありません。

埋め込みの説明

@1@ : GENERATE, INITIATE, SUPPRESSまたはTERMINATE.

例題

```

[P2586.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     P2586.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT   SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 I-O-CONTROL.
000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE           SECTION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 REP1        PIC X(80).
000011 REPORT         SECTION.
000012 PROCEDURE      DIVISION.
000013     GENERATE REP1.
000014 END PROGRAM     P2586.

```

P2586.cob 13: JMN2586I-S GENERATE文が指定されたプログラムに、正しい報告書記述項が一つもありません。

2.4.361 JMN2587I-S

@1@文は、別のプログラムに直接または間接に含まれるプログラム中に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : ENTRY.

例題

```
[P2587.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2587.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007 CALL "P2587SUB"
000008 EXIT PROGRAM.
000009*
000010 IDENTIFICATION DIVISION.
000011 PROGRAM-ID. P2587SUB.
000012 ENVIRONMENT DIVISION.
000013 DATA DIVISION.
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 PROCEDURE DIVISION.
000016 ENTRY "P2587E1"
000017 END PROGRAM P2587SUB.
000018 END PROGRAM P2587.
```

P2587.cob 16: JMN2587I-S ENTRY文は、別のプログラムに直接または間接に含まれるプログラム中に指定できません。

詳細な説明

最外部プログラムに指定してください。

2.4.362 JMN2588I-S

予約語@1@は、ADD/DIVIDE/MULTIPLY/SUBTRACT文のGIVING指定の前には記述できません。

埋め込みの説明

@1@ : ROUNDED.

例題

```
[P2588.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2588.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WNUM1 PIC S9(4) BINARY.
000007 01 WNUM2 PIC S9(4) BINARY.
000008 01 WNUM3 PIC S9(9) BINARY.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 ADD WNUM1 TO WNUM2 ROUNDED
000011 GIVING WNUM3
000012 END PROGRAM P2588.
```

P2588.cob 10: JMN2588I-S 予約語ROUNDEDは、ADD/DIVIDE/MULTIPLY/SUBTRACT文のGIVING指定の前には記述できません。

詳細な説明

ADD/DIVIDE/MULTIPLY/SUBTRACT文にGIVING指定を書いた場合は、GIVING指定で指定した項目にだけROUNDED指定を指定できます。

2.4.363 JMN2589I-S

@1@文で'@2@'は、整列併合用以外のファイルのレコード名でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : WRITEまたはREWRITE.
@2@ : エラーの原因となった語.

例題

```
[P2589.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2589.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT  SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS SEQUENTIAL.
000008 DATA          DIVISION.
000009 FILE           SECTION.
000010 FD SQFILE1.
000011 01 SQF1REC.
000012 02                PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 PROCEDURE      DIVISION.
000015     WRITE SQFILE1
000016 END PROGRAM     P2589.
```

P2589.cob 15: JMN2589I-S WRITE文で'SQFILE1'は、整列併合用以外のファイルのレコード名でなければなりません。

詳細な説明

WRITE文、REWRITE文では、レコード名を指定しなければなりません。ここではレコード名とは、データ部のファイル記述項(レベル指示語FDを持つ項目)の下位に属するレベル番号01のデータ記述項のデータ名です。

2.4.364 JMN2591I-S

WRITE文で、@1@はAFTERまたはBEFOREに続けて指定しなければなりません。AFTERが指定されているものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : ADVANCINGまたはPOSITIONING.

例題

```
[P2591.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2591.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT  SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS SEQUENTIAL.
000008 DATA          DIVISION.
000009 FILE           SECTION.
000010 FD SQFILE1.
000011 01 SQF1REC.
000012 02                PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 PROCEDURE      DIVISION.
000015     WRITE SQF1REC ADVANCING PAGE
000016 END PROGRAM     P2591.
```

P2591.cob 15: JMN2591I-S WRITE文で、ADVANCINGはAFTERまたはBEFOREに続けて指定しなければなりません。AFTERが指定されているものとみなします。

詳細な説明

必要語であるBEFOREあるいはAFTERが指定されていません。

2.4.365 JMN2592I-S

@2@指定に誤った語'@1@'が指定されています。1が指定されたものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった語。

@2@ : ADVANCINGまたはPOSITIONING.

例題

```
[P2592.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2592.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007 ORGANIZATION IS SEQUENTIAL.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD SQFILE1.
000011 01 SQF1REC.
000012 02 PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015 WRITE SQF1REC
000016 AFTER ADVANCING END-OF-PAGE
000017 END PROGRAM P2592.
```

P2592.cob 16: JMN2592I-S ADVANCING指定に誤った語'END-OF-PAGE'が指定されています。1が指定されたものとみなします。

詳細な説明

ADVANCING指定には以下が指定できます。

- 整数
- 整数項目
- 機能名CHANNEL-01～CHANNEL-12, SLC, CTL, STACKER-01, STACKER-2のいずれかに対応付けた呼び名
- PAGE

2.4.366 JMN2593I-S

LINE(S)は、@1@指定に整数または一意名を記述した場合にだけ指定できます。LINE(S)は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : ADVANCINGまたはPOSITIONING.

例題

```
[P2593.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2593.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
```

```

000006 CHANNEL-01 IS C01.
000007 INPUT-OUTPUT SECTION.
000008 FILE-CONTROL.
000009 SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000010 ORGANIZATION IS SEQUENTIAL.
000011 DATA DIVISION.
000012 FILE SECTION.
000013 FD SQFILE1.
000014 01 SQF1REC.
000015 02 PIC X(80).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 PROCEDURE DIVISION.
000018 WRITE SQF1REC
000019 AFTER ADVANCING C01 LINE.
000020 END PROGRAM P2593.

```

P2593.cob 19: JMN2593I-S LINE(S)は、ADVANCING指定に整数または一意名を記述した場合にだけ指定できます。LINE(S)は無効になります。

詳細な説明

LINEまたはLINESの前に指定された値に等しい行数だけ行送りされます。

2.4.367 JMN2596I-S

EVALUATE文では、WHEN OTHER指定の前にWHEN指定を記述しなければなりません。

例題

```

[P2596.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2596.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WNUM PIC S9(4) BINARY.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 EVALUATE WNUM
000009 WHEN OTHER
000010 DISPLAY "NG"
000011 WHEN 3
000012 DISPLAY "OK"
000013 END-EVALUATE
000014 END PROGRAM P2596.

```

P2596.cob 9: JMN2596I-S EVALUATE文では、WHEN OTHER指定の前にWHEN指定を記述しなければなりません。

P2596.cob 11: JMN2530I-S WHEN指定を記述してはなりません。指定を無視します。

詳細な説明

WHEN OTHER指定に書いた文は、先行するいずれのWHEN指定も選択されなかった場合に実行されます。

2.4.368 JMN2597I-S

EVALUATE文の選択主体または選択対象に、正負条件は指定できません。

例題

```

[P2597.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2597.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.

```

```

000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WNUM1          PIC S9(4) BINARY.
000007 01 WNUM2          PIC S9(4) BINARY.
000008 PROCEDURE        DIVISION.
000009     EVALUATE WNUM1
000010         TRUE
000011     WHEN 13
000012         WNUM2 IS NEGATIVE
000013         DISPLAY "OK"
000014     END-EVALUATE
000015 END PROGRAM      P2597.

```

P2597.cob 12: JMN2597I-S EVALUATE文の選択主体または選択対象に、正負条件は指定できません。

2.4.369 JMN2598I-S

条件の比較演算子の組合せに誤りがあります。

例題

```

[P2598.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2598.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WNUM          PIC S9(4) BINARY.
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008     IF WNUM EQUAL THAN 12 THEN
000009         DISPLAY "OK"
000010     END-IF
000011 END PROGRAM      P2598.

```

P2598.cob 8: JMN2598I-S 条件の比較演算子の組合せに誤りがあります。

詳細な説明

比較演算子は次のいずれかでなければなりません。

- IS GREATER THAN
- IS NOT GREATER THAN (IS LESS THAN OR EQUAL TOと等価です)
- IS LESS THAN
- IS NOT LESS THAN (IS GREATER THAN OR EQUAL TOと等価です)
- IS EQUAL TO
- IS NOT EQUAL TO
- IS GREATER THAN OR EQUAL TO (IS NOT LESS THANと等価です)
- IS LESS THAN OR EQUAL TO (IS NOT GREATER THANと等価です)

2.4.370 JMN2599I-S

条件中にNOTを連続して指定できません。

例題

```

[P2599.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2599.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.

```

```

000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WNUM          PIC S9(4) BINARY.
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008     IF NOT
000009         NOT WNUM EQUAL TO 12 THEN
000010         DISPLAY "OK"
000011     END-IF
000012 END PROGRAM      P2599.

```

P2599.cob 9: JMN2599I-S 条件中にNOTを連続して指定できません。

2.4.371 JMN2600I-S

条件中のオペランドに誤りがあります。

例題

```

[P2600.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2600.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE        DIVISION.
000007     IF 13 = THEN
000008         DISPLAY "OK".
000009 END PROGRAM          P2600.

```

P2600.cob 7: JMN2600I-S 条件中のオペランドに誤りがあります。

P2600.cob 7: JMN2557I-S IF文の書き方が不完全です。

2.4.372 JMN2601I-S

@1@が記述されなければならないのに@2@が記述されています。1が記述されたものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名または正の整数。

@2@ : エラーの原因となった語。

例題

```

[P2601.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2601.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WLOOP          PIC S9(4) V99 BINARY.
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008     PERFORM 10.5 TIMES
000009         DISPLAY "LOOP TEST"
000010     END-PERFORM
000011 END PROGRAM          P2601.

```

P2601.cob 8: JMN2601I-S 正の整数が記述されなければならないのに10.5が記述されています。1が記述されたものとみなします。

詳細な説明

PERFORM文の繰り返し回数には整数または整数項目を指定しなければなりません。

2.4.373 JMN2602I-S

左括弧に対応する右括弧が指定されていません。右括弧が指定されたものとみなします。

例題

```
[P2602.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2602.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WNUM1        PIC S9(9) BINARY.
000007 01 WNUM2        PIC S9(9) BINARY.
000008 01 WNUM3        PIC S9(9) BINARY.
000009 PROCEDURE       DIVISION.
000010     COMPUTE WNUM1 = WNUM1 *
000011             (WNUM2 - WNUM3
000012 END PROGRAM      P2602.
```

P2602.cob 11: JMN2602I-S 左括弧に対応する右括弧が指定されていません。右括弧が指定されたものとみなします。

2.4.374 JMN2603I-S

@1@文は、GLOBAL指定の宣言手続き中に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : EXIT PROGRAM, EXIT METHODまたはGOBACK.

例題

```
[P2603.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2603.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA            DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 FD SQFILE1.
000010 01 SQF1REC.
000011 02                PIC X(80).
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 PROCEDURE       DIVISION.
000014 DECLARATIVES.
000015 FILE-ERROR-1 SECTION.
000016     USE GLOBAL AFTER STANDARD ERROR PROCEDURE ON SQFILE1.
000017     EXIT PROGRAM.
000018 END DECLARATIVES.
000019 END PROGRAM      P2603.
```

P2603.cob 17: JMN2603I-S EXIT PROGRAM文は、GLOBAL指定の宣言手続き中に指定できません。

2.4.375 JMN2604I-S

USING指定中の '@1@' は、このプログラムの連絡節の中で定義されたレベル番号が01または77の項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった語。

例題

```
[P2604.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2604.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 LK1 PIC X.
000007 LINKAGE SECTION.
000008 01 LK2.
000009 02 LK21 PIC X.
000010 01 LK3 PIC X.
000011 PROCEDURE DIVISION USING LK1 LK21 LK3.
000012 END PROGRAM P2604.
```

P2604.cob 11: JMN2604I-S USING指定中の'LK1'は、このプログラムの連絡節の中で定義されたレベル番号が01または77の項目でなければなりません。

P2604.cob 11: JMN2604I-S USING指定中の'LK21'は、このプログラムの連絡節の中で定義されたレベル番号が01または77の項目でなければなりません。

2.4.376 JMN2605I-S

SEARCH ALL文に指定された条件名 @1@ は、単一の値を持たなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった条件名。

例題

```
[P2605.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2605.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WDATA OCCURS 10 INDEXED BY IX1
000008 ASCENDING KEY IS WITM1.
000009 03 WITM1 PIC X.
000010 88 XVAL VALUE "X", "x".
000011 03 WITM2 PIC X.
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013 SEARCH ALL WDATA
000014 WHEN XVAL (IX1)
000015 DISPLAY "OK"
000016 END-SEARCH
000017 END PROGRAM P2605.
```

P2605.cob 14: JMN2605I-S SEARCH ALL文に指定された条件名XVALは、単一の値を持たなければなりません。

2.4.377 JMN2606I-S

指標名に続く+または-の直後の文字列は、整数でなければなりません。その次元の添字を1とみなします。

例題

```
[P2606.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2606.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
```



```

000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WOCC        PIC X
000008                OCCURS 10 INDEXED BY IX1.
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010 MOVE SPACE TO WOCC(IX1 + 3. 5)
000011 END PROGRAM    P2606.

```

P2606.cob 10: JMN2606I-S 指標名に続く+または-の直後の文字列は、整数でなければなりません。その次元の添字を1とみなします。

詳細な説明

演算子が+のときは、演算子の後ろに指定した整数の値を、指標名の値(出現番号に対応する値)に加えた値が添字の値になります。演算子が-のときは、演算子の後ろに指定した整数の値を、指標名の値から引いた値が添字の値になります。

2.4.378 JMN2607I-S

同時に実行を要求される@1@指定の@2@文を、複数指定することはできません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった語.

@2@ : USE ERROR, USE LABELまたはUSE BEFORE REPORTING.

例題

```

[P2607.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2607.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 SELECT REPF1 ASSIGN TO SYS002.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA           DIVISION.
000010 FILE             SECTION.
000011 FD SQFILE1.
000012 01 SQF1REC     PIC X(80).
000013 FD REPF1
000014 REPORT IS REP1.
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WFS1        PIC X(2).
000017 REPORT         SECTION.
000018 RD REP1 PAGE 66.
000019 01 DE-REC TYPE DE.
000020 02 LINE PLUS 1.
000021 03 COLUMN 1 PIC X(80) SOURCE SQF1REC.
000022 PROCEDURE      DIVISION.
000023 DECLARATIVES.
000024 FILE-ERROR-1 SECTION.
000025 USE BEFORE REPORTING DE-REC.
000026 DISPLAY "ERROR PROC-1".
000027 FILE-ERROR-2 SECTION.
000028 USE BEFORE REPORTING DE-REC.
000029 DISPLAY "ERROR PROC-2".
000030 END DECLARATIVES.
000031 END PROGRAM     P2607.

```

P2607.cob 28: JMN2607I-S 同時に実行を要求されるDE-REC指定のUSE BEFORE REPORTING文を、複数指定することはできません。

詳細な説明

USE文では、対象が所定の状態(入出力誤り発生・作成表示の直前など)になったときに実行するUSE手続きを指定します。同じ対象に対して、複数の異なるUSE手続きを同時に実行することはできません。

2.4.379 JMN2608I-S

@1@文は、最も外側のプログラムにただ一つだけしか指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : USE FOR DEAD-LOCK.

例題

```
[P2608.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2608.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE       DIVISION.
000007     CALL "P2608SUB"
000008     STOP RUN.
000009*
000010 IDENTIFICATION DIVISION.
000011 PROGRAM-ID.      P2608SUB.
000012 PROCEDURE       DIVISION.
000013 DECLARATIVES.
000014 ERROR-1 SECTION.
000015     USE FOR DEAD-LOCK.
000016     EXIT PROGRAM.
000017 END DECLARATIVES.
000018 END PROGRAM      P2608SUB.
000019 END PROGRAM      P2608.
```

P2608.cob 15: JMN2608I-S USE FOR DEAD-LOCK文は、最も外側のプログラムにただ一つだけしか指定できません。

詳細な説明

USE FOR DEAD-LOCK文では、デッドロックが生じたときに実行すべき手続きを指定します。指定された手続きは、トランザクションコントロールシステムによって実行されます。

2.4.380 JMN2609I-S

USE DEBUGGING文は宣言部分の先頭に連続して記述しなければなりません。

例題

```
[P2609.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2609.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE       DIVISION.
000007 DECLARATIVES.
000008 ERROR-1 SECTION.
000009     USE FOR DEAD-LOCK.
000010     EXIT PROGRAM.
000011 ERROR-2 SECTION.
000012     USE DEBUGGING MODE
000013     EXIT PROGRAM.
```

```
000014 END DECLARATIVES.
000015 END PROGRAM    P2609.
```

P2609.cob 12: JMN2609I-S USE DEBUGGING文は宣言部分の先頭に連続して記述しなければなりません。

詳細な説明

USE DEBUGGING文は、OSIV系システムの固有機能です。

2.4.381 JMN2610I-S

KEY指定に記述されたデータ名 '@1@' は、このSORTまたはMERGE文に指定された整列併合用ファイルのデータ名でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2610.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2610.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT SQFILE2 ASSIGN TO SYS002.
000008     SELECT SRTFILE ASSIGN TO SYS003.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA           DIVISION.
000011 FILE             SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02 SRTKEY          PIC X(8).
000015 02                 PIC X(72).
000016 FD SQFILE2.
000017 01 SQF2REC.
000018 02 SRTKEY          PIC X(8).
000019 02                 PIC X(72).
000020 SD SRTFILE.
000021 01 SRTREC.
000022 02 SRTKEY          PIC X(8).
000023 02                 PIC X(72).
000024 WORKING-STORAGE SECTION.
000025 01 WFS1            PIC X(2).
000026 PROCEDURE        DIVISION.
000027     SORT SRTFILE
000028         ASCENDING KEY SRTKEY OF SQFILE1
000029         USING SQFILE1
000030         GIVING SQFILE2.
000031 END PROGRAM      P2610.
```

P2610.cob 28: JMN2610I-S KEY指定に記述されたデータ名 'SRTKEY' は、このSORTまたはMERGE文に指定された整列併合用ファイルのデータ名でなければなりません。

P2610.cob 28: JMN2672I-S KEY指定に有効な作用対象が一つもありません。

詳細な説明

整列・併合処理は、キー項目(KEY指定に記述されたデータ名)を比較して行われます。キー項目は、処理の対象になる整列併合用ファイルのレコードでなければなりません。

2.4.382 JMN2611I-S

SORTまたはMERGE文のASCENDING指定に指定した呼び名 '@1@'は、機能名BUSHU, SOKAKU, ON-YOMI, KUN-YOMI, BUSHOU, HUASHU, DUYIN, BUSU, HOEKまたはJAMOのいずれかに対応していなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった呼び名.

例題

```
[P2611.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.        P2611.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 CONFIGURATION      SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     SYSOUT IS SORT-RULE1.
000007 INPUT-OUTPUT       SECTION.
000008 FILE-CONTROL.
000009     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000010     SELECT SQFILE2 ASSIGN TO SYS002.
000011     SELECT SRTFILE ASSIGN TO SYS003.
000012 I-O-CONTROL.
000013 DATA                DIVISION.
000014 FILE                  SECTION.
000015 FD SQFILE1.
000016 01 SQF1REC.
000017 02                      PIC X(80).
000018 FD SQFILE2.
000019 01 SQF2REC.
000020 02                      PIC X(80).
000021 SD SRTFILE.
000022 01 SRTREC.
000023 02 SRTKEY                PIC X(8).
000024 02                      PIC X(72).
000025 WORKING-STORAGE SECTION.
000026 01 WFS1                  PIC X(2).
000027 PROCEDURE              DIVISION.
000028     SORT SRTFILE
000029         ASCENDING SORT-RULE1 KEY SRTKEY
000030         USING SQFILE1
000031         GIVING SQFILE2.
000032 END PROGRAM              P2611.
```

P2611.cob 29: JMN2611I-S SORTまたはMERGE文のASCENDING指定に指定した呼び名'SORT-RULE1'は、機能名BUSHU, SOKAKU, ON-YOMI, KUN-YOMI, BUSHOU, HUASHU, DUYIN, BUSU, HOEKまたはJAMOのいずれかに対応していなければなりません。

P2611.cob 29: JMN2773I-E このシステムでは、呼び名'SORT-RULE1'は注釈扱いとします。

詳細な説明

SORTまたはMERGE文のASCENDING指定に指定された呼び名は、OSIV系の固有機能です。

2.4.383 JMN2613I-S

SORTまたはMERGE文のASCENDING指定で、日本語系の機能名、中国語系の機能名および韓国語系の機能名のそれぞれに対応する呼び名を同時に指定できません。

例題

```
[P2613.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2613.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     BUSHU IS SORT-RULE1
000007     BUSHOU IS SORT-RULE2.
000008 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000009 FILE-CONTROL.
000010     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000011     SELECT SQFILE2 ASSIGN TO SYS002.
000012     SELECT SRTFILE ASSIGN TO SYS003.
000013 I-O-CONTROL.
000014 DATA           DIVISION.
000015 FILE             SECTION.
000016 FD SQFILE1.
000017 01 SQF1REC.
000018 02                PIC X(80).
000019 FD SQFILE2.
000020 01 SQF2REC.
000021 02                PIC X(80).
000022 SD SRTFILE.
000023 01 SRTREC.
000024 02 SRTKEY1       PIC X(4).
000025 02 SRTKEY2       PIC X(4).
000026 02                PIC X(72).
000027 WORKING-STORAGE SECTION.
000028 01 WFS1          PIC X(2).
000029 PROCEDURE       DIVISION.
000030     SORT SRTFILE
000031         ASCENDING SORT-RULE1 KEY SRTKEY1
000032         ASCENDING SORT-RULE2 KEY SRTKEY2
000033         USING SQFILE1
000034         GIVING SQFILE2.
000035 END PROGRAM      P2613.
```

P2613.cob 30: JMN2613I-S SORTまたはMERGE文のASCENDING指定で、日本語系の機能名、中国語系の機能名および韓国語系の機能名のそれぞれに対応する呼び名を同時に指定できません。

P2613.cob 31: JMN2773I-E このシステムでは、呼び名'SORT-RULE1'は注釈扱いとします。

P2613.cob 32: JMN2773I-E このシステムでは、呼び名'SORT-RULE2'は注釈扱いとします。

詳細な説明

SORTまたはMERGE文のASCENDING指定に指定された呼び名は、OSIV系の固有機能です。

2.4.384 JMN2615I-S

うちPERFORM文にAFTER指定は記述できません。

例題

```
[P2615.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2615.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WLOOP1        PIC S9(4) BINARY.
000007 01 WLOOP2        PIC S9(4) BINARY.
```

```

000008 PROCEDURE      DIVISION.
000009     PERFORM TEST BEFORE
000010         VARYING WLOOP1 FROM 1 BY 1 UNTIL WLOOP1 = 20
000011         AFTER  WLOOP2 FROM 5 BY 1 UNTIL WLOOP2 = 25
000012         DISPLAY "LOOP TEST"
000013     END-PERFORM
000014 END PROGRAM      P2615.

```

P2615.cob 11: JMN2615I-S うちPERFORM文にAFTER指定は記述できません。

詳細な説明

AFTER指定は、2つ以上のデータ項目や指標名の値を繰り返し回数に応じて変化させたいときに指定します。うちPERFORM文（PERFORM文の範囲内に記述した文の組を実行する）では、繰り返し回数に応じて変化させられるデータ項目もしくは指標名は、1つだけです。

2.4.385 JMN2616I-S

右括弧に対応する左括弧が指定されていません。余分な右括弧は、無効になります。

例題

```

[P2616.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2616.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WDATA         OCCURS 10 INDEXED BY IX1
000008                     ASCENDING KEY IS WITM1.
000009 03 WITM1          PIC X.
000010 88 XVAL          VALUE "X".
000011 03 WITM2          PIC X.
000012 PROCEDURE        DIVISION.
000013     SEARCH ALL WDATA
000014     WHEN XVAL(IX1))
000015     DISPLAY "OK"
000016     END-SEARCH
000017 END PROGRAM      P2616.

```

P2616.cob 14: JMN2616I-S 右括弧に対応する左括弧が指定されていません。余分な右括弧は、無効になります。

2.4.386 JMN2617I-S

誤った語THENが指定されています。THENは、無効になります。

例題

```

[P2617.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2617.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WNUM          PIC S9(9) BINARY.
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008*    IF WNUM = 10
000009    THEN
000010    DISPLAY "OK".
000011 END PROGRAM      P2617.

```

P2617.cob 9: JMN2617I-S 誤った語THENが指定されています。THENは、無効になります。

詳細な説明

THEN指定はIF文内に記述する言語要素です。

2.4.387 JMN2633I-S

SQL文に誤りがあります。@1@

埋め込みの説明

@1@ : 組み込みのSQLパーザの診断メッセージ。

例題

```
[P2633.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2633.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE      PIC X(5).
000008     EXEC SQL END   DECLARE SECTION END-EXEC.
000009 PROCEDURE         DIVISION.
000010     EXEC SQL
000011         DECLARE CUR1 CURSOR
000012         SELECT * FROM T1
000013         END-EXEC.
000014 END PROGRAM        P2633.
```

P2633.cob 11: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8356E 問合せ式又は文識別子が指定されていません。

詳細な説明

手続き部に記述した埋込みSQL文(EXEC SQL～END-EXECで囲んだSQL文)の解析で検出された誤りを指摘する診断メッセージです。

2.4.388 JMN2634I-S

カーソル名'@1@'は未定義です。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったカーソル名。

例題

```
[P2634.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2634.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE      PIC X(5).
000008     EXEC SQL END   DECLARE SECTION END-EXEC.
000009 PROCEDURE         DIVISION.
000010     EXEC SQL
000011         OPEN CUR1
000012         END-EXEC
000013 END PROGRAM        P2634.
```

P2634.cob 11: JMN2634I-S カーソル名'CUR1'は未定義です。

詳細な説明

カーソルは、データベース内の実表の中の1行を特定する行指示子です。

カーソルは、カーソル宣言で定義します。カーソル宣言の記述は、そのカーソルを使用するSQL文よりも、ソースコード上の順番で前になければなりません。

2.4.389 JMN2639I-S

EVALUATE文の選択対象でTHROUGH(THRU)の後に誤った語 '@1@' が指定されています。 THROUGH(THRU)指定は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった語。

例題

```
[P2639.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2639.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WNUM          PIC X.
000007 PROCEDURE       DIVISION.
000008     EVALUATE WNUM
000009     WHEN "A" THRU "Z"
000010     DISPLAY "ALPHABETIC"
000011     WHEN "0" THRU
000012     DISPLAY "NUMERIC"
000013     END-EVALUATE
000014 END PROGRAM      P2639.
```

P2639.cob 11: JMN2639I-S EVALUATE文の選択対象でTHROUGH(THRU)の後に誤った語'DISPLAY'が指定されています。THROUGH(THRU)指定は、無効になります。

詳細な説明

WHEN指定に書いたTHROUGH指定(THRUとTHROUGHは同義語です)は2つの作用対象をつなぎ、1つの選択対象として評価することを示します。

2.4.390 JMN2640I-S

うちPERFORM文にはEND-PERFORMが指定されなければなりません。 END-PERFORMがあるものとみなします。

例題

```
[P2640.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2640.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE       DIVISION.
000007     PERFORM WITH NO LIMIT
000008     DISPLAY "LOOP TEST".
000009 END PROGRAM      P2640.
```

P2640.cob 8: JMN2640I-S うちPERFORM文にはEND-PERFORMが指定されなければなりません。 END-PERFORMがあるものとみなします。

詳細な説明

うちPERFORM文によって繰り返す文の組を明確にするために、明示範囲符のEND-PERFORMを記述して文の範囲を終了させてください。

2.4.391 JMN2641I-S

NEXT SENTENCEで語SENTENCEが指定されていません。語SENTENCEが指定されていたものとみなします。

例題

```
[P2641. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2641.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WNUM PIC S9(10).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 IF WNUM = 10 THEN
000009 DISPLAY "OK"
000010 ELSE
000011 NEXT
000012 .
000013 END PROGRAM P2641.
```

P2641.cob 12: JMN2641I-S NEXT SENTENCEで語SENTENCEが指定されていません。語SENTENCEが指定されていたものとみなします。

詳細な説明

NEXT SENTENCE指定を書く場合は、語SENTENCEは必要語です。必ず指定してください。

2.4.392 JMN2642I-S

@1@で語@2@が指定されていません。語@2@が指定されたものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : ON SIZE ERROR.
@2@ : ERROR.

例題

```
[P2642. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2642.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WNUM1 PIC S9(4) BINARY.
000007 01 WNUM2 PIC S9(4) BINARY.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 COMPUTE WNUM1 = WNUM1 * WNUM2
000010 ON SIZE
000011 DISPLAY "ERROR"
000012 END-COMPUTE.
000013 END PROGRAM P2642.
```

P2642.cob 11: JMN2642I-S ON SIZE ERRORで語ERRORが指定されていません。語ERRORが指定されたものとみなします。

詳細な説明

ON SIZE ERROR指定を書く場合は、語ERRORは必要語です。必ず指定してください。

2.4.393 JMN2643I-S

@1@文はサブスキーマ名段落指定されていないと使用できません。

埋め込みの説明

@1@ : CONNECT, DISCONNECT, ERASE, GET, FINISH, IF DB-EXCEPTION, MODIFY, READYまたはSTORE.

例題

```
[P2643.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2643.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE       DIVISION.
000007     READY "MNAAB".
000008 END PROGRAM     P2643.
```

P2643.cob 7: JMN2643I-S READY文はサブスキーマ名段落指定されていないと使用できません。

P2643.cob 7: JMN2774I-W 'READY'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

詳細な説明

ネットワークデータベース操作文を使用するには、環境部の構成節にサブスキーマ名段落を記述し、そこでサブスキーマ定義ファイル(ネットワークデータベースの論理構造を取り出し、COBOLのレコードに変換したもの)を指定する必要があります。

2.4.394 JMN2644I-S

@1@文に'@2@'は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの発生した文の動詞.

@2@ : エラーの原因となった語.

例題

```
[P2644.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2644.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE       DIVISION.
000007     STOP N"停止".
000008 END PROGRAM     P2644.
```

P2644.cob 7: JMN2644I-S STOP文に'日本語定数'は指定できません。

2.4.395 JMN2645I-W

EXAMINE文の数字定数は、符号なしでなければなりません。符号は、無効となります。

例題

```
[P2645.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2645.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
```

```

000006 01 WNUM      PIC S9(18).
000007 PROCEDURE   DIVISION.
000008     EXAMINE WNUM
000009         TALLYING ALL -9
000010 END PROGRAM   P2645.

```

P2645.cob 9: JMN2645I-W EXAMINE文の数字定数は、符号なしでなければなりません。符号は、無効となります。

詳細な説明

EXAMINE文は、OSIV系システムの固有機能です。

2.4.396 JMN2650I-I

(CONF)明示範囲符の@1@は直前の@2@文に対応づけられます。

埋め込みの説明

@1@ : ADD, DIVIDE, MULTIPLY, SUBTRACT, COMPUTE, DELETE, END-ADD, END-DIVIDE, END-MULTIPLY, END-SUBTRACT, END-COMPUTE, END-DELETE, END-STRING, END-UNSTRING, END-INVOKE, END-CALL, END-READ, END-START, END-REWRITEまたはEND-WRITE.

@2@ : ADD, DIVIDE, MULTIPLY, SUBTRACT, COMPUTE, DELETE, STRING, UNSTRING, INVOKE, CALL, READ, START, REWRITEまたはWRITE.

例題

```

[P2650.cob]
000001 @OPTIONS CONF(74)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P2650.
000004 ENVIRONMENT   DIVISION.
000005 DATA          DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 WNUM1      PIC S9(4) BINARY.
000008 01 WNUM2      PIC S9(4) BINARY.
000009 01 WNUM3      PIC S9(4) BINARY.
000010 PROCEDURE   DIVISION.
000011     COMPUTE WNUM1 = WNUM2 + WNUM3
000012     END-COMPUTE
000013 END PROGRAM   P2650.

```

P2650.cob 12: JMN2650I-I (CONF)明示範囲符のEND-COMPUTEは直前のCOMPUTE文に対応づけられます。

詳細な説明

翻訳オプションCONFは、'85 ANS COBOLの規格とそれ以前の旧規格の間の非互換を指摘させる(CONF)か、させない(NOCONF)かを指定します。翻訳オプションCONF(68)および翻訳オプションCONF(74)は、翻訳オプションLANGLVL(85)を指定した場合にだけ意味を持ちます。

翻訳オプションCONFは、85規格以前の規格に従って作成したプログラムを、'85 ANS COBOLの規格に従うように変更する場合に有効です。

2.4.397 JMN2651I-W

数字定数と符号が離れています。符号を数字定数に付けます。

例題

```

[P2651.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2651.
000003 ENVIRONMENT   DIVISION.
000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.

```

```
000006 01 WNUM          PIC S9(4) BINARY.
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008     MOVE + 12 TO WNUM
000009 END PROGRAM      P2651.
```

P2651.cob 8: JMN2651I-W 数字定数と符号が離れています。符号を数字定数に付けます。

詳細な説明

符号付きの数字定数を記述する場合、符号と数字定数との間には分離符の空白を置かないでください。

2.4.398 JMN2654I-S

USE LABEL文に指定できるファイル'@1@'は順ファイル、直接編成ファイルおよび相対編成ファイルでなければなりません。'@1@'を無効とします。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったファイル名。

例題

```
[P2654.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.        P2654.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IXFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     RECORD KEY RKEY.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA              DIVISION.
000011 FILE                SECTION.
000012 FD IXFILE1 LABEL RECORD STANDARD.
000013 01 IXF1REC.
000014 02 RKEY            PIC X(8).
000015 02                 PIC X(72).
000016 01 LREC           PIC X(80).
000017 WORKING-STORAGE SECTION.
000018 PROCEDURE          DIVISION.
000019 DECLARATIVES.
000020 ER1 SECTION.
000021     USE AFTER STANDARD ENDING FILE
000022     LABEL PROCEDURE ON IXFILE1.
000023 END DECLARATIVES.
000024 END PROGRAM        P2654.
```

P2654.cob 21: JMN2557I-S USE LABEL文の書き方が不完全です。

P2654.cob 22: JMN2654I-S USE LABEL文に指定できるファイル'IXFILE1'は順ファイル、直接編成ファイルおよび相対編成ファイルでなければなりません。'IXFILE1'を無効とします。

詳細な説明

USE LABEL文は、OSIV系システムの固有機能です。

2.4.399 JMN2656I-S

USE LABEL文に指定されたファイル'@1@'には、LABEL RECORD句でデータ名を指定しなければなりません。'@1@'を無効とします。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったファイル名.

例題

```
[P2656.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.        P2656.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA              DIVISION.
000009 FILE                SECTION.
000010 FD SQFILE1.
000011 01 SQF1REC.
000012 02                  PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 PROCEDURE          DIVISION.
000015 DECLARATIVES.
000016 ER1 SECTION.
000017     USE AFTER STANDARD ENDING FILE
000018         LABEL PROCEDURE ON SQFILE1.
000019 END DECLARATIVES.
000020 END PROGRAM        P2656.
```

P2656.cob 17: JMN2557I-S USE LABEL文の書き方が不完全です.

P2656.cob 18: JMN2656I-S USE LABEL文に指定されたファイル'SQFILE1'には、LABEL RECORD句でデータ名を指定しなければなりません。'SQFILE1'を無効とします.

詳細な説明

USE LABEL文は、OSIV系システムの固有機能です.

2.4.400 JMN2657I-S

乱呼出しのファイル '@1@' に対して REEL および UNIT は指定できません.

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったファイル名.

例題

```
[P2657.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.        P2657.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO R-SYS001
000007         RELATIVE KEY IS RKEY
000008         ACCESS MODE RANDOM.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA              DIVISION.
000011 FILE                SECTION.
000012 FD SQFILE1 LABEL RECORD LREC.
000013 01 SQF1REC.
000014 02                  PIC X(80).
000015 01 LREC             PIC X(80).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 01 RKEY              PIC 9(8) BINARY.
```

```
000018 PROCEDURE      DIVISION.
000019 DECLARATIVES.
000020 ER1 SECTION.
000021     USE AFTER STANDARD ENDING REEL
000022         LABEL PROCEDURE ON SQFILE1.
000023 END DECLARATIVES.
000024 END PROGRAM      P2657.
```

P2657.cob 6: JMN1481I-E '相対編成ファイル'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

P2657.cob 7: JMN1481I-E 'RELATIVE KEY'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

P2657.cob 12: JMN1478I-W このシステムでは, 'LABEL RECORD'は注釈として扱います。

P2657.cob 21: JMN2766I-W このシステムでは, 'USE LABEL'は注釈として扱います。

P2657.cob 22: JMN2657I-S 乱呼出しのファイル'SQFILE1'に対してREELおよびUNITは指定できません。

詳細な説明

REEL指定またはUNIT指定を書く場合, USE文に指定するファイル名はレコード順ファイルまたはFORMAT句なしの印刷ファイルでなければなりません。

2.4.401 JMN2658I-S

BEFORE指定のUSE LABEL文は, サポートされていません。

例題

```
[P2658. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2658.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA             DIVISION.
000009 FILE               SECTION.
000010 FD SQFILE1 LABEL RECORD LREC.
000011 01 SQF1REC.
000012 02              PIC X(80).
000013 01 LREC         PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 PROCEDURE        DIVISION.
000016 DECLARATIVES.
000017 ER1 SECTION.
000018     USE BEFORE STANDARD ENDING FILE
000019         LABEL PROCEDURE ON SQFILE1.
000020 END DECLARATIVES.
000021 END PROGRAM        P2658.
```

P2658.cob 10: JMN1478I-W このシステムでは, 'LABEL RECORD'は注釈として扱います。

P2658.cob 18: JMN2658I-S BEFORE指定のUSE LABEL文は, サポートされていません。

詳細な説明

USE LABEL文は, OSIV系システムの固有機能です。

2.4.402 JMN2659I-S

USE BEFORE REPORTING文の '@1@' は, 報告集団名でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった利用者語.

例題

```
[P2659.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.        P2659.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT  SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE           SECTION.
000009 FD SQFILE1.
000010 01 SQFIREC.
000011 02                PIC X(80).
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 PROCEDURE     DIVISION.
000014 DECLARATIVES.
000015 BR-PROC SECTION.
000016     USE BEFORE REPORTING SQFILE1.
000017 END DECLARATIVES.
000018 END PROGRAM     P2659.
```

P2659.cob 16: JMN2659I-S USE BEFORE REPORTING文の'SQFILE1'は、報告集団名でなければなりません。

詳細な説明

USE BEFORE REPORTING文で指定した報告集団を作成表示する直前に、同文で指定した手続きを実行します。

2.4.403 JMN2660I-S

WHENEVER文の構文に誤りがあります。

例題

```
[P2660.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.        P2660.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE     DIVISION.
000007     EXEC SQL
000008     WHENEVER SQLERROR GO TO
000009     END-EXEC.
000010 END PROGRAM     P2660.
```

P2660.cob 8: JMN2660I-S WHENEVER文の構文に誤りがあります。

詳細な説明

埋込みSQL例外宣言(WHENEVER)において、次の誤りが考えられます。

- WHENEVERの後ろの語が、SQLERRORまたはNOT FOUNDでない
- NOTの後ろの語がFOUNDでない
- SQLERROR/NOT FOUNDの後ろの語が、GO TO/GOTO/CONTINUEでない
- GOの後ろの語がTOでない
- GO TO/GOTOの後ろ語が:(コロン)でない

- ・:(コロン)の後ろに手続き名が書かれていない
- ・ 手続き名が適切でない(名前が30文字を超えている／修飾に誤りがある／先頭または末尾がハイフンである)

2.4.404 JMN2662I-S

有効なWHENEVER文の手続き名 '@1@' が未定義または多重定義です。GO TO 手続き名 指定をCONTINUE 指定とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった手続き名.

例題

```
[P2662.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2662.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE     PIC X(5).
000008     EXEC SQL END  DECLARE SECTION END-EXEC.
000009 PROCEDURE       DIVISION.
000010     EXEC SQL
000011         WHENEVER SQLERROR GO TO :ERR-1
000012     END-EXEC.
000013*
000014     EXEC SQL
000015         DECLARE CUR1 CURSOR FOR
000016         SELECT *
000017     END-EXEC
000018*
000019     EXEC SQL
000020         OPEN CUR1
000021     END-EXEC
000022 END PROGRAM      P2662.
```

P2662.cob 20: JMN2662I-S 有効なWHENEVER文の手続き名 'ERR-1' が未定義または多重定義です。GO TO 手続き名 指定をCONTINUE 指定とみなします。

2.4.405 JMN2663I-S

有効なWHENEVER文の名標 '@1@' は、手続き名でなければなりません。GO TO 手続き名 指定をCONTINUE 指定とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった利用者語.

例題

```
[P2663.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2663.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE     PIC X(5).
000008     EXEC SQL END  DECLARE SECTION END-EXEC.
000009 01 PROC-NAME     PIC X(8).
```



```

000010 PROCEDURE      DIVISION.
000011     EXEC SQL
000012     WHENEVER SQLERROR GO TO :PROC-NAME
000013     END-EXEC.
000014*
000015     EXEC SQL
000016     DECLARE CUR1 CURSOR FOR
000017     SELECT *
000018     END-EXEC
000019*
000020     EXEC SQL
000021     OPEN CUR1
000022     END-EXEC
000023 END PROGRAM      P2663.

```

P2663.cob 21: JMN2663I-S 有効なWHENEVER文の名標'PROC-NAME'は、手続き名でなければなりません。GO TO手続き名指定をCONTINUE指定とみなします。

2.4.406 JMN2665I-S

[Win32]

'@1@'は136バイトでかつ作業場所節に定義されていなければなりません。GIVING指定は、無効となります。

[Winx64]

'@1@'は136バイトでかつ作業場所節または局所記憶節に定義されていなければなりません。GIVING指定は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名

例題

```

[P2665.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2665.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA            DIVISION.
000009 FILE             SECTION.
000010 FD SQFILE1.
000011 01 SQFIREC.
000012 02             PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 ERRINFO     PIC X(20).
000015 PROCEDURE      DIVISION.
000016 DECLARATIVES.
000017 ERR1          SECTION.
000018     USE AFTER STANDARD ERROR
000019     PROCEDURE ON SQFILE1
000020     GIVING ERRINFO.
000021 END DECLARATIVES.
000022 END PROGRAM      P2665.

```

- [Win32]

P2665.cob 20: JMN2665I-S 'ERRINFO'は136バイトでかつ作業場所節に定義されていなければなりません。GIVING指定は、無効となります。

- **[Winx64]**
P2665.cob 20: JMN2665I-S 'ERRINFO'は136バイトでかつ作業場所節または局所記憶節に定義されていなければなりません。GIVING指定は、無効となります。

詳細な説明

USE文のGIVING指定は、OSIV系システムの固有機能です。

2.4.407 JMN2666I-S

[Win32]

'@1@'は作業場所節または連絡節で定義されていなければなりません。 '@1@'は、無効となります。

[Winx64]

'@1@'は作業場所節、局所記憶節または連絡節で定義されていなければなりません。 '@1@'は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2666.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2666.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA           DIVISION.
000009 FILE            SECTION.
000010 FD SQFILE1.
000011 01 SQF1REC.
000012 02                PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 ERRINFO1      PIC X(136).
000015 CONSTANT        SECTION.
000016 01 ERRINFO2     PIC X(20) VALUE SPACE.
000017 PROCEDURE       DIVISION.
000018 DECLARATIVES.
000019 ERR1            SECTION.
000020     USE AFTER STANDARD ERROR
000021         PROCEDURE ON SQFILE1
000022         GIVING ERRINFO1 ERRINFO2.
000023 END DECLARATIVES.
000024 END PROGRAM      P2666.
```

- **[Win32]**
P2666.cob 22: JMN2666I-S 'ERRINFO2'は作業場所節または連絡節で定義されていなければなりません。 'ERRINFO2'は、無効となります。
- **[Winx64]**
P2666.cob 22: JMN2666I-S 'ERRINFO2'は作業場所節、局所記憶節または連絡節で定義されていなければなりません。 'ERRINFO2'は、無効となります。

詳細な説明

USE文のGIVING指定は、OSIV系システムの固有機能です。

2.4.408 JMN2669I-E

CALL文のUSING指定に手続き名 '@1@' の指定があります。このシステムでは、結果は保証されません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった手続き名。

例題

```
[C2669.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C2669.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 P1 PIC X(4).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 CALL "SUB2669" USING P1.
000009 P1.
000010 EXIT PROGRAM.
000011 END PROGRAM C2669.
```

C2669.cob 8: JMN2669I-E CALL文のUSING指定に手続き名 'P1' の指定があります。このシステムでは、結果は保証されません。

詳細な説明

主な原因として以下の2点が考えられます。

- CALL文のUSINGに手続き名が指定されています。“COBOL文法書”を参照のうえ、正しい書き方に修正してください。
- CALL文のUSINGに手続き名と同じ名前の一意名が指定されています。手続き名または一意名を異なる名前に修正してください。

2.4.409 JMN2670I-S

@1@文は、一つのプログラムに一つしか記述できません。

埋め込みの説明

@1@ : USE FOR DB-EXCEPTION.

例題

```
[P2670.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2670.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007 DECLARATIVES.
000008 ERROR-1 SECTION.
000009 USE FOR DB-EXCEPTION.
000010 ERROR-2 SECTION.
000011 USE FOR DB-EXCEPTION.
000012 END DECLARATIVES.
000013 END PROGRAM P2670.
```

P2670.cob 9: JMN2774I-W 'USE FOR DB-EXCEPTION'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

P2670.cob 11: JMN2670I-S USE FOR DB-EXCEPTION文は、一つのプログラムに一つしか記述できません。

詳細な説明

USE FOR DB-EXCEPTION文は、OSIV系システムの固有機能です。

2.4.410 JMN2671I-S

部分参照子には、':'を指定しなければなりません。':'が指定されているものとみなします。

例題

```
[P2671. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2671.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WBUF          PIC X(20).
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008     MOVE SPACE TO WBUF(1 2)
000009 END PROGRAM      P2671.
```

P2671.cob 8: JMN2671I-S 部分参照子には、':'を指定しなければなりません。':'が指定されているものとみなします。

詳細な説明

データ項目や関数値を部分参照したい場合、データ名または関数一意名に部分参照子を付けます。部分参照子は、部分参照の対象となるデータ名または関数一意名の後ろに左括弧を1つ書き、最左端文字位置を示す算術式を記述します。さらにその後ろに:(コロン)を記述し、部分参照する長さを示す算術式を記述して、先の左括弧の対になる右括弧を記述します。コロンの前後には、分離符の空白を書くこともできます。長さを示す算術式は省略することができますが、コロンは省略できません。

2.4.411 JMN2672I-S

@1@指定に有効な作用対象が一つもありません。

埋め込みの説明

@1@ : USING, RETURNINGまたはKEY.

例題

```
[P2672. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2672.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT SQFILE2 ASSIGN TO SYS002.
000008     SELECT SRFILE ASSIGN TO SYS003.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA            DIVISION.
000011 FILE             SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02 SRTKEY          PIC X(8).
000015 02                  PIC X(72).
000016 FD SQFILE2.
000017 01 SQF2REC.
000018 02 SRTKEY          PIC X(8).
000019 02                  PIC X(72).
000020 SD SRFILE.
000021 01 SRTREC.
000022 02 SRTKEY          PIC X(8).
000023 02                  PIC X(72).
000024 WORKING-STORAGE SECTION.
000025 01 WFS1           PIC X(2).
000026 PROCEDURE        DIVISION.
000027     SORT SRFILE
```

```

000028     ASCENDING KEY SRTKEY OF SQFILE1
000029     USING SQFILE1
000030     GIVING SQFILE2.
000031 END PROGRAM     P2672.

```

P2672.cob 28: JMN2610I-S KEY 指定に記述されたデータ名'SRTKEY'は、このSORTまたはMERGE文に指定された整列併合用ファイルのデータ名でなければなりません。

P2672.cob 28: JMN2672I-S KEY 指定に有効な作用対象が一つもありません。

詳細な説明

指定されたすべての作用対象に誤りがあります。他に出力されている診断エラーを参照して、誤りを取り除いてください。

2.4.412 JMN2673I-S

@1@文中に誤った語@2@が指定されています。AT ENDまたはWHENが現れるまで読み飛ばします。

埋め込みの説明

@1@ : SEARCHまたはSEARCH ALL.

@2@ : 誤った語

例題

```

[P2673. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2673.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WDATA     OCCURS 10 INDEXED BY IX1
000008                      ASCENDING KEY IS WITM1.
000009 03 WITM1     PIC X.
000010 03 WITM2     PIC X.
000011 PROCEDURE     DIVISION.
000012 SEARCH ALL WDATA VARYING IX1
000013 WHEN WITM1 (IX1) = "X"
000014 DISPLAY "OK"
000015 END-SEARCH
000016 END PROGRAM     P2673.

```

P2673.cob 12: JMN2673I-S SEARCH ALL 文中に誤った語VARYINGが指定されています。AT ENDまたはWHENが現れるまで読み飛ばします。

2.4.413 JMN2682I-W

略記組合せ比較条件中に括弧は指定できません。括弧は、有効とみなします。

例題

```

[P2682. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2682.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 D1           PIC X(1).
000007 PROCEDURE     DIVISION.
000008 IF D1 >= "A" AND
000009    <= ("Z" OR "z") THEN
000010 DISPLAY "OK"

```

```
000011 ELSE
000012 DISPLAY "OK"
000013 END-IF
000014 END PROGRAM P2682.
```

P2682.cob 8: JMN2682I-W 略記組合せ比較条件中に括弧は指定できません。括弧は、有効とみなします。

2.4.414 JMN2686I-S

カーソル名 '@1@' は、すでに定義されています。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったカーソル名。

例題

```
[P2686.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2686.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE PIC X(5).
000008 EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 EXEC SQL
000011 DECLARE CUR1 CURSOR FOR
000012 SELECT C1, C2 WHERE N1 = 10
000013 END-EXEC
000014 EXEC SQL
000015 DECLARE CUR1 CURSOR FOR
000016 SELECT C1, C2 WHERE N1 = 12
000017 END-EXEC
000018 END PROGRAM P2686.
```

P2686.cob 15: JMN2686I-S カーソル名 'CUR1' は、すでに定義されています。

詳細な説明

埋込みSQL文で、同じカーソル名を宣言しているカーソル宣言が2つ以上あります。カーソル名は、翻訳単位のプログラム内で一意でなければなりません。

2.4.415 JMN2689I-W

MERGE文のUSING指定に記述されたファイル名の個数は、2個以上でなければなりません。ファイル名は、有効とみなします。

例題

```
[P2689.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2689.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 SELECT SQFILE2 ASSIGN TO SYS002.
000008 SELECT SRTFILE ASSIGN TO SYS003.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
```

```

000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02 KEYREC          PIC X(8).
000015 02                  PIC X(72).
000016 FD SQFILE2.
000017 01 SQF2REC.
000018 02 KEYREC          PIC X(8).
000019 02                  PIC X(72).
000020 SD SRTFILE.
000021 01 SRTREC.
000022 02 KEYREC          PIC X(8).
000023 02                  PIC X(72).
000024 WORKING-STORAGE SECTION.
000025 PROCEDURE          DIVISION.
000026     MERGE SRTFILE
000027         ASCENDING KEY KEYREC OF SRTFILE
000028         USING SQFILE1
000029         GIVING SQFILE2
000030 END PROGRAM          P2689.

```

P2689.cob 28: JMN2689I-W MERGE文のUSING指定に記述されたファイル名の個数は、2個以上でなければなりません。ファイル名は、有効とみなします。

詳細な説明

MERGE文は、USING指定に指定されたファイルを併合します。USING指定には、併合の対象とするファイル名を少なくとも2個指定してください。

2.4.416 JMN2691I-S

報告書節中の '@1@' は、手続部では参照してはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```

[P2691.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2691.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS002.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA           DIVISION.
000009 FILE            SECTION.
000010 FD REPFIL
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 WRKREC       PIC X(80).
000014 REPORT         SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66.
000016 01 DE-REC TYPE DE.
000017 02 LINE PLUS 1.
000018 03 COLUMN 1 PIC X(80) SOURCE WRKREC.
000019 PROCEDURE     DIVISION.
000020 DECLARATIVES.
000021 ERR1 SECTION.
000022     USE BEFORE REPORTING DE-REC.
000023     MOVE SPACE TO DE-REC.

```

```
000024 END DECLARATIVES.
000025 END PROGRAM    P2691.
```

P2691.cob 23: JMN2691I-S 報告書節中の'DE-REC'は、手続部では参照してはなりません。

詳細な説明

報告書記述項で宣言した報告書名(レベル指示語RDに続いて指定した名前)、および報告集団名(報告書記述項の下位に宣言したデータ記述項で定義したデータ名)は、手続部では、USE BEFORE REPORTING文あるいはGENERATE/INITIATE/TERMINATE文の中だけで使えます。

2.4.417 JMN2692I-W

@1@文の後に実行されない文が存在します。その文は、有効とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : GO TO, EXIT PROGRAM, STOP RUNまたはGOBACK.

例題

```
[P2692.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2692.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE       DIVISION.
000007     STOP RUN.
000008     DISPLAY "TEST NG".
000009 END PROGRAM      P2692.
```

P2692.cob 7: JMN2692I-W STOP RUN文の後に実行されない文が存在します。その文は、有効とみなします。

詳細な説明

制御の移行を明示的に指示する文の後ろに、実行文が書かれています。これらの文は翻訳はされますが、実行されることはありません。

2.4.418 JMN2693I-W

'@1@'は一意名またはゼロでない整数でなければなりません。書かれたとおり受け入れます。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった語。

例題

```
[P2693.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2693.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WOCC          PIC X(2) OCCURS 26
000008                  INDEXED BY IX1.
000009 01 LCNT          PIC S9(4) BINARY.
000010 PROCEDURE       DIVISION.
000011     PERFORM TEST BEFORE
000012     VARYING LCNT FROM IX1 BY 0 UNTIL IX1 = 26
000013     DISPLAY WOCC(IX1)
```



```
000014 END-PERFORM
000015 END PROGRAM P2693.
```

P2693.cob 12: JMN2693I-W '0'は一意名またはゼロでない整数でなければなりません。書かれたとおり受け入れます。

詳細な説明

FROM指定に指標名を指定した場合、BY指定には0でない整数あるいは整数項目を指定しなければなりません。

2.4.419 JMN2694I-S

ポインタ修飾子に誤りがあります。

例題

```
[P2694.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2694.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 BASED-STORAGE SECTION.
000006 01 WBUF.
000007 02 WITEM1 PIC X(2).
000008 02 WITEM2 PIC X(2).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 MOVE SPACE TO
000011 (FUNCTION LENGTH(WITEM2))->WBUF
000012 END PROGRAM P2694.
```

P2694.cob 11: JMN2694I-S ポインタ修飾子に誤りがあります。

詳細な説明

次のような原因が考えられます。

- ・ データ名あるいはADDR関数でない要素に続いてポインタ修飾記号(->)が書かれている
- ・ ポインタ修飾子が括弧を含むとき、括弧の対応が取れていない
- ・ ポインタ修飾子の構成要素に誤りがある

2.4.420 JMN2695I-S

ポインタ付けされている '@1@' はデータ名または条件名でなければなりません。ポインタ付けを削除します。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった語。

例題

```
[C2695.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C2695.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 BASED-STORAGE SECTION.
000006 01 BA01 PIC 9(10).
000007 01 BA02 PIC 9(10).
000008 01 BA03 PIC 9(10).
000009 01 BA04 PIC 9(10).
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 A01.
000012 02 A02 PIC 9(10).
000013 02 A03 PIC 9(10).
```

```

000014 02 A04 PIC 9(10).
000015 01 P01 USAGE POINTER.
000016 01 P02 USAGE POINTER.
000017 PROCEDURE DIVISION.
000018 DISPLAY (P01 + P02)->"AAA".
000019 END PROGRAM C2695.

```

C2695.cob 18: JMN2694I-S ポインタ修飾子に誤りがあります。

C2695.cob 18: JMN2695I-S ポインタ付けされている"AAA"はデータ名または条件名でなければなりません。ポインタ付けを削除します。

2.4.421 JMN2696I-S

検査機構付きでないうちPERFORM文にはTEST指定付きのEXIT PERFORM文は指定できません。TEST指定は、無効になります。

例題

```

[C26961.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C2696.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A01.
000007 02 A02 PIC 9(10).
000008 02 A03 PIC 9(10).
000009 02 A04 PIC 9(10).
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 PERFORM WITH NO LIMIT
000012 MOVE A03 TO A04
000013 EXIT TO TEST OF PERFORM
000014 END-PERFORM.
000015 END PROGRAM C2696.

```

C2696.cob 13: JMN2696I-S 検査機構付きでないうちPERFORM文にはTEST指定付きのEXIT PERFORM文は指定できません。TEST指定は、無効になります。

詳細な説明

TEST指定付きのEXIT PERFORM文は、終了条件のある(NO LIMIT指定でない)うちPERFORM文の中にだけ書くことができます。TEST指定付きのEXIT PERFORM文を実行すると、対応するうちPERFORM文の検査機構に制御が移ります。

検査機構とは、以下の処理です。

- TIMESの前に指定した繰り返し回数を検査する処理
- UNTILの後に指定した条件を検査する処理

2.4.422 JMN2697I-S

EXIT PERFORM文はうちPERFORM文の内側に指定しなければなりません。

例題

```

[P2697.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2697.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WNUM PIC X(2).
000007 PROCEDURE DIVISION.

```

```

000008 IF WNUM = "13" THEN
000009     DISPLAY "OK"
000010 ELSE
000011     EXIT PERFORM
000012 END-IF
000013 END PROGRAM     P2697.

```

P2697.cob 11: JMN2697I-S EXIT PERFORM文はうちPERFORM文の内側に指定しなければなりません。

詳細な説明

EXIT PERFORM文は、うちPERFORM文の出口を指定します。

2.4.423 JMN2698I-S

@1@に引数が指定されていません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの検出された関数名。

例題

```

[P2698.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     P2698.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WANS        COMP-1.
000007 PROCEDURE      DIVISION.
000008     COMPUTE WANS = FUNCTION SIN
000009 END PROGRAM     P2698.

```

P2698.cob 8: JMN2698I-S FUNCTION SINに引数が指定されていません。

詳細な説明

引数を必要とする関数に対して、引数が指定されていません。

2.4.424 JMN2699I-S

@1@の引数は@2@でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの検出された関数名。

@2@ : 引数として指定可能な語の種類。

例題

```

[C26991.cob]
000001 IDENTIFICATION    DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       C2699.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 BASED-STORAGE     SECTION.
000006 01 BA01           PIC 9.
000007 01 BA02           PIC 9(10).
000008 01 BA03           PIC 9(10).
000009 01 BA04           PIC 9(10).
000010 WORKING-STORAGE  SECTION.
000011 01 A01.
000012 02 A02           PIC 9(10).

```

```

000013 02 A03 PIC 9(10).
000014 02 A04 PIC 9(10).
000015 01 P01 USAGE POINTER.
000016 01 P02 USAGE POINTER.
000017 01 PTR-G.
000018 02 P03 USAGE POINTER OCCURS 5 TIMES.
000019 PROCEDURE DIVISION.
000020 DISPLAY FUNCTION ADDR("AAA").
000021 END PROGRAM C2699.

```

C2699.cob 20: JMN2699I-S FUNCTION ADDRの引数は一意名でなければなりません。

詳細な説明

引数の個数、引数の指定順序および引数の値は、関数によって異なります。

2.4.425 JMN2700I-S

関数の右括弧が指定されていません。右括弧が指定されたものとみなします。

例題

```

[P2700.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2700.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WANS COMP-1.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 COMPUTE WANS = FUNCTION SIN(13
000009 END PROGRAM P2700.

```

P2700.cob 8: JMN2700I-S 関数の右括弧が指定されていません。右括弧が指定されたものとみなします。

2.4.426 JMN2701I-I

デバッグ節は、注釈になります。

例題

```

[P2701.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2701.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SOURCE-COMPUTER. FMV600SL
000006 WITH DEBUGGING MODE.
000007 DATA DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 DECLARATIVES.
000011 DBG1 SECTION.
000012 USE FOR DEBUGGING ON ALL PROCEDURE.
000013 END DECLARATIVES.
000014 END PROGRAM P2701.

```

P2701.cob 12: JMN2701I-I デバッグ節は、注釈になります。

詳細な説明

USE FOR DEBUGGING文は、OSIV系システムの固有機能です。

2.4.427 JMN2704I-W

VALUE句は、EXTERNAL句を持つ項目またはその項目に従属する項目に指定できません。VALUE句は、無効になります。

例題

```
[P2704.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2704.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WK1  IS EXTERNAL
000006          PIC X(2) VALUE SPACE.
000007 01 WK2  IS EXTERNAL.
000008 02          PIC X(2) VALUE SPACE.
000009 PROCEDURE        DIVISION.
000010 END PROGRAM      P2704.
```

P2704.cob 6: JMN2704I-W VALUE句は、EXTERNAL句を持つ項目またはその項目に従属する項目に指定できません。VALUE句は、無効になります。

P2704.cob 8: JMN2704I-W VALUE句は、EXTERNAL句を持つ項目またはその項目に従属する項目に指定できません。VALUE句は、無効になります。

2.4.428 JMN2705I-W

VALUE句は、REDEFINES句を持つ項目またはその項目に従属する項目に指定できません。VALUE句は、無効になります。

例題

```
[P2705.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2705.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDA.
000007 02 WBUF          PIC X(20).
000008 02 WVSTR REDEFINES WBUF.
000009 03 WLEN          PIC S9(9) BINARY VALUE ZERO.
000010 03 WSTR          PIC X(16).
000011 PROCEDURE        DIVISION.
000012 END PROGRAM      P2705.
```

P2705.cob 9: JMN2705I-W VALUE句は、REDEFINES句を持つ項目またはその項目に従属する項目に指定できません。VALUE句は、無効になります。

2.4.429 JMN2706I-W

VALUE句は、APPLY SAVED-AREA句に指定された項目またはその項目に従属する項目に指定できません。VALUE句は、無効になります。

例題

```
[P2706.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2706.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
```

```

000006 SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 APPLY SAVED-AREA TO WSAVE ON SQFILE1.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 FD SQFILE1.
000012 01 SQF1REC.
000013 02 PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WSAVE PIC X(80) VALUE SPACE.
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017 END PROGRAM P2706.

```

P2706.cob 8: JMN2772I-I このシステムでは, 'APPLY SAVED-AREA'は注釈扱いです.

P2706.cob 15: JMN2706I-W VALUE句は, APPLY SAVED-AREA句に指定された項目またはその項目に従属する項目に指定できません. VALUE句は, 無効になります.

2.4.430 JMN2707I-S

'@1@'は, 一意名で修飾されていなければなりません.

埋め込みの説明

@1@ : EDIT-COLOR, EDIT-CURSOR, EDIT-MODE, EDIT-STATUS, EDIT-OPTION, EDIT-OPTION2 または EDIT-OPTION3.

例題

```

[P2707.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2707.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007 MOVE SPACE TO EDIT-COLOR
000008 END PROGRAM P2707.

```

P2707.cob 7: JMN2707I-S 'EDIT-COLOR'は, 一意名で修飾されていなければなりません.

P2707.cob 7: JMN2557I-S MOVE文の書き方が不完全です.

詳細な説明

表示ファイル機能で使用する画面定義体を作成するときに項目制御部の付加を指定すると, 表示ファイルに関係付けたレコード記述項として項目制御部を持つデータ項目が展開され, それぞれのデータ項目に対して以下の7種類の特殊レジスタが生成されます.

- EDIT-MODE
- EDIT-OPTION
- EDIT-OPTION2
- EDIT-OPTION3
- EDIT-COLOR
- EDIT-STATUS
- EDIT-CURSOR

これらの特殊レジスタは手続き部の文でだけ参照することができます. 特殊レジスタは, 項目制御部を持つデータ項目に関係付けられるので, 特殊レジスタを参照する場合, 項目制御部を持つデータ項目で修飾しなければなりません.

2.4.431 JMN2710I-S

昇順指定のSTART文には、REVERSED ORDER指定は記述できません。

例題

```
[P2710.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.        P2710.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT  SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IXFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     RECORD KEY   IS WRKY1.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA          DIVISION.
000011 FILE           SECTION.
000012 FD IXFILE1.
000013 01 IXFIREC.
000014 02 WRKY1      PIC 9(2).
000015 02           PIC X(80).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 PROCEDURE     DIVISION.
000018     START IXFILE1
000019     KEY IS GREATER THAN WRKY1
000020     WITH REVERSED ORDER
000021 END PROGRAM    P2710.
```

P2710.cob 20: JMN2710I-S 昇順指定のSTART文には、REVERSED ORDER指定は記述できません。

詳細な説明

REVERSED ORDER指定付きのSTART文が実行されると、レコードの末尾からレコードの先頭に向かって、逆順にレコードを呼び出します。このとき、KEY 指定にIS GREATER THAN/IS GREATER OR EQUAL TOが指定されている(昇順指定)と、呼び出されるレコードが存在しません。

2.4.432 JMN2713I-S

特殊レジスタ '@1@' は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : LINAGE-COUNTER, LINE-COUNTER, PAGE-COUNTER, DEBUG-ITEM, EDIT-OPTION2またはEDIT-OPTION3.

例題

```
[P2713.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.        P2713.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE     DIVISION.
000007     DISPLAY DEBUG-ITEM.
000008 END PROGRAM    P2713.
```

P2713.cob 7: JMN2713I-S 特殊レジスタ'DEBUG-ITEM'は指定できません。

P2713.cob 7: JMN2557I-S DISPLAY文の書き方が不完全です。

2.4.433 JMN2717I-S

手続き名のないGO TO文を含む段落は、段落名と一つのGO TO文だけで構成されていなければなりません。GO TO文は無効になります。

例題

```
[P2717.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2717.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE       DIVISION.
000007     ALTER P1 TO P2.
000008 P1.
000009     DISPLAY "P1"
000010     GO TO.
000011 P2.
000012     STOP RUN.
000013 END PROGRAM      P2717.
```

P2717.cob 7: JMN3150I-S ALTER文で参照される段落'P1'は、DEPENDING ON指定のないただ一つのGO TO文からなる完結文でなければなりません。文は、無効になります。

P2717.cob 10: JMN2717I-S 手続き名のないGO TO文を含む段落は、段落名と一つのGO TO文だけで構成されていなければなりません。GO TO文は無効になります。

詳細な説明

手続き名のないGO TO文は、廃要素です。

2.4.434 JMN2718I-S

@1@文のデータ名'@2@'はポインタ付けできません。ポインタ付けは無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : START, READ, SORT, MERGE.

@2@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[C27181.cob]
000001 IDENTIFICATION     DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.        C2718.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT        SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE01   ASSIGN TO NAME01.
000007 DATA                DIVISION.
000008 FILE                  SECTION.
000009 SD FILE01
000010 LABEL RECORD IS     STANDARD.
000011 01 REC.
000012 02 F001             PIC    X(90).
000013 02 RKEYA           PIC    X(10).
000014 WORKING-STORAGE    SECTION.
000015 01 PTR1             POINTER.
000016 PROCEDURE           DIVISION.
000017 P-001.
000018     SORT FILE01     ON ASCENDING KEY
000019                     PTR1->RKEYA
000020     INPUT PROCEDURE P-001
000021     OUTPUT PROCEDURE IS P-002 THRU P-004.
000022 P-002.
```



```
000023 P-004.  
000024 END PROGRAM C2718.
```

C2718.cob 19: JMN2718I-S SORT文のデータ名'RKEYA'はポインタ付けできません。ポインタ付けは無効になります。

2.4.435 JMN2726I-I

(OBS)@1@文は、@2@ COBOLの廃要素です。

埋め込みの説明

@1@ : ALTERまたはENTER.
@2@ : ANSIS85.

例題

```
[P2726.cob]  
000001 @OPTIONS CONF(OBS)  
000002 IDENTIFICATION DIVISION.  
000003 PROGRAM-ID. P2726.  
000004 ENVIRONMENT DIVISION.  
000005 DATA DIVISION.  
000006 WORKING-STORAGE SECTION.  
000007 PROCEDURE DIVISION.  
000008 ALTER P1 TO P2.  
000009 P1.  
000010 GO TO.  
000011 P2.  
000012 STOP RUN.  
000013 END PROGRAM P2726.
```

P2726.cob 8: JMN2726I-I (OBS)ALTER文は、ANSIS85 COBOLの廃要素です。

P2726.cob 10: JMN2728I-I (OBS)手続き名のないGO TO文は、ANSIS85 COBOLの廃要素です。

詳細な説明

翻訳オプションCONF(OBS)を指定すると、廃要素である言語仕様および機能が指摘されます。

2.4.436 JMN2727I-I

(OBS)@1@指定は、@2@ COBOLの廃要素です。

埋め込みの説明

@1@ : REVERSED.
@2@ : ANSIS85.

例題

```
[P2727.cob]  
000001 @OPTIONS CONF(OBS)  
000002 IDENTIFICATION DIVISION.  
000003 PROGRAM-ID. P2727.  
000004 ENVIRONMENT DIVISION.  
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.  
000006 FILE-CONTROL.  
000007 SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.  
000008 I-O-CONTROL.  
000009 DATA DIVISION.  
000010 FILE SECTION.  
000011 FD SQFILE1.  
000012 01 SQF1REC.  
000013 02 PIC X(80).
```

```
000014 WORKING-STORAGE SECTION.  
000015 PROCEDURE      DIVISION.  
000016     OPEN INPUT SQFILE1 REVERSED.  
000017 END PROGRAM    P2727.
```

P2727.cob 16: JMN2727I-I (OBS)REVERSED指定は, ANSI85 COBOLの廃要素です.

詳細な説明

翻訳オプションCONF(OBS)を指定すると, 廃要素である言語仕様および機能が指摘されます.

2.4.437 JMN2728I-I

(OBS)手続き名のないGO TO文は, ANSI85 COBOLの廃要素です.

例題

```
[P2728.cob]  
000001 @OPTIONS CONF (OBS)  
000002 IDENTIFICATION DIVISION.  
000003 PROGRAM-ID.      P2728.  
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.  
000005 DATA            DIVISION.  
000006 WORKING-STORAGE SECTION.  
000007 PROCEDURE      DIVISION.  
000008     ALTER P1 TO P2.  
000009 P1.  
000010     GO TO.  
000011 P2.  
000012     STOP RUN.  
000013 END PROGRAM      P2728.
```

P2728.cob 8: JMN2726I-I (OBS)ALTER文は, ANSI85 COBOLの廃要素です.

P2728.cob 10: JMN2728I-I (OBS)手続き名のないGO TO文は, ANSI85 COBOLの廃要素です.

詳細な説明

翻訳オプションCONF(OBS)を指定すると, 廃要素である言語仕様および機能が指摘されます.

2.4.438 JMN2729I-I

(OBS)定数を指定したSTOP文は, ANSI85 COBOLの廃要素です.

例題

```
[P2729.cob]  
000001 @OPTIONS CONF (OBS)  
000002 IDENTIFICATION DIVISION.  
000003 PROGRAM-ID.      P2729.  
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.  
000005 DATA            DIVISION.  
000006 WORKING-STORAGE SECTION.  
000007 PROCEDURE      DIVISION.  
000008     STOP "PAUSE"  
000009 END PROGRAM      P2729.
```

P2729.cob 8: JMN2729I-I (OBS)定数を指定したSTOP文は, ANSI85 COBOLの廃要素です.

詳細な説明

翻訳オプションCONF(OBS)を指定すると, 廃要素である言語仕様および機能が指摘されます.

2.4.439 JMN2730I-I

(OBS)@1@は、@2@ COBOLの廃要素です。

埋め込みの説明

- @1@ : デバッグ機能.
- @2@ : ANSIS85.

例題

```
[P2730.cob]
000001 @OPTIONS CONF (OBS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P2730.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 SOURCE-COMPUTER. FMV6000SL
000007 WITH DEBUGGING MODE.
000008 DATA DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 DECLARATIVES.
000012 DBG1 SECTION.
000013 USE FOR DEBUGGING ON ALL PROCEDURE.
000014 END DECLARATIVES.
000015D DISPLAY "DEBUG LINE"
000016 END PROGRAM P2730.
```

P2730.cob 13: JMN2701I-I デバッグ節は、注釈になります。

P2730.cob 13: JMN2730I-I (OBS)デバッグ機能は、ANSI85 COBOLの廃要素です。

詳細な説明

翻訳オプションCONF(OBS)を指定すると、廃要素である言語仕様および機能が指摘されます。

2.4.440 JMN2731I-S

'@1@'特殊レジスタの '@2@'は一意名でなければなりません。

埋め込みの説明

- @1@ : ADDRESS OFまたはLENGTH OF.
- @2@ : エラーの原因となった語.

例題

```
[P2731.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2731.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WPX POINTER.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 LABEL1.
000009 MOVE LENGTH OF LABEL1 TO WPX
000010 END PROGRAM P2731.
```

P2731.cob 9: JMN2731I-S 'LENGTH OF'特殊レジスタの 'LABEL1'は一意名でなければなりません。

P2731.cob 9: JMN3023I-S LENGTH OF特殊レジスタは、'WPX'に転記できません。

2.4.441 JMN2732I-S

'@1@'特殊レジスタの一意名は連絡節中で定義されたレベル番号が01または77の項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : ADDRESS OF.

例題

```
[P2732.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2732.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WPX          POINTER.
000007 01 WBUF1        PIC X(20).
000008 LINKAGE         SECTION.
000009 01 WBUF2        PIC X(20).
000010 PROCEDURE       DIVISION.
000011     SET ADDRESS OF WBUF1 TO WPX
000012     SET ADDRESS OF WBUF2 TO WPX
000013 END PROGRAM     P2732.
```

P2732.cob 11: JMN2732I-S 'ADDRESS OF'特殊レジスタの一意名は連絡節中で定義されたレベル番号が01または77の項目でなければなりません。

2.4.442 JMN2735I-S

SET文のTOの後は、ONまたはOFFでなければなりません。

例題

```
[P2735.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2735.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     SWITCH-O IS SWO.
000007 DATA           DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 PROCEDURE       DIVISION.
000010     SET SWO TO TRUE
000011 END PROGRAM     P2735.
```

P2735.cob 10: JMN2735I-S SET文のTOの後は、ONまたはOFFでなければなりません。

詳細な説明

SET文に指定した呼び名に対応付けた外部スイッチの状態を、オン状態またはオフ状態にします。

2.4.443 JMN2736I-S

SET文のTOの後は、TRUEでなければなりません。

例題

```
[P2736.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2736.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
```

```

000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 RESULT      PIC 1(1).
000007 88 OK          VALUE B"1".
000008 88 NG          VALUE B"0".
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010     SET OK TO ON
000011 END PROGRAM    P2736.

```

P2736.cob 10: JMN2736I-S SET文のTOの後は、TRUEでなければなりません。

詳細な説明

SET文に指定した条件名の条件名記述項(レベル番号が88)に書いたVALUE句の値を、条件名に関係付けた条件変数に設定します。

2.4.444 JMN2737I-S

SET文のTOの後は、ポインタデータ項目、表意定数NULL(S)またはADDRESS OF特殊レジスタでなければなりません。

例題

```

[P2737. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2737.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 LINKAGE         SECTION.
000006 01 WBUF         POINTER.
000007 PROCEDURE      DIVISION.
000008     SET ADDRESS OF WBUF TO 13
000009 END PROGRAM    P2737.

```

P2737.cob 8: JMN2737I-S SET文のTOの後は、ポインタデータ項目、表意定数NULL(S)またはADDRESS OF特殊レジスタでなければなりません。

2.4.445 JMN2738I-S

@1@文の受取り側項目にLENGTH OF特殊レジスタは指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの発生した文の動詞.

例題

```

[P2738. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2738.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WANS         PIC S9(4) BINARY.
000007 PROCEDURE      DIVISION.
000008     COMPUTE LENGTH OF WANS = 13 + 12
000009 END PROGRAM    P2738.

```

P2738.cob 8: JMN2738I-S COMPUTE文の受取り側項目にLENGTH OF特殊レジスタは指定できません。

P2738.cob 8: JMN2557I-S COMPUTE文の書き方が不完全です。

2.4.446 JMN2741I-S

'@1@'はレベル番号が01または77の項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : SQLSTATE, SQLCODE, SQLMSGまたはSQLERARY.

例題

```
[P2741.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2741.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 STCD.
000008 02 SQLSTATE PIC X(5).
000009 02 SQLMSG PIC X(80).
000010 77 HVAR3 PIC S9(9) BINARY.
000011     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013     EXEC SQL
000014         SELECT CL1 INTO :HVAR3 FROM TBL
000015     END-EXEC.
000016 END PROGRAM P2741.
```

P2741.cob 8: JMN2741I-S 'SQLSTATE'はレベル番号が01または77の項目でなければなりません。

P2741.cob 9: JMN2741I-S 'SQLMSG'はレベル番号が01または77の項目でなければなりません。

詳細な説明

SQLSTATE, SQLCODE, SQLMSGまたはSQLERARYは、埋込みSQL文の実行結果を応用プログラムに通知するための連絡域です。これらは、レベル番号01または77の項目として宣言してください。

2.4.447 JMN2742I-S

SQLERRDは、6個の要素を持つ配列であり、SQLINFOAにただ1つ従属するレベル番号02の項目またはレベル番号01のSQLCAに直接従属する項目でなければなりません。また、OCCURS句にDEPENDING ON指定、KEY IS指定およびINDEXED BY指定は記述できません。

例題

```
[P2742.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2742.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE PIC X(5).
000008 01 SQLINFOA .
000009 02 SQLERRD PIC S9(9) BINARY OCCURS 10 TIMES.
000010 77 HVAR3 PIC S9(9) BINARY.
000011     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013     EXEC SQL
000014         SELECT CL1 INTO :HVAR3 FROM TBL
000015     END-EXEC.
000016 END PROGRAM P2742.
```

P2742.cob 9: JMN2742I-S SQLERRDは、6個の要素を持つ配列であり、SQLINFOAにただ1つ従属するレベル番号02の項目またはレベル番号01のSQLCAに直接従属する項目でなければなりません。また、OCCURS句にDEPENDING ON指定、KEY IS指定およびINDEXED BY指定は記述できません。

詳細な説明

SQLERRDは、以下の2つの情報を格納するための領域です。

- ・ ストアドプロシージャの戻り値(配列の1番目の要素であるSQLERRD(1)を参照します)
- ・ 複数行処理が行われた場合の処理行数(配列の3番目の要素であるSQLERRD(3)を参照します)

2.4.448 JMN2744I-S

ホスト変数は、アドレス可変項目であってはなりません。

例題

```
[P2744. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2744.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007     01  SQLSTATE PIC X(5).
000008     01  HRGRP.
000009     02  WDEPND PIC S9(4) BINARY.
000010     02          PIC X(1)
000011           OCCURS 10 DEPENDING ON WDEPND.
000012     02  HVAR3  PIC S9(9) BINARY.
000013     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     EXEC SQL
000016         SELECT CL1 INTO :HVAR3 FROM TBL
000017     END-EXEC.
000018 END PROGRAM      P2744.
```

P2744.cob 12: JMN2744I-S ホスト変数は、アドレス可変項目であってはなりません。

詳細な説明

ホスト変数(データ部の埋込みSQL宣言節で定義する)は、応用プログラムからデータをデータベースに格納したり、データベースのデータを読み込むために使用します。ホスト変数は、レコード中の可変位置(レコードの中で、OCCURS句にDEPENDING指定を指定したデータ項目の後に割り付けられる領域)にある項目であってはなりません。

2.4.449 JMN2745I-S

ホスト変数は、@1@句を持つ項目に従属する項目であってはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : OCCURSまたはREDEFINES.

例題

```
[P2745. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2745.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007     01  SQLSTATE PIC X(5).
```

```

000008 01 HRGRP.
000009 02 OCCURS 10.
000010 03 HVAR1 PIC S9(9) BINARY.
000011 EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013 EXEC SQL
000014 SELECT CL1 INTO :HVAR1 FROM TBL
000015 END-EXEC.
000016 END PROGRAM P2745.

```

P2745.cob 10: JMN2745I-S ホスト変数は、OCCURS句を持つ項目に従属する項目であってはなりません。

2.4.450 JMN2747I-S

OCCURS句を指定するホスト変数は、レベル番号49以外の基本項目か、または可変長文字列型のホスト変数でなければなりません。

例題

```

[C2747.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C2747.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE PIC X(5).
000008 01 HVAR0.
000009 02 HVAR1 OCCURS 3 TIMES.
000010 49 HVAR11 PIC S9(4) BINARY.
000011 49 HVAR12 PIC N(40).
000012 02 HVAR2 OCCURS 3 TIMES.
000013 03 HVAR21 PIC S9(4) BINARY.
000014 03 HVAR22 PIC N(40).
000015 EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017 EXEC SQL
000018 SELECT CL1 INTO :HVAR1 FROM TBL END-EXEC.
000019 EXEC SQL
000020 SELECT CL2 INTO :HVAR2 FROM TBL END-EXEC.

```

C2747.cob 12: JMN2747I-S OCCURS句を指定するホスト変数は、レベル番号49以外の基本項目か、または可変長文字列型のホスト変数でなければなりません。

2.4.451 JMN2748I-S

ホスト変数にOCCURS句を記述する場合、DEPENDING ON指定、KEY IS指定およびINDEXED BY指定は記述できません。

例題

```

[P2748.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2748.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE PIC X(5).
000008 01 SQLINFOA .
000009 02 SQLERRD PIC S9(9) BINARY
000010 OCCURS 6 TIMES INDEXED BY IX1.

```



```

000011 77 HVAR3 PIC S9(9) BINARY.
000012 EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014 EXEC SQL
000015     SELECT CL1 INTO :HVAR3 FROM TBL
000016     END-EXEC.
000017 END PROGRAM P2748.

```

P2748.cob 9: JMN2748I-S ホスト変数にOCCURS句を記述する場合、DEPENDING ON指定、KEY IS指定およびINDEXED BY指定は記述できません。

2.4.452 JMN2749I-S

ホスト変数は、強く型付けされた項目であってはなりません。

例題

```

[P2749.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2749.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE PIC X(5).
000008 01 HVAR1 TYPE STY.
000009 EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000010 01 STY TYPEDEF STRONG.
000011 02 HVAR20 PIC X.
000012 02 HVAR21 PIC S9(4) BINARY.
000013 02 HVAR22 PIC N(40).
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015 EXEC SQL
000016     SELECT CL1 INTO :HVAR1 FROM TBL
000017     END-EXEC.
000018 END PROGRAM P2749.

```

P2749.cob 8: JMN2749I-S ホスト変数は、強く型付けされた項目であってはなりません。

2.4.453 JMN2750I-S

集団項目および従属するホスト変数名が大域名である場合、それらは参照できる範囲内で修飾せずに一意になる名前
でなければなりません。この集団項目を構成するすべての名前はホスト変数名として使用できません。

例題

```

[P2750.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2750.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE PIC X(5) GLOBAL.
000008 01 HVAR1 GLOBAL.
000009 02 HVAR10 PIC X.
000010 02 HVAR20 PIC S9(4) BINARY.
000011 02 HVAR30 PIC N(40).
000012 EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013
000014 PROGRAM-ID. P2750SUB.
000015 DATA DIVISION.

```

```

000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000018 01 HVAR2.
000019 02 HVAR20 PIC S9(4) BINARY.
000020 EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000021 PROCEDURE DIVISION.
000022 EXEC SQL
000023 SELECT CL1 INTO :HVAR20 FROM TBL END-EXEC.
000024 EXIT PROGRAM.
000025 END PROGRAM P2750SUB.
000026 END PROGRAM P2750.

```

P2750.cob 10: JMN2750I-S 集団項目および従属するホスト変数名が大域名である場合、それらは参照できる範囲内で修飾せずに一意になる名前であればなりません。この集団項目を構成するすべての名前はホスト変数名として使用できません。

2.4.454 JMN2753I-S

埋込み@1@文は'END-EXEC'で終らなければなりません。'EXEC @1@'に続く埋込み@1@文は、すべて無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : SQL.

例題

```

[P2753.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2753.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE PIC X(5).
000008 77 HVAR1 PIC S9(9) BINARY.
000009 EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 EXEC SQL
000012 SELECT CL1 INTO :HVAR1 FROM TBL
000013 STOP RUN.
000014 END PROGRAM P2753.

```

P2753.cob 11: JMN2753I-S 埋込みSQL文は'END-EXEC'で終らなければなりません。'EXEC SQL'に続く埋込みSQL文は、すべて無効になります。

詳細な説明

埋込みSQL文は、SQL先頭子("EXEC SQL")とSQL終了子("END-EXEC")で囲んで記述しなければなりません。

2.4.455 JMN2756I-S

SQLCODEまたはSQLSTATEが未定義または多重定義です。

例題

```

[P2756.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2756.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007 EXEC SQL WHENEVER SQLERROR GO TO :P-END END-EXEC.

```

```
000008 EXEC SQL CONNECT TO DEFAULT END-EXEC.
000009 P-END.
000010 EXEC SQL WHENEVER SQLERROR CONTINUE END-EXEC.
000011 EXEC SQL DISCONNECT DEFAULT END-EXEC.
000012 END PROGRAM P2756.
```

P2756.cob 8: JMN2761I-S SQLSTATEが埋込みSQL宣言節中に定義されていません。または一意に定義されていません。

P2756.cob 8: JMN2756I-S SQLCODEまたはSQLSTATEが未定義または多重定義です。

詳細な説明

SQLSTATE/SQLCODEは、SQL文の実行によって例外事象が発生した場合、例外事象の内容を示すコードを格納するための領域です。応用プログラムでは、SQLSTATEかSQLCODEのどちらかを必ず宣言しなければなりません。

2.4.456 JMN2757I-S

SQL文に使用できない文字が含まれています。このSQL文は無効になります。

詳細な説明

埋込みSQL文中では、基本多言語面に含まれる文字しか使用できません。

2.4.457 JMN2759I-U

参照可能なホスト変数の個数が制限を超えました。翻訳を中止します。

詳細な説明

ホスト変数の個数の上限は10000個です。

1つのソース単位から参照できる(大域属性を持つものも含む)ホスト変数の宣言の合計数が上限を超えないよう、ホスト変数の個数を減らしてください。

2.4.458 JMN2761I-S

@1@STATEが定義されていません。または一意に定義されていません。

例題

```
[P2761.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2761.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007 EXEC SQL
000008 SELECT * FROM s1.t1
000009 END-EXEC.
000010 END PROGRAM P2761.
```

P2761.cob 8: JMN2761I-S SQLSTATEが定義されていません。または一意に定義されていません。

詳細な説明

SQLSTATEは、レベル番号01、77またはレベル番号01のSQLCAに直接従属する5桁の英数字項目として、定義します。

2.4.459 JMN2762I-S

特殊レジスタ@1@は、MOVE文の送出し側項目としてのみ指定できます。

埋め込みの説明

@1@ : WHEN-COMPILED.

例題

```
[P2762. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2762.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE       DIVISION.
000007     MOVE SPACE TO WHEN-COMPILED
000008 END PROGRAM      P2762.
```

P2762.cob 7: JMN2762I-S 特殊レジスタWHEN-COMPILEDは、MOVE文の送出し側項目としてのみ指定できます。

P2762.cob 7: JMN2557I-S MOVE文の書き方が不完全です。

詳細な説明

WHEN-COMPILED関数は、プログラムを翻訳したときの日付、時刻およびグリニッジ標準時との時差を返却します。

2.4.460 JMN2764I-S

このシステムでは、 '@1@' は使用できません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった文、句、指定を現す予約語。

例題

```
[P2764. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2764.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA            DIVISION.
000008 FILE             SECTION.
000009 FD SQFILE1.
000010 01 SQF1REC.
000011 02                PIC X(80).
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 PROCEDURE       DIVISION.
000014     WRITE SQF1REC POSITIONING 1
000015 END PROGRAM      P2764.
```

P2764.cob 14: JMN2764I-S このシステムでは、'POSITIONING'は使用できません。

2.4.461 JMN2766I-W

このシステムでは、 '@1@' は注釈として扱います。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった文、句、指定を現す予約語。

例題

```
[P2766. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2766.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
```

```

000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008     APPLY RECORD-OVERFLOW ON SQFILE1.
000009 DATA          DIVISION.
000010 FILE           SECTION.
000011 FD SQFILE1
000012     RECORD VARYING IN SIZE DEPENDING ON LRECL.
000013 01 SQF1REC.
000014 02             PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 LRECL       PIC 9(2).
000017 PROCEDURE      DIVISION.
000018 END PROGRAM     P2766.

```

P2766.cob 8: JMN2766I-W このシステムでは, 'APPLY RECORD-OVERFLOW'は注釈として扱います.

2.4.462 JMN2767I-S

@1@の引数の個数は, 2個以上でなければなりません.

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった関数名.

例題

```

[P2767.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2767.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 77 A PIC 9(2).
000007 77 B PIC 9(2).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009     MOVE FUNCTION PRESENT-VALUE(A) TO B.
000010 END PROGRAM P2767.

```

P2767.cob 9: JMN2767I-S FUNCTION PRESENT-VALUEの引数の個数は, 2個以上でなければなりません.

P2767.cob 9: JMN3372I-S MOVE文の送出し側として, 整数関数および数字関数は指定できません.

詳細な説明

次の関数は, 引数を2個以上指定します.

- ANNUITY関数
- MOD関数
- PRESENT-VALUE関数
- REM関数

2.4.463 JMN2768I-S

受取り側項目に '@1@'は指定できません.

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった関数名.

例題

```
[P2768.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2768.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 77 A PIC X(21).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     MOVE A TO FUNCTION CURRENT-DATE.
000009 END PROGRAM P2768.
```

P2768.cob 8: JMN2768I-S 受取り側項目に'FUNCTION CURRENT-DATE'は指定できません。

P2768.cob 8: JMN2557I-S MOVE文の書き方が不完全です。

2.4.464 JMN2769I-S

添字'ALL'は '@1@'に指定できません。添字に1が指定されたものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった関数名。

例題

```
[P2769.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2769.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007     02 TBL OCCURS 10 PIC 9(2).
000008 77 A PIC 9(2).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010     COMPUTE A = FUNCTION ACOS(TBL(ALL))
000011 END PROGRAM P2769.
```

P2769.cob 10: JMN2769I-S 添字'ALL'は'FUNCTION ACOS'に指定できません。添字に1が指定されたものとみなします。

詳細な説明

添字付きのデータ名を1つずつ書くかわりに、添字にALLを指定したデータ名を書くことができます。添字にALLを書くと、その次元のすべての表要素を、出現順に従って左から右へ指定したかのように扱われます。

添字ALLは、次の関数の引数に指定できます。

- MAX関数
- MEAN関数
- MEDIAN関数
- MIDRANGE関数
- MIN関数
- ORD-MAN関数
- ORD-MIN関数
- PRESENT-VALUE関数
- RANGE関数
- STANDARD-DEVIATION関数

- SUM関数
- VARIANCE関数

2.4.465 JMN2770I-S

@1@文の@2@指定に誤りがあります.

埋め込みの説明

- @1@ : ACCEPTまたはDISPLAY.
- @2@ : エラーの発生した指定を示す予約語.

例題

```
[P2770.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2770.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 AA PIC X(2).
000007 SCREEN         SECTION.
000008 01 A1 PIC X(8) FROM AA.
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010 ACCEPT A1
000011 AT LINE .
000012 END PROGRAM    P2770.
```

P2770.cob 11: JMN2770I-S ACCEPT文のLINE指定に誤りがあります.

2.4.466 JMN2772I-I

このシステムでは, '@1@'は注釈扱いです.

埋め込みの説明

- @1@ : エラーの原因となった文, 句, 指定を現す予約語.

例題

```
[P2772.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2772.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA           DIVISION.
000009 FILE           SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011 RECORDING MODE IS V
000012 BLOCK CONTAINS 80 CHARACTERS.
000013 01 SQF1REC.
000014 02           PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WFS1       PIC X(2).
000017 PROCEDURE      DIVISION.
000018 END PROGRAM    P2772.
```

P2772.cob 10: JMN2772I-I このシステムでは, 'BLOCK CONTAINS'は注釈扱いです.

2.4.467 JMN2773I-E

このシステムでは、呼び名 '@1@' は注釈扱いとします。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった呼び名.

例題

```
[P2773.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2773.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     BUSHU IS RULE1.
000007 INPUT-OUTPUT   SECTION.
000008 FILE-CONTROL.
000009     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000010     SELECT SQFILE2 ASSIGN TO SYS002.
000011     SELECT SRTFILE ASSIGN TO SYS003.
000012 I-O-CONTROL.
000013 DATA           DIVISION.
000014 FILE           SECTION.
000015 FD SQFILE1.
000016 01 SQF1REC.
000017 02                PIC X(80).
000018 FD SQFILE2.
000019 01 SQF2REC.
000020 02                PIC X(80).
000021 SD SRTFILE.
000022 01 SRTREC.
000023 02 SRTKEY        PIC X(8).
000024 02                PIC X(72).
000025 WORKING-STORAGE SECTION.
000026 01 WFS1          PIC X(2).
000027 PROCEDURE      DIVISION.
000028     SORT SRTFILE
000029         ASCENDING RULE1 KEY SRTKEY
000030         USING SQFILE1
000031         GIVING SQFILE2
000032 END PROGRAM      P2773.
```

P2773.cob 29: JMN2773I-E このシステムでは、呼び名 'RULE1' は注釈扱いとします。

詳細な説明

SORT文およびMERGE文のASCENDING KEY指定に指定した呼び名は、注釈扱いになります。

2.4.468 JMN2774I-W

'@1@'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

埋め込みの説明

@1@ : CONNECT, DISCONNECT, ERASE, FIND, FINISH, GET, MODIFY, READY, STORE, IF DB-EXCEPTION, USE FOR DB-EXCEPTION, USE FOR DEAD-LOCKまたはTRANSACTION.

例題

```
[P2774.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2774.
```



```

000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007 TRANSACTION START.
000008 END PROGRAM P2774.

```

P2774.cob 7: JMN2774I-W 'TRANSACTION'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

詳細な説明

OSIV系システム固有の機能や言語要素に対する指摘です。

2.4.469 JMN2775I-S

UPON句に指定された呼び名が機能名ARGUMENT-NUMBER, ENVIRONMENT-NAMEまたはENVIRONMENT-VALUEに対応付けられているとき, DISPLAY文には一意名または定数は一つしか指定できません。

例題

```

[P2775.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2775.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006 ENVIRONMENT-NAME IS EVN.
000007 DATA DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 WENV1 PIC X(30).
000010 01 WENV2 PIC X(30).
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012 MOVE "PATH" TO WENV1
000013 MOVE "LIB" TO WENV2
000014 DISPLAY WENV1 WENV2
000015 UPON EVN
000016 END PROGRAM P2775.

```

P2775.cob 14: JMN2775I-S UPON句に指定された呼び名が機能名ARGUMENT-NUMBER, ENVIRONMENT-NAMEまたはENVIRONMENT-VALUEに対応付けられているとき, DISPLAY文には一意名または定数は一つしか指定できません。

2.4.470 JMN2794I-E

'@1@'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

埋め込みの説明

@1@ : CONNECT, DISCONNECT, ERASE, FIND, FINISH, GET, MODIFY, READY, STORE, IF DB-EXCEPTIONまたはSERVICE LABEL.

例題

```

[P2794.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2794.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007 SERVICE LABEL
000008 END PROGRAM P2794.

```

P2794.cob 7: JMN2794I-E 'SERVICE LABEL'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

詳細な説明

OSIV系システム固有の機能や言語要素に対する指摘です。

2.4.471 JMN2798I-S

ホスト変数が2進項目の場合、@1@けたの項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 指定可能な桁数

例題

```
[P2798.cob]
000001 @OPTIONS BINARY (BYTE)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P2798.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000008 01 SQLSTATE      PIC X(5).
000009 01 HVR1         PIC S9(3) BINARY.
000010     EXEC SQL END   DECLARE SECTION END-EXEC.
000011 PROCEDURE       DIVISION.
000012     EXEC SQL
000013         SELECT COL2 INTO :HVR1
000014             FROM T1   WHERE COL1 = 0
000015     END-EXEC
000016 END PROGRAM      P2798.
```

- **[Win32]**
P2798.cob 9: JMN2798I-S ホスト変数が2進項目の場合、4または9けたの項目でなければなりません。
- **[Winx64]**
31桁演算モードの場合：
P2798.cob 9: JMN2798I-S ホスト変数が2進項目の場合、4、9または18けたの項目でなければなりません。
18桁演算モードの場合：
P2798.cob 9: JMN2798I-S ホスト変数が2進項目の場合、4または9けたの項目でなければなりません。

2.4.472 JMN2800I-S

[Win32]

@1@句のデータ名は、作業場所節または連絡節に定義されていなければなりません。

[Winx64]

@1@句のデータ名は、作業場所節、局所記憶節または連絡節に定義されていなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : PROCESSING MODE, FORMAT, GROUP, SYMBOLIC DESTINATION, DESTINATION-1, DESTINATION-2, DESTINATION-3, MESSAGE MODE, END KEY, SESSION CONTROL, SELECTED FUNCTION または MESSAGE SEQUENCE.

例題

```
[P2800.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2800.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
```

```

000006 SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     FORMAT          IS WFMT.
000008 I-0-CONTROL.
000009 DATA              DIVISION.
000010 FILE               SECTION.
000011 FD SQFILE1.
000012 01 SQF1REC.
000013 02                PIC X(80).
000014 CONSTANT          SECTION.
000015 01 WFMT           PIC X(8) VALUE SPACE.
000016 PROCEDURE         DIVISION.
000017 END PROGRAM        P2800.

```

- **[Win32]**
P2800.cob 7: JMN2800I-S FORMAT句のデータ名は、作業場所節または連絡節に定義されていなければなりません。
- **[Winx64]**
P2800.cob 7: JMN2800I-S FORMAT句のデータ名は、作業場所節、局所記憶節または連絡節に定義されていなければなりません。

2.4.473 JMN2801I-S

@1@句のデータ名は、英数字または集団項目でなければなりません。ただし、集団項目の場合、オブジェクト参照項目を含むものであってはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : PROCESSING MODE, FORMAT, GROUP, SYMBOLIC DESTINATION, DESTINATION-1, DESTINATION-2, DESTINATION-3, MESSAGE MODE, END KEY, SESSION CONTROLまたはSELECTED FUNCTION.

例題

```

[P2801.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2801.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS FJBASE.
000007 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000008 FILE-CONTROL.
000009 SELECT FILE1 ASSIGN TO GS-SYS001
000010     SYMBOLIC DESTINATION IS "DSP"
000011     FORMAT              IS WFMT
000012     GROUP                IS WSTYGRP
000013     DESTINATION-1       IS WDST1
000014     FILE STATUS        IS WFS1 WFS2.
000015 I-0-CONTROL.
000016 DATA              DIVISION.
000017 FILE                 SECTION.
000018 FD FILE1.
000019 01 F1REC.
000020 02                PIC X(80).
000021 WORKING-STORAGE SECTION.
000022 01 WSTYGRP.
000023 02 WOBJ            OBJECT REFERENCE FJBASE.
000024 01 WFS1           PIC X(2).
000025 01 WFS2           PIC X(4).
000026 01 WDST          PIC X(3).
000027 01 WFMT           PIC X(8).
000028 01 WGRP           PIC X(8).
000029 01 WDST1          PIC X(8).

```

```
000030 PROCEDURE      DIVISION.
000031 END PROGRAM    P2801.
```

P2801.cob 12: JMN2801I-S GROUP句のデータ名は、英数字または集団項目でなければなりません。ただし、集団項目の場合、オブジェクト参照項目を含むものであってはなりません。

2.4.474 JMN2802I-S

@1@句のデータ名の項目長は、@2@バイトでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : PROCESSING MODE, FORMAT, GROUP, SYMBOLIC DESTINATION, DESTINATION-1, DESTINATION-2, DESTINATION-3, MESSAGE MODE, END KEY, SESSION CONTROL, PROCESSING CONTROL, SELECTED FUNCTION または MESSAGE SEQUENCE.

@2@ : 句に指定するデータ項目に要求されるバイト数.

例題

```
[P2802.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2802.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     FORMAT        IS WFMT.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA             DIVISION.
000010 FILE             SECTION.
000011 FD SQFILE1.
000012 01 SQF1REC.
000013 02                PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WFMT          PIC X(2).
000016 PROCEDURE       DIVISION.
000017 END PROGRAM      P2802.
```

P2802.cob 7: JMN2802I-S FORMAT句のデータ名の項目長は、8バイトでなければなりません。

2.4.475 JMN2803I-S

MESSAGE CODE句のデータ名は、英数字項目または符号なし外部10進整数項目でなければなりません。

例題

```
[P2803.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2803.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT PRFILE1 ASSIGN TO GS-SYS001
000007     SYMBOLIC DESTINATION IS WDST
000008     MESSAGE CODE      IS WMSC.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA             DIVISION.
000011 FILE             SECTION.
000012 FD PRFILE1.
000013 01 PRF1REC.
000014 02                PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WDST          PIC X(3).
```

```
000017 01 WMSC          PIC N(2).
000018 PROCEDURE      DIVISION.
000019 END PROGRAM     P2803.
```

P2803.cob 8: JMN2803I-S MESSAGE CODE句のデータ名は、英数字項目または符号なし外部10進整数項目でなければなりません。

2.4.476 JMN2809I-S

PRINTING POSITION句の名標は、一意な位置決め単位名でなければなりません。

例題

```
[P2809.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2809.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     POSITIONING UNIT PUN-A IS 12 CPI
000007     POSITIONING UNIT PUN-B IS 10 CPI
000008     POSITIONING UNIT PUN-B ARE 15 CPI.
000009 DATA DIVISION.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 REC-A PIC X(10) PRINTING POSITION IS 10 BY PUN-A.
000012 01 REC-B PIC X(10) PRINTING POSITION IS 10 BY PUN-B.
000013 PROCEDURE      DIVISION.
000014 END PROGRAM     P2809.
```

P2809.cob 12: JMN2809I-S PRINTING POSITION句の名標は、一意な位置決め単位名でなければなりません。

詳細な説明

位置決め単位名は、印字位置を示す値の単位に付ける名前です。位置決め単位名は、環境部の特殊名段落のPOSITIONING UNIT句で、位置決め単位を示す定数に対応付けて定義します。

2.4.477 JMN2815I-S

@1@句のデータ名の総項目長は、@2@バイトを超えてはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : RECORD KEYまたはALTERNATE RECORD KEY.

@2@ : 255または253.

例題

```
[P2815.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2815.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT   SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IXFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     RECORD KEY   IS WRKY1
000009                 WRKY2
000010                 WRKY3.
000011 I-O-CONTROL.
000012 DATA          DIVISION.
000013 FILE            SECTION.
000014 FD IXFILE1.
000015 01 IXF1REC.
```

```

000016 02 WRKY1 PIC X(86).
000017 02 WRKY2 PIC X(86).
000018 02 WRKY3 PIC X(86).
000019 02 PIC X(80).
000020 WORKING-STORAGE SECTION.
000021 PROCEDURE DIVISION.
000022 END PROGRAM P2815.

```

P2815.cob 10: JMN2815I-S RECORD KEY句のデータ名の総項目長は、255バイトを超えてはなりません。

詳細な説明

COBOL処理系の定量制限です。

2.4.478 JMN2818I-W

RDB索引ファイルの@1@句のデータ名'@2@'は、英数字、日本語、内部10進、2進または集団項目でなければなりません。英数字項目が指定されたものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : RECORD KEYまたはALTERNATE RECORD KEY.

@2@ : エラーの原因となったデータ名.

例題

```

[P2818.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P2818.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007 SELECT IXFILE1 ASSIGN TO MODELDB-VI-STOCK
000008 ORGANIZATION IS INDEXED
000009 RECORD KEY IS QNO GOODS.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD IXFILE1.
000013 01 IXF1REC.
000014 02 QNO PIC A(2).
000015 02 GOODS PIC N(80).
000016 02 PRICE PIC S9(9) BINARY.
000017 PROCEDURE DIVISION.
000018 END PROGRAM P2818.

```

P2818.cob 9: JMN2818I-W RDB索引ファイルのRECORD KEY句のデータ名'QNO'は、英数字、日本語、内部10進、2進または集団項目でなければなりません。英数字項目が指定されたものとみなします。

P2818.cob 14: JMN2287I-S RDB索引ファイルのレコードを構成するデータ項目は、2進項目、内部10進項目、英数字項目、日本語項目または固定長集団項目でなければなりません。データ項目の属性をそのまま受け入れます。

詳細な説明

RDB索引ファイルは、OSIV系システムの固有機能です。

2.4.479 JMN2819I-S

表示ファイル(編成GS)のAPPLY MULTICONVERSATION-MODE句を指定した場合、表示ファイル(編成GS)のAPPLY SAVED-AREA句を指定しなければなりません。

例題

```
[P2819.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2819.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT AFILE1 ASSIGN GS-DD1.
000007 I-O-CONTROL.
000008     APPLY MULTICONVERSATION-MODE.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011     FD AFILE1.
000012         01 AREC.
000013         02 RKY1 PIC X(80).
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015 END PROGRAM P2819.
```

P2819.cob 8: JMN2819I-S 表示ファイル(編成GS)のAPPLY MULTICONVERSATION-MODE句を指定した場合、表示ファイル(編成GS)のAPPLY SAVED-AREA句を指定しなければなりません。

2.4.480 JMN2821I-W

VALUE句は、VALUE句を持つ集団項目に従属する項目に指定できません。VALUE句は、無効になります。

例題

```
[P2821.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2821.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WGRP VALUE SPACE.
000006 02 WELM1 PIC X(2).
000007 02 WELM2 PIC X(2) VALUE "AB".
000008 02 WELM3 PIC X(2).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 END PROGRAM P2821.
```

P2821.cob 7: JMN2821I-W VALUE句は、VALUE句を持つ集団項目に従属する項目に指定できません。VALUE句は、無効になります。

詳細な説明

集団項目に対して設定する初期値がVALUE句で指定されているとき、その集団項目に従属する項目に対して、VALUE句によってさらに初期値を設定することはできません。

2.4.481 JMN2822I-W

VALUE句は、アドレス可変項目に指定できません。VALUE句は、無効になります。

例題

```
[P2822.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2822.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WGRP.
000006 02 WLEN PIC 9(2).
000007 02 WOCC PIC X(2) OCCURS 20 DEPENDING ON WLEN.
000008 02 WVAD PIC X(2) VALUE "AB".
```

```
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010 END PROGRAM     P2822.
```

P2822.cob 8: JMN2822I-W VALUE句は、アドレス可変項目に指定できません。VALUE句は、無効になります。

詳細な説明

レコード中の可変位置(レコードの中で、OCCURS句にDEPENDING指定を指定したデータ項目の後に割り付けられる領域)にあるデータ項目にVALUE句を指定することはできません。

2.4.482 JMN2823I-S

表示ファイル(編成GS)が定義されていない場合、@1@句にファイル名を指定しなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : APPLY MULTICONVERSATION-MODEまたはAPPLY SAVED-AREA.

例題

```
[P2823.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2823.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION  IS SEQUENTIAL.
000008 I-O-CONTROL.
000009     APPLY SAVED-AREA TO WSVAR.
000010 DATA           DIVISION.
000011 FILE             SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02              PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WSVAR        PIC X(80).
000017 PROCEDURE      DIVISION.
000018 END PROGRAM     P2823.
```

P2823.cob 9: JMN2823I-S 表示ファイル(編成GS)が定義されていない場合、APPLY SAVED-AREA句にファイル名を指定しなければなりません。

2.4.483 JMN2826I-S

@1@は英数字項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : SQLMSG.

例題

```
[P2826.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2826.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 HVAR1          PIC S9(9) BINARY.
000008 01 SQLSTATE      PIC X(5).
000009 01 SQLMSG.
000010 02              PIC S9(4).
```



```

000011 02 PIC X(50).
000012 EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014 EXEC SQL WHENEVER SQLERROR CONTINUE END-EXEC
000015 EXEC SQL
000016 SELECT CL1 FROM T1
000017 INTO :HVAR1
000018 END-EXEC
000019 END PROGRAM P2826.

```

P2826.cob 9: JMN2826I-S SQLMSGは英数字項目でなければなりません。

詳細な説明

SQL文の実行によって例外事象が発生した場合、例外事象の内容を示すメッセージが応用プログラムに通知されます。SQLMSGは、このメッセージを格納するための領域です。

SQLMSGは、レベル番号01または77の英数字項目として、定義しなければなりません。

2.4.484 JMN2827I-S

@1@句は、表示ファイル(編成GS)に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : BLOCK CONTAINS, LABEL RECORD, FORMATTED RECORDまたはCONTROL RECORD.

例題

```

[P2827.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2827.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT PRFILE1 ASSIGN TO GS-SYS001
000007 SYMBOLIC DESTINATION IS "DSP"
000008 FORMAT IS WFMT.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 FD PRFILE1
000012 CONTROL RECORD IS CTL.
000013 01 PRF1REC.
000014 02 PIC X(80).
000015 01 CTLREC PIC X(80).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 01 WFMT PIC X(8).
000018 PROCEDURE DIVISION.
000019 END PROGRAM P2827.

```

P2827.cob 12: JMN2827I-S CONTROL RECORD句は、表示ファイル(編成GS)に指定できません。

2.4.485 JMN2829I-S

KEY IS句のデータ名 '@1@' は、2進項目、内部10進項目、外部10進項目、数字編集項目、英字項目、英数字項目、英数字編集項目、日本語項目、または日本語編集項目または浮動小数点項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2829.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2829.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007   02 WOCC       OCCURS 26 ASCENDING KEY IS WKEY.
000008     03 WKEY     PIC 1(8).
000009     03 WVAL     PIC X(1).
000010 PROCEDURE       DIVISION.
000011 END PROGRAM      P2829.
```

P2829.cob 7: JMN2829I-S KEY IS句のデータ名'WKEY'は、2進項目、内部10進項目、外部10進項目、数字編集項目、英字項目、英数字項目、英数字編集項目、日本語項目、または日本語編集項目または浮動小数点項目でなければなりません。

2.4.486 JMN2831I-W

RECORDING MODE句は、順ファイル(編成VSまたはAS)、相対ファイル、索引ファイル、表示ファイル、FORMAT句指定の印刷ファイルに指定できません。RECORDING MODE句は、無効になります。

例題

```
[P2831.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2831.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006   SELECT SQFILE1 ASSIGN TO VS-SYS001
000007     ORGANIZATION IS SEQUENTIAL
000008     FILE STATUS IS WFS1.
000009 DATA           DIVISION.
000010 FILE           SECTION.
000011 FD SQFILE1
000012   RECORDING MODE IS V.
000013 01 SQF1REC.
000014   02                               PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WFS1       PIC X(2).
000017 PROCEDURE     DIVISION.
000018 END PROGRAM    P2831.
```

P2831.cob 12: JMN2831I-W RECORDING MODE句は、順ファイル(編成VSまたはAS)、相対ファイル、索引ファイル、表示ファイル、FORMAT句指定の印刷ファイルに指定できません。RECORDING MODE句は、無効になります。

詳細な説明

RECORDING MODE句は、OSIV系システムの固有機能です。

2.4.487 JMN2832I-S

表示ファイル、図表ファイルまたはFORMAT句指定の印刷ファイルのレコード長は、@1@バイト以下でなければなりません。レコード長を@1@バイトとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 32767 , 65535

例題

```
[P2832.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2832.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO GS-SYS001
000007     SYMBOLIC DESTINATION IS "DSP".
000008 DATA            DIVISION.
000009 FILE            SECTION.
000010 FD SQFILE1.
000011 01 SQF1REC.
000012 02              PIC X(32768).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 WFS1        PIC X(2).
000015 PROCEDURE      DIVISION.
000016 END PROGRAM     P2832.
```

P2832.cob 10: JMN2832I-S 表示ファイル, 図表ファイルまたはFORMAT句指定の印刷ファイルのレコード長は, 32767バイト以下でなければなりません. レコード長を32767バイトとみなします.

詳細な説明

COBOL処理系の定量制限です.

2.4.488 JMN2834I-S

@1@句のデータ名は, Pを含まない符号なし外部10進整数項目でなければなりません.

埋め込みの説明

@1@ : MESSAGE CLASS, MESSAGE SEQUENCEまたはPROCESSING TIME.

例題

```
[P2834.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2834.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT PRFILE1 ASSIGN TO GS-SYS001
000007     SYMBOLIC DESTINATION IS "DSP"
000008     FORMAT          IS WFMT
000009     MESSAGE CLASS    IS WMCL.
000010 DATA            DIVISION.
000011 FILE            SECTION.
000012 FD PRFILE1.
000013 01 PRF1REC.
000014 02              PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WFMT          PIC X(8).
000017 01 WMCL          PIC X(8).
000018 PROCEDURE      DIVISION.
000019 END PROGRAM     P2834.
```

P2834.cob 9: JMN2834I-S MESSAGE CLASS句のデータ名は, Pを含まない符号なし外部10進整数項目でなければなりません.

詳細な説明

PICTURE文字の"P"は, 想定した位取りを示します.

2.4.489 JMN2835I-S

KEY IS指定のデータ名'@1@'は、可変長項目であってはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名.

例題

```
[P2835.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2835.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007   02 WKEYLEN PIC S9(4) BINARY.
000008   02 WCCC     OCCURS 26 ASCENDING KEY IS WKEY.
000009     03 WKEY.
000010       04     PIC X(1) OCCURS 5 DEPENDING ON WKEYLEN.
000011     03 WVAL  PIC X(1).
000012 PROCEDURE      DIVISION.
000013 END PROGRAM    P2835.
```

P2835.cob 8: JMN2835I-S KEY IS指定のデータ名'WKEY'は、可変長項目であってはなりません。

詳細な説明

KEY IS指定に指定したデータ項目は、DEPENDENT指定のあるOCCURS句を指定した項目、あるいはそれを従属する項目であってはなりません。

2.4.490 JMN2836I-S

CHARACTER TYPE句の呼び名は、未定義、多重定義または許されない機能名に対応づけられています。

例題

```
[P2836.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2836.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP CHARACTER TYPE PM-1.
000007   02 XITM  PIC X(10).
000008   02 NITM  PIC N(10).
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010 END PROGRAM    P2836.
```

P2836.cob 6: JMN2836I-S CHARACTER TYPE句の呼び名は、未定義、多重定義または許されない機能名に対応づけられています。

詳細な説明

CHARACTER TYPE句に指定する呼び名は、環境部の特殊名段落で機能名と対応付けなくてはなりません。

MODE-1, MODE-2またはMODE-3を指定したCHARACTER TYPE句の呼び名は、以下の機能名のいずれかに対応づけられます。

- HSC, F0202, H0202, F0102, F0201

呼び名だけを指定したCHARACTER TYPE句の場合、その呼び名は、以下の文字列で始まる機能名に対応付けなければなりません。

- GTA, GTB, GTC, GTD, GTX, GYA, GYB, GYC, GYD, GYX

- ・ TA, TB, TC, TD, TX, YA, YB, YC, YD, YX

2.4.491 JMN2837I-S

CHARACTER TYPE句の呼び名は、報告書作成機能でサポートされていない機能名に対応づけられています。

例題

```
[P2837.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2837.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     TX-12P IS PM1.
000007 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000008 FILE-CONTROL.
000009     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000010     SELECT REPF1   ASSIGN TO SYS002.
000011 DATA            DIVISION.
000012 FILE             SECTION.
000013 FD SQFILE1.
000014 01 SQF1REC      PIC N(40).
000015 FD REPF1
000016     REPORT IS REP1.
000017 WORKING-STORAGE SECTION.
000018 01 WFS1         PIC X(2).
000019 REPORT          SECTION.
000020 RD REP1 PAGE 66.
000021 01 DE-REC TYPE DE CHARACTER TYPE PM1.
000022     02 LINE PLUS 1.
000023     03 COLUMN 1 PIC N(40) SOURCE SQF1REC.
000024 PROCEDURE       DIVISION.
000025 END PROGRAM      P2837.
```

P2837.cob 21: JMN2837I-S CHARACTER TYPE句の呼び名は、報告書作成機能でサポートされていない機能名に対応づけられています。

詳細な説明

CHARACTER TYPE句に指定する呼び名は、環境部の特殊名段落で機能名と対応付けなくてはなりません。
MODE-1, MODE-2またはMODE-3を指定したCHARACTER TYPE句の呼び名は、以下の機能名のいずれかに対応づけれます。

- ・ HSC, F0202, H0202, F0102, F0201

呼び名だけを指定したCHARACTER TYPE句の場合、その呼び名は、以下の文字列で始まる機能名に対応付けなければなりません。

- ・ GTA, GTB, GTC, GTD, GTX, GYA, GYB, GYC, GYD, GYX
- ・ TA, TB, TC, TD, TX, YA, YB, YC, YD, YX

2.4.492 JMN2838I-S

FORMATTED RECORD句を指定するファイルは、表示ファイル、図表ファイルまたはFORMAT句指定の印刷ファイルでなければなりません。

例題

```
[P2838.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2838.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
```

```

000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA          DIVISION.
000009 FILE           SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     FORMATTED RECORD FREQ.
000012 01 SQF1REC.
000013 02                PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 PROCEDURE      DIVISION.
000016 END PROGRAM     P2838.

```

P2838.cob 11: JMN2838I-S FORMATTED RECORD句を指定するファイルは、表示ファイル、図表ファイルまたはFORMAT句指定の印刷ファイルでなければなりません。

詳細な説明

FORMATTED RECORD句は、OSIV系システムの固有機能です。

2.4.493 JMN2839I-S

CONTROL RECORD句を指定するファイルは、表示ファイルまたはFORMAT句指定の印刷ファイルでなければなりません。

例題

```

[P2839.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2839.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT PRFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE           SECTION.
000009 FD PRFILE1
000010     CONTROL RECORD IS CTLREC.
000011 01 PRF1REC.
000012 02                PIC X(80).
000013 01 CTLREC       PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WFMT          PIC X(8).
000016 PROCEDURE      DIVISION.
000017 END PROGRAM     P2839.

```

P2839.cob 10: JMN2839I-S CONTROL RECORD句を指定するファイルは、表示ファイルまたはFORMAT句指定の印刷ファイルでなければなりません。

2.4.494 JMN2840I-S

インデックスつき編成ファイルのRECORD KEY句には、データ名を二つ以上指定できません。最初のデータ名以外は、無効になります。

例題

```

[P2840.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2840.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IXFILE1 ASSIGN TO I-SYS001

```

```

000007 RECORD KEY IS RKEY1 RKEY2
000008 NOMINAL KEY IS AKEY
000009
000010 I-0-CONTROL.
000011 DATA DIVISION.
000012 FILE SECTION.
000013 FD IXFILE1.
000014 01 IXFIREC.
000015 02 RKEY1 PIC X(8).
000016 02 RKEY2 PIC X(8).
000017 02 PIC X(80).
000018 WORKING-STORAGE SECTION.
000019 01 AKEY PIC X(8).
000020 PROCEDURE DIVISION.
000021 END PROGRAM P2840.

```

P2840.cob 6: JMN1481I-E 'インデックスつき編成ファイル'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

P2840.cob 7: JMN2840I-S インデックスつき編成ファイルのRECORD KEY句には、データ名を二つ以上指定できません。最初のデータ名以外は、無効になります。

P2840.cob 8: JMN1481I-E 'NOMINAL KEY'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

詳細な説明

インデックスつき編成ファイル(ASSIGN句のファイル識別名がI-名前)は、OSIV系システムの固有機能です。

2.4.495 JMN2847I-S

名標'@1@'は、一意な記号定数でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```

[P2847.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2847.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006 SYMBOLIC CONSTANT
000007 BLKLEN IS 80.
000008 INPUT-OUTPUT SECTION.
000009 FILE-CONTROL.
000010 SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000011 DATA DIVISION.
000012 FILE SECTION.
000013 FD SQFILE1
000014 BLOCK CONTAINS BLKLEN RECORDS.
000015 01 SQFIREC PIC X(80).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 01 BLKLEN PIC S9(2) BINARY.
000018 PROCEDURE DIVISION.
000019 END PROGRAM P2847.

```

P2847.cob 14: JMN2847I-S 名標'BLKLEN'は、一意な記号定数でなければなりません。

2.4.496 JMN2851I-S

ポインタデータ項目は、基底場所節、作業場所節、局所記憶節、定数節または連絡節にのみ定義できます。

例題

```
[P2851.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2851.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD SQFILE1.
000010 01 SQF1REC.
000011 02 WPX         POINTER.
000012 02             PIC X(72).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 PROCEDURE      DIVISION.
000015 END PROGRAM     P2851.
```

P2851.cob 11: JMN2851I-S ポインタデータ項目は、基底場所節、作業場所節、局所記憶節、定数節または連絡節にのみ定義できます。

2.4.497 JMN2853I-S

PRINTING POSITION句は、ポインタデータ項目に指定できません。

例題

```
[C2853.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C2853.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 US001 PRINTING POSITION IS 5
000007     USAGE POINTER.
000008 PROCEDURE      DIVISION.
000009     STOP RUN.
```

C2853.cob 6: JMN2853I-S PRINTING POSITION句は、ポインタデータ項目に指定できません。

2.4.498 JMN2862I-S

英数字、**英数字編集**または**集団項目**の**VALUE**句に、**数字定数**は指定できません。同一の長さの**文字定数**が指定されたものとみなします。

例題

```
[C2862.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C2862.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 ALP-CV         PIC X(2) VALUE 12.
000007 PROCEDURE      DIVISION.
000008 END PROGRAM     C2862.
```

C2862.cob 6: JMN2862I-S 英数字、英数字編集または集団項目のVALUE句に、数字定数は指定できません。同一の長さの文字定数が指定されたものとみなします。

詳細な説明

英数字, 英数字編集または集団項目にVALUE句を指定する場合, VALUE句の定数は文字定数でなければなりません.

2.4.499 JMN2863I-S

条件変数が英数字, 英数字編集または集団項目である条件名のVALUE句に, 数字定数は指定できません. 同一の長さの文字定数が指定されたものとみなします.

例題

```
[C2863.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.          C2863.
000003 ENVIRONMENT         DIVISION.
000004 DATA                DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 ALP-CV           PIC X(2).
000007 88 C1              VALUE "12".
000008 88 C2              VALUE 24.
000009 PROCEDURE          DIVISION.
000010 END PROGRAM        C2863.
```

C2863.cob 8: JMN2863I-S 条件変数が英数字, 英数字編集または集団項目である条件名のVALUE句に, 数字定数は指定できません. 同一の長さの文字定数が指定されたものとみなします.

詳細な説明

条件変数が英数字, 英数字編集または集団項目であるときは, 条件名記述項(レベル番号が88)のVALUE句の値として文字定数を記述しなければなりません.

2.4.500 JMN2864I-S

VARYING指定のRECORD句は, 相対編成ファイルに指定できません.

例題

```
[P2864.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.          P2864.
000003 ENVIRONMENT         DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT       SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO R-SYS001
000007     RELATIVE KEY IS RKEY
000008     ACCESS MODE IS RANDOM.
000009 DATA                DIVISION.
000010 FILE                  SECTION.
000011 FD SQFILE1
000012     RECORD VARYING IN SIZE
000013     DEPENDING ON LRECL.
000014 01 SQF1REC.
000015 02                   PIC X(80).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 01 RKEY              PIC 9(8) BINARY.
000018 01 LRECL            PIC 9(8) BINARY.
000019 PROCEDURE          DIVISION.
000020 END PROGRAM        P2864.
```

P2864.cob 6: JMN1481I-E '相対編成ファイル'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です.

P2864.cob 7: JMN1481I-E 'RELATIVE KEY'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です.

P2864.cob 12: JMN2864I-S VARYING指定のRECORD句は, 相対編成ファイルに指定できません.

詳細な説明

相対編成ファイル(ASSIGN句のファイル識別名がR-名前)は、OSIV系システムの固有機能です。

2.4.501 JMN2866I-S

表意定数NULLは、ポインタデータ項目以外のVALUE句に指定できません。

例題

```
[P2866.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2866.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WNUM PIC S9(9) BINARY VALUE NULL.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 END PROGRAM P2866.
```

P2866.cob 6: JMN2866I-S 表意定数NULLは、ポインタデータ項目以外のVALUE句に指定できません。

2.4.502 JMN2867I-S

ポインタデータ項目のVALUE句には、表意定数ZEROまたはNULLを指定しなければなりません。

例題

```
[P2867.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2867.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WPX POINTER VALUE 1.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 END PROGRAM P2867.
```

P2867.cob 6: JMN2867I-S ポインタデータ項目のVALUE句には、表意定数ZEROまたはNULLを指定しなければなりません。

2.4.503 JMN2868I-S

条件変数がポインタデータ項目である条件名のVALUE句には、表意定数ZEROまたはNULLを指定しなければなりません。

例題

```
[P2868.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2868.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WPX POINTER.
000007 88 ZOKPX VALUE ZERO.
000008 88 ZNGPX VALUE 1.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 END PROGRAM P2868.
```

P2868.cob 8: JMN2868I-S 条件変数がポインタデータ項目である条件名のVALUE句には、表意定数ZEROまたはNULLを指定しなければなりません。

2.4.504 JMN2870I-S

APPLY WRITE-ONLY句に指定されたファイル'@1@'は可変長形式の順ファイルでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったファイル名.

例題

```
[P2870.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2870.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008     APPLY WRITE-ONLY ON SQFILE1.
000009 DATA            DIVISION.
000010 FILE             SECTION.
000011 FD SQFILE1 BLOCK CONTAINS 160.
000012 01 SQF1REC.
000013 02              PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 PROCEDURE       DIVISION.
000016 END PROGRAM      P2870.
```

P2870.cob 11: JMN2870I-S APPLY WRITE-ONLY句に指定されたファイル'SQFILE1'は可変長形式の順ファイルでなければなりません。

詳細な説明

APPLY WRITE-ONLY句は、OSIV系システムの固有機能です。

2.4.505 JMN2871I-S

@1@句のデータ名は、作業場所節、局所記憶節、連絡節または定数節に定義されていなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : PASSWORD.

例題

```
[P2871.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2871.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     RECORD KEY IS K1 PASSWORD IS P1.
000009 DATA            DIVISION.
000010 BASED-STORAGE SECTION.
000011 01 P1 PIC X(4).
000012 FILE             SECTION.
000013 FD IN-F.
000014 01 REC1.
000015 02 IN-R PIC X(80).
000016 02 K1 PIC X(4).
000017 END PROGRAM      P2871.
```

P2871.cob 8: JMN2871I-S PASSWORD句のデータ名は、作業場所節、局所記憶節、連絡節または定数節に定義されていなければなりません。

P2871.cob 8: JMN1477I-I このシステムでは、'PASSWORD'は注釈扱いです。

2.4.506 JMN2873I-S

COMPUTATIONAL-4は、数字項目に指定しなければなりません。

例題

```
[P2873. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2873.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDX         PIC X(4) COMPUTATIONAL-4.
000007 PROCEDURE      DIVISION.
000008 END PROGRAM     P2873.
```

P2873.cob 6: JMN2873I-S COMPUTATIONAL-4は、数字項目に指定しなければなりません。

2.4.507 JMN2874I-W

REDEFINES句で再定義される項目が、可変長項目です。REDEFINES句を有効とみなします。

例題

```
[P2874. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2874.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDA.
000007 02 WSIZE       PIC S9(4) BINARY.
000008 02 WOCC        PIC X(2) OCCURS 100
000009                DEPENDING ON WSIZE.
000010 01 WRDA REDEFINES WDA.
000011 02             PIC X(202).
000012 PROCEDURE      DIVISION.
000013 END PROGRAM     P2874.
```

P2874.cob 10: JMN2874I-W REDEFINES句で再定義される項目が、可変長項目です。REDEFINES句を有効とみなします。

2.4.508 JMN2875I-W

再定義する項目が可変繰返しデータ項目を従属しています。REDEFINES句を有効とみなします。

例題

```
[P2875. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2875.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WBUF         PIC X(100).
000007 01 WGRP REDEFINES WBUF.
000008 02 WDPEND       PIC S9(4) BINARY.
000009 02 WOCC          OCCURS 10 DEPENDING ON WDPEND.
000010 03             PIC X(1).
```

```
000011 PROCEDURE      DIVISION.
000012 END PROGRAM    P2875.
```

P2875.cob 7: JMN2875I-W 再定義する項目が可変繰返しデータ項目を従属しています。REDEFINES句を有効とみなします。

2.4.509 JMN2877I-S

SIGN句が外部浮動小数点項目に指定されています。SIGN句は、注釈になります。

例題

```
[P2877.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2877.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WEXFL        PIC +99.99E+99 SIGN LEADING SEPARATE.
000007 PROCEDURE       DIVISION.
000008 END PROGRAM      P2877.
```

P2877.cob 6: JMN2877I-S SIGN句が外部浮動小数点項目に指定されています。SIGN句は、注釈になります。

詳細な説明

SIGN句は外部浮動小数点項目に指定できません。

SIGN句を注釈とみなして解析を続けますが、このときオブジェクトファイルや実行形式は生成されません。

2.4.510 JMN2878I-S

[Win32]

ホスト変数が2進項目の場合、'P'および'V'を含まない4または9けたの項目でなければなりません。

[Winx64]

ホスト変数が2進項目の場合、'P'および'V'を含まない@1@けたの項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 指定可能な桁数

例題

```
[P2878.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2878.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE      PIC X(5).
000008 01 HVR1          PIC S9(10) BINARY.
000009 EXEC SQL END   DECLARE SECTION END-EXEC.
000010 PROCEDURE       DIVISION.
000011 EXEC SQL
000012     SELECT COL2 INTO :HVR1
000013     FROM T1     WHERE COL1 = 0
000014 END-EXEC
000015 END PROGRAM      P2878.
```

P2878.cob 8: JMN2878I-S ホスト変数が2進項目の場合、'P'および'V'を含まない4または9けたの項目でなければなりません。

詳細な説明

ホスト変数(データ部の埋込みSQL宣言節のデータ記述項)として2進項目を宣言する場合、整数項目でなければなりません。

2.4.511 JMN2879I-S

ホスト変数が英数字項目の場合、その項目長は@1@バイト以下でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 32692.

例題

```
[P2879.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2879.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE     PIC X(5).
000008 01 HVR1        PIC X(35000).
000009     EXEC SQL END   DECLARE SECTION END-EXEC.
000010 PROCEDURE      DIVISION.
000011     EXEC SQL
000012         SELECT COL2 INTO :HVR1
000013         FROM T1     WHERE COL1 = 0
000014     END-EXEC
000015 END PROGRAM      P2879.
```

P2879.cob 8: JMN2879I-S ホスト変数が英数字項目の場合、その項目長は32692バイト以下でなければなりません。

詳細な説明

ホスト変数(データ部の埋込みSQL宣言節のデータ記述項)として英数字項目を宣言する場合、項目の長さは32692バイト以下でなければなりません。

2.4.512 JMN2880I-S

ホスト変数が日本語項目の場合、その文字数は@1@文字以下でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 16346.

例題

```
[P2880.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2880.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE     PIC X(5).
000008 01 HVR1        PIC N(16347).
000009     EXEC SQL END   DECLARE SECTION END-EXEC.
000010 PROCEDURE      DIVISION.
000011     EXEC SQL
000012         SELECT COL2 INTO :HVR1
000013         FROM T1     WHERE COL1 = 0
000014     END-EXEC
000015 END PROGRAM      P2880.
```

P2880.cob 8: JMN2880I-S ホスト変数が日本語項目の場合、その文字数は16346文字以下でなければなりません。

詳細な説明

ホスト変数(データ部の埋込みSQL宣言節のデータ記述項)として日本語項目を宣言する場合、文字数は16346文字以下でなければなりません。

2.4.513 JMN2881I-S

ホスト変数が内部10進項目の場合、'P'を含まない項目でなければなりません。

例題

```
[P2881.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2881.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE     PIC X(5).
000008 01 HVR1        PIC S9(5)P PACKED-DECIMAL.
000009     EXEC SQL END   DECLARE SECTION END-EXEC.
000010 PROCEDURE       DIVISION.
000011     EXEC SQL
000012         SELECT COL2 INTO :HVR1
000013         FROM T1     WHERE COL1 = 0
000014     END-EXEC
000015 END PROGRAM       P2881.
```

P2881.cob 8: JMN2881I-S ホスト変数が内部10進項目の場合、'P'を含まない項目でなければなりません。

詳細な説明

ホスト変数(データ部の埋込みSQL宣言節のデータ記述項)として内部10進項目を宣言する場合、そのPICTURE文字列は'P'(想定した位取りを示す文字)を含んではなりません。想定小数点(PICTURE文字の'V')は含めることができます。

2.4.514 JMN2882I-S

ホスト変数は、2進項目、外部10進項目、英数字項目、日本語項目、内部浮動小数点項目、内部10進項目または固定長集団項目でなければなりません。

例題

```
[P2882.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2882.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE     PIC X(5).
000008 01 HVR1        POINTER.
000009     EXEC SQL END   DECLARE SECTION END-EXEC.
000010 PROCEDURE       DIVISION.
000011     EXEC SQL
000012         SELECT COL2 INTO :HVR1
000013         FROM T1     WHERE COL1 = 0
000014     END-EXEC
000015 END PROGRAM       P2882.
```

P2882.cob 8: JMN2882I-S ホスト変数は、2進項目、外部10進項目、英数字項目、日本語項目、内部浮動小数点項目、内部10進項目または固定長集団項目でなければなりません。

詳細な説明

ホスト変数(データ部の埋込みSQL宣言節で定義する)は、応用プログラムからデータをデータベースに格納したり、データベースのデータを読み込むために使用します。ホスト変数は、所定の項類のデータ項目でなければなりません。

2.4.515 JMN2883I-S

可変長文字列型のホスト変数に従属する項目は、符号付き2進項目と英数字項目または符号付き2進項目と日本語項目の組合せでなければなりません。

例題

```
[C2883.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C2883.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE PIC X(5).
000008 01 HVAR1.
000009     49 HVAR1-LEN PIC 9(9) BINARY.
000010     49 HVAR1-NCH PIC N(16).
000011 01 HVAR2.
000012     49 HVAR2-LEN PIC S9(4) BINARY.
000013     49 HVAR2-CHR PIC X(8).
000014     49 HVAR2-DEC PIC 9(8).
000015     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017     EXEC SQL
000018         SELECT CL1,CL2 INTO :HVAR1, :HVAR2 FROM TBL END-EXEC.
```

C2883.cob 8: JMN2883I-S 可変長文字列型のホスト変数に従属する項目は、符号付き2進項目と英数字項目または符号付き2進項目と日本語項目の組合せでなければなりません。

詳細な説明

可変長文字列型のホスト変数は、可変長の文字列を扱うためのホスト変数です。

可変長文字列型のホスト変数は、2個の従属項目を持つ集団項目です。従属項目のうち、符号付き2進項目はデータ長を、英数字項目あるいは日本語項目はデータ内容を格納します。このため、符号付き2進項目と英数字項目、または符号付き2進項目と日本語項目の組合せでなければなりません。

2.4.516 JMN2884I-S

可変長文字列型のホスト変数に従属する2進項目は、'P'および'V'を含まない4または9けたの項目でなければなりません。

例題

```
[P2884.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2884.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE PIC X(5).
000008 01 GHVR.
000009     49 GHVRL PIC S9(5) BINARY.
000010     49 GHVRX PIC X(200).
000011     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013     EXEC SQL
```



```

000014      SELECT COL2 INTO :GHVR
000015              FROM T1 WHERE COL1 = 0
000016      END-EXEC
000017 END PROGRAM      P2884.

```

P2884.cob 9: JMN2884I-S 可変長文字列型のホスト変数に従属する2進項目は、'P'および'V'を含まない4または9けたの項目でなければなりません。

詳細な説明

可変長文字列型のホスト変数に従属する2進項目には、可変長文字列の長さを格納します。このデータ項目は整数項目でなければなりません。また、桁数は4または9桁でなければなりません。

2.4.517 JMN2885I-S

可変長文字列型のホスト変数に従属する英数字項目の項目長は、@1@バイト以下でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 32688.

例題

```

[P2885.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2885.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006      EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE     PIC X(5).
000008 01 GHVR.
000009 49 GHVRL       PIC S9(4) BINARY.
000010 49 GHVRX      PIC X(32689).
000011      EXEC SQL END   DECLARE SECTION END-EXEC.
000012 PROCEDURE      DIVISION.
000013      EXEC SQL
000014          SELECT COL2 INTO :GHVR
000015              FROM T1 WHERE COL1 = 0
000016      END-EXEC
000017 END PROGRAM      P2885.

```

P2885.cob 10: JMN2885I-S 可変長文字列型のホスト変数に従属する英数字項目の項目長は、32688バイト以下でなければなりません。

詳細な説明

可変長文字列型のホスト変数に従属する英数字項目には、文字列を格納します。この項目の長さは32688バイト以下でなければなりません。

2.4.518 JMN2886I-S

可変長文字列型のホスト変数に従属する日本語項目の文字数は、@1@文字以下でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 16344.

例題

```

[P2886.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2886.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.

```

```

000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE    PIC X(5).
000008 01 GHVR.
000009 49 GHVRL      PIC S9(4) BINARY.
000010 49 GHVRX      PIC N(16345).
000011     EXEC SQL END  DECLARE SECTION END-EXEC.
000012 PROCEDURE      DIVISION.
000013     EXEC SQL
000014         SELECT COL2 INTO :GHVR
000015             FROM T1  WHERE COL1 = 0
000016     END-EXEC
000017 END PROGRAM      P2886.

```

P2886.cob 10: JMN2886I-S 可変長文字列型のホスト変数に従属する日本語項目の文字数は、16344文字以下でなければなりません。

詳細な説明

可変長文字列型のホスト変数に従属する日本語項目には、日本語文字列を格納します。この項目の文字数は16344文字以下でなければなりません。

2.4.519 JMN2888I-W

ホスト変数が2進項目の場合、@1@けたの項目でなければなりません。書かれたとおり受け入れます。

埋め込みの説明

@1@ : 指定可能な桁数

例題

```

[P2888.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2888.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE    PIC X(5).
000008 01 HVR1       PIC S9(5) BINARY.
000009     EXEC SQL END  DECLARE SECTION END-EXEC.
000010 PROCEDURE      DIVISION.
000011     EXEC SQL
000012         SELECT COL2 INTO :HVR1
000013             FROM T1  WHERE COL1 = 0
000014     END-EXEC
000015 END PROGRAM      P2888.

```

P2888.cob 8: JMN2888I-W ホスト変数が2進項目の場合、4または9けたの項目でなければなりません。書かれたとおり受け入れます。

2.4.520 JMN2889I-S

符号付き外部10進項目のホスト変数にSIGN句を指定する場合、LEADING SEPARATE指定またはTRAILING指定でなければなりません。

例題

```

[P2889.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2889.

```

```

000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE    PIC X(5).
000008 01 HVR1        PIC S9(5) SIGN TRAILING SEPARATE.
000009     EXEC SQL END  DECLARE SECTION END-EXEC.
000010 PROCEDURE      DIVISION.
000011     EXEC SQL
000012         SELECT COL2 INTO :HVR1
000013         FROM T1    WHERE COL1 = 0
000014     END-EXEC
000015 END PROGRAM      P2889.

```

P2889.cob 8: JMN2889I-S 符号付き外部10進項目のホスト変数にSIGN句を指定する場合、LEADING SEPARATE指定またはTRAILING指定でなければなりません。

2.4.521 JMN2890I-S

@1@は、5文字の英数字項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : SQLSTATE.

例題

```

[P2890.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2890.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE    PIC X(40).
000008     EXEC SQL END  DECLARE SECTION END-EXEC.
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010     EXEC SQL
000011         SELECT * FROM S1
000012     END-EXEC
000013 END PROGRAM      P2890.

```

P2890.cob 7: JMN2890I-S SQLSTATEは、5文字の英数字項目でなければなりません。

詳細な説明

埋め込みSQL文の実行時例外発生時の例外コードを受け取る領域であるSQLSTATEは次のように定義されていなければなりません。

- 01または77レベルのデータ項目
- 5文字の英数字項目

2.4.522 JMN2892I-W

SQLCODEは'P'および'V'を含まない9けたの符号付き2進項目でなければなりません。書かれたとおり受け入れます。

詳細な説明

埋め込みSQL文の実行時例外発生時の例外コードを受け取る領域であるSQLCODEは次のように定義されていなければなりません。

- 01または77レベルのデータ項目
- PまたはVを含まない符号付き9桁の2進項目

ただし、このコンパイラではデータ項目の桁数が4～8桁または10～18桁であっても、この診断メッセージを出力して指定された通りに受け入れます。

2.4.523 JMN2893I-S

@1@は'P'および'V'を含まない9けたの符号付き2進項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : SQLCODE, SQLERRDまたはSQLERARY.

例題

```
[P2893.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2893.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE PIC X(5).
000008 01 SQLCODE PIC 9(9) BINARY.
000009 01 SQLINFOA.
000010 02 SQLERRD PIC S9(4) BINARY.
000011 01 SQLERARY PIC S9(9).
000012 01 HVAR1 PIC S9(2)V9(2).
000013 01 HVAR2 PIC X(8).
000014 EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000015 PROCEDURE DIVISION.
000016 EXEC SQL
000017     SELECT CL1,CL2 INTO :HVAR1, :HVAR2 FROM TBL
000018 END-EXEC.
000019 END PROGRAM      P2893.
```

P2893.cob 8: JMN2893I-S SQLCODEは'P'および'V'を含まない9けたの符号付き2進項目でなければなりません。

P2893.cob 10: JMN2893I-S SQLERRDは'P'および'V'を含まない9けたの符号付き2進項目でなければなりません。

P2893.cob 11: JMN2893I-S SQLERARYは'P'および'V'を含まない9けたの符号付き2進項目でなければなりません。

詳細な説明

埋め込みSQL文の実行時例外発生時の例外コードを受け取る領域である以下のデータ項目は、いずれもPまたはVを含まない9桁の符号付き2進項目符号である必要があります。

- SQLCODE
- SQLERRD
- SQLERARY

2.4.524 JMN2895I-S

再定義される項目が可変長項目である、または再定義する項目が可変繰返しデータ項目を従属しているため、この項目の変位が不確定です。

例題

```
[P2895.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2895.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP1.
```

```

000007 02 WITM1 PIC X(20).
000008 02 RITM REDEFINES WITM1.
000009 03 PIC X(1) OCCURS 20
000010 DEPENDING ON WSIZE.
000011 02 WITM2 PIC X(20). *> JMN2895I-S
000012 01 WGRP.
000013 02 WITM1.
000014 03 PIC X(1) OCCURS 20
000015 DEPENDING ON WSIZE.
000016 02 RITM REDEFINES WITM1
000017 PIC X(20).
000018 02 WITM2 PIC X(20). *> JMN2895I-S
000019 01 WSIZE PIC S9(4) BINARY.
000020 PROCEDURE DIVISION.
000021 END PROGRAM P2895.

```

P2895.cob 8: JMN2875I-W 再定義する項目が可変繰返しデータ項目を従属しています。REDEFINES句を有効とみなします。

P2895.cob 11: JMN2895I-S 再定義される項目が可変長項目である、または再定義する項目が可変繰返しデータ項目を従属しているため、この項目の変位が不確定です。

P2895.cob 16: JMN2874I-W REDEFINES句で再定義される項目が、可変長項目です。REDEFINES句を有効とみなします。

P2895.cob 18: JMN2895I-S 再定義される項目が可変長項目である、または再定義する項目が可変繰返しデータ項目を従属しているため、この項目の変位が不確定です。

詳細な説明

OCCURS句にDEPENDING指定を指定したデータ項目を、「可変反復データ項目」といいます。レコードの中で、可変反復データ項目の後に割り付けられる領域を、「レコードの中の可変位置」といいます。

可変位置にある項目の変位(記憶領域内で割り付けられる位置)は実行時に確定します。翻訳時には確定できません。

2.4.525 JMN2896I-I

整列併合用ファイルは、ASSIGN句にファイル識別名指定以外記述できません。書かれた通りに受け入れます。

例題

```

[P2896.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2896.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT SRTRFILE ASSIGN TO "D:¥TMPFILE".
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 SD SRTRFILE.
000011 01 SRTRFREC.
000012 02 PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015 END PROGRAM P2896.

```

P2896.cob 10: JMN2896I-I 整列併合用ファイルは、ASSIGN句にファイル識別名指定以外記述できません。書かれた通りに受け入れます。

2.4.526 JMN2897I-S

FORMAT句指定の印刷ファイルに、FORMATTED RECORD句は指定できません。

例題

```
[P2897.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2897.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT PRFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     FORMAT        IS WFMT.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA            DIVISION.
000010 FILE             SECTION.
000011 FD PRFILE1
000012     FORMATTED RECORD IS FMTREC.
000013 01 PRF1REC.
000014 02              PIC X(80).
000015 01 FMTREC       PIC X(80).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 01 WFMT         PIC X(8).
000018 PROCEDURE       DIVISION.
000019 END PROGRAM      P2897.
```

P2897.cob 12: JMN2897I-S FORMAT句指定の印刷ファイルに、FORMATTED RECORD句は指定できません。

詳細な説明

FORMATTED RECORD句は、OSIV系システムの固有機能です。

2.4.527 JMN2898I-S

2進項目、外部10進項目または内部10進項目として定義されたホスト変数は、符号付きでなければなりません。

例題

```
[P2898.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2898.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE       PIC X(5).
000008 01 HVR1          PIC 9(9) BINARY.
000009     EXEC SQL END   DECLARE SECTION END-EXEC.
000010 PROCEDURE       DIVISION.
000011     EXEC SQL
000012     SELECT COL2 INTO :HVR1
000013     FROM T1     WHERE COL1 = 0
000014     END-EXEC
000015 END PROGRAM      P2898.
```

P2898.cob 8: JMN2898I-S 2進項目、外部10進項目または内部10進項目として定義されたホスト変数は、符号付きでなければなりません。

2.4.528 JMN2899I-S

@1@句はホスト変数に指定してはいけません。

埋め込みの説明

@1@ : BLANK WHEN ZERO, JUSTIFIED, REDEFINES, SYNCHRONIZEDまたはOCCURS.

例題

```
[P2899.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2899.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE     PIC X(5).
000008 01 HVAR        PIC X(10) JUSTIFIED.
000009     EXEC SQL END   DECLARE SECTION END-EXEC.
000010 PROCEDURE      DIVISION.
000011     EXEC SQL
000012         SELECT COL1 INTO :HVAR
000013     END-EXEC
000014 END PROGRAM      P2899.
```

P2899.cob 8: JMN2899I-S JUSTIFIED句はホスト変数に指定してはいけません。

詳細な説明

ホスト変数に以下のいずれかの句を指定した場合に、この診断メッセージが出力されます。

- BLANK WHEN ZERO
- JUSTIFIED
- REDEFINES
- SYNCHRONIZED
- OCCURS

この診断メッセージを出力するためのチェックの仕方は翻訳オプションSQLGRP/NOSQLGRPの状態によって異なります。

- SQLGRP指定時(デフォルト): 手続き部で参照したホスト変数のみチェックする。
- NOSQLGRP指定時: ホスト変数宣言節内で定義したすべてのホスト変数をチェックする。

2.4.529 JMN2901I-W

指標名に続く+または-の直後に0は記述できません。指定されたとおりに受け入れます。

例題

```
[P2901.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2901.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WOCC        PIC X(1)
000008             OCCURS 10 INDEXED BY IX1.
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010     MOVE SPACE TO WOCC(IX1 + 0)
000011 END PROGRAM      P2901.
```

P2901.cob 10: JMN2901I-W 指標名に続く+または-の直後に0は記述できません。指定されたとおりに受け入れます。

詳細な説明

添字の値は、演算子が+のときは+に続く値を指標名の値(出現番号に対応する値)に加えたものに、また、演算子が-のときは-に続く値を指標名の値から引いたものになります。符号に続く値として0は指定できません。

2.4.530 JMN2902I-S

@1@句は、整列併合用ファイルのレコード記述項に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : CHARACTER TYPEまたはPRINTING POSITION.

例題

```
[P2902.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.        P2902.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SRTRFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA              DIVISION.
000009 FILE                SECTION.
000010 SD SRTRFILE1.
000011 01 SRTRF1REC CHARACTER TYPE MODE-1.
000012 02                  PIC N(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 WFS1             PIC X(2).
000015 PROCEDURE          DIVISION.
000016 END PROGRAM        P2902.
```

P2902.cob 11: JMN2902I-S CHARACTER TYPE句は、整列併合用ファイルのレコード記述項に指定できません。

詳細な説明

整列併合用ファイルは内部的に生成されるファイルです。整列併合用ファイル記述項(レベル指示語SDの項目)の後に、少なくとも1つのレコード記述項を書かなければなりません。整列併合用ファイルに対して、入出力文を実行することはできません。

CHARACTER TYPE句、PRINTING POSITION句はレコードの印字のための情報を指定する句です。これらは、整列併合用ファイルのレコード記述項に指定できません。

2.4.531 JMN2903I-S

'RECORD CONTAINS 0'は、整列併合用ファイル記述項に指定できません。

例題

```
[P2903.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.        P2903.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SRTRFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA              DIVISION.
000009 FILE                SECTION.
000010 SD SRTRFILE1
000011     RECORD CONTAINS 0.
000012 01 SRTRF1REC.
000013 02                  PIC N(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WFS1             PIC X(2).
000016 PROCEDURE          DIVISION.
000017 END PROGRAM        P2903.
```

P2903.cob 11: JMN2903I-S 'RECORD CONTAINS 0'は、整列併合用ファイル記述項に指定できません。

2.4.532 JMN2906I-S

APPLY SAVED-AREA句のデータ名'@1@'は、外部データ項目であってはなりません。データ名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2906.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2906.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION  IS SEQUENTIAL.
000008 I-O-CONTROL.
000009     APPLY SAVED-AREA WSVAR ON SQFILE1.
000010 DATA            DIVISION.
000011 FILE              SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02                PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WSVAR          PIC X(80) IS EXTERNAL.
000017 PROCEDURE        DIVISION.
000018 END PROGRAM      P2906.
```

P2906.cob 9: JMN2906I-S APPLY SAVED-AREA句のデータ名'WSVAR'は、外部データ項目であってはなりません。データ名は、無効になります。

P2906.cob 9: JMN2772I-I このシステムでは、'APPLY SAVED-AREA'は注釈扱いです。

詳細な説明

APPLY SAVED-AREA句は、指定したデータ項目の値を、複数の会話にまたがって保証することを指定します。

ただし、データ項目が外部属性を持つ(EXTERNAL句を指定したデータ項目またはそれに従属するデータ項目である)場合は、保証できません。

2.4.533 JMN2907I-S

SUM句は、外部10進項目、英数字項目、数字編集項目、英数字編集項目および外部浮動小数点項目以外には、指定できません。

例題

```
[P2907.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2907.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA            DIVISION.
000009 FILE              SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD          PIC 9(2).
000014 01 .
000015 02 WITM         PIC 9(2) OCCURS 10.
```

```

000016 REPORT          SECTION.
000017 RD REP1 PAGE 66
000018          CONTROL CTLD.
000019 01 TYPE CF CTLD.
000020 02 WSC1          PIC N(4) SUM WITM(2).
000021 PROCEDURE      DIVISION.
000022 END PROGRAM     P2907.

```

P2907.cob 20: JMN2907I-S SUM句は、外部10進項目、英数字項目、数字編集項目、英数字編集項目および外部浮動小数点項目以外には、指定できません。

詳細な説明

SUM句は合計カウンタを設定します。合計カウンタは、コンパイラが生成する演算符号付きの数字データ項目です。

2.4.534 JMN2908I-I

(CONF)レコード長はRECORD CONTAINS句の整数値とみなします。問題があれば原始プログラムを修正してください。

例題

```

[C2908.cob]
000001 @OPTIONS CONF(74)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C2908.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT AFILE ASSIGN DD1.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010     FD AFILE
000011         RECORD CONTAINS 80.
000012     01 RECA.
000013         02 ED001 PIC X(40).
000014     01 RECB.
000015         02 ED002 PIC X(40).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 END PROGRAM C2908.

```

C2908.cob 10: JMN2908I-I (CONF)レコード長はRECORD CONTAINS句の整数値とみなします。

詳細な説明

翻訳オプションCONFは、'85 ANS COBOLの規格とそれ以前の旧規格の間の非互換を指摘させる(CONF)か、させない(NOCONF)かを指定します。翻訳オプションCONF(68)および翻訳オプションCONF(74)は、翻訳オプションLANGLVL(85)を指定した場合にだけ意味を持ちます。

翻訳オプションCONFは、85規格以前の規格に従って作成したプログラムを、'85 ANS COBOLの規格に従うように変更する場合に有効です。

2.4.535 JMN2909I-I

(CONF)略記組合せ比較条件で、語NOTの直後に比較演算子があります。語NOTは、論理演算子ではなく、比較演算子の一部とみなします。問題があれば原始プログラムを修正してください。

詳細な説明

翻訳オプションCONFは、'85 ANS COBOLの規格とそれ以前の旧規格の間の非互換を指摘させる(CONF)か、させない(NOCONF)かを指定します。翻訳オプションCONF(68)および翻訳オプションCONF(74)は、翻訳オプションLANGLVL(85)を指定した場合にだけ意味を持ちます。

翻訳オプションCONFは、85規格以前の規格に従って作成したプログラムを、'85 ANS COBOLの規格に従うように変更する場合に有効です。

2.4.536 JMN2911I-S

比較演算子が記述されていません。または誤っています。

例題

```
[P2911.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2911.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IXFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     RECORD KEY   IS WRKY1.
000009 DATA           DIVISION.
000010 FILE            SECTION.
000011 FD IXFILE1.
000012 01 IXF1REC.
000013 02 WRKY1      PIC X(2).
000014 02            PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WDAT      PIC X(2).
000017 PROCEDURE    DIVISION.
000018     START IXFILE1
000019     KEY WRKY1 WDAT
000020 END PROGRAM    P2911.
```

P2911.cob 19: JMN2911I-S 比較演算子が記述されていません。または誤っています。

詳細な説明

START文のKEY指定には、以下の比較演算子のいずれかを書かなければなりません。

- IS EQUAL TO (IS =)
- IS GREATER THAN (IS >)
- IS NOT LESS THAN (IS NOT <)
- IS GREATER THAN OR EQUAL TO (IS >=)

2.4.537 JMN2912I-S

START文の@1@指定は、インデックスつき編成ファイル以外に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : USING.

例題

```
[P2912.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2912.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IXFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     RECORD KEY   IS WRKY1.
000009 DATA           DIVISION.
000010 FILE            SECTION.
000011 FD IXFILE1.
000012 01 IXF1REC.
```

```

000013 02 WRKY1 PIC X(2).
000014 02 PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WDAT PIC X(2).
000017 PROCEDURE DIVISION.
000018 START IXFILE1
000019 USING KEY EQUAL WRKY1
000020 END PROGRAM P2912.

```

P2912.cob 19: JMN2912I-S START文のUSING指定は、インデックスつき編成ファイル以外に指定できません。

詳細な説明

インデックスつき編成ファイル(ASSIGN句のファイル識別名がI-名前)は、OSIV系システムの固有機能です。

2.4.538 JMN2916I-S

RELATIVE KEY句の指定されているファイルが外部属性を持つ場合、RELATIVE KEY句に指定されたデータ名は外部属性を持つ項目でなければなりません。

例題

```

[P2916.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2916.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT RLF1E1 ASSIGN TO SYS001
000007 ORGANIZATION IS RELATIVE
000008 RELATIVE KEY IS WRKY.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD RLF1E1 IS EXTERNAL.
000013 01 RLF1REC.
000014 02 PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WRKY PIC 9(8) BINARY.
000017 PROCEDURE DIVISION.
000018 END PROGRAM P2916.

```

P2916.cob 8: JMN2916I-S RELATIVE KEY句の指定されているファイルが外部属性を持つ場合、RELATIVE KEY句に指定されたデータ名は外部属性を持つ項目でなければなりません。

詳細な説明

外部属性を持つファイル(ファイル記述項にEXTERNAL句を指定したファイル)には、実行単位中で1つの記憶領域が割り当てられ、実行単位中のすべてのプログラムから参照することができます。

相対ファイル中のレコードは、RELATIVE KEYに指定した項目(相対キー)の比較によって処理されるので、ファイルが外部属性を持つならば、そのファイルに関連付けた相対キー項目も外部属性(EXTERNAL句)を持たなければなりません。

2.4.539 JMN2920I-S

OR指定のCHARACTER TYPE句は基本項目に指定できません。

例題

```

[P2920.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2920.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.

```

```

000005 SPECIAL-NAMES.
000006     PRINTING MODE PM1 FOR MOCS
000007     PRINTING MODE PM2 FOR SOCS.
000008 DATA          DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 WELM        PIC N(10)
000011                CHARACTER TYPE  PM1 OR
000012                                PM2.
000013 PROCEDURE      DIVISION.
000014 END PROGRAM     P2920.

```

P2920.cob 11: JMN2920I-S OR指定のCHARACTER TYPE句は基本項目に指定できません。

詳細な説明

OR指定付きのCHARACTER TYPE句は、集団項目にだけ指定することができます。

2.4.540 JMN2921I-S

CHARACTER TYPE句に指定された印字モード名 '@1@' が未定義または多重定義です。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった利用者語。

例題

```

[P2921.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2921.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     PRINTING MODE PM1 FOR MOCS
000007     PRINTING MODE PM1 FOR SOCS.
000008 DATA          DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 WELM        PIC N(10)
000011                CHARACTER TYPE  PM1.
000012 PROCEDURE      DIVISION.
000013 END PROGRAM     P2921.

```

P2921.cob 11: JMN2921I-S CHARACTER TYPE句に指定された印字モード名 'PM1' が未定義または多重定義です。

詳細な説明

印字モード名は、特殊名段落のPRINTING MODE句で定義しなければなりません。

2.4.541 JMN2922I-S

FOR ALL指定の印字モード名は、集団項目、英字、英数字、英数字編集、外部10進、外部ブール、外部浮動、数字編集、日本語および日本語編集項目にだけ指定できます。

例題

```

[P2922.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2922.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     PRINTING MODE PM1 FOR ALL.
000007 DATA          DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.

```

```
000009 01 NONDISP      PIC S9(9) BINARY
000010                  CHARACTER TYPE PM1.
000011 PROCEDURE       DIVISION.
000012 END PROGRAM      P2922.
```

P2922.cob 10: JMN2922I-S FOR ALL指定の印字モード名は、**集団項目**、**英字**、**英数字**、**英数字編集**、**外部10進**、**外部ブール**、**外部浮動**、**数字編集**、**日本語および日本語編集項目**にだけ指定できます。

2.4.542 JMN2923I-S

FOR MOCS指定の印字モード名は、集団項目**、**日本語および日本語編集項目**にだけ指定できます。**

例題

```
[P2923.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2923.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION     SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     PRINTING MODE PM1 FOR MOCS.
000007 DATA             DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE  SECTION.
000009 01 NONDISP      PIC S9(9) BINARY
000010                  CHARACTER TYPE PM1.
000011 PROCEDURE       DIVISION.
000012 END PROGRAM      P2923.
```

P2923.cob 10: JMN2923I-S FOR MOCS指定の印字モード名は、**集団項目**、**日本語および日本語編集項目**にだけ指定できます。

2.4.543 JMN2924I-S

FOR SOCS指定の印字モード名は、集団項目**、**英字**、**英数字**、**英数字編集**、**外部10進**、**外部ブール**、**外部浮動および数字編集項目**にだけ指定できます。**

例題

```
[P2924.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2924.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION     SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     PRINTING MODE PM1 FOR SOCS.
000007 DATA             DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE  SECTION.
000009 01 WDX           PIC N(10)
000010                  CHARACTER TYPE PM1.
000011 PROCEDURE       DIVISION.
000012 END PROGRAM      P2924.
```

P2924.cob 10: JMN2924I-S FOR SOCS指定の印字モード名は、**集団項目**、**英字**、**英数字**、**英数字編集**、**外部10進**、**外部ブール**、**外部浮動および数字編集項目**にだけ指定できます。

2.4.544 JMN2925I-S

FOR ALL指定の印字モード名は、OR指定のあるCHARACTER TYPE句**に指定できません。**

例題

```
[P2925.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000002 PROGRAM-ID.      P2925.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     PRINTING MODE PM1 FOR MOCS
000007     PRINTING MODE PM2 FOR ALL.
000008 DATA           DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 WGRP         CHARACTER TYPE PM1 OR
000011                               PM2.
000012 02 WDX          PIC X(10).
000013 02 WDN          PIC N(10).
000014 PROCEDURE       DIVISION.
000015 END PROGRAM       P2925.

```

P2925.cob 10: JMN2925I-S FOR ALL指定の印字モード名は、OR指定のあるCHARACTER TYPE句に指定できません。

2.4.545 JMN2926I-S

複数の印字モード名を指定する場合、すべての印字モード名のFOR指定は同一でなければなりません。

例題

```

[P2926.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2926.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     PRINTING MODE PM1 FOR MOCS
000007     PRINTING MODE PM2 FOR SOCS.
000008 DATA           DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 WGRP         CHARACTER TYPE PM1 PM2
000011                               DEPENDING ON WMODE.
000012 02 WDX          PIC X(10).
000013 02 WDN          PIC N(10).
000014 01 WMODE       PIC S9(4).
000015 PROCEDURE       DIVISION.
000016 END PROGRAM       P2926.

```

P2926.cob 10: JMN2926I-S 複数の印字モード名を指定する場合、すべての印字モード名のFOR指定は同一でなければなりません。

詳細な説明

CHARACTER TYPE句で複数の印字モード名を指定する場合、すべての印字モード名のFOR指定(環境部の特殊名段落のPRINTING MODE句のFOR MOCS/FOR SOCS/FOR ALLの指定)は同一でなければなりません。

2.4.546 JMN2927I-S

OR指定の後の印字モード名のFOR指定は、OR指定の前の印字モード名のFOR指定と異ならなければなりません。

例題

```

[P2927.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2927.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     PRINTING MODE PM1 FOR MOCS

```

```

000007 PRINTING MODE PM2 FOR MOCS.
000008 DATA DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 WGRP CHARACTER TYPE PM1 OR
000011 PM2.
000012 02 WDX PIC X(10).
000013 02 WDN PIC N(10).
000014 01 WMODE PIC S9(4).
000015 PROCEDURE DIVISION.
000016 END PROGRAM P2927.

```

P2927.cob 10: JMN2927I-S OR指定の後の印字モード名のFOR指定は、OR指定の前の印字モード名のFOR指定と異なっていません。

詳細な説明

CHARACTER TYPE句で複数の印字モード名を指定する場合、すべての印字モード名のFOR指定(環境部の特殊名段落のPRINTING MODE句のFOR MOCS/FOR SOCS/FOR ALLの指定)は同一でなければなりません。

2.4.547 JMN2928I-S

印字モード名指定のCHARACTER TYPE句が指定された項目を含むレコード記述中に、MODE-1、MODE-2、MODE-3または呼び名指定のCHARACTER TYPE句があってはなりません。

例題

```

[P2928.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2928.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006 PRINTING MODE PM1 FOR MOCS
000007 PRINTING MODE PM2 FOR SOCS.
000008 DATA DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 WGRP CHARACTER TYPE PM1 OR
000011 PM2.
000012 02 WDX PIC X(10).
000013 02 WDN PIC N(10).
000014 CHARACTER TYPE MODE-1.
000015 01 WMODE PIC S9(4).
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017 END PROGRAM P2928.

```

P2928.cob 10: JMN2928I-S 印字モード名指定のCHARACTER TYPE句が指定された項目を含むレコード記述中に、MODE-1、MODE-2、MODE-3または呼び名指定のCHARACTER TYPE句があってはなりません。

2.4.548 JMN2930I-S

[Win32]

@1@句の@2@指定のデータ名は、作業場所節、ファイル節、定数節または連絡節に定義された整数項目でなければなりません。

[Winx64]

@1@句の@2@指定のデータ名は、作業場所節、局所記憶節、ファイル節、定数節または連絡節に定義された整数項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : CHARACTER TYPE

@2@ : DEPENDING ON

例題

```
[P2930.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2930.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     PRINTING MODE PM1 FOR MOCS
000007     PRINTING MODE PM2 FOR MOCS.
000008 DATA           DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 WGRP        CHARACTER TYPE PM1 PM2
000011                                DEPENDING ON WMODE.
000012 02 WDX         PIC X(10).
000013 02 WDN         PIC N(10).
000014 01 WMODE       PIC X(4).
000015 PROCEDURE      DIVISION.
000016 END PROGRAM     P2930.
```

- **[Win32]**
P2930.cob 11: JMN2930I-S CHARACTER TYPE句のDEPENDING ON指定のデータ名は、作業場所節、ファイル節、定数節または連絡節に定義された整数項目でなければなりません。
- **[Winx64]**
P2930.cob 11: JMN2930I-S CHARACTER TYPE句のDEPENDING ON指定のデータ名は、作業場所節、局所記憶節、ファイル節、定数節または連絡節に定義された整数項目でなければなりません。

詳細な説明

CHARACTER TYPE句に、複数の印字モード名とDEPENDING ON指定を指定した場合、DEPENDING ON指定に指定したデータ項目の値をnとすると、印字モード名の並びのうちの第n番目の印字モード名が有効になります。DEPENDING ON指定のデータ項目は、領域を持つ整数項目でなければなりません。

2.4.549 JMN2931I-S

DEPENDING ON指定のCHARACTER TYPE句が外部属性を持つレコード中に指定されている場合、DEPENDING ON指定のデータ名も同じデータ部中の外部属性を持つ項目でなければなりません。

例題

```
[P2931.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2931.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     PRINTING MODE PM1 FOR MOCS
000007     PRINTING MODE PM2 FOR MOCS.
000008 DATA           DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 WGRP        EXTERNAL
000011                CHARACTER TYPE PM1 PM2
000012                DEPENDING ON WMODE.
000013 02 WDX         PIC X(10).
000014 02 WDN         PIC N(10).
000015 01 WMODE       PIC S9(4).
000016 PROCEDURE      DIVISION.
000017 END PROGRAM     P2931.
```

P2931.cob 12: JMN2931I-S DEPENDING ON指定のCHARACTER TYPE句が外部属性を持つレコード中に指定されている場合、DEPENDING ON指定のデータ名も同じデータ部中の外部属性を持つ項目でなければなりません。

詳細な説明

外部属性を持つレコード(EXTERNAL句を指定した項目またはそれに従属する項目)は、実行単位中で1つの記憶領域が割り当てられ、実行単位中のすべてのプログラムから参照することができます。

外部データレコードにDEPENDENT ON指定付きのCHARACTER TYPE句が指定された場合、この外部データレコードに適用される印字モードがDEPENDENT ON指定に指定したデータ項目の値によって決定されるので、DEPENDENT ON指定のデータ項目も外部属性を持たなければなりません。

2.4.550 JMN2932I-S

DEPENDENT ON指定のCHARACTER TYPE句が大域属性を持つレコード中に指定されている場合、DEPENDENT ON指定のデータ名も同じデータ部中の大域属性を持つ項目でなければなりません。

例題

```
[P2932.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2932.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     PRINTING MODE PM1 FOR MOCS
000007     PRINTING MODE PM2 FOR MOCS.
000008 DATA           DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 WGRP         GLOBAL
000011             CHARACTER TYPE PM1 PM2
000012             DEPENDENT ON WMODE.
000013 02 WDX          PIC X(10).
000014 02 WDN          PIC N(10).
000015 01 WMODE        PIC S9(4).
000016 PROCEDURE       DIVISION.
000017 END PROGRAM      P2932.
```

P2932.cob 12: JMN2932I-S DEPENDENT ON指定のCHARACTER TYPE句が大域属性を持つレコード中に指定されている場合、DEPENDENT ON指定のデータ名も同じデータ部中の大域属性を持つ項目でなければなりません。

詳細な説明

大域属性を持つデータ(GLOBAL句を指定した項目またはそれに従属する項目)は、それを定義したプログラムおよびそのプログラムに直接または間接に含まれるプログラムで参照することができます。

大域属性を持つデータにDEPENDENT ON指定付きのCHARACTER TYPE句が指定された場合、このデータに適用される印字モードがDEPENDENT ON指定に指定したデータ項目の値によって決定されるので、DEPENDENT ON指定のデータ項目も大域属性を持たなければなりません。

2.4.551 JMN2933I-S

CURSOR句のデータ名は作業場所節に定義された長さ4または6の項目で、その用途は表示用でなければなりません。

例題

```
[P2933.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2933.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     CURSOR IS CRS1.
000007 DATA           DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 CRS1          PIC 9(8) USAGE BINARY.
```

```
000010 PROCEDURE      DIVISION.
000011 END PROGRAM    P2933.
```

P2933.cob 6: JMN2933I-S CURSOR句のデータ名は作業場所節に定義された長さ4または6の項目で、その用途は表示用でなければなりません。

詳細な説明

CURSOR句は、スクリーン操作機能のACCEPT文で、画面上のカーソル位置を受け渡すためのデータ項目を指定します。

2.4.552 JMN2934I-S

CRT STATUS句のデータ名は作業場所節に定義された長さ3の項目でなければなりません。

例題

```
[P2934.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     P2934.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 CONFIGURATION  SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006          CRT STATUS IS CRTST1.
000007 DATA          DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 CRTST1     PIC X(8).
000010 PROCEDURE      DIVISION.
000011 END PROGRAM    P2934.
```

P2934.cob 6: JMN2934I-S CRT STATUS句のデータ名は作業場所節に定義された長さ3の項目でなければなりません。

詳細な説明

CRT STATUS句は、スクリーン操作機能のACCEPT文で画面入力状態(ACCEPT文の実行結果を示す3文字の概念上の領域)を受け取るためのデータ項目を指定します。

2.4.553 JMN2935I-W

FULL句の指定された画面記述項にJUSTIFIED句は指定できません。JUSTIFIED句を無効にします。

例題

```
[P2935.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     P2935.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 DD          PIC X(2).
000007 SCREEN        SECTION.
000008 01 A           FULL.
000009 02 B          PIC X(8) USING DD
000010                JUSTIFIED.
000011 PROCEDURE      DIVISION.
000012 END PROGRAM    P2935.
```

P2935.cob 10: JMN2935I-W FULL句の指定された画面記述項にJUSTIFIED句は指定できません。JUSTIFIED句を無効にします。

詳細な説明

ACCEPT文の実行を行うとき、FULL句が有効な画面項目については、領域全体に値が入力されるまで、データ入力を促します(入力キーの押下は無視されます)。JUSTIFIED句による桁よせは行えません。

2.4.554 JMN2936I-W

@1@句は@2@指定のPICTURE句の記述された項目に指定できません。@1@句は無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : AUTO, FULLまたはREQUIRED.
@2@ : FROM.

例題

```
[P2936.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2936.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WSOU         PIC X(10).
000007 SCREEN          SECTION.
000008 01 SC1          PIC X(10) FROM WSOU
000009                                 AUTO.
000010 PROCEDURE       DIVISION.
000011 END PROGRAM     P2936.
```

P2936.cob 9: JMN2936I-W AUTO句はFROM指定のPICTURE句の記述された項目に指定できません。AUTO句は無効となります。

詳細な説明

画面節のFROM指定付きのPICTURE句を持つ画面項目は出力項目になります。以下の句は画面項目の入力時の属性を定義するための句であるため、出力項目には指定できません。

- AUTO
- FULL
- REQUIRED

2.4.555 JMN2937I-S

@1@句は@2@指定のPICTURE句の記述された項目に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : PROMPT, SECUREまたはZERO-FILL.
@2@ : FROMまたはUSING.

例題

```
[P2937.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2937.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WSOU         PIC X(2).
000007 SCREEN          SECTION.
000008 01 SC1          PIC X(8) USING WSOU SECURE.
000009 PROCEDURE       DIVISION.
000010 END PROGRAM     P2937.
```

P2937.cob 8: JMN2937I-S SECURE句はUSING指定のPICTURE句の記述された項目に指定できません。

詳細な説明

基本画面項目(画面上のそれぞれの独立した領域)のPICTURE句(PICTUREとPICは同義語です)の指定と、入出力属性の関係は以下のとおりです。

- TO指定のみ
入力項目
- FROM指定のみ
出力項目。データをデータ項目から画面項目へ転記し、画面上に表示する場合に使用します。
- USING指定あるいはFROM/TO指定両方
更新項目。データをデータ項目から画面項目へ転記し、画面上で更新して再びデータ項目に格納する場合に使用します。

どの句を、どの入出力属性の画面項目に指定できるかは、句の機能によって異なります。

2.4.556 JMN2938I-S

画面節の基本項目にはBELL句, BLANK句, COLUMN句, LINE句, PICTURE句またはVALUE句のいずれかが指定されていなければなりません。

例題

```
[P2938.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2938.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WSOU         PIC X(2).
000007 SCREEN          SECTION.
000008 01 SC1          AUTO.
000009 PROCEDURE       DIVISION.
000010 END PROGRAM     P2938.
```

P2938.cob 8: JMN2938I-S 画面節の基本項目にはBELL句, BLANK句, COLUMN句, LINE句, PICTURE句またはVALUE句のいずれかが指定されていなければなりません。

詳細な説明

画面節の基本項目は、画面上のそれぞれの独立した領域に相当します。基本項目には、BELL句, BLANK LINE句, COLUMN NUMBER句, LINE NUMBER句, PICTURE句またはVALUE句のいずれかが指定されていなければなりません。

2.4.557 JMN2939I-S

画面節の集団項目には@1@句は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : BELL, BLANK, COLUMN NUMBER, ERASE, LINE NUMBER, SIZEまたはVALUE.

例題

```
[P2939.cob]
000001 PROGRAM-ID.      P2939.
000002 ENVIRONMENT     DIVISION.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WSOU         PIC X(2).
000006 SCREEN          SECTION.
000007 01 SC1 VALUE SPACE.
000008 02 SC1E         PIC X(8) FROM WSOU.
000009 PROCEDURE       DIVISION.
000010 END PROGRAM     P2939.
```

P2939.cob 7: JMN2939I-S 画面節の集団項目にはVALUE句は指定できません。

詳細な説明

基本項目にしか指定できない句が、集団項目に指定されています。

2.4.558 JMN2940I-S

@1@に記述された'@2@'は一意名または定数でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : PICTURE句のFROM指定またはPROMPT句
@2@ : エラーの原因となった語。

例題

```
[P2940.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2940.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WTBL.
000007 02 TBL-EL OCCURS 10 INDEXED BY IDX.
000008 03 TBL-EL1 PIC 9(1).
000009 03 TBL-EL2 PIC 9(1).
000010 SCREEN SECTION.
000011 01 SC1 PIC 9(2) FROM IDX.
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013 END PROGRAM P2940.
```

P2940.cob 11: JMN2940I-S PICTURE句のFROM指定に記述された'IDX'は一意名または定数でなければなりません。

2.4.559 JMN2941I-S

@1@に記述された'@2@'は、一意名でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : PICTURE句のTO指定、PICTURE句のUSING指定またはCONTROL句。
@2@ : エラーの原因となった語。

例題

```
[P2941.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2941.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 SCREEN SECTION.
000006 01 SC1 PIC 9 USING "B".
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 END PROGRAM P2941.
```

P2941.cob 6: JMN2941I-S PICTURE句のUSING指定に記述された"B"は、一意名でなければなりません。

2.4.560 JMN2942I-S

@1@に記述された'@2@'は、一意名または整数でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : COLUMN NUMBER句, LINE NUMBER句またはSIZE句.
@2@ : エラーの原因となった語.

例題

```
[P2942.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2942.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WSOU PIC X(1).
000007 SCREEN SECTION.
000008 01 SC1 PIC X(1) FROM WSOU
000009 LINE NUMBER "1".
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 END PROGRAM P2942.
```

P2942.cob 9: JMN2942I-S LINE NUMBER句に記述された"1"は、一意名または整数でなければなりません。

2.4.561 JMN2943I-S

許されない語 '@1@' が現れました。 次の認識できる句, 段落, 節または部まで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった語.

例題

```
[P2943.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2943.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WSOU1 PIC X(1).
000007 01 WSOU2 PIC X(1).
000008 SCREEN SECTION.
000009 01 SC1 PIC X(1) FROM WSOU1 WSOU2.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 END PROGRAM P2943.
```

P2943.cob 9: JMN2943I-S 許されない語 'WSOU2' が現れました。 次の認識できる句, 段落, 節または部まで無効になります。

詳細な説明

以下の場合に, この診断メッセージが出力されます。

- データ部の画面節の解析中に不当な語を検出した場合
- 手続き部見出しの解析中に不当な語を検出した場合

構文を確認して, 誤りを修正してください。

2.4.562 JMN2944I-S

添字付けまたは部分参照の右括弧が指定されていません。 次の認識できる句, 段落, 節または部まで無効になります。

例題

```
[P2944.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2944.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 TBL.
000007 02 TBL1 OCCURS 10 INDEXED BY IX.
000008 03 T-NO          PIC 9(1).
000009 SCREEN           SECTION.
000010 01 SC1           PIC 9(1) FROM T-NO(IX.
000011 PROCEDURE        DIVISION.
000012 END PROGRAM      P2944.
```

P2944.cob 11: JMN2944I-S 添字付けまたは部分参照の右括弧が指定されていません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

2.4.563 JMN2945I-S

指標名に続く+または-の直後は整数でなければなりません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

例題

```
[P2945.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2945.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 TBL.
000007 02 TBL1 OCCURS 10 INDEXED BY IX.
000008 03 T-NO          PIC 9(1).
000009 SCREEN           SECTION.
000010 01 SC1           PIC 9(1) FROM T-NO(IX + 1.2).
000011 PROCEDURE        DIVISION.
000012 END PROGRAM      P2945.
```

P2945.cob 10: JMN2945I-S 指標名に続く+または-の直後は整数でなければなりません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

詳細な説明

演算子が+のときは、演算子の後ろに指定した整数の値を、指標名の値(出現番号に対応する値)に加えた値が添字の値になります。演算子が-のときは、演算子の後ろに指定した整数の値を、指標名の値から引いた値が添字の値になります。

2.4.564 JMN2946I-S

添字は算術式、指標名[+/-整数]またはALLでなければなりません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

例題

```
[P2946.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2946.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 TBL.
000007 02 TBL1 OCCURS 10 INDEXED BY IX.
```



```

000008 03 T-NO PIC 9(1).
000009 SCREEN SECTION.
000010 01 SC1 PIC 9(1) FROM T-NO("1").
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012 END PROGRAM P2946.

```

P2946.cob 10: JMN2946I-S 添字は算術式、指標名[+/-整数]またはALLでなければなりません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

詳細な説明

添字は、表(OCCURS句を指定したデータ記述項)の中の要素の出現位置を表す値であり、表要素を一意に参照するために使用します。

添字にALLを書くと、その次元のすべての表要素を、出現順に従って左から右へ指定したかのように扱われます。

2.4.565 JMN2947I-S

名標'@1@'は一意ではありません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった利用者語。

例題

```

[P2947.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2947.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WSOU1 PIC 9(1).
000007 01 WSOU1 PIC 9(1).
000008 SCREEN SECTION.
000009 01 SC1 PIC 9(1) FROM WSOU1.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 END PROGRAM P2947.

```

P2947.cob 9: JMN2947I-S 名標'WSOU1'は一意ではありません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

2.4.566 JMN2948I-E

ファイル識別名の構成文字に誤りがあります。またはファイル識別名の名前が8文字を超えています。ファイル識別名の名前を有効とします。ただし、8文字を超えている場合は、先頭8文字とします。

例題

```

[P2948.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2948.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT SQFILE1 ASSIGN TO DA_SYS001
000007 ORGANIZATION IS SEQUENTIAL
000008 FILE STATUS IS WFS1.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02 PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.

```

```
000016 01 WFS1      PIC X(2).
000017 PROCEDURE   DIVISION.
000018 END PROGRAM  P2948.
```

P2948.cob 6: JMN2948I-E ファイル識別名の構成文字に誤りがあります。またはファイル識別名の名前が8文字を超えています。ファイル識別名の名前を有効とします。ただし、8文字を超えている場合は、先頭8文字とします。

詳細な説明

ファイル識別名は、記憶媒体上のファイルを識別するための名前です。ファイルを使う場合、環境部のファイル管理記述項で、ファイル識別名をファイル名に関係付けなければなりません。ファイル識別名は、英字と数字だけから構成される、8文字以下の文字列でなければなりません。名前の最初の文字は、英字でなければなりません。

2.4.567 JMN2949I-S

ファイル識別名の記述に誤りがあります。

例題

```
[P2949. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2949.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT   SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT AFILE ASSIGN   ファイル名.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE           SECTION.
000009 FD AFILE.
000010 01 AREC        PIC X(80).
000011 PROCEDURE     DIVISION.
000012 END PROGRAM    P2949.
```

C2949.cob 6: JMN2949I-S ファイル識別名の記述に誤りがあります。

詳細な説明

ファイル識別名は、記憶媒体上のファイルを識別するための名前です。ファイルを使う場合、環境部のファイル管理記述項で、ファイル識別名をファイル名に関係付けなければなりません。ファイル識別名は、英字と数字だけから構成される、8文字以下の文字列でなければなりません。名前の最初の文字は、英字でなければなりません。

2.4.568 JMN2950I-S

[Win32]

@1@に記述された一意名'@2@'は、ファイル節、作業場所節、連絡節、基底場所節または定数節で定義されたものでなければなりません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

[Winx64]

@1@に記述された一意名'@2@'は、ファイル節、作業場所節、局所記憶節、連絡節、基底場所節または定数節で定義されたものでなければなりません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : PICTURE句のFROM指定、PROMPT句、CONTROL句、SIZE句、LINE NUMBER句またはCOLUMN NUMBER句。

@2@ : エラーの原因となった語

例題

```
[P2950. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2950.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT   SECTION.
```

```

000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT RPT-FILE ASSIGN RPTFILE.
000007 I-0-CONTROL.
000008 DATA          DIVISION.
000009 FILE           SECTION.
000010 FD RPT-FILE
000011     REPORT IS RPT-1.
000012 REPORT SECTION.
000013 RD RPT-1
000014     PAGE LIMITS ARE 66 LINES.
000015 01 DE01 TYPE IS DE.
000016 02     LINE PLUS 1.
000017 03 COLUMN    1
000018             PIC X(80) VALUE ALL "----+----".
000019 SCREEN          SECTION.
000020 01 WSC1         PIC X(80) FROM DE01.
000021 PROCEDURE      DIVISION.
000022 END PROGRAM    P2950.

```

• **[Win32]**

P2950.cob 20: JMN2950I-S PICTURE句のFROM指定に記述された一意名'DE01'は、ファイル節、作業場所節、連絡節、基底場所節または定数節で定義されたものでなければなりません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

• **[Winx64]**

P2950.cob 20: JMN2950I-S PICTURE句のFROM指定に記述された一意名'DE01'は、ファイル節、作業場所節、局所記憶節、連絡節、基底場所節または定数節で定義されたものでなければなりません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

2.4.569 JMN2951I-S

[Win32]

@1@に記述された一意名'@2@'は、ファイル節、作業場所節、連絡節または基底場所節で定義されたものでなければなりません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

[Winx64]

@1@に記述された一意名'@2@'は、ファイル節、作業場所節、局所記憶節、連絡節または基底場所節で定義されたものでなければなりません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : PICTURE句のTO指定またはPICTURE句のUSING指定.

@2@ : エラーの原因となった語.

例題

```

[P2951.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2951.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 CONSTANT        SECTION.
000006 01 CONST        PIC 9(2) VALUE 12.
000007 SCREEN SECTION.
000008 01 SC1          PIC 9(2) USING CONST.
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010 END PROGRAM    P2951.

```

• **[Win32]**

P2951.cob 8: JMN2951I-S PICTURE句のUSING指定に記述された一意名'CONST'は、ファイル節、作業場所節、連絡節または基底場所節で定義されたものでなければなりません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

- [Winx64]

P2951.cob 8: JMN2951I-S PICTURE句のUSING指定に記述された一意名'CONST'は、ファイル節、作業場所節、局所記憶節、連絡節または基底場所節で定義されたものでなければなりません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

2.4.570 JMN2952I-S

左括弧に対応する右括弧が指定されていません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

例題

```
[P2952.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2952.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WBUF         PIC X(20).
000007 01 WOFST       PIC 9(2).
000008 SCREEN SECTION.
000009 01 WSC1        PIC X(2) FROM WBUF((WOFST + 1 : 1) TO WBUF.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 END PROGRAM     P2952.
```

P2952.cob 9: JMN2952I-S 左括弧に対応する右括弧が指定されていません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

2.4.571 JMN2953I-S

@1@句は行順編成のファイルに指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : LINAGE.

例題

```
[P2953.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2953.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS LINE SEQUENTIAL.
000008 DATA           DIVISION.
000009 FILE           SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     LINAGE 66.
000012 01 SQF1REC.
000013     02                PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WFS1             PIC X(2).
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017 END PROGRAM     P2953.
```

P2953.cob 11: JMN2953I-S LINAGE句は行順編成のファイルに指定できません。

詳細な説明

LINAGE句は、FORMAT句なしの印刷ファイルにだけ指定することができます。

2.4.572 JMN2954I-S

[Win32]

ファイル名 '@1@' の ASSIGN 句のデータ名は、項類が英数字の256文字までのデータ項目でなければなりません。かつ、作業場所節または連絡節に定義されていなければなりません。

[Winx64]

ファイル名 '@1@' の ASSIGN 句のデータ名は、項類が英数字の256文字までのデータ項目でなければなりません。かつ、作業場所節、局所記憶節または連絡節に定義されていなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったファイル名。

例題

```
[P2954.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2954.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO FILENAME
000007     ORGANIZATION  IS SEQUENTIAL.
000008 DATA             DIVISION.
000009 FILE              SECTION.
000010 FD SQFILE1.
000011 01 SQFIREC.
000012 02                PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 FILENAME      PIC N(100).
000015 PROCEDURE        DIVISION.
000016 END PROGRAM      P2954.
```

- [Win32]

P2954.cob 10: JMN2954I-S ファイル名 'SQFILE1' の ASSIGN 句のデータ名は、項類が英数字の256文字までのデータ項目でなければなりません。かつ、作業場所節または連絡節に定義されていなければなりません。

- [Winx64]

P2954.cob 10: JMN2954I-S ファイル名 'SQFILE1' の ASSIGN 句のデータ名は、項類が英数字の256文字までのデータ項目でなければなりません。かつ、作業場所節、局所記憶節または連絡節に定義されていなければなりません。

詳細な説明

データ名を書いた ASSIGN 句は、SELECT 句に書いたファイル名をデータ名の値が示す物理ファイルに関連付けます。OPEN 文を実行するときに、SELECT 句のファイル名が、ASSIGN 句のデータ名の値が示す記憶媒体上の物理ファイルに関連付けられます。ASSIGN 句に指定したデータ項目には、OPEN 文の実行より前に、物理ファイル名を直接示す値を設定しておかなければなりません。

2.4.573 JMN2955I-S

部分参照子に誤りがあります。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

例題

```
[P2955.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2955.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WBUF           PIC X(20).
000007 SCREEN           SECTION.
```

```

000008 01 SC1          PIC X(10) FROM WBUF ("13":10).
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010 END PROGRAM    P2955.

```

P2955.cob 8: JMN2955I-S 部分参照子に誤りがあります。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

詳細な説明

データ項目や関数値を部分参照したい場合、データ名または関数一意名に部分参照子を付けます。部分参照子は、部分参照の対象となるデータ名または関数一意名の後ろに左括弧を1つ書き、最左端文字位置を示す算術式を記述します。さらにその後ろに:(コロン)を記述し、部分参照する長さを示す算術式を記述して、先の左括弧の対になる右括弧を記述します。コロンの前後には、分離符の空白を書くこともできます。長さを示す算術式は省略することができますが、コロンは省略できません。

2.4.574 JMN2957I-S

@1@文のWITH指定には、C、PASCAL、またはSTDCALLが指定されなければなりません。WITH指定は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : CALLまたはENTRY.

例題

```

[P2957.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2957.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 PNAME        PIC X(8) VALUE "P2957SUB".
000007 LINKAGE         SECTION.
000008 PROCEDURE       DIVISION.
000009     CALL "TC2CLKCB" WITH COBOL LINKAGE
000010         USING PANEM.
000011     EXIT PROGRAM.
000012 END PROGRAM     P2957.

```

P2957.cob 9: JMN2957I-S CALL文のWITH指定には、C、PASCAL、またはSTDCALLが指定されなければなりません。WITH指定は無効になります。

P2957.cob 9: JMN2500I-S 文が現れなければいけない所に、語'COBOL'が現れました。次の文または手続き名まで読み飛ばします。

詳細な説明

WITH指定は、各呼出し規約に従って作成されたプログラムを呼び出すことを指定します。WITH指定を省略指定した場合、COBOLの定めたリンケージの規約を使用します。

2.4.575 JMN2958I-S

手続き部始め見出しのWITH指定には、C、PASCAL、またはSTDCALLが指定されなければなりません。WITH指定は無効になります。

例題

```

[P2958.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2958.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 PNAME1       PIC X(8) VALUE "P2958SUB".
000007 LINKAGE         SECTION.

```

```

000008 01 PNAME2      PIC X(8).
000009 PROCEDURE      DIVISION
000010                  WITH COBOL LINKAGE
000011                  USING PNAME2.
000012      DISPLAY PNAME1 " CALLED BY " PNAME2.
000013 END PROGRAM     P2958.

```

詳細な説明

WITH指定は、呼ばれるプログラムの呼出し規約を指定します。WITH指定を省略指定した場合、COBOLの定めたリンケージの規約を使用します。

2.4.576 JMN2959I-S

ENTRY文のWITH指定は、ENTRY文を含むプログラムの手続き部見出しのWITH指定と等しくなければなりません。書かれたとおりに受け入れます。

例題

```

[P2959.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2959.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 LINKAGE          SECTION.
000006 01 LK1          PIC X(2).
000007 PROCEDURE       DIVISION
000008                  WITH C LINKAGE
000009                  USING LK1.
000010      EXIT PROGRAM.
000011*
000012      ENTRY "P2959ENT"
000013                  WITH STDCALL.
000014 END PROGRAM      P2959.

```

P2959.cob 13: JMN2959I-S ENTRY文のWITH指定は、ENTRY文を含むプログラムの手続き部見出しのWITH指定と等しくなければなりません。書かれたとおりに受け入れます。

詳細な説明

同一翻訳単位内で、最外部プログラムの手続き部の見出しとENTRY文のWITH指定で指定する呼出し規約が異なってはなりません。

2.4.577 JMN2960I-S

@1@文のAT指定とLINE指定またはCOLUMN指定を同時に記述することはできません。@2@指定は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : ACCEPTまたはDISPLAY.
@2@ : AT, LINEまたはCOLUMN.

例題

```

[P2960.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2960.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 PNAME        PIC X(8) VALUE "P2960".
000007 PROCEDURE       DIVISION.

```

```

000008 DISPLAY PNAME AT 1010
000009 AT LINE NUMBER 12.
000010 EXIT PROGRAM.
000011 END PROGRAM P2960.

```

P2960.cob 9: JMN2960I-S DISPLAY文のAT指定とLINE指定またはCOLUMN指定を同時に記述することはできません。LINE指定は無効になります。

詳細な説明

ATでは、物理画面上の位置を指定します。LINE NUMBER句とCOLUMN NUMBER句でそれぞれ行・列を指定する書き方と、行と列を表す4桁または6桁の数字で指定する書き方の2つの書き方がありますが、これらを両方同時に書くことはできません。

2.4.578 JMN2961I-S

@1@文のWITH指定に@2@は複数指定することはできません。WITH指定は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : ACCEPTまたはDISPLAY.

@2@ : AUTO, BACKGROUND-COLOR, BELL, BLANK, FOREGROUND-COLOR, FULL, GRID, HIGHLIGHT, LEFT-JUSTIFY, LEFTLIGHT, LOWLIGHT, OVERLINE, PROMPT, REQUIRED, REVERSE-VIDEO, RIGHT-JUSTIFY, SECURE, SIZE, SPACE-FILL, TRAILING-SIGN, UNDERLINE, UPDATEまたはZERO-FILL.

例題

```

[P2961.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2961.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 PSTATE PIC X(8).
000007 LINKAGE SECTION.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 ACCEPT PSTATE WITH BACKGROUND-COLOR IS 0
000010 FOREGROUND-COLOR IS 1
000011 BACKGROUND-COLOR IS 3.
000012 END PROGRAM P2961.

```

P2961.cob 11: JMN2961I-S ACCEPT文のWITH指定にBACKGROUND-COLORは複数指定することはできません。WITH指定は無効になります。

2.4.579 JMN2962I-S

@1@文中にWITH指定に、@3@と@2@を同時に指定することはできません。WITH指定は無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : ACCEPTまたはDISPLAY.

@2@ : LOWLIGHT, HIGHLIGHT, LEFT-JUSTIFYまたはRIGHT-JUSTIFY.

@3@ : LOWLIGHT, HIGHLIGHT, LEFT-JUSTIFYまたはRIGHT-JUSTIFY.

例題

```

[P2962.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2962.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 PSTATE PIC X(8).
000007 LINKAGE SECTION.

```



```

000008 PROCEDURE      DIVISION.
000009   ACCEPT  PSTATE AT 1010
000010           WITH AUTO.
000011   DISPLAY PSTATE WITH LOWLIGHT
000012           HIGHLIGHT.
000013 END PROGRAM    P2962.

```

P2962.cob 12: JMN2962I-S DISPLAY文中にWITH指定に、LOWLIGHTとHIGHLIGHTを同時に指定することはできません。WITH指定は無効となります。

詳細な説明

以下のWITH指定は、同時に指定できません。

- HIGHLIGHTとLOWLIGHT
- LEFT-JUSTIFYとRIGHT-JUSTIFY

2.4.580 JMN2963I-S

@1@文のWITH指定に@2@は指定できません。@2@は無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : ACCEPTまたはDISPLAY.

@2@ : BLANK, AUTO, FULL, LEFT-JUSTIFY, PROMPT, REQUIRED, RIGHT-JUSTIFY, SPACE-FILL, TRAILING-SIGN, UPDATEまたはZERO-FILL

例題

```

[P2963.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2963.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 PSTATE       PIC X(8).
000007 LINKAGE         SECTION.
000008 PROCEDURE       DIVISION.
000009   ACCEPT  PSTATE AT 1010
000010           WITH AUTO.
000011   DISPLAY PSTATE AT 1010
000012           WITH AUTO.
000013   EXIT PROGRAM.
000014 END PROGRAM      P2963.

```

P2963.cob 12: JMN2963I-S DISPLAY文のWITH指定にAUTOは指定できません。AUTOは無効となります。

詳細な説明

スクリーン操作機能のACCEPT文には、以下のWITH指定は指定できません。

- BLANK

スクリーン操作機能のDISPLAY文には、以下のWITH指定は指定できません。

- AUTO
- FULL
- LEFT-JUSTIFY
- PROMPT
- RIGHT-JUSTIFY
- REQUIRED

- SECURE
- SPACE-FILL
- TRAILING-SIGN
- UPDATE
- ZERO-FILL

2.4.581 JMN2964I-S

@1@文中のWITH句の@2@指定に誤りがあります。

埋め込みの説明

@1@ : ACCEPTまたはDISPLAY.

@2@ : BACKGROUND-COLOR, FOREGROUND-COLOR, BLANK, PROMPTまたはSIZE.

例題

```
[P2964.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2964.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 PSTATE       PIC X(8).
000007 LINKAGE         SECTION.
000008 PROCEDURE       DIVISION.
000009     DISPLAY PSTATE AT 1010
000010     WITH BACKGROUND-COLOR .
000011     EXIT PROGRAM.
000012 END PROGRAM     P2964.
```

P2964.cob 10: JMN2964I-S DISPLAY文中のWITH句のBACKGROUND-COLOR指定に誤りがあります。

詳細な説明

以下の場合に、この診断メッセージが出力されます。

- BLANKに続く語が、SCREENでもLINEでもない場合
- BACKGROUND-COLOR/FOREGROUND-COLORの指定が整数でない場合
- CONTROLに続く語が、一意名でも定数でもない場合
- PROMPTに続く語が、一意名でも定数でもない場合
- SIZEに続く語が、一意名でも整数でもない場合

構文を確認して、誤りを修正してください。

2.4.582 JMN2965I-S

AT, LINE, COLUMN, MODE, WITH等の指定のある@1@文の@2@指定にはCRTが記述されなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : ACCEPTまたはDISPLAY.

@2@ : FROMまたはUPON.

例題

```
[P2965.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000002 PROGRAM-ID.      P2965.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 PSTATE       PIC X(8).
000007 LINKAGE          SECTION.
000008 PROCEDURE        DIVISION.
000009     DISPLAY PSTATE AT 1010
000010                   UPON CONSOLE.
000011 END PROGRAM      P2965.

```

P2965.cob 10: JMN2965I-S AT, LINE, COLUMN, MODE, WITH等の指定のあるDISPLAY文のUPON指定にはCRTが記述されなければなりません。

2.4.583 JMN2966I-S

画面節のデータ項目の参照はデータ名を用いなければなりません。

例題

```

[P2966.cob]
000001 PROGRAM-ID.      P2966.
000002 ENVIRONMENT     DIVISION.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WD1           PIC X(2) VALUE "AA".
000006 SCREEN            SECTION.
000007 01 HY0.
000008     02 HY01       OCCURS 10 TIMES.
000009     03             PIC X(30) USING WD1.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011     DISPLAY HY01.
000012 END PROGRAM      P2966.

```

P2966.cob 11: JMN2966I-S 画面節のデータ項目の参照はデータ名を用いなければなりません。

詳細な説明

ACCEPT文あるいはDISPLAY文で参照するデータ名に対応する画面データ記述項が、OCCURS句を持つ項目であるか、あるいはOCCURS句を持つ項目に従属する項目である場合に、この診断メッセージが出力されます。

2.4.584 JMN2967I-S

SQLSTATEまたはSQLCODEは、レベル番号01、77の項目またはSQLCAに従属する項目のどちらかしか定義できません。

例題

```

[P2967.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2967.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLCA.
000008     02 SQLSTATE PIC X(5).
000009 01 SQLSTATE PIC X(5).
000010     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012     EXEC SQL
000013     SELECT * FROM s1.t1

```

```
000014 END-EXEC.
000015 END PROGRAM P2967.
```

P2967.cob 13: JMN2967I-S SQLSTATEまたはSQLCODEは、レベル番号01, 77の項目またはSQLCAに従属する項目のどちらかしか定義できません。

詳細な説明

SQLSTATEは、レベル番号01, 77またはレベル番号01のSQLCAに直接従属する5桁の英数字項目として、定義します。

SQLCODEは、レベル番号01, 77またはレベル番号01のSQLCAに直接従属する9桁の符号付き2進整数項目として、定義します。

2.4.585 JMN2968I-S

SQLINFOAに従属するSQLERRDと、SQLCAに従属するSQLERRDを同時に定義してはいけません。

例題

```
[P2968. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.          P2968.
000003 ENVIRONMENT         DIVISION.
000004 DATA                DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC. .
000007 01 SQLSTATE PIC X(5).
000008 01 SQLCA.
000009 02 SQLERRD PIC S9(9) BINARY OCCURS 6 TIMES.
000010 01 SQLINFOA.
000011 02 SQLERRD PIC S9(9) BINARY OCCURS 6 TIMES.
000012 77 HVAR3 PIC S9(9) BINARY.
000013     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     EXEC SQL
000016         SELECT CL1 INTO :HVAR3 FROM TBL
000017     END-EXEC.
000018 END PROGRAM P2968.
```

P2968.cob 16: JMN2968I-S SQLINFOAに従属するSQLERRDと、SQLCAに従属するSQLERRDを同時に定義してはいけません。

詳細な説明

SQLERRDは、以下の2つの情報を格納するための領域です。

- ・ ストアドプロシージャの戻り値(配列の1番目の要素であるSQLERRD(1)を参照します)
- ・ 複数行処理が行われた場合の処理行数(配列の3番目の要素であるSQLERRD(3)を参照します)

2.4.586 JMN2969I-S

'@1@'は、レベル番号01のSQLCAに直接従属するOCCURS句の指定のない項目でなければいけません。

埋め込みの説明

@1@ : SQLSTATEまたはSQLCODE.

例題

```
[P2969. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.          P2969.
000003 ENVIRONMENT         DIVISION.
000004 DATA                DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
```

```

000007 01 SQLCA.
000008 02 W1.
000009 03 SQLSTATE PIC X(5).
000010 77 HVAR3 PIC S9(9) BINARY.
000011 EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012 EXEC SQL
000013 SELECT CL1 INTO :HVAR3 FROM TBL
000014 END-EXEC.
000015 END PROGRAM P2969.

```

P2969.cob 9: JMN2969I-S 'SQLSTATE'は、レベル番号01のSQLCAに直接従属するOCCURS句の指定のない項目でなければいけません。

詳細な説明

SQLSTATEまたはSQLCODEは、埋込みSQL文の実行結果を応用プログラムに通知するための連絡域です。SQLに従属するこれらは、レベル番号01、77の項目またはレベル番号01のSQLCAに直接従属するレベル番号02～49の項目として宣言してください。

2.4.587 JMN2970I-S

再帰属性を持つプログラム定義で、'@1@'は使用できません。

埋め込みの説明

@1@ : スクリーン操作のACCEPTおよびDISPLAY文

例題

```

[P2970.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2970 IS RECURSIVE PROGRAM.
000003 DATA DIVISION.
000004 BASED-STORAGE SECTION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 REC-1.
000007 02 KEY-REC PIC XX.
000008 02 FILLER PIC X(78).
000009 01 PT POINTER.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 ACCEPT REC-1 FROM CRT.
000012 END PROGRAM P2970.

```

P2970.cob 11: JMN2970I-S 再帰属性を持つプログラム定義で、'スクリーン操作のACCEPTおよびDISPLAY文'は使用できません。

2.4.588 JMN2971I-S

COBOLの語は30字以内でなければなりません。先頭から30字をCOBOLの語とみなします。

例題

```

[P2971.cob]
000001 @OPTIONS ARITHMETIC(31)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P2971.
000004 PROCEDURE DIVISION.
000005 GO TO 1234567890123456789012345678901.
000006 123456789012345678901234567890.
000007 END PROGRAM P2971.

```

P2971.cob 5: JMN2971I-S COBOLの語は30字以内でなければなりません。先頭から30字をCOBOLの語とみなします。

2.4.589 JMN2985I-S

画面記述項のPICTURE句にはFROM, TOまたはUSINGを指定しなければなりません。

例題

```
[P2985.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2985.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 SCREEN          SECTION.
000007 01 SC1          PIC X(2).
000008 PROCEDURE       DIVISION.
000009 END PROGRAM     P2985.
```

P2985.cob 7: JMN2985I-S 画面記述項のPICTURE句にはFROM, TOまたはUSINGを指定しなければなりません。

詳細な説明

画面データ記述項(画面節で宣言する記述項)のPICTURE句(PICTUREとPICは同義語です)には, TO, FROMまたはUSINGのいずれかの指定を書きます。それぞれの意味は以下のとおりです。

- TO指定のみ
入力項目(画面からの入力を取り込む項目)を宣言する
- FROM指定のみ
出力項目(画面へ出力する項目)を宣言する
- USING指定あるいはFROM/TO指定両方
更新項目(画面からの入力の取り込み, 画面への出力両方に使用する項目)を宣言する

2.4.590 JMN2986I-S

画面節の数字項目, 数字編集項目には@1@句は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : SIZE.

例題

```
[P2986.cob]
000001 PROGRAM-ID.      P2986.
000002 ENVIRONMENT     DIVISION.
000003 DATA           DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 SCREEN          SECTION.
000006 01 SC1          PIC S9(4) SIZE IS 12.
000007 PROCEDURE       DIVISION.
000008 END PROGRAM     P2986.
```

P2986.cob 6: JMN2986I-S 画面節の数字項目, 数字編集項目にはSIZE句は指定できません。

P2986.cob 6: JMN2985I-S 画面記述項のPICTURE句にはFROM, TOまたはUSINGを指定しなければなりません。

2.4.591 JMN2988I-S

宛先XAPまたはPRTの表示ファイルに指定したFORMAT句のデータ名の項目長は30バイト以下でなければなりません。

例題

```
[P2988.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2988.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT PRFILE1 ASSIGN TO GS-S
000007
000008     SYMBOLIC DESTINATION IS "XAP"
000009     FORMAT             IS WFMT
000010     GROUP              IS WGRP
000011     FILE STATUS      IS WFS1.
000012 I-O-CONTROL.
000013 DATA              DIVISION.
000014 FILE                SECTION.
000015 FD PRFILE1.
000016 01 PRF1REC.
000017 02                  PIC X(80).
000018 WORKING-STORAGE SECTION.
000019 01 WFS1             PIC X(2).
000020 01 WFMT             PIC X(31).
000021 01 WGRP            PIC X(8).
000022 PROCEDURE          DIVISION.
000023 END PROGRAM        P2988.
```

P2988.cob 9: JMN2988I-S 宛先XAPまたはPRTの表示ファイルに指定したFORMAT句のデータ名の項目長は30バイト以下でなければなりません。

2.4.592 JMN2993I-S

'DECIMAL-POINT IS COMMA'が指定された翻訳単位では、CSV-FORMATまたはTSV-FORMATが指定されたSTRING文またはUNSTRING文は指定できません。

例題

```
[P2993.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2993.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION     SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     DECIMAL-POINT IS COMMA.
000007 DATA              DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 WDATA01           PIC X(5).
000010 01 WDATA02           PIC X(5).
000011 01 WDATA03           PIC X(10).
000012 01 WDATA04           PIC 99,99.
000013 PROCEDURE          DIVISION.
000014     STRING WDATA01 WDATA02 INTO WDATA03
000015     BY GSV-FORMAT.
000016 END PROGRAM        P2993.
```

P2993.cob 14: JMN2993I-S 'DECIMAL-POINT IS COMMA'が指定された翻訳単位では、CSV-FORMATまたはTSV-FORMATが指定されたSTRING文またはUNSTRING文は指定できません。

詳細な説明

DECIMAL-POINT IS COMMAは使用しないでください。

2.4.593 JMN2994I-S

CSV-FORMATまたはTSV-FORMATが指定されたSTRING文に記述できない表意定数が含まれています。

例題

```
[P2994.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2994.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDATA01     PIC X(4).
000007 01 WDATA02     PIC X(8).
000008 PROCEDURE       DIVISION.
000009     STRING WDATA01 ZERO INTO WDATA02
000010     BY CSV-FORMAT.
000011 END PROGRAM     P2994.
```

P2994.cob 9: JMN2994I-S CSV-FORMATまたはTSV-FORMATが指定されたSTRING文に記述できない表意定数が含まれています。

詳細な説明

以下の表意定数は指定できません。

- ZERO
- HIGH-VALUE
- LOW-VALUE
- QUOTE
- ALL定数
- 記号文字

2.4.594 JMN2996I-S

エンコード方式にUTF32を指定した日本語項目または日本語編集項目の長さは、536870911字以下でなければなりません。536870911字とみなします。

例題

```
000001 @OPTIONS ENCODE (UTF8, UTF32)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P2996.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 N1             PIC N(536870912).
000008 PROCEDURE       DIVISION.
000009 END PROGRAM         P2996.
```

p2996.cob 7: JMN2996I-S エンコード方式にUTF32を指定した日本語項目または日本語編集項目の長さは、536870911字以下でなければなりません。536870911字とみなします。

2.4.595 JMN2999I-S

@1@に使用できない文字が含まれています。この文は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : プログラム名, 入口名, メソッド名

詳細な説明

プログラム名、二次入口名およびメソッド名には、シフトJISで表現できる文字しか使用できません。

2.5 JMN3000—JMN3999

3000	3001	3002	3003	3004	3005	3006	3007	3008	3009
3010	3011	3012	3013	3014	3015	3016	3017	3018	3021
3022	3023	3024	3025	3028	3029	3030	3034	3036	3037
3038	3039	3040	3041	3043	3046	3048	3049	3050	3051
3053	3054	3056	3057	3060	3061	3062	3063	3064	3065
3066	3067	3068	3069	3070	3071	3072	3073	3074	3075
3076	3077	3078	3079	3080	3081	3083	3084	3085	3086
3087	3088	3090	3091	3092	3095	3097	3098	3105	3107
3108	3109	3110	3111	3116	3117	3119	3121	3123	3124
3127	3128	3130	3132	3135	3136	3141	3142	3143	3144
3145	3146	3147	3148	3149	3150	3151	3152	3153	3154
3157	3158	3159	3160	3161	3162	3163	3164	3165	3166
3169	3170	3175	3181	3182	3184	3188	3189	3190	3191
3192	3193	3194	3195	3196	3198	3199	3200	3202	3203
3207	3218	3219	3222	3223	3226	3229	3231	3236	3238
3240	3241	3242	3243	3244	3245	3246	3248	3249	3250
3259	3262	3264	3265	3266	3268	3269	3270	3271	3272
3273	3275	3276	3277	3278	3280	3281	3286	3287	3291
3298	3301	3304	3307	3309	3326	3327	3328	3330	3331
3332	3333	3334	3335	3337	3338	3339	3340	3342	3343
3344	3345	3346	3347	3348	3349	3351	3352	3353	3354
3355	3358	3359	3361	3362	3363	3364	3366	3367	3368
3369	3371	3372	3373	3374	3375	3376	3377	3378	3379
3380	3381	3382	3383	3384	3385	3386	3388	3390	3391
3392	3393	3394	3395	3396	3397	3398	3399	3400	3401
3402	3403	3404	3407	3408	3410	3412	3413	3414	3415
3421	3422	3423	3424	3427	3428	3429	3430	3432	3433
3434	3435	3436	3437	3438	3439	3440	3441	3442	3443
3444	3445	3446	3447	3448	3449	3450	3451	3453	3454
3455	3456	3457	3458	3459	3460	3461	3462	3463	3464
3465	3466	3467	3468	3469	3470	3471	3472	3473	3476
3482	3483	3484	3485	3504	3508	3524	3525	3526	3533
3534	3535	3536	3551	3552	3553	3554	3555	3557	3558
3559	3562	3563	3564	3565	3566	3567	3568	3569	3570

2.5.1 JMN3000I-S

@1@に対する@2@次元目の添字の値は、正でなければなりません。添字の値を1とみなします。

埋め込みの説明

- @1@ : 添字付けされたデータ項目
- @2@ : ゼロ以下だった添字の次元数

例題

```
[C3000.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3000.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01  GR01.
000006     02  TBL01 OCCURS 10 TIMES.
000007     03  TBL02 OCCURS 10 TIMES.
000008     04  AN01 PIC X.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010     MOVE SPACE TO AN01(1, 0).
```

C3000.cob 10: JMN3000I-S 'AN01'に対する2次元目の添字の値は、正でなければなりません。添字の値を1とみなします。

2.5.2 JMN3001I-S

@1@に対する@2@次元目の添字の値は、@3@以下でなければなりません。添字の値を1とみなします。

埋め込みの説明

- @1@ : 添字付けされたデータ項目
- @2@ : 誤った添字が指定された次元数
- @3@ : 正しい添字の値の範囲

例題

```
[C3001.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3001.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01  GR01.
000006     02  TBL01 OCCURS 10 TIMES.
000007     03  TBL02 OCCURS 10 TIMES.
000008     04  AN01 PIC X.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010     MOVE SPACE TO AN01(1, 11).
```

C3001.cob 10: JMN3001I-S 'AN01'に対する2次元目の添字の値は、10以下でなければなりません。添字の値を1とみなします。

2.5.3 JMN3002I-S

@1@に対する添字の数は、@2@個でなければなりません。先頭の余分な添字は無効になります。

埋め込みの説明

- @1@ : 添字付けされたデータ項目
- @2@ : 正しい添字の個数

例題

```
[C3002.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3002.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01  GR01.
```

```
000006 02 TBL01 OCCURS 10 TIMES.
000007 03 TBL02 OCCURS 10 TIMES.
000008 04 AN01 PIC X.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 MOVE SPACE TO AN01(1, 2, 3).
```

C3002.cob 10: JMN3002I-S 'AN01'に対する添字の数は、2個でなければなりません。先頭の余分な添字は無効になります。

2.5.4 JMN3003I-S

@1@に対する添字の数は、@2@個でなければなりません。上位次元の添字の値を1とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 添字付けされたデータ項目
@2@ : 正しい添字の個数

例題

```
[C3003.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3003.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 GR01.
000006 02 TBL01 OCCURS 10 TIMES.
000007 03 TBL02 OCCURS 10 TIMES.
000008 04 AN01 PIC X.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 MOVE SPACE TO AN01(2).
```

C3003.cob 10: JMN3003I-S 'AN01'に対する添字の数は、2個でなければなりません。上位次元の添字の値を1とみなします。

2.5.5 JMN3004I-W

@1@に対する@2@次元目の指標名@3@は、その表のINDEXED BY指定で記述したものでなければなりません。その表の指標名とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 添字付けされたデータ項目
@2@ : 誤った添字付けをした次元数
@3@ : 誤った指標名

例題

```
[C3004.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3004.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 GR01.
000006 02 TBL01 OCCURS 10 TIMES INDEXED BY IX01.
000007 03 TBL02 OCCURS 10 TIMES.
000008 04 AN01 PIC X.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 MOVE SPACE TO AN01(1, IX01).
000011 END PROGRAM C3004.
```

C3004.cob 10: JMN3004I-W 'AN01'に対する2次元目の指標名'IX01'は、その表のINDEXED BY指定で記述したものでなければなりません。その表の指標名とみなします。

2.5.6 JMN3005I-S

部分参照されたデータ項目@1@のUSAGEは、DISPLAYでなければなりません。USAGEを、DISPLAYとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 部分参照されたデータ項目

例題

```
[C3005.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3005.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 SBITEM PIC S9(9) BINARY.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007     MOVE ZERO TO SBITEM(1:2).
000008 END PROGRAM C3005.
```

C3005.cob 7: JMN3005I-S 部分参照されたデータ項目'SBITEM'のUSAGEは、DISPLAYでなければなりません。USAGEを、DISPLAYとみなします。

2.5.7 JMN3006I-S

@1@に対する部分参照子の長さは、正でなければなりません。長さを1とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 部分参照されたデータ項目

例題

```
[C3006.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3006.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 SBITEM PIC X(10).
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007     MOVE ZERO TO SBITEM(1:0).
000008 END PROGRAM C3006.
```

C3006.cob 7: JMN3006I-S 'SBITEM'に対する部分参照子の長さは、正でなければなりません。長さを1とみなします。

2.5.8 JMN3007I-S

@1@に対する部分参照子の最左端文字位置は、正でなければなりません。最左端文字位置を1とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 部分参照されたデータ項目

例題

```
[C3007.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3007.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 SBITEM PIC X(10).
000006 PROCEDURE DIVISION.
```

```
000007 MOVE ZERO TO SBITEM(0:1).
000008 END PROGRAM C3007.
```

C3007.cob 7: JMN3007I-S 'SBITEM'に対する部分参照子の最左端文字位置は、正でなければなりません。最左端文字位置を1とみなします。

2.5.9 JMN3008I-S

@1@に対する部分参照子の長さは、@2@以下でなければなりません。長さを1とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 部分参照されたデータ項目
@2@ : 正しい長さの範囲

例題

```
[C3008.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3008.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 SBITEM PIC X(10).
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007 MOVE ZERO TO SBITEM(1:11).
000008 END PROGRAM C3008.
```

C3008.cob 7: JMN3008I-S 'SBITEM'に対する部分参照子の長さは、10以下でなければなりません。長さを1とみなします。

2.5.10 JMN3009I-S

@1@に対する部分参照子の最左端文字位置は、@2@以下でなければなりません。最左端文字位置を1とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 部分参照されたデータ項目
@2@ : 正しい最左端文字位置の範囲

例題

```
[C3009.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3009.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 SBITEM PIC X(10).
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007 MOVE ZERO TO SBITEM(11:1).
000008 END PROGRAM C3009.
```

C3009.cob 7: JMN3009I-S 'SBITEM'に対する部分参照子の最左端文字位置は、10以下でなければなりません。最左端文字位置を1とみなします。

2.5.11 JMN3010I-S

@1@に対する部分参照子の最左端文字位置と長さの合計から1を引いたものは、@2@以下でなければなりません。最左端文字位置と長さをそれぞれ1とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 部分参照されたデータ項目
@2@ : 正しい最左端文字位置と長さの合計から1を引いた値の範囲

例題

```
[C3010.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3010.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 SBITEM PIC X(10).
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007     MOVE ZERO TO SBITEM(6:6).
000008 END PROGRAM C3010.
```

C3010.cob 7: JMN3010I-S 'SBITEM'に対する部分参照子の最左端文字位置と長さの合計から1を引いたものは、10以下でなければなりません。最左端文字位置と長さをそれぞれ1とみなします。

2.5.12 JMN3011I-S

除数の値がゼロです。ここでいうゼロとは、値ゼロの数字定数、表意定数ZERO、演算の結果で有効けたがすべて消失した場合のいずれかです。受取り側項目のPICTURE句で指定されたけた数だけの9を転記します。ただし、算術式の途中でこのような除算が実行されると、その結果は30けたの9として扱われます。

例題

```
[C3011.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3011.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 ED01 PIC S9(9).
000006 01 ED02 PIC S9(9).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     COMPUTE ED01 = ED02 / 0.
000009 END PROGRAM C3011.
```

C3011.cob 8: JMN3011I-S 除数の値がゼロです。ここでいうゼロとは、値ゼロの数字定数、表意定数ZERO、演算の結果で有効けたがすべて消失した場合のいずれかです。受取り側項目のPICTURE句で指定されたけた数だけの9を転記します。ただし、算術式の途中でこのような除算が実行されると、その結果は30けたの9として扱われます。

2.5.13 JMN3012I-W

演算の中間結果で、有効けたがすべて消失しています。結果をゼロとして処理を続けます。

例題

```
[C3012.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3012.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 ED01 PIC S9(18).
000006 01 ED02 PIC S9P(15).
000007 01 ED03 PIC S9P(15).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009     COMPUTE ED01 = ED02 * ED03.
```

C3012.cob 9: JMN3012I-W 演算の中間結果で、有効けたがすべて消失しています。結果をゼロとして処理を続けます。

詳細な説明

中間結果が固定小数点の場合、その最大桁数は30桁と定められています。演算要素から求められた中間結果の桁数が、整数部が-30桁以下または小数部が-30桁以下となった場合、演算処理をしても結果が最大桁数である30桁の部分に反映されないこととなります。この場合は演算処理は行わずに、演算結果をゼロとして以降の処理が継続されます。

2.5.14 JMN3013I-W

算術式中でゼロのゼロ乗を計算しようとしています。ここでいうゼロとは、値ゼロの数字定数、表意定数ZERO、演算の中間結果で有効けたがすべて消失した場合のいずれかです。結果をゼロとして処理を続けます。

例題

```
[C3013.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3013.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 ED01 PIC S9(18).
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007     COMPUTE ED01 = 0 ** 0.
000008 END PROGRAM C3013.
```

C3013.cob 7: JMN3013I-W 算術式中でゼロのゼロ乗を計算しようとしています。ここでいうゼロとは、値ゼロの数字定数、表意定数ZERO、演算の中間結果で有効けたがすべて消失した場合のいずれかです。結果をゼロとして処理を続けます。

2.5.15 JMN3014I-I

(CONF)文字作用対象と数字作用対象の転記で、数字作用対象が小数点の左端にPを持っています。数字作用対象のPの位置にゼロがあるかのように転記します。

例題

```
[C3014.cob]
000001 @OPTIONS CONF(68)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3014.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 ED01 PIC 9P.
000007 01 AN01 PIC X.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009     MOVE ED01 TO AN01.
000010 END PROGRAM C3014.
```

C3014.cob 9: JMN3014I-I (CONF)文字作用対象と数字作用対象の転記で、数字作用対象が小数点の左端にPを持っています。数字作用対象のPの位置にゼロがあるかのように転記します。

2.5.16 JMN3015I-I

(CONF)ブール項目またはブール定数を英数字項目に転記しています。英数字項目間の基本項目転記とします。

例題

```
[C3015.cob]
000001 @OPTIONS CONF(V52)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3015.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 EB01 PIC 1.
000007 01 AN01 PIC X.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009     MOVE EB01 TO AN01.
000010 END PROGRAM C3015.
```

C3015.cob 9: JMN3015I-I (CONF)ブール項目またはブール定数を英数字項目に転記しています。英数字項目間の基本項目転記とします。

2.5.17 JMN3016I-I

(CONF)ALL定数を数字項目または数字編集項目に転記しています。ALL定数によって指定された文字列を受取り側項目と同じ長さとなるまで1字ずつ右の方へ反復して作成し、転記します。

例題

```
[C3016.cob]
000001 @OPTIONS CONF (68)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3016.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 ED01 PIC 9(5).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     MOVE ALL "123" TO ED01.
000009 END PROGRAM C3016.
```

C3016.cob 8: JMN3016I-I (CONF)ALL定数を数字項目または数字編集項目に転記しています。ALL定数によって指定された文字列を受取り側項目と同じ長さとなるまで1字ずつ右の方へ反復して作成し、転記します。

2.5.18 JMN3017I-I

(CONF)OCCURS DEPENDING ON句とその目的語を共に含む集団項目が、受取り側に指定されています。受取り側項目の最大長で転記します。

例題

```
[C3017.cob]
000001 @OPTIONS CONF (74)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3017.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GR01.
000007     02 OD001 PIC 9(4) BINARY VALUE 3.
000008     02 TBL01 PIC X(10) OCCURS 10 DEPENDING ON OD001.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010     MOVE SPACE TO GR01.
000011 END PROGRAM C3017.
```

C3017.cob 10: JMN3017I-I (CONF)OCCURS DEPENDING ON句とその目的語を共に含む集団項目が、受取り側に指定されています。受取り側項目の最大長で転記します。

2.5.19 JMN3018I-S

数字項目に転記する文字定数は、数字のみで構成されていなければなりません。

例題

```
[C3018.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3018.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 ED01 PIC 9(5).
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007     MOVE "1234E" TO ED01.
000008 END PROGRAM C3018.
```

C3018.cob 7: JMN3018I-S 数字項目に転記する文字定数は、数字のみで構成されていなければなりません。

2.5.20 JMN3021I-S

2進項目に転記される数字定数は、領域に入り切る値でなければなりません。

例題

```
[C3021.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3021.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 BI01 PIC S9(4) COMPUTATIONAL.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007     MOVE +54321 TO BI01.
000008 END PROGRAM C3021.
```

C3021.cob 7: JMN3021I-S 2進項目に転記される数字定数は、領域に入り切る値でなければなりません。

詳細な説明

TRUNCオプションが無効、かつ2進項目に対して定義桁を超える桁の数字定数を転記する場合、その数字定数が2進値として受取側の2進項目の領域長に収まる値ならば、その値がそのまま転記されます。しかし2進項目の領域長に収まらない場合は、本エラーメッセージが出力されて翻訳は無効となります。ちなみにTRUNCオプションが有効な場合は、数字定数が2進項目の定義桁に合わせて桁落としされて格納されます。

2.5.21 JMN3022I-W

非整数項目@1@は、英数字項目@2@に転記できません。送出し側のデータ項目と同じけた数を持つ符号なし外部10進項目に転記した後で、その外部10進項目を英数字項目として再定義したものを受取り側の英数字項目に転記したかのような処理をします。

埋め込みの説明

- @1@ : 送出し側のデータ項目
- @2@ : 受取り側のデータ項目

例題

```
[C3022.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3022.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 ID01 PIC 9V9 PACKED-DECIMAL.
000006 01 AN01 PIC X(4).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     MOVE ID01 TO AN01.
000009 END PROGRAM C3022.
```

C3022.cob 8: JMN3022I-W 非整数項目'ID01'は、英数字項目'AN01'に転記できません。送出し側のデータ項目と同じけた数を持つ符号なし外部10進項目に転記した後で、その外部10進項目を英数字項目として再定義したものを受取り側の英数字項目に転記したかのような処理をします。

2.5.22 JMN3023I-S

@1@は、@2@に転記できません。

埋め込みの説明

- @1@ : 送出し側要素
- @2@ : 受取り側要素

例題

```
[C3023.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3023.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 AL01 PIC A.
000006 01 ED01 PIC 9.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     MOVE AL01 TO ED01.
```

C3023.cob 8: JMN3023I-S 'AL01'は、'ED01'に転記できません。

詳細な説明

明に書いたMOVE文または暗黙のMOVE文において、送出し側と受取り側の組み合わせが規則として許されない場合に、このメッセージが出力されます。組み合わせの規則は“COBOL 文法書”の“6.3.5転記の規則”に示されていますので、そちらをご確認ください。

2.5.23 JMN3024I-W

[Win32]

中間結果のけた数が30けたを超えています。中間結果のけた数を30けたにして処理を続けます。

[Winx64]

中間結果のけた数が@1@けたを超えています。中間結果のけた数を@1@けたにして処理を続けます。

埋め込みの説明

@1@ : 中間結果精度の最大けた数

例題

```
[C3024.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3024.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 ED01 PIC S9(16).
000006 01 ED02 PIC SV9(16).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     ADD ED01 TO ED02.
```

C3024.cob 8: JMN3024I-W 中間結果のけた数が30けたを超えています。中間結果のけた数を30けたにして処理を続けます。

2.5.24 JMN3025I-S

ブール式は、条件式に指定できません。

例題

```
[C3025.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3025.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 1(8) BIT.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009     IF ( A ) = B"00001111" THEN
000010     STOP RUN.
```

C3025.cob 9: JMN3025I-S ブール式は、条件式に指定できません。

2.5.25 JMN3028I-S

CALL文の一意名@1@は、英数字項目または日本語項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

例題

```
[C3028.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3028.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 LIB-NAME PIC S9(8).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 CALL LIB-NAME.
```

C3028.cob 9: JMN3028I-S CALL文の一意名'LIB-NAME'は、英数字項目または日本語項目でなければなりません。

2.5.26 JMN3029I-S

このCALL文では、USING指定に手続き名を記述できません。

例題

```
[C3029.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3029.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 REC.
000007 02 REC-DATA PIC X(10).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010 CALL "C3029SUB" USING INT-START REC.
000011 INT-START.
000012 STOP RUN.
000013 IDENTIFICATION DIVISION.
000014 PROGRAM-ID. C3029SUB.
000015 ENVIRONMENT DIVISION.
000016 DATA DIVISION.
000017 LINKAGE SECTION.
000018 01 RETURN-P PIC S9(8).
000019 01 REC.
000020 02 REC-DATA PIC X(10).
000021 PROCEDURE DIVISION USING RETURN-P REC.
000022 P-START.
000023 CALL "C3029SUC" USING RETURN-P.
000024 END PROGRAM C3029SUB.
000025 END PROGRAM C3029.
```

C3029.cob 10: JMN3029I-S このCALL文では、USING指定に手続き名を記述できません。

2.5.27 JMN3030I-S

CANCEL文の一意名@1@は、英数字項目または日本語項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

例題

```
[C3030.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3030.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 TEST-P PIC 9(8).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 CANCEL TEST-P.
```

C3030.cob 9: JMN3030I-S CANCEL文の一意名'TEST-P'は、英数字項目または日本語項目でなければなりません。

2.5.28 JMN3034I-S

SET文で@2@により@1@の内容は変更できません。正しい組合せを指定してください。

埋め込みの説明

@1@ : 設定される項目の名標

@2@ : TO句に指定された項目の名標または整定数

例題

```
[C3034.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3034.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC S9(8) BINARY.
000007 01 B INDEX.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010 SET A TO B.
000011 STOP RUN.
```

C3034.cob 10: JMN3034I-S SET文で'B'により'A'の内容は変更できません。正しい組合せを指定してください。

2.5.29 JMN3036I-S

INITIALIZE文のREPLACING指定で、@1@は、項類@2@の項目へ転記できる項類でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 名標または"定数"

@2@ : REPLACING句で指定できる項類を表すキーワード

例題

```
[C3036.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3036.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
```

```

000006 01 A PIC X(10).
000007 01 B PIC 99 VALUE 10.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010 INITIALIZE A REPLACING ALPHABETIC BY B
000011 NUMERIC BY B.
000012 STOP RUN.

```

C3036.cob 10: JMN3036I-S INITIALIZE文のREPLACING指定で、'B'は、項類ALPHABETICの項目へ転記できる項類でなければなりません。

C3036.cob 10: JMN3158I-I INITIALIZE文で、初期値が代入される項目が一つもありません。

2.5.30 JMN3037I-S

INITIALIZE文に、DEPENDING指定のOCCURS句を含む項目@1@は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : 受取り側に指定された項目名

例題

```

[C3037.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3037.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A.
000007 02 B PIC X OCCURS 1 TO 10 DEPENDING ON C.
000008 01 C PIC 99.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011 INITIALIZE A C.
000012 STOP RUN.

```

C3037.cob 11: JMN3037I-S INITIALIZE文に、DEPENDING指定のOCCURS句を含む項目'A'は指定できません。

2.5.31 JMN3038I-S

PERFORM文中の@1@は、数字項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

例題

```

[C3038.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3038.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 99.
000007 01 B PIC XX.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 PERFORM VARYING A FROM B BY 1 UNTIL A < 0
000010 COMPUTE A = A - 1
000011 END-PERFORM.
000012 STOP RUN.

```

C3038.cob 9: JMN3038I-S PERFORM文中の'B'は、数字項目でなければなりません。

2.5.32 JMN3039I-S

PERFORM文中の@1@は、整数項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

例題

```
[C3039.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3039.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 9V9.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 PERFORM L1 A TIMES.
000009 L1.
000010 DISPLAY A.
000011 L2.
000012 STOP RUN.
```

C3039.cob 8: JMN3039I-S PERFORM文中の'A'は、整数項目でなければなりません。

2.5.33 JMN3040I-S

@2@文中の一意名@1@は、INDEXED BY指定を持つOCCURS句が指定されたデータ項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

@2@ : SEARCH/SEARCH ALL

例題

```
[C3040.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3040.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 TBL.
000007 02 A OCCURS 5 TIMES.
000008 03 B PIC 9.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 SEARCH A WHEN B(1) = 0
000011 STOP RUN.
```

C3040.cob 10: JMN3040I-S SEARCH文中の一意名'A'は、INDEXED BY指定を持つOCCURS句が指定されたデータ項目でなければなりません。

2.5.34 JMN3041I-S

SEARCH文中のVARYING指定の@1@は指標名、指標データ項目または整数項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

例題

```
[C3041.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3041.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 TBL.
000007 02 X OCCURS 5 TIMES
000008           INDEXED BY IX1.
000009 03 A           PIC 9.
000010 01 B           PIC 9V9.
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012     SEARCH X VARYING B WHEN A(IX1) = 0
000013     MOVE 1 TO A(IX1).
000014     STOP RUN.
```

C3041.cob 12: JMN3041I-S SEARCH文中のVARYING指定の'B'は指標名、指標データ項目または整数項目でなければなりません。

2.5.35 JMN3043I-S

EVALUATE文のTHROUGH指定でつながる二つの作用対象は、同じ字類でなければなりません。

例題

```
[C3043.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3043.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A           PIC 9(2).
000007 01 B           PIC XX.
000008 01 X           PIC 9(2).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010     EVALUATE X
000011     WHEN A THROUGH B
000012     MOVE 1 TO A.
000013     STOP RUN.
```

C3043.cob 11: JMN3043I-S EVALUATE文のTHROUGH指定でつながる二つの作用対象は、同じ字類でなければなりません。

2.5.36 JMN3046I-S

EVALUATE文の選択主体に算術式、一意名または定数を指定した場合、選択対象は算術式、一意名、定数またはANYでなければなりません。

例題

```
[C3046.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3046.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A           PIC 9(2).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     EVALUATE A
000009     WHEN 0
000010     MOVE 0 TO A
000011     WHEN TRUE
```

```
000012     MOVE 1 TO A
000013     END-EVALUATE.
000014 END PROGRAM C3046.
```

C3046.cob 11: JMN3046I-S EVALUATE文の選択主体に算術式、一意名または定数を指定した場合、選択対象は算術式、一意名、定数またはANYでなければなりません。

2.5.37 JMN3048I-S

EVALUATE文中のTHROUGH指定でつながる二つの作用対象は、ブールまたはオブジェクト一意名であってはなりません。

例題

```
[C3048.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3048.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 1(2).
000007 01 B PIC 1(2).
000008 01 X PIC 1(2).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010     EVALUATE X
000011     WHEN A THROUGH B
000012     MOVE B"01" TO A.
000013     STOP RUN.
```

C3048.cob 11: JMN3048I-S EVALUATE文中のTHROUGH指定でつながる二つの作用対象は、ブールまたはオブジェクト一意名であってはなりません。

2.5.38 JMN3049I-S

EVALUATE文の選択主体にTRUEまたはFALSEを指定した場合、選択対象は、条件式、TRUE、FALSEまたはANYでなければなりません。

例題

```
[C3049.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3049.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC X(2).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     EVALUATE TRUE
000009     WHEN A
000010     MOVE 1 TO A.
000011     STOP RUN.
```

C3049.cob 9: JMN3049I-S EVALUATE文の選択主体にTRUEまたはFALSEを指定した場合、選択対象は、条件式、TRUE、FALSEまたはANYでなければなりません。

2.5.39 JMN3050I-W

CORRESPONDING指定のある@1@文で、対応の取れる項目が一つもありません。この文は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : MOVE文, ADD文, またはSUBTRACT文

例題

```
[C3050.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3050.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 AA.
000008     02 CC-1     PIC 9(4).
000009     02 CC-2     PIC 9(8).
000010 01 BB.
000011     02 CC-3     PIC 9(4).
000012     02 CC-4     PIC 9(8).
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014 P-START.
000015     ADD CORR AA TO BB.
000016     STOP RUN.
```

C3050.cob 15: JMN3050I-W CORRESPONDING指定のあるADD文で、対応の取れる項目が一つもありません。この文は、無効になります。

詳細な説明

CORRESPONDING指定のある文では、送し側と受取り側とで対応の取れる基本項目が一つもなければ、その文は意味を持ちません。このときの「対応の取れる基本項目」とは、単に基本項目同士の名前が一致していることを意味するわけではありません。「それぞれ直前までの修飾語の名前の系列が同じである」必要があることに注意してください。これはつまり修飾名(集団項目の階層を表した名前)「～ OF 基本項目名」における"～"の部分も一致している必要があることを示しています。

2.5.40 JMN3051I-S

CORRESPONDING指定のある@1@文に指定された@2@は、集団項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : MOVE文, ADD文, またはSUBTRACT文
@2@ : 一意名

例題

```
[C3051.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3051.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 AA.
000008     02 CC-1     PIC 9(4).
000009     02 CC-2     PIC 9(8).
000010 01 BB.
000011     02 CC-3     PIC 9(4).
000012     02 CC-4     PIC 9(8).
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014 P-START.
000015     ADD CORR CC-2 TO BB.
000016     STOP RUN.
```

C3051.cob 15: JMN3051I-S CORRESPONDING指定のあるADD文に指定された'CC-2'は、集団項目でなければなりません。

2.5.41 JMN3053I-S

呼び名または機能名指定のACCEPT文では、一意名@1@は、固定長集団項目、英字項目、英数字項目、外部10進項目、内部10進項目、2進項目または外部ブール項目のいずれかでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

例題

```
[C3053.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3053.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 AA PIC ZZZ9.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 ACCEPT AA FROM SYSIN.
000010 STOP RUN.
```

C3053.cob 9: JMN3053I-S 呼び名または機能名指定のACCEPT文では、一意名'AA'は、固定長集団項目、英字項目、英数字項目、外部10進項目、内部10進項目、2進項目または外部ブール項目のいずれかでなければなりません。

2.5.42 JMN3054I-S

ACCEPT文のFROM指定に、DATE、DAY、DAY-OF-WEEKまたはTIMEが指定された場合、@1@は、固定長集団項目、英数字、英数字編集、数字編集、外部10進または2進項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

例題

```
[C3054.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3054.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT IN-FILE ASSIGN TO DA-S-SYS006.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD IN-FILE LABEL RECORD STANDARD.
000010 01 REC.
000011 02 REC-NO PIC 9(4).
000012 02 REC-DATA PIC X(8).
000013 02 FILLER PIC X(68).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 77 AA PIC 1(8).
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017 P-START.
000018 ACCEPT AA FROM DATE.
000019 STOP RUN.
```

C3054.cob 18: JMN3054I-S ACCEPT文のFROM指定に、DATE、DAY、DAY-OF-WEEKまたはTIMEが指定された場合、'AA'は、固定長集団項目、英数字、英数字編集、数字編集、外部10進または2進項目でなければなりません。

2.5.43 JMN3056I-S

@1@@2@は、@3@文の@4@指定に記述できません。

埋め込みの説明

@1@ : 編成種別
@2@ : ファイル名
@3@ : SORTまたはMERGE
@4@ : USINGまたはGIVING

例題

```
[C3056.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3056.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1  ASSIGN TO DA-S-SYS001.
000007     SELECT FILE-2  ASSIGN TO DA-D-SYS002.
000008     SELECT FILE-3  ASSIGN TO DA-I-SYS003
000009             ACCESS MODE IS RANDOM
000010             INDEXED RECORD KEY IS KEY-3-1.
000011 DATA DIVISION.
000012 FILE SECTION.
000013 SD  FILE-1 LABEL RECORD STANDARD.
000014 01  REC-1.
000015     02 KEY-1     PIC 9(2).
000016     02 KEY-2     PIC 9(2).
000017     02 KEY-3     PIC 9(2).
000018     02 FILLER    PIC X(74).
000019 FD  FILE-2 LABEL RECORD STANDARD.
000020 01  REC-2     PIC X(80).
000021 FD  FILE-3 LABEL RECORD STANDARD.
000022 01  REC-3.
000023     02 KEY-3-1   PIC 9(2).
000024     02 KEY-3-2   PIC X(78).
000025 PROCEDURE DIVISION.
000026 P-START.
000027     SORT FILE-1 ON ASCENDING KEY KEY-1 KEY-2
000028     USING FILE-2
000029     GIVING FILE-3.
000030     STOP RUN.
```

C3056.cob 27: JMN3056I-S 索引ファイル'FILE-3'は、SORT文のGIVING指定に記述できません。

詳細な説明

メッセージが示すファイルは、SORT文およびMERGE文のUSING指定およびGIVING指定に指定できる種別ではありません。指定できるのは、以下に示す種別のファイルのみです。

- ・ 大記憶装置またはフロッピディスク装置の順ファイル
- ・ 順呼出し法の相対ファイル
- ・ 順呼出し法の索引ファイル

2.5.44 JMN3057I-S

機能名に対応付けられた符号系名は、@1@文のCOLLATING SEQUENCE指定に記述できません。

埋め込みの説明

@1@ : SORT文またはMERGE文

例題

```
[C3057.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3057.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     ABN-1 IS CODE-3.
000007 INPUT-OUTPUT SECTION.
000008 FILE-CONTROL.
000009     SELECT FILE-1 ASSIGN TO DA-S-SYS001.
000010     SELECT FILE-2 ASSIGN TO DA-S-SYS002.
000011     SELECT FILE-3 ASSIGN TO DA-S-SYS003.
000012 DATA DIVISION.
000013 FILE SECTION.
000014 SD FILE-1 LABEL RECORD STANDARD.
000015 01 REC-1.
000016     02 KEY-1     PIC 9(2).
000017     02 KEY-2     PIC 9(2).
000018     02 KEY-3     PIC 9(2).
000019     02 FILLER    PIC X(74).
000020 FD FILE-2 LABEL RECORD STANDARD.
000021 01 REC-2     PIC X(80).
000022 FD FILE-3 LABEL RECORD STANDARD.
000023 01 REC-3     PIC X(80).
000024 PROCEDURE DIVISION.
000025 P-START.
000026     SORT FILE-1 ON ASCENDING KEY KEY-1 KEY-2
000027     COLLATING SEQUENCE ABN-1
000028     USING FILE-2
000029     GIVING FILE-3.
000030 STOP RUN.
```

C3057.cob 26: JMN3057I-S 機能名に対応付けられた符号系名は、SORT文のCOLLATING SEQUENCE指定に記述できません。

2.5.45 JMN3060I-S

定数節で定義された@1@は、受取り側に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標

例題

```
[C3060.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3060.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 DATA DIVISION.
000006 FILE SECTION.
000007 CONSTANT SECTION.
000008 01 ED-DATA PIC 9(4) VALUE 10.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011     MOVE 20 TO ED-DATA.
000012 STOP RUN.
```

C3060.cob 11: JMN3060I-S 定数節で定義された'ED-DATA'は、受取り側に指定できません。

2.5.46 JMN3061I-S

特殊レジスタ@1@は、受取り側に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : 特殊レジスタ名(LINE-COUNTER, LINAGE-COUNTER)

例題

```
[C3061.cob]
000001 PROGRAM-ID. C3061.
000002 ENVIRONMENT DIVISION.
000003 INPUT-OUTPUT SECTION.
000004 FILE-CONTROL.
000005     SELECT RW-FS1 ASSIGN TO
000006     REPFIL.
000007     SELECT PRINT-FILE ASSIGN TO
000008     SYS006.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 FD PRINT-FILE
000012     LINAGE IS 50 LINES.
000013 01 PRINT-REC PIC X(120).
000014 FD RW-FS1
000015     LABEL RECORDS ARE STANDARD
000016     REPORT IS RW-FS1-REPORT-1.
000017 WORKING-STORAGE SECTION.
000018 01 REPORT-LINE-IMAGE.
000019     02 FILLER PICTURE X(43).
000020     02 WS-COUNTER PICTURE 9(6) VALUE ZERO.
000021     02 STORE-LINE-COUNTER PICTURE 9(6).
000022 REPORT SECTION.
000023 RD RW-FS1-REPORT-1
000024     PAGE LIMIT IS 20 LINES.
000025 01 RW-FS1-GROUP
000026     TYPE IS DETAIL.
000027     03 RW-FS1-ELEM
000028         LINE NUMBER IS PLUS 1
000029         COLUMN NUMBER IS 5
000030         PICTURE X(76)
000031         SOURCE IS REPORT-LINE-IMAGE.
000032 PROCEDURE DIVISION.
000033     MOVE 100 TO LINE-COUNTER
000034     MOVE 10 TO LINAGE-COUNTER
000035     .
000036 END PROGRAM C3061.
```

c3061.cob 33: JMN3061I-S 特殊レジスタ'LINE-COUNTER'は、受取り側に指定できません。

c3061.cob 34: JMN3061I-S 特殊レジスタ'LINAGE-COUNTER'は、受取り側に指定できません。

2.5.47 JMN3062I-S

@1@文の作用対象@2@は、数字項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : ADD/SUBTRACT/MULTIPLY/DIVIDE

@2@ : 一意名の名標

例題

```
[C3062.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3062.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC X(4).
000007 01 B PIC 9(4).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010     ADD A TO B.
000011     SUBTRACT A FROM B.
000012     MULTIPLY A BY B.
000013     DIVIDE A INTO B.
000014     STOP RUN.
```

C3062.cob 10: JMN3062I-S ADD文の作用対象'A'は、数字項目でなければなりません。

C3062.cob 11: JMN3062I-S SUBTRACT文の作用対象'A'は、数字項目でなければなりません。

C3062.cob 12: JMN3062I-S MULTIPLY文の作用対象'A'は、数字項目でなければなりません。

C3062.cob 13: JMN3062I-S DIVIDE文の作用対象'A'は、数字項目でなければなりません。

2.5.48 JMN3063I-S

@1@文のGIVING指定の作用対象@2@は、数字項目または数字編集項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : ADD/SUBTRACT/MULTIPLY/DIVIDE

@2@ : 一意名の名標

例題

```
[C3063.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3063.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 9(4).
000007 01 B PIC 9(4).
000008 01 C PIC X(4).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011     ADD A TO B GIVING C.
000012     SUBTRACT A FROM B GIVING C.
000013     MULTIPLY A BY B GIVING C.
000014     DIVIDE A INTO B GIVING C.
000015     STOP RUN.
```

C3063.cob 11: JMN3063I-S ADD文のGIVING指定の作用対象'C'は、数字項目または数字編集項目でなければなりません。

C3063.cob 12: JMN3063I-S SUBTRACT文のGIVING指定の作用対象'C'は、数字項目または数字編集項目でなければなりません。

C3063.cob 13: JMN3063I-S MULTIPLY文のGIVING指定の作用対象'C'は、数字項目または数字編集項目でなければなりません。

C3063.cob 14: JMN3063I-S DIVIDE文のGIVING指定の作用対象'C'は、数字項目または数字編集項目でなければなりません。

2.5.49 JMN3064I-S

CORRESPONDING指定付きの@1@文の対応の取れた項目@2@は、基本数字データ項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : ADD/SUBTRACT

@2@ : 一意名の名標

例題

```
[C3064.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3064.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A.
000007 02 C1 PIC XX.
000008 01 B.
000009 02 C1 PIC 99.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 P-START.
000012 ADD CORR A TO B.
000013 SUBTRACT CORR A FROM B.
000014 STOP RUN.
```

C3064.cob 12: JMN3064I-S CORRESPONDING指定付きのADD文の対応の取れた項目'C1'は、基本数字データ項目でなければなりません。

C3064.cob 13: JMN3064I-S CORRESPONDING指定付きのSUBTRACT文の対応の取れた項目'C1'は、基本数字データ項目でなければなりません。

2.5.50 JMN3065I-S

REMAINDER指定付きのDIVIDE文の@1@は、固定小数点項目または固定小数点定数でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 被除数/除数

例題

```
[C3065.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3065.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A COMP-1.
000007 01 B PIC 99.
000008 01 C PIC 9999.
000009 01 D PIC 99.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 P-START.
000012 DIVIDE A BY B GIVING C REMAINDER D.
000013 DIVIDE A INTO B GIVING C REMAINDER D.
000014 STOP RUN.
```

C3065.cob 12: JMN3065I-S REMAINDER指定付きのDIVIDE文の被除数は、固定小数点項目または固定小数点定数でなければなりません。

C3065.cob 13: JMN3065I-S REMAINDER指定付きのDIVIDE文の除数は、固定小数点項目または固定小数点定数でなければなりません。

2.5.51 JMN3066I-S

REMAINDER指定付きのDIVIDE文の受取り側項目@1@は、固定小数点項目または数字編集項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標

例題

```
[C3066.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3066.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 9999.
000007 01 B PIC 99.
000008 01 C PIC 9999.
000009 01 D COMP-1.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 P-START.
000012     DIVIDE A INTO B GIVING C REMAINDER D.
000013     STOP RUN.
```

C3066.cob 12: JMN3066I-S REMAINDER指定付きのDIVIDE文の受取り側項目'D'は、固定小数点項目または数字編集項目でなければなりません。

2.5.52 JMN3067I-S

ブール式中に現れる定数は、ブール定数(ALLブール定数も含む)またはZEROでなければなりません。この定数はZEROに置き換えられます。

例題

```
[C3067.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3067.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 1111.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009     COMPUTE A = B"1010" AND 1234.
000010     STOP RUN.
```

C3067.cob 9: JMN3067I-S ブール式中に現れる定数は、ブール定数(ALLブール定数も含む)またはZEROでなければなりません。この定数はZEROに置き換えられます。

2.5.53 JMN3068I-S

ブール式中に含まれるブール項目およびALL定数でないブール定数のブール文字数は、すべて等しくなければなりません。

例題

```
[C3068.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3068.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
```



```

000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 1111.
000007 01 B PIC 1111.
000008 01 C PIC 11111.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011     COMPUTE A = B AND C.
000012     COMPUTE A = B"101011" AND B"111".
000013     STOP RUN.

```

C3068.cob 11: JMN3068I-S ブール式に含まれるブール項目およびALL定数でないブール定数のブール文字数は、すべて等しくなければなりません。

C3068.cob 12: JMN3068I-S ブール式に含まれるブール項目およびALL定数でないブール定数のブール文字数は、すべて等しくなければなりません。

2.5.54 JMN3069I-S

[NOT] ON SIZE ERROR指定付きのCOMPUTE文の受取り側@1@は、数字項目または数字編集項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標

例題

```

[C3069. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3069.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC XXXX.
000007 01 B PIC 9(4).
000008 01 C PIC 9(4).
000009 01 D PIC 9(4).
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 P-START.
000012     COMPUTE A = B + C     ON SIZE ERROR STOP RUN
000013     NOT ON SIZE ERROR MOVE B TO D.
000014     STOP RUN.

```

C3069.cob 12: JMN3069I-S [NOT] ON SIZE ERROR指定付きのCOMPUTE文の受取り側'A'は、数字項目または数字編集項目でなければなりません。

2.5.55 JMN3070I-S

[NOT] ON SIZE ERROR指定付きのCOMPUTE文の右辺は、算術式でなければなりません。

例題

```

[C3070. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3070.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 9(4).
000007 01 B PIC XXXX.
000008 01 C PIC 9(4).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.

```

```
000011 COMPUTE A = B ON SIZE ERROR STOP RUN
000012 NOT ON SIZE ERROR MOVE B TO C.
000013 STOP RUN.
```

C3070.cob 11: JMN3070I-S [NOT] ON SIZE ERROR指定付きのCOMPUTE文の右辺は、算術式でなければなりません。

2.5.56 JMN3071I-S

COMPUTE文の右辺が算術式の場合、受取り側@1@は数字項目または数字編集項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標

例題

```
[C3071.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3071.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 1111.
000007 01 B PIC 9(4).
000008 01 C PIC 9(4).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011 COMPUTE A = B + C.
000012 STOP RUN.
```

C3071.cob 11: JMN3071I-S COMPUTE文の右辺が算術式の場合、受取り側'A'は数字項目または数字編集項目でなければなりません。

2.5.57 JMN3072I-S

COMPUTE文の右辺がブール式の場合、受取り側@1@はブール項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標

例題

```
[C3072.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3072.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 9(4).
000007 01 B PIC 1111.
000008 01 C PIC 1111.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011 COMPUTE A = B AND C.
000012 STOP RUN.
```

C3072.cob 11: JMN3072I-S COMPUTE文の右辺がブール式の場合、受取り側'A'はブール項目でなければなりません。

2.5.58 JMN3073I-S

COMPUTE文の右辺は、算術式またはブール式でなければなりません。

例題

```
[C3073.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3073.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 9(4).
000007 01 B PIC XXXX.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010     COMPUTE A = B.
000011     STOP RUN.
```

C3073.cob 10: JMN3073I-S COMPUTE文の右辺は、算術式またはブール式でなければなりません。

2.5.59 JMN3074I-S

COMPUTE文の受取り側@1@は、数字項目、数字編集項目またはブール項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標

例題

```
[C3074.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3074.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC XXXX.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009     COMPUTE A = ZERO.
000010     STOP RUN.
```

C3074.cob 9: JMN3074I-S COMPUTE文の受取り側'A'は、数字項目、数字編集項目またはブール項目でなければなりません。

2.5.60 JMN3075I-S

COMPUTE文の受取り側はすべて数字項目若しくは数字編集項目か、またはすべてブール項目のいずれかでなければなりません。

例題

```
[C3075.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3075.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 9999.
000007 01 B PIC 1111.
000008 01 C PIC XXXX.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011     COMPUTE A B = ZERO.
000012     STOP RUN.
```

C3075.cob 11: JMN3075I-S COMPUTE文の受取り側はすべて数字項目若しくは数字編集項目か、またはすべてブール項目のいずれかでなければなりません。

2.5.61 JMN3076I-S

ROUNDED指定は、ブール項目を含むCOMPUTE文に記述できません。

例題

```
[C3076.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3076.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 1111.
000007 01 B PIC 1111.
000008 01 C PIC 1111.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011 COMPUTE A ROUNDED = B AND C.
000012 STOP RUN.
```

C3076.cob 11: JMN3076I-S ROUNDED指定は、ブール項目を含むCOMPUTE文に記述できません。

2.5.62 JMN3077I-S

@1@(@2@)と@3@(@4@)との比較は、許されない組合せの比較です。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標, 特殊レジスタの名標, 指標名の名標
@2@ : 属性
@3@ : 一意名の名標, 特殊レジスタの名標, 指標名の名標
@4@ : 属性

例題

```
[C3077.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3077.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC S9(3) PACKED-DECIMAL.
000007 01 B PIC XX.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010 IF A = B STOP RUN.
```

C3077.cob 10: JMN3077I-S 'A'(内部10進)と'B'(英数字)との比較は、許されない組合せの比較です。

2.5.63 JMN3078I-S

比較条件で、定数同士の比較はできません。

例題

```
[C3078.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3078.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
```

```
000004 DATA DIVISION.
000005 PROCEDURE DIVISION.
000006 P-START.
000007     IF 10 = 20 STOP RUN.
```

C3078.cob 7: JMN3078I-S 比較条件で、定数同士の比較はできません。

2.5.64 JMN3079I-S

ブール作用対象の比較で指定する比較演算子は、EQUAL(=)またはNOT EQUAL(NOT =)でなければなりません。

例題

```
[C3079.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3079.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 1(8).
000007 01 B PIC 1(8) BIT.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010     IF A > B STOP RUN.
```

C3079.cob 10: JMN3079I-S ブール作用対象の比較で指定する比較演算子は、EQUAL(=)またはNOT EQUAL(NOT =)でなければなりません。

2.5.65 JMN3080I-S

ALLブール定数を除くブール作用対象同士の比較では、両方の作用対象のブール文字数は等しくなければなりません。

例題

```
[C3080.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3080.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 1 BIT.
000007 01 B PIC 1(8) BIT.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010     IF A = B STOP RUN.
```

C3080.cob 10: JMN3080I-S ALLブール定数を除くブール作用対象同士の比較では、両方の作用対象のブール文字数は等しくなければなりません。

2.5.66 JMN3081I-S

指標比較で、@1@は整数でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標, 数字定数

例題

```
[C3081.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3081.
```

```

000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC S9(4)V9 BINARY.
000007 01 B.
000008 02 C OCCURS 10 TIMES INDEXED BY IX.
000009 03 D PIC XX.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 P-START.
000012 IF A = IX STOP RUN.

```

C3081.cob 12: JMN3081I-S 指標比較で, 'A'は整数でなければなりません。

2.5.67 JMN3083I-S

字類条件の@1@検査で, @2@は, 集団項目, 英字項目, 英数字項目, 英数字編集項目または数字編集項目のいずれかでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : ALPHABETIC,ALPHABETIC-LOWER,ALPHABETIC-UPPER
 @2@ : 一意名の名標

例題

```

[C3083.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3083.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 9(4).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 IF A IS ALPHABETIC STOP RUN.

```

C3083.cob 9: JMN3083I-S 字類条件のALPHABETIC検査で, 'A'は, 集団項目, 英字項目, 英数字項目, 英数字編集項目または数字編集項目のいずれかでなければなりません。

2.5.68 JMN3084I-S

字類条件のNUMERIC検査で, @1@は, 外部10進項目, 内部10進項目, 集団項目, 英数字項目, 英数字編集項目または数字編集項目のいずれかでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標

例題

```

[C3084.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3084.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC A(4).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 IF A IS NUMERIC STOP RUN.

```

C3084.cob 9: JMN3084I-S 字類条件のNUMERIC検査で, 'A'は, 外部10進項目, 内部10進項目, 集団項目, 英数字項目, 英数字編集項目または数字編集項目のいずれかでなければなりません。

2.5.69 JMN3085I-S

字類条件のBOOLEAN検査で、@1@は、外部ブール項目、集団項目、英数字項目、英数字編集項目または数字編集項目のいずれかでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標

例題

```
[C3085.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3085.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 9(4).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 IF A IS BOOLEAN STOP RUN.
```

C3085.cob 9: JMN3085I-S 字類条件のBOOLEAN検査で、'A'は、外部ブール項目、集団項目、英数字項目、英数字編集項目または数字編集項目のいずれかでなければなりません。

2.5.70 JMN3086I-S

字類条件の字類名検査で、@1@は、集団項目、英字項目、英数字項目、英数字編集項目または数字編集項目のいずれかでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標

例題

```
[C3086.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3086.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006 CLASS ABC IS "ABC".
000007 DATA DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 A PIC 9.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 P-START.
000012 IF A IS ABC STOP RUN.
```

C3086.cob 12: JMN3086I-S 字類条件の字類名検査で、'A'は、集団項目、英字項目、英数字項目、英数字編集項目または数字編集項目のいずれかでなければなりません。

2.5.71 JMN3087I-S

正負条件で、@1@は数字項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標

例題

```
[C3087.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3087.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC X(4).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 IF A IS POSITIVE STOP RUN.
```

C3087.cob 9: JMN3087I-S 正負条件で, 'A'は数字項目でなければなりません.

2.5.72 JMN3088I-S

正負条件の算術式は, 少なくとも一つ以上の一意名を含まなければなりません.

例題

```
[C3088.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3088.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 PROCEDURE DIVISION.
000006 IF 10 + 20 IS POSITIVE THEN
000007 DISPLAY "ERROR"
000008 END-IF
000008 END PROGRAM C3088.
```

C3088.cob 6: JMN3088I-S 正負条件の算術式は, 少なくとも一つ以上の一意名を含まなければなりません.

2.5.73 JMN3090I-S

UNSTRING文の送出し側項目@1@のUSAGEは, DISPLAYでなければなりません.

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標

例題

```
[C3090.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3090.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 9(10) PACKED-DECIMAL.
000007 01 B PIC XX.
000008 01 C PIC X(4).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011 UNSTRING A DELIMITED BY B INTO C.
000012 STOP RUN.
```

C3090.cob 11: JMN3090I-S UNSTRING文の送出し側項目'A'のUSAGEは, DISPLAYでなければなりません.

2.5.74 JMN3091I-S

部分参照された項目は、UNSTRING文の送出し側項目に指定できません。

例題

```
[C3091.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3091.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC X(10).
000007 01 B PIC XX.
000008 01 C PIC X(4).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011 UNSTRING A(1:6) DELIMITED BY B INTO C.
000012 STOP RUN.
```

C3091.cob 11: JMN3091I-S 部分参照された項目は、UNSTRING文の送出し側項目に指定できません。

2.5.75 JMN3092I-S

UNSTRING文の@1@指定の一意名@2@のUSAGEは、DISPLAYでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : DELIMITED,INTO,DELIMITER
@2@ : 一意名の名標

例題

```
[C3092.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3092.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC X(10).
000007 01 B PIC 9(3) PACKED-DECIMAL.
000008 01 C PIC X(4).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011 UNSTRING A DELIMITED BY B INTO C.
000012 STOP RUN.
```

C3092.cob 11: JMN3092I-S UNSTRING文のDELIMITED指定の一意名'B'のUSAGEは、DISPLAYでなければなりません。

2.5.76 JMN3095I-S

UNSTRING文のINTO指定の一意名@1@は、英数字編集項目、数字編集項目、日本語編集項目またはPICTURE句の文字列中に'P'を含む数字項目であってはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標

例題

```
[C3095.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3095.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
```

```

000006 01 A PIC X(10).
000007 01 B PIC XX.
000008 01 C PIC ZZZ,ZZZ.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011 UNSTRING A DELIMITED BY B INTO C.
000012 STOP RUN.

```

C3095.cob 11: JMN3095I-S UNSTRING文のINTO指定の一意名'C'は、英数字編集項目、数字編集項目、日本語編集項目またはPICTURE句の文字列中に'P'を含む数字項目であってはなりません。

2.5.77 JMN3097I-S

UNSTRING文の@1@指定の一意名@2@は、整数項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : COUNT, POINTER, TALLYING
 @2@ : 一意名の名標

例題

```

[C3097.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3097.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC X(10).
000007 01 B PIC XX.
000008 01 C PIC X(4).
000009 01 D PIC 9(3)V9 BINARY.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 P-START.
000012 UNSTRING A DELIMITED BY B INTO C POINTER D.
000013 STOP RUN.

```

C3097.cob 12: JMN3097I-S UNSTRING文のPOINTER指定の一意名'D'は、整数項目でなければなりません。

2.5.78 JMN3098I-S

UNSTRING文で、送出し側、DELIMITED BY指定、INTO指定またはDELIMITER IN指定の作用対象のいずれかの項類が日本語ならば、これらすべての項類は日本語で、かつ同じエンコードでなければなりません。

例題

```

[C3098.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3098.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC N(10).
000007 01 B PIC XX.
000008 01 C PIC N(4).
000009 01 D PIC XX.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 P-START.
000012 UNSTRING A DELIMITED BY B INTO C DELIMITER IN D.
000013 STOP RUN.

```

C3098.cob 12: JMN3098I-S UNSTRING文で、送出し側、DELIMITED BY指定、INTO指定またはDELIMITER IN指定の作用対象のいずれかの項類が日本語ならば、これらすべての項類は日本語で、かつ同じエンコードでなければなりません。

2.5.79 JMN3105I-S

CORRESPONDING指定のある@1@文で、名標の対応のとれた項目@2@が一意ではありません。

埋め込みの説明

@1@ : ADD/SUBTRACT/MOVE
@2@ : 一意名

例題

```
[C3105.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3105.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 S.
000007     02 B PIC X(5).
000008     02 C.
000009         03 B PIC X(1).
000010     02 D PIC X(5).
000011 01 R.
000012     02 B PIC X(5).
000013     02 D PIC X(5).
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015 P-START.
000016     MOVE CORRESPONDING S TO R.
000017     STOP RUN.
```

C3105.cob 16: JMN3105I-S CORRESPONDING指定のあるMOVE文で、名標の対応のとれた項目'B'が一意ではありません。

2.5.80 JMN3107I-S

STRING文の@1@指定の作用対象@2@のUSAGEは、**DISPLAY**でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : DELIMITED/INTO
@2@ : 一意名の名標

例題

```
[C3107.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3107.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 AN-1 PIC X(6).
000006 01 AN-2 PIC 9(2) BINARY.
000007 01 AN-3 PIC X(10).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010     STRING AN-1 DELIMITED BY AN-2 INTO AN-3.
000011     STRING AN-1 DELIMITED BY SIZE INTO AN-2.
000012     STOP RUN.
```

C3107.cob 10: JMN3107I-S STRING文のDELIMITED指定の作用対象'AN-2'のUSAGEは、**DISPLAY**でなければなりません。

C3107.cob 11: JMN3107I-S STRING文のINTO指定の作用対象'AN-2'のUSAGEは、**DISPLAY**でなければなりません。

2.5.81 JMN3108I-S

STRING文の受取り側項目に、部分参照された項目は指定できません。

例題

```
[C3108.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3108.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 AN-1 PIC X(6).
000006 01 AN-2 PIC X(10).
000007 01 I PIC 9 BINARY.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010 STRING AN-1 DELIMITED BY "1" INTO AN-2(I : I).
000011 STOP RUN.
```

C3108.cob 10: JMN3108I-S STRING文の受取り側項目に、部分参照された項目は指定できません。

2.5.82 JMN3109I-S

STRING文の@1@指定の項目@2@は、整数項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : POINTER
@2@ : 一意名の名標

例題

```
[C3109.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3109.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 AN-1 PIC X(6).
000006 01 AN-2 PIC X(10).
000007 01 PTR PIC 99V9.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010 STRING AN-1 DELIMITED BY "1" INTO AN-2 POINTER PTR.
000011 STOP RUN.
```

C3109.cob 10: JMN3109I-S STRING文のPOINTER指定の項目'PTR'は、整数項目でなければなりません。

2.5.83 JMN3110I-S

STRING文の受取り側項目は、英数字編集項目、数字編集項目または日本語編集項目であってはなりません。

例題

```
[C3110.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3110.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 AN-1 PIC X(6) VALUE "STRING".
000006 01 AN-2 PIC ZZ9.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 STRING AN-1 DELIMITED BY "1" INTO AN-2.
000010 STOP RUN.
```

C3110.cob 9: JMN3110I-S STRING文の受取り側項目は、英数字編集項目、数字編集項目または日本語編集項目であってはなりません。

2.5.84 JMN3111I-S

STRING文で、送出し側、DELIMITED BY指定またはINTO指定の作用対象のいずれかの項類が日本語ならば、これらすべての作用対象の項類は日本語で、かつ同じエンコードでなければなりません。

例題

```
[C3111.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3111.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 AN-1 PIC X(6) VALUE "STRING".
000006 01 AN-2 PIC X(10).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 STRING AN-1 DELIMITED BY N"あ" INTO AN-2.
000010 STOP RUN.
```

C3111.cob 9: JMN3111I-S STRING文で、送出し側、DELIMITED BY指定またはINTO指定の作用対象のいずれかの項類が日本語ならば、これらすべての作用対象の項類は日本語で、かつ同じエンコードでなければなりません。

2.5.85 JMN3116I-S

@1@@2@は、OPEN文の@3@指定に記述できません。

埋め込みの説明

@1@ : 編成種別
@2@ : ファイル名
@3@ : 'INPUT', 'OUTPUT', 'I-O', 'EXTEND'

例題

```
[C3116.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3116.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT FILE-1 LINE SEQUENTIAL ASSIGN TO PS-SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD FILE-1.
000010 01 REC-1 PIC X(80).
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012 OPEN I-O FILE-1.
000013 STOP RUN.
```

C3116.cob 12: JMN3116I-S 行順ファイル'FILE-1'は、OPEN文のI-O指定に記述できません。

2.5.86 JMN3117I-S

LINAGE句指定のあるファイル@1@は、OPEN文のEXTEND指定に記述できません。

埋め込みの説明

@1@ : ファイル名

例題

```
[C3117.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3117.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO S-SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD FILE-1 LINAGE IS 50 LINES.
000010     01 REC-1 PIC X(80).
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012     OPEN EXTEND FILE-1.
000013     STOP RUN.
```

C3117.cob 12: JMN3117I-S LINAGE句指定のあるファイル'FILE-1'は、OPEN文のEXTEND指定に記述できません。

2.5.87 JMN3119I-S

@1@指定は、FORMAT句付き印刷ファイル以外の順ファイルにだけ指定できます。

埋め込みの説明

@1@ : 'REVERSED', 'WITH NO REWIND', 'FOR REMOVAL'

例題

```
[C3119.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3119.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     ACCESS MODE IS RANDOM
000009     RECORD KEY IS KEY-REC.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD FILE-1.
000013     01 REC-1.
000014     02 KEY-REC PIC XX.
000015     02 FILLER PIC X(78).
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017     OPEN INPUT FILE-1 REVERSED.
000018     STOP RUN.
```

C3119.cob 17: JMN3119I-S REVERSED指定は、FORMAT句付き印刷ファイル以外の順ファイルにだけ指定できます。

2.5.88 JMN3121I-S

@1@指定は、FORMAT句付きの印刷ファイル以外の順ファイルにだけ記述できます。@1@指定は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 'REEL', 'UNIT'

例題

```
[C3121.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3121.
```

```

000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     ACCESS MODE IS RANDOM
000009     RECORD KEY IS KEY-REC.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD FILE-1.
000013     01 REC-1.
000014     02 KEY-REC PIC XX.
000015     02 FILLER PIC X(78).
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017     CLOSE FILE-1 REEL.
000018     STOP RUN.

```

C3121.cob 17: JMN3121I-S REEL指定は、FORMAT句付きの印刷ファイル以外の順ファイルにだけ記述できます。REEL指定は、無効になります。

2.5.89 JMN3123I-S

MERGE文のUSING指定またはGIVING指定に、同じファイルを2回以上指定できません。ファイル@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : ファイル名

例題

```

[C3123.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3123.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO DA-S-SYS001.
000007     SELECT FILE-2 ASSIGN TO DA-S-SYS002.
000008     SELECT FILE-3 ASSIGN TO DA-S-SYS003.
000009     SELECT FILE-4 ASSIGN TO DA-S-SYS004.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 SD FILE-1.
000013     01 REC-1.
000014     02 KEY-1 PIC XX.
000015     02 FILLER PIC X(78).
000016 FD FILE-2 LABEL RECORD STANDARD.
000017     01 REC-2 PIC X(80).
000018 FD FILE-3 LABEL RECORD STANDARD.
000019     01 REC-3 PIC X(80).
000020 FD FILE-4 LABEL RECORD STANDARD.
000021     01 REC-4 PIC X(80).
000022 PROCEDURE DIVISION.
000023     MERGE FILE-1 ON ASCENDING KEY KEY-1
000024     USING FILE-2 FILE-2
000025     GIVING FILE-4.
000026     STOP RUN.

```

C3123.cob 24: JMN3123I-S MERGE文のUSING指定またはGIVING指定に、同じファイルを2回以上指定できません。ファイルFILE-2'は、無効になります。

2.5.90 JMN3124I-S

CHARACTER TYPE句または**PRINTING POSITION**句指定のあるレコード記述項を持つファイルは、**@2@**文の**USING**または**GIVING**指定に記述できません。ファイル名**@1@**は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : ファイル名
@2@ : 'SORT', 'MERGE'

例題

```
[C3124.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3124.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1  ASSIGN TO DA-S-SYS001.
000007     SELECT FILE-2  ASSIGN TO DA-S-SYS002.
000008     SELECT FILE-3  ASSIGN TO DA-S-SYS003.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 SD FILE-1 LABEL RECORD IS STANDARD.
000012     01 REC-1.
000013     02 KEY-REC PIC XX.
000014     02 FILLER PIC X(78).
000015 FD FILE-2 LABEL RECORD IS STANDARD.
000016     01 REC-2 PIC N(40) CHARACTER TYPE IS MODE-2.
000017 FD FILE-3 LABEL RECORD IS STANDARD.
000018     01 REC-3 PIC X(80).
000019 PROCEDURE DIVISION.
000020     SORT FILE-1 ON ASCENDING KEY KEY-REC
000021         USING FILE-2
000022         GIVING FILE-3.
000023     STOP RUN.
```

C3124.cob 21: JMN3124I-S CHARACTER TYPE句またはPRINTING POSITION句指定のあるレコード記述項を持つファイルは、SORT文のUSINGまたはGIVING指定に記述できません。ファイル名'FILE-2'は、無効になります。

2.5.91 JMN3127I-S

FROM指定の作用対象**@1@**とレコード名**@2@**は、同じ領域を占有することはできません。

埋め込みの説明

@1@ : FROM指定の一意名
@2@ : レコード名

例題

```
[C3127.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3127.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1  ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD FILE-1.
000010     01 REC-1.
000011     02 REC-1-1 PIC XX.
```



```
000012    02 REC-1-2 PIC XX.
000013    02 FILLER PIC X(76).
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015    WRITE REC-1 FROM REC-1-2.
000016    STOP RUN.
```

C3127.cob 15: JMN3127I-S FROM指定の作用対象'REC-1-2'とレコード名'REC-1'は、同じ領域を占有することはできません。

2.5.92 JMN3128I-S

CONTROL AREA句は、通信ファイル以外に指定できません。

例題

```
[C3128.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3128.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO S-SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD FILE-1.
000010     01 REC-1 PIC X(80).
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012     01 CNTL-DATA PIC X(36).
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     WRITE REC-1 CONTROL AREA IS CNTL-DATA.
000015     STOP RUN.
```

C3128.cob 14: JMN3128I-S CONTROL AREA句は、通信ファイル以外に指定できません。

2.5.93 JMN3130I-S

LINAGE句指定のあるファイル@1@のWRITE文に、呼び名句指定のADVANCING指定を記述することはできません。BEFORE ADVANCING 1とみなされます。

埋め込みの説明

@1@ : ファイル名

例題

```
[C3130.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3130.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     CHANNEL-01 IS CHN-1.
000007 INPUT-OUTPUT SECTION.
000008 FILE-CONTROL.
000009     SELECT FILE-1 ASSIGN TO S-SYS001.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD FILE-1 LINAGE IS 50 LINES.
000013     01 REC-1 PIC X(121).
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     WRITE REC-1 AFTER ADVANCING CHN-1.
000016     STOP RUN.
```

C3130.cob 15: JMN3130I-S LINAGE句指定のあるファイル'FILE-1'のWRITE文に、呼び名句指定のADVANCING指定を記述することはできません。BEFORE ADVANCING 1とみなされます。

2.5.94 JMN3132I-S

ADVANCING指定は、順ファイル以外には記述できません。

例題

```
[C3132.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3132.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1  ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     ACCESS MODE IS RANDOM
000009     RECORD KEY IS KEY-REC.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD FILE-1.
000013     01 REC-1.
000014     02 KEY-REC PIC XX.
000015     02 FILLER PIC X(78).
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017     WRITE REC-1 AFTER ADVANCING 1.
000018     STOP RUN.
```

C3132.cob 17: JMN3132I-S ADVANCING指定は、順ファイル以外には記述できません。

2.5.95 JMN3135I-S

WRITE文のADVANCING指定の作用対象@1@は、整数項目でなければなりません。1行送りとみなされます。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

例題

```
[C3135.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3135.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1  ASSIGN TO S-SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD FILE-1.
000010     01 REC-1 PIC X(121).
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012     77 LCD-1 PIC XX.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     WRITE REC-1 AFTER ADVANCING LCD-1.
000015     STOP RUN.
```

C3135.cob 14: JMN3135I-S WRITE文のADVANCING指定の作用対象LCD-1は、整数項目でなければなりません。1行送りとみなされます。

2.5.96 JMN3136I-S

WRITE文のADVANCING指定の整数は、0以上32767以下でなければなりません。1行送りとみなされます。

例題

```
[C3136.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3136.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1  ASSIGN TO S-SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD  FILE-1.
000010     01 REC-1 PIC X(121).
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012     WRITE REC-1 AFTER ADVANCING 40000.
000013     STOP RUN.
```

C3136.cob 12: JMN3136I-S WRITE文のADVANCING指定の整数は、0以上32767以下でなければなりません。1行送りとみなされます。

2.5.97 JMN3141I-S

@1@指定は、@2@に記述できません。

埋め込みの説明

@1@ : 'AT EOP', 'NOT AT EOP', 'INVALID KEY', 'NOT INVALID KEY'

@2@ : 編成種別

例題

```
[C3141.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3141.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1  ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     ACCESS MODE IS RANDOM
000009     RECORD KEY IS KEY-REC.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD  FILE-1.
000013     01 REC-1.
000014     02 KEY-REC PIC XX.
000015     02 FILLER PIC X(78).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017     77 DATA-1 PIC XX.
000018 PROCEDURE DIVISION.
000019     WRITE REC-1 AT EOP GO TO L1.
000020     MOVE "AA" TO DATA-1.
000021     L1. STOP RUN.
```

C3141.cob 19: JMN3141I-S AT EOP指定は、索引ファイルに記述できません。

2.5.98 JMN3142I-S

@1@@2@は、REWRITE文に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : '表示ファイル', '図表ファイル'
@2@ : ファイル名

例題

```
[C3142.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3142.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1  ASSIGN TO GS-SYS001
000007     SYMBOLIC DESTINATION IS "PRT".
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD FILE-1.
000011     01 REC-1  PIC X(121).
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013     REWRITE REC-1.
000014     STOP RUN.
```

C3142.cob 13: JMN3142I-S 表示ファイル'FILE-1'は、REWRITE文に指定できません。

2.5.99 JMN3143I-S

NEXT指定は、乱呼出しのファイル@1@に記述できません。

埋め込みの説明

@1@ : ファイル名

例題

```
[C3143.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3143.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1  ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     ACCESS MODE IS RANDOM
000009     RECORD KEY IS KEY-REC.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD FILE-1.
000013     01 REC-1.
000014     02 KEY-REC PIC XX.
000015     02 FILLER PIC X(78).
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017     READ FILE-1 NEXT.
000018     STOP RUN.
```

C3143.cob 17: JMN3143I-S NEXT指定は、乱呼出しのファイル'FILE-1'に記述できません。

2.5.100 JMN3144I-S

INTO指定の作用対象@1@とレコード領域は、同じ領域を占有することはできません。

埋め込みの説明

@1@ : INTO指定の一意名

例題

```
[C3144.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3144.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009     FD FILE-1.
000010         01 REC-1.
000011             02 REC-1-S PIC X(80).
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013     READ FILE-1 INTO REC-1-S.
000014     STOP RUN.
```

C3144.cob 13: JMN3144I-S INTO指定の作用対象'REC-1-S'とレコード領域は、同じ領域を占有することはできません。

2.5.101 JMN3145I-S

READ文のKEY指定は、乱呼出しの索引ファイル以外のファイルに記述できません。KEY指定は、無効になります。

例題

```
[C3145.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3145.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     ACCESS MODE IS SEQUENTIAL
000009     RECORD KEY IS KEY-REC.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD FILE-1.
000013     01 REC-1.
000014         02 KEY-REC PIC XX.
000015         02 FILLER PIC X(78).
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017     READ FILE-1 KEY IS KEY-REC.
000018     STOP RUN.
```

C3145.cob 17: JMN3145I-S READ文のKEY指定は、乱呼出しの索引ファイル以外のファイルに記述できません。KEY指定は、無効になります。

2.5.102 JMN3146I-S

READ文のKEY指定のデータ項目@1@は、主レコードキーまたは副レコードキーとして記述しなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : KEY指定項目名

例題

```
[C3146.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3146.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     ACCESS MODE IS RANDOM
000009     RECORD KEY IS KEY-REC.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD FILE-1.
000013     01 REC-1.
000014     02 KEY-REC PIC XX.
000015     02 FILLER PIC X(78).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017     77 KEY-DATA PIC XX.
000018 PROCEDURE DIVISION.
000019     READ FILE-1 KEY IS KEY-DATA.
000020     STOP RUN.
```

C3146.cob 19: JMN3146I-S READ文のKEY指定のデータ項目は、主レコードキーまたは副レコードキーとして記述しなければなりません。

2.5.103 JMN3147I-S

@1@のファイル@2@のREAD文に、@3@指定を記述することはできません。

埋め込みの説明

@1@ : 呼び出し法
@2@ : ファイル名
@3@ : 'AT END', 'NOT AT END', 'INVALID KEY', 'NOT INVALID KEY'

例題

```
[C3147.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3147.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     ACCESS MODE IS RANDOM
000009     RECORD KEY IS KEY-REC.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD FILE-1.
000013     01 REC-1.
000014     02 KEY-REC PIC XX.
000015     02 FILLER PIC X(78).
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017     READ FILE-1 AT END GO TO L1.
000018     L1. STOP RUN.
```

C3147.cob 17: JMN3147I-S 乱呼出しのファイル'FILE-1'のREAD文に、AT END指定を記述することはできません。

2.5.104 JMN3148I-S

手続き名指定のないGO TO文は、ALTER文で参照しなければなりません。

例題

```
[C3148.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3148.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 PROCEDURE DIVISION.
000006 P-1.
000007     GO TO .
000008*
000009 END PROGRAM C3148.
```

C3148.cob 7: JMN3148I-S 手続き名指定のないGO TO文は、ALTER文で参照しなければなりません。

2.5.105 JMN3149I-S

GO TO DEPENDING ON文の一意名@1@は、整数項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

例題

```
[C3149.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3149.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     77 DP-CTR PIC XX.
000007     77 AA     PIC XX.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009     GO TO L1 L2 DEPENDING ON DP-CTR.
000010 L1. MOVE "AA" TO AA.
000011     GO TO L3.
000012 L2. MOVE "BB" TO AA.
000013 L3. STOP RUN.
```

C3149.cob 9: JMN3149I-S GO TO DEPENDING ON文の一意名'DP-CTR'は、整数項目でなければなりません。

2.5.106 JMN3150I-S

ALTER文で参照される段落@1@は、DEPENDING ON指定のないただ一つのGO TO文からなる完結文でなければなりません。文は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 段落名

例題

```
[C3150.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3150.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     77 AA PIC XXX.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     ALTER L1 TO L2.
```

```
000009 L1. MOVE "AAA" TO AA.
000010     GO TO L3.
000011 L2. MOVE "BBB" TO AA.
000012 L3. STOP RUN.
```

C3150.cob 8: JMN3150I-S ALTER文で参照される段落'L1'は、DEPENDING ON指定のないただ一つのGO TO文からなる完結文でなければなりません。文は、無効になります。

2.5.107 JMN3151I-S

算術式中の作用対象となる@1@は、@2@でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標/定数
@2@ : 数字項目/数字定数

例題

```
[C3151.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3151.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 9999.
000007 01 B PIC 9999.
000008 01 C PIC XXXX.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011     COMPUTE A = B + C.
000012     COMPUTE A = B + B"10101".
000013     STOP RUN.
```

C3151.cob 11: JMN3151I-S 算術式中の作用対象となる'C'は、数字項目でなければなりません。

C3151.cob 12: JMN3151I-S 算術式中の作用対象となる定数は、数字定数でなければなりません。

2.5.108 JMN3152I-S

ブール式中の作用対象となる@1@は、@2@でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標/定数
@2@ : ブール項目/ブール定数

例題

```
[C3152.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3152.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 1111.
000007 01 B PIC 9999.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010     COMPUTE A = NOT ( NOT B ).
000011     COMPUTE A = NOT ( NOT 12345 ).
000012     STOP RUN.
```

C3152.cob 10: JMN3152I-S ブール式中の作用対象となる'B'は、ブール項目でなければなりません。

C3152.cob 11: JMN3152I-S ブール式中の作用対象となる定数は、ブール定数でなければなりません。

2.5.109 JMN3153I-S

式中の括弧で囲まれている作用対象@1@は、数字項目またはブール項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標

例題

```
[C3153.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3153.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 9999.
000007 01 B PIC XXXX.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010 COMPUTE A = ( B ).
000011 STOP RUN.
```

C3153.cob 10: JMN3153I-S 式中の括弧で囲まれている作用対象'B'は、数字項目またはブール項目でなければなりません。

2.5.110 JMN3154I-S

添字または部分参照の括弧内のデータ名の@1@は、整数の@2@でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標/定数

@2@ : 数字項目/数字定数

例題

```
[C3154.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3154.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 9999.
000007 01 B.
000008 02 C PIC 9999 OCCURS 10 TIMES.
000009 01 I PIC 999V999.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 P-START.
000012 COMPUTE A = C ( I ) + 5.
000013 COMPUTE A = C ( 1.25 ) + 5.
000014 STOP RUN.
```

C3154.cob 12: JMN3154I-S 添字または部分参照の括弧内のデータ名の'I'は、整数の数字項目でなければなりません。

C3154.cob 13: JMN3154I-S 添字または部分参照の括弧内のデータ名の定数は、整数の数字定数でなければなりません。

2.5.111 JMN3157I-S

INITIALIZE文のREPLACING指定に有効となるデータ項目が一つもありません。

例題

```
[C3157.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3157.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC X(10).
000007 01 B PIC 99 VALUE 10.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010 INITIALIZE A REPLACING ALPHABETIC BY B.
000011 STOP RUN.
```

C3157.cob 10: JMN3036I-S INITIALIZE文のREPLACING指定で、'B'は、項類ALPHABETICの項目へ転記できる項類でなければなりません。

C3157.cob 10: JMN3157I-S INITIALIZE文のREPLACING指定に有効となるデータ項目が一つもありません。

2.5.112 JMN3158I-I

INITIALIZE文で、初期値が代入される項目が一つもありません。

例題

```
[C3158.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3158.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC X(10).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 INITIALIZE A REPLACING NUMERIC BY 1
000010 ALPHABETIC BY "A".
000011 STOP RUN.
```

C3158.cob 9: JMN3158I-I INITIALIZE文で、初期値が代入される項目が一つもありません。

2.5.113 JMN3159I-S

EVALUATE文の選択主体に条件式を指定した場合、選択対象は、条件式、TRUE、FALSEまたはANYでなければなりません。

例題

```
[C3159.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3159.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC X(2).
000007 01 B PIC XX.
000008 01 X PIC X(2).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 EVALUATE A = B
000011 WHEN A
000012 MOVE 1 TO A.
000013 STOP RUN.
```

C3159.cob 11: JMN3159I-S EVALUATE文の選択主体に条件式を指定した場合、選択対象は、条件式、TRUE、FALSEまたはANYでなければなりません。

2.5.114 JMN3160I-S

SEARCH ALL文の@1@のデータ記述には、KEY IS指定がなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

例題

```
[C3160.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3160.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GRP.
000007 02 TBL OCCURS 10 TIMES INDEXED BY INX.
000008 03 A PIC X.
000009 01 B PIC XX.
000010 01 X PIC X(2).
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012 SEARCH ALL TBL
000013 WHEN A(INX) = "Z"
000014 MOVE 1 TO B.
000015 STOP RUN.
```

C3160.cob 12: JMN3160I-S SEARCH ALL文の'TBL'のデータ記述には、KEY IS指定がなければなりません。

2.5.115 JMN3161I-S

SEARCH ALL文のWHEN指定の条件には、@1@のデータ記述のKEY IS指定に記述したデータ名がなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

例題

```
[C3161.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3161.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GRP1.
000007 02 TBL1 OCCURS 10 TIMES ASCENDING KEY IS K1
000008 INDEXED BY INX1.
000009 03 K1 PIC X.
000010 01 GRP2.
000011 02 TBL2 OCCURS 10 TIMES ASCENDING KEY IS K2
000012 INDEXED BY INX2.
000013 03 K2 PIC X.
000014 01 A PIC XX.
000015 01 B PIC X(2).
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017 SEARCH ALL TBL1
000018 WHEN K2(INX1) = "Y"
```

```
000019 MOVE 1 TO A.
000020 STOP RUN.
```

C3161.cob 18: JMN3161I-S SEARCH ALL文のWHEN指定の条件には、'TBL1'のデータ記述のKEY IS指定に記述したデータ名がなければなりません。

2.5.116 JMN3162I-S

SEARCH ALL文のWHEN指定の@1@に対する最下位次元の添字は、@2@の最初の指標名でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名
@2@ : 一意名

例題

```
[C3162.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3162.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GRP.
000007 02 TBL OCCURS 5 TIMES.
000008 03 TBL-2 OCCURS 5 TIMES ASCENDING KEY IS A
000009 INDEXED BY INX1 INX2.
000010 04 A PIC 9.
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012 SEARCH ALL TBL-2
000013 WHEN A(3, INX2) = 1
000014 STOP RUN.
```

C3162.cob 13: JMN3162I-S SEARCH ALL文のWHEN指定の'A'に対する最下位次元の添字は、'TBL-2'の最初の指標名でなければなりません。

2.5.117 JMN3163I-S

SEARCH ALL文のWHEN指定のデータ名または条件名は、KEY IS指定中でそれより前に記述されたデータ名または条件名をすべて指定しなければなりません。

例題

```
[C3163.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3163.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GRP.
000007 02 TBL OCCURS 10 TIMES ASCENDING KEY IS A B C
000008 INDEXED BY INX.
000009 03 A PIC 9.
000010 03 B PIC X.
000011 03 C PIC X.
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013 SEARCH ALL TBL
000014 WHEN C(INX) = "A"
000015 AND A(INX) = 9
000016 STOP RUN.
```

C3163.cob 14: JMN3163I-S SEARCH ALL文のWHEN指定のデータ名または条件名は、KEY IS指定中でそれより前に記述されたデータ名または条件名をすべて指定しなければなりません。

詳細な説明

SEARCH ALL文のWHEN指定の条件に、検索対象である表に指定されたKEY IS指定の全ての項目を含める必要はありません。しかしKEY IS指定に指定した順序において、途中を省略した形での指定は許されません。例えば「KEY IS A B C」の場合、WHEN指定の条件には「Aのみ」「AとB」「A, B, Cの全て」のいずれかの形でKEY項目を指定可能です。しかし「AとC」のような形では指定できません。

2.5.118 JMN3164I-S

@1@ @2@に対して、DELETE文は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : 編成種別
@2@ : ファイル名

例題

```
[C3164.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3164.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO S-SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009     FD FILE-1.
000010     01 REC-1 PIC X(80).
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012     DELETE FILE-1.
000013     STOP RUN.
```

C3164.cob 12: JMN3164I-S 順ファイル'FILE-1'に対して、DELETE文は指定できません。

2.5.119 JMN3165I-S

順呼出しのファイル@1@の場合、@2@指定はDELETE文に記述できません。

埋め込みの説明

@1@ : ファイル名
@2@ : 'INVALID KEY', 'NOT INVALID KEY'

例題

```
[C3165.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3165.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO S-SYS001
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     ACCESS MODE IS SEQUENTIAL
000009     RECORD KEY IS REC-KEY.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012     FD FILE-1.
000013     01 REC-1.
```

```
000014 02 REC-KEY PIC XX.
000015 02 FILLER PIC XX.
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017 DELETE FILE-1 INVALID KEY GO TO L1.
000018 L1. STOP RUN.
```

C3165.cob 17: JMN3165I-S 順呼出しのファイル'FILE-1'の場合、INVALID KEY指定はDELETE文に記述できません。

2.5.120 JMN3166I-S

@1@の@2@@3@に対して、START文は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : アクセスモード
@2@ : 編成種別
@3@ : ファイル名

例題

```
[C3166.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3166.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT FILE-1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD FILE-1.
000010 01 REC-1 PIC X(80).
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012 START FILE-1.
000013 STOP RUN.
```

C3166.cob 12: JMN3166I-S 順呼出しの順ファイル'FILE-1'に対して、START文は指定できません。

2.5.121 JMN3169I-S

相対ファイルに対するSTART文のKEY指定には、RELATIVE KEY句で指定した項目以外は記述できません。

例題

```
[C3169.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3169.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT FILE-1 ASSIGN TO SYS001
000007 ORGANIZATION IS RELATIVE
000008 ACCESS MODE IS SEQUENTIAL
000009 RELATIVE KEY IS REL-KEY.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD FILE-1.
000013 01 REC-1 PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 77 REL-KEY PIC 99.
000016 77 KEY-DATA PIC XX.
000017 PROCEDURE DIVISION.
000018 START FILE-1 KEY IS = KEY-DATA.
000019 STOP RUN.
```

C3169.cob 18: JMN3169I-S 相対ファイルに対するSTART文のKEY指定には、RELATIVE KEY句で指定した項目以外は記述できません。

2.5.122 JMN3170I-S

索引ファイルを指定したSTART文のKEYに、RECORD KEY句またはALTERNATE RECORD KEY句で指定した項目またはそれに従属する項目以外は記述できません。

例題

```
[C3170.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3170.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     ACCESS MODE IS SEQUENTIAL
000009     RECORD KEY IS KEY-REC.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012     FD FILE-1.
000013         01 REC-1.
000014         02 KEY-REC PIC XX.
000015         02 FILLER PIC X(78).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017     77 KEY-DATA PIC XX.
000018 PROCEDURE DIVISION.
000019     START FILE-1 KEY IS = KEY-DATA.
000020     STOP RUN.
```

C3170.cob 19: JMN3170I-S 索引ファイルを指定したSTART文のKEYに、RECORD KEY句またはALTERNATE RECORD KEY句で指定した項目またはそれに従属する項目以外は記述できません。

2.5.123 JMN3175I-S

STRING文の送出し側の項目@1@のUSAGEは、DISPLAYでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標

例題

```
[C3175.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3175.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 AN-1 PIC 9(2) BINARY.
000006 01 AN-2 PIC X(6).
000007 01 AN-3 PIC X(10).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010     STRING AN-1 DELIMITED BY AN-2 INTO AN-3.
000011     STOP RUN.
```

C3175.cob 10: JMN3175I-S STRING文の送出し側の項目'AN-1'のUSAGEは、DISPLAYでなければなりません。

2.5.124 JMN3181I-S

SEARCH ALL文のWHEN指定またはAND指定の条件式中の左辺と右辺の両方にKEY項目は記述できません。

例題

```
[C3181.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3181.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GRP.
000007 02 TBL OCCURS 5 TIMES ASCENDING KEY IS A B
000008                                INDEXED BY IX.
000009 03 A PIC 9.
000010 03 B PIC 9.
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012 SEARCH ALL TBL
000013 WHEN A (IX) = B (IX)
000014 STOP RUN.
```

C3181.cob 13: JMN3181I-S SEARCH ALL文のWHEN指定またはAND指定の条件式中の左辺と右辺の両方にKEY項目は記述できません。

2.5.125 JMN3182I-W

一つのWRITE文に、ADVANCING PAGE指定とEND-OF-PAGE指定の両方は記述できません。そのまま受け入れられます。

例題

```
[C3182.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3182.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT FILE-1 ASSIGN TO S-SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD FILE-1 LINAGE IS 50 LINES.
000010 01 REC-1 PIC X(80).
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012 WRITE REC-1 AFTER ADVANCING PAGE AT EOP GO TO L1.
000013 L1. STOP RUN.
```

C3182.cob 12: JMN3182I-W 一つのWRITE文に、ADVANCING PAGE指定とEND-OF-PAGE指定の両方は記述できません。そのまま受け入れられます。

2.5.126 JMN3184I-S

CHARACTER TYPE句付きの日本語項目または日本語編集項目、あるいはPRINTING POSITION句付きの項目を含むファイルに対して、REWRITE文を指定できません。

例題

```
[C3184.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3184.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT FILE-1 ASSIGN TO S-SYS001.
000007 DATA DIVISION.
```



```
000008 FILE SECTION.
000009   FD FILE-1.
000010     01 REC-1.
000011       02 REC-1-1 PIC N(5) MODE-1.
000012       02 FILLER PIC X(70).
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     REWRITE REC-1.
000015 END PROGRAM C3184.
```

C3184.cob 14: JMN3184I-S CHARACTER TYPE句付きの日本語項目または日本語編集項目、あるいはPRINTING POSITION句付きの項目を含むファイルに対して、REWRITE文を指定できません。

2.5.127 JMN3188I-S

INSPECT文の検査対象項目@1@のUSAGEは、DISPLAYでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 検査対象項目名

例題

```
[C3188.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3188.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006   77 ID1 PIC S9(9) BINARY.
000007   77 CTR PIC 99.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009     INSPECT ID1 TALLYING CTR FOR CHARACTERS.
000010 END PROGRAM C3188.
```

C3188.cob 9: JMN3188I-S INSPECT文の検査対象項目'ID1'のUSAGEは、DISPLAYでなければなりません。

2.5.128 JMN3189I-S

INSPECT文のTALLYING指定の項目@1@は、数字項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 計数項目名

例題

```
[C3189.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3189.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006   77 ID1 PIC X(20).
000007   77 CTR PIC XX.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009     INSPECT ID1 TALLYING CTR FOR CHARACTERS.
000010 END PROGRAM C3189.
```

C3189.cob 9: JMN3189I-S INSPECT文のTALLYING指定の項目'CTR'は、数字項目でなければなりません。

2.5.129 JMN3190I-S

INSPECT文にCHARACTERS指定を記述する場合、被置換文字および範囲指定文字の長さは1字でなければなりません。文は、無効になります。

例題

```
[C3190.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3190.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 77 ID1 PIC X(20).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 INSPECT ID1 REPLACING CHARACTERS BY "01".
000009 END PROGRAM C3190.
```

C3190.cob 8: JMN3190I-S INSPECT文にCHARACTERS指定を記述する場合、被置換文字および範囲指定文字の長さは1字でなければなりません。文は、無効になります。

2.5.130 JMN3191I-S

INSPECT文にREPLACING指定を記述する場合、置換文字と被置換文字の項目長は、同じでなければなりません。

例題

```
[C3191.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3191.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 77 ID1 PIC X(20).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 INSPECT ID1 REPLACING ALL "0" BY "11".
000009 END PROGRAM C3191.
```

C3191.cob 8: JMN3191I-S INSPECT文にREPLACING指定を記述する場合、置換文字と被置換文字の項目長は、同じでなければなりません。

2.5.131 JMN3192I-S

INSPECT文にCONVERTING指定を記述する場合、変換文字と被変換文字の項目長は、被変換文字が日本語項目または日本語編集項目のとき65536以下、それ以外のとき256以下でなければなりません。

例題

```
[C3192.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3192.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 77 ID1 PIC X(400).
000007 77 CV-CHAR1 PIC X(300).
000008 77 CV-CHAR2 PIC X(300).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 INSPECT ID1 CONVERTING CV-CHAR1 TO CV-CHAR2.
000011 END PROGRAM C3192.
```

C3192.cob 10: JMN3192I-S INSPECT文にCONVERTING指定を記述する場合、変換文字と被変換文字の項目長は、被変換文字が日本語項目または日本語編集項目のとき65536以下、それ以外のとき256以下でなければなりません。

C3192.cob 10: JMN3192I-S INSPECT文にCONVERTING指定を記述する場合、変換文字と被変換文字の項目長は、被変換文字が日本語項目または日本語編集項目のとき65536以下、それ以外のとき256以下でなければなりません。

2.5.132 JMN3193I-S

INSPECT文にCONVERTING指定を記述する場合、変換文字と被変換文字の項目長は等しくなければなりません。

例題

```
[C3193.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3193.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 77 ID1 PIC X(20).
000007 77 CV-CHAR1 PIC XX.
000008 77 CV-CHAR2 PIC X.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 INSPECT ID1 CONVERTING CV-CHAR1 TO CV-CHAR2.
000011 END PROGRAM C3193.
```

C3193.cob 10: JMN3193I-S INSPECT文にCONVERTING指定を記述する場合、変換文字と被変換文字の項目長は等しくなければなりません。

2.5.133 JMN3194I-S

INSPECT文内のTALLYING指定の項目を除く項目と検査対象項目の組合せは、両方とも日本語項目または日本語編集項目か、あるいは両方とも日本語項目および日本語編集項目以外でなければなりません。

例題

```
[C3194.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3194.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 77 ID1 PIC X(20).
000007 77 REP-CHAR PIC N.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 INSPECT ID1 REPLACING CHARACTERS BY REP-CHAR.
000010 END PROGRAM C3194.
```

C3194.cob 9: JMN3194I-S INSPECT文内のTALLYING指定の項目を除く項目と検査対象項目の組合せは、両方とも日本語項目または日本語編集項目か、あるいは両方とも日本語項目および日本語編集項目以外でなければなりません。

2.5.134 JMN3195I-S

INSPECT文の検査対象およびTALLYING指定の項目を除く項目のUSAGEは、DISPLAYでなければなりません。

例題

```
[C3195.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3195.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 TAL-CHAR PIC S99 BINARY.
000007 77 ID1 PIC X(20).
000008 77 CTR PIC 99 PACKED-DECIMAL.
```

```
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010     INSPECT ID1 TALLYING CTR FOR ALL TAL-CHAR.
000011 END PROGRAM C3195.
```

C3195.cob 10: JMN3195I-S INSPECT文の検査対象およびTALLYING指定の項目を除く項目のUSAGEは、DISPLAYでなければなりません。

2.5.135 JMN3196I-S

@1@@2@は、CALL文のUSING指定に記述できません。

埋め込みの説明

@1@ : 編成種別
@2@ : ファイル名

例題

```
[C3196.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3196.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE001 ASSIGN SYS010-DA-OUTFILE
000007             ORGANIZATION IS RELATIVE
000008             ACCESS MODE IS SEQUENTIAL.
000009 DATA          DIVISION.
000010 FILE           SECTION.
000011 FD  FILE001  LABEL RECORD STANDARD.
000012 01  LINE-REC      PIC X(77).
000013 01  CTL-REC      PIC X(61).
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     OPEN OUTPUT FILE001.
000016     CALL "EXTPROG" USING BY CONTENT FILE001.
000017     CLOSE FILE001.
000018 END PROGRAM  C3196.
```

C3196.cob 16: JMN3196I-S 相対ファイル'FILE001'は、CALL文のUSING指定に記述できません。

2.5.136 JMN3198I-S

SEARCH ALL文の@1@は、部分参照できません。

埋め込みの説明

@1@ : キーデータ項目

例題

```
[C3198.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3198.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 DATA  DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01  GR.
000007 02  TBL OCCURS 10 TIMES ASCENDING KEY IS KEY-1
000008             INDEXED BY INX.
000009 03  KEY-1  PIC X(5).
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011     SEARCH ALL TBL
```

```
000012 WHEN KEY-1(INX) (1 : 3) = "AAA"  
000013 STOP RUN.
```

C3198.cob 12: JMN3198I-S SEARCH ALL文の'KEY-1'は、部分参照できません。

2.5.137 JMN3199I-S

INSPECT文内のTALLYING指定の項目を除く項目と検査対象項目のエンコードは、一致していなければなりません。

例題

```
000001 @OPTIONS ENCODE (UTF8, UTF16, LE)  
000002 IDENTIFICATION DIVISION.  
000003 PROGRAM-ID. C3199.  
000004 ENVIRONMENT DIVISION.  
000005 CONFIGURATION SECTION.  
000006 SPECIAL-NAMES.  
000007     ALPHABET U16L FOR NATIONAL UTF16LE  
000008     ALPHABET U32L FOR NATIONAL UTF32LE  
000009  
000010 DATA DIVISION.  
000011 WORKING-STORAGE SECTION.  
000012 77 ID1 PIC N ENCODING U16L.  
000013 77 REP-CHAR PIC N ENCODING U32L.  
000014 PROCEDURE DIVISION.  
000015     INSPECT ID1 REPLACING CHARACTERS BY REP-CHAR.  
000016 END PROGRAM C3199.
```

C3199.cob 15: JMN3199I-S INSPECT文内のTALLYING指定の項目を除く項目と検査対象項目のエンコードは、一致していなければなりません。

2.5.138 JMN3200I-S

@1@の@2@@3@は、OPEN文の@4@指定に記述できません。

埋め込みの説明

@1@ : 呼出し法
@2@ : 編成種別
@3@ : ファイル名
@4@ : 'INPUT', 'OUTPUT', 'I-O', 'EXTEND'

例題

```
[C3200.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C3200.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.  
000005 FILE-CONTROL.  
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO SYS001  
000007     ORGANIZATION IS INDEXED  
000008     ACCESS MODE IS RANDOM  
000009     RECORD KEY IS KEY-REC.  
000010 DATA DIVISION.  
000011 FILE SECTION.  
000012     FD FILE-1.  
000013         01 REC-1.  
000014         02 KEY-REC PIC XX.  
000015         02 FILLER PIC X(78).  
000016 PROCEDURE DIVISION.
```

```
000017 OPEN EXTEND FILE-1.
000018 STOP RUN.
```

C3200.cob 17: JMN3200I-S 乱呼出しの索引ファイル'FILE-1'は、OPEN文のEXTEND指定に記述できません。

2.5.139 JMN3202I-S

@1@文に、一つのファイル@2@を重複して指定することはできません。最初の指定だけが受け入れられます。

埋め込みの説明

@1@ : 'OPEN', 'CLOSE'
@2@ : ファイル名

例題

```
[C3202.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3202.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT FILE-2 ASSIGN TO SYS002.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010     FD FILE-1.
000011     01 REC-1 PIC X(80).
000012     FD FILE-2.
000013     01 REC-2 PIC X(80).
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     OPEN INPUT FILE-1 FILE-2
000016             OUTPUT FILE-1.
000017     STOP RUN.
```

C3202.cob 16: JMN3202I-S OPEN文に、一つのファイル'FILE-1'を重複して指定することはできません。最初の指定だけが受け入れられます。

2.5.140 JMN3203I-I

(CONF)同一ファイルに対して、ADVANCING指定のあるWRITE文と指定のないWRITE文が混在しています。ADVANCING指定のないWRITE文は、AFTER ADVANCING 1として受け入れられます。

例題

```
[C3203.cob]
000001 @OPTIONS CONF(68)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3203.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT FILE-1 ASSIGN TO S-SYS001.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010     FD FILE-1.
000011     01 REC-1 PIC X(80).
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013     WRITE REC-1.
000014     WRITE REC-1 AFTER ADVANCING 1 LINE.
000015     STOP RUN.
```

C3203.cob 13: JMN3203I-I (CONF)同一ファイルに対して、ADVANCING指定のあるWRITE文と指定のないWRITE文が混在しています。ADVANCING指定のないWRITE文は、AFTER ADVANCING 1として受け入れられます。

2.5.141 JMN3207I-I

(CONF)UNSTRING文で、ALL指定ありのDELIMITED BY指定とDELIMITER IN指定の両方が記述されています。UNSTRING文の送出し側項目中に区切り文字の並びが存在しても、DELIMITER IN指定の項目には、その1回分の区切り文字が転記されるだけです。

例題

```
[C3207.cob]
000001 @OPTIONS CONF (68)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3207.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 A PIC X(10) VALUE "ABC/*/*DEF".
000008 01 B PIC X(5).
000009 01 C PIC X(5).
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 P-START.
000012 UNSTRING A DELIMITED BY ALL "/"*
000013 INTO B DELIMITER IN C.
```

C3207.cob 12: JMN3337I-I (CONF)UNSTRING文において、添字または部分参照子の評価は、文の実行直前に1回だけ行われます。

C3207.cob 12: JMN3207I-I (CONF)UNSTRING文で、ALL指定ありのDELIMITED BY指定とDELIMITER IN指定の両方が記述されています。UNSTRING文の送出し側項目中に区切り文字の並びが存在しても、DELIMITER IN指定の項目には、その1回分の区切り文字が転記されるだけです。

2.5.142 JMN3218I-S

相対ファイル@1@には、RELATIVE KEY句を指定しなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : ファイル名

例題

```
[C3218.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3218.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT FILE-1 ASSIGN TO SYS001
000007 ORGANIZATION IS RELATIVE
000008 ACCESS MODE IS SEQUENTIAL.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 FD FILE-1.
000012 01 REC-1 PIC X(80).
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014 OPEN INPUT FILE-1.
000015 START FILE-1.
000016 CLOSE FILE-1.
000017 STOP RUN.
```

C3218.cob 15: JMN3218I-S 相対ファイル'FILE-1'には、RELATIVE KEY句を指定しなければなりません。

2.5.143 JMN3219I-I

(CONF)PERFORM文の一意名の増加の順序は次のとおりです。まず、VARYING指定の一意名にBY指定の現在値を加えます。次に、AFTER指定の一意名をFROM指定の現在値に等しくします。

例題

```
[C3219.cob]
000001 @OPTIONS CONF(74)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3219.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 A PIC 9(2) BINARY.
000008 01 B PIC 9(2) BINARY.
000009 01 C PIC 9(2) BINARY.
000010 01 X PIC 9(2) BINARY.
000011 01 Y PIC 9(2) BINARY.
000012 01 Z PIC 9(2) BINARY.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014 PERFORM L1 VARYING A FROM B BY C UNTIL A = B
000015 AFTER X FROM Y BY Z UNTIL X = Y.
000016 L1.
000017 STOP RUN.
```

C3219.cob 15: JMN3219I-I (CONF)PERFORM文の一意名の増加の順序は次のとおりです。まず、VARYING指定の一意名にBY指定の現在値を加えます。次に、AFTER指定の一意名をFROM指定の現在値に等しくします。

2.5.144 JMN3222I-I

(CONF)ALPHABETIC検査を指定しています。データ項目に英小文字が含まれていても、字類は英字となります。

例題

```
[C3222.cob]
000001 @OPTIONS CONF(74)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3222.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 A PIC AA.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 IF A IS ALPHABETIC DISPLAY "CONF-OK"
000010 ELSE DISPLAY "CONF-NG".
000011 STOP RUN.
```

C3222.cob 9: JMN3222I-I (CONF)ALPHABETIC検査を指定しています。データ項目に英小文字が含まれていても、字類は英字となります。

2.5.145 JMN3223I-I

(CONF)CORRESPONDING指定のある@1@文で、FILLER項目に従属する項目が対応しています。対応がとれたものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : MOVE, ADD, SUBTRACT

2.5.146 JMN3226I-I

(CONF)小数点の左側に'P'を持つ数字項目@1@を文字作用対象と比較しています。小数点の左側に'P'を持たない数字項目とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

例題

```
[C3226.cob]
000001 @OPTIONS CONF(74),LANGVL(85)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3226.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 A PIC 999PP.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 MOVE 12345 TO A.
000010 IF "123" = A THEN
000011 DISPLAY "CONF-OK"
000012 ELSE
000013 DISPLAY "CONF-NG"
000014 END-IF
000015 END PROGRAM C3226.
```

C3226.cob 9: JMN333II-W MOVE文の数字定数からP付き数字項目'A'への転記は、数字項目のPに対応する部分の文字位置の値が反映されません。

C3226.cob 10: JMN3226I-I (CONF)小数点の左側に'P'を持つ数字項目'A'を文字作用対象と比較しています。小数点の左側に'P'を持たない数字項目とみなします。

2.5.147 JMN3229I-S

CHARACTER TYPE指定またはPRINTING POSITION指定が記述された項目を含む項目@1@をWRITE文のFROM指定に記述する場合、部分参照してはいけません。

埋め込みの説明

@1@ : FROM指定の一意名

例題

```
[C3229.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3229.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT FILE-1 ASSIGN TO S-SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD FILE-1.
000010 01 REC-1 PIC X(80).
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 DATA-1.
000013 02 DATA-1-1 PIC X(10).
000014 02 DATA-1-2 PIC N(10) CHARACTER TYPE IS MODE-1.
000015 77 NN1 PIC 99.
000016 77 NN2 PIC 99.
000017 PROCEDURE DIVISION.
000018 OPEN OUTPUT FILE-1.
000019 WRITE REC-1 FROM DATA-1(NN1:NN2).
```

```
000020 CLOSE FILE-1.
000021 STOP RUN.
```

C3229.cob 19: JMN3229I-S CHARACTER TYPE指定またはPRINTING POSITION指定が記述された項目を含む項目'DATA-1'をWRITE文のFROM指定に記述する場合、部分参照してはいけません。

2.5.148 JMN3231I-S

@1@(@2@)と@3@(@4@)との比較は、許されない組合せの比較です。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標,特殊レジスタの名標
@2@ : 属性
@3@ : 一意名の名標, 特殊レジスタの名標
@4@ : 属性

例題

```
[C3231.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3231.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC N(10).
000007 01 B PIC X(20).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010 IF A = B STOP RUN.
```

C3231.cob 10: JMN3231I-S 'A'(日本語)と'B'(英数字)との比較は、許されない組合せの比較です。

2.5.149 JMN3236I-S

@1@文の@2@指定に記述されたファイル@3@のレコード長は、整列併合用ファイルの最大レコード長以下であり、かつ最小レコード長以上でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : SORT/MERGE
@2@ : USING/GIVING
@3@ : ファイル名

例題

```
[C3236.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3236.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT US-FILE ASSIGN TO SYS001-DA-S-SYS001.
000007 SELECT GV-FILE ASSIGN TO SYS002-DA-S-SYS002.
000008 SELECT SD-FILE ASSIGN TO SYS003-DA-S-SYS003.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 FD US-FILE.
000012 01 US-REC1 PIC X(100).
000013 FD GV-FILE.
000014 01 GV-REC1 PIC X(75).
000015 SD SD-FILE.
000016 01 SD-REC.
```

```

000017    02 SD-KEY1    PIC X(5).
000018    02 FILLER     PIC X(75).
000019 PROCEDURE DIVISION.
000020     SORT SD-FILE  ASCENDING KEY SD-KEY1
000021         USING    US-FILE
000022         GIVING   GV-FILE.
000023     STOP RUN.

```

C3236.cob 20: JMN3236I-S SORT文のUSING指定に記述されたファイル'US-FILE'のレコード長は、整列併合用ファイルの最大レコード長以下であり、かつ最小レコード長以上でなければなりません。

2.5.150 JMN3238I-S

@1@文のKEY指定に記述されたデータ項目@2@は、外部ブール項目および内部ブール項目以外の添字付けのない固定長データでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : SORT/MERGE
 @2@ : 一意名

2.5.151 JMN3240I-S

@1@と@2@(@3@)との比較は、許されない組合せの比較です。

埋め込みの説明

@1@ : “算術式”, “数字定数”, “文字定数”, 各表意定数の名標, “日本語定数”, “ブール定数”
 @2@ : 一意名の名標, 特殊レジスタの名標, 指標名の名標
 @3@ : 属性

例題

```

[C3240.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3240.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC S9(3) PACKED-DECIMAL.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 IF "AB" = A STOP RUN.

```

C3240.cob 9: JMN3240I-S 文字定数と'A'(内部10進)との比較は、許されない組合せの比較です。

2.5.152 JMN3241I-S

@1@(@2@)と@3@との比較は、許されない組合せの比較です。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標, 特殊レジスタの名標, 指標名の名標
 @2@ : 属性
 @3@ : “算術式”, “数字定数”, “文字定数”, 各表意定数の名標, “日本語定数”, “ブール定数”

例題

```

[C3241.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3241.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.

```

```
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01 A PIC S9(3) PACKED-DECIMAL.  
000007 PROCEDURE DIVISION.  
000008 P-START.  
000009 IF A = "AB" STOP RUN.
```

C3241.cob 9: JMN3241I-S 'A'(内部10進)と文字定数との比較は、許されない組合せの比較です。

2.5.153 JMN3242I-S

@1@と@2@(@3@)との比較は、許されない組合せの比較です。

埋め込みの説明

@1@ : 数字定数,文字定数,日本語定数,ZERO(S,ES),QUOTE(S)
@2@ : 一意名の名標,特殊レジスタの名標
@3@ : 属性

例題

```
[C3242.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C3242.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 DATA DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01 A PIC N(10).  
000007 PROCEDURE DIVISION.  
000008 P-START.  
000009 IF "AB" = A STOP RUN.
```

C3242.cob 9: JMN3242I-S 文字定数と'A'(日本語)との比較は、許されない組合せの比較です。

2.5.154 JMN3243I-S

@1@(@2@)と@3@との比較は、許されない組合せの比較です。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標,特殊レジスタの名標
@2@ : 属性
@3@ : 数字定数,文字定数,日本語定数,ZERO(S,ES),QUOTE(S)

例題

```
[C3243.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C3243.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 DATA DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01 A PIC N(10).  
000007 PROCEDURE DIVISION.  
000008 P-START.  
000009 IF A = "AB" STOP RUN.
```

C3243.cob 9: JMN3243I-S 'A'(日本語)と文字定数との比較は、許されない組合せの比較です。

2.5.155 JMN3244I-S

@1@と@2@との比較は、許されない組合せの比較です。

埋め込みの説明

@1@ : "算術式", "文字定数", "日本語定数", "ブール定数", 各表意定数の名標(ZEROは除く)
@2@ : "算術式", "文字定数", "日本語定数", "ブール定数", 各表意定数の名標(ZEROは除く)

例題

```
[C3244.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3244.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC S9(3) PACKED-DECIMAL.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 IF A + 10 = "AB" STOP RUN.
```

C3244.cob 9: JMN3244I-S 算術式と文字定数との比較は、許されない組合せの比較です。

2.5.156 JMN3245I-W

算術式中でゼロを負の整数乗しようとしています。ここでいうゼロとは、値ゼロの数字定数、表意定数ZERO、演算の中間結果において有効けたがすべて消失した場合のいずれかです。結果をゼロとして処理を続けます。

例題

```
[C3245.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3245.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC S99.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 COMPUTE A = 0 ** -5.
000009 END PROGRAM C3245.
```

C3245.cob 8: JMN3245I-W 算術式中でゼロを負の整数乗しようとしています。ここでいうゼロとは、値ゼロの数字定数、表意定数ZERO、演算の中間結果において有効けたがすべて消失した場合のいずれかです。結果をゼロとして処理を続けます。

2.5.157 JMN3246I-W

整数乗の指数のけた数が9けたを超えています。下位9けたを指数として処理を続けます。

例題

```
[C3246.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3246.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC S9(18).
000007 01 B PIC S9(3).
000008 01 C PIC S9(12).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 COMPUTE A = B ** C.
000011 END PROGRAM C3246.
```

C3246.cob 10: JMN3246I-W 整数乗の指数のけた数が9けたを超えています。下位9けたを指数として処理を続けます。

2.5.158 JMN3248I-S

RECORD CONTAINS 0 CHARACTERS句を指定したファイル@1@は、OPEN文のOUTPUT指定に記述できません。

埋め込みの説明

@1@ : ファイル名

例題

```
[C3248.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3248.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 LINE SEQUENTIAL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009     FD FILE-1 RECORD CONTAINS 0 CHARACTERS.
000010     01 REC-1 PIC X(80).
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012     OPEN OUTPUT FILE-1.
000013     STOP RUN.
```

C3248.cob 12: JMN3248I-S RECORD CONTAINS 0 CHARACTERS句を指定したファイル'FILE-1'は、OPEN文のOUTPUT指定に記述できません。

2.5.159 JMN3249I-S

SEARCH ALL文のキー項目@1@および比較する対象は、ブール項目(定数)であってはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : データ名

例題

```
[C3249.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3249.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 TBL.
000007 02 X OCCURS 5 TIMES ASCENDING KEY IS A
000008             INDEXED BY IX1.
000009 03 A             PIC 9(2).
000010 01 B             PIC 1(2).
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012     SEARCH ALL X
000013     WHEN A(IX1) = B
000014     CONTINUE
000015     END-SEARCH.
000016 END PROGRAM C3249.
```

C3249.cob 13: JMN3249I-S SEARCH ALL文のキー項目'A'および比較する対象は、ブール項目(定数)であってはなりません。

2.5.160 JMN3250I-S

CORRESPONDING指定のある@1@文に、部分参照された項目は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : MOVE文, ADD文またはSUBTRACT文

例題

```
[C3250.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3250.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 AA.
000008     02 CC-1     PIC X(4).
000009     02 CC-2     PIC X(4).
000010 01 BB.
000011     02 CC-1     PIC X(4).
000012     02 CC-2     PIC X(4).
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014 P-START.
000015     ADD CORR AA(1:4) TO BB.
000016     STOP RUN.
```

C3250.cob 15: JMN3250I-S CORRESPONDING指定のあるADD文に、部分参照された項目は指定できません。

2.5.161 JMN3259I-S

@1@文に指定された整列併合用ファイルのレコード長は、@2@指定に記述されたファイル@3@の最大レコード長以下であり、かつ最小レコード長以上でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : SORT/MERGE
@2@ : USING/GIVING
@3@ : ファイル名

例題

```
[C3259.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3259.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT US-FILE  ASSIGN TO SYS001-DA-S-SYS001.
000007     SELECT GV-FILE  ASSIGN TO SYS002-DA-S-SYS002.
000008     SELECT SD-FILE  ASSIGN TO SYS003-DA-S-SYS003.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 FD  US-FILE.
000012 01 US-REC1  PIC X(80).
000013 FD  GV-FILE.
000014 01 GV-REC1  PIC X(75).
000015 SD  SD-FILE.
000016 01 SD-REC.
000017     02 SD-KEY1  PIC X(5).
000018     02 FILLER   PIC X(75).
000019 PROCEDURE DIVISION.
000020     SORT SD-FILE  ASCENDING KEY SD-KEY1
000021     USING  US-FILE
000022     GIVING  GV-FILE.
000023     STOP RUN.
```

C3259.cob 20: JMN3259I-S SORT文に指定された整列併合用ファイルのレコード長は、GIVING指定に記述されたファイル'GV-FILE'の最大レコード長以下であり、かつ最小レコード長以上でなければなりません。

2.5.162 JMN3262I-I

(CONF)LINAGE句指定のあるファイルに対して、ADVANCING指定のないWRITE文が指定されています。AFTER ADVANCING 1として受け入れられます。

例題

```
[C3262.cob]
000001 @OPTIONS CONF (V10)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3262.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT FILE-1  ASSIGN TO S-SYS001.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD  FILE-1 LINAGE IS 50 LINES.
000011     01 REC-1 PIC X(80).
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013     OPEN OUTPUT FILE-1.
000014     WRITE REC-1.
000015     WRITE REC-1.
000016     CLOSE FILE-1.
000017     STOP RUN.
```

C3262.cob 14: JMN3262I-I (CONF)LINAGE句指定のあるファイルに対して、ADVANCING指定のないWRITE文が指定されています。AFTER ADVANCING 1として受け入れられます。

C3262.cob 15: JMN3262I-I (CONF)LINAGE句指定のあるファイルに対して、ADVANCING指定のないWRITE文が指定されています。AFTER ADVANCING 1として受け入れられます。

2.5.163 JMN3264I-S

@1@文のGIVING指定に索引ファイル@2@が指定されたとき、KEY指定に記述されたデータ名@3@は、そのファイルの主レコードキーに関連付けられるデータ項目とそのレコード中で同じ文字位置を占めなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : SORT/MERGE
@2@ : ファイル名
@3@ : データ名

例題

```
[C3264.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3264.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SD-FILE  ASSIGN TO SYS001-DA-S-SYS001.
000007     SELECT US-FILE  ASSIGN TO SYS002-DA-S-SYS002.
000008     SELECT GV-FILE  ASSIGN TO SYS003
000009         ORGANIZATION      IS INDEXED
000010         RECORD            KEY IS RKEY-1
000011         ALTERNATE RECORD KEY IS AKEY-1
000012         ALTERNATE RECORD KEY IS AKEY-2
000013         ALTERNATE RECORD KEY IS AKEY-3
000014         ACCESS MODE      IS SEQUENTIAL.
```



```

000015 DATA DIVISION.
000016 FILE SECTION.
000017 FD  US-FILE.
000018 01 US-REC1  PIC X(80).
000019 FD  GV-FILE.
000020 01 GV-REC1.
000021 02 RKEY-1  PIC XX.
000022 02 AKEY-1  PIC XX.
000023 02 AKEY-2  PIC XX.
000024 02 AKEY-3  PIC XX.
000025 02 FILLER  PIC X(72).
000026 SD  SD-FILE.
000027 01 SD-REC1.
000028 02 SD-KEY1  PIC XX.
000029 02 SD-KEY2  PIC XX.
000030 02 FILLER  PIC X(74).
000031 02 SD-KEY3  PIC XX.
000032 PROCEDURE DIVISION.
000033     SORT SD-FILE ASCENDING KEY SD-KEY3
000034     USING  US-FILE
000035     GIVING  GV-FILE.
000036     STOP RUN.

```

C3264.cob 33: JMN3264I-S SORT文のGIVING指定に索引ファイル'GV-FILE'が指定されたとき、KEY指定に記述されたデータ名'SD-KEY3'は、そのファイルの主レコードキーに関連付けられるデータ項目とそのレコード中で同じ文字位置を占めなければなりません。

2.5.164 JMN3265I-S

@1@文のKEY指定に日本語または日本語編集項目を指定したとき、COLLATING SEQUENCE指定を記述してはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : SORT/MERGE

例題

```

[C3265.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.  C3265.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     ALPHABET ABN-1 IS "A" THRU "Z".
000007 INPUT-OUTPUT SECTION.
000008 FILE-CONTROL.
000009     SELECT US-FILE  ASSIGN TO SYS001-DA-S-SYS001.
000010     SELECT GV-FILE  ASSIGN TO SYS002-DA-S-SYS002.
000011     SELECT SD-FILE  ASSIGN TO SYS003-DA-S-SYS003.
000012 DATA DIVISION.
000013 FILE SECTION.
000014 FD  US-FILE.
000015 01 US-REC1  PIC X(80).
000016 FD  GV-FILE.
000017 01 GV-REC1  PIC X(80).
000018 SD  SD-FILE.
000019 01 SD-REC1.
000020 02 SD-KEY1  PIC NN.
000021 02 FILLER  PIC X(76).
000022 PROCEDURE DIVISION.
000023     SORT SD-FILE ASCENDING KEY SD-KEY1
000024     COLLATING SEQUENCE IS ABN-1

```

```

000025      USING  US-FILE
000026      GIVING GV-FILE.
000027      STOP RUN.

```

C3265.cob 23: JMN3265I-S SORT文のKEY指定に日本語または日本語編集項目を指定したとき、COLLATING SEQUENCE指定を記述してはなりません。

2.5.165 JMN3266I-I

(CONF)READ文に制御文字付きファイルが指定されています。制御文字も一緒に読み込まれます。

例題

```

[C3266.cob]
000001 @OPTIONS CONF (V10), CTLCHR (N)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3266.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT F1 ASSIGN S-SYS001.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010     FD F1.
000011     01 R1 PIC X(80).
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013     01 D1 PIC X(80) VALUE ALL "ABCDEFGHJIJ".
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     OPEN OUTPUT F1.
000016     MOVE D1 TO R1.
000017     WRITE R1 AFTER ADVANCING 1 LINE.
000018     CLOSE F1.
000019*
000020     OPEN INPUT F1.
000021     READ F1.
000022     DISPLAY R1.
000023     CLOSE F1.
000024     STOP RUN.

```

C3266.cob 21: JMN3266I-I (CONF)READ文に制御文字付きファイルが指定されています。制御文字も一緒に読み込まれます。

2.5.166 JMN3268I-S

SEARCH ALL文のWHEN指定の@1@の添字の数は、@2@個でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名
@2@ : 個数

例題

```

[C3268.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3268.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GRP.
000007     02 TBL OCCURS 5 TIMES.
000008     03 TBL-2 OCCURS 5 TIMES ASCENDING KEY IS A
000009         INDEXED BY INX.
000010     04 A PIC 9.

```

```
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012     SEARCH ALL TBL-2
000013     WHEN A(INX) = 1
000014     STOP RUN.
```

C3268.cob 13: JMN3268I-S SEARCH ALL文のWHEN指定の'A'の添字の数は、2個でなければなりません。

2.5.167 JMN3269I-S

GENERATE文に指定した報告書名@1@には、CONTROL句がなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 報告書名

例題

```
[C3269.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3269.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT OU-FILE ASSIGN TO DA-S-SYS006.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD OU-FILE LABEL RECORD STANDARD
000010     REPORT IS RE-1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 REP-LINE PIC X(8).
000013 REPORT SECTION.
000014 RD RE-1
000015     PAGE LIMITS 66 LINES
000016     HEADING 3
000017     FIRST DETAIL 10
000018     LAST DETAIL 50.
000019 01 TYPE RH LINE 5.
000020     02 COLUMN 25 PIC X(8)
000021     SOURCE REP-LINE.
000022 01 TYPE PH LINE 7.
000023     02 COLUMN 25 PIC X(8)
000024     VALUE "REPORT-1".
000025 01 TYPE DE LINE PLUS 1.
000026     02 COLUMN 25 PIC X(8)
000027     VALUE "REPORT-2".
000028 PROCEDURE DIVISION.
000029 P-START.
000030     OPEN OUTPUT OU-FILE.
000031     INITIATE RE-1.
000032     GENERATE RE-1.
000033     TERMINATE RE-1.
000034     CLOSE OU-FILE.
000035     STOP RUN.
```

C3269.cob 32: JMN3269I-S GENERATE文に指定した報告書名'RE-1'には、CONTROL句がなければなりません。

2.5.168 JMN3270I-S

GENERATE文に報告書名@1@を指定するときは、その報告書記述項に明細報告集団を複数指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : 報告書名

例題

```
[C3270.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3270.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT LP1FILE ASSIGN TO DA-S-SYS006.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009     FD LP1FILE LABEL RECORD STANDARD
000010     REPORT IS RE-1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 REP-LINE PIC X(80).
000013 REPORT SECTION.
000014     RD RE-1
000015     CONTROL IS FINAL
000016     PAGE LIMITS 66 LINES
000017     HEADING 3
000018     FIRST DETAIL 10
000019     LAST DETAIL 50.
000020 01 DE-1 TYPE DETAIL LINE PLUS 1.
000021     02 COLUMN 25 PIC X(80)
000022     SOURCE REP-LINE.
000023 01 DE-2 TYPE DETAIL LINE PLUS 1.
000024     02 COLUMN 25 PIC X(80)
000025     VALUE "REPORT-1".
000026 PROCEDURE DIVISION.
000027 P-START.
000028     OPEN OUTPUT LP1FILE.
000029     INITIATE RE-1.
000030     GENERATE RE-1.
000031     TERMINATE RE-1.
000032     CLOSE LP1FILE.
000033     STOP RUN.
```

C3270.cob 30: JMN3270I-S GENERATE文に報告書名'RE-1'を指定するときは、その報告書記述項に明細報告集団を複数指定できません。

2.5.169 JMN3271I-S

GENERATE文に報告書名@1@を指定するときは、その報告書記述項に本体集団の記述が一つ以上なければいけません。

埋め込みの説明

@1@ : 報告書名

例題

```
[C3271.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3271.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT LP1FILE ASSIGN TO DA-S-SYS006.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009     FD LP1FILE LABEL RECORD STANDARD
000010     REPORT IS RE-1.
000011 REPORT SECTION.
```

```

000012 RD RE-1
000013 CONTROL IS FINAL
000014 PAGE LIMITS 66 LINES
000015 HEADING 3
000016 FIRST DETAIL 10
000017 LAST DETAIL 50.
000018 01 TYPE PAGE HEADING LINE 5.
000019 02 COLUMN 25 PIC X(8)
000020 VALUE "HEADER-1".
000021 PROCEDURE DIVISION.
000022 P-START.
000023 OPEN OUTPUT LP1FILE.
000024 INITIATE RE-1.
000025 GENERATE RE-1.
000026 TERMINATE RE-1.
000027 CLOSE LP1FILE.
000028 STOP RUN.

```

C3271.cob 25: JMN3271I-S GENERATE文に報告書名'RE-1'を指定するときは、その報告書記述項に本体集団の記述が一つ以上なければいけません。

2.5.170 JMN3272I-S

GENERATE文に指定されたデータ名@1@は、明細報告集団の名前でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : データ名

例題

```

[C3272.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3272.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT LP1FILE ASSIGN TO DA-S-SYS006.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD LP1FILE LABEL RECORD STANDARD
000010 REPORT IS RE-1.
000011 REPORT SECTION.
000012 RD RE-1
000013 CONTROL IS FINAL
000014 PAGE LIMITS 66 LINES
000015 HEADING 3
000016 FIRST DETAIL 10
000017 LAST DETAIL 50.
000018 01 RH-1 TYPE REPORT HEADING LINE 5.
000019 02 COLUMN 25 PIC X(8)
000020 VALUE "R-HEADER".
000021 PROCEDURE DIVISION.
000022 P-START.
000023 OPEN OUTPUT LP1FILE.
000024 INITIATE RE-1.
000025 GENERATE RH-1.
000026 TERMINATE RE-1.
000027 CLOSE LP1FILE.
000028 STOP RUN.

```

C3272.cob 25: JMN3272I-S GENERATE文に指定されたデータ名'RH-1'は、明細報告集団の名前でなければなりません。

2.5.171 JMN3273I-S

報告書ファイル@1@は、OPEN OUTPUT文、OPEN EXTEND文、CLOSE文またはUSE文以外の文に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : 報告書ファイル名

例題

```
[C3273.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3273.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1  ASSIGN TO S-SYS001.
000007     SELECT FILE-2  ASSIGN TO S-SYS002.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD  FILE-1
000011     REPORT IS REC-1.
000012 SD  FILE-2.
000013     01 REC-2 PIC X(100).
000014 REPORT SECTION.
000015 RD  REC-1
000016     PAGE LIMIT IS 66 LINES
000017     HEADING 3
000018     FIRST DETAIL 10
000019     LAST DETAIL 50.
000020     01 LINE NUMBER IS 5  TYPE IS RH.
000021     02 COLUMN NUMBER IS 10 PIC X(14) VALUE "*** HEADER ***".
000022 PROCEDURE DIVISION.
000023     OPEN INPUT FILE-1.
000024     OPEN I-O  FILE-1.
000025     READ FILE-1.
000026     SORT FILE-2 ASCENDING KEY REC-2 USING FILE-1 GIVING FILE-1.
000027     STOP RUN.
```

C3273.cob 23: JMN3273I-S 報告書ファイル'FILE-1'は、OPEN OUTPUT文、OPEN EXTEND文、CLOSE文またはUSE文以外の文に指定できません。

C3273.cob 24: JMN3273I-S 報告書ファイル'FILE-1'は、OPEN OUTPUT文、OPEN EXTEND文、CLOSE文またはUSE文以外の文に指定できません。

C3273.cob 25: JMN3273I-S 報告書ファイル'FILE-1'は、OPEN OUTPUT文、OPEN EXTEND文、CLOSE文またはUSE文以外の文に指定できません。

C3273.cob 26: JMN3273I-S 報告書ファイル'FILE-1'は、OPEN OUTPUT文、OPEN EXTEND文、CLOSE文またはUSE文以外の文に指定できません。

C3273.cob 26: JMN3273I-S 報告書ファイル'FILE-1'は、OPEN OUTPUT文、OPEN EXTEND文、CLOSE文またはUSE文以外の文に指定できません。

2.5.172 JMN3275I-W

文字比較で、@1@は整数でなければなりません。最右端に小数点があるものとみなされます。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標,数字定数

例題

```
[C3275.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3275.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC X(3).
000007 01 B PIC 99V9.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010 IF A = B STOP RUN.
```

C3275.cob 10: JMN3275I-W 文字比較で、'B'は整数でなければなりません。最右端に小数点があるものとみなされます。

2.5.173 JMN3276I-W

STRING文の受取り側項目は、JUSTIFIED句指定の項目であってはなりません。JUSTIFIED句指定なしの項目とみなされます。

例題

```
[C3276.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3276.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 AN-1 PIC X(6) VALUE "STRING".
000006 01 AN-2 PIC X(10) JUSTIFIED.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 STRING AN-1 DELIMITED BY "1" INTO AN-2.
000010 STOP RUN.
```

C3276.cob 9: JMN3276I-W STRING文の受取り側項目は、JUSTIFIED句指定の項目であってはなりません。JUSTIFIED句指定なしの項目とみなされます。

2.5.174 JMN3277I-S

UNSTRING文の@1@指定の一意名@2@は、外部浮動小数点項目であってはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : INTO, DELIMITER

@2@ : 一意名の名標

例題

```
[C3277.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3277.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC X(10).
000007 01 B PIC 9(3).
000008 01 C PIC +9V9E+99.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011 UNSTRING A DELIMITED BY B INTO C.
000012 END PROGRAM C3277.
```

C3277.cob 11: JMN3277I-S UNSTRING文のINTO指定の一意名'C'は、外部浮動小数点項目であってはなりません。

2.5.175 JMN3278I-S

SEARCH ALL文のキー項目@1@または比較する対象のいずれかがP付き整数項目の場合、もう一方の作用対象は、英字、英数字、英数字編集、数字編集、文字定数およびZERO以外の表意定数であってはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : データ名

例題

```
[C3278.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3278.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 TBL.
000007 02 X OCCURS 5 TIMES ASCENDING KEY IS A
000008 INDEXED BY IX1.
000009 03 A PIC 9P.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 SEARCH ALL X
000012 WHEN A(IX1) = "10"
000013 CONTINUE
000014 END-SEARCH.
000015 END PROGRAM C3278.
```

C3278.cob 12: JMN3278I-S SEARCH ALL文のキー項目'A'または比較する対象のいずれかがP付き整数項目の場合、もう一方の作用対象は、英字、英数字、英数字編集、数字編集、文字定数およびZERO以外の表意定数であってはなりません。

2.5.176 JMN3280I-S

SEARCH ALL文のキー項目@1@および比較する対象の長さは、256バイト以下でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : データ名

2.5.177 JMN3281I-I

(CONF)MOVE文の送出し側として、数字定数-0が指定されています。数字定数-0は、+0とみなします。

例題

```
[C3281.cob]
000001 @OPTIONS CONF (V52)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3281.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 A PIC S9(4).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 MOVE -0 TO A.
000010 END PROGRAM C3281.
```

C3281.cob 9: JMN3281I-I (CONF)MOVE文の送出し側として、数字定数-0が指定されています。数字定数-0は、+0とみなします。

2.5.178 JMN3286I-S

@1@は、基底場所節に定義されていなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標

例題

```
[C3286.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3286.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC X.
000007 01 PTR USAGE IS POINTER.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 MOVE "A" TO PTR->A.
000010 STOP RUN.
```

C3286.cob 9: JMN3286I-S 'A'は、基底場所節に定義されていなければなりません。

2.5.179 JMN3287I-S

@2@関数に引数@1@は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : 関数の引数

@2@ : 関数名

例題

```
[C3287.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3287.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 P POINTER.
000007 01 FG.
000008 02 B1 PIC 1(4) BIT.
000009 02 B2 PIC 1(4) BIT.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 MOVE FUNCTION ADDR (B1) TO P
000012 MOVE FUNCTION ADDR (B2) TO P
000013 END PROGRAM C3287.
```

C3287.cob 11: JMN3287I-S FUNCTION ADDR関数に引数'B1'は指定できません。

C3287.cob 12: JMN3287I-S FUNCTION ADDR関数に引数'B2'は指定できません。

2.5.180 JMN3291I-S

DEPENDING ON指定を含むRECORD句が指定されたレコードをWRITE文に指定する場合、CHARACTER TYPE句またはPRINTING POSITION句を含む項目は、FROM指定に記述できません。

例題

```
[C3291.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3291.
```

```

000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO S-SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD  FILE-1
000010     RECORD IS VARYING IN SIZE
000011     FROM 80 TO 120 CHARACTERS
000012     DEPENDING ON DEP-1.
000013 01  REC-1 PIC X(120).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01  A     PIC  N(50) CHARACTER TYPE IS MODE-1.
000016 01  DEP-1 PIC  999.
000017 PROCEDURE DIVISION.
000018     WRITE REC-1 FROM A.
000019 END PROGRAM  C3291.

```

C3291.cob 18: JMN3291I-S DEPENDING ON指定を含むRECORD句が指定されたレコードをWRITE文に指定する場合、CHARACTER TYPE句またはPRINTING POSITION句を含む項目は、FROM指定に記述できません。

2.5.181 JMN3298I-S

制御レコード@1@に対するWRITE文に、ADVANCING指定は記述できません。

埋め込みの説明

@1@ : 制御レコード名

例題

```

[C3298.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.  C3298.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO SYS001
000007     FORMAT IS FMT-001.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD  FILE-1
000011     CONTROL RECORD IS CNTL-REC.
000012 01  CNTL-REC PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01  FMT-001 PIC X(8).
000015 PROCEDURE DIVISION.
000016     WRITE CNTL-REC AFTER ADVANCING 1.
000017 END PROGRAM  C3298.

```

C3298.cob 16: JMN3298I-S 制御レコード'CNTRL-REC'に対するWRITE文に、ADVANCING指定は記述できません。

2.5.182 JMN3301I-S

基底場所節に定義されているデータ項目@1@は、ポインタ修飾されていなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

例題

```
[C3301.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3301.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 BASED-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC S9(8) BINARY.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     MOVE 12345 TO A.
000009     STOP RUN.
```

C3301.cob 8: JMN3301I-S 基底場所節に定義されているデータ項目'A'は、ポインタ修飾されていなければなりません。

2.5.183 JMN3304I-S

ポインタデータ項目 @1@ は、@2@ 文には指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名
@2@ : 文

例題

```
[C3304.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3304.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 PTR1 USAGE IS POINTER.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007     INITIALIZE PTR1.
000008     STOP RUN.
```

C3304.cob 7: JMN3304I-S ポインタデータ項目'PTR1'は、INITIALIZE文には指定できません。

C3304.cob 7: JMN3158I-I INITIALIZE文で、初期値が代入される項目が一つもありません。

2.5.184 JMN3307I-S

ポインタデータ作用対象の比較で指定する比較演算子は、EQUAL(=)またはNOT EQUAL(NOT =)でなければなりません。

例題

```
[C3307.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3307.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 PTR1 USAGE IS POINTER.
000007 01 PTR2 USAGE IS POINTER.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009     IF PTR1 > PTR2 THEN DISPLAY "NG".
000010 END PROGRAM C3307.
```

C3307.cob 9: JMN3307I-S ポインタデータ作用対象の比較で指定する比較演算子は、EQUAL(=)またはNOT EQUAL(NOT =)でなければなりません。

2.5.185 JMN3309I-S

基底場所節に定義されたデータ名 @1@ は、@2@ 文の @3@ 指定に記述できません。

埋め込みの説明

@1@ : データ名
@2@ : READ文, START文
@3@ : 指定

例題

```
[C3309.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3309.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     RECORD KEY IS KEY-1
000009     ACCESS MODE IS RANDOM.
000010 DATA DIVISION.
000011 BASED-STORAGE SECTION.
000012 01 BSD-1 PIC X BASED ON PTR1.
000013 FILE SECTION.
000014 FD FILE-1.
000015 01 REC-1.
000016 02 KEY-1 PIC X(5).
000017 02     PIC X(75).
000018 WORKING-STORAGE SECTION.
000019 01 PTR1 POINTER.
000020 PROCEDURE DIVISION.
000021     OPEN INPUT FILE-1.
000022     READ FILE-1 KEY IS BSD-1.
000023     CLOSE FILE-1.
000024 END PROGRAM C3309.
```

C3309.cob 22: JMN3309I-S 基底場所節に定義されたデータ名'BSD-1'は、READ文のKEY指定に記述できません。

2.5.186 JMN3326I-W

@1@ 文の @2@ は、符号なし数字項目または符号編集用文字のない数字編集項目です。負の値は入りません。

埋め込みの説明

@1@ : 文
@2@ : 一意名

例題

```
[C3326.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3326.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 NUM PIC 99.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007     MOVE -10 TO NUM.
000008 END PROGRAM C3326.
```

C3326.cob 7: JMN3326I-W MOVE文の'NUM'は、符号なし数字項目または符号編集用文字のない数字編集項目です。負の値は入りません。

2.5.187 JMN3327I-W

@1@文の@2@から@3@の転記には、けたの重なりがありません。

埋め込みの説明

@1@ : 文
@2@ : '定数'または一意名
@3@ : 一意名

例題

```
[C3327.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3327.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A1 PIC V99.
000006 01 A2 PIC 99.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     MOVE 10 TO A1.
000009     MOVE A1 TO A2.
000010     STOP RUN.
```

C3327.cob 8: JMN3327I-W MOVE文の数字定数から'A1'の転記には、けたの重なりがありません。

C3327.cob 9: JMN3327I-W MOVE文の'A1'から'A2'の転記には、けたの重なりがありません。

詳細な説明

固定小数点同士の数字転記において、送出し側と受取り側に桁の重なりがない場合に本エラーメッセージが出力されます。桁の重なりがないとは、例えば送出し側が整数部0桁、受取り側が小数部0桁のようなケースのことです。この場合は、送出し側の値が受取り側にまったく反映されません。

2.5.188 JMN3328I-W

@1@文の数字定数から@2@への転記は、けたあふれが起こります。

埋め込みの説明

@1@ : 文
@2@ : 一意名

例題

```
[C3328.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3328.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A1 PIC 99.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007     MOVE 100 TO A1.
000008 END PROGRAM    C3328.
```

C3328.cob 7: JMN3328I-W MOVE文の数字定数から'A1'への転記は、けたあふれが起こります。

2.5.189 JMN3330I-W

@1@文の数字定数から@2@への転記には、小数部のけた落ちが起こります。

埋め込みの説明

@1@ : 文
@2@ : 一意名

例題

```
[C3330.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3330.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A1 PIC 99V9.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007 MOVE 11.23 TO A1.
000008 END PROGRAM C3330.
```

C3330.cob 7: JMN3330I-W MOVE文の数字定数から'A1'への転記には、小数部のけた落ちが起こります。

2.5.190 JMN3331I-W

@1@文の数字定数からP付き数字項目@2@への転記は、数字項目のPに対応する部分の文字位置の値が反映されません。

埋め込みの説明

@1@ : 文
@2@ : 一意名

例題

```
[C3331.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3331.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A1 PIC 99PP.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007 MOVE 1234 TO A1.
000008 END PROGRAM C3331.
```

C3331.cob 7: JMN3331I-W MOVE文の数字定数からP付き数字項目'A1'への転記は、数字項目のPに対応する部分の文字位置の値が反映されません。

2.5.191 JMN3332I-W

@1@文の@2@から@3@への転記では、送出し側の値が受取り側項目に反映されません。

埋め込みの説明

@1@ : 文
@2@ : 一意名または'数字定数'
@3@ : 一意名

例題

```
[C3329.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3329.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A1 PIC 99PP.
000006 PROCEDURE DIVISION.
```

```
000007 MOVE 11 TO A1.  
000008 END PROGRAM C3329.
```

C3329.cob 7: JMN3332I-W MOVE文の数字定数から'A1'への転記では、送出し側の値が受取り側項目に反映されません。

2.5.192 JMN3333I-S

CALL文のUSING指定に記述したパラメタの個数は、PROCEDURE DIVISIONのUSING指定に記述したパラメタの個数と一致していなければなりません。

例題

```
[C3333.cob]  
000001 @OPTIONS CHECK (PRM)  
000002 IDENTIFICATION DIVISION.  
000003 PROGRAM-ID. C3333.  
000004 DATA DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01 A PIC X(10).  
000007 PROCEDURE DIVISION.  
000008 CALL "SUB" USING A.  
000009 STOP RUN.  
000010 IDENTIFICATION DIVISION.  
000011 PROGRAM-ID. SUB.  
000012 DATA DIVISION.  
000013 LINKAGE SECTION.  
000014 01 B PIC X(10).  
000015 01 C PIC X(10).  
000016 PROCEDURE DIVISION  
000017 USING B C.  
000018 EXIT PROGRAM.  
000019 END PROGRAM SUB.  
000020 END PROGRAM C3333.
```

C3333.cob 8: JMN3333I-S CALL文のUSING指定に記述したパラメタの個数は、PROCEDURE DIVISIONのUSING指定に記述したパラメタの個数と一致していなければなりません。

詳細な説明

パラメタの個数が同じになるようにプログラムを修正してください。

2.5.193 JMN3334I-S

CALL文のUSING指定またはRETURNING指定に記述したパラメタ@2@の型は、プログラム@1@のPROCEDURE DIVISIONのUSING指定またはRETURNING指定に記述したパラメタ@3@の型と一致していなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : プログラム名
@2@ : 一意名
@3@ : 一意名

例題

```
[C3334.cob]  
000001 @OPTIONS CHECK (PRM)  
000002 IDENTIFICATION DIVISION.  
000003 PROGRAM-ID. C3334.  
000004 DATA DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01 U OBJECT REFERENCE.  
000007 PROCEDURE DIVISION.  
000008 CALL "C3334S" USING U.
```

```

000009    EXIT PROGRAM.
000010*
000011 IDENTIFICATION DIVISION.
000012 PROGRAM-ID. C3334S.
000013 DATA DIVISION.
000014 LINKAGE          SECTION.
000015    01 L-U BINARY-CHAR UNSIGNED.
000016 PROCEDURE DIVISION
000017    USING L-U.
000018    EXIT PROGRAM.
000019 END PROGRAM C3334S.
000020 END PROGRAM C3334.

```

C3334.cob 8: JMN3334I-S CALL文のUSING指定またはRETURNING指定に記述したパラメタ'U'の型は、プログラム'C3334S'のPROCEDURE DIVISIONのUSING指定またはRETURNING指定に記述したパラメタ'L-U'の型と一致していなければなりません。

詳細な説明

パラメタに指定したオブジェクト参照のUSAGE OBJECT REFERENCE句に指定されたクラス名、FACTORY指定およびONLY指定が同じになるようにプログラムを修正してください。

2.5.194 JMN3335I-S

CALL文のUSING指定またはRETURNING指定に記述したパラメタ@2@の長さは、プログラム@1@のPROCEDURE DIVISIONのUSING指定またはRETURNING指定に記述したパラメタ@3@の長さとは一致していなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : プログラム名
 @2@ : 一意名
 @3@ : 一意名

例題

```

[C3335.cob]
000001 @OPTIONS CHECK (PRM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3335.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006    01 A PIC X(10).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008    CALL "SUB" USING A.
000009*
000010 IDENTIFICATION DIVISION.
000011 PROGRAM-ID. SUB.
000012 DATA DIVISION.
000013 LINKAGE          SECTION.
000014    01 B PIC X(05).
000015 PROCEDURE DIVISION
000016    USING B.
000017    EXIT PROGRAM.
000018 END PROGRAM SUB.
000019 END PROGRAM C3335.

```

C3335.cob 8: JMN3335I-S CALL文のUSING指定またはRETURNING指定に記述したパラメタ'A'の長さは、プログラム'SUB'のPROCEDURE DIVISIONのUSING指定またはRETURNING指定に記述したパラメタ'B'の長さとは一致していなければなりません。

詳細な説明

パラメタの長さが同じになるようにプログラムを修正してください。

2.5.195 JMN3337I-I

(CONF)UNSTRING文において、添字または部分参照子の評価は、文の実行直前に1回だけ行われます。

例題

```
[C3337.cob]
000001 @OPTIONS LANGLVL(85), CONF(74)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3337.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 SND PIC X(10).
000008 01 DLM.
000009 02 DLMB OCCURS 2 PIC X.
000010 01 INTO1 PIC X(10).
000011 01 INTO2 PIC X(10).
000012 01 DLM11 PIC X(2).
000013 01 DLM12 PIC X(2).
000014 01 COUNT1 PIC 9(2).
000015 01 COUNT2 PIC 9(2).
000016 01 PTR PIC 9(2).
000017 01 TALLY1 PIC 9(2).
000018 PROCEDURE DIVISION.
000019 UNSTRING SND DELIMITED BY DLMB(TALLY)
000020 INTO INTO1 DELIMITER IN DLM11 COUNT IN COUNT1
000021 INTO2 DELIMITER IN DLM12 COUNT IN COUNT2
000022 POINTER PTR
000023 TALLYING TALLY1.
000024 END PROGRAM C3337.
```

C3337.cob 19: JMN3337I-I (CONF)UNSTRING文において、添字または部分参照子の評価は、文の実行直前に1回だけ行われます。

2.5.196 JMN3338I-W

数字項目および数字編集項目に転記する文字定数に、小数点が含まれています。文字定数の小数点以下を無視して転記します。

例題

```
[C3338.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3338.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A PIC 99V9.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007 MOVE "12.3" TO A.
000008 MOVE 12.3 TO A.
000009 END PROGRAM C3338.
```

C3338.cob 7: JMN3338I-W 数字項目および数字編集項目に転記する文字定数に、小数点が含まれています。文字定数の小数点以下を無視して転記します。

詳細な説明

文字定数を数字定数に修正してください。

2.5.197 JMN3339I-I

(OBS)2文字以上のALL定数の数字項目および数字編集項目への転記は、@1@ COBOLの廃要素である。そのまま受け入れられます。

埋め込みの説明

@1@ : ANSI85

例題

```
[C3339.cob]
000001 @OPTIONS CONF (OBS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3339.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     01 A PIC 999V9.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     MOVE ALL "123" TO A.
000009 END PROGRAM C3339.
```

C3339.cob 8: JMN3339I-I (OBS)2文字以上のALL定数の数字項目および数字編集項目への転記は、ANSI85 COBOLの廃要素である。そのまま受け入れられます。

2.5.198 JMN3340I-I

(OBS)2文字以上のALL定数と数字項目または数字編集項目との比較は、@1@ COBOLの廃要素である。そのまま受け入れられません。

埋め込みの説明

@1@ : ANSI85

2.5.199 JMN3342I-S

SET文の@2@指定の項目@1@は、指標名、指標データ項目、整数項目、ポインタデータ項目、NULL、ADDRESS OF特殊レジスタまたはオブジェクト参照データ項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@2@ : TO, UP BYまたはDOWN BY

例題

```
[C3342.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3342.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     01 A PIC X.
000007     01 B USAGE IS POINTER.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009     P-START.
000010     SET B TO A.
000011 END PROGRAM C3342.
```

C3342.cob 10: JMN3342I-S SET文のTO指定の項目'A'は、指標名、指標データ項目、整数項目、ポインタデータ項目、NULL、ADDRESS OF特殊レジスタまたはオブジェクト参照データ項目でなければなりません。

2.5.200 JMN3343I-S

SET文の受取り側項目@1@は、指標名、指標データ項目、整数項目、ポインタデータ項目、ADDRESS OF特殊レジスタまたはオブジェクト参照データ項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 受取り側に指定された項目名

例題

```
[C3343.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3343.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC X.
000007 01 B USAGE IS POINTER.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010 SET A TO B.
000011 END PROGRAM C3343.
```

C3343.cob 10: JMN3343I-S SET文の受取り側項目'A'は、指標名、指標データ項目、整数項目、ポインタデータ項目、ADDRESS OF特殊レジスタまたはオブジェクト参照データ項目でなければなりません。

2.5.201 JMN3344I-S

ポインタ修飾子のデータ名@1@は、ポインタデータ項目でなければなりません。

例題

```
[C3344.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3344.
000003 DATA DIVISION.
000004 BASED-STORAGE SECTION.
000005 01 AAA PIC X(10).
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 PT PIC S9(9) BINARY.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 DISPLAY PT->AAA.
000010 END PROGRAM C3344.
```

C3344.cob 9: JMN3344I-S ポインタ修飾子のデータ名'PT'は、ポインタデータ項目でなければなりません。

2.5.202 JMN3345I-S

基底場所節中のデータ名@1@に、表示ファイル用特殊レジスタは作成されません。

埋め込みの説明

@1@ : データ名

例題

```
[C3345.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3345.
000003 DATA DIVISION.
000004 BASED-STORAGE SECTION.
000005 01.
000006 02 FILLER PIC X(5).
000007 02 A PIC X(1).
000008 PROCEDURE DIVISION.
```

```
000009 DISPLAY EDIT-COLOR OF A.  
000010 END PROGRAM C3345.
```

C3345.cob 9: JMN3345I-S 基底場所節中のデータ名'A'に、表示ファイル用特殊レジスタは作成されません。

2.5.203 JMN3346I-S

字類条件のKANJIまたはDBCS検査において、@1@は日本語項目または日本語編集項目のいずれかでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標

例題

```
[C3346.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C3346.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 DATA DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01 A PIC X(4).  
000007 PROCEDURE DIVISION.  
000008 P-START.  
000009 IF A IS KANJI  
000010 DISPLAY A.  
000011 IF A IS DBCS  
000012 DISPLAY A.  
000013 END PROGRAM C3346.
```

C3346.cob 9: JMN3346I-S 字類条件のKANJIまたはDBCS検査において、'A'は日本語項目または日本語編集項目のいずれかでなければなりません。

C3346.cob 11: JMN3346I-S 字類条件のKANJIまたはDBCS検査において、'A'は日本語項目または日本語編集項目のいずれかでなければなりません。

2.5.204 JMN3347I-S

@1@の暗黙のポインタ修飾は7段を超えてはいけません、また再帰的であってもいけません。

埋め込みの説明

@1@ : データ項目

例題

```
[C3347.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C3347.  
000003 DATA DIVISION.  
000004 BASED-STORAGE SECTION.  
000005 01 PT2 POINTER BASED ON PTR.  
000006 01 PT3 POINTER BASED ON PT2.  
000007 01 PT4 POINTER BASED ON PT3.  
000008 01 PT5 POINTER BASED ON PT4.  
000009 01 PT6 POINTER BASED ON PT5.  
000010 01 PT7 POINTER BASED ON PT6.  
000011 01 PT8 POINTER BASED ON PT7.  
000012 01 GRR PIC X(10) BASED ON PT8.  
000013 WORKING-STORAGE SECTION.  
000014 01 PTR POINTER.  
000015 01 GR PIC X(10).  
000016 PROCEDURE DIVISION.
```

```
000017 DISPLAY GRR.
000018 END PROGRAM C3347.
```

C3347.cob 17: JMN3347I-S 'GRR'の暗黙のポインタ修飾は7段を超えてはいけません, また再帰的であってもいけません.

2.5.205 JMN3348I-S

呼び名が機能名@1@に対応づけられているとき, @2@は符号なし整数項目または符号なし整数でなければなりません.

埋め込みの説明

@1@ : ARGUMENT-NUMBER
@2@ : データ項目, 定数

例題

```
[C3348.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3348.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006 ARGUMENT-NUMBER IS A-N.
000007 DATA DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 AG1 PIC S9(8) BINARY.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 ACCEPT AG1 FROM A-N.
000012 END PROGRAM C3348.
```

C3348.cob 11: JMN3348I-S 呼び名が機能名ARGUMENT-NUMBERに対応づけられているとき, 'AG1'は符号なし整数項目または符号なし整数でなければなりません.

2.5.206 JMN3349I-S

呼び名が機能名@1@に対応づけられているとき, @2@は固定長集団項目, 英数字基本項目または文字定数でなければなりません.

埋め込みの説明

@1@ : ARGUMENT-VALUE,ENVIRONMENT-VALUE,ENVIRONMENT-NAME
@2@ : データ項目, 定数

例題

```
[C3349.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3349.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006 ARGUMENT-VALUE IS A-V.
000007 DATA DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 AV1 PIC S9(8) BINARY.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 ACCEPT AV1 FROM A-V.
000012 END PROGRAM C3349.
```

C3349.cob 11: JMN3349I-S 呼び名が機能名ARGUMENT-VALUEに対応づけられているとき, 'AV1'は固定長集団項目, 英数字基本項目または文字定数でなければなりません.

2.5.207 JMN3351I-S

@1@の引数は、整数型でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 関数名

例題

```
[C3351.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3351.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC S9(2)V9(2).
000007 01 B PIC X(1).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010 MOVE FUNCTION CHAR(A) TO B.
000011 END PROGRAM C3351.
```

C3351.cob 10: JMN3351I-S FUNCTION CHARの引数は、整数型でなければなりません。

2.5.208 JMN3352I-S

@2@の引数@1@は、英字型または英数字型でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 関数の引数

@2@ : 関数名

例題

```
[C3352.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3352.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 9(8).
000007 01 B PIC X(8).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010 MOVE FUNCTION LOWER-CASE (A) TO B.
000011 END PROGRAM C3352.
```

C3352.cob 10: JMN3352I-S FUNCTION LOWER-CASEの引数'A'は、英字型または英数字型でなければなりません。

2.5.209 JMN3353I-S

@2@の引数@1@は、数字型でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 関数の引数

@2@ : 関数名

例題

```
[C3353.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000002 PROGRAM-ID. C3353.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A COMP-2.
000007 01 B PIC X(8).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 COMPUTE A = FUNCTION SIN (B).
000010 END PROGRAM C3353.

```

C3353.cob 9: JMN3353I-S FUNCTION SINの引数'B'は、数字型でなければなりません。

2.5.210 JMN3354I-S

@1@は、符号なし整数項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : データ項目

例題

```

[C3354.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3354.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 LN PIC S9(2) BINARY.
000006 SCREEN SECTION.
000007 01 A.
000008 02 B VALUE "TEST-1".
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 DISPLAY A
000011 AT LINE NUMBER LN.
000012 END PROGRAM C3354.

```

C3354.cob 10: JMN3354I-S 'LN'は、符号なし整数項目でなければなりません。

2.5.211 JMN3355I-S

CALL文のBY VALUEパラメタである@1@は、用途がCOMPUTATIONAL-5, BINARY-CHAR, BINARY-SHORTまたはBINARY-LONGのいずれかである4バイト以下の2進項目、1バイトの項目または9けた以下の数字定数でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : データ項目

例題

```

[C3355.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3355.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 PGMNAME PIC X(10).
000006 01 ITEM PIC S9(9) BINARY.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 CALL PGMNAME USING BY VALUE ITEM.
000009 END PROGRAM C3355.

```

C3355.cob 8: JMN3355I-S CALL文のBY VALUEパラメタである'ITEM'は、用途がCOMPUTATIONAL-5, BINARY-CHAR, BINARY-SHORTまたはBINARY-LONGのいずれかである4バイト以下の2進項目, 1バイトの項目または9けた以下の数字定数でなければなりません。

2.5.212 JMN3358I-S

UNLOCK文に指定されたファイルは、順ファイル、相対ファイルまたは索引ファイルでなければなりません。

例題

```
[C3358.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3358.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT F1 ASSIGN TO GS-SYS009
000007     SYMBOLIC DESTINATION IS "PRT".
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD F1.
000011     01 REC1.
000012     02 KY1 PIC X(2).
000013     02 PIC X(78).
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     UNLOCK F1.
000016 END PROGRAM C3358.
```

C3358.cob 15: JMN3358I-S UNLOCK文に指定されたファイルは、順ファイル、相対ファイルまたは索引ファイルでなければなりません。

2.5.213 JMN3359I-S

@1@に引数が複数指定された場合、引数の型は全て同じでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 関数の種類

例題

```
[C3359.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3359.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC S9(4)V9(4) BINARY.
000007 01 B PIC S9(8) PACKED-DECIMAL.
000008 01 C PIC X(8).
000009 01 D PIC S9(8)V9(8) BINARY.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 P-START.
000012     COMPUTE D = FUNCTION MAX (A , B , C).
000013 END PROGRAM C3359.
```

C3359.cob 12: JMN3359I-S FUNCTION MAXに引数が複数指定された場合、引数の型は全て同じでなければなりません。

2.5.214 JMN3361I-S

@1@の引数の、数字の合計桁数は、18以下でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 関数の種類

例題

```
[C3361.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3361.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC S9(18) BINARY.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 COMPUTE A = FUNCTION NUMVAL
000010 (" 1234567890.123456789").
000011 END PROGRAM C3361.
```

C3361.cob 9: JMN3361I-S FUNCTION NUMVALの引数の、数字の合計桁数は、18以下でなければなりません。

2.5.215 JMN3362I-S

@1@の引数の値は、0以上でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 関数の種類

例題

```
[C3362.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3362.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC S9(9)V9(9) BINARY.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 COMPUTE A = FUNCTION SQRT(-2).
000009 END PROGRAM C3362.
```

C3362.cob 9: JMN3362I-S FUNCTION SQRTの引数の値は、0以上でなければなりません。

2.5.216 JMN3363I-S

PRESENT-VALUE関数の最初の引数@1@は、-1より大きい値でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 関数の引数

例題

```
[C3363.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3363.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC S9(18) BINARY.
000007 01 B PIC S9(8) BINARY VALUE +4.
000008 01 C PIC S9(8) BINARY VALUE +12.
000009 01 D PIC S9(8) BINARY VALUE +24.
```

```
000010 PROCEDURE DIVISION.  
000011     COMPUTE A = FUNCTION PRESENT-VALUE (-2 B C D).  
000012 END PROGRAM C3363.
```

C3363.cob 11: JMN3363I-S PRESENT-VALUE関数の最初の引数数字定数は、-1より大きい値でなければなりません。

2.5.217 JMN3364I-S

数字関数に部分参照付けはできません。英数字関数とみなします。

例題

```
[C3364.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C3364.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 DATA DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01 A PIC S9(18) BINARY VALUE +35983.  
000007 01 B PIC S9(8) BINARY VALUE +4.  
000008 01 C PIC S9(4) BINARY.  
000009 PROCEDURE DIVISION.  
000010     MOVE FUNCTION REM(A B)(3:2) TO C.  
000011 END PROGRAM C3364.
```

C3364.cob 10: JMN3364I-S 数字関数に部分参照付けはできません。英数字関数とみなします。

2.5.218 JMN3366I-S

@1@文に、数字関数および整数関数は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : DISPLAY, INITIALIZE, INSPECT, SET

例題

```
[C3366.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C3366.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 DATA DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01 A PIC S9(8) BINARY.  
000007 PROCEDURE DIVISION.  
000008     DISPLAY FUNCTION INTEGER(A).  
000009 END PROGRAM C3366.
```

C3366.cob 8: JMN3366I-S DISPLAY文に、数字関数および整数関数は指定できません。

2.5.219 JMN3367I-S

PERFORM文中の@1@は、整数または整数項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 関数の種類

例題

```
[C3367.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C3367.
```

```

000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC S9(8) BINARY.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     PERFORM FUNCTION INTEGER( A ) TIMES
000009         COMPUTE A = A - 1
000010     END-PERFORM
000011 END PROGRAM C3367.

```

C3367.cob 8: JMN3367I-S PERFORM文中のFUNCTION INTEGERは、整数または整数項目でなければなりません。

2.5.220 JMN3368I-S

@1@文のFROM句に、整数関数および数字関数は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : WRITE, REWRITE, RELEASE

例題

```

[C3368.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3368.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD FILE-1.
000010 01 WRTREC.
000011 02 WRT-1 PIC S9(8) BINARY.
000012 02 WRT-2 PIC X(72).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 A PIC X(4).
000015 PROCEDURE DIVISION.
000016 P-START.
000017     OPEN OUTPUT FILE-1.
000018     WRITE WRTREC FROM FUNCTION LENGTH(A).
000019     CLOSE FILE-1.
000020 END PROGRAM C3368.

```

C3368.cob 18: JMN3368I-S WRITE文のFROM句に、整数関数および数字関数は指定できません。

2.5.221 JMN3369I-S

@1@文のDELIMITEDに、整数関数および数字関数は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : STRING, UNSTRING

2.5.222 JMN3371I-S

INSPECT文の検査対象として、整数関数および数字関数は指定できません。

例題

```

[C3371.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3371.

```

```

000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 CHARS PIC X(1) VALUE "4".
000007 01 I PIC 9(2).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010 INSPECT FUNCTION INTEGER-OF-DAY(5)
000011 TALLYING I FOR ALL CHARS.
000012 END PROGRAM C3371.

```

C3371.cob 10: JMN3371I-S INSPECT文の検査対象として、整数関数および数字関数は指定できません。

2.5.223 JMN3372I-S

@1@文の送出し側として、整数関数および数字関数は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : MOVE, INITIALIZE, STRING, UNSTRING

例題

```

[C3372.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3372.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 RCV PIC 9(5).
000007 01 DATA-A PIC X(20) VALUE "ABC".
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 MOVE FUNCTION LENGTH(DATA-A) TO RCV *> ERROR
000010 COMPUTE RCV = FUNCTION LENGTH(DATA-A) *> OK
000011 END PROGRAM C3372.

```

C3372.cob 9: JMN3372I-S MOVE文の送出し側として、整数関数および数字関数は指定できません。

詳細な説明

整数関数および数字関数は、算術式中にだけ記述することができます。

整数関数および数字関数の値を変数に設定する場合は、COMPUTE文を使用してください。

2.5.224 JMN3373I-S

乱呼出しで主キーにDUPLICATES指定がある索引ファイル@2@を@1@文に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : REWRITE, DELETE

@2@ : ファイル名

例題

```

[C3373.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3373.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT F1 ASSIGN TO SYS006
000007 ORGANIZATION IS INDEXED
000008 ACCESS MODE IS RANDOM
000009 RECORD KEY IS AAA WITH DUPLICATES.

```

```

000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD F1.
000013 01 REC-1.
000014 02 AAA PIC X(4).
000015 02 FILLER PIC X(76).
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017 P-START.
000018 OPEN I-O F1.
000019 REWRITE REC-1.
000020 END PROGRAM C3373.

```

C3373.cob 19: JMN3373I-S 乱呼出して主キーにDUPLICATES指定がある索引ファイル'F1'をREWRITE文に指定できません。

2.5.225 JMN3374I-S

@1@の引数の形式に誤りがあります。

埋め込みの説明

@1@ : FUNCTION NUMVAL, FUNCTION NUMVAL-C

例題

```

[C3374.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3374.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 RCV PIC S9(8)V9(8) BINARY.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 COMPUTE RCV = FUNCTION NUMVAL-C(" + ¥ 12345.35 %").
000010 END PROGRAM C3374.

```

C3374.cob 9: JMN3374I-S FUNCTION NUMVAL-Cの引数の形式に誤りがあります。

2.5.226 JMN3375I-S

CHAR関数の引数の値が、大小順序に含まれる文字列の数を超過しています。

例題

```

[C3375.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3375.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 RCV PIC X(1).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 MOVE FUNCTION CHAR(+300) TO RCV.
000010 END PROGRAM C3375.

```

C3375.cob 9: JMN3375I-S CHAR関数の引数の値が、大小順序に含まれる文字列の数を超過しています。

2.5.227 JMN3376I-S

@1@の引数の値は、-1以上、+1以下でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : FUNCTION ACOS, FUNCTION ASIN

例題

```
[C3376.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3376.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 RCV PIC S9V99.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 COMPUTE RCV = FUNCTION ACOS(+2).
000010 END PROGRAM C3376.
```

C3376.cob 9: JMN3376I-S FUNCTION ACOSの引数の値は、-1以上、+1以下でなければなりません。

2.5.228 JMN3377I-S

@1@の最初の引数の値は、0以上でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : FUNCTION ANNUITY

例題

```
[C3377.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3377.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 RCV PIC S9(5)V9(5) BINARY.
000007 01 A PIC S9(2) BINARY VALUE +3.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 COMPUTE RCV = FUNCTION ANNUITY(-1 , A).
000010 END PROGRAM C3377.
```

C3377.cob 11: JMN3377I-S FUNCTION ANNUITYの最初の引数の値は、0以上でなければなりません。

2.5.229 JMN3378I-S

@1@の2番目の引数の値は、0より大きい整数でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : FUNCTION ANNUITY

例題

```
[C3378.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3378.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 RCV PIC S9(5)V9(5) BINARY.
000007 01 A PIC S9(2) BINARY VALUE +1.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
```

```
000010 COMPUTE RCV = FUNCTION ANNUITY(A -1).
000011 END PROGRAM C3378.
```

C3378.cob 10: JMN3378I-S FUNCTION ANNUITYの2番目の引数の値は、0より大きい整数でなければなりません。

2.5.230 JMN3379I-S

@1@の2番目の引数の値は、0であってはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : FUNCTION REM, FUNCTION MOD

例題

```
[C3379.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3379.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 RCV PIC S9(5)V9(5) BINARY.
000007 01 A PIC S9(2) BINARY VALUE +1.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010 COMPUTE RCV = FUNCTION REM(A 0).
000011 END PROGRAM C3379.
```

C3379.cob 10: JMN3379I-S FUNCTION REMの2番目の引数の値は、0であってはなりません。

2.5.231 JMN3380I-S

@1@の引数の値は、0より大きい数字でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : FUNCTION LOG, FUNCTION LOG10

例題

```
[C3380.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3380.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 RCV PIC S9(5)V9(5) BINARY.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 COMPUTE RCV = FUNCTION LOG(-1.5).
000010 END PROGRAM C3380.
```

C3380.cob 9: JMN3380I-S FUNCTION LOGの引数の値は、0より大きい数字でなければなりません。

2.5.232 JMN3381I-S

@1@の引数は、英字型または英数字型で、字数は1でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : FUNCTION ORG

例題

```
[C3381.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3381.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC X(2).
000007 01 RCV PIC S9(2) BINARY.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010 COMPUTE RCV = FUNCTION ORD(A).
000011 END PROGRAM C3381.
```

C3381.cob 10: JMN3381I-S FUNCTION ORDの引数は、英字型または英数字型で、字数は1でなければなりません。

2.5.233 JMN3382I-S

@1@の引数の型は、英字、英数字または数字のいずれかでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : FUNCTION MAX, FUNCTION MIN, FUNCTION ORD-MAX, FUNCTION ORD-MIN

例題

```
[C3382.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3382.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 1(8) BIT.
000007 01 B PIC 9(1).
000008 01 RCV PIC 9(1).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011 COMPUTE RCV = FUNCTION MAX(A B).
000012 END PROGRAM C3382.
```

C3382.cob 11: JMN3382I-S FUNCTION MAXの引数の型は、英字、英数字または数字のいずれかでなければなりません。

2.5.234 JMN3383I-S

@1@の引数は、英数字項目または文字定数でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : FUNCTION NUMVAL, FUNCTION NUMVAL-C

例題

```
[C3383.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3383.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC A(10).
000007 01 B PIC S9(8) BINARY.
000008 PROCEDURE DIVISION.
```



```
000009 COMPUTE B = FUNCTION NUMVAL (A)
000010 END PROGRAM C3383.
```

C3383.cob 11: JMN3383I-S FUNCTION NUMVALの引数は、英数字項目または文字定数でなければなりません。

2.5.235 JMN3384I-W

@1@の引数は、文字定数または英数字項目でなければなりません。引数を英数字項目とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : FUNCTION NUMVAL, FUNCTION NUMVAL-C

例題

```
[C3384.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3384.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 TB.
000007 02 T1 PIC X(3).
000008 02 T2 PIC S9(5).
000009 01 B PIC S9(8) BINARY.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 COMPUTE B = FUNCTION NUMVAL (TB).
000012 END PROGRAM C3384.
```

C3384.cob 11: JMN3384I-W FUNCTION NUMVALの引数は、文字定数または英数字項目でなければなりません。引数を英数字項目とみなします。

2.5.236 JMN3385I-S

PERFORM文中の@1@は、数字定数または数字項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 関数種別

例題

```
[C3385.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3385.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC S9(8) BINARY.
000007 01 I PIC S9(2)V9(2) BINARY.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 PERFORM VARYING I FROM FUNCTION RANDOM BY 0.1
000011 UNTIL I > 5
000012 COMPUTE A = A - 1
000013 END-PERFORM
000014 END PROGRAM C3385.
```

C3385.cob 9: JMN3385I-S PERFORM文中のFUNCTION RANDOMは、数字定数または数字項目でなければなりません。

2.5.237 JMN3386I-S

@1@の引数は、固定小数点項目または固定小数点定数でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : FUNCTION INTEGER, FUNCTION INTEGER-PART, FUNCTION REM

例題

```
[C3386.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3386.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A COMP-2 VALUE +3.5.
000007 01 RCV PIC S9(4) BINARY.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 COMPUTE RCV = FUNCTION INTEGER( A ).
000010 END PROGRAM C3386.
```

C3386.cob 9: JMN3386I-S FUNCTION INTEGERの引数は、固定小数点項目または固定小数点定数でなければなりません。

2.5.238 JMN3388I-S

内部プログラムの手続き部の見出しまたは内部プログラムを呼ぶCALL文にWITHは指定できません。

例題

```
[C3388.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3388.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A PIC S9(8) BINARY.
000006 01 B PIC S9(4) BINARY.
000007 01 C PIC X(1).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 CALL "SUBPROG" USING A B C.
000010 EXIT PROGRAM.
000011 IDENTIFICATION DIVISION.
000012 PROGRAM-ID. SUBPROG.
000013 DATA DIVISION.
000014 LINKAGE SECTION.
000015 01 A1 PIC S9(8) BINARY.
000016 01 B1 PIC S9(4) BINARY.
000017 01 C1 PIC X(1).
000018 PROCEDURE DIVISION WITH PASCAL LINKAGE
000019 USING A1 B1 C1.
000020 DISPLAY A1 B1 C1.
000021 END PROGRAM SUBPROG.
000022 END PROGRAM C3388.
```

C3388.cob 19: JMN3388I-S 内部プログラムの手続き部の見出しまたは内部プログラムを呼ぶCALL文にWITHは指定できません。

2.5.239 JMN3390I-W

このシステムではPASCAL呼出し規約を使用できません。STDCALL呼出し規約とみなします。

例題

```
[C3390.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3390.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
```

```
000005 01 A    PIC S9(8) BINARY.
000006 01 B    PIC S9(4) BINARY.
000007 01 C    PIC X(1).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009     CALL "SUBPROG" WITH PASCAL LINKAGE USING A B C.
000010 END PROGRAM C3390.
```

C3390.cob 9: JMN3390I-W このシステムではPASCAL呼出し規約を使用できません。STDCALL呼出し規約とみなします。

2.5.240 JMN3391I-W

このシステムではPASCAL呼出し規約またはSTDCALL呼出し規約を使用できません。C呼出し規約とみなします。

2.5.241 JMN3392I-S

@1@文のPROMPT指定の@2@は1文字の英字項目、英数字項目、日本語項目、文字定数および日本語文字定数でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : ACCEPT/DISPLAY
@2@ : データ項目名

例題

```
[C3392.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3392.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A    PIC X(8).
000006 01 B    PIC X(2).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     ACCEPT A WITH PROMPT B.
000009 END PROGRAM    C3392.
```

C3392.cob 8: JMN3392I-S ACCEPT文のPROMPT指定の'B'は1文字の英字項目、英数字項目、日本語項目、文字定数および日本語文字定数でなければなりません。

2.5.242 JMN3393I-S

@1@文のAT指定の@2@は、4けたまたは6けたの外部10進項目、数字定数でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : DISPLAYまたはACCEPT
@2@ : 一意名

例題

```
[C3393.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3393.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A    PIC X(8).
000006 01 B    PIC S9(5).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     DISPLAY A AT 01001.
000009     ACCEPT A AT B.
000010 END PROGRAM    C3393.
```

C3393.cob 8: JMN3393I-S DISPLAY文のAT指定の数字定数は、4けたまたは6けたの外部10進項目、数字定数でなければなりません。

C3393.cob 9: JMN3393I-S ACCEPT文のAT指定の'B'は、4けたまたは6けたの外部10進項目、数字定数でなければなりません。

2.5.243 JMN3394I-S

@1@文の@2@の項目長は、可変であってはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : DISPLAY

@2@ : 一意名

例題

```
[C3394.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3394.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A PIC X(8).
000006 01 L PIC S9(4) BINARY.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 DISPLAY FUNCTION MAX("A")(1 : L) UPON CRT.
000009 END PROGRAM C3394.
```

C3394.cob 8: JMN3394I-S DISPLAY文のFUNCTION MAXの項目長は、可変であってはなりません。

2.5.244 JMN3395I-S

READ文のPREVIOUSは、動的呼出しの索引ファイルまたは相対ファイル以外に指定できません。

例題

```
[C3395.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3395.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT FILE-1 ASSIGN TO SYS001
000007 ORGANIZATION IS INDEXED
000008 ACCESS MODE IS SEQUENTIAL
000009 RECORD KEY IS KEY-REC.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD FILE-1.
000013 01 REC-1.
000014 02 KEY-REC PIC XX.
000015 02 FILLER PIC X(78).
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017 READ FILE-1 PREVIOUS.
000018 END PROGRAM C3395.
```

C3395.cob 17: JMN3395I-S READ文のPREVIOUSは、動的呼出しの索引ファイルまたは相対ファイル以外に指定できません。

2.5.245 JMN3396I-S

字類条件の@2@検査において、@1@は英字項目、英数字項目、英数字編集項目、数字編集項目、日本語項目、日本語編集項目のいずれかでなければなりません。

埋め込みの説明

- @1@ : 一意名
- @2@ : 字類条件の検査種別(JAPANESE, UNICODE1, BMP)

例題

```
[C3396.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3396.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 A PIC S9(4) BINARY.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009     IF A IS JAPANESE THEN
000010         DISPLAY A
000011     END-IF.
000012 END PROGRAM C3396.
```

C3396.cob 9: JMN3396I-S 字類条件のJAPANESE検査において、'A'は英字項目、英数字項目、英数字編集項目、数字編集項目、日本語項目、日本語編集項目のいずれかでなければなりません。

2.5.246 JMN3397I-S

FUNCTION CAST-ALPHANUMERICの引数@1@は、日本語項目または日本語編集項目でなければなりません。

埋め込みの説明

- @1@ : 関数の引数

例題

```
[C3397.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3397.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 A PIC X(4).
000008 01 B PIC X(4).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010     MOVE FUNCTION CAST-ALPHANUMERIC( A ) TO B.
000011     STOP RUN.
```

C3397.cob 10: JMN3397I-S FUNCTION CAST-ALPHANUMERICの引数'A'は、日本語項目または日本語編集項目でなければなりません。

2.5.247 JMN3398I-S

FUNCTION NATIONALの引数@1@は、英字項目、英数字項目、英数字編集項目、数字編集項目、外部10進項目のいずれかでなければなりません。

埋め込みの説明

- @1@ : 関数の引数

例題

```
[C3398.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3398.
```

```
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 A PIC S9(4) BINARY.
000008 01 B PIC N(4).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 MOVE FUNCTION NATIONAL( A ) TO B.
000011 STOP RUN.
```

C3398.cob 10: JMN3398I-S FUNCTION NATIONALの引数'A'は、英字項目、英数字項目、英数字編集項目、数字編集項目、外部10進項目のいずれかでなければなりません。

2.5.248 JMN3399I-S

DISPLAY文の@1@は作業場所節で定義されていなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

例題

```
[C3399.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3399.
000003 DATA DIVISION.
000004 BASED-STORAGE SECTION.
000005 01 REC-1 BASED ON PT.
000006 02 KEY-REC PIC XX.
000007 02 FILLER PIC X(78).
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 PT POINTER.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 DISPLAY REC-1 UPON CRT.
000012 END PROGRAM C3399.
```

C3399.cob 11: JMN3399I-S DISPLAY文の'REC-1'は作業場所節で定義されていなければなりません。

2.5.249 JMN3400I-S

ACCEPT文の@1@は作業場所節で定義されていなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

例題

```
[C3400.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3400.
000003 DATA DIVISION.
000004 BASED-STORAGE SECTION.
000005 01 REC-1 BASED ON PT.
000006 02 KEY-REC PIC XX.
000007 02 FILLER PIC X(78).
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 PT POINTER.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 ACCEPT REC-1 FROM CRT.
000012 END PROGRAM C3400.
```

C3400.cob 11: JMN3400I-S ACCEPT文の'REC-1'は作業場所節で定義されていなければなりません。

2.5.250 JMN3401I-S

@1@文の@2@は集団項目に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : DISPLAY, ACCEPT

@2@ : BELL, BLANK LINE

例題

```
[C3401.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3401.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 GRP.
000006 02 A-ITEM PIC S9(4).
000007 02 B-ITEM PIC X(8).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 ACCEPT GRP WITH BELL.
000010 DISPLAY GRP WITH BELL BLANK LINE.
000011 END PROGRAM C3401.
```

C3401.cob 9: JMN3401I-S ACCEPT文のBELLは集団項目に指定できません。

C3401.cob 10: JMN3401I-S DISPLAY文のBELLは集団項目に指定できません。

C3401.cob 10: JMN3401I-S DISPLAY文のBLANK LINEは集団項目に指定できません。

2.5.251 JMN3402I-S

@1@文の@2@が数字項目または数字編集項目である場合、SIZEは指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : DISPLAYまたはACCEPT

@2@ : 一意名

例題

```
[C3402.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3402.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A PIC 99.99.
000006 01 B PIC S9(5).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 DISPLAY A WITH SIZE 2.
000009 ACCEPT B WITH SIZE 2.
000010 END PROGRAM C3402.
```

C3402.cob 8: JMN3402I-S DISPLAY文の'A'が数字項目または数字編集項目である場合、SIZEは指定できません。

C3402.cob 9: JMN3402I-S ACCEPT文の'B'が数字項目または数字編集項目である場合、SIZEは指定できません。

2.5.252 JMN3403I-S

@1@文の@2@にJUSTIFIED句が指定されている場合、SIZEは指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : DISPLAYまたはACCEPT

@2@ : 一意名

例題

```
[C3403.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3403.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A PIC X(5) JUSTIFIED.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007 DISPLAY A WITH SIZE 2.
000008 ACCEPT A WITH SIZE 2.
000009 END PROGRAM C3403.
```

C3403.cob 7: JMN3403I-S DISPLAY文の'A'にJUSTIFIED句が指定されている場合、SIZEは指定できません。

C3403.cob 8: JMN3403I-S ACCEPT文の'A'にJUSTIFIED句が指定されている場合、SIZEは指定できません。

2.5.253 JMN3404I-S

@1@文に数字定数が指定された場合、SIZEは指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : DISPLAY

例題

```
[C3404.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3404.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 PROCEDURE DIVISION.
000006 DISPLAY 12345 WITH SIZE 2.
000007 END PROGRAM C3404.
```

C3404.cob 6: JMN3404I-S DISPLAY文に数字定数が指定された場合、SIZEは指定できません。

2.5.254 JMN3407I-S

INVOKE文に型付けされていないオブジェクト参照一意名@1@が指定された場合、@2@は英数字データ項目、日本語データ項目、英数字定数または日本語定数のいずれかでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名
@2@ : '定数'または一意名

例題

```
[C3407.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3407.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 OBJA USAGE IS OBJECT REFERENCE.
000008 01 A PIC S9(8) COMP-5.
000009 01 B PIC X(5).
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 INVOKE OBJA A RETURNING B.
000012 END PROGRAM C3407.
```


C3407.cob 11: JMN3407I-S INVOKE文に型付けされていないオブジェクト参照一意名'OBJA'が指定された場合, 'A'は英数字データ項目, 日本語データ項目, 英数字定数または日本語定数のいずれかでなければなりません。

2.5.255 JMN3408I-S

@1@が示すオブジェクトにより, メソッド@2@を呼び出すことはできません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名
@2@ : メソッド名

例題

```
[C3408. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID. C3408.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 OBJECT.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007*
000008 METHOD-ID. FM1.
000009 DATA DIVISION.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012     INVOKE C3408 "FM1".
000013     EXIT METHOD.
000014 END METHOD FM1.
000015*
000016 END OBJECT.
000017 END CLASS C3408.
```

C3408.cob 12: JMN3408I-S 'C3408'が示すオブジェクトにより, メソッド'FM1'を呼び出すことはできません。

詳細な説明

メソッド呼び出しにおいては, ファクトリ定義のメソッドを呼び出す場合にはファクトリオブジェクトを, オブジェクト定義のメソッドを呼び出す場合には, オブジェクトインスタンスを指定しなければなりません。

2.5.256 JMN3410I-S

INVOKE文に型付けされていないオブジェクト参照一意名, 特殊クラスのオブジェクト参照一意名または特殊クラスのクラス名@1@が指定された場合, BY CONTENTを指定することはできません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

例題

```
[C3410. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3410.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 OBJA USAGE IS OBJECT REFERENCE.
000008 01 A PIC S9(4) BINARY.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010     INVOKE OBJA "M1" USING BY CONTENT A.
000011 END PROGRAM C3410.
```

C3410.cob 10: JMN3410I-S INVOKE文に型付けされていないオブジェクト参照一意名, 特殊クラスのオブジェクト参照一意名または特殊クラスのクラス名'OBJA'が指定された場合, BY CONTENTを指定することはできません。

2.5.257 JMN3412I-S

@1@は@2@に適合していなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 送出し側一意名

@2@ : 受取り側一意名

例題

```
[JMN3412I-A.cob]
000001 CLASS-ID. JMN3412I-A.
000002 OBJECT.
000003 PROCEDURE DIVISION.
000004*
000005 END OBJECT.
000006 END CLASS JMN3412I-A.
```

```
[JMN3412I-S.cob]
000001 CLASS-ID. JMN3412I-S.
000002 ENVIRONMENT DIVISION.
000003 CONFIGURATION SECTION.
000004 REPOSITORY.
000005 CLASS JMN3412I-A.
000006 OBJECT.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008*
000009 METHOD-ID. JMN3412-M1.
000010 DATA DIVISION.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 OBJA OBJECT REFERENCE JMN3412I-A.
000013 LINKAGE SECTION.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015 SET OBJA TO SELF.
000016 END METHOD JMN3412-M1.
000017*
000018 END OBJECT.
000019 END CLASS JMN3412I-S.
```

JMN3412I-S.cob (15) : JMN3412I-S 定義済みオブジェクト一意名SELFは'OBJA'に適合していなければなりません。

詳細な説明

オブジェクト参照の代入を目的とする, 明に書いたSET文または暗黙のSET文において, 送出し側と受取り側のオブジェクト参照一意名の組み合わせが規則として許されない場合に, このメッセージが出力されます. 組み合わせの規則は“COBOL文法書”の“11.8.5.4 代入時の適合”に示されていますので, そちらをご確認ください。

2.5.258 JMN3413I-S

オブジェクト参照一意名の比較で指定する比較演算子は, 'EQUAL(=)'または'NOT EQUAL(NOT =)'でなければなりません。

例題

```
[C3413.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID. C3413.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
```

```

000005 OBJECT.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007*
000008 METHOD-ID. FM1.
000009 DATA DIVISION.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 OBJA  USAGE IS OBJECT REFERENCE C3413.
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013     IF OBJA > NULL THEN
000014         EXIT METHOD.
000015 END METHOD FM1.
000016*
000017 END OBJECT.
000018 END CLASS C3413.

```

C3413.cob 13: JMN3413I-S オブジェクト参照一意名の比較で指定する比較演算子は、'EQUAL(=)'または'NOT EQUAL(NOT =)'でなければなりません。

2.5.259 JMN3414I-S

@1@を呼ぶCALL文にはRETURNING指定を記述しなければなりません。プログラム@1@のPROCEDURE DIVISIONにRETURNING指定があります。

埋め込みの説明

@1@ : プログラム名

例題

```

[C3414. cob]
000001 @OPTIONS CHECK (PRM)
000002 PROGRAM-ID.      C3414.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 PROCEDURE       DIVISION.
000006     CALL "C3414S".
000007     EXIT PROGRAM.
000008*
000009 PROGRAM-ID.      C3414S.
000010 DATA DIVISION.
000011 LINKAGE         SECTION.
000012     01 R PIC X(4).
000013 PROCEDURE DIVISION
000014     RETURNING R.
000015     EXIT PROGRAM.
000016 END PROGRAM      C3414S.
000017 END PROGRAM      C3414.

```

C3414.cob 6: JMN3414I-S 'C3414S'を呼ぶCALL文にはRETURNING指定を記述しなければなりません。プログラム'C3414S'のPROCEDURE DIVISIONにRETURNING指定があります。

詳細な説明

RETURNING指定の有無を一致するようにプログラムを修正してください。

2.5.260 JMN3415I-S

メソッド@1@の手続き部始め見出しにRETURNING指定がありません。

埋め込みの説明

@1@ : メソッド名

例題

```
[C3415.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID. C3415.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 OBJECT.
000007 DATA DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 OBJ3415 OBJECT REFERENCE C3415.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011*
000012 METHOD-ID. FM-1.
000013 DATA DIVISION.
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 A OBJECT REFERENCE C3415.
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017     INVOKE OBJ3415 "FM-2" RETURNING A.
000018 END METHOD FM-1.
000019*
000020 METHOD-ID. FM-2.
000021 DATA DIVISION.
000022 WORKING-STORAGE SECTION.
000023 LINKAGE SECTION.
000024 PROCEDURE DIVISION.
000025 END METHOD FM-2.
000026*
000027 END OBJECT.
000028 END CLASS C3415.
```

C3415.cob 17: JMN3415I-S メソッド'FM-2'の手続き部始め見出しにRETURNING指定がありません。

2.5.261 JMN3421I-S

行内呼出しのメソッド@1@にRETURNING指定がありません。行内呼出しの結果を表意定数ゼロとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : メソッド名

例題

```
[C3421-C.cob]
000001 CLASS-ID. C3421-C.
000002 ENVIRONMENT DIVISION.
000003 CONFIGURATION SECTION.
000004 REPOSITORY.
000005 OBJECT.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009*
000010 METHOD-ID. C3421-M.
000011 DATA DIVISION.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 LINKAGE SECTION.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015 END METHOD C3421-M.
000016*
000017 METHOD-ID. C3421-M2.
000018 DATA DIVISION.
```

```

000019 WORKING-STORAGE SECTION.
000020 01 WORK1 PIC X(50).
000021 LINKAGE SECTION.
000022 PROCEDURE DIVISION.
000023     MOVE SELF::"C3421-M" TO WORK1.
000024 END METHOD C3421-M2.
000025*
000026 END OBJECT.
000027 END CLASS C3421-C.

```

C3421-C.cob 23: JMN3421I-S 行内呼出しのメソッド'C3421-M'にRETURNING指定がありません。行内呼出しの結果を表意定数ゼロとみなします。

2.5.262 JMN3422I-S

@1@は部分参照できません。

埋め込みの説明

@1@ : "オブジェクトプロパティ"

例題

```

[C3422.cob]
000001 CLASS-ID. C3422.
000002 ENVIRONMENT DIVISION.
000003 CONFIGURATION SECTION.
000004 REPOSITORY.
000005 OBJECT.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 PROP-DATA PIC 9(10) PROPERTY.
000009 01 OBJ3422 OBJECT REFERENCE C3422.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011     METHOD-ID. C3422-M.
000012     DATA DIVISION.
000013     WORKING-STORAGE SECTION.
000014     01 X04 PIC X(4) VALUE "ABCD".
000015     LINKAGE SECTION.
000016     PROCEDURE DIVISION.
000017         MOVE PROP-DATA OF OBJ3422 (1:4) TO X04.  *> JMN3422I-S
000018     END METHOD C3422-M.
000019 END OBJECT.
000020 END CLASS C3422.

```

C3422.cob 17: JMN3422I-S オブジェクトプロパティは部分参照できません。

2.5.263 JMN3423I-S

プロパティ取出しメソッドが定義されていません。

例題

```

[C3423.cob]
000001 CLASS-ID. C3423.
000002 OBJECT.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 PROPDAT PIC S9(9) COMP-5 PROPERTY WITH NO GET.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007 END OBJECT.
000008 END CLASS C3423.

```

```
[P3423.cob]
000001 PROGRAM-ID. P3423.
000002 ENVIRONMENT DIVISION.
000003 CONFIGURATION SECTION.
000004 REPOSITORY.
000005     CLASS C3423.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 WDATA      PIC S9(9) COMP-5.
000009 01 OBJC3423  OBJECT REFERENCE C3423.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011     MOVE PROPDAT OF OBJC3423 TO WDATA.
000012 END PROGRAM P3423.
```

P3423.cob 11: JMN3423I-S プロパティ取出しメソッドが定義されていません。

詳細な説明

オブジェクトプロパティが参照側(送出し側)に記述されているとき、そのプロパティに対して設定メソッドは存在するが取出しメソッドが存在しない場合に、このエラーメッセージが出力されます。このオブジェクトプロパティは、設定側(受取り側)にしか書くことができません。

2.5.264 JMN3424I-S

プロパティ設定メソッドが定義されていません。

例題

```
[C3424.cob]
000001 CLASS-ID. C3424.
000002 OBJECT.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 PROPDAT PIC S9(9) COMP-5 PROPERTY WITH NO SET.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007 END OBJECT.
000008 END CLASS C3424.
```

```
[P3424.cob]
000001 PROGRAM-ID. P3424.
000002 ENVIRONMENT DIVISION.
000003 CONFIGURATION SECTION.
000004 REPOSITORY.
000005     CLASS C3424.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 WDATA      PIC S9(9) COMP-5.
000009 01 OBJC3424  OBJECT REFERENCE C3424.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011     MOVE WDATA TO PROPDAT OF OBJC3424.
000012 END PROGRAM P3424.
```

P3424.cob 11: JMN3424I-S プロパティ設定メソッドが定義されていません。

詳細な説明

オブジェクトプロパティが設定側(受取り側)に記述されているとき、そのプロパティに対して取出しメソッドは存在するが設定メソッドが存在しない場合に、このエラーメッセージが出力されます。このオブジェクトプロパティは、参照側(送出し側)にしか書くことができません。

2.5.265 JMN3427I-S

@1@はMOVE文およびSET文以外の受取り側に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : "オブジェクトプロパティ"

2.5.266 JMN3428I-S

@1@文にオブジェクト一意名は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : DISPLAY

例題

```
[C3428.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID. C3428.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 OBJECT.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 METHOD-ID. FM1.
000009 DATA DIVISION.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 OBJA  OBJECT REFERENCE C3428.
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013     DISPLAY OBJA.
000014     EXIT METHOD.
000015 END METHOD FM1.
000016 END OBJECT.
000017 END CLASS C3428.
```

C3428.cob 13: JMN3428I-S DISPLAY文にオブジェクト一意名は指定できません。

2.5.267 JMN3429I-S

オブジェクト参照データ項目を含む集団項目 @1@は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : 集団項目名

例題

```
[C3429.cob]
000001 PROGRAM-ID. C3429.
000002 DATA DIVISION.
000003 WORKING-STORAGE SECTION.
000004 01 OR-GROUP.
000005 02 OBJREF OBJECT REFERENCE OCCURS 10.
000006 LINKAGE SECTION.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     MOVE LOW-VALUE TO OR-GROUP
000009 END PROGRAM C3429.
```

C3429.cob 8: JMN3429I-S オブジェクト参照データ項目を含む集団項目'OR-GROUP'は指定できません。

2.5.268 JMN3430I-S

INVOKE文のUSING指定または行内呼出しに記述したパラメタの個数は、PROCEDURE DIVISIONのUSING指定に記述したパラメタの個数と一致していなければなりません。

2.5.269 JMN3432I-S

INVOKE文のBY REFERENCE指定、RETURNING指定および行内呼出しの引数に指定された一意名は、部分参照できません。

例題

```
[C3432.cob]
000001 CLASS-ID. C3432.
000002 ENVIRONMENT DIVISION.
000003 CONFIGURATION SECTION.
000004 REPOSITORY.
000005 OBJECT.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009     METHOD-ID. C3432-M.
000010     DATA DIVISION.
000011     WORKING-STORAGE SECTION.
000012     01 WK1     PIC X(20).
000013     LINKAGE SECTION.
000014     01 RTN     PIC X(20).
000015     PROCEDURE DIVISION USING RTN.
000016         INVOKE SELF "C3432-M" USING WK1(1:18).
000017     END METHOD C3432-M.
000018 END OBJECT.
000019 END CLASS C3432.
```

C3432.cob 16: JMN3432I-S INVOKE文のBY REFERENCE指定、RETURNING指定および行内呼出しの引数に指定された一意名は、部分参照できません。

2.5.270 JMN3433I-S

2文字以上のALL定数の数字項目および数字編集項目への転記は、@1@ COBOLの廃要素です。

埋め込みの説明

@1@ : ANSIR85

例題

```
[C3433.cob]
000001 CLASS-ID. C3433.
000002 ENVIRONMENT DIVISION.
000003 CONFIGURATION SECTION.
000004 REPOSITORY.
000005*
000006 OBJECT.
000007 DATA DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010     METHOD-ID. C3433-M.
000011     DATA DIVISION.
000012     WORKING-STORAGE SECTION.
000013     01 D908 PIC 9(8).
000014     LINKAGE SECTION.
000015     PROCEDURE DIVISION.
000016         MOVE ALL '40' TO D908.
000017     END METHOD C3433-M.
```



```
000018 END OBJECT.  
000019 END CLASS C3433.
```

C3433.cob 16: JMN3433I-S 2文字以上のALL定数の数字項目および数字編集項目への転記は、ANSI85 COBOLの廃要素です。

2.5.271 JMN3434I-S

2文字以上のALL定数と数字項目または数字編集項目との比較は、@1@ COBOLの廃要素です。

埋め込みの説明

@1@ : ANSI85

例題

```
[C3434.cob]  
000001 CLASS-ID. C3434.  
000002 ENVIRONMENT DIVISION.  
000003 CONFIGURATION SECTION.  
000004 OBJECT.  
000005 DATA DIVISION.  
000006 WORKING-STORAGE SECTION.  
000007 PROCEDURE DIVISION.  
000008     METHOD-ID. C3434-M.  
000009     DATA DIVISION.  
000010     WORKING-STORAGE SECTION.  
000011     01 D908 PIC 9(8) VALUE 40404040.  
000012     LINKAGE SECTION.  
000013     PROCEDURE DIVISION.  
000014         IF ALL '40' = D908  
000015             DISPLAY "SAME"  
000016         END-IF  
000017     END METHOD C3434-M.  
000018 END OBJECT.  
000019 END CLASS C3434.
```

C3434.cob 14: JMN3434I-S 2文字以上のALL定数と数字項目または数字編集項目との比較は、ANSI85 COBOLの廃要素です。

2.5.272 JMN3435I-S

特殊クラスのクラス名は、条件式に指定できません。

例題

```
[C3435.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C3435.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 CONFIGURATION SECTION.  
000005 REPOSITORY. CLASS 0L-1 AS "*COM".  
000006 DATA DIVISION.  
000007 WORKING-STORAGE SECTION.  
000008 01 OBJU OBJECT REFERENCE.  
000009 PROCEDURE DIVISION.  
000010     IF OBJU = 0L-1 THEN  
000011         EXIT PROGRAM.  
000012 END PROGRAM C3435.
```

C3435.cob 10: JMN3435I-S 特殊クラスのクラス名は、条件式に指定できません。

2.5.273 JMN3436I-S

*COM(OLE)-EXCEPTIONを除く特殊クラスのオブジェクト参照一意名は、@1@文に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : RAISE, EXIT METHOD, EXIT PROGRAM

例題

```
[C3436.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3436.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY. CLASS OL-1 AS "*COB-BINDTABLE".
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 OBJ-1 OBJECT REFERENCE OL-1.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010     RAISE OL-1.
000011 END PROGRAM C3436.
```

C3436.cob 10: JMN3436I-W *COM(OLE)-EXCEPTIONを除く特殊クラスのオブジェクト参照一意名は、RAISE文に指定できません。

2.5.274 JMN3437I-S

復帰項目の用途がオブジェクト参照データとなる行内呼出しまたはオブジェクトプロパティは、条件式に指定できません。

例題

```
[C3437.cob]
000001 CLASS-ID. C3437.
000002 ENVIRONMENT DIVISION.
000003 CONFIGURATION SECTION.
000004 REPOSITORY.
000005 OBJECT.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 OBJ1 OBJECT REFERENCE C3437 PROPERTY.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010*
000011 METHOD-ID. METHOD1.
000012 DATA DIVISION.
000013 LINKAGE SECTION.
000014 01 OBJ2 OBJECT REFERENCE C3437.
000015 PROCEDURE DIVISION RETURNING OBJ2.
000016     IF SELF::"METHOD1" = NULL THEN
000017         EVALUATE OBJ1 OF SELF
000018         WHEN NULL
000019             DISPLAY "NULL"
000020         WHEN OTHER
000021             DISPLAY "OTHER"
000022         END-EVALUATE
000023     END-IF.
000024 END METHOD METHOD1.
000025*
000026 END OBJECT.
000027 END CLASS C3437.
```

C3437.cob 16: JMN3437I-S 復帰項目の用途がオブジェクト参照データとなる行内呼出しまたはオブジェクトプロパティは、条件式に指定できません。

C3437.cob 18: JMN3437I-S 復帰項目の用途がオブジェクト参照データとなる行内呼出しまたはオブジェクトプロパティは、条件式に指定できません。

2.5.275 JMN3438I-W

最大重大度コードがSであるため、XREFオプションは無効となります。

例題

```
[C3438.cob]
000001 @OPTIONS XREF
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3438.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC X(3).
000007 01 B PIC N(3).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 MOVE A TO B.
000010 END PROGRAM C3438.
```

C3438.cob 0: JMN3438I-W 最大重大度コードがSであるため、XREFオプションは無効となります。

C3438.cob 9: JMN3023I-S 'A'は、'B'に転記できません。

2.5.276 JMN3439I-S

内部プール項目@1@はバイト境界から始まるように定義しなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 項目名

例題

```
[C3439.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID. C3439.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 OBJECT.
000008 DATA DIVISION.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 IDENTIFICATION DIVISION.
000011 METHOD-ID. C3439-1.
000012 DATA DIVISION.
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 A.
000015 02 A1 PIC 1(3) BIT.
000016 02 A2 PIC 1(5) BIT.
000017 PROCEDURE DIVISION.
000018 INVOKE SELF "C3439-2" USING A2.
000019 END METHOD C3439-1.
000020 IDENTIFICATION DIVISION.
000021 METHOD-ID. C3439-2.
000022 DATA DIVISION.
000023 LINKAGE SECTION.
000024 01 B PIC 1(5) BIT.
000025 PROCEDURE DIVISION USING B.
```

```
000026 END METHOD C3439-2.
000027 END OBJECT.
000028 END CLASS C3439.
```

C3439.cob 18: JMN3439I-S 内部ブール項目'A2'はバイト境界から始まるように定義しなければなりません。

詳細な説明

プログラムまたはメソッドの呼出しにおけるBY REFERENCEパラメタとして、ビットオフセットを持つ内部ブール項目が指定された場合にこのメッセージが出力されます。BY REFERENCEパラメタは、呼出し元のパラメタのアドレスが呼出し先のパラメタのアドレスとして参照されますが、このときのアドレスはあくまでもバイト単位のアドレスです。呼出し先では呼出し元におけるビットオフセットが考慮されないため、正しい位置が参照されません。

2.5.277 JMN3440I-S

仮パラメタがANY LENGTH句付きである場合、それに対応するINVOKE文のUSINGパラメタまたはメソッドの行内呼出しの引数は、BY REFERENCE指定のデータ名、ALL定数以外の文字定数または日本語文字定数でなければなりません。

例題

```
[C3440.cob]
000001 CLASS-ID. C3440.
000002 FACTORY.
000003 PROCEDURE DIVISION.
000004*
000005 METHOD-ID. M3440-M1.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 LINKAGE SECTION.
000009 01 FPRM PIC X ANY LENGTH.
000010 PROCEDURE DIVISION USING FPRM.
000011     DISPLAY FPRM.
000012 END METHOD M3440-M1.
000013*
000014 METHOD-ID. M3440-M2.
000015 DATA DIVISION.
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 01 PRM PIC X(2).
000018 LINKAGE SECTION.
000019 PROCEDURE DIVISION.
000020     INVOKE SELF "M3440-M1"
000021     USING BY CONTENT PRM.
000022 END METHOD M3440-M2.
000023*
000024 END FACTORY.
000025 END CLASS C3440.
```

C3440.cob 20: JMN3440I-S 仮パラメタがANY LENGTH句付きである場合、それに対応するINVOKE文のUSINGパラメタまたはメソッドの行内呼出しの引数は、BY REFERENCE指定のデータ名、ALL定数以外の文字定数または日本語文字定数でなければなりません。

2.5.278 JMN3441I-S

@2@文のUSING指定またはRETURNING指定に、ANY LENGTH句が指定された項目である@1@は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : データ名
@2@ : INVOKE/CALL

例題

```
[C3441.cob]
000001 CLASS-ID. C3441.
000002 FACTORY.
000003 PROCEDURE DIVISION.
000004*
000005 METHOD-ID. M3441-M1.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 LINKAGE SECTION.
000009 01 PRM PIC X ANY LENGTH.
000010 PROCEDURE DIVISION USING PRM.
000011     CALL "PROGA" USING PRM.
000012 END METHOD M3441-M1.
000013*
000014 END FACTORY.
000015 END CLASS C3441.
```

C3441.cob 11: JMN3441I-S CALL文のUSING指定またはRETURNING指定に、ANY LENGTH句が指定された項目である'PRM'は指定できません。

2.5.279 JMN3442I-S

@2@文のRETURNING指定に、ANY LENGTH句が指定された項目である@1@は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : データ名
@2@ : INVOKE

例題

```
[C3442.cob]
000001 CLASS-ID. C3442.
000002 OBJECT.
000003 PROCEDURE DIVISION.
000004*
000005 METHOD-ID. M3442-M1.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 LINKAGE SECTION.
000009 01 PRM PIC X ANY LENGTH.
000010 01 RET PIC X ANY LENGTH.
000011 PROCEDURE DIVISION USING PRM RETURNING RET.
000012     INVOKE SELF "M3442-M1" USING PRM RETURNING RET.
000013 END METHOD M3442-M1.
000014*
000015 END OBJECT.
000016 END CLASS C3442.
```

C3442.cob 12: JMN3442I-S INVOKE文のRETURNING指定に、ANY LENGTH句が指定された項目である'RET'は指定できません。

2.5.280 JMN3443I-S

@2@の引数に、ANY LENGTH句が指定された項目である@1@は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : データ名
@2@ : 関数名

例題

```
[C3443.cob]
000001 CLASS-ID. C3443.
000002 FACTORY.
000003 PROCEDURE DIVISION.
000004*
000005 METHOD-ID. M3443.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 WRCV      PIC X(25).
000009 LINKAGE SECTION.
000010 01 WDATA-AN PIC X  ANY LENGTH.
000011 PROCEDURE DIVISION USING WDATA-AN.
000012     MOVE FUNCTION REVERSE(WDATA-AN) TO WRCV.
000013 END METHOD M3443.
000014*
000015 END FACTORY.
000016 END CLASS C3443.
```

C3443.cob 12: JMN3443I-S FUNCTION REVERSEの引数に、ANY LENGTH句が指定された項目である'WDATA-AN'は指定できません。

2.5.281 JMN3444I-S

INITIALIZE文に、ANY LENGTH句が指定された項目である@1@は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : データ名

例題

```
[C3444.cob]
000001 CLASS-ID. C3444.
000002 FACTORY.
000003 PROCEDURE DIVISION.
000004*
000005 METHOD-ID. M3444.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 LINKAGE SECTION.
000009 01 WDATA-AN PIC X  ANY LENGTH.
000010 PROCEDURE DIVISION USING WDATA-AN.
000011     INITIALIZE WDATA-AN.
000012 END METHOD M3444.
000013*
000014 END FACTORY.
000015 END CLASS C3444.
```

C3444.cob 11: JMN3444I-S INITIALIZE文に、ANY LENGTH句が指定された項目である'WDATA-AN'は指定できません。

2.5.282 JMN3445I-S

間接的に参照されるクラス'@1@'は、リポジット段落に指定しなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : クラス名

例題

```
[A.cob]
000001 CLASS-ID. A.
000002 END CLASS A.
```

```
[B.cob]
000001 CLASS-ID. B INHERITS A.
000002 ENVIRONMENT DIVISION.
000003 CONFIGURATION SECTION.
000004 REPOSITORY.
000005     CLASS A.
000006 END CLASS B.
```

```
[X.cob]
000001 CLASS-ID. X.
000002 ENVIRONMENT DIVISION.
000003 CONFIGURATION SECTION.
000004 REPOSITORY.
000005     CLASS B.
000006 FACTORY.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008*
000009 METHOD-ID. MX.
000010 DATA DIVISION.
000011 LINKAGE SECTION.
000012 01 OBJB OBJECT REFERENCE B.
000013 PROCEDURE DIVISION RETURNING OBJB.
000014 END METHOD MX.
000015*
000016 END FACTORY.
000017 END CLASS X.
```

```
[C3445.cob]
000001 PROGRAM-ID. C3445.
000002 ENVIRONMENT DIVISION.
000003 CONFIGURATION SECTION.
000004 REPOSITORY.
000005     CLASS A
000006     CLASS X.
000007 DATA DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 OBJA OBJECT REFERENCE A.
000010 LINKAGE SECTION.
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012     INVOKE X "MX" RETURNING OBJA
000013 END PROGRAM C3445.
```

C3445.cob 12: JMN3445I-S 間接的に参照されるクラス'B'は、リポジトリ段落に指定しなければなりません。

2.5.283 JMN3446I-S

INVOKE文のBY CONTENT指定に、ANY LENGTH句が指定された項目である@1@は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : データ名

例題

```
[C3446.cob]
000001 CLASS-ID. C3446.
000002 FACTORY.
```

```

000003 PROCEDURE DIVISION.
000004*
000005 METHOD-ID. M3446.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 LINKAGE SECTION.
000009 01 PRM PIC X ANY LENGTH.
000010 PROCEDURE DIVISION USING PRM.
000011     INVOKE SELF "M3446" USING BY CONTENT PRM.
000012 END METHOD M3446.
000013*
000014 END FACTORY.
000015 END CLASS C3446.

```

C3446.cob 11: JMN3446I-S INVOKE文のBY CONTENT指定に、ANY LENGTH句が指定された項目である'PRM'は指定できません。

2.5.284 JMN3447I-S

RETURNING指定にANY LENGTH句が指定されたメソッド@1@は、行内呼出しにより呼び出すことはできません。

埋め込みの説明

@1@ : メソッド名

例題

```

[C3447. cob]
000001 CLASS-ID. C3447.
000002 FACTORY.
000003 PROCEDURE DIVISION.
000004*
000005 METHOD-ID. M3447.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 X10 PIC X(10).
000009 LINKAGE SECTION.
000010 01 RET PIC X ANY LENGTH.
000011 PROCEDURE DIVISION RETURNING RET.
000012     MOVE SELF :: "M3447" TO X10
000013 END METHOD M3447.
000014*
000015 END FACTORY.
000016 END CLASS C3447.

```

C3447.cob 12: JMN3447I-S RETURNING指定にANY LENGTH句が指定されたメソッド'M3447'は、行内呼出しにより呼び出すことはできません。

2.5.285 JMN3448I-W

@2@文のRAISING指定の@1@はクラス名を持つオブジェクト一意名でなければならず、そのクラス名は手続き部始め見出しのRAISINGに指定されていなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

@2@ : EXIT METHOD, EXIT PROGRAM

例題

```

[C3448. cob]
000001 CLASS-ID. C3448.
000002 FACTORY.

```



```

000003 PROCEDURE DIVISION.
000004 METHOD-ID. FM1 IS INVARIANT.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 OBJA  USAGE IS OBJECT REFERENCE C3448.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009     INVOKE OBJA "OM1".
000010     EXIT METHOD RAISING OBJA.
000011 END METHOD FM1.
000012 END FACTORY.
000013 OBJECT.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015 METHOD-ID. OM1.
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017 END METHOD OM1.
000018 END OBJECT.
000019 END CLASS C3448.

```

C3448.cob 10: JMN3448I-W EXIT METHOD文のRAISING指定の'OBJA'はクラス名を持つオブジェクト一意名でなければならず、そのクラス名は手続き部始め見出しのRAISINGに指定されていなければなりません。

詳細な説明

EXIT PROGRAM文またはEXIT METHOD文にRAISING指定を指定する場合、そこに指定するオブジェクト参照一意名が参照するクラスをPROCEDURE DIVISIONのRAISING指定に書かなければならないことが、仕様として定められています。

2.5.286 JMN3449I-S

FINALIZEメソッド中にRAISING指定のあるEXIT METHOD文は指定できません。

例題

```

[C3449.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID. C3449 INHERITS FJBASE.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS FJBASE.
000007*
000008 OBJECT.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 METHOD-ID. _FINALIZE OVERRIDE.
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012     EXIT METHOD RAISING C3449.
000013 END METHOD _FINALIZE.
000014 END OBJECT.
000015 END CLASS C3449.

```

C3449.cob 12: JMN3449I-S _FINALIZEメソッド中にRAISING指定のあるEXIT METHOD文は指定できません。

2.5.287 JMN3450I-W

送出し側項目@1@の領域と受取り側項目@2@の領域が重なっているため、転記の結果は規定されません。

埋め込みの説明

- @1@ : 転記の送出し側
- @2@ : 転記の受取り側

例題

```
[C3450. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3450.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 GRP.
000006 02 A-GRP.
000007 03 A-AREA PIC X(4).
000008 03 FILLER PIC X(1).
000009 02 B-GRP REDEFINES A-GRP.
000010 03 FILLER PIC X(1).
000011 03 B-AREA PIC X(4).
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013 MOVE A-AREA TO B-AREA.
000014 END PROGRAM C3450.
```

C3450.cob 13: JMN3450I-W 送し側項目'A-AREA'の領域と受取り側項目'B-AREA'の領域が重なっているため、転記の結果は規定されません。

詳細な説明

明に書いたMOVE文または暗黙のMOVE文において、送し側と受取り側の領域が一部でも重なっている場合、その転記の結果は重なり具合や領域長などの条件によって変わり、一定の規則に則った結果は得られません。

2.5.288 JMN3451I-W

@1@型の仮パラメタに対し、@2@(@3@)が実パラメタに指定されています。正しく受け渡しできない可能性があります。

埋め込みの説明

@1@ : VT型の名前(VT_XXXXX)
@2@ : 一意名の名票

例題

```
[C3451. cob]
000001 PROGRAM-ID. C3451.
000002 ENVIRONMENT DIVISION.
000003 CONFIGURATION SECTION.
000004 REPOSITORY.
000005 CLASS Excel-Range AS "COM:EXCEL:Range"
000006 .
000007 DATA DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 CELL-OBJ OBJECT REFERENCE Excel-Range.
000010 01 ERR-COUNT PIC X(4).
000011 01 OK-COUNT PIC S9(9) COMP-5.
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013*
000014 INVOKE CELL-OBJ "GET-Count" RETURNING ERR-COUNT
000015 INVOKE CELL-OBJ "GET-Count" RETURNING OK-COUNT
000016*
000017 END PROGRAM C3451.
```

C3451.cob 14: JMN3451I-W VT_I4型の仮パラメタに対し、'ERR-COUNT'(英数字)が実パラメタに指定されています。正しく受け渡すことができません。

2.5.289 JMN3453I-S

省略できないパラメタに対してOMITTED句は指定できません。

例題

```
[C3453.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3453.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS EXCEL AS "*COM:EXCEL:APPLICATION"
000007 CLASS WORKBOOK AS "*COM:EXCEL:WORKBOOK"
000008 CLASS WORKBOOKS AS "*COM:EXCEL:WORKBOOKS"
000009 .
000010 DATA DIVISION.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WEXCEL OBJECT REFERENCE EXCEL.
000013 01 WBOOK OBJECT REFERENCE WORKBOOK.
000014 01 WFILENAME OBJECT REFERENCE.
000015 PROCEDURE DIVISION.
000016 INVOKE EXCEL "NEW" RETURNING WEXCEL.
000017*
000018 INVOKE WORKBOOKS OF WEXCEL "OPEN"
000019 USING OMITTED
000020 RETURNING WBOOK.
000021*
000022 END PROGRAM C3453.
```

C3453.cob 19: JMN3453I-S 省略できないパラメタに対してOMITTED句は指定できません。

2.5.290 JMN3454I-S

@1@が特殊クラスのオブジェクト参照一意名ではない場合、パラメタとしてOMITTEDを指定することはできません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

例題

```
[C3454.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID. C3454.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 .
000007 OBJECT.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009*
000010 METHOD-ID. MY-METHOD.
000011 DATA DIVISION.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 OBJ3454 OBJECT REFERENCE C3454.
000014 LINKAGE SECTION.
000015 01 PRM1 PIC X(10).
000016 PROCEDURE DIVISION USING PRM1.
000017 INVOKE OBJ3454 "MY-METHOD" USING OMITTED.
000018 END METHOD MY-METHOD.
000019*
000020 END OBJECT.
000021 END CLASS C3454.
```

C3454.cob 17: JMN3454I-S 'OBJ3454'が特殊クラスのオブジェクト参照一意名ではない場合、パラメタとしてOMITTEDを指定することはできません。

2.5.291 JMN3455I-S

@1@は@2@(@3@型)に適合していなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名票

@2@ : “仮パラメタ”

@3@ : 仮パラメタのVT型名

例題

```
[C3455.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3455.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS EXCEL AS “*COM:EXCEL:APPLICATION”
000007 CLASS WORKBOOK AS “*COM:EXCEL:WORKBOOK”
000008 CLASS WORKBOOKS AS “*COM:EXCEL:WORKBOOKS”
000009 .
000010 DATA DIVISION.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WEXCEL OBJECT REFERENCE EXCEL.
000013 01 WBOOK OBJECT REFERENCE WORKBOOK.
000014 01 WFILENAME OBJECT REFERENCE.
000015 PROCEDURE DIVISION.
000016 INVOKE EXCEL “NEW” RETURNING WEXCEL.
000017*
000018 INVOKE WORKBOOKS OF WEXCEL “OPEN”
000019 USING WFILENAME
000020 RETURNING WBOOK.
000021*
000022 END PROGRAM C3455.
```

C3455.cob 19: JMN3455I-S 'WFILENAME'は仮パラメタ(VT_BSTR型)に適合していなければなりません。

2.5.292 JMN3456I-S

特殊クラスのメソッド呼出しのパラメタに、表意定数およびALL定数は指定できません。

例題

```
[C3456.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3456.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS EXCEL AS “*COM:EXCEL:APPLICATION”
000007 CLASS WORKBOOK AS “*COM:EXCEL:WORKBOOK”
000008 CLASS WORKBOOKS AS “*COM:EXCEL:WORKBOOKS”
000009 .
000010 DATA DIVISION.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WEXCEL OBJECT REFERENCE EXCEL.
000013 01 WBOOK OBJECT REFERENCE WORKBOOK.
000014 01 WFILENAME OBJECT REFERENCE.
000015 PROCEDURE DIVISION.
```

```

000016     INVOKE EXCEL "NEW" RETURNING WEXCEL.
000017*
000018     INVOKE WORKBOOKS OF WEXCEL "OPEN"
000019             USING      SPACE
000020             RETURNING WBOOK.
000021*
000022 END PROGRAM C3456.

```

C3456.cob 19: JMN3456I-S 特殊クラスのメソッド呼出しのパラメタに、表意定数およびALL定数は指定できません。

2.5.293 JMN3457I-I

@1@型の仮パラメタに対し、@2@(@3@)が実パラメタに指定されています。

埋め込みの説明

@1@ : VT型の名前(VT_XXXXX)

@2@ : 一意名の名

@3@ : データ項目の種別

例題

```

[C3457.cob]
000001 PROGRAM-ID.    C3457.
000002 ENVIRONMENT DIVISION.
000003 CONFIGURATION SECTION.
000004 REPOSITORY.
000005     CLASS EXCEL-RANGE AS "*COM:EXCEL:RANGE".
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 B           PIC X(20).
000009 01 RANGE-OBJ   OBJECT REFERENCE EXCEL-RANGE.
000010 01 RCV        COMP-2.
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012     INVOKE RANGE-OBJ "GET-Text" RETURNING B.
000013 END PROGRAM C3457.

```

C3457.cob 12: JMN3457I-I VT_VARIANT型の仮パラメタに対し、'B'(英数字)が実パラメタに指定されています。

2.5.294 JMN3458I-S

@2@文においてCONTROL指定のデータ名@1@は、英数字項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : データ項目名

@2@ : ACCEPT/DISPLAY

例題

```

[C3458.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3458.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 CTRL-DATA   PIC N(20).
000006 01 SCRN-DATA PIC N(16).
000007 SCREEN       SECTION.
000008 01 ITITLE1    CONTROL CTRL-DATA.
000009 02 LINE NUMBER IS 3 COLUMN NUMBER IS 23.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011     DISPLAY ITITLE1.
000012     DISPLAY SCRN-DATA WITH CONTROL CTRL-DATA.

```

```
000013 EXIT PROGRAM.
000014 END PROGRAM C3458.
```

C3458.cob 11: JMN3458I-S DISPLAY文においてCONTROL指定のデータ名'CTRL-DATA'は、英数字項目でなければなりません。

C3458.cob 12: JMN3458I-S DISPLAY文においてCONTROL指定のデータ名'CTRL-DATA'は、英数字項目でなければなりません。

2.5.295 JMN3459I-S

FUNCTION UCS2-OFの引数@1@は、英字項目、英数字項目または英数字編集項目のいずれかで、エンコード方式はUTF8でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 関数の引数

例題

```
[C3459.cob]
000001 @OPTIONS RCS (UTF16)
000002 PROGRAM-ID. C3459.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 N20 PIC N(20).
000007 01 INTD PIC S9(9).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 MOVE FUNCTION UCS2-OF (INTD) TO N20
000010 END PROGRAM C3459.
```

C3459.cob 9: JMN3459I-S FUNCTION UCS2-OFの引数'INTD'は、英字項目、英数字項目または英数字編集項目のいずれかで、エンコード方式はUTF8でなければなりません。

2.5.296 JMN3460I-S

FUNCTION UTF8-OFの引数@1@は、日本語項目または日本語編集項目のいずれかで、エンコード方式はUTF16でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 関数の引数

例題

```
[C3460.cob]
000001 @OPTIONS RCS (UTF16)
000002 PROGRAM-ID. C3460.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 X20 PIC X(20).
000007 01 NGRP.
000008 02 N10 PIC N(10).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 MOVE FUNCTION UTF8-OF (NGRP) TO X20
000011 END PROGRAM C3460.
```

C3460.cob 10: JMN3460I-S FUNCTION UTF8-OFの引数'NGRP'は、日本語項目または日本語編集項目のいずれかで、エンコード方式はUTF16でなければなりません。

2.5.297 JMN3461I-S

FUNCTION STORED-CHAR-LENGTHの引数@1@は、英字項目、英数字項目、英数字編集項目、日本語項目または日本語編集項目のいずれかでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 関数の引数

例題

```
[C3461.cob]
000001 PROGRAM-ID. C3461.
000002 ENVIRONMENT DIVISION.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 LEN PIC 9(3).
000006 01 GRP.
000007 02 X10 PIC X(10).
000008 02 X20 PIC X(20).
000009 01 NUM01 PIC S9(4).
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 COMPUTE LEN = FUNCTION STORED-CHAR-LENGTH (GRP)
000012 COMPUTE LEN = FUNCTION STORED-CHAR-LENGTH (NUM01)
000013 END PROGRAM C3461.
```

C3461.cob 11: JMN3461I-S FUNCTION STORED-CHAR-LENGTHの引数'GRP'は、英字項目、英数字項目、英数字編集項目、日本語項目または日本語編集項目のいずれかでなければなりません。

C3461.cob 12: JMN3461I-S FUNCTION STORED-CHAR-LENGTHの引数'NUM01'は、英字項目、英数字項目、英数字編集項目、日本語項目または日本語編集項目のいずれかでなければなりません。

2.5.298 JMN3462I-W

翻訳オプションRCS(UTF16)またはENCODE指定の場合、日本語項目を含む集団項目@1@の日本語部分は日本語として大小比較されません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名(集団項目)

例題

```
[C3462.cob]
000001 @OPTIONS RCS(UTF16)
000002 PROGRAM-ID. C3462.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 X20 PIC X(20).
000007 01 NGRP.
000008 02 N10 PIC N(10).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 IF X20 > NGRP THEN
000011 DISPLAY "X20 BIGGER"
000012 ELSE
000013 DISPLAY "X20 SMALLER"
000014 END-IF
000015 END PROGRAM C3462.
```

C3462.cob 10: JMN3462I-W 翻訳オプションRCS(UTF16)またはENCODE指定の場合、日本語項目を含む集団項目'NGRP'の日本語部分は日本語として大小比較されません。

2.5.299 JMN3463I-S

転記の受取り側である@2@が強く型付けされた集団項目のとき、送出し側である@1@は、@2@と同じ型の強く型付けされた集団項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

@2@ : 一意名

例題

```
[C3463.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3463.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 TYPE-A TYPEDEF STRONG.
000008 02 A1 PIC S9(4) COMP-5.
000009 02 A2 PIC X(50).
000010 01 TYPE-B TYPEDEF STRONG.
000011 02 B1 PIC X(25).
000012 01 DATA-A TYPE TYPE-A.
000013 01 DATA-B TYPE TYPE-B.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015 MOVE DATA-A TO DATA-B.
000016 EXIT PROGRAM.
000017 END PROGRAM C3463.
```

C3463.cob 15: JMN3463I-S 転記の受取り側である'DATA-B'が強く型付けされた集団項目のとき、送出し側である'DATA-A'は、'DATA-B'と同じ型の強く型付けされた集団項目でなければなりません。

2.5.300 JMN3464I-S

データ項目のどちらかが強く型付けされた集団項目である場合、もう一方のデータ項目も同じ型で強く型付けされた集団項目でなければなりません。

例題

```
[C3464.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3464.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 STG TYPEDEF STRONG.
000006 02 A PIC X(40).
000007 02 B PIC N(20).
000008 01 ABC TYPE STG.
000009 01 DEF PIC X(80).
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 IF ABC = DEF THEN
000012 DISPLAY "OK"
000013 END-IF.
000014 END PROGRAM C3464.
```

C3464.cob 11: JMN3464I-S データ項目のどちらかが強く型付けされた集団項目である場合、もう一方のデータ項目も同じ型で強く型付けされた集団項目でなければなりません。

2.5.301 JMN3465I-S

@1@文においてINTO指定の@2@が強く型付けられた集団項目である場合、@3@のレコード記述は一つでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : READ/RETURN
@2@ : 一意名
@3@ : ファイル名

例題

```
[C3465.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3465.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT A-FILE ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD A-FILE.
000010 01 RECA1 PIC X(80).
000011 01 RECA2 PIC X(100).
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 STG TYPEDEF STRONG.
000014 02 A PIC X(40).
000015 02 B PIC N(20).
000016 01 INTOA TYPE STG.
000017 PROCEDURE DIVISION.
000018     OPEN INPUT A-FILE.
000019     READ A-FILE INTO INTOA.
000020 END PROGRAM C3465.
```

C3465.cob 19: JMN3465I-S READ文においてINTO指定の'INTOA'が強く型付けられた集団項目である場合、'A-FILE'のレコード記述は一つでなければなりません。

2.5.302 JMN3466I-S

INVOKE文のUSING指定およびRETURNING指定、またはメソッドの行内呼出しの引数として強く型付けされた集団項目を指定する場合、それは01レベル番号のものでなければなりません。

例題

```
[C3466.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3466.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 OBJU OBJECT REFERENCE.
000008 01 TYPE-A TYPEDEF STRONG.
000009 02 GP.
000010 03 A1 PIC S9(4) COMP-5.
000011 03 A2 PIC X(50).
000012 01 DATA-A TYPE TYPE-A.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     INVOKE OBJU "M1" USING GP OF DATA-A.
000015     EXIT PROGRAM.
000016 END PROGRAM C3466.
```

C3466.cob 14: JMN3466I-S INVOKE文のUSING指定およびRETURNING指定、またはメソッドの行内呼出しの引数として強く型付けされた集団項目を指定する場合、それは01レベル番号のものでなければなりません。

2.5.303 JMN3467I-S

強く型付けされた集団項目 @1@ が指定できないところに指定されています。

埋め込みの説明

@1@ : 強く型付けされた集団項目

例題

```
[C3467.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3467.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 STG    TYPEDEF STRONG.
000006     02  A    PIC X(40).
000007     02  B    PIC N(20).
000008 01 ABC    TYPE STG.
000009 01 DEF    PIC X(80).
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011     ACCEPT ABC.
000012 END PROGRAM C3467.
```

C3467.cob 11: JMN3467I-S 強く型付けされた集団項目'ABC'が指定できないところに指定されています。

2.5.304 JMN3468I-S

強く型づけされた集団項目、および強く型づけされた集団項目に従属する基本項目で項類が英数字または日本語以外のものは部分参照できません。

例題

```
[C3468.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3468.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 TYPE-A TYPEDEF STRONG.
000008     02  GP.
000009         03  A1  PIC XX/XX/XX.
000010         03  A2  PIC X(50).
000011 01 DATA-A TYPE TYPE-A.
000012 01 DATA-B PIC X(5).
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     MOVE A1(1:5) TO DATA-B.
000015     EXIT PROGRAM.
000016 END PROGRAM C3468.
```

C3468.cob 14: JMN3468I-S 強く型づけされた集団項目、および強く型づけされた集団項目に従属する基本項目で項類が英数字または日本語以外のものは部分参照できません。

2.5.305 JMN3469I-S

復帰項目がオブジェクト参照データを含む強く型付けされた集団項目となる行内呼出しまたはオブジェクトプロパティは、条件式に指定できません。

例題

```
[C3469.cob]
000001 CLASS-ID. C3469.
```

```

000002 ENVIRONMENT DIVISION.
000003 CONFIGURATION SECTION.
000004 OBJECT.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008*
000009 METHOD-ID. OM1.
000010 DATA DIVISION.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 A TYPEDEF STRONG.
000013 02 D OBJECT REFERENCE C3469.
000014 01 WABC TYPE A.
000015 LINKAGE SECTION.
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017     IF SELF::"OM2" = WABC THEN
000018         EXIT METHOD.
000019 END METHOD OM1.
000020*
000021 METHOD-ID. OM2.
000022 DATA DIVISION.
000023 WORKING-STORAGE SECTION.
000024 LINKAGE SECTION.
000025 01 A TYPEDEF STRONG.
000026 02 D OBJECT REFERENCE C3469.
000027 01 ABC TYPE A.
000028 PROCEDURE DIVISION RETURNING ABC.
000029 END METHOD OM2.
000030*
000031 END OBJECT.
000032 END CLASS C3469.

```

C3469.cob 17: JMN3469I-S 復帰項目がオブジェクト参照データを含む強く型付けされた集団項目となる行内呼出しまたはオブジェクトプロパティは、条件式に指定できません。

2.5.306 JMN3470I-W

翻訳オプションRCS(UTF16)またはENCODE指定時、呼出し名として日本語項目を含む集団項目@1@を指定すると、正しく呼び出せません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名(集団項目)

例題

```

[C3470I-W.cob]
000001 @OPTIONS RCS(UTF16)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3470I-W.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 NMIXGR.
000009 02 X04 PIC X(4).
000010 02 N10 PIC N(10).
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012     CALL NMIXGR.
000013     EXIT PROGRAM.
000014 END PROGRAM C3470I-W.

```

C3470I-W.cob 12: JMN3470I-W 翻訳オプションRCS(UTF16)またはENCODE指定時、呼出し名として日本語項目を含む集団項目'NMIXGR'を指定すると、正しく呼び出せません。

2.5.307 JMN3471I-W

翻訳オプションRCS(UTF16)またはENCODE指定の場合、日本語項目を含む集団項目@1@の日本語部分は日本語として大小比較されません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名(集団項目)

例題

```
[JMN3471I-W.cob]
000001 @OPTIONS RCS(UTF16)
000002 PROGRAM-ID. JMN3471I-W.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SMFILE ASSIGN SM1F.
000007     SELECT USFILE ASSIGN SEQ1F.
000008     SELECT GVFILE ASSIGN SEQ2F.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 SD SMFILE.
000012 01 R1.
000013 02 KEY-1 PIC X(4).
000014 02 KEY-2.
000015 03 KEY-1-1 PIC X(2).
000016 03 KEY-1-2 PIC N(1).
000017 02 R1-1 PIC X(72).
000018 FD USFILE.
000019 01 USR01 PIC X(80).
000020 FD GVFILE.
000021 01 GIV01 PIC X(80).
000022 WORKING-STORAGE SECTION.
000023 PROCEDURE DIVISION.
000024     SORT SMFILE ON ASCENDING KEY KEY-2
000025             USING USFILE
000026             GIVING GVFILE
000027 END PROGRAM JMN3471I-W.
```

JMN3471I-W.cob 24: JMN3471I-W 翻訳オプションRCS(UTF16)またはENCODE指定の場合、日本語項目を含む集団項目'KEY-2'の日本語部分は日本語として大小比較されません。

2.5.308 JMN3472I-W

翻訳オプションRCS(UTF16)またはENCODE指定の場合、DISPLAY文に日本語項目を含む集団項目@1@は日本語部分が日本語として表示されません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名(集団項目)

例題

```
[C3472I-W.cob]
000001 @OPTIONS RCS(UTF16)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3472I-W.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
```

```

000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 NMIXGR.
000009 02 X04 PIC X(4).
000010 02 N10 PIC N(10).
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012     DISPLAY NMIXGR.
000013     EXIT PROGRAM.
000014 END PROGRAM C3472I-W.

```

C3472I-W.cob 12: JMN3472I-W 翻訳オプションRCS(UTF16)またはENCODE指定の場合、DISPLAY文に日本語項目を含む集団項目'NMIXGR'は日本語部分が日本語として表示されません。

2.5.309 JMN3473I-S

翻訳オプションRCS(UTF16)またはENCODE指定時、行順ファイルのWRITE文に日本語項目とその他の項目を含む集団項目@1@は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名(集団項目)

2.5.310 JMN3476I-S

SECTION指定のEXIT文は節の中だけにしか指定できません。

例題

```

[C3476.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3476.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     EXIT SECTION      *> JMN3476I-S
000009     .
000010 A SECTION.
000011     EXIT SECTION      *> OK
000012     .
000013 END PROGRAM C3476.

```

C3476.cob 8: JMN3476I-S SECTION指定のEXIT文は節の中だけにしか指定できません。

2.5.311 JMN3482I-S

連絡節に定義された@1@はPROCEDURE DIVISIONのUSING指定またはRETURNING指定、またはENTRY文のUSING指定に記述しなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

例題

```

[C3482.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3482.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 LINKAGE SECTION.
000006 01 WX3482 PIC X(10).

```

```
000007 PROCEDURE      DIVISION.
000008     MOVE "ERROR3482" TO WX3482  *> JMN3482I-S
000009 END PROGRAM      C3482.
```

C3482.cob 8: JMN3482I-S 連絡節に定義された'WX3482'はPROCEDURE DIVISIONのUSING指定またはRETURNING指定、またはENTRY文のUSING指定に記述しなければなりません。

詳細な説明

作業データとして使用するデータ項目は、WORKING-STORAGE SECTIONに定義してください。

2.5.312 JMN3483I-S

主プログラムの手続き部見出しのUSING指定に記述したパラメタは、大きさが102バイトを越えないただ1つの集団項目で、従属する最初の基本項目が2バイトの2進項目でなければなりません。指定されたパラメタは無効になります。

例題

```
[C3483.cob]
000001 @OPTIONS MAIN
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C3483.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA              DIVISION.
000006 LINKAGE           SECTION.
000007 01 WPRM1.
000008 02 WPRM1L          PIC 9(4).
000009 02 WPRM1X          PIC 9(4).
000010 01 WPRM2.
000011 02 WPRM1L          PIC 9(4).
000012 02 WPRM1X          PIC 9(4).
000013 PROCEDURE        DIVISION
000014                   USING WPRM1 WPRM2.
000015     MOVE ZERO TO WPRM2
000016 END PROGRAM      C3483.
```

C3483.cob 7: JMN5595I-S 主プログラムの手続き部見出しのUSING指定に記述したパラメタは、大きさが102バイトを越えないただ1つの集団項目で、従属する最初の基本項目が2バイトの2進項目でなければなりません。指定されたパラメタは無効になります。

C3483.cob 14: JMN3483I-S 主プログラムの手続き部見出しのUSING指定に記述したパラメタは、大きさが102バイトを越えないただ1つの集団項目で、従属する最初の基本項目が2バイトの2進項目でなければなりません。指定されたパラメタは無効になります。

C3483.cob 15: JMN3483I-S 主プログラムの手続き部見出しのUSING指定に記述したパラメタは、大きさが102バイトを越えないただ1つの集団項目で、従属する最初の基本項目が2バイトの2進項目でなければなりません。指定されたパラメタは無効になります。

詳細な説明

主プログラムの連絡節には、OSIV系システム形式でのパラメタを受け取るためのデータ項目を1つだけ定義することができます。

連絡節データの書き方が誤っている場合に、この診断メッセージが出力されます。

OSIV系システム形式でのパラメタの詳細については、以下を参照してください。

- ・ “NetCOBOLユーザーズガイド”の“K.2 プログラムの動作確認における注意事項”

OSIV系システム形式でのパラメタの受取りが目的でない場合は、データ項目は連絡節ではなく、作業場所節に定義してください。

2.5.313 JMN3484I-S

CALL文のBY VALUEに指定された@1@は、用途がCOMPUTATIONAL-5である8バイト以下の2進項目、1バイトの項目または18けた以下の数字定数でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : データ項目

例題

```
[C3484.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3484.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 ITEM PIC X(2).
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007     CALL "ABC" USING BY VALUE ITEM.
000008 END PROGRAM C3484.
```

C3484.cob 7: JMN3484I-S CALL文のBY VALUEに指定された'ITEM'は、用途がCOMPUTATIONAL-5である8バイト以下の2進項目、1バイトの項目または18けた以下の数字定数でなければなりません。

2.5.314 JMN3485I-S

@2@文のRETURNING指定に、含まれる基本項目の全てが同じ精度の内部浮動小数点項目である集団項目@1@は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : 集団項目名

@2@ : 文種別

例題

```
[C3485.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3485.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 G-ITEM.
000006 02 ELEM1 COMP-2.
000007 02 ELEM2 COMP-2.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009     CALL "ABC" RETURNING G-ITEM.
000010 END PROGRAM C3485.
```

C3484.cob 9: JMN3485I-S CALL文のRETURNING指定に、含まれる基本項目の全てが同じ精度の内部浮動小数点項目である集団項目'G-ITEM'は指定できません。

2.5.315 JMN3504I-S

型名@1@は比較できません。

埋め込みの説明

@1@ : クラス名、インタフェース名、デリゲート名、またはENUM名

詳細な説明

クラス名/インタフェース名/ENUM名/デリゲート名が指定できる条件式は、型条件のみです。

2.5.316 JMN3508I-S

@1@を呼ぶCALL文にはRETURNING指定を記述することはできません。プログラム@1@のPROCEDURE DIVISIONにRETURNING指定がありません。

埋め込みの説明

@1@ : プログラム名

例題

```
[C3508.cob]
000001 @OPTIONS CHECK (PRM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3508.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 R PIC S9(09) COMP-5.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     CALL "C3508S" RETURNING R.
000009     EXIT PROGRAM.
000010 IDENTIFICATION DIVISION.
000011 PROGRAM-ID. C3508S.
000012 DATA DIVISION.
000013 LINKAGE SECTION.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     EXIT PROGRAM.
000016 END PROGRAM C3508S.
000017 END PROGRAM C3508.
```

C3508.cob 8: JMN3508I-S 'C3508S'を呼ぶCALL文にはRETURNING指定を記述することはできません。プログラム'C3508S'のPROCEDURE DIVISIONにRETURNING指定がありません。

詳細な説明

RETURNING指定の有無を一致するようにプログラムを修正してください。

2.5.317 JMN3524I-S

送出し側の数字定数が、@2@の値の範囲を超えています。@1@には転記できません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

@2@ : BINARY-XXXのUSAGE種別

例題

```
[C3524I-S.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3524I-S.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 DATA-1 USAGE BINARY-LONG SIGNED.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009     MOVE 123456789012345 TO DATA-1.
000010     EXIT PROGRAM.
000011 END PROGRAM C3524I-S.
```

C3524I-S.cob 9: JMN3524I-S 送出し側の数字定数が、USAGE BINARY-LONG SIGNEDの値の範囲を超えています。'DATA-1'には転記できません。

詳細な説明

int型2進整数データに格納できる値の範囲は、それぞれ毎に決められています。詳しくは“COBOL文法書”の“5.4.17 USAGE句”を参照ください。

2.5.318 JMN3525I-S

@1@の引数-1は、字類が英字、英数字または日本語でなければなりません。また、集団項目であってはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 関数名(FUNCTION UNICODE-OF/ACP-OF)

例題

```
[C3525I-S.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3525I-S.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 DATA-1 PIC S9(9) COMP-5.
000008 01 DATA-2 PIC N(10).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010     MOVE FUNCTION UNICODE-OF ( DATA-1 ) TO DATA-2.
000011     EXIT PROGRAM.
000012 END PROGRAM C3525I-S.
```

C3525I-S.cob 10: JMN3525I-S FUNCTION UNICODE-OFの引数-1は、字類が英字、英数字または日本語でなければなりません。また、集団項目であってはなりません。

2.5.319 JMN3526I-S

@1@の引数-2は、英数字項類でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 関数名(FUNCTION UNICODE-OF/ACP-OF)

例題

```
[C3526I-S.cob]
000001 @OPTIONS RCS (UTF16)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3526I-S.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 DATA-1 PIC X(10).
000009 01 DATA-2 PIC X(10).
000010 01 DATA-3 PIC 9(5).
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012     MOVE FUNCTION UNICODE-OF ( DATA-1 DATA-3 ) TO DATA-2.
000013     EXIT PROGRAM.
000014 END PROGRAM C3526I-S.
```

C3526I-S.cob 12: JMN3526I-S FUNCTION UNICODE-OFの引数-2は、英数字項類でなければなりません。

2.5.320 JMN3533I-S

FUNCTION DISPLAY-OFの引数-1は、字類が日本語でなければなりません。

例題

```
[C3533.cob]
000001 @OPTIONS RCS (UTF16).
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3533.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
```

```
000006 WORKING-STORAGE SECTION.  
000007 01 A PIC X(8).  
000008 01 B PIC X(8).  
000009 PROCEDURE DIVISION.  
000010 P-START.  
000011 MOVE FUNCTION DISPLAY-OF ( A ) TO B.  
000012 END PROGRAM C3533.
```

C3533.cob 11: JMN3533I-S FUNCTION DISPLAY-OFの引数-1は、字類が日本語でなければなりません。

2.5.321 JMN3534I-S

FUNCTION DISPLAY-OFの引数-2は、字類が英字または英数字、かつ長さが1文字で、翻訳オプションENCODEの指定と同じエンコード方式でなければなりません。

例題

```
[C3534.cob]  
000001 @OPTIONS RCS(UTF16)  
000002 IDENTIFICATION DIVISION.  
000003 PROGRAM-ID. C3534.  
000004 ENVIRONMENT DIVISION.  
000005 DATA DIVISION.  
000006 WORKING-STORAGE SECTION.  
000007 01 A PIC N(8).  
000008 01 B PIC X(8).  
000009 PROCEDURE DIVISION.  
000010 P-START.  
000011 MOVE FUNCTION DISPLAY-OF ( A N"A" ) TO B.  
000012 STOP RUN.  
000013 END PROGRAM C3534.
```

C3534.cob 11: JMN3534I-S FUNCTION DISPLAY-OFの引数-2は、字類が英字または英数字、かつ長さが1文字で、翻訳オプションENCODEの指定と同じエンコード方式でなければなりません。

2.5.322 JMN3535I-S

FUNCTION NATIONAL-OFの引数-1は、字類が英字または英数字でなければなりません。

例題

```
[C3535.cob]  
000001 @OPTIONS RCS(UTF16)  
000002 IDENTIFICATION DIVISION.  
000003 PROGRAM-ID. C3535.  
000004 ENVIRONMENT DIVISION.  
000005 CONFIGURATION SECTION.  
000006 DATA DIVISION.  
000007 WORKING-STORAGE SECTION.  
000008 01 DATA-1 PIC 9(10).  
000009 01 DATA-2 PIC N(10).  
000010 PROCEDURE DIVISION.  
000011 MOVE FUNCTION NATIONAL-OF ( DATA-1 ) TO DATA-2.  
000012 EXIT PROGRAM.  
000013 END PROGRAM C3535.
```

C3535.cob 11 : JMN3535I-S FUNCTION NATIONAL-OFの引数-1は、字類が英字または英数字でなければなりません。

2.5.323 JMN3536I-S

FUNCTION NATIONAL-OFの引数-2は、項類が日本語、かつ長さが1文字で、翻訳オプションENCODEの指定と同じエンコード方式でなければなりません。

例題

```
[C3536.cob]
000001 @OPTIONS RCS (UTF16)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3536.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 A PIC X(8).
000008 01 B PIC N(8).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011 MOVE FUNCTION NATIONAL-OF ( A N"##" ) TO B.
000012 END PROGRAM C3536.
```

C3536.cob 11: JMN3536I-S FUNCTION NATIONAL-OFの引数-2は、項類が日本語、かつ長さが1文字で、翻訳オプションENCODEの指定と同じエンコード方式でなければなりません。

2.5.324 JMN3551I-S

CSV-FORMATまたはTSV-FORMAT指定の@1@文における@2@に、USAGEがDISPLAY以外のデータ項目、数字編集項目、英数字編集項目、日本語編集項目、外部ブール項目、外部浮動項目、PICTURE句文字列中に'P'を含む数字項目、または以上のデータ項目のいずれかを含む集団項目である@3@は指定できません。

埋め込みの説明

- @1@ : STRING/UNSTRING
- @2@ : 送出し側/INTO指定
- @3@ : データ名(送出し側またはINTO指定の要素)

例題

```
[C3551.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3551.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 DATA1 PIC X(10).
000006 01 DATA2.
000007 02 DATA21 PIC X(5).
000008 02 DATA22 PIC S9(9) COMP-5.
000009 01 DATA3 PIC N(15).
000010 01 RCV PIC X(50).
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012 STRING DATA1 DATA2 DATA3 INTO RCV
000013 BY TSV-FORMAT
000014 END-STRING.
000015 .
000016 END PROGRAM C3551.
```

C3551.COB 12: JMN3551I-S CSV-FORMATまたはTSV-FORMAT指定のSTRING文における送出し側に、USAGEがDISPLAY以外のデータ項目、数字編集項目、英数字編集項目、日本語編集項目、外部ブール項目、外部浮動項目、PICTURE句文字列中に'P'を含む数字項目、または以上のデータ項目のいずれかを含む集団項目であるDATA2は指定できません。

2.5.325 JMN3552I-S

CSV-FORMATまたはTSV-FORMAT指定の@1@文における@2@に、@3@句が指定されたデータ項目、またはそのデータ項目を含む集団項目である@4@は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : STRING/UNSTRING
@2@ : 送出し側/INTO指定
@3@ : データ名(送出し側またはINTO指定)

例題

```
[C3552.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3552.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 DATA1 PIC X(10).
000006 01 DATA2.
000007 02 DATA21 PIC X(5).
000008 02 DATA21R REDEFINES DATA21 PIC 9(5).
000009 02 DATA22 PIC N(5).
000010 01 DATA3 PIC N(15).
000011 01 RCV PIC X(50).
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013     STRING DATA1 DATA2 DATA3 INTO RCV
000014         BY TSV-FORMAT
000015     END-STRING.
000016     .
000017 END PROGRAM C3552.
```

C3552.COB 13: JMN3552I-S CSV-FORMATまたはTSV-FORMAT指定のSTRING文における送出し側に、REDEFINES句が指定されたデータ項目、またはそのデータ項目を含む集団項目である'DATA2'は指定できません。

2.5.326 JMN3553I-S

CSV-FORMATまたはTSV-FORMAT指定の@1@文における@2@の@3@は、JUSTIFIED句およびANY LENGTH句の指定の無い英数字項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : STRING/UNSTRING
@2@ : 送出し側/INTO指定
@3@ : データ名

例題

```
[C3553.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3553.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 DATA1 PIC S9(4).
000006 01 DATA2 PIC X(15).
000007 01 DATA3 PIC X(20).
000008 01 RCV PIC N(50).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010     STRING DATA1 DATA2 DATA3 INTO RCV
000011         BY TSV-FORMAT
000012     END-STRING.
000013     .
000014 END PROGRAM C3553.
```

C3553.COB 10: JMN3553I-S CSV-FORMATまたはTSV-FORMAT指定のSTRING文におけるINTO指定の'RCV'は、JUSTIFIED句およびANY LENGTH句の指定の無い英数字項目でなければなりません。

2.5.327 JMN3554I-S

CSV-FORMATまたはTSV-FORMAT指定の@1@文におけるPOINTER指定の@3@は、PICTURE句の文字列中に'P'を含まない、かつ@2@の文字数に1を加えた値を保持できる整数項目でなければなりません。

埋め込みの説明

- @1@ : STRING/UNSTRING
- @2@ : データ名(送出し側/INTO指定)
- @3@ : データ名(POINTER指定)

例題

```
[C3554. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3554.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 DATA1 PIC S9(4).
000006 01 DATA2 PIC X(15).
000007 01 DATA3 PIC X(20).
000008 01 RCV PIC X(500).
000009 01 DATAP PIC S9(2).
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 STRING DATA1 DATA2 DATA3 INTO RCV
000012 BY TSV-FORMAT
000013 WITH POINTER DATAP
000014 END-STRING.
000015 .
000016 END PROGRAM C3554.
```

C3554.COB 13: JMN3554I-S CSV-FORMATまたはTSV-FORMAT指定のSTRING文におけるPOINTER指定の'DATAP'は、PICTURE句の文字列中に'P'を含まない、かつRCVの文字数に1を加えた値を保持できる整数項目でなければなりません。

2.5.328 JMN3555I-S

CSV-FORMATまたはTSV-FORMAT指定の@1@文に、@2@は指定できません。

埋め込みの説明

- @1@ : STRING/UNSTRING
- @2@ : 組込み関数, 行内呼出し等

例題

```
[C3555. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3555.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 DATA1 PIC S9(4).
000006 01 DATA2 PIC X(15).
000007 01 DATA3 PIC X(20).
000008 01 RCV PIC X(500).
000009 01 DATAP PIC S9(2).
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 STRING DATA1 FUNCTION UPPER-CASE(DATA2) INTO RCV
000012 BY TSV-FORMAT
000013 END-STRING.
000014 .
000015 END PROGRAM C3555.
```

C3555.COB 11: JMN3555I-S CSV-FORMATまたはTSV-FORMAT指定のSTRING文に、FUNCTION UPPER-CASEは指定できません。

2.5.329 JMN3557I-S

@1@@2@のUSING指定またはRETURNING指定が、18けたを超える数字項目です。18桁互換演算モードでは使用できません。

埋め込みの説明

@1@ : 行内呼び出し / オブジェクトプロパティ

@2@ : メソッド名 / プロパティ名

例題

```
[C3557. cob]
000001 @OPTIONS ARITHMETIC(31)
000002 CLASS-ID. C3557.
000003 OBJECT.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 PROPDAT PIC S9(31) COMP-5 PROPERTY.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 END OBJECT.
000009 END CLASS C3557.
```

```
[P3557. cob]
000001 @OPTIONS ARITHMETIC(18)
000002 PROGRAM-ID. P3557.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS C3557.
000007 DATA DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 WDATA PIC S9(9) COMP-5.
000010 01 OBJC3557 OBJECT REFERENCE C3557.
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012 MOVE WDATA TO PROPDAT OF OBJC3557.
```

P3557.cob 12: JMN3557I-S オブジェクトプロパティ'PROPDAT'のUSING指定またはRETURNING指定に、18けたを超える数字項目が存在します。18桁互換演算モードでは使用できません。

2.5.330 JMN3558I-I

算術式の間接結果のけた数が、18桁互換演算モードとは異なります。

例題

```
[C3558. cob]
000001 @OPTIONS ARITHMETIC(31, INF)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3558.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 ED01 PIC S9(16).
000007 01 ED02 PIC SV9(16).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 ADD ED01 TO ED02.
```

C3558.cob 9: JMN3558I-I 算術式の間接結果のけた数が、18桁互換モードとは異なります。

詳細な説明

本メッセージは、翻訳オプションARITHMETIC(31,INF)を指定したときのみ出力します。

中間結果の最大けた数は、18桁互換モードが30けたであるのに対し、31桁拡張演算モードは38けたです。本メッセージは、18桁互換演算モードと中間結果のけた数が異なる算術式に対して出力します。

2.5.331 JMN3559I-I

算術式の中間結果の属性が、18桁互換演算モードとは異なります。浮動小数点属性が適用されます。

例題

```
[C3559.cob]
000001 @OPTIONS ARITHMETIC(31, INF)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3559.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 ED01 PIC S9(16).
000007 01 FLOAT1 COMP-2.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009         COMPUTE FLOAT1 = ED01 / 2.
```

C3559.cob 9: JMN3559I-I 算術式の中間結果の属性が、18桁互換モードとは異なります。浮動小数点属性が適用されます。

詳細な説明

本メッセージは、翻訳オプションARITHMETIC(31,INF)を指定したときのみ出力します。

中間結果の属性として浮動小数点を適用する規則は、演算モードにより異なります。本メッセージは、18桁互換演算モードと中間結果の属性が異なる算術式に対して出力します。

2.5.332 JMN3562I-S

SEARCH ALL文のキー項目@1@および比較する対象のエンコード方式は、同じでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : データ名

例題

```
000001 @OPTIONS ENCODE(UTF8, UTF16, LE)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3562.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007         ALPHABET U16L FOR NATIONAL UTF16LE
000008         ALPHABET U32L FOR NATIONAL UTF32LE
000009 .
000010 DATA DIVISION.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 TBL.
000013 02 X OCCURS 5 TIMES ASCENDING KEY IS A
000014         INDEXED BY IX1.
000015 03 A PIC N(8) ENCODING U16L.
000016 01 B PIC N(8) ENCODING U32L.
000017 PROCEDURE DIVISION.
000018         SEARCH ALL X
000019         WHEN A(IX1) = B
000020         CONTINUE
000021         END-SEARCH.
```

C3562.cob 19: JMN3562I-S SEARCH ALL文のキー項目'A'および比較する対象のエンコード方式は、同じでなければなりません。

C3562.cob 19: JMN3563I-S エンコード方式が異なるデータ項目の比較は記述できません。

2.5.333 JMN3563I-S

エンコード方式が異なるデータ項目の比較は記述できません。

例題

```
000001 @OPTIONS ENCODE (UTF8, UTF16, LE)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3563.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007     ALPHABET U16L FOR NATIONAL UTF16LE
000008     ALPHABET U32L FOR NATIONAL UTF32LE
000009     .
000010 DATA DIVISION.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 A PIC N(8) ENCODING U16L.
000013 01 B PIC N(8) ENCODING U32L.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     IF A = B THEN
000016         DISPLAY "OK"
000017     END-IF.
000018 END PROGRAM C3563.
```

C3563.cob 15: JMN3563I-S エンコード方式が異なるデータ項目の比較は記述できません。

2.5.334 JMN3564I-S

エンコード方式が異なるデータ項目の転記は記述できません。

例題

```
000001 @OPTIONS ENCODE (UTF8, UTF16, LE)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3564.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007     ALPHABET U16L FOR NATIONAL UTF16LE
000008     ALPHABET U32L FOR NATIONAL UTF32LE
000009     .
000010 DATA DIVISION.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 A PIC N(8) ENCODING U16L.
000013 01 B PIC N(8) ENCODING U32L.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     MOVE A TO B.
000016 END PROGRAM C3564.
```

C3564.cob 15: JMN3564I-S エンコード方式が異なるデータ項目の転記は記述できません。

2.5.335 JMN3565I-S

翻訳オプションRCS(UTF16)またはENCODE指定時、印刷ファイルのエンコード方式と異なる '@1@'は、印刷ファイルのWRITE文には指定できません。

埋め込みの説明

@1@: 一意名

例題

```
000001 @OPTIONS ENCODE (UTF8, UTF32)
000002 PROGRAM-ID. P3565.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     ALPHABET UTF16L FOR NATIONAL UTF16LE.
000007 INPUT-OUTPUT SECTION.
000008 FILE-CONTROL.
000009     SELECT FILE-1 ASSIGN TO S-SYS001.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD FILE-1
000013     LINAGE IS PAGE-AREA LINE
000014     WITH FOOTING AT FOOT-AREA
000015     LINE AT TOP TOP-AREA
000016     LINE AT BOTTOM BOT-AREA.
000017 01 REC-1 PIC X(100).
000018 WORKING-STORAGE SECTION.
000019 01 GROUP-ITEM-1.
000020 02 PAGE-AREA PIC 9(4) COMP-3 VALUE 50.
000021 02 FOOT-AREA PIC 9(4) VALUE 10.
000022 02 TOP-AREA PIC 9(4) VALUE 5.
000023 02 BOT-AREA PIC 9(4) VALUE 5.
000024 01 GR.
000025 02 R-1 PIC N(5) ENCODING UTF16L.
000026 02 R-2 PIC X(30).
000027 PROCEDURE DIVISION.
000028     WRITE REC-1 FROM GR.
000029 END PROGRAM P3565.
```

p3565.cob 28: JMN3565I-S 翻訳オプションRCS(UTF16)またはENCODE指定時、印刷ファイルのエンコード方式と異なる'GR'は、印刷ファイルのWRITE文には指定できません。

2.5.336 JMN3566I-S

エンコード方式がUTF32の日本語16進定数の長さは、8の倍数でなければなりません。

例題

```
000001 @OPTIONS ENCODE (UTF8, UTF32, LE)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P3566.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006     SPECIAL-NAMES.
000007     ALPHABET U32L FOR NATIONAL UTF32LE
000008     .
000009 DATA DIVISION.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 A PIC N ENCODING U32L.
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013     MOVE NX"0030" TO A.
000014 END PROGRAM P3566.
```

p3566.cob 13: JMN3566I-S エンコード方式がUTF32の日本語16進定数の長さは、8の倍数でなければなりません。

2.5.337 JMN3567I-S

FUNCTION NATIONALの引数に指定された集団項目'@1@'は、エンコード方式が異なる日本語項目を含んでいます。'@2@'の日本語項目は英数字項目のエンコード方式として扱われます。

埋め込みの説明

@1@: 一意名

@2@: FUNCTION NATIONAL, FUNCTION NATIONAL-OF

例題

```
000001 @OPTIONS ENCODE (UTF8, UTF32)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P3567.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007     ALPHABET UTF32B NATIONAL UTF32BE.
000008 DATA DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 GRP-DATA.
000011 02 X-DATA-1 PIC X(5) VALUE "UTF-8".
000012 02 N-DATA-2 PIC N(6) ENCODING UTF32B VALUE NG"UTF-32".
000013 01 RCV PIC N(30).
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     MOVE FUNCTION NATIONAL (GRP-DATA) TO RCV.
000016     DISPLAY RCV.
000017 END PROGRAM P3567.
```

p3567.cob 15: JMN3567I-W FUNCTION NATIONALの引数に指定された集団項目'GRP-DATA'は、エンコード方式が異なる日本語項目を含んでいます。'GRP-DATA'の日本語項目は英数字項目のエンコード方式として扱われます。

2.5.338 JMN3568I-S

CONVERSION指定のMOVE文に、@2@句が指定された項目である@1@は指定できません。

埋め込みの説明

@1@: データ名

@2@: JUSTIFIED, ANY LENGTH

例題

```
000001 @OPTIONS ENCODE (UTF8, UTF32)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P3568.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 W-X-JUST PIC X(20) JUSTIFIED VALUE "HELLO".
000007 01 W-N-UTF32 PIC N(10).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009     MOVE CONVERSION W-X-JUST TO W-N-UTF32.
000010 END PROGRAM P3568.
```

P3568.cob 9: JMN3568I-S CONVERSION指定のMOVE文に、JUSTIFIED句が指定された項目である'W-X-JUST'は指定できません。

2.5.339 JMN3569I-S

受取り側と同じエンコード方式の@1@は@2@へ転記できません。

埋め込みの説明

@1@ : データ名

@2@ : データ名

例題

```
000001 @OPTIONS ENCODE (SJIS, SJIS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P3569.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 N08 PIC N(8).
000007 01 X08 PIC X(8).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009     MOVE CONVERSION X08 TO N08.
000010 END PROGRAM P3569.
```

P3569.cob 9: JMN3569I-S 受取り側と同じエンコード方式の'X08'は'N08'へ転記できません。

2.5.340 JMN3570I-S

送出し側項目@1@の領域と受取り側項目@2@の領域が重なっているため、転記できません。

埋め込みの説明

@1@ : データ名

@2@ : データ名

例題

```
000001 @OPTIONS ENCODE (UTF8, UTF32)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P3570.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GRP.
000007     02 A-GRP.
000008         03 A-AREA PIC N(4).
000009         03 FILLER PIC X(1).
000010     02 B-GRP REDEFINES A-GRP.
000011         03 FILLER PIC X(1).
000012         03 B-AREA PIC X(16).
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     MOVE CONVERSION A-AREA TO B-AREA.
000015 END PROGRAM P3570.
```

P3570.cob 14: JMN3570I-S 送出し側項目'A-AREA'の領域と受取り側項目'B-AREA'の領域が重なっているため、転記できません。

2.6 JMN5000—JMN5999

5000	5001	5002	5005	5007	5008	5009	5100	5101	5102
5103	5104	5105	5108	5109	5110	5111	5112	5113	5114
5115	5116	5117	5118	5119	5120	5121	5122	5123	5125
5126	5127	5128	5129	5130	5131	5132	5133	5134	5135
5136	5537	5138	5140	5141	5142	5143	5144	5145	5146
5147	5148	5149	5150	5151	5152	5153	5154	5155	5156

5157	5158	5159	5160	5260	5400	5410	5500	5501	5504
5505	5507	5508	5509	5510	5511	5512	5513	5514	5515
5516	5517	5518	5519	5520	5521	5522	5525	5526	5527
5528	5530	5531	5532	5533	5534	5535	5536	5537	5538
5539	5540	5541	5542	5543	5544	5545	5546	5547	5548
5549	5550	5551	5552	5553	5555	5556	5557	5559	5560
5561	5562	5563	5564	5565	5566	5567	5568	5569	5570
5571	5572	5573	5574	5575	5576	5578	5579	5580	5581
5582	5583	5584	5585	5590	5591	5592	5593	5595	5596
5600	5601	5602	5783	5784	5785	5786	5787	5788	5789
5790	5791	5792							

2.6.1 JMN5000I-S

OVERVERRIDE指定が指定されたメソッド'@1@'と同名のメソッドが親クラスにありません。 **OVERVERRIDE**指定は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : メソッドID段落に記述された利用者語。

例題

```
[C5000CP.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5000CP.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 DATA             DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 PROCEDURE        DIVISION.
000009 IDENTIFICATION DIVISION.
000010 METHOD-ID.        M01.
000011 DATA            DIVISION.
000012 PROCEDURE        DIVISION.
000013     DISPLAY "METHOD OF PARENT CLASS".
000014 END METHOD        M01.
000015 END OBJECT.
000016 END CLASS C5000CP.
```

```
[C5000.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5000 INHERITS C5000CP.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS C5000CP.
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 OBJECT.
000009 DATA            DIVISION.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 PROCEDURE        DIVISION.
000012 IDENTIFICATION DIVISION.
000013 METHOD-ID.        M02 OVERRIDE.
000014 DATA            DIVISION.
000015 PROCEDURE        DIVISION.
000016     DISPLAY "METHOD OF CHILD CLASS".
```

```
000017 END METHOD      MO2.
000018 END OBJECT.
000019 END CLASS C5000.
```

C5000.cob 13: JMN5000I-S OVERRIDE指定が指定されたメソッド'MO2'と同名のメソッドが親クラスにありません。OVERRIDE指定は無効になります。

詳細な説明

OVERRIDE句が指定されたメソッドと同名のメソッドを親クラス内で検出できませんでした。

再定義されるメソッドを検索する場合は、翻訳オプションALPHAL(AUTO)が指定されていても、名前の英大文字/英小文字は非等価比較されます。

2.6.2 JMN5001I-S

メソッド'@1@'が多重定義です。メソッド名は@3@'@2@'の中で一意でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : メソッドID段落に記述された利用者語。

@2@ : クラスID段落に記述された利用者語。

@3@ : クラス

例題

```
[C5001.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5001.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 DATA              DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 PROCEDURE         DIVISION.
000009 IDENTIFICATION DIVISION.
000010 METHOD-ID.         M01.
000011 DATA              DIVISION.
000012 PROCEDURE         DIVISION.
000013     DISPLAY "METHOD M01-1".
000014 END METHOD         M01.
000015 IDENTIFICATION DIVISION.
000016 METHOD-ID.         M01.
000017 DATA              DIVISION.
000018 PROCEDURE         DIVISION.
000019     DISPLAY "METHOD M01-2".
000020 END METHOD         M01.
000021 END OBJECT.
000022 END CLASS C5001.
```

C5001.cob 16: JMN5001I-S メソッド'MO1'が多重定義です。メソッド名はクラス'C5001'の中で一意でなければなりません。

詳細な説明

翻訳中のクラスに同じ名前を持つメソッドが複数検出されました。

2.6.3 JMN5002I-S

クラス'@2@'で定義またはすでに再定義されているメソッド'@1@'を置き換えることはできません。メソッド'@1@'の定義は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : メソッドID段落に記述された利用者語。

@2@ : クラスID段落に記述された利用者語。

例題

```
[C5002.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5002.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 DATA             DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 PROCEDURE        DIVISION.
000009 IDENTIFICATION DIVISION.
000010 METHOD-ID.        M01.
000011 DATA            DIVISION.
000012 PROCEDURE        DIVISION.
000013     DISPLAY "ORIGINAL M01".
000014 END METHOD        M01.
000015 IDENTIFICATION DIVISION.
000016 METHOD-ID.        M01 OVERRIDE.
000017 DATA            DIVISION.
000018 PROCEDURE        DIVISION.
000019     DISPLAY "M01 OVERRIDED".
000020 END METHOD        M01.
000021 END OBJECT.
000022 END CLASS C5002.
```

C5002.cob 16: JMN5002I-S クラス'C5002'で定義またはすでに再定義されているメソッド'M01'を置き換えることはできません。メソッド'M01'の定義は無効になります。

詳細な説明

OVERRIDE指定が書かれた場合、このメソッド定義で宣言されたメソッドと同じ外部名を持つ継承されるメソッドが、親クラスで定義されていなければなりません。

2.6.4 JMN5005I-S

メソッド '@1@' のメソッド原型定義がありません。メソッド '@1@' は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : メソッドID段落に記述された利用者語。

例題

```
[C5005C.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5005C.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 DATA             DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 PROCEDURE        DIVISION.
000009 IDENTIFICATION DIVISION.
000010 METHOD-ID.        M02 PROTOTYPE.
000011 END METHOD        M02.
000012 END OBJECT.
000013 END CLASS C5005C.
```

```
[C5005.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 METHOD-ID.        C5005 OF C5005C.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
```

```

000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS C5005C.
000007 DATA DIVISION.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 DISPLAY "METHOD OF CHILD CLASS".
000010 END METHOD C5005.

```

C5005.cob 2: JMN5005I-S メソッド'C5005'のメソッド原型定義がありません。メソッド'C5005'は無効になります。

詳細な説明

分離されたメソッド定義に対応する、メソッド原型定義(METHOD-ID段落にPROTOTYPE指定を指定したメソッド定義)がありません。分離されたメソッド定義のMETHOD-ID段落のOF指定に指定したクラス定義の中に、該当するメソッド原型定義が含まれているかどうか確認してください。

2.6.5 JMN5007I-S

プロパティ名 '@1@' はPROPERTY句が指定されたデータ名であってはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : プロパティ名としてメソッドID段落に記述された利用者語。

例題

```

[C5007.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID. C5007.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 PROP1 PIC X(8) PROPERTY.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 IDENTIFICATION DIVISION.
000010 METHOD-ID. GET PROPERTY PROP1.
000011 DATA DIVISION.
000012 LINKAGE SECTION.
000013 01 LK1 PIC X(8).
000014 PROCEDURE DIVISION RETURNING LK1.
000015 MOVE PROP1(1:) TO LK1.
000016 EXIT METHOD.
000017 END METHOD.
000018 END OBJECT.
000019 END CLASS C5007.

```

C5007.cob 10: JMN5001I-S メソッド'GET PROPERTY PROP1'が多重定義です。メソッド名はクラス'C5007'の中で一意でなければなりません。

C5007.cob 10: JMN5007I-S プロパティ名'PROP1'はPROPERTY句が指定されたデータ名であってはなりません。

詳細な説明

METHOD-ID段落に指定するプロパティ名は、PROPERTY句を指定したデータ記述項のデータ名と同じであってはなりません。

2.6.6 JMN5008I-S

プロパティ指定子に記述されたプロパティ名 '@1@' が未定義です。プロパティ指定子は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : プロパティ指定子に記述された利用者語。

例題

```
[C5008.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5008.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     PROPERTY PR2 AS "NO-SHEET" *> 未定義
000007     .
000008 OBJECT.
000009 END OBJECT.
000010 END CLASS C5008.
```

C5008.cob 6: JMN5008I-S プロパティ指定子に記述されたプロパティ名'NO-SHEET'が未定義です。プロパティ指定子は無効になります。

詳細な説明

プロパティ指定子は、その翻訳単位で使用するプロパティ名を宣言するものです。

2.6.7 JMN5009I-S

プロパティ指定子に記述されたプロパティ名 '@1@' が多重定義です。プロパティ指定子は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : プロパティ指定子に記述された利用者語。

例題

```
[C5009.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5009.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     PROPERTY PR1 AS "PROC1"
000007     PROPERTY AA AS "BB"
000008     PROPERTY BB.
000009 OBJECT.
000010 DATA              DIVISION.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 PR1             PIC X(8) PROPERTY.
000013 END OBJECT.
000014 END CLASS C5009.
```

C5009.cob 6: JMN5009I-S プロパティ指定子に記述されたプロパティ名'PR1'が多重定義です。プロパティ指定子は無効になります。

C5009.cob 7: JMN5009I-S プロパティ指定子に記述されたプロパティ名'BB'が多重定義です。プロパティ指定子は無効になります。

詳細な説明

環境部のリポジトリ段落のプロパティ指定子に指定するプロパティ名について、多重定義を検出しました。以下の原因が考えられます。

- ・ 別名(プロパティ指定子のASに続けて定数で示す)を付けたプロパティ名と、PROPERTY句が指定されたデータ記述項のデータ名とが、同じ名前である。
- ・ プロパティ指定子のプロパティ名と、別のプロパティ指定子の別名(ASの後ろに定数で示した名前)とが、同じ名前である。

2.6.8 JMN5100I-S

@1@句に指定されたクラス名に誤りがあります。指定されたクラス名は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : USAGE OBJECT REFERENCE

例題

```
[C5100.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C5100.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 OBJA USAGE OBJECT REFERENCE XX.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007 END PROGRAM C5100.
```

C5100.cob 5: JMN5100I-S USAGE OBJECT REFERENCE句に指定されたクラス名に誤りがあります。指定されたクラス名は無効になります。

詳細な説明

USAGE OBJECT REFERENCE句に指定した名前が次のいずれかに該当する場合に、この診断メッセージが出力されます。

- ・ 名前が未定義である。
- ・ 名前が多重定義である。
- ・ クラス名以外の名前である。

2.6.9 JMN5101I-S

@1@句はプログラム定義にだけ記述できます。@1@の指定は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : APPLY SAVED-AREA, APPLY MULTICONVERSATION-MODE, APPLY RECORD-OVERFLOW, APPLY CORE-INDEXあるいはAPPLY REORG-CRITERIA

例題

```
[C5101.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID. C5101 INHERITS BASE.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006 ON-YOMI IS JIS1.
000007 REPOSITORY.
000008 CLASS BASE AS "System.Object".
000009 IDENTIFICATION DIVISION.
000010 OBJECT.
000011 ENVIRONMENT DIVISION.
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013 IDENTIFICATION DIVISION.
000014 METHOD-ID. M5101.
000015 ENVIRONMENT DIVISION.
000016 INPUT-OUTPUT SECTION.
000017 FILE-CONTROL.
000018 SELECT CSFILE4 ASSIGN TO SYS001
000019 FILE STATUS IS WFS1.
000020 I-O-CONTROL.
000021 APPLY MULTICONVERSATION-MODE TO CSFILE4
```

```

000022 APPLY SAVED-AREA TO WSVAR ON CSFILE4.
000023 DATA DIVISION.
000024 FILE SECTION.
000025 FD CSFILE4.
000026 01 CSF4REC.
000027 02 PIC X(80).
000028 WORKING-STORAGE SECTION.
000029 01 WFS1 PIC X(2).
000030 01 WSVAR PIC X(80).
000031 END METHOD M5101.
000032 END OBJECT.
000033 END CLASS C5101.

```

C5101.cob 21: JMN5101I-S APPLY MULTICONVERSATION-MODE句はプログラム定義にだけ記述できます。APPLY MULTICONVERSATION-MODEの指定は無効になります。

C5101.cob 22: JMN5101I-S APPLY SAVED-AREA句はプログラム定義にだけ記述できます。APPLY SAVED-AREAの指定は無効になります。

2.6.10 JMN5102I-S

@1@句は@2@句と同時に指定できません。@2@句は無効になります。

埋め込みの説明

- @1@ : データ記述項の記述可能な句
- @2@ : TYPE, TYPEDEFまたは特定の用途を指定するUSAGE句

例題

```

[C5102.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C5102.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 OBJA USAGE OBJECT REFERENCE BLANK WHEN ZERO.
000006 01 OBJB USAGE OBJECT REFERENCE SYNC.
000007 01 OBJC USAGE OBJECT REFERENCE VALUE "AA".
000008 01 OBJD PIC X(10) OBJECT REFERENCE.
000009 01 RR PIC X(08).
000010 01 OBJE REDEFINES RR USAGE OBJECT REFERENCE.
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012 END PROGRAM C5102.

```

C5102.cob 5: JMN5102I-S USAGE OBJECT REFERENCE句はBLANK WHEN ZERO句と同時に指定できません。BLANK WHEN ZERO句は無効になります。

C5102.cob 6: JMN5102I-S USAGE OBJECT REFERENCE句はSYNCHRONIZED句と同時に指定できません。SYNCHRONIZED句は無効になります。

C5102.cob 7: JMN5102I-S USAGE OBJECT REFERENCE句はVALUE句と同時に指定できません。VALUE句は無効になります。

C5102.cob 8: JMN2009I-S USAGE句の'OBJECT REFERENCE'は、PICTURE句を持つ項目に指定できません。

C5102.cob 10: JMN5102I-S USAGE OBJECT REFERENCE句はREDEFINES句と同時に指定できません。REDEFINES句は無効になります。

2.6.11 JMN5103I-S

[Win32]

@1@句は作業場所節または連絡節に指定できます。@1@句は無効になります。

[Winx64]

@1@句は作業場所節, 局所記憶節または連絡節に指定できます. @1@句は無効になります.

埋め込みの説明

@1@ : USAGE OBJECT REFERENCE

例題

```
[C5103.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C5103.
000003 DATA            DIVISION.
000004 BASED-STORAGE   SECTION.
000005 01 WOBR         OBJECT REFERENCE.
000006 PROCEDURE       DIVISION.
000007 END PROGRAM     C5103.
```

- **[Win32]**
C5103.cob 5: JMN5103I-S USAGE OBJECT REFERENCE句は作業場所節または連絡節に指定できます. USAGE OBJECT REFERENCE句は無効になります.
- **[Winx64]**
C5103.cob 5: JMN5103I-S USAGE OBJECT REFERENCE句は作業場所節, 局所記憶節または連絡節に指定できます. USAGE OBJECT REFERENCE句は無効になります.

詳細な説明

基底場所節, ファイル節, 定数節, 画面節, 報告書節では指定できません.

2.6.12 JMN5104I-S

@1@句は集団項目に指定できません. @1@句は無効になります.

埋め込みの説明

@1@ : USAGE OBJECT REFERENCE, PROPERTY

例題

```
[C5104.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C5104.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 OBJA         USAGE OBJECT REFERENCE.
000006 02 OBJB         USAGE OBJECT REFERENCE.
000007 PROCEDURE       DIVISION.
000008 END PROGRAM     C5104.
```

C5104.cob 5: JMN5104I-S USAGE OBJECT REFERENCE句は集団項目に指定できません. USAGE OBJECT REFERENCE句は無効になります.

詳細な説明

基本項目にだけ指定できます.

2.6.13 JMN5105I-W

メソッドの原型定義の連絡節のデータ項目に条件名は指定できません. 条件名の指定は無効になります.

例題

```
[C5105.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000002 CLASS-ID.      C5105 INHERITS FJBASE.
000003 ENVIRONMENT   DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS FJBASE.
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 OBJECT.
000009 PROCEDURE     DIVISION.
000010 IDENTIFICATION DIVISION.
000011 METHOD-ID.     M5105 PROTOTYPE.
000012 DATA         DIVISION.
000013 LINKAGE       SECTION.
000014 01 LK1        PIC X(2).
000015 88 ZOK        VALUE "OK".
000016 88 ZNG        VALUE "NG".
000017 PROCEDURE     DIVISION
000018                 USING LK1.
000019 END METHOD      M5105.
000020 END OBJECT.
000021 END CLASS     C5105.

```

C5105.cob 15: JMN5105I-W メソッドの原型定義の連絡節のデータ項目に条件名は指定できません。条件名の指定は無効になります。

詳細な説明

メソッド原型定義では、メソッド原型を定義します。メソッド原型とは、メソッド名およびメソッドのパラメタの型および復帰項目(あれば)です。メソッド原型には、パラメタあるいは復帰項目に対して設定された条件名は含まれません。

2.6.14 JMN5108I-S

@1@句はOCCURS句を持つ項目またはその項目に従属する項目に指定できません。@1@句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : PROPERTY

例題

```

[C5108.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C5108.
000003 ENVIRONMENT   DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 DATA         DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 AA.
000009 02 BB.
000010 03 PROP1  PROPERTY OCCURS 3 TIMES PIC X(8).
000011 01 CC .
000012 02 DD      OCCURS 2 TIMES.
000013 03 PROP2  PIC X(8) PROPERTY.
000014 PROCEDURE     DIVISION.
000015 IDENTIFICATION DIVISION.
000016 METHOD-ID.     M01.
000017 DATA         DIVISION.
000018 WORKING-STORAGE SECTION.
000019 01 OBR1      USAGE OBJECT REFERENCE.
000020 PROCEDURE     DIVISION.
000021 END METHOD      M01.
000022 END OBJECT.
000023 END CLASS     C5108.

```

C5108.cob 10: JMN5108I-S PROPERTY句はOCCURS句を持つ項目またはその項目に従属する項目に指定できません。PROPERTY句は無効になります。

C5108.cob 13: JMN5108I-S PROPERTY句はOCCURS句を持つ項目またはその項目に従属する項目に指定できません。PROPERTY句は無効になります。

2.6.15 JMN5109I-S

REDEFINES句で再定義される項目は、@1@句の指定された項目または従属する項目が@1@句を含む項目であってはなりません。REDEFINES句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : USAGE OBJECT REFERENCE

例題

```
[C5109.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C5109.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 OBJA          USAGE OBJECT REFERENCE.
000006 01 AA REDEFINES OBJA PIC X(08).
000007 01 BB .
000008 02 OBJB          USAGE OBJECT REFERENCE.
000009 01 CC REDEFINES BB PIC X(08).
000010 PROCEDURE        DIVISION.
000011 END PROGRAM      C5109.
```

C5109.cob 6: JMN5109I-S REDEFINES句で再定義される項目は、USAGE OBJECT REFERENCE句の指定された項目または従属する項目がUSAGE OBJECT REFERENCE句を含む項目であってはなりません。REDEFINES句は無効になります。

C5109.cob 9: JMN5109I-S REDEFINES句で再定義される項目は、USAGE OBJECT REFERENCE句の指定された項目または従属する項目がUSAGE OBJECT REFERENCE句を含む項目であってはなりません。REDEFINES句は無効になります。

2.6.16 JMN5110I-S

RENAMES句のデータ名またはTHROUGHのデータ名は、@1@句が指定された項目または従属する項目が@1@句を含む項目であってはなりません。RENAMES句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : USAGE OBJECT REFERENCE

例題

```
[C5110.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C5110.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A1 .
000006 02 B1            USAGE OBJECT REFERENCE.
000007 02 B2            PIC X(08).
000008 02 B3            USAGE OBJECT REFERENCE.
000009 66 RR RENAMES B1 THROUGH B3.
000010 PROCEDURE        DIVISION.
000011 END PROGRAM      C5110.
```

C5110.cob 9: JMN5110I-S RENAMES句のデータ名またはTHROUGHのデータ名は、USAGE OBJECT REFERENCE句が指定された項目または従属する項目がUSAGE OBJECT REFERENCE句を含む項目であってはなりません。RENAMES句は無効になります。

2.6.17 JMN5111I-S

USAGE OBJECT REFERENCE SELFは、ファクトリ定義またはファクトリメソッド定義内で指定しなければなりません。SELF指定は無効になります。

例題

```
[C5111. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5111.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 FACTORY.
000005 PROCEDURE          DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.         C5111-FM1.
000008 END METHOD          C5111-FM1.
000009 END FACTORY.
000010 IDENTIFICATION DIVISION.
000011 OBJECT.
000012 DATA              DIVISION.
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 OBJA            USAGE OBJECT REFERENCE SELF.
000015 PROCEDURE          DIVISION.
000016 IDENTIFICATION DIVISION.
000017 METHOD-ID.         C5111-OM1.
000018 DATA              DIVISION.
000019 WORKING-STORAGE SECTION.
000020 01 OBJB            USAGE OBJECT REFERENCE SELF.
000021 END METHOD          C5111-OM1.
000022 END OBJECT.
000023 END CLASS          C5111.
```

C5111.cob 14: JMN5111I-S USAGE OBJECT REFERENCE SELFは、ファクトリ定義またはファクトリメソッド定義内で指定しなければなりません。SELF指定は無効になります。

C5111.cob 20: JMN5111I-S USAGE OBJECT REFERENCE SELFは、ファクトリ定義またはファクトリメソッド定義内で指定しなければなりません。SELF指定は無効になります。

詳細な説明

USAGE OBJECT REFERENCE SELFは、自身のオブジェクト(インスタンス)を保持する領域を宣言します。

2.6.18 JMN5112I-S

USAGE OBJECT REFERENCE @1@ OF SELFは、オブジェクト定義またはオブジェクトメソッド定義内で指定しなければなりません。@1@ OF SELF指定は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : FACTORYまたはCLASS

例題

```
[C5112. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5112.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 FACTORY.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 OBJA            USAGE OBJECT REFERENCE FACTORY OF SELF.
000008 01 OBJB            USAGE OBJECT REFERENCE CLASS OF SELF.
000009 PROCEDURE          DIVISION.
000010 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000011 METHOD-ID.      C5112-FM1.
000012 DATA          DIVISION.
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 OBJC        USAGE OBJECT REFERENCE FACTORY OF SELF.
000015 01 OBJD        USAGE OBJECT REFERENCE CLASS OF SELF.
000016 END METHOD      C5112-FM1.
000017 END FACTORY.
000018 IDENTIFICATION DIVISION.
000019 OBJECT.
000020 PROCEDURE      DIVISION.
000021 IDENTIFICATION DIVISION.
000022 METHOD-ID.      C5112-OM1.
000023 END METHOD      C5112-OM1.
000024 END OBJECT.
000025 END CLASS      C5112.

```

C5112.cob 7: JMN5112I-S USAGE OBJECT REFERENCE FACTORY OF SELFは、オブジェクト定義またはオブジェクトメソッド定義内で指定しなければなりません。FACTORY OF SELF指定は無効になります。

C5112.cob 8: JMN5112I-S USAGE OBJECT REFERENCE CLASS OF SELFは、オブジェクト定義またはオブジェクトメソッド定義内で指定しなければなりません。CLASS OF SELF指定は無効になります。

C5112.cob 14: JMN5112I-S USAGE OBJECT REFERENCE FACTORY OF SELFは、オブジェクト定義またはオブジェクトメソッド定義内で指定しなければなりません。FACTORY OF SELF指定は無効になります。

C5112.cob 15: JMN5112I-S USAGE OBJECT REFERENCE CLASS OF SELFは、オブジェクト定義またはオブジェクトメソッド定義内で指定しなければなりません。CLASS OF SELF指定は無効になります。

詳細な説明

- USAGE OBJECT REFERENCE FACTORY OF SELFは、ファクトリオブジェクトを保持する領域を宣言します。
- USAGE OBJECT REFERENCE CLASS OF SELFは、自身のオブジェクト(インスタンス)を保持する領域を宣言します。

2.6.19 JMN5113I-S

@1@句はファクトリ定義またはオブジェクト定義のデータ部には記述できません。@1@句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : LINAGE

例題

```

[C5113.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C5113.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 FACTORY.
000005 ENVIRONMENT   DIVISION.
000006 INPUT-OUTPUT  SECTION.
000007 FILE-CONTROL.
000008     SELECT データファイル
000009         ASSIGN      TO infile
000010         ORGANIZATION IS SEQUENTIAL.
000011*
000012 DATA          DIVISION.
000013 FILE            SECTION.
000014 FD データファイル LINAGE 10.
000015 01 データレコード.
000016 02 商品レコード.
000017 03 商品コード PIC X(4).
000018 03          PIC X.
000019 03 商品名     PIC N(20).
000020 03          PIC X.

```

```

000021          03 単価 PIC 9(4).
000022*
000023 PROCEDURE      DIVISION.
000024 IDENTIFICATION DIVISION.
000025 METHOD-ID.      METHODF1.
000026 END METHOD      METHODF1.
000027 END FACTORY.
000028 IDENTIFICATION DIVISION.
000029 OBJECT.
000030 PROCEDURE      DIVISION.
000031 IDENTIFICATION DIVISION.
000032 METHOD-ID.      METHOD01.
000033 END METHOD      METHOD01.
000034 END OBJECT.
000035 END CLASS      C5113.

```

C5113.cob 14: JMN5113I-S LINAGE句はファクトリ定義またはオブジェクト定義のデータ部には記述できません。LINAGE句は無効になります。

詳細な説明

メソッド定義のデータ部に指定できます。

2.6.20 JMN5114I-S

@1@句はOCCURS DEPENDING ON句を含むデータ項目に指定してはなりません。OCCURS DEPENDING ON句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : USAGE OBJECT REFERENCE

例題

```

[P5114.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5114.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A.
000006 02 OBJA          USAGE OBJECT REFERENCE
000007                   OCCURS 1 TO 10 TIMES
000008                   DEPENDING ON DD.
000009 01 DD            PIC S9(04).
000010 PROCEDURE      DIVISION.
000011 END PROGRAM      P5114.

```

P5114.cob 7: JMN5114I-S USAGE OBJECT REFERENCE句はOCCURS DEPENDING ON句を含むデータ項目に指定してはなりません。OCCURS DEPENDING ON句は無効になります。

2.6.21 JMN5115I-S

@1@句は、OCCURS DEPENDING ON句に従属するデータ項目に指定してはなりません。書かれた通りに受け入れます。

埋め込みの説明

@1@ : USAGE OBJECT REFERENCE

例題

```

[P5115.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5115.

```



```

000003 DATA          DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 AA .
000006 02 BB          OCCURS 1 TO 10 TIMES
000007                DEPENDING ON DD.
000008 03            OBJA USAGE OBJECT REFERENCE.
000009 01 DD          PIC S9(04).
000010 PROCEDURE     DIVISION.
000011 END PROGRAM    P5115.

```

P5115.cob 8: JMN5115I-S USAGE OBJECT REFERENCE句は、OCCURS DEPENDING ON句に従属するデータ項目に指定してはなりません。書かれた通りに受け入れます。

2.6.22 JMN5116I-S

@1@句は可変位置にあるデータ項目に指定してはなりません。書かれた通りに受け入れます。

埋め込みの説明

@1@ : USAGE OBJECT REFERENCE

例題

```

[P5116.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5116.
000003 DATA          DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 .
000006 02 .
000007 03 BB          OCCURS 1 TO 10 TIMES DEPENDING ON DD.
000008 04            PIC X(08).
000009 03 OBJA      USAGE OBJECT REFERENCE.
000010 02 OBJB      USAGE OBJECT REFERENCE.
000011 01 DD          PIC S9(04).
000012 PROCEDURE     DIVISION.
000013 END PROGRAM    P5116.

```

P5116.cob 9: JMN5116I-S USAGE OBJECT REFERENCE句は可変位置にあるデータ項目に指定してはなりません。書かれた通りに受け入れます。

P5116.cob 10: JMN5116I-S USAGE OBJECT REFERENCE句は可変位置にあるデータ項目に指定してはなりません。書かれた通りに受け入れます。

2.6.23 JMN5117I-S

@1@句はEXTERNAL句を持つ項目またはその項目に従属する項目に指定できません。書かれた通りに受け入れます。

埋め込みの説明

@1@ : USAGE OBJECT REFERENCE

例題

```

[P5117.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5117.
000003 DATA          DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 OBJA      USAGE OBJECT REFERENCE EXTERNAL.
000006 01 AA EXTERNAL.
000007 02 OBJB      USAGE OBJECT REFERENCE.

```

```
000008 PROCEDURE      DIVISION.
000009 END PROGRAM     P5117.
```

P5117.cob 5: JMN5117I-S USAGE OBJECT REFERENCE句はEXTERNAL句を持つ項目またはその項目に従属する項目に指定できません。書かれた通りに受け入れます。

P5117.cob 7: JMN5117I-S USAGE OBJECT REFERENCE句はEXTERNAL句を持つ項目またはその項目に従属する項目に指定できません。書かれた通りに受け入れます。

2.6.24 JMN5118I-S

@1@句はREDEFINES句を持つ項目に従属する項目に指定できません。書かれた通りに受け入れます。

埋め込みの説明

@1@ : USAGE OBJECT REFERENCE

例題

```
[P5118.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5118.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 AA           PIC X(08).
000006 01 RR REDEFINES AA.
000007 02 OBJA        USAGE OBJECT REFERENCE.
000008 PROCEDURE      DIVISION.
000009 END PROGRAM     P5118.
```

P5118.cob 7: JMN5118I-S USAGE OBJECT REFERENCE句はREDEFINES句を持つ項目に従属する項目に指定できません。書かれた通りに受け入れます。

2.6.25 JMN5119I-S

@1@句は修飾なしで一意に参照可能な項目にだけ指定できます。@1@句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : PROPERTY

例題

```
[C5119.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.       C5119.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 DATA          DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 BB.
000009 02 PROP1 PIC X(8) PROPERTY.
000010 01 AA.
000011 02 PROP1 PIC X(8)
000012          PROPERTY.
000013 01 PROP1 PIC S9(8) BINARY PROPERTY.
000014 PROCEDURE      DIVISION.
000015 IDENTIFICATION DIVISION.
000016 METHOD-ID.      M01.
000017 DATA          DIVISION.
000018 WORKING-STORAGE SECTION.
000019 01 OBR1        USAGE OBJECT REFERENCE.
000020 PROCEDURE      DIVISION.
```

```
000021 DISPLAY PROP1 OF OBR1.
000022 END METHOD M01.
000023 END OBJECT.
000024 END CLASS C5119.
```

C5119.cob 9: JMN5119I-S PROPERTY句は修飾なしで一意に参照可能な項目にだけ指定できます。PROPERTY句は無効になります。

C5119.cob 12: JMN5119I-S PROPERTY句は修飾なしで一意に参照可能な項目にだけ指定できます。PROPERTY句は無効になります。

C5119.cob 13: JMN5119I-S PROPERTY句は修飾なしで一意に参照可能な項目にだけ指定できます。PROPERTY句は無効になります。

C5119.cob 21: JMN5543I-S オブジェクトプロパティに指定する一意名は、リポジトリ段落に指定されたクラスを参照するオブジェクト参照でなければなりません。

2.6.26 JMN5120I-S

@1@句はポインタデータ項目には指定できません。@1@句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : PROPERTY

例題

```
[C5120.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID. C5120.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 PROP1 POINTER PROPERTY.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 IDENTIFICATION DIVISION.
000011 METHOD-ID. M01.
000012 DATA DIVISION.
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 OBR1 USAGE OBJECT REFERENCE.
000015 PROCEDURE DIVISION.
000016 END METHOD M01.
000017 END OBJECT.
000018 END CLASS C5120.
```

C5120.cob 8: JMN5120I-S PROPERTY句はポインタデータ項目には指定できません。PROPERTY句は無効になります。

2.6.27 JMN5121I-S

RENAMES句に指定されたデータ項目とTHROUGH指定のデータ項目の間に@1@が指定された項目は指定できません。RENAMES句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : USAGE OBJECT REFERENCE

例題

```
[P5121.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P5121.
000003 DATA DIVISION.
```

```

000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A .
000006 02 A1          PIC X(08).
000007 02 A2          USAGE OBJECT REFERENCE.
000008 02 A3          PIC X(08).
000009 66 B RENAMES A1 THROUGH A3.
000010 PROCEDURE      DIVISION.
000011 END PROGRAM    P5121.

```

P5121.cob 9: JMN5121I-S RENAMES句に指定されたデータ項目とTHROUGH指定のデータ項目の間にUSAGE OBJECT REFERENCEが指定された項目は指定できません。RENAMES句は無効になります。

2.6.28 JMN5122I-S

@1@句は、SELF、FACTORY OF SELFまたはCLASS OF SELFが指定されたオブジェクト参照データ項目には指定できません。@1@句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : PROPERTY

例題

```

[C5122.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.        C5122.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 DATA           DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 PP          USAGE OBJECT REFERENCE
000008                  FACTORY OF SELF
000009                  PROPERTY WITH NO GET.
000010 END OBJECT.
000011 END CLASS      C5122.

```

C5122.cob 7: JMN5122I-S PROPERTY句は、SELF、FACTORY OF SELFまたはCLASS OF SELFが指定されたオブジェクト参照データ項目には指定できません。PROPERTY句は無効になります。

詳細な説明

USAGE OBJECT REFERENCE句にはクラス名が指定されていなければなりません。

2.6.29 JMN5123I-S

@1@句に特殊クラスを指定した場合、他の選択指定を記述してはなりません。他の選択指定は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : USAGE OBJECT REFERENCE

例題

```

[C5122.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     C5123.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS C5123C AS "*OLE".
000007 DATA DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 OBJA USAGE OBJECT REFERENCE C5123C ONLY.
000010 01 OBJB USAGE OBJECT REFERENCE FACTORY OF C5123C.

```

```
000011 01 OBJB USAGE OBJECT REFERENCE FACTORY OF C5123C ONLY.
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013 END PROGRAM C5123.
```

C5123.cob 9: JMN5123I-S USAGE OBJECT REFERENCE句に特殊クラスを指定した場合、他の選択指定を記述してはなりません。他の選択指定は無効になります。

C5123.cob 10: JMN5123I-S USAGE OBJECT REFERENCE句に特殊クラスを指定した場合、他の選択指定を記述してはなりません。他の選択指定は無効になります。

C5123.cob 11: JMN5123I-S USAGE OBJECT REFERENCE句に特殊クラスを指定した場合、他の選択指定を記述してはなりません。他の選択指定は無効になります。

詳細な説明

USAGE OBJECT REFERENCE句に特殊クラスのクラス名を指定した場合、同句にFACTORY OF, ONLYは指定できません。環境部のリポトリ段落のクラス指定子の定数の値が以下のいずれかである場合、そのクラス名は特殊クラスのクラス名になります。

- "*COM" (または"*OLE")
- "*COM-ARRAY" (または"*OLE-ARRAY")
- "*COM-EXCEPTION" (または"*OLE-EXCEPTION")
- "*COB-BINDTABLE"
- "*COM:COMサーバ名:COMクラス名" (COMサーバ名=型ライブラリとの対応付けに使用する任意の名前, COMクラス名=dispinterface名またはcoclass名)

2.6.30 JMN5125I-S

DEPENDING ON指定を含むCHARACTER TYPE句は、@1@のデータ部に記述できません。CHARACTER TYPEは無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : ファクトリ定義, オブジェクト定義またはスタティック定義

例題

```
[C5125.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID. C5125.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006 PRINTING MODE PM1 FOR ALL IN SIZE 5 POINT
000007 PRINTING MODE PM2 FOR ALL FONT GOTHIC
000008 PRINTING MODE PM3 FOR ALL IN SIZE 20 POINT AT ANGLE 90.
000009 FACTORY.
000010 DATA DIVISION.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WK1 PIC N(10) CHARACTER TYPE PM1 PM2 PM3
000013 DEPENDING ON PM-DEP1.
000014 01 PM-DEP1 PIC S9(4) BINARY.
000015 END FACTORY.
000016 OBJECT.
000017 DATA DIVISION.
000018 WORKING-STORAGE SECTION.
000019 01 PM-DEP2 PIC S9(4) BINARY.
000020 CONSTANT SECTION.
000021 01 CS1 PIC N(10) CHARACTER TYPE PM3 PM2 PM1
000022 DEPENDING ON PM-DEP2
000023 VALUE NG"定数節".
```

```
000024 END OBJECT.
000025 END CLASS      C5125.
```

C5125.cob 12: JMN5125I-S DEPENDING ON指定を含むCHARACTER TYPE句は、ファクトリ定義のデータ部に記述できません。CHARACTER TYPEは無効になります。

C5125.cob 21: JMN5125I-S DEPENDING ON指定を含むCHARACTER TYPE句は、オブジェクト定義のデータ部に記述できません。CHARACTER TYPEは無効になります。

詳細な説明

メソッド定義のデータ部に指定できます。

2.6.31 JMN5126I-S

@1@句はメソッド原型定義または分離されたメソッド定義の連絡節には記述できません。@1@句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : CHARACTER TYPEまたはPRINTING POSITION

例題

```
[C5126.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C5126.
000003 ENVIRONMENT   DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     YA IS CT1.
000007 FACTORY.
000008 PROCEDURE     DIVISION.
000009 METHOD-ID.     FMT1.
000010 DATA         DIVISION.
000011 LINKAGE       SECTION.
000012 01 PRM1      PIC N(10) CHARACTER TYPE IS CT1.  *> NO ERROR
000013 PROCEDURE     DIVISION USING PRM1.
000014 END METHOD     FMT1.
000015 END FACTORY.
000016 OBJECT.
000017 PROCEDURE     DIVISION.
000018 METHOD-ID.     IMT1 PROTOTYPE.
000019 DATA         DIVISION.
000020 LINKAGE       SECTION.
000021 01 PRM2      PIC N(10) CHARACTER TYPE MODE-1    *> ERROR
000022                PRINTING POSITION IS 8.          *> ERROR
000023 PROCEDURE     DIVISION RETURNING PRM2.
000024 END METHOD     IMT1.
000025 END OBJECT.
000026 END CLASS     C5126.
```

C5126.cob 21: JMN5126I-S CHARACTER TYPE句はメソッド原型定義または分離されたメソッド定義の連絡節には記述できません。CHARACTER TYPE句は無効になります。

C5126.cob 22: JMN5126I-S PRINTING POSITION句はメソッド原型定義または分離されたメソッド定義の連絡節には記述できません。PRINTING POSITION句は無効になります。

詳細な説明

メソッド原型定義では、メソッド原型を定義します。メソッド原型とは、メソッド名およびメソッドのパラメタの型および復帰項目(あれば)です。メソッド原型には、CHARACTER TYPE句あるいはPRINTING POSITION句による印字情報は含まれません。

2.6.32 JMN5127I-S

オブジェクト参照データ項目に対して条件名は指定できません。

例題

```
[P5127.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5127.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 X1           OBJECT REFERENCE.
000006 88 A            VALUE "XX".
000007 END PROGRAM     P5127.
```

P5127.cob 6: JMN5127I-S オブジェクト参照データ項目に対して条件名は指定できません。

2.6.33 JMN5128I-S

LINAGE句とEXTERNAL句の同時指定は、プログラム定義内だけで記述可能です。LINAGE句は無効になります。

例題

```
[C5128.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C5128.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.      METHODF1.
000008 ENVIRONMENT  DIVISION.
000009 INPUT-OUTPUT SECTION.
000010 FILE-CONTROL.
000011     SELECT MASTRFIL
000012         ASSIGN      TO INFILE
000013         ORGANIZATION IS SEQUENTIAL.
000014 DATA            DIVISION.
000015 FILE            SECTION.
000016 FD MASTRFIL LINAGE 10
000017     EXTERNAL.
000018 01 MASTREC.
000019     02 PRODUCT-REC.
000020         03 PRODUCT-CODE PIC X(4).
000021         03              PIC X.
000022         03 PRODCY-NAME PIC N(20).
000023         03              PIC X.
000024         03 PRICE       PIC 9(4).
000025*
000026 END METHOD METHODF1.
000027 END OBJECT.
000028 END CLASS C5128.
```

C5128.cob 16: JMN5128I-S LINAGE句とEXTERNAL句の同時指定は、プログラム定義内だけで記述可能です。LINAGE句は無効になります。

2.6.34 JMN5129I-S

@1@句のデータ名は、オブジェクト参照データ項目またはこれを含む集団項目であってはなりません。データ名は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : APPLY SAVED-AREA, CONTROL, SOURCE, DESTINATION CONTROL, TRACK-AREA, ACTUAL KEY, NOMINAL KEY, KEY IS, APPLY REORG-CRITERIA

例題

```
[P5129.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5129.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT 表示ファイル ASSIGN TO GS-SYS001
000007     SYMBOLIC DESTINATION IS "PRT"
000008     DESTINATION-1 IS 宛先.
000009 I-O-CONTROL.
000010     APPLY SAVED-AREA TO ASV1 ASV2 .
000011 DATA           DIVISION.
000012 FILE SECTION.
000013 FD 表示ファイル.
000014 01 通信データ PIC X(50).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 宛先       PIC X(8).
000017 01 ASV1      PIC X(10).
000018 01 ASV2     USAGE OBJECT REFERENCE.
000019 PROCEDURE     DIVISION.
000020     OPEN I-O 表示ファイル
000021     MOVE "NMSVR20" TO 宛先
000022     WRITE 通信データ
000023     READ 表示ファイル
000024     CLOSE 表示ファイル
000025 END PROGRAM    P5129.
```

P5129.cob 10: JMN5129I-S APPLY SAVED-AREA句のデータ名は、オブジェクト参照データ項目またはこれを含む集団項目であってはなりません。データ名は無効になります。

2.6.35 JMN5130I-S

PICTURE句を持たない項目にANY LENGTH句は指定できません。PICTURE Xが指定されたとみなします。

例題

```
[C5130.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.       C5130.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 OBJECT.
000008 ENVIRONMENT     DIVISION.
000009 DATA           DIVISION.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 PROCEDURE     DIVISION.
000012 IDENTIFICATION DIVISION.
000013 METHOD-ID.      M5130.
000014 ENVIRONMENT     DIVISION.
000015 DATA           DIVISION.
000016 LINKAGE         SECTION.
000017 01 LK1          ANY LENGTH.
000018 PROCEDURE     DIVISION
000019     USING LK1.
000020 END METHOD        M5130.
000021 END OBJECT.
000022 END CLASS        C5130.
```


C5130.cob 17: JMN5130I-S PICTURE句を持たない項目にANY LENGTH句は指定できません。PICTURE Xが指定されたとみなします。

詳細な説明

ANY LENGTH句は、連絡節のデータ項目の長さが、実行時に決まることを指定します。ANY LENGTH句は、PICTURE句だけが指定された項目に指定可能であり、PICTURE句の文字列は、“X”または“N”の1つの文字でなければなりません。

2.6.36 JMN5131I-S

ANY LENGTH句を指定したデータ項目には、PICTURE句以外の句は指定できません。次のレベル番号、節または部まで無効になります。

例題

```
[C5131.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5131.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 OBJECT.
000008 ENVIRONMENT  DIVISION.
000009 DATA          DIVISION.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 PROCEDURE     DIVISION.
000012 IDENTIFICATION DIVISION.
000013 METHOD-ID.     M5131.
000014 ENVIRONMENT  DIVISION.
000015 DATA          DIVISION.
000016 LINKAGE       SECTION.
000017 01 LK1        PIC X ANY LENGTH JUSTIFIED.
000018 PROCEDURE     DIVISION
000019                USING LK1.
000020 END METHOD      M5131.
000021 END OBJECT.
000022 END CLASS      C5131.
```

C5131.cob 17: JMN5131I-S ANY LENGTH句を指定したデータ項目には、PICTURE句以外の句は指定できません。次のレベル番号、節または部まで無効になります。

詳細な説明

ANY LENGTH句は、連絡節のデータ項目の長さが、実行時に決まることを指定します。ANY LENGTH句は、PICTURE句だけが指定された項目に指定可能であり、PICTURE句の文字列は、“X”または“N”の1つの文字でなければなりません。

2.6.37 JMN5132I-S

ANY LENGTH句はプロパティ抽出メソッド、またはプロパティ設定メソッドのデータ項目に指定できません。ANY LENGTH句は無効になります。

例題

```
[C5132.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5132.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 OBJECT.
000008 ENVIRONMENT  DIVISION.
```

```

000009 DATA          DIVISION.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 PROCEDURE      DIVISION.
000012 IDENTIFICATION DIVISION.
000013 METHOD-ID.     SET PROPERTY M5132.
000014 ENVIRONMENT    DIVISION.
000015 DATA          DIVISION.
000016 LINKAGE        SECTION.
000017 01 LK1         PIC X ANY LENGTH.
000018 PROCEDURE      DIVISION
000019                 USING LK1.
000020 END METHOD.
000021 END OBJECT.
000022 END CLASS      C5132.

```

C5132.cob 17: JMN5132I-S ANY LENGTH句はプロパティ取出しメソッド、またはプロパティ設定メソッドのデータ項目に指定できません。ANY LENGTH句は無効になります。

詳細な説明

ANY LENGTH句は、プロパティメソッドを除くメソッド定義の連絡節のレベル番号01のデータ記述項にだけ書くことができます。

2.6.38 JMN5133I-S

ANY LENGTH句は集団項目に指定できません。ANY LENGTH句は無効になります。

例題

```

[C5133.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.       C5133.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 CONFIGURATION  SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 OBJECT.
000008 ENVIRONMENT    DIVISION.
000009 DATA          DIVISION.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 PROCEDURE      DIVISION.
000012 IDENTIFICATION DIVISION.
000013 METHOD-ID.     M5133.
000014 ENVIRONMENT    DIVISION.
000015 DATA          DIVISION.
000016 LINKAGE        SECTION.
000017 01 LK1         PIC X ANY LENGTH.
000018 02 WLENG       PIC S9(4).
000019 02 WBUF        PIC X(40).
000020 PROCEDURE      DIVISION
000021                 USING LK1.
000022 END METHOD      M5133.
000023 END OBJECT.
000024 END CLASS      C5133.

```

C5133.cob 17: JMN5133I-S ANY LENGTH句は集団項目に指定できません。ANY LENGTH句は無効になります。

C5133.cob 17: JMN2124I-S PICTURE句は、集団項目に指定できません。

詳細な説明

ANY LENGTH句は、連絡節のデータ項目の長さが、実行時に決まることを指定します。ANY LENGTH句は、PICTURE句だけが指定された項目に指定可能であり、PICTURE句の文字列は、“X”または“N”の1つの文字でなければなりません。

2.6.39 JMN5134I-S

@1@句のデータ名@2@は、ANY LENGTH句が指定された項目であってはなりません。

埋め込みの説明

- @1@ : 入出力節およびデータ部の句
- @2@ : @1@句に指定したデータ名

例題

```
[C5134.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5134.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 OBJECT.
000008 ENVIRONMENT      DIVISION.
000009 DATA            DIVISION.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 PROCEDURE        DIVISION.
000012 IDENTIFICATION DIVISION.
000013 METHOD-ID.        M5134.
000014 ENVIRONMENT      DIVISION.
000015 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000016 FILE-CONTROL.
000017     SELECT SQFILE ASSIGN TO SYS001
000018     FILE STATUS IS LK1.
000019 DATA            DIVISION.
000020 FILE            SECTION.
000021 FD SQFILE.
000022 01 SQREC        PIC X(80).
000023 LINKAGE        SECTION.
000024 01 LK1         PIC X ANY LENGTH.
000025 PROCEDURE        DIVISION
000026                 USING LK1.
000027 END METHOD        M5134.
000028 END OBJECT.
000029 END CLASS        C5134.
```

C5134.cob 18: JMN5134I-S FILE STATUS句のデータ名LK1は、ANY LENGTH句が指定された項目であってはなりません。

2.6.40 JMN5135I-S

ファイル名'@1@'のASSIGN句のデータ名は、ANY LENGTH句を指定した項目、オブジェクト参照項目を含む集団項目、または強く型付けされた項目であってはなりません。

埋め込みの説明

- @1@ : エラーの原因となったASSIGN句が指定されたファイル名

例題

```
[C5135.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5135.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 OBJECT.
000007 DATA            DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
```

```

000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010 METHOD-ID.      M5135.
000011 ENVIRONMENT    DIVISION.
000012 INPUT-OUTPUT   SECTION.
000013 FILE-CONTROL.
000014     SELECT SQFILE ASSIGN TO LK1
000015     FILE STATUS IS WFS1.
000016     SELECT SQFILE2 ASSIGN TO WK1.
000017 DATA            DIVISION.
000018 FILE              SECTION.
000019 FD SQFILE.
000020 01 SQREC          PIC X(80).
000021 FD SQFILE2.
000022 01 SQREC2        PIC X(80).
000023 WORKING-STORAGE SECTION.
000024 01 WFS1           PIC X(2).
000025 01 WK1           TYPE TYP1.
000026 01 TYP1         TYPEDEF.
000027 02 DATA1        PIC 9(4).
000028 02 DATA2        PIC X(8).
000029 LINKAGE          SECTION.
000030 01 LK1             PIC X ANY LENGTH.
000031 PROCEDURE      DIVISION
000032                 USING LK1.
000033 END METHOD        M5135.
000034 END OBJECT.
000035 END CLASS        C5135.

```

C5135.cob 19: JMN5135I-S ファイル名'SQFILE'のASSIGN句のデータ名は、ANY LENGTH句を指定した項目、オブジェクト参照項目を含む集団項目、または強く型付けされた項目であってはなりません。

2.6.41 JMN5136I-S

ANY LENGTH句を持つデータ項目に対して条件名は指定できません。

例題

```

[C5136.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C5136.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 OBJECT.
000008 ENVIRONMENT    DIVISION.
000009 DATA            DIVISION.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 PROCEDURE      DIVISION.
000012 IDENTIFICATION DIVISION.
000013 METHOD-ID.      M5136.
000014 ENVIRONMENT    DIVISION.
000015 INPUT-OUTPUT   SECTION.
000016 DATA            DIVISION.
000017 LINKAGE          SECTION.
000018 01 LK1          PIC X ANY LENGTH.
000019 88 ZOK          VALUE "OK".
000020 88 ZNG          VALUE "OK".
000021 PROCEDURE      DIVISION
000022                 USING LK1.
000023 END METHOD        M5136.

```

```
000024 END OBJECT.
000025 END CLASS      C5136.
```

C5136.cob 19: JMN5136I-S ANY LENGTH句を持つデータ項目に対して条件名は指定できません。

C5136.cob 20: JMN5136I-S ANY LENGTH句を持つデータ項目に対して条件名は指定できません。

2.6.42 JMN5137I-S

@1@のデータ名は、オブジェクト参照データ項目またはこれを含む集団項目であってはなりません。データ名は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : PICTURE句のFROM指定, PICTURE句のUSING指定, PICTURE句のTO指定, PROMPT句, CONTROL句, SIZE句, LINE NUMBER句, COLUMN NUMBER句

例題

```
[P5137.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5137.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WOBR        OBJECT REFERENCE.
000007 SCREEN         SECTION.
000008 01 WSCR        PIC X(8) USING WOBR.
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010 END PROGRAM     P5137.
```

P5137.cob 8: JMN5137I-S PICTURE句のUSING指定のデータ名は、オブジェクト参照データ項目またはこれを含む集団項目であってはなりません。データ名は無効になります。

2.6.43 JMN5138I-S

強く型付けされた集団項目は、プロパティ取出しメソッドまたはプロパティ設定メソッドのパラメータに指定できません。指定されたパラメータは無効になります。

例題

```
[C5138.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.       C5138.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 OBJECT.
000008 ENVIRONMENT     DIVISION.
000009 DATA           DIVISION.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 PROCEDURE      DIVISION.
000012 IDENTIFICATION DIVISION.
000013 METHOD-ID.      SET PROPERTY M5138.
000014 ENVIRONMENT     DIVISION.
000015 DATA           DIVISION.
000016 LINKAGE        SECTION.
000017 01 LK1         TYPE STY.
000018 01 STY TYPEDEF STRONG.
000019 02 S1          PIC S9(4) BINARY.
000020 02 S2          PIC X(30).
000021 PROCEDURE      DIVISION
```

```
000022          USING LK1.
000023 END METHOD.
000024 END OBJECT.
000025 END CLASS    C5138.
```

C5138.cob 13: JMN5537I-S プロパティ取出しメソッドまたはプロパティ設定メソッドの手続き部見出しに、必要なパラメタがありません。パラメタとして1バイトの英数字項目が指定されたとみなします。

C5138.cob 22: JMN5138I-S 強く型付けされた集団項目は、プロパティ取出しメソッドまたはプロパティ設定メソッドのパラメタに指定できません。指定されたパラメタは無効になります。

C5138.cob 22: JMN2672I-S USING指定に有効な作用対象が一つもありません。

2.6.44 JMN5140I-S

TYPE句の名標 '@1@' は、一意な型名でなければなりません。TYPE句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : TYPE句に指定した名標

例題

```
[P5140.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5140.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A TYPE B.
000006 01 B.
000007 02 B1 PIC S9(9) BINARY.
000008 02 B2 PIC X(1024).
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010     STOP RUN.
000011 END PROGRAM    P5140.
```

P5140.cob 5: JMN5140I-S TYPE句の名標 'B' は、一意な型名でなければなりません。TYPE句は無効になります。

詳細な説明

型宣言を指定するTYPE句では、型名(TYPEDEF句を指定した01レベルのデータ記述項の項目名)を指定しなければなりません。

2.6.45 JMN5141I-S

型名 '@1@' の定義が、型名 '@2@' を参照しています。型名 '@1@' は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 利用者定義の型名 (名標)

@2@ : 利用者定義の型名 (名標)

例題

```
[P5141.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5141.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 X TYPEDEF     TYPE X.
000006 01 A TYPEDEF.
000007 02 A1          PIC S9(9) BINARY.
000008 02 A2          TYPE B.
000009 01 B TYPEDEF.
000010 02 B1          PIC S9(9) BINARY.
000011 02 B2          TYPE C.
```

```

000012 01 C TYPEDEF.
000013 02 C1      PIC S9(9) BINARY.
000014 02 C2      TYPE A.
000015 PROCEDURE DIVISION.
000016     STOP RUN.
000017 END  PROGRAM P5141.

```

P5141.cob 5: JMN5141I-S 型名'X'の定義が、型名'X'を参照しています。型名'X'は無効になります。

P5141.cob 6: JMN5141I-S 型名'A'の定義が、型名'A'を参照しています。型名'A'は無効になります。

P5141.cob 9: JMN5141I-S 型名'B'の定義が、型名'A'を参照しています。型名'B'は無効になります。

P5141.cob 12: JMN5141I-S 型名'C'の定義が、型名'A'を参照しています。型名'C'は無効になります。

詳細な説明

型宣言(TYPEDEF句が指定されたデータ記述項)内で、TYPE句を記述してさらに型を参照することができます。ただしこのとき、自分自身の型や、自分自身の型を含む型を参照することはできません。

2.6.46 JMN5142I-S

**TYPE句は、USAGE句、SIGN句、SYNCHRONIZED句、あるいはCHARACTER TYPE句が指定された集団項目に
従属する項目には指定できません。書かれたとおり受け入れます。**

例題

```

[P5142.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5142.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A TYPEDEF.
000006 02 A1            PIC S9(9).
000007 02 A2            PIC X(80).
000008 01 GRP1
000009 02              USAGE BINARY.
000010 03 B1            TYPE A.
000011 03 B2            PIC S9(9).
000012 02              SIGN TRAILING.
000013 03 C1            TYPE A.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     STOP RUN.
000016 END  PROGRAM P5142.

```

P5142.cob 10: JMN5142I-S TYPE句は、USAGE句、SIGN句、SYNCHRONIZED句、あるいはCHARACTER TYPE句が指定された集団項目に従属する項目には指定できません。書かれたとおり受け入れます。

P5142.cob 12: JMN2008I-W 集団項目にSIGN句が指定された場合、従属する基本項目の一つ以上の符号付き外部10進項目が指定されなければなりません。SIGN句は無効になります。

P5142.cob 13: JMN5142I-S TYPE句は、USAGE句、SIGN句、SYNCHRONIZED句、あるいはCHARACTER TYPE句が指定された集団項目に従属する項目には指定できません。書かれたとおり受け入れます。

詳細な説明

TYPE句を指定したデータ記述項は、型付けされた項目です。型付けされた項目は、型(TYPEDEF)の属性をすべて持ちます。型付けされた項目の上位項目に指定されているUSAGE句、SIGN句、SYNCHRONIZED句、あるいはCHARACTER TYPE句は、型付けされた項目の属性を上書きすることはできません。

2.6.47 JMN5143I-S

@1@句はTYPEDEF句を指定した項目、あるいはその従属項目に指定できません。@1@句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : REDEFINES, RENAMES, CHARACTER TYPE, PRINTING POSITION, PROPERTYあるいはANY LENGTH

例題

```
[P5143.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5143.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 VCHR TYPEDEF.
000006 02 LENG          PIC S9(9).
000007 02 XCHR          PIC X(80).
000008 02 NCHR          CHARACTER TYPE MODE-1
000009                  PIC N(40).
000010 01 ADDR          TYPE VCHR.
000011 PROCEDURE        DIVISION.
000012     STOP RUN.
000013 END PROGRAM      P5143.
```

P5143.cob 8: JMN5143I-S CHARACTER TYPE句はTYPEDEF句を指定した項目、あるいはその従属項目に指定できません。CHARACTER TYPE句は無効になります。

2.6.48 JMN5144I-S

@1@句に指定するデータ名はTYPE句の参照する型から展開された項目であってはなりません。@1@句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : RENAMES

例題

```
[P5144.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5144.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 BLOB TYPEDEF.
000006 02 RESEV          PIC S9(9) BINARY.
000007 02 LENG          PIC 9(9) BINARY.
000008 02 BUFF          PIC X(1024).
000009 01 GRP1          .
000010 02 B1            TYPE BLOB.
000011 66 C1 RENAMES   LENG OF B1 THRU BUFF OF B1.
000012 PROCEDURE        DIVISION.
000013     STOP RUN.
000014 END PROGRAM      P5144.
```

P5144.cob 11: JMN5144I-S RENAMES句に指定するデータ名はTYPE句の参照する型から展開された項目であってはなりません。RENAMES句は無効になります。

詳細な説明

型(TYPEDEF)に含まれる名前に対して、その型をTYPE句で参照したのちに再命名することはできません。

2.6.49 JMN5145I-W

値を持つ型に、新しい値が指定されています。指定されたとおりに、受け入れます。

例題

```
[P5145.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5145.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A TYPEDEF    PIC 9(2) VALUE 99.
000006 01 B            TYPE A VALUE 33.
000007 PROCEDURE       DIVISION.
000008     STOP RUN.
000009 END PROGRAM      P5145.
```

P5145.cob 6: JMN5145I-W 値を持つ型に、新しい値が指定されています。指定されたとおりに、受け入れます。

詳細な説明

この診断メッセージは、型宣言(TYPEDEF)にも、その型を参照するTYPE句を指定したデータ記述項にも、VALUE句が指定されている場合、初期値の設定が重複していることを指摘します。このとき、TYPE句を指定したデータ記述項側のVALUE句が有効になります。

2.6.50 JMN5146I-S

型を参照する項目に従属する項目のレベル番号が@1@を超えました。誤ったレベル番号を持つ項目を無視します。

埋め込みの説明

@1@ : 49または77

例題

```
[P5146.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5146.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 BLOB TYPEDEF.
000006 02 RESEV        PIC S9(9) BINARY.
000007 02 LENG         PIC 9(9) BINARY.
000008 02 BUFF         PIC X(1024).
000009 77 GRP1        TYPE BLOB.
000010 PROCEDURE       DIVISION.
000011     STOP RUN.
000012 END PROGRAM      P5146.
```

P5146.cob 9: JMN5146I-S 型を参照する項目に従属する項目のレベル番号が77を超えました。誤ったレベル番号を持つ項目を無視します。

詳細な説明

TYPE句を指定したデータ記述項では、型(TYPEDEF)のレコードの階層構造も引継ぎます。その結果、型付けされた項目のレベル番号が49を超えてしまうと、この診断メッセージが出力されます。

2.6.51 JMN5147I-S

条件変数が参照する型は基本項目として定義されたものでなければなりません。条件名の指定を無視します。

例題

```
[P5147.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5147.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
```

```

000005 01 BLOB TYPEDEF.
000006 02 RESEV PIC S9(9) BINARY.
000007 02 LENG PIC 9(9) BINARY.
000008 02 BUFF PIC X(1024).
000009 01 GRP1 TYPE BLOB.
000010 88 ZSP VALUE SPACE.
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012 STOP RUN.
000013 END PROGRAM P5147.

```

P5147.cob 9: JMN5147I-S 条件変数が参照する型は基本項目として定義されたものでなければなりません。条件名の指定を無視します。

詳細な説明

条件名記述項(レベル番号が88)で定義した条件名を関係付けたデータ項目を、条件変数といいます。

条件変数にTYPE句が指定されているとき、そのTYPE句で参照する型(TYPEDEF)は、基本項目の属性でなければなりません。

2.6.52 JMN5148I-S

条件変数の参照する型は条件名を含むものであってはなりません。条件名の指定を無視します。

例題

```

[P5148. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P5148.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 COLORV TYPEDEF PIC 9(4).
000006 88 BLUE VALUE 1.
000007 88 RED VALUE 2.
000008 01 WBCG TYPE COLORV.
000009 88 GREEN VALUE 3.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 STOP RUN.
000012 END PROGRAM P5148.

```

P5148.cob 8: JMN5148I-S 条件変数の参照する型は条件名を含むものであってはなりません。条件名の指定を無視します。

詳細な説明

条件名記述項(レベル番号が88)で定義した条件名を関係付けたデータ項目を、条件変数といいます。

条件変数にTYPE句が指定されているとき、そのTYPE句で参照する型(TYPEDEF)は、条件名記述項を含んでいてはなりません。

2.6.53 JMN5149I-S

REDEFINES句を持つ集団項目に従属する最初の項目が、TYPE句を持つ場合、再定義される項目の境界は、レベル番号01の項目の要求する境界に合っていないければなりません。境界調整は行いません。

例題

```

[P5149. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P5149.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 VCHR TYPEDEF.
000006 02 WLENG PIC S9(4) BINARY.
000007 01 WSTOCK.
000008 02 WPNO PIC 9(7).
000009 02 WNAM PIC X(22).
000010 02 WRNAM REDEFINES WNAM.

```

```

000011 03 TYPE VCHR.
000012 02 WQOH PIC S9(8) BINARY.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014 STOP RUN.
000015 END PROGRAM P5149.

```

P5149.cob 11: JMN5149I-S REDEFINES句を持つ集団項目に従属する最初の項目が、TYPE句を持つ場合、再定義される項目の境界は、レベル番号01の項目の要求する境界に合っていなければなりません。境界調整は行いません。

詳細な説明

8バイト境界に合わせて定義しなければなりません。

2.6.54 JMN5150I-S

アドレス可変項目に指定するTYPE句の参照する型は基本項目として定義されていなければなりません。境界調整は行いません。

例題

```

[P5150.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P5150.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 VCHR TYPEDEF.
000006 02 WLENG PIC S9(4) BINARY.
000007 02 WBUFF PIC X(20).
000008 01 WVTBL.
000009 02 WQT PIC S9(4) BINARY.
000010 02 WOCC OCCURS 10 TIMES DEPENDING ON WQT.
000011 03 PIC X(1).
000012 02 WNAM TYPE VCHR.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014 STOP RUN.
000015 END PROGRAM P5150.

```

P5150.cob 12: JMN5150I-S アドレス可変項目に指定するTYPE句の参照する型は基本項目として定義されていなければなりません。境界調整は行いません。

詳細な説明

レコードの中で、DEPENDING指定付きのOCCURS句を指定したデータ記述項の後に割り当てられる領域は、可変位置になります。可変位置のデータ記述項にTYPE句を指定する場合、そのTYPE句で参照する型(TYPEDEF)は基本項目の属性でなければなりません。

2.6.55 JMN5151I-S

クラス定義で宣言された型が、DEPENDING ON指定またはKEY IS 指定を持つOCCURS句を含む場合、分離されたメソッドでそれらの型を参照することはできません。TYPE句は無効になります。

例題

```

[C5151.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID. C5151.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 VGRP TYPEDEF.
000008 02 OCCURS 3 TO 5 TIMES DEPENDING ON ODO1
000009 PIC S9(4) BINARY.

```

```

000010 01 OD01      PIC S9(4) BINARY.
000011 PROCEDURE    DIVISION.
000012 METHOD-ID.    M5151 PROTOTYPE.
000013 PROCEDURE    DIVISION.
000014 END METHOD    M5151.
000015 END OBJECT.
000016 END CLASS    C5151.

```

```

[M5151.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 METHOD-ID.      M5151 OF C5151.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 CONFIGURATION  SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS      C5151.
000007 DATA          DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 METDATA     TYPE VGRP.
000010 PROCEDURE      DIVISION.
000011     MOVE ZERO TO METDATA.
000012     EXIT METHOD.
000013 END METHOD      M5151.

```

M5151.cob 9: JMN5151I-S クラス定義で宣言された型が、DEPENDING ON指定またはKEY IS 指定を持つOCCURS句を含む場合、分離されたメソッドでそれらの型を参照することはできません。TYPE句は無効になります。

2.6.56 JMN5152I-S

STRONG指定を持つ型は、集団項目として宣言されていなければなりません。STRONG指定は無効になります。

例題

```

[P5152.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     P5152.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 STY TYPEDEF  STRONG
000007                 PIC X(20).
000008 PROCEDURE      DIVISION.
000009 END PROGRAM      P5152.

```

P5152.cob 6: JMN5152I-S STRONG指定を持つ型は、集団項目として宣言されていなければなりません。STRONG指定は無効になります。

詳細な説明

基本項目にはSTRONGは指定できません、

2.6.57 JMN5153I-S

STRONG指定を持つ型宣言あるいは強く型付けされた項目は@1@句を含んではなりません。

埋め込みの説明

@1@ : VALUE, REDEFINES, ,OCCURS DEPENDING ONまたはSELF指定を持つUSAGE OBJECT REFERENCE

例題

```

[P5153.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     P5153.

```

```

000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 STY1 TYPEDEF STRONG.
000007 02 ITEM11     PIC X(20) VALUE SPACE.
000008 02 ITEM12     PIC S9(9) BINARY.
000009 01 DATA1     TYPE STY2 VALUE SPACE.
000010 01 STY2 TYPEDEF STRONG.
000011 02 ITEM2      PIC X(20).
000012 01 STY3 TYPEDEF STRONG.
000013 02 ITEM3      PIC X(20).
000014 02 ITEM3R     REDEFINES ITEM3.
000015 03 ITEM31     PIC X(10).
000016 03 ITEM32     TYPE STY2 VALUE SPACE.
000017 PROCEDURE     DIVISION.
000018 END PROGRAM    P5153.

```

P5153.cob 7: JMN5153I-S STRONG指定を持つ型宣言あるいは強く型付けされた項目はVALUE句を含んではなりません。

P5153.cob 9: JMN5153I-S STRONG指定を持つ型宣言あるいは強く型付けされた項目はVALUE句を含んではなりません。

P5153.cob 14: JMN5153I-S STRONG指定を持つ型宣言あるいは強く型付けされた項目はREDEFINES句を含んではなりません。

P5153.cob 16: JMN5153I-S STRONG指定を持つ型宣言あるいは強く型付けされた項目はVALUE句を含んではなりません。

詳細な説明

強く型付けされた項目とは、STRONG指定を持つ型宣言(TYPEDEF)を参照するTYPE句を指定したデータ記述項です。

2.6.58 JMN5154I-S

強く型付けされた項目は、基底場所節に定義してはなりません。この項目を弱く型付けされた項目とみなします。

例題

```

[P5154.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     P5154.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 DATA          DIVISION.
000005 BASED-STORAGE  SECTION.
000006 01 DATA1      TYPE STY1.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 STY1 TYPEDEF STRONG.
000009 02 ITEM11     PIC X(4) .
000010 02 ITEM12     PIC X(4) .
000011 PROCEDURE     DIVISION.
000012 END PROGRAM    P5154.

```

P5154.cob 6: JMN5154I-S 強く型付けされた項目は、基底場所節に定義してはなりません。この項目を弱く型付けされた項目とみなします。

詳細な説明

基底場所節で宣言するデータ記述項では、STRONG指定を持つ型宣言(TYPEDEF)を参照するTYPE句は指定できません。

2.6.59 JMN5155I-S

STRONG指定を持つ型宣言は、レベル番号01のデータ項目またはSTRONG指定を持つ型宣言に従属する項目だけで参照できます。この項目を弱く型付けされた項目とみなします。

例題

```

[P5155.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.

```

```

000002 PROGRAM-ID.      P5155.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 STY1 TYPEDEF STRONG.
000007 02 ITEM11      PIC X(4) .
000008 02 ITEM12      PIC X(4) .
000009 01 DATA1.
000010 02 DATA2      TYPE STY1.
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012 END PROGRAM     P5155.

```

P5155.cob 10: JMN5155I-S STRONG指定を持つ型宣言は、レベル番号01のデータ項目またはSTRONG指定を持つ型宣言に従属する項目だけで参照できます。この項目を弱く型付けされた項目とみなします。

2.6.60 JMN5156I-S

@1@のデータ名@2@は、強く型付けされた項目であってはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 入出力節またはデータ部の句
 @2@ : @1@に指定されたデータ名

例題

```

[P5156.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5156.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     FILE STATUS DATA1.
000008 DATA           DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD FILE1.
000011 01 REC1        PIC X(80) .
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 STY1 TYPEDEF STRONG.
000014 02 ITEM11      PIC X(4) .
000015 02 ITEM12      PIC X(4) .
000016 01 DATA1      TYPE STY1.
000017 PROCEDURE DIVISION.
000018 END PROGRAM     P5156.

```

P5156.cob 7: JMN5156I-S FILE STATUSのデータ名DATA1は、強く型付けされた項目であってはなりません。

詳細な説明

強く型付けされた項目とは、STRONG指定を持つ型宣言(TYPEDEF)を参照するTYPE句を指定したデータ記述項です。

2.6.61 JMN5157I-S

STRONG指定付きのTYPEDEF句とTYPE句は同時に指定できません。STRONG指定は無効になります。

例題

```

[P5157.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5157.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.

```

```

000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 STY TYPEDEF STRONG
000007             TYPE TYP1.
000008 01 TYP1 TYPEDEF.
000009 02 T1             PIC X(10).
000010 PROCEDURE         DIVISION.
000011 END PROGRAM      P5157.

```

P5157.cob 7: JMN5157I-S STRONG指定付きのTYPEDEF句とTYPE句は同時に指定できません。STRONG指定は無効になります。

2.6.62 JMN5158I-S

日本語データの実行時コード系がUNICODEの場合、@1@句のデータ名 '@2@'は日本語を含む集団項目であってはなりません。書かれたとおりに受け入れます。

埋め込みの説明

@1@ : ASSIGN
 @2@ : @1@句に指定されたデータ名

例題

```

[P5158.cob]
000001 @OPTIONS RCS(UCS2)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P5158.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO WFILNM
000008     ORGANIZATION   IS SEQUENTIAL
000009     FILE STATUS    IS WFS1.
000010 I-O-CONTROL.
000011 DATA              DIVISION.
000012 FILE              SECTION.
000013 FD SQFILE1.
000014 01 SQFIREC.
000015 02                PIC X(80).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 01 WFS1            PIC X(2).
000018 01 WFILNM.
000019 02                PIC N(10).
000020 PROCEDURE        DIVISION.
000021 END PROGRAM      P5158.

```

P5158.cob 18: JMN5158I-S 日本語データの実行時コード系がUNICODEの場合、ASSIGN句のデータ名 'WFILNM'は日本語を含む集団項目であってはなりません。書かれたとおりに受け入れます。

詳細な説明

NetCOBOLでUnicodeデータを扱う場合、日本語項目の表現形式はUCS-2です。一方、集団項目(字類は英数字)の表現形式はUTF-8になります。集団項目として扱う場合は、集団に従属する日本語項目の領域にもUTF-8表現形式のデータが格納されるため、日本語項目として適切なデータになりません。

2.6.63 JMN5159I-S

日本語データの実行時コード系がUNICODEの場合、行順ファイルのレコードは日本語項目とその他の項目を同時に含むことはできません。

例題

```
[P5159.cob]
000001 @OPTIONS RCS(UCS2)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P5159.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000008     ORGANIZATION   IS LINE SEQUENTIAL
000009     FILE STATUS     IS WFS1.
000010 I-O-CONTROL.
000011 DATA              DIVISION.
000012 FILE                SECTION.
000013 FD SQFILE1.
000014 01 SQF1REC1.
000015 02                  PIC X(80).
000016 01 SQF1REC2.
000017 02                  PIC N(40).
000018 WORKING-STORAGE SECTION.
000019 01 WFS1            PIC X(2).
000020 PROCEDURE          DIVISION.
000021 END PROGRAM        P5159.
```

P5159.cob 13: JMN5159I-S 日本語データの実行時コード系がUNICODEの場合、行順ファイルのレコードは日本語項目とその他の項目を同時に含むことはできません。

詳細な説明

NetCOBOLでUnicodeデータを扱う場合、日本語項目の表現形式はUCS-2です。英数字項目の表現形式はASCII(UTF-8)です。データをレコード単位で扱う場合、表現形式の異なるデータを1つのレコード内で同時に扱うことはできません。

2.6.64 JMN5160I-W

@1@句のデータ名に日本語項目を含む集団項目*@2@'が指定されています。日本語データの実行時コード系がUNICODEの場合、この項目の日本語部分の比較は日本語として行われません。

埋め込みの説明

@1@ : RECORD KEY, ALTERNATE RECORD KEY, KEY IS

@2@ : エラーの原因となったデータ名

例題

```
[P5160.cob]
000001 @OPTIONS RCS(UCS2)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P5160.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT IXFILE1 ASSIGN TO SYS001
000008     ORGANIZATION   IS INDEXED
000009     RECORD KEY     IS KEY1.
000010 I-O-CONTROL.
000011 DATA              DIVISION.
000012 FILE                SECTION.
000013 FD IXFILE1.
000014 01 IXF1REC.
000015 02 KEY1.
000016 03                  PIC N(2).
000017 02                  PIC X(80).
000018 WORKING-STORAGE SECTION.
```



```
000019 PROCEDURE      DIVISION.
000020 END PROGRAM    P5160.
```

P5160.cob 9: JMN5160I-W RECORD KEY句のデータ名に日本語項目を含む集団項目'KEY1'が指定されています。日本語データの実行時コード系がUNICODEの場合、この項目の日本語部分の比較は日本語として行われません。

詳細な説明

NetCOBOLでUnicodeデータを扱う場合、日本語項目の表現形式はUCS-2です。一方、集団項目(字類は英数字)の表現形式はUTF-8になります。集団項目として扱う場合は、集団に従属する日本語項目の領域にもUTF-8表現形式のデータが格納されるため、日本語項目として適切なデータになりません。

2.6.65 JMN5260I-S

@1@句のデータ名@2@は@3@句を指定した項目であってはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 入出力節またはデータ部の句。
@2@ : エラーの原因となったデータ名。
@3@ : USAGE BINARY-CHAR.

例題

```
[C5260.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C5260.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT RLF1E1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION   IS RELATIVE
000008     RELATIVE KEY    IS WRKY
000009     FILE STATUS    IS WFS1.
000010 I-O-CONTROL.
000011 DATA            DIVISION.
000012 FILE              SECTION.
000013 FD RLF1E1.
000014 01 RLF1REC.
000015 02                PIC X(80).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 01 WFS1            PIC X(2).
000018 01 WRKY           BINARY-CHAR UNSIGNED.
000019 PROCEDURE        DIVISION.
000020 END PROGRAM        C5260.
```

C5260.cob 8: JMN5260I-S RELATIVE KEY句のデータ名WRKYはUSAGE BINARY-CHAR句を指定した項目であってはなりません。

2.6.66 JMN5400I-U

コンパイラの制限です。データ項目およびコンパイラ生成の管理域の累積長が最大長を超えています。翻訳を中止します。

例題

```
[C5400.cob]
000001 PROGRAM-ID.      C5400.
000002 DATA DIVISION.
000003 WORKING-STORAGE SECTION.
000004 01 A PIC X(1500000000).
000005 01 B PIC X(1500000000).
000006 PROCEDURE DIVISION.
```

```
000007 P-START.
000008     MOVE A TO B.
000009     STOP RUN.
```

C5400.cob 0: JMN5400I-U コンパイラの制限です。データ項目およびコンパイラ生成の管理域の累積長が最大長を超えています。翻訳を中止します。

2.6.67 JMN5410I-U

プログラムが大き過ぎます。プログラムを分割して再翻訳してください。翻訳を中止します。

2.6.68 JMN5500I-S

@1@文の一意名にはオブジェクト参照一意名を指定しなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : RAISE.

例題

```
[C5500.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5500.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE        DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID         M5500.
000008 DATA             DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 AAA           PIC X(4).
000011 PROCEDURE        DIVISION.
000012     RAISE AAA
000013 END METHOD        M5500.
000014 END OBJECT.
000015 END CLASS       C5500.
```

C5500.cob 12: JMN5500I-S RAISE文の一意名にはオブジェクト参照一意名を指定しなければなりません。

2.6.69 JMN5501I-S

@1@文の、'@2@'指定は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : RAISE.

@2@ : EXCEPTION.

例題

```
[C5501.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5501.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE        DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID         M5501.
000008 PROCEDURE        DIVISION.
000009     RAISE EXCEPTION EC-00
000010 END METHOD        M5501.
```

```
000011 END OBJECT.
000012 END CLASS      C5501.
```

C5501.cob 9: JMN5501I-S RAISE文の, 'EXCEPTION'指定は指定できません。

2.6.70 JMN5504I-S

@1@文のUSING指定にオブジェクトプロパティまたはメソッドの行内呼出しは指定できません。@1@文を無効とします。

埋め込みの説明

@1@ : INVOKEまたはCALL.

例題

```
[C5504.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C5504.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 DATA          DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 PR5504      PIC S9(9) COMP-5 PROPERTY.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 IDENTIFICATION DIVISION.
000010 METHOD-ID.     M5504.
000011 DATA          DIVISION.
000012 LINKAGE        SECTION.
000013 01 LK1         PIC S9(9) COMP-5.
000014 01 LK2         PIC S9(9) COMP-5.
000015 PROCEDURE     DIVISION USING   LK1
000016                 RETURNING LK2.
000017 END METHOD      M5504.
000018 END OBJECT.
000019 END CLASS      C5504.
```

```
[P5504.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     P5504.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS C5504.
000007 DATA          DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 WOBR USAGE OBJECT REFERENCE C5504.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011* プロパティ
000012 INVOKE WOBR "M5504" USING PR5504 OF WOBR
000013* 行内呼び出し
000014 INVOKE WOBR "M5504" USING WOBR :: "M5504" (12)
000015 END PROGRAM     P5504.
```

P5504.cob 12: JMN5504I-S INVOKE文のUSING指定にオブジェクトプロパティまたはメソッドの行内呼出しは指定できません。INVOKE文を無効とします。

P5504.cob 14: JMN5509I-S 受取り側項目にメソッドの行内呼出しは指定できません。

P5504.cob 14: JMN5504I-S INVOKE文のUSING指定にオブジェクトプロパティまたはメソッドの行内呼出しは指定できません。INVOKE文を無効とします。

詳細な説明

オブジェクトプロパティあるいはメソッドの行内呼出しの結果を別のデータ項目に格納し、そのデータ項目をUSING指定に指定してください。

2.6.71 JMN5505I-S

@1@で指定したメソッド名'@3@'がクラス'@2@'に定義されていません。@1@を無効とします。

埋め込みの説明

- @1@ : INVOKE文またはメソッドの行内呼出し。
- @2@ : エラーの原因となったクラス名。
- @3@ : エラーの原因となったメソッド名。

例題

```
[C5505.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5505.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE        DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.        M5505X.
000008 PROCEDURE        DIVISION.
000009 END METHOD        M5505X.
000010 END OBJECT.
000011 END CLASS        C5505.
```

```
[P5505.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P5505.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS C5505.
000007 DATA            DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 WOBR          OBJECT REFERENCE C5505.
000010 PROCEDURE        DIVISION.
000011 INVOKE WOBR     "M5505".
000012 END PROGRAM      P5505.
```

P5505.cob 11: JMN5505I-S INVOKE文で指定したメソッド名'M5505'がクラス'C5505'に定義されていません。INVOKE文を無効とします。

詳細な説明

指定したクラスに、呼び出すメソッドと同じ名前とパラメタインタフェースを持つメソッドが存在しているかどうか、確認してください。

2.6.72 JMN5507I-S

@1@文のRAISING指定にはオブジェクト参照一意名だけが記述できます。

埋め込みの説明

- @1@ : EXIT.

例題

```
[C5507.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5507.
```

```

000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE      DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.      M5507.
000008 DATA          DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 WERROR      PIC X(20).
000011 PROCEDURE      DIVISION.
000012     EXIT METHOD RAISING WERROR
000013 END METHOD      M5507.
000014 END OBJECT.
000015 END CLASS      C5507.

```

C5507.cob 12: JMN5507I-S EXIT文のRAISING指定にはオブジェクト参照一意名だけが記述できます。

2.6.73 JMN5508I-S

@1@文は、プログラム定義以外に記述できません。

埋め込みの説明

@1@ : CONNECT, DISCONNECT, ERASE, ENTRY, FIND, FINISH, GET, IFDB-EXCEPTION, MODIFY, READY, STORE
またはUSE FOR DB-EXCEPTION.

例題

```

[C5508.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C5508.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 DATA          DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE      DIVISION.
000008 IDENTIFICATION DIVISION.
000009 METHOD-ID.      M5508.
000010 ENVIRONMENT    DIVISION.
000011 DATA          DIVISION.
000012 LINKAGE        SECTION.
000013 01 LK1        PIC X.
000014 PROCEDURE      DIVISION.
000015     READY.
000016 END METHOD      M5508.
000017 END OBJECT.
000018 END CLASS      C5508.

```

C5508.cob 15: JMN5508I-S READY文は、プログラム定義以外に記述できません。

2.6.74 JMN5509I-S

受取り側項目に@1@は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : 定義済み一意名SELF, 定義済み一意名SUPER, 定義済み一意名EXCEPTION-OBJECT, クラス名, メソッドのインライン
呼出しまたはASオブジェクト指定子付きの一意名.

例題

```

[C5509.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C5509.

```

```

000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 IDENTIFICATION DIVISION.
000006 OBJECT.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 IDENTIFICATION DIVISION.
000009 METHOD-ID. M5509.
000010 DATA DIVISION.
000011 LINKAGE SECTION.
000012 01 LK1 PIC X(2).
000013 PROCEDURE DIVISION RETURNING LK1.
000014 SET SELF TO NULL.
000015 MOVE SPACE TO SELF :: "M5509"
000016 END METHOD M5509.
000017 END OBJECT.
000018 END CLASS C5509.

```

C5509.cob 14: JMN5509I-S 受取り側項目に定義済みオブジェクト一意名SELFは指定できません。

C5509.cob 15: JMN5509I-S 受取り側項目にメソッドの行内呼出しは指定できません。

2.6.75 JMN5510I-S

@1@指定と@2@指定は同時に記述できません。@2@指定は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : WITH.
@2@ : RAISING.

例題

```

[P5510.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P5510.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 DATA DIVISION.
000006 LINKAGE SECTION.
000007 PROCEDURE DIVISION
000008 WITH STDCALL LINKAGE
000009 RAISING BASE.
000010 DISPLAY "PARAMETER ERROR".
000011 STOP RUN.

```

P5510.cob 9: JMN5510I-S WITH指定とRAISING指定は同時に記述できません。RAISING指定は無効になります。

2.6.76 JMN5511I-S

メソッドの手続き部見出しには、@1@指定は記述できません。

埋め込みの説明

@1@ : WITH.

例題

```

[C5511.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID. C5511.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 PROCEDURE DIVISION.

```

```

000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 METHOD-ID.      MF1.
000009 DATA          DIVISION.
000010 PROCEDURE      DIVISION WITH STDCALL LINKAGE.
000011     DISPLAY "PHRASE ERROR".
000012 END METHOD MF1.
000013 END OBJECT.
000014 END CLASS C5511.

```

C5511.cob 10: JMN5511I-S メソッドの手続き部見出しには、WITH指定は記述できません。

詳細な説明

手続き部見出しのWITH指定は、呼ばれるプログラムの呼出し規約を指定します。メソッドでは、呼び出し規約を指定することはできません。

2.6.77 JMN5512I-S

RETURNING指定の作用対象は、1つでなければなりません。

例題

```

[C5512.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C5512.
000003 ENVIRONMENT   DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 DATA          DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 PROCEDURE      DIVISION.
000009 IDENTIFICATION DIVISION.
000010 METHOD-ID.      M5512.
000011 DATA          DIVISION.
000012 LINKAGE        SECTION.
000013 01 LK1         PIC S9(4) DISPLAY.
000014 01 LK2         PIC X(4).
000015 PROCEDURE      DIVISION RETURNING LK1 LK2.
000016     DISPLAY "PARAMETER ERROR".
000017 END METHOD      M5512.
000018 END OBJECT.
000019 END CLASS C5512.

```

C5512.cob 15: JMN5512I-S RETURNING指定の作用対象は、1つでなければなりません。

詳細な説明

手続き部見出しのRETURNING指定には、呼出し元に返却する値を格納するためのデータ記述項を指定します。値は1つしか返却できません。

2.6.78 JMN5513I-S

@2@指定の作用対象'@1@'は、このソース単位内の連絡節で定義されたREDEFINES句を含まないレベル番号01または77のデータ項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : USINGまたはRETURNINGパラメタとして指定された利用者語。

@2@ : USING, RETURNING.

例題

```

[C5513.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.

```

```

000002 CLASS-ID.      C5513.
000003 ENVIRONMENT   DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 DATA         DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 PROCEDURE     DIVISION.
000009 IDENTIFICATION DIVISION.
000010 METHOD-ID.     M5513.
000011 DATA         DIVISION.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 WK1       PIC X(8).
000014 LINKAGE       SECTION.
000015 01 LK1       PIC X(8).
000016 01 LK2       PIC S9(4) DISPLAY.
000017 01 RET       REDEFINES LK2 PIC X(4).
000018 PROCEDURE     DIVISION
000019                USING WK1 LK1
000020                RETURNING RET.
000021                DISPLAY "PARAMETER ERROR".
000022 END METHOD      M5513.
000023 END OBJECT.
000024 END CLASS     C5513.

```

C5513.cob 19: JMN5513I-S USING指定の作用対象'WK1'は、このソース単位内の連絡節で定義されたREDEFINES句を含まないレベル番号01または77のデータ項目でなければなりません。

C5513.cob 20: JMN5513I-S RETURNING指定の作用対象'RET'は、このソース単位内の連絡節で定義されたREDEFINES句を含まないレベル番号01または77のデータ項目でなければなりません。

2.6.79 JMN5514I-S

'@1@'はUSING句の作用対象としてすでに記述されています。

埋め込みの説明

@1@ : USINGパラメタとして指定された利用者語。

例題

```

[C5514.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C5514.
000003 ENVIRONMENT   DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 DATA         DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 PROCEDURE     DIVISION.
000009 IDENTIFICATION DIVISION.
000010 METHOD-ID.     M01.
000011 DATA         DIVISION.
000012 LINKAGE       SECTION.
000013 01 LK1       PIC X(10).
000014 01 LK2       PIC X(10).
000015 PROCEDURE     DIVISION USING LK1 LK1.
000016                DISPLAY "PARAMETER ERROR".
000017 END METHOD      M01.
000018 END OBJECT.
000019 END CLASS     C5514.

```

C5514.cob 15: JMN5514I-S 'LK1'はUSING句の作用対象としてすでに記述されています。

詳細な説明

手続き部見出しのUSING指定に、同じデータ記述項のデータ名を複数回指定することはできません。

2.6.80 JMN5515I-S

手続き部見出しのUSING指定の作用対象'@1@'には、SELF, FACTORY OF SELFおよびCLASS OF SELFは記述できません。

埋め込みの説明

@1@ : オブジェクト参照データ項目名である利用者語。

例題

```
[C5515.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5515.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 DATA          DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 PROCEDURE     DIVISION.
000009 IDENTIFICATION DIVISION.
000010 METHOD-ID.     M5515.
000011 DATA          DIVISION.
000012 LINKAGE        SECTION.
000013 01 LK1         USAGE OBJECT REFERENCE CLASS OF SELF.
000014 01 LK2         PIC S9(4) BINARY.
000015 PROCEDURE     DIVISION USING LK1 LK2.
000016     DISPLAY "PARAMETER ERROR".
000017 END METHOD      M5515.
000018 END OBJECT.
000019 END CLASS      C5515.
```

C5515.cob 15: JMN5515I-S 手続き部見出しのUSING指定の作用対象'LK1'には、SELF, FACTORY OF SELFおよびCLASS OF SELFは記述できません。

2.6.81 JMN5516I-S

RETURNING指定の作用対象は、USING指定の作用対象と同じであってはなりません。

例題

```
[C5516.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5516.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 DATA          DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 PROCEDURE     DIVISION.
000009 IDENTIFICATION DIVISION.
000010 METHOD-ID.     M5516.
000011 DATA          DIVISION.
000012 LINKAGE        SECTION.
000013 01 LK1         PIC S9(4) DISPLAY.
000014 01 LK2         PIC X(4).
000015 PROCEDURE     DIVISION
000016     USING LK1 RETURNING LK1.
000017     DISPLAY "PARAMETER ERROR".
```

```
000018 END METHOD      M5516.
000019 END OBJECT.
000020 END CLASS      C5516.
```

C5516.cob 16: JMN5516I-S RETURNING指定の作用対象は、USING指定の作用対象と同じであってはなりません。

詳細な説明

別の項目を指定してください。

2.6.82 JMN5517I-S

@1@の手続き部見出しには、@2@指定を記述することはできません。

埋め込みの説明

@1@ : ファクトリ定義, スタティック定義, オブジェクト定義またはインタフェース定義.
@2@ : USING, RETURNINGまたはWITH.

2.6.83 JMN5518I-S

@1@の手続き部には宣言部分は記述できません。

埋め込みの説明

@1@ : ファクトリ定義またはオブジェクト定義.

例題

```
[C5518.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5518.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 IDENTIFICATION DIVISION.
000006 OBJECT.
000007 DATA          DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 PROCEDURE     DIVISION.
000010 DECLARATIVES.
000011 ERR-1 SECTION.
000012     USE AFTER EXCEPTION C5518.
000013     DISPLAY "*** ERROR ***".
000014 END DECLARATIVES.
000015 END OBJECT.
000016 END CLASS      C5518.
```

C5518.cob 10: JMN5518I-S オブジェクト定義の手続き部には宣言部分は記述できません。

詳細な説明

記述できるのは、手続き部見出しだけです。

2.6.84 JMN5519I-S

EXIT PROGRAM文はメソッド定義に指定できません。

例題

```
[C5519.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5519.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
```

```
000005 IDENTIFICATION DIVISION.
000006 OBJECT.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 IDENTIFICATION DIVISION.
000009 METHOD-ID. M5519.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 EXIT PROGRAM
000012 END METHOD M5519.
000013 END OBJECT.
000014 END CLASS C5519.
```

C5519.cob 11: JMN5519I-S EXIT PROGRAM文はメソッド定義に指定できません。

詳細な説明

EXIT PROGRAM文は、プログラム定義の手続き部に記述します。

2.6.85 JMN5520I-S

EXIT METHOD文は、メソッドの手続き部以外に指定できません。

例題

```
[P5520.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P5520.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 PROCEDURE DIVISION.
000006 EXIT METHOD
000007 END PROGRAM P5520.
```

P5520.cob 6: JMN5520I-S EXIT METHOD文は、メソッドの手続き部以外に指定できません。

2.6.86 JMN5521I-S

'@1@'はリポジトリ段落で指定されたクラスの名前でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : RAISING指定に指定されたデータ名。

例題

```
[P5521.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P5521.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDA1 PIC X(10).
000007 PROCEDURE DIVISION
000008 RAISING WDA1.
000009 END PROGRAM P5521.
```

P5521.cob 8: JMN5521I-S 'WDA1'はリポジトリ段落で指定されたクラスの名前でなければなりません。

詳細な説明

手続き部見出しのRAISING指定には、環境部のリポジトリ段落のクラス指定子で宣言したクラス名を指定します。

2.6.87 JMN5522I-S

クラス名 '@1@' は特殊クラスを識別する名前であってはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : クラス名として記述された利用者語。

例題

```
[C5522.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5522.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS COM AS "*OLE".
000007     IDENTIFICATION DIVISION.
000008 OBJECT.
000009 DATA          DIVISION.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 PROCEDURE     DIVISION.
000012 IDENTIFICATION DIVISION.
000013 METHOD-ID.     M5522.
000014 DATA          DIVISION.
000015 PROCEDURE     DIVISION
000016                 RAISING COM.
000017     DISPLAY "PARAMETER ERROR".
000018 END METHOD      M5522.
000019 END OBJECT.
000020 END CLASS C5522.
```

C5522.cob 16: JMN5522I-S クラス名 'COM' は特殊クラスを識別する名前であってはなりません。

詳細な説明

手続き部見出しの RAISING 指定, あるいは例外オブジェクトの USE 文に指定するクラス名は, 特殊クラスのクラス名であってはなりません。

環境部のリポジトリ段落のクラス指定子の定数の値が以下のいずれかである場合, そのクラス名は特殊クラスのクラス名になります。

- "*COM" (または "*OLE")
- "*COM-ARRAY" (または "*OLE-ARRAY")
- "*COM-EXCEPTION" (または "*OLE-EXCEPTION")
- "*COB-BINDTABLE"
- "*COM:COMサーバ名:COMクラス名" (COMサーバ名=型ライブラリとの対応付けに使用する任意の名前, COMクラス名=dispinterface名またはcoclass名)

2.6.88 JMN5525I-S

@1@の直後の一意名はオブジェクト一意名でなければなりません。@1@文を無効とします。

埋め込みの説明

@1@ : INVOKE.

例題

```
[P5525.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5525.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WDX            PIC X(08).
000006 PROCEDURE         DIVISION.
```

```
000007 INVOKE WDX "M5525".
000008 END PROGRAM P5525.
```

P5525.cob 7: JMN5525I-S INVOKEの直後の一意名はオブジェクト一意名でなければなりません。INVOKE文を無効とします。

詳細な説明

INVOKEの直後に指定したオブジェクト一意名によって、実行したい手続き(メソッド)を持つオブジェクトを識別します。

2.6.89 JMN5526I-S

INVOKE文のメソッド名の指定は、一意名、文字定数または日本語文字定数でなければなりません。INVOKE文を無効とします。

例題

```
[P5526.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P5526.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WOBR USAGE OBJECT REFERENCE.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007 L5526.
000008 INVOKE WOBR L5526.
000009 END PROGRAM P5526.
```

P5526.cob 8: JMN5526I-S INVOKE文のメソッド名の指定は、一意名、文字定数または日本語文字定数でなければなりません。INVOKE文を無効とします。

2.6.90 JMN5527I-S

INVOKE文に一意名 '@1@' が指定された場合、INVOKEの直後の一意名は他の選択指定を持たないUSAGE OBJECT REFERENCE句が記述された一意名でなければなりません。INVOKE文を無効とします。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった一意名。

例題

```
[C5527.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID. C5527.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID. M5527.
000008 ENVIRONMENT DIVISION.
000009 DATA DIVISION.
000010 LINKAGE SECTION.
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012 END METHOD M5527.
000013 END OBJECT.
000014 END CLASS C5527.
```

```
[P5527.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P5527.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
```

```

000006 CLASS C5527.
000007 DATA DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 WOBR OBJECT REFERENCE C5527.
000010 01 WMET PIC X(8).
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012 MOVE "M5527" TO WMET
000013 INVOKE WOBR WMET
000014 END PROGRAM P5527.

```

P5527.cob 13: JMN5527I-S INVOKE文に一意名'WMET'が指定された場合、INVOKEの直後の一意名は他の選択指定を持たないUSAGE OBJECT REFERENCE句が記述された一意名でなければなりません。INVOKE文を無効とします。

詳細な説明

「他の選択指定のないUSAGE OBJECT REFERENCE句」とは、以下のいずれも同時に指定されていないUSAGE OBJECT REFERENCE句のことです。

- SELF
- FACTORY OF SELF
- CLASS OF SELF
- クラス名
- クラス名 ONLY
- FACTORY OF クラス名
- FACTORY OF クラス名 ONLY

2.6.91 JMN5528I-S

メソッド定義の手続き部見出しのRETURNING指定にポインタデータ項目は指定できません。

例題

```

[C5528.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID. C5528.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID. METHOD01.
000008 DATA DIVISION.
000009 LINKAGE SECTION.
000010 01 LKD1 POINTER.
000011 PROCEDURE DIVISION
000012 RETURNING LKD1.
000013 END METHOD METHOD01.
000014 END OBJECT.
000015 END CLASS C5528.

```

C5528.cob 12: JMN5528I-S メソッド定義の手続き部見出しのRETURNING指定にポインタデータ項目は指定できません。

2.6.92 JMN5530I-S

定義済みオブジェクト一意名SUPERは、INVOKE文またはメソッドの行内呼び出しのメソッド呼び出しのオブジェクトとして、またはオブジェクトプロパティのオブジェクトとしてだけ使用できます。@1@文は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 定義済みオブジェクト一意名SUPERを参照した文。

例題

```
[C5530.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5530 INHERITS FJBASE.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS FJBASE.
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 OBJECT.
000009 ENVIRONMENT      DIVISION.
000010 DATA             DIVISION.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 PROCEDURE        DIVISION.
000013 IDENTIFICATION DIVISION.
000014 METHOD-ID.        M5530.
000015 ENVIRONMENT      DIVISION.
000016 DATA             DIVISION.
000017 WORKING-STORAGE SECTION.
000018 01 WOBJ          OBJECT REFERENCE.
000019 PROCEDURE        DIVISION.
000020     SET WOBJ TO SUPER.
000021 END METHOD         M5530.
000022 END OBJECT.
000023 END CLASS        C5530.
```

C5530.cob 20: JMN5530I-S 定義済みオブジェクト一意名SUPERは、INVOKE文またはメソッドの行内呼び出しのメソッド呼び出しのオブジェクトとして、またはオブジェクトプロパティのオブジェクトとしてだけ使用できます。SET文は無効になります。

2.6.93 JMN5531I-S

定義済みオブジェクト一意名@1@はプログラム定義中では使用できません。型付けされていないオブジェクト参照データ項目'UNTYPED-OBJECT'が指定されたものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : SELFまたはSUPER.

例題

```
[P5531.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID      P5531.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 PROCEDURE        DIVISION.
000007     INVOKE SELF "NO-METHOD".
000008 END PROGRAM       P5531.
```

P5531.cob 7: JMN5531I-S 定義済みオブジェクト一意名SELFはプログラム定義中では使用できません。型付けされていないオブジェクト参照データ項目'UNTYPED-OBJECT'が指定されたものとみなします。

2.6.94 JMN5532I-S

複数のクラスを継承をしたクラスでは、定義済みオブジェクト一意名SUPERにクラス名指定が必要です。型付けされていないオブジェクト参照データ項目'UNTYPED-OBJECT'が指定されたものとみなします。

例題

```
[C5532A.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5532A.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE        DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.       M5532.
000008 ENVIRONMENT     DIVISION.
000009 DATA           DIVISION.
000010 LINKAGE         SECTION.
000011 PROCEDURE        DIVISION.
000012 END METHOD       M5532.
000013 END OBJECT.
000014 END CLASS       C5532A.
```

```
[C5532B.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5532B.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE        DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.       M5532.
000008 ENVIRONMENT     DIVISION.
000009 DATA           DIVISION.
000010 LINKAGE         SECTION.
000011 PROCEDURE        DIVISION.
000012 END METHOD       M5532.
000013 END OBJECT.
000014 END CLASS       C5532B.
```

```
[C5532.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5532 INHERITS C5532A C5532B.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006   CLASS C5532A
000007   CLASS C5532B.
000008 IDENTIFICATION DIVISION.
000009 OBJECT.
000010 PROCEDURE        DIVISION.
000011 IDENTIFICATION DIVISION.
000012 METHOD-ID.       M5532 OVERRIDE.
000013 ENVIRONMENT     DIVISION.
000014 DATA           DIVISION.
000015 LINKAGE         SECTION.
000016 PROCEDURE        DIVISION.
000017   INVOKE SUPER "M5532"
000018 END METHOD       M5532.
000019 END OBJECT.
000020 END CLASS       C5532.
```

C5532.cob 17: JMN5532I-S 複数のクラスを継承をしたクラスでは、定義済みオブジェクト一意名SUPERにクラス名指定が必要です。型付けされていないオブジェクト参照データ項目'UNTYPED-OBJECT'が指定されたとみなします。

詳細な説明

CLASS-ID段落のINHERITS句に2つ以上のクラス名を指定して定義したクラスの中では、定義済みオブジェクト一意名SUPERによって親クラスを表現する場合は、「クラス名 OF SUPER」という書き方によって、どの親クラスを指すかを明に示さなければなりません。

2.6.95 JMN5533I-S

他のクラスを継承しないクラスでは、定義済みオブジェクト一意名SUPERは使用できません。型付けされていないオブジェクト参照データ項目'UNTYPED-OBJECT'が指定されたとみなします。

例題

```
[C5533.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5533.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE         DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.        M5533.
000008 DATA             DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 OBJFU          USAGE OBJECT REFERENCE CLASS OF SELF.
000011 PROCEDURE         DIVISION.
000012     INVOKE SUPER "NEW" RETURNING OBJFU.
000013 END METHOD        M5533.
000014 END OBJECT.
000015 END CLASS        C5533.
```

C5533.cob 12: JMN5533I-S 他のクラスを継承しないクラスでは、定義済みオブジェクト一意名SUPERは使用できません。型付けされていないオブジェクト参照データ項目'UNTYPED-OBJECT'が指定されたとみなします。

詳細な説明

定義済みオブジェクト一意名SUPERは、親クラスを表します。他のクラスを継承していないクラス(親クラスが無いクラス)では、定義済みオブジェクト一意名SUPERは使用できません。

2.6.96 JMN5534I-S

定義済みオブジェクト一意名EXCEPTION-OBJECTは、クラス名指定のUSE文に関連付けられた宣言部分だけで使用できます。型付けされていないオブジェクト参照データ項目'UNTYPED-OBJECT'が指定されたとみなします。

例題

```
[P5534.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID       P5534.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 PROCEDURE        DIVISION.
000005     INVOKE EXCEPTION-OBJECT "NO-METHOD"
000006 END PROGRAM      P5534.
```

P5534.cob 5: JMN5534I-S 定義済みオブジェクト一意名EXCEPTION-OBJECTは、クラス名指定のUSE文に関連付けられた宣言部分だけで使用できます。型付けされていないオブジェクト参照データ項目'UNTYPED-OBJECT'が指定されたとみなします。

2.6.97 JMN5535I-S

@2@は@1@文には記述できません。@1@文は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : SEARCH.

@2@ : 定義済みオブジェクト一意名SELF, 定義済みオブジェクト一意名SUPER, 定義済みオブジェクト一意名EXCEPTION-OBJECT, クラス名, メソッドの行内呼出し, オブジェクト指定子付きの一意名または定義済みオブジェクト一意名NULL.

例題

```
[C5535. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5535.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 DATA          DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 PROCEDURE     DIVISION.
000009 IDENTIFICATION DIVISION.
000010 METHOD-ID.     M5535.
000011 ENVIRONMENT  DIVISION.
000012 DATA          DIVISION.
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 WGRP.
000015 02 WOCC      OCCURS 10 INDEXED BY IX1.
000016 03          PIC X.
000017 PROCEDURE     DIVISION.
000018 SEARCH SELF VARYING IX1
000019 WHEN WOCC (IX1) = "X"
000020 DISPLAY "FIND"
000021 END-SEARCH
000022 END METHOD      M5535.
000023 END OBJECT.
000024 END CLASS      C5535.
```

C5535.cob 18: JMN5535I-S 定義済みオブジェクト一意名SELFはSEARCH文には記述できません。SEARCH文は無効になります。

C5535.cob 21: JMN2510I-S 対応しないEND-SEARCHが指定されています。END-SEARCHは、無効となります。

2.6.98 JMN5536I-S

定義済みオブジェクト一意名SUPERに指定したクラス名 '@1@' は、クラス定義のINHERITS句に指定されたものでなければなりません。型付けされていないオブジェクトデータ項目 'UNtyped-OBJECT' が指定されたとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったクラス名。

例題

```
[C5536A. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5536A.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 DATA          DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE     DIVISION.
000008 END OBJECT.
000009 END CLASS      C5536A.
```

```
[C5536B. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5536B.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 DATA          DIVISION.
```

```
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE      DIVISION.
000008 END OBJECT.
000009 END CLASS      C5536B.
```

```
[C5536.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C5536 INHERITS FJBASE C5536A.
000003 ENVIRONMENT   DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS C5536A
000007     CLASS C5536B
000008     CLASS FJBASE.
000009 IDENTIFICATION DIVISION.
000010 OBJECT.
000011 PROCEDURE     DIVISION.
000012 IDENTIFICATION DIVISION.
000013 METHOD-ID.     M5536.
000014 ENVIRONMENT   DIVISION.
000015 DATA          DIVISION.
000016 LINKAGE        SECTION.
000017 PROCEDURE     DIVISION.
000018     INVOKE C5536B OF SUPER "M5536"
000019 END METHOD      M5536.
000020 END OBJECT.
000021 END CLASS      C5536.
```

C5536.cob 18: JMN5536I-S 定義済みオブジェクト一意名SUPERに指定したクラス名'C5536B'は、クラス定義のINHERITS句に指定されたものでなければなりません。型付けされていないオブジェクトデータ項目'UNtyped-OBJECT'が指定されたとみなします。

2.6.99 JMN5537I-S

プロパティ取出しメソッドまたはプロパティ設定メソッドの手続き部見出しに、必要なパラメタがありません。パラメタとして1バイトの英数字項目が指定されたとみなします。

例題

```
[C5537.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C5537.
000003 ENVIRONMENT   DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 DATA          DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 WK1         PIC X(8).
000009 PROCEDURE     DIVISION.
000010 IDENTIFICATION DIVISION.
000011 METHOD-ID.     SET PROPERTY PR5537.
000012 DATA          DIVISION.
000013 PROCEDURE     DIVISION.
000014     MOVE SPACE TO WK1.
000015     EXIT METHOD.
000016 END METHOD.
000017 END OBJECT.
000018 END CLASS      C5537.
```

C5537.cob 11: JMN5537I-S プロパティ取出しメソッドまたはプロパティ設定メソッドの手続き部見出しに、必要なパラメタがありません。パラメタとして1バイトの英数字項目が指定されたとみなします。

詳細な説明

プロパティ取出しメソッド定義(METHOD-ID段落にGET指定を指定したメソッド定義)の手続き部見出しでは、RETURNING指定だけを指定します。

プロパティ設定メソッド定義(METHOD-ID段落にSET指定を指定したメソッド定義)の手続き部見出しでは、USING指定でパラメータを1個だけ指定します。

2.6.100 JMN5538I-S

@1@指定のメソッドの手続き部見出しには、1つの@2@パラメータだけを記述できます。

埋め込みの説明

@1@ : GETまたはSET.

@2@ : USINGまたはRETURNING.

例題

```
[C5538. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5538.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 DATA          DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 W5538      PIC S9(4) COMP-5.
000009 PROCEDURE     DIVISION.
000010 IDENTIFICATION DIVISION.
000011 METHOD-ID.     SET PROPERTY PR5538.
000012 DATA          DIVISION.
000013 LINKAGE        SECTION.
000014 01 LK1        PIC S9(4) COMP-5.
000015 01 LK2        PIC S9(4) COMP-5.
000016 PROCEDURE     DIVISION USING LK1
000017                                RETURNING LK2.
000018     MOVE LK1 TO W5538.
000019     EXIT METHOD.
000020 END METHOD.
000021 END OBJECT.
000022 END CLASS      C5538.
```

C5538.cob 11: JMN5538I-S SET指定のメソッドの手続き部見出しには、1つのUSINGパラメータだけを記述できます。

詳細な説明

プロパティ取出しメソッド定義(METHOD-ID段落にGET指定を指定したメソッド定義)の手続き部見出しでは、RETURNING指定だけを指定します。

プロパティ設定メソッド定義(METHOD-ID段落にSET指定を指定したメソッド定義)の手続き部見出しでは、USING指定でパラメータを1個だけ指定します。

2.6.101 JMN5539I-S

行内呼出し中でメソッドの呼出しに用いる一意名はオブジェクト参照一意名でなければなりません。行内呼出しは無効になります。

例題

```
[C5539. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5539.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000005 OBJECT.
000006 DATA          DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 PR5539      PIC S9(4) COMP-5 PROPERTY.
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010 IDENTIFICATION DIVISION.
000011 METHOD-ID.      M5539.
000012 DATA          DIVISION.
000013 LINKAGE        SECTION.
000014 01 LK1        PIC X(8).
000015 PROCEDURE      DIVISION RETURNING LK1.
000016     MOVE PR5539 OF SELF :: "M5539" TO LK1.
000017     EXIT METHOD.
000018 END METHOD      M5539.
000019 END OBJECT.
000020 END CLASS      C5539.

```

C5539.cob 16: JMN5539I-S 行内呼出し中でメソッドの呼出しに用いる一意名はオブジェクト参照一意名でなければなりません。行内呼出しは無効になります。

詳細な説明

行内呼出し演算子(連続したコロンの組「::」)の直前に指定したオブジェクト参照一意名によって、実行したい手続き(メソッド)を持つオブジェクトを識別します。

2.6.102 JMN5540I-S

定義済みオブジェクト一意名SUPERまたはNULLにオブジェクト指定子を指定することはできません。

例題

```

[C5540A.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C5540A.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE      DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.      M5540.
000008 PROCEDURE      DIVISION.
000009 END METHOD      M5540.
000010 END OBJECT.
000011 END CLASS      C5540A.

```

```

[C5540.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C5540 INHERITS FJBASE.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS C5540A
000007     CLASS FJBASE.
000008 IDENTIFICATION DIVISION.
000009 OBJECT.
000010 DATA          DIVISION.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 PROCEDURE      DIVISION.
000013 IDENTIFICATION DIVISION.
000014 METHOD-ID.      M5540.
000015 DATA          DIVISION.
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 01 OBJ          OBJECT REFERENCE.
000018 PROCEDURE      DIVISION.

```

```
000019 SET OBJ TO SUPER AS C5540A.
000020 END METHOD M5540.
000021 END OBJECT.
000022 END CLASS C5540.
```

C5540.cob 19: JMN5540I-S 定義済みオブジェクト一意名SUPERまたはNULLにオブジェクト指定子を指定することはできません。

詳細な説明

オブジェクト指定子は、ASの前に指定した一意名の型を、ASの後に指定した型に読み替える指定です。
定義済みオブジェクト一意名SUPERおよびNULLは、別の型で読み替えることはできません。

2.6.103 JMN5541I-S

オブジェクト指定子にはクラス名またはUNIVERSALが指定されなければなりません。UNIVERSALが指定されたものとみなします。

例題

```
[C5541.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID. C5541.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS FJBASE.
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 OBJECT.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 IDENTIFICATION DIVISION.
000011 METHOD-ID. M5541.
000012 DATA DIVISION.
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 WOBR OBJECT REFERENCE FJBASE.
000015 01 WCLS PIC X(6) VALUE "FJBASE".
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017 SET WOBR TO SELF AS WCLS
000018 END METHOD M5541.
000019 END OBJECT.
000020 END CLASS C5541.
```

C5541.cob 17: JMN5541I-S オブジェクト指定子にはクラス名またはUNIVERSALが指定されなければなりません。UNIVERSALが指定されたものとみなします。

C5541.cob 17: JMN2500I-S 文が現れなければいけない所に、語'WCLS'が現れました。次の文または手続き名まで読み飛ばします。

C5541.cob 17: JMN3412I-S オブジェクト指定子付きの一意名は'WOBR'に適合していなければなりません。

詳細な説明

オブジェクト指定子のASの後には、クラス名またはUNIVERSALを指定します。

2.6.104 JMN5542I-S

@1@はメソッドの行内呼び出しのメソッド呼び出しのオブジェクトとして、またはオブジェクトプロパティのオブジェクトとしては使用できません。

埋め込みの説明

@1@ : 定義済みオブジェクト一意名NULL.

例題

```
[C5542.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5542 INHERITS FJBASE.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS FJBASE.
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 OBJECT.
000009 PROCEDURE        DIVISION.
000010 IDENTIFICATION DIVISION.
000011 METHOD-ID.        M5542.
000012 DATA             DIVISION.
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 WRT            PIC X(1).
000015 LINKAGE           SECTION.
000016 01 LK1            OBJECT REFERENCE FJBASE.
000017 01 LK2            PIC X(1).
000018 PROCEDURE        DIVISION
000019     USING          LK1
000020     RETURNING      LK2.
000021     MOVE SELF    :: "M5542" (NULL :: "NEW")
000022     TO WRT.
000023 END METHOD          M5542.
000024 END OBJECT.
000025 END CLASS         C5542.
```

C5542.cob 21: JMN5542I-S 定義済みオブジェクト一意名NULLはメソッドの行内呼び出しのメソッド呼び出しのオブジェクトとして、またはオブジェクトプロパティのオブジェクトとしては使用できません。

2.6.105 JMN5543I-S

@1@に指定する一意名は、リポジトリ段落に指定されたクラスを参照するオブジェクト参照でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : メソッドの行内呼出しまたはオブジェクトプロパティ。

例題

```
[C5543.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5543.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE        DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.        M5543.
000008 DATA             DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 WOBR            USAGE OBJECT REFERENCE.
000011 01 WDA1            PIC X(20).
000012 PROCEDURE        DIVISION.
000013     MOVE WOBR    :: "GETNAME" TO WDA1.
000014 END METHOD          M5543.
000015 END OBJECT.
000016 END CLASS         C5543.
```

C5543.cob 13: JMN5543I-S メソッドの行内呼出しに指定する一意名は、リポジトリ段落に指定されたクラスを参照するオブジェクト参照でなければなりません。

2.6.106 JMN5544I-S

@1@の手続き部には手続き部見出ししか記述できません。

埋め込みの説明

@1@ : メソッド原型定義.

例題

```
[C5544.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5544.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 PROCEDURE        DIVISION.
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 METHOD-ID.        M5544 PROTOTYPE.
000009 DATA            DIVISION.
000010 LINKAGE          SECTION.
000011 01 LK1           PIC X(4).
000012 PROCEDURE        DIVISION RETURNING LK1.
000013     EXIT METHOD.
000014 END METHOD        M5544.
000015 END OBJECT.
000016 END CLASS        C5544.
```

C5544.cob 12: JMN5544I-S メソッド原型定義の手続き部には手続き部見出ししか記述できません.

2.6.107 JMN5545I-S

USE FOR DEAD-LOCK文は、プログラム定義だけに記述できます。

例題

```
[C5545.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5545.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE        DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.        M5545.
000008 PROCEDURE        DIVISION.
000009 DECLARATIVES.
000010 DEAD-LOCK-ERR SECTION.
000011     USE FOR DEAD-LOCK
000012     DISPLAY "***** 結果 NG *****" .
000013 END DECLARATIVES.
000014 END METHOD        M5545.
000015 END OBJECT.
000016 END CLASS        C5545.
```

C5545.cob 11: JMN5545I-S USE FOR DEAD-LOCK文は、プログラム定義だけに記述できます.

2.6.108 JMN5546I-S

メソッド '@1@' のインターフェースは、再定義されるメソッドのインターフェースに適合していなければなりません。メソッド '@1@' は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったメソッド名.

例題

```
[C5546A.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5546A.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE         DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.        M5546.
000008 DATA             DIVISION.
000009 LINKAGE          SECTION.
000010 01 LK1           PIC X(2).
000011 PROCEDURE         DIVISION RETURNING LK1.
000012 END METHOD        M5546.
000013 END OBJECT.
000014 END CLASS        C5546A.
```

```
[C5546.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.        C5546 INHERITS C5546A.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS C5546A.
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 OBJECT.
000009 PROCEDURE       DIVISION.
000010 IDENTIFICATION DIVISION.
000011 METHOD-ID.       M5546 OVERRIDE.
000012 DATA           DIVISION.
000013 LINKAGE        SECTION.
000014 01 LK1         PIC X(2).
000015 PROCEDURE       DIVISION USING LK1.
000016 END METHOD       M5546.
000017 END OBJECT.
000018 END CLASS       C5546.
```

C5546.cob 11: JMN5546I-S メソッド'M5546'のインタフェースは、再定義されるメソッドのインタフェースに適合していなければなりません。メソッド'M5546'は無効になります。

詳細な説明

OVERRIDE指定を指定したメソッド定義の手続き部見出しは、置き換えの対象である親クラスのメソッドと同じパラメタインタフェースになるように記述します。

2.6.109 JMN5547I-S

@1@の手続き部見出しがありません。手続き部見出しがあるものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : ファクトリ定義またはオブジェクト定義.

例題

```
[C5547.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.        C5547.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000004 OBJECT.
000005 IDENTIFICATION DIVISION.
000006 METHOD-ID.      M5547.
000007 DATA          DIVISION.
000008 LINKAGE        SECTION.
000009 01 LK1         PIC X(10).
000010 PROCEDURE      DIVISION RETURNING LK1.
000011 END METHOD      M5547.
000012 END OBJECT.
000013 END CLASS      C5547.

```

C5547.cob 6: JMN5547I-S オブジェクト定義の手続き部見出しがありません。手続き部見出しがあるものとみなします。

詳細な説明

クラス定義内でメソッド定義を記述する場合は、これらのソース単位の手続き部見出しに続いて、メソッド定義を記述します。

2.6.110 JMN5548I-S

手続き部見出しのRAISING指定のクラス名は、メソッド原型定義時の指定と同じでなければなりません。指定されたとおりに受け入れます。

例題

```

[C5548.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C5548 INHERITS FJBASE.
000003 ENVIRONMENT   DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS FJBASE.
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 OBJECT.
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010 IDENTIFICATION DIVISION.
000011 METHOD-ID.      M5548 PROTOTYPE.
000012 DATA          DIVISION.
000013 PROCEDURE      DIVISION
000014                RAISING FJBASE.
000015 END METHOD      M5548.
000016 END OBJECT.
000017 END CLASS      C5548.

```

```

[M5548.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 METHOD-ID.      M5548 OF C5548.
000003 ENVIRONMENT   DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS C5548.
000007 DATA          DIVISION.
000008 PROCEDURE      DIVISION
000009                RAISING C5548.
000010 END METHOD      M5548.

```

M5548.cob 2: JMN5548I-S 手続き部見出しのRAISING指定のクラス名は、メソッド原型定義時の指定と同じでなければなりません。指定されたとおりに受け入れます。

詳細な説明

分離されたメソッド定義の手続き部見出しのRAISING指定に指定するクラス名は、このメソッド定義に対応するメソッド原型定義 (METHOD-ID段落にPROTOTYPE指定を指定した定義)の手続き部見出しのRAISING指定に指定されたクラス名と同じでなければなりません。

2.6.111 JMN5549I-S

@1@の手続き部にはメソッド定義だけが記述できます。

埋め込みの説明

@1@ : ファクトリ定義またはオブジェクト定義.

例題

```
[C5549.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5549.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE          DIVISION.
000006     DISPLAY "OBJECT DEFINITION".
000007 END OBJECT.
000008 END CLASS          C5549.
```

C5549.cob 5: JMN5549I-S オブジェクト定義の手続き部にはメソッド定義だけが記述できます。

2.6.112 JMN5550I-S

@1@文の'@2@'はUSING指定に記述できません。@1@文を無効とします。

埋め込みの説明

@1@ : INVOKEまたはCALL.

@2@ : @1@に指定されたエラーの原因となった語.

例題

```
[P5550.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5550.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA             DIVISION.
000009 FILE              SECTION.
000010 FD SQFILE1.
000011 01 SQF1REC.
000012 02                PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 WOBK           OBJECT REFERENCE.
000015 PROCEDURE        DIVISION.
000016     INVOKE WOBK "M5550" USING SQFILE1.
000017 END PROGRAM      P5550.
```

P5550.cob 16: JMN5550I-S INVOKE文の'SQFILE1'はUSING指定に記述できません。INVOKE文を無効とします。

2.6.113 JMN5551I-S

@1@文のBY REFERENCE指定には、定数、定義済みオブジェクト一意名またはクラス名を記述できません。@1@文を無効とします。

埋め込みの説明

@1@ : INVOKEまたはCALL.

例題

```
[P5551.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5551.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS FJBASE.
000007 DATA           DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 WOBK         OBJECT REFERENCE.
000010 PROCEDURE      DIVISION.
000011     INVOKE WOBK "M5551" USING BY REFERENCE 123.
000012 END PROGRAM     P5551.
```

P5551.cob 11: JMN5551I-S INVOKE文のBY REFERENCE指定には、定数、定義済みオブジェクト一意名またはクラス名を記述できません。INVOKE文を無効とします。

2.6.114 JMN5552I-S

@1@文に条件指定は記述できません。@1@文を無効とします。

埋め込みの説明

@1@ : INVOKE.

例題

```
[P5552.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5552.
000003 DATA           DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WOBK         OBJECT REFERENCE.
000006 PROCEDURE      DIVISION.
000007     INVOKE WOBK "M5552"
000008     ON EXCEPTION DISPLAY "NG".
000009     INVOKE WOBK "M5552"
000010     ON OVERFLOW DISPLAY "NG".
000011 END PROGRAM     P5552.
```

P5552.cob 7: JMN5552I-S INVOKE文に条件指定は記述できません。INVOKE文を無効とします。

P5552.cob 9: JMN5552I-S INVOKE文に条件指定は記述できません。INVOKE文を無効とします。

詳細な説明

ここでの条件指定とは、次の指定を指します。

- ON OVERFLOW指定
- ON EXCEPTION指定

2.6.115 JMN5553I-S

@1@文のUSING指定の位置に誤りがあります。@1@文を無効とします。

埋め込みの説明

@1@ : INVOKE.

例題

```
[P5553.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5553.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WOBR          OBJECT REFERENCE.
000006 01 WPR1          PIC X(08).
000007 01 WRT           PIC X(08).
000008 PROCEDURE       DIVISION.
000009     INVOKE WOBR "M5553" RETURNING WRT
000010                USING WPR.
000011 END PROGRAM     P5553.
```

P5553.cob 10: JMN5553I-S INVOKE文のUSING指定の位置に誤りがあります。INVOKE文を無効とします。

詳細な説明

USING指定は、RETURNING指定の後に指定してはなりません。

2.6.116 JMN5555I-S

[Win32]

@1@文のRETURNINGに指定可能な一意名は、ファイル節、作業場所節または連絡節で定義されたデータ項目でなければなりません。@1@文を無効とします。

[Winx64]

@1@文のRETURNINGに指定可能な一意名は、ファイル節、作業場所節、局所記憶節または連絡節で定義されたデータ項目でなければなりません。@1@文を無効とします。

埋め込みの説明

@1@ : INVOKEまたはCALL.

例題

```
[P5555.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5555.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WOBR          OBJECT REFERENCE.
000006 CONSTANT         SECTION.
000007 01 CNST-DATA    PIC X(10) VALUE "XXX".
000008 PROCEDURE       DIVISION.
000009     INVOKE WOBR "M5555" RETURNING CNST-DATA.
000010 END PROGRAM     P5555.
```

- [Win32]

P5555.cob 9: JMN5555I-S INVOKE文のRETURNINGに指定可能な一意名は、ファイル節、作業場所節または連絡節で定義されたデータ項目でなければなりません。INVOKE文を無効とします。

- [Winx64]

P5555.cob 9: JMN5555I-S INVOKE文のRETURNINGに指定可能な一意名は、ファイル節、作業場所節、局所記憶節または連絡節で定義されたデータ項目でなければなりません。INVOKE文を無効とします。

2.6.117 JMN5556I-S

INVOKE文の直後の一意名のメソッドの結果はオブジェクト一意名でなければなりません。INVOKE文を無効とします。

例題

```
[C5556. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5556.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE          DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.          M5556A.
000008 ENVIRONMENT        DIVISION.
000009 DATA                DIVISION.
000010 LINKAGE              SECTION.
000011 01 LK1              OBJECT REFERENCE C5556.
000012 PROCEDURE          DIVISION RETURNING LK1.
000013 END METHOD          M5556A.
000014 IDENTIFICATION DIVISION.
000015 METHOD-ID.          M5556B.
000016 ENVIRONMENT        DIVISION.
000017 DATA                DIVISION.
000018 LINKAGE              SECTION.
000019 01 LK1              PIC X(10).
000020 PROCEDURE          DIVISION RETURNING LK1.
000021 END METHOD          M5556B.
000022 END OBJECT.
000023 END CLASS          C5556.
```

```
[P5556. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.        P5556.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 CONFIGURATION      SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS C5556.
000007 DATA                DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 WOBK              OBJECT REFERENCE C5556.
000010 PROCEDURE          DIVISION.
000011*
000012 INVOKE WOBK::"M5556A" "M5556B".
000013*
000014 INVOKE WOBK::"M5556B" "M5556A".
000015 END PROGRAM          P5556.
```

P5556.cob 14: JMN5556I-S INVOKE文の直後の一意名のメソッドの結果はオブジェクト一意名でなければなりません。INVOKE文を無効とします。

詳細な説明

INVOKE文の直後の一意名が、メソッドの行内呼出し、あるいはオブジェクトプロパティであり、かつ、その行内呼出しまたはオブジェクトプロパティの返却項目の属性がオブジェクトを識別するものではなかった場合に、この診断メッセージが出力されます。

2.6.118 JMN5557I-S

分離されたメソッド定義のインターフェースは、メソッド原型のインターフェースに適合していなければなりません。

例題

```
[C5557. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5557.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000005 OBJECT.
000006 PROCEDURE      DIVISION.
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 METHOD-ID.      M5557 PROTOTYPE.
000009 DATA          DIVISION.
000010 LINKAGE        SECTION.
000011 01 LK1         PIC 9(4).
000012 PROCEDURE      DIVISION USING LK1.
000013 END METHOD      M5557.
000014 END OBJECT.
000015 END CLASS      C5557.

```

```

[M5557.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 METHOD-ID.      M5557 OF C5557.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 CONFIGURATION  SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS          C5557.
000007 DATA          DIVISION.
000008 PROCEDURE      DIVISION.
000009 DISPLAY "NOT CONFORM".
000010 END METHOD      M5557.

```

M5557.cob 2: JMN5557I-S 分離されたメソッド定義のインタフェースは、メソッド原型のインタフェースに適合していなければなりません。

詳細な説明

分離されたメソッド定義の手続き部見出しと、これに対応するメソッド原型定義の手続き部見出しは、以下の点で一致していなければなりません。

- USING指定およびRETURNING指定の有無
- USING指定に指定したパラメタの個数、および、対応する順序位置にあるそれぞれのパラメタの属性

2.6.119 JMN5559I-S

ENTRY文を含むプログラム定義の手続き部見出しには、RETURNING指定は記述できません。RETURNING指定は無効になります。

例題

```

[P5559.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     P5559.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 DATA          DIVISION.
000005 LINKAGE        SECTION.
000006 01 LK1         PIC X(8).
000007 01 LK2         PIC S9(8) BINARY.
000008 PROCEDURE      DIVISION
000009                 RETURNING LK1.
000010 DISPLAY "MAIN ENTRY"
000011 EXIT PROGRAM.
000012 ENTRY "P5559SUB".
000013 DISPLAY "SECONDARY ENTRY".
000014 EXIT PROGRAM.
000015 END PROGRAM    P5559.

```

P5559.cob 8: JMN5559I-S ENTRY文を含むプログラム定義の手続き部見出しには、RETURNING指定は記述できません。RETURNING指定は無効になります。

2.6.120 JMN5560I-S

@1@に指定したメソッド名 '@2@' が親クラスまたは親クラスの継承したクラスに定義されていません。@1@を無効とします。

埋め込みの説明

@1@ : INVOKE文またはメソッドの行内呼出し

@2@ : エラーの原因となったメソッド名

例題

```
[C5560.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5560 INHERITS FJBASE.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS FJBASE.
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 OBJECT.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 IDENTIFICATION DIVISION.
000011 METHOD-ID.         M5560.
000012 DATA            DIVISION.
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 WX           PIC X(4).
000015 PROCEDURE      DIVISION.
000016     INVOKE SUPER "M5560".
000017 END METHOD       M5560.
000018 END OBJECT.
000019 END CLASS      C5560.
```

C5560.cob 16: JMN5560I-S INVOKE文に指定したメソッド名 'M5560' が親クラスまたは親クラスの継承したクラスに定義されていません。INVOKE文を無効とします。

詳細な説明

定義済みオブジェクト一意名SUPERは、親クラスを表します。定義済みオブジェクト一意名SUPERを指定してメソッドを呼び出す場合、呼び出す対象のメソッドは、上位クラス(親クラスまたは親クラスが継承するクラス)に存在していなければなりません。

2.6.121 JMN5561I-S

メソッドの行内呼出しに指定するメソッド名は文字定数または日本語文字定数でなければなりません。メソッドの行内呼出しを無効とします。

例題

```
[C5561.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5561.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.         M5561.
000008 DATA            DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 WMETNM       PIC X(8).
000011 01 WX          PIC X(4).
000012 PROCEDURE      DIVISION.
000013     MOVE SELF  :: WMETNM TO WX.
000014 END METHOD       M5561.
```



```
000015 END OBJECT.
000016 END CLASS      C5561.
```

C5561.cob 13: JMN5561I-S メソッドの行内呼出しに指定するメソッド名は文字定数または日本語文字定数でなければなりません。メソッドの行内呼出しを無効とします。

C5561.cob 13: JMN2505I-S MOVE文にはTOを指定しなければなりません。TOが指定されたものとみなします。

C5561.cob 13: JMN2502I-S MOVE文で、'TO'は一意名でなければなりません。'TO'は無効になります。

C5561.cob 13: JMN3023I-S 定義済みオブジェクト一意名SELFは、'WMETNM'に転記できません。

C5561.cob 13: JMN3023I-S 定義済みオブジェクト一意名SELFは、'WX'に転記できません。

2.6.122 JMN5562I-S

@1@は@2@の引数に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : メソッドの行内呼出し、オブジェクトプロパティ、オブジェクト指定子付きの一意名、算術式またはエラーの原因となった関数名。
@2@ : メソッドの行内呼出し、FUNCTION ADDR、FUNCTION LENGまたはFUNCTION LENGTH.

例題

```
[C5562.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C5562.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.     M5562.
000008 DATA         DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 WX         PIC X(4).
000011 LINKAGE       SECTION.
000012 01 LX1        PIC X(4).
000013 01 LX2        PIC X(4).
000014 PROCEDURE    DIVISION
000015              USING    LX1
000016              RETURNING LX2.
000017 MOVE SELF :: "M5562" (SELF :: "M5562"(WX)) TO WX.
000018 END METHOD     M5562.
000019 END OBJECT.
000020 END CLASS     C5562.
```

C5562.cob 17: JMN5562I-S メソッドの行内呼出しはメソッドの行内呼出しの引数に指定できません。

C5562.cob 17: JMN3430I-S INVOKE文のUSING指定または行内呼出しに記述したパラメタの個数は、PROCEDURE DIVISIONのUSING指定に記述したパラメタの個数と一致していなければなりません。

2.6.123 JMN5563I-S

@1@は@2@の一意名に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : メソッドの行内呼出しまたはオブジェクトプロパティ。
@2@ : ADDRESS OFまたはLENGTH OF.

例題

```
[C5563.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000002 CLASS-ID.          C5563.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.         M5563.
000008 DATA              DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 WPX             POINTER.
000011 LINKAGE            SECTION.
000012 01 LX1             PIC X(4).
000013 01 LX2             PIC X(4).
000014 PROCEDURE          DIVISION
000015                     USING LX1
000016                     RETURNING LX2.
000017     SET WPX TO ADDRESS OF SELF :: "M5563"(LX1).
000018 END METHOD          M5563.
000019 END OBJECT.
000020 END CLASS          C5563.

```

C5563.cob 17: JMN5563I-S メソッドの行内呼出しはADDRESS OFの一意名に指定できません。

2.6.124 JMN5564I-S

プロパティ名 '@1@' が '@2@' です。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったプロパティ名。
 @2@ : 未定義または多重定義。

例題

```

[C5564.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5564.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.         M5564.
000008 DATA              DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 WX              PIC X(4).
000011 LINKAGE            SECTION.
000012 01 LX1             PIC X(4).
000013 01 LX2             PIC X(4).
000014 PROCEDURE          DIVISION
000015                     USING LX1
000016                     RETURNING LX2.
000017     MOVE PR5564 OF SELF TO WX.
000018 END METHOD          M5564.
000019 END OBJECT.
000020 END CLASS          C5564.

```

C5564.cob 17: JMN5564I-S プロパティ名 'PR5564' が未定義です。

2.6.125 JMN5565I-S

[Win32]

メソッドの行内呼出しの引数に指定するデータ項目は、ファイル節、作業場所節または連絡節で定義されていなければなりません。

[Winx64]

メソッドの行内呼出しの引数に指定するデータ項目は、ファイル節、作業場所節、局所記憶節または連絡節で定義されていなければなりません。

例題

```
[C5565.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID          C5565.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE        DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.        M5565.
000008 DATA            DIVISION.
000009 LINKAGE          SECTION.
000010 01 LK1           PIC X(6).
000011 01 LK2           PIC X(8).
000012 PROCEDURE        DIVISION USING LK1
000013                   RETURNING LK2.
000014 END METHOD        M5565.
000015 END OBJECT.
000016 END CLASS        C5565.
```

```
[P5565.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5565.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006   CLASS C5565.
000007 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000008 FILE-CONTROL.
000009   SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000010 DATA            DIVISION.
000011 FILE              SECTION.
000012 FD REPFIL REPORT IS REP1.
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 YYMMDD        PIC X(6).
000015 01 YYYYMMDD      PIC X(8).
000016 01 WOBK          OBJECT REFERENCE C5565.
000017 REPORT           SECTION.
000018 RD REP1 PAGE 66
000019   FIRST DETAIL 6.
000020 01 PH-ITEM TYPE PH.
000021   02 LINE 2.
000022   03 DATA1      COLUMN 50 PIC X(6) SOURCE YYMMDD.
000023 PROCEDURE        DIVISION.
000024   MOVE WOBK :: "M5565" (DATA1) TO YYYYMMDD
000025 END PROGRAM      P5565.
```

- [Win32]

P5565.cob 24: JMN5565I-S メソッドの行内呼出しの引数に指定するデータ項目は、ファイル節、作業場所節または連絡節で定義されていなければなりません。

- [Winx64]

P5565.cob 24: JMN5565I-S メソッドの行内呼出しの引数に指定するデータ項目は、ファイル節、作業場所節、局所記憶節または連絡節で定義されていなければなりません。

2.6.126 JMN5566I-S

[Win32]

メソッドの行内呼出しの引数は、SELF、EXCEPTION-OBJECT、NULL、リポジトリ段落で指定されたクラス名、ファイル節、作業場所節または連絡節で定義されたデータ項目、または定数でなければなりません。

[Winx64]

メソッドの行内呼出しの引数は、SELF、EXCEPTION-OBJECT、NULL、リポジトリ段落で指定されたクラス名、ファイル節、作業場所節、局所記憶節または連絡節で定義されたデータ項目、または定数でなければなりません。

例題

```
[C5566.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5566.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE         DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.        M5566.
000008 ENVIRONMENT      DIVISION.
000009 DATA             DIVISION.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 WGP.
000012 02 WOCC          PIC X(1) OCCURS 10 INDEXED BY IX1.
000013 LINKAGE          SECTION.
000014 01 LK1           PIC S9(9) COMP-5.
000015 01 LK2           PIC X(9).
000016 PROCEDURE        DIVISION USING LK1
000017                   RETURNING LK2.
000018   MOVE SELF      :: "M5566" (IX1) TO LK2.
000019 END METHOD        M5566.
000020 END OBJECT.
000021 END CLASS        C5566.
```

- [Win32]

C5566.cob 18: JMN5566I-S メソッドの行内呼出しの引数は、SELF、EXCEPTION-OBJECT、NULL、リポジトリ段落で指定されたクラス名、ファイル節、作業場所節または連絡節で定義されたデータ項目、または定数でなければなりません。

- [Winx64]

C5566.cob 18: JMN5566I-S メソッドの行内呼出しの引数は、SELF、EXCEPTION-OBJECT、NULL、リポジトリ段落で指定されたクラス名、ファイル節、作業場所節、局所記憶節または連絡節で定義されたデータ項目、または定数でなければなりません。

2.6.127 JMN5567I-S

メソッドの行内呼出しの引数に指定するクラス名は、特殊クラスのクラス名であってはなりません。

例題

```
[C5567.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5567.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION     SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006   CLASS EXCEL AS "*OLE".
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 OBJECT.
000009 PROCEDURE         DIVISION.
000010 IDENTIFICATION DIVISION.
000011 METHOD-ID.        M5567A.
000012 DATA             DIVISION.
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 PROCEDURE         DIVISION.
```

```

000015     DISPLAY SELF :: "M5567B" (EXCEL)
000016 END METHOD      M5567A.
000017 IDENTIFICATION DIVISION.
000018 METHOD-ID.      M5567B.
000019 DATA          DIVISION.
000020 LINKAGE         SECTION.
000021 01 WOBJ        OBJECT REFERENCE.
000022 01 WRTSTR     PIC X(2).
000023 PROCEDURE     DIVISION
000024                 USING WOBJ
000025                 RETURNING WRTSTR.
000026 END METHOD      M5567B.
000027 END OBJECT.
000028 END CLASS      C5567.

```

C5567.cob 15: JMN5567I-S メソッドの行内呼出しの引数に指定するクラス名は、特殊クラスのクラス名であってはなりません。

詳細な説明

環境部のリポトリ段落のクラス指定子の定数の値が以下のいずれかである場合、そのクラス名は特殊クラスのクラス名になります。

- "*COM" (または"*OLE")
- "*COM-ARRAY" (または"*OLE-ARRAY")
- "*COM-EXCEPTION" (または"*OLE-EXCEPTION")
- "*COB-BINDTABLE"
- "*COM:COMサーバ名:COMクラス名" (COMサーバ名=型ライブラリとの対応付けに使用する任意の名前, COMクラス名=dispinterface名またはcoclass名)

2.6.128 JMN5568I-S

スクリーン機能を使用する@1@文は、プログラム定義だけに使用できます。

埋め込みの説明

@1@ : ACCEPTまたはDISPLAY.

例題

```

[C5568.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C5568.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.      M5568.
000008 DATA          DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 PROCEDURE     DIVISION.
000011     DISPLAY "SCREEN FUNCTION" UPON CRT.
000012 END METHOD      M5568.
000013 END OBJECT.
000014 END CLASS      C5568.

```

C5568.cob 11: JMN5568I-S スクリーン機能を使用するDISPLAY文は、プログラム定義だけに使用できます。

2.6.129 JMN5569I-S

クラス名を指定するUSE文にはGLOBAL指定は記述できません。GLOBAL指定は無効になります。

例題

```
[C5569.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5569.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 OBJECT.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 IDENTIFICATION DIVISION.
000010 METHOD-ID.        M5569.
000011 DATA            DIVISION.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 WX           PIC X(4).
000014 LINKAGE         SECTION.
000015 PROCEDURE      DIVISION.
000016 DECLARATIVES.
000017 ERR1 SECTION. USE GLOBAL AFTER EXCEPTION C5569.
000018     DISPLAY "ERROR SECTION".
000019 END DECLARATIVES.
000020 END METHOD      M5569.
000021 END OBJECT.
000022 END CLASS      C5569.
```

C5569.cob 17: JMN5569I-S クラス名を指定するUSE文にはGLOBAL指定は記述できません。GLOBAL指定は無効になります。

2.6.130 JMN5570I-S

特殊クラスのクラス名, または, アーリバインド特殊クラスおよび*COM(*OLE)を除く特殊クラスを参照するオブジェクト参照一意名に, オブジェクト指定子を指定することはできません。

例題

```
[C5570.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5570.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS FJBASE
000007     CLASS BNDTBL-CL AS "*COB-BINDTABLE".
000008 IDENTIFICATION DIVISION.
000009 OBJECT.
000010 PROCEDURE      DIVISION.
000011 IDENTIFICATION DIVISION.
000012 METHOD-ID.      M5570.
000013 DATA          DIVISION.
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WOBR1       OBJECT REFERENCE.
000016 01 WOBR2       OBJECT REFERENCE BNDTBL-CL.
000017 PROCEDURE      DIVISION.
000018     SET WOBR1 TO WOBR2 AS FJBASE.
000019 END METHOD      M5570.
000020 END OBJECT.
000021 END CLASS      C5570.
```

C5570.cob 18: JMN5570I-S 特殊クラスのクラス名, または, アーリバインド特殊クラスおよび*COM(*OLE)を除く特殊クラスを参照するオブジェクト参照一意名に, オブジェクト指定子を指定することはできません。

詳細な説明

オブジェクト指定子は、ASの前に指定した一意名の型を、ASの後に指定した型に読み替える指定です。

特殊オブジェクト(特殊クラスを参照するオブジェクト)は、COBOLのオブジェクト以外のオブジェクトであり、基本的には、これらにオブジェクト指定子は適用できません。ただし、以下のクラスを参照する特殊オブジェクトの場合は、オブジェクト指定子による修飾が可能です。

環境部のリポジトリ段落のクラス指定子の定数の値が、次のいずれかであるクラス:

- "*COM" (または"*OLE")
- "*COM:COMサーバ名:COMクラス名" (COMサーバ名=型ライブラリとの対応付けに使用する任意の名前, COMクラス名=dispinterface名またはcoclass名)

2.6.131 JMN5571I-S

オブジェクト指定子に指定するクラス名は特殊クラスのクラス名であってはなりません。 UNIVERSALが指定されたものと見なします。

例題

```
[C5571.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5571.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS COM AS "*COM".
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 OBJECT.
000009 PROCEDURE  DIVISION.
000010 IDENTIFICATION DIVISION.
000011 METHOD-ID.   M5571.
000012 DATA      DIVISION.
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 WOB1     OBJECT REFERENCE.
000015 01 WOB2     OBJECT REFERENCE COM.
000016 PROCEDURE  DIVISION.
000017 SET WOB2 TO WOB1 AS COM.
000018 END METHOD   M5571.
000019 END OBJECT.
000020 END CLASS   C5571.
```

C5571.cob 17: JMN5571I-S オブジェクト指定子に指定するクラス名は特殊クラスのクラス名であってはなりません。 UNIVERSALが指定されたものと見なします。

C5571.cob 17: JMN3412I-S オブジェクト指定子付きの一意名は'WOB2'に適合していなければなりません。

詳細な説明

オブジェクト指定子のASの後には、アーライバインド特殊クラスのクラス名を除き、特殊クラスのクラス名は指定できません。

2.6.132 JMN5572I-S

@1@に指定するオブジェクト一意名は特殊クラスを参照するものであってはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : メソッドの行内呼び出しまたはプロパティ。

例題

```
[C5572.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5572.
```

```

000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS COM AS "*COM".
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 OBJECT.
000009 DATA DIVISION.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 IDENTIFICATION DIVISION.
000012 METHOD-ID. M5572A.
000013 DATA DIVISION.
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WRST PIC X(2).
000016 01 WCOM OBJECT REFERENCE COM.
000017 PROCEDURE DIVISION.
000018 MOVE WCOM :: "M5572B" (WCOM) TO WRST.
000019 END METHOD M5572A.
000020 IDENTIFICATION DIVISION.
000021 METHOD-ID. M5572B.
000022 DATA DIVISION.
000023 LINKAGE SECTION.
000024 01 LK1 PIC X(2).
000025 PROCEDURE DIVISION.
000026 RETURNING LK1.
000027 END METHOD M5572B.
000028 END OBJECT.
000029 END CLASS C5572.

```

C5572.cob 18: JMN5572I-S メソッドの行内呼出しに指定するオブジェクト一意名は特殊クラスを参照するものであってはなりません。

詳細な説明

環境部のリポジトリ段落のクラス指定子の定数の値が以下のいずれかである場合、そのクラス名は特殊クラスのクラス名になります。

- "*COM" (または"*OLE")
- "*COM-ARRAY" (または"*OLE-ARRAY")
- "*COM-EXCEPTION" (または"*OLE-EXCEPTION")
- "*COB-BINDTABLE"
- "*COM:COMサーバ名:COMクラス名" (COMサーバ名=型ライブラリとの対応付けに使用する任意の名前, COMクラス名=dispinterface名またはcoclass名)

2.6.133 JMN5573I-S

ファイルの編成が矛盾しています。 ADVANCING指定のあるWRITE文は無効になります。

例題

```

[C5573.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID. C5573.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 ENVIRONMENT DIVISION.
000006 INPUT-OUTPUT SECTION.
000007 FILE-CONTROL.
000008 SELECT OUTFILE ASSIGN TO SYS001.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 FD OUTFILE.
000012 01 OUTDATA PIC X(80).

```



```

000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 PROCEDURE      DIVISION.
000015 IDENTIFICATION DIVISION.
000016 METHOD-ID.      M5573 PROTOTYPE.
000017 PROCEDURE      DIVISION.
000018 END METHOD      M5573.
000019 END OBJECT.
000020 END CLASS      C5573.

```

```

[M5573.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 METHOD-ID.      M5573 OF C5573.
000003 ENVIRONMENT   DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS C5573.
000007 DATA         DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 DATAM     PIC X(80).
000010 PROCEDURE     DIVISION.
000011     OPEN OUTPUT OUTFILE.
000012     MOVE "FILE ERROR" TO DATAM.
000013     WRITE OUTDATA FROM DATAM AFTER ADVANCING 10 LINE.
000014     CLOSE  OUTFILE.
000015     EXIT METHOD.
000016 END METHOD      M5573.

```

M5573.cob 13: JMN5573I-S ファイルの編成が矛盾しています。ADVANCING指定のあるWRITE文は無効になります。

詳細な説明

クラス定義に含まれないメソッド定義(分離されたメソッド定義)の手続き部で、ファクトリ定義またはオブジェクト定義で宣言したファイルに対するWRITE文にADVANCING指定を書く場合、以下のいずれかの条件を満たしていなければなりません。

- そのファイルに対し、ASSIGN句でPRINTERまたはPRINTER-n(nは1～9までの整数)が指定されている
- そのファイルを定義したソース単位に含まれるソース要素に、そのファイルに対するADVANCING指定付きのWRITE文が指定されている
- そのファイルがFORMAT句付き印刷ファイルである

2.6.134 JMN5574I-S

@1@文のUSING指定に特殊クラスのクラス名は記述できません。@1@文は無効になります。

埋め込みの説明

```
@1@ : INVOKE.
```

例題

```

[P5574.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     P5574.
000003 ENVIRONMENT   DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS COM AS "*COM".
000007 DATA DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 WOBRI     OBJECT REFERENCE.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011     INVOKE WOBRI "XX" USING COM.
000012 END PROGRAM    P5574.

```

P5574.cob 11: JMN5574I-S INVOKE文のUSING指定に特殊クラスのクラス名は記述できません。INVOKE文は無効になります。

2.6.135 JMN5575I-S

定義済みオブジェクト一意名NULLは、INVOKE文によるメソッド呼出しのオブジェクトとして使用できません。INVOKE文は無効になります。

例題

```
[P5575.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5575.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 PROCEDURE DIVISION.
000006     INVOKE NULL "M5575".
000007 END PROGRAM      P5575.
```

P5575.cob 6: JMN5575I-S 定義済みオブジェクト一意名NULLは、INVOKE文によるメソッド呼出しのオブジェクトとして使用できません。INVOKE文は無効になります。

2.6.136 JMN5576I-S

[Win32]

@1@文のUSINGに指定可能な一意名は、ファイル節、作業場所節または連絡節で定義されたデータ項目でなければなりません。@1@文を無効とします。

[Winx64]

@1@文のUSINGに指定可能な一意名は、ファイル節、作業場所節、局所記憶節または連絡節で定義されたデータ項目でなければなりません。@1@文を無効とします。

埋め込みの説明

@1@ : INVOKEまたはCALL.

例題

```
[C5576.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID      C5576.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE      DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.      M5576.
000008 DATA          DIVISION.
000009 LINKAGE         SECTION.
000010 01 LK1         PIC X(6).
000011 01 LK2         PIC X(8).
000012 PROCEDURE     DIVISION USING LK1
000013                 RETURNING LK2.
000014 END METHOD      M5576.
000015 END OBJECT.
000016 END CLASS     C5576.
```

```
[P5576.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5576.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS C5576.
```

```

000007 INPUT-OUTPUT SECTION.
000008 FILE-CONTROL.
000009 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD REPFIL REPORT IS REP1.
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 YYMMDD PIC X(6).
000015 01 YYYYMMDD PIC X(8).
000016 01 WOBR OBJECT REFERENCE C5576.
000017 REPORT SECTION.
000018 RD REP1 PAGE 66
000019 FIRST DETAIL 6.
000020 01 PH-ITEM TYPE PH.
000021 02 LINE 2.
000022 03 COLUMN 50 PIC X(6) SOURCE YYMMDD.
000023 PROCEDURE DIVISION.
000024 INVOKE WOBR "M5576" USING PH-ITEM
000025 RETURNING YYYYMMDD
000026 END PROGRAM P5576.

```

- **[Win32]**

P5576.cob 24: JMN5576I-S INVOKE文のUSINGに指定可能な一意名は、ファイル節、作業場所節または連絡節で定義されたデータ項目でなければなりません。INVOKE文を無効とします。

- **[Winx64]**

P5576.cob 24: JMN5576I-S INVOKE文のUSINGに指定可能な一意名は、ファイル節、作業場所節、局所記憶節または連絡節で定義されたデータ項目でなければなりません。INVOKE文を無効とします。

2.6.137 JMN5578I-S

SEARCH文の一意名に@1@は指定できません。AT ENDまたはWHEN指定が現れるまで無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : メソッドの行内呼び出し、オブジェクト指定子付きの一意名。

例題

```

[P5578.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P5578.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS FJBASE.
000007 DATA DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 WOBR OBJECT REFERENCE.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 SEARCH WOBR AS FJBASE
000012 WHEN WOBR = NULL
000013 DISPLAY "END"
000014 END-SEARCH.
000015 END PROGRAM P5578.

```

P5578.cob 11: JMN5578I-S SEARCH文の一意名にオブジェクト指定子付きの一意名は指定できません。AT ENDまたはWHEN指定が現れるまで無効となります。

2.6.138 JMN5579I-S

@1@文の@2@指定には@3@は指定できません。@2@指定は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : ACCEPTまたはDISPLAY.

@2@ : AT, LINE, COLUMN, SIZEまたはPROMPT.

@3@ : メソッドの行内呼び出し, オブジェクト指定子付の一意名, オブジェクトプロパティ, クラス名, 定義済みオブジェクト一意名 SELF, 定義済みオブジェクト一意名 SUPER, 定義済みオブジェクト一意名 EXCEPTION-OBJECTまたは定義済みオブジェクト一意名 NULL.

例題

```
[SYSEXP.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          SYSEXP.
000003 END CLASS        SYSEXP.
```

```
[P5579.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5579.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS SYSEXP.
000007 DATA           DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 WDA1.
000010  02 WDA11      PIC S9(4).
000011  02 WDA12      PIC S9(4).
000012  02 WDA13      PIC X(20).
000013 PROCEDURE      DIVISION.
000014 DECLARATIVES.
000015 ERR-1 SECTION. USE EXCEPTION SYSEXP.
000016     ACCEPT WDA1 AT EXCEPTION-OBJECT
000017         ON EXCEPTION DISPLAY "NG in 1600 LINE".
000018 END DECLARATIVES.
000019 END PROGRAM      P5579.
```

P5579.cob 16: JMN5579I-S ACCEPT文のAT指定には定義済みオブジェクト一意名EXCEPTION-OBJECTは指定できません。AT指定は無効になります。

P5579.cob 17: JMN2500I-S 文が現れなければいけない所に, 語'ON'が現れました。次の文または手続き名まで読み飛ばします。

2.6.139 JMN5580I-S

@1@文はプログラム定義だけに使用できます。@1@文は無効とします。

埋め込みの説明

@1@ : ALTER, ENTER, ENTRY, GENERATE, GO TO MORE-LABELS, INITIATE, TERMINATE, SEEK, SUPPRESS, GOBACK, SERVICE-LABEL, TRANSACTIONまたはUSE LABEL.

例題

```
[C5580.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5580.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 OBJECT.
000008 DATA           DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 PROCEDURE      DIVISION.
000011 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000012 METHOD-ID.      M5580.
000013 ENVIRONMENT   DIVISION.
000014 DATA          DIVISION.
000015 LINKAGE       SECTION.
000016 PROCEDURE     DIVISION.
000017     DISPLAY   "M5580".
000018     GOBACK.
000019 END METHOD     M5580.
000020 END OBJECT.
000021 END CLASS     C5580.

```

C5580.cob 18: JMN5580I-S GOBACK文はプログラム定義だけに使用できます。GOBACK文は無効とします。

2.6.140 JMN5581I-S

@1@はプログラム定義だけで使用できます。@1@は無効とします。

埋め込みの説明

@1@ : 定数を指定したSTOP文, REVERSE指定のOPEN文または手続名のないGO TO文。

例題

```

[C5581.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C5581.
000003 ENVIRONMENT   DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 PROCEDURE     DIVISION.
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 METHOD-ID.     M5581.
000009 ENVIRONMENT   DIVISION.
000010 DATA          DIVISION.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 PROCEDURE     DIVISION.
000013     DISPLAY   "TEST START".
000014     STOP     "Restart Now !".
000015     DISPLAY   "TEST END".
000016 END METHOD     M5581.
000017 END OBJECT.
000018 END CLASS     C5581.

```

C5581.cob 14: JMN5581I-S 定数を指定したSTOP文はプログラム定義だけで使用できます。定数を指定したSTOP文は無効とします。

2.6.141 JMN5582I-S

SORTまたはMERGE文のKEY指定に定義済オブジェクト一意名SELFは指定できません。

例題

```

[C5582.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C5582.
000003 ENVIRONMENT   DIVISION.
000004 CONFIGURATION  SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 OBJECT.
000008 PROCEDURE     DIVISION.
000009 IDENTIFICATION DIVISION.
000010 METHOD-ID.     M5582.

```

```

000011 ENVIRONMENT  DIVISION.
000012 INPUT-OUTPUT SECTION.
000013 FILE-CONTROL.
000014     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000015     SELECT SQFILE2 ASSIGN TO SYS002.
000016     SELECT SRFILE  ASSIGN TO SYS003.
000017 I-O-CONTROL.
000018 DATA          DIVISION.
000019 FILE            SECTION.
000020 FD SQFILE1.
000021 01 SQF1REC     PIC X(80).
000022 FD SQFILE2.
000023 01 SQF2REC     PIC X(80).
000024 SD SRFILE.
000025 01 SRFREC.
000026 02 SRKEY       PIC X(08).
000027 02              PIC X(72).
000028 LINKAGE       SECTION.
000029 PROCEDURE      DIVISION.
000030     OPEN INPUT  SQFILE1
000031             OUTPUT SQFILE2
000032     SORT SRFILE
000033             ON ASCENDING KEY SRKEY SELF
000034             USING  SQFILE1
000035             GIVING SQFILE2.
000036     CLOSE SQFILE1 SQFILE2.
000037 END METHOD        M5582.
000038 END OBJECT.
000039 END CLASS        C5582.

```

C5582.cob 33: JMN5582I-S SORTまたはMERGE文のKEY指定に定義済オブジェクト一意名SELFは指定できません。

2.6.142 JMN5583I-S

特殊レジスタ@1@はプログラム定義だけで使用できます。

埋め込みの説明

@1@ : PROGRAM-STATUSまたはRETURN-CODE.

例題

```

[C5583.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.        C5583.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 IDENTIFICATION   DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 PROCEDURE       DIVISION.
000007 IDENTIFICATION   DIVISION.
000008 METHOD-ID.        M5581.
000009 ENVIRONMENT     DIVISION.
000010 DATA            DIVISION.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 PROCEDURE       DIVISION.
000013     DISPLAY PROGRAM-STATUS.
000014     DISPLAY RETURN-CODE.
000015 END METHOD        M5581.
000016 END OBJECT.
000017 END CLASS        C5583.

```

C5583.cob 13: JMN5583I-S 特殊レジスタPROGRAM-STATUSはプログラム定義だけで使用できます。

C5583.cob 14: JMN5583I-S 特殊レジスタRETURN-CODEはプログラム定義だけで使用できます。

詳細な説明

特殊レジスタPROGRAM-STATUS(RETURN-CODE)は、手続き部見出しにRETURNING指定のないプログラムに関連して、自動的に生成されます。PROGRAM-STATUSとRETURN-CODEは、同義です。PROGRAM-STATUSは、オペレーティングシステムまたは呼び出したプログラムに復帰コードを渡すために使うことができます。

2.6.143 JMN5584I-S

@1@文のUSING指定に定義済みオブジェクト一意名またはクラス名は記述できません。@1@文を無効とします。

埋め込みの説明

@1@ : CALL.

例題

```
[P5584.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5584.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS FJBASE.
000007 DATA           DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010     CALL "S5584" USING FJBASE.
000011 END PROGRAM     P5584.
```

P5584.cob 10: JMN5584I-S CALL文のUSING指定に定義済みオブジェクト一意名またはクラス名は記述できません。CALL文を無効とします。

P5584.cob 10: JMN2557I-S CALL文の書き方が不完全です。

2.6.144 JMN5585I-S

@1@文のRETURNING指定にオブジェクトプロパティは記述できません。@1@文を無効とします。

埋め込みの説明

@1@ : CALLまたはINVOKE.

例題

```
[C5585.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.       C5585.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 OBJECT.
000008 DATA           DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 PR5585      PIC S9(9) COMP-5 PROPERTY.
000011 PROCEDURE      DIVISION.
000012 IDENTIFICATION DIVISION.
000013 METHOD-ID.      M5585.
000014 DATA           DIVISION.
000015 LINKAGE        SECTION.
000016 01 LK1        PIC S9(9) COMP-5.
000017 PROCEDURE      DIVISION RETURNING LK1.
000018 END METHOD      M5585.
```

```
000019 END OBJECT.
000020 END CLASS      C5585.
```

```
[P5585.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5585.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS C5585.
000007 DATA           DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 WOBR         OBJECT REFERENCE C5585.
000010 PROCEDURE       DIVISION.
000011     INVOKE WOBR "M5585"
000012     RETURNING PR5585 OF WOBR
000013 END PROGRAM      P5585.
```

P5585.cob 12: JMN5585I-S INVOKE文のRETURNING指定にオブジェクトプロパティは記述できません。INVOKE文を無効とします。

2.6.145 JMN5590I-S

翻訳オプション@1@指定の場合、'@2@'は使用できません。

埋め込みの説明

@1@ : THREAD(MULTI), RCS(UTF16), ENCODE, ENCODE(UTF8,UTF16)/ENCODE(UTF8,UTF32), ENCODE(SJIS,SJIS).
@2@ : CMD, TRM, WST, CONNECT, DISCONNECT, ERASE, FIND, FINISH, GET, MODIFY, READY, STORE, IF DB-EXCEPTION, USE FOR DB-EXCEPTION, USE FOR DEAD-LOCK, TRANSACTION, JAPANESE, KANJI, DBCS, FUNCTION CAST-ALPHANUMERIC, FUNCTION NATIONAL-OF, UNICODE1, BMP, 画面節, 報告書節, スクリーン操作のACCEPT文およびDISPLAY文.

例題

```
[P5590.cob]
000001 @OPTIONS RCS(UTF16)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P5590.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA           DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 WDA         PIC N(10).
000008 PROCEDURE       DIVISION.
000009     IF WDA IS KANJI THEN
000010         DISPLAY "KANJI"
000011     END-IF
000012 END PROGRAM      P5590.
```

P5590.cob 9: JMN5590I-S 翻訳オプションRCS(UTF16)指定の場合、'KANJI'は使用できません。

詳細な説明

OSIV系システムの機能を使用したプログラムに対しては、翻訳オプションによる以下の指定はできません。

- ・ 翻訳オプションRCSで、実行時のコード系をunicodeに指定する
- ・ 翻訳オプションTHREADで、マルチスレッド形式のオブジェクトの生成を指定する

2.6.146 JMN5591I-S

INVOKE文のメソッドを呼び出すオブジェクト参照が、メソッドの行内呼出しまたはオブジェクトプロパティの場合、このオブジェクト参照はリポジトリ段落に指定されたクラスを参照するものでなければなりません。

例題

```
[C5591.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5591 INHERITS FJBASE.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS FJBASE.
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 OBJECT.
000009 DATA            DIVISION.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 P5591        OBJECT REFERENCE FACTORY OF FJBASE
000012                PROPERTY.
000013 PROCEDURE       DIVISION.
000014 IDENTIFICATION DIVISION.
000015 METHOD-ID.       M5591.
000016 ENVIRONMENT     DIVISION.
000017 DATA           DIVISION.
000018 LINKAGE        SECTION.
000019 01 LK1         OBJECT REFERENCE FACTORY OF FJBASE.
000020 PROCEDURE       DIVISION
000021                RETURNING LK1.
000022 END METHOD       M5591.
000023 END OBJECT.
000024 END CLASS      C5591.
```

```
[P5591.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5591.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS C5591.
000007 DATA           DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 WOBR1        OBJECT REFERENCE C5591.
000010 01 WOBR2        OBJECT REFERENCE.
000011 PROCEDURE       DIVISION.
000012     INVOKE WOBR1 :: "M5591" "GETCLASS"
000013     RETURNING WOBR2.
000014 END PROGRAM     P5591.
```

P5591.cob 12: JMN5591I-S INVOKE文のメソッドを呼び出すオブジェクト参照が、メソッドの行内呼出しまたはオブジェクトプロパティの場合、このオブジェクト参照はリポジトリ段落に指定されたクラスを参照するものでなければなりません。

2.6.147 JMN5592I-S

@1@文のBY CONTENT指定には、OMITTEDは指定できません。@1@文を無効にします。

埋め込みの説明

@1@ : INVOKE.

例題

```
[C5592.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5592.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 REPOSITORY.
```

```

000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 OBJECT.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 IDENTIFICATION DIVISION.
000010 METHOD-ID. M5592.
000011 ENVIRONMENT DIVISION.
000012 DATA DIVISION.
000013 LINKAGE SECTION.
000014 01 LK1 PIC X(10).
000015 01 LK2 PIC 9(10).
000016 PROCEDURE DIVISION
000017 USING LK1 LK2.
000018 END METHOD M5592.
000019 END OBJECT.
000020 END CLASS C5592.

```

```

[P5592.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P5592.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS C5592
000007 .
000008 DATA DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 WOBJ OBJECT REFERENCE C5592.
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012 INVOKE WOBJ "M5592" USING BY CONTENT OMITTED 20.
000013 END PROGRAM P5592.

```

P5592.cob 12: JMN5592I-S INVOKE文のBY CONTENT指定には、OMITTEDは指定できません。INVOKE文を無効にします。

2.6.148 JMN5593I-S

@1@は、実行時のコード系がUNICODEの場合に使用できます。

埋め込みの説明

@1@ : FUNCTION UTF8-OFまたはFUNCTION UCS2-OF.

例題

```

[P5593.cob]
000001 @OPTIONS RCS(SJIS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P5593.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 WCHR PIC X(20).
000008 01 WNCHR PIC N(10).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 MOVE FUNCTION UCS2-OF (WCHR)
000011 TO WNCHR
000012 MOVE FUNCTION UTF8-OF (WNCHR)
000013 TO WCHR
000014 END PROGRAM P5593.

```

P5593.cob 10: JMN5593I-S FUNCTION UCS2-OFは、実行時のコード系がUNICODEの場合に使用できます。

P5593.cob 12: JMN5593I-S FUNCTION UTF8-OFは、実行時のコード系がUNICODEの場合に使用できます。

2.6.149 JMN5595I-S

主プログラムの手続き部見出しのUSING指定に記述したパラメタは、大きさが102バイトを越えないただ1つの集団項目で、従属する最初の基本項目が2バイトの2進項目でなければなりません。指定されたパラメタは無効になります。

例題

```
[P5595.cob]
000001 @OPTIONS MAIN
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P5595.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA             DIVISION.
000006 LINKAGE          SECTION.
000007 01 WPRM1.
000008 02 WPRM1L        PIC 9(4).
000009 02 WPRM1X        PIC 9(4).
000010 01 WPRM2.
000011 02 WPRM1L        PIC 9(4).
000012 02 WPRM1X        PIC 9(4).
000013 PROCEDURE        DIVISION
000014                 USING WPRM1 WPRM2.
000015     MOVE WPRM1 TO WPRM2
000016 END PROGRAM      P5595.
```

P5595.cob 7: JMN5595I-S 主プログラムの手続き部見出しのUSING指定に記述したパラメタは、大きさが102バイトを越えないただ1つの集団項目で、従属する最初の基本項目が2バイトの2進項目でなければなりません。指定されたパラメタは無効になります。

詳細な説明

主プログラムの連絡節には、OSIV系システムでのパラメタを受け取るためのデータ項目を1つだけ定義することができます。連絡節データの書き方が誤っている場合に、この診断メッセージが出力されます。

引数付きの副プログラムを主プログラムとして翻訳した場合にも、この診断メッセージが出力されます。

OSIV系システム形式でのパラメタの詳細については、以下を参照してください。

- “NetCOBOLユーザズガイド”の“K.2 プログラムの動作確認における注意事項”

OSIV系システムでのパラメタの受取りが目的でない場合は、データ項目は連絡節ではなく、作業場所節で定義してください。

2.6.150 JMN5596I-S

主プログラムの手続き部見出しのUSING指定に記述したパラメタにENCODING句を指定する場合、翻訳オプション ENCODEに指定した英数字項目のエンコード方式と同じでなければなりません。指定されたパラメタは無効になります。

例題

```
000001 @OPTIONS MAIN, ENCODE (UTF8, UTF16)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P5596.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007     ALPHABET SJIS IS SJIS
000008
000009 DATA             DIVISION.
000010 LINKAGE          SECTION.
000011 01 WPRM1.
000012 02 WPRM1L        PIC 9(4) COMP-5.
000013 02 WPRM1X        PIC X(100) ENCODING SJIS.
000014 PROCEDURE        DIVISION USING WPRM1 .
000015     DISPLAY WPRM1(1:WPRM1L)
000016 END PROGRAM      P5596.
```

p5596.cob 13: JMN5596I-S 主プログラムの手続き部見出しのUSING指定に記述したパラメタにENCODING句を指定する場合、翻訳オプションENCODEの英数字項目と同じエンコード方式でなければなりません。指定されたパラメタは無効になります。

2.6.151 JMN5600I-S

特殊クラスのオブジェクト参照一意名にオブジェクト指定子を指定する場合、ASの右側はアーリバインドの特殊クラスのクラス名でなければなりません。

例題

```
[C5600.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID. C5600.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS SHEET AS "*COM:EXCEL:WORKSHEET"
000007 CLASS FJBASE.
000008 OBJECT.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 METHOD-ID. M5600.
000011 DATA DIVISION.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 WEXCEL OBJECT REFERENCE SHEET.
000014 01 WOBR OBJECT REFERENCE FJBASE.
000015 PROCEDURE DIVISION.
000016 SET WOBR TO WEXCEL AS FJBASE.
000017 END METHOD M5600.
000018 END OBJECT.
000019 END CLASS C5600.
```

C5600.cob 16: JMN5600I-S 特殊クラスのオブジェクト参照一意名にオブジェクト指定子を指定する場合、ASの右側はアーリバインドの特殊クラスのクラス名でなければなりません。

2.6.152 JMN5601I-S

オブジェクト指定子に特殊クラスのクラス名を指定する場合、ASの左側は特殊クラスのオブジェクト参照一意名でなければなりません。

例題

```
[C5601.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID. C5601.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS SHEET AS "*COM:EXCEL:WORKSHEET"
000007 CLASS FJBASE.
000008 OBJECT.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 METHOD-ID. M5601.
000011 DATA DIVISION.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 WEXCEL OBJECT REFERENCE SHEET.
000014 01 WOBR OBJECT REFERENCE FJBASE.
000015 PROCEDURE DIVISION.
000016 SET WEXCEL TO WOBR AS SHEET.
000017 END METHOD M5601.
000018 END OBJECT.
000019 END CLASS C5601.
```

C5601.cob 16: JMN5601I-S オブジェクト指定子に特殊クラスのクラス名を指定する場合、ASの左側は特殊クラスのオブジェクト参照一意名でなければなりません。

2.6.153 JMN5602I-S

オブジェクト指定子に特殊クラスのクラス名を指定する場合、他の選択指定は指定できません。

例題

```
[C5602.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5602.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS EXCEL AS "*COM:EXCEL:APPLICATION"
000007     CLASS SHEET AS "*COM:EXCEL:WORKSHEET".
000008 OBJECT.
000009 PROCEDURE        DIVISION.
000010 METHOD-ID.        M5602.
000011 DATA            DIVISION.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 WEXCEL        OBJECT REFERENCE EXCEL.
000014 01 WSHEET        OBJECT REFERENCE SHEET.
000015 PROCEDURE        DIVISION.
000016     SET WSHEET TO WEXCEL AS FACTORY OF SHEET.
000017     SET WEXCEL TO WSHEET AS EXCEL ONLY.
000018 END METHOD        M5602.
000019 END OBJECT.
000020 END CLASS        C5602.
```

C5602.cob 16: JMN5600I-S 特殊クラスのオブジェクト参照一意名にオブジェクト指定子を指定する場合、ASの右側はアーリバインドの特殊クラスのクラス名でなければなりません。

C5602.cob 17: JMN5600I-S 特殊クラスのオブジェクト参照一意名にオブジェクト指定子を指定する場合、ASの右側はアーリバインドの特殊クラスのクラス名でなければなりません。

C5602.cob 17: JMN5602I-S オブジェクト指定子に特殊クラスのクラス名を指定する場合、他の選択指定は指定できません。

詳細な説明

オブジェクト指定子に特殊クラスのクラス名を指定する場合、同時にFACTORY OF、ONLYは指定できません。

2.6.154 JMN5783I-S

ENCODING句はFDまたはSD記述項、データ記述項の集団項目、または、基本項目かつ項類が英数字、英数字編集、日本語または日本語編集の項目に指定できます。ENCODING句は無効になります。

例題

```
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C5783.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     ALPHABET UTF16 FOR NATIONAL IS UTF16.
000007 DATA DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 DATA1 PIC S9(9) DISPLAY ENCODING UTF16.
000010 END PROGRAM C5783.
```

c5783.cob 9: JMN5783I-S ENCODING句はFDまたはSD記述項、データ記述項の集団項目、または、基本項目かつ項類が英数字、英数字編集、日本語または日本語編集の項目に指定できます。ENCODING句は無効になります。

2.6.155 JMN5784I-S

@1@のENCODING句には@2@指定のエンコード方式に付けた符号系名でなければなりません。ENCODING句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 英数字項目、または、英数字編集項目、日本語項目、または、日本語編集項目

@2@ : ALPHANUMERIC, NATIONAL

例題

```
000001 @OPTIONS ENCODE (UTF8, UTF16)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C5784.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007 ALPHABET UTF16 FOR NATIONAL IS UTF16.
000008 DATA DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 DATA1 PIC X(20) DISPLAY ENCODING UTF16.
000011 END PROGRAM C5784.
```

c5784.cob 10: JMN5784I-S 英数字項目、または、英数字編集項目のENCODING句にはALPHANUMERIC指定のエンコード方式に付けた符号系名でなければなりません。ENCODING句は無効になります。

2.6.156 JMN5785I-S

CONVERSIONを指定したMOVE文の@1@項目に部分参照子、関数一意名、メソッドの行内呼出し、および、プロパティ名を指定することはできません。MOVE文は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 送出し側、受取り側

例題

```
000001 @OPTIONS ENCODE (UTF8, UTF16)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C5785.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007 ALPHABET UTF16 FOR NATIONAL IS UTF16.
000008 DATA DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 DATA1 PIC X(20) DISPLAY.
000011 01 DATA2 PIC N(20) DISPLAY.
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013 MOVE CONVERSION DATA1(1:10) TO DATA2.
000014 END PROGRAM C5785.
```

c5785.cob 13: JMN5785I-S CONVERSIONを指定したMOVE文の送出し側項目に部分参照子、関数一意名、メソッドの行内呼出し、および、プロパティ名を指定することはできません。MOVE文は無効になります。

2.6.157 JMN5786I-S

CONVERSIONを指定したMOVE文の@1@項目には英数字項目または日本語項目が指定できます。MOVE文は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 送出し側, 受取り側

例題

```
000001 @OPTIONS ENCODE (UTF8, UTF16)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.    C5786.
000004 ENVIRONMENT   DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007     ALPHABET UTF16 FOR NATIONAL IS UTF16.
000008 DATA DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 DATA1 PIC S9(9) DISPLAY.
000011 01 DATA2 PIC N(10) DISPLAY.
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013     MOVE CONVERSION DATA1 TO DATA2.
000014 END PROGRAM C5786.
```

c5786.cob 13: JMN5786I-S CONVERSIONを指定したMOVE文の送出し側項目には英数字項目または日本語項目が指定できません。MOVE文は無効になります。

2.6.158 JMN5787I-S

CONVERSIONを指定したMOVE文に定数は指定できません。MOVE文は無効になります。

例題

```
000001 @OPTIONS ENCODE (UTF8, UTF16)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.    C5787.
000004 ENVIRONMENT   DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007     ALPHABET UTF16 FOR NATIONAL IS UTF16.
000008 DATA DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 DATA1 PIC N(10) DISPLAY.
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012     MOVE CONVERSION "文字列" TO DATA1.
000013 END PROGRAM C5787.
```

c5787.cob 12: JMN5787I-S CONVERSIONを指定したMOVE文に定数は指定できません。MOVE文は無効になります。

2.6.159 JMN5788I-S

エンコード方式に対応付けられた符号系名は、@1@文のCOLLATING SEQUENCE指定に記述できません。@1@文は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : SORT, MERGE

例題

```
000001 @OPTIONS ENCODE (UTF8, UTF16)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.    A1.
000004 ENVIRONMENT   DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007     ALPHABET UTF16 NATIONAL UTF16
```

```

000008 .
000009 INPUT-OUTPUT SECTION.
000010 FILE-CONTROL.
000011     SELECT SMFILE ASSIGN DA-S-SM1F.
000012 DATA DIVISION.
000013 FILE SECTION.
000014     SD SMFILE LABEL RECORD IS STANDARD.
000015     01 R1.
000016     02 KEY-1 PIC X(4).
000017     02 KEY-2 PIC X(4).
000018     02 R1-1 PIC X(72).
000019 WORKING-STORAGE SECTION.
000020     77 ERR-SWT          PIC 9(1).
000021 PROCEDURE DIVISION.
000022     SORT SMFILE ON ASCENDING KEY KEY-2
000023         COLLATING SEQUENCE UTF16.
000024 END PROGRAM A1.

```

c5788.cob 22: JMN5788I-S エンコード方式に対応付けられた符号系名は、SORT文のCOLLATING SEQUENCE指定に記述できません。SORT文は無効になります。

2.6.160 JMN5789I-S

印刷ファイル、および、あて先種別にディスプレイ装置またはプリンタ装置を指定した表示ファイルのレコード定義に複数のエンコード方式が混在しています。エンコード方式は英数字項目および日本語項目に各1種類だけ指定できます。

例題

```

000001 @OPTIONS ENCODE(UTF8, UTF16)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C5789.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007     ALPHABET UTF8 IS UTF8
000008     ALPHABET UTF16 FOR NATIONAL UTF16
000009     ALPHABET UTF32 FOR NATIONAL UTF32
000010 .
000011 INPUT-OUTPUT SECTION.
000012 FILE-CONTROL.
000013     SELECT F1 ASSIGN TO PRINTER.
000014 DATA DIVISION.
000015 FILE SECTION.
000016     FD F1.
000017     01 REC1.
000018     02 DATA1 PIC X(2).
000019     02 DATA2 PIC N(5) ENCODING UTF16.
000020     02 DATA3 PIC N(5) ENCODING UTF32.
000021 PROCEDURE DIVISION.
000022 END PROGRAM C5789.

```

c5789.cob 17: JMN5789I-S 印刷ファイル、および、あて先種別にディスプレイ装置またはプリンタ装置を指定した表示ファイルのレコード定義に複数のエンコード方式が混在しています。エンコード方式は英数字項目および日本語項目に各1種類だけ指定できます。

2.6.161 JMN5790I-S

WITH FILLER指定で語FILLERは省略できません。語FILLERが指定されたものとみなします。

2.6.162 JMN5791I-S

行順ファイルのレコードは複数のエンコード方式を同時に含むことはできません。

例題

```
000001 @OPTIONS ENCODE(UTF8,UTF16)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P5791.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007 ALPHABSET UTF32 FOR NATIONAL IS UTF32
000008 .
000009 INPUT-OUTPUT SECTION.
000010 FILE-CONTROL.
000011 SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000012 ORGANIZATION IS LINE SEQUENTIAL
000013 FILE STATUS IS WFS1.
000014 I-O-CONTROL.
000015 DATA DIVISION.
000016 FILE SECTION.
000017 FD SQFILE1.
000018 01 SQF1REC1.
000019 02 PIC N(80).
000020 01 SQF1REC2.
000021 02 PIC N(40) ENCODING UTF32.
000022 WORKING-STORAGE SECTION.
000023 01 WFS1 PIC X(2).
000024 PROCEDURE DIVISION.
000025 END PROGRAM P5791.
```

p5791.cob 17: JMN5791I-S 行順ファイルのレコードは複数のエンコード方式を同時に含むことはできません。

2.6.163 JMN5792I-S

エンコード方式がUTF32の日本語16進定数の長さは、8の倍数でなければなりません。8の倍数の長さに切り捨てます。

例題

```
000001 @OPTIONS ENCODE(UTF8,UTF32)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P5792.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDN1 PIC N(2) VALUE NX"3000".
000007 END PROGRAM P5792.
```

p5792.cob 6: JMN5792I-S エンコード方式がUTF32の日本語16進定数の長さは、8の倍数でなければなりません。8の倍数の長さに切り捨てます。

2.7 JMN6000—JMN6999

6410 6413 6414 6415 6416

2.7.1 JMN6410I-U

プログラムが大き過ぎます。プログラムを分割して再翻訳してください。翻訳を中止します。

2.7.2 JMN6413I-U

プログラムが大き過ぎます。TRACEオプション、COUNTオプションおよびCHECKオプションの指定を外して再翻訳してください。翻訳を中止します。

2.7.3 JMN6414I-W

項目名@1@にUnicode固有文字が含まれています。

埋め込みの説明

@1@ : 項目名

2.7.4 JMN6415I-W

リロケーション個数が上限に達しました。リンク時、LINKコマンドに/DYNAMICBASE:NOを指定してください。

2.7.5 JMN6416I-W

@1@はUnicode固有文字を含む名前です。

埋め込みの説明

@1@ : ファイル名、登録集名またはクラス名

2.8 JMN9000—JMN9999

9001	9002	9003	9004	9005	9006	9007	9008	9009	9010
9011	9012	9013	9014	9015	9016	9017	9018	9019	9020
9021	9022	9023	9024	9025	9101	9102	9103	9104	9105
9106	9107	9108	9109	9110	9911	9115	9116	9117	9118
9119	9121	9122	9123	9124	9125	9126	9127	9128	9129
9133	9151	9152	9153	9154	9161	9171	9172	9173	9180
9181	9182	9183	9191	9192	9193	9221	9242	9251	9261
9331	9332	9333	9334	9335	9341	9343	9344	9345	9346
9352	9353	9354	9361	9371	9381	9384	9391	9392	9393
9501	9502	9503	9504	9506	9507	9900	9901	9902	9903
9904	9905	9906	9907	9908	9909	9910	9911	9912	9913
9914	9915	9916	9917	9918	9919	9920	9921	9922	9923
9924	9925	9926	9927	9928	9929	9931	9932	9987	9999
9001	9002	9003	9004	9005	9006	9007	9008	9009	9010
9011	9012	9013	9014	9015	9016	9017	9018	9019	9020
9021	9022	9023	9024	9025	9101	9102	9103	9104	9105
9106	9107	9108	9109	9110	9911	9115	9116	9117	9118
9119	9121	9122	9123	9124	9125	9126	9127	9128	9129
9133	9151	9152	9153	9154	9161	9171	9172	9173	9180
9181	9182	9183	9191	9192	9193	9221	9242	9251	9261
9331	9332	9333	9334	9335	9341	9343	9344	9345	9346
9352	9353	9354	9361	9371	9381	9384	9391	9392	9393
9501	9502	9503	9504	9506	9507	9900	9901	9902	9903
9904	9905	9906	9907	9908	9909	9910	9911	9912	9913

9914	9915	9916	9917	9918	9919	9920	9921	9922	9923
9924	9925	9926	9927	9928	9929	9931	9932	9987	9999

2.8.1 JMN9001I-W

(@1@)@2@文は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

@2@ : CANCEL, COMPUTE, CONNECT, COPY, DELETE, DISCONNECT, ENTRY, ERASE, EVALUATE, EXAMINE, EXEC AQL, EXIT PERFORM, FIND, FINISH, GENERATE, GET, GOBACK, IF DB-EXCEPTION, INITIALIZE, INITIATE, MERGE, MODIFY, READY, RELEASE, REPLACE, RETURN, SEARCH, SEARCH ALL, SORT, START, STORE, STRING, TERMINATE, TRANSACTION, UNLOCK, UNSTRING, USE, USE FOR DB-EXCEPTION, USE FOR DEBUGGING, USE FOR DEAD-LOCK

例題

```
[C9001.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.    C9001.
000004 ENVIRONMENT  DIVISION.
000005 DATA          DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01  REC01.
000008     02  REC-1  PIC 9(4).
000009     02  REC-2  PIC 9(4).
000010     02  REC-3  PIC 9(4).
000011 PROCEDURE    DIVISION.
000012 P-START.
000013     COMPUTE REC-3 = REC-1 + REC-2.
000014     STOP RUN.
```

C9001.cob 13: JMN9001I-W (STD)COMPUTE文は共通範囲外です。処理を続行します。

C9001.cob 13: JMN9123I-W (STD)二項演算子または単項演算子+は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.2 JMN9002I-W

(@1@)@2@句は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

@2@ : ALTERNATE RECORD KEY, APPLY MULTICONVERSATION-MODE, APPLY SAVED-AREA, APPLY WITH-ONLY, ASCENDING/DESCENDING KEY, BY VALUE, CHARACTER TYPE, CODE-SET, COLUMN NUMBER, COMMON, CONTROL RECORD, CONVERTING, CORRESPONDING, CRT STATUS, CURSOR, DEPENDING ON, DESTINATION-3, END-ACCEPT, END-CALL, END-DISPLAY, END-KEY, END-OF-PAGE, EXTEND, EXTERNAL, FIRST RECORD, FORMAT, GLOBAL, GROUP, INITIAL, INVALID KEY, KEY, LINAGE, LOCK MODE, MULTIPLE FILE TAPE, NEXT, NOT AT END-OF PAGE, NOT INVALID KEY, NOT ON EXCEPTION, ON EXCEPTION, ON OVERFLOW, OPTIONAL, ORGANIZATION IS RELATIVE, ORGANIZATION IS INDEXED, PADDING CHARACTER, PASSWORD, POSITIONING POINTER, POSITIONING UNIT, PRINTING MODE, PRINTING POSITION, PROCESSING CONTROL, RECORD DELIMITER, RECORD KEY, RECORD IS VARYING IN SIZE, RECORDING MODE, REMAINDER, REPLACING, RERUN, RESERVE AREA, REVERSED, REVERSED ORDER, REPORT, SAME RECORD AREA, SAME SORT-MERGE AREA, SEGMENT-LIMIT, SELECT, SOURCE, SYMBOLIC CONSTANT, SYMBOLIC CHARACTERS, TO TEST OR PERFORM, TEST AFTER, TEST BEFORE, TYPE, VARYING, WITH DEBUGGING MODE, WITH DUPLICATE, WITH LOCK, WITH NO ADVANCING, WITH NO LIMIT, WITH NO LOCK, WITH NO REWIND

例題

```
[C9002.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9002.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01.
000008 02 REC-NO PIC X(5).
000009 02 REC-NAME PIC X(20).
000010 02 REC-DATA PIC X(50).
000011 01 REC02.
000012 02 REC-NO PIC X(5).
000013 02 REC-NAME PIC X(20).
000014 02 REC-DATA PIC X(50).
000015 PROCEDURE DIVISION.
000016 P-START.
000017 MOVE CORRESPONDING REC01 TO REC02.
000018 STOP RUN.
```

C9002.cob 17: JMN9002I-W (STD)CORRESPONDING句は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.3 JMN9003I-W

(@1@)@2@文中の機能名は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

@2@ : ACCEPT, DISPLAY

例題

```
[C9003.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9003.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01 PIC X(80).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010 ACCEPT REC01 FROM SYSIN.
000011 STOP RUN.
```

C9003.cob 10: JMN9003I-W (STD)ACCEPT文中の機能名は共通範囲外です。処理を続行します。

C9003.cob 10: JMN9004I-W (STD)ACCEPT文中の呼び名は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.4 JMN9004I-W

(@1@)@2@文中の呼び名は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

@2@ : ACCEPT, DISPLAY, MERGE, SORT, WRITE

例題

```
[C9004.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9004.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007 SYSIN IS NYURYOKU.
000008 DATA DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 REC01 PIC X(80).
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012 P-START.
000013 ACCEPT REC01 FROM NYURYOKU.
000014 STOP RUN.
```

C9004.cob 13: JMN9004I-W (STD)ACCEPT文中の呼び名は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.5 JMN9005I-W

(@1@)@2@文中の複数のファイル名は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD
@2@ : USE

例題

```
[C9005.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STDI)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9005.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007 SELECT IN-FILE ASSIGN TO INFL1.
000008 SELECT OUT-FILE ASSIGN TO INFL2.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 FD IN-FILE.
000012 01 INREC PIC X(80).
000013 FD OUT-FILE.
000014 01 OTREC PIC X(80).
000015 PROCEDURE DIVISION.
000016 DECLARATIVES.
000017 USE-PROCESS SECTION.
000018 USE AFTER STANDARD
000019 EXCEPTION PROCEDURE ON IN-FILE
000020 OUT-FILE.
000021 END DECLARATIVES.
000022 P-START.
000023 STOP RUN.
```

C9005.cob 18: JMN9005I-W (STD)USE文中の複数のファイル名は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.6 JMN9006I-W

(@1@)@2@文中の一意名は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD
@2@ : CALL

例題

```
[C9006.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STD1)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9006.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01.
000008 02 REC-1 PIC 9(4).
000009 02 REC-2 PIC 9(4).
000010 02 REC-3 PIC 9(4).
000011 01 PGMNM PIC X(8).
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013 P-START.
000014 CALL PGMNM USING REC01.
000015 STOP RUN.
```

C9006.cob 14: JMN9006I-W (STD)CALL文中の一意名は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.7 JMN9007I-W

(@1@)@2@文中の、画面節に書かれたデータ名は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD
@2@ : ACCEPT, DISPLAY

例題

```
[C9007.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9007.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 WBUF PIC X(100).
000008 SCREEN SECTION.
000009 01 REC01.
000010 02 REC-NO PIC X(5) FROM WBUF.
000011 02 REC-NAME PIC X(20) FROM WBUF.
000012 02 REC-DATA PIC X(50) FROM WBUF.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014 P-START.
000015 DISPLAY REC-NO.
000016 DISPLAY REC-NAME.
000017 DISPLAY REC-DATA.
000018 STOP RUN.
```

C9007.cob 9: JMN9506I-W (STD)画面節に書かれたデータ名は共通範囲外です。処理を続行します。

C9007.cob 15: JMN9007I-W (STD)DISPLAY文中の、画面節に書かれたデータ名は共通範囲外です。処理を続行します。

C9007.cob 16: JMN9007I-W (STD)DISPLAY文中の、画面節に書かれたデータ名は共通範囲外です。処理を続行します。

C9007.cob 17: JMN9007I-W (STD)DISPLAY文中の、画面節に書かれたデータ名は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.8 JMN9008I-W

(@1@)自由形式の正書法は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

2.8.9 JMN9009I-W

(@1@)見出し部の@2@段落は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

@2@ : AUTHOR, INSTALATION, DATE-WRITTEN, DATE-COMPILED, SECURITY

例題

```
[C9009.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9009.
000004 DATE-COMPILED. 22ND AUG 1988.
000005 ENVIRONMENT DIVISION.
000006 DATA DIVISION.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 STOP RUN.
```

C9009.cob 4: JMN9009I-W (STD)見出し部のDATE-COMPILED段落は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.10 JMN9010I-W

(@1@)COBOLの語, 数字定数, および, PICTURE句の文字列の継続は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[C9010.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9010.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 FILE SECTION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 IN-REC.
000009 02 REC11 PIC X(80
000010- ).
000011 01 OT-R
000012- EC.
000013 02 REC01 PIC X(80).
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015 P-START.
000016 STOP RUN.
```

C9010.cob 10: JMN9010I-W (STD)COBOLの語, 数字定数, および, PICTURE句の文字列の継続は共通範囲外です。処理を続行します。

C9010.cob 12: JMN9010I-W (STD)COBOLの語, 数字定数, および, PICTURE句の文字列の継続は共通範囲外です. 処理を続行します.

2.8.11 JMN9011I-W

(@1@)この機能名は共通範囲外です. 処理を続行します.

埋め込みの説明

@1@ : SIA

例題

```
[C9011. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (SIA)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9011.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 CONFIGURATION   SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007     SYSIPT IS I.
000008 DATA           DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 PROCEDURE      DIVISION.
000011     STOP RUN.
```

C9011.cob 7: JMN9011I-W (SIA)この機能名は共通範囲外です. 処理を続行します.

2.8.12 JMN9012I-W

(@1@)特殊レジスタ@2@は共通範囲外です. 処理を続行します.

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

@2@ : EDIT-COLOR, EDIT-CURSOR, EDIT-MODE, EDIT-OPTION, EDIT-STATUS, FCOM, LINE-COUNTER, LINAGE-COUNTER, PAGE-COUNTER, PROGRAM-STATUS, RETURN-CODE, SHIFT-IN, SHIFT-OUT, SORT-MESSAGE, SORT-MODE-SIZE, SORT-STATUS/SORT-RETURN, TALLY, WHEN-COMPILED

例題

```
[C9012. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDH)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9012.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT IN-FILE  ASSIGN TO INFL.
000008     SELECT OT-FILE  ASSIGN TO OTFL.
000009     SELECT SORT-FILE ASSIGN TO STFL.
000010 DATA           DIVISION.
000011 FILE           SECTION.
000012 FD IN-FILE.
000013 01 IN-REC.
000014 02 REC01     PIC X(5).
000015 02 REC02     PIC X(50).
000016 FD OT-FILE.
000017 01 OT-REC.
000018 02 REC01     PIC X(5).
000019 02 REC02     PIC X(50).
000020 SD SORT-FILE.
000021 01 ST-REC.
```



```

000022 02 RECKEY PIC X(5).
000023 02 REC02 PIC X(50).
000024 WORKING-STORAGE SECTION.
000025 PROCEDURE DIVISION.
000026 P-START.
000027 SORT SORT-FILE ASCENDING KEY RECKEY
000028 USING IN-FILE GIVING OT-FILE.
000029 IF SORT-STATUS NOT = ZERO THEN
000030 DISPLAY "** ERROR IN SORT STATEMANT **"
000031 END-IF.
000032 STOP RUN.

```

C9012.cob 29: JMN9012I-W (STD)特殊レジスタSORT-STATUSは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.13 JMN9013I-W

(@1@)日本語定数は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```

[C9013.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STDH)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9013.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 DISPLAY NC"日本語".
000010 STOP RUN.

```

C9013.cob 9: JMN9013I-W (STD)日本語定数は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.14 JMN9014I-W

(@1@)浮動小数点定数は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```

[C9014.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STDH)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9014.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 DISPLAY 3.14159E+3.
000010 STOP RUN.

```

C9014.cob 9: JMN9014I-W (STD)浮動小数点定数は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.15 JMN9015I-W

(@1@)ブール定数は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```
[C9015.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STDH)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9015.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 DISPLAY B"11111111".
000010 STOP RUN.
```

C9015.cob 9: JMN9015I-W (STD)ブール定数は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.16 JMN9016I-W

(@1@)添字付けの次元数は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[C9016.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STDH)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9016.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01.
000008 02 REC02 OCCURS 3 TIMES.
000009 03 REC03 OCCURS 3 TIMES.
000010 04 REC04 OCCURS 3 TIMES.
000011 05 REC05 OCCURS 3 TIMES.
000012 06 REC06 PIC 9(2).
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014 P-START.
000015 MOVE ZERO TO REC06(1 1 1 1).
000016 STOP RUN.
```

C9016.cob 15: JMN9016I-W (STD)添字付けの次元数は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.17 JMN9017I-W

(@1@)16進文字定数は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[C9017.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDH)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9017.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01.
000008 02 REC02 PIC X VALUE X"0A".
000009 02 REC03 PIC X.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 P-START.
000012 MOVE X"0C" TO REC03.
000013 STOP RUN
```

C9017.cob 12: JMN9017I-W (STD)16進文字定数は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.18 JMN9018I-W

(@1@)レベル番号66は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[C9018.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9018.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01.
000008 02 REC-A PIC X(4).
000009 02 REC-B PIC X(4).
000010 02 REC-C PIC X(4).
000011 66 REC-A RENAMES REC-B THRU REC-C.
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013 P-START.
000014 STOP RUN.
```

C9018.cob 11: JMN9018I-W (STD)レベル番号66は共通範囲外です。処理を続行します。

C9018.cob 11: JMN9002I-W (STD)RENAMES句は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.19 JMN9019I-W

(@1@)レベル番号88は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[C9019.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9019.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
```

```

000005 DATA          DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01  REC01.
000008 02 REC-NO  PIC 9(3).
000009 88 REC-88 VALUE 99.
000010 PROCEDURE     DIVISION.
000011 P-START.
000012  STOP RUN.

```

C9019.cob 9: JMN9019I-W (STD)レベル番号88は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.20 JMN9020I-W

(@1@)記号文字および定数および表意定数のALL指定は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```

[C9020. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.     C9020.
000004 ENVIRONMENT   DIVISION.
000005 DATA          DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01  REC.
000008 02 REC01  PIC 99V99.
000009 02 REC02  PIC X(10) VALUE ALL "A".
000010 PROCEDURE     DIVISION.
000011 P-START.
000012  MOVE ALL "99" TO REC01.
000013  STOP RUN.

```

C9020.cob 9: JMN9020I-W (STD)記号文字および定数および表意定数のALL指定は共通範囲外です。処理を続行します。

C9020.cob 12: JMN9020I-W (STD)記号文字および定数および表意定数のALL指定は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.21 JMN9021I-W

(@1@)部分参照は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```

[C9021. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.     C9021.
000004 ENVIRONMENT   DIVISION.
000005 DATA          DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01  REC01.
000008 02 REC-NO  PIC X(10).
000009 PROCEDURE     DIVISION.
000010 P-START.
000011  MOVE "ABC" TO REC-NO(1:3).
000012  STOP RUN.

```

C9021.cob 11: JMN9021I-W (STD)部分参照は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.22 JMN9022I-W

(@1@)データ名のOF/IN修飾は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[C9022.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9022.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 OUT-REC.
000008 02 RECO1 PIC X.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011 MOVE "0" TO RECO1 OF OUT-REC.
000012 STOP RUN.
```

C9022.cob 11: JMN9022I-W (STD)データ名のOF/IN修飾は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.23 JMN9023I-W

(@1@)日本語文字は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[C9023.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9023.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 日本語項目 PIC X(5).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010 MOVE SPACE TO 日本語項目.
000011 STOP RUN.
```

C9023.cob 7: JMN9023I-W (STD)日本語文字は共通範囲外です。処理を続行します。

C9023.cob 10: JMN9023I-W (STD)日本語文字は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.24 JMN9024I-W

(@1@)このプログラム中の行内注記は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[C9024.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION. *> 行内注記
000003 PROGRAM-ID.      C9024.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 A             PIC X(80). *> 行内注記
000008 PROCEDURE       DIVISION.
000009 P-START.
000010 MOVE SPACE TO A. *> 行内注記
000011 STOP RUN.
```

C9024.cob 0: JMN9024I-W (STD)このプログラム中の行内注記は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.25 JMN9025I-W

(@1@)@2@に含まれる英小文字は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

@2@ : 英小文字を含む利用者定義文字

例題

```
[C9025.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(SIA), ALPHAL
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9025.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 eikomoji      PIC X(5).
000008 01 ABCdEFG      PIC X(5).
000009 PROCEDURE       DIVISION.
000010 P-START.
000011 MOVE SPACE TO eikomoji.
000012 STOP RUN.
```

C9025.cob 7: JMN9025I-W (SIA)eikomojiに含まれる英小文字は共通範囲外です。処理を続行します。

C9025.cob 8: JMN9025I-W (SIA)ABCdEFGに含まれる英小文字は共通範囲外です。処理を続行します。

C9025.cob 11: JMN9025I-W (SIA)eikomojiに含まれる英小文字は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.26 JMN9101I-W

(@1@)ALPHABET句中の@2@は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

@2@ : EBCDIC, STANDARD-2

2.8.27 JMN9102I-W

(@1@)ALPHABET句中の機能名は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA

例題

```
[C9102.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(SIA)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9102.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007 ALPHABET FUGOU IS CODE-0.
000008 DATA DIVISION.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011 STOP RUN.
```

C9102.cob 7: JMN9102I-W (SIA)ALPHABET句中の機能名は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.28 JMN9103I-W

(@1@)ALPHABET句中の定数は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[C9103.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9103.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007 ALPHABET FUGOU IS 1.
000008 DATA DIVISION.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011 STOP RUN.
```

C9103.cob 7: JMN9103I-W (STD)ALPHABET句中の定数は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.29 JMN9104I-W

(@1@)CHARACTER TYPE句の呼び名は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA

例題

```
[C9104.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(SIA)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9104.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007 F0202 IS PRINT.
000008 DATA DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 RECO1 PIC N(4) CHARACTER TYPE IS MODE-3 BY PRINT.
```

```
000011 PROCEDURE      DIVISION.
000012 P-START.
000013     STOP RUN.
```

C9104.cob 7: JMN9011I-W (SIA)この機能名は共通範囲外です。処理を続行します。

C9104.cob 10: JMN9104I-W (SIA)CHARACTER TYPE句の呼び名は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.30 JMN9105I-W

(@1@)IF文の入れ子は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[C9105.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9105.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01        PIC 9(4).
000008 01 REC02        PIC 9(4).
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010 P-START.
000011     IF REC01 = LOW-VALUE THEN
000012         DISPLAY "LOW-VALUE"
000013     ELSE
000014     IF REC01 = HIGH-VALUE THEN
000015         DISPLAY "HIGH-VALUE"
000016     END-IF.
000017     STOP RUN.
```

C9105.cob 11: JMN9105I-W (STD)IF文の入れ子は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.31 JMN9106I-W

(@1@)VALUE句中の定数の並びは共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```
[C9106.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9106.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01.
000008 02 REC-NO PIC 9(3).
000009 88 REC-88 VALUE 3
000010                    5
000011                    7.
000012 PROCEDURE      DIVISION.
000013 P-START.
000014     STOP RUN.
```


C9106.cob 9: JMN9019I-W (STD)レベル番号88は共通範囲外です。処理を続行します。

C9106.cob 9: JMN9106I-W (STD)VALUE句中の定数の並びは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.32 JMN9107I-W

(@1@)VALUE句の定数-1 THRU 整数-2は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```
[C9107.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9107.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01  REC01      PIC 9(3).
000008 88  REC02     VALUE IS 0 THRU 3.
000009 PROCEDURE       DIVISION.
000010 P-START.
000011  STOP RUN.
```

C9107.cob 8: JMN9019I-W (STD)レベル番号88は共通範囲外です。処理を続行します。

C9107.cob 8: JMN9107I-W (STD)VALUE句の定数-1 THRU 整数-2は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.33 JMN9108I-W

(@1@)VALUE句の定数範囲の並びは共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```
[C9108.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9108.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01  REC01      PIC 9(3).
000008 88  REC02     VALUE IS 0 THRU 3
000009                               4 THRU 6.
000010 PROCEDURE       DIVISION.
000011 P-START.
000012  STOP RUN.
```

C9108.cob 8: JMN9019I-W (STD)レベル番号88は共通範囲外です。処理を続行します。

C9108.cob 8: JMN9108I-W (STD)VALUE句の定数範囲の並びは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.34 JMN9109I-W

(@1@)CHARACTER TYPE句中の印字モード名は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```
[C9109. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9109.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007 PRINTING MODE INJI IS IN SIZE 3.0 POINT.
000008 DATA DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 JPN-CAR PIC N(5) CHARACTER TYPE IS INJI.
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012 P-START.
000013 STOP RUN.
```

C9109.cob 0: JMN9002I-W (STD)PRINTING MODE句は共通範囲外です。処理を続行します。

C9109.cob 10: JMN9109I-W (STD)CHARACTER TYPE句中の印字モード名は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.35 JMN9110I-W

(@1@)VALUE OF句のデータ名指定は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[C9110. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9110.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007 SELECT IN-FILE ASSIGN TO INFL.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD IN-FILE VALUE OF REC1 IS REC2.
000011 01 REC1 PIC X(80).
000012 01 REC2 PIC X(80).
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014 P-START.
000015 STOP RUN.
```

C9110.cob 10: JMN9110I-W (STD)VALUE OF句のデータ名指定は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.36 JMN9111I-W

(@1@)REDEFINES句の入れ子は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[C9111.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9111.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 IN-REC.
000008 02 REC11 PIC X(80).
000009 02 REC12 REDEFINES REC11.
000010 03 REC121 PIC X(40).
000011 03 REC122 REDEFINES REC121.
000012 04 REC1221 PIC X(20).
000013 04 REC1222 PIC X(20).
000014 03 REC123 PIC X(40).
000015 PROCEDURE      DIVISION.
000016 P-START.
000017 STOP RUN.
```

C9111.cob 11: JMN9111I-W (STD)REDEFINES句の入れ子は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.37 JMN9115I-W

(@1@)PICTURE句の文字@2@は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD
@2@ : N, 1, E

例題

```
[C9115.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STDH)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9115.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01 PIC N(5).
000008 PROCEDURE      DIVISION.
000009 P-START.
000010 STOP RUN.
```

C9115.cob 7: JMN9115I-W (STD)PICTURE句の文字Nは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.38 JMN9116I-W

(@1@)USAGE句の@2@指定は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD
@2@ : COMPUTATIONAL-1, COMPUTATIONAL-2, COMPUTATIONAL-3, COMPUTATIONAL-4, COMPUTATIONAL-5,
BIT, DISPLAY-1, POINTER

例題

```
[C9116.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(SIA)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000003 PROGRAM-ID.      C9116.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 RECO1        USAGE COMPUTATIONAL-1.
000008 PROCEDURE        DIVISION.
000009 P-START.
000010 STOP RUN.

```

C9116.cob 7: JMN9116I-W (SIA)USAGE句のCOMPUTATIONAL-1指定は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.39 JMN9117I-W

(@1@)定数節は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```

[C9117. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STDH)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9117.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
000006 CONSTANT        SECTION.
000007 01 ASTER        PIC X(12) VALUE "*".
000008 PROCEDURE        DIVISION.
000009 P-START.
000010 STOP RUN.

```

C9117.cob 7: JMN9117I-W (STD)定数節は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.40 JMN9118I-W

(@1@)USE文の@2@指定は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

@2@ : GLOBAL

例題

```

[C9118. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STDH)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9118.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT SEQFIL ASSIGN TO SYS006
000008     ORGANIZATION IS SEQUENTIAL.
000009 DATA            DIVISION.
000010 FILE            SECTION.
000011 FD SEQFIL.
000012 01 SEQREC      PIC X(80).
000013 PROCEDURE        DIVISION.
000014 DECLARATIVES.
000015 FILERR SECTION. USE GLOBAL AFTER STANDARD ERROR PROCEDURE INPUT
000016 GO ERR-EXIT.

```

```
000017 END DECLARATIVES.
000018 OPEN INPUT SEQFIL.
000019 READ SEQFIL.
000020 CLOSE SEQFIL.
000021 ERR-EXIT.
```

C9118.cob 15: JMN9118I-W (STD)USE文のGLOBAL指定は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.41 JMN9119I-W

(@1@)基底場所節は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```
[C9119.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9119.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 BASED-STORAGE SECTION.
000007 01 A PIC 9(2).
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 PTR POINTER.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 P-START.
000012 MOVE ZERO TO PTR->A.
000013 STOP RUN.
```

C9119.cob 6: JMN9119I-W (STD)基底場所節は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.42 JMN9121I-W

(@1@)ブール演算子@2@は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

@2@ : AND, OR, EXOR, NOT

例題

```
[C9121.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9121.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01 PIC 1(4) BIT.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010 COMPUTE REC01 = REC01 AND B"1000".
000011 STOP RUN.
```

C9121.cob 7: JMN9115I-W (STD)PICTURE句の文字1は共通範囲外です。処理を続行します。

C9121.cob 7: JMN9116I-W (STD)USAGE句のBIT指定は共通範囲外です。処理を続行します。

C9121.cob 10: JMN9121I-W (STD)ブール演算子B-ANDは共通範囲外です。処理を続行します。

C9121.cob 10: JMN9015I-W (STD)ブール定数は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.43 JMN9122I-W

(@1@)字類条件@2@は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

@2@ : BOOLEAN, KANJI, DBCS

例題

```
[C9122.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDH)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9122.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01 PIC X(3).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010 IF REC01 IS BOOLEAN THEN
000011 DISPLAY "** TRUE **"
000012 END-IF.
000013 STOP RUN.
```

C9122.cob 10: JMN9122I-W (STD)字類条件BOOLEANは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.44 JMN9123I-W

(@1@)二項演算子または単項演算子@2@は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

@2@ : +, -, *, /, **

例題

```
[C9123.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9123.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01 PIC S9(4).
000008 01 REC02 PIC S9(4).
000009 01 REC03 PIC S9(4).
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 P-START.
000012 COMPUTE REC01 = REC02 + REC03.
000013 STOP RUN.
```

C9123.cob 12: JMN9001I-W (STD)COMPUTE文は共通範囲外です。処理を続行します。

C9123.cob 12: JMN9123I-W (STD)二項演算子または単項演算子+は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.45 JMN9124I-W

(@1@)正負条件は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[C9124.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9124.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01        PIC S9(2) VALUE 0.
000008 01 REC02        PIC S9(2) VALUE 0.
000009 PROCEDURE       DIVISION.
000010 P-START.
000011     IF REC01 IS NOT NEGATIVE
000012         MOVE REC01 TO REC02
000013     END-IF.
000014     STOP RUN.
```

C9124.cob 11: JMN9124I-W (STD)正負条件は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.46 JMN9125I-W

(@1@)論理演算子@2@は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

@2@ : AND, OR, NOT

例題

```
[C9125.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9125.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01        PIC S9(2) VALUE 0.
000008 01 REC02        PIC S9(2) VALUE 0.
000009 01 REC03        PIC S9(2) VALUE 0.
000010 PROCEDURE       DIVISION.
000011 P-START.
000012     IF REC01 IS GREATER REC02 AND
000013         NOT REC03 IS GREATER REC01 THEN
000014         MOVE 1 TO REC02.
000015     STOP RUN.
```

C9125.cob 12: JMN9125I-W (STD)論理演算子ANDは共通範囲外です。処理を続行します。

C9125.cob 12: JMN9127I-W (STD)複合条件は共通範囲外です。処理を続行します。

C9125.cob 12: JMN9125I-W (STD)論理演算子NOTは共通範囲外です。処理を続行します。

C9125.cob 12: JMN9127I-W (STD)複合条件は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.47 JMN9126I-W

(@1@)略記の組合せ条件は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[C9126.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9126.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01        PIC S9(2) VALUE 0.
000008 01 REC02        PIC S9(2) VALUE 0.
000009 01 REC03        PIC S9(2) VALUE 0.
000010 PROCEDURE      DIVISION.
000011 P-START.
000012     IF REC01 = LOW-VALUE OR HIGH-VALUE THEN
000013         MOVE 1 TO REC02.
000014     STOP RUN.
```

C9126.cob 12: JMN9126I-W (STD)略記の組合せ条件は共通範囲外です。処理を続行します。

C9126.cob 12: JMN9125I-W (STD)論理演算子OR は共通範囲外です。処理を続行します。

C9126.cob 12: JMN9127I-W (STD)複合条件は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.48 JMN9127I-W

(@1@)複合条件は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[C9127.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9127
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC1          PIC 9(8).
000008 01 REC2          PIC 9(8).
000009 01 REC3          PIC 9(8).
000010 PROCEDURE      DIVISION.
000011 P-START.
000012     IF REC1 = 0 AND NOT REC2 = REC3
000013         THEN CONTINUE.
000014     STOP RUN.
```

C9127.cob 12: JMN9126I-W (STD)略記の組合せ条件は共通範囲外です。処理を続行します。

C9127.cob 12: JMN9125I-W (STD)論理演算子ANDは共通範囲外です。処理を続行します。

C9127.cob 12: JMN9127I-W (STD)複合条件は共通範囲外です。処理を続行します。

C9127.cob 12: JMN9125I-W (STD)論理演算子NOTは共通範囲外です。処理を続行します。

C9127.cob 12: JMN9127I-W (STD)複合条件は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.49 JMN9128I-W

(@1@)条件名条件は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[C9128.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9128.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 SIGNAL       PIC X.
000008 88 BLUE         VALUE "B".
000009 PROCEDURE       DIVISION.
000010 MOVE "B" TO SIGNAL.
000011 IF BLUE THEN
000012     DISPLAY "*** GO ***"
000013 END-IF.
000014 STOP RUN.
```

C9128.cob 8: JMN9019I-W (STD)レベル番号88は共通範囲外です。処理を続行します。

C9128.cob 11: JMN9128I-W (STD)条件名条件は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.50 JMN9129I-W

(@1@)連結式は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```
[C9129.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9129.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 A             PIC X(2).
000008 PROCEDURE       DIVISION.
000009 P-START.
000010 IF A = SPACE & "AA"
000011 THEN
000012     DISPLAY "*** A IS SPACE ***"
000013 END-IF.
000014 STOP RUN.
```

C9129.cob 10: JMN9129I-W (STD)連結式は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.51 JMN9133I-W

(@1@)ACCEPT文中の@2@は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

@2@ : DATE, DAY, DAY-OF-WEEK

例題

```
[C9133.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9133.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 RECO1        PIC 9(5).
000008 PROCEDURE        DIVISION.
000009 P-START.
000010 ACCEPT RECO1 FROM DAY-OF-WEEK.
000011 STOP RUN.
```

C9133.cob 10: JMN9133I-W (STD)ACCEPT文中のDAY-OF-WEEKは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.52 JMN9151I-W

(@1@)ALTER文の手続き名の並びは共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```
[C9151.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9151.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
000006 PROCEDURE        DIVISION.
000007 P-START.
000008 ALTER NUMBER1 TO PROCEED TO NUMBER2,
000009 NUMBER2 TO PROCEED TO P-START.
000010 STOP RUN.
000011 NUMBER1.
000012 GO TO.
000013 NUMBER2.
000014 GO TO.
```

C9151.cob 8: JMN9151I-W (STD)ALTER文の手続き名の並びは共通範囲外です。処理を続行します。

C9151.cob 12: JMN9152I-W (STD)手続き名を省略したGO TO文は共通範囲外です。処理を続行します。

C9151.cob 14: JMN9152I-W (STD)手続き名を省略したGO TO文は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.53 JMN9152I-W

(@1@)手続き名を省略したGO TO文は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[C9152.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9152.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
```

```

000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 RECO1 PIC 9(5).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010 ALTER P-START1 TO P-START2.
000011 P-START1.
000012 GO TO.
000013 P-START2.
000014 STOP RUN.

```

C9152.cob 12: JMN9152I-W (STD)手続き名を省略したGO TO文は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.54 JMN9153I-W

(@1@)IF文中の@2@特殊レジスタ指定は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD
 @2@ : ADDRESS OF

例題

```

[C9153. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9153.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 RECO1 PIC 9(5).
000008 LINKAGE SECTION.
000009 01 ZPTRO POINTER.
000010 PROCEDURE DIVISION USING ZPTRO.
000011 P-START.
000012 IF ADDRESS OF ZPTRO = NULL THEN
000013 MOVE 00001 TO RECO1
000014 END-IF.
000015 STOP RUN.

```

C9153.cob 12: JMN9153I-W (STD)IF文中のADDRESS OF特殊レジスタ指定は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.55 JMN9154I-W

(@1@)IF文中の条件文は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```

[C9154. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9154.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 RECO1 PIC 9(4).
000008 01 RECO2 PIC 9(4).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011 IF RECO1 = LOW-VALUE THEN

```

```

000012     EVALUATE REC02
000013     WHEN 0
000014         DISPLAY "REC02=0"
000015     WHEN OTHER
000016         DISPLAY "REC02=" REC02
000017     END-EVALUATE
000018     END-IF.
000019     STOP RUN.

```

C9154.cob 12: JMN9154I-W (STD)IF文中の条件文は共通範囲外です。処理を続行します。

C9154.cob 12: JMN9001I-W (STD)EVALUATE文は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.56 JMN9161I-W

(@1@)INITIALIZE文中の@2@は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

@2@ : EGCS, DBCS, BOOLEAN, NATIONAL, NATIONAL-EDIT

例題

```

[C9161.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDH)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9161.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01        PIC N(4).
000008 01 REC02        PIC N(4).
000009 PROCEDURE       DIVISION.
000010 P-START.
000011     INITIALIZE REC01 REPLACING
000012         NATIONAL DATA BY REC02.
000013     STOP RUN.

```

C9161.cob 7 : JMN9115I-W (STD)PICTURE句の文字Nは共通範囲外です。処理を続行します。

C9161.cob 8 : JMN9115I-W (STD)PICTURE句の文字Nは共通範囲外です。処理を続行します。

C9161.cob 11 : JMN9161I-W (STD)INITIALIZE文中のNATIONALは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.57 JMN9171I-W

(@1@)MOVE文中の数字編集項目の逆編集は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA

例題

```

[P9171.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9171.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01        PIC 9,999.
000008 01 REC02        PIC 9(4).
000009 PROCEDURE       DIVISION.

```

```
000010 P-START.
000011     MOVE REC01 TO REC02.
000012     STOP RUN.
```

P9171.cob 11: JMN9171I-W (STD)MOVE文中の数字編集項目の逆編集は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.58 JMN9172I-W

(@1@)MOVE文において日本語編集項目から日本語編集項目への転記は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA

例題

```
[P9172. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDH)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9172.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01        PIC NBNBNB.
000008 01 REC02        PIC N(3)B(3).
000009 PROCEDURE       DIVISION.
000010 P-START.
000011     MOVE REC01 TO REC02.
000012     STOP RUN.
```

P9172.cob 11: JMN9172I-W (STD)MOVE文において日本語編集項目から日本語編集項目への転記は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.59 JMN9173I-W

(@1@)MOVE文において数字編集項目から数字編集項目への転記は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[P9173. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9173.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01        PIC 9,999.
000008 01 REC02        PIC 99,99.
000009 PROCEDURE       DIVISION.
000010 P-START.
000011     MOVE REC01 TO REC02.
000012     STOP RUN.
```

P9173.cob 11: JMN9173I-W (STD)MOVE文において数字編集項目から数字編集項目への転記は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.60 JMN9180I-W

(@1@)SET文中の@2@特殊レジスタ指定は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD
@2@ : ADDRESS OF

例題

```
[P9180.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9180.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 RECO1 PIC 9(5).
000008 LINKAGE SECTION.
000009 01 ZPTRO POINTER.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 P-START.
000012 SET ADDRESS OF ZPTRO TO NULLS.
000013 STOP RUN.
```

P9180.cob 12: JMN9180I-W (STD)SET文中のADDRESS OF特殊レジスタ指定は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.61 JMN9181I-W

(@1@)SET文中のTO TRUE句は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[P9181.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9181.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 RECO1.
000008 02 RECO2 PIC X.
000009 88 RECO3 VALUE "A".
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 P-START.
000012 SET RECO3 TO TRUE.
000013 STOP RUN.
```

P9181.cob 9: JMN9019I-W (STD)レベル番号88は共通範囲外です。処理を続行します。

P9181.cob 12: JMN9181I-W (STD)SET文中のTO TRUE句は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.62 JMN9182I-W

(@1@)START文のデータ名指定は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[P9182.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STDH)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9182.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007 SELECT IN-FILE ASSIGN TO IND
000008 ORGANIZATION IS INDEXED
000009 RECORD KEY IS RECO1.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD IN-FILE.
000013 01 RECO1 PIC 9(5).
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015 P-START.
000016 START IN-FILE
000017 KEY IS EQUAL TO RECO1.
000018 STOP RUN.
```

P9182.cob 16: JMN9182I-W (STD)START文のデータ名指定は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.63 JMN9183I-W

(@1@)START文のこの比較演算子は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```
[P9183.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STDH)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9183.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007 SELECT KYUYUO-FILE ASSIGN TO IDFL
000008 ORGANIZATION IS INDEXED
000009 RECORD KEY IS SYAIN-BANGO.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD KYUYUO-FILE.
000013 01 KYUYUO-REC.
000014 02 SYAIN-BANGO PIC X(6).
000015 02 KYUYUO PIC 9(6).
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017 P-START.
000018 START KYUYUO-FILE KEY NOT > SYAIN-BANGO.
000019 STOP RUN.
```

P9183.cob 18: JMN9182I-W (STD)START文のデータ名指定は共通範囲外です。処理を続行します。

P9183.cob 18: JMN9183I-W (STD)START文のこの比較演算子は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.64 JMN9191I-W

(@1@)INSPECT文中の複数文字のデータ項目は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[P9191.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9191.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01 PIC X(10).
000008 01 REC02 PIC 9(4).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011 INSPECT REC01
000012 CONVERTING "***" TO "$$$".
000013 STOP RUN.
```

P9191.cob 11: JMN9191I-W (STD)INSPECT文中の複数文字のデータ項目は共通範囲外です。処理を続行します。

P9191.cob 11: JMN9002I-W (STD)CONVERTING句は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.65 JMN9192I-W

(@1@)INSPECT文中のBEFORE/AFTER指定の並びは共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[P9192.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9192.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01 PIC X(10).
000008 01 REC02 PIC 9(4).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011 INSPECT REC01 TALLYING REC02
000012 FOR CHARACTERS AFTER ", "
000013 BEFORE ", ".
000014 STOP RUN.
```

P9192.cob 11: JMN9192I-W (STD)INSPECT文中のBEFORE/AFTER指定の並びは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.66 JMN9193I-W

(@1@)INSPECT文中の@2@句の並びは共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

@2@ : TALLYING, REPLACING

例題

```
[P9193.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STDI)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9193.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01 PIC X(10).
000008 01 REC02 PIC 9(4).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011 INSPECT REC01 REPLACING ALL "I" BY "L"
000012 "ボ" BY "ポ".
000013 STOP RUN.
```

P9193.cob 11: JMN9193I-W (STD)INSPECT文中のREPLACING句の並びは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.67 JMN9221I-W

(@1@)BLOCK CONTAINS 0 CHARACTERS指定は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```
[P9221.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9221.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007 SELECT CHAR-FILE ASSIGN TO CHAR-FL.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD CHAR-FILE
000011 BLOCK CONTAINS 0 CHARACTERS.
000012 01 CHAR-REC PIC X(80).
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014 P-START.
000015 STOP RUN.
```

P9221.cob 10: JMN9221I-W (STD)BLOCK CONTAINS 0 CHARACTERS指定は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.68 JMN9242I-W

(@1@)RECORD CONTAINS句の整数-1 TO 整数-2は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[C9242.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9242.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
```

```

000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT     IN-FILE ASSIGN INFIL.
000008 DATA         DIVISION.
000009 FILE          SECTION.
000010 FD IN-FILE
000011     RECORD CONTAINS 1 TO 5 CHARACTERS.
000012 01 REC01     PIC 9(5).
000013 PROCEDURE     DIVISION.
000014 P-START.
000015     STOP RUN.

```

C9242.cob 11: JMN9242I-W (STD)RECORD CONTAINS句の整数-1 TO 整数-2は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.69 JMN9251I-W

(@1@)CLOSE文中の@2@句は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

@2@ : REEL, REEL FOR REMOVAL, UNIT, UNIT FOR REMOVAL, WITH NO REWIND

例題

```

[C9251.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.     C9251.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT     IN-FILE ASSIGN SEQ.
000008 DATA         DIVISION.
000009 FILE          SECTION.
000010 FD IN-FILE.
000011 01 REC01     PIC 9(5).
000012 PROCEDURE     DIVISION.
000013 P-START.
000014     OPEN INPUT IN-FILE.
000015     CLOSE IN-FILE REEL FOR REMOVAL.
000016     STOP RUN.

```

P9251.cob 15: JMN9251I-W (STD)CLOSE文中のREEL FOR REMOVAL句は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.70 JMN9261I-W

(@1@)行順ファイルは共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```

[P9261.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.     P9261.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT SEQFLINE
000008     ASSIGN TO C9261

```

```
000009      ORGANIZATION IS LINE SEQUENTIAL.
000010 DATA      DIVISION.
000011 FILE        SECTION.
000012 FD  SEQFLINE.
000013 01  FILE-NUM  PIC X(80).
000014 PROCEDURE   DIVISION.
000015 P-START.
000016  STOP RUN.
```

P9261.cob 12: JMN9261I-W (STD)行順ファイルは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.71 JMN9331I-W

(@1@)サブスキーマ名段落は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA,STD

2.8.72 JMN9332I-W

(@1@)入れ子のプログラムは共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[P9332.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD1)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9332.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA             DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01          PIC 9(4).
000008 01 REC02          PIC 9(4).
000009 PROCEDURE        DIVISION.
000010 P-START.
000011 CALL "Z9332".
000012 STOP RUN.
000013*
000014 IDENTIFICATION DIVISION.
000015 PROGRAM-ID.      Z9332.
000016 DATA           DIVISION.
000017 WORKING-STORAGE SECTION.
000018 PROCEDURE        DIVISION.
000019 P-START.
000020 END PROGRAM Z9332.
000021 END PROGRAM P9332.
```

P9332.cob 15: JMN9332I-W (STD)入れ子のプログラムは共通範囲外です。処理を続行します。

P9332.cob 20: JMN9335I-W (STD)プログラム終わり見出しは共通範囲外です。処理を続行します。

P9332.cob 21: JMN9335I-W (STD)プログラム終わり見出しは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.73 JMN9333I-W

(@1@)CALL文中のUSING句に指定した作用対象の個数は5個以下でなければなりません。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[P9333.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9333.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01.
000008 02 REC02 PIC 9(4).
000009 02 REC03 PIC 9(4).
000010 02 REC04 PIC 9(4).
000011 02 REC05 PIC 9(4).
000012 02 REC06 PIC 9(4).
000013 02 REC07 PIC 9(4).
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015 P-START.
000016 CALL "Z9333" USING REC02
000017 REC03
000018 REC04
000019 REC05
000020 REC06
000021 REC07.
000022 STOP RUN.
```

P9333.cob 16: JMN9333I-W (STD)CALL文中のUSING句に指定した作用対象の個数は5個以下でなければなりません。処理を続行します。

2.8.74 JMN9334I-W

(@1@)手続き部の見出しに書かれたUSING句の作用対象の個数は5個以下でなければなりません。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[P9334.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9334.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 LINKAGE SECTION.
000008 01 REC01 PIC 9(4).
000009 01 REC02 PIC 9(4).
000010 01 REC03 PIC 9(4).
000011 01 REC04 PIC 9(4).
000012 01 REC05 PIC 9(4).
000013 01 REC06 PIC 9(4).
000014 PROCEDURE DIVISION USING REC01
000015 REC02
000016 REC03
000017 REC04
000018 REC05
000019 REC06.
```

```
000020 P-START.  
000021     STOP RUN.
```

P9334.cob 0: JMN9334I-W (STD)手続き部の見出しに書かれたUSING句の作用対象の個数は5個以下でなければなりません。処理を続行します。

2.8.75 JMN9335I-W

(@1@)プログラム終わり見出しは共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[P9335.cob]  
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)  
000002 IDENTIFICATION DIVISION.  
000003 PROGRAM-ID.     P9335.  
000004 ENVIRONMENT   DIVISION.  
000005 INPUT-OUTPUT  SECTION.  
000006 DATA         DIVISION.  
000007 PROCEDURE    DIVISION.  
000008 P-START.  
000009     STOP RUN.  
000010 END PROGRAM P9335.
```

P9335.cob 10: JMN9335I-W (STD)プログラム終わり見出しは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.76 JMN9341I-W

(@1@)整列併合用ファイルは共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[P9341.cob]  
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)  
000002 IDENTIFICATION DIVISION.  
000003 PROGRAM-ID.     P9341.  
000004 ENVIRONMENT   DIVISION.  
000005 INPUT-OUTPUT  SECTION.  
000006 FILE-CONTROL.  
000007     SELECT      IN-FILE  
000008     ASSIGN TO SMF.  
000009 DATA         DIVISION.  
000010 FILE         SECTION.  
000011 SD IN-FILE.  
000012 01 REC01.  
000013 02         PIC X(66).  
000014 PROCEDURE  DIVISION.  
000015 P-START.  
000016     STOP RUN.
```

P9341.cob 11: JMN9341I-W (STD)整列併合用ファイルは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.77 JMN9343I-W

(@1@)SORT文中のASCENDING/DESCENDING KEY句に指定するキーの個数は15以下でなければなりません。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```
[P9343.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(SIA)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9343.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT IN-FILE ASSIGN TO INFL.
000008     SELECT OT-FILE ASSIGN TO OTFL.
000009     SELECT SORT-FILE ASSIGN TO STFL.
000010 DATA            DIVISION.
000011 FILE             SECTION.
000012 FD IN-FILE.
000013 01 IN-REC.
000014 02 RECI1        PIC X(80).
000015 FD OT-FILE.
000016 01 OT-REC.
000017 02 RECO1        PIC X(80).
000018 SD SORT-FILE.
000019 01 ST-REC.
000020 02 RECS1         PIC X(5).
000021 02 RECS2         PIC X(5).
000022 02 RECS3         PIC X(5).
000023 02 RECS4         PIC X(5).
000024 02 RECS5         PIC X(5).
000025 02 RECS6         PIC X(5).
000026 02 RECS7         PIC X(5).
000027 02 RECS8         PIC X(5).
000028 02 RECS9         PIC X(5).
000029 02 RECS10        PIC X(5).
000030 02 RECS11        PIC X(5).
000031 02 RECS12        PIC X(5).
000032 02 RECS13        PIC X(5).
000033 02 RECS14        PIC X(5).
000034 02 RECS15        PIC X(5).
000035 02 RECS16        PIC X(5).
000036 WORKING-STORAGE SECTION.
000037 PROCEDURE        DIVISION.
000038 P-START.
000039     SORT SORT-FILE ASCENDING KEY
000040         RECS1 RECS2 RECS3 RECS4 RECS5 RECS6 RECS7 RECS8
000041         RECS9 RECS10 RECS11 RECS12 RECS13 RECS14 RECS15 RECS16
000042         USING IN-FILE GIVING OT-FILE.
000043     STOP RUN.
```

P9343.cob 39: JMN9343I-W (SIA)SORT文中のASCENDING/DESCENDING KEY句に指定するキーの個数は15以下でなければなりません。処理を続行します。

2.8.78 JMN9344I-W

(@1@)登録集原文中のCOPY文は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```
[P9344.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDH)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9344.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 COPY P9344A.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 DISPLAY WK1.
000011 END PROGRAM P9344.
```

```
[P9344A.cbl]
000001 COPY P9344B.
```

```
[P9344B.cbl]
000001 01 WK1 PIC X(8).
```

P9344A.cob 1: JMN9344I-W (STD)登録集原文中のCOPY文は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.79 JMN9345I-W

(@1@)登録集名で修飾された原文名は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[P9345.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDI)
000002* 環境変数COB_COBLIBに、WRKREC.cblを配置したフォルダ名を指定して翻訳する。
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 PROGRAM-ID. P9345.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 COPY WRKREC OF COBLIB.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 STOP RUN.
```

```
[WRKREC.cbl]
000001 01 DATA1 PIC X(10).
```

P9345.cob 7: JMN9345I-W (STD)登録集名で修飾された原文名は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.80 JMN9346I-W

(@1@)原文名定数は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```
[P9346.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDI)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9346.
```

```
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     COPY "WRKREC. cb1".
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     STOP RUN.
```

```
[WRKREC. cb1]
000001 01 DATA1     PIC X(10).
```

P9346.cob 6: JMN9346I-W (STD)原文名定数は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.81 JMN9352I-W

(@1@)報告書ファイルのファイル記述項は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA

例題

```
[C9352. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(SIA)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.     C9352.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT   SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT     R-FILE ASSIGN TO RFIL.
000008 DATA          DIVISION.
000009 FILE           SECTION.
000010 FD R-FILE REPORT R2-FILE.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 REPORT        SECTION.
000013 RD R2-FILE
000014     PAGE          62
000015     FIRST DETAIL  6
000016     LAST DETAIL   58.
000017     01 DATA-1   TYPE DE
000018         LINE PLUS 1.
000019 PROCEDURE     DIVISION.
000020 P-START.
000021     STOP RUN.
```

C9352.cob 10: JMN9352I-W (SIA)報告書ファイルのファイル記述項は共通範囲外です。処理を続行します。

C9352.cob 10: JMN9002I-W (SIA)REPORT句は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.82 JMN9353I-W

(@1@)報告書ファイルの報告書記述項は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[C9353. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(RPW)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.     C9353.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT   SECTION.
```



```

000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT     R-FILE ASSIGN TO RFIL.
000008 DATA         DIVISION.
000009 FILE           SECTION.
000010 FD R-FILE REPORT R2-FILE.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 REPORT         SECTION.
000013 RD R2-FILE
000014     PAGE             62
000015     FIRST DETAIL 6
000016     LAST DETAIL 58.
000017 01 DATA1         TYPE DE
000018     LINE PLUS 1.
000019 PROCEDURE        DIVISION.
000020 P-START.
000021     STOP RUN.

```

P9353.cob 10: JMN9002I-W (STD)REPORT句は共通範囲外です。処理を続行します。

P9353.cob 12: JMN9354I-W (STD)報告書節の見出しは共通範囲外です。処理を続行します。

P9353.cob 13: JMN9353I-W (STD)報告書ファイルの報告書記述項は共通範囲外です。処理を続行します。

P9353.cob 17: JMN9002I-W (STD)TYPE句は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.83 JMN9354I-W

(@1@)報告書節の見出しは共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```

[P9354.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (RPW)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9354.
000004 ENVIRONMENT       DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT F-FILE ASSIGN TO F.
000008 DATA         DIVISION.
000009 FILE           SECTION.
000010 FD F-FILE REPORT R-FILE.
000011 REPORT         SECTION.
000012 RD R-FILE
000013     PAGE             62
000014     FIRST DETAIL 6
000015     LAST DETAIL 58.
000016 01 DATA-1        TYPE DE LINE PLUS 1.
000017 PROCEDURE        DIVISION.
000018 P-START.
000019     STOP RUN.

```

P9354.cob 10: JMN9002I-W (STD)REPORT句は共通範囲外です。処理を続行します。

P9354.cob 11: JMN9354I-W (STD)報告書節の見出しは共通範囲外です。処理を続行します。

P9354.cob 12: JMN9353I-W (STD)報告書ファイルの報告書記述項は共通範囲外です。処理を続行します。

P9354.cob 16: JMN9002I-W (STD)TYPE句は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.84 JMN9361I-W

(@1@)報告書ファイルのCLOSE文は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA

例題

```
[P9361.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(SIA)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9361.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007 SELECT R-FILE ASSIGN TO RFIL.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD R-FILE REPORT R2-FILE.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 REPORT SECTION.
000013 RD R2-FILE
000014 PAGE 62
000015 FIRST DETAIL 6
000016 LAST DETAIL 58.
000017 01 DATA1 TYPE DE
000018 LINE PLUS 1.
000019 PROCEDURE DIVISION.
000020 P-START.
000021 OPEN OUTPUT R-FILE.
000022 CLOSE R-FILE.
000023 STOP RUN.
```

P9361.cob 10: JMN9352I-W (SIA)報告書ファイルのファイル記述項は共通範囲外です。処理を続行します。

P9361.cob 10: JMN9002I-W (SIA)REPORT句は共通範囲外です。処理を続行します。

P9361.cob 21: JMN9371I-W (SIA)報告書ファイルのOPEN文は共通範囲外です。処理を続行します。

P9361.cob 22: JMN9361I-W (SIA)報告書ファイルのCLOSE文は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.85 JMN9371I-W

(@1@)報告書ファイルのOPEN文は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA

例題

```
[C9371.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(SIA)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9371.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007 SELECT R-FILE ASSIGN TO RFIL.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD R-FILE REPORT R2-FILE.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
```

```

000012 REPORT          SECTION.
000013 RD  R2-FILE
000014 PAGE           62
000015 FIRST DETAIL  6
000016 LAST DETAIL  58.
000017 01 DATA1     TYPE DE
000018 LINE PLUS 1.
000019 PROCEDURE     DIVISION.
000020 P-START.
000021 OPEN  OUTPUT R-FILE.
000022 CLOSE R-FILE.
000023 STOP RUN.

```

C9371.cob 10: JMN9352I-W (SIA)報告書ファイルのファイル記述項は共通範囲外です。処理を続行します。

C9371.cob 10: JMN9002I-W (SIA)REPORT句は共通範囲外です。処理を続行します。

C9371.cob 21: JMN9371I-W (SIA)報告書ファイルのOPEN文は共通範囲外です。処理を続行します。

C9371.cob 22: JMN9361I-W (SIA)報告書ファイルのCLOSE文は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.86 JMN9381I-W

(@1@)表示ファイルのファイル記述項は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```

[P9381.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDH)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9381.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007 SELECT MED01 ASSIGN TO GS-FILE
000008             SYMBOLIC DESTINATION IS "PRT".
000009 DATA             DIVISION.
000010 FILE             SECTION.
000011 FD MED01.
000012 01 RECO1        PIC 9(5).
000013 01 RECO2        PIC 9(5).
000014 PROCEDURE       DIVISION.
000015 P-START.
000016 OPEN  INPUT MED01.
000017 CLOSE MED01.
000018 STOP RUN.

```

P9381.cob 11: JMN9381I-W (STD)表示ファイルのファイル記述項は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.87 JMN9384I-W

(@1@)SYMBOLIC DESTINATION句の@2@は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA

@2@ : ACM, CMD, TRM, WST, DATA-NAME

例題

```
[C9384.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(SIA)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9384.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT MED01
000008         ASSIGN          TO GS-FILE
000009         SYMBOLIC DESTINATION IS "ACM".
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD MED01.
000013     01 REC01 PIC 9(5).
000014     01 REC02 PIC 9(5).
000015 PROCEDURE DIVISION.
000016 P-START.
000017     OPEN INPUT MED01.
000018     CLOSE MED01.
000019     STOP RUN.
```

C9384.cob 12: JMN9384I-W (SIA)SYMBOLIC DESTINATION句のACMは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.88 JMN9391I-W

(@1@)ACCESS MODE句中の@2@は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

@2@ : RANDOM, DYNAMIC

例題

```
[P9391.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9391.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT INFILE
000008         ASSIGN          TO IND
000009         ORGANIZATION IS INDEXED
000010         RECORD KEY IS REC01
000011         ACCESS MODE IS RANDOM.
000012 DATA DIVISION.
000013 FILE SECTION.
000014 FD INFILE.
000015     01 REC01 PIC 9(5).
000016     01 REC02 PIC 9(5).
000017 PROCEDURE DIVISION.
000018 P-START.
000019     OPEN INPUT INFILE.
000020     CLOSE INFILE.
000021     STOP RUN.
```

P9391.cob 14: JMN9391I-W (STD)ACCESS MODE句中のRANDOMは共通範囲外です。処理を続行します。

P9391.cob 14: JMN9002I-W (STD)ORGANIZATION IS INDEXED句は共通範囲外です。処理を続行します。

P9391.cob 14: JMN9002I-W (STD)RECORD KEY句は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.89 JMN9392I-W

(@1@)ASSIGN句のファイル識別名定数は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA

例題

```
[P9392.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(SIA)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9392.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT INFILE
000008             ASSIGN TO "INDATA.TXT".
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 FD INFILE.
000012 01 RECO1 PIC 9(5).
000013 01 RECO2 PIC 9(5).
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015 P-START.
000016     OPEN INPUT INFILE.
000017     CLOSE INFILE.
000018     STOP RUN.
```

P9392.cob 11: JMN9392I-W (SIA)ASSIGN句のファイル識別名定数は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.90 JMN9393I-W

(@1@)ASSIGN句中の@2@指定は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

@2@ : DATA-NAME, DISK, PRINTER

例題

```
[C9393.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STDH)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9393.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT CHAR-FILE
000008             ASSIGN TO PRINTER.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 FD CHAR-FILE.
000012 01 CHAR-REC PIC X(80).
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014 P-START.
000015     STOP RUN.
```

C9393.cob 11: JMN9393I-W (STD)ASSIGN句中のPRINTER指定は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.91 JMN9501I-W

(@1@)ポインタ修飾子は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```
[P9501.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STDH)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9501.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 BASED-STORAGE SECTION.
000007 01 WBUF PIC X(20).
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 WPX POINTER.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 MOVE LOW-VALUE TO WPX->WBUF
000012 END PROGRAM P9501.
```

P9501.cob 6: JMN9119I-W (STD)基底場所節は共通範囲外です。処理を続行します。

P9501.cob 9: JMN9116I-W (STD)USAGE句のPOINTER指定は共通範囲外です。処理を続行します。

P9501.cob 11: JMN9501I-W (STD)ポインタ修飾子は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.92 JMN9502I-W

(@1@)関数名 @2@は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

@2@ : ADDR, LENG

例題

```
[C9502.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(SIA)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9502.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 WBUF PIC X(20).
000008 01 WPX POINTER.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 MOVE FUNCTION ADDR(WBUF) TO WPX.
```

C9502.cob 8: JMN9116I-W (SIA)USAGE句のPOINTER指定は共通範囲外です。処理を続行します。

C9502.cob 10: JMN9503I-W (SIA)この関数名は共通範囲外です。処理を続行します。

C9502.cob 10: JMN9502I-W (SIA)関数名ADDRは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.93 JMN9503I-W

(@1@)この関数名は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```
[C9503.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9503.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 A PIC X(21).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010 MOVE FUNCTION WHEN-COMPILED TO A.
000011 DISPLAY A.
000012 STOP RUN.
```

C9503.cob 10: JMN9503I-W (STD)この関数名は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.94 JMN9504I-W

(@1@)表意定数NULLは共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```
[P9504.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDH)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9504.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 WPTR POINTER.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010 SET WPTR TO NULL
```

P9504.cob 7: JMN9116I-W (STD)USAGE句のPOINTER指定は共通範囲外です。処理を続行します。

P9504.cob 10: JMN9504I-W (STD)表意定数NULLは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.95 JMN9506I-W

(@1@)画面節に書かれたデータ名は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```
[P9506.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9506.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
```

```

000007 01 REC-NUM-W PIC 9(5) VALUE 1.
000008 01 REC-NAME-W PIC X(20) VALUE "A".
000009 01 REC-DATA-W PIC X(10) VALUE "REC-NAME".
000010 SCREEN SECTION.
000011 01 REC01.
000012 02 REC-NUM PIC 9(5) FROM REC-NUM-W.
000013 02 REC-NAME PIC X(20) FROM REC-NAME-W.
000014 02 REC-DATA PIC X(10) FROM REC-DATA-W.
000015 PROCEDURE DIVISION.
000016 P-START.
000017 STOP RUN.

```

P9506.cob 11: JMN9506I-W (STD)画面節に書かれたデータ名は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.96 JMN9507I-W

(@1@)ファイル識別名のASは共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA

例題

```

[P9507.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(SIA)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9507.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007 SELECT IN-FILE
000008 ASSIGN TO AS-IND.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 FD IN-FILE.
000012 01 REC01 PIC 9(5).
000013 01 REC02 PIC 9(5).
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015 P-START.
000016 OPEN INPUT IN-FILE.
000017 CLOSE IN-FILE.
000018 STOP RUN.

```

P9507.cob 8: JMN9507I-W (SIA)ファイル識別名のASは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.97 JMN9900I-E

(@1@)OSIVシステムでは、自由形式の正書法はサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

例題

```

[P9900.cob]
@OPTIONS SRF(FREE), FLAGSW(GSS)
IDENTIFICATION DIVISION.
PROGRAM-ID. P9900.
ENVIRONMENT DIVISION.
DATA DIVISION.
WORKING-STORAGE SECTION.
01 F0001.

```



```
02 F00-NO PIC X(5).
02 F00-NAME PIC X(20).
02 F00-DATA PIC X(50).
PROCEDURE DIVISION.
P-START.
STOP RUN.
```

P9900.cob 0: JMN9900I-W (GSS)OSIVシステムでは、自由形式の正書法はサポートしていません。

2.8.98 JMN9901I-E

(@1@)OSIVシステムのCOBOL文字集合にない文字を使用しています。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

例題

```
[P9901.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9901.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 DATA_1 PIC X.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 END PROGRAM P9901.
```

P9901.cob 7: JMN1376I-S レベル番号'01'の直後に許されない語'DATA'が指定されています。このデータ記述項を無名項目とみなします。

P9901.cob 7: JMN2222I-S PICTURE句がありません。PICTURE 9が指定されたものとみなします。

P9901.cob 7: JMN9901I-E (GSS)OSIVシステムのCOBOL文字集合にない文字を使用しています。

P9901.cob 7: JMN1041I-W 文字列の後には、分離符がなければなりません。分離符があるものとみなします。

P9901.cob 7: JMN1103I-W 終止符がありません。終止符があるものとみなします。

P9901.cob 7: JMN1149I-W レベル番号01または77は、A領域から指定しなければなりません。A領域から指定されたものとみなします。

2.8.99 JMN9902I-E

(@1@)OSIVシステムでは、@2@の長さは8文字以内でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

@2@ : プログラム名、入口名、原文名、登録集名(登録句)

例題

```
[P9902.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9902.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 ENTRY "ENTRY00001".
000009 END PROGRAM P9902.
```

P9902.cob 8: JMN9902I-E (GSS)OSIVシステムでは、入口名の長さは8文字以内でなければなりません。

2.8.100 JMN9903I-E

(@1@)OSIVシステムでは、@2@は英字で始まり英数字だけからなるものでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

@2@ : プログラム名、入口名、原文名、登録集名(登録句)

例題

```
[P9903.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9903.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 ENTRY "入口名"
000009 END PROGRAM P9903.
```

P9903.cob 8: JMN9903I-E (GSS)OSIVシステムでは、入口名は英字で始まり英数字だけからなるものでなければなりません。

2.8.101 JMN9904I-W

(@1@)@2@にハイフンが含まれています。OSIVシステムでは、ハイフンを'#'にみなします。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

@2@ : プログラム名、入口名、原文名、登録集名(登録句)

例題

```
[P9904.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9904.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 ENTRY "ENTRY-1"
000009 END PROGRAM P9904.
```

P9904.cob 8: JMN9904I-W (GSS)入口名にハイフンが含まれています。OSIVシステムでは、ハイフンを'#'にみなします。

2.8.102 JMN9905I-E

(@1@)OSIVシステムでは、原文名定数はサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

例題

```
[P9905.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```
000003 PROGRAM-ID.    P9905.
000004 ENVIRONMENT    DIVISION.
000005 DATA           DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007     COPY "CPNAME".
000008 PROCEDURE       DIVISION.
000009 END PROGRAM      P9905.
```

P9905.cob 7: JMN9905I-E (GSS)OSIVシステムでは、原文名定数はサポートしていません。

2.8.103 JMN9906I-E

(@1@)OSIVシステムでは、プログラムの外部名はサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

例題

```
[P9906.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.    P9906 AS "外部名".
000004 ENVIRONMENT    DIVISION.
000005 DATA           DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE       DIVISION.
000008 END PROGRAM      P9906.
```

P9906.cob 3: JMN9903I-E (GSS)OSIVシステムでは、プログラム名は英字で始まり英数字だけからなるものでなければなりません。

P9906.cob 3: JMN9906I-E (GSS)OSIVシステムでは、プログラムの外部名はサポートしていません。

2.8.104 JMN9907I-E

(@1@)OSIVシステムでは、引用符文字は翻訳オプションAPOST/QUOTEの指定に従わなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

例題

```
[P9907.cob]
000001 @OPTIONS QUOTE, FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.    P9907.
000004 ENVIRONMENT    DIVISION.
000005 DATA           DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 WDA1         PIC X.
000008 01 WDA2         PIC X.
000009 PROCEDURE       DIVISION.
000010     MOVE "A" TO WDA1.
000011     MOVE 'B' TO WDA1.
000012 END PROGRAM      P9907.
```

P9907.cob 11: JMN9907I-E (GSS)OSIVシステムでは、引用符文字は翻訳オプションAPOST/QUOTEの指定に従わなければなりません。

2.8.105 JMN9908I-W

(@1@)日本語定数の中に日本語の文字に変換できない文字があります。変換できない文字をアンダスコアに置き換えます。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

例題

```
[P9908.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9908.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 Wnda PIC N(4).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 MOVE NX"C6FCCBDCB8EC" TO Wnda
000010 END PROGRAM P9908.
```

P9908.cob 9: JMN9908I-W (GSS)日本語定数の中に日本語の文字に変換できない文字があります。変換できない文字をアンダスコアに置き換えます。

2.8.106 JMN9909I-E

(@1@)OSIVシステムでは、機能名 '@2@' はサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

@2@ : 各機能名(コード指定)

例題

```
[P9909.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9909.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007 SYSERR IS EOUT.
000008 DATA DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 END PROGRAM P9909.
```

P9909.cob 7: JMN9909I-E (GSS)OSIVシステムでは、機能名 'SYSERR' はサポートしていません。

2.8.107 JMN9910I-E

(@1@)OSIVシステムでは、@2@関数はサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

@2@ : 関数名(コード指定)

例題

```
[P9910.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000003 PROGRAM-ID.      P9910.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 WDATE        PIC X(20).
000008 01 WANS         PIC S9(2)V999.
000009 01 WANGLE       PIC S9(2)V999.
000010 PROCEDURE       DIVISION.
000011     MOVE FUNCTION CURRENT-DATE TO WDATE
000012     COMPUTE WANS = FUNCTION SIN(WANGLE)
000013 END PROGRAM      P9910.

```

P9910.cob 12: JMN9910I-E (GSS)OSIVシステムでは、FUNCTION SIN関数はサポートしていません。

2.8.108 JMN9911I-E

(@1@)OSIVシステムでは、連結式はサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

例題

```

[P9911.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9911.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE       DIVISION.
000008     DISPLAY "P" & "9911".
000009 END PROGRAM      P9911.

```

P9911.cob 8: JMN9911I-E (GSS)OSIVシステムでは、連結式はサポートしていません。

2.8.109 JMN9912I-E

(@1@)OSIV COBOL85では、オブジェクト指向機能の@2@はサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

@2@ : クラス定義、メソッド定義、リポジトリ段落(登録句)

例題

```

[P9912.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9912.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 CONFIGURATION   SECTION.
000006 REPOSITORY.
000007     CLASS FJBASE.
000008 DATA            DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 PROCEDURE       DIVISION.
000011 END PROGRAM      P9912.

```

P9912.cob 6: JMN9912I-E (GSS)OSIV COBOL85では、オブジェクト指向機能のリポジトリ段落はサポートしていません。

2.8.110 JMN9913I-E

(@1@)OSIVシステムでは、見出し部の見出しを省略することはできません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

例題

```
[P9913.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 PROGRAM-ID.    P9913.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE      DIVISION.
000007 END PROGRAM    P9913.
```

P9913.cob 0: JMN9913I-E (GSS)OSIVシステムでは、見出し部の見出しを省略することはできません。

2.8.111 JMN9914I-E

(@1@)OSIVシステムでは、@2@句はサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

@2@ : CURSOR、CRT STATUS、WITH LOCK(文字列)

例題

```
[P9914.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.    P9914.
000004 ENVIRONMENT    DIVISION.
000005 CONFIGURATION  SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007     CURSOR IS WCOL.
000008 DATA          DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 WCOL        PIC X(4).
000011 PROCEDURE      DIVISION.
000012 END PROGRAM    P9914.
```

P9914.cob 3: JMN9914I-E (GSS)OSIVシステムでは、CURSOR句はサポートしていません。

2.8.112 JMN9915I-E

(@1@)OSIVシステムでは、整列併合用ファイルは、ASSIGN句にファイル識別名指定以外は記述できません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

例題

```
[P9915.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.    P9915.
000004 ENVIRONMENT    DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT  SECTION.
```

```

000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT SRTFILE ASSIGN TO "SYS001".
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA          DIVISION.
000010 FILE           SECTION.
000011 SD SRTFILE.
000012 01 SRTREC.
000013 02                PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WFS1          PIC X(2).
000016 PROCEDURE      DIVISION.
000017 END PROGRAM     P9915.

```

P9915.cob 11: JMN9915I-E (GSS)OSIVシステムでは、整列併合用ファイルは、ASSIGN句にファイル識別名指定以外は記述できません。

P9915.cob 11: JMN2896I-I 整列併合用ファイルは、ASSIGN句にファイル識別名指定以外記述できません。書かれた通りに受け入れます。

2.8.113 JMN9916I-E

(@1@)OSIVシステムでは、行順ファイルはサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

例題

```

[P9916.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9916.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000008     ORGANIZATION IS LINE SEQUENTIAL.
000009 DATA          DIVISION.
000010 FILE           SECTION.
000011 FD SQFILE1.
000012 01 SQF1REC.
000013 02                PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 PROCEDURE      DIVISION.
000016 END PROGRAM     P9916.

```

P9916.cob 11: JMN9916I-E (GSS)OSIVシステムでは、行順ファイルはサポートしていません。

2.8.114 JMN9917I-E

(@1@)OSIV COBOL85では、画面節および画面データ記述項はサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

例題

```

[P9917.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9917.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.

```

```
000005 DATA          DIVISION.
000006 SCREEN          SECTION.
000007 01 SC1          VALUE "SC1".
000008 PROCEDURE       DIVISION.
000009 END PROGRAM     P9917.
```

P9917.cob 6: JMN9917I-E (GSS)OSIV COBOL85では、画面節および画面データ記述項はサポートしていません。

P9917.cob 7: JMN9506I-W (GSS)画面節に書かれたデータ名は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.115 JMN9918I-E

(@1@)OSIVシステムでは、名前付き定数(レベル番号78)はサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

例題

```
[P9918.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9918.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 78 NDC1          VALUE 10.
000008 PROCEDURE       DIVISION.
000009 END PROGRAM       P9918.
```

P9918.cob 7: JMN9918I-E (GSS)OSIVシステムでは、名前付き定数(レベル番号78)はサポートしていません。

2.8.116 JMN9919I-E

(@1@)OSIVシステムでは、型定義はサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

例題

```
[P9919.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9919.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 T1 TYPEDEF    PIC X.
000008 PROCEDURE       DIVISION.
000009 END PROGRAM       P9919.
```

P9919.cob 7: JMN9919I-E (GSS)OSIVシステムでは、型定義はサポートしていません。

2.8.117 JMN9920I-E

(@1@)OSIVシステムでは、USAGE句の@2@指定はサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

@2@ : OBJECT REFERENCE、PROCEDURE-POINTER、COMP-5

例題

```
[P9920.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9920.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 WPPX PROCEDURE-POINTER.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 END PROGRAM P9920.
```

P9920.cob 7: JMN9920I-E (GSS)OSIVシステムでは、USAGE句のPROCEDURE-POINTER指定はサポートしていません。

2.8.118 JMN9921I-E

(@1@)OSIVシステムでは、手続き部見出しの@2@指定はサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

@2@ : WITH, RETURNING(コード指定)

例題

```
[P9921.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9921.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 LINKAGE SECTION.
000007 01 LK1 PIC S9(4) BINARY.
000008 PROCEDURE DIVISION
000009 RETURNING LK1.
000010 END PROGRAM P9921.
```

P9921.cob 8: JMN9921I-E (GSS)OSIVシステムでは、手続き部見出しのRETURNING指定はサポートしていません。

2.8.119 JMN9922I-E

(@1@)OSIVシステムでは、@2@文はサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

@2@ : EXIT PARAGRAPH, EXIT SECTION, UNLOCK

例題

```
[P9922.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9922.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 PERFORM P1.
000009 P1 SECTION.
000010 EXIT SECTION.
000011 END PROGRAM P9922.
```

P9922.cob 10: JMN9922I-E (GSS)OSIVシステムでは、EXIT SECTION文はサポートしていません。

2.8.120 JMN9923I-E

(@1@)OSIV COBOL85では、@3@文の@2@指定はサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW
@2@ : WITH LOCK、PREVIOUS、RETURNING
@3@ : ENTRY、WITH、OPEN、READ

例題

```
[P9923.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9923.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 RT-ITEM PIC X.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 CALL "S9923" RETURNING RT-ITEM.
000010 END PROGRAM P9923.
```

P9923.cob 9: JMN9923I-E (GSS)OSIV COBOL85では、CALL文のRETURNING指定はサポートしていません。

2.8.121 JMN9924I-E

(@1@)OSIVシステムでは、呼び名または機能名指定のACCEPT文では、一意名@2@は、固定長集団項目、英字、英数字または外部10進項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW
@2@ : 一意名

例題

```
[P9924.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9924.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 WBIN PIC S9(9) BINARY.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 ACCEPT WBIN
000010 END PROGRAM P9924.
```

P9924.cob 9: JMN9924I-E (GSS)OSIVシステムでは、呼び名または機能名指定のACCEPT文では、一意名WBINは、固定長集団項目、英字、英数字または外部10進項目でなければなりません。

2.8.122 JMN9925I-E

(@1@)OSIVシステムでは、スクリーン機能の@2@文をサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

@2@ : ACCEPT, DISPLAY

例題

```
[P9925.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9925.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 WDAT PIC X(10).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 ACCEPT WDAT
000010 AT 1010
000011 END PROGRAM P9925.
```

P9925.cob 9: JMN9925I-E (GSS)OSIVシステムでは、スクリーン機能のACCEPT文をサポートしていません。

2.8.123 JMN9926I-E

(@1@)OSIVシステムでは、@2@文に指定するプログラム名は8文字以内でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

@2@ : CALL、CANCEL(コード指定)

例題

```
[P9926.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9926.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 CALL "PGM9926SUB"
000009 END PROGRAM P9926.
```

P9926.cob 8: JMN9926I-E (GSS)OSIVシステムでは、CALL文に指定するプログラム名は8文字以内でなければなりません。

2.8.124 JMN9927I-E

(@1@)OSIVシステムでは、@2@は@3@文のプログラム名として不適切です。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

@2@ : 定数の値

@3@ : CALL、CANCEL(コード指定)

例題

```
[P9927.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9927.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE DIVISION.
```

```
000008 CALL "@PGM9926"  
000009 END PROGRAM P9927.
```

P9927.cob 8: JMN9927I-E (GSS)OSIVシステムでは、@PGM9926はCALL文のプログラム名として不適切です。

2.8.125 JMN9928I-W

(@1@)@2@文のプログラム名にハイフンが含まれています。OSIVシステムでは、ハイフンを'#'にみなします。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW
@2@ : CALL、CANCEL(コード指定)

例題

```
[P9928.cob]  
000001 @OPTIONS FLAGSW (GSS)  
000002 IDENTIFICATION DIVISION.  
000003 PROGRAM-ID. P9928.  
000004 ENVIRONMENT DIVISION.  
000005 DATA DIVISION.  
000006 WORKING-STORAGE SECTION.  
000007 PROCEDURE DIVISION.  
000008 CALL "PGM-9926"  
000009 END PROGRAM P9928.
```

P9928.cob 8: JMN9928I-W (GSS)CALL文のプログラム名にハイフンが含まれています。OSIVシステムでは、ハイフンを'#'にみなします。

2.8.126 JMN9929I-E

(@1@)OSIVシステムでは、字類条件のJAPANESE検査はサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

例題

```
[P9929.cob]  
000001 @OPTIONS FLAGSW (GSS)  
000002 IDENTIFICATION DIVISION.  
000003 PROGRAM-ID. P9929.  
000004 ENVIRONMENT DIVISION.  
000005 DATA DIVISION.  
000006 WORKING-STORAGE SECTION.  
000007 01 WDX PIC X(2).  
000008 PROCEDURE DIVISION.  
000009 IF WDX IS JAPANESE THEN  
000010 DISPLAY "OK"  
000011 END-IF  
000012 END PROGRAM P9929.
```

P9929.cob 9: JMN9929I-E (GSS)OSIVシステムでは、字類条件のJAPANESE検査はサポートしていません。

2.8.127 JMN9931I-E

(@1@)OSIVシステムでは、START文のこの比較演算子はサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

例題

```
[P9931.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9931.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007 SELECT IXFILE1 ASSIGN TO SYS001
000008 ORGANIZATION IS INDEXED
000009 RECORD KEY IS WRKY1.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD IXFILE1.
000013 01 IXF1REC.
000014 02 WRKY1 PIC X(2).
000015 02 PIC X(80).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 PROCEDURE DIVISION.
000018 START IXFILE1
000019 KEY IS LESS THAN WRKY1
000020 END PROGRAM P9931.
```

P9931.cob 18: JMN9931I-E (GSS)OSIVシステムでは、START文のこの比較演算子はサポートしていません。

2.8.128 JMN9932I-E

(@1@)OSIVシステムでは、@2@はサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW
@2@ : 16進数字定数

例題

```
[P9932.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9932.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 WNUM PIC S9(9) BINARY.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 MOVE H"FFFF" TO WNUM.
000010 END PROGRAM P9932.
```

P9932.cob 9: JMN9932I-E (GSS)OSIVシステムでは、16進数字定数はサポートしていません。

2.8.129 JMN9987I-I

文字定数の中にASCII文字以外の文字が含まれています。

2.8.130 JMN9999I-S

このシステムでは、'@1@'は使用できません。

埋め込みの説明

@1@ : SQL機能, 他システム固有の組込み関数名, スクリーン操作のACCEPT/DISPLAY文

2.9 ODBC

ここでは、翻訳時に出力されるSQL文の診断メッセージについて説明します。

2244	7600	8004	8005	8008	8009	8016	8052	8100	8112
8116	8308	8309	8310	8323	8325	8326	8327	8328	8329
8340	8356	8386	8408	8409	8410	8430	8431	8432	8433
8434	8435	8476	8477	8478	8486	8499	8503	8601	8718
8725	8766	8772	8773	8956	8957	8992	8994		

2.9.1 ODBC-2244E

標識変数"@1@"のデータ型に誤りがあります。

埋め込みの説明

@1@ : 標識変数名

例題

```
[SP2244.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP2244.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM  PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM  PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE  PIC X(5).
000010 01 SQLMSG    PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1  PIC S9(9) COMP-5.
000012 01 VAR-IND2  PIC S9(4) COMP-3.
000013     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     EXEC SQL
000016         CALL SPROCEDRE.SELECT1(:PRDCTNUM:VAR-IND1)
000017     END-EXEC
000018     EXEC SQL
000019         CALL SPROCEDRE.SELECT2(:PRDCTNAM:VAR-IND2)
000020     END-EXEC
000021 .
```

SP2244.cob 16: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-2244E 標識変数"VAR-IND1"のデータ型に誤りがあります。

SP2244.cob 19: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-2244E 標識変数"VAR-IND2"のデータ型に誤りがあります。

詳細な説明

標識変数は4桁の符号付き2進数字項目で定義してください。

2.9.2 ODBC-7600E

実行不可能なSQL文です。

例題

```
[SP7600.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP7600.
000003 DATA            DIVISION.
```

```

000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM  PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM  PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE  PIC X(5).
000010 01 SQLMSG    PIC X(128).
000011 01 VAR-IND   PIC S9(4) COMP-5.
000012     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     EXEC SQL
000015         CREATE TABLE STOCK (PRDCT-NO INTEGER, PRDCT-NM CHAR(20))
000016     END-EXEC
000017     EXEC SQL
000018         ALLOCATE DESCRIPTOR SQLDA1 WITH MAX 25
000019     END-EXEC
000020 .

```

SP7600.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-7600E 実行不可能なSQL文です。

SP7600.cob 18: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-7600E 実行不可能なSQL文です。

詳細な説明

このコンパイラでは扱えないSQL文が記述されました。

2.9.3 ODBC-8004E

“@1@”の前後で括弧の対応がとれていません。

埋め込みの説明

@1@ : スタアドプロシージャ名

例題

```

[SP8004.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8004.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM  PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM  PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE  PIC X(5).
000010 01 SQLMSG    PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1  PIC S9(4) COMP-5.
000012     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     EXEC SQL
000015         CALL SPROCEDRE.SELECT1(
000016     END-EXEC
000017     EXEC SQL
000018         CALL SPROCEDRE.SELECT2(:PRDCTNUM:VAR-IND1
000019     END-EXEC
000020 .

```

SP8004.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8004E “SPROCEDRE.SELECT1”の前後で括弧の対応がとれていません。

SP8004.cob 18: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8004E “SPROCEDRE.SELECT2”の前後で括弧の対応がとれていません。

詳細な説明

CALL文の引数/パラメタの括弧の対応がとれていません。括弧の対応を確認してください。

2.9.4 ODBC-8005E

各国語文字列定数の形式に誤りがあります。

例題

```
[SP8005.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8005.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM      PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM     PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE     PIC X(5).
000010 01 SQLMSG       PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1     PIC S9(4) COMP-5.
000012     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     EXEC SQL
000015         SELECT PRDCT-NO FROM STOCK WHERE PRDCT-NM = '富士通 '
000016     END-EXEC
000017     .
```

SP8005.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8005E 各国語文字列定数の形式に誤りがあります。

詳細な説明

各国語文字列定数の記述に誤りがあります。詳しくはCOBOL文法書の構文規則を参照してください。

2.9.5 ODBC-8008E

埋込み変数名の形式に誤りがあります。

例題

```
[SP8008.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8008.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM      PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM     PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE     PIC X(5).
000010 01 SQLMSG       PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1     PIC S9(4) COMP-5.
000012     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     EXEC SQL
000015         SELECT PRDCT-NO FROM STOCK WHERE :PRDCTNAM(1:4) = 'TIRE '
000016     END-EXEC
000017     .
```

SP8008.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8008E 埋込み変数名の形式に誤りがあります。

詳細な説明

ホスト変数を部分参照することはできません。

2.9.6 ODBC-8009E

文字列定数の形式に誤りがあります。

例題

```
[SP8009.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8009.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM      PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM     PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE     PIC X(5).
000010 01 SQLMSG       PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1     PIC S9(4) COMP-5.
000012     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     EXEC SQL
000015         SELECT PRDCT-NO FROM STOCK WHERE :PRDCTNAM = ''
000016     END-EXEC
000017     .
```

SP8009.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8009E 文字列定数の形式に誤りがあります。

詳細な説明

文字列定数に文字列がありません。文字列がない場合は無効となります。

2.9.7 ODBC-8016E

C言語注釈を表す"/*", "*/"の記述は許されていません。

例題

```
[SP8016.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8016.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM      PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM     PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE     PIC X(5).
000010 01 SQLMSG       PIC X(128).
000011 01 VAR-IND     PIC S9(4) COMP-5.
000012     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     EXEC SQL
000015         /* COMMENT */
000016         CALL SPROCEDRE.SELECT1(:PRDCTNUM:VAR-IND)
000017     END-EXEC
000018     .
```

SP8016.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8016E C言語注釈を表す"/*", "*/"の記述は許されていません。

詳細な説明

C言語注釈を表す"/*", "*/"の記述はできません。SQL文中の注釈は標識領域に"*)"を記述するかまたは注釈導入子(--)を使用します。詳しくはCOBOL文法書を参照してください。

2.9.8 ODBC-8052E

区切り識別子"@1@"の形式に誤りがあります。

埋め込みの説明

@1@ : 区切り識別子

例題

```
[SP8052.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8052.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM  PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE PIC X(5).
000010 01 SQLMSG   PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1 PIC S9(4) COMP-5.
000012     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     EXEC SQL
000015         SELECT "" FROM STOCK WHERE :PRDCTNAM = 'TIRE'
000016     END-EXEC
000017 .
```

SP8052.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8052E 区切り識別子""の形式に誤りがあります。

詳細な説明

区切り識別子に文字列がありません。文字列がない場合は無効となります。

2.9.9 ODBC-8100E

入力文は不当です。

例題

```
[SP8100.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8100.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM  PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE PIC X(5).
000010 01 SQLMSG   PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1 PIC S9(4) COMP-5.
000012     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     EXEC SQL
000015         DECLARE C1 CURSOR FOR
000016         SELECT PNO FROM STOCK WHERE :PRDCTNAM = 'TIRE'
000017     END-EXEC
```

```

000018 EXEC SQL OPEN C1 END-EXEC.
000019 EXEC SQL FETCH C1 :PRDCTNUM END-EXEC.
000020 DISPLAY "Product NO." PRDCTNUM
000021 EXEC SQL CLOSE C1 END-EXEC.
000022 .

```

SP8100.cob 19: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8100E 入力文は不当です。

詳細な説明

該当する行のSQL文に以下の誤りが考えられます。

- FETCH文にINTO句の指定がない
- PREPARE文にFROM句の指定がない

2.9.10 ODBC-8112E

変数指定の形式に誤りがあります。

例題

```

[SP8112.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. SP8112.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE PIC X(5).
000010 01 SQLMSG PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1 PIC S9(4) COMP-5.
000012 01 SQLSTMT PIC X(500).
000013 EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015 MOVE "SELECT PNO FROM STOCK WHERE PNAME = ?" TO SQLSTMT
000016 EXEC SQL PREPARE STM1 FROM :SQLSTMT END-EXEC
000017 EXEC SQL EXECUTE STM1 USING 'TIRE' END-EXEC
000018 .

```

SP8112.cob 17: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8112E 変数指定の形式に誤りがあります。

詳細な説明

USING句にはホスト変数を指定してください。

2.9.11 ODBC-8116E

引数リストの形式に誤りがあります。

例題

```

[SP8116.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. SP8116.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE PIC X(5).

```

```

000010 01 SQLMSG      PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1    PIC S9(4) COMP-5.
000012      EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014      EXEC SQL
000015          CALL SPROCEDRE. SELECT1 (PRDCTNUM)
000016      END-EXEC
000017      EXEC SQL
000018          CALL SPROCEDRE. SELECT2 (:PRDCTNUM.)
000019      END-EXEC
000020      .

```

SP8116.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8116E 引数リストの形式に誤りがあります。

SP8116.cob 18: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8116E 引数リストの形式に誤りがあります。

詳細な説明

該当する行のSQL文に以下の誤りが考えられます。

- CALL文の引数がホスト変数または定数ではない
- CALL文の引数リストが分離符でおわっている

2.9.12 ODBC-8308E

“@1@”の前後にカーソル名が指定されていません。

埋め込みの説明

```
@1@ : DECLARE
```

例題

```

[SP8308.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8308.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005      EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM      PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM      PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE      PIC X(5).
000010 01 SQLMSG       PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1     PIC S9(4) COMP-5.
000012      EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014      EXEC SQL
000015          DECLARE CURSOR C1 FOR
000016              SELECT PNO FROM STOCK WHERE :PRDCTNAM = 'TIRE'
000017      END-EXEC
000018      .

```

SP8308.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8308E “DECLARE”の前後にカーソル名が指定されていません。

詳細な説明

該当するSQL文に以下の誤りが考えられます。

- カーソル宣言でDECLAREの直後にカーソル名の指定がない
- CURRENT OF指定にカーソル名の指定がない

カーソル名を指定してください。

2.9.13 ODBC-8309E

“@1@”の前後にSQL文識別子が指定されていません。

埋め込みの説明

@1@ : EXECUTE

例題

```
[SP8309.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8309.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM  PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM  PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE  PIC X(5).
000010 01 SQLMSG    PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1  PIC S9(4) COMP-5.
000012 01 SQLSTMT   PIC X(500).
000013     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     MOVE "SELECT PNO FROM STOCK WHERE PNAME = ?" TO SQLSTMT
000016     EXEC SQL PREPARE STM1 FROM :SQLSTMT END-EXEC
000017     EXEC SQL EXECUTE USING :PRDCTNAM END-EXEC
000018     .
```

SP8309.cob 17: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8309E “EXECUTE”の前後にSQL文識別子が指定されていません。

詳細な説明

EXECUTEの直後にSQL文識別子の指定がありません。SQL文識別子を指定してください。

2.9.14 ODBC-8310E

“@1@”の前後にプロシージャ名が指定されていません。

埋め込みの説明

@1@ : CALL

例題

```
[SP8310.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8310.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM  PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM  PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE  PIC X(5).
000010 01 SQLMSG    PIC X(128).
000011 01 VAR-IND  PIC S9(4) COMP-5.
000012     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     EXEC SQL
000015     CALL (:PRDCTNUM:VAR-IND)
```

```
000016 END-EXEC
000017 .
```

SP8310.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8310E “CALL”の前後にプロシージャ名が指定されていません。

詳細な説明

CALLの直後にストアードプロシージャ名が指定されていません。ストアードプロシージャ名を指定してください。

2.9.15 ODBC-8323E

“@1@”の前後に左括弧が指定されていません。

埋め込みの説明

@1@ : ストアドプロシージャ名

例題

```
[SP8323.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. SP8323.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE PIC X(5).
000010 01 SQLMSG PIC X(128).
000011 01 VAR-IND PIC S9(4) COMP-5.
000012 EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014 EXEC SQL
000015 CALL SELECT1 :PRDCTNUM:VAR-IND)
000016 END-EXEC
000017 .
```

SP8323.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8323E “SELECT1”の前後に左括弧が指定されていません。

詳細な説明

引数リストの左括弧がありません。括弧の対応を確認してください。

2.9.16 ODBC-8325E

“@1@”の前後にコネクション相手が指定されていません。

埋め込みの説明

@1@ : CONNECT, TO

例題

```
[SP8325.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. SP8325.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE PIC X(5).
000010 01 SQLMSG PIC X(128).
```

```

000011 01 VAR-IND      PIC S9(4) COMP-5.
000012      EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014      EXEC SQL CONNECT DEFAULT END-EXEC
000015      EXEC SQL CONNECT TO END-EXEC
000016      EXEC SQL CALL SELECT1(:PRDCTNUM) END-EXEC
000017      .

```

SP8325.cob 14: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8325E “CONNECT”の前後にコネクション相手が指定されていません。

SP8325.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8325E “TO”の前後にコネクション相手が指定されていません。

詳細な説明

該当する行のSQL文に以下の誤りが考えられます。

- ・ CONNECT文にTO指定がない
- ・ CONNECT文のTO指定にコネクション相手の指定がない

2.9.17 ODBC-8326E

“@1@”の前後にコネクション対象が指定されていません。

埋め込みの説明

@1@ : SET CONNECTION

例題

```

[SP8326.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8326.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005      EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM      PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM     PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE     PIC X(5).
000010 01 SQLMSG       PIC X(128).
000011 01 SQLCON       PIC X(30).
000012 01 VAR-IND     PIC S9(4) COMP-5.
000013      EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015      EXEC SQL SET CONNECTION END-EXEC
000016      EXEC SQL CALL SELECT1(:PRDCTNUM) END-EXEC
000017      .

```

SP8326.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8326E “SET CONNECTION”の前後にコネクション対象が指定されていません。

詳細な説明

SET CONNECTION文にコネクション対象が指定されていません。コネクション対象を指定してください。

2.9.18 ODBC-8327E

“@1@”の前後に切断対象が指定されていません。

埋め込みの説明

@1@ : DISCONNECT

例題

```
[SP8327.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8327.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM      PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM     PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE     PIC X(5).
000010 01 SQLMSG       PIC X(128).
000011 01 VAR-IND      PIC S9(4) COMP-5.
000012     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     EXEC SQL CONNECT TO DEFAULT END-EXEC
000015     EXEC SQL CALL SELECT1(:PRDCTNUM) END-EXEC
000016     EXEC SQL DISCONNECT END-EXEC
000017 .
```

SP8327.cob 16: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8327E “DISCONNECT”の前後に切断対象が指定されていません。

詳細な説明

DISCONNECT文に切断対象の指定がありません。切断対象を指定してください。

2.9.19 ODBC-8328E

“@1@”の前後にコネクション名が指定されていません。

埋め込みの説明

@1@ : AS

例題

```
[SP8328.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8328.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM      PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM     PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE     PIC X(5).
000010 01 SQLMSG       PIC X(128).
000011 01 SQLCON      PIC X(30).
000012 01 VAR-IND      PIC S9(4) COMP-5.
000013     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     EXEC SQL CONNECT TO :SQLCON AS END-EXEC
000016     EXEC SQL CALL SELECT1(:PRDCTNUM) END-EXEC
000017 .
```

SP8328.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8328E “AS”の前後にコネクション名が指定されていません。

詳細な説明

CONNECT文のAS指定にコネクション名の指定がありません。AS指定にコネクション名を指定してください。

2.9.20 ODBC-8329E

“@1@”の前後に利用者が指定されていません。

埋め込みの説明

@1@ : USER

例題

```
[SP8329.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8329.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM  PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM  PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE  PIC X(5).
000010 01 SQLMSG    PIC X(128).
000011 01 SQLCON    PIC X(30).
000012 01 VAR-IND   PIC S9(4) COMP-5.
000013     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     EXEC SQL CONNECT TO :SQLCON USER END-EXEC
000016     EXEC SQL CALL SELECT1(:PRDCTNUM) END-EXEC
000017 .
```

SP8329.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8329E “USER”の前後に利用者が指定されていません。

詳細な説明

CONNECT文のUSER指定に利用者の指定がありません。USER指定に利用者を指定してください。

2.9.21 ODBC-8340E

“@1@”の前後に相手指定が指定されていません。

埋め込みの説明

@1@ : 句

例題

```
[SP8340.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8340.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM  PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM  PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE  PIC X(5).
000010 01 SQLMSG    PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1  PIC S9(4) COMP-5.
000012     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     EXEC SQL
000015         DECLARE C1 CURSOR FOR
000016         SELECT PNO FROM STOCK WHERE :PRDCTNAM = 'TIRE'
000017     END-EXEC
000018     EXEC SQL OPEN C1 END-EXEC.
000019     EXEC SQL FETCH C1 INTO END-EXEC.
000020     DISPLAY "Product NO." PRDCTNUM
```

```
000021 EXEC SQL CLOSE C1 END-EXEC.  
000022 .
```

SP8340.cob 19: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8340E “INTO”の前後に相手指定が指定されていません。

詳細な説明

メッセージに出力された句に対して相手指定の記述がありません。句に値指定の記述をしてください。

2.9.22 ODBC-8356E

問合せ式又は文識別子が指定されていません。

例題

```
[SP8356.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. SP8356.  
000003 DATA DIVISION.  
000004 WORKING-STORAGE SECTION.  
000005 EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.  
000006 01 STOCK-TABLE.  
000007 02 PRDCTNUM PIC S9(4) COMP-5.  
000008 02 PRDCTNAM PIC N(10).  
000009 01 SQLSTATE PIC X(5).  
000010 01 SQLMSG PIC X(128).  
000011 01 VAR-IND1 PIC S9(4) COMP-5.  
000012 EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.  
000013 PROCEDURE DIVISION.  
000014 EXEC SQL  
000015 DECLARE C1 CURSOR FOR  
000016 END-EXEC  
000017 .
```

SP8356.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8356E 問合せ式又は文識別子が指定されていません。

詳細な説明

該当する行のSQL文に以下の誤りが考えられます。

- ・ カーソル宣言のカーソル指定に問合せ式の指定がない
- ・ 動的カーソル宣言のSQL文識別子の指定がない

2.9.23 ODBC-8386E

“@1@”の前後にSQL文変数が指定されていません。

埋め込みの説明

@1@ : FROM, IMMEDIATE

例題

```
[SP8386.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. SP8386.  
000003 DATA DIVISION.  
000004 WORKING-STORAGE SECTION.  
000005 EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.  
000006 01 STOCK-TABLE.  
000007 02 PRDCTNUM PIC S9(4) COMP-5.  
000008 02 PRDCTNAM PIC N(10).  
000009 01 SQLSTATE PIC X(5).  
000010 01 SQLMSG PIC X(128).
```

```

000011 01 VAR-IND1      PIC S9(4) COMP-5.
000012 01 SQLSTMT      PIC X(500).
000013      EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015      MOVE "SELECT PNO FROM STOCK WHERE PNAME = ?" TO SQLSTMT
000016      EXEC SQL PREPARE STM1 FROM SQLSTMT END-EXEC
000017      EXEC SQL EXECUTE IMMEDIATE STM1 USING :PRDCTNAM END-EXEC
000018      .

```

SP8386.cob 16: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8386E “FROM”の前後にSQL文変数が指定されていません。

SP8386.cob 17: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8386E “IMMEDIATE”の前後にSQL文変数が指定されていません。

詳細な説明

該当する行のSQL文に以下の誤りが考えられます。

- PREPARE文のFROM指定に指定するSQL文変数がホスト変数ではない
- EXECUTE IMMEDIATE文に指定するSQL文変数がホスト変数ではない

2.9.24 ODBC-8408E

カーソル名“@1@”の後に誤った指定があります。

埋め込みの説明

@1@ : カーソル名

例題

```

[SP8408.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8408.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005      EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM      PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM     PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE    PIC X(5).
000010 01 SQLMSG      PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1    PIC S9(4) COMP-5.
000012      EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014      EXEC SQL
000015          DECLARE C1 CURSOR FOR
000016              SELECT PNO FROM STOCK WHERE :PRDCTNAM = 'TIRE'
000017          END-EXEC
000018      EXEC SQL OPEN C1 END-EXEC.
000019      EXEC SQL FETCH C1 INTO :PRDCTNUM END-EXEC.
000020      DISPLAY "Product NO." PRDCTNUM
000021      EXEC SQL CLOSE C1 RELEASE END-EXEC.
000022      .

```

SP8408.cob 21: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8408E カーソル名“C1”の後に誤った指定があります。

詳細な説明

CLOSE文のカーソル名のあとに無効な語があります。

2.9.25 ODBC-8409E

SQL文識別子“@1@”の後に誤った指定があります.

埋め込みの説明

@1@ : SQL文識別子

例題

```
[SP8409.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8409.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM      PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM     PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE     PIC X(5).
000010 01 SQLMSG       PIC X(128).
000011 01 SQLSTMT     PIC X(128).
000012 01 VAR-IND1    PIC S9(4) COMP-5.
000013     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     MOVE "SELECT PNO FROM STOCK WHERE PNAME = ?" TO SQLSTMT
000016     EXEC SQL PREPARE STM1 FROM :SQLSTMT END-EXEC
000017     EXEC SQL DECLARE C1 CURSOR FOR STM1 FROM END-EXEC
000018     .
```

SP8409.cob 17: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8409E SQL文識別子“STM1”の後に誤った指定があります。

詳細な説明

該当する行のSQL文に以下の誤りが考えられます。

- ・ 動的カーソル宣言のSQL文識別子直後に無効な語がある
- ・ EXECUTE文のSQL文識別子直後に無効な語がある

2.9.26 ODBC-8410E

引数リストの後に誤った指定があります.

例題

```
[SP8410.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8410.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM      PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM     PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE     PIC X(5).
000010 01 SQLMSG       PIC X(128).
000011 01 VAR-IND    PIC S9(4) COMP-5.
000012 01 RTCD      PIC S9(4) COMP-5.
000013     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     EXEC SQL
000016     CALL SELECT1(:PRDCTNUM:VAR-IND) RETURNING RTCD
000017     END-EXEC
000018     .
```

SP8410.cob 16: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8410E 引数リストの後に誤った指定があります。

詳細な説明

CALL文の引数リストの右括弧の直後に無効な語があります。

2.9.27 ODBC-8430E

“@1@”文にFOR句の指定はできません。

埋め込みの説明

@1@ : SQL文

例題

```
[SP8430.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8430.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM PIC S9(4) COMP-5 OCCURS 3.
000008 02 PRDCTNAM PIC N(10)          OCCURS 3.
000009 01 SQLSTATE PIC X(5).
000010 01 SQLMSG PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1 PIC S9(4) COMP-5.
000012     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 01 CNT PIC S9(4) COMP-5.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     EXEC SQL
000016         DECLARE C1 CURSOR FOR
000017             SELECT PNO FROM STOCK WHERE PRDCTNAM = 'TIRE'
000018     END-EXEC
000019     EXEC SQL OPEN C1 END-EXEC
000020     EXEC SQL FOR 3 CALL PROC. FETCH1 END-EXEC
000021     EXEC SQL CLOSE C1 END-EXEC
000022     .
```

SP8430.cob 20: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8430E “CALL”文にFOR句の指定はできません。

詳細な説明

該当する行のSQL文はFOR句を指定することはできません。FOR句は、複数行指定ホスト変数または表指定ホスト変数を指定した以下のSQL文にだけ記述できます。

- SELECT文
- INSERT文
- FETCH文
- UPDATE文(探索)
- DELETE文(探索)
- EXECUTE文

2.9.28 ODBC-8431E

“@1@”文に誤ったSQL文変数の指定があります。

埋め込みの説明

@1@ : SQL文

例題

```
[SP8431.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8431.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM      PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM     PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE     PIC X(5).
000010 01 SQLMSG       PIC X(128).
000011 01 VAR-IND     PIC S9(4) COMP-5.
000012     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     EXEC SQL CONNECT TO DEFAULT END-EXEC
000015     EXEC SQL CALL SELECT1(:STOCK-TABLE) END-EXEC
000016 .
```

SP8431.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8431E “CALL”文に誤ったSQL文変数の指定があります。

詳細な説明

ホスト変数指定に単一系列指定のみが許されている箇所に対して単一系列指定以外のホスト変数が指定されています。

2.9.29 ODBC-8432E

FOR句の指定位置または指定方法に誤りがあります。

例題

```
[SP8432.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8432.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM      PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM     PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE     PIC X(5).
000010 01 SQLMSG       PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1    PIC S9(4) COMP-5.
000012     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     EXEC SQL
000015         DECLARE C1 CURSOR FOR
000016             SELECT PNO FROM STOCK WHERE :PRDCTNUM = 1
000017         END-EXEC
000018     EXEC SQL OPEN C1 END-EXEC.
000019     EXEC SQL FOR 3 FETCH C1 INTO :PRDCTNUM END-EXEC.
000020     DISPLAY "Product NO." PRDCTNUM
000021     EXEC SQL CLOSE C1 END-EXEC.
000022 .
```

SP8432.cob 19: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8432E FOR句の指定位置または指定方法に誤りがあります。

詳細な説明

該当する行のSQL文に以下の誤りが考えられます。

- FOR句の指定位置に誤りがある
- FOR句に指定した文のホスト変数の形式に誤り(単一系列指定)がある

2.9.30 ODBC-8433E

FOR句に指定された値がOCCURS句で指定されている反復回数を超えています。

例題

```
[SP8433.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8433.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM PIC S9(4) COMP-5 OCCURS 3.
000008 02 PRDCTNAM PIC N(10)          OCCURS 3.
000009 01 SQLSTATE   PIC X(5).
000010 01 SQLMSG    PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1  PIC S9(4) COMP-5.
000012     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 01 CNT       PIC S9(4) COMP-5.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     EXEC SQL
000016         DECLARE C1 CURSOR FOR
000017             SELECT PNO FROM STOCK WHERE PRDCTNAM = 'TIRE'
000018         END-EXEC
000019     EXEC SQL OPEN C1 END-EXEC
000020     EXEC SQL FOR 4 FETCH C1 INTO :PRDCTNUM END-EXEC
000021     EXEC SQL CLOSE C1 END-EXEC
000022     .
```

SP8433.cob 20: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8433E FOR句に指定された値がOCCURS句で指定されている反復回数を超えています。

詳細な説明

FOR句の指定回数が指定したSQL文のホスト変数のOCCURS句の反復回数を超えています。FOR句の指定回数は指定したSQL文のホスト変数のOCCURS句の反復回数以下でなくてはなりません。

2.9.31 ODBC-8434E

複数に指定されたホスト変数の指定形体が異なります。

例題

```
[SP8434.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8434.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE1.
000007 02 PRDCTNUM PIC S9(4) COMP-5 OCCURS 3.
000008 01 STOCK-TABLE2.
000009 02 PRDCTNAM PIC N(10).
000010 01 SQLSTATE   PIC X(5).
000011 01 SQLMSG    PIC X(128).
000012 01 VAR-IND1  PIC S9(4) COMP-5.
000013     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000014 01 CNT       PIC S9(4) COMP-5.
000015 PROCEDURE DIVISION.
000016     EXEC SQL
000017         SELECT PNO, PNAME INTO :STOCK-TABLE1, :STOCK-TABLE2
000018         FROM STOCK WHERE PRDCTNAM = 'TIRE'
```

```
000019 END-EXEC
000020 .
```

SP8434.cob 17: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8434E 複数に指定されたホスト変数の指定形体が異なります。

詳細な説明

SQL文中に複数指定されたホスト変数の指定形体が統一されていません。ホスト変数の指定形体を統一してください。

2.9.32 ODBC-8435E

ホスト変数に対応する標識変数の指定形体または指定数が誤っています。

例題

```
[SP8435.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. SP8435.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE PIC X(5).
000010 01 SQLMSG PIC X(128).
000011 01 VAR-IND PIC S9(4) COMP-5.
000012 EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014 EXEC SQL
000015 CALL SPROCEDRE. SELECT1 (:STOCK-TABLE:VAR-IND)
000016 END-EXEC
000017 .
```

SP8435.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8435E ホスト変数に対応する標識変数の指定形体または指定数が誤っています。

詳細な説明

標識変数の指定形体がホスト変数の指定形体と対応がとれていません。指定形体は同じでなければなりません。

2.9.33 ODBC-8476E

コネクション相手の後に誤った指定"@1@"があります。

埋め込みの説明

@1@ : 語

例題

```
[SP8476.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. SP8476.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE PIC X(5).
000010 01 SQLMSG PIC X(128).
000011 01 VAR-IND PIC S9(4) COMP-5.
000012 EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
```



```
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     EXEC SQL CONNECT TO DEFAULT AS END-EXEC
000015     EXEC SQL CALL SELECT1(:PRDCTNUM) END-EXEC
000016     .
```

SP8476.cob 14: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8476E コネクション相手の後に誤った指定"AS"があります。

詳細な説明

CONNECT文のDEFAULT指定の直後に無効な語があります。

2.9.34 ODBC-8477E

コネクション対象の後に誤った指定"@1@"があります。

埋め込みの説明

@1@ : 語

例題

```
[SP8477.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     SP8477.
000003 DATA           DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM    PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM   PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE   PIC X(5).
000010 01 SQLMSG    PIC X(128).
000011 01 VAR-IND   PIC S9(4) COMP-5.
000012     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     EXEC SQL SET CONNECTION DEFAULT FROM STM1 END-EXEC
000015     .
```

SP8477.cob 14: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8477E コネクション対象の後に誤った指定"FROM"があります。

詳細な説明

SET CONNECTION文のコネクション対象直後に無効な語があります。

2.9.35 ODBC-8478E

切断対象の後に誤った指定"@1@"があります。

埋め込みの説明

@1@ : 語

例題

```
[SP8478.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     SP8478.
000003 DATA           DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM    PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM   PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE   PIC X(5).
```

```

000010 01 SQLCON      PIC X(30).
000011 01 SQLMSG      PIC X(128).
000012 01 VAR-IND     PIC S9(4) COMP-5.
000013      EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015      EXEC SQL CONNECT TO :SQLCON END-EXEC
000016      EXEC SQL CALL SELECT1(:PRDCTNUM) END-EXEC
000017      EXEC SQL DISCONNECT :SQLCON RELEASE END-EXEC
000018      .

```

SP8478.cob 17: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8478E 切断対象の後に誤った指定"RELEASE"があります。

詳細な説明

DISCONNECT文の切断対象の直後に無効な語があります。

2.9.36 ODBC-8486E

SQL文変数の後に誤った指定があります。

例題

```

[SP8486.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8486.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005      EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM      PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM     PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE     PIC X(5).
000010 01 SQLMSG       PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1    PIC S9(4) COMP-5.
000012 01 SQLSTMT     PIC X(500).
000013      EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015      MOVE "SELECT PNO FROM STOCK WHERE PNAME = ?" TO SQLSTMT
000016      EXEC SQL PREPARE STM1 FROM :SQLSTMT ALL END-EXEC
000017      EXEC SQL EXECUTE IMMEDIATE :SQLSTMT USING :PRDCTNAM END-EXEC
000018      .

```

SP8486.cob 16: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8486E SQL文変数の後に誤った指定があります。

SP8486.cob 17: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8486E SQL文変数の後に誤った指定があります。

詳細な説明

該当する行のSQL文に以下の誤りが考えられます。

- PREPARE文のSQL文変数の直後に無効な語がある
- EXECUTE IMMEDIATE文のSQL文変数の直後に無効な語がある

2.9.37 ODBC-8499E

キーワード"@1@"の後に誤った指定があります。

埋め込みの説明

@1@ : COMMIT, ROLLBACK

例題

```
[SP8499.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8499.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM  PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM  PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE  PIC X(5).
000010 01 SQLMSG    PIC X(128).
000011 01 VAR-IND   PIC S9(4) COMP-5.
000012     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     EXEC SQL COMMIT IMMEDIATE END-EXEC
000015     EXEC SQL ROLLBACK RELEASE END-EXEC
000016 .
```

SP8499.cob 14: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8499E キーワード“COMMIT”の後に誤った指定があります。

SP8499.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8499E キーワード“ROLLBACK”の後に誤った指定があります。

詳細な説明

該当する行のSQL文に以下の誤りが考えられます。

- COMMITの直後に無効な語がある
- ROLLBACKの直後に無効な語がある

上記のキーワード直後には語WORKのみ指定可能です。

2.9.38 ODBC-8503E

キーワードCURRENTの直後にキーワードOFが指定されていません。

例題

```
[SP8503.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8503.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM  PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM  PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE  PIC X(5).
000010 01 SQLMSG    PIC X(128).
000011 01 VAR-IND   PIC S9(4) COMP-5.
000012     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     EXEC SQL
000015         DECLARE C1 CURSOR FOR
000016         SELECT PNO FROM STOCK WHERE :PRDCTNAM = 'TIRE'
000017     END-EXEC
000018     EXEC SQL OPEN C1 END-EXEC.
000019     EXEC SQL FETCH C1 INTO :PRDCTNUM END-EXEC.
000020     EXEC SQL UPDATE WHERE CURRENT C1 END-EXEC
000021     EXEC SQL DELETE WHERE CURRENT C1 END-EXEC
000022     EXEC SQL CLOSE C1 END-EXEC.
000023 .
```

SP8503.cob 20: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8503E キーワードCURRENTの直後にキーワードOFが指定されていません。

SP8503.cob 21: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8503E キーワードCURRENTの直後にキーワードOFが指定されていません。

詳細な説明

UPDATE文またはDELETE文のWHERE句に指定したCURRENT OF指定のキーワードOFがありません。

2.9.39 ODBC-8601E

キーワードUSING又はキーワードINTOが複数記述されています。

例題

```
[SP8601.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8601.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM  PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM  PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE  PIC X(5).
000010 01 SQLMSG    PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1  PIC S9(4) COMP-5.
000012 01 SQLSTMT  PIC X(500).
000013     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     MOVE "SELECT PNO FROM STOCK WHERE PNAME = ?" TO SQLSTMT
000016     EXEC SQL PREPARE STM1 FROM :SQLSTMT END-EXEC
000017     EXEC SQL EXECUTE STM1 USING :PRDCTNUM USING :PRDCTNAM END-EXEC
000018*
000019     EXEC SQL
000020     DECLARE C1 CURSOR FOR
000021     SELECT PNO FROM STOCK WHERE :PRDCTNAM = 'TIRE'
000022     END-EXEC
000023     EXEC SQL OPEN C1 END-EXEC.
000024     EXEC SQL FETCH C1 INTO :PRDCTNUM INTO :PRDCTNAM END-EXEC.
000025     .
```

SP8601.cob 17: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8601E キーワードUSING又はキーワードINTOが複数記述されています。

SP8601.cob 24: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8601E キーワードUSING又はキーワードINTOが複数記述されています。

詳細な説明

該当する行のSQL文に以下の誤りが考えられます。

- EXECUTE文のUSING指定が複数指定されている
- FETCH文のINTO句が複数指定されている

2.9.40 ODBC-8718E

問合せ式中にINTO句が指定されました。

例題

```
[SP8718.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8718.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM  PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM  PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE  PIC X(5).
000010 01 SQLMSG    PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1  PIC S9(4) COMP-5.
000012     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     EXEC SQL
000015         DECLARE C1 CURSOR FOR
000016             SELECT PNO INTO :PRDCTNUM FROM STOCK WHERE :PRDCTNUM = 1
000017     END-EXEC
000018     .
```

SP8718.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8718E 問合せ式中にINTO句が指定されました。

詳細な説明

カーソル宣言のSELECT文中にINTO句が指定されています。カーソル宣言のSELECT文中にINTO句は指定できません。

2.9.41 ODBC-8725E

埋込み変数名“@1@”が宣言されていません。

埋め込みの説明

@1@ : ホスト変数名

例題

```
[SP8725.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8725.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM  PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM  PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE  PIC X(5).
000010 01 SQLMSG    PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1  PIC S9(4) COMP-5.
000012     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     EXEC SQL
000015         SELECT PNO INTO :PRDCTNM FROM STOCK WHERE :PRDCTNUM = 1
000016     END-EXEC
000017     .
```

SP8725.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8725E 埋込み変数名“PRDCTNM”が宣言されていません。

詳細な説明

該当する行のSQL文中で未定義のホスト変数を参照しました。

2.9.42 ODBC-8766E

SQL文変数“@1@”の従属項目に誤った指定があります。

埋め込みの説明

@1@ : ホスト変数名

例題

```
[SP8766.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8766.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE1.
000007 02 PRDCTNUM1  PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM1.
000009 03 PRDCTNML1 PIC S9(4) BINARY.
000010 03 PRDCTNMS1 PIC N(8).
000011 01 STOCK-TABLE2.
000012 02 PRDCTNUM2  PIC S9(4) COMP-5.
000013 02 PRDCTNAM2 OCCURS 3 PIC X(10).
000014 01 STOCK-TABLE3.
000015 02 PRDCTNAM3 OCCURS 3 PIC X(10).
000016 02 PRDCTNUM3 PIC S9(4) COMP-5.
000017 01 STOCK-TABLE4.
000018 02 PRDCTNUM4 OCCURS 2 PIC S9(4) COMP-5.
000019 02 PRDCTNAM4 OCCURS 4 PIC X(10).
000020 01 SQLSTATE  PIC X(5).
000021 01 SQLMSG    PIC X(128).
000022 01 VAR-IND1  PIC S9(4) COMP-5.
000023     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000024 PROCEDURE DIVISION.
000025     EXEC SQL
000026         SELECT PNO INTO :STOCK-TABLE1 FROM STOCK WHERE PNAME = 'TIRE'
000027     END-EXEC
000028     EXEC SQL
000029         SELECT PNO INTO :STOCK-TABLE2 FROM STOCK WHERE PNAME = 'WHEEL'
000030     END-EXEC
000031     EXEC SQL
000032         SELECT PNO INTO :STOCK-TABLE3 FROM STOCK WHERE PNAME = 'SHIFT'
000033     END-EXEC
000034     EXEC SQL
000035         SELECT PNO INTO :STOCK-TABLE4 FROM STOCK WHERE PNAME = 'ENGIN'
000036     END-EXEC
000037     .
```

SP8766.cob 26: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8766E SQL文変数“STOCK-TABLE1”の従属項目に誤った指定があります。

SP8766.cob 29: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8766E SQL文変数“STOCK-TABLE2”の従属項目に誤った指定があります。

SP8766.cob 32: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8766E SQL文変数“STOCK-TABLE3”の従属項目に誤った指定があります。

SP8766.cob 35: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8766E SQL文変数“STOCK-TABLE4”の従属項目に誤った指定があります。

詳細な説明

該当する行のSQL文中で形式の誤った以下のホスト変数が参照されています。

- ・ 集団項目がある複数列指定ホスト変数
- ・ 複数列指定と複数行指定が混在したホスト変数
- ・ 反復回数が異なる表指定ホスト変数

2.9.43 ODBC-8772E

SQL文変数"@1@"のデータ型は、文字型でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : ホスト変数名

例題

```
[SP8772. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8772.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM  PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM  PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE  PIC X(5).
000010 01 SQLMSG    PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1  PIC S9(4) COMP-5.
000012 01 SQLSTMT1  PIC X(500).
000013 01 SQLSTMT2  PIC S9(9) COMP-5.
000014     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000015 PROCEDURE DIVISION.
000016     MOVE "SELECT PNO FROM STOCK WHERE PNAME = ?" TO SQLSTMT1
000017     MOVE 9999 TO SQLSTMT2
000018     EXEC SQL PREPARE STM1 FROM :SQLSTMT2 END-EXEC
000019     EXEC SQL EXECUTE IMMEDIATE :SQLSTMT2 END-EXEC
000020     .
```

SP8772.cob 18: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8772E SQL文変数"SQLSTMT2"のデータ型は、文字型でなければなりません。

SP8772.cob 19: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8772E SQL文変数"SQLSTMT2"のデータ型は、文字型でなければなりません。

詳細な説明

該当する行のSQL文に以下の誤りが考えられます。

- ・ EXECUTE IMMEDIATE文のSQL文変数が、日本語項目であるか、または文字型ではない
- ・ PREPARE文のSQL文変数が、日本語項目であるか、または文字型ではない

SQL文変数は、データ型が英数字項目の固定長文字型または可変長文字型に対応するホスト変数でなければなりません。

2.9.44 ODBC-8773E

SQL文変数"@1@"のデータ型は、固定長の文字型でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : ホスト変数名

例題

```
[SP8773. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000002 PROGRAM-ID.      SP8773.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM      PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM      PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE      PIC X(5).
000010 01 SQLMSG        PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1      PIC S9(4) COMP-5.
000012 01 SQLCON1       PIC X(30).
000013 01 SQLCON2.
000014 02 CONLG         PIC S9(4) COMP-5.
000015 02 CONNM         PIC X(30).
000016     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000017 PROCEDURE DIVISION.
000018     MOVE 9           TO CONLG
000019     MOVE "DBCONNECT" TO CONNM
000020     EXEC SQL CONNECT TO :SQLCON2 END-EXEC
000021     EXEC SQL SET CONNECTION :SQLCON2 END-EXEC
000022     EXEC SQL DISCONNECT :SQLCON2 END-EXEC
000023     .

```

SP8773.cob 20: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8773E SQL文変数"SQLCON2"のデータ型は、固定長の文字型でなければなりません。

SP8773.cob 21: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8773E SQL文変数"SQLCON2"のデータ型は、固定長の文字型でなければなりません。

SP8773.cob 22: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8773E SQL文変数"SQLCON2"のデータ型は、固定長の文字型でなければなりません。

詳細な説明

該当する行のSQL文に以下の誤りが考えられます。

- CONNECT文に指定された接続識別子が可変長である
- SET CONNECTION文に指定された接続識別子が可変長である
- DISCONNECT文に指定された接続識別子が可変長である

サーバ名、コネクション名、利用者名は、固定長文字列型のホスト変数または文字列定数を指定します。

2.9.45 ODBC-8956E

ストアードプロシージャ名"@1@"が長すぎます。

埋め込みの説明

@1@ : ストアドプロシージャ名

例題

```

[SP8956.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8956.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM      PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM      PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE      PIC X(5).
000010 01 SQLMSG        PIC X(128).
000011     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.

```



```

000012 PROCEDURE DIVISION.
000013     EXEC SQL
000014         CALL PPPPPPPP1PPPPPPPP2PPPPPPPP3PPPPPPPP4PPPPPPPP5PPPPPPPP6PPPPPPPP7
000015-          PPPPPPPP8PPPPPPPP9PPPPPPPP10PPPPPPPP11PPPPPPPP12PPPPPPPP13PPPPPPPP14
000016-          PPPPPPPP15PPPPPPPP16PPPPPPPP17PPPPPPPP18PPP ()
000017     END-EXEC
000018     .

```

SP8956.cob 14: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8956E ストアドプロシージャ名“PPPPPPPP1PPPPPPPP2PPPPPPPP3PPPPPPPP4PPPPPPPP5PPPPPPPP6PPPPPPPP7PPPPPPPP8PPPPPPPP9PPPPPPPP10PPPPPPPP11PPPPPPPP12PPPPPPPP13PPPPPPPP14PPPPPPPP15PPPPPPPP16PPPPPPPP17PPPPPPPP18PPP”が長すぎます。

詳細な説明

91文字以上のストアドプロシージャ名が指定されています。ストアドプロシージャ名は、修飾する名前を含めて、90文字以下の英数字または90文字以下の各国語文字の並びでなければなりません。

2.9.46 ODBC-8957E

SQL文が長すぎます。

例題

```

[SP8957.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       SP8957.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM  PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM  PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE  PIC X(5).
000010 01 SQLMSG    PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1  PIC S9(4) COMP-5.
000012 01 SQLSTMT1  PIC X(16385).
000013     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     EXEC SQL PREPARE STM1 FROM :SQLSTMT1 END-EXEC
000016     .

```

SP8957.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8957E SQL文が長すぎます。

詳細な説明

16385バイト以上のSQL文が記述されました。1つのSQL文は16384バイト以下で記述してください。

2.9.47 ODBC-8992E

“@1@”はサポートされていません。

埋め込みの説明

@1@ : 句

例題

```

[SP8992.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       SP8992.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.

```

```

000007 02 PRDCTNUM PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE PIC X(5).
000010 01 SQLMSG PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1 PIC S9(4) COMP-5.
000012 01 SQLSTMT PIC X(500).
000013 EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015 MOVE "SELECT PNO FROM STOCK WHERE PNAME = ?" TO SQLSTMT
000016 EXEC SQL PREPARE STM1 FROM :SQLSTMT END-EXEC
000017 EXEC SQL EXECUTE STM1 USING DESCRIPTOR :PRDCTNAM END-EXEC
000018 .

```

SP8992.cob 17: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8992E“(SQL)DESCRIPTOR”はサポートされていません。

詳細な説明

未サポート句(DESCRIPTOR系)が記述されました。DESCRIPTOR系はこのコンパイラでは扱えません。

2.9.48 ODBC-8994W

各SQL文変数に指定されたOCCURS句の反復回数が異なっています。最小値“@1@”を有効にします。

埋め込みの説明

@1@ : OCCURS句の最小値

例題

```

[SP8994.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. SP8994.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTINF OCCURS 2 PIC X(1).
000008 02 PRDCTNUM OCCURS 3 PIC S9(4) COMP-5.
000009 02 PRDCTNAM OCCURS 4 PIC X(10).
000010 01 SQLSTATE PIC X(5).
000011 01 SQLMSG PIC X(128).
000012 01 VAR-IND1 PIC S9(4) COMP-5.
000013 EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015 EXEC SQL
000016 SELECT PINF,PNO,PNAME INTO :PRDCTINF, :PRDCTNUM, :PRDCTNAM
000017 FROM STOCK WHERE PNAME = 'TIRE'
000018 END-EXEC
000019 .

```

SP8994.cob 16: JMN2754I-I ODBC-8994W 各SQL文変数に指定されたOCCURS句の反復回数が異なっています。最小値“2”を有効にします。

詳細な説明

1つのSQL文中で使用される複数行指定ホスト変数および表指定ホスト変数の従属項目に指定された反復回数は、すべて同じでなければなりません。同じでない場合、最小の値を反復回数とみなします。

第3章 リンクメッセージ

ここでは、NetCOBOL使用時に主に出力されるリンクメッセージについて説明します。

ここで説明しているメッセージは、リンクメッセージの一部です。詳細および他のメッセージは、Microsoft社の公式サイトを参照してください。

3.1 メッセージ形式

エラーメッセージと警告メッセージは、LNK $nnnn$ という形式で出力されます。詳細は、Microsoft社の公式サイトを参照してください。

3.1.1 LNK1104

ファイル 'filename' を開けません。

原因

ディスクまたはルートフォルダに空き領域がありません。

対処

ファイルを消去してスペースを空けてください。

3.1.2 LNK1561

エントリーポイントを定義する必要があります。

原因

主プログラムを翻訳するときに、翻訳オプションMAINを指定しないで翻訳し、実行可能プログラム(EXE)を作成しようとした。

対処

主プログラムを翻訳するときには、翻訳オプションMAINを指定して翻訳してください。

3.1.3 LNK2001

外部シンボル "symbol" は未解決です。

原因

- ・ライブラリまたはオブジェクトファイルの中に、外部参照名が存在しません。
- ・モジュール定義ファイルにあるEXPORTSの定義の中に、外部参照名が存在しません。

対処

モジュール定義ファイルの中のEXPORTS文に指定した外部参照名が、ライブラリまたはオブジェクトファイル中に存在しているか確認してください。

プログラムの呼び出す側と呼び出される側で外部参照名が一致しているかどうかは、以下の方法で確認します。

- ・ **[Win32]** DUMPBINコマンドを使用します。DUMPBINコマンドの使用方法については、“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“J.3 DUMPBINコマンド”を参照してください。
- ・ **[Winx64]** LINKコマンド/DUMPオプションを使用します。LINKコマンド/DUMPオプションの使用方法については、“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“LINKコマンド/DUMPオプション”を参照してください。

なお、ライブラリ、オブジェクトファイル中の外部参照名は、プログラム構造および呼出し規約によって異なります。具体的なプログラム構造については、以下を参照してください。

- ・ “NetCOBOL ユーザーズガイド”の“10.1 呼出し関係の概要”を参照してください。

3.1.4 LNK2005

symbol は既に object で定義されています。

原因

翻訳オプションMAINが有効となっている複数のプログラムから1つの実行可能ファイルを作成しようとした。

対処

主プログラム以外に翻訳オプションMAINは指定しないでください。

3.1.5 LNK4006

symbol は object で定義されています。2つ目以降の定義は無視されます。

原因

- ・ ライブラリまたはオブジェクトファイル中にすでに定義されているデータの内部名があります。
- ・ モジュール定義ファイルにあるEXPORTSの定義が重複しています。

対処

モジュール定義ファイルの中のEXPORTS文に指定したexportnameがライブラリまたはオブジェクトファイル中に重複していないか確認してください。



[Winx64]では、通常、COBOLプログラムのリンク時にモジュール定義ファイルは必要ありません。モジュール定義ファイルを使用している場合は、ファイルの内容を確認してください。ファイルの中で定義されているのがEXPORTSのみの場合は、モジュール定義ファイルを削除することを推奨します。

モジュール定義ファイルの詳細については、Microsoft社のリンクのヘルプを参照してください。

第4章 実行時メッセージ

この章では、COBOLランタイムシステムが出力するメッセージについて説明します。

4.1 メッセージ形式

実行時メッセージは、以下の形式で表示します。

日付と時刻 メッセージ番号 [プロセスID スレッドID] メッセージ本文

日付と時刻

日付と時刻は次のように表示されます。

YYYY-MM-DD HH:MM:SS (西暦-月-日 時:分:秒)

表示される時間はローカル時間(日本の場合、GMT+9時間)です。

メッセージ番号

メッセージ番号は次のように表示されます。

JMPnnnnI-W

- **JMP** : COBOLの実行時メッセージであることを示します。
- **nnnn** : メッセージの通し番号を示します。
- **I** : オペレーターの応答の必要性を示す以下の文字を表示します。
 - **I** : オペレーターの応答が不要であることを示します。
 - **A** : オペレーターの応答が必要であることを示します。
- **W** : 重大度を示すコードを表示します。

重大度コードの意味および復帰コードとの関係を下表に示します。

また、バッチファイルからCOBOLプログラムを直接実行する場合、COBOLプログラムの復帰コード(PROGRAM-STATUS)は、そのバッチファイル中のCOBOLプログラム実行直後のERRORLEVELに反映されます。なお、ERRORLEVELの使用方法については、各システムのマニュアルまたはオンラインヘルプなどを参照してください。

表4.1 実行時メッセージの重大度コードの意味と復帰コードへの影響

重大度コード	レベル	意味	復帰コードへの影響
I (INFORMATION)	通知メッセージ	ランタイムシステムが検出した情報です。プログラムの実行に支障はありません。	なし
W (WARNING)	軽度のエラー	プログラムの実行に支障はありません。ただし、実行結果が利用者の意図どおりかを確認する必要があります。	なし
E (ERROR)	中程度のエラー	エラーが存在しますが、適当な仮定に従って処理を続行します。	あり(注1)
U (UNRECOVERABLE)	致命的なエラー	プログラムの実行を中断し、終了処理を行います。	あり(注2)(注3)

注1 : Eレベルのメッセージが出力された場合、COBOL実行単位の終了時に復帰コードが設定されます。このときEレベルのメッセージは復帰コード12と評価され、特殊レジスタPROGRAM-STATUSの値と比較して大きい方が、復帰コードとして設定されます。

注2 : Uレベルのメッセージが出力された場合、プログラムは異常終了します。このとき、復帰コードとして255が設定されます。また、COBOLプログラムの強制終了を行った場合も、復帰コードとして255が設定されます。

注3 : [Win32][Winx64]Uレベルのメッセージが出力された時に、自動的に診断機能が起動するように設定しておく、診断機能がエラーを検出し、診断レポートを出力するので、その出力情報からエラーの原因を調査することができます。



参照

- [Win32]“NetCOBOLユーザーズガイド”の“22.1 診断機能”
- [Winx64]“NetCOBOLユーザーズガイド”の“20.1 診断機能”

プロセスID、スレッドID

エラーの検出されたプログラムのプロセスIDおよびスレッドIDを以下の形式で設定します。

[PID:mmmmmmmm TID:nnnnnnnn]

- mmmmmmmm : エラーを検出したアプリケーションのプロセスID
- nnnnnnnn : エラーを検出したアプリケーションのスレッドID

メッセージ本文

エラーの内容を説明します。

4.2 メッセージ説明形式

この章では、実行時メッセージの本文の内容、システムの処理、意味およびプログラムの処置を、以下の形式で説明します。

メッセージ番号

メッセージ本文(注)

システムの処理

システムまたはランタイムシステムの処理

補足

メッセージ本文の意味

プログラマーの処置

プログラマーが行うべき対処方法

注：メッセージ本文中の“\$n”は、可変情報を示すパラメタです。実際に出力されるメッセージでは、このパラメタの部分は、プログラム名やファイル名などを表す文字列で置き換えられます。

また、以降の説明で、メッセージ本文の可変情報を示すパラメタに設定されるアクセス名またはファイル名とは、以下に示す情報のことです。

アクセス名

アクセス名は、プログラムとファイルの実体を結びつける名前であり、実行時にファイルの実体の名前を設定した環境変数情報名に対応します。アクセス名は、ASSIGN句にファイル識別名を記述した場合のファイル識別名に対応します。

ファイル名

ファイル名は、ファイルの実体の名前です。ファイル名は、ASSIGN句にファイル識別名定数を記述した場合、ファイル識別名定数に対応し、ASSIGN句にデータ名を記述した場合、データ名の内容に対応します(ただし、データ名の内容が認識不可能な場合、“?”を表示します)。また、ASSIGN句に“DISK”または“PRINTER”を記述した場合、SELECT句に記述されたファイル名に対応します。なお、SELECT句を記述したファイル名は、メッセージ本文中では括弧で囲んで表示されます。

エラーアドレス

メッセージ本文の可変情報を示すパラメタに設定されるエラーアドレスとは、エラーの検出されたプログラムとエラーの検出箇所の情報のことです。

エラーアドレスは、以下の形式で表示されます。

プログラム定義で検出された場合

PGM=外部プログラム名. LINE=[COPY修飾値-]行番号

メソッド定義で検出された場合

CLASS=メソッドが定義されているクラス名 METHOD=メソッド名. LINE=[COPY修飾値-]行番号

COPY修飾値および行番号の形式については、以下を参照してください。

- “NetCOBOLユーザーズガイド”の“B.4 ソースプログラムリスト”

4.3 JMP0000—JMP0099

0001	0002	0004	0007	0009	0010	0012	0015	0016	0018
0019	0020	0022	0024	0026	0031	0032	0034	0035	0036
0061	0062	0067	0069	0070	0071	0072	0078	0081	0085
0086	0089	0092	0093	0096	0097	0099			

4.3.1 JMP0001I-U

‘\$1’ファイルのオープンに失敗しました。‘\$2’.\$3

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

機能名SYSINまたはSYSOUTに対応するアクセス名(\$1)に割り当てたファイルについて、\$2に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください(下表参照)。

\$3にはエラーアドレスが設定されます。

表4.2 JMP0001I-Uの\$2の内容

詳細情報(\$2)	エラーの内容	プログラマーの処置
NOT ASSIGNED	アクセス名(\$1)が割り当てられていません。	アクセス名(\$1)を割り当ててください。
INVALID ASSIGN	SYSOUTのファイル割り当てにおいて、指定したキーワードに誤りがあります。	ファイル名に続き、拡張機能として有効な文字列が指定されているか確認してください。 拡張機能については、以下を参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> • [Win32]“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“11.1.6.4 DISPLAY文のファイル出力拡張機能” • [Winx64]“NetCOBOLユーザーズガイド”の“11.1.6.4 DISPLAY文のファイル出力拡張機能”
INVALID PATH-NAME	ファイルのパス名に誤りがあります。	ファイルのパス名が正しく指定されているか確認してください。
FILE LOCK	SYSOUTの割り当てファイルが排他状態です。	再実行してください。排他エラーが頻発するようなら、運用上の問題がないか調査してください。
MEMORY SHORTAGE	ファイルをオープンするためのメモリが不足しています。	原因および対処は、“付録D 注意事項”の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合”を参照してください。
READ ONLY	SYSOUTの割り当てファイルが読み込み専用ファイルです。	書込み可能となるようにファイルのアクセス権を変更してください。
NOT EXISTED	SYSINの割り当てファイルが存在しません。	プログラム実行前にファイルを生成しておいてください。

詳細情報(\$2)	エラーの内容	プログラマーの処置
LOCK FULL	同一のファイルに対し多数のOPEN要求があり、ロックテーブルに不足が発生しました。	再実行してください。排他エラーが頻発するようなら、運用上の問題がないか調査してください。(注1)
INVALID FILE STRUCTURE	アクセス名(\$1)に割り当てたファイルの表現形式(シフトJIS、UCS-2、UTF-8)と動作中のコード系が異なります。	ファイルの表現形式と動作中のコード系を一致させてください。
THREAD SYNC ABANDONED	スレッドの同期処理において、あるスレッドが異常終了したため、ロックの所有権が正しく解放されませんでした。	直前に異常終了しているスレッドがあれば、その原因を調査し、対処してください。
THREAD SYNC ERROR (0xXXXX)	スレッドの同期処理に失敗しました。	設定されたエラーコードを参考にエラーの原因を取り除いてください。(注2)
ERRCD=0xXXXX	その他のエラーが発生しました。	設定されたエラーコードを参考にエラーの原因を取り除いてください。(注2)
RMERR=0xXXXX	ランタイムシステムからのエラーコードを示します。	システムの障害と考えられるため、資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。
CONVERT ERROR (0xXXXX)	ファイル名のコード変換に失敗しました。	設定されたエラーコードを参考にエラーの原因を取り除いてください。(注2) エラーコードが0xFFFFFFFFの場合、シフトJIS範囲外の文字の使用が保証されていない箇所、シフトJIS範囲外の文字が使用されたことを表します。ファイル名の指定を確認してください。

注1：同一ファイルに対する同時オープン数の最大は、1024個です。

注2：詳細は“付録A システムのエラーコードの説明”を参照してください。

4.3.2 JMP0002I-U

プログラム' \$1 'は、再帰的に呼び出されました。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

補足

プログラム(\$1)は、以前に呼び出されたことがあります、そのプログラムの実行の終了(STOP RUN、EXIT PROGRAM文の実行)を待たずに再度呼び出されました。

プログラマーの処置

呼び出したプログラム中のCALL文を確認してください。

4.3.3 JMP0004I-U

USE FOR DEAD-LOCK手続きの最後の文が実行されました。 \$1

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

STOP RUN文、EXIT PROGRAM文、GO TO文などを使用して、USE FOR DEAD-LOCK手続きの最後に到達しないようにしてください。

\$1にはエラーアドレスが設定されます。

4.3.4 JMP0007I-W

誤った実行時オプション '\$1' が指定されました。

システムの処理

その実行時オプション(\$1)を無視して処理を続行します。ただし、指定された実行時オプション(\$1)がSWITCHの場合、指定された数値部の数値が8桁より小さい場合は左詰めに数値を設定し、8桁より大きい場合は上位8桁の数値を設定し、実行時オプションSWITCHを有効とします。

プログラマーの処置

正しい実行時オプションを指定して、再度実行してください。

4.3.5 JMP0009I-U

ライブラリ作業域が確保できません。 '\$1'

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$1に設定されたエラーコードを参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。また、仮想メモリ不足の原因および対処は、“付録D 注意事項”の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合”を参照してください。



参照

- “付録A システムのエラーコードの説明”
- “Visual C++のオンラインヘルプ”

4.3.6 JMP0010I-U

ライブラリ作業域が破壊されています。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

以下の項目についてプログラムを確認してください。

- 添字、指標、部分参照またはOCCURS DEPENDING ON句を含む項目を参照している場合、それらが参照範囲を超えていないか(CHECKオプションを指定することにより確認可能)。
- CALL文などで受渡しを行うパラメタが存在する場合、パラメタの属性が引渡し側と受取り側で一致しているか(特に長さ)。
- ファイルを扱っている場合、誤った長さでレコードを参照していないか(たとえば、可変長の入力ファイルで、実際のレコード長でなく最大長を使って空白詰めなどの処理をしていないか)。

4.3.7 JMP0012I-U

プログラム '\$1' 中の内部プログラムが、再帰的に呼び出されました。 \$2

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

補足

外部プログラム(\$1)に含まれる内部プログラムは、以前に呼び出されたことがあります。そのプログラムの実行の終了(STOP RUN、EXIT PROGRAM文の実行)を待たずに再度呼び出されました。

\$2にはエラーアドレスが設定されます。

プログラマーの処置

呼び出したプログラム中のCALL文を確認してください。

4.3.8 JMP0015I-U

プログラム' \$1' を呼び出すのに失敗しました. \$2. \$3

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$2に設定されたエラーコードを参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。

また、プログラムのエントリ情報が正しく指定されているか確認してください。

\$2に設定される文字列の意味と処置を下表に示します。

\$3にはエラーアドレスが設定されます。

表4.3 JMP0015I-Uの\$2の内容

詳細情報(\$2)	エラーの内容	プログラマーの処置
NO PROGRAM NAME	CALL文に指定されている一意名にプログラム名が設定されていません。	CALL文に指定されている一意名にプログラム名が設定されているか確認してください。
LOAD=DLL名 CODE=0xXXXX	呼出し先のDLLのローディングに失敗しました。LOADには、ローディングに失敗したDLL名、CODEにはシステムからのエラーコードを示します。	“表4.4 システムからのエラーコード”を参照して対処してください。
GET ADDRESS CODE=0xXXXX	呼出し先のDLL内の関数呼出しに失敗しました。CODEにはシステムからのエラーコードを示します。	“表4.4 システムからのエラーコード”を参照して対処してください。

表4.4 システムからのエラーコード

コード	意味	プログラマーの処置
193 (0xC1)	有効なWin32アプリケーションではありません。	[Win32]呼ばれるプログラムのDLLが、32ビットアプリケーションか確認してください。 [Winx64]呼ばれるプログラムのDLLが、64ビットアプリケーションか確認してください。
126(0x7E)	指定されたモジュールが見つかりませんでした。	<ul style="list-style-type: none">呼ばれるプログラムのパスがエントリ情報に正しく指定されているか確認してください。呼ばれるプログラムのDLLが、以下のいずれかのフォルダに存在することを確認してください。<ul style="list-style-type: none">環境変数PATHに指定されたフォルダ呼出し元のプログラムのあるフォルダ

コード	意味	プログラマーの処置
		<ul style="list-style-type: none"> — カレントフォルダ • 呼ばれるプログラムの名前の大文字/小文字の区別が正しく指示されているか翻訳オプションALPHALの指定を確認してください。
127(0x7F)	指定されたプロシージャが見つかりませんでした。	呼ばれるプログラムのDLL中に呼ばれるプログラムの名前がEXPORTされているか確認してください。(注)
1114(0x45A)	ダイナミックリンクライブラリ(DLL)初期化ルーチンの実行に失敗しました。	<p>呼ばれるプログラムのDLLリンク時、Cランタイムライブラリ“LIBCMT.LIB”を指定しているか確認してください。LIBCMT.LIBを指定している場合は、以下のように対処してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • DLLがCOBOLだけで作成されている場合 リンク時、LIBCMT.LIBの指定をやめ、リンクオプション“/NOENTRY”を指定してDLLを作成してください。 • DLLがCOBOLとCで作成されている場合 <ul style="list-style-type: none"> — 同一のDLLにする場合 リンク時、LIBCMT.LIBの指定をやめ、MSVCRT.LIBを指定してDLLを作成してください。Cプログラムを翻訳オプション“/MT”で翻訳している場合、“/MD”を指定して再翻訳してください。 — 別々のDLLにする場合 COBOLのDLL作成時、LIBCMT.LIBを指定せず、リンクオプション“/NOENTRY”を指定してDLLを作成してください。 CのDLL作成時、翻訳オプション“/MD”を指定して翻訳し、DLLを作成してください。
1157(0x485)	このアプリケーションの実行に必要なライブラリファイルのうち、1つが見つかりません。	<p>呼ばれるプログラムのDLLが、以下のいずれかのフォルダに存在することを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 環境変数PATHに指定されたフォルダ • 呼出し元のプログラムのあるフォルダ • カレントフォルダ

注：呼出し先のDLL内の関数呼出しに失敗した場合は、DLL内の関数名が外部から参照可能かどうかを確認してください。

- [Win32]DUMPBINコマンドを使用して確認することができます。詳細は、“NetCOBOL ユーザーズガイド”“J.3 DUMPBINコマンド”を参照してください。
- [Winx64]LINKコマンドのDUMPオプションを使用して確認することができます。詳細は、“NetCOBOLユーザーズガイド”“付録 J コマンド”の“J.2.2 /DUMPオプション”を参照してください。

参照

- “NetCOBOLユーザーズガイド”の“5.6 エントリ情報”
- “Visual C++のオンラインヘルプ”

4.3.9 JMP0016I-U

ファイル '\$1' の読み込みまたは書き込みに失敗しました。 '\$2' . \$3

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

アクセス名(\$1)に割り当てたファイルについて、\$2に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再実行してください。
\$3にはエラーアドレスが設定されます。

表4.5 JMP0016I-Uの\$2の内容

詳細情報(\$2)	エラーの内容	プログラマーの処置
MAXIMUM SIZE	ファイルの最大サイズを超えました。	ファイルを分割するなど、最大サイズを超えないようにしてください。
NO SPACE	領域不足が発生しました。	ディスクの空き容量を増やし、再度実行してください。
THREAD SYNC ABANDONED	スレッドの同期処理において、あるスレッドが異常終了したため、ロックの所有権が正しく解放されませんでした。	直前に異常終了しているスレッドがあれば、その原因を調査し、対処してください。
THREAD SYNC ERROR (0xXXXX)	スレッドの同期処理に失敗しました。	設定されたエラーコードを参考にエラーの原因を取り除いてください。(注)
ERRCD=0xXXXX	その他のエラーが発生しました。	設定されたエラーコードを参考にエラーの原因を取り除いてください。(注)
RMERR=0xXXXX	ランタイムシステムからのエラーコードを示します。	システムの障害と考えられるため、資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。

注：詳細は“付録A システムのエラーコードの説明”を参照してください。

4.3.10 JMP0018I-U

ファイル '\$1' のクローズに失敗しました。 '\$2' . \$3

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

機能名SYSINまたはSYSOUTに対応するアクセス名(\$1)に割り当てたファイルについて、\$2に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再実行してください。

表4.6 JMP0018I-Uの\$2の内容

詳細情報(\$2)	エラーの内容	プログラマーの処置
NO SPACE	領域不足が発生しました。	ディスクの空き容量を増やし、再度実行してください。
ERRCD=0xXXXX	その他のエラーが発生しました。	設定されたエラーコードを参考にエラーの原因を取り除いてください。(注)
RMERR=0xXXXX	ランタイムシステムからのエラーコードを示します。	システムの障害と考えられるため、資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。

注：詳細は“付録A システムのエラーコードの説明”を参照してください。

4.3.11 JMP0019I-U

EXTERNAL指定のデータ '\$1' の属性が矛盾しています。 '\$2' , '\$3' .

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

エラーが検出されたプログラム(\$2)および最初にEXTERNALデータ(\$1)を定義したプログラム(\$3)で、\$1の定義が矛盾していないかまたは翻訳オプションRCSの内容が一致しているか確認してください。

4.3.12 JMP0020I-U

プログラム'\$1'のエントリ情報に誤りがあります.\$2

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

実行用の初期化ファイルまたは環境変数情報@CBR_ENTRYFILEに指定されているエントリ情報ファイルに、呼ばれるプログラム(\$1)のDLL名、プログラム名および二次入口点名の対応関係が正しく定義されているか確認してください。
\$2にはエラーアドレスが設定されます。



参照

- ・ “NetCOBOLユーザーズガイド”の“5.6 エントリ情報”

4.3.13 JMP0022I-U

EXTERNAL指定のファイル'\$1'の属性が矛盾しています.'\$2', '\$3'.'\$4'.

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

エラーが検出されたプログラム(\$2)および最初にEXTERNALファイル(\$1)を定義したプログラム(\$3)で、\$1の定義が矛盾していないか確認してください。

\$1には通常ファイル名が設定されますが、ファイル名が設定できない場合は、ソースプログラムに出現したファイル定義の番号が設定されます。

\$4に設定される文字例を下表に示します。

表4.7 JMP0022I-Uの\$4の内容(ファイル編成共通)

エラー文字列	エラーの内容
ACCESS-MODE	アクセスモード
ACCESS-NAME	アクセス名
FILE-ORG	ファイル編成
LOCK-MODE	LOCK MODE 句の指定
MAXRL	最大レコード長
MINRL	最小レコード長
OPTIONAL	OPTIONAL句指定の有無
RCS	翻訳オプションRCSの内容
REC-MODE	レコード形式

表4.8 JMP0022I-Uの\$4の内容(行順ファイル)

エラー文字列	エラーの内容
REC-ATR	レコード項目属性

表4.9 JMP0022I-Uの\$4の内容(相対/索引ファイル)

エラー文字列	エラーの内容
ALT-KEY	副レコードキーの個数

エラー文字列	エラーの内容
KEY-ATR	キー項目の属性
KEY-DISP	キー項目のレコード内変位
KEY-DUPL	DUPLICATES句の指定の有無
KEY-LEN	キー長
REL-ATR	RELATIVE KEY項目の属性
REL-COL	RELATIVE KEY項目桁数
REL-KEY	RELATIVE KEY句の指定の有無
REL-LEN	RELATIVE KEY項目長
REL-NAME	RELATIVE KEY項目の名前

表4.10 JMP0022I-Uの\$4の内容(印刷ファイル)

エラー文字列	エラーの内容
ADVANCING	ADVANCING 指定のWRITE 文の有無
CHAR-TYPE	CHARACTER TYPE句の書き方3の指定の有無
CODE	CODE-SET句の指定の有無
CTLCHR	制御文字用領域の属性
LINAGE	LINAGE句の有無
LNG-ATR	LINAGEデータ項目の属性および桁数
LNG1-INTEG	LINAGEデータ項目1の整数値
LNG1-NAME	LINAGEデータ項目1の名前
LNG2-INTEG	LINAGEデータ項目2の整数値
LNG2-NAME	LINAGEデータ項目2の名前
LNG3-INTEG	LINAGEデータ項目3の整数値
LNG3-NAME	LINAGEデータ項目3の名前
LNG4-INTEG	LINAGEデータ項目4の整数値
LNG4-NAME	LINAGEデータ項目4の名前
REC-LEN	レコード長

表4.11 JMP0022I-Uの\$4の内容(表示ファイル)

エラー文字列	エラーの内容
DESTINATION	SYMBOLIC DESTINATION句の内容
DESTINATION1	DESTINATION-1句指定の有無
DESTINATION2	DESTINATION-2句指定の有無
DESTINATION3	DESTINATION-3句指定の有無
DEST-CNTL	DESTINATION CONTROL 句指定の有無またはデータ項目長
END-KEY	END KEY句指定の有無
FMT-CNTL	FORMAT CONTROL句指定の有無
FMT-CNTL1	FORMAT CONTROL句データ項目1の長さ
FMT-CNTL2	FORMAT CONTROL句データ項目2の長さ
FORMAT	FORMAT句指定の有無

エラー文字列	エラーの内容
GROUP	GROUP句指定の有無
MSG-CLASS	MESSAGE CLASS句指定の有無
MSG-CODE	MESSAGE CODE句指定の有無またはデータ項目長
MSG-MODE	MESSAGE MODE句指定の有無
MSG-OWNER	MESSAGE OWNER句指定の有無
PROC-CNTL	PROCESSING CONTROL句指定の有無またはデータ項目長
PROC-MODE	PROCESSING MODE句指定の有無
PROC-TIME	PROCESSING TIME句指定の有無
SEL-FUNC	SELECTED FUNCTION句指定の有無
SESS-CNTL	SESSION CONTROL句指定の有無
SYMBOLIC-DEST	SYMBOLIC DESTINATION句の指定
UNIT-CNTL	UNIT CONTROL句指定の有無またはデータ項目長

4.3.14 JMP0024I-U

デッドロック出口が見つかりませんでした。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

デッドロック事象の発生によりデッドロック出口スケジュールを実行しましたが、デッドロック事象が発生したプログラムまたは発生したプログラムをCALL文で呼び出している上位のプログラムにデッドロック出口が見つかりませんでした。USE FOR DEAD-LOCK文でデッドロック出口を登録しているか確認してください。

4.3.15 JMP0026I-W

\$1指定の\$2文で例外が発生しましたが、対応するON EXCEPTION句がありません。

システムの処理

処理を続行します。

プログラマーの処置

\$1の機能名(ARGUMENT-VALUEまたはENVIRONMENT-VALUE)に対応する\$2の文(ACCEPT文またはDISPLAY文)に、ON EXCEPTION句を記述して例外発生に対応してください。

4.3.16 JMP0031I-U

シングルスレッドモードで複数のスレッドで実行されました。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

マルチスレッドでプログラムを実行する場合は、サーバ製品がインストールされている必要があります。サーバ製品がインストールされているか確認してください。

サーバ製品がインストールされている場合は、以下の原因が考えられます。エラーの原因を取り除き、再度実行してください。

- ・ プログラムが翻訳オプションTHREAD(MULTI)を指定して翻訳されていない。

- ・ 環境変数情報@CBR_THREAD_MODE=SINGLEが指定されている。

4.3.17 JMP0032I-U

プログラム '\$1' を実行することはできません。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

- ・ 翻訳オプションTHREADをMULTI指定で翻訳したプログラム\$1が暗黙的にメモリから削除された可能性があります。原因として以下が考えられます。暗黙的にメモリから削除されないように動的プログラム構造にするか、CANCEL文を使用して明示的にメモリから削除するようにプログラムを修正して、再度実行してください。
 - プログラム\$1がCANCEL文によってメモリから削除されたプログラムに静的リンクまたは動的リンクされているため、プログラム\$1が暗黙的にメモリから削除されている。
 - システム関数によって、プログラム\$1がメモリから削除されている。
- ・ 実行単位内に同じプログラム名を持つ複数のプログラムが存在しています。原因として以下が考えられます。エラーの原因を取り除き、再度実行してください。
 - 同じプログラム名で内容が異なるプログラムが、実行単位内に存在している可能性があります。実行単位内でプログラム名が重ならないように、プログラム名を修正してください。
 - 同一プログラムが、複数のDLLに静的リンクされている可能性があります。共用するプログラムの結合形式を、動的リンクに変更してください。

4.3.18 JMP0034I-U

スレッドの同期処理に失敗しました。 '\$1' . \$2

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$1に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。
\$2にはエラーアドレスが設定されます。

表4.12 JMP0034I-Uの\$1の内容

\$1	エラーの内容	プログラマーの処置
ABANDONED	あるスレッドのプログラムが異常終了したため、ロックの所有権が正しく解放されませんでした。	直前に異常終了しているスレッドがあれば、その原因を調査し、対処してください。
CODE=0xXXXX	システムからのエラーコードを示します。	設定されたエラーコードを参考にエラーの原因を取り除いてください。(注)

注：詳細は“付録A システムのエラーコードの説明”を参照してください。

4.3.19 JMP0035I-U

マルチスレッドモードでシングルスレッドプログラムが実行されました。 '\$1' .

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

マルチスレッドモードで動作している場合、シングルスレッド動作のプログラム(\$1)を実行することはできません。翻訳オプション THREAD(SINGLE)指定で翻訳したプログラムまたはマルチスレッドを未サポートのCOBOL製品で翻訳したプログラムが混在していないか確認し、再度実行してください。

4.3.20 JMP0036I-U

当システムでは翻訳オプション '\$1' が指定されたプログラムを実行することはできません.\$2

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$1に設定された翻訳オプションが指定されたプログラム(\$2)の動作可能システムを確認し、動作可能なシステム上で再度実行してください。

4.3.21 JMP0061I-U

ファイルの文字コードが正しくありません。 '\$1' \$2

システムの処置

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

ファイルの文字コードが正しくありません。\$1に設定されたファイルのBOM(Byte Order Mark)を確認してください。

NetCOBOLの資源として使用可能な文字コードについては、以下を参照してください。

- “NetCOBOL ユーザーズガイド”の“6.2.5 資源”

なお、\$2にはエラーアドレスが設定されます。

4.3.22 JMP0062I-U

コード変換ライブラリがロードできません。\$1 \$2 \$3

システムの処置

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

エラーの原因を取り除き、再度実行してください。

\$1にはコード変換ライブラリの種別(ICONVまたはFJ_ICONV)、\$2には**システムのエラーコード**または“INVALID-VL”が設定されます。

なお、\$3にはエラーアドレスが設定されます。

\$1に設定された種別は、環境変数@CBR_CONVERT_CHARACTERに指定された使用するコード変換ライブラリを示します。

\$1がICONVの場合、ランタイムシステムが正しくインストールされていることを確認してください。\$1がFJ_ICONVの場合、Interstage Charset Manager V9.4以降が正しくインストールされていることを確認してください。

[参照]“NetCOBOLユーザーズガイド”の“付録C 環境変数情報”-“@CBR_CONVERT_CHARACTER (コード変換ライブラリの指定)”

4.3.23 JMP0067I-U

NetCOBOL Academicで翻訳されたプログラムを製品版で実行することはできません。 \$1

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

製品版でプログラムを翻訳し直して、再度実行してください。\$1にはエラーが発生したプログラム名、または、クラス名・メソッド名が設定されます。

4.3.24 JMP0069I-U

体験版で翻訳されたプログラムを製品版で実行することはできません. \$1

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

製品版でプログラムを翻訳し直して、再度実行してください。\$1にはエラーが発生したプログラム名、または、クラス名・メソッド名が設定されます。

4.3.25 JMP0070I-I

プログラムの動作情報です.VERSION=' \$1 ' THREAD-MODE=' \$2 ' INIT-FILE=' \$3 ' SECTION=' \$4 '

システムの処理

プログラムの処理を続行します。

プログラマーの処置

環境変数情報@CBR_CBRINFO=YESが指定されたとき、動作中のプログラムの情報が出力されます。出力された情報から動作中のランタイムシステムのバージョンレベル(\$1)、スレッドモード(\$2)および実行用の初期化ファイル(\$3)を確認してください。実行用の初期化ファイルのセクションが有効になっている場合は、セクション名(\$4)が出力されます。また、実行用の初期化ファイルを使用していない場合は、\$3には実行用の初期化ファイルを検索したフォルダを示す文字列'NONE(EXE:フォルダ名 DLL:フォルダ名)'が設定されます。



- “NetCOBOLユーザーズガイド”の“5.5 実行用の初期化ファイル”

4.3.26 JMP0071I-U

領域破壊を検出しました.\$1 \$2 BRKADR=0x\$3.

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

ランタイムシステムの領域が何らかの原因で破壊されています。以下を参照して、原因を調査してください。

- [Win32] “NetCOBOLユーザーズガイド”の“21.6 メモリチェック機能”
- [Winx64] “NetCOBOLユーザーズガイド”の“19.5 メモリチェック機能”

\$1には領域破壊を検出した箇所(プログラムまたはメソッドの手続き部の開始の場合はSTAR

T、プログラムまたはメソッドの手続き部の終了の場合はEND)が、\$2には領域破壊を検出したプログラム名またはメソッド名が設定されます。

\$3には破壊された領域のアドレスが設定されます。

4.3.27 JMP0072I-U

機能制限のため、強制終了します。' \$1' \$2

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

現在使用している製品で制限となる機能を使用しました。\$1の情報をもとに、環境を見直してください。
\$2にはエラーが発生したプログラム名またはクラス名・メソッド名が設定されます。

表4.13 JMP0072I-Uの\$1の内容

\$1	エラーの内容	プログラマーの処置
PRODUCT-MISSMATCH OBJECT=開発環境の製品種別 RUNTIME=ランタイムの製品種別	ランタイム製品と開発環境の製品種別が一致していません。 OBJECTには、COBOLプログラムを作成した開発環境の製品種別、 RUNTIMEには、動作したランタイムの製品種別を示します。 それぞれに設定される文字列の内容を以下に示します。(J:日本語版 E:海外版) <ul style="list-style-type: none">• PRODUCT-J または PRODUCT-E: 製品版• ACADEMIC-J または ACADEMIC-E: NetCOBOL Academic• TRIAL: 体験版(ソフトウェアLOOK)	開発環境の製品種別とランタイムの製品種別を一致させてください。
MULTI-THREADING	当ランタイム製品ではマルチスレッドの複数動作はできません。	当ランタイムシステムでは、複数スレッドでCOBOLプログラムを同時実行させることはできません。複数スレッドでCOBOLプログラムを同時実行させる場合は、機能制限なしのランタイムシステムを使用してください。
ENCODE-OPTION	エンコードの指定に誤りがあります。 当ランタイム製品ではUnicodeとシフトJISのエンコードを混在させることはできません。	エンコード指定の組合せを確認し、プログラムを修正してください。

4.3.28 JMP0078I-U

翻訳オプションRCSIに指定されたエンディアンが異なるプログラムが同一プロセスで実行されました。' \$1'

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

翻訳オプションRCS(UTF16,BE)を指定して作成したプログラムと指定されていないプログラムを同一プロセス内で実行することはできません。翻訳オプションを統一してください。

4.3.29 JMP0081I-U

実行環境内に異なるコード系のプログラムが存在します。' \$1'

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

プログラム(\$1)の動作コード系を確認し、実行環境内で動作するプログラムのコード系を統一してください。

4.3.30 JMP0085I-U

環境変数' \$1 'の登録に失敗しました。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

環境変数(\$1)が登録できませんでした。該当プログラムが使用する環境変数情報の記述の総和が16Kバイト以内になるように実行用の初期化ファイルを修正し、再度実行してください。

4.3.31 JMP0086I-W/U

文字コードの変換に失敗しました.\$1 \$2

システムの処理

重大度コードがWの場合、変換に成功した文字までを設定し、処理を続行します。

重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

COBOLプログラム中で、データ項目のエンコード方式で文字として保証されている範囲外のデータが使用されました。\$1に設定されたエラーコードを参考にエラーの原因を取り除いて、再度実行してください。

\$2にはエラーアドレスが設定されます。

表4.14 JMP0086I-W/Uの\$1に設定されるエラーコードの内容

エラーコード	エラーの意味	プログラマーの処置
E2BIG 7(0x7)	変換先コード列格納域が不足しました。	変換先のデータ項目の長さが十分であるか確認してください。
ENOMEM 12(0xc)	領域不足が発生しました。	“付録D 注意事項”の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合”を参照して対処してください。
EINVAL 22(0x16)	変換元コード列の終りに、不完全なコードが現れました。	変換元のデータ項目に格納された文字データが転記、部分参照などで不完全な状態になっていないか確認してください。
EILSEQ 42(0x2a)	変換元コード列中に、変換元コード系に存在しないコードが現れました。	変換元のデータ項目に格納されたデータがエンコード方式の範囲外です。エンコード方式の異なるデータ項目を重ね合わせ(REDEFINES句)で使用していないか、文字コード以外のバイナリデータを格納していないか確認してください。

環境変数@CBR_CONVERT_CHARACTER=FJ_ICONVを指定して実行した場合は、“Interstage Charset Manager 使用手引書 標準コード変換機能編”を参照してエラーの原因を確認してください。

上記以外のエラーコードについては、システムのエラーコードを参照してください。



参照

- “付録A システムのエラーコードの説明”
- “Visual C++のオンラインヘルプ”

4.3.32 JMP0089I-W

コンピュータ' \$1' へのイベントログ出力に失敗しました. ' MSGNO=\$2'

システムの処理

自コンピュータにイベントログを出力し、処理を続行します。

プログラマーの処置

環境変数情報@CBR_MESSAGEに指定したイベントログ出力先コンピュータ名を確認し、再度実行してください。

- コンピュータ名の指定に誤りがないか確認し、誤りがある場合は、正しいコンピュータ名を指定してください。
- 指定したコンピュータがアクティブになっているか確認し、アクティブになっていない場合は、電源を入れてください。
- イベントログ出力機能を持たないOSには出力できません。指定したコンピュータのOSを確認してください。



参照

- “NetCOBOLユーザズガイド”の“付録C 環境変数情報”-“@CBR_MESSAGE (実行時メッセージの出力先の指定)”

4.3.33 JMP0092I-U

ウィンドウクラス' \$1' の登録に失敗しました. \$2 \$3

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

仮想メモリ不足またはデスクトップヒープの枯渇が原因と考えられます。仮想メモリ不足の原因および対処は、“付録D 注意事項”の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合”を参照し、対処後、再度実行してください。デスクトップヒープの枯渇の原因および対処については、Microsoftのホームページを参照し、対処後、再度実行してください。

\$2には詳細エラーコード、\$3にはエラーアドレスが設定されます。



参考

システムイベントログに「イベントID243」が記録されている場合、デスクトップヒープが枯渇している可能性があります。

4.3.34 JMP0093I-U

ウィンドウクラス' \$1' の作成に失敗しました. \$2 \$3

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

仮想メモリ不足またはデスクトップヒープの枯渇が原因と考えられます。仮想メモリ不足の原因および対処は、“付録D 注意事項”の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合”を参照し、対処後、再度実行してください。デスクトップヒープの枯渇の原因および対処については、Microsoftのホームページを参照し、対処後、再度実行してください。

\$2には詳細エラーコード、\$3にはエラーアドレスが設定されます。



システムイベントログに「イベントID243」が記録されている場合、デスクトップヒープが枯渇している可能性があります。

4.3.35 JMP0096I-U

指定された実行用の初期化ファイルのパス名に誤りがあります。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

指定した実行用の初期化ファイルのパス名が正しいか確認してください。

4.3.36 JMP0097I-U

ランタイムシステムが正しくインストールされていません。 \$1

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

- ・ \$1ファイルが正しくインストールされていることを確認してください。
- ・ ランタイムシステムが正しくインストールされていることを確認してください。または、環境変数PATHにインストールフォルダが正しく設定されているか確認してください。

4.3.37 JMP0099I-U

コード '\$1' で強制終了します。

システムの処理

プログラムの終了処理を行います。

プログラマーの処置

直前にUレベルのメッセージが出力されている場合は、そのメッセージの対処方法にしたがってください。

直前にUレベルのメッセージが出力されていない場合は、以下の項目についてプログラムを確認してください。

- ・ 添字、指標、部分参照またはOCCURS DEPENDING ON句を含む項目を参照している場合、それらが参照範囲を超えていないか(翻訳オプションCHECK(ALL)を指定することにより確認可能)。
- ・ CALL文などで受渡しを行うパラメタが存在する場合、パラメタの属性(特に長さ)が引渡し側と受取り側で一致しているか(翻訳オプションCHECK(ALL)を指定することにより確認可能)。
- ・ ファイルを扱っている場合、誤った長さでレコードを参照していないか(たとえば、可変長の入力ファイルで、実際のレコード長で処理するところを最大長を使って空白詰めなどの処理をしていないか)。

上記事項に該当しない場合は、内部障害の可能性があるので、技術員(SE)に連絡してください。

\$1にはランタイムシステムの内部コードが設定されます。

4.4 JMP0100—JMP0199

0101

0102

0103

0104

0105

0106

0107

4.4.1 JMP0101I-U

オブジェクトの初期化に失敗したため、クラス '\$2' の '\$1' を生成できません。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

クラス(\$2)のファクトリオブジェクトまたはオブジェクトインスタンス(\$1)を生成できる環境にするため、“付録D 注意事項”の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合”の対処方法または以下の対処を行い、再度実行してください。

- 環境変数情報@CBR_InstanceBlock=USE(実行性能優先)の場合、環境変数情報@CBR_ClassInfFileに指定されているクラス情報ファイルに定義されているクラス(\$2)のインスタンス格納数(初期数または増分数)を小さくしてください。
- 環境変数情報@CBR_InstanceBlock=UNUSE(メモリ優先)を指定してください。



参照

- “NetCOBOLユーザーズガイド”の“付録C 環境変数情報”-“@CBR_ClassInfFile (クラス情報ファイルの指定)”
- “NetCOBOLユーザーズガイド”の“付録C 環境変数情報”-“@CBR_InstanceBlock (オブジェクトインスタンスの獲得方法の指定)”

4.4.2 JMP0102I-U

クラス '\$1' が使用できません. \$2

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

クラスの初期化で使用したクラスが使用可能になるようにプログラムまたは動作環境を修正し、再度実行してください。

クラスが使用できない原因として、以下のことが考えられます。

- CANCEL文などにより、暗黙的にクラスがメモリから削除されました。
- COBOLの実行単位中に、同一のクラスのオブジェクトファイルを含む実行可能ファイル(DLLを含む)が複数存在しています。
- COBOLの実行単位中に、異なるクラスが同一クラス名で存在しています。

\$2にはエラーアドレスが設定されます。



参照

- [Win32]
“NetCOBOLユーザーズガイド”の“10.1.5.3 注意事項”
“NetCOBOLユーザーズガイド”の“17.2.3.1.2 プログラム構造の概要”にある注意事項
- [Winx64]
“NetCOBOLユーザーズガイド”の“10.1.3.3 注意事項”
“NetCOBOLユーザーズガイド”の“16.2.4.1.2 プログラム構造の概要”にある注意事項

4.4.3 JMP0103I-U

メソッド '\$1' を呼び出すのに失敗しました. ' CLASS=\$2' \$3.\$4

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$3に設定されたエラーコードを参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。また、メソッドのエントリ情報が正しく指定されているか確認してください。\$4にはエラーアドレスが設定されます。



- “付録A システムのエラーコードの説明”
- “Visual C++のオンラインヘルプ”

4.4.4 JMP0104I-U

例外が発生しました。'\$1' \$2

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$1が'OBJECT'の場合、発生させた例外オブジェクトと継承関係を持つクラス名を指定したUSE文を記述してください。\$2にはエラーアドレスが設定されます。

4.4.5 JMP0105I-U

クラス'\$1'を呼び出すのに失敗しました.\$2.\$3

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$2に設定されたエラーコードを参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。また、クラスのエントリ情報が正しく指定されているか確認してください。\$3にはエラーアドレスが設定されます。



- “付録A システムのエラーコードの説明”
- “Visual C++のオンラインヘルプ”

4.4.6 JMP0106I-U

USE手続き中での例外オブジェクトの発生により、USE手続きが再帰的に呼び出されました。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

実行中の例外オブジェクトの誤り処理手続き中で、新たな例外オブジェクトの発生によりその誤り処理手続きが再び実行された場合、前の誤り処理手続きの実行に関しては、その誤り処理手続きの最後の文に制御を到達させてはなりません。

誤り処理手続きが再帰的に呼び出されないようにしてください。または、EXIT PROGRAM文、EXIT METHOD文またはGO TO文などを使用して、誤り処理手続きの最後の文に到達しないようにしてください。

4.4.7 JMP0107I-U

ファイナライズメソッドの実行中にSTOP RUN文が実行されました。'\$1'.\$2

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

ファイナライズメソッドまたはファイナライズメソッドから呼び出されるプログラム(\$1)に記述されたSTOP RUN文をEXIT PROGRAM文またはEXIT METHOD文に修正し、再度実行してください。

\$2にはエラーアドレスが設定されます。

4.5 JMP0200—JMP0299

0200	0201	0202	0204	0206	0207	0208	0209	0211	0212
0213	0221	0222	0223	0224	0225	0250	0251	0252	0253
0254	0259	0260	0261	0262	0263				

4.5.1 JMP0200I-E

ACCEPT FROM SYSIN文で入力されるべきデータがありません。

システムの処理

入力データ域の残りの部分は空白として処理を続行します。

プログラマーの処置

- ・ ACCEPT FROM SYSIN文で入力する件数分のデータを用意してください。
- ・ データ件数以上にACCEPT文を実行していないか確認してください。

4.5.2 JMP0201A-I

データを入力してください。

システムの処理

応答後、処理を続行します。

補足

ACCEPT文によるデータの入力要求を示します。

プログラマーの処置

必要なデータを入力してください。

4.5.3 JMP0202A-I

'\$1'

システムの処理

応答後、処理を続行します。

補足

STOP定数文の実行中であることを示します。

プログラマーの処置

任意の1文字を入力してください。

\$1にはSTOP定数文で指定された定数が設定されます。

4.5.4 JMP0204I-U

文の実行順序が誤っています. STM=\$1. \$2. LINE=\$3. RPT=\$4.

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

- **[Win32]**
メッセージで指摘された報告書または明細報告集団に対する文の実行順序を正しく修正し、再度実行させてください。
\$1には文の種類(INITIALIZE、GENERATE、TERMINATE)、\$2には外部プログラム名、\$3にはステートメント番号([COPY修飾値-]行番号. 行番号内動詞追番)、\$4には報告書名またはデータ名(明細報告集団名)が設定されます。
- **[Winx64]**
メッセージで指摘された報告書または明細報告集団に対する文の実行順序を正しく修正し、再度実行させてください。
\$1には文の種類(INITIALIZE、GENERATE、TERMINATE)、\$2には外部プログラム名、\$3にはステートメント番号([COPY修飾値-]行番号)、\$4には報告書名またはデータ名(明細報告集団名)が設定されます。



参照

- **[Win32]** “NetCOBOLユーザーズガイド”の“第21章 テスト支援機能”-“ステートメント番号”
- **[Winx64]** “NetCOBOL ユーザーズガイド”の“第19章 テスト支援機能”-“ステートメント番号”

4.5.5 JMP0206I-W

画面項目の大きさが論理画面の大きさを超えています。

システムの処理

画面項目のうち、画面に入る部分だけを表示します。

プログラマーの処置

論理画面の大きさを画面項目が入る大きさに設定して、再度実行してください。

4.5.6 JMP0207I-U

論理画面のサイズが大きすぎます。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

論理画面の大きさを(桁数+1)×行数が16250になるように設定し、再度実行してください。

4.5.7 JMP0208I-E

ACCEPT文の数字項目に入力された値に誤りがあります. \$1

システムの処理

受取りデータ項目にゼロを設定し、処理を続行します。

プログラマーの処置

ACCEPT文の数字項目に正しい値を入力するようにして、再度実行してください。
\$1にはエラーアドレスが設定されます。

4.5.8 JMP0209I-U

システムコンソールの読み込みまたは書き込みに失敗しました。' \$1' \$2.\$3

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

システムコンソールへの処理(\$1)でエラーが検出されました。\$2に設定されたシステムのエラーコードを参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。\$3にはエラーアドレスが設定されます。

メッセージ本文中のシステムのエラーコードに“6”が出力された場合は、標準出力が利用できない環境でアプリケーションが起動されたことが原因と考えられます。以下を参照して、正しく起動しているか確認してください。

- [Win32][Winx64]“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“11.1.4.3 システムのコンソールウィンドウ”



- “付録A システムのエラーコードの説明”
- “Visual C++のオンラインヘルプ”

4.5.9 JMP0211I-U

キー定義ファイル' \$1' のオープンに失敗しました.\$2 \$3

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

環境変数情報@CBR_SCR_KEYDEFFILEに指定したキー定義ファイル(\$1)の指定を確認してください。また、\$2に設定されたエラーコードを参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。

\$3にはエラーアドレスが設定されます。



- “付録A システムのエラーコードの説明”
- “Visual C++のオンラインヘルプ”

4.5.10 JMP0212I-W

キー定義ファイルの記述内容に誤りがあります。' \$1' \$2

システムの処理

キーがキー定義ファイルに指定されていないものとみなし、処理を続行します。

プログラマーの処置

\$1に設定された文字列を参考にキー定義ファイルを修正し、再度実行してください。

\$2にはエラーアドレスが設定されます。

表4.15 JMP0212I-Wの\$1の内容

\$1	エラーの内容	プログラマーの処置
SECTION	セクション名の記述に誤りがあります。すべてのキーがキー定義ファイルに指定されていないものとみなします。	キー定義ファイルのセクション名[COBOL.KBD]を確認してください。
KEY=キー名	キー名の記述に誤りがあります。\$1に設定されたキーがキー定義ファイルに指定されていないものとみなします。	キー定義ファイル内のキー名の記述形式または指定値が有効範囲内であることを確認してください。(注)

注：詳細は、以下を参照してください。

- ・ [Win32][Winx64]“NetCOBOLユーザーズガイド”の“9.3.3 キー定義ファイルの利用”

4.5.11 JMP0213I-W

CONTROL句に誤った文字列が指定されました.' \$1' \$2

システムの処理

CONTROL句に指定された文字列を無視して、処理を続行します。

プログラマーの処置

CONTROL句に指定できない文字列(\$1)または、CONTROL句に指定できる句(\$1)の指定方法に誤りがあります。正しい文字列を指定して、再度実行してください。

\$2にはエラーアドレスが設定されます。

4.5.12 JMP0221I-U

' \$1' メソッドの呼出しでエラーが発生しました.' \$2' \$3

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$2に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。

\$3にはエラーアドレスが設定されます。

表4.16 JMP0221I-Uの\$2の内容

\$2	エラーの内容	プログラマーの処置
BIND	メソッドの束縛に失敗しました。	INVOKE文に指定したオブジェクト一意名とメソッド(\$1)の呼出しが正しくなるように修正してください。
NULL	NULLオブジェクトからメソッドを呼び出しています。	INVOKE文に指定されたオブジェクト参照データ項目にメソッド(\$1)を含むクラスに適合するクラスのオブジェクト参照を設定してください。

4.5.13 JMP0222I-U

オブジェクト指定子ASでエラーが発生しました.ASの右側の指定は' \$1' です. \$2

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

オブジェクト指定子ASの右側に指定したクラス名\$1またはインタフェース名\$1、またはクラス名\$1の選択指定(FACTORY OF指定またはONLY指定)が、AS指定子で指定されるオブジェクト参照一意名で参照されるオブジェクトと適合するか確認してください。
\$2にはエラーアドレスが設定されます。

4.5.14 JMP0223I-U

送出し側のオブジェクト参照データ項目と受取り側のオブジェクト参照データ項目の間で適合エラーが発生しました。 \$1

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

送出し側の手続き部の見出しの復帰項目に指定したオブジェクト参照が、受取り側の復帰項目に指定したオブジェクト参照に適合するように修正してください。

\$1にはエラーアドレスが設定されます。

4.5.15 JMP0224I-U

プロパティメソッドの呼出しでエラーが発生しました。 '\$1' 'NULL' \$2

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

オブジェクトプロパティに指定したオブジェクト参照が、プロパティ名(\$1)を含むクラスまたはインタフェースに適合するように修正してください。

\$2にはエラーアドレスが設定されます。

4.5.16 JMP0225I-U

ANY LENGTH句指定のあるメソッド '\$1' の呼出しに失敗しました。 '\$2' '\$3' \$4

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$3に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。

\$2には、パラメタの指定を示すUSINGまたはRETURNINGが設定されます。

表4.17 JMP0225I-Uの\$3の内容

\$3	エラーの内容	プログラマーの処置
PARM=n	パラメタの指定に誤りがあります。呼出し先メソッド(\$1)には、ANY LENGTH句指定がありますが、呼出し元(\$4)には、ANY LENGTH句のデータ項目として許されない型のデータ項目が指定されています。n は、誤りのあるパラメタ位置を示します。	メソッド(\$1)を正しいパラメタで呼び出すように修正してください。
[Win32] VL	ANY LENGTH句指定のあるメソッド呼出しが未サポートのバージョンレベルで翻訳されています。	パラメタの指定(\$2)がUSINGの場合は、呼出し元(\$4)をV40L20以降で再翻訳してください。RETURNINGの場合は、呼出し元(\$4)をV50L10以降で再翻訳してください。

4.5.17 JMP0250I-U

Systemwalker Centric Manager連携において、小入出力文を実行するための環境開設でエラーが発生しました。'\$1'

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$1に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください

表4.18 JMP0250I-Uの\$1の内容

\$1	エラーの内容	プログラマーの処置
LANG ERROR	環境変数LANGにUnicodeが指定されました。	当機能はUnicode環境では実行できません。SJISで実行してください。
NOT-INSTALLED	Systemwalker Centric Managerが正しくインストールされていません。	Systemwalker Centric Managerが正しくインストールされていることを確認してください。

4.5.18 JMP0251I-U

CONSOLEへの出力に失敗しました。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

Systemwalker Centric Managerが起動されていることを確認してください。

4.5.19 JMP0252I-U

CONSOLEからの入力に失敗しました。'\$1'

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$1に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。

表4.19 JMP0252I-Uの\$1の内容

\$1	エラーの内容	プログラマーの処置
ERR_PARAM	ACCEPT文の入力処理で何らかのエラーが発生しました。	プログラムを再度実行しても同様なエラーが発生した場合には、システムの障害と考えられるため、技術員(SE)に連絡してください。
TIME_OUT	ACCEPT文の入力でタイムアウトが発生しました。	ACCEPT文の入力を1440分以内に行ってください。
STOP_BY_USER	Systemwalker Centric Managerがユーザ要求により停止しました。	Systemwalker Centric Managerが起動されていることを確認してください。 詳細はSystemwalker Centric Managerのオンラインマニュアルまたはヘルプを参照してください。
ERR_CONNECT	Systemwalker Centric Managerと接続できませんでした。	Systemwalker Centric Managerが起動されていることを確認してください。 詳細はSystemwalker Centric Managerのオンラインマニュアルまたはヘルプを参照してください。

\$1	エラーの内容	プログラマーの処置
ERR_SEND	Systemwalker Centric Managerへの送信に失敗しました。	Systemwalker Centric Managerが起動されていることを確認してください。 詳細はSystemwalker Centric Managerのオンラインマニュアルまたはヘルプを参照してください。
ERR_RCV	Systemwalker Centric Managerからの受信に失敗しました。	Systemwalker Centric Managerが起動されていることを確認してください。 詳細はSystemwalker Centric Managerのオンラインマニュアルまたはヘルプを参照してください。
ERR_CONNECTOVER	入力要求処理が最大数を超過しました。	返答待ちになっている入力要求処理を行ってください。 詳細はSystemwalker Centric Managerのオンラインマニュアルまたはヘルプを参照してください。
ERR_UXEXPCT	予期せぬエラーが発生しました。	プログラムを再度実行しても同様なエラーが発生した場合には、システムの障害と考えられるため、技術員(SE)に連絡してください。
ERR_OTHER	Systemwalker Centric Managerの動作エラーです。	プログラムを再度実行しても同様なエラーが発生した場合には、システムの障害と考えられるため、技術員(SE)に連絡してください。

4.5.20 JMP0253I-U

任意日付の指定に誤りがあります。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

環境変数情報“@CBR_JOBDATE”に指定した日付を確認してください。

4.5.21 JMP0254I-E/U

汎用ログ連携機能において、エラーが発生しました。'\$1'\$2'\$3'

システムの処理

プログラムを異常終了させます。汎用ログのクローズに失敗した場合のみ、Eレベルのメッセージを出力し、処理を続行します。

プログラマーの処置

\$1,\$2,\$3に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください

表4.20 JMP0254I-E/Uの\$2の内容

\$2	エラーの内容	プログラマーの処置
LOAD-FAIL	汎用ログ連携機能に必要なライブラリのロードに失敗しました。	Interstage Business Application Serverが正しくインストールされているか、\$3の文字列を参考に環境設定を確認してください。
ENOMEM	メモリ不足が発生しました。	システムの空きメモリ容量を確認してください。
FUNCTION	汎用ログ連携機能の関数でエラーが発生しました。	\$1に関数名、\$3に関数のエラーコードが表示されます。Interstage Business Application Serverのマニュアルを参考にエラーの原因を取り除いてください。
NOT-SYMBOL	汎用ログ連携機能に必要な関数が見つかりませんでした。	プログラムを再度実行しても同様なエラーが発生した場合には、システムの障害と考えられるため、技術員(SE)に連絡してください。

\$2	エラーの内容	プログラマーの処置
INTERNAL-ERROR	内部矛盾を検出しました。	プログラムを再度実行しても同様なエラーが発生した場合には、システムの障害と考えられるため、技術員(SE)に連絡してください。

4.5.22 JMP0259I-W/U

DISPLAY文の実行でコンピュータ\$1へのイベントログ出力に失敗しました。出力データ=\$2 \$3

システムの処理

重大度コードがWの場合、自コンピュータのイベントログに本メッセージを出力し、処理を続行します。

重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$1にはイベントログ出力を指定したコンピュータ名が、\$2にはDISPLAY文の出力文字列が設定されます。\$3にはエラーアドレスが設定されます。

以下の環境変数に指定したコンピュータ名が正しいか、確認してください。

あて先	環境変数名
CONSOLE	@CBR_DISPLAY_CONSOLE_OUTPUT
SYSOUT または 指定なし	@CBR_DISPLAY_SYSOUT_OUTPUT
SYSERR	@CBR_DISPLAY_SYSERR_OUTPUT

- コンピュータ名の指定に誤りがないか確認し、誤りがある場合は、正しいコンピュータ名を指定してください。
- 指定したコンピュータがアクティブになっているか確認し、アクティブになっていない場合は、電源を入れてください。
- イベントログ出力機能を持たないOSには出力できません。指定したコンピュータのOSを確認してください。



参照

- [Win32][Winx64]“NetCOBOLユーザーズガイド”の“付録C 環境変数情報”

4.5.23 JMP0260I-U

'\$1'文の実行で、\$2番目のデータ転記に失敗しました。'\$3' \$4

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$1にはSTRINGまたはUNSTRINGのどちらかの文字列が、\$2にはエラーを検出したデータの番号が設定されます。

\$3に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。

\$4にはエラーアドレスが設定されます。

表4.21 JMP0260I-Uの\$3の内容

\$3	エラーの内容	プログラマーの処置
CONVERT ERROR=0xXXXX	STRING文またはUNSTRING文の実行で、受取り側項目の字類に合わせたコード変換を行う際、エラーと検出しました。	設定されたシステムのエラーコードを参考に、エラーの原因を取り除いてください(注)。

\$3	エラーの内容	プログラマーの処置
NOT NUMERIC ITEM	UNSTRING文の実行で、数字項目に転記できないデータ(数字以外の文字、不正な符号など)を検出しました。	受取り側項目のデータ項目種別に誤りがないか、また送出し側項目のデータの中身が不正でないか、確認してください。

注：詳細は“付録A システムのエラーコードの説明”を参照してください。

メッセージに埋め込まれた番号と、実際のデータ項目との関係は以下の例を参考にしてください。



例

以下のUNSTRING文の実行で、受け取り側項目である“内線”の転記に失敗した場合、メッセージに埋め込まれる番号は「5」となります。

[文]

```
UNSTRING 従業員データ INTO 従業員 BY CSV-FORMAT.
```

[データ定義]

```
77 従業員データ PIC X(35)
      VALUE "8701, 富士通太郎, 38, 営業部, 7551-4535".
01 従業員.
  02 従業員番号 PIC 9(6).
  02 氏名 PIC N(10).
  02 年齢 PIC 9(2).
  02 所属 PIC N(10).
  02 内線 PIC 9(9). *> "7551-4535"を転記するため、メッセージを出力します.
```

4.5.24 JMP0261I-U

'\$1'文のPOINTER指定の初期値に誤りがあります. \$2

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$1には、STRINGまたはUNSTRINGのどちらかの文字列が設定されます。

POINTER指定の初期値として正しい値を設定し、再実行してください。

\$2にはエラーアドレスが設定されます。

4.5.25 JMP0262I-W

'\$1'文の文の実行で、送出し側項目の中に転記されていない文字があります. \$2

システムの処理

'\$1'文の実行を終了して、プログラムの処理を続行します。

プログラマーの処置

\$1には、STRINGまたはUNSTRINGのどちらかの文字列が設定されます。

以下を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。

\$2にはエラーアドレスが設定されます。

STRING文

受け取り側項目の最右端まで転記が完了しましたが、送出し側項目の中に転記されない文字が残っています。すべての送出し側項目が転記されるように受け取り側のデータ項目の大きさを修正してください。

UNSTRING文

受け取り側項目に指定したすべてのデータ項目に対して転記が行われましたが、送出し側項目の中に転記されない分割データが残っています。すべての分割データが格納されるように、受け取り側のデータ項目数を増やしてください。

プログラムを修正せず、このメッセージを抑止する場合には、環境変数情報@CBR_CSV_OVERFLOW_MESSAGEを使用してください。



“NetCOBOLユーザズガイド”の“付録C 環境変数情報”-“@CBR_CSV_OVERFLOW_MESSAGE (CSV形式データ操作時のメッセージ抑止指定)”

4.5.26 JMP0263I-W

UNSTRING文の実行で、\$1番目のデータ転記中にデータの切捨てが発生しました。 \$2

システムの処理

転記の規則に従ってデータの切捨てを行い、UNSTRING文の処理を続行します。

プログラマーの処置

\$1にはエラーを検出したデータの番号が設定されます。

UNSTRING文により分解した文字列が、対応する受け取り側項目の大きさを超えているため、転記の規則に従いデータを切り捨てました。切捨てが発生した受け取り側項目の大きさを修正し、再実行してください。

\$2にはエラーアドレスが設定されます。

プログラムを修正せず、このメッセージを抑止する場合には、環境変数情報@CBR_CSV_OVERFLOW_MESSAGEを使用してください。



“NetCOBOLユーザズガイド”の“付録C 環境変数情報”- @CBR_CSV_OVERFLOW_MESSAGE (CSV形式データ操作時のメッセージ抑止指定)”

メッセージに埋め込まれた番号と、実際のデータ項目との関係は以下の例を参考にしてください。



以下に示すUNSTRING文の実行で、受け取り側項目である"所属"の転記に失敗した場合、メッセージに埋め込まれる番号は「4」となります。

[文]

```
UNSTRING 従業員データ INTO 従業員 BY CSV-FORMAT.
```

[データ定義]

```
77 従業員データ PIC X(35)
    VALUE "8701, 富士通太郎, 38, 営業部, 7551-4535".
01 従業員.
    02 従業員番号 PIC 9(6).
    02 氏名 PIC N(10).
    02 年齢 PIC 9(2).
```

02 所属	PIC N(2). *> “営業部”を転記するため、メッセージを出力します。
02 内線	PIC X(10).

4.6 JMP0300—JMP0399

0301	0302	0310	0311	0313	0320	0321	0322	0323	0324
0325	0326	0327	0328	0330	0331	0340	0350	0360	0362
0363	0364	0365	0370	0371	0372	0373	0374	0375	0376
0392									

4.6.1 JMP0301I-E

’\$2’として開かれた’\$1’が終了時に閉じられていません.\$3.

システムの処理

ファイルのクローズを行わず、プログラムを終了します。

プログラマーの処置

プログラム(\$3)を終了する前に、ファイル(\$1)に対してCLOSE文を実行するようにプログラム(\$3)を修正してください。
\$2にはファイル(\$1)のオープンモードが設定されます。

4.6.2 JMP0302I-U

プログラムの終了時に’\$2’ファイルでCLOSEエラーが発生しました.\$1.

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

原因を調査し、それを取り除いてください。原因については、他のメッセージが出力されていれば、それを参照してください。
\$1にはプログラム名が、\$2にはアクセス名またはファイル名が設定されます。

4.6.3 JMP0310I-I/U

’\$2’ファイルで’\$1’エラーが発生しました.’\$3’.\$4

システムの処理

重大度コードがIの場合、プログラムの処理を続行し、重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。なお、重大度コードは、ファイルの定義にFILE STATUS句が指定されている場合Iとなり、FILE STATUS句および誤り処理手続きの指定がない場合Uとなります。

プログラマーの処置

\$3に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。
\$1にはOPENまたはCLOSEのどちらかの文字列が、\$2にはアクセス名またはファイル名が設定されます。
\$3に設定される文字列の意味と処置を“表4.22 JMP0310I-I/Uの\$3の内容(1)”および“表4.23 JMP0310I-I/Uの\$3の内容(2)”に示します。
\$4にはエラーアドレスが設定されます。

表4.22 JMP0310I-I/Uの\$3の内容(1)

\$3	エラーの内容	プログラマーの処置
ACC-METHOD または	ファイルのアクセス方法が誤っています。(注1)	アクセス方法を正しく指定してください。

\$3	エラーの内容	プログラマーの処置
ACC-METHOD(98XX)		
BLKED-FILE	CLOSE 文実行時のエラーなどにより使用できないファイルです。	CLOSE文の誤りを調査し、対処してください。
CNVER=xxxx	文字列のコード変換に失敗しました。xxxx:16進表記	“付録A システムのエラーコードの説明”から原因を調査し、対処してください。エラーコードが0xFFFFFFFFの場合はシフトJIS範囲外の文字の使用が保証されていない箇所ではシフトJIS範囲外の文字が使用されました。プログラムを修正してください。
CRT-WINDOW	ウィンドウの作成に失敗しました。	仮想メモリ不足が原因と考えられます。原因を調査し、対処してください。(注5)
ERFLD=xxxx	入出力ファイルのアクセスエラーが発生しました。 xxxx: 16進表記	\$3が示すエラーコードの値は、各入出力ファイルのエラーコードです。(注2) ・ “付録A システムのエラーコードの説明”、または各種ファイルシステムのマニュアルを参照し、対処してください。
ERRCD=xxxx	表示ファイルのアクセスエラーが発生しました。	各接続製品のマニュアルから原因を調査し、対処してください。(注3)
EXCL-ERROR	排他エラーが発生しました。	再実行してください。排他エラーが頻発するようなら、運用上の問題がないかを調査してください。
EXFH-INF	外部ファイルハンドラ情報ファイルのオープンに失敗しました。または、外部ファイルハンドラ情報の内容に誤りがあります。	外部ファイルハンドラ情報ファイルが正しく設定されているか確認してください。また、外部ファイルハンドラ情報ファイルの内容に誤りがないか確認してください。
FCB	FCB の内容に誤りがあります。	FCB の内容を確認してください。
FILE-LOCK	他ユーザによりファイルが排他使用されています。または他ユーザが使用しているため排他使用できません。	再実行してください。排他エラーが頻発するようなら、運用上の問題がないかを調査してください。
FONT-TABLE	フォントテーブル名の指定に誤りがあります。	フォントテーブル名を正しく指定してください。
FTNCD=xxxx	システムからのエラーコードを示します。xxxx:16進表記	“付録A システムのエラーコードの説明”から原因を調査し、対処してください。(注2)
LOAD	サブプログラムのローディングに失敗しました。	プログラムの実行環境を調査してください。
LOAD=xxxxxx	他製品のローディングに失敗しました。xxxxxx:16進表記	設定されたエラーコードを参考に、エラーの原因を取り除いてください。(注6)
LOAD=xxxxxx 種別(モジュール名)	ローディングに失敗しました。 xxxxxx:16進表記 種別にはBTRV/RDM/EXFH/PIPEのいずれかが設定されます。モジュール名には、呼び出されたDLL名が設定されます。	設定されたエラーコードを参考に、エラーの原因を取り除いてください。(注6)
LOAD-EXFH	外部ファイルハンドラの環境開設に失敗しました。	以下の原因が考えられます。エラーの原因を取り除いてプログラムを再実行してください。 ・ 環境変数情報@CBR_EXFH_APIが設定されていない。 ・ 環境変数に設定された外部ファイルハンドラのDLLファイルが見つからない、または壊れている。

\$3	エラーの内容	プログラマーの処置
		<ul style="list-style-type: none"> 環境変数情報@CBR_EXFH_LOADが設定されていない場合、DLLファイル名には、環境変数情報@CBR_EXFH_APIに指定された入口名を“入口名.dll”とみなして処理する。このファイルが見つからない、または壊れている。
LOCK-FULL	同一のファイルに対し、多数のアプリケーションからOPEN要求がありました。その結果、ロックテーブルに不足が発生しました。	再実行してください。エラーが頻発するようなら、運用上の問題がないかを調査してください。(注9)
NON-FILE	OUTPUT指定以外のOPEN文を実行しましたが、ファイルは存在しません。	プログラム実行前にファイルを生成しておいてください。
NON-REEL	REEL/UNIT 指定のCLOSE 文を実行しました。	プログラムを修正してください。
NOT-UNIQUE	DUPLICATES指定の記述がないにもかかわらず、割り当てられたファイルが重複キーを持つファイルです。	RECORD KEY句、ALTERNATIVE KEY句のDUPLICATES 指定を確認し、プログラムの指定と割り当てられたファイルの属性の矛盾を修正してください。
OPEN-MODE	ファイルのOPENモードに誤りがあります。	正しいOPENモードでファイルをオープンしてください。
READ-ONLY	読み専用ファイルです。またはファイル名の指定に誤りがあります。	書き込み可能となるようにファイルのアクセス権を変更してください。または正しいファイルを指定してください。
REC-MODE	レコード形式に誤りがあります。	レコード形式を正しく指定してください。
SESS-END	セッションエンドまたはセッション中断後にOPEN文が実行されました。	セッションが開始されていない状態でOPEN文を実行しないように修正してください。
RMERR=xxxx	ランタイムシステムからのエラーコードを示します。xxxx:16進表記	システムの障害と考えられるため、資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。(注4)
THREAD=xxxxxx	スレッドの同期処理に失敗しました。xxxxxx:16進表記	設定されたエラーコードを参考にエラーの原因を取り除いてください。(注6)
TIMEOUT	タイムアウト後にOPEN文が実行されました。	タイムアウト後はOPEN文を実行しないように修正してください。
UNSUPPORT	指定された機能は未サポートです。	<ul style="list-style-type: none"> ファイルの属性を確認してください。または、物理的に問題がないかを調査してください。(注7) マルチスレッドモードで動作時に、マルチスレッド未サポートの製品を呼び出しました。各製品のマルチスレッド状況を確認してください。 翻訳オプションRCS(UTF16)を指定したプログラムの動作時に、Unicode未サポートの製品を呼び出しました。各製品のUnicodeサポート状況を確認してください。 指定したファイルまたはファイルシステムの機能範囲を確認してください。(注8)
WIN-CLASS	ウィンドウクラスの登録に失敗しました。	仮想メモリ不足が原因と考えられます。原因を調査し、対処してください。(注5)

・注1

ファイルのアクセス方法が誤っているとは、以下の事象を指します。

- － 異なるファイル編成でアクセスしようとしている場合。または、
- － 復旧の必要があるファイルをアクセスしようとしている場合。または、

- ファイルの表現形式(シフトJIS、UTF-16、UTF-32、UTF-8)がプログラムの動作コード系やプログラム中の定義と一致していないなど。
- 注2
 - 印刷ファイル(FORMAT句なし)の実行で、メッセージ本文中のエラーを示す文字列に“ERFLD=101”が出力された場合は、以下の事項を確認してください。
 - 不要なプリンタドライバを多数インストールしていないか。
 - FCB制御文が2048バイト未満であるか。
 - 不当なフォームオーバーレイパターンを指定していないか。
 - 誤ったフォームオーバーレイパターン名を登録していないか。
 - スプール領域が不足していないか(環境変数TMPに指定したフォルダのディスク容量を確認してください)。
 - 実装メモリ、仮想メモリが不足していないか(同時に実行している他のアプリケーションを停止して確認する/実装メモリを増設する/仮想メモリを大きくする)。

上記以外の場合、システムの障害と考えられるため、資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。
 - Btrieveファイルに対してのエラーコードの詳細は、“Btrieve”または“Actian PSQL”のマニュアルを参照してください。お持ちでない方は、技術員(SE)に連絡してください。
 - [Win32]PowerRDBconnectorに対してのエラーコードの詳細は、“PowerRDBconnector説明書”を参照してください。
 - 上記以外のファイルのメッセージ本文中のエラーを示す文字列の詳細は、“[付録A システムのエラーコードの説明](#)”を参照してください。
- 注3

MeFtを使用しているときにERRCD=90xxが出力された場合、xxはMeFtの通知コードを示します。MeFtの通知コードについては、“[第6章 MeFtのメッセージ](#)”の“[6.3 レベルが「エラー」の場合のメッセージ](#)”を参照してください。
- 注4

RMERR=177F(98xx)が出力された場合、ファイルが正常に使用できない状態になっています。索引ファイルの場合には、ファイルユーティリティまたは索引ファイル復旧関数を使用して、ファイルを復旧してください。
- 注5

原因および対処については、“[付録D 注意事項](#)”の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合”を参照してください。
- 注6

詳細は、“[付録A システムのエラーコードの説明](#)”および“[Visual C++のオンラインヘルプ](#)”を参照してください。
- 注7

行順ファイル、レコード順ファイル、相対ファイルおよび索引ファイルを使用している場合、ファイルの割当て先に通信ポート(COMn:)など、COBOLで未サポートの媒体を指定している場合が考えられます。

また、印刷ファイルを使用している場合、ファイル編成を印刷ファイルとみなす条件を満足していないため、レコード順ファイルとみなされている可能性があります。この場合、レコード順ファイルに対してローカルプリンタポート(LPTn:)や通信ポート(COMn:)が指定されることになるため、本エラーとなります。

COBOLで使用可能な媒体については、以下を参照してください。

 - “NetCOBOLユーザーズガイド”の“[表7.1 ファイルの種類と特徴](#)”

印刷ファイルとみなす条件については、以下を参照してください。

 - “NetCOBOLユーザーズガイド”の“[8.1.2 印刷ファイル/表示ファイルの決定方法](#)”
- 注8

マルチスレッドまたはUnicodeでの動作の場合、以下の事項も確認してください。

- マルチスレッドモデルでの動作時に、マルチスレッド未サポートの製品を呼び出していないか、各製品のマルチスレッド対応状況を確認してください。
- Unicodeアプリケーションの動作時に、Unicode未対応の製品を呼び出していないか、各製品のUnicode対応状況を確認してください。

・注9

同一ファイルに対する同時オープン数の最大は、1024個です。

“表4.23 JMP0310I-I/Uの\$3の内容(2)”で説明する文字列が表示された場合は、以下の事項を確認してください。

- ・ プログラム中のファイルまたはレコードの定義内容と、実際に処理するファイルの属性に矛盾はないか。
- ・ 実際に処理するファイルは、当製品で作成したファイルか。
- ・ 指定したファイルシステム種別は正しいか。

当製品以外(OSIV COBOL85や他言語など)で作成したファイルや、異なるファイルシステム種別のファイルを使用した場合、下記のエラーが発生することがあります。

表4.23 JMP0310I-I/Uの\$3の内容(2)

\$3	エラーの内容	プログラムで確認する内容
INV-BLKSZ	ブロック長に誤りがあります。	BLOCK CONTAINS句に指定した長さ
INV-CODEST	コードセットに誤りがあります。	CODE SET句の文字符号
INV-COLSEQ	文字の大小順序(コーレーティングシーケンス)に誤りがあります。	PROGRAM COLLATING SEQUENCE句の符号系名
INV-DELMTR	レコードの区切り文字に誤りがあります。	ORGANIZATION句、RECORD句の指定内容(注1)
INV-KEYDUP	キーの重複可否(DUPLICATES)に誤りがあります。	RECORD KEY句、ALTERNATE RECORD KEY句のDUPLICATES指定の有無
INV-KEYLEN	割り当てられたファイルのキー長がプログラムでの定義と矛盾します。	RECORD KEY句、ALTERNATE RECORD KEY句に指定したデータ項目の長さ(注2)
INV-KEYSTR	キーの構造に誤りがあります。	RECORD KEY句、ALTERNATE RECORD KEY句に指定したデータ項目の長さ、データ項目の個数またはデータ項目のレコード内での相対位置
INV-LRECL	割り当てられたファイルのレコード長がプログラムでの定義と矛盾します。	ORGANIZATION句の指定内容 RECORD CONTAINS 句に指定したレコード長
INV-RKP	割り当てられたファイルの相対キー位置がプログラムでの定義と矛盾します。	RECORD KEY句、ALTERNATE RECORD KEY句に指定したデータ項目のレコード内での相対位置
INV-KEYRCS	割り当てられたファイルのキーのコード系がプログラムの動作コード系と矛盾します。	翻訳オプションRCSの指定内容
KEY-ATTR	割り当てられたファイルのキー属性がプログラムでの定義と矛盾します。	RECORD KEY句、ALTERNATE RECORD KEY句に指定したデータ項目の属性
NON-ESDS	順ファイルに対して順ファイル以外が割り当てられました。	ORGANIZATION句の指定内容
NON-KSDS	索引ファイルに対して索引ファイル以外が割り当てられました。	
NON-RRDS	相対ファイルに対して相対ファイル以外が割り当てられました。	
NOT-TEXT	印刷ファイルに対してテキストファイル以外が割り当てられました。	

注1:ファイル編成・レコード形式(固定長/可変長)が、実際のファイルと一致していることを確認してください。

注2: RECORD KEY句、ALTERNATE RECORD KEY句に2つ以上のデータ項目を指定した場合、すべてのデータ項目の長さが、割り当てられたファイルのキーごとの長さとも一致していなければなりません。

4.6.4 JMP0311I-I/U

'\$1'ファイルのファイル参照子の指定に誤りがあります。'\$2' \$3.

システムの処理

重大度コードがIの場合、プログラムの処理を続行し、重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。なお、重大度コードは、ファイルの定義にFILE STATUS句が指定されている場合Iとなり、FILE STATUS句および誤り処理手続きの指定がない場合Uとなります。

プログラマーの処置

必要ならファイル(\$1)を割り当てて、またはファイルを正しく指定して、再度実行してください。

\$2に設定される文字列の意味と処置を下表に示します。

\$3にはエラーアドレスが設定されます。

表4.24 JMP0311I-I/Uの\$2の内容

\$2	エラーの内容	プログラマーの処置
NOT ASSIGNED	アクセス名に対する環境変数の指定がありません。または、データ名指定のファイル名が空白です。	環境変数またはデータ名指定のファイル名を指定してください。
INVALID ASSIGN	ファイル名に続き、指定された文字列で解析エラーが発生しました。	以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ファイル機能として有効な文字列が指定されているか(注1) 指定した機能とファイル編成の組み合わせは正しいか(注2)
INVALID PATH-NAME	指定されたファイル名または指定方法に誤りがあります。	<ul style="list-style-type: none"> 正しいファイル名を指定してください。 正しい指定方法で指定してください。(注3)

注1：有効なファイル機能については、以下を参照してください。

- “NetCOBOLユーザズガイド”の“7.7.8 注意事項”

注2：各機能とファイル編成の組み合わせについては、以下を参照してください。

- “NetCOBOLユーザズガイド”の“7.7 ファイル処理の実行”および“7.9 他のファイルシステムの使用方法”

注3：ファイル編成がFORMAT句なし印刷ファイルの場合、指定方法に誤りがあると本エラーが検出されることがあります。以下を参照して、使用するプリンタとパラメタを正しく指定してください。

- “NetCOBOLユーザズガイド”の“付録C 環境変数情報”-“ファイル識別名(プログラムで使用するプリンタおよび各種パラメタの指定)”

4.6.5 JMP0313I-I/U

'\$2'ファイルに対する'\$1'文の実行で、ファイル制御域の獲得に失敗しました。

システムの処理

重大度コードがIの場合、エラーの発生したファイル処理を中止し、プログラムの処理を続行します。重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。なお、重大度コードは、ファイルの定義にFILE STATUS句が指定されている場合Iとなり、FILE STATUS句および誤り処理手続きの指定がない場合Uとなります。

プログラマーの処置

原因および対処については、“付録D 注意事項”の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合”を参照し、対処後、再度実行してください。

\$1には領域不足が発生したCOBOLの文(OPEN、CLOSE、START、READ、WRITE、REWRITEまたはDELETEのどれか)が設定されます。

\$2にはファイル処理の対象となったファイルのファイル名またはアクセス名が設定されます。

4.6.6 JMP0320I-I/U

'\$2'ファイルに対する'\$1'文の実行で、入出力エラーが発生しました。'\$3'、\$4

システムの処理

重大度コードがIの場合、エラーの発生したファイル処理を中止し、プログラムの処理を続行します。重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。なお、重大度コードは、ファイルの定義にFILE STATUS句が指定されている場合Iとなり、FILE STATUS句および誤り処理手続きの指定がない場合Uとなります。

プログラマーの処置

\$3に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。

\$1には入出力エラーが発生したCOBOLの文(START、READ、WRITE、REWRITEまたはDELETEのどれか)が設定されます。

\$2にはファイル処理の対象となったファイルのファイル名またはアクセス名が設定されます。

\$3に設定される文字列の意味と処置を下表に示します。

\$4にはエラーアドレスが設定されます。

表4.25 JMP0320I-I/Uの\$3の内容

\$3	エラーの内容	プログラマーの処置
[Win32] ACC-XAP	電子フォームアプリケーションのフレームワークへのアクセスでエラーが発生しました。	XMLオプション解説書の説明を参考にエラーの原因を取り除いてください。
ALTD-LEN	REWRITE 文で、レコード長が既存のレコード長と異なります。	レコードの更新では、既存のレコードの長さを変更しないでください。
BLKED-FILE	CLOSE文実行時のエラーなどにより使用できないファイルです。	本メッセージより前にJMP0310I-Iのメッセージが表示されている場合は、そのメッセージの処置に従ってください。
CNVER=xxxx	文字列のコード変換に失敗しました。 Xxxx: 16進表記	“付録A システムのエラーコードの説明”から原因を調査し、対処してください。なお、エラーコードが0xFFFFFFFFの場合、シフトJIS 範囲外の文字の使用が保証されていない箇所でもシフトJIS 範囲外の文字が使用されています。プログラムを修正してください。
ERRCD=xxxx	表示ファイルのアクセスエラーが発生しました。	各接続製品のマニュアルから原因を調査し、対処してください。(注1)
EXCEED-LEN	書き出そうとするレコードの長さがプログラムで決められた最大のレコード長を超えています。	書き出そうとするレコードの長さがプログラムで決められた最大のレコード長を超えないように修正してください。
EXCL-ERROR	排他エラーが発生しました。	再実行してください。排他エラーが頻発するようなら、運用上の問題がないかを調査してください。
FCB	FCB の内容に誤りがあります。	FCB の内容を調査してください。
FDBK=xxxx	入出力ファイルのアクセスエラーが発生しました。 xxxx: 16進表記	\$3が示すエラーコードの値は、各入出力ファイルのエラーコードです。(注2) ・ “付録A システムのエラーコードの説明”、または各種ファイルシステムのマニュアルを参照し、対処してください。
FONT	システム上に存在しないフォントを指定して出力しました。または指定されたフォントテーブルが開けません。	指定したフォント名を確認し、システム上に必要なフォントをインストールしてください。または、正しいフォントテーブル名を指定しているか確認してください。

\$3	エラーの内容	プログラマーの処置
FOVL	オーバーレイ定義が格納されているフォルダの指定、またはオーバーレイ定義が正しくありません。	正しいオーバーレイ定義が格納されているフォルダを指定しているか、初期化ファイルを確認してください。
FTNCD=xxxx	システムからのエラーコードを示します。 xxxx:16進表記	“付録A システムのエラーコードの説明”から原因を調査し、対処してください。(注2)
INV-CHAR	行順ファイルまたは印刷ファイルのレコードに不当な文字があります。	データの内容を調査してください。
INV-LEN	WRITE/REWRITE 文でレコード長が正しくありません。	書き出すレコードの長さを修正してください。
KEY-CHANGE	更新要求時のキー値がそのレコードを読み込んだときの値と異なります。	更新するレコードのキーの値を変更しないように修正してください。
LOAD	サブシステムのローディングに失敗しました。	プログラムの実行環境を調査してください。
NO-TRANS	コードセットに変換できない文字があります。	データの内容を調査してください。
OVER-RECLN	行レコードで書き出そうとした印字データ領域の長さが最大長を超えています。	書き出そうとするオーダーの長さが決められた最大長(注5)の範囲内になるようにレコード長を修正してください。
	入力したレコードの長さがプログラムで決められた最大のレコード長を超えています。	入力するレコードの長さがプログラムで決められた最大のレコード長の範囲内になるように修正してください。
PHYSIC-ERR	物理エラーが発生しました。	ファイルの内容(物理的構成要因)を確認してください。
READ-ONLY	読み込み専用ファイルです。	書込み可能となるようにファイルのアクセス権を変更してください。
REC-LOCK	他ユーザによりレコードが排他使用されています。または、レコードを排他的に使用できません。	再実行してください。排他エラーが頻発するようなら、運用上の問題がないかを調査してください。
R.KEY-ERR	乱呼出または動的呼出しにおいてRELATIVE KEYの内容がPICTURE句での定義と矛盾します。	RELATIVE KEYの最大値が格納できるようにPICTURE句によるデータ項目の大きさの指定を修正ください。
	RELATIVE KEY項目の値が0です。	RELATIVE KEY項目の値を0以外にしてください。
RMERR=xxxx	ランタイムシステムからのエラーコードを示します。xxxx:16進表記	システムの障害と考えられるため資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。(注3)
RRN>R.KEY	順処理のREAD文またはWRITE 文で相対レコード番号がRELATIVE KEY項目の最大値を超えました。	そのファイルの最大の相対レコード番号が入るように、相対キー項目の大きさを修正してください。
SESS-END	セッションエンドまたはセッション中断後にREAD文が実行されました。	セッションが開始されていない状態でREAD文を実行しないように修正してください。
THREAD=xxxxxx	スレッドの同期処理に失敗しました。 xxxxxx:16進表記	設定されたエラーコードを参考にエラーの原因を取り除いてください。(注2)
TIMEOUT	タイムアウト後にREADまたはWRITE文が実行されました。	タイムアウト後はREADまたはWRITE文を実行しないように修正してください。
UNSUPPORT	指定された機能は未サポートです。	<ul style="list-style-type: none"> ファイルの高速処理指定時、REWRITE文が実行されました。ファイルの高速処理を無効にするか、REWRITE文を使用しないようプログラムを変更してください。

\$3	エラーの内容	プログラマーの処置
		<ul style="list-style-type: none"> 外部ファイルハンドラ使用時、索引ファイルに対してFIRST指定のSTART文が実行されました。FIRST指定のSTART文を削除してください。

・注1

MeFtを使用しているときにERRCD=90xxが出力された場合、xxはMeFtの通知コードを示します。MeFtの通知コードについては、“第6章 MeFtのメッセージ”の“6.3 レベルが「エラー」の場合のメッセージ”を参照してください。

・注2

一 印刷ファイル(FORMAT句なし)の実行で、メッセージ本文中のエラーを示す文字列にFDBK=101が出力された場合は、以下の事項を確認してください。

- 不要なプリンタドライバを多数インストールしていないか。
- FCB制御文が2048バイト未満であるか。
- 不当なフォームオーバーレイパターンを指定していないか。
- 誤ったフォームオーバーレイパターン名を登録していないか。
- スプール領域が不足していないか。(以下のフォルダのディスク容量を確認してください。)
- Windowsインストールフォルダ¥System32¥Spool¥Printers
- 実装メモリ、仮想メモリが不足していないか。(同時に実行している他のアプリケーションを停止してください。実装メモリを確認し、必要であれば増設してください。仮想メモリを確認し、必要であれば大きくしてください。)

上記以外の場合、システムの障害と考えられるため、資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。

- 一 Btrieveファイルに対するエラーコードの詳細は、“Btrieve”または“Actian PSQL”のマニュアルを参照してください。お持ちでない方は、技術員(SE)に連絡してください。
- 一 [Win32]PowerRDBconnectorに対するエラーコードの詳細は、“PowerRDBconnector説明書”を参照してください。
- 一 上記以外のファイルのメッセージ本文中のエラーを示す文字列の詳細は、“付録A システムのエラーコードの説明”を参照してください。

・注3

RMERR=177F(98xx)が出力された場合、ファイルが正常に使用できない状態になっています。索引ファイルの場合には、ファイルユーティリティまたは索引ファイル復旧関数を使用して、ファイルを復旧してください。

・注4

詳細は“付録A システムのエラーコードの説明”および“Visual C++のオンラインヘルプ”を参照してください。

・注5

行レコードで書き出せるレコードの長さは、あくまでも目安ですが、以下の式で計算することができます。

$32\text{Kbyte} > \text{出力レコード長} + 2 + 100 \times \text{基本項目数}$

なお、報告書作成機能において、報告集団記述項に日本語項目を指定した場合、本メッセージが出力される可能性があります。報告書作成機能では、日本語項目を含む報告書の実行結果は保証されません。日本語項目を指定しないようにプログラムを修正してください。

4.6.7 JMP0321I-U

'\$1'ファイルに対するREAD文の実行で、ファイル終了条件が発生しました。\$2

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

- READ文にAT END指定を記述して、ファイル終了時の処置を行ってください。
- 入力データ件数に誤りがないかチェックしてください。

\$1にはファイル終了条件の発生したファイルのファイル名またはアクセス名が、\$2にはエラーアドレスが設定されます。

4.6.8 JMP0322I-U

'\$2'ファイルに対する'\$1'文の実行で、キーの順序誤りが発生しました. \$3

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

- \$1がWRITEであれば、キーの値が昇順となるようにプログラムを修正してください。
- \$1がREWRITEまたはDELETEであれば、直前のREAD文で読み込んだレコードのキーの値を変更しないように修正してください。

\$2には無効キー条件の発生したファイルのファイル名またはアクセス名が設定されます。\$3にはエラーアドレスが設定されます。

4.6.9 JMP0323I-U

'\$2'ファイルに対する'\$1'文の実行で、重複キーによる誤りが発生しました. \$3

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

キーの値が重複しないようにプログラムを修正してください。

\$1にはエラーの発生したCOBOLの文(WRITE、REWRITEまたはCLOSEのどれか)が、\$2にはエラーの発生したファイルのファイル名またはアクセス名が設定されます。

\$3にはエラーアドレスが設定されます。

4.6.10 JMP0324I-U

'\$2'ファイルに対する'\$1'文の実行で、求めるレコードが見つかりません. \$3

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

存在しないレコードを処理しないように、プログラムを修正してください。

FILE STATUS句またはINVALID KEY句を使用して、存在しないレコードへのアクセスをプログラムでチェックするように、プログラムを修正してください。

\$1にはエラーの発生したCOBOLの文(READ、REWRITE、STARTまたはDELETEのどれか)が、\$2にはエラーの発生したファイルのファイル名またはアクセス名が設定されます。

\$3にはエラーアドレスが設定されます。

4.6.11 JMP0325I-I/U

'\$2'ファイルに対する'\$1'文の実行で、ファイルの最大サイズを超えました。または、ディスクの空き容量が不足しました. \$3

システムの処理

重大度コードがIの場合、プログラムの処理を続行し、重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。なお、重大度コードは、ファイルの定義にFILE STATUS句が指定されている場合Iとなり、FILE STATUS句および誤り処理手続きの指定がない場合Uとなります。

プログラマーの処置

ディスクの空き容量が不足している場合は、空き容量を増やし、再度実行してください。

ファイルの最大サイズを超えている場合は、以下を参照し、ファイルを分割するなど最大サイズを超えないようにしてください。

- ・ “NetCOBOLユーザーズガイド”の“表7.10 各ファイルシステムの機能差”

\$1にはエラーの発生したCOBOLの文(WRITE、REWRITE、READ、STARTまたはCLOSEのどれか)が、\$2にはエラーの発生したファイルのファイル名またはアクセス名が設定されます。

\$3にはエラーアドレスが設定されます。

4.6.12 JMP0326I-U

'\$2'ファイルに対する'\$1'文の実行で、NO-SPACE状態になりました. \$3

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

ディスクの空き容量またはファイルのスペース量を増やし、再度実行してください。

\$1にはエラーの発生したCOBOLの文(WRITE、REWRITE、READ、STARTまたはCLOSEのどれか)が、\$2にはエラーの発生したファイルのファイル名またはアクセス名が設定されます。

\$3にはエラーアドレスが設定されます。

4.6.13 JMP0327I-U

'\$2'ファイルに対する'\$1'文の実行で、無効キー条件が発生しました. '\$3'. \$4

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$3が'RRN>R.KEY'であるなら、順処理のレコード書出しで、相対レコード番号がRELATIVE KEY項目で持つことのできる最大値を超えないように、プログラムを修正してください。または、INVALID KEY句を記述して、無効キー条件が発生したときの処理を行うようにプログラムを修正してください。

\$1にはエラーの発生したCOBOLの文(WRITE)が、\$2にはエラーの発生したファイルのファイル名またはアクセス名が設定されます。

\$4にはエラーアドレスが設定されます。

4.6.14 JMP0328I-I/U

'\$1'ファイルの'WRITE'文で、CHARACTER TYPE句のDEPENDING ONに指定された値が、許容値を超えています. \$2

システムの処理

重大度コードがIの場合、プログラムの処理を続行し、重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。なお、重大度コードは、ファイルの定義にFILE STATUS句が指定されている場合Iとなり、FILE STATUS句および誤り処理手続きの指定がない場合Uとなります。

プログラマーの処置

DEPENDING ONに指定された値が許容値を超えないように、プログラムを修正してください。
\$1にはエラーの発生したファイルのファイル名またはアクセス名が設定されます。
\$2にはエラーアドレスが設定されます。

4.6.15 JMP0330I-I/U

'\$2'ファイルの'\$1'文で,実行順序の誤りが発生しました.'\$3'.\$4

システムの処理

重大度コードがIの場合、プログラムの処理を続行し、重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。なお、重大度コードは、ファイルの定義にFILE STATUS句が指定されている場合Iとなり、FILE STATUS句および誤り処理手続きの指定がない場合Uとなります。

プログラマーの処置

\$3で設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。
\$1には入出力エラーが発生したCOBOLの文(OPEN、CLOSE、START、READ、WRITE、REWRITEまたはDELETEのどれか)が設定されます。
\$2にはファイル処理の対象となったファイルのファイル名またはアクセス名が設定されます。
\$3に設定される文字列の意味を下表に示します。
\$4にはエラーアドレスが設定されます。

表4.26 JMP0330I-I/Uの\$3の内容

\$3	エラーの原因
AT-END	ファイル終了条件発生後、さらにREAD文が実行されました。
DUPL-OPEN	すでに開かれたファイルに対してOPEN文が実行されました。
LOCKED	LOCK指定のCLOSE文実行後そのファイルを開こうとしました。
NO-READ	直前が成功したREAD文ではありません。
NOSPACE	NO-SPACE状態発生後、さらにWRITE文が実行されました。
NOT-OPENED	開かれていないファイルに対して入出力文が実行されました。
OPEN-MODE	OPENモードが正しくありません。
POS-ERROR	ファイル位置指示子が不定です。

4.6.16 JMP0331I-U

'\$1'ファイルでスレッドの同期処理に失敗しました.'\$2'.\$3

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$2に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。
\$1にはファイル名、\$3にはエラーアドレスが設定されます。

表4.27 JMP0331I-Uの\$2の内容

\$2	エラーの内容	プログラマーの処置
ABANDONED	あるスレッドのプログラムが異常終了したため、ロックの所有権が正しく解放されませんでした。	直前に異常終了しているスレッドがあれば、その原因を調査し、対処してください。
CODE=0xXXXX	システムからのエラーコードを示します。 XXXX: 16進表記	“付録A システムのエラーコードの説明”から原因を調査し、対処してください。

4.6.17 JMP0340I-U

'\$1'ファイルに対する制御レコードの形式に誤りがあります.'\$2'.\$3

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$2に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。

\$1にはファイル処理の対象となったファイルのファイル名またはアクセス名が設定されます。

\$2に設定される文字列とエラーが検出された制御レコード中の内容の関係を下表に示します。

\$3にはエラーアドレスが設定されます。

なお、RSV(システム使用)域に空白が設定されていない場合もこのエラーメッセージが出力される場合があります。RSV域に空白が設定されているか確認してください。

表4.28 JMP0340I-Uの\$2の内容

\$2(文字列)	エラーが検出されたフィールドの内容
BIND	とじしろ方向
CMOD	複写修正モジュール名
C-NO	複写数
DOC-INFO	文書名識別情報
FCB	FCB 名
FID	フォーマット定義体名
FORM	用紙コード
FOVL	フォームオーバーレイモジュール名
F-NO	フォームオーバーレイのフィールド数
HOP	用紙供給口
ID	制御レコードID
LEN	制御レコード長
LOAD	ダイナミックロード
MODE	制御モード
OFST	印刷原点位置
OSTK	オフセットスタック
PFRM	印刷形式
POST	印刷面位置付け
PRTA	印字禁止領域
RSV	予約域(空白でない)
R-NO	フォームオーバーレイ焼付け回数
SIDE	印刷面指定
SIZE	用紙サイズ
STK	用紙排出口
S-NO	複写修正開始番号
T-NO	複写修正用文字配列テーブル番号
WDTH	とじしろ幅
XTB	複写修正用文字配列テーブル名

4.6.18 JMP0350I-U

USE手続き中のファイルに対する入出力文の実行により,USE手続きが再帰的に呼び出されました.

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

誤り処理手続き中の入出力文の実行により、その誤り処理手続きが再び実行された場合、前の実行に対しては、その誤り処理手続きの最後の文に制御を到達させてはなりません。

4.6.19 JMP0360I-U

表示ファイルのアクセス中に,システムのエラーが発生しました. CODE=\$1.

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

SYMBOLIC DESTINATION句に指定した宛先の内容を確認してください。宛先の内容が正しければ、システムの障害と考えられるため、資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。
\$1にはエラーの詳細を示す内部コードが設定されます。

4.6.20 JMP0362I-U

'\$2'ファイルに対する'\$1'文の実行で,レコードの生成処理のエラーが発生しました.CODE=\$3.\$4

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$3に設定されたエラーコードを参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。
\$1にはエラーが発生したCOBOLの文(OPEN、CLOSE、WRITEのいずれか)が設定されます。
\$2にはファイル処理の対象となったファイルのファイル名またはアクセス名が設定されます。
\$4にはエラーアドレスが設定されます。



[Win32][Winx64]“NetCOBOLユーザーズガイド”の“8.6.5 実行時エラーについて”

4.6.21 JMP0363I-U

'\$1'ファイルに対するSYMBOLIC DESTINATION句の指定に誤りがあります.

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

SYMBOLIC DESTINATION句に指定した宛先名を正しく指定し、再実行してください。
\$1にはアクセス名またはファイル名が設定されます。

4.6.22 JMP0364I-I/U

'\$2'ファイルに対するREADまたはWRITE文で,\$1句の指定に誤りがあります.

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$1句(指定誤りのあった句)に指定したデータ項目の内容を正しく指定し、再実行してください。
\$2には、アクセス名またはファイル名が設定されます。

4.6.23 JMP0365I-U

同じ名前を持つフォントが複数存在します。 '\$1' \$2

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$1に示すフォントが複数通知されました。以下の対処を行った後、再度実行してください。

- ・ コントロールパネルのフォントを選択し、フォント一覧を参照して、同じ名前のフォントが複数存在していたら、不要なフォントを削除してください。

4.6.24 JMP0370I-U

SQL文を実行するための動的作業域の獲得に失敗しました。 \$1

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

原因および対処については、“付録D 注意事項”の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合”を参照し、対処後、再度実行してください。
\$1にはエラーアドレスが設定されます。

4.6.25 JMP0371I-U

SQL文を実行するための環境情報ファイルに誤りがあります。 '\$1' \$2

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

環境情報ファイル内の指定を正しく設定し、再度実行してください。
\$1にはエラーの原因を示す文字列が設定されます。
\$2にはエラーアドレスが設定されます。

表4.29 JMP0371I-Uの\$1の内容

\$1	エラーの内容
@ODBC_Inf	ODBC情報ファイルが指定されていないか存在しません。
@SQL_DATASRC	データソース名が指定されていません。
@SQL_SERVER	サーバ名が指定されていません。
@SQL_USERID	ユーザIDが指定されていません。
@SQL_PASSWORD	パスワードが指定されていません。

4.6.26 JMP0372I-U

SQL文を実行するための環境開設でエラーが発生しました。 '\$1' \$2 \$3

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$1に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。

\$3にはエラーアドレスが設定されます。

表4.30 JMP0372I-Uの\$1の内容

\$1	エラーの内容	プログラマーの処置
LOAD	ランタイムライブラリのローディングに失敗しました。	\$2に設定された詳細コード(注)の内容を参考に対処してください。
FREE	ランタイムライブラリの解放に失敗しました。	\$2に設定された詳細コード(注)の内容を参考に対処してください。

注：詳細は“付録A システムのエラーコードの説明”および“Visual C++のオンラインヘルプ”を参照してください。

4.6.27 JMP0373I-U

サーバ名 '\$3' に対する '\$2' 文の実行で '\$1' エラーが発生しました。 '\$4' \$5

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$4に設定されたエラーコードを参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。

\$1にはクライアントインタフェース種別が、\$2にはエラーが発生したSQL文が、\$3にはエラーの発生したサーバ名が設定されます。

\$5にはエラーアドレスが設定されます。

エラーコードの意味については、各クライアントインタフェースのエラーコードマニュアルの説明を参照してください。

4.6.28 JMP0374I-U

認識できないSQL文が現れたため、処理が続行できません。 \$1

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

使用できないSQL文を取り除き、再度実行してください。使用できないSQL文については、各データベース環境の制限事項または注意事項を参考にしてください。

\$1にはエラーアドレスが設定されます。

4.6.29 JMP0375I-U

SQL文を実行するための環境情報ファイルにしたがって、SQL文を実行することができません。 '\$1' \$2

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$1に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。
\$2にはエラーアドレスが設定されます。

表4.31 JMP0375I-Uの\$1の内容

\$1	エラーの内容	プログラマーの処置
[Win32] INV-OBJECT-MODULE	ODBC情報ファイルのコネクション有効範囲にOBJECT_INSTANCEが指定された動作環境でV40以前のコンパイラで翻訳されたプログラムが実行されました。	V40以前のコンパイラで翻訳されたプログラムをV50以降のコンパイラで再翻訳してください。
INV-SCOPE-THREAD	ODBC情報ファイルのコネクション有効範囲にTHREADが指定された動作環境でクラス定義に記述された埋込みSQL文が実行されました。	コネクション有効範囲の指定値を変更してください。または、プログラム定義に記述された埋込みSQL文だけ実行するようにプログラムを変更してください。
INV-SCOPE-OBJECT-INSTANCE	ODBC情報ファイルのコネクション有効範囲にOBJECT_INSTANCEが指定された動作環境でプログラム定義に記述された埋込みSQL文が実行されました。	コネクション有効範囲の指定値を変更してください。または、クラス定義に記述された埋込みSQL文だけ実行するようにプログラムを変更してください。

4.6.30 JMP0376I-U

Symfoware連携において、マルチスレッドでSQL文を実行するための環境開設でエラーが発生しました。' \$1'

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$1に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。

表4.32 JMP0376I-Uの\$1の内容

\$1	エラーの内容	プログラマーの処置
NOT-INSTALLED	Symfoware クライアントが正しくインストールされていません。	Symfoware クライアントが正しくインストールされていることを確認してください。
ENVIRONMENT-ERROR:Symfoware のエラーメッセージ	Symfoware の動作エラーです。	Symfoware のエラーメッセージを同時に出力しますので、Symfoware/RDB メッセージリファレンスを参照して対処してください。

4.6.31 JMP0392I-U

ネットワークデータベース機能を使用することはできません。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

- OSIV系システム固有機能を使用しないように、プログラムを修正してください。
- [Win32]32ビットWindowsで分散開発支援機能を使用する場合は、デバッガ配下で再度実行してください。

4.7 JMP0400—JMP0499

0400 0410 0420

4.7.1 JMP0400I-U

アクセス環境が正しくありません。SYS=\$1,FILE=\$2,BLK=\$3,\$4=\$5

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

システムの障害と考えられるため、資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。

\$1～\$5には以下の情報が設定されます。

- \$1: システムから通知されたエラー情報または文字列NONE(システムからの情報がない場合)
- \$2: システム情報
- \$3: エラーを検出した制御ブロックアドレス
- \$4: ERRまたはREQ
- \$5: エラー内部情報として次の情報が設定されます。
 - \$4がERRの場合: 検出箇所
 - \$4がREQの場合: 処理コード

4.7.2 JMP0410I-U

JMPCINT2を使用している場合、応用プログラムにおいて、STOP RUN文を実行してはなりません。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

応用プログラム中のSTOP RUN文をEXIT PROGRAM文に置き換えてください。

4.7.3 JMP0420I-I

ウィンドウハンドルの獲得に失敗しました。' \$1' . \$2

システムの処理

復帰値に-1を返却します。

プログラマーの処置

エラーの内容を取り除き、再度実行してください。

\$1には、エラーの原因を示す文字列が設定されます。

表4.33 JMP0420I-Iの\$1の内容

\$1	エラーの内容	プログラマーの処置
ACC-ERROR	ウィンドウハンドル獲得処理でエラーが発生しました。	\$2に設定されたMeFtの通知コードから原因を調査し、対処してください。(注)
INV-ENV	動作環境に誤りがあります。	COBOLの動作環境を確認してください。
INV-KIND	指定されたファイル識別名に対応するファイルの種類に誤りがあります。	表示ファイルのファイル識別名を指定してください。
NON-FILE	指定されたファイル識別名に対応するファイルが存在しません。	ファイル識別名を正しく指定してください。または、ファイルのオープンが成功しているか確認してください。

注: 詳細は、「第6章 MeFtのメッセージ」の「6.3 レベルが「エラー」の場合のメッセージ」を参照してください。

4.8 JMP0600—JMP0699

0600 0601 0608 0609 0612 0613 0614 0615 0616

4.8.1 JMP0600I-I/U

SORTまたはMERGE文を実行するために十分な仮想メモリがありませんでした。

システムの処理

重大度コードがIの場合、プログラムの処理を続行し、重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。なお、重大度コードは、プログラム中で特殊レジスタSORT-STATUSが参照されている場合Iとなり、参照されていない場合Uとなります。

プログラマーの処置

原因および対処については、“付録D 注意事項”の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合”を参照し、対処後、再度実行してください。

4.8.2 JMP0601I-I/U

SORT文またはMERGE文でエラーが発生しました。\$1。\$2

システムの処理

重大度コードがIの場合、プログラムの処理を続行し、重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。なお、重大度コードは、プログラム中で特殊レジスタSORT-STATUSが参照されている場合Iとなり、参照されていない場合Uとなります。

プログラマーの処置

\$1に設定された情報を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。

\$1にはファイル情報(アクセス名またはファイル名)または詳細情報が設定されます。

\$2にはエラーアドレスが設定されます。

下表に詳細情報の値、意味および処置を示します。

表4.34 JMP0601I-I/Uの\$1の内容

\$1	エラーの内容	プログラマーの処置
0	特殊レジスタSORT-STATUSに16が設定されました。	プログラム中で特殊レジスタSORT-STATUSに「16」を設定したことで、ソート処理またはマージ処理が終了したことを示しています。
50	メモリ不足です。	メモリ容量を確保できるよう、環境を確認してください。(注)
51	ソート対象レコードの入力処理で何らかのエラーが発生しました。	プログラムを再度実行しても同様のエラーが発生した場合には、システムの障害と考えられるため、技術員(SE)に連絡してください。
52	メモリ不足です。	メモリ容量を確保できるよう、環境を確認してください。(注)
53	ソート対象レコードの入力処理で何らかのエラーが発生しました。	プログラムを再度実行しても同様のエラーが発生した場合には、システムの障害と考えられるため、技術員(SE)に連絡してください。
54		
56		
59		
62		
100	ソートマージプログラムでエラーが発生しました。	
101	ソート対象レコードの入力処理で何らかのエラーが発生しました。	

\$1	エラーの内容	プログラマーの処置
102	ソート対象レコードの出力処理で何らかのエラーが発生しました。	
103	マージ対象レコードの入力処理で何らかのエラーが発生しました。	
110	ソート対象レコードのアドレスが取得できませんでした。	
111	レコード長に誤りがあります。	レコード長がCOBOLの仕様に合っているか確認してください。
112	ソート対象レコードの入力処理で何らかのエラーが発生しました。	プログラムを再度実行しても同様のエラーが発生した場合には、システムの障害と考えられるため、技術員(SE)に連絡してください。
113		
114	マージ対象ファイル中のレコードがソートされていません。	マージ対象ファイル中のレコードをソートしてからマージするようにプログラムを修正してください。
208	整列併合用ファイルのオープンでエラーが発生しました。	ソートに必要な作業領域が不足している可能性があります。環境変数BSORT_TMPDIRを使用して作業用フォルダを指定してください。 プログラムを再度実行しても同様のエラーが発生した場合には、システムの障害と考えられるため、技術員(SE)に連絡してください。 ・ “NetCOBOLユーザーズガイド”の“12.2.4 プログラムの実行”
212	整列併合用ファイルの容量が足りません。	ファイルの容量を確保できるように、ハードディスクなどの環境を整備してください。
214	整列併合用ファイルの作成ができません。	ファイルの作成ができるように、ハードディスクなどの環境を整備してください。
224	整列併合用ファイルへの書込み中にエラーが発生しました。	プログラムを再度実行しても同様のエラーが発生した場合には、システムの障害と考えられるため、技術員(SE)に連絡してください。
250	ソートマージプログラムでエラーが発生しました。	
その他	PowerSORT でエラーが発生しました。(PowerSORT 使用時)	“PowerSORT Server ユーザーズガイド”の“BSORT関数のエラー詳細コード”を参照してください。

注：対処方法は、“付録D 注意事項”の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合”を参照してください。

4.8.3 JMP0608I-I/U

RELEASE文は、出力手続き中で実行できません. \$1

システムの処理

重大度コードがIの場合、プログラムの処理を続行し、重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。なお、重大度コードは、プログラム中で特殊レジスタSORT-STATUSが参照されている場合Iとなり、参照されていない場合Uとなります。

プログラマーの処置

プログラムを修正してください。
\$1にはエラーアドレスが設定されます。

4.8.4 JMP0609I-I/U

RETURN文は、入力手続き中で実行できません. \$1

システムの処理

重大度コードがIの場合、プログラムの処理を続行し、重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。なお、重大度コードは、プログラム中で特殊レジスタSORT-STATUSが参照されている場合Iとなり、参照されていない場合Uとなります。

プログラマーの処置

プログラムを修正してください。
\$1にはエラーアドレスが設定されます。

4.8.5 JMP0612I-I/U

RETURN文は、ファイル終了条件発生後に実行できません。\$1

システムの処理

重大度コードがIの場合、プログラムの処理を続行し、重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。なお、重大度コードは、プログラム中で特殊レジスタSORT-STATUSが参照されている場合Iとなり、参照されていない場合Uとなります。

プログラマーの処置

ファイル終了条件発生後にRETURN文を実行しないように、プログラムを修正してください。
\$1にはエラーアドレスが設定されます。

4.8.6 JMP0613I-I/U

整列併合用ライブラリがロードできません。\$1 \$2 \$3

システムの処理

重大度コードがIの場合、プログラムの処理を続行し、重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。なお、重大度コードは、プログラム中で特殊レジスタSORT-STATUSが参照されている場合Iとなり、参照されていない場合Uとなります。

プログラマーの処置

エラーの原因を取り除き、再度実行してください。
\$1には整列併合用ライブラリのファイル名、\$2にはエラーコードが設定されます。
ただし、\$1および\$2が出力されていない場合、PowerSORTが正しくインストールされているか、確認してください。
\$3にはエラーアドレスが設定されます。



参照

- “付録A システムのエラーコードの説明”
- “Visual C++のオンラインヘルプ”

4.8.7 JMP0614I-I/U

SORT文またはMERGE文は入力および出力手続き中で実行できません。\$1

システムの処理

重大度コードがIの場合、プログラムの処理を続行し、重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。なお、重大度コードは、プログラム中で特殊レジスタSORT-STATUSが参照されている場合Iとなり、参照されていない場合Uとなります。

プログラマーの処置

SORT文またはMERGE文に記述された入力および出力手続きの処理中にSORT文またはMERGE文を実行しないように、プログラムを修正してください。
\$1にはエラーアドレスが設定されます。

4.8.8 JMP0615I-I/U

SORTまたはMERGE文でスレッドの同期処理に失敗しました.'\$1'.\$2

システムの処理

重大度コードがIの場合、プログラムの処理を続行し、重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。なお、重大度コードは、プログラム中で特殊レジスタSORT-STATUSが参照されている場合Iとなり、参照されていない場合Uとなります。

プログラマーの処置

\$1に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。
\$2にはエラーアドレスが設定されます。

表4.35 JMP0615I-I/Uの\$1の内容

\$1	エラーの内容	プログラマーの処置
ABANDONED	あるスレッドのプログラムが異常終了したため、ロックの所有権が正しく解放されませんでした。	直前に異常終了しているスレッドがあれば、その原因を調査し、対処してください。
CODE=0xXXXX	システムからのエラーコードを示します。	“付録A システムのエラーコードの説明”から原因を調査し、対処してください。

4.8.9 JMP0616I-U

スレッドの同期処理に失敗しました.\$1

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

スレッドの同期処理に誤りを検出しました。エラーが頻発するようなら、システムの障害と考えられるため、資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。
\$1にはエラーアドレスが設定されます。

4.9 JMP0700—JMP0799

0701 0702 0703 0704 0705 0724 0725 0726 0727 0771
0772 0773 0774 0775 0776

4.9.1 JMP0701I-U

GCBが壊れています.

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

COBOLランタイムシステムが利用している領域(GCB)が破壊されています。以下の項目について確認し、プログラムを修正して再度実行してください。

- ・ 添字、指標、部分参照またはOCCURS DEPENDING ON句を含むデータ項目を参照している場合、それらの参照範囲を超えていないかチェックしてください。
- ・ CALL文などで受渡しを行うパラメタが存在する場合、パラメタの属性が引渡し側と受取り側で一致しているかをチェックしてください(長さなど)。

- ・ファイルを使っている場合、誤った長さでレコードを扱っていないかチェックしてください(たとえば、可変長の入力ファイルで実際のレコード長ではなく最大長を使ってSPACEクリアなどの処理をした場合など)。

4.9.2 JMP0702I-U

LIAが壊れています。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

COBOLランタイムシステムが利用している領域(LIA)が破壊されています。処置については、JMP0701I-Uを参照してください。

4.9.3 JMP0703I-U

RCBが壊れています。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

COBOLランタイムシステムが利用している領域(RCB)が破壊されています。処置については、JMP0701I-Uを参照してください。

4.9.4 JMP0704I-U

デバッグ機能の実行に必要な内部テーブルが壊れています。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

JMP0701I-Uを参照してください。

4.9.5 JMP0705I-W

'\$1' 機能を実行するための動的作業域の確保ができません。

システムの処理

'\$1' 機能をキャンセルし、プログラムの処理を続行します。

プログラマーの処置

原因および対処については、“付録D 注意事項”の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合”を参照し、対処後、再度実行してください。

\$1にはデバッグ機能の機能名が設定されます。

4.9.6 JMP0724I-W

'\$1' ファイルがオープンできなかったため、デバッグ情報 '\$2' の出力ができません。

システムの処理

'\$2' 情報の出力を中止して処理を続行します。

プログラマーの処置

以下の項目を確認してください。

- ファイルの割当てが正しいか
- ファイルのアクセス権が正しいか
- 複数のプロセスから同じファイルにデバッグ情報を出力しようとしていないか

\$1にはアクセス名が、\$2にはデバッグ機能の機能名が設定されます。

4.9.7 JMP0725I-W

デバッグ情報ファイル'\$1'のオープンに失敗しました. '\$2'

システムの処理

'\$1'情報の出力を中止してプログラムの処理を続行します。

プログラマーの処置

デバッグ情報ファイルについて、\$2に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。

表4.36 JMP0725I-Wの\$2の内容

詳細情報(\$2)	エラーの内容	プログラマーの処置
ERRCD=0xXXXX	システムからのエラーコード(error)を示します。	システムのerrorの説明から原因を調査し、対処してください。

4.9.8 JMP0726I-W

環境変数 '\$1' の指定に誤りがあるため、デバッグ情報 '\$2' の出力ができません。

システムの処理

'\$2'情報の出力を中止してプログラムの処理を続行します。

プログラマーの処置

環境変数 '\$1' に正しい値を指定して再度実行してください。

4.9.9 JMP0727I-W

環境変数'\$1' に指定したファイルが最大サイズを超えているため、デバッグ情報 '\$2' の出力ができません。

システムの処理

'\$2'情報の出力を中止してプログラムの処理を続行します。

プログラマーの処置

環境変数 '\$1' に指定したファイルのサイズを確認し、再度実行してください。

4.9.10 JMP0771I-W

環境変数\$1の値に誤りがあります。

システムの処理

環境変数(\$1)が指定されなかったものとみなして、処理を続行します。

プログラマーの処置

環境変数(\$1)に正しい値を指定して、再度実行してください。



- “NetCOBOLユーザーズガイド”の“付録C 環境変数情報”
 - “@CBR_CSV_OVERFLOW_MESSAGE (CSV形式データ操作時のメッセージ抑止指定)”
 - “@CBR_ATTACH_TOOL(アタッチ形式のデバッグを行う指定)”
 - “@CBR_JUSTINTIME_DEBUG(異常終了時に診断機能を使って調査を行う指定)”
- “NetCOBOL Studioユーザーズガイド”(環境変数情報@CBR_ATTACH_TOOL関連)

4.9.11 JMP0772I-W

\$1の起動に失敗しました.' \$2'.' \$3'

システムの処理

環境変数情報@CBR_ATTACH_TOOLまたは環境変数情報@CBR_JUSTINTIME_DEBUGが指定されなかったものとみなして、処理を続行します。

プログラマーの処置

- \$2に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。
- \$1にはツールを示す文字列(COBOL DEBUGGERまたはCOBOL ERROR REPORT)、\$3にはエラーの原因に対する詳細情報が設定されます。
- \$2および\$3に設定される文字列を下表に示します。

表4.37 JMP0772I-Wの\$2および\$3の内容

\$2	エラーの内容	詳細情報(\$3)	プログラマーの処置
SNAP ERROR	診断機能が正しく動作しませんでした。	診断機能が正しく動作できませんでした。 @CBR_JUSTINTIME_DEBUG=NOの指定により診断機能を停止して、アプリケーションを再実行してください。 API=API名, CODE=エラーコード(16進表記)	エラーメッセージが表示されている場合は、表示された内容を参考にして問題を解決してください。 診断機能ログが必要な場合は、以下に示すような実行環境を見直してください。 <ul style="list-style-type: none"> • COBOLが正しくインストールされているか。 • メモリサイズは十分か。 • システムがビジー状態ではないか。
API ERROR	システムエラーを検出しました。	API=API名, CODE=エラーコード(16進表記)	資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。
LOGON FAILED	ログオンに失敗しました。	DOMAIN=ドメイン名, USER=ユーザ名, PASSWORD=パスワード	資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。
SERVICE NOT RUN	サービスが起動されていません。	NAME=サービス名	コントロールパネルからサービスを開き、サービス(\$3)を起動してください。
SERVICE BUSY	サービスがビジー状態です。	NAME=サービス名	再度、実行してください。エラーが頻発するようなら、運用上の問題がないかを調査してください。

4.9.12 JMP0773I-W

COBOLデバッガからの応答がなくタイムアウトが発生しました。

システムの処理

- [Win32]COBOLデバッガを終了後、環境変数情報@CBR_ATTACH_TOOLが指定されなかったものとみなして、処理を続行します。
- [Winx64]NetCOBOL Studioでのリモートデバッグを終了後、環境変数情報@CBR_ATTACH_TOOLが指定されなかったものとみなして、処理を続行します。

プログラマーの処置

- [Win32]起動されたCOBOLデバッガからの要求に対する応答がありません。再度実行して、COBOLデバッガからの要求に応答してください。
- [Winx64]リモートデバッグを行うNetCOBOL Studioからの要求に対する応答がありません。再度実行して、NetCOBOL Studioからの要求に応答してください。

4.9.13 JMP0774I-W

リモートデバッグにおいて、クライアントとの接続に失敗しました。 \$1. \$2

システムの処理

- [Win32]環境変数情報@CBR_ATTACH_TOOLまたは@CBR_JUSTINTIME_DEBUGが指定されなかったものとみなして、処理を続行します。
- [Winx64]環境変数情報@CBR_ATTACH_TOOLが指定されなかったものとみなして、処理を続行します。

プログラマーの処置

\$1に設定された情報を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。
\$2には詳細情報が設定されます。

表4.38 JMP0774I-Wの\$1および\$2の内容

\$1	エラーの内容	プログラマーの処置
0	<ul style="list-style-type: none"> • [Win32]リモートデバッガの資産が正しくインストールされていません。 • [Winx64]NetCOBOL Studioの資産が正しくインストールされていません。 	NetCOBOLを正しくインストールしてください。
1	winsock1.1(TCP/IP)がサポートされていません。	winsock1.1を利用できる環境下で再度実行してください。
2	<ul style="list-style-type: none"> • [Win32] 環境変数情報@CBR_ATTACH_TOOL または @CBR_JUSTINTIME_DEBUGに指定した調査手段に誤りがあります。 • [Winx64] 環境変数情報@CBR_ATTACH_TOOLに指定した調査手段に誤りがあります。 	リモートデバッグでは、\$2をサポートしていません。サポートしている形式を指定してください。\$2には環境変数に指定された文字列が設定されます。
10	<ul style="list-style-type: none"> • [Win32] 環境変数情報@CBR_ATTACH_TOOL または @CBR_JUSTINTIME_DEBUGに指定した接続先の指定に誤りがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> • 接続するクライアントのホスト名にスペルミスがないことを確認してください。 • 接続するクライアントのホスト名が定義されていることを確認してください。
11	<ul style="list-style-type: none"> • [Winx64] 環境変数情報@CBR_ATTACH_TOOLに指定した接続先の指定に誤りがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> • ホスト名を解決したIPアドレスの定義に誤りがないことを確認してください。 • IPアドレスの指定形式に間違いがないことを確認してください。
12		ポート番号に設定可能範囲外の値が設定されています。1024～65535の範囲で設定してください。

\$1	エラーの内容	プログラマーの処置
20	クライアントとの接続に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> 接続先に指定したコンピュータでクライアント側のリモートデバッグコネクタが動作中であることを確認してください。 クライアント側のリモートデバッグコネクタの接続制限で接続が許可されていることを確認してください。
21	リモートデバッグのバージョンが適切ではありません。	クライアントとサーバで、デバッグのバージョンを適切に合わせてください。

4.9.14 JMP0775I-W

リモートデバッグにおいて、クライアントとの接続が切断されました. \$1

システムの処理

- [Win32]環境変数情報@CBR_ATTACH_TOOLまたは@CBR_JUSTINTIME_DEBUGが指定されなかったものとみなして、処理を続行します。
- [Winx64]環境変数情報@CBR_ATTACH_TOOLが指定されなかったものとみなして、処理を続行します。

プログラマーの処置

\$1に設定された情報を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。

表4.39 JMP0775I-Wの\$1の内容

\$1	エラーの内容	プログラマーの処置
0	パケットが改竄された可能性があるため、クライアントとの接続を切断しました。	ネットワーク管理者に相談し、セキュアな環境を確立してください。
1	クライアントとの接続が切断されました。	<ul style="list-style-type: none"> クライアント側のリモートデバッグコネクタの接続制限により、接続が拒否されていないことを確認してください。 クライアントのアプリケーションが終了したことにより、接続が切断されました。クライアント側のリモートデバッグコネクタが起動されていることを確認してください。 ネットワークが使用可能な状態であるかを確認してください。

4.9.15 JMP0776I-W

リモートデバッグにおいて、'\$1'の'\$2'でエラーが発生しました. \$3. \$4

システムの処理

- [Win32]環境変数情報@CBR_ATTACH_TOOLまたは@CBR_JUSTINTIME_DEBUGが指定されなかったものとみなして、処理を続行します。
- [Winx64]環境変数情報@CBR_ATTACH_TOOLが指定されなかったものとみなして、処理を続行します。

プログラマーの処置

再度実行してください。再度実行しても発生する場合は、技術員(SE)に連絡してください。

\$1～\$4には以下の情報が設定されます。

- \$1: モジュール名
- \$2: API名
- \$3: エラーコード(10進表記)
- \$4: エラーコードの説明

4.10 JMP0800—JMP0899

0810 0811 0812 0820 0821 0822 0828 0829 0899

4.10.1 JMP0810I-E/U

'\$1' メソッドの\$2指定のパラメタに誤りがあります. \$3 \$4 LINE=\$5

システムの処理

重大度コードがEの場合、パラメタをそのまま使用し、処理を続行します。

重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

メッセージで指摘されたメソッド(\$1)を正しいパラメタで呼び出すように、プログラムを修正し、再度実行してください。
\$1～\$5には、以下の情報が設定されます。

- \$1: パラメタに誤りのあるメソッド名
- \$2: パラメタの指定(USINGまたはRETURNING)
- \$3: USING指定のパラメタエラーの詳細
 - 'NUMBER': パラメタの個数に誤りがあります。
 - PARAMETER=n: n番目に指定されているパラメタに誤りがあります。
- \$4: 外部プログラム名またはメソッド名
- \$5:
 - [Win32]ステートメント番号([COPY修飾値-]行番号. 行番号内動詞追番)
 - [Winx64]ステートメント番号([COPY修飾値-]行番号)



参照

- [Win32]“NetCOBOLユーザーズガイド”の“第21章 テスト支援機能”-“ステートメント番号”
 - [Winx64]“NetCOBOLユーザーズガイド”の“第19章 テスト支援機能”-“ステートメント番号”
-

4.10.2 JMP0811I-E/U

'\$1' プログラムの呼出し規約またはパラメタが一致していません.\$2.LINE=\$3.

システムの処理

重大度コードがEの場合、呼出し規約またはパラメタをそのまま使用し、処理を続行します。

重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

メッセージで指摘されたプログラム(\$1)を正しい呼出し規約およびパラメタで呼び出すようにプログラムを修正し、再度実行してください。
\$2には外部プログラム名またはメソッド名が、\$3にはステートメント番号([COPY修飾値-]行番号. 行番号内動詞追番)が設定されます。



参照

- [Win32]“NetCOBOLユーザーズガイド”の“第21章 テスト支援機能”-“ステートメント番号”

- [Winx64]“NetCOBOLユーザーズガイド”の“第19章 テスト支援機能”-“ステートメント番号”

4.10.3 JMP0812I-E/U

CALL文のパラメタが一致していません. '\$1' \$2. LINE=\$3.

システムの処理

重大度コードがEの場合、呼出し規約またはパラメタをそのまま使用し、処理を続行します。

重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$1で指摘された内容をもとに、下表に示す処置を施し、再度実行してください。

表4.40 JMP0812I-E/Uの\$1の内容

\$1	処置
USING PARAMETER NUMBER	USING に指定したパラメタの個数を一致させてください。
USING nTH PARAMETER (nTH = 1ST, 2ND, 3RD, 4TH...)	USING に指定した n番目のパラメタの大きさを一致させてください。
RETURNING PARAMETER	RETURNING に指定したパラメタの大きさを一致させてください。

\$2～\$3には以下の情報が設定されます。

- \$2 : プログラム名または、クラス名とメソッド名
- \$3 :
 - [Win32]ステートメント番号([COPY修飾値-]行番号. 行番号内動詞追番)
 - [Winx64]ステートメント番号([COPY修飾値-]行番号)



参照

- [Win32]“NetCOBOLユーザーズガイド”の“第21章 テスト支援機能”-“ステートメント番号”
- [Winx64]“NetCOBOLユーザーズガイド”の“第19章 テスト支援機能”-“ステートメント番号”

4.10.4 JMP0820I-E/U

添字または指標の値が範囲外を指しています. \$1. LINE=\$2. OPD=\$3(\$4)

システムの処理

重大度コードがEの場合、添字または指標の値をそのまま使用し、処理を続行します。

重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

メッセージで指摘された添字または指標に正しい値を設定し、再度実行してください。

\$1～\$4には以下の情報が設定されます。

- \$1 : 外部プログラム名またはメソッド名
- \$2 :
 - [Win32]ステートメント番号([COPY修飾値-]行番号. 行番号内動詞追番)
 - [Winx64]ステートメント番号([COPY修飾値-]行番号)

- \$3 : データ名
- \$4 : データ名の次元数

参照

- [Win32]“NetCOBOLユーザーズガイド”の“第21章 テスト支援機能”-“ステートメント番号”
- [Winx64]“NetCOBOLユーザーズガイド”の“第19章 テスト支援機能”-“ステートメント番号”

4.10.5 JMP0821I-E/U

参照可能範囲外の部分参照を行っています。\$1. LINE=\$2. OPD=\$3.

システムの処理

重大度コードがEの場合、誤ったままの値で部分参照を行い、処理を続行します。
重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

メッセージで指摘されたデータ名の部分参照を、その範囲を超えないようにプログラムを修正し、再度実行してください。
\$1～\$3には以下の情報が設定されます。

- \$1 : 外部プログラム名またはメソッド名
- \$2 :
 - [Win32]ステートメント番号([COPY修飾値-]行番号. 行番号内動詞追番)
 - [Winx64]ステートメント番号([COPY修飾値-]行番号)
- \$3 : データ名

参照

- [Win32]“NetCOBOLユーザーズガイド”の“第21章 テスト支援機能”-“ステートメント番号”
- [Winx64]“NetCOBOLユーザーズガイド”の“第19章 テスト支援機能”-“ステートメント番号”

4.10.6 JMP0822I-E/U

ODO句の目的語の値が許容範囲を超えています。\$1. LINE=\$2. OPD=\$3. ODO=\$4.

システムの処理

重大度コードがEの場合、OCCURS DEPENDING ON句の目的語の値をそのまま使用し、処理を続行します。
重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

メッセージで指摘されたOCCURS DEPENDING ON句の目的語に正しい値を設定し、再度実行してください。
\$1～\$4には以下の情報が設定されます。

- \$1 : 外部プログラム名またはメソッド名
- \$2 :
 - [Win32]ステートメント番号([COPY修飾値-]行番号. 行番号内動詞追番)
 - [Winx64]ステートメント番号([COPY修飾値-]行番号)
- \$3 : データ名

- \$4 : ODO句の目的語の名前

参照

- [Win32]“NetCOBOLユーザーズガイド”の“第21章 テスト支援機能”-“ステートメント番号”
- [Winx64]“NetCOBOLユーザーズガイド”の“第19章 テスト支援機能”-“ステートメント番号”

4.10.7 JMP0828I-E/U

属性と異なる形式のデータが格納されています. \$1. LINE=\$2. OPD=\$3.

システムの処理

重大度コードがEの場合、誤った値をそのまま使用し、処理を続行します。

重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

メッセージで指摘されたオペランドに正しい値を設定し、再度実行してください。

- \$1 : 外部プログラム名またはメソッド名
- \$2 :
 - [Win32]ステートメント番号([COPY修飾値-]行番号. 行番号内動詞追番)
 - [Winx64]ステートメント番号([COPY修飾値-]行番号)
- \$3 : データ名

参照

- [Win32]“NetCOBOLユーザーズガイド”の“第21章 テスト支援機能”-“ステートメント番号”
- [Winx64]“NetCOBOLユーザーズガイド”の“第19章 テスト支援機能”-“ステートメント番号”

4.10.8 JMP0829I-E/U

除数にゼロが指定されています. \$1. LINE=\$2. OPD=\$3.

システムの処理

重大度コードがEの場合、除数のゼロをそのまま使用し、処理を続行します。ゼロ除算実行の結果は、システムに依存します。

重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

メッセージで指摘されたオペランドに除数がゼロにならないように値を設定し、再度実行してください。

\$1～\$3には以下の情報が設定されます。

- \$1 : 外部プログラム名またはメソッド名
- \$2 :
 - [Win32]ステートメント番号([COPY修飾値-]行番号. 行番号内動詞追番)
 - [Winx64]ステートメント番号([COPY修飾値-]行番号)
- \$3 : データ名(ただし、除数が算術式または関数の値である場合、オペランド名は設定されません)



参照

- [Win32]“NetCOBOLユーザーズガイド”の“第21章 テスト支援機能”-“ステートメント番号”
- [Winx64]“NetCOBOLユーザーズガイド”の“第19章 テスト支援機能”-“ステートメント番号”

4.10.9 JMP0899I-U

プログラム実行中、論理エラーが発生しました。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

プログラムの誤りによりプログラムまたは動的領域が破壊されている可能性があります。JMP0701I-Uのプログラマーの処置に従って、原因を調査してください。

4.11 JMP0900—JMP0999

0901 0902 0903 0904 0905 0930 0931 0932 0933 0934
0935 0936 0937

4.11.1 JMP0901I-E

関数 '\$1' の引数の値の絶対値が計算可能範囲を超えています。 \$2

システムの処理

復帰値として0を返し、処理を続行します。

プログラマーの処置

引数の値の絶対値が計算可能範囲内におさまるように設定し、再実行してください。

\$1にはエラーの発生した関数名(SINまたはCOS)が設定されます。

\$2にはエラーアドレスが設定されます。

4.11.2 JMP0902I-E

関数 '\$1' の引数の値の絶対値が関数の定義域外です。 \$2

システムの処理

復帰値として0を返し、処理を続行します。

プログラマーの処置

引数の値の絶対値が定義域内におさまるように設定し、再実行してください。

\$1にはエラーの発生した関数名(ASINまたはACOS)が設定されます。

\$2にはエラーアドレスが設定されます。

4.11.3 JMP0903I-E

関数 '\$1' の引数の値が関数の定義域外です。 \$2

システムの処理

復帰値として0を返し、処理を続行します。

プログラマーの処置

引数の値が定義域内におさまるように設定し、再実行してください。

\$1にはエラーの発生した関数名(LOG、LOG10、ANNUITY、FACTORIAL、RANDOM、SORT、TAN)が設定されます。

\$2にはエラーアドレスが設定されます。

4.11.4 JMP0904I-E

関数'\$1'の引数の値に誤りがあります.\$2

システムの処理

復帰値として0を返し、処理を続行します。

プログラマーの処置

引数の値を各関数の条件に合うように設定し、再度実行してください。

\$1にはエラーの発生した関数名が設定されます。

\$2にはエラーアドレスが設定されます。

4.11.5 JMP0905I-E

関数ANNUITYでゼロ除算が発生しました.\$1

システムの処理

復帰値として0を返し、処理を続行します。

プログラマーの処置

ゼロ除算が起こらないように引数の値を設定し、再度実行してください。

\$1にはエラーアドレスが設定されます。

4.11.6 JMP0930I-E/U

特殊クラス'\$1'の'\$2'メソッドでエラーが発生しました. SCODE=\$3 \$4 \$5 \$6

システムの処理

重大度コードがEの場合、そのまま処理を続行します。

重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$3のSCODE形式のエラーコードを参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。

\$1～\$6には以下の情報が設定されます。

- \$1: 特殊クラス名
- \$2: メソッド名
- \$3: COMから通知されたSCODE形式のエラーコード
- \$4: 以下の場合があります。
 - EXCEPTION CODE=XXXX(16進表記): COMサーバから通知された、COMサーバが定義したエラーコード
 - EXCEPTION SCODE=XXXXXXXX(16進表記): COMサーバから通知されたSCODE形式のエラーコード
- \$5: 以下の場合があります。

DESCRIPTION=メッセージ: COMサーバから通知された詳細なエラーメッセージ
- \$6: エラーアドレス

\$4、\$5は、COMサーバでエラーが発生した場合だけ設定されます。ただし、COMサーバが詳細なエラーメッセージを通知しない場合、\$5は設定されません。



- “付録B SCODE形式のエラーコードの説明”
- COMサーバを含むアプリケーションのオンラインヘルプまたはマニュアル

4.11.7 JMP0931I-U

オブジェクトの初期化に失敗したため、特殊クラス '\$1' の '\$2' メソッドを実行できません。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

原因および対処については、“付録D 注意事項”の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合”を参照し、対処を行い、メソッド(\$2)の実行環境を領域獲得可能な環境にして、再度実行してください。

4.11.8 JMP0932I-E/U

特殊クラス '\$1' の '\$2' メソッドの\$3指定のパラメタに誤りがあります。 \$4 \$5

システムの処理

重大度コードがEの場合、そのまま処理を続行します。

重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

メッセージで指摘されたメソッド(\$2)のパラメタを特殊クラスで使用可能な属性で、呼び出すメソッドのインタフェースに適合するように、プログラムを修正し、再度実行してください。

\$1～\$5には以下の情報が設定されます。

- \$1 : 特殊クラス名
- \$2 : パラメタに誤りのあるメソッド名
- \$3 : パラメタの指定(USINGまたはRETURNING)
- \$4 : USING指定のパラメタエラーの詳細
 - 'NUMBER' : パラメタの個数に誤りがあります。
 - PARAMETER=n : n番目に指定されているパラメタに誤りがあります。
- \$5 : エラーアドレス

4.11.9 JMP0933I-E/U

特殊クラス '\$1' の '\$2' メソッドの\$3指定のパラメタの属性変換に失敗しました。 \$4 \$5

システムの処理

重大度コードがEの場合、そのまま処理を続行します。

重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

COMサーバのメソッド(\$2)のパラメタの属性に対応したパラメタを指定するように、プログラムを修正し、再度実行してください。
\$1～\$5には以下の情報が設定されます。

- \$1 : 特殊クラス名
- \$2 : パラメタの属性に誤りのあるメソッド名
- \$3 : パラメタの指定(USINGまたはRETURNING)
- \$4 : USING指定のパラメタエラーの詳細
 - PARAMETER=n : n番目に指定されているパラメタの属性に誤りがあります。
- \$5 : エラーアドレス



参照

COMサーバを含むアプリケーションのオンラインヘルプまたはマニュアル

4.11.10 JMP0934I-U

特殊クラス '\$1' の '\$2' メソッドで、配列の要素の指定方法に矛盾があります. \$3

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

特殊クラス(\$1)のオブジェクトに対するメソッド(\$2)呼出しのパラメタに、実際の配列と矛盾しない要素を指定するようにプログラムを修正し、再度実行してください。

要素指定の矛盾には、以下の原因が考えられます。

- 指定した次元の数に誤りがある。
- 指定した次元のサイズに誤りがある。

\$3にはエラーアドレスが設定されます。

4.11.11 JMP0935I-U

特殊クラス '\$1' のオブジェクトに登録するデータ項目数が最大登録データ項目数を超えています.\$2

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

登録データ項目数が最大登録データ項目数を超えないようにプログラムを修正し、再度実行してください。

- 特殊クラス(\$1)のオブジェクト作成時に指定する最大登録データ項目数を、登録するデータ項目数に合わせて大きくする。
- 特殊クラス(\$1)のオブジェクトに登録するデータ項目数を減らす。

\$2にはエラーアドレスが設定されます。

4.11.12 JMP0936I-U

特殊クラス '\$1' をマルチスレッドモードで使用できない環境です.\$2

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

COMを使用したクラスが使用可能になるようにプログラムまたは動作環境を修正し、再度実行してください。
\$2にはエラーアドレスが設定されます。

- COMをマルチスレッドで使用できるように動作環境を確認してください。
- COBOLプログラムを翻訳オプションTHREAD(SINGLE)を指定して翻訳し、シングルスレッドモードで実行してください。

4.11.13 JMP0937I-U

仮想メモリが不足しているため、特殊クラス'\$1'の操作ができません。 \$2

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

原因および対処については、“[付録D 注意事項](#)”の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合”を参照し対処を行い、プログラムを再度実行してください。

\$1には特殊クラス名、\$2にはエラーアドレスが設定されます。

第5章 診断機能のメッセージ

診断機能は、[Win32]および[Winx64]の機能です。

この章では、診断機能が出力するメッセージについて説明します。

5.1 メッセージ形式

診断機能のメッセージは、以下の形式で表示します。

```
メッセージ番号 メッセージ本文
```

メッセージ番号

メッセージ番号は次のように表示されます。

```
JMWnnnnI-W
```

- JMW : COBOL診断機能のメッセージであることを示します。
- nnnn : メッセージの通し番号を示します。
- I : オペレーターの対応が不要であることを示します。
- W : 重大度を示すコードを表示します。

重大度コードの意味を下表に示します。

表5.1 診断機能メッセージの重大度コードの意味

重大度コード	レベル	意味
I (INFORMATION)	通知メッセージ	レポートファイルおよびダンプファイルを作成した場合に出力する情報です。
W (WARNING)	軽度のエラー	レポートファイルまたはダンプファイルは作成されますが、実行結果が利用者の意図どおりかを確認する必要があります。
E (ERROR)	中程度のエラー	レポートファイルおよびダンプファイルは作成されません。
U (UNRECOVERABLE)	致命的なエラー	実行を中断し、異常終了します。

メッセージ本文

エラーの内容を説明します。

5.2 メッセージ説明形式

この章では、診断機能メッセージの本文の内容、診断機能の処理およびプログラマーの処置を、以下の形式で説明します。

```
メッセージ番号  
  メッセージ本文(注)  
  診断機能の処理  
    診断機能の処理  
  プログラマーの処置  
    プログラマーが行うべき対処方法
```

注 : メッセージ本文中の“\$n”は、可変情報を示すパラメタです。実際に出力されるメッセージでは、このパラメタの部分は、ファイル名などを表す文字列で置き換えられます。

5.3 メッセージ詳細

0001

0002

0003

0004

0005

0006

0007

0008

0009

0010

5.3.1 JMW0001I-I

```
'$1'でエラーを検出しました.  
'$2'.  
'$3'.  
'$4'.  
レポートファイル:  
'$5'  
ダンプファイル:  
'$6'
```

診断機能の処理

アプリケーションの状態をレポートファイルに出力します。また、メモリの状態をダンプファイルに出力します。

プログラマーの処置

レポートファイルを参照して、エラーの原因を取り除いてください。

- \$1: エラーが発生したアプリケーションファイル名
- \$2: エラーの発生時刻
- \$3: エラーの種類
- \$4: エラーコード
- \$5: 作成したレポートファイル名
- \$6: 作成したダンプファイル名

なお、エラーの種類には、'APPLICATION ERROR'(アプリケーションエラー)または'COBOL RUN-TIME MESSAGE'(実行時メッセージ)を出力します。エラーコードには、アプリケーションエラーの場合には例外コードと例外コードを示す文字列を、実行時メッセージの場合には実行時メッセージ本文を出力します。ダンプファイル名は、発生したエラーがダンプ出力の対象である場合にのみ出力します。



参照

- [Win32]“NetCOBOLユーザーズガイド”の“22.1.1 診断機能の概要”
- [Winx64]“NetCOBOLユーザーズガイド”の“20.1.1 診断機能の概要”

5.3.2 JMW0002I-E

```
'$1'でエラーを検出しました.  
'$2'.  
'$3'.  
'$4'.  
レポートファイルの出力に失敗しました:  
'$5'  
ダンプファイルの出力に失敗しました:  
'$6'
```

診断機能の処理

メッセージを出力して、処理を続行します。

プログラマーの処置

出力できない原因を取り除いてください。

- \$1: エラーが発生したアプリケーションファイル名
- \$2: エラーの発生時刻
- \$3: エラーの種類
- \$4: エラーコード
- \$5: 診断レポートを出力できない原因
- \$6: ダンプを出力できない原因

なお、エラーの種類には、'APPLICATION ERROR'(アプリケーションエラー)または'COBOL RUN-TIME MESSAGE'(実行時メッセージ)を出力します。エラーコードには、アプリケーションエラーの場合には例外コードと例外コードを示す文字列を、実行時メッセージの場合には実行時メッセージ本文を出力します。

ダンプを出力できない原因は、発生したエラーがダンプ出力の対象である場合にのみ出力します。



参照

- [Win32] “NetCOBOLユーザーズガイド”の“22.1.1 診断機能の概要”
- [Winx64] “NetCOBOLユーザーズガイド”の“20.1.1 診断機能の概要”

5.3.3 JMW0003I-W

診断機能の起動パラメタの指定に誤りがあります。' \$1 '

診断機能の処理

指定された起動パラメタ(\$1)を無視して、処理を続行します。

プログラマーの処置

正しい起動パラメタを指定してください。

5.3.4 JMW0004I-W

診断機能でコンピュータ' \$1 ' へのエラー検知メッセージの出力に失敗しました。' \$2 '

診断機能の処理

自コンピュータにメッセージボックスまたはイベントログを出力し、処理を続行します。

プログラマーの処置

環境変数情報@CBR_JUSTINTIME_DEBUGに指定した出力先(\$2)とコンピュータ名(\$1)を確認してください。なお、出力先には、'MESSAGE BOX'(メッセージボックス)または'EVENT LOG'(イベントログ)を出力します。

- コンピュータ名の指定に誤りがないか確認し、誤りがある場合は、正しいコンピュータ名を指定してください。
- 指定したコンピュータがアクティブになっているか確認し、アクティブになっていない場合は、電源を入れてください。



参照

“NetCOBOLユーザーズガイド”の“付録C 環境変数情報”-“@CBR_JUSTINTIME_DEBUG (異常終了時に診断機能を使って調査を行う指定)”

5.3.5 JMW0005I-U

診断機能でエラーが発生しました。' \$1 '

診断機能の処理

エラーを検知したアプリケーションを異常終了させ、診断機能は異常終了します。

プログラマーの処置

\$1が'INTERNAL ERROR=xxxx'の場合は、技術員(SE)に連絡してください。なお、xxxxは内部エラーコード(10進数)を示します。

\$1が'OUT-MEMORY'の場合は、以下のような場合が考えられます。

- 実装メモリが少ない
必要に応じて増設してください。
- 仮想メモリが少ない
必要に応じて大きくしてください。
- 同時に実行している他のアプリケーションがメモリを使用している
同時に実行している他のアプリケーションを停止してください。

\$1が'SYSTEM ERROR=xxxx'の場合は、システムのエラーコード(16進数)とエラーコードの意味を示します。“付録A システムのエラーコードの説明”から原因を調査し、対処してください。

5.3.6 JMW0006I-U

プロセスへのアタッチに失敗しました:\$1(\$2)

診断機能の処理

アプリケーションの処理を続行させ、診断機能は異常終了します。

プログラマーの処置

\$2はシステムのエラーコード(16進数)、\$1はエラーコードの意味を示します。

- [Win32]応答しなくなったアプリケーションに対して診断機能を起動した場合には、起動パラメタ“-p”で指定したプロセスIDが正しいか確認してください。
- 環境変数情報@CBR_JUSTINTIME_DEBUGに“NO”を設定して、再度実行してください。診断機能が起動する契機となったエラーメッセージが表示されるので、エラーメッセージに従って対処してください。



参照

.....
“NetCOBOLユーザーズガイド”の“付録C 環境変数情報”-“@CBR_JUSTINTIME_DEBUG(異常終了時に診断機能を使って調査を行う指定)”
.....

5.3.7 JMW0007I-U

エラーの診断中にプロセスが終了しました。

診断機能の処理

メッセージを出力して、診断機能は異常終了します。

プログラマーの処置

環境変数情報@CBR_JUSTINTIME_DEBUGに“NO”を設定して、再度実行してください。診断機能が起動する契機となったエラーメッセージが表示されるので、エラーメッセージに従って対処してください。



参照

.....
“NetCOBOLユーザーズガイド”の“付録C 環境変数情報”-“@CBR_JUSTINTIME_DEBUG(異常終了時に診断機能を使って調査を行う指定)”
.....

5.3.8 JMW0008I-I

応答のないアプリケーションを診断しました。

レポートファイル:

'\$1'

診断機能の処理

アプリケーションの状態をレポートファイルに出力します。

プログラマーの処置

レポートファイルを参照して、エラーの原因を調査してください。\$1は作成したレポートファイル名を示します。

5.3.9 JMW0009I-E

応答のないアプリケーションを診断しましたが、レポートファイルの出力に失敗しました。'\$1'

診断機能の処理

メッセージを出力して、処理を続行します。

プログラマーの処置

出力できない原因を取り除いてください。\$1は以下の形式の文字列です。なお、システムのエラーコードは16進数です。

```
' SYSTEM ERROR=システムのエラーコード(エラーコードの意味) '
```

出力できない原因が以下であるときは、起動パラメタ“-r”でアクセス権のあるフォルダを指定して、再度実行してください。

```
' SYSTEM ERROR=0x00000005(アクセスが拒否されました。) '
```



参照

[Win32]“NetCOBOLユーザズガイド”の“22.1.3.4 起動パラメタ”

5.3.10 JMW0010I-I

領域の書き込みを監視しました。

レポートファイル:

'\$1'

診断機能の処理

書き込みの履歴をレポートファイルに出力します。

プログラマーの処置

レポートファイルを参照して、領域破壊の原因を取り除いてください。\$1は作成したレポートファイル名を示します。

5.3.11 JMW0011I-E

領域の書き込みを監視しましたが、レポートファイルの出力に失敗しました。'\$1'

診断機能の処理

メッセージを出力して、処理を続行します。

プログラマーの処置

出力できない原因を取り除いてください。\$1は以下の形式の文字列です。なお、システムのエラーコードは16進数です。

```
' SYSTEM ERROR=システムのエラーコード(エラーコードの意味) '
```

出力できない原因が以下であるときは、起動パラメタ“-r”でアクセス権のあるフォルダを指定して、再度実行してください。

```
' SYSTEM ERROR=0x00000005 (アクセスが拒否されました。) '
```



[Win32]“NetCOBOLユーザーズガイド”の“22.1.3.4 起動パラメタ”

5.3.12 JMW0012I-U

監視領域のアドレスが指定されていません。

診断機能の処理

メッセージを出力して、診断機能は異常終了します。

プログラマーの処置

環境変数情報@CBR_ATTACH_TOOLに起動パラメタ“-w”で監視領域アドレスを指定して、再度実行してください。



[Win32]“NetCOBOLユーザーズガイド”の“22.1.3.3 領域破壊が発生するアプリケーションに対する起動”

5.3.13 JMW0013I-W

'\$1' でエラーを検出しました。

'\$2' .

'\$3' .

'\$4' .

レポートファイル:

'\$5'

ダンプファイルの出力に失敗しました:

'\$6'

診断機能の処理

レポートファイルを作成しましたが、ダンプファイルの作成に失敗しました。メッセージを出力して、処理を続行します。

プログラマーの処置

ダンプを出力できない原因を取り除いてください。

- \$1 : エラーが発生したアプリケーションファイル名
- \$2 : エラーの発生時刻
- \$3 : エラーの種類
- \$4 : エラーコード
- \$5 : 作成したレポートファイル名
- \$6 : ダンプを出力できない原因

なお、エラーの種類には、'APPLICATION ERROR'(アプリケーションエラー)または'COBOL RUN-TIME MESSAGE'(実行時メッセージ)を出力します。エラーコードには、アプリケーションエラーの場合には例外コードと例外コードを示す文字列を、実行時メッセージの場合には実行時メッセージ本文を出力します。

5.3.14 JMW0014I-W

'\$1'でエラーを検出しました。
'\$2'.
'\$3'.
'\$4'.
レポートファイルの出力に失敗しました:
'\$5'
ダンプファイル:
'\$6'

診断機能の処理

ダンプファイルを作成しましたが、レポートファイルの作成に失敗しました。メッセージを出力して、処理を続行します。

プログラマーの処置

レポートファイルを出力できない原因を取り除いてください。

- \$1 : エラーが発生したアプリケーションファイル名
- \$2 : エラーの発生時刻
- \$3 : エラーの種類
- \$4 : エラーコード
- \$5 : 診断レポートを出力できない原因
- \$6 : 作成したダンプファイル名

なお、エラーの種類には、'APPLICATION ERROR'(アプリケーションエラー)または'COBOL RUN-TIME MESSAGE'(実行時メッセージ)を出力します。エラーコードには、アプリケーションエラーの場合には例外コードと例外コードを示す文字列を、実行時メッセージの場合には実行時メッセージ本文を出力します。

5.3.15 JMW0015I-W

'\$1'でエラーを検出しました。
'\$2'.
'\$3'.
'\$4'.
レポートファイル:
'\$5'
ダンプファイル:
'\$6'
*** ダンプファイル(\$7)の削除に失敗しました。
*** ダンプ出力先フォルダおよびダンプファイルのアクセス権を確認してください。

診断機能の処理

レポートファイル、ダンプファイルを作成しましたが、ダンプ出力先フォルダの一番古いダンプファイルの削除に失敗しました。メッセージを出力して、処理を続行します。

プログラマーの処置

ダンプファイルを削除できない原因を取り除いてください。

- \$1 : エラーが発生したアプリケーションファイル名
- \$2 : エラーの発生時刻
- \$3 : エラーの種類
- \$4 : エラーコード
- \$5 : 作成したレポートファイル名
- \$6 : 作成したダンプファイル名

- ・ \$7 : 削除に失敗したダンプファイル名

エラーの種類には、'APPLICATION ERROR(アプリケーションエラー)または、'COBOL RUN-TIME MESSAGE'(実行時メッセージ)を出力します。エラーコードには、アプリケーションエラーの場合には例外コードと例外コードを示す文字列を、実行時メッセージの場合には実行時メッセージ本文を出力します。

5.3.16 JMW0099I-U

アプリケーションエラーが発生しました.'\$1'.'\$2'.'\$3'.'\$4'.

診断機能の処理

アプリケーションを異常終了させます。

プログラマーの処置

エラーの原因を取り除いてください。

- ・ \$1 : エラーが発生したアプリケーションファイル名
- ・ \$2 : エラー発生モジュール名
- ・ \$3 : エラー発生位置
- ・ \$4 : 例外コード

第6章 MeFtのメッセージ

MeFtは、以下の製品に含まれています。

[Win32]

- NetCOBOL Enterprise Edition 開発パッケージ (32bit)
- NetCOBOL Professional Edition 開発パッケージ (32bit)
- NetCOBOL Standard Edition 開発パッケージ (32bit)
- NetCOBOL Enterprise Edition サーバ運用パッケージ (32bit)
- NetCOBOL Standard Edition サーバ運用パッケージ (32bit)
- NetCOBOL Standard Edition クライアント運用パッケージ (32bit)

[Winx64]

- NetCOBOL Enterprise Edition 開発パッケージ (64bit)
- NetCOBOL Standard Edition 開発パッケージ (64bit)
- NetCOBOL Enterprise Edition サーバ運用パッケージ (64bit)
- NetCOBOL Standard Edition サーバ運用パッケージ (64bit)
- NetCOBOL Standard Edition クライアント運用パッケージ (64bit)

本章は、MeFt(Message editing Facile tool) が帳票の出力時に通知するエラーメッセージと、その対処方法について説明します。

6.1 メッセージの形式

MeFt のエラーメッセージは、イベントログで通知します。

エラーメッセージの通知例を以下に示します。

【イベントプロパティの[全般]タブの例】

```
WRITE error. -----+
ERROR CODE : 42-12a0-00000002-00000000 |
PRTID: BMP00001. ENV |
SUPPLEMENT : 1, BMP00001, , S001 | エラー詳細情報
指定されたファイルが見つかりません。 |
256. BMP |
MEDIADIR=V:¥Mef¥V30|10¥メディア印刷¥Data -----+
```

ログの名前(M):	Application	ログの日付(D):	2013/03/07 9:48:28
ソース(S):	MeFt	タスクのカテゴリ(Y):	なし
イベントID(E):	1	キーワード(K):	クラシック
レベル(L):	エラー	コンピュータ(R):	mefw480
ユーザー(U):	N/A		
オペコード(O):			
詳細情報(I):	イベントログのヘルプ		

エラーメッセージの出力形式を説明します。

- イベントIDは常に「1」で出力します。
- ソース名は「MeFt」で出力します。
- レベルは「エラー」または「警告」を出力します。
「エラー」の場合、エラー詳細情報を出力します。
「警告」の場合、「6.2 レベルが「警告」の場合のメッセージ」を出力します。

エラー詳細情報

```
%s1
ERROR CODE : aa-xxxx-yyyyyyyy-zzzzzzzz
PRTID : 印刷名
SUPPLEMENT : dddd, 帳票定義体名, パーティション名, 項目名
システムエラーコード説明
ファイルパス情報
```

%s1

エラー検出処理種別として以下を出力します。

- 「OPEN error」: MeFt のOPEN 処理でエラーを検出した場合に出力します。
- 「WRITE error」: MeFt のWRITE 処理でエラーを検出した場合に出力します。
- 「READ error」: MeFt のREAD 処理でエラーを検出した場合に出力します。
- 「CLOSE error」: MeFt のCLOSE 処理でエラーを検出した場合に出力します。

ERROR CODE

エラー詳細情報を出力します。

- 「aa」には「通知コード」を2桁の英数字文字列で出力します。
- 「xxxx」には「エラー検出情報」を4桁の16進数で出力します。
- 「yyyyyyyy」には「システムエラーコード」(WindowsのAPI呼出しで異常が発生した場合の要因)を出力します。
- 「zzzzzzzz」には「ツールエラーコード」(連携製品のAPI呼出しで異常が発生した場合の要因または内部コード)を出力します。

PRTID

処理中の印刷名を出力します。

プリンタ情報ファイルの「PRTID」キーワードで指定された印刷名を出力します。

「PRTID」キーワードを省略した場合は、指定したプリンタ情報ファイル名を出力します。

プリンタ情報ファイルを指定しない場合は、何も出力しません。

SUPPLEMENT

エラー検出時の補足情報を出力します。ddddにはページ数を出力します。

システムエラーコード説明

システムエラーが発生した場合のシステムエラーコードの説明文を出力します。

ファイルパス情報

帳票定義体、オーバレイ定義体、および組込みメディアの各ファイルのアクセス処理でエラーを検出した場合、参照した各ファイルのパス情報を出力します。

6.2 レベルが「警告」の場合のメッセージ

Tried to print with the default printer, because failed to open the specified printer. Please confirm the network environment.

説明

指定されたプリンタのオープンに失敗し、通常使うプリンタでオープンが成功した場合に出力されます。

It failed in making the MEFTPLOG folder for the log collection.

説明

トレースログ採取時にMEFTPLOG ディレクトリの作成に失敗した場合に出力されます。

It failed in making the YYYYMMDDHEDxxx folder for the log collection.**説明**

トレースログ採取時に出力年月日ディレクトリの作成に失敗した場合に出力されます

It failed in the opening of the log file.**説明**

トレースログ採取時にログファイルのオープンに失敗した場合に出力されます。

It failed in the write of the log file.**説明**

トレースログ採取時にログファイルへの書き込みに失敗した場合に出力されます。

It failed in the close of the log file.**説明**

トレースログ採取時にログファイルのクローズに失敗した場合に出力されます。

The log file exceeded the upper bound value of one job.**説明**

トレースログ採取時に1ジョブで採取するログサイズの最大サイズを超えた場合に出力されます。

The specified paper is not found. Is specification correct?**説明**

指定した用紙サイズが見つからない場合に出力されます。

The specified paper "%1" is not found. Is specification correct?**説明**

指定した用紙名が見つからない場合に出力されます。

- %1は、指定した用紙名が出力されます。
-

The specified paper feed slot is not found. Is specification correct?**説明**

指定した給紙方法で給紙できない場合に出力されます。

The specified paper feed slot "%1" was not found. An alternative paper feed slot "%2" was selected. Is specification correct?**説明**

指定した給紙口名で給紙できず、給紙方法の指定に切り替えた場合に出力されます。

- %1は、指定した給紙口名が出力されます。
 - %2は、給紙方法で指定した給紙口が出力されます。
-

The specified paper feed slot "%1" is not found. Is specification correct?**説明**

指定した給紙口名で給紙できない場合に出力されます。

- %1は、指定した給紙口名が出力されます。

6.3 レベルが「エラー」の場合のメッセージ

レベルが「エラー」の場合に出力されるエラー詳細情報と、その対処方法を説明します。

ここではエラー詳細情報のうち、「aa(通知コード)-xxxx(エラー検出情報)」の値をもとに、エラーの説明と対処方法を説明します。「yyyyyyyy(システムエラーコード)」および「zzzzzzzz(ツールエラーコード)」については説明を省略しています。

6.3.1 通知コード(03)

“03-3030” ~ “03-3035”

説明

指定された表示ファイル識別子が正しくないため、処理を中止しました。

プログラマーの処置

オープン処理で獲得した表示ファイル識別子を使用してください。

6.3.2 通知コード(08)

“08-3050”

説明

指定した定義体のレコード長が利用者プログラムのレコード領域長より大きいため、処理を中止しました。

プログラマーの処置

以下の対処をしてください。

- ・ 利用者プログラムのレコード領域長を大きくしてください。
- ・ 使用する定義体のレコードをCOPY 展開して、利用者プログラムを再作成(ビルド)してください。

6.3.3 通知コード(09)

“09-0220”, “09-0270”, “09-0271”

説明

多目的プリンタ機能使用時にプリンタ制御ライブラリでエラーを検出しました。

プログラマーの処置

以下の対処をしてください。

- ・ 利用者プログラムでの多目的プリンタ機能の使用方法を見直してください。
- ・ プリンタ装置の設定が正しいか確認してください。
- ・ ツールエラーコードにプリンタ制御ライブラリから通知されたエラーコードが出力されます。プリンタ制御ライブラリのユーザーズマニュアルからエラーの詳細を確認してください。

“09-02b1”

説明

オーバーレイ出力時に展開処理部でエラーを検出しました。

プログラマーの処置

指定したオーバーレイに異常がないか確認してください。

“09-02b2” ~ “09-02b7”

説明

多目的プリンタ機能使用時にプリンタ制御ライブラリでエラーを検出しました。

プログラマーの処置

以下の対処をしてください。

- ・ 利用者プログラムでの多目的プリンタ機能の使用方法を見直してください。
- ・ プリンタ装置の設定が正しいか確認してください。
- ・ ツールエラーコードにプリンタ制御ライブラリから通知されたエラーコードが出力されます。プリンタ制御ライブラリのユーザーズマニュアルからエラーの詳細を確認してください。

“09-30b0”

説明

拡大/縮小または、コンパクト印刷時にシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“09-4db0” ~ “09-4de0”

説明

電子帳票保存時にList Works 連携処理からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

ツールエラーコードにList Works 連携処理から通知されたエラーコードが出力されます。List Works のログ情報からエラーの詳細を確認してください。

6.3.4 通知コード(10)

“10-0011”

説明

MeFt のオープン処理で、同一プロセスで同時にオープンできる最大数(1024)を超えました。

プログラマーの処置

実行中の帳票出力を終了し、ほかにオープンしているものをクローズするなどしてオープンの数を減らして、再度出力を実行してください。

“10-0211” ~ “10-021a”

説明

プリンタのオープン処理でシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“10-021c”

説明

多目的プリンタ機能使用時にプリンタ制御ライブラリでエラーを検出しました。

プログラマーの処置

以下の対処をしてください。

- ・ 利用者プログラムでの多目的プリンタ機能の使用方法を見直してください。
- ・ プリンタ装置の設定が正しいか確認してください。
- ・ ツールエラーコードにプリンタ制御ライブラリから通知されたエラーコードが出力されます。プリンタ制御ライブラリのユーザーズマニュアルからエラーの詳細を確認してください。

“10-021d”

説明

プリンタのオープン処理でシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“10-021e”, “10-021f”

説明

多目的プリンタ機能使用時にプリンタ制御ライブラリでエラーを検出しました。

プログラマーの処置

以下の対処をしてください。

- ・ 利用者プログラムでの多目的プリンタ機能の使用方法を見直してください。
- ・ プリンタ装置の設定が正しいか確認してください。
- ・ ツールエラーコードにプリンタ制御ライブラリから通知されたエラーコードが出力されます。プリンタ制御ライブラリのユーザーズマニュアルからエラーの詳細を確認してください。

“10-0d10”

説明

電子帳票保存時またはPDF出力時に多目的プリンタ機能の使用が指定されました。

プログラマーの処置

電子帳票保存時またはPDF出力時は多目的プリンタ機能の使用は指定できません。

“10-3010”

説明

指定された表示ファイル識別子が正しくないため、処理を中止しました。

プログラマーの処置

オープン処理で獲得した表示ファイル識別子を使用してください。

“10-3215”

説明

印刷プレビュー時にプリンタのオープン処理でシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“10-3e10”

説明

PDF 出力時に文書情報ファイルの指定がありません。

プログラマーの処置

プリンタ情報ファイルのSTREAMENV(管理情報ファイル名指定)に文書情報ファイルを指定してください。

“10-3e11”

説明

PDF 出力時にPDF ファイル名の指定がありません。

プログラマーの処置

プリンタ情報ファイルのSTREAMFILE(ストリーム出力ファイル名指定)にPDF ファイル名を指定してください。

“10-3e12”

説明

PDF 出力時にPDF 変換機能の初期化処理からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

ツールエラーコードにPDF 変換処理から通知されたエラーコードが出力されます。PDF 変換機能のログ情報からエラー詳細を確認してください。

“10-4d10”

説明

電子帳票保存時にList Works 連携初期化処理からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

ツールエラーコードにList Works 連携初期化処理から通知されたエラーコードが出力されます。List Works のログ情報からエラーの詳細を確認してください。

6.3.5 通知コード(13)

“13-0210”

説明

プリンタ情報ファイルのPRTACS(印刷形態)に「多目的プリンタ機能を使つての印刷を行う」を指定時、利用者プログラムの文字コードにUNICODE が指定されました。

プログラマーの処置

多目的プリンタ機能を利用する場合は、利用者プログラムの文字コードにUNICODE は指定しないでください。

“13-3010”

説明

利用者プログラムの文字コードにUNICODE が指定されたが、システムがUNICODE をサポートしていないため出力できません。

プログラマーの処置

UNICODE が使用可能なシステムで使用してください。

“13-3015”

説明

利用者プログラムの文字コードがUnicodeのCOBOLアプリケーションで、BOM(UTF-16、UTF-32)が付加されたプリンタ情報ファイルを使用しました。

プログラマーの処置

BOM(UTF-8)が付加されたプリンタ情報ファイルを使用するか、シフトJISで記述したプリンタ情報ファイルを使用してください。

6.3.6 通知コード(18)

“18-0010”

説明

プリンタ情報確認ファイルの作成処理でファイルアクセスエラーが発生しました。

プログラマーの処置

以下の対処をしてください。

- ・ 環境変数MEFTTMP、TMP、またはTEMPで指定されているパスが存在するか確認してください。また、パスのアクセス権を確認し、必要なアクセス権を設定してください。
- ・ 環境変数MEFTTMP、TMPまたは、TEMPで指定されているドライブのディスク空き容量を確認し、ファイルサイズ分の容量を確保してください。

“18-0011”、“18-0012”

説明

印刷プレビュー時に一時ファイルの作成でシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“18-0013”

説明

印刷プレビュー時に、帳票資源の取得処理でシステム関数からエラー通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“18-0014”

説明

印刷プレビュー時に一時ファイルの作成でシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“18-0050”

説明

印刷プレビュー時に、帳票資源の取得処理でシステム関数からエラー通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“18-0090”, “18-00b0” ~ “18-00b3”, “18-0220”

説明

印刷プレビュー時に一時ファイルの作成でシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“18-02a0” ~ “18-02a4”

説明

印刷プレビュー時に、帳票資源の取得処理でシステム関数からエラー通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“18-0eb0”, “18-0eb1”, “18-0ef0” ~ “18-0ef4”

説明

PDF 出力時にPDF 変換機能からファイルアクセスエラーが通知されました。

プログラマーの処置

ツールエラーコードにPDF 変換機能から通知されたエラーコードが出力されます。PDF 変換機能のログ情報からエラー詳細を確認してください。

“18-41b0”, “18-42d0”, “18-42d1”

説明

メディア出力時に一時ファイルの作成処理でシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“18-4e10”, “18-4e20”, “18-4ec0”, “18-4ef0”, “18-4ef1”, “18-4ef2”

説明

PDF 出力時にPDF 変換機能からファイルアクセスエラーが通知されました。

プログラマーの処置

ツールエラーコードにPDF 変換機能から通知されたエラーコードが出力されます。PDF 変換機能のログ情報からエラー詳細を確認してください。

“18-5210” ~ “18-5214”

説明

プリンタのオープン処理でシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“18-52b0” ~ “18-52b3”

説明

プリンタ出力処理中にシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

6.3.7 通知コード(19)

“19-0210”

説明

多目的プリンタ機能使用時にプリンタ制御ライブラリから二重オープンエラーが通知されました。

プログラマーの処置

クローズ処理を行った後、オープンするよう利用者プログラムを見直してください。

“19-0211”

説明

多目的プリンタ機能使用時にプリンタ制御ライブラリから排他使用中エラーが通知されました。

プログラマーの処置

他のアプリケーションでの使用が終了した後、再度出力を行ってください。

6.3.8 通知コード(20)

“20-0010” ~ “20-0013”, “20-00 50”, “20-0070”, “20-0090”, “20-00b0” ~ “20-00b3”, “20-0220” ~ “20-0222”

説明

印刷プレビュー時に一時ファイル作成でディスク容量不足が発生しました。

プログラマーの処置

環境変数MEFTTMP、TMPまたは、TEMPで指定されているドライブのディスク空き容量を確認してください。不要なファイル等を削除するなどして、ドライブのディスク空き容量を増やした後、再度出力してください。

“20-02a0” ~ “20-02a4”

説明

印刷プレビュー時に帳票資源の取得処理でシステム関数からエラー通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“20-41b0”, “20-42d0”, “20-42d1”

説明

メディア出力時に一時ファイルの作成でディスク容量不足が発生しました。

プログラマーの処置

環境変数MEFTTMP、TMP または、TEMP で指定されているドライブのディスク空き容量を確認してください。不要なファイル等を削除するなどして、ドライブのディスク空き容量を増やした後、再度出力してください。

“20-5210” ~ “20-5214”

説明

プリンタのオープン処理でシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“20-52b0” ~ “20-52b3”

説明

プリンタ出力処理中にシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

6.3.9 通知コード(21)

“21-0000”, “21-0010” ~ “21-0015”

説明

メモリ不足のため、作業領域の獲得に失敗しました。

プログラマーの処置

不要なアプリケーションを終了させる、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設して、再度実行してください。

“21-0016”, “21-0017”

説明

初期化処理中にシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“21-0018” ~ “21-001a”

説明

印刷プレビュー時に一時ファイル作成でメモリ不足が発生しました。

プログラマーの処置

不要なアプリケーションを終了させる、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設して、再度実行してください。

“21-001b”, “21-001c”, “21-0050”

説明

メモリ不足のため、作業領域の獲得に失敗しました。

プログラマーの処置

不要なアプリケーションを終了させる、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設して、再度実行してください。

“21-0051”

説明

印刷プレビュー時に帳票資源の取得処理でシステム関数からエラー通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“21-0090”

説明

印刷プレビュー時に一時ファイルの作成でシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“21-0091”, “21-0092”, “21-00b0”, “21-00b2”

説明

メモリ不足のため、作業領域の獲得に失敗しました。

プログラマーの処置

不要なアプリケーションを終了させる、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設して、再度実行してください。

- 11 -

“21-00b3” ~ “21-00b6”

説明

印刷プレビュー時に一時ファイルの作成でシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“21-0210”, “21-0212” ~ “21-0215”

説明

メモリ不足のため、作業領域の獲得に失敗しました。

プログラマーの処置

不要なアプリケーションを終了させる、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設して、再度実行してください。

“21-0216”

説明

初期化処理中にシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“21-0220”～“21-0223”

説明

印刷プレビュー時に一時ファイル作成でメモリ不足が発生しました。

プログラマーの処置

不要なアプリケーションを終了させる、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設して、再度実行してください。

“21-02a1”

説明

メディア出力時にシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“21-02a4”、“21-02a5”、“21-02a7”、“21-02aa”

説明

メモリ不足のため、作業領域の獲得に失敗しました。

プログラマーの処置

不要なアプリケーションを終了させる、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設して、再度実行してください。

“21-02ab”、“21-02ac”、“21-02ae”、“21-02af”

説明

印刷プレビュー時に帳票資源の取得処理でメモリ不足が発生しました。

プログラマーの処置

不要なアプリケーションを終了させる、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設して、再度実行してください。

“21-02b0”

説明

出力処理中にシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“21-02b5”

説明

多目的プリンタ機能使用時にプリンタ制御ライブラリでエラーを検出しました。

プログラマーの処置

以下の対処をしてください。

- ・ 利用者プログラムでの多目的プリンタ機能の使用方法を見直してください。
 - ・ プリンタ装置の設定が正しいか確認してください。
 - ・ ツールエラーコードにプリンタ制御ライブラリから通知されたエラーコードが出力されます。プリンタ制御ライブラリのユーザーズマニュアルからエラーの詳細を確認してください。
-

“21-02b6”

説明

出力処理中にシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“21-02b7”

説明

バーコード出力時にメモリ不足のため、作業領域の獲得に失敗しました。

プログラマーの処置

不要なアプリケーションを終了させる、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設して、再度実行してください。

“21-02b9”、“21-02ba”

説明

出力処理中にシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“21-0db0”、“21-0dd0”

説明

電子帳票保存時にメモリ不足のため作業領域の獲得に失敗しました。

プログラマーの処置

不要なアプリケーションを終了させる、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設して、再度実行してください。

“21-0e10”、“21-0e11”

説明

PDF 出力時にメモリ不足のため作業領域の獲得に失敗しました。

プログラマーの処置

不要なアプリケーションを終了させる、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設して、再度実行してください。

“21-0eb0” ~ “21-0eb2”

説明

PDF 出力時にPDF 変換機能からメモリ不足が通知されました。

プログラマーの処置

以下の対処をしてください。

- 不要なアプリケーションを終了させる、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設して、再度実行してください。
- ツールエラーコードにPDF 変換機能から通知されたエラーコードが出力されます。PDF 変換機能のログ情報も確認してください。

“21-0ed0”

説明

PDF 出力時にメモリ不足のため作業領域の獲得に失敗しました。

プログラマーの処置

不要なアプリケーションを終了させる、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設して、再度実行してください。

“21-0ef0”, “21-0ef1”

説明

PDF 出力時にPDF 変換機能からメモリ不足が通知されました。

プログラマーの処置

以下の対処をしてください。

- 不要なアプリケーションを終了させる、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設して、再度実行してください。
 - ツールエラーコードにPDF 変換機能から通知されたエラーコードが出力されます。PDF 変換機能のログ情報も確認してください。
-

“21-0ef2”, “21-0ef3”

説明

PDF 出力時にメモリ不足のため作業領域の獲得に失敗しました。

プログラマーの処置

不要なアプリケーションを終了させる、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設して、再度実行してください。

“21-0ef4” ~ “21-0ef8”

説明

PDF 出力時(バーコード)に、PDF 変換機能からメモリ不足が通知されました。

プログラマーの処置

以下の対処をしてください。

- 不要なアプリケーションを終了させる、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設して、再度実行してください。
 - ツールエラーコードにPDF 変換機能から通知されたエラーコードが出力されます。PDF 変換機能のログ情報も確認してください。
-

“21-0f10”

説明

XML 入出力時にメモリ不足のため作業領域の獲得に失敗しました。

プログラマーの処置

不要なアプリケーションを終了させる、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設して、再度実行してください。

“21-41b0”, “21-42d0”, “21-42d1”

説明

メディア出力時の一時ファイル作成でメモリ不足が発生しました。

プログラマーの処置

不要なアプリケーションを終了させる、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設して、再度実行してください。

“21-4e10”, “21-4e11”, “21-4e20”, “21-4ec0”, “21-4ee0”, “21-4ef0” ~ “21-4ef2”

説明

PDF 出力時にPDF 変換機能からメモリ不足が通知されました。

プログラマーの処置

以下の対処をしてください。

- 不要なアプリケーションを終了させる、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設して、再度実行してください。
- ツールエラーコードにPDF変換機能から通知されたエラーコードが出力されます。PDF変換機能のログ情報も確認してください。

“21-5010”, “21-5011”

説明

メモリ不足のため、作業領域の獲得に失敗しました。

プログラマーの処置

不要なアプリケーションを終了させる、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設して、再度実行してください。

“21-5210” ~ “21-5214”

説明

プリンタのオープン処理でシステム関数からメモリ不足が通知されました。

プログラマーの処置

不要なアプリケーションを終了させる、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設して、再度実行してください。

“21-52b0” ~ “21-52b3”

説明

出力処理中にメモリ不足が発生しました。

プログラマーの処置

不要なアプリケーションを終了させる、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設して、再度実行してください。

6.3.10 通知コード(22)

“22-0fb0”

説明

XML入出力時に定義体読み込み処理でエラーを検出しました。

プログラマーの処置

以下の対処をしてください。

- 指定した定義名に誤りがないか確認してください。
- プリンタ情報ファイルのMEDDIR(定義体格納ディレクトリ)で指定したディレクトリが正しいか確認してください。

“22-3050”

説明

定義体読み込み処理でエラーを検出しました。

プログラマーの処置

以下の対処をしてください。

- 指定した定義名に誤りがないか確認してください。
- プリンタ情報ファイルのMEDDIR(定義体格納ディレクトリ)で指定したディレクトリが正しいか確認してください。

“22-3090”

説明

プリンタ装置の制御の下端情報設定で、定義体名が省略されました。

プログラマーの処置

定義体名を指定しているか確認してください。

6.3.11 通知コード(23)

“23-0050”

説明

定義体読み込み処理でメモリ不足が発生しました。

プログラマーの処置

不要なアプリケーションを終了させる、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設して、再度実行してください。

6.3.12 通知コード(24)

“24-02a0”

説明

メディア出力時に、未サポートのメディア形式またはメディア属性が指定されました。

プログラマーの処置

サポートしているメディア形式またはメディア属性を指定してください。

“24-2040”

説明

帳票の出力時に以下のエラーを検出しました。

- ・ 指定した項目名または項目群名が見つかりませんでした。
- ・ 全項目指定での出力で"@ALLF"が指定されていませんでした。

プログラマーの処置

以下の対処をしてください。

- ・ 定義体で項目名、項目群名を確認してください。
- ・ 全項目指定では"@ALLF"を指定してください。

“24-3092”

説明

プリンタ装置の制御の下端情報設定処理で指定されたパーティション項目群名が定義体から見つかりませんでした。

プログラマーの処置

指定パーティション項目群を定義体に定義しているか確認してください。

“24-3093”

説明

プリンタ装置の制御の下端情報設定処理で下端パーティションに浮動パーティションが指定されました。

プログラマーの処置

下端パーティションには固定パーティションを指定してください。

“24-3094”

説明

フリーフレーム形式の帳票定義体を使用時に下端パーティションと指定パーティションのフレームが一致していません。

プログラマーの処置

同一フレームのパーティションを指定してください。

6.3.13 通知コード(25)

“25-3040”, “25-3041”

説明

利用者プログラムで指定する引数に誤りがあります。

定数ラベル以外を指定した、またはPROCESSING MODE 句に指定した値が正しくありません。

プログラマーの処置

引数には定数ラベルを使用、またはPROCESSING MODE 句の指定値を見直してください。

6.3.14 通知コード(26)

“26-3040”

説明

利用者プログラムで指定する引数に誤りがあります。

定数ラベル以外を指定した、またはUNIT CONTROL 句に指定した値が正しくありません。

プログラマーの処置

引数には定数ラベルを使用、またはUNIT CONTROL 句の指定値を見直してください。

“26-3041”

説明

行移動出力時に行数に数字以外が指定されました。

プログラマーの処置

行数には数字を指定してください。

“26-3042”

説明

行移動出力時の移動方向に指定した値が正しくありません。

プログラマーの処置

移動方向には定数ラベルを使用、またはUNIT CONTROL 句の指定値を見直してください。

“26-3043”

説明

パーティション出力時の絶対行位置印刷時に絶対行位置に”0”が指定されました。

プログラマーの処置

絶対行位置には”1”からのページ内行位置を指定してください。

“26-3044”, “26-3045”

説明

利用者プログラムで指定する引数に誤りがあります。

定数ラベル以外を指定した、またはUNIT CONTROL 句に指定した値が正しくありません。

プログラマーの処置

引数には定数ラベルを使用、またはUNIT CONTROL 句の指定値を見直してください。

“26-3047”

説明

利用者プログラムで指定する引数に誤りがあります。

行数または改行数に指定した値、またはUNIT CONTROL 句に指定した値が正しくありません。

プログラマーの処置

行数または改行数に指定した値、またはUNIT CONTROL 句の指定値を見直してください。

“26-3090”

説明

プリンタ装置の制御の下端情報設定処理でUNIT CONTROL 句に指定した値が正しくありません。

プログラマーの処置

UNIT CONTROL 句の指定値を見直してください。

“26-3091”

説明

プリンタ装置の制御の下端情報設定処理でフリーフレーム形式の横方向のフレームに定義されたパーティションが指定されました。

プログラマーの処置

横方向のフレームに定義されたパーティションを指定しないでください。

“26-3092”

説明

プリンタ装置の制御の下端情報設定処理で下端値に数字以外が指定されました。

プログラマーの処置

下端値には数字を指定してください。

“26-3093”

説明

プリンタ装置の制御の下端情報設定処理で、下端値に帳票定義体またはフレームのサイズを超える値が指定されました。

プログラマーの処置

下端値には帳票定義体またはフレームを超えない値を指定してください。

6.3.15 通知コード(32)

“32-3050”～“32-3052”

説明

定義体の読み込み時にエラーが発生しました。定義体が未完成、壊れているまたは、未サポート機能が定義されている可能性があります。

プログラマーの処置

以下の対処をしてください。

- ・ 定義体作成時のエラーを取り除いてください。
- ・ 定義体が壊れていないか確認してください。
- ・ 未サポートの機能が定義されていないか確認してください。
- ・ UTF-32用でない利用者プログラムで、UTF-32用の定義体を使用していないか確認してください。

“32-3053”

意味

日本語項目にUTF-32が指定された利用者プログラムで、UTF-32用でない定義体を使用されました。

プログラマーの処置

UTF-32用の定義体を使用してください。

“32-3090”

説明

プリンタ装置の制御の下端情報設定処理でパーティション形式、およびフリーフレーム形式以外の帳票定義体が指定されました。

プログラマーの処置

パーティション形式またはフリーフレーム形式の帳票定義体を指定してください。

6.3.16 通知コード(37)

“37-2070”

説明

ID 数字項目に数字以外の文字が指定されました。

プログラマーの処置

数字を指定してください。

6.3.17 通知コード(38)

“38-3050”

説明

定義体の読み込み時にエラーが発生しました。画面定義体が指定されました。

プログラマーの処置

帳票定義体を指定してください。

6.3.18 通知コード(40)

“40-0221”

説明

多目的プリンタ機能使用時にクローズ処理でプリンタ制御ライブラリからエラーが通知されました。

プログラマーの処置

ツールエラーコードにプリンタ制御ライブラリから通知されたエラーコードが出力されます。プリンタ制御ライブラリのユーザーズマニュアルからエラーの詳細を確認してください。

“40-4d20”

説明

電子帳票保存時にList Works 連携終了処理からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

ツールエラーコードにList Works 連携処理から通知されたエラーコードが出力されます。List Works のログ情報からエラーの詳細を確認してください。

6.3.19 通知コード(42)

“42-02a1”

説明

印刷プレビュー、拡大/縮小印刷、コンパクト印刷、および組込みメディア出力時に一時ファイルの作成または読み込み時にシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“42-02a3” ~ “42-02a6”

説明

組込みメディア(ビットマップ)出力時にシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“42-02a7”

説明

組込みメディア(ビットマップ)出力時にビットマップ以外のファイルが指定されました。

プログラマーの処置

指定したメディアファイルの形式を確認してください。

“42-12a0”

説明

組込みメディア出力時に指定されたメディアファイルが見つかりませんでした。

プログラマーの処置

組込みメディアファイルを指定したフォルダに格納してください。

“42-3ed1”

説明

電子帳票保存時、PDF 出力時にOLE 連携が指定されました。

プログラマーの処置

OLE 連携は使用できません。

“42-3ed2”

説明

PDF 出力時に組込みメディア形式に未サポートの形式が指定されました。

プログラマーの処置

指定したメディアの形式を確認してください。

“42-42d0”, “42-42d1 ”

説明

メディア出力時に一時ファイルの作成処理でシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“42-4ee0”

説明

PDF 出力時(組込みメディア)にPDF 変換機能でファイルアクセスエラーが発生しました。

プログラマーの処置

ツールエラーコードにPDF 変換機能から通知されたエラーコードが出力されます。PDF 変換機能のログ情報からエラー詳細を確認してください。

6.3.20 通知コード(44)

“44-02a0”

説明

メディア出力時にシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“44-02a1”

説明

組込みメディア出力時にOLE 連携処理でエラーが発生しました。

プログラマーの処置

以下の対処をしてください。

- ・ 指定したファイルがOLE オブジェクトか確認してください。
 - ・ 指定したOLE オブジェクトをURL で指定していないか確認してください。
-

“44-02a3”, “44-02a4”, “44-02a6”, “44-02a7”

説明

メディア出力時にシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“44-02af”

説明

組込みメディア(ビットマップ)出力時に”0”バイトのファイルが指定されました。

プログラマーの処置

指定したメディアファイルを確認してください。

“44-02b2” ~ “44-02be”

説明

バーコード出力時に以下のエラーを検出しました。

- ・バーコード出力時に展開処理でシステムリソースの不足が発生しました。
- ・バーコードの縦幅が小さいため出力できませんでした。

プログラマーの処置

以下の対処をしてください。

- ・システムリソース不足が発生していないか確認してください。
- ・バーコードの縦幅を大きくしてください。

“44-0ca3”

説明

組込みメディア(JPEG、TIFF、PNG またはGIF)出力時に未サポートの形式の画像ファイルが指定されました。

プログラマーの処置

指定したメディアファイルを確認してください。

“44-0ca4” ~ “44-0ca6”

説明

メディア出力時にシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

6.3.21 通知コード(47)

“47-02b0”

説明

バーコード出力(基本モジュール幅指定)時に扱えないデータが指定されました。

プログラマーの処置

指定したバーコードデータを確認してください。

“47-02b1”

説明

バーコード出力(範囲指定)時に扱えないデータが指定されました。

プログラマーの処置

指定したバーコードデータを確認してください。

“47-02b2”

説明

バーコード出力(カスタマバーコード)時に扱えないデータが指定されました。

プログラマーの処置

指定したバーコードデータを確認してください。

“47-02b3”

説明

バーコード出力(U.S.POSTNET またはU.S. Postal FIM)時に帳票定義体で指定した範囲内で出力できませんでした。

プログラマーの処置

帳票定義体で指定範囲を大きくしてください。

“47-02b4”

説明

バーコード出力(U.S.POSTNET またはU.S. Postal FIM)時に扱えないデータが指定されました。

プログラマーの処置

指定したバーコードデータを確認してください。

“47-02b5”

説明

バーコード出力(QR Code)時に入力データが指定可能なサイズを超えました。

プログラマーの処置

以下の対処をしてください。

- ・ 指定したバーコードデータを確認してください。
 - ・ 入力データを少なくする、または誤り訂正比率を下げても再度出力してください。
-

“47-02b6”, “47-02b7”

説明

バーコード出力時の項目長または有効データ長が正しくありません。

プログラマーの処置

プリンタ情報ファイルのBAR128DATALEN(CODE128、EAN-128の有効データ長指定)の説明を参照し、指定したバーコードデータを確認してください。

“47-02bc”

説明

バーコード出力(カスタマバーコードまたはQR Code 以外)時に帳票定義体で指定した範囲内で出力できませんでした。

プログラマーの処置

帳票定義体で指定範囲を大きくしてください。

“47-0df0”, “47-0df1”, “47-0df5”

説明

電子帳票保存時にList Works 連携処理からバーコード出力エラーが通知されました。

プログラマーの処置

以下の対処をしてください。

- ・ 指定したバーコードがList Works でサポートしているか確認してください。
- ・ List Works のログ情報からエラーの詳細を確認してください。

“47-0ef1”, “47-0 ef3”, “47-0ef4”

説明

PDF 出力時にPDF 変換機能からバーコード出力エラーが通知されました。

プログラマーの処置

以下の対処をしてください。

- ・ 指定したバーコードデータを確認してください。
- ・ PDF 変換機能のログ情報からエラーの詳細を確認してください。

“47-2070”

説明

多目的プリンタ機能使用時にID またはバーコードデータの入力データの桁数が定義体で指定した数を超えました。

プログラマーの処置

定義体で指定した桁数に納まるようにしてください。

6.3.22 通知コード(52)

“52-02b0” ~ “52-02b3”

説明

文字出力時にシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

6.3.23 通知コード(53)

“53-02b0” ~ “53-02b2”

説明

文字出力時にシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

6.3.24 通知コード(60)

“60-2040”

説明

多目的プリンタ機能使用時に入力処理で入力項目以外が指定されました。

プログラマーの処置

バーコード項目、ID 数字項目、またはID 英数字項目の入出力項目を指定してください。

6.3.25 通知コード(61)

“61-00b0”

説明

行移動出力時に負の方向移動で用紙の上端を超える移動量が指定されました。

プログラマーの処置

印刷可能な範囲(用紙の上端)を超えないように移動量を指定してください。

6.3.26 通知コード(62)

“62-00b0”

説明

パーティション出力時に定義体の縦サイズを超えました。

プログラマーの処置

指定されたパーティションを出力しても定義体の縦サイズを超えないよう、定義体、利用者プログラムを見直してください。

6.3.27 通知コード(64)

“64-3090”

説明

印刷の出力処理でプリンタ装置の制御による処理指定に誤りがあります。

プログラマーの処置

以下の対処をしてください。

- ・ 多目的プリンタ機能の連帳処理モードでは、プリンタ装置の制御による、給紙、排出または改行は指定しないでください。
- ・ プリンタ装置の制御による帳票処理の設定、給紙、排出または改行指定は、多目的プリンタ機能でのみ使用してください。

6.3.28 通知コード(65)

“65-00b0”

説明

段組みパーティション形式の定義体でパーティション出力時に定義体サイズを超えました。

プログラマーの処置

改ブロックを行うなど、定義体サイズを超えないようにパーティション出力を行ってください。

6.3.29 通知コード(66)

“66-32b0”

説明

出力するプリンタ装置で使用できない用紙サイズ、または用紙名が指定されました。

プログラマーの処置

プリンタ装置の設定を確認し、用紙の指定に誤りがないか確認してください。

“66-32b1”

説明

出力するプリンタ装置で使用できない給紙口、または給紙口名が指定されました。

プログラマーの処置

プリンタ装置の設定を確認し、給紙口の指定に誤りがないか確認してください。

6.3.30 通知コード(67)

“67-3090”

説明

多目的プリンタ機能使用時に単票給紙状態で、帳票モードの変更が指定されました。

プログラマーの処置

給紙状態での帳票モードの変更は指定しないでください。

6.3.31 通知コード(68)

“68-3090”

説明

多目的プリンタ機能使用時に単票給紙状態で、定義体の変更が指定されました。

プログラマーの処置

給紙状態での定義体変更は指定しないでください。

6.3.32 通知コード(69)

“69-3090”

説明

多目的プリンタ機能使用時に連帳処理モードで給紙が指定されました。

プログラマーの処置

連帳処理モードでは給紙は指定しないでください。

6.3.33 通知コード(6A)

“6A-3060”

説明

帳票の出力時に以下のエラーを検出しました。

- ・ 段組みパーティション形式、またはフリーフレーム形式の定義体を出力中に行レコード出力が指定されました。
- ・ フリーフレーム形式の定義体を使用して、FORMAT句付き印刷ファイルで改ページ、または改フレームが行われました。

プログラマーの処置

以下の対処をしてください。

- ・ 行レコード出力は指定しないでください。
- ・ 表示ファイルで出力するか、またはフリーフレーム形式以外の定義体を使用してください。

6.3.34 通知コード(6B)

“6B-30b0”

説明

フリーフレーム形式の定義体を出力中に、指定したパーティションが最終フレームを超えました。

プログラマーの処置

改フレームまたは改ページを行い、最終フレームを超えないようにしてください。

6.3.35 通知コード(6C)

“6C-30b0”

説明

フリーフレーム形式の定義体を出力中に指定したパーティションがフレームまたは下端位置を超えました。

プログラマーの処置

フレームまたは下端位置を超えないようにしてください。

6.3.36 通知コード(70)

“70-3090”

説明

多目的プリンタ機能使用時に単票給紙後に再度給紙が指定されました。

プログラマーの処置

給紙後に再度給紙は指定しないでください。

6.3.37 通知コード(72)

“72-3090”

説明

多目的プリンタ機能使用時に単票給紙前に改行が指定されました。

プログラマーの処置

給紙後に改行を指定してください。

6.3.38 通知コード(73)

“73-3090”

説明

多目的プリンタ機能使用時に連帳処理モードで排紙が指定されました。

プログラマーの処置

連帳処理モードでは排紙は指定しないでください。

6.3.39 通知コード(74)

“74-3090”

説明

多目的プリンタ機能使用時に単票給紙前に排紙が指定されました。

プログラマーの処置

給紙後に排紙を指定してください。

6.3.40 通知コード(75)

“75-3090”

説明

多目的プリンタ機能使用時に手差し口から給紙していないのに、手差し口の排紙が指定されました。

プログラマーの処置

給紙で指定した給紙口を指定してください。

6.3.41 通知コード(76)

“76-3090”

説明

多目的プリンタ機能使用時に単票を排出する前に出力処理が指定されました。

プログラマーの処置

排出を行った後出力処理を指定してください。

6.3.42 通知コード(78)

“78-3090”

説明

多目的プリンタ機能使用時に単票を給紙する前に出力処理が指定されました。

プログラマーの処置

給紙を行った後出力処理を指定してください。

6.3.43 通知コード(79)

“79-3090”

説明

多目的プリンタ機能使用時に単票モード時に前位置の項目の出力が指定されました。

プログラマーの処置

連帳モードで出力してください。

6.3.44 通知コード(7A)

“7A-3090”

説明

多目的プリンタ機能使用時に印刷中に印刷キャンセルが指定されました。

プログラマーの処置

印刷キャンセルは使用しないでください。

6.3.45 通知コード(7B)

“7B-30b0”

説明

多目的プリンタ機能使用時に段組みパーティションの出力が指定されました。

プログラマーの処置

段組みパーティションは出力しないでください。

6.3.46 通知コード(80)

“80-3071”

説明

多目的プリンタ機能使用時にID またはバーコードの入出力が指定されたが、使用するプリンタ装置には機能がありません。

プログラマーの処置

ID またはバーコードの入出力が可能なプリンタ装置を使用してください。

6.3.47 通知コード(81)

“81-3090”

説明

多目的プリンタ機能使用時にID 指定が単票給紙直後以外で指定されました。

プログラマーの処置

ID 指定は単票給紙直後に指定してください。

6.3.48 通知コード(82)

“82-3090”

説明

多目的プリンタ機能使用時に単票処理モード以外でID 出力が指定されました。

プログラマーの処置

ID 出力は単票処理モードで指定してください。

6.3.49 通知コード(83)

“83-3090”

説明

多目的プリンタ機能使用時に単票処理モードで改ページが指定されました。

プログラマーの処置

改ページは指定しないでください。

6.3.50 通知コード(84)

“84-3090”

説明

パーティション形式の定義体で出力時の項目名が指定されました。

プログラマーの処置

項目群名を指定して出力してください。

6.3.51 通知コード(85)

“85-3090”

説明

パーティション形式の定義体で行移動出力が指定、またはパーティション形式以外の定義体でパーティション出力が指定されました。

プログラマーの処置

以下の対処をしてください。

- ・ パーティション形式の定義体では行移動出力は指定しないでください。
- ・ パーティション形式以外の定義体ではパーティション出力は指定しないでください。

6.3.52 通知コード(86)

“86-00b1”

説明

文字出力処理中にメモリ不足が発生しました。

プログラマーの処置

不要なアプリケーションを終了させる、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設して、再度実行してください。

“86-0221”

説明

多目的プリンタ機能使用時にクローズ処理でプリンタ制御ライブラリからエラーが通知されました。

プログラマーの処置

ツールエラーコードにプリンタ制御ライブラリから通知されたエラーコードが出力されます。プリンタ制御ライブラリのユーザーズマニュアルからエラーの詳細を確認してください。

“86-0222”

説明

MeFt のクローズ処理中にシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“86-0223”

説明

多目的プリンタ機能使用時にクローズ処理でプリンタ制御ライブラリからエラーが通知されました。

プログラマーの処置

ツールエラーコードにプリンタ制御ライブラリから通知されたエラーコードが出力されます。プリンタ制御ライブラリのユーザーズマニュアルからエラーの詳細を確認してください。

“86-0224”

説明

印刷プレビュー処理中にシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“86-0270”, “86-0271”

説明

多目的プリンタ機能使用時に入力処理でプリンタ制御ライブラリからエラーが通知されました。

プログラマーの処置

ツールエラーコードにプリンタ制御ライブラリから通知されたエラーコードが出力されます。プリンタ制御ライブラリのユーザーズマニュアルからエラーの詳細を確認してください。

“86-02b4”, “86-02b5”, “86-02b9”

説明

プリンタ出力処理中にシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“86-02bb” ~ “86-02be”, “86-0ab0” ~ “86-0ab3”

説明

多目的プリンタ機能使用時にプリンタ制御ライブラリでエラーを検出しました。

プログラマーの処置

以下の対処をしてください。

- ・ 利用者プログラムでの多目的プリンタ機能の使用方法を見直してください。
- ・ プリンタ装置の設定が正しいか確認してください。
- ・ ツールエラーコードにプリンタ制御ライブラリから通知されたエラーコードが出力されます。プリンタ制御ライブラリのユーザーズマニュアルからエラーの詳細を確認してください。

“86-0ab4”, “86-0ab6”, “86-0ab7”

説明

プリンタ出力処理中にシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“86-0ab8”

説明

印刷中断ダイアログの表示処理中にシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“86-0aba”

説明

プリンタ出力処理中にシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“86-0abd”, “86-0abe”

説明

拡大/縮小またはコンパクト印刷時にシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“86-0bb5”, “86-0bb6”

説明

プリンタ出力処理中にシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“86-0bb7” ~ “86-0bbd”, “86-0cb0” ~ “86-0cb6”

説明

多目的プリンタ機能使用時にプリンタ制御ライブラリでエラーを検出しました。

プログラマーの処置

以下の対処をしてください。

- ・ 利用者プログラムでの多目的プリンタ機能の使用方法を見直してください。
- ・ プリンタ装置の設定が正しいか確認してください。

- ・ ツールエラーコードにプリンタ制御ライブラリから通知されたエラーコードが出力されます。プリンタ制御ライブラリのユーザーズマニュアルからエラーの詳細を確認してください。

“86-0cb7”

説明

プリンタ出力処理中にシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“86-0cb8”, “86-0cb9”

説明

PrintWalker/OVL オプションを使用したオーバーレイ印刷時にシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

6.3.53 通知コード(87)

“87-02b0”

説明

多目的プリンタ機能使用時にプリンタ装置で用紙なしが発生しました。

プログラマーの処置

用紙をセットして、再度出力してください。

6.3.54 通知コード(88)

“88-02b0”

説明

多目的プリンタ機能使用時にプリンタ装置の電源が投入されていません。

プログラマーの処置

電源を投入して、再度出力してください。

“88-02b1”

説明

多目的プリンタ機能使用時にプリンタ装置がオフライン状態です。

プログラマーの処置

オンライン状態にして、再度出力してください。

“88-02b2”

説明

多目的プリンタ機能使用時にプリンタ装置で紙詰まりが発生しました。

プログラマーの処置

紙詰まりを取り除いて、再度出力してください。

“88-02b3”

説明

多目的プリンタ機能使用時にプリンタ装置の設定誤りが発生しました。

プログラマーの処置

プリンタ装置の設定を見直してください。

6.3.55 通知コード(91)

“91-0db0”

説明

電子帳票保存時にList Works 連携処理からオーバーレイ処理エラーが通知されました。

プログラマーの処置

ツールエラーコードにList Works 連携処理から通知されたエラーコードが出力されます。List Works のログ情報からエラーの詳細を確認してください。

“91-0ef0”

説明

PDF 出力時に指定されたオーバーレイが見つかりませんでした。

プログラマーの処置

プリンタ情報ファイルのOVLDIR(オーバーレイパターン格納ディレクトリ名)に指定したフォルダにオーバーレイパターンファイルが存在するか確認してください。

“91-0ef2”, “91-0ef3”

説明

PDF 出力時(オーバーレイ)にPDF 変換機能からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

ツールエラーコードにPDF 変換機能から通知されたエラーコードが出力されます。PDF 変換機能のログ情報からエラー詳細を確認してください。

“91-12a0”

説明

オーバーレイ出力時に指定されたオーバーレイが見つかりませんでした。

プログラマーの処置

プリンタ情報ファイルのOVLDIR(オーバーレイパターン格納ディレクトリ名)に指定したフォルダにオーバーレイパターンファイルが存在するか確認してください。

“91-12a2” ~ “91-12ab”

説明

オーバーレイ出力時に展開処理部でエラーを検出しました。

プログラマーの処置

指定したオーバーレイに異常がないか確認してください。

6.3.56 通知コード(92)

“92-1000” ~ “92-1bbb”

説明

印刷キャンセルが行われました、または印刷キャンセルの後、クローズ以外を実行しました。

プログラマーの処置

クローズ処理を行ってください。

6.3.57 通知コード(93)

“93-02b0”

説明

多目的プリンタ機能使用時にID またはバーコード項目の出力でエラーが発生しました。

プログラマーの処置

以下の対処をしてください。

- ・ インクリボンの消耗具合を確認してください。
- ・ 使用した用紙の種類を確認してください。

6.3.58 通知コード(94)

“94-0270”, “94-0271”

説明

多目的プリンタ機能使用時にID またはバーコードの読み込みでエラーが発生しました。

プログラマーの処置

読み込みに使用したID またはバーコードを再度、書き込んで再度、読み込みを行ってください。

6.3.59 通知コード(97)

“97-5210” ~ “97-5214”, “97-52b0” ~ “97-52b3”

説明

プリンタアクセス中にネットワーク関連エラーが発生しました。

プログラマーの処置

以下の対処をしてください。

- ・ 指定したネットワークプリンタのアクセス権を確認してください。
- ・ システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。
- ・ プリンタドライバが正常にインストールされているか確認してください。

6.3.60 通知コード(9A)

“9A-02b0” ~ “9A-02b2”

説明

オーバーレイ展開処理部のローディングに失敗しました。

プログラマーの処置

MeFt が正しくインストールされているか確認してください。

6.3.61 通知コード(9B)

“9B-0210”

説明

多目的プリンタ機能使用時にプリンタ制御ライブラリのローディングに失敗しました。

プログラマーの処置

多目的プリンタドライバが正しくインストールされているか確認してください。

6.3.62 通知コード(9E)

“9E-02b0”

説明

PrintWalker/OVL オプションのライブラリのローディングに失敗しました。

プログラマーの処置

PrintWalker/OVL オプションが正しくインストールされているか確認してください。

6.3.63 通知コード(9F)

“9F-02b0”, “9F-02b1”

説明

PrintWalker/OVL オプションが未サポートのプリンタが指定されました。

プログラマーの処置

PrintWalker/OVL オプションがサポートしているプリンタドライバか確認してください。

6.3.64 通知コード(9H)

“9H-0090”

説明

PDF 出力時にPDF 変換機能のローディングに失敗しました。

プログラマーの処置

List Creator(PDF 変換機能) が正しくインストールされているか確認してください。

“9H-0d10”, “9H-0d11”

説明

電子帳票保存時にList Works 連携処理のローディングに失敗しました。

プログラマーの処置

List Works が正しくインストールされているか確認してください。

“9H-0e10” ~ “9H-0e13”

説明

PDF 出力時にPDF 変換機能のローディングに失敗しました。

プログラマーの処置

List Creator(PDF 変換機能)が正しくインストールされているか確認してください。

“9H-0f10”, “9H-0f11”

説明

XML 入出力時にXML 入出力機能のローディングに失敗しました。

プログラマーの処置

NetCOBOL(XML オプション)が正しくインストールされているか確認してください。

6.3.65 通知コード(9I)

“9I-3010”

説明

プリンタ情報ファイルのSTREAM(ストリーム種別指定)に”LW”、”PDF”、”XML”以外の値が指定されました。

プログラマーの処置

ストリーム種別指定を見直してください。

6.3.66 通知コード(9J)

“9J-02b0” ~ “9J-02b4”

説明

文字出力時のフォントの作成処理でシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“9J-02b5”

説明

文字出力時にJEF 拡張漢字、JEF 拡張非漢字、およびユーザ定義文字が出力できませんでした。

プログラマーの処置

FF 特殊112 およびFF 特殊113 のフォントがインストールされているか確認してください。

6.3.67 通知コード(9K)

“9K-02b0”

説明

バーコード出力時にプリンタ情報ファイルのBARNWRATIO(細太エレメント比指定)に不当な値が指定されました。

- 39 -

プログラマーの処置

プリンタ情報ファイルのBARNWRATIO(細太エレメント比指定)に指定した値を見直してください。

“9K-02b1”

説明

バーコード出力時にプリンタ情報ファイルのBARFNC1(バーコードの'FNC1'指定)、BARFNC2(バーコードの'FNC2'指定)、BARFNC3(バーコードの'FNC3'指定)、BARFNC4(バーコードの'FNC4'指定)に不当な値が指定されました。

プログラマーの処置

プリンタ情報ファイルのBARFNC1(バーコードの'FNC1'指定)、BARFNC2(バーコードの'FNC2'指定)、BARFNC3(バーコードの'FNC3'指定)、BARFNC4(バーコードの'FNC4'指定)に指定した値を見直してください。

“9K-02b2”

説明

バーコード出力時にプリンタ情報ファイルのBARCONVENIDOT(EAN-128(コンビニエンスストア向け)のドット補正指定)を指定時に、以下の原因が考えられます。

- ・プリンタ情報ファイルのPRTDRV(出力プリンタデバイス名)の指定がない。
- ・プリンタ情報ファイルのPRTDRV(出力プリンタデバイス名)のプリンタが使用不可であった。
- ・プリンタ情報ファイルのSETPRTDIALOG(印刷ダイアログ表示指定)を指定して、印刷ダイアログを表示させた。

プログラマーの処置

以下の対処をしてください。

- ・プリンタ情報ファイルのPRTDRV(出力プリンタデバイス名)の指定を行ってください。
- ・プリンタ情報ファイルのPRTDRV(出力プリンタデバイス名)のプリンタが使用可能か確認してください。
- ・プリンタ情報ファイルのSETPRTDIALOG(印刷ダイアログ表示指定)を指定しないでください。

“9K-0ef0”

説明

バーコード出力時にプリンタ情報ファイルのBARNWRATIO(細太エレメント比指定)に不当な値が指定されました。

プログラマーの処置

プリンタ情報ファイルのBARNWRATIO(細太エレメント比指定)に指定した値を見直してください。

“9K-0ef1”

説明

PDF 出力時にプリンタ情報ファイルのBARCONVENIDOT(EAN-128(コンビニエンスストア向け)のドット補正指定)が指定されました。

プログラマーの処置

PDF 出力時はプリンタ情報ファイルのBARCONVENIDOT(EAN-128(コンビニエンスストア向け)のドット補正指定)を指定しないでください。

6.3.68 通知コード(9L)

“9L-0210”

説明

環境変数MEFTDLG に値CAN を指定したか、プリンタ情報ファイルのSETPRTDIALOG (印刷ダイアログ表示指定)で“印刷ダイアログボックスを表示する”を指定し、印刷ダイアログボックスの設定画面でキャンセルボタンを押しました。

プログラマーの処置

ありません。

6.3.69 通知コード(9M)

“9M-0eb0”, “9M-0eb1”

説明

PDF 出力時にPDF 変換機能からファイルアクセスエラーが通知されました。

プログラマーの処置

ツールエラーコードにPDF 変換機能から通知されたエラーコードが出力されます。PDF 変換機能のログ情報からエラー詳細を確認してください。

“9M-0ef0”, “9M-0ef1”

説明

PDF 出力時(バーコード)にPDF 変換機能からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

ツールエラーコードにPDF 変換処理から通知されたエラーコードが出力されます。PDF 変換機能のログ情報からエラー詳細を確認してください。

“9M-0fb0”, “9M-0fb2”

説明

XML 入出力時にシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“9M-3ef0” ~ “9M-3ef5”

説明

PDF 出力時(バーコード)にPDF 変換機能からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

ツールエラーコードにPDF 変換処理から通知されたエラーコードが出力されます。PDF 変換機能のログ情報からエラー詳細を確認してください。

“9M-4e10”

説明

PDF 出力時にPDF 変換機能の初期化処理からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

ツールエラーコードにPDF 変換処理から通知されたエラーコードが出力されます。PDF 変換機能のログ情報からエラー詳細を確認してください。

“9M-4e20”

説明

PDF 出力時のPDF 変換機能の終了処理からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

ツールエラーコードにPDF 変換機能から通知されたエラーコードが出力されます。PDF 変換機能のログ情報からエラー詳細を確認してください。

“9M-4ec0”

説明

PDF 出力時にPDF 変換機能からファイルアクセスエラーが通知されました。

プログラマーの処置

ツールエラーコードにPDF 変換機能から通知されたエラーコードが出力されます。PDF 変換機能のログ情報からエラー詳細を確認してください。

“9M-4ee0”

説明

PDF 出力時(メディア)にPDF 変換機能からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

ツールエラーコードにPDF 変換処理から通知されたエラーコードが出力されます。PDF 変換機能のログ情報からエラー詳細を確認してください。

“9M-4ef0” ~ “9M-4ef2”

説明

PDF 出力時にPDF 変換機能からファイルアクセスエラーが通知されました。

プログラマーの処置

ツールエラーコードにPDF 変換機能から通知されたエラーコードが出力されます。PDF 変換機能のログ情報からエラー詳細を確認してください。

6.3.70 通知コード(9N)

“9N-0220”

説明

印刷プレビューの起動に失敗しました。

プログラマーの処置

MeFt が正しくインストールされていることを確認してください。

“9N-0221”

説明

印刷プレビュー時にページ数が印刷プレビュー可能な上限(99999 ページ)を超えました。

プログラマーの処置

上限(99999 ページ)を超えないようにしてください。

6.3.71 通知コード(9S)

“9S-3091”, “9S-3bb0”, “9S-3eb0”

説明

PDF 出力時(しおり)にPDF 変換機能の初期化処理からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

ツールエラーコードにPDF 変換処理から通知されたエラーコードが出力されます。PDF 変換機能のログ情報からエラー詳細を確認してください。

6.3.72 通知コード(C4)

“C4-0210”, “C4-3211”

説明

プリンタのオープン処理中にデフォルトプリンタの獲得に失敗しました。

プログラマーの処置

以下の対処をしてください。

- ・ システムにプリンタが登録されているか確認してください。
- ・ プリンタ情報ファイルのPRTDRV(出力プリンタデバイス名)に指定したプリンタ名が正しいか確認してください。

6.3.73 通知コード(C7)

“C7-0050”

説明

オープンされているファイルが多すぎるため定義体を読み込めませんでした。

プログラマーの処置

オープンするファイルを減らしてください。

6.3.74 通知コード(CC)

“CC-3030”

説明

利用者プログラムから指定された表示ファイル識別子に対しての処理中に、同一のファイル識別子に対する処理依頼が発生しました。

プログラマーの処置

利用者プログラムを見直してください。

“CC-3fb0”

説明

XML 入出力時にXML 入出力ファイル名を出力または入力後にプリンタ装置の制御で変更しようとした。

プログラマーの処置

XML 入出力ファイル名を出力または入力後にプリンタ装置の制御で変更しないように利用者プログラムを見直してください。

6.3.75 通知コード(CX)

“CX-02a8”, “CX-02ac”, “CX-02ad”

説明

メディア出力時に一時ファイルの作成処理でシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

6.3.76 通知コード(GB)

“GB-02a0”

説明

OLE 連携処理のローディングに失敗しました。

プログラマーの処置

MeFt が正しくインストールされていることを確認してください。

6.3.77 通知コード(GF)

“GF-0210”, “GF-3211”

説明

JEF 拡張漢字サポートのローディングに失敗しました。

プログラマーの処置

JEF 拡張漢字サポートが正しくインストールされているか確認してください。

6.3.78 通知コード(GG)

“GG-0210”

説明

コード変換処理のローディングに失敗しました。

プログラマーの処置

MeFt が正しくインストールされているか、またはCharset Manager が正しくインストールされているか確認してください。

“GG-0e10” ~ “GG-0e18”

説明

PDF 出力時にコード変換処理のローディングに失敗しました。

プログラマーの処置

MeFt が正しくインストールされているか、またはCharset Manager が正しくインストールされているか確認してください。

“GG-4db0” ~ “GG-4db2”

説明

電子帳票保存時にList Works 連携処理からコード変換処理エラーが通知されました。

プログラマーの処置

ツールエラーコードにList Works 連携処理から通知されたエラーコードが出力されます。List Works のログ情報からエラーの詳細を確認してください。

“GG-4e10”

説明

PDF出力時にコード変換処理のオープンでエラーが発生しました。

プログラマーの処置

MeFt が正しくインストールされているか、またはCharset Manager が正しくインストールされているか確認してください。

6.3.79 通知コード(GM)

“GM-02b0” ~ “GM-02b7”

説明

拡大/縮小印刷時にシステム関数からエラーが通知されました。

プログラマーの処置

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

6.3.80 通知コード(N9)

説明

List CreatorのCOBOLアプリケーション連携機能を使用する時に必要な環境変数(LM_ID、およびLC_ID)が設定されていますが、List Creatorがインストールされていません。

プログラマーの処置

List Creatorをインストールしてください。

List CreatorのCOBOLアプリケーション連携機能を使用しない場合は、環境変数(LM_ID、およびLC_ID)を削除してください。

6.3.81 その他の通知コード

上記以外の通知コードの場合、内部矛盾が発生した可能性があります。通知コード、メッセージ、および操作内容を記録し、当社技術員に連絡してください。

第7章 MeFt/Webのメッセージ

MeFt/Webは、以下の製品に含まれています。

[Win32]

- NetCOBOL Enterprise Edition 開発パッケージ (32bit)
- NetCOBOL Professional Edition 開発パッケージ (32bit)
- NetCOBOL Standard Edition 開発パッケージ (32bit)
- NetCOBOL Enterprise Edition サーバ運用パッケージ (32bit)
- NetCOBOL Standard Edition サーバ運用パッケージ (32bit)

[Winx64]

- NetCOBOL Enterprise Edition 開発パッケージ (64bit)
- NetCOBOL Standard Edition 開発パッケージ (64bit)
- NetCOBOL Enterprise Edition サーバ運用パッケージ (64bit)
- NetCOBOL Standard Edition サーバ運用パッケージ (64bit)

7.1 MeFt/Webクライアントのエラーメッセージ

MeFt/Web クライアントが表示するエラーメッセージについて説明します。エラーメッセージはMeFt/Web クライアントのmessage キーワードまたはmessage プロパティで、“表示する”を指定している場合に表示されます。

P1000	P2000	P2001	P2002	P2003	P2004	P2005	P2006	P2007	P2008
P2009	P2010	P2011	P2012	P2013	P2015	P2016	P2017	P3000	P3001
P3002	P3003	P3004	P3005	P3006	P3007	P3008	P3009	P3010	P3011
P3012	P3015	P3018	P9000	P9001	P9002	P9003	P9006	P9007	P9008
P9009	P9010								

7.1.1 P1000

ネットワークエラーが発生しました。詳細コード: XXXXX

説明

ネットワークエラーが発生しました。詳細コードにネットワークエラー値を表示します。

プログラマーの処置

本エラーはネットワーク経路で異常が発生した場合に発生します。本エラーが発生した場合はプログラムを再起動してください。

なお、本エラーが頻発する場合や、詳細コードまたは処置が記載されていないエラーが発生した場合は、WWW サーバやPROXY サーバをはじめネットワーク経路に異常が発生していないか確認してください。

詳細コードごとの対処方法を以下に示します。

詳細コード	説明	処置
0	ホスト名、ポート番号の誤りなどでサーバに接続できません。	起動用HTML ファイルのhostname プロパティまたはport プロパティが正しく指定されているか、以下の点を確認してください。 <ul style="list-style-type: none">• ブラウザから起動用HTMLのソースを開き、hostname プロパティおよびport プロパティを確認してください。

詳細コード	説明	処置
		<p>WWW ブラウザのキャッシュに格納されているHTMLが参照されていませんか。</p> <ul style="list-style-type: none"> • hostnameプロパティの指定が名前解決されていますか。ping コマンドで確認してください。 • portプロパティに正しいポート番号が指定されていますか。 <p>MeFt/Web サーバサービスマネージャを起動できますか。</p> <p>また、WWW サーバが起動されているか確認してください。</p>
6	API に受け渡されたハンドルは、すでに無効になっているか、クローズされています。	当社技術員にご連絡ください。
400	サーバ上で構文エラーが検出されました。	MeFt/Web プラグインを使用している場合には、プロキシにホスト名が指定されていることを確認してください。
401	適正な利用者権限を持っていません。	認証画面にユーザ名とパスワードを正しく入力してください。
403	サーバがクライアントからの要求を拒否しました。	<p>WWW サーバの環境を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Winx64]IIS を使用する場合は、仮想パスに実行権をもつ「/MeFtWeb64/Scripts」が指定されているか確認してください。 • [Win32]IIS を使用する場合は、仮想パスに実行権をもつ「/MeFtWeb/Scripts」が指定されているか確認してください。 • IIS を使用する場合は、ISAPI 拡張機能がインストールされているか確認してください。 • WWW ブラウザのプロキシサーバの設定が正しいか確認してください。 • プロキシサーバなどのネットワーク環境に異常がないか確認してください。
404	指定されたドキュメントが存在しません。	WWW サーバが起動しているか確認してください。
405	クライアントによって使用された方式をサポートしていません。	<p>WWW サーバの環境を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Winx64]IIS を使用する場合は、仮想パスに実行権をもつ「/MeFtWeb64/Scripts」が指定されているか確認してください。 • [Win32]IIS を使用する場合は、仮想パスに実行権をもつ「/MeFtWeb/Scripts」が指定されているか確認してください。 • WWW ブラウザのプロキシサーバの設定が正しいか確認してください。 • プロキシサーバなどのネットワーク環境に異常がないか確認してください。
406	クライアントによって指定された方式はサポートされていません。	当社技術員にご連絡ください。
407	代理サーバが要求を転送するために認証が必要です。	
408	サーバがトランザクションを切断了しました。	

詳細コード	説明	処置
409	クライアントからの要求が別の要求と競合したか、あるいは、サーバの設定と矛盾しています。	
410	クライアントとサーバ間の資源が不一致です。	
411	サーバは要求の中にContent-Length ヘッダの指定がないと要求を受け付けません。	
500	サーバの一部が異常終了したか、または設定エラーが発生しました。	サーバマシンのPATH 環境変数にMeFt/Web のインストールディレクトリが指定されているか確認してください。問題が解決しない場合はサーバマシンでトレースログを採取したあと、当社技術員にご連絡ください。 トレースログの採取方法については、“MeFt/Webユーザーズガイド”の“2.4 サーバ側のトレースログ環境を設定する”を参照してください。
501	クライアントがサーバでは実行できないアクションを要求しました。	当社技術員にご連絡ください。
502	サーバ(または代理サーバ) が別のサーバ(または代理サーバ) から無効な応答を検出しました。	
503	サーバが高負荷状態です。	WWW サーバの環境を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • [Winx64]IISを使用する場合は、仮想パスに実行権をもつ「/MeFtWeb64/Scripts」が指定されているか確認してください。 • [Win32]IISを使用する場合は、仮想パスに実行権をもつ「/MeFtWeb/Scripts」が指定されているか確認してください。 • WWW ブラウザのプロキシサーバの設定が正しいか確認してください。 • プロキシサーバなどのネットワーク環境に異常がないか確認してください。
504	サーバがトランザクションを切断しました。	当社技術員にご連絡ください。
12001	現在、これ以上、ハンドルを作成することはできません。	
12002	リクエストは時間切れです。以下の点を確認してください。	<ul style="list-style-type: none"> • WWW サーバが起動しているか確認してください。 • ネットワーク環境に異常がないか確認してください。 • サーバまたはクライアントのタイムアウト時間が十分であることを確認してください。 • リモート実行機能を利用中にクライアントPC がスタンバイ状態にならないようにしてください。
12003	サーバから拡張エラーが返されました。これは、長いエラーメッセージを含む文字列またはバッファです。エラーテキストを検索するときはInternetGetLastResponseInfo を呼び出します。	ウイルス対策ソフトにより、ネットワークエラーが検出される場合があります。 ウイルス対策ソフトを一時的にオフにして、動作を確認してください。
12004	内部エラーが発生しました。	エラーが解消されない場合は、当社技術員にご連絡ください。
12005	URL が無効です。	
12006	URL スキームが認識されないか、サポートされていません。	
12007	サーバ名が解読できませんでした。	

詳細コード	説明	処置
12008	リクエストのあったプロトコルが突きとめられませんでした。	
12009	InternetQueryOption またはInternetSetOptionの呼出が無効なオプション値を指定しました。	
12010	InternetQueryOption またはInternetSetOptionに提示されたオプションの長さが、指定のオプションのタイプとしては正しくありません。	
12011	リクエストオプションが設定できないので、クエリーだけを行います。	
12012	Win32 インターネット関数サポートは停止またはアンロードします。	
12013	提示されたユーザー名が正しくないので、FTP サーバへの接続およびログオンリクエストを完了できませんでした。	
12014	提示されたパスワードが正しくないので、FTP サーバへの接続およびログオンリクエストを完了できませんでした。	
12015	FTP サーバへの接続およびログオンリクエストは失敗しました。	
12016	リクエストのあった操作は無効です。	
12017	一般に、操作を完了しないうちにリクエストの動作するハンドルがクローズしたために、操作をキャンセルしました。	
12018	提示されたハンドルのタイプが、この操作では正しくありません。	
12019	提示されたハンドルが正しい状態にないので、リクエストのあった操作を実行することができません。	
12020	代理名ではリクエストを受け入れられません。	
12021	リクエストのあったレジストリ値を突きとめられませんでした。	
12022	リクエストのあったレジストリ値は突きとめました。タイプが正しくないか、無効な値です。	
12023	現在、ダイレクトネットワークアクセスは実行できません。	
12024	コンテキスト値としてゼロが提示されているので、非同期リクエストを受け付けることができませんでした。	当社技術員にご連絡ください。
12025	コールバック関数が設定されていなかったため、非同期リクエストを受け付けることができませんでした。	
12026	1つまたは複数のリクエストが中断しているため、リクエストのあった操作を完了することができませんでした。	
12027	リクエストのフォーマットが無効です。	
12028	リクエストのあった項目を突きとめることができませんでした。	
12029	サーバへの接続の試みが失敗しました。	以下の点を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ WWW サーバが起動しているか確認してください。 ・ LAN ケーブルが抜けていないかなど、ネットワーク環境に異常がないか確認してください。
12030	サーバとの接続を中止しました。	
12031	サーバとの接続をリセットしました。	
12032	Win32 インターネット関数にリクエストをやり直すように要求します。	

詳細コード	説明	処置
12036	ハンドルが存在するために、リクエストは失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> WWW サーバのタイムアウト時間に最大値を設定してください。 ウイルス対策ソフトにより、ネットワークエラーが検出される場合があります。 ウイルス対策ソフトを一時的にオフにして、動作を確認してください。
12041	閲覧した内容で、安全ではないサーバから入ったものがあるおそれがあります。	以下の点を確認してください。
12046	このコンピュータではクライアント許可がセットアップされていません。	<ul style="list-style-type: none"> WWW サーバが起動しているか確認してください。 LAN ケーブルが抜けていないかなど、ネットワーク環境に異常がないか確認してください。 WWW サーバのタイムアウト時間に最大値を設定してください。
12110	操作が現在、進行中なので、リクエストのあった操作をFTP セッションで実行することができません。	
12111	セッションを中止したので、FTP 操作を完了できませんでした。	
12130	Gopher サーバから返されたデータの解析中にエラーが発見されました。	
12131	ファイルロケータに対してリクエストを行ってください。	
12132	Gopher サーバからデータを受信中にエラーが発見されました。	当社技術員にご連絡ください。
12133	データの最後に到達しました。	
12134	提示されたロケータは無効です。	
12135	この操作では、ロケータのタイプが正しくありません。	
12136	リクエストのあった操作は、Gopher+ か、Gopher+ 操作を指定するロケータとの組み合わせでしか実行できません。	
12137	リクエストのあった属性を突きとめることができませんでした。	
12138	ロケータのタイプがわかりません。	
12150	リクエストのあったヘッダを突きとめることができませんでした。	
12151	サーバから1つもヘッダを返されませんでした。	
12152	サーバレスポンスを解析することができませんでした。	
12153	明示されたヘッダは無効です。	
12154	HttpQueryInfo へのリクエストは無効です。	
12155	すでに存在するために、ヘッダを追加できませんでした。	

7.1.2 P2000

通信処理の初期化に失敗しました。

説明

通信のための初期化に失敗しました。

プログラマーの処置

WWW サーバの環境設定が正しいか、“MeFt/Webユーザガイド”の“2.1 WWW 環境の構築と環境設定”を参照して確認してください。

7.1.3 P2001

現在、サーバにインストールされているモジュールでは動作させることができません。バージョンを確認してください。

説明

ダウンロードされたMeFt/WebコントロールとMeFt/Webサーバの整合性が一致していません。

MeFt/Web コントロールのバージョンまたはMeFt/Web サーバのバージョンが古い可能性があります。

これは、MeFt/Web コントロールのダウンロードが正常に終了していないことが考えられます。

プログラマーの処置

WWW ブラウザを終了し、MeFt/Web コントロールを削除してから再度MeFt/Web コントロールをダウンロードしてください。

MeFt/Web コントロールを削除するためには、“MeFt/Webユーザーズガイド”の“4.2 MeFt/Web コントロールをクライアントマシンから削除する方法”を参照してください。

7.1.4 P2002

サーバでエラーが発生しました。

説明

MeFt/Web サーバでエラーが発生しました。

プログラマーの処置

サーバマシンで以下の点を確認してください。

- WWW サーバの環境設定が正しいか、“MeFt/Webユーザーズガイド”の“2.1 WWW 環境の構築と環境設定”を参照して確認する。
- 起動するプログラムが、利用者プログラム指定ファイルに指定されているか、“2.3 利用者プログラムの指定”を参照して確認する。
- 不要な処理が動作していないか。
- 仮想メモリ領域が十分確保されているか。
- 搭載しているメモリは十分か。

問題がある場合は、問題箇所を解決したあと、再度、処理を行ってください。

上記処置を行ったにもかかわらず、再度発生した場合はサーバマシンでトレースログを採取したあと、当社技術員にご連絡ください。

トレースログの採取方法については、“MeFt/Webユーザーズガイド”の“2.4 サーバ側のトレースログ環境を設定する”を参照してください。

7.1.5 P2003

プログラムを処理できませんでした。プログラムの起動に失敗しました。

説明

サーバでプログラムの起動に失敗しました。

プログラマーの処置

起動用HTML ファイルのpathname プロパティに、起動するプログラムのパスが正しく指定されているか確認してください。または、起動するプログラムや格納ディレクトリに読み取り権限が設定されているか確認してください。

7.1.6 P2004

サーバで処理できませんでした。ファイル入出力エラーが発生しました。

説明

サーバ上でファイル入出力エラーが発生しました。

プログラマーの処置

OS のイベントビューアを確認し、問題記録されている場合は解決してください。

上記処置を行ったにもかかわらず、再度発生した場合は、サーバマシンでトレースログを採取したあと、当社技術員にご連絡ください。

トレースログの採取方法については、“MeFt/Webユーザーズガイド”の“2.4 サーバ側のトレースログ環境を設定する”を参照してください。

7.1.7 P2005

プログラムを処理できませんでした。サービスマネージャに異常があります。

説明

サービスマネージャに異常が発生しています。

プログラマーの処置

MeFt/Web サービスプログラムが起動しているか確認してください。

7.1.8 P2006

プログラムを処理できませんでした。同時実行可能数を超過しました。

説明

同時実行可能数が超過しています。

プログラマーの処置

しばらくたってから再度実行してください。または、MeFt/Web 動作環境の「同時実行可能数」を変更してください。

7.1.9 P2007

サーバで処理できませんでした。作業領域の獲得に失敗しました。

説明

サーバ側の処理で作業領域の獲得に失敗しました。

プログラマーの処置

サーバマシンで以下の点を確認してください。

- 不用な処理が動作していないか。
- 仮想メモリ領域が十分確保されているか。
- 搭載しているメモリは十分か。

問題がある場合は、問題箇所を解決したあと、再度、処理を行ってください。

上記処置を行ったにもかかわらず、再度発生した場合はサーバマシンでトレースログを採取したあと、当社技術員にご連絡ください。

トレースログの採取方法については、“MeFt/Webユーザーズガイド”の“2.4 サーバ側のトレースログ環境を設定する”を参照してください。

7.1.10 P2008

サーバで処理できませんでした。HTTP のメソッドが不当でした。

説明

通信処理で、HTTP のメソッドが異常です。

プログラマーの処置

サーバマシンでトレースログを採取したあと、当社技術員にご連絡ください。トレースログの採取方法については、“MeFt/Webユーザーズガイド”の“2.4 サーバ側のトレースログ環境を設定する”を参照してください。

7.1.11 P2009

サーバで処理できませんでした。データ送受信エラーが発生しました。

説明

サーバ側の処理でデータ送受信エラーが発生しました。

プログラマーの処置

WWW サーバの環境で以下の点を確認してください。

- IIS を使用する場合は、アプリケーションプールのリサイクル条件を確認し、MeFt/Web の運用中にアプリケーションプールのリサイクルが実施されないようにしてください。

上記処置を行ったにもかかわらず、再度発生した場合は、サーバマシンでトレースログを採取したあと、当社技術員にご連絡ください。

トレースログの採取方法については、“MeFt/Webユーザーズガイド”の“2.4 サーバ側のトレースログ環境を設定する”を参照してください。

7.1.12 P2010

サーバ印刷に失敗しました。

説明

サーバ印刷に失敗しました。

プログラマーの処置

サーバマシンの印刷環境を確認してください。

- "MeFt/Web 動作環境のプリンタデバイス名" または "MeFt のプリンタ情報ファイル" に、使用するプリンタデバイスが指定されているか確認してください。
- PATH 環境変数を確認してください。MeFt/Web ディレクトリの前にネットワークディレクトリの指定がありませんか。上記以外の場合は当社技術員にご連絡ください。

7.1.13 P2011

スプール処理に失敗しました。

説明

スプール処理に失敗しました。

プログラマーの処置

サーバマシンで以下の点を確認してください。

- MeFt/Web 動作環境の「スプール格納ディレクトリ」に指定したディレクトリの空きディスク容量が十分か。
- MeFt/Web 動作環境の「スプール格納ディレクトリ」に指定したディレクトリに書き込み権が付与されているか。
- 「スプール格納ディレクトリ」に指定したディレクトリが正しいか。

7.1.14 P2012

スプールデータを再生できませんでした。スプールデータが正しくありません。

説明

スプールデータが正しくないために、再生できませんでした。

プログラマーの処置

サーバマシンで以下の点を確認してください。

- MeFt/Web 動作環境の「スプール格納ディレクトリ」に指定したディレクトリの空きディスク容量が十分か。
- MeFt/Web 動作環境の「スプール格納ディレクトリ」に指定したディレクトリに書き込み権が付与されているか。
- 「スプール格納ディレクトリ」に指定したディレクトリが正しいか。

7.1.15 P2013

サーバでエラーが発生しました。詳細コード: XXXXX

説明

サーバ側で予期しないエラーが発生しました。詳細コードにサーバ側でのエラー詳細を表示します。

プログラマーの処置

サーバマシンでトレースログを採取したあと、当社技術員にご連絡ください。

トレースログの採取方法については、「MeFt/Webユーザーズガイド」の“2.4 サーバ側のトレースログ環境を設定する”を参照してください。

7.1.16 P2015

タイムアウトまたはプログラムの異常により処理を中断しました。プログラムを再起動してください。

説明

サーバ側で処理矛盾が発生しました。

プログラマーの処置

負荷分散装置を使用している場合は、負荷分散装置の一意性保証時間を長く変更してください。

7.1.17 P2016

プログラムの起動に失敗しました。

説明

サーバ側でプログラムの起動に失敗しました。

プログラマーの処置

起動するプログラムが、サーバ上の利用者プログラム指定ファイルに正しく記載されているか確認してください。指定方法については「MeFt/Webユーザーズガイド」の“2.3 利用者プログラムの指定”を参照してください。

7.1.18 P2017

[Winx64]

MeFt/Web 64bit Service がシステムアカウントで実行されているためプログラムを起動できません。ログオンアカウントをシステムアカウント以外に変更してください。

[Win32]

MeFt/Web Service がシステムアカウントで実行されているためプログラムを起動できません。ログオンアカウントをシステムアカウント以外に変更してください。

説明

[Winx64]MeFt/Web 64bit Service がシステムアカウントで実行されているためプログラムの起動に失敗しました。

[Win32]MeFt/Web Service がシステムアカウントで実行されているためプログラムの起動に失敗しました。

プログラマーの処置

“MeFt/Webユーザーズガイド”の“2.5.1 利用者プログラムの権限を設定する”を参照してMeFt/Web 64bit Service のログオンアカウントをシステムアカウント以外に変更してください。

7.1.19 P3000

現在、処理が実行中です。実行中の処理を終了してから、再度実行してください。

説明

プログラムが実行中です。

プログラマーの処置

起動中のプログラムが終了してから、再度実行してください。

7.1.20 P3001

プロパティに誤りがあります。ホスト名が指定されていません。

説明

プロパティにホスト名を指定していません。

プログラマーの処置

起動用HTML ファイルのhostname プロパティが指定されているか確認してください。

7.1.21 P3002

プロパティに誤りがあります。プログラム名が指定されていません。

説明

プロパティにプログラム名を指定していません。

プログラマーの処置

起動用HTML ファイルのpathname プロパティが指定されているか確認してください。

7.1.22 P3003

MeFt/Web コントロールの初期化に失敗しました。

メモリ不足などによりコントロールの初期化に失敗しました。または、クライアントに必要なモジュールが存在しない場合があります。

プログラマーの処置

以下の点を確認してください。

- 不用な処理が動作していないか。
- 仮想メモリ領域が十分確保されているか。
- 搭載しているメモリは十分か。

- ・ クライアントマシンでウイルス対策ソフトの「Web からインターネット・ウイルスのダウンロードを防ぐ機能」を使用していないか。使用している場合は、一度、機能を停止してからMeFt/Web のリモート実行を行う。
- ・ Internet Explorer の保護モードが無効となっているか。

問題がある場合は、問題箇所を解決したあと、再度、処理を行ってください。上記処置を行ったにもかかわらず、再度発生した場合は当社技術員にご連絡ください。

7.1.23 P3004

十分なメモリが獲得できないため処理できません。

説明

十分なメモリが獲得できないため処理を続行できません。または、WWW サーバからタイムアウトが通知されました。

プログラマーの処置

以下の点を確認してください。

- ・ 不用な処理が動作していないか。
- ・ 仮想メモリ領域が十分確保されているか。
- ・ 搭載しているメモリは十分か。
- ・ クライアントマシンでウイルス対策ソフトの「Web からインターネット・ウイルスのダウンロードを防ぐ機能」を使用していないか。使用している場合は、一度、機能を停止してからMeFt/Web のリモート実行を行う。
- ・ Internet Explorer の保護モードが無効となっているか。

問題がある場合は、問題箇所を解決したあと、再度、処理を行ってください。上記処置を行ったにもかかわらず、再度発生した場合は当社技術員にご連絡ください。

7.1.24 P3005

画面処理中にエラーが発生しました。(エラーコード: XX)

説明

画面処理中にエラーが発生しました。エラーコードのXX にはMeFt の通知コードを表示します。

プログラマーの処置

MeFt のオンラインマニュアルを参照してエラー原因と対処方法を確認します。

CGIアクセスを利用している場合は、利用者プログラムが参照するファイル(ユーザ資源)が利用者プログラム指定ファイルに正しく記載されているか確認してください。

7.1.25 P3006

印刷処理中にエラーが発生しました。(エラーコード: XX)

説明

印刷処理中にエラーが発生しました。エラーコードのXX にはMeFt の通知コードを表示します。

プログラマーの処置

MeFt のオンラインマニュアルを参照してエラー原因と対処方法を確認します。

CGIアクセスを利用している場合は、利用者プログラムが参照するファイル(ユーザ資源)が利用者プログラム指定ファイルに正しく記載されているか確認してください。

7.1.26 P3007

プレビュー処理中にエラーが発生しました。(エラーコード: XX)

説明

プレビュー処理中にエラーが発生しました。エラーコードのXXにはMeFtの通知コードを表示します。

プログラマーの処置

MeFtのオンラインマニュアルを参照してエラー原因と対処方法を確認します。

CGIアクセスを利用している場合は、利用者プログラムが参照するファイル(ユーザ資源)が利用者プログラム指定ファイルに正しく記載されているか確認してください。

7.1.27 P3008

使用するモジュールが見つからないため処理できません。

説明

クライアントマシンでメモリ不足が発生したため処理を続行できません。または、クライアントで使用するモジュールが見つかりません。クライアントの環境を見直してください。

プログラマーの処置

以下の点を確認してください。

- ・ 不要な処理が動作していないか。
- ・ 仮想メモリ領域が十分確保されているか。
- ・ 搭載しているメモリは十分か。

上記処置を行ったにもかかわらず、再度発生した場合は、WWWブラウザを終了し、MeFt/Webコントロールを削除してから再度MeFt/Webコントロールをダウンロードしてください。MeFt/Webコントロールを削除するためには、“MeFt/Webユーザーズガイド”の“4.2 MeFt/Webコントロールをクライアントマシンから削除する方法”を参照してください。

7.1.28 P3009

ドライブレリストの追加に失敗しました。

説明

内部処理エラーです。

プログラマーの処置

サーバマシンでトレースログを採取したあと、当社技術員にご連絡ください。

トレースログの採取方法については、“MeFt/Webユーザーズガイド”の“2.4 サーバ側のトレースログ環境を設定する”を参照してください。

7.1.29 P3010

ファイルリストの追加に失敗しました。

説明

内部処理エラーです。

プログラマーの処置

サーバマシンでトレースログを採取したあと、当社技術員にご連絡ください。

トレースログの採取方法については、“MeFt/Webユーザーズガイド”の“2.4 サーバ側のトレースログ環境を設定する”を参照してください。

7.1.30 P3011

初期表示処理が行われていません。

説明

リストコントロールの作成が行われていない (DispFast が正常終了していない) 状態でのリストコントロールへの処理を要求しました。

プログラマーの処置

サーバマシンでトレースログを採取したあと、当社技術員にご連絡ください。

トレースログの採取方法については、“MeFt/Webユーザーズガイド”の“2.4 サーバ側のトレースログ環境を設定する”を参照してください。

7.1.31 P3012

アイテムが選択されていません。

説明

アイテムの選択が行われていないのに選択アイテムの読みとりメソッドを呼び出しました。

プログラマーの処置

サーバマシンでトレースログを採取したあと、当社技術員にご連絡ください。

トレースログの採取方法については“MeFt/Webユーザーズガイド”の“2.4 サーバ側のトレースログ環境を設定する”を参照してください。

7.1.32 P3015

同時実行可能数の取得に失敗しました。

説明

同時実行可能数の取得に失敗しました。

プログラマーの処置

サーバマシンにMeFt/Web が正しくインストールされていない可能性があります。MeFt/Web をアンインストールしてから再度インストールしてください。

7.1.33 P3018

サーバで処理できませんでした。YYYY 詳細コード: XX

説明

YYYY 部分には詳細コードに応じたメッセージが表示されます。

詳細コードが8 の場合は、サーバでメモリ不足が通知されました。

詳細コードが65 の場合はWWW サーバの環境が正しく設定されていない可能性が考えられます。

プログラマーの処置

サーバマシンで以下の点を確認してください。

- ・ 不要な処理が動作していないか。
- ・ 仮想メモリ領域が十分確保されているか。
- ・ 搭載しているメモリは十分か。

- “MeFt/Webユーザーズガイド”の“2.1 WWW 環境の構築と環境設定”のとおりWWWサーバの環境が正しく設定されているか。

問題がある場合は、問題箇所を解決したあと、再度、処理を行ってください。

上記処置を行ったにもかかわらず、再度発生した場合はサーバマシンでトレースログを採取したあと、当社技術員にご連絡ください。

トレースログの採取方法については、“MeFt/Webユーザーズガイド”の“2.4 サーバ側のトレースログ環境を設定する”を参照してください。

7.1.34 P9000

プリンタが設定されていません。ディスプレイ属性でプレビューを行います。

説明

プレビュー時にプリンタが設定されていないために、プリンタ属性でプレビューできませんでした。

プログラマーの処置

クライアントマシンにプリンタを追加してください。

7.1.35 P9001

指定された部数に誤りがあります。

説明

印刷指定ダイアログボックスで部数に誤りがあります。

プログラマーの処置

指定する部数には、1 から999の値で指定してください。

7.1.36 P9002

指定されたページに誤りがあります。

説明

印刷指定ダイアログボックスで印刷範囲のページ指定に誤りがあります。

プログラマーの処置

印刷範囲のページ指定を確認し、正しく指定してください。

7.1.37 P9003

値が正しくありません。1 からn の間で指定してください。

説明

ページ指定ダイアログボックスでページ指定が範囲を超えています。

プログラマーの処置

1 から最大ページ数の値で指定してください。

7.1.38 P9006

サーバ印刷が終了しました。

説明

確認メッセージです。サーバ印刷が正常に終了しました。

プログラマーの処置

ありません。

7.1.39 P9007

スプール処理が終了しました。

説明

確認メッセージです。スプール処理が正常に終了しました。

プログラマーの処置

ありません。

7.1.40 P9008

99999 ページを超えるページをプレビューすることができません。

説明

1 から99999 の間で指定してください。プレビュー時にページ指定ダイアログボックスのページの指定値に99999 ページを超える値を指定しています。プレビュー機能では、99999 ページを超えるページをプレビューすることはできません。

プログラマーの処置

MeFt/Web クライアントで、99999 ページを超えるページをプレビューすることはできません。

7.1.41 P9009

99999 ページを超えるページをプレビューすることができません。

説明

プレビュー時に[次ページ]ボタンをクリックした場合に、99999 ページを超えるページを表示しようとしています。

プレビュー機能では、99999ページを超えるページをプレビューすることはできません。

プログラマーの処置

MeFt/Web クライアントで、99999 ページを超えるページをプレビューすることはできません。

7.1.42 P9010

99999 ページを超えるページをプレビューすることができません。99999 ページを表示します。

説明

プレビュー時に[最後] ボタンをクリックした場合に、99999 ページを超えるページを表示しようとしています。

プレビュー機能では、99999ページを超えるページをプレビューすることはできないため、99999 ページを表示します。

プログラマーの処置

MeFt/Web クライアントで、99999 ページを超えるページをプレビューすることはできません。

7.1.43 エラー番号、submit メソッドおよびTerminate イベントの復帰値の関係

エラー番号	submit メソッドの復帰値	Terminate イベントのErrorCode
P1000	0	-1
P2XXX	0	-2
P3000 ~ P3003	-3	Terminate イベントは通知されません。
P3004 ~ P3018	0	-3
P9XXX	0	警告または確認メッセージのためTerminate イベントには関係ありません。

7.2 MeFt/Web プラグイン固有のエラーメッセージ

MeFt/Web プラグインが表示するエラーメッセージについて説明します。エラーメッセージはMeFt/Web ドキュメントのmessage キーワードで“表示する”を指定した場合に表示されます。

[P4001](#) [P4002](#)

7.2.1 P4001

MeFt/Web プラグインの初期化に失敗しました。

説明

以下の原因が考えられます。

- メモリ不足などによりMeFt/Web プラグインの初期化に失敗しました。
- クライアントに必要なモジュールが存在しません。

プログラマーの処置

以下の点を確認してください。

- 不要な処理が動作していないか。
- 仮想メモリ領域が十分確保されているか。

問題がある場合は、問題を解決したあと、再度、処理を行ってください。

上記処置を行ったにもかかわらず、再度発生した場合は、MeFt/Web プラグインを一度削除してから、再度インストールしてください。

7.2.2 P4002

使用するモジュールのバージョンが異なっているため処理できません。

説明

MeFt/Web プラグインで使用するモジュールのバージョンが異なっています。

プログラマーの処置

MeFt/Web プラグインを一度削除してから、再度インストールしてください。

第8章 Jアダプタクラスジェネレータのメッセージ

Jアダプタクラスジェネレータは、以下の製品に含まれています。

[Win32]

- NetCOBOL Enterprise Edition 開発パッケージ (32bit)
- NetCOBOL Professional Edition 開発パッケージ (32bit)
- NetCOBOL Standard Edition 開発パッケージ (32bit)
- NetCOBOL Enterprise Edition サーバ運用パッケージ (32bit)
- NetCOBOL Standard Edition サーバ運用パッケージ (32bit)

[Winx64]

- NetCOBOL Enterprise Edition 開発パッケージ (64bit)
- NetCOBOL Standard Edition 開発パッケージ (64bit)
- NetCOBOL Enterprise Edition サーバ運用パッケージ (64bit)
- NetCOBOL Standard Edition サーバ運用パッケージ (64bit)

この章では、Jアダプタクラスジェネレータが出力するメッセージの内容および対処方法について説明します。

8.1 java2cobコマンドのメッセージ

ここでは、java2cobコマンドが出力するメッセージの内容および対処方法について説明します。

アダプタクラス生成時のメモリ不足のため実行できません。必要のないアプリケーションを終了してから、実行してください。

プログラマーの処置

メモリ不足です。必要のないアプリケーションを終了してから、再度java2cobコマンドを実行してください。

Java VMの起動に失敗しました。JDKの環境定義(PATH, CLASSPATH)、JDKのインストールが正しく行われていることを確認してください。

プログラマーの処置

JDKの環境に誤りがあります。環境変数PATHおよびCLASSPATHが正しいか、また、JDKのインストールが正しく行われているか、確認してください。

Java2cobクラスのロードに失敗しました。Jアダプタクラスジェネレータを再インストールしてから、実行してください。

プログラマーの処置

Jアダプタクラスジェネレータが正しくインストールされていません。Jアダプタクラスジェネレータを再インストールしてください。

オプションファイルのオープンに失敗しました。ファイルの状態を確認してください。生成処理を中止します。

プログラマーの処置

オプションファイルの状態(-iオプションで指定したファイル名は正しいか、読み取り禁止になっていないかなど)を確認して、再度実行してください。

[参照]“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“オプション”

オプションファイル名が指定されていません。生成処理を中止します。

プログラマーの処置

-iオプションにオプションファイル名を指定して、再度実行してください。

[参照]“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“オプション”

8.2 生成時のメッセージ

ここでは、アダプタクラス生成時に出力するメッセージの内容および対処方法について説明します。

メッセージの形式

メッセージ種別 : メッセージ本文

メッセージ種別の意味

メッセージ種別	レベル	意味
Error	エラー	アダプタクラスは生成されません。
Warning	警告	アダプタクラスは生成されます。ただし、利用者の意図どおりか確認する必要があります。

Warning :不正なオプション「xxx」が指定されました。オプションを無視して処理を続行します。

プログラマーの処置

正しいオプションを指定して、再度実行してください。

[参照]“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“オプション”

Warning: クラス「xxx」に指定された「xxx」は、生成されませんでした。指定した名前(及びパラメタ)を確認してください。

プログラマーの処置

コンストラクタ/メソッド/フィールドの指定は正しいか確認して、再度実行してください。

[参照]“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“コンストラクタ/メソッド/フィールドを指定する”

Warning :ディレクトリ名が指定されていません。オプションを無視して処理を続行します。

プログラマーの処置

正しいオプションを指定して、再度実行してください。

[参照]“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“オプション”

Warning: 生成名管理ファイルの作成に失敗しました。

プログラマーの処置

-dオプションまたは“Option OutPutPath”パラメタに指定したフォルダ名は正しいか、生成名管理ファイル(java2cob.mgt)が書き込み禁止になっていないかなどを確認して、再度実行してください。

[参照]“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“オプション”および“オプションファイル”

Warning: クラス「xxx」に対するクラス名が160文字を超えました。160文字を超える部分を削除します。

プログラマーの処置

160文字を超える部分を削除して問題がないか、確認してください。

Warning: フィールド「xxx」に対するプロパティ名が30文字を超えました。30文字を超える部分を削除します。

プログラマーの処置

30文字を超える部分を削除して問題がないか、確認してください。

Warning: メソッド「xxx」に対するメソッド名が160文字を超えました。160文字を超える部分を削除します。

プログラマーの処置

160文字を超える部分を削除して問題がないか、確認してください。

Warning: コンストラクタ「xxx」に対するメソッド名が160文字を超えました。160文字を超える部分を削除します。

プログラマーの処置

160文字を超える部分を削除して問題がないか、確認してください。

Error :クラス名またはインタフェース名が指定されていません。生成処理を中止します。

プログラマーの処置

正しいクラス名またはインタフェース名を指定して、再度実行してください。

[参照]“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“クラス/インタフェース”

Error: クラス名「xxx」が正しくありません。Javaのクラス名またはインタフェース名をパッケージ名で修飾して指定してください。

プログラマーの処置

正しいクラス名またはインタフェース名を指定して、再度実行してください。

[参照]“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“クラス/インタフェース”

Error :ディレクトリ名「xxx」に誤りがあります。生成処理を中止します。

プログラマーの処置

正しいディレクトリ名を指定して、再度実行してください。

Error: 連番が99を超えました。生成処理を中止します。

プログラマーの処置

-rオプション、-gcオプション、-gmオプション、-gfオプション、-omオプション、“Class クラス名 / インタフェース名”パラメタのコンストラクタ / メソッド / フィールド指定オプション、または“Option ReduceClass”パラメタを指定して、再度実行してください。

[参照]“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“オプション”および“オプションファイル”

Error: ファイル「xxx」が作成できない状態にあります。ファイルの状態を確認してください。

プログラマーの処置

ファイルの状態(-dオプションまたは“Option OutPutPath”パラメタに指定したフォルダ名は正しいか、書き込み禁止になっていないかなど)を確認して、再度実行してください。

[参照]“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“オプション”および“オプションファイル”

Error: ファイル「xxx」の書き込み中にエラーが発生しました。

プログラマーの処置

出力先に容量などの問題がないか確認して、再度実行してください。

Error : -omオプション(Option ReduceClass)と-rオプション(Option GenOnlyUsed)を同時に指定することはできません。生成処理を中止します。

プログラマーの処置

-omオプション(または“Option ReduceClass”パラメタ)か-rオプション(または“Option GenOnlyUsed”パラメタ)のどちらか一方を指定して、再度実行してください。-rオプション(または“Option GenOnlyUsed”パラメタ)の指定を推奨します。

[参照]“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“オプション”および“オプションファイル”

Error : -omオプション(Option ReduceClass)と-sオプション(Option String)を同時に指定することはできません。生成処理を中止します。

プログラマーの処置

-omオプション(または“Option ReduceClass”パラメタ)か-sオプション(または“Option String”パラメタ)のどちらか一方を指定して、再度実行してください。

[参照]“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“オプション”および“オプションファイル”

Error : オプションファイルのオープンに失敗しました。ファイルの状態を確認してください。生成処理を中止します。

プログラマーの処置

オプションファイルの状態(-iオプションで指定したファイル名は正しいか、読み取り禁止になっていないかなど)を確認して、再度実行してください。

[参照]“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“オプション”

Error : オプションファイル中に不正な定義「xxx」が指定されました。定義を無視して処理を続行します。

プログラマーの処置

正しい定義を指定して、再度実行してください。

[参照]“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“オプションファイル”

Error: クラス情報が見つかりません。生成処理を中止します。

プログラマーの処置

クラス/インタフェースから参照するクラス/インタフェースのクラスファイルがあるか確認してください。

[参照]“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“クラスファイルがない場合の生成方法”

Error : メモリ不足が発生しました。生成処理を中止します。

プログラマーの処置

必要のないアプリケーションを終了してから、再度実行してください。

Error: システムエラーが発生しました。生成処理を中止します。

プログラマーの処置

Jアダプタクラスジェネレータの障害です。資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。

8.3 実行時のメッセージ

ここでは、アダプタクラスを使用したプログラムの実行時に出力するメッセージの内容および対処方法について説明します。

実行時のメッセージは、COBOLのUPON SYSERR指定のDISPLAY文と同じ出力先に出力されます。UPON SYSERR指定のDISPLAY文の出力先については、“NetCOBOL ユーザーズガイド”を参照してください。

アダプタクラスはメッセージを出力すると同時に例外オブジェクトを発生させます。アプリケーションで例外処理を記述しているなどの理由で実行時のメッセージを抑制したい場合は、環境変数COBJNI_NOMESSAGEに“YES”を設定することで、抑制することができます。

[参照]“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“エラー処理”

メッセージの形式

クラス名情報 : メッセージ本文

内容

クラス名情報、エラーが発生したアダプタクラスを示します。クラス名情報の形式は、アダプタクラスの種別によって異なります。

アダプタクラス種別		形式	補足
クラス/インタフェース		パッケージ名/…/クラス名	パッケージ名で完全修飾したクラス名です。パッケージ名、クラス名の間は“/”で区切ります。
基本データ型の配列	boolean	[Z	“[”の数は次元数を表します。たとえば2次元の配列の場合は“[[Z”になります。
	byte	[B	“[”の数は次元数を表します。
	char	[C	“[”の数は次元数を表します。
	short	[S	“[”の数は次元数を表します。
	int	[I	“[”の数は次元数を表します。
	long	[J	“[”の数は次元数を表します。
	float	[F	“[”の数は次元数を表します。
	double	[D	“[”の数は次元数を表します。
クラス/インタフェースの配列		[Lパッケージ名/…/クラス名;	“[”の数は次元数を表します。パッケージ名で完全修飾したクラス名を、“L”と“;”ではさみます。

Java VMの初期化に失敗しました。環境変数(PATH、COBJNI_CLASSPATH)の値、JDKまたはJREのインストール環境を確認してください。

プログラマーの処置

JDKまたはJREの環境に誤りがあります。環境変数PATHおよびCOBJNI_CLASSPATHが正しいか、JDKまたはJREのインストールが正しく行われているか、確認してください。

[参照]“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“JVM-INITメソッド”

または、同一プロセス内の異なるスレッドで、JVM-INITメソッドが複数呼び出されました。JVM-INITメソッドの代わりにJVM-ATTACHメソッドを使用してください。

[参照]“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“JVM-ATTACHメソッド”

カレントスレッドをJava VMへ接続できませんでした。

プログラマーの処置

プログラムでJVM-INITメソッドまたはJVM-ATTACHメソッドを正しく呼び出しているか確認してください。

[参照]“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“JVM-INITメソッド”および“JVM-ATTACHメソッド”参照)

カレントスレッドをJava VMから分離できませんでした。

プログラマーの処置

プログラムでJVM-TERMINATEメソッドまたはJVM-DETACHメソッドを正しく呼び出しているか確認してください。

[参照]“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“JVM-TERMINATEメソッド”および“JVM-DETACHメソッド”

ジェネレータが生成したアダプタクラス中のJavaクラス名形式に誤りがありました。Jアダプタクラスジェネレータの提供元に連絡してください。

プログラマーの処置

Jアダプタクラスジェネレータの障害です。資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。

Javaクラス/インタフェース定義の親と子の名前が重複しています。重複しない名前に変更してください。

プログラマーの処置

Javaのクラス/インタフェース定義に誤りがあります。Javaのクラス/インタフェースを見直してください。

Javaクラス／インタフェース定義が見つかりません。環境変数(COBJNI_CLASSPATH)の値を確認してください。

プログラマーの処置

検索パス上で、Javaクラス／インタフェースが見つかりません。環境変数COBJNI_CLASSPATHの値が正しいか確認してください。

[参照]“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“JVM-INITメソッド”

メモリ不足が発生しました。環境変数(COBJNI_MAX_NSTACK、COBJNI_JAVA_STACK、COBJNI_MIN_HEAP、COBJNI_MAX_HEAP)の値を大きくして、実行してください。

プログラマーの処置

Java VMでメモリ不足が発生しました。環境変数(COBJNI_MAX_NSTACK、COBJNI_JAVA_STACK、COBJNI_MIN_HEAP、COBJNI_MAX_HEAP)の値を変更して、Java VMに割り当てるメモリを増やしてください。

[参照]“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“JVM-INITメソッド”

Javaインタフェース／抽象クラスのインスタンスは作れません。Jアダプタクラスジェネレータ実行後に、Javaクラス／インタフェースを変更していないか確認してください。

プログラマーの処置

抽象クラス上でコンストラクタを実行しました。アダプタクラス生成後にJavaクラス／インタフェースを変更した可能性があります。Javaのクラス／インタフェースを見直してください。

型変換できません。J-NARROWメソッドに渡したパラメタを確認してください。

プログラマーの処置

パラメタに指定したオブジェクトが、そのクラスまたはサブクラスのオブジェクトではありません。J-NARROWメソッドのパラメタを確認してください。

[参照]“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“J-NARROWメソッド”

Javaフィールドが見つかりません。Jアダプタクラスジェネレータ実行後に、Javaクラス／インタフェースを変更していないか確認してください。

プログラマーの処置

アダプタクラス生成後にJavaクラス／インタフェースを変更した可能性があります。Javaのクラス／インタフェースを見直してください。

Javaクラスの初期化に失敗しました。Jアダプタクラスジェネレータの提供元に連絡してください。

プログラマーの処置

Jアダプタクラスジェネレータの障害です。資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。

Javaメソッドが見つかりません。Jアダプタクラスジェネレータ実行後に、Javaクラス／インタフェースを変更していないか確認してください。

プログラマーの処置

アダプタクラス生成後にJavaクラス／インタフェースを変更した可能性があります。Javaのクラス／インタフェースを見直してください。

Stringオブジェクトが持つ文字列の取り出しに失敗しました。Jアダプタクラスジェネレータの提供元に連絡してください。

プログラマーの処置

Jアダプタクラスジェネレータの障害です。資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。

配列オブジェクトの添字が誤っています。配列範囲内の添字を指定してください。

プログラマーの処置

添字の値が0～(要素数-1)の範囲にありません。正しい添字を指定してください。

設定値(オブジェクト)のクラスが誤っています。配列の要素クラスのサブクラスを指定してください。**プログラマーの処置**

配列要素に、誤ったクラスのオブジェクトを設定しようとしていました。正しいクラスのオブジェクトを設定してください。設定できるのは、配列要素クラスのオブジェクトまたはそのサブクラスのオブジェクトです。

[参照]“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“配列クラス”

内部論理エラーが発生しました。(復帰値とオブジェクト参照が矛盾) Jアダプタクラスジェネレータの提供元に連絡してください。**プログラマーの処置**

Jアダプタクラスジェネレータの障害です。資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。

Java VMがエラーを検出しました。エラーの原因を取り除いてください。(例外名: 補足情報)**プログラマーの処置**

Java VMが実行時エラーを検出しました。例外名および補足情報からエラーの原因を特定し、原因を取り除いてください。

内部論理エラーが発生しました。(エラー検出機構の障害) Jアダプタクラスジェネレータの提供元に連絡してください。**プログラマーの処置**

Jアダプタクラスジェネレータの障害です。資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。

文字コードの変換に失敗しました。ERRNO: エラー詳細値**対処**

アダプタクラスのjava-lang-Stringクラスのメソッド(GET-STRING-X、GET-STRING-N、NEW-STRING-XまたはNEW-STRING-N)を使用したプログラム中で、データ項目のエンコード方式で文字として保証されている範囲外のデータが使用されました。

メッセージに表示されたエラー詳細値を“表6.1 文字コードの変換に失敗した場合のエラー詳細値”の説明を参考にエラーの原因を取り除いて、再度実行してください。

エラー詳細値	エラーの意味	対処
7	変換先コード列格納域が不足しました。	変換先のデータ項目の長さが十分であるか確認してください。
12	領域不足が発生しました。	“付録D 注意事項”の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合”を参照して対処してください。
22	変換元コード列の終りに、不完全なコードが現れました。	変換元の文字データが転記、部分参照などで不完全な状態になっていないか確認してください。
42	変換元コード列中に、変換元コード系に存在しないコードが現れました。	変換元のデータがエンコード方式の範囲外です。エンコード方式の異なるデータ項目を重ね合わせ(REDEFIENS句)で使用していないか、文字コード以外のバイナリデータを格納していないか確認してください。

コード変換にInterstage Charset Managerを使用している場合は、「Interstage Charset Manager 使用手引書標準コード変換機能編」を参照してエラーの原因を確認してください。

上記以外のエラーコードについては、システムのエラーコードを参照してください。

 **参照**

- “NetCOBOL ユーザーズガイド”の“付録A 翻訳オプション” - “CONVCHAR (コンパイラが使用するコード変換ライブラリ)”

- “NetCOBOL ユーザーズガイド”の“付録C 環境変数情報” - “@CBR_CONVERT_CHARACTER (コード変換ライブラリの指定)”



第9章 PowerSORTのメッセージ

PowerSORTは、以下の製品に含まれています。

[Win32]

- NetCOBOL Enterprise Edition 開発パッケージ (32bit)
- NetCOBOL Enterprise Edition サーバ運用パッケージ (32bit)

[Winx64]

- NetCOBOL Enterprise Edition 開発パッケージ (64bit)
- NetCOBOL Enterprise Edition サーバ運用パッケージ (64bit)

PowerSORTのメッセージについては、PowerSORTのユーザーズガイドを参照してください。

付録A システムのエラーコードの説明

システムのエラーコードの内容を説明します。

表A.1 システムのエラーコードの内容

コード	意味	プログラマーの処置
2 (0x02)	指定されたファイルを見つけることができません。	[Win32]実行環境情報@CBR_SCR_KEYDEFFILE の指定が正しいか確認してください。
4 (0x04)	ファイルをアクセスできません。	実行環境を確認してください。
5 (0x05)	アクセスできません。	ファイルの割当てが正しいか確認してください。
6 (0x06)	ハンドルが無効です。	実行環境を確認してください。
8 (0x08)	利用可能な格納域が不足しているためコマンドを処理できません。	以下の項目を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> 同時に実行している他のアプリケーションを停止してください。 実装メモリを確認し、必要であれば増設してください。 仮想メモリを確認し、必要であれば増設してください。
13 (0x0d)	読み取り専用のファイルです。	ファイルのアクセス権を確認してください。
15 (0x0f)	無効なドライブ名です。	ドライブ名が正しいか確認してください。
19 (0x13)	ディスクは書き込み禁止です。	ディスクを確認してください。
20 (0x14)	ディスクユニットに不良があります。	ディスクユニットが破壊されていないかを確認してください。
21 (0x15)	ドライブの準備ができていません。	ドライブを確認してください。
34 (0x22)	間違ったディスクがドライブ内にあります。	ディスクを確認してください。
53 (0x35)	ネットワークパスが見つかりません。	指定したネットワークパス名を確認してください。
59 (0x3b)	予期しないネットワークエラーが発生しました。	ネットワークの環境が正しく設定されているかを確認してください。
86 (0x56)	指定されたネットワークパスワードに誤りがあります。	指定したネットワークパスワードを確認してください。
126(0x7E)	指定されたモジュールが見つかりませんでした。	呼ばれるプログラムのDLLが、以下のいずれかのフォルダに存在することを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> 環境変数PATHに指定されたフォルダ 呼び出し元のプログラムのあるフォルダ カレントフォルダ
127(0x7F)	指定されたプロシージャが見つかりませんでした。	以下の項目を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> 呼ばれるプログラムのDLL中に呼ばれるプログラムの名前がEXPORTされているか確認してください。(注1) 呼ばれるプログラムと呼び出すプログラムの外部名にASCII範囲外の文字が含まれているか確認します。含まれている場合、呼ばれるプログラムと呼び出すプログラムの外部シンボルの文字コードが一致しているか確認してください。
193 (0xC1)	有効なWin32アプリケーションではありません。	[Win32]呼ばれるプログラムのDLLが、32ビットアプリケーションか確認してください。 [Winx64]呼ばれるプログラムのDLLが、64ビットアプリケーションか確認してください。
206(0xCE)	ファイル名が長すぎます。	ファイル名を確認してください。

コード	意味	プログラマーの処置
1157(0x485)	このアプリケーションの実行に必要なライブラリファイルのうち、1つが見つかりません。	呼ばれるプログラムのDLLが、以下のいずれかのフォルダに存在することを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> 環境変数PATHに指定されたフォルダ 呼び出し元のプログラムのあるフォルダ カレントフォルダ
1224(0x4C8)	要求された操作は、ユーザマップセクションで開いたファイルでは実行できません。	ファイルが排他的に利用されています。以下の項目を確認し、対処してください。 <ul style="list-style-type: none"> エラー対象のファイルが、排他がかかるようなCOBOL以外のソフト(ウイルスチェックソフト、OSも含む)で利用されていた。 バッチファイルからプログラムを起動した場合に、起動したプログラムの終了同期がとれていない。(注2)
1231(0x4CF)	ネットワークに接続できません。	ネットワーク環境が正しく設定されているか確認してください。
1785(0x6F9)	フォーマットがされていない可能性があります。	ディスクがフォーマットされているか確認してください。

- 注1：コマンドで確認することができます。
 - [Win32]DUMPBINコマンドを使用して確認することができます。詳細は、“NetCOBOLユーザーズガイド”の“J.3 DUMPBINコマンド”を参照してください。
 - [Winx64]LINKコマンド/DUMPオプションを使用して確認することができます。詳細は、以下を参照してください。
 - “NetCOBOLユーザーズガイド”の“付録J コマンド”“LINKコマンド”の“/DUMPオプション”を参照してください。
- 注2：バッチファイルから起動するプログラムの終了同期をとるためには、“START”コマンドに“/WAIT”オプションを指定してください。
 - “NetCOBOLユーザーズガイド”の“5.4.2 バッチファイルを使用する”を参照してください。

参照

上記以外のエラーコードの説明および詳細は、“Visual C++のオンラインヘルプ”を参照してください。

付録B SCODE形式のエラーコードの説明

[Win32] SCODE形式のエラーコードの内容を説明します。

表B.1 SCODE形式のエラーコードの内容

コード	意味	プログラマーの処置
0x80004002 (-2147467262)	CREATE-OBJECT メソッドに指定したCOM サーバがオートメーション機能をサポートしていません。	NetCOBOL はオートメーション機能を使用してCOMサーバにアクセスしています。オートメーション機能をサポートしているCOMサーバを指定してください。
0x8001ffff (-2147352577)	予期しないエラーが発生しました。	COM サーバが正常に動作することを確認し、再度実行してください。
0x80020003 (-2147352573)	COM サーバが定義していないメソッドを呼び出そうとしたか、読み取り専用のプロパティの値を設定しようとしています。	呼び出すメソッドのインタフェースに適合するようにプログラムを修正してください。
0x80020005 (-2147352571)	メソッドの引数の属性が誤っています。	
0x80020006 (-2147352570)	COM サーバが定義していないメソッドを呼び出そうとしています。	COM サーバに定義されたメソッドを呼び出すようにプログラムを修正してください。
0x80020009 (-2147352567)	メソッド実行中にCOM サーバがエラーを検出しました。	COM サーバが設定したエラーの詳細な情報を参照して、対処してください。このコードがシステムから通知された場合、*COM-EXCEPTIONクラスの例外オブジェクトの例外処理を定義してあるときは、GET-ERROR-TYPEメソッドで”0 (例外発生)”が返却され、GET-SCODE メソッドではCOM サーバが通知したコードが返却されます。*COM-EXCEPTIONクラスの例外オブジェクトの例外処理が定義されていないときは、このコードとエラーの詳細な情報がエラーメッセージ中に表示されます。(注1)
0x8002000a (-2147352566)	メソッドの引数の属性が誤っています。	呼び出すメソッドのインタフェースに適合するようにプログラムを修正してください。
0x8002000b (-2147352565)	*COM-ARRAYクラスオブジェクトの配列またはCOMサーバが使用している配列の次元または要素の指定方法が誤っています。	実際の配列に矛盾しない要素を指定するようにプログラムを修正してください。
0x8002000d (-2147352563)	*COM-ARRAYクラスオブジェクトの配列が、COM サーバによって使用されているため更新または削除できません。	COM サーバが配列を解放してから更新または削除するようにプログラムを修正してください。
0x8002000e (-2147352562)	メソッドの引数の数が誤っています。	呼び出すメソッドのインタフェースに適合するようにプログラムを修正してください。
0x80030005 (-2147287035)	GET-OBJECTメソッドで指定したファイルにアクセスできません。	ファイルがプログラム中で指定したパスにあるかを確認してください。
0x8004000e (-2147221490)	COMOBJ.DLLが古いためOLE2.DLLを初期化できません。	COM サーバが正しくインストールされているかを確認してください。
0x80040111 (-2147221231)	COMサーバクラスのオブジェクトの作成に失敗しました。	COM サーバが正しくインストールされている、かつ、正しく動作することを確認してください。
0x80040151 (-2147221167)	レジストリにキーを書き込めませんでした。	実行環境のレジストリが壊れている可能性があります。レジストリファイルの内容を確認してください。
0x80040154 (-2147221164)	CREATE-OBJECT メソッドで指定したCOMサーバがレジストリに登録されていません。	COM サーバが正しくインストールされているかを確認してください。
0x800401e0 (-2147221024)	GET-OBJECTメソッドで指定したファイルか、そのファイルに関連付けられたCOM サーバにネットワーク経由で接続できませんでした。	ネットワークが正しく接続されているかを確認してください。

コード	意味	プログラマーの処置
0x800401e4 (-2147221020)	GET-OBJECTメソッドで指定したファイル名が誤っています。	正しいファイル名を指定するようにプログラムを修正してください。
0x800401e5 (-2147221019)	GET-OBJECTメソッドで指定したファイルか、そのファイルに関連付けられたCOM サーバが見つかりません。	実行環境に指定したファイルとそのファイルに関連付けられたCOM サーバが存在することを確認してください。
0x800401e7 (-2147221017)	GET-OBJECTメソッドで指定したファイルに関連付けられたCOM サーバはオートメーション機能をサポートしていません。	NetCOBOL はオートメーション機能を使用してCOM サーバにアクセスしています。オートメーション機能をサポートしているCOM サーバを使用してください。
0x800401f3 (-2147221005)	CREATE-OBJECT で指定したプログラムIDが誤っています。	CREATE-OBJECT メソッドで正しいプログラムIDを指定するように、プログラムを修正してください。
0x8004E002 (-2147164158)	トランザクションはアボートされました。	これはエラーではありません。Commitメソッドが呼び出された時に、トランザクション全体がアボートされたことを例外として通知しています。
0x8004E004 (-2147164156)	このオブジェクトは関連付けられたコンテキストを持っていません。	このオブジェクトは、コンテキストオブジェクトのCreateInstanceメソッドを使って作成されたものではない可能性があります。
0x8004E005 (-2147164155)	指定されたクラスは、トランザクションコンポーネントとして登録されていません。	指定したクラスをMTSに登録してください。
0x8004E00C (-2147164148)	引数に指定したロールは存在しません。	正しいロールを指定してください。
0x8007000E (-2147024882)	サーバアプリケーション実行のための仮想メモリが不足しているため、この処理を実行できません。	原因を調査し、対処後、再度実行してください。(注2)
0x80070057 (-2147024809)	メソッドの引数の数または属性が誤っています。	呼び出すメソッドのインタフェースに適合するようにプログラムを修正してください。
0x80080005 (-2146959355)	サーバアプリケーションの実行に失敗しました。	COM サーバが正しくインストールされ、かつ、正しく動作することを確認してください。

注1 : [Win32] *COM-EXCEPTIONクラスの例外オブジェクトについては、“NetCOBOLユーザズガイド”の“28.6.2 *COM-EXCEPTIONクラス”を参照してください。

注2 : 原因および対処については、“付録D 注意事項”の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合”を参照してください。

この表の中に記述された「メソッド」は、COMサーバのプロパティの参照/設定処理を含みます。

上記以外のコードが通知されたときには、COMサーバが独自に割り当てたSCODEが通知されたか、システムの障害の可能性があります。COMサーバが正常に動作していることを確認した上でCOMサーバの開発元もしくは技術員(SE)にお問い合わせください。

付録C COBOLファイルシステムのエラーコードの説明

COBOLファイルシステムのエラーコードの内容を説明します。

表C.1 COBOLファイルシステムのエラーコードの内容

コード(16進数)		意味	プログラマーの処置
上位	下位		
10		ファイルの終りより後を、またはファイルの先頭より前への入力要求がありました。	入力データ件数に誤りがないかチェックしてください。
21		主キーの順序に誤りがあります。	キーの値が昇順となるようにプログラムを修正してください。または、直前に読み込んだレコードのキーの値を変更しないように修正してください。
22		重複キー禁止のファイルで、新しいレコードのキーが重複しています。	キーの値が重複しないようにしてください。
23		指定されたレコードは存在しません。	存在しないレコードを操作しないでください。
24		ディスクスペースが不足しています。	空き容量を増やし、再度実行してください。
24	01	相対レコードファイルへの任意の書込みでレコード番号の指定が無効(ゼロ)でした。	相対レコード番号に値を設定してください。
24	02	ファイル作成限界以上のレコードの追加書込みが発生しました。	ファイルを分割し、一つのファイルが最大サイズを超えないようにしてください。
30	02xxxx	COBOLファイルシステムがオペレーティングシステムのエラーを検出しました。	xxxxに設定されたOSから返却されたエラーに対処してください。
30	01 01	メモリ領域獲得に失敗しました。	メモリを増設してください。もしくは、仮想メモリ(スワップ)を増やしてください。
30	03 0A	レコードが1件もありません。	レコードが格納されている状態にしてください。
30	04 0A	ファイルが多過ぎます。	技術員(SE)に連絡してください。
30	05 0A	ハンドルに誤りがあります。	技術員(SE)に連絡してください。
35		指定されたファイル名のファイルが存在しません。	操作するファイル名、パス名が存在するか確認してください。
37		ファイル属性に一致しないアクセスがありました。	技術員(SE)に連絡してください。
37	07	読み込みのみ許可されたファイルに書込みのオープン命令が発行されました。	ファイルへのアクセス権を確認してください。
38		ロック付きでクローズされたファイルがオープンできません。	ロック付きクローズ後に、ファイルを操作しないでください。
39		ファイル属性が一致しないためファイルのオープンができません。	パラメタやオプションで指定したファイル属性と、物理ファイルのファイル属性とが一致するようにしてください。
39	01	ファイル編成が一致しません。	パラメタやオプションで指定したファイル編成と、物理ファイルのファイル編成とが一致するようにしてください。
39	02	最小レコード長が一致しません。	パラメタやオプションで指定した最小レコード長と、物理ファイルの最小レコード長とが一致するようにしてください。
39	03	最大レコード長が一致しません。	パラメタやオプションで指定した最大レコード長と、物理ファイルの最大レコード長とが一致するようにしてください。
39	04	最小ブロック長が一致しません。	技術員(SE)に連絡してください。

コード(16進数)		意味	プログラマーの処置
上位	下位		
39	05	最大ブロック長が一致しません。	技術員(SE)に連絡してください。
39	06	レコードの区切りが一致しません。	パラメタやオプションで指定したファイル属性がレコード順ファイル可変長レコード形式の場合、物理ファイルがレコード順ファイル可変長レコード形式であるか確認してください。その他の場合、技術員(SE)に連絡してください。
39	07	コードセットが一致しません。	技術員(SE)に連絡してください。
39	08	照合順序が一致しません。	技術員(SE)に連絡してください。
39	09	レコード形式が一致しません。	技術員(SE)に連絡してください。
39	0A	埋め込み文字が一致しません。	技術員(SE)に連絡してください。
39	30~7F	索引ファイルのキー項目に対する属性(オフセット、大きさ、WITH DUPLICATES等)が一致しません。	索引ファイルのキーの属性が、物理ファイルと一致するようにしてください。
43		最後の読み込みでエラーが発生しました。	技術員(SE)に連絡してください。
90	01	オープン処理を矛盾するアクセスがありました。	技術員(SE)に連絡してください。
90	04	ファイル編成と矛盾するアクセスがありました。	技術員(SE)に連絡してください。
90	05	ファイルランケート命令が他のユーザと矛盾します。	技術員(SE)に連絡してください。
90	06	サーバセッションが拒否されました。	技術員(SE)に連絡してください。
90	07	読み込み専用ファイルに対して無効なアクセスがありました。	技術員(SE)に連絡してください。
90	08	サポート外のアクセスがありました。	技術員(SE)に連絡してください。
90	09	メッセージ領域が小さ過ぎます。	技術員(SE)に連絡してください。
90	10	セッションIDが無効です。	技術員(SE)に連絡してください。
92		ファイルがクローズされていません。	技術員(SE)に連絡してください。
92	01	既にオープンされているファイルに対してオープンが発行されました。	技術員(SE)に連絡してください。
93		ファイルが有効ではありません。	技術員(SE)に連絡してください。
93	02	他のファイル結合子により、ファイルがロックされています。	他のファイル結合子から、レコードのロック状態を解除してください。
93	06	ファイルが既に存在するため、オープンできません。	ファイルが存在しないディレクトリやファイル名を利用してください。
94		ファイル属性が一致しないためファイルのオープンができません。	パラメタやオプションで指定したファイル属性と、物理ファイルのファイル属性とが一致するようにしてください。
94	21	ファイル編成が一致しません。	パラメタやオプションで指定したファイル編成と、物理ファイルのファイル編成とが一致するようにしてください。
94	22	最小レコード長が一致しません。	パラメタやオプションで指定した最小レコード長と、物理ファイルの最小レコード長とが一致するようにしてください。
94	23	最大レコード長が一致しません。	パラメタやオプションで指定した最大レコード長と、物理ファイルの最大レコード長とが一致するようにしてください。
94	24	最小ブロック長が一致しません。	技術員(SE)に連絡してください。
94	25	最大ブロック長が一致しません。	技術員(SE)に連絡してください。

コード(16進数)		意味	プログラマーの処置
上位	下位		
94	26	レコードの区切りが一致しません。	パラメタやオプションで指定したファイル属性がレコード順ファイル可変長レコード形式の場合、物理ファイルがレコード順ファイル可変長レコード形式であるか確認してください。その他の場合、技術員(SE)に連絡してください。
94	27	コードセットが一致しません。	技術員(SE)に連絡してください。
94	28	照合順序が一致しません。	技術員(SE)に連絡してください。
94	29	レコード形式が一致しません。	技術員(SE)に連絡してください。
94	2A	埋め込み文字が一致しません。	技術員(SE)に連絡してください。
94	30~5F	索引ファイルのキー項目に対する属性(オフセット、大きさ、WITH DUPLICATES等)が一致しません。	索引ファイルのキーの属性が、物理ファイルと一致するようにしてください。
94	60	ファイルをオープンするためのメモリが不足しています。	メモリを増設してください。もしくは、仮想メモリ(スワップ)を増やしてください。
94	61	ファイルを生成するためのディスクスペースが不足しています。	空き容量を増やし、再度実行してください。
94	64	指定したファイル名に誤りがあります。	ファイル名に無効な文字が含まれていないか確認してください。
96		ファイル位置が未定義です。	技術員(SE)に連絡してください。
97	01	行順ファイルのレコードに不当な文字があります。	技術員(SE)に連絡してください。
97	02	不当な文字があります。	技術員(SE)に連絡してください。
97	03	最小レコード長より短いレコード領域が指定されています。	技術員(SE)に連絡してください。
97	04	最大レコード長より長いレコード領域が指定されています。	技術員(SE)に連絡してください。
97	07	レコード長が一致しません。	技術員(SE)に連絡してください。
98		ファイルの構造が無効です。	技術員(SE)に連絡してください。
99		他のファイル結合子により、レコードがロックされています。	他のファイル結合子から、レコードのロック状態を解除してください。

付録D 注意事項

COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合

COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足の発生する場合は、動作環境やプログラム構造の見直しなどを行ってください。

動作環境の問題

- 実装メモリが少ない。
必要に応じて増設してください。
- 仮想メモリが少ない。
必要に応じて大きくしてください。
- 同時に実行している他のアプリケーションがメモリ領域を使用している。
同時に実行している他のアプリケーションを停止してください。

プログラム構造の問題

- 実行単位で同時にオープンしているファイルの数が多。
- 実行単位でEXTERNAL句を指定したデータおよびファイルの宣言が多い。
- 実行単位で同時に使用しているオブジェクト(インスタンス)の数が多。

その他

- 実行したアプリケーションがメモリ領域を破壊している。

- [Win32]

NetCOBOL Studioのデバッグ機能、対話型デバッガ、CHECK機能およびメモリチェック機能などを使用して、領域破壊の原因を調査し、プログラムを修正してください。



“NetCOBOL Studio ユーザーズガイド”

“NetCOBOLユーザーズガイド”の“第24 対話型デバッガの使い方”

“NetCOBOLユーザーズガイド”の“21.3 CHECK機能”

“NetCOBOLユーザーズガイド”の“21.6 メモリチェック機能”

- [Winx64]

NetCOBOL Studioのリモートデバッグ機能、CHECK機能およびメモリチェック機能などを使用して、領域破壊の原因を調査し、プログラムを修正してください。



“NetCOBOL Studio ユーザーズガイド”

“NetCOBOLユーザーズガイド”の“19.2 CHECK機能”

“NetCOBOLユーザーズガイド”の“19.5 メモリチェック機能”

索引

[記号]

@CBR_ClassInfFile.....	860
@CBR_InstanceBlock.....	860

[C]

COBOLファイルシステムのエラーコード.....	989
COBOLファイルシステムのエラーコードの内容.....	989

[E]

ERRORLEVEL.....	842
-----------------	-----

[I]

I.....	4,842,908
--------	-----------

[J]

JMN.....	4
JMP.....	842
JMW.....	908

[P]

PROGRAM-STATUS.....	842
---------------------	-----

[S]

S.....	4
SCODE形式のエラーコード.....	987
SCODE形式のエラーコードの内容.....	987

[W]

W.....	842,908
WINCOBおよび翻訳コマンドのメッセージ.....	1

[あ]

アクセス名.....	843
エラーアドレス.....	843

[か]

仮想メモリ不足.....	992
行番号.....	4

[さ]

システムのエラーコード.....	985
実行時メッセージ.....	842
診断機能のメッセージ.....	908
スレッドID.....	843

[は]

日付と時刻.....	842
ファイル名.....	843
プロセスID.....	843
翻訳時メッセージ.....	4
翻訳時メッセージの重大度の意味.....	4

[ま]

メッセージ番号.....	4,842,908
メッセージ本文.....	5,843,908

[ら]

リンクメッセージ.....	840
---------------	-----